





圖像 No. 1, 觀自在菩薩



圖像 No. 2. 慈氏菩薩



圖像 No. 3. 虛空藏菩薩





圖像 No. 4. 普賢菩薩



圖像 No. 6. 金剛手菩薩



圖像 No. 8. 聖德太子菩薩圖



圖像 No. 7. 除蓋障菩薩



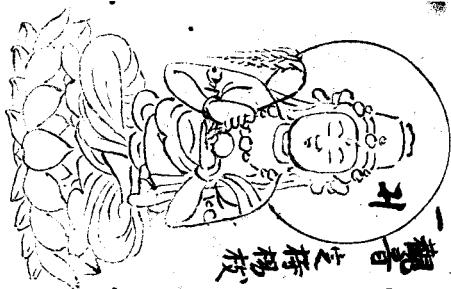
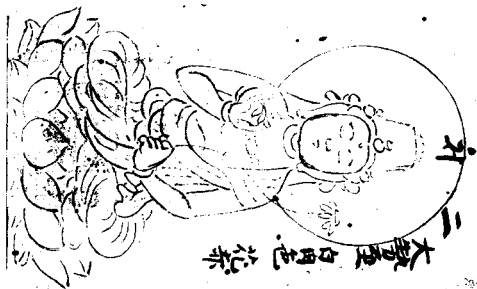
圖像 No. 8. 地藏菩薩



唐本二十五菩薩像

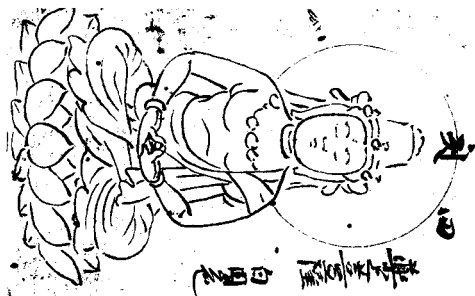
一	觀音	三
二	大勢至	二
三	藥王菩薩	三
四	藥上菩薩	三
五	普賢菩薩	四
六	寶自在菩薩	四
七	師子吼菩薩	五
八	陀羅尼菩薩	五
九	虛空藏菩薩	六
一〇	德藏菩薩	六
一一	寶藏菩薩	七
一二	金藏菩薩	七
一三	金剛藏菩薩	八
一四	光明王菩薩	八
一五	山海慧菩薩	九
一六	花嚴王菩薩	九
一七	衆寶王菩薩	一〇
一八	月光菩薩	一〇
一九	日照王菩薩	一一
二〇	三昧王菩薩	一一
二一	自在王菩薩	一二
二二	大自在王菩薩	一二
二三	白象王菩薩	一三
二四	大威德王菩薩	一三

二 無邊身菩薩

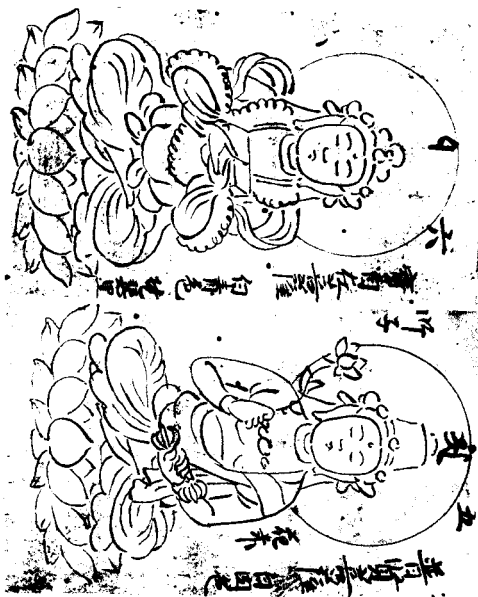


圖像 No. 1, 觀音 圖像 No. 2, 大勢至

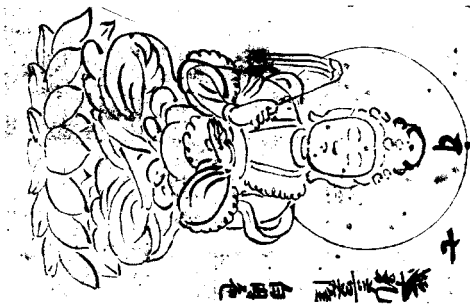
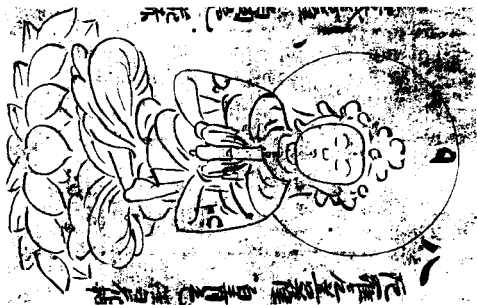




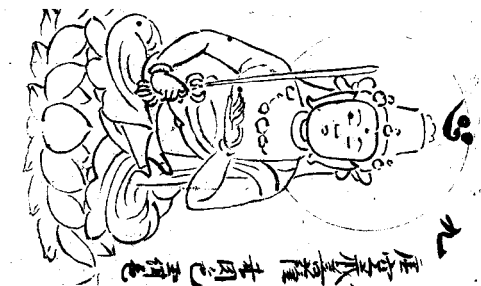
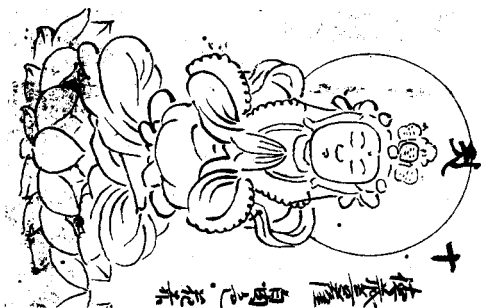
圖像 No. 3. 藥王菩薩 圖像 No. 4. 藥王菩薩



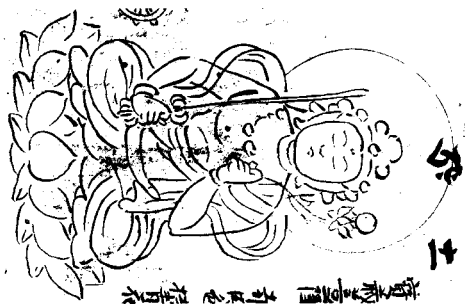
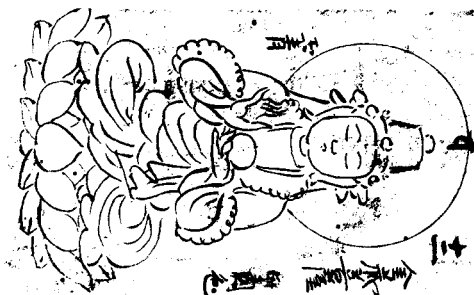
圖像 No. 5. 普賢菩薩 圖像 No. 6. 實自在菩薩



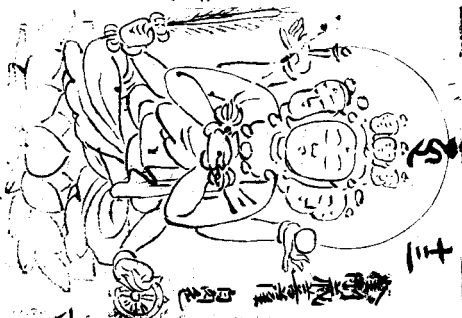
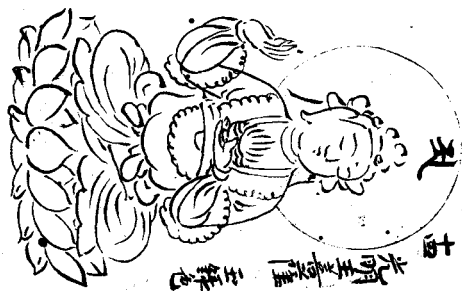
圖像 No. 7. 觀世音菩薩 圖像 No. 8. 陀羅尼菩薩



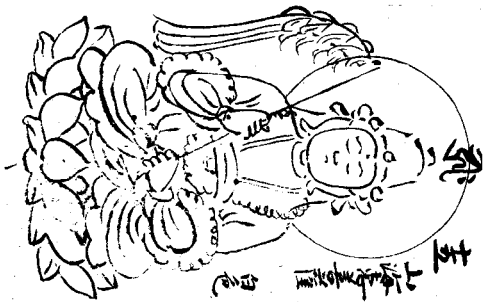
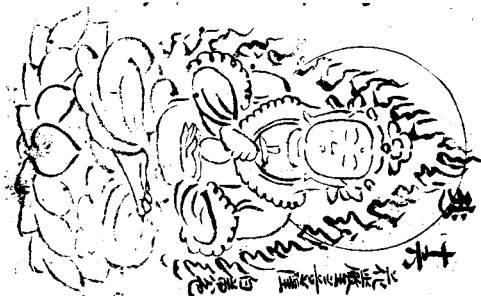
圖像 No. 9. 德養菩薩 圖像 No. 10. 庄宜瓜菩薩



圖像 No. 11. 寶藏菩薩 圖像 No. 12. 金藏菩薩



圖像 No. 13. 金剛藏菩薩 圖像 No. 14. 光明王菩薩

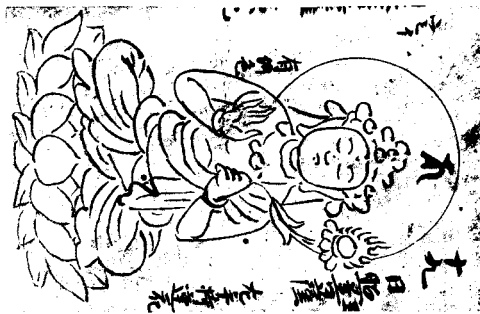
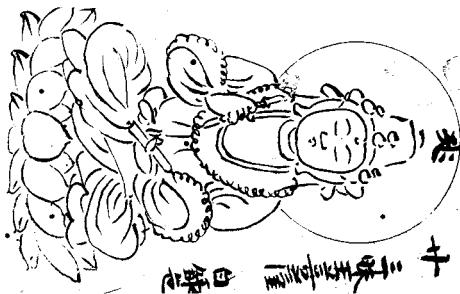


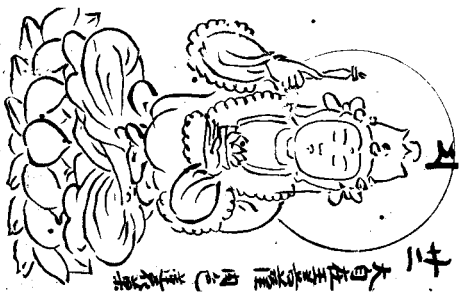
圖像 No. 15, 山海經菩薩 圖像 No. 16, 花嚴王菩薩



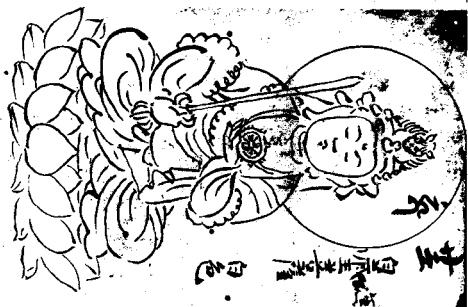
圖像 No. 17. 來賓王菩薩 圖像 No. 18. 月光菩薩



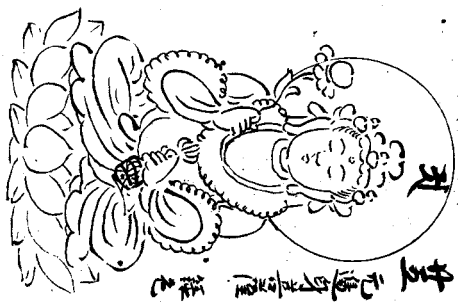




圖像 No. 21. 自在王菩薩 圖像 No. 22. 大自在王菩薩



圖像 No. 23. 白象王菩薩 圖像 No. 24. 大威德王菩薩



圖像 No. 25, 無邊身菩薩

圖像法華經法（觀音應化身像）

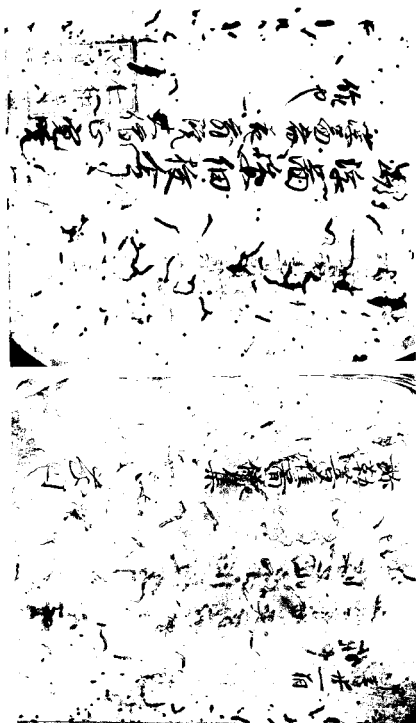
一	觀音曼荼羅	別紙色刷
二	辟支佛	一
三	聲聞身	二
四	梵王	三
五	帝釋	四
六	自在	五
七	自在	六
八	天大將軍身	七
九	毘沙門	八
十	小王	九
十一	長者	十
十二	居士	十一
十三	宰官	十二
十四	婆羅門	十三
十五	比丘	十四
十六	比丘尼	十五
十七	優婆塞	十六
十八	優婆夷	十七
十九	長者女	十八
二十	居士女	十九
二十一	宰官女	二十
二十二	婆羅門女	二十一
二十三	童男	二十二
二十四	童女	二十三

二十五	天	三
二十六	龍	四
二十七	夜叉	五
二十八	乾闥	六
二十九	阿修羅	七
三十	迦樓羅	八
三十一	緊那羅	九
三十二	摩睺羅	十
三十三	難陀龍王	十一
三十四	迦樓羅	十二
三十五	執金剛	十三



彌勒菩薩畫像集

一	彌勒菩薩 (兩卷軌).....	三
二	彌勒菩薩 (兩卷軌).....	七
三	彌勒菩薩 (兩卷軌).....	八
四	彌勒菩薩 (兩卷軌).....	九
五	彌勒菩薩 (胎藏軌).....	一〇
六	彌勒菩薩 (推陀落海會曼荼羅圖).....	一三
七	彌勒菩薩 (十六尊軌).....	一三
八	彌勒三尊 (多聞天祐軌).....	一四
	已上三井聖德阿闍梨集	
九	彌勒菩薩 (八大菩薩曼荼羅經).....	一六
一〇	彌勒菩薩 (孔雀明王軌).....	一七
二	東山靈山寺四方淨土彌勒三尊.....	一八
三	洛東清水寺塔北面彌勒菩薩.....	一九
三	會坂關之東關寺五丈彌勒菩薩.....	二〇
四	山城國愛宕郡鳥部寺丈六彌勒菩薩.....	二一
五	四天王寺塔中心柱北面彌勒三尊.....	二二
六	元興寺金堂彌勒菩薩.....	二三
七	笠置彌勒菩薩.....	二四







圖像 No. 1. 彌勒菩薩(南岳杖)

兩卷肌馬喜元畏譯

說論更說給愈歡尚連念成說文志

地故九觀一室相慶善慶取勝夫三

昧耶摩訶日奉寶妹毘利各耶三殊

地生三殊地名奉生三昧服

像瑞白散妝第一色如瞻部洲體

金色畫像殊亦黃色是身首戴五

佛智七寶冠種璎珞莊嚴天衣

環釧鍤花跣索真珠受帶白帶

長髮垂於大圓月中甚大百寶

蓮足步蓮花上結跏趺坐慈軟

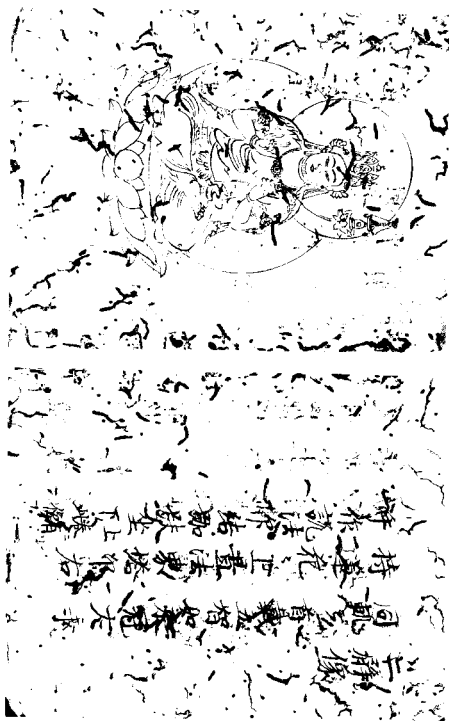
金冠

三十三臂各執寶蓮花上倚毗

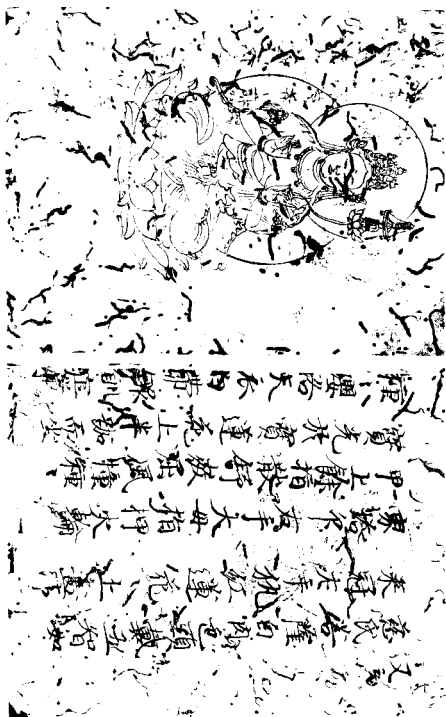
森帝尊

左一連花衣金春野風傳  
 左二連上寶金輪  
 左三連金輪  
 左四連上金金輪  
 左五連金輪  
 左六連金輪  
 左七連上寶金輪  
 左八連上如來金輪  
 左九連上如來金輪  
 左十連上如來金輪  
 左十一連上如來金輪  
 左十二連上如來金輪  
 右一連上如來金輪  
 右二連上如來金輪  
 右三連上如來金輪  
 右四連上如來金輪  
 右五連上如來金輪  
 右六連上如來金輪  
 右七連上如來金輪  
 右八連上如來金輪  
 右九連上如來金輪  
 右十連上如來金輪  
 右十一連上如來金輪  
 右十二連上如來金輪





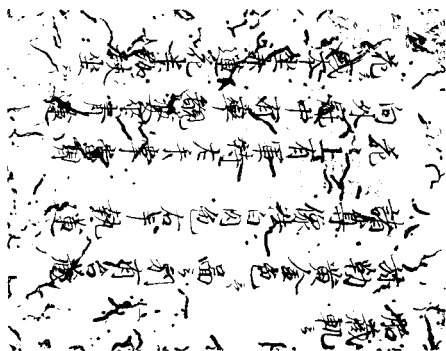
圖像 No. 2: 彌勒菩薩(絹本紙)



圖版 No. 3. 彌勒菩薩(石影戲)



圖像 No. 4. 彌勒菩薩(兩邊勢)



圖像 No. 5. 彌勒菩薩(胎藏軌)



補陀落界會曼荼羅  
 東北慈氏菩薩  
 頂上妙寶冠 身相身因色  
 大空坐蓮花 其上有軍持  
 右惠摩膝相 一切妙璽環  
 嚴飾救世身 常持摩訶  
 未究竟業羅刹也經云此  
 當名阿耨多羅具出真身  
 跏趺垂兩肩相亦同於大藏  
 大悲相身被加雲衣珠璣寶璽  
 踏鏤鏤多許至千色妙衣細軟以  
 臂中妙索赤朱色團光圓佳色  
 其光更不遍寶花以為莊嚴  
 補陀落面以中指點蓮花氣性





圖像 No. 7. 彌勒菩薩(十六章軌)



圖像 No. 8. 彌勒三尊 (多聞天秘軌)

或說法苑林并右持蓮花上負輪  
 東山靈山志并右持蓮花

山科並法苑林并右持蓮花

相三秘此三尊品雙身軌說元尊

觀者即件父說也未見法苑

大妙相者山科類信傳位初時

作未也永經大僧都祇如可

高輪并法苑林未見說父今

有二說則書主尺法音林大城增并

者儀軌心名并三井寺度龍

凡說也法苑林大妙相者依山科

例時當所注如不智也

已酒何昇說

已望平慶龍同聯集



圖像 No. 9. 彌勒菩薩(八大菩薩曼荼羅經)



圖像 No. 10. 彌勒菩薩(孔雀明王軌)

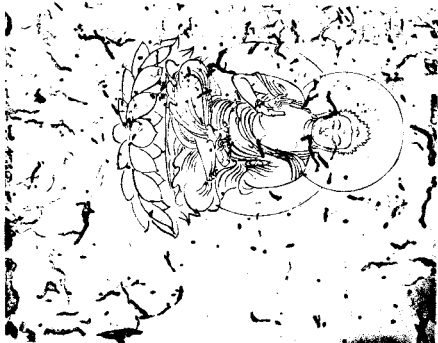
東山靈山寺西方淨土彌勒三尊  
在金屬界易茶羅衣扇三尊身  
色同黃色



同像 No. 11. 東山靈山寺西方淨土彌勒三尊



嘉祥元年二月廿日始得寶塔  
 四佛東方藥師南方迦西阿彌陀佛  
 自嘉祥元年至康和三年成二百五  
 十四年康平六年八月廿日復被焚  
 件塔燒三而致佛像奉取出  
 藥師及迦彌陀三佛以及聖量石  
 版上結跏趺坐一佛心蓋花

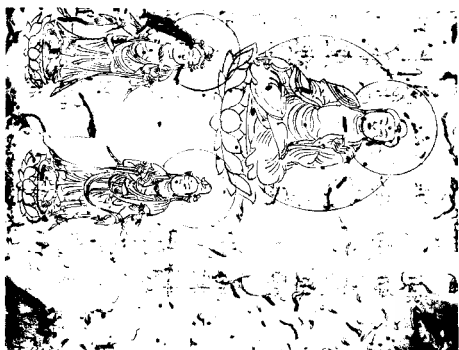




圖像 No. 13. 會真圖之東魏寺五丈演勤菩薩



圖像 No. 14. 山城國愛宕郡鳥部寺丈六彌勒菩薩



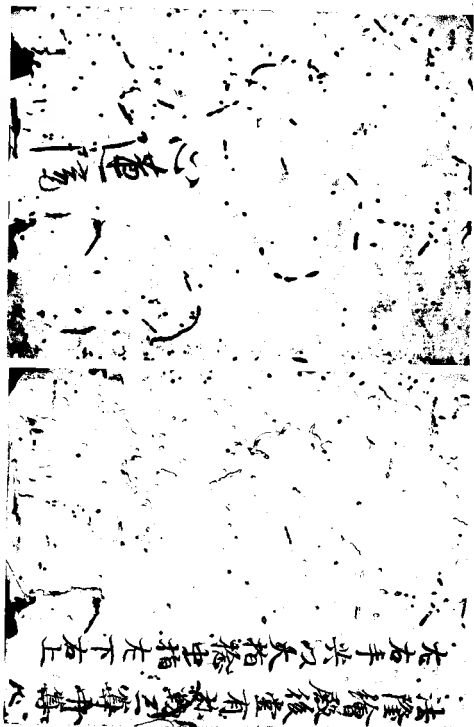
四天王寺塔中心柱北面第三層  
 中四律東導師南人如北勢勢此至專  
 周宗以夫是量若服上統那唯若他麻  
 以衣押左  
 件塔八維受續及四律者太子之御  
 後面以何者臂散練中有行基并  
 觀勒亦像外壇出西柱繪以舊

圖版 No. 15. 四天王寺塔中心柱北面第三層





圖像 No. 17. 並畫彌勒菩薩







# 彌勒菩薩像集

一	彌勒菩薩 (兩卷軌).....	三
二	彌勒菩薩 (兩卷軌).....	四
三	彌勒菩薩 (兩卷軌).....	四
四	彌勒菩薩 (附藏軌).....	四
五	彌勒菩薩 (補陀洛海會曼荼羅圖).....	五
六	彌勒菩薩 (十六尊軌).....	五
七	彌勒三尊 (多聞天祕軌).....	五
八	彌勒菩薩 (八大菩薩曼荼羅圖).....	六
九	彌勒菩薩 (孔雀明王軌).....	六
一〇	東山靈山寺四方淨土彌勒三尊.....	六
二	洛東清水寺塔北面彌勒菩薩.....	七
三	會坂關之東關寺五丈彌勒菩薩.....	七
三	山城國愛宕郡烏部寺丈六彌勒菩薩.....	七
四	元興寺金堂彌勒菩薩.....	八
五	四天王寺塔中心柱北面彌勒三尊.....	八
六	笠置彌勒菩薩.....	九
七	彌勒菩薩 (唐本).....	九

許朝吾履後集

西來北古 吾履後集 程令史說於金微有建令成武平池  
故先觀王師廢吾履足尉厥大三昧神像才日拜賀  
使獲利三時三弄地土名生三昧神像  
即云歲四弟一已如照卦別檢金宜蓋後漢赤黃也其  
首戴王仲伯七寶冠程 謹於丘敬天夜授訓銘亮元  
年庚戌歲自帶故袋寄於大園明中盡大自寶蓮花  
於蓮華上結迦致生悉收念說

三十辟各執寶蓮華上清軌平作

左一蓮上清泉路 石一金年所成壇柏  
左二蓮上清泉路 石一金年所成壇柏  
左三蓮上清泉路 石一金年所成壇柏  
左四蓮上清泉路 石一金年所成壇柏  
左五蓮上清泉路 石一金年所成壇柏  
左六蓮上清泉路 石一金年所成壇柏  
左七蓮上清泉路 石一金年所成壇柏  
左八蓮上清泉路 石一金年所成壇柏  
左九蓮上清泉路 石一金年所成壇柏  
左十蓮上清泉路 石一金年所成壇柏

左立時寶時時 左立蓮上清泉路

左一蓮上清泉路

石一金年所成壇柏

三十辟各執寶蓮華上清軌平作

念說

許於大園明中盡大自寶蓮華於蓮花上結迦致生悉收  
即云歲四弟一已如照卦別檢金宜蓋後漢赤黃也其  
首戴王仲伯七寶冠程 謹於丘敬天夜授訓銘亮元  
年庚戌歲自帶故袋寄於大園明中盡大自寶蓮花  
於蓮華上結迦致生悉收念說









洛東清水寺塔北面彌勒菩薩像



林松俊



山城因定名跡馬井寺之

成仁年

堅勝の成高乃仰の寺更邊り自件年干成和子

今奉出立

治正二年八月九日建立

相成之



同寺之弥勒像同之也

世通初件年亡會以仰之更

左之盤右腕上金件不存 大和國金寺跡院和子跡

世通件跡法中に見生相如左之件所觀

右之盤左上

鑿之入此跡物三件以左之盤右腕上金件不存

五年

依宗大寺跡院已西外傳年取

五十四年庚午六月十八日

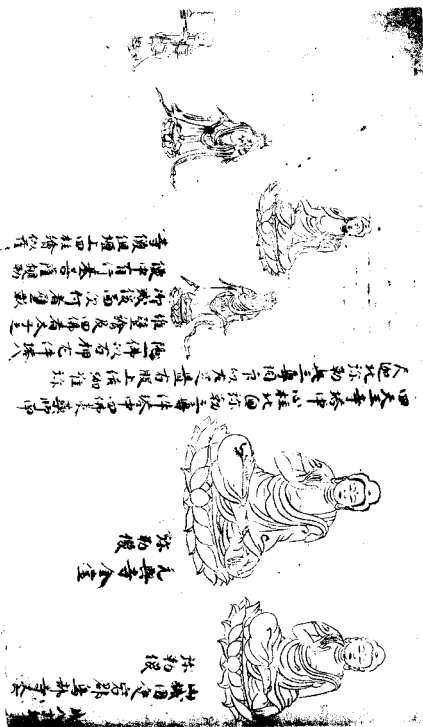
自右科元年庚辰三年戊子

西所法陀比法影



寶塔寺置四傳東之寺跡中更

鑑延王嘉祥元年戊二月吉始林



圖像 No. 13, 山城國愛宕郡島部寺丈六觀音菩薩坐像

圖像 No. 14, 元興寺金堂彌勒菩薩坐像

圖像 No. 15, 西天王寺塔中心柱北面觀音三尊坐像



正統九年壬午月廿六日 龜谷先生書於...

今欲 厚本  
中元平宿唐欲用寺之款  
石手取直尾  
付本在脉定房

望量外物後



# 五大虛空藏圖像

- 一 五大虛空藏（赤色）……………三
- 二 五大虛空藏（黃色）……………三
- 三 五大虛空藏（白色）……………四
- 四 五大虛空藏（青色）……………五
- 五 五大虛空藏（黑紫色）……………六



圖像 No. 1. 五大虚空藏(赤色)



圖像 No. 2, 五大虚空藏(黃色)



圖像 No. 3. 五大虚空藏(白色)



圖像 No. 4. 五大虚空藏(青色)

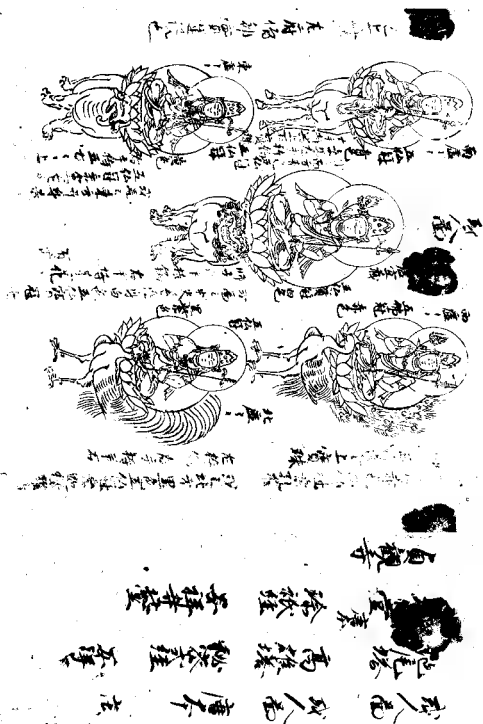


圖像 No. 5. 五大龍空藏(黑紫色)

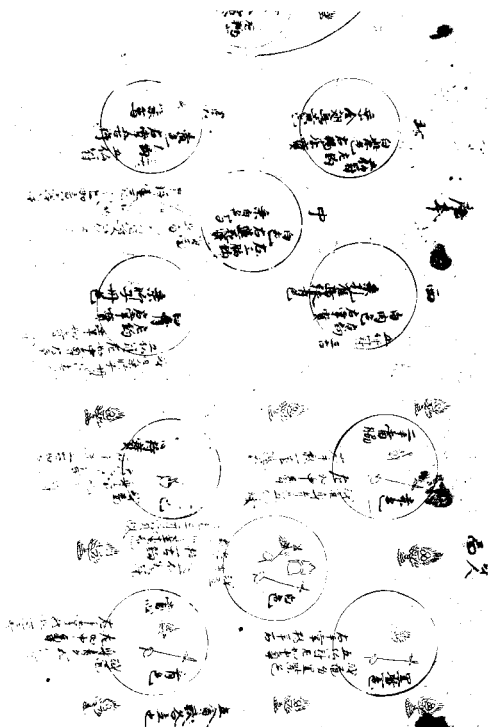


# 五大虛空藏座居諸圖像

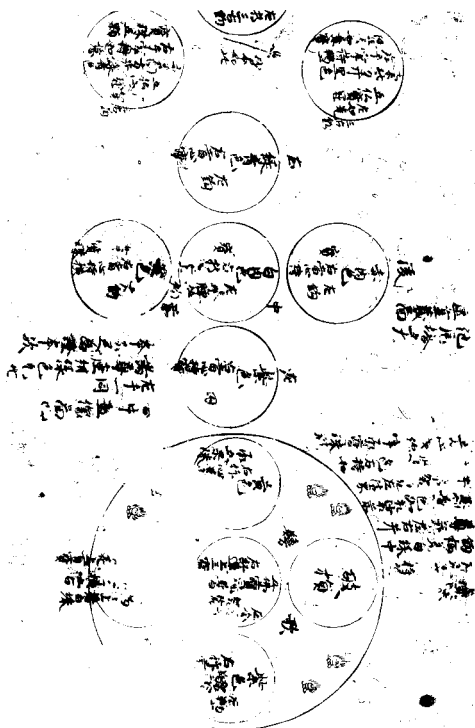
- 一 五大虛空藏座居圖（或人圖）……………三
- 二 五大虛空藏座居圖（或人圖）……………三
- 三 五大虛空藏座居圖（唐本）……………三
- 四 五大虛空藏座居圖（廣隆寺）……………四
- 五 五大虛空藏座居圖（池星塔）……………四
- 六 五大虛空藏座居圖（高維塔）……………五
- 七 五大虛空藏座居圖（秘密式經）……………五
- 八 五大虛空藏座居圖（安祥寺）……………六
- 九 五大虛空藏座居圖（多寶塔）……………六
- 〇 五大虛空藏座居圖（大日堂）……………六
- 一 五大虛空藏座居圖（施威經）……………七
- 二 五大虛空藏座居圖（北堂）……………七
- 三 五大虛空藏座居唐圖（安祥寺）……………八
- 四 五大虛空藏座居唐圖（安祥寺）……………八
- 五 五大虛空藏曼荼羅海……………九



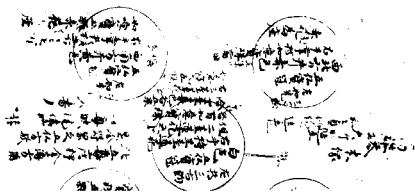
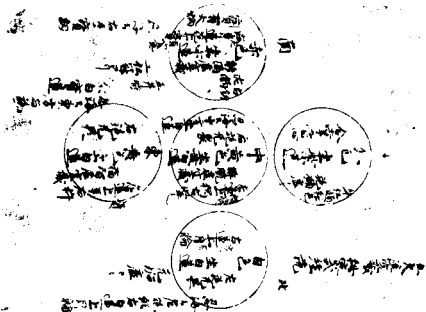
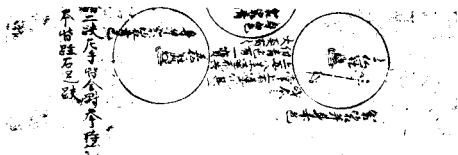
圖像 No. 1. 五大虚空藏座居諸圖像 (或入圖)



圖像 No. 2. 五大虚空藏所居諸(或人圖) 圖像 No. 3. 五大虚空藏所居諸(法本)

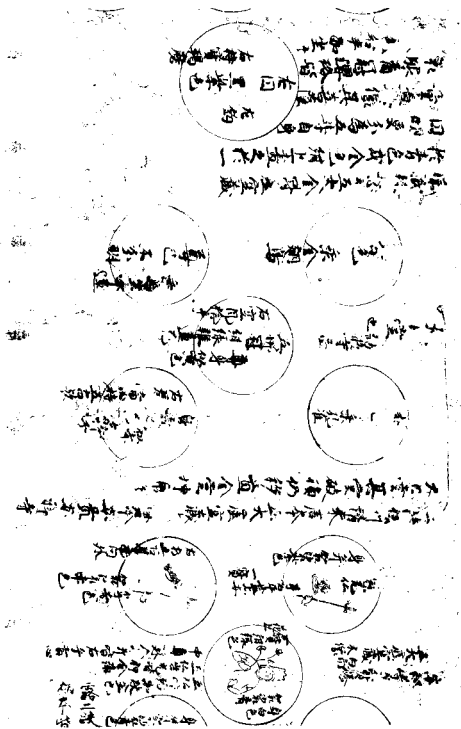


圖像 No. 4. 五大藏空藏所居諸圖像(廣隆寺) 圖像 No. 5. 五大藏空藏所居諸圖像(池尼塔)

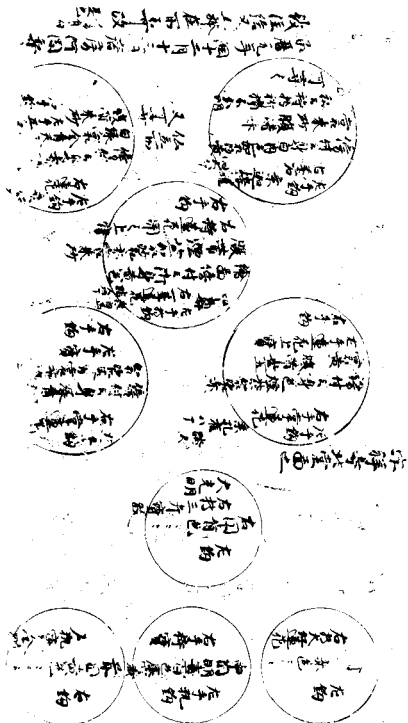


图像 No. 6. 五大虚空藏座后诸图像(高雄塔)

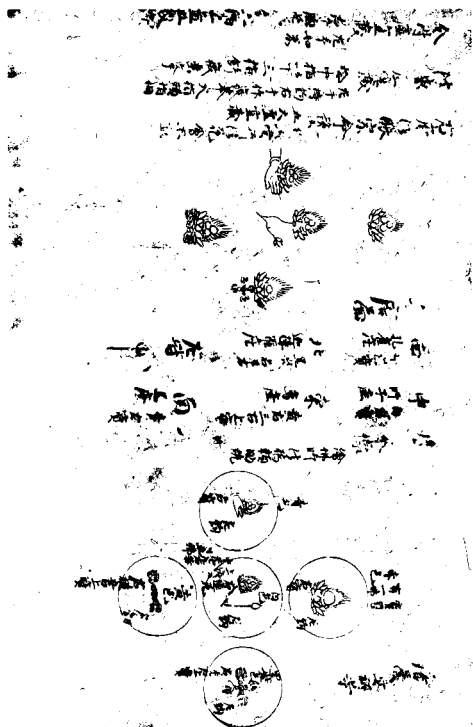
图像 No. 7. 五大虚空藏座后诸图像(秘密式经)



同像 No. 8. 五大虛空藏座居圖(安祥寺多寶塔)      同像 No. 9. 五大虛空藏座居圖(大日堂)



圖像 No. 10, 五大道空藏院居鋪圖(繪紙經) 圖像 No. 11, 五大道空藏院居鋪圖(安祥寺北堂)



圖像 No. 12, 五大虚空藏座居唐圖(安祥寺) 圖像 No. 13, 五大虚空藏座居唐圖(安祥寺)



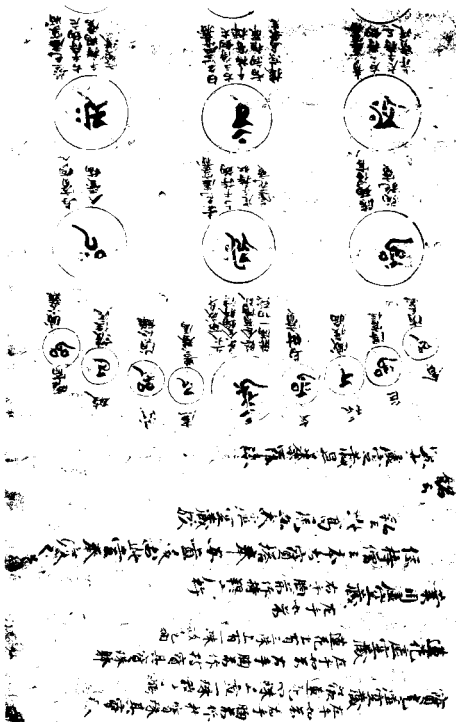


圖 14. 五大人空海寺的圖像

禁日記之宣統元年三月十五日丁未清月十五日

庚戌年正月十五日丁未清月十五日

五定空藏注之宣統元年正月十五日丁未清月十五日

宣統元年正月十五日丁未清月十五日

宣統元年正月十五日丁未清月十五日

宣統元年正月十五日丁未清月十五日

宣統元年正月十五日丁未清月十五日

宣統元年正月十五日丁未清月十五日

宣統元年正月十五日丁未清月十五日

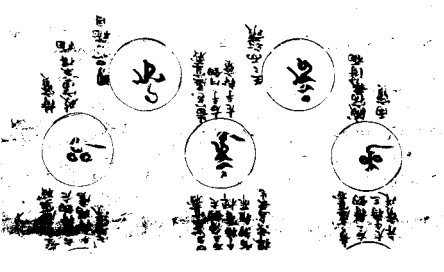
宣統元年正月十五日丁未清月十五日

宣統元年正月十五日丁未清月十五日

宣統元年正月十五日丁未清月十五日

宣統元年正月十五日丁未清月十五日

宣統元年正月十五日丁未清月十五日



藏藥如所取之亦內右手持寶鏡左執青蓮花，  
上而如意寶珠，週有大璫

西方純室字號或泥塑金瓶生塔蓮花寶冠  
莊嚴如前金宇高麗彩色紅利

此等惡字號或泥塑金瓶生塔蓮花寶冠莊嚴如前  
左手持如意寶珠，右手持寶鏡，彩色紅利

中央有鐵之寶冠時既度，寶冠莊嚴如前莊嚴  
日蓮也右手持如意寶珠，左手持寶鏡，彩色紅利

天盤生七星王形像以地盤內院八重蓋，天  
取像而用天王像如例，又末有市八南極二  
古時走時當時門六中院中八而，外院也

前二上座亦可看見

時辰

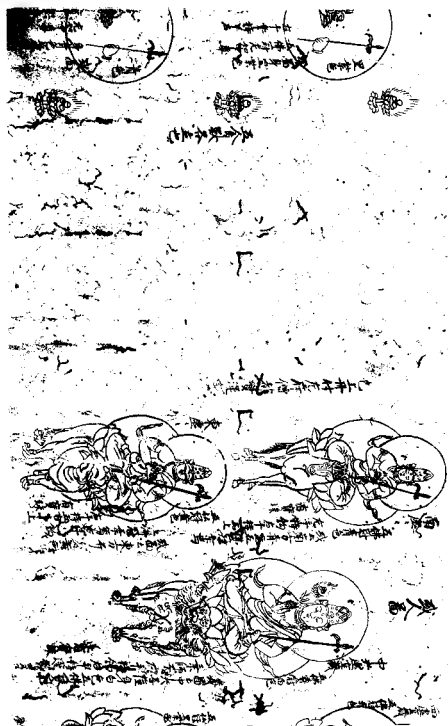
建之十年五月，日改寺名院園果自華  
本撰書畢



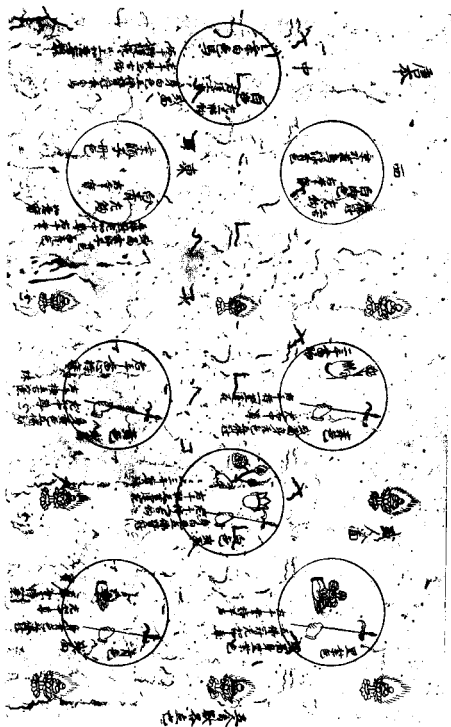
# 五大虛空藏樣

一	五大虛空藏 (或人圖).....三
二	五大虛空藏 (或人圖).....四
三	五大虛空藏 (唐本).....四
四	五大虛空藏 (廣隆寺).....五
五	五大虛空藏 (池尾塔).....五
六	五大虛空藏 (高雄塔).....六
七	五大虛空藏 (秘塔式經).....六
八	五大虛空藏 (安祥寺多寶塔).....七
九	五大虛空藏 (大日堂唐本).....八
〇	五大虛空藏 (樂藏經).....八
一	五大虛空藏 (安祥寺北堂).....九
二	五大虛空藏唐圖 (安祥寺).....一〇
三	五大虛空藏 (安祥寺木像).....一〇
四	五大虛空藏曼荼羅海.....一一



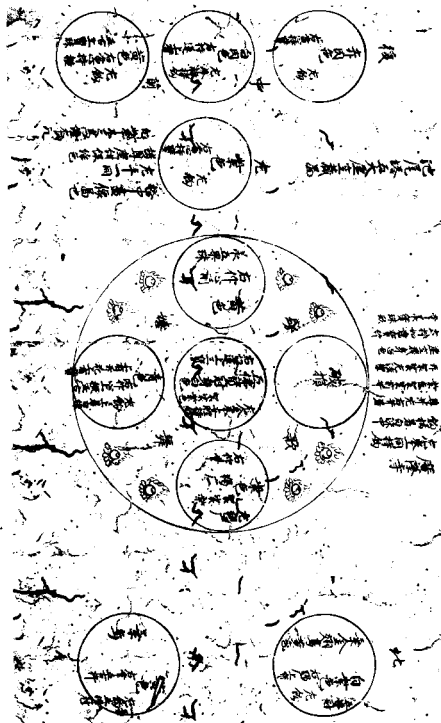


圖像 No. 1, 五大陸空藏(或人圖)

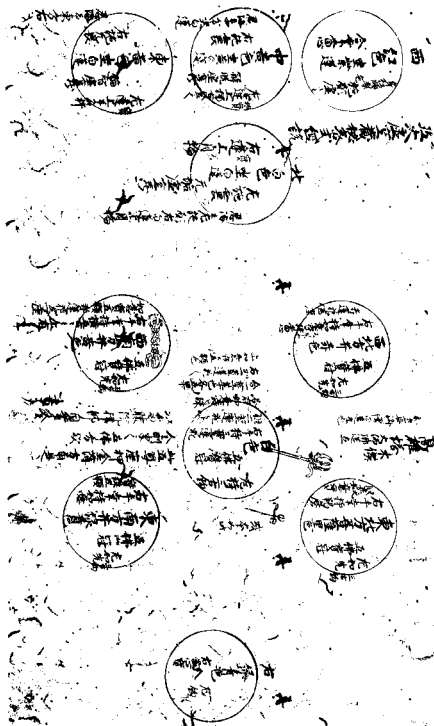


図像 No. 2. 五大虚空藏(成人間) 図像 No. 3. 五大虚空藏(唐本)

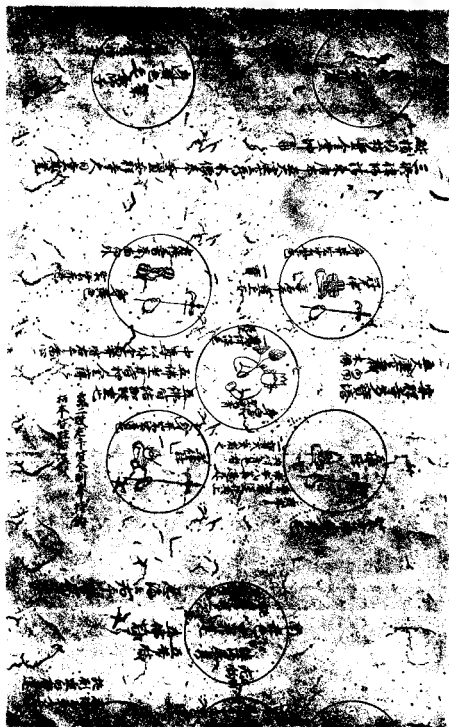




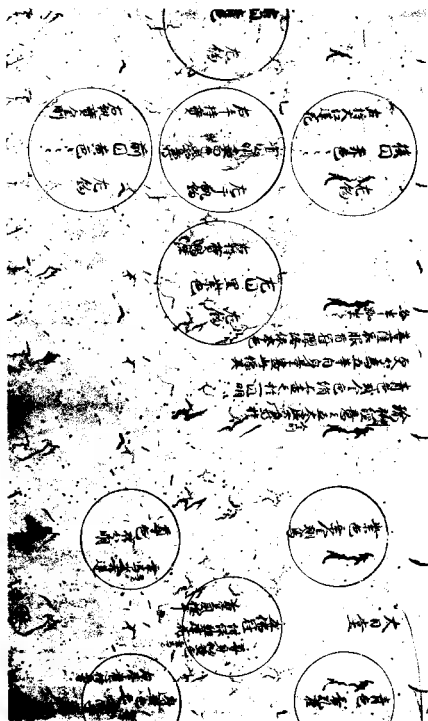
圖像 No. 4. 五大虛空藏(廣隆寺)      圖像 No. 5. 五大虛空藏(池尾塔)



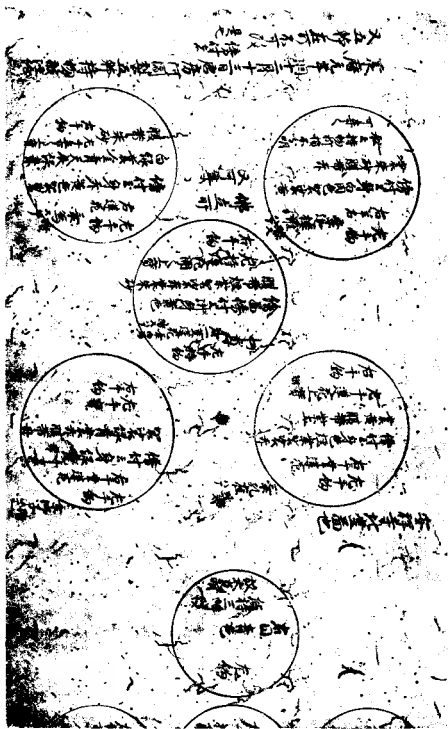
圖像 No. 6. 五大處空藏(高雄塔) 圖像 No. 7. 五大處空藏(祕密式釋)



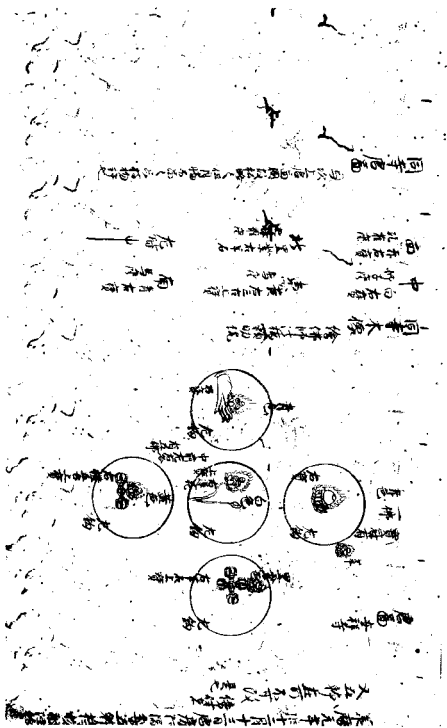
圖像 No. 8. 五十大虛空藏(安祥寺多寶塔)



圖像 No. 9. 五大虚空藏(大日堂唐本) 圖像 No. 10. 五大虚空藏(倫敦經)



圖像 No. 11. 五大虛空藏(安祥寺北堂)



圖像 No. 12. 五大虚空藏唐圖(安祥寺)

圖像 No. 13. 五大虛空藏(安祥寺木像)



圖像 №. 14, 五大虛空撒曼茶羅海





此乃金章宗手書也(似收)

此書題字多成爲疏屋簷上之連花窗格，其  
引左半枝字樣右手持書連花，右半枝字樣。

中央商銀子變成銅脫單，寶鈔在兩旁空着，白邊花右三就九幾九十得章元，右楊估杆數。

以天監上盡七早王叔修 次北盤院院之東之大盤  
四角四天王像次別 次東方香八南地一面皆老美翁

次中院女病。欲外院女舍。金七慶。一

...and the

*Journal of Management Studies*, 19(6), 709-728.

18

德意志銀行

*Journal of Management Studies*, 19(6), 701-718.

宣統三年四月十日 德清陸軍主馬 王壽

女孺年八歲，兄弟同，時疫，皆亡。

[illegible]



諸文殊圖像

- |    |                                    |    |
|----|------------------------------------|----|
| 一  | 一 普文殊 (坐蓮).....                    | 二  |
| 二  | 一 普文殊 (坐須彌頂上蓮).....                | 三  |
| 三  | 普 賢 (坐蓮樂象).....                    | 四  |
| 四  | 普 賢 (坐蓮樂三象).....                   | 五  |
| 五  | 普賢延命菩薩 (坐一月輪中千蓮樂<br>三頭象、四方四天)..... | 六  |
| 六  | 普賢延命菩薩 (二十臂坐蓮樂三象).....             | 七  |
| 七  | 五字文殊 (坐圓座).....                    | 八  |
| 八  | 五字文殊 (坐蓮).....                     | 九  |
| 九  | 五字文殊 (坐蓮樂孔雀).....                  | 一〇 |
| 一〇 | 一 普文殊 (坐蓮樂孔雀).....                 | 一一 |
| 一一 | 一 普文殊 (坐蓮).....                    | 一二 |
| 一二 | 六字文殊三尊 (坐蓮).....                   | 一三 |
| 一三 | 六字文殊 (坐蓮樂五獅子).....                 | 一四 |
| 一四 | 五台山文殊 (坐蓮樂獅子、<br>普財等四侍者).....      | 一五 |
| 一五 | 耶輸多羅.....                          | 一六 |
| 一六 | 藥王菩薩.....                          | 一七 |
| 一七 | 馬鳴菩薩 (四臂樂馬).....                   | 一八 |
| 一八 | 馬鳴菩薩 (六臂樂馬、<br>普財一供養人).....        | 一九 |

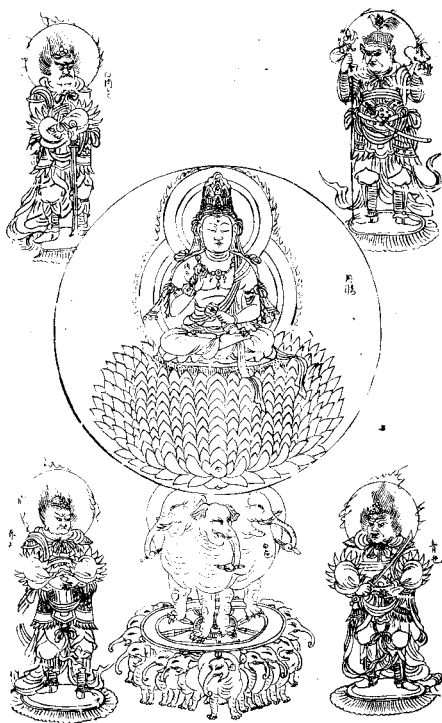




圖像 No. 2. 一 尊 文 殊







圖像 No. 5. 普賢延命菩薩





圖像 No. 6. 普賢延命菩薩



圖像 No. 7. 五字文殊



圖像 No. 8, 五 字 文 殊



圖像 No. 9, 五字文殊



一  
千



六文



圖像 No. 12. 六字文殊(三尊)



圖像 No. 13. 六字文殊





圖像 No. 14. 五台山文殊

蘇  
精  
八



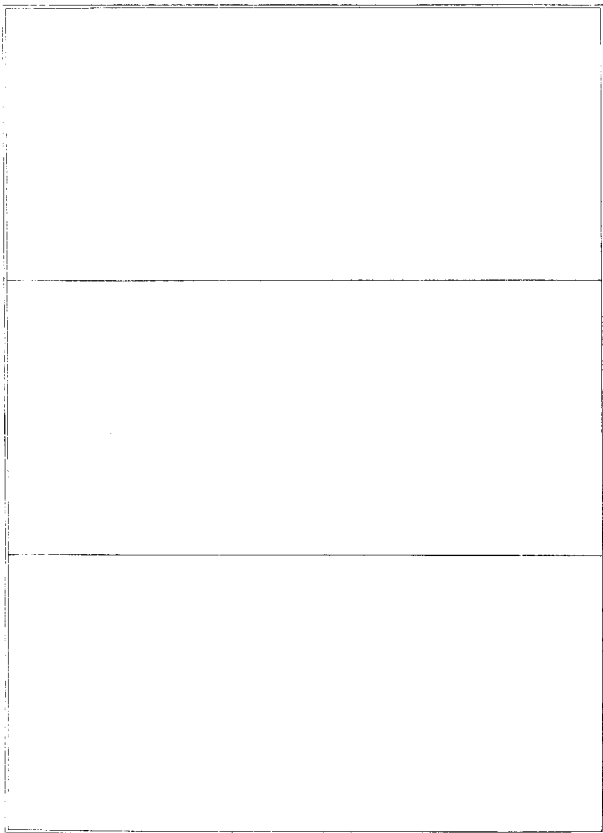


結文殊



圖像 No. 17. 馬 騎 普 薩





# 六地藏

一	六地藏(其一).....三
二	六地藏(其二).....三
三	六地藏(其三).....三
四	六地藏(其四).....三
五	六地藏(其五).....四
六	六地藏(其六).....四
	已上安祥寺本
七	六地藏(第一地蔵道).....五
八	六地藏(第二地蔵道).....五
九	六地藏(第三地蔵道).....六
〇	六地藏(第四地蔵道).....六
一	六地藏(第五地蔵道).....七
二	六地藏(第六地蔵道).....七
三	已上法三御子説



圖像 No.1. 六地藏(其一) 圖像 No.2: 六地藏(其二)





圖像 No. 3. 六地藏(其三) 圖像 No. 4. 六地藏(其四)



圖像 No. 5. 六地藏(其五)

圖像 No. 6. 六地藏(其六)



圖像 No. 7, 六地藏(第一地獄道) 圖像 No. 8, 六地藏(第二餓鬼道)



第三畜生道 白色 青白色  
左蓮花其上在輪臂右手有胸尊



第四修羅道 白色 或日肉色赤  
左手蓮花上在鈎右手施无畏

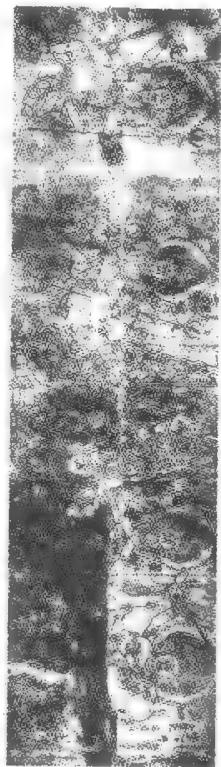


圖像 No. 11. 六地藏(第五人道) 圖像 No. 12. 六地藏(第六天道)



五大尊像（弘法大師御筆様）

一	五大尊	二
二	金剛夜叉	三
三	降三世	四
四	不動	五
五	軍荼利	六
六	大威德	七













連長  
寛文二年三月十日  
弘法大師御筆



大蔵院



五大尊圖像（甲本）

一	金剛樂叉	三
二	不動八大童子（題記云降三世）	三
三	降三世	四
四	軍荼利	五
五	大威德	六
六	不動尊	七
七	藥師捉使者	八
八	二童子（共）	九
九	童子（共二）	十
	制吒加	

五大尊圖像（乙本）

一	降三世？	二
二	不動	三
三	軍荼利	四
四	大威德	五
五	金剛夜叉？	六
六	尊名未詳明王像御頭	六

今時觀世音  
成道房物（白）





件三世  
此蓮房物在



圖像 No. 2. 不動八大弟子(題記云降三世)



圖像 No. 3. 降 三 世

軍荼利大威德  
成運坊抄在

軍荼利

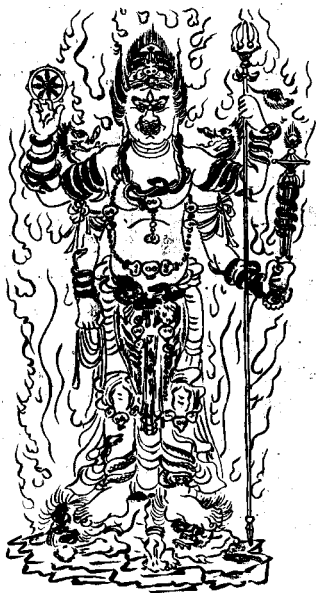






南無有者屬使者天者賜之也

要所証使者成道妙在（



二童子

於陽落

唐李維作首



圖像 No. 8. 二童子(於陽落)



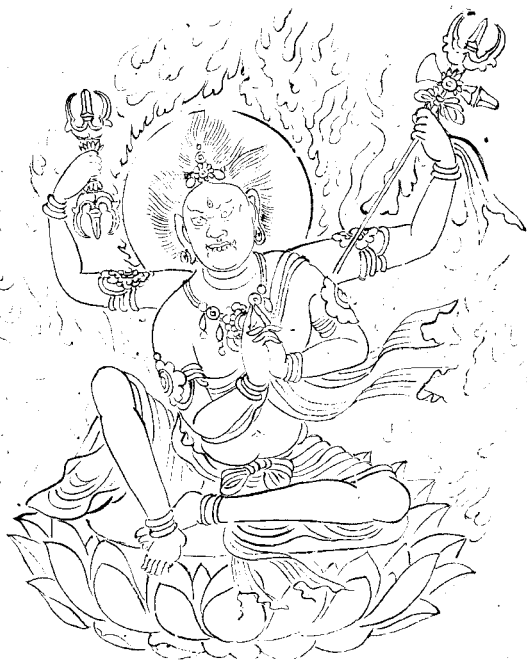
圖像 No. 9. 二童子(制吒加)













圖像 No. 5. 金剛夜叉?



五菩薩五忿怒像

- |   |         |   |
|---|---------|---|
| 一 | 軍荼利明王   | 二 |
| 二 | 文殊菩薩    | 三 |
| 三 | 大威德明王   | 四 |
| 四 | 摧一切魔菩薩  | 五 |
| 五 | 金剛夜叉明王  | 六 |
| 六 | 金剛波羅蜜菩薩 | 七 |
| 七 | 不動明王    | 八 |



圖像 No. 1. 軍荼利明王





圖像 No. 2. 文殊菩薩





圖 4. 極一切勝菩薩



圖像 No. 5. 金剛夜叉明王



圖像 No. 6. 金剛波羅蜜菩薩



遠方五年七月廿六日東寺假屋喜

良慶





八大明王圖像（宗實本）

- |   |        |    |
|---|--------|----|
| 一 | 步擲明王   | 二  |
| 二 | 大唎明王   | 三  |
| 三 | 大輪明王   | 四  |
| 四 | 馬頭明王   | 五  |
| 五 | 無能勝明王  | 六  |
| 六 | A 不動明王 | 七  |
| 六 | B 不動明王 | 八  |
| 七 | 大威德明王  | 九  |
| 八 | 降三世明王  | 一〇 |



步 嚧 明 王



大笑明王



大輪明王





开，摩訶  
 或云作  
 九手摩訶  
 右手







不動





大威德  
或二解  
左系  
右動



降三世

本東寺云

保正元年七月廿日以前唐院傳本令傳  
山座之仁豪為律師之時以忠豪供奉令  
傳本也其後三井寺貴人獻法橋圓而可被  
傳也彼忠豪筆跡故也

東寺新願記

文治四年十月廿九日於八峰慧上野園莊

法華一書

宗實



八大明王圖像（良慶本）

一	步	擲	明	王	.....	二
二	大	唵	明	王	.....	三
三	大	輪	明	王	.....	四
四	馬	頭	明	王	.....	五
五	無	能	勝	明	王	.....
六	不	動	明	王	.....	七
七	大	威	德	明	王	.....
八	降	三	世	明	王	.....
						九

步 櫛 羽 王

頂上五佛

中三尊より  
下三尊へ

久毛うこや  
丁午二五部  
白、サリヤリ



大嗔明王



大輪明王





馬頭明王

白  
入 頂上化佛



圖像 No. 4. 馬頭明王

元能勝明王



不動明王



大威德明王



圖像 No. 7. 大威德明王

降三世明王



保壽元年七月廿六以前唐院傳存  
令寫了山座至仁毫為律師之時  
以忠家供奉寺上寫序也其後三并  
寺覺猷法師洞色不被寫也彼忠家  
筆跡故也

東寺并朝記

良慶之

醍醐本不動明王圖像

- 一 不動明王(立盤石)……………二
- 二 圓尊筆不動明王(立蓮)……………三
- 三 圓心筆不動明王(其一)(立盤石)……………四
- 四 圓心筆不動明王(其二)(立盤石)……………五
- 五 二童子(延圓樣)……………六
- 六 不動明王三尊(立盤石)……………七
- 七 不動明王三尊(立像)……………八
- 八 良秀筆不動明王三尊(立盤石)……………九
- 九 玄朝筆不動御頭……………一〇
- 一〇 玄朝筆二童子……………一一
- 一一 不動御頭……………一二
- 一二 不動手并脚……………一三
- 一三 不動明王(坐盤石)……………一四
- 一四 不動明王三尊(立盤石)……………一五
- 一五 不動明王(立盤石)……………一六
- 一六 不動明王(立盤石)……………一七
- 一七 弘法大師御筆四臂不動(坐盤石)……………一八
- 一八 弘法大師御筆不動明王(立像)……………一九
- 一九 弘法大師御筆不動明王(坐盤石)……………二〇
- 二〇 (高麗曼荼羅之內)……………二一
- 二一 弘法大師御筆不動明王(立盤石)……………二二
- 二二 (仁王釋曼荼羅之內)……………二三



圖像 No.1. 不動明王





圖像 No. 2. 四尋筆不動明王



圖像 No. 3. 圓心筆不動明王(其一)

四



圖像 No. 4. 圓心筆不動明王(其二)



三童子  
延山阿耨  
振大寶  
依不負人  
圖

圖像 No.5, 二童子(延山阿耨)





圖像 No.7. 不動明王三尊



圖像 No. 8. 良秀筆不動明王三尊







止不動明王并二使者不馬子高麗筆



圖像 No. 11. 不動明王頭



圖像 No.12. 不動手并扇



不觀世音菩薩  
 此菩薩名不觀世音  
 佛名不觀世音  
 此菩薩名不觀世音  
 佛名不觀世音  
 此菩薩名不觀世音  
 佛名不觀世音  
 此菩薩名不觀世音  
 佛名不觀世音



醍醐寺院本馬一奉之不動明王三尊



圖像 No. 15. 不動明王



四臂不動

弘法大師御筆









高雄曼茶羅之内 明治三十四年



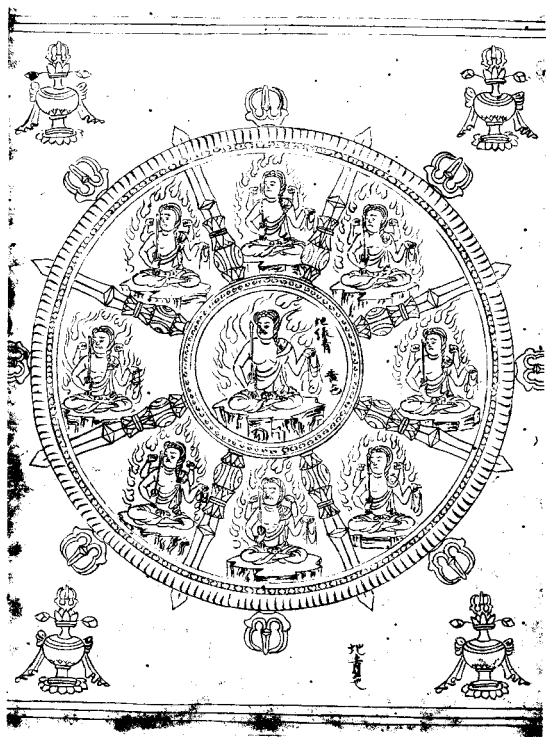


不動曼荼羅

- 一 不動曼荼羅（其一）……………三
- 二 不動曼荼羅（其二）……………三
- 三 不動曼荼羅（其三）……………四



圖像 No. 1. 不動曼荼羅 (其一)



圖像 No. 2. 不動曼荼羅(其二)



圖像 No. 3. 不動曼荼羅(其三)



# 東寺本不動明王圖像

一	不動明王 (二臂、坐盤石).....三
二	不動明王 (二臂、立蓮).....四
三	不動明王 (二臂、坐盤石).....五
四	不動明王 (二臂、立盤石).....七
五	不動明王 (四面四臂、四使者、坐蓮).....九
六	不動明王 (三面六臂、坐盤石).....一一
七	不動明王 (赤色四面六臂、坐蓮子).....一二
八	不動明王 (三面六臂六足、坐盤石).....一三
九	不動明王 (二臂立像、踏天并后).....一五
一〇	不動明王 (二臂立八輪金輪).....一六
一一	不動明王 (四面四臂四足、坐盤石).....一七
一二	不動明王 (六臂、坐盤石).....一八
一三	不動明王 (二臂、坐盤石).....一九
一四	八大童子 (其一) 惠光菩薩.....二一
一五	八大童子 (其二) 惠喜菩薩.....二二
一六	八大童子 (其三) 阿耨達菩薩.....二三
一七	八大童子 (其四) 指德菩薩.....二四
一八	八大童子 (其五) 烏俱婆誡.....二五
一九	八大童子 (其六) 清淨比丘.....二六
二〇	八大童子 (其七) 矜羯羅.....二七
二一	八大童子 (其八) 矜羯羅 (又樣).....二八
二二	八大童子 (其八) 制吒迦.....二九
二三	制吒迦 (又樣).....三〇
二四	八大童子.....三一

三

樂剛捉  
俱哩迦羅

三









圖像 No. 3. 不動明王(二臂坐像)

右以圖浮佛脚畫之嚴本馬之係十卷地理三時強  
 三卷恒氣身者赤直毛尤甚年發斜視童子狀  
 手執金剛杵及臂捧眼微赤望石山真怒通身  
 火焰右像前倍優舉一切牢架聚二處難明之  
 私准前右千金剛持左千棒持也亦青色不助特錄  
 平淨又有同本但右無此處三尊佛觀於密末塗土盡  
 應作青黑毛路右邊為作童子狀千標鑲縫  
 成或執持以眼睛色微赤脚砌光杵莖坐於盤  
 上上色亦黃者黃色衣服作獅子相論  
 私錄此處者凡使火性三昧者三悉恒六亦自身遍燒无  
 燄即是本尊自使火生三昧也又明火有言義二種也  
 回二種此回之火者一是因火三毒煩惱名之火  
 能燒諸眾生諸善現緣以二是外火能燒外眾  
 三義萬物出世間火者是大智火也如九十五種  
 外道住中事火乃在火大龍變名在大燒積衆  
 生不能燒燒衆物能動音火者能降伏大龍  
 制諸異道上至六更下至衆生皆自能燒諸煩  
 惱乃三并大智習氣亦燒一切眾生云明煩惱  
 黑闇障故又本尊真言司自在火生善也即  
 摩伽負履沙司是此者火住何字一切智門室  
 燒諸并廣大智者煩惱盡合盡元恒故名火生

三昧

右以大師所筆但所畫也



圖像 No. 4, 不動明王(二臂立像)

右依大師所著經所證也  
 今付文所證而本有二箇本不審二者三德二  
 頂上蓮花二者由目四者上下不若至五所證即  
 一者烏帶懸頸也且一、頸帶此以引各權末  
 於此托伏迴盡其先之三尊像者三尊權中動蓮元  
 起后伴素升二頂上蓮花者三尊此三法數者  
 是之大尊河間解云、法尊也、今案三尊者蓮  
 花即牛車故也諸云蓮花數也倒置者必以金剛者  
 依此證則三尊以蓮花為數也頂上蓮者、作  
 千草白蓮花也、事中有一尊佛頂如盧舍那所  
 在元摩當取意  
 或人雖云既云數數、涉者視音、天空奴婢以助疑  
 結疑頂也然、今明主現奴僕狀又然、云法數利不  
 下、蓮花故三卷徑、頂上權段末七并分、又  
 上尊可引末、法尊尊、又、法非蓮花託語

相受四名者、壽四年者權成四思、遂入四修、壽二年者  
 在二種生死不動、信云、量修佛守護、養負古百千、  
 屬論、形以堅住七寶山、七量修者、放生布施、利欲實  
 語、衆言、語、利、益、護之、頂有七結、莎、數者、以七量、法  
 一、抽亡、衆、令、住、門、于、本、言、即、是、果、二、戒、持、實、相、觀







右私面之  
 王卷被王經二、  
 成不動尊、以明王作妙眼童子相身非持翠色頂  
 戴冠日月兩河內佛六臂三面、各三面面散髮石面  
 黃色現忿怒相用口出舌如紅蓮葉左面白色以齒蜺  
 唇大忿怒相第二手持劍第三手持般若波第三千  
 持弓放赤色光生蓮花上書右三面波臣下有大寶  
 以念呼子能誦諸魔



圖像 No. 9. 不動明王 (三面六臂坐像)

赤色四面・靜不動



右私圖之大聖云勸明王守護國界法不立後次龍畫  
像法取白此或淨衣盡聖尊四面慈身色必日輪火  
發位手上六臂各執器杖右手持利劍左起索次右手  
持金剛箭左執寶弓次右手持金剛輪左手執金剛杵  
索金色師子王為坐左右以大童子使者侍之

又王...  
...  
...



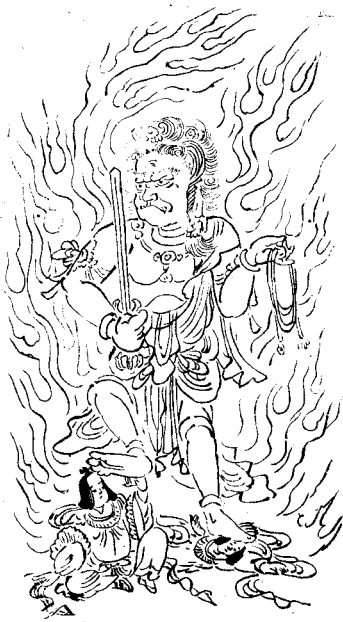
右松島之聖王動尊金滿御批金印

三面參身色如黑其耳是六十三之六十亦也頭上有  
七段金一綵左肩有手執劍左手執索以石積寶  
持左觀金輪六右持劍并左執劍杖平坐懸石  
左右來數息穴不使者侍立後四角有六明王  
不執蓋像凡自說我降天皇本尊一面忿怒身也  
如黑身之平足有頭上七輪高左肩有手執利劍  
左把索次右持寶持左觀金則高次右持劍并左  
執諸持杖及坐盤石左右持故具次使者侍後  
四角圍侍本直寸以有地發侍者一降三世尊二年  
茶金剛三六之尊復步祿權食用三廿之中取勝也  
右金剛藥王明王  
以上金剛有現佛號之但具其具體此物之平抄之  
而前有用金印在七尺二寸二寸二寸二寸二寸

佛像 No. 8. 不動明王(三) 六臂六足像



不動明王



右於高野岳之大日遍照尊經  
 三卷座哩三昧像去不動明王以  
 右足踏自在天頂半月中右足踏其化首半月上取心者徑疏月已

光

不動明王





在萬野傳之可昇龍所大日遍照尊優統諸衆千軍  
 四面四臂四足青色可畏



畫像 No. 11. 不動明王(四面四臂四足像)



圖像No.12. 不動明王(六臂坐像)



図像 No. 13. 不動明王(二臂坐像)



八大童子

一惠光并

秘要注云金剛迴光即惠光也一切故又云東方金剛部母并心門目光為哈所以書使者名惠光



八大童子秘要注云小忿怒老冠身白黃色右手持五智杵左手蓮上置日輪案案理珞種永嚴

二惠喜并

秘要住金剛迴光則迴惠為喜又云南方寶了  
即福德門所以出生使者名惠能以福智二嚴為喜故



同秘要三似慈面現微笑相也如紅蓮左右持摩尼左右持  
三叉鈎

秘要法云四蓮花了即智惠門能以出生使者名問稱

三河稱蓮并蓮花云眼素蓮花生他水而清淨之也



月梭雲云眼素光王色必真金頂戴金翅鳥左手執蓮花右手持錫  
鉢杆向衆離王

四指德并 秘要云有親屬了即精進門所以常使者今法了指  
前三了德即依精進能得果改一以名指德又已上四智

月秘要云形必夜叉色必黑面有三目者錫鑄左手持輪右手三叉針





五鳥俱遊誠

秘要全用摩羅密即并心行所以常現使者名鳥俱遊誠試天越越住世也



月秘要戴土鉈冠現暴惡相身如金色左手執縛口羅奉平

右手作

六清淨比丘

佛要之寶取罪密福德之行所以此比丘使者為清淨比丘  
守護法寶故也



月秘要三剃除首鬚與着袈裟袈裟於右肩結帶左手執文右手  
當心持五鉢行右肩現露打腰源亦露其面額非若若者如  
青蓮其口上牙於下頭常  
同必何以此比丘情為童子外各隨多分故名八大童子是總名也  
但此輪之以清淨比丘不可名童子

七輪羯羅

持要三法印明王是心行所以出現者七輪羯羅



月秘要云必十五歲童子着蓮冠身肉色二手合掌具二大  
指与頸指間橫一枯杵天衣袈裟微妙嚴飾又據羯羅  
又據陰陽若唐云錄作者云

又極輪羯洛 唐云餘作者云



或慶云盡輪羯洛童子者太胖以正身頭發週之不位  
 多勢發髮不懷省面目甚怒左持索右執行刀被衆  
 衆者視索足超右左臂亦懷是月第驅使也恭敬悲  
 者古同少之惠地當於此尊像前祈願通即就又侍者法云  
 此神作少童子數有各種士者名輪羯羅恭敬亦少者是又

八割叱迦 松雲云業經釋迦明王便心行明王生使者若割叱迦  
此息定也并方便現眼鉢破也



月秘要云必童子色如紅蓮頭結五鬚一結頂上三二中二結頭左  
頂後表五方五智右手傳曰羅右手執金剛棒順惡性之者  
破不着袈裟衣並以天衣繫其頸項  
又割叱迦 佛聚月云

改不着衣裳然以天衣繫其頸肩

又削也迎佛變身



或云若本削也迎難造畫像面目忿怒羅七結駁

突左肩頂有八葉蓮花色似白左右二手結縛回羅心

若單下當擬胸前恭敬聖者勢以左手持弓右次手

持箭令若空步衣裳身色青黑侍立盤石上使者以

一足削也迎難共語惡性者是福如人間惡性至下難

文難使常多迴失也

右及古傳本品之通可驗之

已上八童子早且予以給鞭心削也迎為二童子之使者信

以神作小童子形有兩種



顯示其義  
變化無窮  
此  
玄微像如佛三尊實野月華引依輪之

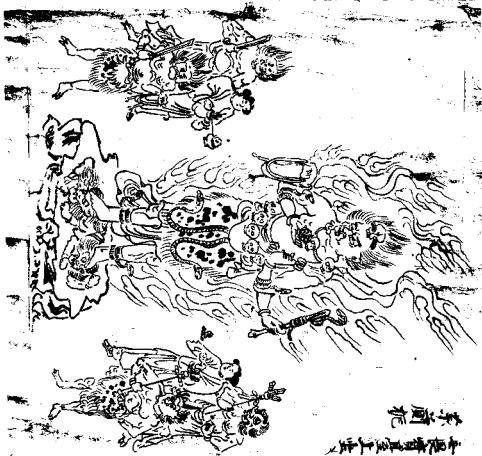
玄平像此像天者現有使佛法蓮花  
吉祥天母現身身口行人至所願事即成而本曾清  
佛三又  
或感其就蓮花吉祥天像天身瑞白赤色三臂並作  
檀環珞釧可謂天衣寶冠天女左手持如意珠右手挽

圖像 No. 24. 八大童子





朱蘭花



蘇東傳報云周柱未飲還持明者威嚴以次動茶  
厨抵此語使者候一身四无邊上平化三股无下手把  
棒若邊上平掌持一放下手把擒索其身色向大旋口  
物身上看眼亦如並有三眼頂戴游項設徑宜如大戲  
色徑大此膊各有倒裝號之頭相向尊儒照匱二大赤  
批二脚徑梳上徑大赤地前把棒上亦徑大赤地席位沿  
燒餅饅頭瑞像二脚下有二鬼其像左右二邊各常作  
青表童子戲膝兩角手執香爐其像左邊作二夜叉  
一赤一黃執刀七直徑左邊作二夜叉百重批騎身成狀  
並諸邑可怖畏中三並作夜叉手三其面表利





俱哩迦龍王

金剛針願生文王角旛統劍中  
 勢身金氣燦然如雲燒三昧燄起四足致玲之形皆張昭三  
 燄之威嚴之統地空迎王像法之威如地作雷雷電三  
 迎龍王自現其狀作人狀狀又座聖三昧耶壇之周圍有水  
 於壇上畫劍以台力聖龍王統式劍上龍取如地又台力  
 金下鐵肌之龍上畫劍以俱哩之龍壇文在劍上之使者法  
 金劍俱未迹壇者

仁德本文字有誤記  
 壬辰年正月廿一日  
 金角伸子願尊

唐有金銀已至六月餘日遂能捕了

唐有金銀  
 壬辰年正月廿一日

唐有金銀已至六月餘日遂能捕了

明王部圖像

(降三世・軍荼利・大威德・金剛夜叉)

一	降三世(三面八臂、踏天并天后)……………三
二	降三世(三面八臂、踏天并天后)……………三
三	降三世(三面八臂、坐蓮)……………四
四	降三世(三面八臂、坐蓮)……………五
五	降三世(二臂、坐盤石)……………六
六	降三世(二臂、坐盤石上蓮)……………七
七	降三世(四臂、兩足下蓮)……………八
八	降三世(二侍者三供養人、坐盤石)……………九
九	降三世(三面八臂、踏天并天后)……………一〇
一〇	降三世(三面八臂、踏天并天后)……………一一
一一	降三世(四面八臂、踏天并天后)……………一二
一二	降三世(四臂、住月輪)……………一三
一三	降三世(三面八臂、坐蓮)……………一四
一四	軍荼利(八臂、兩足下蓮)……………一五
一五	軍荼利(四面四臂、坐盤石上蓮)……………一六
一六	軍荼利(八臂、兩足下蓮)……………一七
一七	軍荼利(八臂、坐盤石上蓮)……………一八
一八	軍荼利(侍者五供養人、坐蓮)……………一九
一九	軍荼利(八臂、兩足下蓮)……………二〇
二〇	軍荼利(四面四臂、坐盤石)……………二一
二一	軍荼利(八臂、兩足下蓮)……………二二
二二	大威德(六面六臂六足、六眷屬)……………二三
二三	大威德(六面六臂六足、六眷屬)……………二四
二四	大威德(六面六臂六足、八眷屬)……………二五
二五	大威德(六面六臂六足)……………二六

一	大威德(六面二臂、坐蓮)……………二六
二	大威德(六面六臂六足、乘牛)……………二七
三	大威德(六面六臂六足、乘牛)……………二八
四	大威德(六面六臂六足、乘牛)……………二九
五	大威德(六面六臂六足、六眷屬)……………三〇
六	大威德(六面六臂六足、坐蓮)……………三一
七	金剛夜叉(坐石盤上蓮)……………三二
八	金剛夜叉(四臂、坐盤石蓮)……………三三
九	金剛夜叉(三面六臂、兩足下蓮)……………三四
一〇	金剛夜叉(四臂、坐蓮、八眷屬)……………三五



圖像 No. 1. 降三世明王(三面八臂像)



圖像 No. 2. 降三世明王(三而八臂像)



圖像 No. 3. 降三世明王(三面八臂坐像)





圖像 No. 4. 降三世明王(三面八臂坐像)



圖像 No. 6. 薩三世明王(二臂坐像)



佛像 No. 6. 降三世明王(二臂坐像)



圖像 No. 7. 降三世明王(四臂立像)



圖像 No. 8. 降三世明王(三面八臂坐像)



圖像 No. 9. 降三世明王(三面八臂像)



圖像 No. 10. 降三世明王(三面八臂像)



圖像 No. 11. 降三世明王(四面八臂像)







圖像 No. 13. 降三世明王(三面八臂坐像)



以て軍をわたりて大衆を  
 世に導く大菩薩なり  
 其の身は 丁三ノ子 集る所  
 其の心は 十度ノ心

圖像 No. 14. 軍荼利明王(八臂像)





圖像 No. 16. 軍荼利明王(八臂像)



圖像 No. 17. 軍荼利明王(八臂坐像)





圖像 No.19. 軍荼利明王(八臂像)



令執云







圖像 No. 22. 大威德明王(六面六臂六足像)



圖像 No. 23. 大威德明王(六面六臂六足像)



圖像 No. 24. 大威德明王(六面六臂六足像)





圖像 No. 26. 大威德明王(六面六臂六足像)



圖像 No. 27. 大威德明王(六面六臂六足像)







圖像 No. 29. 大威德明王(六面六臂六足像)



圖像 No. 30. 大威德明王(六面六臂六足像)

金剛曼荼羅門記  
大威神驗真氣下

先一羽屈膝脊

想作金剛不壞  
音无礼上

以觀羽作動轉

想作  
弄轉動

左右一羽共進退弄之

白外  
縮引上左肩方

共進三錢退還羽之

白羽  
二平加風威主羽已都束之  
若

未持  
上下

共進三退下上取指所出聲共手回威二羽應轉

共進五錢退還上視上下三反以手舉伸身量頂以大弄

厥所注以右三轉以結家度以下各指四下轉令真氣經

心長伸畏轉淨月

初六  
指上

金剛曼荼羅曼荼羅

勸文指在右左各  
次能為佛

三卷五眼六解





圖像 No. 31. 金剛夜叉明王(三目六臂像)



圖像 No. 32. 金剛波文明王(四臂像)



圖像 No. 33. 金剛夜叉明王(三臂六臂像)





烏樞瑟摩明王圖像

- 一 烏樞瑟摩明王（宇治御經藏本）……………三
- 二 烏樞瑟摩明王（侍者三臂像）……………四
- 三 烏樞瑟摩明王（唐本八臂像）……………五
- 四 烏樞瑟摩明王（侍者六臂像）……………六
- 五 烏樞瑟摩明王（或本六臂像）……………七
- 六 烏樞瑟摩明王（唐本四臂像）……………八
- 七 烏樞瑟摩明王（三井御經藏本、四臂像）……………九
- 八 烏樞瑟摩明王（或本四臂像）……………一
- 九 烏樞瑟摩明王（或本四臂像）……………二
- 〇 烏樞瑟摩明王（私四臂像）……………三
- 一 烏樞瑟摩明王（私四臂像）……………四
- 二 烏樞瑟摩明王（私四臂像）……………五
- 三 烏樞瑟摩明王（私四臂像）……………六
- 四 烏樞瑟摩明王（私四臂像）……………七
- 五 烏樞瑟摩明王（或本二臂像）……………八
- 六 烏樞瑟摩明王（或本二臂像）……………九
- 七 烏樞瑟摩明王（或本二臂像）……………〇
- 八 烏樞瑟摩明王（或本二臂像）……………一
- 九 烏樞瑟摩明王（或本二臂像）……………二
- 〇 烏樞瑟摩明王（或本二臂像）……………三

大威力烏鵲慈摩明王

經說也又云烏鵲慈摩明王

又号大威怒烏鵲慈摩

俄剌說也

又号烏鵲沙摩

陀羅尼集經說

又号烏鵲慈摩

大佛頂經說

已上梵号相遠

唐号不淨索金剛

陀羅尼集經說

又号穢積金剛

穢積金剛法說

又号火頭金剛

三藏經及大佛頂經說也

疏名不淨金剛

又号不壞金剛

穢積金剛法說也



寧治佛經藏本

圖像 No. 1. 烏桓瑟摩明王(寧治佛經藏本)



圖像 No. 2. 烏桓瑟摩明王(唐本八臂像)



圖像 No. 3. 烏樞瑟摩明王(唐本八臂像)

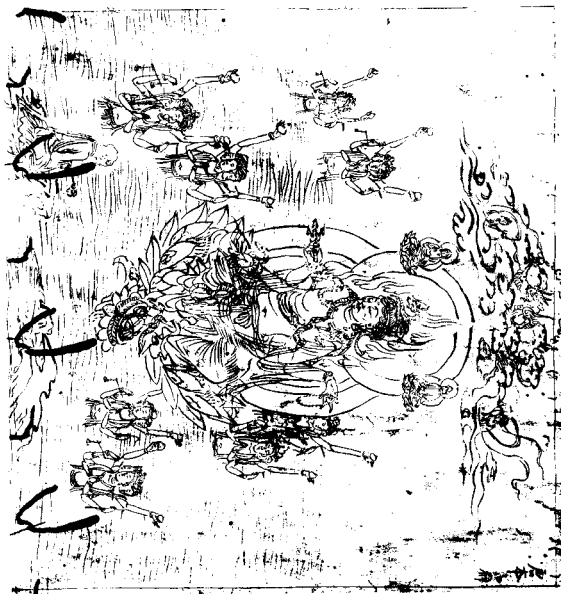


又有唐李改右第一銅持索已又有唐李改右第一銅持索已

圖像 No.4. 烏桓聖摩明王(唐本六臂像)



圖像 No. 5. 烏鵲慈摩明王(或本六臂像)



圖像 No. 6. 烏桓志摩明王(唐本四臂像)





以三井經藏本面之諸家傳本存用之

陀羅尼集經云畫位火頭金對其像身長一丈一

肘二尺三寸半陰其光坐位高大二赤精妙其像也

青面有四臂右手向勝把波折羅左手系其帶

盤屈狀如盤蛇右手舒下仰大指博頸指直下舒其

餘三指纔屈向上左手把數珠用中指頸而指其

珠面額端正極令殊妙畫云龍王絡左膊上其

二龍頭橋鈎仰視在於胸前尾在背上俱係赤

色又四龍王並位青色各紋一臂又止解之

背青色各紋脚肚其像頸上一白龍王紋盤踞

頸其像腰下高皮縛跨頭鬚火焰志皆從豎非

但頭上頂背二有火焰之光今事略之

法苑威儀形色經同之位齊記蓮花文散文也

右以布得本面之

三卷往上卷云令良工圖如未像生師子座手

住說法相以左手大指頭指相卷主手中名小三指右手

在外微其三指之如來九畫金臂手菩薩右手執持

左住聞法相至其五指微屈之如伴錄所次左畫太

力隱言菩薩明王大金磐蔽目赤通身靜黑也

攀跡端起而有四辟右上手執釵次下眉索

左上打車棒下三肘叉器仗上並灼起文見之

問打車棒者何哉 答私臺之以棒如打物貌



圖像 No. 8. 烏德陀摩明王(衣本西臂像)



圖像 No.9、烏桓瑟摩明王(或本四臂像)

私印

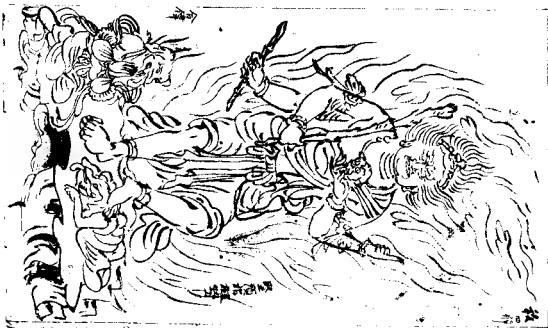


經下卷云四角時盡金對峙時起理中藏  
 金佛菩薩跌坐蓮花座兩肩及乳皆有始起  
 左手大指頭指把少袈裟餘三指微舉其掌向  
 外以手遮血脇右手揭掌佛右盡大力發聲舉  
 鹿明玉四臂右手持下牛瓶柳竿左手持鈴  
 指側手近頸微位其頸位乳佛舉下牛奔雲因亦  
 已吹右金對牛牛次右盡集明王持菩薩天阿婆  
 哩手軍奎利明玉次金對幼明次金對羅明兒  
 於盡珠明玉右座：聽於金對手依盡明王等  
 心：此半日之所謂計里香羅明玉羅羅尼管明玉  
 羅迦密伽明玉傳昌羅尼羅羅明玉持四羅普那  
 羅明玉跋羅一柳哩乃耶明玉持對鐵竿  
 者明玉佛在側自在菩薩次右波擊羅佛  
 次彼多羅及毗俱羅明兒菩薩左馬頭明王塔  
 次次左大吉塔天女次左摩訶羅次右佛佛蓋  
 諸大菩薩四門裏左右各盡一念德南邊為  
 一手執杆車橋北邊者一手杆一手柳竿東  
 門北北邊者金對一手掌栴檀之南邊何也  
 到雲支號南門東邊若欄分者若西邊若  
 密信廣波北門東邊訖跋羅沙西邊訖  
 鹿此門時是定金佛者外壇東角伊舍那天主次  
 伽那樓閣後東方日月天及提頭賴吒并高足  
 等次天以若行仙園遶南方闍羅王及林羅迄  
 西南院密者常持劍園遶西方龍王以諸龍  
 衆圍遶西北隅遍天王以風天衆圍遶北方諸  
 門天主以摩叉衆圍遶



上卷云以已而盡之踐墜怒狀四辟一千闍摩第  
 二手郛擎第三千人頭第四手杵衣需皮禪女  
 私云郛奴手棒坎徑初云持青難收言郛奴  
 二字雖引音同坎 又或杵云右郛奴手棒  
 揲徑雖千三難知左右但徑上下右持郛奴出  
 覆依之三為右也

上卷云肘量條上盡大威力明王在上臺上  
 膝下手以頭拍檄勢右上手持娜呼下手  
 杵像前畫一跏趺夜湖跪合臺在下踏一  
 跏那夜迦之璽布像以赤化飲食果種香供  
 卷  
 私去檄勢者胎藏計設尼中惠拳堅風火  
 柳北水甲如檄勢之傳中細中之向外



圖像 No. 12. 烏桓聖明王(私四臂像)



下卷盡大威力明王通身黑色如金燈形花目  
 琥珀色髮黃色上望受下脣狗牙上出衣帛  
 皮禪光為環路四辟无上手持杵下須索右上  
 手并屈堅頸指擬勢下手挽額眉間頻憾其  
 目可怖女



圖像 No. 13. 烏桓慈摩明王(私四尊像)



圖像 No.14. 烏桓瑟摩明王(或本二臂像)

上卷：盡大威為言本厚明至身亦已輕形獨  
 牙露出塞目如便眼長蹶營已上衛左持杆右鄭擊  
 復同上卷：盡大威為言本厚明至位大金海報  
 左持杆右鄭擊大現馬彈馬彈飛往  
 又同上卷：坐盤木趙各身左十持杆右執柳  
 擊盤取左視如三擊如三振各半

又上卷初：乃於壇心畫佛一左侍盡金對左書薩  
 時杆有諸使者及金衛鈞明此雅料驤作喜隆

次左為從擊六明王持青龍竿唐時私奉在唯安祥

夜及反阿憐耀銀半斜利帝母及皇太子皆為侍

從皆驤作明王於東北角大自在天王執三股叉也

東坊天宮人執金將杆束角肩隅大天執了處

時南方闍羅王執那竿西南寧高樹唐時私奉在利帝

執動品方水天執赤索西北方風天執排幡北方

四沙陣執伽那三面畫毗舍毗從東門內畫三怙叉

欲誰以新飛皆隔淨水及寶物五教等以徒也

又有同像

年祀

右像：前赤也畫以黑色為雲下卷：盡大威分  
 明玉通身黑色露出約牙璣黃上衛金懸竿身  
 炮架左持杆右鄭擊

時右鄭擊者何物或尋有或亦未尋



此本真臘失類他日可考之令修護

收箱底了

初月院

佛心寶藏 七十二

七十二

# 金剛童子圖像

- |   |                    |   |
|---|--------------------|---|
| 一 | 金剛童子（二臂像）          | 二 |
| 二 | 金剛童子（六臂像、二侍者）      | 三 |
| 三 | 金剛童子（二臂像、六侍者）      | 四 |
| 四 | 金剛童子（六臂像）          | 五 |
| 五 | 金剛童子（二臂像、二侍者、二供養天） | 六 |





圖像 No. 2. 金剛童子(六臂像)



圖像 No. 3. 金剛童子(二臂像)





圖像 No.4. 金剛童子(六臂像)



圖像 No. 5. 金剛童子(二臂像)

# 十六大護

一	法護藥叉	三
二	阿多波俱藥叉	三
三	毗首羯磨藥叉	三
四	滿賢藥叉	三
五	劫毗羅藥叉	三
六	護軍藥叉	三
七	肩目藥叉	三
八	珠賢藥叉	三
九	廣目藥叉	四
十	持明藥叉	四
十一	縛蘇枳龍王	四
十二	雙目天后	四
十三	蘇摩大龍王	五
十四	訶利帝母	五
十五	補沙毗摩龍王	五
十六	緊羅跋摩賀	五



圖像 No. 1. 法護

圖像 No. 2. 阿多跋俱

圖像 No. 3. 毗首羯磨

圖像 No. 4. 滿賢



圖像 No. 5. 劫毗羅藥叉 圖像 No. 6. 薩婆藥叉 圖像 No. 7. 清目藥叉 圖像 No. 8. 珠寶藥叉



圖像 No. 9. 廣目藥叉 圖像 No. 10. 持明藥叉 圖像 No. 11. 轉聖龍王 圖像 No. 12. 雙目天后



圖像 No. 13, 摩訶大龍王 圖像 No. 14, 訶利帝母 圖像 No. 15, 翳羅毘羅 圖像 No. 16, 翳羅毘羅





# 東寺本太元明王圖像

一	太元明王(四臂、御筆様)……………三
二	太元明王(六面八臂、小栗栖本様)……五
三	太元明王(四臂、小栗栖本様)……………八
四	太元明王(六面八臂、小栗栖本様)……九
五	元帥大悲……………一二
六	小栗栖秘曼荼羅……………一三
七	曼荼羅中尊……………一六
八	太元曼多聞天(四臂像)……………一七
九	茶羅中曼多聞天(六臂像)……………一八
一〇	太元曼多聞天(八臂像)……………一九
一一	茶羅中曼多聞天(十臂像)……………二〇
一二	太元曼多聞天(十臂像)……………二一
一三	茶羅中曼多聞天(十臂像)……………二二
一四	太元曼多聞天(十臂像)……………二三
一五	茶羅中曼多聞天(十臂像)……………二三
一六	太元曼多聞天(四臂像)……………二三
一七	茶羅中曼多聞天(二臂像)……………二三





御筆様

圖像 No.1. 太元明王(四臂像、御筆様)

[illegible]



圖像 No. 2. 太元明王(六面八臂像, 小乘稿本様)





小栗栖本様也

山傍又土金アヤ色其作例也



圖像 No. 2. 太元明王(四臂像, 小栗栖本様)





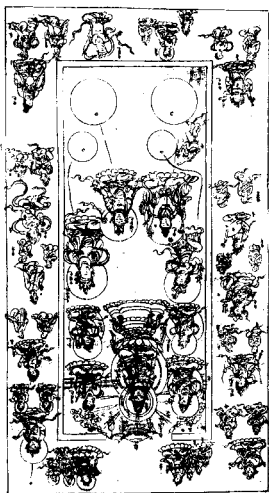
圖像 No. 4. 太元明王〔六面八臂像，小栗橋本様〕





元帥大悲 身白肉色  
八家錄云太元帥大悲身像一鋪

晚



太元明王圖





圖像 No. 5. 小栗栖純曼荼羅







此像曼荼羅  
依儀軌文



太元斗母中多聞天像  
四臂但踏二鬼赤因色  
左定持塔次定持弓

右惠捧次惠持箭  
頭光有四輪示定惠  
有四使者



多聞像左第一手持鈴次手持弓次手持索換物  
右第二手持鈴次手持箭次手持大刀左右有  
但座踏天女頭上有三符又二腋有二符

何天降俱者太元師也身赤肉色髮赤衣赤

袈裟赤



二面有骨石坐前有一鬼身下出云



明王像者太元師也身赤白色髮赤衣赤  
天衣青下白之白黃河外鬼身赤色  
袈裟赤



図像 No.11. 多聞天(十臂像)



此本也  
青髮赤衣赤  
袋以赤





圖像 No. 14. 多聞天(十臂像) 圖像 No. 15. 多聞天(四臂像)

已上智證大師御請來也







醍醐本太元明王圖像

一	太元明王(四臂、御筆樣)……………三
二	太元明王(六面八臂、小栗栖本樣)……三
三	太元明王(四臂、小栗栖本樣)……………五
四	太元明王(六面八臂、小栗栖本樣)……五
五	元帥大悲……………六
六	小栗栖秘曼荼羅……………七
七	曼荼羅中尊……………八
八	太元曼多聞天(四臂像)……………八
九	太元曼多聞天(六臂像)……………八
〇	太元曼多聞天(八臂像)……………八
一	太元曼多聞天(十臂像)……………八
二	太元曼多聞天(十臂像)……………九
三	太元曼多聞天(十臂像)……………九
四	太元曼多聞天(十臂像)……………九
五	太元曼多聞天(四臂像)……………九
六	太元曼多聞天(二臂像)……………九



圖像 No. 1、太元明王(四臂像，御筆様)

王母所使喚金鈴而進瓊瑤玉液神醪者于天  
王母所使喚金鈴而進瓊瑤玉液神醪者于天  
王母所使喚金鈴而進瓊瑤玉液神醪者于天  
王母所使喚金鈴而進瓊瑤玉液神醪者于天  
王母所使喚金鈴而進瓊瑤玉液神醪者于天  
王母所使喚金鈴而進瓊瑤玉液神醪者于天  
王母所使喚金鈴而進瓊瑤玉液神醪者于天  
王母所使喚金鈴而進瓊瑤玉液神醪者于天  
王母所使喚金鈴而進瓊瑤玉液神醪者于天  
王母所使喚金鈴而進瓊瑤玉液神醪者于天



圖像 No. 2. 太元明王(六面八臂像, 小栗柄本様)





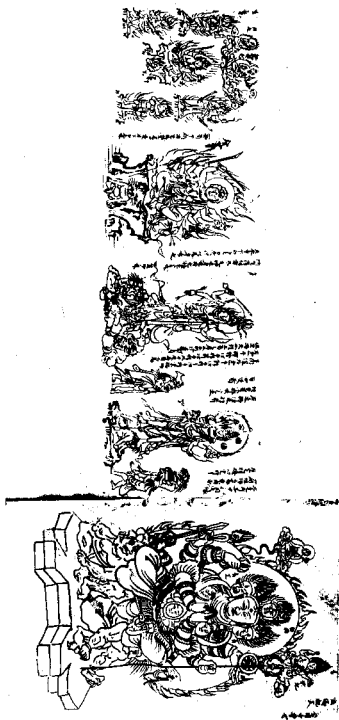
此圖在佛藏六〇五面卷目上清經下卷同  
有以是經中或令石主註法作本者其  
新舊或異上三平教左四一十於後空聖人其經法  
一節而之也

此圖在佛藏六〇五面卷目上清經下卷同

圖像 No. 3. 太元明王(四臂像, 小栗栖本樣) 圖像 No. 4. 太元明王(六面八臂像, 小栗栖本樣)







圖像 No.7. 曼荼羅中尊 圖像 No.8. 多頭天(四臂像) 圖像 No.9. 多頭天(六臂像)  
圖像 No.10. 多頭天(八臂像) 圖像 No.11. 多頭天(十臂像)





圖像 No. 12, 多聞天(十臂像)  
圖像 No. 15, 多聞天(四臂像)

圖像 No. 13, 多聞天(十臂像)  
圖像 No. 16, 多聞天(二臂像)

圖像 No. 14, 多聞天(十臂像)



白寶口抄 阿闍法

本書事

阿闍如來念誦法一卷

內題云念誦供養法 不空譯

大師 智證

阿闍佛國經二卷 或一卷

亦名阿闍佛刹諸菩薩學成出品經

元後漢桓帝建和元年丁三歲支婁迦

識譯所見錄第六不動如來同本異譯

禪林請來

口云付此秘抄作者在異義先覺洞院僧

正覺抄十二卷合進北院御室給時受此

心地所殘抄御室作續給故覺洞院御室

兩作云此義不甘心矣

又云實義者覺洞院僧正年來之間北院

御室依御受法從玄秘抄等諸尊法令書

出授進御室給時於當座口決等直被遊

彼大第裏了有御類聚十八卷其外異尊

護摩等卷僧正遂被書進之號野抄是也

私云彼野抄與書云全部十八箇卷併

爲醍醐座主僧正勝賢抄年之問度

書獻予新成類聚錄調卷補此內所

載尊法悉皆傳授僧正畢高野御室隨

補俊僧正原深秘難調以降崇代雖知

小野流爲習異說利於廣學者傳法之

法當座染其加異書等類甚多端他見

有疑更不可披露若背此命之門弟大

師證對今抄多是爲僧正手跡仍留置

許也若自授他人則除份沙門守覺

重於諸尊法有御不審之事等御尊覺洞

院僧正之時付彼口決令記之給書十二

卷野決抄是也彼遍智院僧正從御室賜

之拜見之次要所等少被書出之此云

野決抄二帖書也云

御室付彼野抄御口決等後重於御所令

御類聚之給以禪覺僧都爲筆者作此秘

抄給御點則仁和寺圓堂之星點也境園

模等覺洞院僧正奉土之時重委有御議

又裏書被注付之也其後僧正下給披覽

之處書之外珍重殆越根本仍被書留其

後以此御本爲末葉之傳受本也

又此秘抄之卷軸不一惟覺洞院僧正悉

不被書留之類更卷等有之又卷軸外法

等有之遍智院僧正被書加之訖又覺洞

院僧正所製名木抄被草木有塔東坊粗

開了秘抄北院御製作故號御抄仍此抄

或御抄或秘抄或白表紙云依之山下覺

濟僧正覺王院嚴濟法印其此抄外題

一卷第一一一卷第二等書之名字多之

故如此是古實樣也又御室野月抄百卷

許御製作之給一列以之御流三寶院爲

御傳受本也於秘抄覺洞院僧正申出爲

醍醐傳受本故歟

口云野抄第一卷阿彌陀釋迦樂師佛眼

也阿闍實生兩尊哉異尊卷北院御室今

秘抄御類聚之時東南西北之四智次第

故第一卷先阿闍法次寶生法次阿彌陀

名字事

梵號 不動金剛又滿願金剛又怖畏金

剛金剛頂經阿闍佛文

口云阿闍此翻不動謂阿不義亦無義

動義也故教王經此尊云無動佛也即不

動者法身常住惠命也亦東方發菩提心

方也即不動煩惱無明當體至不退堅固

之善提故云不動也疏云初發心時即成

正覺不動生死而至涅槃又即此義也凡

觸地印表不動之義是淨菩提心大地令

不動之義也此即降魔之上心衣不憚動

也云文泉房記云此法息災行之但是降

魔法也高野之金堂本佛阿闍也是爲降

魔令安置給也彼觸地印是降魔印也云

同記云阿闍佛依智界記之菩提心之地

令不動故阿闍佛不動佛此故我心不動思

行之謂菩提心之地不退轉令常住思也

世間之山河大地併我我心所變也故世

間之國土世界令安穩思可行此法種子

表金剛乘中道理三摩耶形五股金剛

即中道五智之圓鏡智第八識能持智品

故識所持因有善惡以金剛智破之

善持之令生長故名如來藏五股即五智

五智即五佛五佛即虛空遍法界無盡無

餘諸佛集成之號一切如來印者三摩耶

金剛印也二障無明種子令破金剛印也

羯磨印淨菩提心不令退轉印也心地押也高野山金堂大師令安置此佛給御意趣入定心意令不動給料法也此事祕中祕祕中祕云

私云文泉房義大旨今口傳不違歟爲才學藏之

教王經一云無始無終大寂阿暴怒生大安樂忍無量藥云同疏二云寂是阿闍

菩提惠性堅固寂靜故云寂也又以大菩提金剛堅固寂寂一切無始無明微細煩惱故以爲寂寂之中稱惠寂寂者是義

也文金界名阿闍佛祕藏云自性身阿闍佛文又大圓鏡智祕藏記云大圓鏡智者

謂自他三密無有邊勝名之大也具足不缺曰圓實智高懸萬像影現鏡之喻也

上人云法界大圓阿闍大圓云大理自性阿闍智自性也是金剛界成身會

阿闍成身九會內降三世會用二會阿闍大日故也此意密軌云於賴耶藏中殖金

剛界種子文此意也疏十三云阿賴耶藏也藏即菩提心也從彼胎藏而生也文善

提心論云當知法爾應住普賢大菩提心一切衆生本有薩埵文指此普賢心云即

身成佛亦名大圓鏡智也又勸觀行文云於內心中觀日月輪文是日輪表理胎藏

曼荼羅月輪表智是金界曼荼羅也衆生自心中兩部法然具足皆是本有普賢善

提心中暨此於日月輪即以月十六分明類十六大菩薩無畏禪要云三摩地者更

無別法直是一切衆生自性清淨心亦大圓鏡智文不空心要云大圓鏡智是則三十七尊皆是名普賢亦名具足大圓鏡智如此本有皆名自性清淨心也文又寶幢佛疏第四云東方觀寶幢如來如朝日初現白相輝之色寶幢是發菩提心義也譬如軍將統御大眾要得寶幢然後部分齊一能破敵國成大功名如來萬行亦復如是能以一切智願爲寶幢若提樹下降伏四魔軍衆故以爲名也色如朝日亦彼相應義也同九云如大將於高峯上建立寶幢佛見山川倚伏敵人情狀指麾百萬之衆動止一言一離合從心以戰必勝以攻必取若拙將暗事勢又失寶幢則人各異心敗不旋踵矣如是淨菩提心爲萬行寶幢亦復如是安固不動以健行三昧普觀十方悉見無量度門材性優秀所應用處與諸地通來障道因緣故能攝持無量功德普護一切衆生凡有所爲不可沮壞也文又云離因緣故名爲淨菩提心是成佛真因正法寶幢之種子文同十三云經云應發菩提心者謂生決定誓願一向志求一切智必當普度法界衆生此心猶如寶幢是衆行道首猶如種子足萬德根本若不發此心亦如未託歌羅則大悲胎藏何所養育文同二十云有菩提心相應之一切佛法也若不發心即離於妙因何有近行耶文又云寶幢佛是何義此是菩提心也如世軍中有幢是衆中

之首軍之標幟咸所瞻望進止之節莫不隨之猶如一切萬行皆由此菩提心也之爲標爲主故得名也文凡寶幢者菩提心義也故此尊以菩提心爲體八藏菩提心門佛也是初歡喜地位法華經云一名阿闍在歡喜國文此意也故行者修行此尊時本尊即行者自身即本尊故證得初歡喜也

問此尊東方發心門佛萬行之初也故成佛眞因釋之末至證菩提之果位故云初歡喜地歡喜者初地猶非極位何修行此尊乎答即身義云歡喜地者非顯教所云初地是則自家佛乘之初地文又大師云初者本初地者心地文是一切衆生法爾本有薩埵自性心地寶字本不生本初之地也善提心論法爾應住普賢大菩提心云此外全不明即身成佛之旨指此普賢菩提心爲本初地祕藏記云言菩薩地者是心也法文也佛也善薩也凡異餘乘如此文又云初地與十地無高下文又付發心修行菩提涅槃有橫豎二義豎經五智之位是從果向因之五點一身一智行也橫者此五點具足一佛故全依化佛不成佛疏第四云如東方寶幢佛乃是初發得菩提心義豈得作四方解耶此時例之則諸餘法門皆可意領故云實無時力乃至唯住實相也文祕藏記云釋施餓鬼五如來文妙色身如來者四智中尤近瑪大圓鏡智用萬德圓滿妙色具足也既退

除堅食可受殊勝妙果是故以妙色身如  
來居第二文是五智中成果位偏東方發  
心門也餘四佛顯妙果之上德大師既釋  
發心即到給何疑之乎又種子即種子胎  
藏大日以種子為種子猶深祕之故寶幢  
佛即大日、即寶幢佛也但法身有二  
種理法身智法身也今寶幢佛智法身  
顯云自性身阿闍佛是智自性身義也  
金剛界密記云問法身是言亡慮絕界  
也何有語言耶答約法身有二種即理法  
身智法身也言亡慮絕是理法身也說  
法教化是智法身也云故知金剛頂經  
所說大日又大日經所說大日共兩部自  
性身之阿闍所說也疏第十六云東方觀  
寶星佛亦名寶幢佛文

### 種子事

口云以義字為種子事略出經并金剛界  
軌等五佛種子義云如大日阿  
闍寶生阿彌陀不空成就佛種子也故以  
義字為阿闍經五也又瑜祇經四佛種子皆  
義字亦略出經五佛共說義字雖然阿闍  
佛金剛部主殊用義字也都部陀羅尼  
因云金剛部阿闍佛以義字空義又損  
減義也文仍此義字有摧破用祕藏記云  
義字以義字等四字成就○以斯呼  
字安置身口意觀五股金剛加持則能除  
滅無始以來三業罪障如金剛能摧破一  
切物文故為金剛部種子事可知之又云  
義字是為金剛部種子故即鼻聲字也鼻

亦主肺臟肺取方時西方五行時金也故  
取金字云金剛部也

問金西方何為東方證乎答所難然也  
今暫鼻肺五行時當金故取金字不云方  
也但兩界配東西有二義先常途胎藏界  
東曼荼羅金剛界西曼荼羅也此時胎藏  
云胞胎之藏義可知因故東方金界果故  
西方也祕密時西方胎藏界是蓮花胎藏  
蓮花者自性清淨義自性淨故攝諸功德  
即諸佛菩薩等皆自此自性本有清淨功  
德出生故云蓮華胎藏蓮花西方故云西  
曼荼羅金界東曼荼羅也東方之初也瑜  
祇經云本有金剛界是本有故可東方  
也依此義東方金剛部也可知又云義字  
有長短二敬愛時短聲男女和合等聲是  
敬愛也忿怒時長聲喻牛吠犬吠聲皆忿  
怒義也今金剛部故用忿怒長義也但昨  
有別義義共長聲義是短聲也今大第  
短義也雖然此義字宜長短兩種口傳也  
云義字者本有金剛性自性所生障能斷  
之智體也六大中以識大為總德三密中  
以意密為主理智不二中以為不二為本  
祇經是不二經也故十二品悉說義字是  
諸佛自性眾生根源也義字義云此呼以  
四字成一字所謂四字者阿訶汚摩阿法  
身義阿報身義汚應身義摩化身義舉此  
四種攝彼諸法無所不攝且以別相言以  
阿字門攝一切真如法界法性實際等理  
無所不攝以訶字門攝一切內外大小權

實顯密等教無所不攝以汚字門攝一切  
行三乘五乘等行無所不攝以摩字門攝

一切果法無所不攝理、盡持事、悉攝  
故名總持若以通相釋各攝理教行果  
無所不攝無所不盡如因陀羅宗一切義  
利皆成就○復次約此一字明三乘人因  
行果者○這那經金剛頂經等說菩薩人  
菩提心為因大悲為根方便為究竟今此  
呼字本體詞義是則一切如來善菩提心為  
因也下有三昧義是大悲為行義上有大  
空點是究竟大善菩提涅槃之果也○若  
廣就略攝末歸本則一切教義不過此三  
句東此三句以為一呼字廣而不亂略而  
不漏此則如來不思議法力然加持之所  
為也雖千經萬論亦不出此三句一字文  
此即顯密二教之因果法門四種五種之  
三密功用皆悉輪圓具足一義字也故自  
行化他功德速疾圓滿也三十卷教王經  
十三云一入息間妙法成文是義字入息  
也悉見義字數息觀等○瑜祇經云速轉  
自身方便同金剛身文大疏九云諸字  
恐怖彼聲所以重言之者一摧外障一摧  
內障後大外是煩惱障內是知障文  
又胎藏界用義字是發菩提種子也金  
輪軌云義字善菩提心種智之本源是一切  
字母十方三世佛所說一切法無非此字  
體體念即同稱一切如來法於眼觀此字  
即能成天眼餘四悉具足諸根例可知文  
疏十七云義字第一命者謂即以義字為

心故遍於一切自在而成。言此異字不異我。不異異字也。乃悉遍於一切情非情法。此諸法即以此異字而為第一命也。又大日經開題云。即此異字。大日尊。種子。智。也是經一部始。唯說此一字。義其義無遺。說少分耳。又大日經七云。轉異字而成。大日尊。凡異字。大日如來。種子也。故阿闍梨大日同體義可知。祕藏記云。遮那經阿字為毘盧。那種子。呼字為金剛薩埵種子。金剛頂經呼字為毘盧。那種子。阿字為金剛薩埵種子。金剛界儀軌如此。每會此二字相代。當知是互作主伴之義也。又字與字共此尊。子故兩部大日同一體義也。

三形事

口云。橫五股上。又立五股。本文見于略出經云。彼經云。蓮華座上。畫橫金剛杵形。於橫杵上有堅股折羅。此金剛印。又云。一切三昧。形可安橫五股上。此略出經意。五股杵通五佛之三形也。故不可限此一尊。大聖五股阿闍三形也。實生備五股上。安珠為三形。輪陀。五股上。安蓮花為三形。乃至大日安塔婆為三形。故今安。堅五股計為阿闍別三形也。凡五股者。理趣釋云。金剛加持者。表如來十寶。如十法界。十如來地。以成上下十峯。金剛大空智。文五重結。護云五股杵。五智也。中直者。此正義無方便故也。應必歸實故。曲也。上下同者。佛界來生界同具五智故。

上下同也。若具云者。於此杵具三十七尊也。智證金剛界瑜伽記云。一切如來皆從五股最中峰出一切諸佛。總在其中。是三昧耶。也。又大師雜問答云。五表五智如來。問。上稱智名。此云表佛身。其意如何。答。以體表。身以用名。佛智。問。以其表佛身者。杵端結是表。問。何相對有上下。答。非表佛身。來生身中。本為表。有如是之理。一體平等。上下同耳。又此等五股兩方。表佛界生界之五智。是諸佛內。之萬德。來生本有之性德。五智。兩部不二。佛界生界。一如心智也。是一宗之總體。密數之極。只在此杵。橫五股。佛界生界。橫平等之理。金剛胎。萬德。圓之。也。世出世之諸法。皆悉從此位緣起。出生也。堅五股上。佛界五智。下生界五智。故生佛二界。即重。物示云。堅差別也。十住心論云。十乘。差。別。淺。深。觀。用。智。平。等。一。味。文。釋。論。云。平。等。一。皆。無。有。別。異。各。盡。諸。法。故。然。終。不。離。一。門。之。體。上。備。衆。德。橫。平。等。皆。妙。也。也。示。一。門。之。相。者。應。相。是。堅。差。別。也。故。法。皆。平。等。也。皆。差。別。也。則。自。利。堅。則。利。他。之。深。可。思。之。又。口。云。付。橫。則。自。利。堅。則。利。他。有。灌。頂。印。明。寶。僧。正。云。橫。印。二。手。外。再。平。覆。膝。上。堅。印。外。五。股。印。也。義。可。知。矣。又。行。遍。正。云。堅。外。五。股。印。名。謂。五。股。印。謂。左。手。佛。界。也。右。手。相。合。成。五。股。是。凡。聖。一。體。平。等。

故云。橫五股也。堅五股印。外。再。平。覆。左右五指共各一。顯上。故云。堅五股印也。此義實。賢。僧。正。翻。翻。義。有。異。此。無。左。右。不可。授。流。大。事。也。云。私。云。此。法。傳。受。之。次。密。之。故。記。加。之。後。可。注。別。紙。之。者。也。云。又。口。云。此。尊。三。形。橫。五。股。上。又。立。五。股。者。即。本。尊。形。體。也。橫。五。股。本。尊。身。結。跏。坐。表。左。右。五。指。堅。五。股。本。尊。身。五。體。也。五。智。五。佛。即。五。大。故。以。五。股。表。五。大。各。具。五。智。際。智。圓。觀。力。故。實。無。異。此。意。也。又。云。五。股。即。智。杵。故。金。剛。部。也。故。種。子。三。形。形。同。義。也。本。儀。軌。云。行。者。於。心。中。○。圓。厚。月。輪。草。住。令。分。明。上。想。金。剛。杵。金。色。五。智。形。光。明。遍。流。出。照。無。邊。界。際。宮。想。觸。地。印。文。御。請。來。表。云。受。持。頂。願。福。利。無。極。外。以。摧。滅。障。內。以。調。伏。煩。惱。文。亦。種。子。三。形。形。有。二。義。一。種。子。三。形。變。成。三。形。三。形。變。成。三。形。二。種。子。三。形。形。變。成。三。形。無。前。後。以。此。後。義。為。祕。也。又。依。胎。藏。者。以。幢。為。三。形。出。真。觀。寺。布。曼。茶。羅。云。經。事。大。確。委。細。也。其。文。引。手。七。集。以。光。為。三。道。場。事。口。云。妙。高。山。者。是。須。彌。山。也。諸。山。中。最。妙。善。也。十。界。中。界。最。妙。故。以。為。座。頂。者。最。勝。義。也。又。妙。高。山。者。行。者。心。法。表。不。動。故。諸。尊。道。場。觀。或。心。上。觀。之。或。境。上。

觀之。壇上者心於外其中建立道場。是心  
漫荼羅壇也。全非異所諸經說會說處者  
皆是衆生心所也。石山云。水輪是道場云  
則是此意也。又云。妙高山頂者法身義也。  
祕藏記須彌山是法身七金山者七覺支  
也是法身一切法文根原。故曰須彌山爲  
座文諸尊是爲座故。一切佛菩薩等皆則  
從法身出現其源依法身故爲座也。  
問不空心要云。中方毗盧遮那報身圓滿  
於須彌頂寶臺樓閣大摩尼殿。於金剛座  
成等正覺。又此報身自受用報身百諸時  
前成就佛。他受用報身。如何。答。報身  
者理智不二體也。非顯致報身。石山四卷  
次第云。問眞言宗壇上所尊大日如來者  
法報化身中是何身耶。答。法身報身雖冥  
合。而偏壇可云報身如來。雖名報身。猶不  
離法身。自性法身理上所證得之報故。  
問。自他受用二身中何耶。答。是正自受  
用身。即理智和合身也。

問。若爾者其自他受用差別相如何。答。  
可見經文。心地觀經。所說自受用身者。是眞  
言宗壇上所請召也。自性身者是壇上所  
觀念也。觀種子字令生者。理法身此云自  
性身也。云已上。  
問。所居須彌山頂法身能居佛報身。尤有  
其謂。兩文難非。石山義請召身自受用所  
觀身理法身也。若爾者能居所居共法身  
歟。如何。答。所問義付依正論之。石山義  
付作觀召請等。判法報也。大悲成就儀軌

云。即作寶車印迎聖者。前所觀者。名爲法  
身相。今所謂者。名爲惠身。屬彼惠身未就  
法體。山是義故。先觀後請文。是惠身者。報  
身也。義理分明也。相承口傳壇上繪木等  
像。應身種子三形尊形。觀作佛法身。百諸  
佛報身也。謂依四攝印明法界宮前成就  
之報身。召入壇上。安置繪木等應身。成報  
應不二身。亦冥會作觀法身。成三身即一  
佛體。行者入我。人時。牛佛不二。因果。不  
體。成即身成佛。是三身成道。一時唱之。不  
起于座。現證佛菩薩。只在斯一座之行法  
也。

問。宮殿樓閣者如何觀之乎。答。可觀五  
峯八柱寶宮殿也。其表示兩部不二法性  
塔婆也。  
師子座事  
師子座者。勇健菩提心義也。見大疏。又獨  
步無畏義也。此尊金剛部主。放用師子座  
也。金剛頂經義決云。於吽字輪中種子所  
變爲座者。其象力用於諸獸力用無能過  
金剛部王。共據其上。表以堅力無罪礙故。  
文此尊五智列座時乘象也。  
咒字成大月輪事  
口云。炳現阿字紫光色。故月輪體也。  
咒字成蓮華臺事  
口云。表自性清淨。故蓮花種子用。咒字也。  
問。咒字阿彌陀如來種子字也。何諸佛座  
蓮花種子用。咒字乎。答。阿彌陀儀軌以  
咒字直觀極樂世界。是以正報種子法身

即說依報。理趣經說一切群生種子。色心  
故。行者心上建立道場。氣平心即。咒字同  
體。故。心種子道場依報正報無礙字也。  
尊形事  
祕藏記云。阿闍如來黃金色。左手拳。右手  
垂。文十卷抄云。形像黃金色。左手安脇。右  
手垂。觸地。黃金色。增益也。東方即增益  
方也。是。咒字地大色淨。菩提心如意寶。故  
也。攝眞實經云。第二結破魔印。即右手舒  
五指。以按於地。左手五指。執持衣角。入東  
方。界。以及九方。無量世界諸佛菩薩。一  
切衆生。山川草木。咸皆青色。文依此文。三  
部抄等。青色。著五智寶冠。正受三昧。住。  
此尊東方尊也。東方五行時木也。木青色  
存。表示故觀青色也。胎藏界祕藏記云。東  
方寶幢如來。赤白色。是。日。儀軌云。日。顯色  
文。疏四云。東方觀寶幢如來。如朝日。初現  
赤白相輝之色。文同。三云。黃色是金剛身  
文。十卷抄云。形像白黃色。右手與願。左手  
當心。執袈裟角。坐寶蓮花云。

取袈裟二角事  
口云。取袈裟二角者。調威儀時行儀也。是  
降魔相。威儀能直時。一切魔障不得其便  
故也。又云。出二角是表師子耳。師子獸王  
故。此佛內證不二智初分。成智一分是智  
最頂也。故表師子所座。師子亦同義歟。又  
云。袈裟是解脫。幢相標識也。寶幢佛尤有  
便。取二角即空有二義。當請下者。此空有

二執。誦真字中道義也。又自證化他二共表在真字淨菩提心也。又本始兩覺表在真字也。祕藏記云。佛知衆生身中本來自性理與佛等無差別而衆生不知已。本來有本始兩覺文表此義也。故自性化他因果生佛皆不二圓滿至極之如來也。大圓鏡智名號可思之也。

口云。押地是表本有本覺不動。亦修生始覺全本有不動無差別顯無二一體也。又云。攝真實經云。以右手掌面用按於地。此印能令諸魔鬼神一切煩惱悉不動。是名能滅毘那夜迦及諸魔鬼神之印文。故是降魔印也。釋尊成正覺時。大自在魔王作降魔時。釋尊我爲衆生成正覺。既無量無邊也。又爲衆生捨身於三千大千世界無芥子間言時。魔王云。以何爲其證乎。其時佛以五指押地。則地神出現致證誠。時魔王則退散。故云。降魔印也。付是阿闍釋迦一證智之也。

相好圓滿事

口云。黃金色羅髮形也。俗形有出家形。空羅髮形。這是今尊羅髮形也。表中道實相之果佛也。

問。今道場觀所舉薩王愛喜四菩薩座位。又向何方也。答。四佛共向中臺大日故。又阿闍西也。仍前方薩右方王左愛後喜也。祕藏記云。東輪內中臺阿闍如來。左手持金剛薩埵。右手持金剛薩埵。後金剛喜。

菩薩肉色。一手攝真實經注云。毘盧遮那如來當而坐面向東方。不動如來面西方。四大菩薩亦後如是。文餘三佛并四親近亦准之。可知四佛四菩薩皆向大日也。或四佛各向外。是向四州利益衆生義也。故四菩薩亦然也。或四佛皆向大日故。四菩薩亦各向本佛也。或諸尊皆向南方也。

私云。口傳義者三十七尊列坐之時。義也。今此一尊修行時別壇故。諸尊皆向行者。可觀之歟。

印事

攝真實經云。第二結破魔印。即右手舒五指以按於地。左手五指執持衣角入東方。不動如來三昧。當觀呼字色。及我身盡東方界。及以九方無量世界諸佛菩薩。一切衆生。山川草木。咸皆青色。以右手掌面用按於地。此印能令諸魔鬼神一切煩惱悉皆不動。是名能滅毘那夜迦及諸魔鬼神之印文。守護經云。右手按地名爲能摧伏之印。即是阿闍如來文三十卷教王經六云。由結阿闍印故。獲得堅固意。不動文。教王經三云。不動佛觸地。由結阿闍印故。獲得無傾動。文略出經第五云。阿闍印名觸地契。由結阿闍佛觸地契。故得心不動。文金界軌云。左拳安於臍右羽垂觸地文。

口云。觸地印者有二說。右手舒五指覆右膝末垂下五指端正觸地。是觸地也。如常。今次第文覆右膝上也。是自身五輪體。

時。膝即地輪故。只押膝。是觸地義也。三度押地。明各一遍。朱付云。金剛界羯磨會阿闍印。云。彼次第左手不取袈裟二角。只左手作金剛拳安臍。拳面少向下也。此印如此可結之也。

私云。左拳可作袈裟之二角勢歟。

口云。觸地者。阿闍初發菩提心體也。即不動無明有漏之地。令覺知無漏法性之心地義也。一切衆生本來自性心地不動。真字本不生體押之。故內障外障本初不生之故。云破魔印也。或云。習破地獄印也。謂從五指放五色光消滅地獄苦。此即拔苦之義也。從五指間雨如意寶珠與地獄衆生。此亦與樂義也云。

真言句義事

又印事

略出經云。次如本縛契已合申。忍願二度堅爲誓。此名阿闍印。佛三摩耶契。文金界軌云。忍願堅如針文。

口云。此印金剛界三摩耶會印。是獨股金剛印也。疏五云。持一股拔折羅以爲輕轆。此拔折羅是一相一緣堅利之慧。用此貫徹諸法無所不通。故名金剛針文。又大師釋云。一股表獨一法身。外獨表月輪二。此尊八識菩提放。八指外縛表月輪二。中指立合如針。是表獨一法身。阿闍成身之一印會大日也。

句義事



金剛經疏

菩薩又名普賢大菩薩又名薩埵金剛也

句義事

金剛喜菩薩

教王經云由如彈指勢○皆以善哉令歡喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

印明其顯一智義也但用小呪時不用大

薩埵是名有大菩提心也故說一切有情

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

止觀金剛縛合申忍願二大身眞言曰文

本性也論說法爾應住普賢大菩提心一

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

此儀軌大呪與今次第所載大呪少分相

切衆生本有薩埵此意也云

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

違難然密教習以師傳爲本故今次第所

印事

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

載大呪用之也此眞言諸家眞言集分明

金界軌云忍願堅如針小大開而豎文槍

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

能云阿闍如來滅除重罪障陀羅尼也功

尾記云先薩埵契外金剛縛豎二中指相

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

有此無動如來陀羅尼一切極重大罪悉

柱二大二小開去豎猶五股前是也文

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

皆能消滅若不得者我當代彼有情受諸

口云印相五股印也五股是金剛薩埵三

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

苦惱若有人發菩提依梵本文畫安壁上

味耶形可知也

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

或於板上忽有人觀此陀羅尼生敬信心

攝眞實經名金剛藏菩薩也教王經云頭

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

如十惡一切重罪悉皆消滅何況一日

鉤即能鉤召一切佛文金界軌云次以金

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

誦一遍其人現世增無量福臨命終時十

口云印相鉤二頭起自本有菩提因而相

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

方聖衆各持華蓋來迎生於淨土諸佛舒

向故各一位皆爲顯圓滿衆德也衆德

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

金也臂摩頂授記速成無上菩提文或抄

闍滿王位也王必歸四海萬民故作鉤是

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

云昔千團國有苾芻尼厭患女身誦此陀

開闍鉤召彼愚童義也

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

羅尼三年變爲僧奏聞奉勅令送僧寺安

句義事

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

置僧寺衆有疑未具僧戒空中聲曰難行

金剛喜菩薩

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

之事而得豈無戒乎已具矣

金剛喜菩薩

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

五臺山靈景寺錄注之天下流行也

金剛喜菩薩

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

四菩薩印明事

教王經云勝指交樂愛一切諸佛等文略

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

相應經云爲動一切有情本性開顯鉤召

出經云如本縛契已進力度中分橫相交

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

彼愚童令樂愛諸佛妙法成就本有法身

文金界軌云因鉤便交豎文

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

故文

口云立交進力右押左是不二敬愛義也

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

教王經名金剛手菩薩略出經名執金剛

前彼愚童相寄本有大菩提心成不二一

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

體義也故云愛也

體義也故云愛也

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

說眞言○是眞師依此義用樂師賦仍阿闍

口云本尊呪如要付皆可用三種呪也但

金剛喜菩薩

喜文略出經云由金剛善哉契故能令諸

藥師有同一體義也

問阿闍以象字為種子以五股為三形藥

師種等三藥靈也又象形各別也阿闍住

歡喜國藥師居淨琉璃世界所化菩薩等

亦各別也旁以同一體義不審如何答

對阿闍佛既說除病真言明知同體也又

仁海僧正奏狀云大塔五佛中尊大日四

佛藥師寶生無量壽釋迦云此等義故

云同體歟但惠什闍梨云勘安然總錄云

傳教大師藥師法依阿闍法傳之云以象

字為種子以五股為三昧耶形以象為座

是依阿闍藥師為一佛歟竊案大佛頂陀

羅尼云

不可不持不可不持不可不持不可不持

不可不持不可不持不可不持不可不持

不可不持不可不持不可不持不可不持

不可不持不可不持不可不持不可不持

不可不持不可不持不可不持不可不持

不可不持不可不持不可不持不可不持

不可不持不可不持不可不持不可不持

不可不持不可不持不可不持不可不持

不可不持不可不持不可不持不可不持

不可不持不可不持不可不持不可不持

不可不持不可不持不可不持不可不持

不可不持不可不持不可不持不可不持

不可不持不可不持不可不持不可不持

不可不持不可不持不可不持不可不持

不可不持不可不持不可不持不可不持

不可不持不可不持不可不持不可不持

不可不持不可不持不可不持不可不持

不可不持不可不持不可不持不可不持

不可不持不可不持不可不持不可不持

不可不持不可不持不可不持不可不持

不可不持不可不持不可不持不可不持

讚事

野決抄云本尊讚金剛薩埵四智大用之

口云金剛薩埵阿闍正法輪身也阿闍尊

別無讚用薩埵讚也又東方尊故可用東

方讚歎云

召請印言事

口云金剛部心印言可用之又大鈞召印

言也

結果事

口云散念誦出降三世故用結果明王是

此尊教令輪故也云

字輪觀事

口云五大也

護摩事

口云此法就息災修之但為降魔波罪可

修之也大疏十三云阿闍如來其佛以大

慈悲為護一切伏諸障故文稱揚諸佛功

德經說阿闍佛名號功德云天魔波旬聞

此佛名皆成怖退去文攝真實經云名能

滅毘那夜迦及諸魔鬼神之印文經云一

切極重大罪悉皆能消滅文

部主金剛界

自加持 智學印

請召

大鈞召印大日真言如自加持加召請

句四攝明

供物 同真言加息災句

撥遣 準召請

本尊段 印外縛二中堅如針

唯惡乞壽令是也二呼

召請

大鈞召印真言如自加持加召請句四

攝明

供物 同真言加息災句

加持物 如供物

撥遣 準召請

諸尊段 七尊十

白寶口抄 寶生法

寶生者讀文點有二說一寶生讀之時字印形次第也三形即寶珠故彼寶成尊形故云爾青龍軌寶處菩薩真言云大中大寶處者如寶生大海中從寶處生故寶處也文二寶生讀之時是南方德用也青龍軌寶菩薩真言下言聖者從寶而生從何寶而生謂從菩提心寶而生文所詮兩點之義從寶生又出生萬法濟一切衆生寶生能生故寶生讀之祕藏記云寶掌云南方寶部偏以寶珠利世出世云寶掌集經十云南方寶相如來文金光明經又同之是相義易知祕藏記云平等性智疏沙羅樹王華開敷花依因位開萬行花義也裏書云寶勝者祕藏記云寶勝如來南方寶掌云平等性智用福德身也先以布施退除慳貪故以寶勝如來居第一文問寶生南方尊多寶東方寶淨世界教主也何云同尊耶答大般若經四百一云普光菩薩前自佛世尊從此東方盡殑伽沙等世界最後世界名曰多寶佛號鬼性文但相字性字相違歟故按焰口讚陀羅尼經云即說來出稱多寶如來號加持故破一切諸鬼多生以來慳惜惡業即得福德圓滿文法華開題云阿閼樹觀音圓鏡自性金剛智多寶則觀音福德樂身文此等文寶生多寶一佛異名也此法常

雖修之後七日法東寺一流大事依甲乙年以寶生寶菩薩爲本境付兩界行之是朝家大事一宗祕法也又五大虛空藏法寶珠法等付此學習之昔俱後七日法完竟大事也次種子今法以字爲種子多說中是最勝說也此字即不可得不可得不可得不可得寂靜不可得又修行義如法身義發菩提心依如寂靜修行得涅槃即菩提果入大涅槃三德祕藏海也三德者法身般若解脫是法報應三身也夫祕密藏極理無盡莊嚴恒沙萬德也是平等性智即是修行句本有恒沙萬德有也是則本有南方修行本有恒沙萬德也是如法身本有恒沙萬德菩提印煩惱涅槃即生死還住字應染是則字也故以此字爲寶珠種子又云付不可得也種子也Q3即珠故不可得不可得也佛者證如理故以如理爲體故先以字爲字體是自性三菩提至極也阿字修行義如來道來成正覺是以大悲萬行度有情如來一化儀普攝此行狀此字涅槃義如來化緣既盡寂滅涅槃義也是如來非生現生非滅還住字應垢如來大悲深重故爲五濁衆生猶留舍利是方便究竟至極大悲利物源底也今從字如理出留字應樂字字成未代衆生福出是號如意寶珠今此寶生緣南方福德門緣故以此字爲種子釋

迦如來入寶生三摩地變身成字：變成如意寶珠是狀也次三形寶生尊寶部主故爾德莊嚴故以寶珠爲種子又寶珠云應珠應シタカ也即雨萬德隨意出生故又種子三形尊形一體也謂タハ舌內字舌是心藏也方時南方也即心意同調也華嚴經云如者寶義文故有字寶生如意寶皆供一義也次道場觀金黃色祕藏記黃金胎藏黃金色見黃金色是南方夏方也又黃色增益色此寶部增益故云黃金色也

問惠手者左手如何云答慈手者左手也攝無礙經云以左手名惠也又祕藏記右手惠也辦諸事故左手定靜故也四菩薩向樣如阿闍華知之大印與願者一切衆生授與自性寶珠義三寶寶珠出生身口意三密萬法義也凡拳印懷貪義開手授與物義也左手作拳少向下安膝下是拳願智功德以右手授與一切衆生或拳地中伏藏是衆生本有性德樂智手以令開悟迷衆生義也大句義了等事今尊鉤名福智義相應大師御筆如此其上下四字注云石山口傳云既石山傳如此其義不相違四攝事願祇經序品見朱付云羯磨呪者今真言四攝明除之又印外轉月輪形也是福智圓滿相二中指南方作寶形從月輪中生福智二種寶體也此尊三形尤甚深也大句義了等事



白寶口抄 阿彌陀法第一

本書事

阿彌陀鼓音聲王陀羅尼經一卷失譯貞元無量壽如來念誦儀軌一卷

內云修觀行供養儀軌 不空譯 貞

元新入目錄 澄海仁運珍云無量壽如來修觀行供

養儀軌一卷 澄錄云無量壽如來瑜

伽儀軌三紙十 運云念誦法云 珍

海列外題 云無量壽如來供養儀軌 仁錄同珍

金剛頂觀自在王如來修行法一卷不空譯貞元新入目錄

海仁珍缺經字 珍仁錄又有經字

叔加瑜伽字 無量壽如來十甘露真言一卷源

梵字阿彌陀佛真言一卷海

梵唐對譯阿彌陀經一卷仁

觀錄亦有梵漢兩字阿彌陀經一卷云

阿彌陀經二卷

內云佛說諸佛阿彌陀阿三耶三佛薩

樓佛壇過度人道經亦名無量壽經

貞元亦錄外有內題經圓覺梵釋支謙

譯吳月支後漢字

無量壽佛經二卷貞元四

古今譯經記云唐僧會以嘉平四年於

洛陽白馬寺譯無量壽經二部經

觀無量壽經一卷

貞元圓覺缺注梵釋有注

古今譯經記云蓋良耶舍譯此云時稱

西域人○以宋文帝元壽元年達于京

邑○譯無量壽經一卷二部沙門僧含

筆受

阿彌陀經一卷

亦云無量壽經羅什譯

貞元圓覺缺注梵釋有注

稱讚淨土佛攝受經一卷

亦真云稱讚淨土支婁譯貞元圓覺梵

釋

後出阿彌陀佛偈經一卷或無經字

圓覺缺注梵釋有注貞元失譯或金剛

界大儀軌末出之

小無量壽經一卷

貞元不入藏中云阿彌陀經文句全同

隨顯往生經一卷失譯

貞元不入藏中云是灌頂經第十一卷

陀羅尼集經 大佛頂經 教王經 略

出經 金剛界儀軌 大日經并疏 胎

藏界經 大樂金剛薩埵軌 守護國

界經 攝真寶經 理趣經并理趣釋

阿彌陀經疏一卷咸通中 安樂集一卷門

略法事義讚一卷南岳沙門 淨土五會念佛

已上慈覺

阿彌陀經疏一卷大樂

阿彌陀經隨緣義鈔一部智首法

觀念阿彌陀佛相海三昧功法門一卷

已上靈巖

無量壽觀經一卷德勝子

阿彌陀經一卷其

已上智證

無量清淨平等覺經二卷支婁迦

阿彌陀鼓音聲王陀羅尼經一卷四枚

無量壽經論一卷支十一枚

已上貞元

千光王佛威德要法一卷曉

藏祕錄已上

法緣起事

無量壽軌云爾時金剛手菩薩在毘盧遮

那佛大集會中從座而起合掌恭敬白佛

言世尊我為當來末法難樂世界惡趣衆

生說無量壽如來陀羅尼修三密門證念

佛三昧得生淨土入菩薩正位不以少福

無惠方便得生彼刹是故依此教法正念

修行決定於極樂世界上品上生獲得初

地若在家出家願生淨土者應先入曼荼

羅得灌頂已然後從師受念誦儀軌文

此法行儀事

口云此法無量壽軌依十八道也十八契

軌依此儀軌

名字事

梵號與有 密號清淨金剛又云大悲

金剛又云壽命金剛

口云阿彌陀此云無量壽與有三字是

三身如來功德也法相宗義云以阿彌陀

三字配遍計依他圓成三性。即是三身也。遍計化身依他報身。圓成顯法身云。天台宗義云。阿彌陀三字空假中三諦。阿者本不生義。報身智慧。彌者我不可得義。應身慈悲。陀者如不可得義。法身如。常住也云。成就院抄云。天台說云。三身諸佛金剛不壞之身。胎藏阿彌陀般若。畢竟空理也。金剛如。義即第一義。僧也。此同說。成阿彌陀三字可攝四十二字。初我字也。後不茶字也。中間阿四十二字功德也。即四十二位也。緣唱阿彌陀三字即唱因位果位無量功德也。念佛功莫大良有以哉。故法花玄第五云。初阿字門具四十二字。後茶字亦爾。是即攝一字多含義。殊法藏比丘。第五劫問思惟此三字之故。一切萬行萬善。乃至世出世法皆悉攝此三字無闕減。一度唱此三字消滅十惡五逆重罪。一切業障等。命終時即預此三字三尊來迎。生極樂世界之上品上生。證歡喜地。獲得無上菩提果。決定無疑云。問我阿不三字配當三尊事如何。答。寶志和尚云。我彌陀阿勢至。不觀音三寶即菩提心體云。我喉內音也。喉壽命義。故當無量壽。是佛部也。阿唇內音也。是當勢至金剛部也。不舌內音也。當觀音蓮花部也。付此三字有歸根本音。我即彌陀。觀樂教主音。阿勢至來迎婆娑。不觀音迎行者歸極樂音也。此即不字タアト譯有我音是歸初我故云。歸根本也云。阿彌陀

經云。彼何故號阿彌陀。光明無量照十方國無所障。是故號曰阿彌陀。壽命及其人民無量無邊。阿僧祇劫以名阿彌陀。大疏四云。西方觀無量壽佛是如來方智。以衆生界無盡故。諸佛大悲方便亦無終盡。故名無量壽。文私云。疏文約利他行邊明彌陀常住壽命。今阿彌陀經說三義。其二者疏意相同。今一義約光明無量。名無量壽。觀經云。無量壽佛有八萬四千相。一相各有八萬四千隨形好。一好復有八萬四千光明。一光明遍照十方世界。念佛衆生攝取不捨。彌陀軌云。無量壽如來不捨悲願。以無量光明照行者。業障重罪。三途苦界。見光明無苦。是無量光。橫利益無涯際意也。無量壽堅利益無盡期義也。或云。阿彌陀光明無量壽命無量配法華本迹二門。無量光顯迹門之利益。序品佛放白毫光照萬八千土。即無量光利益也。壽量品有顯本迹壽之說。即無量壽利益也云。甘露王如來事飲水軌云。甘露王如來。祿藏記云。甘露王如來。西方無量壽。甘露王如來者。妙觀察智。用說法身也。甘露是妙法。故既受妙果。堪爲法器。便可授法。故以甘露王如來居第三云。私云。施餓鬼五如來所文也。青龍軌云。阿沒祿甘露。甘露者智之別名。

能除身心熱惱而服之。不老不死長壽之身也。文口云。阿耨耨帶者。不老不死義也。故阿彌陀大呪中有大阿耨耨帶句。是阿彌陀壽命無量故。不老不死義。滅三毒十惡等良藥。故云甘露。呪也云。演密抄七云。有甘露義者。天中甘露有十六分。以十五分施衆生。已從餘一分還生。如故。故稱不死即勝生也。文觀自在王如來事教王經三云。無量壽佛是觀自在王如來。亦爲法印金剛法。安然菩提心義五云。彼佛壽命無量光明。無量眷屬無量一切皆無量。故立證號。而本名曰觀自在王佛云。觀音如來事青頸觀音軌云。觀音如來。文得自性清淨法性如來。文理趣經云。得自性清淨法性如來。文理趣釋云。是觀自在王如來異名。則此佛名無量壽。若於淨妙佛國土現成佛身。住難染五濁世界。則爲觀自在菩薩。文私云。疏十五云。次觀世音是阿彌陀佛也。其身黃色。文故知彌陀觀音同體異名也。凡此法除三毒散亂之心。得法性清淨之妙理。故此尊號得自性清淨如來。歟云。大安忍事教王經一云。大安忍。文同疏二云。大安忍

無量壽也清淨意識與妙觀察智相應證得諸法本性清淨以大慈忍能轉法輪利益衆生故云安忍文

### 仁勝者事

大日經云西方仁勝者是名無量壽文疏四云梵音爾爾名爲仁者又以降四魔故名爲勝者故偈具翻其義謂之仁勝者文

### 妙觀察智事

祕藏記云妙觀察智五眼高臨邪正不謬因以爲名文又云其水中一切色相差別門了現見喻妙觀察智文

### 種子事

理趣釋云種子具四字成一眞言種子門者一切法因不可得義下羅字門者一切法離塵義摩者所謂五塵亦名能取所取二種執著字門者自在不可得一點字義名爲涅槃由覺悟諸法本不生故二種執著皆遠離證得法界清淨字亦云漸著若具慍愧不爲一切不善即具一切無漏善法是故蓮花部亦名法部由此字加持於彌樂世界大樹林皆演法音如廣經中所說若人持此一字眞言能除一切災禍疾病命終已後當生安樂國土得上品上生文

口云此文理趣經得自性段說也彼得自性清淨法性如來者是觀自在王如來異名此無量壽佛也即以種子爲種子又無

最壽軌云想壇中有衆放大光明如紅顏梨遍照十方世界其中有情遇此光皆得罪障消滅文口云是本尊種子觀也衆字者下字與四字合成字也

切法因即無明癡煩惱也生死流轉以無明爲因故轉之成無礙善根是大日也一切法塵垢義顯五塵等依染塵起憊貪轉之成無貪善根是大福聚也災禍義起災難依多瞋轉之成無瞋善根是忍辱也大悲也悲淫樂義又遠難義也即遠離三毒之罪障證二種之涅槃義得法界清淨

理也理趣釋云於東門畫天女形表貪慾南門畫蛇表瞋形西門畫猪表癡形北門畫蓮花表淫樂形得入此輪壇至無上菩提一切諸惑皆不得染此故字放本覺本淨之智光消滅三毒三妄之惑罔故放大光明罪障消滅也

### 問若爾者斷三毒等煩惱可證無上菩提

賦如何答得自性清淨法性如來字提故彼智光即照煩惱猶若提非斷迷開悟故理趣經云設作諸慾猶如蓮花或經中清淨自在字微照三界免地獄諸有惡悉淨如蓮花文先付此乾理之音有相傳義是衆身一體異名也先キカ同五音故通也又ク是入聲字也タ亦タツツト入聲五音字也故ク字可讀タ也キリク與カリタ梵語異也義釋云凡人汗栗心者此是古譯語說也正梵音云乾理乃耶此云心狀如蓮花含而未敷之像文

是其體據也所詮諸カリタ故云心者即我等心中八分肉團也菩提心論云凡夫心如合蓮文菩提心義然云此心合蓮花亦有二義一男女心臟肉團八分如合蓮花大日宗云衆生自性八瓣具足故是肉心亦有八分今云第九識體之上自有八識之相肉心類此一團八分二金剛頂疏云如來開覺如蓮花開今例言之衆生迷覆如合蓮花云此合蓮花第九識心王即法界體性智之實體

### 三形事

八葉紅蓮花立五結爲義以口云橫五股者略出經云能方輪壇中畫橫拔折羅上畫蓮花此名花法器杖印文是橫五股說處分明也以五股爲華事不見文但同經說阿闍如來三形云帝釋方輪壇蓮花座上畫橫金剛杵形於橫杆上有堅跋折羅

此名金剛心印文是以東方發菩提心爲故開西方本有心蓮義也故經雖不說堅五股以此義橫五股上立堅五股也又理趣釋云或時想己身字門成八葉蓮華胎中想金剛法於八葉上想八佛或時他身想字五股金剛杵中央把處想十六大菩薩以自金剛與彼蓮花二體和合成爲定惠是故瑜伽廣品中密意說二根交會五塵成大佛事文是以五股爲華定惠二體和會之表示也已身想字成八葉蓮花者當華西方蓮華身法門故約當部己身想蓮花云也他身想字五股者

東方金剛部發菩提心。智門法門故。且約他部云。他身也。謂東方發菩提心。他部金剛惠為華。西方證菩提。自部蓮花。定為花。故自東至西。定惠二體和合。顯不二法性之三摩耶形也。先五股者。理趣釋云。金剛加持者。表如來十真如十法界。十如來地。以成上下十峰。金剛大空智處。陀羅尼門諸部要目。云金剛杵者。菩提心義能壞斷二邊契中道。中有十六菩薩位。亦表十六空為中道。兩邊各有五股。五佛五智義。亦表十波羅蜜。能摧十種煩惱。成十種真如。便證十地。證金剛三業。獲金剛智。坐金剛座。亦是一切智智。亦名如來白覺聖智。若不修此三摩地。智得成佛者。無有是處。凡此五股十峰者。兩部五智五佛。亦五凡者。胎藏本有五智五聖者。金剛界修生五智也。又習三十七尊之時。中央把處有四重八葉。為定惠二十六菩薩定門者。四波羅蜜。八供養四攝是也。惠門者。四智四方四親近是十六也。中央四方并最中有五寶珠。是五智五佛寶珠也。仍為三十七尊。又五股上下十峰。胎藏十界。即四重曼荼羅也。十界本有三十七修得也。是兩部不二之佛體。所表分明也。先橫五股者。本有理智橫平等之十界也。次上豎五股。修生理智十如來地也。而理智行者。不向境之時。各住自性是橫。則自利義也。對境一念發起。是豎。豎即利他意也。故於行者。一心立橫豎。本有修生之二義也。又橫五股本有之五智也。豎五股修生五智也。本有胎藏理修生金剛界智也。八葉紅蓮花者。我性心。蓮理智不二之體。常住佛性之形也。或蓮花西方蓮花部。豎五股。東方金剛部橫五股。中央佛部故。三部三身等也。又紅蓮華者。敬愛色。理趣釋云。自金剛與彼蓮花二體和合。故敬愛義可知也。

## 又說事

八葉紅蓮花。以獨股為華事。又略出經云。如本結契已。合申忍顯二度。豎為蓮。此名阿闍梨。如本縛契已。忍顯二度。相柱為花。此名阿彌陀佛。三昧耶契。此文意者。以東方發菩提心為華。遂開西方。本有心蓮義也。故獨股上安蓮華也。大師御筆寶圖。以獨股為華。立橫五股上。是其證據也。云。口云。橫五股者。兩部五智五佛。十大日如來。本初不生。橫平等之三摩地也。然如來身土依正相融。性相同一。遍滿法界。不壞金剛平等不二之方法也。大日如來。為令知見。此道示二種法身智。法身佛住實相理。為金剛獨一法界。大日此獨股杵把處。有四重八葉。為定惠二十六菩薩定門者。四定八供四攝是也。惠門者。四智四親近十六菩薩是也。中央四方并最中有五寶珠。是五智寶珠也。故為三十七尊。是一印會。大日為自他受用。現三十七尊。令一切眾生入不二之道義也。

又理法身佛住金剛大空智處。法然常住。不動而動。現於八葉。為自受用。示三重曼荼羅。令十界眾生證大空。此八葉蓮華者。一切眾生胸中。八分肉團也。此開敷之時。名胎藏八葉九尊。疏云。肉團心妙。白蓮者。此是眾生本心妙法。芬陀利祕密標幟。花臺八葉圓滿。均等如正開敷之形。此蓮臺是實相自然智。惠蓮花。是大悲方便也。正以此藏為大悲胎藏曼荼羅之體。其餘三重。是從此自證功德。流出諸善知識。入法界門耳。又云。此蓮花三昧之心。若開敷時。無量法門。無不具足。謂六度十八空三十七品禪定解脫。有八三昧門。五百陀羅尼門。如是等無量無邊。無不具足也。當知一切法是從心而有也。又理趣釋云。想已身。字門成。八葉蓮花。胎中想金剛法。於八葉上。想八佛。故阿彌陀三摩耶形。眾生已身之心。蓮也。是胎藏一曼荼羅。開顯此心。蓮眾生德也。但待開敷。非合蓮。眾生心。蓮即彌陀如來之內證。含藏衆德。故云。合蓮。今紅蓮花者。赤白不二色。即敬愛義也。八葉開敷者。從行者修生。方見開敷。阿彌陀從佛眼。自證方未。教含藏觀音也。口云。此三摩耶形者。理智兩部曼荼羅也。雖然兩部本來一法。無別智。故歸一阿彌陀。是不二法性尊也。此三形即行者當體也。橫五股兩足也。兩足十指是十界也。右足五指五凡。胎藏界義也。右足五指五聖。金剛界義也。是即兩部十大日。又十真如十



法界十如來地橫平等不二自證位也豎獨股不二自體八葉蓮花頂上也獨股蓮花二種修生兩部也

問蓮花尤可爲心上何云頂上哉如何答蓮華是花莫俱時故表因果不二凡聖一如義而一身果報只在頂上故一身中以頂爲最尊依之以妙花置頂上頂上亦名百會是一身總穴也又云如意寶珠淨善提心者或蓮花或如意寶也名異義同也故不動頂上載蓮花或載寶珠河內觀心寺御作不動頂上安寶珠此義也外用時在頂上不動表因載頂上內證時在胸中諸佛顯果置心上也又佛登悟故以蓮花爲座義也不動因位故載頂上也不動頂上蓮花者花藏世界也胎一受茶羅是也不動居衆生心藏之中故不動頂上蓮華者衆生胸中蓮也故獨陀與不動一體蓮花也獨陀有來迎引攝顧不動左常在在地獄誓獨陀住九品之臺來迎婆娑之衆生不動住無間之底頂載受苦是衆生故頂上蓮花九品蓮華九品蓮臺是同一也雖然阿彌陀果德圓滿居極樂之花臺導一念十念之有緣緣不動尊因位凡體所無間之泥犁底載極惡極苦之無緣者因果利益功德是同一體義不生疑又云不動尊以獨股印爲根本印故獨股與不動一體也今三形橫五股上立獨股是不動結跏趺座身也獨股上蓮花不動頂上蓮華也故不動尊名花藏界地神此蓮

花即花藏世界也祕藏記云極樂與花藏雖名異而非異處又觀音頂上化佛與不動頂上蓮華同體也此時獨股者觀音行者自性清淨體也獨股首蓮花與觀音頂上化佛不動頂上蓮花是佛身覺悟一曼荼羅相也所詮觀音藏獨陀報應身不動載獨陀三摩耶身也

問以五股獨股爲華是有勝劣乎答各具五智故妙觀智一智爲表五智具足故以五股爲華是顯西方蓮花部所具五智又此五智蓮花部妙觀智一智所具故以獨股爲華蓮花一心蓮也所證亦以五股爲華故東方阿閼三形金剛心印也以獨股爲華故同阿閼印略出經云合申忍願二度豎爲華此名阿閼契云既結獨股印豎爲華云此華者以東方發菩提心寶幢之莖開西方本有之心蓮故以彼印云豎爲華也故三摩耶形契印五股獨股吳也實共淨善提心體故不可相違於用否可任行者意也祕帖云道範云問云阿彌陀佛有四重祕釋亦種子三形可有四重義故實賢答云此事未見及說處雖爾可有之云字梵王所製字者淺略釋迦所說者深祕大日所說者祕中深祕法然道理字行者全身即云字祕中深祕也蓮花者極樂寶池中彌陀如來寶座者淺略彌陀佛三昧耶身者深祕彌陀即普門大日三摩耶身者第三釋衆生本有自性清淨云心心八分○蓮花者第四

釋也云

種子三形印或初制蓮

口云是胎藏八葉院用之也疏二十云暗字三菩提也以萬行故成正覺其佛名阿彌陀即西方也文三種悉地軌云暗字在西方是菩提萬行故成正覺白色即圓明究極義又是水義其佛名阿彌陀云字是百光王中臺也四重百字自是字出生也疏八云次說暗字在其頂上成中胎藏又從此字生三重光焰一重光遍透眼上隨所照光及之處諸尊隨現成第一院受茶羅次一重光遍透心上諸尊隨現成第二重受茶羅次一重光遍透膝上諸尊隨現成第三重受茶羅爾時弟子都成曼荼羅身又云是暗字一切眞言之心一切眞言最爲上首當知此即不空教眞言也不空者隨一切衆生有所見聞觸知無空過者皆必定於無上菩提故名不空也文三形初制蓮者胎軌云開敷妙蓮花云是八葉蓮花印也或傳云三補陀合掌二水二火開張其風地先開張是初制蓮花云所詮初制蓮者開蓮花也聖賢種子三形三股云字小呪終字也而略出經五佛共種子云字也此經意者五佛同入摧滅煩惱三摩地也疏祕經大日字四佛云字也此字功能見云字義等五佛中彌陀是證菩提門佛也五佛衆德即攝在彌陀一身中五佛正覺證得彌陀故也五佛成道

諸佛得也。理趣釋云。一切如來者。准喻伽教五佛是也。其五佛者。即盡空遍法界無盡無餘佛聚成此五身也。此證菩提佛故以五字爲種子也。三股杵者是三部義。一切諸尊皆攝盡三部。三部即三股故。中股攝陀佛部。右觀音蓮花部。左勢至金剛部。勢至智見觀經。權必歸正。故二股歸中股。以此三尊配三股事。無本說。只先德口傳也。

問此三尊是蓮花部何配三部乎。答。各具五智故。五部各具五部。然者三部何。不具三部哉。是蓮花部中三部也。有字傳受集云。寂能傳大谷傳也。大谷傳以一。股爲三形。平救同之。有字顯果用之云。行林云。祇云。有字。與大悲。彌會。壇。九尊種子中說。有祇密壇九尊種子中說云。私云。有祇者。胎八葉院蓮花藏尊真言也。攝真實經中云。西方無量壽如來。三味當觀賢字。色文尊。勝三悉地法。有字。西方阿彌陀如來。破地獄軌同之云。

### 白寶口抄 阿彌陀法第二

#### 道場觀事

口云。阿闍實生之道場觀。共於妙高山頂成五峯八柱寶樓閣。今此尊於心前直觀。極樂世界。是觀經所說西方淨土也。云。觀觀想心前云。阿彌陀六識相應尊。故觀心外於淨土。將又可觀心前。即心上淨土。歟。如何。答。共不違爲初心行者。心前觀之。爲深智行者。心上觀之。例如。如入如來寂靜智。領初心行者。先心前觀之。次禪智。俱入召入心內也。金剛界行儀。入智合智是也。故無量壽軌云。不閉目運心。想在極樂世界對無量壽如來。並諸眷屬。是。先存極樂於心外意也。又觀自在軌云。入定思惟觀無量壽如來。周遍法界。行者。已身悉在彼。云。依此文者。淨土遍十方。故何論內外。別今次第三。八葉大蓮華遍法界。即極樂世界云。理實是九品花臺。開性德心。蓮通十方。無量莊嚴顯恒沙。已有通三際。故知安養都卒。本來胸中蓮臺。密嚴花藏。即是同佛遊處也。祇記云。是花藏世界者。最上妙樂在其中。故曰極樂。當知極樂與花藏。雖名異而非異處。云。凡道場建立有不同。或三輪五輪九山八輪五輪山海等略之。壇上直觀樓閣等。或略樓閣等。壇上直觀蓮月等。或直心前觀

蓮月。或直心上觀之。如此說說。廣略不同也。任行者。根機可觀之。既得此意者。不可守株。但先德次第。廣略不同。大旨不違本說也。謂其尊本經儀軌。若廣私記。同廣也。若略隨私記。略也。石山道場觀等。大旨被守其旨。此相傳口決也。不可異矣。而已。八葉大蓮花遍法界。即極樂世界事。

觀自在王軌云。於面前觀極樂。瑠璃爲地。功德乳海於海中觀。云。口云。極樂世界者是花藏世界也。此花藏者。我性心蓮。即胎藏也。大師云。安養都卒。本來胸中。文本來九品華臺。一心之國土。是非異處。最上妙樂在此中。故名極樂也。可知。

#### 五峯八柱寶樓閣事

口云。五峯者在樓上。表金界五智。八柱者在樓下。顯胎藏八葉。即是兩部不二樓閣也。

問。何故金界上。胎生下。云乎。答。金剛界五部表果位。五智故。云。上。胎藏八葉。示因位。八識故。云。下。因必爲果成之故也。依之。胎藏地。曼荼羅。以蓮花爲本。金界天。曼荼羅。以月輪爲宗也。兩部不二。因果一體。樓閣。即二界一心。法門也。

#### 蓮花上有曼荼羅事

口云。曼荼羅者。壇也。舊翻壇。新翻輪圓具足也。但就敬愛修之時。敬愛八葉形壇也。赤色云。

問。前云。字成八葉大蓮花。遍法界。即極樂

世界云：今又說字成大蓮花蓮花上有曼荼羅云：共說字成蓮花其差別如何？若是有修生性也心性形體八分肉團性本源行者性也心性形體八分肉團肉團本性八葉蓮花是第九識千葉多心約衆生身中悉說字佛性理體也此阿字即諸法能生故出生云：其四此四字合說成字說變成未數蓮華此蓮花還裏能生此字是名眞實心號八分肉團今依三密修行彼蓮花開敷也此心蓮花即極樂世界之故大經疏云佛從平等心地開發無盡莊嚴藏大曼荼羅已還用開發衆生平等心地無盡莊嚴藏大曼荼羅此先以本地法身法界之大蓮花爲極樂世界次樓閣中大蓮花一門彌陀修生座也雖然其實體無差別其說字變成八葉蓮花之故暫約本地加持用兩度也觀經云於七寶地上作蓮花想令其蓮花一葉作百寶色有八萬四千脈猶如天蓋脈有八萬四千光分明皆令得見花葉小者縱廣二百五十由旬如是蓮花有八萬四千葉一葉間放有百億摩尼珠正以爲映飾一摩尼放千光明其光如蓋七寶合成遍覆地上釋迦楞伽實以爲其臺此蓮花蓋八萬金剛觀世音菩薩摩尼寶妙真珠納以爲文飾於其臺上自然而有四柱寶幢一寶幢如百千萬億須彌山幢上寶帳如夜摩天宮有五百億微妙寶珠以爲映飾一寶珠有八萬四千

光一光作八萬四千異金色一金色遍其寶土處一變化各作異相或爲金剛或作寶珠網或作雜花雲於十方面隨意變現施作佛事是爲花座想○如此妙花是本法藏比丘願力所成若欲念彼佛者當先作此花座想文字放大光明等云無量壽軌云次相續中有說經哩字放大光明如紅顏梨色遍照十方世界其中有情遇此光者皆無有不得罪障消滅依此文也其蓮花遍滿法界亦放大光明光明中有無量化佛說法利生事口云說字所變蓮花故放大光明極樂依正皆悉有光明故

問無量化佛其形體如何 答觀經云彼佛圓光有百萬億那由他恒河沙化佛一化佛亦有衆多無數化菩薩以爲侍者文又說觀音圓光云其圓光中有五百化佛如釋迦牟尼佛一化佛有五百化菩薩無量諸天以爲侍者文化佛形像以此文可知之種子說字以光明滅三毒罪障三形蓮花顯化佛說法利生是悲智二德也

觀自在王如來身量廣大無量由旬事

觀經云無量壽佛身如百千萬億夜摩天觀浮檀金色佛身高六十萬億那由他恒河沙由旬肩間白毫右旋婉轉如五須彌山佛眼如四大海水青白分明文

問次第身量廣大無量由旬云經文六

十萬億那由他恒河沙由旬云身量最小也如何 答觀經云無量壽佛身量無邊非是凡夫心力所及然彼如來宿願力故有憶想者必得成就但想佛像得無量福何況觀佛具足身相阿彌陀佛神通如意於十方國變現自在或現大身滿虛空中或現小身丈六八尺所現之形皆眞金色文口云於阿彌陀佛有三身或現大身滿虛空中者法身也六十萬億那由他恒河沙由旬者報身也或現小身丈六八尺者應身也今作觀彌陀理法身故現無量由旬繪像佛像壇上安置丈六八尺應身前成就召請彌陀西方極樂六十萬億那由他恒河沙由旬報身也可知守護經二云復於西方面向東坐亦作如上金剛結跏趺身正坐左手仰掌當於臍上右手仰掌重左手掌上以人屈指稍令頭相拄文攝眞寶經云第四結除散亂心印先舒左五指安齊輪前次舒右五指安左掌上結此印入西方無量壽如來三昧當觀碧青色及我身盡西方界并與九方無量世界諸佛菩薩一切衆生一切山川草木悉作紅蓮花色能令行者及諸衆生除亂心入三昧樂故文不空經云阿彌陀佛以右手背押左掌結跏趺坐文口云教王經三云彌陀定印名勝定印名法輪印云略出經云阿彌陀契名勝上三摩地文守護經云名第一最勝三昧之印阿彌陀如來之印文此等文皆定印義也攝眞寶經除



柔軟普照一切。以此寶手接引衆生。舉足時足下有千幅輪相。自然化成五百億光明臺。足時有金剛摩尼花。布散一切莫不彌滿。其餘身相衆好具足。如佛無異。唯頂上肉髻及無見頂相。不及世尊。又云。大勢至菩薩。此菩薩身量大小。亦如觀世音。圓光面各二十五由旬。照二百由旬。舉身光明。照十方國。作紫金色。有綠衆生。皆悉得見。但見此菩薩。一毛孔光。即見十方無量諸佛。淨妙光明。是故號此菩薩名無邊光。以智慧光普照一切。令離三途。得無上力。是故號此菩薩名大勢至。此菩薩大天冠有五百寶花。一寶花有五百寶臺。一臺中十方諸佛。淨妙國土。廣長相。皆於中現。頂上肉髻如鉢頭摩泥華。於肉髻上有一寶瓶。盛諸光明。普現佛事。餘諸身相。如觀世音等。無有異。此菩薩行時。十方世界一切振動。當地動處有五百億寶花。一寶花莊嚴高顯。如極樂世界。此菩薩坐時。七寶蓮花。同時動搖。文口云。付三尊觀音。勢至左右。不同之觀。經說相觀音左勢至右。不空羼索經五云。左觀音右勢至云。最勝王經云。畫阿彌陀。坐白蓮花。右手住施願。左觀自在。在菩薩。身白色。虎皮爲裙。白頗黎寶。以爲腰條。以黑鹿皮再絡而披。住白蓮花。左手持白蓮。右手施願。石畫金剛手菩薩。身亦白色。手拂白拂。作拂如來勢。佛菩薩皆願視行人。行人於佛下。畫右膝著地。手執香爐。瞻仰聖者。

云。已上左觀音證據也。阿彌力迦經云。取淨。剗截。盡阿彌陀。長六握。手住。說法。印。於蓮花臺。結跏趺坐。身純金色。作白焰光。右畫觀自在。在菩薩。左畫勢至。皆純金色。作白焰光。二菩薩。右手各執白拂。左各執蓮花。勢至身稍小於觀自在。白衣髮並上結。不得披下。印云。或人云。烏羽院御宇。依院宣法。印康助所奉。造立阿彌陀三尊。勢至身少於觀音。奉造立。經御覽院宣。仍於脇士大小不同。如何康助進覽本文。仍御感再三云。又云。說刻像法云。取一白檀木。中央刻阿彌陀佛。右觀自在。在左。大勢至。各執白拂云。集經貳云。畫佛像法。用中央著阿彌陀佛。結跏趺坐。手作阿彌陀佛說法印。左右大指無名指。頭各相捻。○左右頭中小指開。右作十一面觀音菩薩像。左作大勢至菩薩文。又云。勢至結跏趺坐。左手覆掌於左膝上。右手屈臂。節柱。右臂。豎臂向上。以大指捻無名指。甲上頭。指中指小指。彈緊。掌側當前。右十一面觀音。結跏趺坐。屈左臂。向肩。上掌覆向背。手把蓮華。右臂。節柱。右膝上。手把白拂。元向右出云。十一面儀軌同之。口云。仁和寺本堂本尊。是阿彌陀三尊也。觀音右勢至。左立之。有後人不知案內。脇士座立。謬思之。去觀音其膝。欲奉居勢至。其時勢至菩薩。如盤石。重不動轉。故不被且改。仍彼寺。以勢至號驗佛云。已上觀音右證據也。

嚴音聲經云。阿彌陀佛。於大寶花結跏趺坐。有二菩薩。一名觀音。二名勢至。是二菩薩侍立左右云。私云。脇士立像也。觀經云。無量壽佛。住居空中。觀世大勢至。是二大士侍立左右文。私云。三尊共立像。是爲奉提希所現樣也。二十五菩薩事。十因云。如十往生經說。佛告山海惠菩薩。及以阿難。有人念西阿彌陀佛。願往生。○常使二十五菩薩。影護行者。○無病無惱。不令惡鬼惡神。惱亂行者。常得安穩。二十五菩薩者。觀世音菩薩。大勢至菩薩。藥王菩薩。藥上菩薩。普賢菩薩。法自在菩薩。獅子孔菩薩。陀羅尼菩薩。虛空藏菩薩。德藏菩薩。金藏菩薩。金剛藏菩薩。光明王菩薩。山海惠菩薩。華嚴王菩薩。珠王寶菩薩。月光王菩薩。日照王菩薩。三昧王菩薩。定自在王菩薩。大自在王菩薩。白象王菩薩。大威德王菩薩。無邊身菩薩也。云。問。二十五菩薩。列座。其形色持物。手等。如何。答。其形色持等。一。難觀之狀。如次第。觀音勢至等。二十五菩薩。乃至無量無。

邊菩薩聖眷屬前後圍繞可觀之也安

祥寺惠雲僧都請來九品曼多羅中胎有

八葉蓮臺上有上品上生阿彌陀佛八

葉安餘八品阿彌陀從前葉次第旋右也

內院四隅法利因語四親近菩薩菩薩前右

菩薩菩薩前右菩薩菩薩前右菩薩菩薩前右

有三尊四隅鑾變歌舞內四供第三院二

十五菩薩一方有六箇菩薩合二十四也

但加內院法菩薩爲二十五菩薩也形色

印契持物等皆圖畫之可見彼曼荼羅也

此二十五菩薩婆娑來迎時行儀異也

第一觀自在菩薩 左右手捧紫金臺也

第二大勢至菩薩 結末數蓮華印即合

第三藥王菩薩 差覆帳幡玉幡也

第四藥上菩薩 捧玉寶幡只幡也

第五普賢菩薩 差覆寶蓋也

第六法自在菩薩 打一ケイロ也

第七獅子孔菩薩 腰敲手

第八陀羅尼菩薩 左舞也

第九虛空藏菩薩 右舞也

第十德藏菩薩 笙吹

第十一寶藏菩薩 笛吹

第十二金藏菩薩 簫吹



第十三金剛藏菩薩 琴吹

第十四光明王菩薩 琵琶

第十五山海惠菩薩 空篋



第十六花嚴王菩薩 簫也



第十七衆寶王菩薩 鐃銅拔也

第十八月光王菩薩 摺鼓



第十九日照王菩薩 葛鼓也

第二十三昧王菩薩 方鏡也

第二十一自在王菩薩 大鼓也

第二十二自在王菩薩 花鐺也

第二十三白象王菩薩 寶幢也



第二十四大威德王菩薩 曼珠沙華



第二十五無邊身菩薩 戒香火舍也

此爲才德也非當用云  
其極樂世界以七寶爲地事

觀經云琉璃地內外映徹下有金剛七寶

金幢擎琉璃地其幢八方八轉具足一一

方面百寶所成一寶珠有千光明一一

光明八萬四千色映琉璃地如億千日不

可具見琉璃地上以黃金繩維網間錯以

七寶界分齊分明一一寶中有五百色光

其光如炬又似星月顯慶虛空成光明臺

樓閣千萬百寶合成於臺兩邊各有百億

花幢無量樂器以爲莊嚴八種清風從光

明出鼓此樂器演說若空無常無我之音

文 水鳥樹林皆演說音事

又云其光化爲百寶色鳥和鳴哀雅常讚

念佛念法念僧文又云其摩尼水流注花

間卽樹上下其聲微妙演說苦空無常無

我諸波羅蜜復有讚嘆諸佛相好又云

水流光明及諸寶樹鳥雁鶯鶯皆說妙法

文理趣釋云由此字加持於極樂世界水

鳥樹林皆演法音文口云由此字加持者

此字加持也此字爲字風大種子故出音

故極樂依正皆共此字所變故水鳥樹林

皆演法音妙觀察智有說法斷疑德依之

以西方也可知口云七處加持如常用之

無量壽軌云由結此世界成極樂刹土七

故卽變此三千大千世界成極樂刹土七

寶爲地水鳥樹林皆演法音無量莊嚴如

經所說文是如來印言觀念也如經所

說者觀經等也以此印言加持時穢土草







令修行萬行滿足故令成就大菩提故入不動如智故法諸法自性清淨妙體利障此妙體斷滅煩惱法體分明照了智因此法智轉法輪體語此轉法輪如義語也智轉法輪體語此轉法輪如義語也至諸經意云云大勢云於東門畫天女形表貪欲南門畫蛇表瞋形西門畫猪表癡形北門畫蓮華表涅槃形文是女蛇猪之三三毒也蓮華自性清淨之蓮華即觀自在之本性也

問今即身以三毒置四攝位其意如何答入得自性清淨妙蓮不染之三摩地之時以諸三毒雜染之煩惱直爲入理門而令顯得煩惱即菩提之實義故以三毒置四攝門也理趣釋云或時想已身念訖利二字門成八葉蓮花胎中想金剛法於八葉上想八佛或時他身想嗔字五股金剛杵中央把處想十六大菩薩以自金剛與彼蓮華二體和合成爲定惠是故瑜伽廣品中密意二根交會五座成大佛事文問今此文中所明之自他者云何是念相何是他乎答今欲明定惠和合一也相應之道理故且分別自他後顯不二也先已身想念字成八葉蓮花者當段深密之法門即觀自在之曼荼羅也定惠本自住不二於教門且差別定惠之時當段西方蓮花部法門故約當部已身想蓮華云也念字五股者東方金剛部發菩提心智門法門故且約他部云他身也所謂自部蓮華定與他部金剛惠定惠二體和合顯現

不二法性之曼荼羅也此是前第三段降三世即金剛手之大惠受茶羅歸第四當段觀自在蓮華大定理體而成定惠均等平不二之曼荼羅也是以彌陀之三摩耶形有五股爲蓮華是定惠二體和合之表示也東方發菩提爲華西方證菩提爲花蓋故自東至西也此八葉開蓮之曼荼羅胎中想金剛法者是觀自在也此觀音諸佛大悲也三世十方諸佛源從大悲門出現佛果德涅槃故能生爲中胎所生爲助伴八佛皆向中胎者自第九識自性清淨之本源出還守本所出之自證也又中胎本有八葉修生也本有因修得果今本有之因居蓮實修得之果居葉上者果位有因因位有果是表因果不二修本平等之義也猶如世間現在之果望過去因果是果也望未來果者果返成因因即果果即因今無定相是緣起之實相也又此中胎觀音直是一切眾生一念淨心本有之善根也至此位開顯無盡莊嚴之曼荼羅是云九品淨利是即華藏世界也天衣五股金剛者東方金剛手之種子三形也是爲淨菩提心之體萬行萬善一切果德以東方自淨菩提心無不爲其基本此五股杵是三十七尊之本誓表示也故其件體上有三十七尊配當五股上下五峯者定惠五智是十真如十法界也其中央把處自兩部和合不二處出生十六大菩薩彼把處四重八葉當四八三十二尊加五鬼

目成三十七尊故此五股三十七尊總體也念字二字者皆是有表義字下四四四字合成也四字如次法利因語四親近之種子也胎觀自在王種子也字者利字四四字加念字爲五無礙論種子又念字上有空點下有三味蓋此三字是空無相無願之三解脫門也此是降三世降三毒得三解脫門之意也問始云已身想念字成蓮花他身想念字五股金剛杵云然天下云自金剛與彼蓮華云自他之相違如何答上已身念字他字者當部云自他部云他字自金剛彼蓮華者能證之金剛智爲自所證金剛定爲他互有道理也又次下釋云是故瑜伽廣品中密意說二根交會五座成大佛事者此以世間男女交會一心無二喻定惠和合一念相應也先達云問此二根交會事法唯爲譬喻非即事而真法性故答六大無礙常瑜伽四種受茶各不離故此二根即佛事也問此五座即爲大佛事我等凡夫行此交會即可成佛乎答初心行人全不可破彼第三戒法性雖一體行者觀行可有初後如法華中雖說十界圓融邪正一如修行時行四安樂行也問如此者教與行相違歟答如教如說心發如說行時教行不可有相違未練行人未發如教如說心行也故堅制之間眞言行者遇此教之初知六無礙即事而眞煩惱即體是菩提也行煩惱時妄即菩提觀

一向生執著故大師言無執而到云、和須密多經而梵行者即雖行無染著也、若凡夫人雖行煩惱無一念著可無其過問、自家實談一法一塵無非佛德、若爾此著心佛德外乎答此著心亦佛德也、問此著又佛德不捨之只本凡夫也何時離流轉乎答此是若偏住凡夫執著時著即過也、若此著與佛界無著相應之時著又佛德也、即此始覺前後四相流轉也、本覺俱有四相常住舊傳以多、美喻顯之變鹽酢水等別、嘗之皆舌辛口淡和合之其辛酢等味一、其性不變其味悅心樂身者也、今以此用意可得教談也、菩提心論無始間隔者此各別不知第四微細妄執也、問此妄執捨之乎答是又一德也、准之可思之云、極秘傳云、自金剛者東方三昧耶戒金剛加持之體也、彼蓮華內道場之八葉花臺也、受得三摩耶戒之後成花臺、正覺是二體和合之實義也、若約本覺本有門者第八識能託之識支云、自金剛第九識所託之二諦云、彼蓮華、此色心二體和合能成自體、以是等談見之時、二根交會之談是非譬喻、前直是本覺門之行相也、一經說文者皆是法爾自性會之談故、實義皆在如此內證耳、問何故當段必說淫欲即是道法門乎、答其意甚深云、所觀自在左手蓮華、是一切眾生胸中八識心蓮也、然後蓮者最初入胎之時、赤白二諦和合而妄情託其中、然後漸經五位

成人體、其最初之體即由觀自在加持、成本性清淨之三摩耶形之時、轉一切眾生欲性、直入觀自在不染清淨之三昧者、無能染污故、於當段說淫欲即是道也、云文泉房云、理趣釋云、自身想、蓮花於他身想、五股柱白蓮花、彼金剛二根交會五座成大佛事云、此文心者、他身彼金剛者、金剛薩埵也、白蓮花者、蓮花薩埵觀自在也、彼薩埵智觀智理、其會時、即二根交會即成佛也、成佛者成阿彌陀也、八葉未敷蓮花理也、八葉中胎九識心王也、八葉八佛、中央坐觀自在、給在攝故、八佛入定相也、纏轉無明未明了、故入定相也、薩埵惠心所力依第六識相應時、證妙觀察智、成阿彌陀佛時、彼所具八識皆成佛也、即大日者、彌陀所具法界體性智、阿闍者、彌陀所具大圓鏡智也、寶生彌陀所具平等性智、不空成就彌陀所具所作智也、二根交會者、彼未敷中金剛薩埵五股入冥會時、彼八葉心蓮、披五智金剛顯也、五股即彌陀所具九識轉成五智形也、五智者、五佛也、前八葉心蓮、九識也、轉九識成五智事、依妙觀察智也、因位智劣、識強故、胎藏以五股惠心所為蓮花形、莖果位智勝、識劣、故以蓮花為座、住五股上、觀金剛蓮花、此心也、此故蓮花所有九識、八葉九尊座給、五股德有五智、五佛顯蓮杆、和合定惠相應、理智冥合兩界不二、智也、彌陀證佛也、亦方便究竟佛也、印八葉印、印上

可觀五股、明金剛界羯磨會明也、不可理趣經觀自在段是究竟不可了也、三毒即涅槃、是即以佛字顯之也、五股有三十七尊德、委可想之、以腕為五股事、辦事也、付理趣釋智、彌陀者、太古元海僧都向西光院僧都被誦、語申彼僧都亦予被誦也、源者元海之說也云、

白寶口抄 阿彌陀法第四

自觀事

無量壽儀軌云即入觀自在菩薩三摩地。結定印閉目澄心觀自身中間兩潔白猶如淨月印在心中於淨月上想觀字放大光明其字變成八葉蓮花臺上有觀自在菩薩相好分明左手持蓮花右手作開花葉勢是菩薩作是思惟一切有情身中具此覺悟蓮花清淨法界不染煩惱於蓮花八葉上各有如來入定結跏趺坐面向觀自在菩薩頂風回光身如金色光明晃曜即思此八葉蓮花漸舒漸大量同虛空即作是思惟以此覺花照周如來海會顯成廣大供養心不移此定則於無邊有情深起悲愍以此覺華華照胸者於苦煩惱悉皆解脫等同觀自在菩薩即思蓮花漸收斂量等己身

觀自在菩薩印

二手外相又二頭指相柱如蓮華葉二大指並立真言曰 唵 囉 日 囉 二 達 嚩 訶 唵 囉 二 合 由結此印及真言加持心額眼頂故即自身等此觀自在菩薩文曰云此自身觀者是我我入觀也其餘尊故不用入我入此自身觀大用本尊加持也問今此文如何成入我入義哉 答行著心月輪上觀本尊種子三形尊形是入

我義也同光照法界眾生得解脫同觀音是我入義也或兩收等己身為入我歟問前入我義先行者同觀音次本尊阿彌陀入我我入云今入我義觀音開入我入相違如何 答兩義共不違觀音與阿彌陀同體故也或云先行者入觀自在三摩地成觀音次阿彌陀入我入者即觀音與阿彌陀成一體義也其故觀音住穢土為眾生善知識故先入其三摩地是從穢土向淨土從因至果義也云或先自身觀時同觀音舉本尊加持時可觀入我入義也本尊大日所變彌陀行者觀音所變彌陀也故本尊即行者即本尊如此觀想之也或本尊大日所變彌陀行者阿彌陀所變觀音觀音即彌陀彌陀行者觀之也或本尊大日所變彌陀行者彌陀所變觀音觀音即觀音觀音即彌陀本尊即行者行者即本尊觀之也所詮何不苦任行者意樂用之不得意之時皆相違得意之時皆是也云云口云定印者如來付阿彌陀定分明也心月輪者自身中淨月輪也儀軌文分明也觀字蓮花種子故成八葉蓮花也云云問無量壽儀軌云於淨月上想日里字今所引用文觀字云相違如何 答儀軌文觀字也依之常傳成義觀字生不可得義是即蓮花者出生從生死泥而不染淤泥義也以不染為本故加根本字點也大師御傳是觀字也依之今替用觀字實範

HRP

云日里字展轉書寫誤誤日歟但可觀字歟故以觀字可為正說歟云云口云花臺有觀自在菩薩相好分明左手持蓮花右手作開敷勢云此蓮花者一切眾生之胸中八識之肉團如合蓮花故此合蓮花者第九識心王即法性智之實體也為合此蓮花開敷故右手作開敷之勢即空風虛空起風春陽之衆花必依風得開敷故以風輪印為開敷勢次立地水火三指生長蓮華寶緣也立地者收種子母也立水者由水氣得力量也立火者入夏得溫氣冷開敷資福也極秘云此風者解脫之惠風即證菩提之體也一切眾生正證菩提之時胸中蓮即開敷而二利究竟故此印表一切眾生本有之覺體也得此覺之時云開華同合蓮結此印也地水火三指如理智智三點即三密三身等也依此加持故合蓮開敷云安養淨刹指八葉及中臺云九品差別九品各有教主是為彌陀之曼荼羅又此開敷之處即大毗盧遮那解脫法身淨土即花藏世界是也八葉上各有如來入定結跏趺坐面向觀自在菩薩云云口云中臺觀音八葉八佛彌陀也大師阿彌陀次第中有此面實範釋意者八佛者開四智為八佛彼大師圖像八葉皆螺變形如來皆住定印向中臺觀音觀音即諸佛大悲故葉上八佛歸中臺大悲大願也云云又依陀羅尼集經者有中臺彌陀八

葉八菩薩之曼荼羅，今中臺觀音八葉八佛曼荼羅，是從果向因也。觀音大悲之因，成彌陀妙觀察智，此果智向因悲故云。從果向因，是表成果還因之義。實爲因陀八果，能生爲因所生爲果故也。中臺彌陀八葉八菩薩曼荼羅者，從因向果也，是表從實開爲實成之義。故華爲因實爲果，花落成蓮實義可知之。此二種曼荼羅者，彌陀與觀音因果互具影略互顯，所詮於一佛身心應物異相也。

問觀音是因位伴，彌陀果位主也。何伴居中臺中主安葉上乎？答付此有三義。先入我，入是生佛不二之觀門，因位修行之軌則也。仍爲顯因位，因強果劣，識強智劣義也。故實因位以菩薩居中臺也。文泉房云：八葉八佛者，八識心王形也。六識中臺觀自在菩薩者是第八意識也。凡因位九識俱在纏，雖未顯智，用第六識者殊強分別識也。故厥生死欣菩提心，是第六識妙觀察智，用力也。此故此智置中臺妙觀察智因位者，即觀音也以智用強方今爲上首也。八佛入定相是爲客塵煩惱被覆未明了形也。中臺雖爲第九識付智，用之隱方置葉上也。雖然理本通八識，可有其性也。第九甚摩羅識者，本覺真如理性，即八葉中臺可耳也。中妙觀察智，厭惡欣善等善根，從彼真如理起力用，故理上觀智也。凡此宗心心王心數識者，是本有佛也。如實未知自心時，凡夫也。如實知

自心時，即佛也。實兩部對，了全從外來，只是我自心佛耳。云云

私云：文泉房義少相似，故載之。畢又祕傳云：觀音是諸佛大悲爲體，故經云：一切如來大悲心，皆集一體觀世音文。又論云：佛心者，大慈悲是也。文又大師釋云：以彼自體是純金，故爲金人。此菩薩亦爾，純以大悲爲體，文故知始覺道圓之後，更向衆生界起大悲，是果中之果，故觀音安中臺，示果上之果義也。例如以方便而爲究竟也。云云實範記云：菩薩座臺如來有葉者，觀自在菩薩即諸佛大悲諸佛利他大悲爲主，自餘果德皆是爲伴主，故觀自在坐臺，伴故餘果德有葉，而正受相者，則表自受法樂，而向菩薩者是從自利起利，他德此八佛者，即理趣釋八葉佛也。餘文大用也。可見

私云：實範記意，今祕傳義同之載之也。云云

又甚深祕傳云：本有勝修生劣也。自宗習因位爲自證之極，故觀音本有薩埵也。修生佛習化他，跡故彌陀修生佛也。大日經疏云：菩提實義成佛外，迹文此義甚深，專相承口傳也。云云或云：今云八葉八佛中，臺觀音受茶羅，自宗教談大綱只在斯文。觀音因是本有，自宗教談是修生也。觀音本有故，左手持未數蓮，右手作開敷勢，既成極果花臺，其臺上坐蓮子初種子故。開衆生心，蓮成佛了，本有九界衆生也。春

種子秋菓子只同一也。論當知法爾應住，普賢大菩提心，一切衆生本有薩埵說之。大師本有金剛界釋性德法界體性智，故此性德法界本有衆生因位，恒沙萬德圓滿妙體，覺知之，此教成佛即身頓悟也。是不付疵。有性法身妙體，普教主也。而阿彌陀開此實智，證菩提門，故以衆生祕密因位，觀音居內證究竟中臺，以修生成佛外迹居葉上，總兩界四智四佛，雜髮形是果也。中臺大日天子寶冠形，是因位也。此義能存知不可亂失。云云

私云：此義相同故載之。所詮此三重義當流相承也。諸師異義雖區不出此三義歟。

五智房云：中臺金義，此表果即因義。葉上胎義，則表因即果義也。故此曼荼羅互顯因果不二義也。

問此曼荼羅不二者，有證據乎？答：有之。理趣釋云：得自性清淨法性如來者，是觀自在王如來異名也。則此佛名無量義。若於淨妙佛國土，現成佛身，住難染五濁世界，則爲觀自在菩薩。文明知彌陀觀音因果不二曼荼羅也。約果曼荼羅時，中臺觀音即彌陀也。葉上阿彌陀即觀音也。又約因曼荼羅時，中臺觀音不改位表性德圓滿海功德也。葉上彌陀表修因海也。所詮同一蓮臺，故更深淺差別八葉九尊，醍醐之果德故也。大智放於淨妙國土，說法利生，此名阿彌陀。大悲故於難染世界，濟

第九尊種子皆疊字也但臺上觀音也此即彌陀觀音一體異名習之上無相違也或云八佛習彌陀非說也此胎藏八葉也一切有情身中有此覺悟蓮花八葉上各有如來入定結跏趺坐云

本有禮事

彌勒軌云圓明外佛向外禮十方本有法身佛文覺禪云此文意也彌陀我有禮觀音向給也云

度衆生此名觀音但不限觀音一體大悲故一切佛菩薩悉來安樂利益衆生此時皆名觀音故大師觀自在者舉諸乘行人釋給又觀音一切如來大悲悲皆集一體世音說之婆娑世界施無畏者大悲故一切皆可名觀世音也又往生極樂成阿彌陀者即成觀音也其故開極位果云本有本覺薩埵是始本不二故也極樂云初地菩薩所生土此意也自心本初花臺自證本覺心地也垂觀音來迎之花臺表還最初本有法性義也是等深祕也三井慶範法印云同中台觀自在者因位菩薩觀又八葉佛何佛哉師云大寶嚴經中台觀自在王如來果位佛也全非因位菩薩金剛薩埵儀軌阿彌陀形像說左手持末數蓮有開花葉勢像有之此即果位阿彌陀像也然曼荼羅中台因位觀音云義不可有之阿彌陀悲願一切衆生爲開語現此像也衆生成佛時此所持蓮花開敷以彼華來迎也故儀軌則不觀阿彌陀結觀音印次結根本印誦大呪此意也或觀云持三形事果位無之因位菩薩持之何中台果位哉蓋金剛薩埵軌阿彌陀像又樂師如來像持樂索如何又八葉佛東寺十方佛云天台阿彌陀云師說今行者心曼荼羅觀念也心藏八故也大旨胎八葉佛菩薩觀其今阿彌陀爲本體也故應佛何佛沙汰心曼荼羅全何佛云事不可有之故中台佛八葉佛向此

義也云此事諸師說往可習覺之又仰云心曼荼羅中胎觀音果位觀音也所以果位佛因位壽命爲顯不盡之義現善薩形也是觀音因彌陀果云也故開衆生心蓮時中台阿彌陀示因相現觀音像也是自因位開相示故觀音也八葉佛何佛云義不可有之若約心蓮四智四行佛菩薩可云果位心蓮開故極果位八葉顯現給也云已上慶範問答也長夏抄云無量壽軌意先入觀自在三摩地而後成彌陀如後心金剛薩埵成大日八葉如來者即彌陀因位果傍因正也故以果佛安傍云同抄一云觀音三摩地於八葉觀八如來謂彌陀臺上觀自在彌陀第六意識變即肉團八葉心慮心是故約彌陀論之耳云降三世儀軌云就此真言時一切如來從本利土雲集蘇彌盧頂昆盧遮那大覺之中圍繞觀自在菩薩分八葉花足色應用宋中胎觀自在於一葉圖畫大覺形文常喜院云太軌云一切如來蓮華大曼荼羅如云知十方如來歟或通佛云成大日云或云大覺者佛也推之大日觀云凡有三習一胎藏八葉九尊也仍中臺觀音八葉餘八尊也此義意四菩薩觀音既令坐臺上故中臺大日可居臺上觀音坐也一十方佛也且除上下二方餘八方佛如次令坐八葉此則通佛也此通佛經一八葉中臺合九品教主也故九尊皆彌陀也大師御作次



三摩地而彼成滿陀。如彼心金剛薩埵成  
大日文。又云。滿陀觀音一體異名。故印言  
互通。雖理趣釋云。若於淨妙佛國土。現成  
佛身。任難五濁世界。則爲觀自在菩薩文。  
又。大日經疏十五云。大觀世音是阿彌陀  
佛。也。其黃色文。無量壽軌云。結根本印。二  
手外相。又作拳。緊二中指相拄。如蓮葉形。  
結成契。已誦無量壽。如來陀羅尼七遍。印  
於頂上。散文曰云。二。手外縛者。生死之縛。  
義。二。火蓮葉。火大赤色。故。尤。赤蓮花也。滿  
陀敬愛至極。佛放殊赤色也。是於生死之  
結縛上。開本有性德。不染之赤蓮花。利益  
惡業煩惱。樂生善義也云。又云。中指配滿  
陀。故此印德。不染赤蓮花。又法性滿陀。全  
體也。仍三昧耶形。紅蓮印。紅顏梨色。滿陀  
習之。尤其深口決也云。又云。從生死結  
縛泥中。開出自性清淨蓮花意也云。又  
云。八指縛八葉義。加中指一葉。習九品總  
印也。又云。此印依理趣經意者。習一切法  
平等觀自在智印也。中指蓮花形表一切  
平等義。八指外縛八葉蓮花也。彼八分肉  
開有情自性。本性清淨。習妙理。顯其德  
湛定。惠法門。成開敷。清淨表蓮華。三昧中  
指蓮花形。兼顯八指蓮花。一。即一義。義  
一切平等意也。中指中央。兼前後左右。非  
一片。故是平等門也。汗。釋。賦。心。悉。在。一。切  
有情。自性。清淨。蓮花。部。理性。性。也。蓮花。部。亦  
名。法。部。其。故。蓮花。三。昧。義。理。廣。通。一。切。法  
門。故。也。然。則。此。印。顯。一。切。法。平。等。義。蓮。花。

四十一

壽命無量故云不老不死義也。滅三毒十惡等且藥故云十甘露現也。大原抄云阿彌陀佛者不老不死義也。故阿彌陀佛中十阿彌陀佛之句是阿彌陀佛壽命無量故不老不死義也。十甘露者不老不死即甘露妙藥也。如云三十三天不老不死甘露也。故阿彌陀佛亦號甘露王如來。即此也。甘露者天上以樹汁起自自然演密抄云。有甘露者天中甘露有十六分以十五分施衆生已。從餘一分還生如故。云故稱不死。即勝生也。付此大呪句義。仁海僧正阿彌陀大呪句義或阿彌陀大呪中深祕釋要決等多種有之。可見彼云。無量壽軌云。此無量壽如來陀羅尼。機誦一遍則滅身中十惡四重五無間罪。一切業障悉皆消滅。若苾芻苾芻尼犯根本罪誦七遍已。即時還得戒品清淨。誦滿一萬遍獲得不廢忘善提心三摩地。善提心顯現身中皎潔圓明猶如淨月。臨命終時見無量壽如來。與無量俱低菩薩衆圍繞來迎安樂行者。則生極樂世界上品上生證善薩位。又曰我爲當來末法難樂世界惡趣衆生說無量壽如來陀羅尼。修三密門證念佛三昧得生淨土。入善薩正位。不以少福無惠方便得生彼利。是故依此教法正念修行。決定生於極樂世界。上品上生獲得初地。乃在家出家。願生淨土者。應念又云所修善品皆悉迴向共諸衆生。同生淨土。上品上生證歡喜地。獲得無上

菩提記前文  
問。智證難問雜記云。十甘露表十自在及十波羅蜜。十如來地者。何妨尋云。是依十甘露真言十念成就消滅十惡。超過十地。善薩修行成就。十如來地也。何云獲得初地乎。答。祕藏記云。據密教十念成就。謂十波羅蜜圓滿也。或難云。經曰十念成就得生淨土。淨土者淨土者初地菩薩所生之土也。十波羅蜜者十地中地。修地。圓滿者以十念成就。十波羅蜜論者。生淨土時。十地可究竟。何以故。云初地菩薩所生土也。答云。是密教所謂橫義也。初地與十地無高下。故今卿所難次第。義耳。十地自布施波羅蜜至於智波羅蜜。地。各有十波羅蜜。是顯教所說地。遷登之義。今密教所說云。菩薩地者是心也。法文也。佛也。餘乘如此文。或書云。問。真言教意。西方淨土論九品級耶。若九品階位有之者。大呪小呪功能。生上品上生。總中下品所生行者。不見如何。若不論者。九品說法印有之。又十甘露真言九品功能。有見。又應佛國何上下差別無之哉。答。真言行者。生中下品等義。凡不可有之。但所說依顯也。何九品階位無之哉。西方佛業應化示國土利益。末代衆生若爾者。九品大位。可有也。但密教意不可論之歟。問。十甘露真言九品功能。有見者。何文哉。答。其文不明。但俄文見。機誦一遍。誦七遍。誦滿一萬遍云。此文如次下

中上九品階級可之歟。又廣如無量壽經所說云。既指彼經然而彼經有九品差別。何無九品階級論乎。凡真言機有頓漸超三差別。又有大小二機。依之立三種悉地上品密嚴花藏。中品十方淨土。下品修羅窟等也云云。  
私云。此問答旁參差。不甘心也。  
又印事  
大日經云。以初印散水輪。火輪名蓮花藏。印文疏十七云。如前作此三補吒合掌。其二水手指開張。初刺花形。如來藏印。又名蓮花藏印。文攝大軌下云。大明無量壽蓮花藏大印。初印散火水合。空亦然云。私云。已上本文不散風指。仍初刺蓮花形也。故非八葉形也。  
青龍軌云。開敷妙蓮花。大師御次第云。作開敷蓮花印。誦真言散頂上云。依此等胎藏蓮花藏印者。作八葉印也。問。如來藏者。其體何物。答。如來馬陰藏相也。即陰藏蓮花三昧異名。可尋之。注釋云。蓮花藏彌陀蓮華印云。華藏印。又爾也云。口云。蓮華藏印者。八葉開敷印也。是胎藏界八葉西方無量壽印明也。此八葉即胎藏八葉九章約阿彌陀時九品教主也。故以此妙蓮花王持華藏界也。此印云蓮花藏印。表華藏界故也。祕藏記云。華藏世界華花者。理也。理遍法界。藏諸法於其中。故曰華藏。是花藏世界最上妙樂。異其中故曰極樂。當知極樂與花藏雖名異



而非異處。文故胎藏一曼荼羅與俱樂世界無差別。故教主阿彌陀者。胎界大日如來也。全非異人云。又云此印結八葉開數合立兩腕爲華。是獨股義也。卽兩部不二理智一體獨脫上開我性心蓮爲阿彌陀三昧耶也。論云凡心如合蓮文祕藏記云。凡夫心如合蓮花。聖人似開蓮花。文是開蓮花卽佛心也。觀經云。佛心者大慈悲心是也。文故開凡夫我性心蓮花八分

肉團爲彌陀佛心蓮花藏事。此印表示也。問次第云。至于法菩薩印明者。雖爲觀音之印。眞言又彌陀之印。明用之。是相傳師說之上。非無證據。儀軌并理趣釋。可見之云。其證據如何。答。儀軌說觀自在

三摩地其中臺居觀自在菩薩是即阿彌陀如來也金剛薩埵儀軌說阿彌陀形像畢云左手持未敷蓮右開花葉勢像有之此即彌陀觀音一體故說同印像理趣釋云若於淨妙佛國土現成佛身住維摩五

淨世界即爲觀自在菩薩文故知彌陀觀  
 音只眼目異名也豈觀自在非阿彌陀乎  
 教王經三云無量壽佛是觀自在王如來  
 亦爲法卽金剛法文觀世音在金剛法  
 菩薩也疏十五云次觀世音是阿彌陀佛  
 也其身黃色文爾陀觀音一佛之義可知

此二尊殊理智不二德顯之。合行法也。云  
問阿闍寶生法加用四親近菩薩印言。今  
次第不載四菩薩由緒如何。答阿彌陀  
釋迦兩法不載四菩薩印言事不說彼軌



白寶口抄 阿彌陀法第六

印言異說事

四十八願印言左 右作拳 空指中立端直  
并二地中開立印成實言曰 唵阿吽欠 咸  
大或說合掌二水二火二風入內合背明  
大呪七遍  
私云二印二地開與合相違也  
兼意云二手內縛大指小指合端真言曰  
我印了 志 志

廣云二手內縛大指小指各開立說法利  
他印真言口傳 我印了 志 志  
私云此二印二大二小開合相違也  
覺印圍梨云二手外縛大指小指端合明  
大呪

又四十八願成就印 處心合掌二地二風  
散開二大並立明 我印了 志 志  
已上二箇印言五大願之火用之已上  
賢覺法眼傳臨終印內縛呪 勝上三摩  
地印也二頭二火二水二地相又八葉也  
當此八指端誦小呪六遍是六八四十八  
也仍名四十八願印二大指並立定惠其  
足阿彌陀也如此了印成定印二火二水  
二地外相又六道也如前指端大呪六遍  
並六八三十九也六道六具六道也二  
大二頭指相檢阿彌陀也 已上  
或云梵成因行四十八願其印結外縛定  
印誦彌陀小呪先從右小指次第誦小呪

一遍動一指如此至頭指誦明四遍動四  
指次從左小指次第如先四遍也次亦如  
先右四指四遍亦如先左四指四遍如此  
六遍誦呪動二手八指是配當六八四十  
八願也如此因行四十八願成就了次結  
妙觀察智定印成彌陀果也用大呪但二  
手中水小六指表六道也既證彌陀果後  
利益六道衆生意也此六指即外用表示  
也二大二風指端集一處自行也外縛六  
指化他皆滿足了云  
九品往生印言事  
上品上生印二手各五指頭指檢左右同  
側向外並 上品中生印二中大指  
上品下生印二無名二大指 中品上生  
印二手二大指二頭指檢胸前左仰右覆  
二寸離 中品中生印大指中指檢 中  
品下生印大指無名指檢 下品上生印  
左右腕互相背右內左外二大指二頭指  
檢 下品中生印二中指二大指 下品  
下生印大指無名指檢真言曰  
唵阿彌陀多婆婆訶  
九印同用之云  
上上品以衆色押黑道定惠同  
真言曰  
我印了 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志  
唵阿密唎二妬納婆吠達摩訶哩婆婆訶  
上中品以虛空控炎中上輪如上  
真言曰  
我印了 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

唵阿密唎多三婆吠達摩訶哩婆婆訶  
上下品以大力菩薩押水白在王  
真言曰  
我印了 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

唵阿密唎多婆婆吠達摩訶哩婆婆訶  
中上品以前一印仰左立右安甘露海上  
真言曰  
我印了 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

唵阿密唎多悉密達摩訶哩婆婆訶  
中中品以前二印安在乳上如上  
真言曰  
我印了 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

唵阿密唎多密摩達摩訶哩婆婆訶  
中下品以前三印處養生上如上  
真言曰  
我印了 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

唵阿密唎多尼乾禰密達摩訶哩婆婆訶  
下上品以前一印背合立朱雀上  
真言曰  
我印了 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

唵阿密唎多尼乾禰密達摩訶哩婆婆訶  
下中品以前二印  
真言曰  
我印了 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

唵阿密唎多尼乾禰密達摩訶哩婆婆訶  
下中品以前二印  
真言曰  
我印了 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

唵阿密唎多尼乾禰密達摩訶哩婆婆訶  
下中品以前二印  
真言曰  
我印了 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

唵阿密唎多尼乾禰密達摩訶哩婆婆訶  
下中品以前二印  
真言曰  
我印了 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

唵阿密唎多尼乾禰密達摩訶哩婆婆訶  
下中品以前二印  
真言曰  
我印了 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

唵阿密唎多尼乾禰密達摩訶哩婆婆訶  
下中品以前二印  
真言曰  
我印了 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

唵阿密唎多尼乾禰密達摩訶哩婆婆訶  
下中品以前二印  
真言曰  
我印了 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

唵阿密唎多尼乾禰密達摩訶哩婆婆訶  
下中品以前二印  
真言曰  
我印了 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

唵阿密唎多尼乾禰密達摩訶哩婆婆訶  
下中品以前二印  
真言曰  
我印了 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

下品以前三印玄武相安寶部上  
真言曰

唵阿彌陀多囉上 奴批婆縛達摩乾哩  
娑婆訶

娑婆訶

印林云已上九印慈覺大師密傳云

虛空大指也。夾中上輪中指也。大力菩

薩大指也。水自在。無名指也。甘露等乳

上也。朱雀火輪等心上也。

又云。上品上生。待願吹。上品中生。待願吹。

上品下生。待願吹。中品中生。待願吹。

中品下生。待願吹。下品下生。待願吹。

下品中生。待願吹。下品下生。待願吹。

下品下生。待願吹。下品下生。待願吹。

下品下生。待願吹。下品下生。待願吹。

下品下生。待願吹。下品下生。待願吹。

下品下生。待願吹。下品下生。待願吹。

下品下生。待願吹。下品下生。待願吹。

下品下生。待願吹。下品下生。待願吹。

下品下生。待願吹。下品下生。待願吹。

下品下生。待願吹。下品下生。待願吹。

下品下生。待願吹。下品下生。待願吹。

下品下生。待願吹。下品下生。待願吹。

下品下生。待願吹。下品下生。待願吹。

下品下生。待願吹。下品下生。待願吹。

下品下生。待願吹。下品下生。待願吹。

下品下生。待願吹。下品下生。待願吹。

風。字因故也

廣云三三品往生總印。左手仰。掌上。右手

空屈。入月左掌上。覆九指各搖動。用。小呪

有。觀口決。又云。別說。以定印。為上品三

生。大呪三遍。又中指屈。為中品三。生。大呪

三遍。又無名指屈。為下品三。生。大呪三遍。實

任云。平等房。說在九品印。皆定印也。上三

生。二頭指。中三。生。二。指。下三。生。二。水。也

云。持明房。同意也。真言各七。遍。合二十

一遍也。又曰。九品往生印。八葉蓮花

印。二大指。開立。九指。即表。九品。唵。阿。密。囉

帝。呼

此一弘法大師御傳云

儀軌云。誦滿一萬遍。獲得不廢忘。若提

心。三摩地。又集經二云。誦呪滿十萬遍

滅罪。命終。生彼國。又說。覺。薩。印。左手

仰。置。心。上。右。手。覆。左。手。勿。相。付

唵。阿。密。囉。都。特。婆。吹。婆。婆。訶

或云。定印。合。地。水。火。三。指。二。手。當。胸。前。亦

成大。日。祕。印。也。良。雅。阿。闍。梨。傳。云

又胸前。寄。兩。手。共。風。空。相。持。餘。三。指。散。立

二。手。相。去。一。寸。許。是。則。上。品。三。生。教。主。祕

印。也。高。野。丈。六。堂。阿。彌。陀。印。下。品。三。生。教

主。印。也。或。云。九。品。往。生。印。言。金。剛。界。并。修

阿。彌。陀。時。道。場。觀。後。可。用。九。品。印。言。若。行

住。坐。臥。修。此。法。時。可。作。入。我。入。觀。誦。小

呪。乎。念。誦。小。往。生。禪。樂。頓。證。菩。提。行。願

速。令。成。就。法。也。廣。云。九。品。佛。九。界。佛。性。也

阿彌陀三身印事

二。手。各。二。大。指。二。頭。指。相。校。左。仰。右。覆。當

喉。次。大。指。中。指。相。校。當。心。次。大。指。無。名。指

相。校。當。臍。真。言。曰。囊。莫。三。曼。多。沒。歐。南。阿

三。身。同。用。此。真。言。也。或。舉。右。垂。左。左。右。共

向。外。即。名。法。身。說。法。印。明。曰

報。身。說。法。印。前。印。左。右。共。校。空。火

化。身。說。法。印。同。印。左。右。共。校。空。水

或。左。右。共。立。胸。前。二。手。同。風。空。相。向。一

寸。許。不。付。也。又。云。虛。心。合。二。大。二。風。各

開。散。二。空。之。頭。置。二。風。之。上。云。真。言

特。婆。吹。達。摩。訶

又。說。云。三。身。印。是。慈。覺。大。師。仰。左。掌。置。心。上

伏。右。掌。置。左。掌。上。二。掌。相。去。二。寸。許。法。身

堅。實。合。掌。十。指。末。下。向。觀。身。同。合。掌。十。指

末。向。上。身。身

決定。往。生。真。言。曰

唵。阿。密。囉。都。特。婆。吹。婆。婆。訶。有。三。遍

已。上。印。隱。而。可。作。之。是。師。傳。也。三。印。名

阿。彌。陀。許。可。印。也。三。途。八。難。等。之。一。切

群。生。垂。大。慈。大。悲。也

或。說。云。舒。左。右。掌。各。屈。大。指。著。頭。根。左。當

臍。上。右。右。當。下。中。間。五。寸。許。身。虛。心。合

開。腕。放。合。大。指。成。下。報。身。次。上。下。印。向

上。法。身。用。決。定。往。生。真。言。極。之。中。最。極。也

三身即一印事

內縛直立二中頭柱如針二處各相捻如彈指此印真言隨西國之所傳也

即身成佛印事

二手合掌二水二風入掌合甲二中指開立

彌陀許可三印事

二手以二大指捻二無名指左掌仰右掌覆誦小呪

指開散同用心呪金剛界二手合掌誦同心呪

又云彌陀許可印二手中風已下八指二空指入掌掌內以左仰置心上以右覆左

決定往生印事

二手合掌二火二風各開散

或加歸命可

此真言諸家集名決定往生真言野僧

真言集云決定往生淨土真言寂山延

懷云決定往生真言

羅尼經曰奧載之名阿彌陀佛心呪

見云私云見彼執名尊勝陀羅尼心真言無決定往生名云何云般舟三昧經云蓮合頭中名開立八葉印也

若念一遍如念阿彌陀佛九十萬遍命終

必往生極樂文九品往生陀羅尼經云

本合掌二風各開立

佛命終時決定往生真言那世界云成普

南唯阿密疎都特婆吠薩婆阿若念一遍

如念彌陀經九十萬遍乃至三遍便記得

○日夜六時各誦三七遍○於形像前翻

跪合掌誦三七遍日恒爾即滅四重五

逆十惡誘方等罪悉得除滅現在不為一

切諸邪鬼神之所惱亂命終之後任運往

生阿彌陀佛國何況晝夜受持誦誦功德

不可思議願往生者皆應誦云或云二

手二風二火屈以二大指押二水二火之

真言同上

也明決定往生真言真言同上略之又云右手以大指押中指無名指甲頭指小指

舒左手亦如此然後兩手中指無名指第

一節指合第二節少分相離頭小二指左

右相柱

私云此說文少違前說云

廣云內縛大風空各開立呪同之略之覺云

虛合火風散安風上呪同之略之覺云

成就抄云天台記云三世諸佛金剛不

壞之身摩訶般若經若畢竟空理也

界不如義即第一義僧也

一體三寶之義也

或云輪印集經二云彌陀輪印左右手以

二大指各捻無名指頭右押左當心云

最極祕中之祕密決定往生上品上生蓮

臺旁不可授與不信懈意之輩云

臨終印言事

二手金剛合掌二無名指外傳隨息入道

真言曰

唯阿彌陀迦羅耶摩訶昨乾哩沙呵

結此印及由誦真言故觀世音菩薩及虛

空藏菩薩來說法迎接

阿彌陀一念往生印事

內縛二大出立真言曰

口云於二大有多智謂右大阿彌陀左大



尾也中間六指外縛左右翅也用此印故  
孔雀鳥不擇一切毒蟲等悉噉食之此章  
不簡一切極惡不善罪人以一念稱名緣  
消滅重罪引接淨土給事爲顯之用此印  
也或云立合二地二空成一貼形分上下  
表大日彌陀法應二身名此大獨貼印又  
中間六指外縛表六葉蓮花故號蓮華三  
昧耶印六葉即是六道衆生所具六識也  
眞言曰唵 阿彌陀

永嚴法印奉造九體丈六彌陀以密嚴房  
上人爲供養導師不辭說法之感所被授  
上人祕印也故號布施印也此等印皆以  
縛爲本之故或立中指或立地空等也於  
三毒具游泥以一道清淨妙蓮不染佛智  
引接六道衆生連合證六大法身妙果故  
此印煩憫卽菩提意也

大日阿彌陀不二祕印事

外縛二大入掌中並立眞言曰南無 唵  
不佛 唵 阿彌陀 胎藏大日阿彌陀不二  
祕印是彌陀法身印也八指外縛八葉蓮  
華以其內虛闕爲月輪其月輪中有眞似  
二葉成彌陀大日二佛卽是不二故雖似  
法應不同二佛更無差別也又內縛二大  
外並立眞言曰 唵 阿彌陀 金  
剛界大日彌陀不二印也掌中八指八葉  
外卽月輪是云見虛遮那法印惠果臨終  
祕印也說所摩利支天儀軌說之

八葉印事

虛合開二頭臨命 唵 開二中 祕命 唵 開二

本歸命 唵 阿彌陀 誦之開 唵 阿彌陀 事 胎藏  
三部義開三部時必成八葉胎藏一受茶  
羅三部八葉也開此三部體兩部因 唵 不  
二和合時成三部八葉已體也故誦 唵 阿  
彌陀 深義也而胎藏一受茶羅蓮花體  
又阿彌陀蓮花部體也此印明阿彌陀  
體性悉盡故以此印明爲阿彌陀灌頂印  
明也可見十日抄

寶冠灌頂印事

外縛二中直立進力相拄作蓮葉安額上  
眞言 唵 阿彌陀 唵 阿彌陀  
深祕云外五股印 唵 阿彌陀

私云印金光明胎界是理智不二義也  
又四 唵 因卽果云意也故天台釋云此  
因無易故云直云至文振鈴後五股印  
三十七等一字必從部四處加持云

阿彌陀十二印事

一根本印二羽外縛二空並立二火時拄  
如蓮葉眞言根本眞言也 有軌  
二大身印卽虛心合掌以二地絞水背以  
二風押二空頭用小呪  
那莫阿彌陀 唵 阿彌陀 婆引去 耶莎阿  
三 大心印不改前印以二風押二空甲上  
入月眞言  
唵 恒他 唵 薩路 引夜 引呼  
四護身結界印不改前身印二火入月爪  
甲相合加持五處眞言

唵阿密哩 多 帝 嚩 嚩 囉 呼

五坐禪印不改前印中立忍願如針眞言

唵阿密哩 多 帝 嚩 嚩 囉 呼

六滅罪印二手虛心合以二風當二火第  
三箇以二空押二火第二文二地開立

眞言曰

唵 乾哩 阿 唵 乾哩 唵 哩 呼

七小心印各以五指押四指甲仰左俯右

入掌中如環眞言曰

唵 乾哩 唵 哩 呼 莎 阿

八頂印內縛二火相交眞言

唵 三 婆 呌 莎 囉 河

九轉法輪印二手開中二以二空押二水里

右押左當心眞言

唵 達 摩 哩 莎 囉 河

十療病印以二拳仰左覆右當臍集經二

云阿彌陀佛療病印先仰左手四指仍

屈卽以右手覆於左手手四指亦屈

與左手急相鉤合二拳節節各拄掌心

其二大指各直奴之是一法印降伏一

切諸惡鬼神有人病著當用印之其病

卽愈此等諸印皆誦心呪文眞言

唵 彌 上 修 婆 婆 囉 河

十一隨願說法印二手舒五輪以二空押

二風輪仰左安乳下立有向外眞言

唵 旨 哩 達 摩 唵 哩 莎 囉 河

十二妙觀察智印在軌定印也

唵 三 摩 地 半 度 嚩 瑟 訖 哩

右契印等功所能說可見陀羅尼集經

第二卷已上 十二印祕印也





白寶口抄 釋迦法上

本書事

本梨曼茶羅呪經一卷  
寶樓閣經三卷

大日經并疏

陀羅尼集經

大佛頂經五佛頂兩本

教王經

略出經

攝真實經

金剛界軌

胎藏界軌

釋迦如來持念次第一卷 法三宮

名字事

梵號 亦作阿彌陀 不

金剛界梵號

胎藏界梵號

不空 動 不 動 不 動 不 動

密號 不動金剛又寂靜金剛又悉地金

口云釋迦牟尼如來略名釋迦文佛是梵

語廣略也釋迦牟尼此翻能仁寂默能仁

者姓也是先祖氏也始鬱摩王第四子積

奇初至雪山北人民歸之稱爲強國父

王往詔辭退不還即遙嘆曰我子釋迦釋

迦者能仁也佛爲彼裔故姓云釋迦即淨

飯王御子也故理趣釋云時調伏難調釋  
迦牟尼如來者於閻浮提五濁末法爲調  
伏九種異類外道現八相成道皆得受化  
致於佛道現生釋迦族中乃姓釋迦氏牟  
尼者寂靜義身口意寂靜故稱牟尼又疏  
十二云牟尼者寂靜義也常寂之土微妙  
寂絕幽深玄遠不可以言說云如是法界  
寂然大滅度法唯佛一人究竟清淨故名  
牟尼也文是寂靜故不生生死能仁故不  
住涅槃寂者現相無相默者無說而說也  
亦悲思故寂也離言說故默也是即諸佛  
所說法身妙體也又大智律師云以惠故  
不住生死以慈悲故不住涅槃文但此約  
內證歟外用時云度彼焦即一切衆生惡  
業煩惱熾盛日夜常恒無窮盡喻海水流  
入波焦山無盡故以衆生喻波焦山釋迦  
出世成道濟度衆生故名度波焦也  
問釋迦牟尼者釋迦氏也牟尼此尊別號  
也故以牟尼爲名號疏十三云金色牟尼  
佛也亦是佛  
答具云釋迦牟尼佛略名釋迦文佛是反  
音略也反牟尼二字成三即マミムモ  
故取也他音屬自之故成文是マミ之マ  
字故也

第三十云釋迦師子大能仁能中能者寂  
默尊文可知也  
成所作智

口云金剛界成所作智祕藏記云成所作  
智者二利應作故曰所作妙業必遂成之  
稱也文

不空成就如來

疏十八云此是暗字一切眞言之心於一

切眞言最爲上首常知此即不空教眞言

也不空者隨一切衆生所有見聞觸知無

空過者皆必定於無上菩提故名不空也

文復次隨喜彼善願者能滿足乃至衆生

大菩提願亦能滿足如大寶王在高幢上

充足一切故名不空也文

問此父胎藏大日百字中央暗字功能也

何以之可釋金剛界不成就義乎答兩

部一體上二德不可爲各別也但百光遍

照者與字置頂上即頂上百會常釋尊依

用不苦歟又不空義何同義也但不空者

決定義即大日如來令諸衆生必定成於

無上菩提是義不空故名不空成就也教

王經疏三云大北方不空成就如來也以

大慈方便能成一切如來事業及以衆生

事業由毘謁磨善巧方便能成就一切

有情菩提之心必竟不退文攝眞實經中

云北方不空成就如來我是金剛不空必

定得果是定得果我是釋事業能成就我

是能到一切所我是能作種事業我能

成就妙事業我身之色及諸佛菩薩一切

衆生十方世界山川河池草木叢林皆悉  
五色文出生義云又衆生成就菩提心等  
四義畢竟不退是故名不空成就文

問菩提心等四義如何答具四方四佛義  
故也攝實經第五結無怖畏印左手如  
前次舒右五指以掌面向外入北方不空  
成就如來三昧當觀左字色及我身靈本  
方界井與九方無量世界諸佛菩薩一切  
衆生山川河大草木叢林悉皆五色以  
何因緣名無怖畏一者中方毘盧遮那如  
來能滅無明黑闇出生般若彼羅密等盡  
虛空界洞達光明二者東方不動如來能  
摧一切煩惱復迦惡魔鬼等悉令不動三  
者南方寶生如來能除貧乏施天宮殿天  
飲食天衣服天香樂悉皆圓滿四者西方  
無量壽如來能興行者三昧大樂壽如十  
方虛空無量無盡亦如衆生無量無盡亦  
如煩惱無量無盡如是四義具足圓滿是  
故北方不空成就如來告行者言善男子  
善女人汝勿怖畏由是義故名無怖畏印  
文既具四佛義故此不空成就佛者是方  
便具足佛體也秘藏記云北

其方便文又  
金界梵字軌觀會不空成就種子其字  
異本出梵字是四點具足字也大師圓觀  
云因行證入方便用此五位相當五佛時  
靈寶爲因外花佛爲行證入方便以此義  
可言內寶爲因外花佛爲果若遠此意不  
名大悲胎藏妙法蓮花一行禪師以天台

義爲誠證既達其義寧可依憑乎文以方  
便具足諸字爲不空成就種子故五智一  
體大目也

問不空成就如來釋迦同體義如何答禮  
儀云作變化身釋迦牟尼佛文是先禮五  
佛所北方釋迦牟尼佛也故釋迦牟尼不  
空成就同體也諸釋迦牟尼佛自成所作  
智門出淨佛國土成就衆生給成辦事業  
成就衆生所願不成就衆生不空成就佛  
是方便究竟佛也云

大精進

口云金剛界北方不空成就禮儀云大精  
進北方利益作業大精進門故用行字自  
證化他萬行不勇猛精進不可成就法花  
經云我常勸精進是故我已得成阿耨多  
羅三藐三菩提文心要云精進波羅蜜者  
若人修行不能精進動行其行至求解脫  
者即便墮在奈梨生死海中巡六道無由  
得出須被精進圓錐摧懈意之魔文疏三  
云精進是一切善法之根本能發動先世  
福德如雨潤種能令必生若無勤勇之心  
別望有宿殖之業無由發起乃至今世利  
樂尚不可得何況菩提道耶文同十一云  
行者一心精進如救頭燃以精進不放逸  
故乃至能於此生得佛知見文蘇悉地經  
疏云精進度兼貫諸度故若無精進諸度  
無有精進度兼貫諸度故若無精進諸度  
薩以精進爲首行於諸度是故今文且以  
精進稱歎其名兼得諸度也文凡北方精

進故五智正覺極位六道能化體也精進  
有內證可思之云

萬德莊嚴

疏十七云此是佛音莊嚴印亦是萬德莊  
嚴印也亦云內外莊嚴也如世間人有種  
種室宅衣服車乘事等衆寶之具無所  
不有以莊嚴之則名萬德皆具文

天鼓音如來

大日經一云北方阿閼佛文又云北方不  
動佛離惱清涼定文義釋云利益有情大  
善提心無顛動敬文疏四云於北方觀不  
動佛作離熱清涼住於寂定之相此是如  
來涅槃智是故疏云不動非其本名也本  
名當云鼓音如來如天鼓都無形相亦無  
住處而能演說法音警悟衆生大般涅槃  
亦復如是非如二乘水寂都無妙用故以  
爲喻也文善提心義云抄記云上經云北  
方阿閼文經說也今以鼓音爲定是瑜伽  
義也云

問此胎藏北方鼓音佛釋迦一體歟如何

答是同體也三種破地獄執云次惡字在  
北方是正等覺果其佛名鼓音是釋迦牟  
尼也即是涅槃變通反本故涅槃也佛日  
已隱於涅槃山故黑色也文

微妙聲佛

陀羅尼集經十云北方微妙聲文口云疏  
音如來微妙聲佛者是義同即安釋尊說  
法利生也故法花經第一云吹大法螺聲  
大法鼓文皆是喻法音俱驚覺長眠衆生

令開覺悟之正義也。縱直雖不聽聞在世說法滅後我等遇顯密權實之教法發心修行。偏是依彼善德諸佛利生方便悉難平等。釋尊不供化用猶過餘佛。義釋物亦復如是。文利生方便深重。釋尊獨勝我等。爲本師何比類餘佛衆生爲慈父滅超勝餘尊誰人不仰乎。法華經二云。今此三界皆是我有。其中衆生悉是吾子。而今此處多諸患難。唯我一人能爲救護。又云。皆是吾子。我卽是父。我皆濟拔令出三界。

文

離怖畏如來

祕藏記云。離怖畏如來北方釋迦牟尼佛也。怖畏如來者。成所作智故用變化身。釋六道四生界爲一切衆生作諸事業。無怖畏也。文。

藥叉

教王經一云。無始無終。日寂阿暴怒。實大藥叉。忍辱藥叉。又云。同經疏二云。藥叉二字。爲不空佛。無漏五識與成所作智相。過於諸國土。成佛事。亦現金剛樂。又等身。降伏難調諸衆生。等故云藥叉也。又悲花經。釋迦因位爲大藥叉。暇食未發三乘菩提者云。又釋尊却末人壽十歲時。現大藥叉吞瞰一切衆生。無餘憂夜。又云。發菩提心人。不可貪食。故諸人怖畏爲免夜。

又舊始發菩提心。依之壽命漸增。是澤迦最後之利益也。祕藏記云。金剛夜々不空成就佛忿怒。自性輪卽牙菩薩。是寂靜身。

也。文不空成就者。五佛中最後一身。一智之極位也。是自性輪。牙菩薩正法輪。金剛夜々教令輪。是又北方最後身故。五佛五菩薩五大明王皆悉入金剛夜々三摩地。初後唯一身也不二。上大二。只在此一章也。

釋迦大日一體

疏五云。於東方初門中。先置釋迦牟尼。坐白蓮花。作說法之狀。此白蓮花卽是中台淨法界藏世尊爲令此教廣流布故。以此生身輕轉而演說之。然與本法界身無二無別。故云住彼而說法也。又大悲胎藏瑞伽云。珍諸問和上曰。大日與釋迦爲一爲二。否和尙答曰。不來一佛。無有二佛。但約機見。似在其別。儀軌云。體素心體藏等。卽皆是。大日尊。一身上。下事更無異文。雜記二云。釋迦者。法身如來。傳教之身。螺髻之髮。此相也。相者。相應機緣也。亦表佛相也。製案者。表相和合像及忍辱義也。云。智證大師疑問云。住海雲記云。金剛三藏和上云。此處遮那卽釋迦牟尼。從法性身爲名許之。否。或云。顯密二教皆有一佛所說。今師許之。云。疑三藏和上實爲有此說歟。隨機現身。化物故。若爾。大日垂髮形。如菩薩釋迦。不爾。形同比丘。何爲一佛。或云。以化身攝法身。攝故爲一佛。約化機全不然。或花嚴師。又有此執。或真言師。亦立別佛。天台智者。說法身大果。應用圓滿極在妙覺。不縱不橫。具足成然。乃至明三身優劣。

不得其意。只釋迦卽遮那。故普賢觀經云。釋迦牟尼名毘盧遮那。或經云。或見釋迦。或見遮那。當知法身遍一切處。應身常法界。是異釋迦。求遮那。就體爲遮那。約用爲釋迦。體用廣大如法界。究竟如虛空。云。今宗指此說。用樣之如何云。此等文釋。迦大日一體。義分明也。只大日向機說法。利生常體云。釋迦也。祕藏記云。問經云。釋迦則毘盧遮那。其心如何。答。毘盧遮那屋燈之時。諸穴俱時放光。是此無數心。成佛時。無數心主同時放光。佛是此無數心主。各各名別。各各垂迹。樹下八相成道。然則釋迦是。心王所心主。釋迦之迹。乃至世間。出現一切佛菩薩。皆是各各心主之迹耳。雖歸本皆毘盧遮那。據三昧門。各各三昧之化。是故各各名別。是一三昧所具餘三昧。如帝網之義。文。

釋迦一字金輪一體。釋迦金輪螺髮形。住日輪。定印上。置輪。大日金輪五佛寶冠者之。住智拳印。其差別等。可在金輪法也。云。

釋迦佛眼一體

瑜祇經八字印。釋迦成正覺。義相故佛眼者。釋迦佛眼。依之釋迦小用佛眼明也。常喜院云。久成釋迦者。卽佛眼部母若薩也。故壽量品云。我以佛眼觀其信等。亦名不宅見菩薩文。義釋云。安置佛眼。亦是釋迦牟尼佛母。此方譯爲能寂母也。云。釋迦能寂母也。委細有佛眼法云。

釋迦金剛手一體

口云金剛頂經釋迦牟尼如來名一切義成就菩薩時云悉融太子可思合之此一切義成就菩薩即金剛手菩薩也仁濟云胎三部事佛部大日蓮花部觀音阿彌陀金剛部金剛手即釋迦云云是小野說也金剛手與釋迦同體故也指歸云示現釋迦牟尼佛降於閻浮提變化身八相成道皆是普賢菩薩幻化文

釋迦降三世一體

理趣釋云時調伏難調釋迦牟尼如來者於閻浮提五濁末法爲調伏九十五種異類外道現八相成道皆得受化致於佛道現生釋迦族中乃姓釋迦氏牟尼者寂靜義身口意寂靜故稱牟尼於須彌頂三十三天金剛峯寶樓閣中毘盧遮那佛轉法輪輪有四種所謂金剛輪寶輪法輪羯磨輪其四輪皆攝在二輪中所謂正法輪教令輪即彼毘盧遮那於閻浮提化八相成佛度諸外道即於須彌頂示現威猛忿怒形降伏魔障普羅等諸我慢妄自恃具一切智由貪瞋癡一切難染薰習藏識文意者大毘盧遮那如來於須彌頂三十三天金剛峯寶樓閣中轉輪有四種是金寶法輪之輪也此是如來四方四智四部法輪也自具三十七智之曼荼羅如來大悲無窮盡故以四輪攝二輪中此二輪能摧破諸異類之外道等僞快邪計等其

二輪者謂正法輪教令輪也今大日如來

自須彌頂下閻浮提現生釋迦族中化八相成佛度諸外道等此是如來正法輪身也又大日如來於須彌頂現降三世形降伏魔障普羅等邪計是名教令輪也此二尊猶如鳥二翼能助如來之本誓悲願深重大悲以可察也

問釋迦與降三世同佛歟異佛歟答檢根源者二佛同大日所變也豈異乎但一切佛菩薩皆是雖大日所變必指根源不爲一佛有同佛有異佛雖然今此釋迦降三世之二尊全是一佛也所以者何金剛頂經釋迦名一切義成就菩薩此菩薩亦名金剛手經文分明也降三世者東方降三世有限阿閼佛所變金剛手自體也然則釋迦金剛手降三世三尊本來一佛不可貽疑滯也

問釋迦是北方教主有限事也今東方釋迦牟尼佛其道理如何答釋迦者穢土之教主立穢土通可互東北兩方也其故善薩之初發心必在東方其能發之人是衆生也已發心名善薩未發心名凡夫又佛發心修行菩提涅槃方便具足東南西北中因行證入時之次第全在之此是從因至果門道理也若依從果向因之次第者自性自受用他受用變化等流如次中東南西北之下化北方等流之時正化衆生界也然今會通此二義者於一切衆生開北方釋迦說此是北方也此衆生開法發菩提心是東方也故知釋迦是爲穢土教

主者兼東北兩方也但教門似有二分二所實是衆生界之分全一所以只約佛之上下下化之次第暫有其差別深可知教門實行二義也

釋迦不動一體

軌云又法華釋迦牟尼如來像右邊畫文殊童子之形像左畫金剛手菩薩微笑形於下畫無動大忿怒金剛著種種瓔珞嚴飾身支分云使者法同之也是上畫釋迦三尊下不動三尊畫之是釋迦即不動尊表佛部文殊即制多迦表蓮花部金剛手即持迦羅表金剛部也

問文殊智故居右方即右利劍故可爲金剛部金剛手普賢菩薩理故在左方即素大悲四攝義尤可爲蓮花部也相違如何答文殊西方蓮花部四親近利菩薩金剛手東方金剛部四親近金剛薩埵也故云

問也又胎藏三部時中胎八葉佛部右觀音院蓮花部左金剛手院金剛部也胎三部即不動三尊一體也可知

底理經云畫釋迦牟尼佛左畫文殊童子像手持金剛金剛下畫不動尊釋迦莊嚴云

私云此文二菩薩左右遠軌文若依此文制多迦居左持迦羅在右方歟

別本經下云畫釋迦像傍畫文殊畫執金剛執金剛下畫無動聖者云

私云此文二菩薩左右不分明也

釋迦所變無能勝疏十云無能勝眞言是釋迦之眷屬亦入

寶處三昧。如上而說眞言。此是釋迦化身。證其無量自在神力。而現此忿怒明王之形。謂降伏衆生而諸障也。又云坐佛樹下摧破四魔兵衆也。無能勝。即無不可破壞之義也。文。

私云。此文釋無能勝之名字也。

青龍軌云。無能勝不可破壞。隱德而化。呼字是釋迦如來忿怒師子。震吼聲文。秘藏記云。無能勝。釋迦忿怒。自性輪慈氏文。

私云。以無能勝明王爲教令輪時正法輪。彌勒也。

又云。金剛樂又。不空成就佛忿怒。自性輪。即牙菩薩是寂靜身也。文。

私云。以金剛樂又爲教令輪時正法輪。牙菩薩也。

又云。又以穢積金剛爲不空成就佛忿怒。自性輪。金剛樂也。穢積即烏鵲摩薩。苦薩也。

私云。以烏鵲摩薩爲教令輪時正法輪。業菩薩也。

### 白寶口抄 釋迦法中

#### 種子事

口云。攝眞實經并大疏十三又不思議疏等。同以口字爲種子。廣大軌以口字爲種子。金剛界并胎藏八葉院以口字爲種子。也是皆有習也。今以口字爲種子。是依胎藏界初門之釋迦也。大日經云。大往第二院。東方初門中。畫釋迦牟尼。圍繞紫金色。具三十二相。被服袈裟。坐白蓮花臺。爲令教流布。住彼而說法。是東方因曼荼羅方也。始出胎藏之門戶。說眞言教法。流布。

闊浮提利六道之衆生云。初門也。依之先用口字也。其故疏十三云。口是有義。即三有也。以本不生放。即離三有三有合本來不可得也。除此三有而得如來眞實之有。謂諸佛法身也。文同疏云。口是三有。傍有二點。即是除遣三有義也。文是三有者。二十五有之有。有漏也。一切衆生依不捨實。有大悲方便於三界穢土。出化利生也。故義釋云。以王三昧。普現二十五有。隨類之身。皆爲調諸。有令人秘密藏。故加傍點也。文謂一切有爲有漏法。無常破壞法。無實性。而諸衆生依迷執。堅固執著不捨之。故沒在生死之苦海。今以其字遠離不可得。故遍破二十五有。開一切惡趣門。轉無量塵勞。令入大涅槃之義也。故釋迦名破。

有法王。法花經云。破有法王。出現於世。隨衆生欲。種種說法。文又義釋云。即是王三昧。能破二十五有。釋迦牟尼。具此義。故名爲破有法王也。皆是義也。又云。三界二十五有衆生。悉釋迦有。垂一子慈。令得法身。如來本不生理。故青龍軌云。以本不生。故離三有。得如來眞實有也。文是轉有爲無。常有事。偏釋尊一佛作業方便也。法花經云。今此三界皆是。我有其衆生。悉是吾子。而今此處多諸惡難。雖我一人。能爲救護。文此意也。又云。有者。煩惱義也。其故大日經說。口字功能云。摧伏一切煩惱。一切等虛空。文但付本有修生二義。可意得也。先修生門時。摧滅一切煩惱。成寂靜涅槃之體。義也。本有門。持三界六道。依正二報。一切善惡諸法。當體有知見。大日輪圓具德。無住處涅槃之體。是自宗本意也。

#### 三彩事

口云。鉢者梵語略也。具云鉢多羅。今略多羅二字。用鉢字。但聖天供時。略鉢字云。多羅是皆梵語略也。

問。若爾者可謂鉢。今何謂鉢乎。如何。答。タチツテト五韻相通。故無相違。但讀鉢是有具足鉢多羅之三字義也。先反多羅二字。成タ是タチツテト五韻相通。故鉢字讀チ只一字。呼鉢。自然具足鉢多羅三字也。是反音略也。

問。タチツテト五韻相通。ツ亦相通也。何強取チ。呼鉢乎。如何。答。ツ相通。故不苦也。

雖然鉢本清字也。今爲令知三字具足。暫取テ字也。又云。鉢字與鉢多羅一體也。先反多羅成タ。即チツテト者入聲五韻也。故上鉢ハツクチキ入聲字中。グ字加之。讀ハ故。種子三形共一物也。又云。鉢多羅此細應器。又云。救器。是說法對機。故云。應器。其時應字加奈字也。叶機義也。又衆生依化導諸語。有故云。救器。此時救字須具。宇也是濟機義也。又云。鉢以竹煙薰之。天竺以牛糞薰之。食雪山忍辱草牛糞者。是芳故用之。自漢朝牛糞不淨。故用竹煙也。故色黑。是風輪形色也。俱舍云。風輪最居下文世界。國土情非情皆悉依住。風輪又風輪上水輪也。今鉢形體亦水輪也。北方五行時水也。釋迦北方尊。水輪一體也。風水一體。故表示鉢。故表示鉢形。水又執持萬物。金剛頂開題云。又此字於五大中水輪種子。一切色法。水能生持。一切天人及傍生大身小身有情皆是水大所生。水輪所持文鉢又金也。水輪上金輪也。故器世間三輪者。此鉢。釋迦尊以此風水金之三輪爲三摩耶形。一切衆生皆悉攝在此鉢。爲令濟度也。今此三界皆是我。其中衆生悉是吾子。而今此處多所患難。唯我一人能爲救護。又此文深重也。以鉢爲三形。能思之云。又疏十三云。能令一切非器衆生皆堪爲法器之標幟也。又演密抄八云。一切非器衆生之德。堪爲法器。遠離諸垢。深信常念利他。是相堪

任真言道法。名爲法器。無是相者。名爲非器也。今釋迦鉢印依法作之者。即同如來持恒沙佛標幟。能令非器獲得如是功德。文執云。婆除三有得如來真寶。相謂諸佛身也。以知舉釋迦爲能喻。表法身持鉢之相。是能令一切非器衆生皆堪爲法器之標幟也。文是鉢者。化一切非器衆生皆成佛法器義也。鉢有土鐵二泥土極軟弱物也。以此泥上造鉢。是化鈍根怯弱衆生爲法器義也。鐵極堅固。和之造鉢。即度強剛難化衆生。亦爲佛法器。故以強弱二緣衆生悉表成法器也。以此義故。本誓三昧耶用鉢。即以此瓦鐵鉢。令受持遺弟等。餘鉢不然也。等既受持此鉢。位代補如來。名稱釋子。故行者不可思凡鉢。即羯磨作業之釋摩也。疏云。若見加持身。即見本地身。若見本地身時。即是行者身心。又此等義可知云。又云。鉢者如意寶珠體。釋尊自證三摩地。即云也。故此鉢。即眞身舍利也。云。

## 種子三形異說事

口云。金剛界種子三形。羯磨也是內證外用。橫豎自在義也。胎藏八葉種子三形。具也是天鼓雷音義也。或三形阿迦陀藥。或云說法印。或三昧耶形也。以有字爲種子。是攝眞實經并疏十三又不思議疏。同用之。以有字爲種子。廣大觀并尊勝破地獄軌。又三種悉地軌用之也。以錫杖爲

三形。或用三衣。是皆有所表也。寶深開梨云。祈願用鉢。爲滅罪錫杖。是祿說也。

## 道場觀事

口云。釋尊者南閼浮提出世之故。不觀妙高山頂。直壇上觀之也。石山道場觀不出樓閣等。依彼次第。故不委細。今如諸尊通道場觀。可觀樓閣也。觀妙壇上。有有字。變成寶樓閣。樓閣上有殊妙壇。壇上有有字。變成迦樓羅座。座上有有字云。已上如次第。略出經一云。羯磨部中想三種子字。於中央想有有字。左右有有字。以其三種子字所成羯磨部中。迦樓羅爲座。又金剛頂經義決云。於有字輪中。種子所變成迦樓羅座者。此爲威力能降諸龍所居。四大海中。迦樓羅鳥隨所向方。龍即降伏。不空業王以之爲座。表以智用隨方羯磨。攝引人有違者云。

問迦樓羅座者。五佛所乘時。不空成就佛座也。若迦樓羅座。可用種子有字三形。羯磨。是受用法身位也。今次第種子有字三形。寶鉢也是胎藏界初門。釋迦種子三形也。彼座白蓮花。何不用蓮花座。變化身。應用受用身。不空成就座乎。答。大日經云。東方初門中。盡釋迦牟尼。坐白蓮花。爲令教流布。住彼而說法。世尊云。此白蓮花。即是中台淨法界藏世尊。爲令此教廣流布。故以此生身標幟而演說之。然與本法界

身無二無別故云住彼面說法也又既生本地自性座何不生受用身所座乎但胎藏界四重曼荼羅之時初門釋迦者變化法身也金剛界四重曼荼羅之時北方不空成就如來者變化法身也禮懺經說五佛處北方不空成就位作變化身釋迦牟尼佛說之故坐迦樓羅座也南部作業暫

無二無別故云此教以自性花臺教出初門傳說全是非他佛只一身一智行相也故第三重密教流布唯一釋迦尊還法性不二花臺初後不二自性身即釋迦釋迦即大日法身也云二自性字作業不可得字迦樓羅鳥亦作業義也此鳥金翅之間九萬八千里即以此翅扇去大海水每日一大龍五百小龍取之吸食也即釋迦尊以大悲翅生死大海斷滅衆生所作六識前五識惡業煩惱等合同法性大空故以此鳥爲座是即煩惱即菩提之義也

編言我禮故不可語人其時沙彌飛入水瓶中即出瓶中了語阿育王言拜聖者不可言人今入瓶小瓶是華例也又云當世山臥物託作法是摩醯首羅請マナフナリト云

命字成蓮花臺事

大爾疑問云海雲記云金剛三藏和上云里處遮那即釋迦牟尼從法性身爲名云問初門釋迦尊第三重變化法身也何故云不二自性身釋迦乎答法性不二大日者吾門法界宮自證花臺也自證極即必趣大悲之化儀故從花臺蓮下最初八葉之北方受用法身也三種悉地執云悉字在北方是正等覺果其佛名嚴音是釋迦牟尼也文禮儀作變化身釋迦牟尼佛文

又迦樓羅此翻遍入是上極虛空下人水中自在無礙故云遍入也實金翅鳥即釋迦釋迦即大日也故疏云見應遮那金翅鳥王也文大日釋迦同體故金翅鳥即釋迦也彼大小龍者我等衆生六識前五識所造煩惱也吸食者煩惱即菩提之義也廣言實義如實知自心云吸食也又云金翅鳥於虛空中飛行自在也此故爲釋迦

口云白蓮花也大日經云坐白蓮花臺文疏云此白蓮花即是中臺淨法界藏世尊爲令此教廣流布故以此生身轉輪而演說之然與本法界身無二無別文即蓮花座者胎藏界迦樓羅座者金剛界也故以兩部爲座故不二尊也

釋迦如來身事

大日經云次往第二院東方初門中還釋迦牟尼圍繞紫金色具三十二相被服袈裟衣坐白蓮花臺爲令教流布住彼而說法文疏五云釋迦牟尼身眞金色具其光耀三十二相所被袈裟作乾陀色坐白蓮花作說法之狀即以左手執袈裟角如今之阿育王像右手緊指即以空水輪相持是其標幟也此白蓮花即是中台淨法界藏世尊爲令此教廣流布故以此生身轉輪而演說之然與本法界身無二無別故云

空進行之義也文

衣應身說法相智手吉祥印理手向上置

此釋迦從虛處遮那字輪而出然無二無別皆遍一切處文同五云然與本法界身

頭摩寺欲禮僧有少沙彌禮之了語沙

衣應身說法相智手吉祥印理手向上置

膝前於白蓮花臺結跏趺坐文

問應身說法印如何答禪林僧正云釋迦手印有三種說法印言印相者左右手當心前頭指大指各各相捻者是法身印也次中指大指相捻者應身印也次無名指大指相捻者是化身說法印也慈覺等流印相之但應身印名報身印也大原四十帖云初門釋迦左手鉢也右手吉祥印者初成道時說法吉祥印也謂火空相捻是報身說法印也疑水空相捻可應身印而佛以大悲為本即以大悲利生法門為法樂故大悲門釋迦指本令結受法樂報身印也又報身毘盧遮那如來有冥顯二利益顯益為十地菩薩現身寶益普為十界眾生施益故從本令結報身印也或儀軌依此義故水空相捻應身印結之云對授記云二手各空水相捻以惠覆定法身印也空火相捻亦覆報身印也空風相捻亦覆應身印也是釋迦三身印也云智證記意亦同之

私云三指順逆配三身相遠易知之也

圓城寺僧正持念次第云延命院恒右手向左當左手印上應身印也神樂岡書長三家次第云師云定惠舒五輪空火捻左仰心前右覆上勿著也法相印相合為報身印返立定惠火爪甲含以空押火法相也云

私云此三身印與前相遠可見云

口云著赤色袈裟云疏五云所被袈裟作乾陀色文乾陀者赤色歟成菩提抄云

赤色云此赤色者木欄色也佛弟子青黑色木欄之三色以之為袈裟色也

三尊像加般若菩薩等

集經一云應身取淨白袈若淨相布闍於任意不得裁割○畫世尊像真金色著赤袈裟戴七寶天冠作遍身光作毘陀羅結跏趺坐七寶莊嚴蓮華座上下燃著金輪輪下作寶池池四邊作鬱金華及四天王隨方立其下左聖文殊菩薩身白色有光七寶璣瑤天衣莊嚴乘師子右普賢菩薩莊嚴如前乘白象師子象中間畫大般若菩薩有三月莊嚴如前手把經蓮端身坐佛頂上空畫五色雲蓋蓋左右有淨居天雨寶花文

又據右觀音左金剛

觀自在授記經云中胎釋迦佛坐寶師子座作說相右觀自在坐蓮花合掌持白蓮花身白紅色藏寶冠左抱白神雲左畫金剛藏菩薩左持金剛杵身淺綠色次復畫八大菩薩彌勒大勢至受殊師利地藏虛空庫除蓋障陀波闍虛空藏菩薩文

又據

一切法莊嚴王經云畫鋪中安釋迦佛像處師子座作說法儀右安觀自在蓮花立有四臂右上手執梵天印左手執數珠左邊安執金剛神左手執金剛杵其四邊安護世四天王云

曼荼羅

釋迦文佛軌云若欲報世尊恩德者作曼

茶羅中央畫釋迦牟尼像金色身具四八相被袈裟應身說法相智手吉祥印理手向上置膝前於白蓮花臺結跏趺坐著賢文殊觀音彌勒住四隅如鉢藏結各蓮花座半跏趺於佛前有如來鉢佛右邊有賢觀含花佛後有錫杖佛左邊有寶璣各安蓮葉上光榮圍繞文

又據

疏十三云著袈裟衣具足三十二相是一切眾生施無畏者以教法利益一切皆令得無畏形也翻索經二十五云釋迦牟尼如來身懷金色結跏趺坐師子寶座說種種法右手揚掌左手作施無畏放金色光文同九云釋迦牟尼佛以右手青押左手掌面而結跏趺坐文威儀形色經云釋迦如來身黃金色左結拳印右開外方無明小鉤中頂大跏左押右垂下右輪服袈裟住白蓮花略

或明師云一說釋迦印右施無畏左與願又說二手俱風空相捻右拳脫右左垂下但所見



## 釋迦法下

智

延壽

印智

省報

火指

寶珠

也。  
所

歐洲

乃至

推推

球

21

阿婆

ع

製



護摩事

口云就息災修之云疏十三云一切衆生施無畏者今得無畏也一切集經云欲避一切障難除一切災病治一切病痛者應作此法文此等文息災義也或就增修之云即釋尊入寶處三昧說眞言是增修義也集經云若人欲得錢財者亦依前法而向東坐呪白芥子一呪一燒一百八遍所求即得文

敬愛

又云若欲得人相愛念者燒白芥子一呪一燒一百八遍如是七日即得如意文

調伏

又云若有怨家泥作其形大小任意取佉陀羅木爲杖唐云藥用打此人打已即燒此杖口恒誦呪念其人名以白芥子攤置火中一百八遍惡人遠去治病亦驗文

滅罪

又云又法誦一切諸呪作此印者一切諸佛菩薩賢聖并皆歡喜身中所犯四重五逆酒肉五辛邪淫之罪并皆消滅文

無病

又云又法呪一切食及菓藥等皆呪七遍然後服之一切無病文又云若呪師若王若臣欲得身無病痛者依前法用燒一切香一百八遍并誦呪即差文

被毒毒蛇

又云若人被毒蛇所螫者呪石榴枝一百八遍以枝摩向身下日日作者蛇毒即差

文

鬼病

又云若鬼病不得語者取白芥子呪二十一遍以打病人如是七日即能得語文

頭痛

又云若人頭痛依前法呪師把香花誦呪七遍然後與病者臭竟一呪一燒二十一遍莎訶前導病者名字病差其病即差如是日日到七日即差文

眼病

又云若患眼亦依前法七日之中以安闌那石唐云銀一百八顆各呪一遍投火中燒滿百八遍其眼即差文

論義

又云若欲共他論議七日之中日日燒青呂蒲一呪一燒一百八遍即得勝後文

牛馬病

又云若牛馬等諸畜生輩有時氣病者取牛馬駱駝驢驘等毛相和著牛乳中從日北取夜夜作水壇中心著火燒呪師面向一切衆生救苦誦此呪一遍竟即燒火中如是一夜一百八遍日日作法滿七日已國中所有一切畜生病者皆差文

見之云

已上集經第二卷說之印言皆有之可見之云

部主殺釋迦金輪

白加持根本印

二手內相又直堅二光如鈎二輪並堅

二蓋平屈柱二輪上

眞言曰 眞言曰 眞言曰

召請 大鈎召印

金輪眞言如白加持加召請句

供物 同眞言加息災句

撥遣 準召請

本尊段

自加持 智吉祥印

定惠各舒五輪空火相捻左仰心前右覆左上勿相者 眞言曰

眞莫總曼多沒款引南引婆薩囉吃哩

二捨薩素娜義薩囉達磨囉始多鉢羅

二鉢多二誡義三摩三麼婆囉

召請 大鈎召印

本尊眞言自加持加召請句

供物 小呪

南摩三曼多勃駄喃一婆上念呪加息災句

加持物 如供物

撥遣 準召請

諸尊段三十七尊

世天段如常

壇莊嚴事

佛供大小十六坏汁十八坏菓子十六坏

日中并每初夜供物無之後夜之時第八坏

檀木乳木藥種加持物常息災法同之

白寶口抄 藥師法第一

本書事

藥師琉璃光如來七佛本願功德經二卷

真元四義淨譯

貞元錄無如來二字橫古今譯經圖記

云沙門釋義淨齊州人俗姓張字文明

暨亂之年辭榮落彩○年十有五志遊

西域○凡所歷遊三十餘國往來間道

出二十年○都譯五十六部總二百三

十卷譯藥師琉璃光七佛本願功德經

一部二帝御法蓮手自筆受

藥師琉璃光如來本願功德經一卷玄奘譯

藥師如來本願經一卷玄奘譯

古今譯經圖記云法炬陀羅尼經二十卷

藥師如來本願功德經一卷等八十一卷

沙門達摩笈多隋云法密南賢靈國人

○開皇十年來肩州州文帝近入京寺

○至大業末譯之沙門彥琚等筆受

藥師經一卷玄奘譯

私檢貞元不入藏錄云舊藥師經一卷

藥師如來本願殊勝隨願即得陀羅尼經

一卷玄奘譯

藥師法一卷玄奘譯

唐代翻藥師經疏一卷玄奘譯

藥師經疏一卷玄奘譯

已上祕錄

諸家云儀軌有多種不空譯依十八道

善無畏譯依胎藏金剛智譯依十八道

加他印契天壽寺本依金剛界或本別

出印契實言或本有印或符禁或經等又

出行法儀式或云依何闍法修之云云

藥師琉璃光如來消除災難念誦儀軌一

卷無譯者

藥師如來念誦儀軌一卷不空

藥師如來念誦法一卷金剛智依

藥師如來念誦儀軌一卷不空

惠什云諸家目錄中全無藥師儀軌仍

何本難指南但消災儀軌難請來日淺

文相似佛說隨先德多分用之但與法

印呪已下集經文也於唐加敷可

等之又此軌世間多分翫然請來如何

答祚一阿闍梨請來也祚一翫然弟子

也即同時入唐人來相藩云然歟又二

三丁有不空儀軌爲書也全不可用云

安養記云消災儀軌云不空譯或人云

金剛智譯然筆體似不空譯與十二神

將呪後人書入云彼軌與云大宋國

左衛天壽寺惠文阿闍梨口請傳誦俱

二年正月八日庚寅日求尋得寫了日

本國人唐五臺山巡禮賜紫沙門祚一

將來云云

私云祚一愛宕山行者云云

名字事

不空譯

錢謨佩殺紫野虞啖吠女哩也薩他多藥

不空

大佛頂陀羅尼云

不空

不空

不空

不空

不空

不空

不空

不空

不空

不空

不空

不空

不空

不空

不空

不空

不空

不空

不空

不空

不空

不空

不空

不空

不空

戒藥師經疏云案十方諸佛現前授記經云琉璃光佛昔在凡位名曰法藥於提維山達青龍光佛初發心後將入第二無數劫時達藥王佛發十二上願文七佛藥師經疏云<sup>阿修羅經</sup>云琉璃光佛於大通智勝如來所初種善根達電光如來發十二誓此佛先生受彌猴身獻蜜大通佛故於第二生化生勝佛所爲第一王子母名分宿夫人○出家修行名蜜維比丘云本願經云行菩薩道時所發十二微妙上願文或抄云此佛壽九十二億一十六歲也此佛發十二大願度一切衆生云云疏云願雖十二而不過上求下化但初二願中通上求下化第三願後唯有下化云

胎藏大日藥師同體事

口云胎藏大日入藥師三摩地除滅一切衆生苦惱病也而印法界定印究竟祕傳也東寺金堂安樂師講堂安金剛界大日是即安置兩部大日意也又小野本佛藥師是胎藏大日也雨僧正御建立頗有深義云又日野號法界寺是有其故歟

光聚佛頂藥師同體事

口云此藥師如來者胎藏界佛頂部中攝也故陀羅尼集經有佛頂中又義淨譯七佛藥師經下云藥師琉璃光如來得菩提時由本願力彼世尊入三摩地名曰滅除一切衆生苦惱既入定已於肉髻中出大光明光中演說大陀羅尼呪日南護薄伽伐帝等云是於肉髻光中所說陀羅尼

即是佛頂光明陀羅尼也依之先德名光聚佛頂八佛頂者是表大日如來無上八德其中光聚佛頂是琉璃光也尊勝曼荼羅以光聚佛頂安東方即琉璃光佛故也凡光明智慧作用也故琉璃光名智慧別稱也惠光聚無上號光聚佛頂惠光寄法藥稱藥師如來琉璃光者身體寄智慧光聚佛頂者願諸智無上是同體異名唯一佛別號也云或抄云此尊攝佛頂部成覺之時肉髻中放大光明光中演說印陀羅尼故也依之先德或用法聚佛頂印或金輪佛頂印云兼意聖賢傳云此尊頂加行之或云白毫功德百千倍成肉髻肉髻功德百千倍成梵音聲佛頂者肉髻佛頂功德殊勝號眞言即梵音聲所成就也經云釋迦白室光內有聲云我功能殊勝也故正說云<sup>即一字</sup>大原云藥師是佛頂部攝也故陀羅尼集經有佛頂之中又其陀羅尼是肉髻光中演說大陀羅尼也即是佛頂光明陀羅尼也<sup>頂光明眞言</sup>七佛藥師抄云以藥師可置智慧院一切佛心衆之處云藥師即熾盛也無間頂相或肉髻相云

釋迦藥師同體事

口云釋迦藥師同體異名佛也即釋迦忿怒無能勝也青龍軌云無能勝不可破壞隱德而化呼字是釋迦如來忿怒師子震吼聲文釋迦即無能勝義可知此無能勝

眞言爲藥師眞言見陀羅尼集經并一字頂輪等是藥師小呪也無能勝藥師一體故其呪一也無能勝釋迦忿怒身故釋迦藥師無能勝即一體異名也又無能勝者世間藥名也華嚴經云善男子海中有香名無能勝若以塗敷及諸蟬具其聲發時一切敵軍皆自退散云此藥力故也藥師眞言亦復如是經說一經其耳衆病悉除三種病怨敵也若聞此呪音聲退散一切衆生衆病也若持此呪得悉地人名無能勝明王也云又釋迦藥師形像印契全同也仍作形像必二尊以左足置右膝上結跏趺坐餘尊不然左足置下也釋尊居東方淨菩提心初門即表東方藥師義也又釋迦鉢印即法界定印此定印者胎藏大日印表阿字本不生法界理也釋迦坐白蓮華是表本地身釋故結本地定印名鉢印取袈裟角故袈裟名無相福田衣是表本地定印故知釋尊即胎藏大日一門也藥師如來亦胎藏大日一門也藥帝印法界定印也是亦表本地定印云鉢云器雖名字各別所詮一物也鉢印尤有除病功能千手經中治腹中諸病於寶鉢手說以此等義思之釋迦藥師一佛條無疑也或云藥師有二傳釋迦藥師大日藥師也凡藥師者以一切如來除病延命方名藥師故儀軌云我有眞言名一切如來治病心呪文釋迦藥師尤可有之釋迦菩薩昔行菩薩行時爲蘇摩苦薩爲一切衆生施



一切衆生當受百病萬惱速設除病真言  
 令得解脫爾時不動佛入三摩地○爾時  
 如來告金剛手言我有真言名一切衆生  
 治病心呪○即說真言曰○此呪大寶對阿  
 閼佛說除病呪明知阿閼佛藥師也又仁  
 海僧正奏狀云大塔五佛中尊大目四佛  
 藥師寶生無量壽釋迦已上又大和國當  
 麻寺五佛內東方阿閼佛手持帶給云  
 又隆遍記云諸經字輪觀書集唐書出藥  
 師字輪觀云云其字曰文以此等思之  
 全一佛同體也非別佛歟如何答先對阿  
 閼說藥師呪故稱一佛是不審也依餘佛  
 事對告衆常例也但如文者以藥師大現  
 名一切如來治病心呪故知阿閼佛亦一  
 切如來隨一也仍可用阿閼如來治病心  
 呪也依之非同體證據歟又大塔五佛依  
 習不用阿閼佛用藥師事是亦非一佛證  
 又當麻寺阿閼持壺事是誰人作哉大師  
 制作尤不審也又隆遍記舉文畢尤不審  
 事歟云以此等不可其證但秘密教意五  
 方五智外無餘佛理趣釋云其五佛者即  
 盡虛空法界無盡無餘佛衆成此五身也  
 文依此意以東方阿閼佛攝盡東方一切  
 諸佛故東方藥師云同佛無咎歟惠什闍  
 梨云問藥師阿閼同異如何答信闍云異  
 佛也問先德皆藥師道場觀以象爲座種  
 子金剛杵三形也又安然錄仁珍和尚  
 多依阿閼軌傳之文又高野中院大御堂  
 以阿閼爲本佛藥師即大師爲御本尊故

也此等皆同佛證據也信闍梨此等義破  
 云諸道場觀說全不可信受阿閼種子三  
 形不可用也顯教意阿閼南方妙喜世界  
 佛藥師東方佛也淨土全別何云一佛耶  
 諸家目錄請來各別也種三形佛頂印  
 或有祕說印又別也天安公之義必不可  
 依用仁珍和尚依阿閼軌傳之者法則作  
 法計歟以此文一佛難得心也就中金剛  
 藥又法以不動法行之文然一明王可得  
 心歟大高野本佛事阿閼降魔外勝佛金  
 剛部上主也爲伏未代魔像大師中院所  
 安置藥師云無記文難知事也云金堂  
 阿閼云藥師祕事可開口傳云覺禪云  
 東方阿閼云藥師事雖無指本說諸家口  
 傳有其趣就中先師以阿閼種三印言  
 用之又中堂法華鼓勝仁王等長講傳  
 皆禮阿閼佛云愚案云兩界中不坐藥  
 師以先德口傳習之胎藏大日並釋迦存  
 藥師金剛界阿閼位攝藥師云然不可用  
 阿閼種三言不空成就事非東方故也  
 五佛勸通時何尊可攝藥師也凡祕宗趣  
 一切諸佛無出兩界故爲此僻見也云  
 種子事

口云藥字者二字合成也字體有不可  
 得三昧字點自在不可得字也者三有  
 衆生四大鬼業之病也四百四病是四大  
 也四大不調時即病發也四大調和是藥  
 也醫王能知調和方合藥大日經疏云譬  
 如良醫變毒爲藥能治病文此能治自在  
 三昧字點義也此藥者以理智教三藥除  
 滅四大病鬼業病三種病苦也理智教  
 三藥者身口意之三密佛進金三部即空  
 假中三諦也諸四大病有鬼病空業病中  
 是三諦義也又四大病身佛鬼鬼病諸蓮  
 花部業病意金剛部也亦鬼病意業病諸  
 也仍三密三諦爲四大鬼業藥心病三者  
 貪瞋癡也食理有瞋智空癡不二中也迷  
 此貪瞋癡三毒爲病毒覺悟爲藥覺悟者  
 如實知自心也迷者三毒即三部三點本  
 覺自家自心萬德不覺知也又云釋迦  
 藥師種子是同義也其故釋迦摩尊三界  
 吾有此十攝十法界遠離諸有令人無爲  
 故加此字點釋尊以出世爲本故也藥師  
 如來三毒爲有其中攝一切病即於世間  
 病有得加持自在故加點也義門暫難  
 殊所詮是一也故釋迦藥師尤一佛一體  
 也涅槃經云龍仁世間大醫王可知之  
 三形事

口云藥字者此尊內證加持理智教三藥  
 之密也能除四大病鬼業病三種之病  
 苦也又云入十二上願之阿伽陀藥治諸  
 病即衆病悉除願有此藥靈功能此藥以  
 法界爲體如釋迦鉢鉢迦鉢食諸煩惱藥  
 師療治諸病患以之爲異凡藥靈者法界  
 圓塔體是淨善提心如意寶珠也儀軌云  
 藥師如來像左手令執藥器亦名無價珠  
 文是藥靈即寶珠義分明也而此尊東方  
 初地淨善提心佛國淨瑠璃世界主也瑠

璃卽寶珠也故依正共寶珠寶體也離此無相善提心更無一法何物非此寶體乎萬德含藏故得此寶樂時消除世出世諸病此寶體三世常住延命本體也是眞寶除病也乃至草木等得雨露緣是樂也故法界悉樂師如來也

問五佛卽可云藥師如來乎答爾也本有法界體云大日四德云四佛故六天無礙位云東方寶體佛色相莊嚴位云南方開敷花佛一切有心智慧位云西方無量壽佛善巧方便事業圓滿位云北方天鼓雷音佛一切情非情皆具此四義故無非五佛者無非樂師者也

問於行者自身成就五智功德事如何答樂生受人身時六大和合寶體佛大圓鏡智也可愛福德無量散花佛平等性智也隨分有心智慧無量壽佛妙觀察智也工巧心並行住坐臥四威儀天鼓雷成所作智也此總體大日法界體性智也云

私云以樂師如來爲首則大日尊亦名樂師如來以此尊爲首則具三十七尊及無量佛刹微塵身大日卽樂師遍法界體性智阿闍梨則樂師圓鏡自性金剛智寶性則樂師福德聚身智無量壽則樂師妙觀壽命智不空成就則樂師別業寂照智日光月光則樂師定惠差別身乃至十二神將八萬四千藥及身亦復如是云此義可通諸尊也法花御開顯見之云

種子三形異說事

妙抄種子云三形金剛杵彼云金剛杵者或三股或五股或獨股云

理趣房傳云種子三形或說云種子三獨股又說云種子三五股

成蓮房抄云種子三形五股或種子三形佛頂心覺抄云種子三形五股或種子三形佛頂

私云用佛頂故此章光聚佛頂一體習之故歟或習金輪佛頂故佛頂部攝也十卷抄云種子三形五股或鉢云私云五股蓮華上立之鉢蓮花上置之也

十種行法記云種子三形三五股上金剛界成身會種子三形光焰用之胎藏界八葉院或寶狀琉璃

又云字獨股又三股又五股又說云鉢或琉璃壺

口云流流種子三形三字也是云阿闍同體義與字寶體佛同體也又胎藏大日同體也是皆云藥師儀軌未渡之間依阿闍執行之故也而東大寺齋然法橋弟于祇一阿闍梨隨齋然同入唐時請來消災儀軌以字爲種子以藥師爲三形其後依彼儀軌諸師以字爲藥師爲三形其當流以之爲習可知云

白寶口抄 藥師法第二

道場觀事

口云藥師道場觀說經說等不分明故流次第師異義是各別也或直壇上有八字變成象上有義字成蓮花臺上有寶字成月輪云或大海中有七寶山山上有宮殿樓閣樓閣中有八師子座座上有八葉蓮臺臺上有種子云今此次第觀淨琉璃世界尤樂師淨土故也問七佛樂師經下云七佛如來各坐獅子座文又消災軌師子座云此故餘流次第有八師子座云今次第八葉蓮臺相違如何答吽迦陀野軌云藥師佛坐寶蓮花座文又別譯軌云安坐寶蓮花臺文依此等軌用之歟但法務厚雙紙云有八師子座座上有八葉蓮花臺云是經軌共相合歟但儀軌不見八葉也問八葉八獅子其依憑如何答藥師如來東方尊是表淨善提心第八識也獅子者勇健善提心義也又東方金剛部攝也是表無上義獅子獸中無上故也又阿闍同體習之時乘白象也象力用最上故表金剛義是非當流意云問次第云藥師如來光明映徹相好圓滿云形像身色印契等不出之如何答只如次第可觀之付此像有不同故也吽迦陀野軌云藥師佛坐寶蓮花座其形金色



烏瑟相也。左手取寶印置左膝上。右手取

有滿字。其字有焰光云。齋然法橋請來

陀果德故居菩提方。以本地觀音勢至爲

私云此文右手持物。無世流布。世間流

像。左手持藥壺。右手作施無畏。但水指少

月光爲脇士。以此等義令持三形臂云。劣

布形像。左手持藥壺。右手施無畏也。

屈之足云。藥師意歟。水指當云。藥師指故

也。善哉明王天等。即因位故。皆持三形。因

不空別譯軌云。壇中心安藥師如來像。左

也。或又定印上置藥壺。是皆不見本文。可

位望果德。劣也。即云本有內證方。是勝金

手合執藥器。亦名無價珠。右合作結三形

尋之

剛薩埵儀軌。彌陀持未收蓮像。同本有內

印著袈裟結跏趺坐。令安坐蓮花臺。下

無畏印。以何爲異乎。答。以肉髻爲異。即彌

證義也。即果德佛持因位也。爲利益衆生

十二神將文。依此兩儀軌。形像身色。呼迦

師如來肉髻無之。但肉髻像。有之歟。降迦

因果不。二始本唯一藥師。也。爲利益衆生

陀野軌說用之。印像持物等別譯軌說用

佛同印也。是傳教大師造二體給傳教同

發衆病悉除。願法性不二大日也云。

之也。是世流布尊像樣也。

行僧本西。搆草堂一字。傳教大師。尋求佛

問。自宗實談。皆存因果不二。若爾。佛。可

問軌云。結三形印者。如何。答。施無畏印歟。

即與一體給。畢件僧奉問云。何佛哉。答云。

持三形。歟。如何。答。諸佛本誓各別故。因果

十種行法記云。藥師琉璃光如來。身相金

釋迦也云。今一體安置中堂。是號藥師

不二義。又各別也。今藥師如來。依衆病悉

色結跏趺坐。左手合持藥壺。右手合作施

佛。只是通佛印也。隨施主意。趣立名號。不

除願令持藥壺。故有此義也。所詮藥壺者。

無畏印。界三項背有圓光。無量相好具足

同歟。慶範法印云。傳教大師於西國四佛

本尊三摩耶身法界體也。法界者。十界也。

圓滿云。黃雅僧正記云。貞記。右掌向外。

造立。但於大山造立七佛。共通佛印。同形

即治九界迷妄。病見十界。依正一身具德。

左掌仰前。左足押右。半跏坐也。東寺金堂

像也。同佛八體造一體安置西塔。號釋迦

全無生佛。取捨見法。爾道理故。諸法當體

左掌仰前。左足押右。半跏坐也。東寺金堂

堂今七佛安置中堂。云七佛藥師也云。

本來非造作法。故本尊即行者當體。即一

并南京藥師寺像如是云。此等皆用施

像也。同佛。八體造一體安置西塔。號釋迦

犯此心病。來從能思之深。祕云。

無畏印。是三形印也。可知

如何。答。慶範法印云。金剛薩埵儀軌。說阿

惠什闍梨記云。傳教大師造立善名稱佛。

十卷抄云。世流布像有二種。一者揚右手

細陀形像。左手持未敷。右開花葉勢像。有

左手當心持寶珠。右手施無畏云。大御

垂左手。是東寺金堂并南京藥師寺像也。

之云。佛部尊持三形事。可知。又佛頂部

室傳云。弘法大師渡海之時。爲祈風

二者左手持藥壺。以右手作施無畏。或右

尊持之歟。佛頂部尊。皆大日如來內證智

波自造立白檀藥師像。今仁和寺喜多院

手曲水指。或火空相捻云。又云。或左手

印也。華之持之。深義也。若望果德門。持之

佛是云。依之傳教大師入唐時。於銀西

持鉢。其鉢十二角。右手作施無畏云。又

劣也

造立此佛白檀像。四軀奉安庵戶山。件像

有唐本持鉢。鉢杖是非普通事歟。已上

持寶珠文

私云。大日經義釋中。通相佛令持玉云。

印方抄云。私檢藝初唐本佛。右手揚臂。頭

指從第二節折鉤。與大指端相合。以大指

依此義持寶珠。歟。但義釋當初無之大

押頭指。餘三指直開立。左手大指

也是偏以世間爲本。故表因位歟。其故。彌

師義尤稱本說也

國史云延曆二十二年閏十月二十三日最澄和上於太宰府龍門山寺爲渡海船半達敬造白檀像藥師佛四軀高六尺餘其名號無勝淨土著名稱吉祥王如來云其間南大師共爲渡海造立藥師像其故如何答善名稱佛有渡海加護願七佛本願功德經上云第八大願若有衆生入於江海遭大惡風吹其船舫無有洲渚而作歸依願生憂怖若能至心稱我名者由是力故皆得隨心至安隱處受諸快樂又同經下云至心歸依以佛勝力來苦解脫諸根聰利智惠多聞恒求勝法常遇善友永斷離怨破無明煩惱憍河解脫一切生老病死憂悲苦惱乃至菩提此文第七藥師如來既有恒求勝法常遇善友本誓弘法大師爲人求法殊造立藥師像給與兩大師意樂只在斯文歟藥師經四卷疏云如來成道第三年大建立祇園寺於療病院中有藥師等身立像此釋迦如來寺與聖衆所造像減度見彼像諸僧皆除寺灰燼時遠憶佛土或云龍王請入海中或云帝釋切利天佛在世向療病造此像況滅後乎文釋尊造藥師像施病子救療治方我朝先德皆造立藥師如來諸願成就義偏在此尊末世衆生殊可爲依據者也

發十二大願事

本願經第一願來世得菩提時身光明照耀無量無數無邊世界三十二相莊嚴其

身令一切有情如我無異云第二願來世得菩提時身如琉璃內外明徹光明廣闊過於日月幽冥衆生悉蒙開曉隨意作諸事業第三得菩提時以智慧方便令諸有情皆得無盡所受用物第四行邪道者悉令安住菩提道中行聲聞獨覺乘者以一切皆令得不缺戒具三乘設有毀犯聞我名已得清淨不墮惡趣第六得菩提時我有情其身下劣諸根不具盲聾瘡癰種病苦聞我名已一切皆得端正無諸疾苦第七若諸衆生衆病逼切無救無歸無路無藥無親無家貧窮多苦我之名號一經其耳衆病悉除身心安樂家屬資具悉皆豐足乃至證得無上菩提第八若有女人爲女百惡之所逼惱願捨女身聞我名已轉女成男乃至得菩提第九令諸有情出外道纏縛若墮種種惡見稠林皆當引攝令修菩薩行速證無上正等菩提第十諸有情受苦若聞我名以我福德威神陸陸身心受苦若聞我名以我福德威神力故皆得解脫一切憂苦第十一若諸有情餓渴所惱爲求食故造諸惡業得聞我名專念上妙飲食飽足其身後以法味畢竟安樂第十二諸有情貧無衣服寒熱苦夜逼惱我名專念受得極上妙衣服隨心令滿足已上略抄七佛經大略同之也日光月光事

本願經云有二菩薩摩訶薩一名日光遍

照二名月光遍照無量無數菩薩之上首能持彼佛法寶藏文藥師經疏一云如餘經云過去無量劫前此娑婆世界五濁障重如我時爾時佛出於世號電光如來說三乘法而教衆生爾時有一梵士養育二子見濁亂而發菩提心白佛言在世尚爾何況世尊滅度後我發願當供諸衆生救苦與樂作此言已脫身上衣供養佛而自苦我教化世界諸苦衆生於淨土當得菩提佛讚善哉次二子供養佛發願佛言汝發大悲願欲利重衆生改汝號爲醫王汝二子皆饒益幽冥衆生長名日照幼名月照爾時醫王者東方藥師如來是二子彼二大菩薩次第補處日光菩薩月光菩薩是也當知彼佛發心已來誓願度生有感應於此土此界衆生有緣緣於彼佛明機感自交彼教興矣文灌頂經十二云有二菩薩一名日耀二名月耀是二菩薩次補佛處文

私云是垂跡義數日月曜宿各別也或

日光月光日月天非之歟法華義疏一云月光者惠能破闇如月之光云以之思之藥師師土月光菩薩非月天子

然但彼印明處有意得口云日光月光二菩薩形像無說處歟世流布形像日光菩薩日輪居盤座兩手當心月光菩薩左手風空相合三指舒散仰當心右手空風持蓮花其上有月輪二菩薩形像如觀音等也云

十二神將等事

本願樂師經云有十二樂又大將俱在會坐所謂官尼羅大將伐折羅大將迷金羅大將安底羅大將額彌羅大將剛底羅大將因陀羅大將波夷羅大將摩虎羅大將真達羅大將招杜羅大將星羯羅大將此十二樂又大將一一各有七千樂又以爲眷屬文薩頂經十二云名金尼羅神和香羅神安陀羅神摩尼羅神宋林羅神彌佉羅神因陀羅神波耶羅神摩休羅神真陀羅神照頭羅神是伽羅神

毘摩鈔云名號

官尼羅大將 禁毘嚩神王 金毗羅  
伐折羅大將 禁折嚩神王 和香羅  
迷金羅大將 闍闍嚩神王 彌佉羅  
安底羅大將 鉤徒毗神王 安陀羅  
額彌羅大將 阿彌嚩神王 摩尼羅  
剛底羅大將 沙彌嚩神王 素藍羅  
因陀羅大將 印陀羅神王 因達羅  
波夷羅大將 婆夷嚩神王 婆耶羅  
摩虎羅大將 摩休嚩神王 摩休羅  
真達羅大將 真陀嚩神王 真特羅  
招杜羅大將 提徒嚩神王 照頭羅  
毗羯羅大將 昆迦嚩神王 毗伽羅  
已上名號本願經說也注集經十六善神之中神名並大既句義付之云

本地一行阿闍梨云

金毗羅者是微明即亥神彌勒  
和香羅者是河魁即戌神得大勢至

西彌佉羅者是從魁即酉神阿彌陀  
西安陀羅者是傳送即申神觀音  
西摩尼羅者是勝光即午神摩利支天  
南宗監羅者是勝光即午神虛空藏  
南因陀羅者是太一即巳神地藏  
南婆耶羅者是天阿即辰神文殊  
東摩休羅者是太一即辰神文殊  
東真陀羅者是功曹即寅神普賢  
北真陀羅者是功曹即寅神普賢  
北照頭羅者是神后即子神釋迦如來  
北毗伽羅者是神后即子神釋迦如來  
已上以惠什并兼闍梨說書之云  
或抄云或文云

正月寅官尼羅大將彌勒菩薩化現  
二月卯伐折羅大將得大勢至化現  
三月辰迷金羅大將阿彌陀化現  
四月巳安底羅大將觀音化現  
五月午額彌羅大將摩利支天化現  
六月未剛底羅大將虛空藏化現  
七月申因陀羅大將地藏化現  
八月酉波夷羅大將藥師如來化現  
九月戌摩虎羅大將藥師如來化現  
十月亥真達羅大將普賢化現  
十一月子照頭羅大將金剛手化現  
十二月丑毗伽羅大將釋迦如來化現  
是有三井書中云  
私云此十二神名言依玄奘本願經歟或云

真陀羅 普賢 摩呼羅 藥師  
已上東方守春李

因陀羅 虛空藏 摩濕羅 地藏  
已上南方守夏季  
安底羅 彌陀 迷金羅 觀音  
已上西方守秋季  
官毗羅 彌勒 鼻羯羅 釋迦  
已上北方守冬季  
招度羅 金剛手 安濕羅 摩利支  
波夷羅 文殊 跋折羅 勢至  
已上中央守土用李  
私云此十二神名言新譯達磨笈多藥師如來本願經意也一卷經也  
成菩提抄云先德云釋迦普賢金剛手藥師文殊地藏摩訶檀香佛摩利支得大勢至無量壽觀音彌勒十二神內護外護度衆生牟利曼荼羅經文也云

私云未見本經文云  
官尼羅 金剛手  
迷金羅 摩利支  
額彌羅 摩利支  
剛底羅 摩利支  
因陀羅 摩利支  
波夷羅 摩利支  
摩虎羅 摩利支  
真達羅 摩利支  
招杜羅 摩利支  
毗伽羅 摩利支  
已上人書之不  
知本說若安然和尚  
口傳歟  
或傳云十二神將者藥師如來分身也何  
眷屬十二時分形守護給云本願經云  
此法門名藥師如來本願功德亦名說十  
二神將談益有情結願神呪云  
私云大陀羅尼即有神名句義

藥師如來立次第圖事

○因陀羅 ○摩尼羅

○安陀羅 ○波那羅

○彌伽羅 ○素藍羅

○藥師如來 ○日光菩薩

○摩休羅 ○照頭羅

○和香羅 ○真達羅

○毘羯羅 ○金毘羅

口云日光菩薩者頂上有日輪身金色  
右手中指大指捻之頭指小指舒之無名  
指屈之也左手如右印但垂下之外月  
光菩薩者頂上置月輪身白肉色印相如  
日光菩薩但舉左手垂下右手也云  
因陀羅頂上戴蛇身黃色右手執鐵左手持  
輪摩尼羅頂上戴羊身赤黃色右手大刀  
左手押腰安陀羅頂上戴猿身青黑右手  
大刀左手開向外波那羅頂上戴龍身赤  
黑色鬼形也持戟以左右手捧之  
或如是造之

素藍羅頂上戴白馬身赤色左手戟右手  
著腰忿怒形也彌伽羅頂上戴鷄身白肉  
色左右手箭ヲツマヨルハ右邊立之  
忿怒形也摩休羅頂上戴鬼身青色左手  
持戟右手持三股杵照頭羅頂上戴牛身  
青色右手持大刀左手承之和香羅頂上  
戴狗身青黑色右手持劍左手五指開立  
向外真持黑羅頂上戴鼠身赤色右手舉  
左手持輪毘河羅頂上戴鼠身青黑色右手

持戟左手作拳著腰金毘羅頂上戴猪身  
青色左手持大刀以右手寄取也

或云寅神身煙色右手持戰荼鉤左腰卯  
神身青色服赤右手持三股左手屈風仰  
左膝上辰神身色帶炎上青燭鋒上有炎  
旗以二手調之巳神身帶炎上薰煙右持  
戰荼鉤左手申風指火指午神身赤炎焚  
雷眼火變左伐日處右續

私云此未明可尋之  
未神身黃色赤作羅刹女形左執鉤右執戟  
上有炎也申神身黑色右執白拂左執劍  
酉神身白色左持如意珠右金剛鐸戌神  
身黑風左拳申風指置輪右舒屈風亥神  
身黑色右執鉤左屈地水子神身黑金色  
合掌丑神身黑青之稍赤取寶弓箭

又云寅神赤色右拳左持輪卯神赤色左  
手押腰右手取鉤辰神赤色右手持三股  
杵左手垂下巳神白色右手執刀柄左手  
取鞘未神青色右拳左拳當眉間申神青  
色右持熊手左地願酉神右持三股鉤左  
拳戌神左執刀右手○亥神左拳腰右

寶棒也子神黃色合掌也丑神黃色右手  
開向面左手執弓箭  
又云子宮毗羅身赤色左向前開五指右  
手執索作擲勢丑伐折羅身青色取弓箭  
ハケテ右脇下過寅途金羅身赤色右手  
執鉤左手舒五指著額卯安底羅身赤色  
左手持獨股右拳舒地水風指辰安端羅  
身赤色腰帶大刀左手執鞘右手執柄作

走勢摩迦底羅身赤色左手執鉤本立地  
右手押腰午因達羅身赤色左手押腰右  
手執一股份未波夷羅身青色左手棒鉤  
申摩虎羅身青色髮赤金剛合掌酉真達  
羅身青色右手取大刀著腰左手腕纏天  
衣端垂下戌招杜羅身赤色左手向前  
開五指右手執三叉棒之亥毘羯羅身青  
色右脇揮弓左手箭矢緒也

已上世流布像樣也未見本文可尋之  
又形像

寅位甲寅將軍車頭人身左右持棒鉤青衣  
卯位丁卯從神車頭人身左右持棒鉤青衣  
辰位甲辰將軍車頭人身左右持棒鉤青衣  
巳位丁巳從神車頭人身左右持棒鉤青衣  
午位甲午將軍車頭人身左右持棒鉤青衣  
未位丁未從神車頭人身左右持棒鉤青衣  
申位甲申將軍車頭人身左右持棒鉤青衣  
酉位丁酉從神車頭人身左右持棒鉤青衣  
戌位甲戌將軍車頭人身左右持棒鉤青衣  
亥位丁亥從神車頭人身左右持棒鉤青衣  
子位甲子將軍車頭人身左右持棒鉤青衣  
丑位丁丑從神車頭人身左右持棒鉤青衣

此諸神等皆著天衣環珞坐盤石上文  
出妙見神呪經北展別行法問之持物  
等少別也可見之  
次第注云十二神將七千夜又樂普樹下  
有之彼淨土無云

住處事  
大集經二十四云善男子閻浮提外東方

大集經二十四云善男子閻浮提外東方

海中有瑞鶴山名之爲滿高二十山旬具種之寶其上有窟名種之色是昔菩薩所住之處縱廣一山旬高六山旬有一毒蛇在中而住修聲聞慈復有一窟名曰無死縱廣高下亦復如是亦是菩薩昔所住處中有一馬修聲聞慈復有一窟名曰善住處縱廣高下亦復如是亦是菩薩昔所住處中有一羊修聲聞慈其山樹神名曰無勝有羅刹女名曰善行各有五百眷屬圍繞是二女人常共供養如是三獸善男子閻浮提外南方海中有波離山高二十山旬其山有窟名曰上色縱廣高下亦復如是菩薩昔所住處有一獼猴修聲聞慈復有一窟名曰解願從廣高下亦復如是亦是菩薩昔所住處中有一鷄修聲聞慈復有一窟名曰法床縱廣高下亦復如是亦是菩薩昔所住處中有一大修聲聞慈中有火神有羅刹女名曰眼兒各有五百眷屬圍繞是二女人常共供養是三鳥獸善男子閻浮提外西方海中有銀山名善提月高二十山旬中有一窟名曰金剛縱廣高下亦復如是亦是菩薩昔所住處中有一猪修聲聞慈復有一窟名香功德縱廣高下亦復如是亦是菩薩昔所住處中有一鼠修聲聞慈復有一窟名高功德縱廣高下亦復如是亦是菩薩本所住處中有一牛修聲聞慈山有風神名曰動風有羅刹女名曰無護各有五百眷屬圍繞是二女人常共供養如是三獸善男子閻浮提

外北方海中有一金山名功德相高二十山旬中有一窟名爲明星縱廣高下亦復如是亦是菩薩昔所住處有一師子修聲聞慈復有一窟名曰靜道縱廣高下亦復如是亦是菩薩昔所住處中有一兔修聲聞慈復有一窟名曰喜樂縱廣高下亦復如是亦是菩薩昔所住處中有一龍修聲聞慈山有水神名曰水天有羅刹女名修供養如是三獸是十二獸晝夜常行閻浮提內人天恭敬功德成就已於諸佛發深重願一日一夜當令一獸遊行教化餘十一獸安住修慈而復越七月一日鼠初遊行以聲聞乘教化一切鼠身衆生令離惡業勤修善事如是次第至十三日鼠復還行如是乃至盡十二月至十二歲亦復如是

私云有一師子女是當虎經文不審也在釋迦會坐事

本願樂師經云爾時衆中有十二樂又大將俱在會坐所謂高提羅大將伐折羅大將迷金羅大將安底羅大將頡儺羅大將瑠底羅大將因達羅大將波夷羅大將摩羅大將此十二樂又各有一各有一千樂又以爲眷屬同時舉聲白佛言世尊我等今者蒙佛威力得聞世尊樂師瑠璃光如來名號文陀羅尼集經云佛在維耶離樂音樹下與三萬六千人俱及十二神王

并諸眷屬天龍八部大神王在於是等大眾會中說是法已大眾皆開無不歡喜文凡十二神將者住處各別來釋迦會坐始開樂師如來名號故無樂師淨土然者今道場觀既觀淨瑠璃淨土十二神將七千樂又前後圍繞之條尤淨土儀式相遠也雖然今十二神將等受持樂師瑠璃光如來名號恭敬供養者我等眷屬相率皆同一心衛護是人皆使解脫一切苦難諸有願求悉令滿足釋故尤爲所顯成就今觀加之也即此十二神將又爲助樂師十二大願佛菩薩成十二神經十二時十二神十二月晝夜不斷守護衆生也此十二神一體別領七千樂又都合八萬四千樂又即當衆生八萬四千毛孔也

又云觀日光月光十二神七千樂又等有三重守護先日光月光守護夜一重十二神守十二月并十二時二重十二神各有七千夜叉合八萬四千也大佛頂啓請法八萬四千金剛手者是也八萬四千毛孔不退守護也三重凡樂師如來者理智不二總體一法界身也是一心中分理智二法是有理智即陰陽根源也顯兩部即爲日光月光是自身兩眼也即晝夜守護義此日月各有六時故十二時也是爲十二神將又十二因緣又十二大骨也我是一時守護義也此十二神將各有七千夜叉開八萬四千也是八萬四千摩勞也人經一日一夜發八萬四千念慮是一一

夜又守護一一念慮也此藥師如來守護衆生事譬如隨身影一分無捨離故自身即藥師藥師即自身也智證記云令中也我身是藥師如來兩眼日光月光尊十二大骨十二神八萬四千毛孔鬼一切事中利衆生云

此文誠甚深也所詮從法身內證自然成道爲衆生濟度出現名藥師如來自身是也忘自證智本源故於衆體上成病苦等能證知本源歸心源有何病乎勿忘此道理我爲衆生發悲愍所修功德自然成一切衆生所作功德是即眞言行者利他行也又藥師如來悲願也藥師行者當體故也

又云約事相有三重守護謂以頂爲太陽即日光菩薩也以體爲大陰即日月光菩薩也以身中十二大骨爲十二神將以八萬四千毛孔爲八萬四千夜叉十二神將非眷屬身分也形分十二時守護之也故十二神將呪各藥師大呪見陀羅尼集經凡十二大願胎藏界十三大院習之以中臺八業總體統攝十二大院也總以一切佛菩薩除病延命本誓爲藥師體而病有內外從內心煩惱病起四大鬼業病也一經其耳衆病悉除心身安樂乃至證得無上菩提悲願尤可仰信也云

十二神將種子

子一 二 三 四 五 六 七 八  
九 十 十一 十二

已上

或說  
天子 正印 寅 卯 辰 巳 午 未  
申 酉 戌 亥  
天台云十二皆不字云

白寶口抄 藥師法第三

印事

消災儀軌云根本之密印二物內相又兩腕稍相去開張三二寸禪智而來去文陀羅尼集經二云藥師琉璃光佛印二手頭指以下八指反又入於掌中右押左兩腕相去五寸許二大指來去文  
問軌文兩腕相去三二寸云經文五寸許云今次第注云兩腕相去一寸許云是不依經軌說之條如何答石山道場觀云根本印軌係二物內相又兩腕稍相去五寸許禪智來去散頂上云此印文經軌兩文共舉用之歟尤可依此意俱師傳故歟依二寸五寸廣狹自古無沙汰事也不空譯儀軌云根本印以左右手頭指以下八指反又入於掌以二大指來去文依此說文者無兩腕相去義故薄雙紙二手內縛二大並立三度來去云是依不空儀軌意兩腕不相去妙抄師主云寶山印云是寶山印內縛合肘常額若寶山印二大指來去又無之俱合肘事相似故歟然無兩腕相去偏合立計也或云佛部心印也云是亦同義也彼印二大指之是相違歟成就院七卷抄云內縛兩腕稍相去禪智來去云稍相去云今一寸許相叶歟所詮用否何苦歟不可偏執猶能可相尋也云野抄裏付云二手內

總二大並立三度來去此印內轉二掌一寸許可去也二大少偏立乍置立來去兩腕人樣々令串或ウデヲイヒ或掌云歟云

私云二掌一寸計相去事尤可然儀軌二寸經五寸也內轉二掌五寸許相去不審也云

問酒與軌中結今印誦大呪不空軌中結今印誦唵呬呬呬呬呬呬呬呬呬今誦云又明事如何答陀羅尼集經二名藥師琉璃光佛印呪出此印明今依集經用之歟

問今印藥師根本印歟如何答消災軌並不空軌其名根本印也

口云內轉二大指並堅三度來去云結此印時可觀藥壺也八指內轉藥壺形也左四指藥生有漏四大右四指佛界無漏四大也一切病依四大不調天台釋云一大不調百一病惱四大不調四百病一時俱動云而左右四指又合以佛界四大冥會衆生界四大即以生佛不二調和四大成藥壺也以二大指三度來去衆生藥病鬼病四大病召入藥壺即合成理智教

三藥義也凡一切病必能造四大不調起是能造四大能調和衆病鬼病等自然除滅也又云有最祕事謂此印可觀藥壺先二大指偏立可誦大呪是則開器口入十二大願藥義也其後誦云下二眞言十二大指三度來去也此前藥壺入三藥施與

病人意也凡大呪三藥眞言也三藥者或云藥覺梵語也一切病不過三病三病者衆病鬼病四大不調病也爲對治此三病入三藥是理智教三種能治之三藥也二大指三度來去開藥壺蓋施與病者除三病義也又斷貪瞋癡三毒蓋三毒者身口意也對治身口意業等病顯佛金蓮三部顯教云三諦三身等皆是三毒表裏也又云內轉兩部不二形以二大押之即以法界界蓋出四智妙藥治四大鬼業三病等義也西院云內轉印藥壺表兩部四智德法界智表謂像法轉時法界有情被兩部法界智其藥壺蓋蓋左右開藥一切施三四十二儀法界定印如云

私云三四十二者西院次第云口云藥壺印也自右小指至同頭指左亦如是右亦先三度相配明十二遍然後令開左右大指是開藥壺口普以彼妙藥令施與意也是祕事也云又云以四大病爲先除餘二病也故地水火風次第配誦云或云藥壺印也此印去二大誦入大呪十二遍爲藥體大呪末三箇或云三種藥也仍爲妙藥二大來去開藥壺與病者義也病者大事必如此誦入加持病者也又云先藥壺印大呪末唵以下明十二遍誦入之不改二大指作定印大呪三遍誦也先十二遍十二大願藥義也後三遍四大鬼業三病治之上藥壺印即定印上置藥壺意也法界定印胎藏理體也上藥壺是表金剛界理智不二印也又云藥壺印誦一眞所病上觀眞字即成如意寶珠此寶珠兩藥愈病觀之然後金剛合掌誦唵字供養眞字云覺禪抄云誦云佛部心印也出集經咒惠云藥師心像也即丸藥形也以十二願丸藥治衆生心病云顯臬云召三度開蓋心也私云壺形歟若寶珠形歟別譯軌云左手持無價珠云已上此等非常流習爲才覺載之云

眞言事口云出陀羅尼集經第二名藥師琉璃光佛呪也華嚴院集云言藥師小心呪請說名唯俱呪俱呪施陀梨藥登祇婆婆呵小野集云藥師小呪心呪云此眞言同花藏院集兩藥呪果有利字但不制梵本也說什云件呪出集經二彼無利字乃先德說難指南矣云又云大師御流無儀軌以口傳行之云

問今小呪無能勝明王眞言也何用藥師眞言乎答無能勝者藥名也華嚴經云善男子海中有香名無能勝若以塗鼓及諸螺貝其聲發時一切敵軍皆自退散文此開藥力之管一切怨敵等退散亦聞此眞言者亦復如是除一切衆生之苦病也持

此真言得悉地者名無能勝明王也持十  
一面呪給觀音如名十一面觀音今藥師  
亦如是聞此真言者一切病皆除滅故也  
仍無能勝明王與藥師如來同體也厚雙  
紙曰或云無能勝藥師釋迦藥師種子  
三形五股印佛部印真言唵囉嚩訶  
理摩證優婆塞賢是無能勝藥師衆釋迦  
之鉢印等用之是云釋迦藥師衆云是  
藥師無能勝一體證也但陀羅尼集經  
第二名藥師琉璃光佛說無異論是兩尊  
通真言也云靜遍口傳云胎諸尊攝藥  
師爲無能勝故陀羅尼集經并一字頂輪  
經等以無能勝真言釋迦藥師一體習之  
釋迦忿怒無能勝也釋迦無能勝即藥師  
故云

法界定印事

口云以法界定印爲藥師印事尤祕說所  
也七佛藥師經下卷云淨彼藥師琉璃  
光如來得菩提時由本願力入三摩地名  
曰除滅一切衆生苦惱既入定已於肉髻  
中出大光明光中演說大陀羅尼呪曰南  
謨薄伽伐弍轉殺社婆嚩嚩琉璃鉢喇婆  
易囉闍也但地也揭多也阿囉囉帝三藐三  
勃陀也但姓他叱轉殺社婆嚩嚩琉璃鉢  
三沒揭帝莎訶文既入三摩地說此呪故  
知定印條勿論也當流以此爲爲相承口  
傳祕印也靜念法眼行林抄云定印弘法  
大師說云雖爾未見本文但眞雅僧正  
記云云以左手開置臍下以右手重上

二大指頭相合根本印也云是尤大師  
相承證據也可祕之小野僧正傳云藥師  
根本法界定印謂重左右手而大指端相  
柱是印上想有藥靈云

問廣澤流以定印爲根本印先藥靈印明  
次下用之今次相連如何答當流以藥  
靈印爲根本印消災軌不空譯軌共本  
本印是說所分明用定印以口傳名根  
本印故廣澤流依口傳用定印當流依本  
說用藥靈印也共不異歟  
問廣澤流特定印先從右頭次第誦大呪  
一遍動一指如此至小指誦明四遍動四  
指次從左頭指次第如先四遍也次亦如  
先右四指四遍也都合誦十二遍十二度  
動之是配當十二大願也或大呪唯以下  
誦之也當流不然歟如何答當流爾也但  
從右小指動之也是小野僧正傳也先藥  
靈印亦復如是云或云根本藥靈印時  
三度來去明各一遍云定印時大呪七  
遍攝七佛藥師也云次第三想印上有  
藥器爲能除衆生病云

妙抄云此印上觀藥靈以此藥靈主及一  
切衆生治惡業苦利眞言大呪或小呪云  
口云定印上觀藥靈是藥師如來像定印  
上置藥靈也是未見本文歟今依此義觀  
置藥靈此中有十二大願之妙藥以此妙  
藥自行時施與自身及一切衆生若有施  
主時施與施主及一切衆生與除病延命  
之藥可觀念之也但是普通觀也祕祕口

傳法界定印即智藥靈也謂此印左衆生  
界也右佛界也即重之生佛二界不  
二平等之義柱二大指以兩部法界智顯  
不二大空此中有十二大願之妙藥是則  
依從平等一如之中出生能療治一切衆  
生業差別之病體也故次第三云又想此鉢  
中有十二大願之妙藥以此藥療治像法  
轉時衆生之一切病云此故大呪奧噴  
囉嚩訶囉嚩訶囉嚩訶三句有此三句則  
理智教之三藥也以此三種藥治衆生三  
病三病者一業病謂依先世業報所感病  
也此則外呪術醫藥等非所治唯善根藥  
是法力也又眞言呪力能所治也二鬼病  
謂鬼魔惡靈等得便邪氣癡病等也呪藥  
等能所治也三四大不調病謂寒溫不調  
發風氣等病也四百四病不離之醫藥等  
能所治也今此尊發別願力以此理智教  
三種妙藥治彼三病也外衆鬼不調等三  
病治之內貪瞋癡三毒病治之故此大呪  
尤功力甚深也此祕口決也常喜院云  
或云大呪舉三藥者謂以理智教三藥除  
衆生業病鬼病四大病之三也以善根藥  
治業病以呪藥治鬼病以醫藥治四大病  
又以三身藥治三毒病可知之云  
私云此義今御口決全相似歟  
口云次第三此鉢中有十二大願之妙藥  
云此以法界定印名鉢印其中觀妙藥  
故云鉢鉢器物義也千手經云爲腹中病  
當寶鉢手文此寶鉢御手法界定印也是



爲祕寶鉢手秘印故置別鉢寶法界定印也凡藥師法界定印成生佛不二法界定治隔歷迷病然以三病對治名藥虛印轉選法界定印成不二法器故號鉢印是於本地定印上暫顯加持本誓名只內證同一體尊也覺轉云十二願妙藥者惠第一願藥阿說陀樹此云無罪樹善提樹也還三所滅罪障又觀佛經云雪山有樹名殊伽陀其葉甚大凡夫食之成阿羅漢云

第二藥琉璃中現衆生骨魚骨等隨見病所授藥貪念云第三藥如意珠一百由旬中離病苦云第四藥淨莊嚴香若燒一丸令諸天心念佛云第五藥蓮花藏香如麻子薰閣浮者離一切罪戒品清淨云第六大願藥阿伽陀等種種藥草云

第七藥大菩提藏經云雪山有大藥王名尼伽摩聞其聲毒勞消諸惡毒皆無勢力但聞塗跋之聲諸毒消滅云第八藥雄黃等胎女帶之腹中女子轉成男子云第九藥象藏香離諸苦著意清淨云又阿盧那香其心決定離衆苦云第十藥滅除藥塗鼓貝發聲衆生身中放箭等妄費要集云波斯匿王鼓名甘露國人有病苦擊之皆愈佛法如鼓名云佛宣說時如杖擊之云第十一藥諸仙藥第十二藥願奪忠香燒之普雨諸莊嚴具云

私云此十二願妙藥者經軌說歟不審也只以十二大願爲妙藥療治像法轉時衆生之一切病義無子細歟

本願經世尊讚美殊師利言善哉善哉以大悲勸請我說諸名號本願功德爲拔業障所纏有情利益安樂像法轉時諸有情故汝今諦聽爲汝說

隨願經云曼殊師利○自佛言唯願世尊像法轉時爲利有情故說如來名號陀羅尼神呪文疏云轉起也言像法者則正像末法時節○且依大悲經說正像各住千歲末法萬歲也文

問諸經中說正像末三時今本願功德經說像法轉時約末法謂也故無末世利益顯而當世末世衆生不預藥師利益修

行無其益歟如何答佛說廢立不一純或經正像末三時具說之或經說正像二時不說末法一代只二時也其時以末法收像法也今本願功德經不說末法正像二時可意得然則正法後像法也當時尤像法所攝也殊有其利益歟

問今此經不說末法有由藉歟答像法者壞正法時也指佛法衰微病時治之誓給放隣王誓前無誤末法只說像法轉時指佛法衰微時當時殊衆生迷病重十二大願此時尤相應者歟

眞言事  
七佛藥師經下云大陀羅尼呪曰南謨薄伽伐帝轉殺社靈喚薛琉璃鉢喇婆局囉也咀他揭多也阿囉囉帝三藐三勃陀也咀他他囉轉殺逝轉殺逝轉殺社三沒揭帝莎訶

小野華藏院集用此呪又安然記載之或云於肉臂中出大光明光中演說此呪故光明眞言名之云

消災軌云藥師引婆提時帝佩殺業野藥喻吹吹哩也鉢羅二婆羅惹野但他瑟野野囉喝也帝三藐三沒野但爾也他引囉佩殺爾曳二佩殺爾曳二佩殺業野三摩野藥帝安聯二賀引

石山道場觀井勸修寺集惠什記等用消災軌之文字相違故載之大呪句義委細全解可也

印方抄云私云三沒揭帝句不詳十二神將呪末云三摩揭帝即三沒與三摩全同三摩者究竟成就義也揭帝者度脫義也即結藥師義也云或云三沒揭帝句自度度他義也云寶鑑抄云大呪對譯云

生眞言也雖病多合四百四病亦此四大鬼業三病也病者身心慳亂也故雖一念不叶心病也雖一念相叶心藥也故一切心願皆病也若心願成就者藥也乃至草木等得雨露緣是併藥也又六大互爲緣三種世間共成功皆是藥也故法界悉藥



白寶口抄 藥師法第四

日光菩薩印明事

金剛界羯磨會金剛光菩薩印二大指二頭指相柱如日輪中指以下六指開散於心旋轉三昧耶會金剛光菩薩真言唵哩

口云此印言金剛界羯磨印用三昧耶言也但此印字今加用之歟二大頭端相柱中穴如日輪也六指開立表日光也石山大第云由金剛日契故得同金剛日又廣澤次第云證得慈光無不照顯月覺印云或難云以月天印明用月光菩薩印是可能然以光菩薩印明用月光菩薩印明是頗荒涼事歟云此條未見本說歟攝實經中卷云復次觀金剛威德菩薩行者自想我身是日光天子文是則日光天子光菩薩證據也彼經以光菩薩名金剛威德菩薩故也故用彼印明也略出經云金剛光菩薩三摩耶契由金剛威光契故得金剛威光文又教王經云則護正法威德光文故知光菩薩即日光天子也或云以其誦義可會其同異歟本願藥師經云於其名月光遍照是彼無量無數菩薩衆之上首悉能持彼世尊藥師瑠璃光如來正寶藏文七佛藥師經同之密多羅譯經云一名日曜二名月曜

私云是若垂跡義歟云

口云妙抄云日光菩薩印言二輪場金剛二大指直觀二食指屈中節而端相柱餘六指散舒向外三旋轉真言同今次第也當流散二風作寶形二大指并立散六指是則寶珠光焰義也旋轉三度明各一遍也以此印猶爲祕也凡日月二輪宮殿共七寶所成也故以日月輪爲衆寶體今以寶形顯日輪之體尤甚深之習也西院云日精摩尼一大法界照曜光明智德方便二風寶形大圓鏡智金剛性形寶珠稱義二空內立法界體義普門法界體性故火等已下三指開散平等差別二利滿足遍光明一切照意云

真言句義事

月光菩薩印明事

疏云不生不死者名甘露世人以月能除毒熱苦同於甘露故以爲名一切甘露之味無過淨月三昧也文口云此印明月天印明也但胎藏界月天印左手以空押右背第二節餘散而立云今此次第用右手相連妙抄云月光菩薩印言右手作拳置腹左手大手指相捻如執杖堅臂向外想掌中有伏梵云此次第依胎藏雖然月光菩薩一法界理性也表理智不二用右智手也彼脇士次第左日光菩薩右月光菩薩也付脇士儀式如此可意得是師傳也

付此印有二義一風空合中穴爲月輪三指散舒表月光也二空風持白蓮花其上

有半月形半月上有伏梵觀之妙抄意同之但以先說爲吉是師傳也西院云月精摩尼一大法界照曜光明理

性功德印持花形作蓮花表謂風空二指一法界二智火等三指子細如先云口云左手作拳安腰云是作金拳也

真言句義事

問裏付云日光種子三昧耶形日輪月光種子三昧耶形月輪云尤道場觀

答二菩薩處可出之今此處用之其義如何也道場觀之時不用種子三形也是爲才覺也

或日光菩薩種子三昧耶形又有月光菩薩種子三昧耶形日光菩薩密號威德金剛月光菩薩密號清淨金剛胎藏諸尊梵名

口云陀羅尼集第二說十二神將呪已云印用前印文前印者藥師印也故可用藥師印而集經所說印明今本尊根本印明用之此真言符屬十二神將用之故印依



多時忽遇一切諸難事者我等神王共相擁護若復有人欲得般若波羅蜜多驗者我等神王便滿其願云或傳云般若十六

善神者四天王加十二神將也  
梵毗睺神王宮殿按折睺神王宮殿折  
咤闍睺神王宮殿咤闍睺神王宮殿咤闍  
阿闍睺神王宮殿阿闍睺神王宮殿阿闍  
印陀睺神王宮殿印陀睺神王宮殿印陀  
摩陀睺神王宮殿摩陀睺神王宮殿摩陀  
提頭睺神王宮殿提頭睺神王宮殿提頭  
毗迦睺神王宮殿毗迦睺神王宮殿毗迦

十二神將本願經說也十六善神陀羅尼集經文也然初提頭毗陀神王提頭

賴吒天王可云之餘三名跋吒使喃神王船毘喃神王俱轉喃神王三天王如

何可配之乎云  
或說事

次第云印如前真言用小呪云陀羅尼集經十一指一切樂又法印呪第五十二

以右手四指向上去鈎左手四指其大二指直怒大二指來去一俱毘囉二沙囉訶

三法印呪若作大都法境之時作此印呪喚入俱養一切歡喜文

口云不用經所說印依前傳用前印大呪小呪同一印也但用大呪時強不用小呪

此小呪集經各別雖說之唯大呪一句故也然者用小呪事頗存略時作法也尤可

用大呪故云或說也  
問小呪以俱毘囉大將攝十一神將義如

何答俱毘囉大將者十二神初主故攝末歟  
問天呪初金毘囉也是俱毘囉同名歟如

何答爾也  
問三度本尊加持皆悉可用眷屬印明歟

如何答有二義一第二度本尊加持唯用本尊南印明除日月等印第三度如

初度諸尊皆初後本尊加持持委行之準知二初度第二度皆悉行之諸尊皆準知之云

正念誦事  
心呪者云云云云云云云云云云

口云正念誦用大呪初七遍悉誦之第八遍以後除歸命句誦以下也小野流誦

十二神將呪歟  
散念誦事

口云本尊真言三種云是本尊兩呪外加十二神將呪也

問本尊加持時十二神將呪用眷屬真言故曰先光等次可用之何散念誦時用

本尊分略眷屬十二神將乎如何答集經名樂師琉璃光佛大陀羅尼故加誦本

尊處雖不用眷屬分不苦十二神在斯中可知口云加誦誦命呪故誦命功能相同

故以師傳加之除病延命一具法故也  
伴僧事

口云根本呪者大呪也聖賢云小野俗都成賢十二神將呪用之云寬信法務云

烏羽僧正被用十二神將呪云儀軌云請七口僧云

口云一人阿闍梨二人讀經四人念真言也或說六口或十四口或二十口隨時經

四十九卷轉讀之  
御加持事

口云根本者大呪也或十二神將呪朱付云慈覺流也云但東寺流行以十二神

呪法務厚變經云或人說藥師法以十二神將呪御加持誦之云石山內供說十二

神將呪也聖賢云小野僧都十二神呪云烏羽僧正十二神將呪也法務儀說

也後神云小野傳用十二神將呪但增益時也息災行時義淨大呪用之或云小野

僧正大呪云  
讀事

消災軌云歸命滿月界淨妙琉璃尊法藥救人天因中十二願慈悲弘誓廣願度諸

衆生我今中讚揚志心頭面禮文口云次第所載讀新譯經文也此消災軌願諸度

衆生文相連餘句全同歟滿月界者大圓鏡也阿闍同一體故云滿月界亦一大法

界月輪即指法界自性法身智體也御修法之時不出此界只阿闍梨密唱之也云

石山道場觀云讀日薩婆物賦義薩爾奈入迦盧摩但慶平二迦羅訶引觀迷念

我俱吟吹女哩也合入唱囉引觀迷念但合他誦多摩訶捺耶囉引觀迷念合入唱囉引觀迷念

口云此誦不空樂師軌名結誦讚

石山道場觀以此讚爲本，又讚今次第漢語讚出之，又用四智云：是只可用四智讚許歟。

迎請事

消災軌云：用前佛部心，二輪向身招，念真言三遍，唵爾義爾迴翳惱曳合，二回婆讚，轉引惡捉合，舍野婆，轉引。阿引。口云：二輪者，二大也，即內縛二大並立，三度召之，明各一遍，是佛部心印也，或云：內縛，轉引向身招之，是本尊藥壺印也，故大谷，此印用戶，喚戶，喚也云。或傳大呪之與用之，或傳大鈎名印，言用之云。

結界事

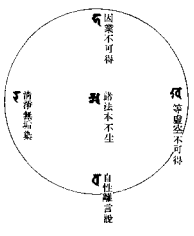
口云：用降三世金剛部教令輪故也，既加誦散念誦是教令輪故也，但兩儀軌中降三世不出之，只師傳也，又用無能勝明王，是無能勝藥師一體故也，尤其便有也，陀羅尼衆經二云：仍用前印請爲座主，結界，除三摩耶法如下，金剛軍荼利法文，依此文召請印，藥壺印也，經用前印云：是指藥壺印歟，結界，除三摩耶法者，同第八軍荼利法，地結四方結虛空結，大三摩耶印，明常十八道等印，言也，結界明王印，言別不出名字，故知此法以軍荼利明王可用結界歟，可證之。

字輪觀事

口云：五大種子也。

撥遣事

消災軌云：如前迎請印，二輪向外撥，想像虛空中，還歸於淨土，安居寶宮殿，眞言曰：唵爾義爾迴翳惱婆讚，轉引惡捉合，二回婆讚，轉引惡捉合，舍野婆，轉引。阿引。口云：只以通撥遣印，針印，插花，誦云：目者，穆明也，無別子，糾云。



白寶口抄 藥師法第五

本願經第七願云：願我來世得菩提時，若諸有情，染病通切，無救無歸，無醫無藥，無親無家，貧窮多苦，我之名號，一經其耳，衆病悉除，身心安樂，家屬資具，悉皆豐足，乃至證得無上菩提，文同第十一願云：若諸有情，饑渴所惱，爲求食故，造諸惡業，我名專念，上妙飲食，飽足其身，後以法味，畢竟安樂，文同十二願云：若諸有情，貧無衣服，寒熱晝夜，逼惱，我名專念，得種種上妙衣服，隨心令滿足，文同經云：求長壽得長壽，求富饒得富饒，求官位得官位，求男女得男女，文七佛經下云：若見男子，女人有病，苦者，應當一心爲彼，病人清淨，澡瀡，或食，或藥，或無機水，呪一百八遍，與彼服食，所有病苦，悉皆消滅，若有所求，至心念誦，皆得如意，無病延年，命終之後，生彼世界，得不退轉，乃至菩提，文別譯軌云：若人心病者，加持青木香，塗心除愈，又云：若人患頭痛者，加持桂皮，二十一遍，服之除愈，又云：若人患腫者，加持鬱金香，一百八遍，塗除愈，文又云：若每日早朝，以水一掬，呪七遍，飲之，在身所有惡業，悉得消滅，何況無諸災厄者，及諸三業，苦亦得除愈，并得壽命長遠，文口云：此等文，皆得利益，也，除病，即延命，無量財寶，壽命上快樂，也，故延命，即增益至極也，此等本願，尤增益義也。

以藥治病故

私云建立護摩儀軌云若求增長者名布瑟置迦○五通及寶藏劍輪杵財物藥丸服藥具選榮增壽命福智及名聞顯任仕王官吉祥勝安樂文準祇軌

譯云布瑟置迦法者求延命官榮伏藏官儲應懸問持不忘藥法成就金剛杵等成就或作師子象馬類以真言加持三相應隨上中下所求獲果如蘇悉地廣說欲求持明仙人阿蘇羅寶及諸八部鬼神祈求入者皆得及證地持神

通求二種資得圓滿速成無上菩提是名增益法文增益義依此等文可分別

本願經第十願云諸有情王法所纏○禁閉牢獄○及餘災難陵辱身心受苦

若問我名以我福德威神力故皆得解脫一切憂苦又云若有人得惡夢或怪鳥來集或於住處百怪出現此人恭敬樂師

如來者惡夢諸不吉祥皆悉隱沒或有水火刀毒惡象師子○毒蛇蝮至心憶念利

儀一切怖畏皆得解脫又云若利帝帝利灌頂王等與難起時所謂人眾疾疫難他國侵逼難自界叛逆難星宿變怪難日月

薄蝕難非時風雨難過時不雨難○及彼如來不願力故令其國界即得安隱

疏云若信此法者七災退於千里之外萬福集於此國之內故十二神將王八

萬四千眷屬常來衛護也文陀羅尼集第

二云若有受持能拔身中過去生死一切重罪不復經歷三塗免離九橫超越衆苦十方世界隨處安樂自任在無礙文口云就息災修之事是等文分明也

私云建立護摩儀軌云扇底迦寂冥聽明及長壽并除障難法五星所陵逼種

諸災難口舌及閑靜王官所逼迫內外不和順七曜乖常度風雨不以時疫

病刀瘡疥鬼魅諸不祥文準祇軌不空譯云扇底迦法者求滅罪轉除障除災害鬼

魅疾病困閉枷鎖疫癘國難水旱不調蟲損苗稼五星陵逼本命悉皆除滅煩

惱解脫是名息災法文付息災行之事依此等文可知之歟

敬愛事本願經云所生之子身分具足形色端正見者觀喜又云爾時四天王與其

眷屬及百千天衆詣其所供養守護若此經寶流行之處有能受持以藥師如來本

願功德及聞名當知此處無復橫死不惡鬼奪其精氣還身安樂

私云建立護摩儀軌云若求歡愛法名縛施迦羅○召人及天龍鬼神非人類一切所敬愛家國及眷屬怨敵諸朋友

伏鬼神有諸怨敵作不饒益等事皆令迴心歡喜諸佛護念加持是名攝召敬愛法文依此文就愛敬修之事可知之歟

降伏事本願經云若諸有情惡業展轉常爲不饒益事互相謀害召山林樹塚等神

殺諸衆生取其血肉祭祀藥叉羅刹婆等書怨人名作其形像以惡呪術而呪詛之

令斷彼命若聞惡師如來名號諸惡事不能害一切展轉起慈心利金安樂文別

譯軌云云若降伏惡人者作一印以瞋心誦一百八遍遙打一切外道破滅文又云

若人遠去怨家加持苦練子一百八遍一呪一燒投火中燒其人即遠去文

私云建立護摩儀軌云若作降伏法阿毘遮訶迦○制鬼神惡人破壞正法眼及

諸惡毒龍非時隱暴雨霜雹損苗稼水旱不以時鬼魅遍流行處現變怪人

衆不能安寧所在橫禍亂及行不忠孝此法能制除安樂世間故設此大方便兼

利益於彼文準祇儀軌云阿毘遮訶迦法者犯五無間勝方廣大乘毀滅佛性背逆君主惑亂正法於如是之人深起悲愍應作降伏法以此等文降伏義可知之歟





真言云藥師三曼多母狀南引勃喻喻三  
召請 大論召印金輪道言如自加持  
諸明四

供物 真言同上 或息災句  
接造 準召請印

口云以延命爲部主故藥師悉除藥師  
尤相應也又用金輪故藥師如來光聚  
佛頂同體習之故以金輪爲部主亦釋  
迦藥師一體故用釋迦金輪也是當流  
也習覺法眼用降三世或無能勝明王也  
金寶抄云大日云聖賢云佛眼云  
如是於部主有異說也

本尊段

白加持 佛部心印真言曰

唯神殺逆神殺逆神殺社三沒揭落莎詞

召請 如自加持印真言以二大指三指加

供物 同真言或加契句

加持物

接造 準召請以二大指三指

諸段 準召請以二大指三指

日光真言喻喻從引側度二多莎阿

日光真言喻喻從引側度二多莎阿

世天段 後四十二神符

神符總呪喻一俱是羅仁莎去 阿三

私云付諸尊段有異說小野流以普供

養尊言本尊二菩薩十二神將可加行

也或說三十七尊日光月光本尊段可

供云金寶抄云八大菩薩云信運

云東方四親近供云實任云南方四  
親近寶光韓笑加供云私云本願經  
付陳賢覺云十二神世天段供之云  
道場莊嚴

本尊事

陀羅尼集經二云作藥師像一軀文本願  
功德經云云諸彼如來形像七軀七佛  
藥師如來建立壇場安置本尊若繪像懸  
之者十二神將各別懸之有口傳釋迦藥  
師時本尊懸北向南其時從乾角懸金尼  
羅大將次第東懸連至良角也又阿闍  
師時本尊懸東向西從丑寅角懸金尼羅  
大將次第南懸連至辰巳角也

經典事

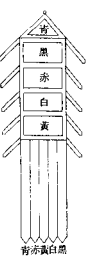
陀羅尼集經二云寫藥師經一卷文本願  
經云若自書教人書文灌頂經云能以好  
素帛書取是經文口云新寫藥師經一卷  
置壇中本願經若隨願七佛經也或云藥  
師經一卷如法書寫置壇中經本願  
經入經兩壇上壇與瓶前置也以此經爲或  
云新寫藥師經一卷置壇中云本願功  
德經云讀誦此經四十九遍文七佛經同  
之集經云轉四十九遍云消災軌云轉  
經四十九遍文灌頂經云四十九遍讀是  
經典文

續命幡事

本願藥師經云懸著五色續命神幡文又  
云造五色經幡長四十九掣平文陀羅尼  
集經第二云造幡一口以五色成四十九

尺云藥師如來本願經多譯云當造  
五色經幡長四十九尺文七佛藥師經  
譯云一長幡四十九尺文灌頂經第十二  
云神幡五色四十九尺云消災軌云造  
五色幡四十九尺云本願經疏云探者  
尺也七佛經疏云探手即應一尺云知  
諸經四十九尺四丈九尺也智證記云一  
探者六寸幾四十九探之所當二丈九尺  
四寸探手云探傳云探者五寸也故長四  
十九探手也二丈四尺五寸也即續命幡  
大幡或續命神幡可付付也以五色可造  
五窠從下窠次第配五色地黃水白水赤  
風黑空青五大色也幡手各屬窠又足五  
筋各屬一色黃色屬中心足云又說云  
以黃色爲中窠也或黃色第一窠也已下  
四窠東南西北配之是黃赤白青黑之次  
第也

小幡



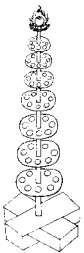
七佛藥師經下云造雜經幡四十九首并  
一長幡四十九尺文口云餘經軌不說小  
幡只七佛經許也四十九流長五尺以五  
色絹交造之道場四面懸之也但世不用  
之云天台異說以一色藥幡交雜懸之  
又慈惠僧正圖云中緣左方小幡皆青色

右方皆白色云：口云當世藥師法動行之五色幡不用之歟云：

輪燈事

陀羅尼集經第二云：燃四十九燈燈作七  
屏形如車輪安置像前云：本願藥師經  
云：燃七層之燈云：又云：七層○像前各  
置七燈：一燈最大如車輪：乃至四十九  
日光明不絕文如來本願經同此意  
口云：造七層車輪高六尺：每層燃七燈：晝  
夜不斷也：壇與本尊之間立之：是形像七  
輪：一一像前各置七燈：即是七佛藥師別  
行也：問：一像像：置七燈其意如何？答：此法  
修行所證：能為治四大不調三毒病也：以  
此七病相當七輪像：七：四十九也：燈是  
般若義也：能對治煩惱病：離生死流轉故  
涅槃常作理也：常作理即金剛性智德也  
故為祈金剛堅固壽命付此秘法：供四十  
九燈也：口云：輪燈之用：否可隨時獻承：保年  
中勝覺：僧正勤修：時不用之也：又仁和  
寺御室勤修不被用之云：仍當世不用  
之也：賢覺法眼勤修之時用之云：

師傳四十九燈圖



千燈法

大原云：七重車輪七本用之：七七四十九  
輪也：一輪百燈許歟云：又云：此壇藥簡

一佛千燈供也：內外輪：大小：故千燈：七  
重：并：列：可：意：得：也：陀羅尼集經第二云：平  
治地竟：以淨牛糞和檀香湯：以手掌摩：隨  
日而轉：摩地已：竟：地上布置千索：一一隔  
道：兩頭著燈：重：隔：各別著燈：數滿千  
索云：大原有圖

壇樣事

私云：為才覺載之  
消災儀軌云：方圓圖本意：口云：建立護  
摩壇事：就壇益修之方：爐支具等：常增益  
法：樣也：若付息災修之：問：爐支具等：又如  
常  
供養物事  
集經第二云：燒種：香散種：華：供養種  
養：飲食華菓：又燒酥蜜胡麻人等：而為供  
養云：妙抄云：香花飲食：隨力所辦云：  
口云：開白井：每日之日：中：佛供十六環：大  
八環：小：八環：小：豆：菓子：十六環：八環：後夜  
第八環：初夜：無供物：賢覺法眼云：佛供十  
五環：二環：本尊：十二環：十二神：將：一環：七  
千藥：又總供之本尊：二環：外可有蠟燭



十二五色幡：燃四十九燈  
權僧正從前先年：猶不例時：如此：圖樣：令修  
之間：有法：驗除病：延命云：

五色線事

集經第二云：以五色線而作呪索：用繫病  
人：項及手足：腰腹等處：文又云：與作呪索  
法：得線未結：即燒名香：發願已：呪四十九  
遍：香煙：熏：提線作索：呪聲：莫：越：後：結  
作：以：印柱之：更：呪其：索：四十九遍：然後：結  
作：四十九結：一呪：一結：數：足：即止：應：將：此  
索：繫：彼：人身：消災：軌云：是法：即：呪：若：善：男  
子：善：女人：等：多：諸：難：難：一切：疾病：女人：難  
月：產：厄：願：欲：轉：禍：求：福：并：患：鬼：神：病：難：差  
者：以：五色：線：撻：索：呪：繫：病人：項：及：手：足：腰  
腹：等：文：又云：呪：五色：線：發：願：又：以：印：柱：於  
線：上：又：呪：四十九遍：結：四十九結：復：念：此  
真言：加持：真言云：時：呪也  
誦：呪：結：樣：如：六字：法：結：線：呪：二神：呪：可  
用：之：但：陀羅尼：集經：二：神：呪：戶：神：呪：功：能  
出：結：線：故：可：用：戶：神：呪：戶：神：呪：長：安：僧  
都云：集經：以：呼：慮：云：呪：為：結：願：神：呪：云  
同：之：云：不：空：軌：以：婆：婆：帝：呪：為：結：願  
神：呪：新：渡：軌：以：大：陀羅尼：神：呪：為：結：願  
神：呪：小：軌：以：十二：神：將：呪：為：結：願  
神：呪：經：無：咒：集經：二：以：十二：神：將：呪：名：結：願  
神：呪：依：此：等：今：用：十二：神：將：呪：也：或：云：結  
願：神：呪：者：青：龍：和：尚：曰：以：五色：線：作：索：即  
書：十二：大：將：名：一：結：於：線：中：限：若：上：日  
要：明：滿：願：願：稱：意：之：便：解：結：并：結：之：條：供



御加持呪十二神

護摩 本尊段七  
荷葉提之

七佛名號事

第一善名稱吉祥王如來世界名無勝淨

土東方去此過四殘伽河沙佛土初發

心時發八大願

第二寶目智藏光音自在王如來世界名

妙寶淨土去此五恒沙八大願

第三金色寶光妙行成就如來世界名圓

滿香積淨土六恒沙四大願

第四無憂最勝吉祥如來世界名無憂淨

土七恒沙四大願

第五法海雷音如來世界名法幢淨土八

恒沙四大願

第六法海勝蓮遊戲神通如來世界名善

住寶海淨土九恒沙四大願

第七樂師瑠璃光如來世界名淨瑠璃淨

土十恒沙十二大願

寶夜六時恭敬禮拜七佛如來造彼如來

形像七軀若有於此七佛之中隨具一佛

稱名供養者皆得如是無量功德所求願

滿何況盡能具足供養文

私云委細可見七佛樂師經七佛抄云

七佛同是一體分身隨機緣云

北斗延命功德經云北斗之星云現在七

佛是云七佛樂師破軍星云淨瑠璃世界

樂師文

白寶口抄 佛眼法一

本書事

金剛吉祥大成就品經一卷

出瑜祇經一品 仁 行 仁錄無經

字行錄同今題便注云亦名五眼經出

金剛頂峯經寂寂錄云金剛吉祥大成就

法一卷

佛眼佛母曼荼羅經要集一卷

珍和上與高大夫共集

梵字八大菩薩真言一本仁

八大明王真言一本錄外

播散藝法便波法一卷

唐云步擲金剛念誦儀軌一卷

義法使波金剛念誦儀軌一卷

唐云步擲明王真言及用法

梵字三界無能勝真言一本仁

梵字七曜名號一本錄外

梵字二十八宿名號一本錄外

梵字三九祕法名號一本

佛眼法所用也

已上祕錄

梵字佛眼真言一本仁

佛眼儀軌一卷行錄外諸印

佛眼七成就品一卷唐書

相應宿事

經云說作成就法於心宿直日柳宿直日昂宿直日牛宿直日不滿日月吉凶但於

此宿直日於一日之中不食誦滿一千八十遍所有心願應時遂獲大悉地文

盡珍財可受法事

七成就品云如是文句唯得是者永住四

無量亦盡珍財供養阿闍梨若貧窮類為

奴僕先從師十二年然後可受是文句不

如是者不得真言靈驗文又云俱如佛供

養不可惜七珍如是人如來真寶子也文

四種人不可授事

又云我今說是祕密門唯莫傳四種人言

四種者一者貪愛珍寶二者為師懈怠三

者無慈悲四者兩舌厭色文

口云此法輒不授人報恩院僧正等佛眼

法名一卷切出別卷調之以此法祕故也

名字事

梵號 阿利也沒陀路左義

密號 殊勝金剛

口云佛眼者先五眼中一眼也其五眼者

天台云佛眼緣中理惠眼緣空理法眼緣

假理天眼見衆生死死此生彼肉眼見世間

一切事文花嚴經五十云有十種眼所謂

肉眼見一切色故天眼見一切衆生心故

慧眼見一切衆生諸根境界故法眼見一

切法如實相故佛眼見如來十力故智眼

知見諸法故光明眼見佛光明故出生眼

見涅槃故無礙眼所見無障故一切智眼

見普門法界故是爲十善龍軌云肉眼見一切色天眼見一切衆生心惠眼見一

也

佛眼佛母事

一字金輪轉云不空佛眼佛母聖者文

口云佛眼者又以慈悲為體也四攝品云

以眼起慈於一切以眼起悲於一切以眼

起喜於一切以眼起捨於一切文慈悲尤

有眼又佛心者大慈悲心文是以慈悲號

佛故佛眼以慈悲為名然慈悲至極母也

既號佛母三部五部諸尊皆悉以此尊為

總母也又施云觀察應度衆生出生隨類

形文是上句釋佛眼義下句述佛母義也

譬如胎藏大日從支分出生十三大院聖

衆今此佛眼尊從支分出生十恒河沙諸

佛亦佛眼入法界胎藏大悲三昧開發一

切衆生無盡莊嚴藏受荼羅也經云一切

佛母身文大日經云諸佛菩薩母文菩提

場經云佛眼明妃文口云是皆義同釋從

一切支分出生十恒河沙俱既佛說之故

名一切佛母也明妃者女義也故菩提場

一字頂輪王經云佛眼明妃形如女天文

又疏十六云佛母形者當如女天文女必

出生子故有母德矣

金剛吉祥母

釋曰本所出生大金剛吉祥母文

口云摩耶夫人令懷孕悉達太子時世界

吉祥也佛眼十恒河沙佛母也故云金剛

吉祥也

私云釋迦號金剛吉祥大成就品也是

於一切衆生令成就吉祥故號釋云說

花部佛眼佛部也故胎藏界三部中以大

日遍照配佛眼以下二部配二眼攝二眼

功德故稱佛眼是胎藏界佛眼也

問若胎者兩部大日共佛眼如何

答金剛頂義決云梵云毘盧遮那此謂最高

顯廣眼藏如來是者最廣顯廣遮那者廣

眼也先有翻為遍照王如來也又有翻為

大日如來此並略而名義闕也又此如來

亦名佛菩薩眼如來亦名諸佛菩薩母亦

名諸佛菩薩最上廣博清淨藏也所謂諸

佛菩薩依之明見故諸佛菩薩於中出生

故一切賢聖在中住故又此大日如來常

住滿虛空法界量廣廣等諸佛身相一

身相皆無中邊又無增減故是廣遮那大

經說為無盡莊嚴藏三昧也此文意皆

佛眼德也兩部大日共號是廣遮那是最

高顯廣眼也亦名佛菩薩眼如來亦名諸

佛菩薩母云遮那即在眼一字以此眼

為虛空法界量故號虛空眼諸佛菩薩於

此中出生故一切佛母尊也

問佛眼尊以兩部不二眼為實體可習之

歟如何

答爾也謂以胎金不二為佛眼

此尊能生理智法故云佛母也今以不二

法性為大能生以而二兩部為所生淨形

即法界定印座月輪是即胎藏大日摩金

剛界月輪兩部不二義其意可知云

問若爾者五眼三眼為顯不二也既存不

二也既存不二時兩部無用歟如何

答存不二兩部即無別不二外全無兩部故

切衆生諸根境界法眼見一切法如實相

佛眼見十方出華嚴五十七文今佛眼者

五眼互融佛眼中融四眼第五肉眼融四

眼故具佛眼能也或經云學大乘者雖有

肉眼名為佛眼云又云六自在王法清

淨故文智通云尊肉眼能遠見者天眼文

是肉眼上修得遠見成云天眼此眼見法

云法眼人見文殊童子惡眼也合四眼德

云佛眼是皆肉眼上德也此五眼互相通

義歟但顯宗五眼釋意正託眼是肉眼天

眼二是實眼也餘三眼智分別也惠眼照

空法眼照有佛眼照中是心以觀照眼

非實眼根又天眼託肉眼起故有二眼成

五眼用也但密教意不然即事而真故正

各別根處可開五眼金剛夜叉等是也故

可祇釋佛眼品於面上各別成五眼云

今次第道場觀云二目微笑文又現同尊

形兩目暫兩眼攝五眼之一邊也

問一眼融四眼者可名法眼惠眼何必眼

佛眼乎

答五眼中佛眼最最初故呼初攝

以下亦眼中佛眼尤勝其故此五眼即五

智眼也謂佛眼金剛眼寶眼蓮花眼羯磨

眼是五部眼也五部中以法界智為佛眼

以下四智配四眼四智圓滿名法界智今

佛眼尊法界智總體也喻四河入海同名

大海雖然各不無四河水悉如具足大

海四眼悉具佛眼故五智眼合名佛眼

是金剛界佛眼也又演密鈔云三眼者惠

眼法眼佛眼也文是惠眼金剛部法眼蓮

一切佛眼大金剛吉祥一切佛母心出生一切法成就一切明能滿一切願遂一切不吉祥生一切願遂一切罪令一切有情見者皆歡喜此意也歟相應秘決云金剛不空經云吉祥

虛空眼

統十云虛空眼文同五卷亦同不空經云虛空眼佛母菩薩文大目經云虛空眼明妃文口云虛空眼者法界智德也是等虛空字門故或以字為種子滿虛空法界無邊無礙德能出生無盡莊嚴藏受茶羅故名佛母也

攝佛部事

問佛眼佛部攝歟如何 答既云佛眼佛部條勿論也故當流攝佛部中餘流大旨佛部攝也佛眼念誦法云佛眼如來文石山內供云金剛眼形成佛眼佛母如來身相白色坐蓮花著五智冠頂背有圓光住法界定印云

問藏盛光軌云佛眼菩薩文又不空經云虛空眼佛母菩薩文安然瑜祇記云佛眼佛母菩薩法云又佛眼儀軌云佛眼明王云既云菩薩云明王是主佛眼一德可心數尊何必限佛部乎 答祇藏記云今密教所說菩薩地者是心也法文也佛也菩薩也異論乘如此文於如來部章云菩薩云明王是不吉祥事也為部事

秘藏記云五部定母主如何是虛部那部主阿闍梨金剛部主金剛 實生寶藏部主寶藏 虛空眼胎藏佛母通佛眼金剛佛母也然而普通佛眼通下部故佛眼是總母也云三井虛部云問今所修佛眼者遍知院虛空眼眼將又釋通院遍知眼眼等虛空眼者大目佛母遍知眼者釋迦佛母也若爾遍知眼可云眼眼眼者具使者眷屬今本尊無異歟但唐坊略次第虛空眼者本體佛眼故可得心眼同次第云虛空眼印五眼是也嘉會壇三云勇勇北維廣虛空眼大目佛母弘法大師次云虛空眼處佛眼印一切菩薩明常喜院法印抄云久遠成釋迦者即佛眼佛母菩薩也故詩量品云我以佛眼觀其信等亦名不空見菩薩名眼與不空見故文如來如寶知見三界之相乃非實非虛非如非異不類三界見於三界云金剛界寶劫十六尊中不空見菩薩者即佛眼佛母尊也不空者中道理則五眼之中佛眼也見者眼之用也故大合釋云佛眼種種智空冥寂遍知院虛空眼菩薩不門之佛眼名內釋遍院之中遍知眼是達門佛眼名外釋遍知眼是內證經迦初門之教主外現經迦也矣已上

如何佛部 金剛部 蓮華部 馬頭明王 轉語為忿怒多羅為明妃 各局蓮花部 第三阿闍梨 鷄是母孫婆大明王 軍叱大忿怒那利為明妃 此等文雖繁多大要故載之但金剛界佛部無母四佛有母胎藏界三部共有母胎五云虛空眼即是虛部那佛母也又足胎大目有母金大目雖無母安然瑜祇記云佛眼佛母菩薩是佛部佛母遍知院五部法也云既通攝五部三部又可攝

定知可兩部總母也又此安然經以佛眼為五部中佛部母故五部各可有母也或云虛空眼胎藏佛母通佛眼金剛佛母母也然而普通佛眼通下部故佛眼是總母也云三井虛部云問今所修佛眼者遍知院虛空眼眼將又釋通院遍知眼眼等虛空眼者大目佛母遍知眼者釋迦佛母也若爾遍知眼可云眼眼眼者具使者眷屬今本尊無異歟但唐坊略次第虛空眼者本體佛眼故可得心眼同次第云虛空眼印五眼是也嘉會壇三云勇勇北維廣虛空眼大目佛母弘法大師次云虛空眼處佛眼印一切菩薩明常喜院法印抄云久遠成釋迦者即佛眼佛母菩薩也故詩量品云我以佛眼觀其信等亦名不空見菩薩名眼與不空見故文如來如寶知見三界之相乃非實非虛非如非異不類三界見於三界云金剛界寶劫十六尊中不空見菩薩者即佛眼佛母尊也不空者中道理則五眼之中佛眼也見者眼之用也故大合釋云佛眼種種智空冥寂遍知院虛空眼菩薩不門之佛眼名內釋遍院之中遍知眼是達門佛眼名外釋遍知眼是內證經迦初門之教主外現經迦也矣已上

本身上 曰云佛眼有二一大目所變二金剛所變所變也大目經云佛眼尊者大目所變取意如口抄云此等胎藏大目大佛母三

味地也即我所修微少行業併奉預佛母

尊也而佛果菩提能持母如思子護持也

云：寶惠曰訣云若大日變者於臺上置

大日如來之種子謂種子也一並置佛眼尊種子

變者置臺上謂種子也大日變成佛眼尊云：

金剛薩埵臺上置佛眼金剛薩埵於印金

剛薩埵本位置大日如來○薩埵本位在

大日也○佛眼種子取初喚字用之又方

取竟寧字用之云：

私云初喚字者眞言下下初下字也竟

寧字者同眞言終下字也或道場觀云

有下字變成摩訶薩埵成大日如來住

智淨印頂戴五佛冠○大日變成佛眼

尊藏師子冠云：或傳云：智淨印云

此等金剛界大日入佛眼三摩地也可

知

經云時金剛薩埵對一切如來前忽然現

作一切佛母身或云片品大日變金剛

南方寶部尊種子即寶珠也歷尼云無垢

是離塵垢義梵網開題云下字摩垢也大

空三昧時還一切座垢爲寶文又三種悉

地軌云金玉珠寶日月星辰火珠光明從

下字成文又云下字是大日如來心地火

大種子三世諸佛寶宅焚燒一切衆生無

始無明塵垢妄執出生若提心芽種文智

字災過不可得字經云能成解一切難解

之事速疾無過文凡合此三字讀舊譯

宰利此翻功德轉譯翻吉祥云宰利

是功德吉祥義文同十二云樂善功德具

足無缺即吉祥義又此舊譯新譯相合釋

也佛眼品云除一切不吉祥生一切福滅

一切罪是種子功德也

問以種子用種子不見彼品如何答品

題雖既金剛吉祥大成就也又說佛眼大

金剛吉祥一切佛母即以種子爲品題以

種子爲尊名故今道場觀本尊下字云

金寶抄云祕傳云：覺意傳云種子顯法

三獅子傳云：

三昧耶形事

口云如意寶珠者佛眼尊所持故觀菩提

場一字頂輪王經二云佛眼明妃○右手

持如意寶左手施願文以所持物爲三形

事如常又吉祥寶珠名也佛眼品名金剛

吉祥可知又此尊寶珠能生母故今品說

五大虛空藏尤有其實觀亦持根本明者

如百千俱祇不可說不可說佛說利權云

故Q3法以佛眼爲部主本尊即懸佛眼

曼荼羅也或Q3法名如寶佛眼法皆此

等寶珠故也當流爲佛眼寶珠一盤至

極祕傳也

問以種子爲種子其道理爾也以寶珠爲

三形當品有其證歟如何答當品說五

大虛空藏其故此尊五大虛空藏一體義

也故以五大虛空藏印言用佛眼印言是

報恩院云佛眼法種子顯字三形三寶寶

種子顯字三形三寶寶

種子顯字三形三寶寶

種子顯字三形三寶寶

種子顯字三形三寶寶

種子顯字三形三寶寶

種子顯字三形三寶寶

種子顯字三形三寶寶

種子顯字三形三寶寶

種子顯字三形三寶寶

種子顯字三形三寶寶

種子顯字三形三寶寶

種子顯字三形三寶寶

種子顯字三形三寶寶

種子顯字三形三寶寶

種子顯字三形三寶寶

種子顯字三形三寶寶

種子顯字三形三寶寶

珠是祕說也當流尤用之周、可祕之是  
 靈藥傳也佛眼名金剛吉祥也、佛眼云吉  
 祥故用字也寶珠是眼義也俱舍等以  
 眼如珠寶光云之其故人死之後令火葬  
 之時兩眼中如鐵丸物有之伴物火不燒  
 打不碎物也光顯釋眼根如珠寶光云即  
 是證也故佛眼三昧耶形用寶珠是意也  
 眼根即寶珠也云、  
 玄秘云大日抄云佛眼三形法三御子傳  
 如意珠云、

種三異說事

種子、三形五股契口云云印、虛空合掌、二  
 大入月、二頭指二小指立開、如五股杵形、  
 眞音如經

已上靈藥傳大師御流也 私云靈藥  
 寺圖行也

仁濟云三形五股口云云其眼五股杵印者五  
 眼印云、亮惠云五股崎皆具眼故、五  
 眼契云又五股端觀五寶珠、其中觀  
 字玄秘抄三形五股契謂五股杵也  
 私云除異教令輪法云佛眼尊身相紅  
 蓮華色、左持五眼契、右作如來拳文  
 師傳云五眼契者五智杵、如來拳者金  
 剛杵也故五股即佛眼持物也

玄秘鈔種子字三形金剛眼也  
 實惠口決云若大日變者於掌上置大日  
 如來種子謂也也並置佛眼尊種子亦謂字此  
 大師御口決也佛眼眞言取字初下  
 字用之又取眞言終字用之也疏上云

凡諸眞言中隨取初中後字用爲種子皆  
 得也、觀察取宗要之字耳、文今大師取眞  
 言初後字用種子、全此意也、字寶珠義  
 也、梵網開題云字廣攝也、大空三昧時  
 還一切塵垢爲寶文、也取意是南方寶部字  
 也可知、故惠運護摩抄并仁海護摩鈔達  
 應護摩等用之、寶心云字千手傳云、金  
 剛眼者、獨股杵有五眼也、一股一大法界  
 平等不壞義也即廣、一大法界互具五  
 眼五智也如是六塵五眼所成攝普門法  
 皆受茶羅總體也  
 石山內供四卷金剛界次第、左右有眼眉  
 也、名金剛眼云、



如是出之、寶心云火焰中有一股、左右有  
 眼生蓮云、  
 或圖云



東寺金界降三世三昧耶會不空眼、三形  
 獨股十字字字カヘテ左右二月、證據也、  
 種子、三形獨股

出佛眼念誦軌又攝眼毒女說也、普通  
 用之、仁海僧正記出之也、字等虛空  
 字、尊名稱虛空眼即虛空中如含萬像  
 此佛母中含諸尊萬德無有邊際空點  
 邊際點放用之、五輪中空輪、能生故寶  
 珠也、獨股如金剛眼云、



種子、三形

口云、字如前三形圓光中有五眼、神  
 樂岳長慶公護摩鈔云、五眼在圓光變  
 內云、

種子、三形



覺意抄出之、祕說云、

種子、三形

疏上云、嚴、虛空眼也、個、是去來、離  
 去來法、即同大空、故加點也、文

種子、三形

大日經三云、伊舍尼方一切如來母虛  
 空眼應書、字文疏十三同之胎藏佛  
 母院虛空眼種子用之、歟

行、行不可得字是南方修行寶部大行  
 也、目證成佛行位寶珠能也、三形獨股

金剛眼、亦同之、獨股不二義、五眼表五  
 智、隨其功能顯名體、實以理智二法也、

故二眼也、二眼兩部寶珠也、或佛頂眼  
 者、佛頂形具五眼、佛頂空輪即虛空眼



義也故云虛空眼云佛頂眼其三形雖別形義分一同也又佛頂形三瓣寶珠體形也此佛頂眼有師子說多之



金寶云師主祕說  
後入唐傳

金寶抄普通說



胎佛眼院



妙鈔出之



賢覺 亮慧等



或說樣

安養房

又法三宮諸說不同記并石山七集等猶出之可見也

大目經五云先說曼荼羅諸佛菩薩母安

### 白寶口抄 佛眼法二

道場觀事

置境形像中置如來頂○應作如來眼自住光焰中文疏十六云於曼荼羅中作蓮花黃色有炎蓮上作佛頂印○其印如佛頂形令頂高際傍表兩眼形也文種子 三形佛頂眼大理趣房 傳也傳受集一并金寶抄妙抄二四字等皆同佛也沒駄是佛駄故也又小呪初字故用種子水大即寶珠體也又種 三五股或三股又種 三股又傳云 智拳印 二大如珠指

佛眼念誦法云月輪中有字作三層八葉蓮華於花臺有字等虛空不可得門放白色光明變成獨眼金剛杵法界體無有邊際一切如來在於杵內無間隨杵變成佛眼如來兩目微笑住定印色素月寶冠冠子寶華天帶飾首衆寶珠璣珞五色華鬘索微妙嚴身光明熒盛一切支分出生十恒河沙俱胝佛內院八葉前葉有一字頂輪王右旋有七曜使者第二八葉金剛平等八大菩薩如經第三八葉右旋有八大明王又於華院外四方有八葉四攝菩薩如是諸尊各戴師子冠又外四方八大護天二十八宿等恭敬圍遶文經云一切佛母身住大白蓮身作白月耶兩目微笑二手住勝如入奢摩他從一切支分出生十穠識沙俱胝佛文又云畫像曼拏羅法取白淨素純等自身量而圖畫之凡一切瑜伽中像皆身自坐等量畫之於中應畫三層八葉蓮華中畫我身當於我前一蓮華葉上畫一切佛頂輪王手持八輪金剛寶輪於此次右旋布七曜使者大第二華院當頂輪王前畫金剛薩埵次右旋畫八大菩薩各執木槵職天第三花院右旋各畫八大金剛明王又於花院外四方面畫八大供養及四攝等使者皆戴



又約從本垂迹。佛眼是胎界。金輪金界。七  
曜不二。八大菩薩。八大明王。是佛眼。金輪  
悲智二德。卽化他義。降伏攝受方便也。此  
三層二十四尊攝盡法界曼荼羅諸佛眼。

金輪攝一切佛部。八大菩薩攝一切菩薩  
部。八大明王攝一切金剛部。七曜  
攝一切外金剛部。諸天是金剛部。若約內證。七  
曜一切衆生自性體。故佛部若約外用。七  
曜卽障者。也。故攝金剛部。又三層。卽證  
三點。八供四攝。化他外用也。云亮惠云。中  
臺佛眼佛部也。胎藏大日理法身也。住定  
印故也。八葉卽蓮花部也。是胎藏八葉也。

外院八供四攝金剛部也。卽表金界四智  
也。口云佛眼如來等持定德也。金輪定中  
惠德也。金輪爲諸星王。定中惠能斷七曜  
不祥爲七吉祥。故以金輪七曜爲內八葉  
也云。

聖賢云。第一層金輪七曜目佛眼出生。天  
眼見被障細遠色。第二層八大菩薩目法  
眼出生。緣衆生。第三層八大明王目惠眼  
出生。斷惑障緣眞如云。

口云。金剛明王。吉祥是金剛吉祥也。經  
說金剛吉祥故也。

身色白月。睡二目微笑。二手住  
勝如入舍摩他事。

口云。念誦法云。兩目微笑。住定印。色素月  
云。不遠經是同白色。長金剛界大日內證。  
住法界定印。表胎藏界大日內證。是智兩

部不二。法性大日。自證佛體。既不二也。故  
建立外用曼荼羅。此一曼荼羅納兩部曼  
荼羅也。付此尊身色印相。寶冠三不同有  
之也。經并念誦同之歟。

大日經云。次於其北維摩師諸佛母。日光  
曜眞金色。綯素爲衣。遍照猶日光。正受住  
三昧。文疏云。於大動勇北。至於此維摩  
虛空眼。卽是思慮遮那佛母也。眞金是如  
實相之體。畢竟淨。卽是彼教門之外飾。  
故曰綯素以爲衣。一切戲論滅時。心日光  
明。無所不照。故曰遍照。猶如日光。恬怡一  
心。人乃能見。此故其轉轍猶如天女。住於  
正受之像也。云。

私云。身色金色。正受三昧者。可爲定印  
歟。

不空觀索經九云。虛空眼佛母菩薩。以右  
手背押左手掌。伸置膝下。結跏趺座。云。

私云。此像定印也。同像白色白衣也。小  
野圖紫蓮七集亦蓮也。若天冠歟。爲女  
形故也。

菩提場所說一字頂輪王經二云。應畫佛  
眼明妃形。如天女。座寶蓮花。種莊嚴身  
如金色。目視衆會。著輕縷衣。角絡而披。右  
手持如意寶珠。左手施願。光周遍。熾盛  
光明。身儀寂靜。云。

私云。此文身金色形。如天女。疏十六云。  
作佛母形者。當如天女。女但同像黃色。  
赤袈裟白縷。有手持寶珠。當心。左手仰  
開膝上。著寶冠。坐寶蓮花也。

私云。此文身金色形。如天女。疏十六云。  
作佛母形者。當如天女。女但同像黃色。  
赤袈裟白縷。有手持寶珠。當心。左手仰  
開膝上。著寶冠。坐寶蓮花也。

私云。此文身金色形。如天女。疏十六云。  
作佛母形者。當如天女。女但同像黃色。  
赤袈裟白縷。有手持寶珠。當心。左手仰  
開膝上。著寶冠。坐寶蓮花也。

私云。此文身金色形。如天女。疏十六云。  
作佛母形者。當如天女。女但同像黃色。  
赤袈裟白縷。有手持寶珠。當心。左手仰  
開膝上。著寶冠。坐寶蓮花也。

私云。此文身金色形。如天女。疏十六云。  
作佛母形者。當如天女。女但同像黃色。  
赤袈裟白縷。有手持寶珠。當心。左手仰  
開膝上。著寶冠。坐寶蓮花也。

私云。此文身金色形。如天女。疏十六云。  
作佛母形者。當如天女。女但同像黃色。  
赤袈裟白縷。有手持寶珠。當心。左手仰  
開膝上。著寶冠。坐寶蓮花也。

私云。此文身金色形。如天女。疏十六云。  
作佛母形者。當如天女。女但同像黃色。  
赤袈裟白縷。有手持寶珠。當心。左手仰  
開膝上。著寶冠。坐寶蓮花也。

大聖妙吉祥說除災教令輪法云。當前佛  
眼尊身相。紅蓮色。左持五眼契。右作如來  
拳。云。

私云。五眼契者。五股杵也。如來拳者。金  
剛拳也。彼圖像左手執五股當左乳上。  
右手作拳。置右膝上也。身色肉色。表紅  
蓮色。歟。香袈裟赤裳也。著五佛寶冠也。  
小野僧正云。白肉身。七集云。肉色。玄  
祕抄云。肉色。肉色。定印。坐蓮花云。

問。肉色。依除災教令輪法。有印像。住  
定印。事違經說。如何。答。肉色指圖像  
歟。彼玄祕抄云。肉色。金剛眼形。成佛眼  
佛母如來身。身相白色。坐蓮華。著五智  
冠。頂背有圓光。住法界定印云。

問。菩提場經并除災教令輪法。說所持  
物。其意如何。答。是主伴相違歟。其故  
先佛眼法時。本尊佛眼住法界定。前葉  
同金輪佛頂持八金輪。是伴故歟。又金  
輪法時。本尊一字金輪。是伴故歟。前葉  
佛眼所持。物是伴義歟。彼菩提場一  
字頂輪王經。除災教令輪法。說金輪佛  
頂前佛眼尊故也。但是愚推。可哂之也。

問。佛部不持三形。今佛眼金輪持三形  
故。非佛部乎。答。佛眼金輪佛部也。無  
量壽義軌。可彌陀持末數蓮樂。爾如來  
持樂。是佛部三形。執持證據也。

玄祕抄云。身相白色。坐蓮華。著五智冠。寶  
意抄云。身色水精色。百歲五佛寶冠。云。大  
谷云。御身白色。著五佛寶冠。口云。此等

玄祕抄云。身相白色。坐蓮華。著五智冠。寶  
意抄云。身色水精色。百歲五佛寶冠。云。大  
谷云。御身白色。著五佛寶冠。口云。此等

玄祕抄云。身相白色。坐蓮華。著五智冠。寶  
意抄云。身色水精色。百歲五佛寶冠。云。大  
谷云。御身白色。著五佛寶冠。口云。此等

玄祕抄云。身相白色。坐蓮華。著五智冠。寶  
意抄云。身色水精色。百歲五佛寶冠。云。大  
谷云。御身白色。著五佛寶冠。口云。此等

玄祕抄云。身相白色。坐蓮華。著五智冠。寶  
意抄云。身色水精色。百歲五佛寶冠。云。大  
谷云。御身白色。著五佛寶冠。口云。此等

義著五佛寶冠，不著師子冠。佛眼念誦法云：寶冠師子經下結文皆戴師子冠者，此曼荼羅聖衆皆著師子冠也。或云佛眼與胎藏大日全同也。但師子冠爲異。信與胎藏大日也。有師子冠十卷抄云：曼荼羅中戴師子冠也不然不異胎藏大日歟云。

私問云：不異胎大日者，金色定印像歟。如何。答爾也。胎藏界大日所變佛眼金色也。表本地身色。大日經說正受住三昧之故，金色定印佛眼不異胎藏大日歟。相應經序品白色本有自性。大日所變佛眼白色也。是亦表本地色。除災教令輪法紅蓮色。諸師肉色是肉色。白色和合色。即表胎金不二之色也。一切支分出生十恒河沙俱抵佛事。念誦法云：一切支分出生十恒河沙俱抵佛事。佛文經云：從一切支分出生十擬識沙俱抵佛。一佛皆作禮敬本所出生。於剎那間一時化作一字頂輪王。文

前一蓮葉上一切佛頂輪王手  
持八幅金剛法輪事

經云：作一字頂輪王，皆執輪印，頂放光明。文又云：當於我前一蓮華葉上，盡一切佛頂輪王，手持八幅金剛寶輪，文念誦法云：內院八葉前葉有一字頂輪王。文金剛頂經云：目佛眼毛孔生金輪，自金輪毛孔生七曜文。

口云：金輪智金界佛眼胎界是於一曼

茶羅表理智不二，或各一表不二。一字金輪本地金界大日智拳印故。能居金界智所居八葉是胎界理共表不二。又佛眼本地胎界，大日法界定印居月輪中，即能居胎界所居金界是又表不二。此二尊隨所用爲主伴。佛眼曼荼羅前佛眼前居金輪，金輪曼荼羅時金輪前居佛眼，但佛眼前金輪大日金輪變成釋迦金輪入北斗三摩地，即爲諸天主，仍居七曜中拂天災。又金輪前佛眼，金界大日，成金剛薩埵入佛眼三摩地也。

問佛眼前金輪何故用釋迦金輪乎。答：疏五云：安置佛眼亦是釋迦佛母。此方譯爲能寂母也。又別記云：遍智眼亦名能寂母，即釋迦母也。又名佛眼佛母。文是佛眼尊。釋迦母故佛眼釋迦一體也。陀羅尼集經一云：釋迦佛眼印說第二十五，出佛眼印文也。又佛眼品說金剛吉祥八字真言畢，其印如釋迦牟尼鉢印。此故佛眼所生釋迦入一字金輪三摩地，仍佛眼所生金輪即釋迦金輪同一體也。

私云：涅槃經云：時達多放醉象欲害佛，其時五百人弟子逃昇虛空阿羅離一人。隨佛時佛入佛眼三摩地，舉右手向象，自指頭出五須弥山，師子同聲迅吼，時醉象伏地下骨頰喪死。其時佛說因緣，言昔我爲雁母爲網懸，其時五百雁逃昇虛空，今五百人弟子是也。一雁隨我，汝阿羅離是也。取象醉象斃死時，滿蘇生

眞言令生，其眞言字也。部母加持時，胎印金言者外五股印， $\text{q} \text{ s } \text{ a}$  也。是釋迦既入佛眼三摩地，即同一體故也。是其證據也。玄祕鈔云：普通曼荼羅圖釋迦金輪，唐圖左手當胸捧蓮華上安輪，右手作施無畏勢。

私云：是故勝佛頂歟。彼有金剛號護摩達磨出此象印言，大勝金剛印言，然者圖彼尊心有有歟。或人云：金輪七曜主也。故安初重眞言與曼荼羅其意同也。云石本曼荼羅金輪之所安大勝金剛云已上。

問大勝金剛與金輪一體歟。如何。答：爾也。專肝心鈔云：大勝金剛頂，金界攝一切佛頂輪王也。云三十八帖云：攝一切佛頂輪王，金輪佛頂也。云此義一體也。又三十八帖云：八大佛頂中最勝佛頂二字，金輪也。云口云：故勝佛頂，大勝金剛，攝一切佛頂，一字金輪，佛眼尊皆同一體也。故何同。不苦歟。又云：大勝金剛，金剛界攝一切佛頂輪王也。佛眼尊胎藏界攝一切佛頂輪王也。其故一切如來大勝金剛品云：最尊獨無比。此大轉輪王，能摧諸佛頂，能攝諸等覺。親近爲眷屬，是金剛界攝一切佛頂證文也。大勝金剛智金界大日故也。又佛眼品云：速成諸部頂輪，最勝無比。奇特難勝，超過十地。攝一切諸佛菩薩金剛諸大天王。文此胎攝一切佛頂證文也。

問兩部攝一切佛頂本誓差別如何答  
金界攝一切佛頂以能摧能滅爲本誓即  
滅罪德也胎界攝一切佛頂以能生能成  
爲本誓是生善德也故兩部至極在攝一  
切佛頂也

問若爾佛眼金輪勝兩部大日乎答依  
果德最上兩部大日尤勝依不二現證佛  
眼金輪猶勝其故佛眼胎大日住金界月  
輪中金輪住入替也二法性如來即佛  
不二改所住入替也二法性如來即佛  
眼行一體也所全非兩部外故無勝劣  
不二時不存兩部兩部時不存不二本有  
理智根源也勝劣非常流習矣

問一切佛頂輪王手持八輪金剛法輪云  
其所持樣如何答釋尊住法界定印其  
定印上持八輪輪也疏十云一切佛頂者  
謂十佛刹土微塵數佛之頂頂是摩勝之  
義最在身上的也○此本尊形像一同釋迦  
具足大人之相唯頂肉髻作菩薩鬘形爲  
異也文作菩薩鬘形者著寶冠也但多本  
圖像此金輪螺髮形不著寶冠但佛眼曼  
荼羅時雖爲釋迦金輪不可闕螺髮形又  
不著寶冠可著師子冠而經曼荼羅下結  
文皆藏師子冠文又念誦法道場觀下結  
文諸尊各戴師子冠文此一曼荼羅聖衆  
皆可著師子冠文何金輪不著師子冠乎  
闕螺髮形條背經軌說歟

問持八輪輪其依憑如何答釋迦金輪  
胎藏界大日八葉八佛於釋迦院八佛頂

如來也今八輪輪者表彼八智其八智德  
普照八方一切諸星從金輪毛孔出生放  
顯七曜仍以能生金輪爲上首居八方八  
葉即以八智德顯七曜故七曜上曜於天  
神下直于人間以司善惡而分禍福故所  
仰人間也又持八輪輪表八識自八識顯  
七識是七曜使者義定人間禍福付七識  
淨分表七覺分此七覺分之法門無漏聖  
者故定人間禍福即施無漏之感應故七  
曜七覺分本無漏智也施現世禍福開  
善提道此夜黑闇顯有之長眠又日  
之明分示機之覺故出星闇夜授彼  
覺分義也今於生死長夜被照覺悟光星  
宿利益誠揭焉也此垂迹化儀迷中示覺  
也煩惱即菩提生死即涅槃事理俱密義  
輪圓具足故也此七曜眼光親拜見肉眼  
是神變加持自在神力德也

白寶口抄 佛眼法三

道場觀餘事

次右旋布七曜使者事

釋云於此次右旋布七曜使者文念誦法  
云右旋有七曜使者文

問以金輪爲七曜上首其意如何答諸  
星悉從金輪毛孔出生故以能生爲上首  
也金剛頂經云佛眼毛孔生金輪自金  
輪毛孔生七曜文又見北斗儀軌及金輪  
儀軌云

問七曜使者居第一重意如何答付此  
有多義先七曜者於一切衆生作障難故  
彼障難七曜置內院令親近佛眼座下爲  
使者以攝受折伏方便不令致災難故佛  
眼法爲息災法也八大菩薩攝受方便八  
大明王折伏方便也又以金輪爲七曜上  
首居七曜中譬世轉輪王治國土於四域  
中得自在在諸人隨彼命更如無造越佛眼  
所現之金輪與彼七曜常住一種姓拂障  
難施利益義也云

覺禪抄云或問云八大菩薩等內置七曜  
事如何法務答云佛眼法據其本法也星  
宿人與禍福仍其料殊置內院藏外都天  
等今法宗方取故也法華曼荼羅四大聲  
聞內院置心也云玄秘云或云七曜佛  
眼之所變也和光同塵以利益衆生爲本  
故安內院云此星宿等和光同塵守國

七利衆生。本誓速疾。故居初層。實微利生。德也。而大悲慈佛。憐愍一切衆生。令開悟得脫。本誓勝餘佛。然星宿爲不信者。作災難事。超餘尊。歸依渴仰。獲吉祥。凡受佛勅守國土。速疾故。近置大悲佛母初層。星宿災難止國土。七曜擁護。施衆生也。或七曜者。宿曜經云。七曜者。日月火水木金土也。其精上曜天神。下直於人間。以司善惡。而主吉凶文。是一切衆生精也。五行加日月二星。日。月。攝水火。開時從火生日。曜也。從水生月。曜也。故曰。月主陰陽。又日理也。定也。如母月。智也。惠也。如父日。受月精氣。生五星。故星字作日。生。故此七曜陰陽五行衆生。以此五行爲白性體。又羅喉日。曜裏計都月。曜裏是兩部本覺也。本覺者。無分別智。故圓證義也。故賢鏡裏也。離眼計都光曜無之。故云。圓照顯照者。星義也。故九曜只五行。行萬物之能生。衆生自性體也。亦是五大也。五大不調。依正損減。五智隱沒。衆生迷闇。惡業增長。六道輪迴。此故佛眼近居第一層。從佛眼大悲出生八大菩薩。圍繞第二重。從金輪大智出生八大明王。圍繞第三重。佛眼金輪前後居五行調和守護之長養之常恒相續。不令斷絕。天五行安隱。相生無失度。人身命亦泰平長遠。是故此五行即五智五佛故。修此佛眼法。衆生即轉五佛也。然則此法。即身成佛玄秘。故經云。五部深密。一時齊證者。即此義也。又

此五行。五大虛空藏也。諸法生滅。五尊三摩地也。故五大虛空藏主四季。即事而真道理。只在此尊也。又五行者。衆生五大也。此五大守護心王也。故取七曜爲眷屬也。七曜也。佛眼心也是衆生色心二法也。五大安隱。人身心安樂也。此五行即五智五佛體。衆生即五智五佛也。是親護義也。或云。金剛吉祥明以日月火水木金土。皆爲眷屬者。吉祥也是置內爲北斗七星。故也。妙見菩薩經。北斗。即七曜也。七曜亦五行也。日月火水變現爲諸星父母。日定母也。月惠父也。北辰陰陽五行也。其中央。金輪也。中央不轉。四星迴轉。北斗七曜星。就其四星指尾迴轉。百餘諸星。四洲旋繞也。雖然。七星守護南宿浮提。於衆生主生年月當年等外作災禍。內施吉祥佛眼。攝此七曜爲內證智。仍諸佛母故。萬法悉在佛母腹中義也。或云。日月星理智事三轉也。七曜即一切衆生本有自性體也。佛眼三形用如意寶珠。是三寶寶體也。此三寶者。有情非情精也。昇天願諸星。有人云。三毒覺悟時。三身三德也。或云。一字金輪法。佛眼法。藏密光法等。一法行之也。北斗法。從佛眼法中取出修之也。故金輪法。七寶佛眼法。七曜一回也。依之云。七聖財事有之。雜記云。佛母近邊著七曜者。使佛七聖財。寶能照世間出世間。能與世出世財云。

切不吉祥。七曜所作也。然此佛眼尊。破彼不吉祥事。爲施吉祥。佛眼近邊是七寶義也。經云。如輪王。七寶具足。壽命長久。千萬俱胝云。

問七曜與七寶配當如何。答。日月輪月火女水。財土。實土。主兵。七聖財。七寶。如此可配當數。又一義云。義範云。九界安樂。歸佛界故也。意不致外都天等安樂。令同中樂果德義。也是密教大綱。顯此佛眼安樂。深秘云。

問。金輪七曜等。不用種子三形。其意如何。答。金輪等尊。皆從佛眼毛孔出生。列坐。故於能生佛眼用種子三形。於所生聖衆。不用種子三形。祇但玄曉抄道場。內重八葉。面有字云。成金輪。修。有。迴。有。七。曜。使者。同抄奧云。當前葉金輪種子。普通曼荼羅。同釋迦金輪。唐圖左手當胸捧蓮花。上安輪。右手作施無畏勢。

私云。是般勝佛。頂戴有金剛號。護摩達所出世尊。印言。舉大勝金剛印。然者。圖彼尊心。可有微。故安。和。金。輪。七。曜。也。佛之取安。大勝金剛云。或本曼荼羅。

右繞餘七葉。如大圓日月火水木金土七曜。是外。即大等。受。不。持。之。故。初。東。同。

種子祇經金剛吉祥明字也。已上。

此玄秘抄出金輪七曜種子。不用三形等也。

問。經云。八大菩薩。如理趣經。八大金剛。如攝一切佛頂輪王經。說。又八俱因攝。等。經。

種如金剛界。七曜形別授文。依此意形色

威儀等尤可觀之。歟如何。答。各々不觀

形色持物。其日月火水木金土七曜。次第

旋有列座。八大明王。八供四攝等使者。皆

戴師子冠。各執本標。隨相好圓滿之儀。如

次第可觀之。但不限此法。自餘尊等。眷屬

多皆通如是。意得。歟。若又各々形色本標

輪等。了々分明觀之。猶神妙事也。

問。七曜八大菩薩。八大明王。八供四攝等

形色如何。答。如佛眼。曼荼羅圖位觀之。無

不細但有異說歟。

日曜

神形。垂天帶。通印上持日輪。著赤衣。乘五

白馬。或圓乘三白馬。或不乘馬。著青衣。

月曜

神形。垂天帶。通印上持月輪。著白衣。乘三

馬。或青衣也。

火曜

據災決云。神形如象。黑色。向天大呼。

水火羅圖云。神形如外道。赤色。著瞞冠。有

四手。執刀。鉞。弓。箭。著赤衣云。

水曜

據災決云。神形如黑蛇。有四足。而食蟹。文

又云。其神如人。著青衣。帶獐冠。手執文卷。

水火羅圖云。神形如女人。頭戴獐冠。一手

執經。著黑衣。

木曜

據災決云。神形如人身。龍節。著天衣。隨四

色。文又云。其神如老人。著青衣。帶猪冠。

容貌。巖然。文火羅圖云。神形如卿相。著青

白衣。戴猪冠。手執象子。

金曜

據災決云。神形。天女。手持印。騎白鶴。文又

云。其神是女人。著黃衣。頭戴鶴冠。手彈琵琶。

水火羅圖云。神形如女人。形著鶴冠。二

手持琵琶。彈絃。著白衣。文

土曜

據災決云。神形似婆羅門。色黑。頭帶牛冠。

一手拄錫杖。一手持牛。後似曲腰。文火羅

圖云。神形婆羅門。著牛冠。左手執錫杖。右

手持乘牛。赤衣。俗引牛。文

八大菩薩形色等事

金剛手

身。色如水精。右持五股。當右乳。左持鎗。安

腰。

文殊

身。金色。右持梵篋。左執青蓮花。草

虛空藏

身。色肉色。右與願。左持寶珠。當胸

轉法輪

身。肉色。左持蓮華。上安輪。右仰掌。立

觀音

身。肉色。左持蓮花。當胸。右開勢也

虛空庫

身。肉色。右作拳。左執蓮花。草。上有羯磨

金剛拳

身。青色。二手作拳。當心

摧魔怨

身。白色。右拳安腰。左執蓮花。草。上有二牙

八大明王形色等事

步搖

身。青色。右手把一旋蓋。左把金剛杵。遍作

虛空色。放大光焰

降三世

身。青黑色。右手持五股杵。左拳安腰

大威德

身。青色。有六面。右持劍。左作拳安腰

大笑

身。青色。右持索。左執戟。於火中

大輪

身。青色。右持輪。左執一股。於火中

馬頭

身。肉色。三面。首有白馬頭。右持蓮花。左執

瓶。於火中

無能勝

身。青色。右持三股。左拳舒頸。指於火中

不動

身。青色。右智劍。左持索。住火中。坐蓮華

內四供事

金剛喜菩薩。黑色。金剛慢菩薩。白黃色

金剛歌菩薩。青色。金剛舞菩薩。白肉色

外四供事

金剛旋香菩薩。黑色。持香爐

金剛華菩薩。淺黃色。持鮮華

金剛塗香菩薩。青色。持塗香器

金剛燒香菩薩。白色。持燒爐

四攝

金剛鉤菩薩黑色左手掌右手鉤  
金剛索菩薩白黃色右手取索  
金剛鎖菩薩肉色右手掌左手鎖  
金剛鈴菩薩青色取鈴

凡七曜八大菩薩八大明王八供四攝之  
形色持物等如是可觀之歟

次第二華院頂輪王前金剛薩  
埵等事

釋云次第二花院當頂輪王前畫金剛薩  
埵次右旋畫八大菩薩各執本轍轡文經  
云八大菩薩如理趣經文念誦法云第二  
八葉金剛手等八大菩薩如理趣經云

金剛手菩薩者在毘盧遮那前月輪中表  
一切如來菩提心初發菩提心由金剛薩  
埵加持修證普賢行願證如來地文觀自  
在菩薩者在毘盧遮那後月輪表一切如  
來大悲隨緣六道拔濟一切有情生死難  
染苦惱速證清淨三摩地不著生死不證  
涅槃皆由觀自在菩薩金剛法現證文虛  
空藏菩薩者在毘盧遮那右月輪中表一  
切如來真如恒沙功德福德資糧聚由修  
虛空藏菩薩行四種施復當說三輪清  
淨離苦虛空無盡有無漏成受用變化身  
資糧也文金剛拳菩薩者在毘盧遮那左  
月輪中表一切如來秘密在金剛拳菩薩  
掌由黃言行菩薩以入輪壇得灌頂者得  
圓如來三業密教修行獲得世出世殊勝  
悉地淨除無始十種不善惡業說得無障  
礙究竟智又文殊師利菩薩者在東南隅

月輪表一切般若波羅蜜多惠劍任三解  
脫門能顯真如法身常樂我淨山菩薩證  
此智便成等正覺也文纓發心轉法輪善  
薩者在西南隅月輪表一切如來四種輪  
金剛界輪降三世輪調伏輪一切義成  
就輪由修真言行菩薩得入如是等輪依  
四種智印以成十六大菩薩生便證無上  
菩提文虛空庫菩薩者在西北隅表一切

如來廣大供養儀由修真言行菩薩修得  
虛空庫藏菩薩證如來三摩地於一念頃身  
生盡虛空遍法界一佛前於大眾會以  
種種雲海供養奉獻如來便從一切佛前  
聞說妙法速滿福德智慧資糧以虛空為  
庫藏隨緣諸趣極濟利樂諸有情漸引到  
無上菩提以為方便文攝一切應菩薩者  
在東北隅表一切如來大悲方便外示現  
威怒內懷悲愍任加行位護持修行降除  
諸障成菩提時摧伏天魔及魔障首羅一  
切難調者令彼等受化致於無上菩提以  
忿怒智而成究竟文如上述釋八大菩薩  
攝三乘法所謂菩提心大悲方便是也如  
上釋諸菩薩所包括一切佛法真言門及  
一切廣大乘如是等大菩薩乘供養恭敬  
圍繞文此八大菩薩皆悉五智滿足衆德  
圓備也即東方大圓鏡智位菩提心為因  
也南方平等性智位大悲為根也西北二  
智位方便為究竟也云

凡理趣經序分說經段中祭大日種子  
字也八大菩薩五智果德為本而具足三

十七尊祿祿經序品大日是同一佛之三  
摩地法門也二經共以序品為有大事是  
教門佛體同一意趣而理趣經者正宗分  
說相段一各各說序分之八菩薩功德本  
源有序今祿祿經所說佛眼智以理趣經  
正宗八菩薩為聖衆是偏本有作佛道理  
即身成佛源極也可知云玄藏抄云當  
前葉安全剛手為始右邊安八大菩薩也

八大菩薩者祿祿經注文云八大菩薩如理  
手文殊自虛空藏轉法輪觀音  
虛空庫也金剛拳等摧一切魔障  
攝一切佛頂輪王經說祿祿經序品抄此是  
此經說於種子者  
金剛手妙吉祥尊虛空藏尊慈氏尊觀  
音尊地藏尊除蓋障尊普賢尊

問金剛手文殊虛空藏觀音此四菩薩  
二經說同體顯然也餘四菩薩兩說同  
異如何答或人云餘四菩薩兩說其  
體不同也云今案之餘四菩薩名雖  
不同其體實一也所謂轉法輪是慈氏  
故小野大抄出真觀等傳云轉法輪即慈氏云云  
又真觀云轉法輪即慈氏云云又三  
空庫是地藏藏經云慈氏現前無量阿僧祇劫  
金剛拳是除蓋障六分論云除蓋障即慈氏云云  
又三經云一切是普賢是各別證悟如此釋  
攝一切佛頂輪王經八菩薩八菩薩曼荼羅  
經八菩薩也然彼曼荼羅經說通曼荼  
羅儀式豈此尊曼荼羅八菩薩非彼經  
八菩薩乎能可思之又攝眼毒女抄

八菩薩乎能可思之又攝眼毒女抄



列攝經八菩薩此亦證據也但祇經注  
文議理經不議攝經者理經四會曼荼  
羅分明闡八大菩薩形像議之攝經不  
說八菩薩形像故議之歟

問理趣釋推一切般菩薩云本是慈氏  
云今何云善賢菩薩乎 答有人云  
本是慈氏者非指彌勒是本備慈氏事  
也義與此理趣釋云何以故一切有  
情調伏即為善提者本是慈氏菩薩由  
此菩薩內入慈定深於慈難調諸天外  
示威猛令得受化引入善提

八大菩薩異說事  
念誦法云金剛手 文殊 虛空藏  
機發心轉法輪觀自在 虛空庫  
金剛拳 推一切般

私云念誦法同經說故此八大菩薩如  
理趣經種子亦理趣經一字呢歟玄曉  
抄出種子全是同

七卷理趣經云金剛手 觀自在 虛空  
藏 金剛拳 妙吉祥 同心生轉法

諸那獻惹 降諸魔 觀自在 虛空  
八大菩薩經云金剛藏 觀自在 虛空  
藏 除蓋障 妙吉祥 慈氏 地藏

普賢 尊勝軌云金剛手 觀自在 虛空藏  
除蓋障 妙吉祥 慈氏 地藏 普賢

三十卷教王經云金剛手 觀自在 虛  
空藏 金剛拳 妙吉祥 起王樂心轉  
法起平等心 虛空庫 攝魔力

法起平等心 虛空庫 攝魔力

尊勝軌下云秘密主 蓮華手 虛空藏  
除蓋障 慈氏 曼殊師利 地藏 持  
灌頂經十二云文殊 觀音 得大勢  
無盡意 寶壇華 樂王 樂上 彌勒  
法華軌云彌勒 文殊 樂王 妙香  
常精進 無盡意 觀世音 普賢  
金剛智念誦結護云普賢 觀世音 妙香  
師利 五佛色 虛空藏 觀世音 妙香  
金剛藏 五佛色 彌勒 一切蓋障 五佛色  
地藏 五佛色 觀自在 授記經云大勢至 薩埵波密  
觀自在 授記經云大勢至 薩埵波密  
虛空藏 除蓋障 曼殊師利 彌勒  
地藏 虛空庫

七俱胝弘決二云金剛藏 觀音 虛空  
藏 除蓋障 文殊 彌勒 勢至 普  
賢

七佛八菩薩經弘決二文殊 虛空藏  
觀音 救脫 波陀和 勢至 賢勇  
釋摩男

或人云大勢至 觀自在 虛空藏 除  
蓋障 文殊 慈氏 地藏 普賢  
私云八大菩薩異說次第不同列之各  
見本經軌可知八方坐位也但此為才  
覺也

第三華嚴自前葉右旋安步擲等事  
經云第三花院右旋各畫八大金剛明  
王云念誦法云第三八葉右旋有八大明  
王文

玄經抄云金剛手前葉安降三世為始右  
邊安八大明王也降三世為大威德大  
笑大輪馬頭無能勝不動步  
擲

攝眼毒女抄降三世安前葉為始是金輪  
左安金剛手時前葉安降三世也私云此  
摩連磨拜大抄前葉安步擲為始是金輪  
右安金剛手一本也能一可思之也

口云八大菩薩八明王者理智八葉也謂  
生住異滅四本相四隨相也理八葉八大  
菩薩智八大明王也故此尊守護一切衆  
生時不問隨也或行住坐臥四威儀即  
八大菩薩八大明王也是即本有自性果  
德普賢一實境界如實知自心體也守護  
侍衛者心王心數自受法樂法門也例如  
珍祇經阿闍梨位品親護薩埵也是佛眼  
灌頂法門也

華院外內四俱次外四俱門方  
四攝等使者事

經云又於華院外四方面畫八大供養及  
四攝等使者文念誦法云又於華院外四  
方有八俱四攝菩薩文口云八俱四攝等  
如金剛界形色持物座位等可觀之經注  
云八俱養及四攝等標歸如金剛界文

皆敬師子冠事  
念誦法云如是諸尊各戴師子冠又  
問偈戴師子冠義如何 答是降伏義又  
息災義又大悲義又智慧義也但今勇健  
善提心義即自在化度衆生不空功義也

念誦法云如是諸尊各戴師子冠又  
問偈戴師子冠義如何 答是降伏義又  
息災義又大悲義又智慧義也但今勇健  
善提心義即自在化度衆生不空功義也

念誦法云如是諸尊各戴師子冠又  
問偈戴師子冠義如何 答是降伏義又  
息災義又大悲義又智慧義也但今勇健  
善提心義即自在化度衆生不空功義也

念誦法云如是諸尊各戴師子冠又  
問偈戴師子冠義如何 答是降伏義又  
息災義又大悲義又智慧義也但今勇健  
善提心義即自在化度衆生不空功義也

念誦法云如是諸尊各戴師子冠又  
問偈戴師子冠義如何 答是降伏義又  
息災義又大悲義又智慧義也但今勇健  
善提心義即自在化度衆生不空功義也

故佛師子座以大慈悲爲座今佛眼以大慈悲故以師子爲冠也金剛頂義決云師子者諸獸中王於諸獸中遊行無畏故應遮那佛亦復如是諸法之王於諸法中變化無礙故是故據師子座也文遊行無畏故云是息災義也今佛眼尊於諸法中化用自在也故戴師子冠又表無上義師子獸中王故也

白寶口抄 佛眼法四

根本印事

經云其印相二手處心合掌二頭指屈付二中指上節如眼笑形二空各捻忍願中節文亦如眼笑形二小指復微開亦如眼笑形是名根本大印若以印拭目及眉兼

堅拭目三遍一切見者皆悉歡喜文  
問經文二小指復微開成一眼今次第文無二小指一眼事歟如何 答二小指開之成一眼事見裏付亦口傳五眼配當二小指之間一眼云

問經云二空各捻忍願中節文亦如眼笑形此文二眼義不分明今次第云二大指間一眼二中指間一眼此有本說歟亦口傳歟如何 答脣尾口訣云即以佛眼印加持五處乃開五眼竟言五眼者左右頭中指間二大指之間二大指末與二中指下間二小指間其言五眼也

上之明印五眼也言自身開五眼者作印既加持五處謂前左右肩次開五眼謂以印目至鼻上是一也即不散印右旋摩面輪三遍然後頂上印散耳文西院流大師御傳云引用文亦同之是相承口傳也尤依用也口云先結印印面向上誦明三遍然後印面向身加持五處五處如次第次開五眼者自身開五眼也謂以印先右眉橫

右拭目之正不次左眉橫左拭目次右目亦橫右拭目次左目亦橫左拭目次眉間印引上鼻上堅上拭目想成五眼次印向身右順旋轉拭目輪三遍然後印散頂上真言初三遍後每處不誦之也云

問於此印有兩部義乎 答以印拭目及眉兼堅拭目間成五眼是金界三智眼故即加持五處亦右旋拭目三遍是胎界三部義也即逾祇經中於佛眼品說兩部彼品云常持此明者身如金剛山如金剛杵如金剛頂峯如金剛界如來如彼藥唾

金剛如彼蓮手如彼虛寶如彼昆首羯磨如彼四波羅蜜十六大菩薩四攝八大供養文又云佛母金剛吉祥復說成就大悲胎藏八字寶言王曰○若誦滿一千萬遍得大悲胎藏中一切法一時頓證文凡喻

祇經南部大法肝心也故說南部佛眼印是不二之上下也即法性大日義也云問次第云口傳曰以此印配五眼左頭指之間一眼右頭指中指之間一眼二大指之間一眼二中指之間一眼二小指之間一眼是其五眼也若此五眼配當佛眼

惠眼法眼天眼肉眼之五眼乎如何 答諸師表別也或五眼左頭中指間肉眼右頭中指間天眼二空首與二中間惠眼二空間法眼二小指間佛眼也此五眼即五智眼也五方配釋不同且如次東南西北中也又配五乘謂眼目六凡大眼聲聞惠

眼緣覺法眼菩薩佛眼佛也或二中指間

七咸就品云  
義誤僞波都  
婆耶善觀如來三慈  
薩苦暗祥慈拔生清慈慈  
生十法底悲他病無生哀底無悉多哀珠如  
就魯安僞波苦是薩離他無造淨土成生婆  
他傾瓦決定三界成就不薩驕負成說矣

[illegible]

切業障悉皆消滅若茲驚悉竊尼犯根本罪誦七遍已時還戒品若誦二十一遍雖三界中女人若姊妹六親若畜生悉行姦不受胎生苦況無有餘罪報所以者何此誦真言行者親近若男若女皆悉憫拂身放若至心誦百八遍所生功德越三界限量若有金剛子持此真言現世成就惡地

當生證菩提果我道婆娑世界南摩尼珠

一者佛眼文句二者廣大不空摩尼文句

此則我全身舍利此則我眼若有持念正

等於我神力無有異文一字頂輪王經云

佛眼呪誦一遍得百千俱底劫所修功德

文金剛界軌云山結此印誦真言加持故

諸魔脫那夜迦不結其便從初行時乃至

成就時念誦數遍奉獻此緣設令誤失破

三昧耶戒所有念誦成就不虛獲得悉地

或有惡人作留難者想彼人在輪伽者足

下誦真言二十一遍所有作者皆悉消散

慈心相向不能障礙文

印言相違事

一字頂輪王經三云二手密合掌屈二頭

指安中指背上大指屈入掌名為佛眼印

云一字頂輪王念誦軌云不空大結佛眼

印二手密合掌屈二頭指各柱中指背並

屈二大母指入掌加持五處不空三眼印也

有見同無三義吳薩囉但他變帝羅囉易

毗樂合三藐三沒弟毗樂吽吽囉普合

嚩入囉合三藐三沒弟毗樂吽吽囉普合

他二姿但備安囉訶

熾盛光軌云佛眼菩薩真言曰

嚩吳薩囉但他引變帝毗樂二羅易二帝

引毗樂二三藐三沒弟引毗樂二吽囉

嚩普合嚩入囉合三藐三沒弟引毗樂二

嚩普合嚩入囉合三藐三沒弟引毗樂二

引頻曳姿囉合賀

此兩真言歸命句異也但先真言囉葛

下無帝字安囉訶上無曳字又金輪略

念誦法無曳字

大日經四云以定惠手合為一相地水向

下中火輪二峯屈二風置於第三節如目

形是如來頂印也佛菩薩母文疏十三云

次佛眼印作三補吒屈地水入掌堅二火

如針二風捻二火第三節上如眼形二空

稍屈當二中指下如堅眼是三眼也文

南摩三曼多劫誦囉伽伽那那囉囉乞

囉二囉二伽伽那囉囉三薩婆觀囉囉二

多引避安去羅三婆吠入囉合羅那引漢

詞上且伽引囉莎訶云

青龍軌云虛空眼明妃真言曰如佛眼印名

義莫三曼多沒駄喃引讚讚義囉囉囉

訖又相二合備二藏讚義三迷三隻薩囉

觀一切囉囉合多無更避安囉囉囉六

陀囉尼集一云囉囉佛眼印說第二十五

遍又二小二無名指於掌中直堅二中指

頭相柱並堅二大指屈二頭指押二大指

頭相柱呪曰唵一毗盧文反伊嚩莎訶三

又印事

金輪時處軌云次以本部母佛眼印密言

當心誦七遍印四處或五處四心額喉頂

五額左右肩心喉頂上散處各誦一遍其

印金剛合掌已並屈二頭指甲合並堅大

指各押頭指側誦佛眼密言

可呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬

可呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬

可呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬

義莫三滿路沒駄引南唵沒駄引路者備

安囉訶引

熾盛光儀軌云佛眼菩薩真言曰○次心

真言曰

嚩引沒駄路引左寧安囉合二賀文

口云儀軌說金剛合掌云今次印文依

口傳作虛心合掌宋付云如法勝塔印云

是塔印形也此章南都不二法性大日體

故用不二法性塔婆印也此塔婆即寶珠

體此寶實以寶珠為內證故用塔印當流

習也又云此印塔印異形也此塔印重五

輪次第也故二風上置空是亦名五眼印

華前佛眼印可配五眼也又云是習一眼

印二大間是也真言既一眼義謂有佛

不可見眼即五眼中佛眼一眼也故印言

同一體也可知究竟云佛眼小呪印金合

二大二頭指如彈指是大惠刀印也即般

若菩薩大惠刀印也是大惠刀斷無明眼

膜也以金鍊拂眼翳同心也般若菩薩諸

尊能生智母佛眼所生諸子養育乳母也

乳眼根元也故不飲乳子眼圍也是先師

口訣也云此印二眼印也以二穴習

二眼也是大眼內眼也雖有五眼正託二

眼也餘三眼智分別也天眼猶託肉眼起

也故有二眼成五眼用也云

句義

時處儀軌有歸命句今次第略歸命句但

可呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬

可呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬呬

熾盛光軌無歸命句是其證也不限此真  
言除尊真言略歸命句從唵以下用之當  
事也

秘印中彼所傳  
寶形是三寶寶

五股印也。

又云外五股印云金剛王院云外縛五股印金剛界  
印言也云胎藏界

一字金輪軌云不出結此印誦真言及佛  
眼佛母聖者加持故諸魔魘那夜迴不得  
其便從初作先行時乃至求成就時念誦  
遍數奉獻此尊常持設令出念誦魔誤失  
三業破三昧耶戒所有念誦功德之少先

云五股印也五股即五顯也  
以此印殊習深秘謂中股三  
行者頭左右肩地風四指四  
是衆生五體法衛寶體習之

何處說者，是習佛眼不二大日也。大原云：八字真言五字真言，其佛眼真言云：阿闍梨位品印言。此法加用之。大原傳云：金剛薩埵所變故。阿闍梨位印言，佛眼法，用眼

行成就數功不虛奇。趕獲惡地或有惡人  
無事作留難者。想彼人在輪伽行者足下  
誦真言二十一遍。所有作留難者悉皆消  
除。惡心相向不能障礙。言自身開五眼者  
作印既如持五虛滿瓶。左右肩心前喉也  
印言若持餘尊真言不成就者。當於此寶  
像前。如此真言持誦之。必得成就。文

色妙照三摩地故。又空妙位佛眼白  
傳法藏印灌頂時結此印。眞言千遍誦加  
持者開五眼故云阿闍梨位印也。經云  
攝一切如來入大阿闍梨位第三時時金  
剛界如來復入一切如來眼色妙照三摩  
地復說攝一切阿闍梨行位眞言曰唵囉  
日羅素乾訖摩三摩寶引娑但囉吽呬屈  
吋上合掌。重說方領入掌

異說事

深曉口傳云佛眼品說二種法故即佛眼  
內證寶珠顯五大虛空藏義也全非二法  
佛眼同一法也故以五大虛空藏祕印習  
佛眼祕印也二手合掌二地二風間立二  
水二火作寶形二大少入二火間端作寶  
形即五大虛空藏印眞言有次第爲  
寶印二水二火二大寶形是三寶寶珠

經云爾時佛母金剛吉祥復說成就大悲  
胎八字真言曰阿尾羅吽吽吽頤利  
短若誦一千萬遍得大悲胎藏中一切法  
一時頓證其印如羅迦鉢心印從定起  
旋轉以二手虛心合掌當心即成文  
根本印言大可用也 梵惠云：

也。合此三義。寶珠爲中央。二地二風四指  
開立。指端觀各一寶珠。卽四智也。此智五  
大虛空藏。是亦五智體也。故今佛眼五眼  
全同也。云。

言爲習何印言不出兩部之秘密又云以不二習極先德皆有所存作次第只此外不加用之諸尊通有此道理於印明可習

覺禪云。虛心合掌。二小二頭開立。二大入掌。謂行持云。五股印也。即五眼契也。

金剛吉祥成就一切印事



也

經云行者應用金剛子爲珠以緣金剛觀穿之對像前誦三百遍一切希願皆悉滿足又云此吉祥明能成辦百千種事意之所起皆得遂情文又法以藕絲爲燈炷薰成煙取點眉中間一切摩奴魔皆伏從敬愛文

破諸宿曜印事

經云妙吉祥破諸宿曜明曰○內縛痛指節趾通鑿二空是名破七曜一切不祥印當觀妙吉祥而作降伏事結印誦百遍不久即成就文修行法中云亦妙吉祥菩薩破諸宿曜明如印中云此印名破七曜一切不祥印當觀妙吉祥而作降伏印又佛法文第二花院前盡金剛薩埵大石旋虛八大菩薩注云法將云八大菩薩如理趣釋其八菩薩中文殊即妙吉祥五佛頂經說文殊是般若佛母故於佛前佛母中云作吉祥破七曜法故對像前誦破諸宿曜明是妙吉祥破七曜明云口云今次第印說文依口傳也經云是名破七曜一切不吉祥當觀妙吉祥也此文印妙吉祥故智師子冠印二大指少盤立如師子口誦真言押二大指也是破七曜難義也文殊覺母故來佛母法中成吉祥事五佛頂經云文殊是般若佛母故於佛前佛母法中亦作吉祥破七曜文又云依八字文殊加持成就一切是宿解脫諸宿曜也此息災祕法也金剛吉祥成就印言却退七

曜難破諸宿曜印言除二十八宿難也上文佛眼佛母真言功能云七曜二十八宿不能破壞得大安樂又寶賢僧正云破諸宿曜印明八字文殊法相觀深祕是聖賢阿闍梨祕法云

問文殊與佛眼若有一體義乎答一體也文殊云妙吉祥吉祥故律子用印字內作業灌頂眞言行者身以十五尊共爲一佛身時吉祥爲口舌云用印字也或云印字成青蓮變成文殊文殊曜也文殊云童子眼云童子一切菩薩皆俗形也文殊童子形也大經云見佛性猶如妙德等妙德即文殊也即理母肉眼中智母觀諸法見佛肉眼即寶珠也云以印字爲種子眼即寶珠同體是佛眼文殊一體條勿論也

問金剛吉祥成就印言降伏七曜障難云今破諸曜印言亦破七曜云重說義如何答金剛吉祥成就一切明說之一切希願皆悉滿足云以此功能爲本及七曜端伏德今妙吉祥破諸宿曜說之除七曜二十八宿等諸星難經當觀妙吉祥而作降伏事是以諸星降伏功能爲本也眞言句義既宿曜平等吉祥息災事云意同之歟或書云  
成就一切印事  
經云以定惠手作不動刀印以刀及互押掌中即成文口云今次第說文口傳也仰

左刀印後右刀印以指端互押之也是表不二但不眼此尊諸尊法入我入之次本尊加持先用此印明也是師傳也問用諸尊法意如何答入我入者本尊與行者不二一體觀也此印亦不二印也謂地指印字胎界水指印字金界以空押地水平其二字加有聖點義此入我入本尊行者本來本有聖點義此一體顯修生果德義故加聖點提點不二但二字上加一空點表兩部一體義也亦左胎界不二石金界不二左右互押掌中不二上不二也其故本尊即本來本有本體行者身亦爾也互不二上暫本尊與行者入我入不二上不二也故尤相應也

竹林抄云  
法苑珠林相續法印字  
經傳云此時是二十八宿成就眞言也故經亦有宿事而計眞言字有二十七字闕一字而或處闕二合字字釋意有之若依此意字開二字是爲可爲二十八宿眞言也即成就二十八宿眞言也故云成就一切明也上七曜明如云成就一切即知上佛母說胎藏八字印明說五大虛空藏寶賢成就法而既說金剛吉祥成就七曜明次即佛母又說妙吉祥破諸曜說成就二十八宿明也已上或云七曜各四四七二十八宿成也云

經云若欲誦一切眞言先誦此明三七遍一切速得成就又云此眞言能成就一切明能攝伏一切天龍成辦一切事若欲

知未萌之事即結印安於左脇誦真言一百八遍隨印便睡本尊阿尾者即於夢中見一切吉凶之事文

次第云已上五種印真言者皆是本尊印真言也云

野抄云三印本尊印習秘也經意顯然也而令別印習之而今說本尊印傳也可秘也

十目抄云本尊七種印言者

一根本印大呪

二吉祥成就印言

三彼諸宿曜印言

四成就一切印言

五即行所傳五眼契明

六金合屈二頭指甲合二大指押頭指側

明歸命

七金輪佛頂印內轉二中立圓觀輪歸命

惡引莫略文

妙抄云今除第五印皆本尊印明用之也

云文泉房記云凡佛眼尊一毛孔此

尊一毛孔界會諸尊流出是皆佛眼一

體也故七曜亦佛眼故此品所說真言皆

是佛眼尊真言說彼諸宿曜障真言破一

切宿曜障也一切成就明是合一切修行

法令成就明也云

私云此義皆爲本尊印言也

寬信法務抄云疑云此三印明偏爲佛眼法之加用小野前賢何加用愛染王法乎私云佛眼愛染王共爲佛母故此

品說佛眼功能云或云一切有情見者如父母想或云一切見者皆悉歡喜云修行法釋此第二明云文殊爲佛母仍用佛眼法云此亦可然況於一經之內其誓全同也此義顯出達者歟又彼曜宿之功是

### 白寶口抄 佛眼法五

#### 金輪印字

金輪軌云二手右押左內相又直堅二光頭相柱屈上節如劍二輪並緊蓋屈兩節頭相柱於二輪甲上文奇特佛頂經云一切佛頂主轉輪王印內轉屈二上節如劍形二大並堅一頭屈兩節相柱於二輪上是輪王根本一切印中最殊勝文口云今次第依此等文金寶厚造紙上云丙縛二中指堅形二頭平屈趾押二大指甲云內供道場觀同之也傳受集一云傳是根本印內縛二火立如劍形二風屈二節二大指並立押二風云此口傳二大指置二風上與先相違三部抄云金輪根本印內縛二中立劍形二頭二大相柱云此口傳亦相違二頭二大指如塔印是釋迦金輪印也金剛王院以此印習佛眼法祕印謂二風二空開胷二眼是佛眼也二中指劍形即輪輻形也是金輪王故佛眼金輪一體不二印也問以釋迦金輪佛眼一體證據如何答釋迦佛眼同體故釋迦金輪亦同體也陀羅尼集經一云釋迦佛眼印呢二十五遍又二小無名於掌中直堅二中指頭相柱並堅二大指屈二頭指押二大指頭相柱文既釋迦佛眼印也此印入金輪三掌地時二中指劍形敷故知彼金輪印即金



輪佛眼一體義也。凡金輪佛頂佛眼所生故。同體條可知。

問二眼者五眼中何乎。答二眼內證也。於內心中觀日月輪故。此內證日月即顯

外時爲兩眼也。故本尊印二目表內證。二目者惠眼也。法眼在而惠眼緣空故攝天

眼。法眼緣事故攝肉眼。佛眼四眼總證也。故攝二眼也是開合不同也。

問五眼三眼二眼一眼印有勝劣乎。答不可有勝劣。皆悉一尊本誓三昧耶也。口

云誦真言有口傳誦佛眼真言時。或云下事下等也。又金輪真言時。先誦佛眼真

言。終不義之。故祕事也。輪不二義。故祕事也。

問有說所乎。如何。答菩提場一字頂輪王經三云。上佛眼若修行佛頂真言者不

得成就。彼應以大明妃真言相和誦之。決定有大應驗。即疾成就。依此文相和之

文佛眼呢加入金輪呢。例如金輪與孔雀明王也云。

七曜總印事

口云。虛心合掌。掌中猶廣圓。二大指並立。頭指與二大指之間俱開。也是虛空輪形

也。掌中有七曜觀之也。

八大菩薩總印事

口云。金剛合掌者。胎藏界一切菩薩印也。於真言不用彼一切菩薩明。歸命句用理

趣經一字呢也。

八大明王印言事

口云。金剛合掌者。胎藏界持明院一切持金剛印也。真言不用彼同呢。歸命句用八大明王種子也。

或說事

口云。內五股印者。金剛薩埵三形五股也。真言種子被種子也。故以印言用金剛薩

埵此章八大菩薩上首上必兼下故用八大菩薩總也。步擲明王印明亦用之。此章

八大明王上首故攝下意也。又用不動印言。定賢法勝道場觀云。八大明王總呢以

不動呢爲之。故說呢也云。是不動尊諸大明王上首故歟。

七曜各別印真言事

日曜

口云。印合掌風指以下四指頭相拄。前方大開如鉢印。以二空頭各拄水下。鏡裏付

云。此印形日輪也云。

問次第朱付云。此印二大事不兼云。如何。答。只如說文可結之也。胎藏日曜印

可用之也。此朱付等。覺洞院御尊之後不減數真言與印者。日梵名也。故印言全

同體也。

月曜

口云。左手五指相著立之少屈也。真言并式者。月梵名也。此又印言一體也。

火曜

口云。左手作拳安腰。右手五指直立相著。屈空納著掌中。風屈中節相相。是大天印

也。火指火也。地水二指光焰義。風指來去。以風摩火。光義也。空指橫掌中。是火光遍虛空義也。火。天竺名益。識羅迦是又一體義也。

水曜

口云。內縛者。掌內圓形。是水輪形。其水輪相顯外作二風圓形。是金生水故也。風輪

金色故名金剛指。水。天竺名部多也。

木曜

口云。此印地天鉢印也。其故。木五行時春。即東方種子真字也。真字地大故木曜印

用地天印也。木。天竺名勿里阿沒底也。

金曜

口云。此印愛染根本印也。瑜祇經云。金剛染著薩以金剛白蓮擲於虛空。寂然一體。還住手中。說此蓮華曰。云。仁云。智。端。吃

意。歡。蓮花部爲部主也。亦東方國親近時愛著薩。是西方菩薩也。各具五智故。西方

彌陀位也。五行時西方金也。是敬愛故。金曜即愛染同一體也。故用同印尤相應。金。天竺名戎乾羅也。

土曜

口云。鉢印也是地天印。故尤相應。真言亦土梵名也。此七曜真言先金剛吉祥成就

一切明也。可知。

印異說

日曜。太陽。有同掌立亦向身。左金剛掌橫向身。右金剛掌立亦向身。以二手金剛掌。左掌向外。右掌向內。以二手指頭中。屈無名小指。

金剛手

火曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

水曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

木曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

金曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

土曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

火曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

水曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

木曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

金曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

土曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

火曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

水曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

木曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

金曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

土曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

火曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

水曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

木曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

金曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

土曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

火曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

水曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

木曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

金曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

土曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

火曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

水曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

木曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

金曜 星曜 在大指頭指節仰掌立

金剛手

口云內五股者內五股除內股外五股除

外障也凡金剛手者顯初發菩提心普賢

一切行願依之證得金剛右手所持五股

淨菩提心之寶體本有五智是也此五

智能具三十二尊今此五股印之上所表

全同義也又此五股兩部五智五佛也左

手半印五凡右手半印五聖合亦成五股

印是十界不二體也謂五凡者胎藏本有

五智五聖者金界修生五智也即始本不

二不壞金剛平等不二之佛體也

文殊

口云結印逆順轉之明各一遍也 大隨

御大第云先通三轉小乘教次順三轉大

乘教次胎藏次第三先順次逆云 大隨

先說小乘後說大乘是逆順云 胎藏次

第依花嚴阿含等說時非無其理也

虛空藏

口云是寶珠印也理趣釋表一切如來真

如恒沙功德福智寶聚云今真如恒沙

功德者即字字實體如意寶珠功德也

轉法輪

口云此印小金剛輪印也此轉法輪菩薩

即彌勒菩薩也轉法輪法時以彌勒為本

尊此輪者轉法輪輪摧破薩輪境之時所

依義也

觀音

口云八葉印者一切眾生胸中蓮華合開

敷此開敷時云胎藏八葉九尊彌陀九品

淨土正此開敷也

虛空庫

口云前虛空藏寶珠印也理趣釋云蓮滿

福德智惠寶聚以虛空為庫藏文虛空庫

以三字為種子此字能含三身義又三身

法樂為真實供養云

金剛拳

口云此印不二蘇悉地印也左理右智和

合顯不二極位是一切眾生色心不二處

也諸佛眾生平等同有此道理故一切眾

生皆無不蒙金剛拳加持三密中身口色

法意密心法色心不二至變蟻蚊蛇何含

識無此事乎眾生最初時色二諸心識支

和合體正是三密本法金剛拳內證也理

趣釋云金剛拳菩薩者表一切如來三密

密身口意三密金剛合成名為拳一切如

來傳是為金剛拳修除個者金剛拳三摩

地能成就一切般若教中三密之門

推魔怨

口云是獨股印也理趣釋云表一切如來

大悲方便外現威怒內懷悲愍住加行位

護持行者辟除諸障成菩提時摧伏天魔

及摩醯首羅一切難調伏者令彼等受化

致於無上菩提以忿怒智而成就究竟今

摧一切魔者薩者即大日遍照之所變北

方金剛夜叉明王也云

已上八大菩薩真言理趣經一字心也

彼功能等見理趣釋

印言異說事 實覺說也

金剛手 五股印

口云五股印者五股身色如水青 孔右持五股當右

印 文殊 利劍身金色 右持雙水

印 外轉 劍形 右持雙水

印 虛空藏 寶珠 身肉色 右持雙水

印 外轉 二頭 身肉色 右持雙水

印 轉法輪 輪身肉色 右持雙水

印 觀自在 蓮華 身肉色 右持雙水

印 外轉 蓮華 身肉色 右持雙水

印 虛空庫 寶珠 身肉色 右持雙水

印 外轉 寶珠 身肉色 右持雙水

印 六指 寶珠 身肉色 右持雙水

印 六指 寶珠 身肉色 右持雙水

印 六指 寶珠 身肉色 右持雙水

印 六指 寶珠 身肉色 右持雙水

印 六指 寶珠 身肉色 右持雙水

印 六指 寶珠 身肉色 右持雙水

印 六指 寶珠 身肉色 右持雙水

金剛華。其二金剛華。身青色。二字作印。外輪大輪小輪。蓮力往大輪。

印。蓮力往大輪。

推一切魔。牙形。身白黃色。右掌安有蓮花。蓮上有一牙。蓮上有一牙。

印。蓮上有一牙。蓮上有一牙。

八大明王各別印明事

步擲

口云。印言無別子細也

降三世

口云。印降三世大印。言小呪也

大威德

口云。獨股印也

大矢

口云。二中指各重置二水背。上二小指開

立。相去一寸許。餘如文可知

大輪

口云。小金剛輪印也。如十八道

印。如常

大威德。金寶棒。身青色。右六向。右持。印。二手金剛輪。

印。二手金剛輪。

大矢。三股。身青色。右持。大輪。印。右金剛華。常指。三股。右左作。常指。三股。

印。右金剛華。常指。三股。右左作。常指。三股。

大輪。金輪。身青色。右持。大輪。印。印。可用小輪。

印。印。可用小輪。

馬頭。馬口。身肉色。三指。右有白馬頭。印。如常。

印。如常

無能勝。三股。身青色。右持。三股。大輪。印。八指。右伸。左掌。內各交合。

印。八指。右伸。左掌。內各交合。

不動。金輪。身青色。右持。金輪。印。印。劍。身青色。

印。印。劍。身青色。

私云。七曜八大菩薩八大明王。可用總印

口云。七曜八大菩薩八大明王。可用總印

何。本尊加持時是等印明皆可用之。如

注一緣觀於本尊不遠不近。懸念至誠。誦本明。不急不緩。不不下。廣言字句。令一分明。若百八遍。若千八遍。文

散念誦事

口云。大日者金剛界大日真言也。七曜八大菩薩八大明王。可用總現。大金剛輪護

摩時護摩真言也

問。一字金輪真言。兩處用之。歟。其意如何

答。本尊真言五種之次。金輪呪誦之。本尊

前八業列生。金輪佛頂放誦之。終一字呪

如常可知。但初金輪呪。又呪也。有。有。有。

問。一字呪如普通誦之。亦如常。初不用佛

眼真言乎。答。當尊法不用之也

問。若當尊不用之者。金輪法之時。終一字

呪不用之歟。如何。答。爾也

伴僧事

口云。當流金剛界大日真言。令誦振鈴前

也。凡中法。故伴僧八人也。覺釋云。振鈴前

合誦胎藏大日真言。振鈴以後。令滿本尊

傳受集四云。大舍。振鈴前後共誦佛眼呪

云。金寶鈴云。顯果云。鈴振以前。金界大日

真言以後。本尊呪也。寬云。鈴振大日真言。同後

三寶。鈴振大日

御加持呪事

口云。根本大呪也。餘流大旨。此真言也

迎請事

口云。大鈞召印明也。或用各別歟

結界事

口云。大鈞召印明也。或用各別歟

口云。大鈞召印明也。或用各別歟

口云。大鈞召印明也。或用各別歟

口云。大鈞召印明也。或用各別歟

口云。大鈞召印明也。或用各別歟

口云。大鈞召印明也。或用各別歟

口云。大鈞召印明也。或用各別歟





海經

迴云大佛頂眞言一卷

注大佛頂陀羅尼一卷

梵字大佛頂眞言一卷

新譯梵漢大佛頂陀羅尼一卷

梵唐兩字大佛頂結護一本

梵唐語對注譯大佛頂眞言一卷

小佛頂眞言一本

大佛頂眞言一卷

大佛頂眞言三卷

大佛頂經疏三卷

藏云大佛頂疏一部三卷

大佛頂隨疏科文一卷

大佛頂疏隨文補闕抄一卷

私云上四官傍見之

已上祕錄分

大佛頂陀羅尼成就萬法決一卷

元集者說持呪功能二十帳

印大佛頂陀羅尼一卷

大佛頂眞言一卷

兼印子前者也

已上總錄不載之

大妙金剛大甘露軍荼利焰燄熾盛佛頂

經一卷

又名攝一切佛頂經

達摩那譯云法勝也

此經安然和尚總錄入軍荼利法不入

大佛頂法而此經非軍荼利法亦問題

不見經數實絕記此事云可哀云  
名字事

口云大佛頂者大周遍義頂最頂義祕藏

記云頂者最上義最尊義無上義文疏十

云一切佛頂謂十佛刹土微塵數佛之頂

頂是尊勝之義故在頂上也即是十八佛

不共法之別名文此諸如來無見頂相備

故上無比之德故廣總攝諸佛頂上之功

德所現此尊像故名攝一切佛頂攝大義

故號大佛頂也注云名之攝一切佛頂輪

王是即問攝一切佛頂者是八佛頂總名

非一尊別名歟法全胎藏經下云一切諸

佛頂謂十方佛刹土微塵數諸佛之頂也

頂是尊勝之義即得如來頂相則文此以

十方諸佛頂上功德總云一切佛頂是即

八佛頂也就十方諸佛頂上功德大分爲

八種故知今攝一切佛頂八佛頂總名何

佛頂外號別尊爲八佛頂主乎答五佛頂

經第四又尊勝幢下並尊勝破地獄幢又

胎藏幢下等皆別說一切佛頂印言若八

佛頂總名何八佛頂外號別印言乎尊像

亦各別也旁以無異論即是廣取一切諸

佛頂上德別爲一尊尊勝幢下云一切佛

頂中尊勝佛頂能除一切煩惱業障故號

爲尊勝佛頂此文一切佛頂者八佛

頂也八佛頂中尊勝佛頂是准何號又義

釋七云一切佛頂眞言頂是第一最勝義

即如來十八不共法異名即是寶處三昧

中最難至處如輪王臂中祕寶非凡下之

人皆得觀之也○十方諸佛八種佛頂以

妙極於此故皆悉同歸故云一切諸佛頂

也文此八佛頂皆悉同歸故云一切諸佛

頂也故今本尊攝一切佛頂攝攝八佛頂

別尊也大妙甘經云爾時世尊現作斷

一切佛頂輪王之相手持八輪金輪處七

寶師子座文又云爾時攝一切佛頂輪王

旋轉八方坐位各現八種佛頂輪王相又

是攝一切佛頂總主故現作八佛頂王

可知矣付云此本尊有二傳一者一字金

輪爲大佛頂謂智掌印大日也一者攝一

切佛頂輪王爲大佛頂是法界定印大日

也大日入金輪三摩地可習也云

口云金剛界大日入金輪三摩地名一字

金輪胎藏界大日入金輪三摩地名一字

切佛頂輪王此二傳中當通以攝一切佛

頂爲本尊故勝俱胎藏傳以此法名攝一

切佛頂輪王法可習也云

問號大佛頂可習也云

問若以一字金輪爲大佛頂時八佛頂中

最勝佛頂一字金輪也故主伴共一字金

輪其差別如何答以一字金輪智大佛

頂時大日金輪結智掌印攝八佛頂爲

伴其時大佛頂中金輪釋迦金輪也

問本地雖各別共以一字金輪也此兩金

輪主伴義如何答中臺金界智掌印金

輪也釋迦金輪定印胎藏界金輪也此表

定惠不離理智不二也

問若表兩部今攝一切佛頂定印胎藏大

日然者八佛頂中金輪佛頂金界智拳印  
金輪狀如何 答今大佛頂胎界大日定  
印上持八幅金輪金剛轉惑摧散故金  
界義也故是理智均等緣也故今八佛頂  
中金輪可爲釋迦金輪也或云金界以大  
勝金剛名金輪佛頂相應經大勝金剛品  
云十方淨妙國三世及三界最尊獨無比  
此大佛輪王能摧諸佛頂能攝諸等覺親  
近爲眷屬又能攝者智界緣也能攝者攝  
攝進退義也廣諸佛頂攝攝進退也此大  
勝金剛爲大日大日金輪爲今金輪也

經不說之云四面大日向四方爲四智說  
四智印故化他義也何云自證乎如何  
答四面大日入攝一切佛頂輪王之三摩  
地故不改其相自證各別何疑之但住唯  
自證不無化他義也

王八大佛頂如是一體所變云  
問中臺自性法身普門法界宮自證之花  
臺也自證極必趣大悲之化儀故主攝一  
切佛頂輪王一德大妙甘露經云爾時世  
尊身現作攝一切佛頂輪王之相文大師  
御佛云中胎大日入攝一切佛頂輪王三  
摩地云是用身攝一切佛頂也又奇特  
經云釋迦如來入攝一切佛頂能摧一切  
魔云是化身攝一切佛頂也故胎尾并貞  
觀寺口傳云轉受用身大日金輪可入化  
身金輪三摩地云攝攝一切佛頂有受用  
變化二身金輪是既攝一切佛頂有受用  
胎自性身自證位乎如何 答今道場觀  
云其字變成八幅金剛輪其輪變成攝一  
切佛頂輪王身也又論祇經云一切佛  
頂最上遍照王文是以大日如來名攝一  
切佛頂亦名一字金輪縱雖有受用變化  
二身金輪佛頂內證是一也攝一切佛頂  
者是是如來祕號法身衆德總稱也故  
此法內證至極也但付內證有兩部別金  
界大日顯字智德委以心理爲內證胎  
界大日顯字理性色以身德爲內證即  
遮那色身顯理性故一切萬德悉具是身  
分密教旨趣以事爲而顯教等深理淺事  
談心分一如故也彼金界心理內證與胎  
界身德內證不二一體攝一切佛頂輪王  
爲今本尊也指此不二自證德直修此  
法體實密教實談即事而真道理也諸  
尊法落居可相知之也此法實甚深也未

證化他之差別也謂大日化他佛頂自證  
義故大日化他之故智拳印向外佛頂自  
證之故智拳印向內金輪軌云智拳印所  
謂中小名握拇頭指柱大背金剛拳乃成  
右握左頭指一節而當心是名智拳印文  
師印面向內是自證義也又大日住自證  
時不同他方云金輪佛頂也此自證位爲  
未來最上乘者金剛薩埵授灌頂乃至色  
究竟成道等儀是化他大日也即身成色  
義最初修此三昧者現證佛菩提文此三  
昧者謂大日尊一字頂輪王三摩地也釋  
之自宗即身成佛本有自證成覺也是即  
云大日尊自證三昧義也

私云攝一切佛頂云云高野本云依攝  
眼毒女抄狀被抄云云字轉成摩都婆  
轉成本尊云云云云身一身四  
面身色如素月住於智拳印云此尊金界  
大日也八大佛頂七寶圍繞大師授後雙  
正給樣亦大師御作攝一切佛頂其字  
成金剛輪寶變成攝佛頂輪王身也如  
來形紫磨金色大丈夫相也住法界定印  
其上持八幅花輪云此尊胎界大日也即  
八大佛頂七寶圍繞故御作胎藏界攝一  
切佛頂輪王也授後雙正給金剛界攝一  
切佛頂輪王也仍有兩部攝一切佛頂御  
作次第似大妙吉祥經說石文抄云其祕  
之說云是法本尊真實理智不二一切佛  
頂以可爲本尊身執智拳印尊是祇經  
所說大勝金剛像也今智拳印者爲宗  
舉印相也實十二臂像即理智冥合之攝  
一切佛頂輪王也經說胎藏攝一切佛頂  
輪王也經說胎藏攝一切佛頂者智說理  
之邊也理不離智故亦不二也故八大菩  
薩理所變八大明王者智所變也八大佛  
頂者即顯理證智不二像也故胎藏界  
中臺即理智不二法性佛也八大佛頂即  
八葉所顯現也八葉者八大菩薩八大明

尊法落居可相知之也此法實甚深也未

開金寶抄一切佛頂云云高野本云中  
尊金剛界大日一身四面住智拳印八大  
佛頂如當前有七寶師主被仰云云云  
大略甘露經狀但中尊四面大日也被

八葉所顯現也八葉者八大菩薩八大明

尊法落居可相知之也此法實甚深也未

入壇弟子不可授之。尊無上偏在此尊。法深奧尤限此法。故行者依此法修行。即身成佛。不遇諸大師既修此三昧者。現證佛菩提。頂輪王軌文。即身成佛義最前引用之。誠有故。又甘露經云。修三摩地門。速令一切有情疾證佛身。又云。行者身心安樂。忽得法明道。不轉肉身。現證無上菩提。

本尊異說事

大妙甘露經說中央尊云。爾時世尊身現作攝一切佛頂輪王之相。手持八幡金輪。處七寶師子座。云云。  
內供大佛頂圖云。中央攝一切佛頂輪王。手持八幡輪種子。字和叶本。

私云。今次第本尊同此說。以攝一切佛頂爲本尊。祕說也。或云。大佛頂法以製作大第可行。彼大第付甘露經云。  
問件經惠運請來也。非御請來。何依彼經乎。

或人云。大師錄外。信與今法付大佛頂經一卷可修云。

師說云。大佛頂是諸佛頂總名也。攝一切佛頂輪王爲本祕事也。但諸佛頂者。或以八大佛頂爲總。或以五佛頂爲總也。傳受集云。大佛頂是諸佛頂總名也。或以八大佛頂云。大佛頂。又五佛頂云。大佛頂。

正觀云。

是舉三種義立大佛頂名。何不可達歟。當流大佛頂義如是。私云。玄祕鈔云。或

說云。八佛頂云。大佛頂。小野祕密抄引真雅傳云。五佛頂爲大佛頂云。

甘露經云。攝一切佛頂輪王。以印又八轉旋作八色輪。中作八種佛頂輪王。文是中央本尊。攝一切佛頂。現作八佛頂爲眷屬。故八佛頂云。大佛頂。是八佛頂總義也。又大佛頂大陀羅尼金輪佛頂。普通成就佛頂。白傘蓋佛頂。光聚佛頂。辨事佛頂之五佛頂明也。以之爲一大真言。以此五佛頂真言名大佛頂陀羅尼。故大佛頂輪王五佛頂總義也。

甘露經云。大佛頂名最勝金輪頂。文。私云。大佛頂最勝佛頂金輪同體異名。元海僧都云。一字金輪名大佛頂。最勝佛頂名一字金輪云。

私云。依經意有此義歟。已上當流本尊習如是。以金輪爲本尊事。

十七祕法云。金輪佛頂爲本尊。云。大聖趣房云。以金輪爲本尊。云。此意種子。三金輪也。人多用此說。大教院亦用之。心覺云。一字頂王經一云。大佛頂。白傘蓋佛頂。高佛頂。勝佛頂。光聚佛頂。又十八會指歸云。大佛頂及光聚佛頂。眞言及契文。制作次第云。中央金輪攝一切佛頂。金色定印。即上安輪。其外邊有八幡。右旋安八佛頂。有文。已上三文以金輪佛頂爲本尊。此折中習也。以誦大陀羅尼爲大佛頂。以不誦爲

金輪法也云。

已上義以金輪佛頂爲佛頂也。以白傘蓋爲本尊事。

靈巖傳云。以白傘蓋爲摩訶頂云。  
又云。白傘蓋爲本尊。神林傳云。信與同之。白傘蓋佛頂。執題號云。白傘蓋大佛頂。王最勝。蓋比大威德金剛無礙大道場陀羅尼念誦法云。文云。是大白傘蓋。遍覆於大千。神變難思議。虛空無障礙。諸佛咸稱讚。名大佛頂王。因此設菩提能轉無上法。文又云。誦學大白傘蓋大佛頂念誦法。此法祕密。未入灌頂人不得輒聞云。

私云。以白傘蓋佛頂名大佛頂。文分明也。故爲本尊歟。以光聚佛頂爲本尊事。

或以光聚佛頂爲本尊。云。十八會指歸云。大佛頂及光聚佛頂眞言及契文。私云。以此文。或大佛頂法以光聚佛頂爲本尊事。不得意有及字。故兩佛頂舉之歟云。

大佛頂經七云。大佛頂陀羅尼說云。佛告阿難。是佛頂光聚。悉恒多般怛羅祕密伽陀。微妙章句。文或傳云。以光聚佛頂爲本尊。依此文。心覺云。時云。集經一。大佛頂經七。此文意者。以光聚爲大佛頂歟。又相難見。如何答。不空譯大陀羅尼經云。此陀羅尼。此五佛頂明爲一大真言。分爲四段。一金輪佛頂段。二普通成就佛頂段。三白傘蓋佛頂。并光聚佛頂段。四辨事佛頂文。

一。金輪佛頂段。二。普通成就佛頂段。三。白傘蓋佛頂。并光聚佛頂段。四。辨事佛頂文。



依此文者、各又以爲大佛頂段主、仍且臨義舉一尊、說其德、歟云已上

大陀羅尼題云、大佛頂如來廣放光明、聚摩訶悉怛多鉢怛囉、最勝金輪頂自在力

王無比、大威德、總集百旋陀羅尼、性海都攝一切明王、更無有上、最勝金剛三昧帝

祖、羅施十方如來、清淨海眼、秘密伽陀、微妙章句、金剛無礙、大道場白傘蓋頂輪

王大陀羅尼曰、

私云、此題中、金輪攝一切佛頂、光聚、白傘蓋等佛頂、攝此中故何、尊、可爲本尊、

歟、但八大佛頂中、最勝佛頂、金輪也、光聚佛頂、白傘蓋佛頂有之、若以此尊爲

本尊者、主伴同尊、相並歟、可尊凡佛頂有多種、謂三佛頂、五佛頂、六佛頂、八佛

頂、九佛頂、十佛頂也

三佛頂

發生佛頂、廣生佛頂、無邊生佛頂、胎藏并金輪佛頂、普通佛頂、白傘蓋佛頂、胎藏并

五佛頂

最勝佛頂、傘蓋佛頂、光聚佛頂、發生佛頂、勝佛頂、最勝佛頂、高佛頂、尊勝佛頂、出五佛

胎藏

菩提場一字頂輪王經一云、汝今諦聽、二

字佛頂、大明王及四大佛頂云

又云、大佛頂、白傘蓋佛頂、高佛頂、光聚佛

頂云

又金輪要略軌、配五指輪、高、光、勝、云從大指始之、謂大指、金、頭、指、白、傘、中、指、頭、高、佛

無名指、光小指、指、光、高、勝、云、謂大指、金、頭、指、白、傘、中、指、無名指、頭、佛、小、指、勝、佛、

口云、兩軌文、無名指中指相連也、玄秘鈔

依五佛頂軌出之云、

圓行傳五佛頂者、一金輪、二普通、三白傘

蓋、四光聚、五辨事也云、

六佛頂

不空罽索經云、六佛頂文

菩提場經二云、六字佛頂真言

此辨事佛頂真言也、除歸命句有六字故

云、六佛頂也、是五佛頂加入辨事佛頂爲

六佛頂歟、可尋之也

八佛頂

光聚佛頂、大日經菩提場經也

大妙經云、光聚佛頂輪王、攝大軌云、火

光佛頂、尊勝軌云、放光佛頂、亦云、光聚

佛頂、輪王、疏云、火聚佛頂、或神通佛頂

云、

發生佛頂、大日經并也

大妙經云、發生一切佛頂、疏云、阿毘發

頂、或異相佛頂、或奇特佛頂

勝佛頂、奇特經說并

大妙經云、勝佛頂輪王、尊勝軌云、殊勝

佛頂、或無比佛頂

除障佛頂、大日經并也

大妙經云、除一切蓋障佛頂輪王、勝尊

勝軌云、尊勝佛頂、又云、除蓋佛頂、又云

除障佛頂、廣大軌云、除業佛頂、攝大軌

并、玄法軌云、捨除佛頂、菩提場經云、摧

毀佛頂、又云、摧壞佛頂、或摧碎佛頂、或

除魔佛頂

廣生佛頂、大日經并尊

大妙經云、廣色佛頂輪王、攝大軌并、玄

法軌云、極廣生佛頂、又云、除障佛頂、疏

云、會通大佛頂、或極廣佛頂、或高佛頂、

或離都佛頂、或辨事佛頂、或黃色佛頂、

或離觀佛頂

最勝佛頂、勝軌并尊

大妙經云、一字最勝佛頂輪王、大佛頂

100

慈覺大師所持經勝軌并娑婆羅文也  
大原云九佛頂者八佛頂加大日也云

十佛頂

玄秘鈔云十佛頂者八佛頂加攝一切佛頂及普通佛頂歟普通佛頂事重可審決之以五佛頂爲大佛頂此意歟云  
問要略念誦帳普通佛頂十佛頂外出之今加十佛頂是未定詞也諸師多加普通佛頂必難一定者也蒙海云十佛頂者加辨事佛頂普通佛頂又說加金輪佛頂普通佛頂云信與云攝一切佛頂與佛眼加云十佛頂又除佛眼加釋迦金輪云或云加佛眼大日金輪也攝眼毒女云十佛頂者八佛頂加釋迦佛頂最盛光佛頂文口云釋迦佛頂者集經十二云第三坐主名釋迦金輪佛頂又東安云山熾盛光佛頂者正是一字金輪同體異名也但隨真眞言替之云或云三佛頂者胎界三部義五佛頂者金界五智義十佛頂者胎界五佛金界五智義是不二義也云

種子事

勢字甘露經云惡字於生死中不生不滅不變過去現在未來諸佛當住此字門若非此法而成就者無有此處文理趣釋云勢字心眞言者其合四字爲一體眞字菩提心義如上一切字之爲先於大乘法中趣向無上菩提心爲先眞字者行義則四智印驗伽教中修行速疾方便由集福

德智惠資糧證成無上菩提正因第三字極長高聲真阿字者等覺義由證無邊智解脫三摩地陀羅尼門摧伏四種魔羅受十方一切如來三界法王灌頂轉正法輪第四梵字者涅槃義由斷二種障謂煩惱所知之障證得四種圓寂所謂一者自性清淨涅槃二者有餘依涅槃三者無餘依涅槃四者無住涅槃前三通異生者無餘緣

覺第四唯佛獨證不同諸異乘則此四字是見虛遮那佛自覺聖智四種智解脫文菩提心論云阿字具有五義一者阿字聲是菩提心二阿字聲是菩提行義三暗字聲是證菩提義四惡字聲是涅槃義五惡字聲是其足方便智義總而言之具足成就第五惡字是方便善巧智圓滿義也云

私云合四字爲第五惡字開此一字爲四字義也但今勢字無眞字點疏十四

云第五惡字者即阿字體黃上點白傍即黑當知即是種雜色也文是可有空點也五佛具足一體故也疏二十云初阿字在東方如梵音阿字即有動首之義以順世間法諸方中東爲上故喻菩提心最是萬行之初也其名曰寶幢佛次即阿字是行也若但有菩提心而不具修萬行終不成果其佛即是花開散也次即暗字三菩提也以萬行成正等覺其佛名阿彌陀即西方也大鼓音是大涅槃其惡字是正等覺之果果故次說也次即入中惡字是方便

也此是見虛遮那佛本地之身花臺之體超八葉施方處非有心之境界唯佛與佛乃能知之文

口云勢字中央法界體性智五佛一體大足虛遮那本來常寂滅相字也胎藏大日入大佛頂三摩地故以本地身種子爲此尊種子也

三形字

八輻金剛輪寶也一字頂輪王軌云不復從月輪內顯出大法輪金剛之所成輪寶鋒銳其色如檀金遍流大威光過聚塵數依住月輪而金剛表極堅固顯顯福智滿利爲無戲論斷壞諸妄執光表一切智除破諸愚暗以是現輪形量同虛空故虛空諸如來盡入於輪內即現此智輪文

口云此文一字金輪之金剛輪功能也輪寶同故例證引之凡八輻金輪者胎藏大

日入金輪三摩地之故以輪爲三昧耶形輪是轉惑摧破義也八輻者表八佛頂如來八智德凡位時八藏也覺位時八智也八藏有染淨二法故也攝此八智攝一切佛頂輪王第九識法界證性智也八智亦四智四行放五智滿足輪也種子即方便具足字故一切衆生悉九識所成故此種子三形行者體也以行者即體爲種子三形成本尊身故本尊即行者行者即本尊也可秘之

種子異說事  
金寶鈔種子

104

於如來部輪中想三種子字，中央想佛字，其各左右想寶字，以其三字成就天之微妙四面方等師子之座文此意也。

問用三字由緒如何？答此事未尋決，但師子、天竺云云也。中央用佛字，勿論也。

左右用寶字，能住尊有寂照德，開之置左，有此字放光遍照八方諸尊座位，應光出生諸座義也。

問佛部師子座云：何故佛以師子為座乎？如何？答金剛頂義決云：各有三種子字，以為佛座。如經所明於五座中，鑄字輪中種子所變成師子座者，諸獸中王於諸獸中遊行無畏，故處諸佛亦復如是。諸法之王於諸法中變化無礙，故是故據師子座也。又云：疏一云：菩薩身為師子座。

又云：如師子於獸中獨步無畏，佛又如如是於九十六種外道中一切降伏無畏，名人中師子文又十四云：智退如師子，在深窟中安住不動，有時出穴嘶中奮動故也。佛如是安住甚深密藏中，若非如來加持神力，則微妙寂絕不可得示現，今示現無盡身口意種種、形聲遍滿法界，即佛頂佛智退也。是諸佛智退也云。

私云：天日智退時乘物歟？口云：七師子者，表七覺支，謂一擇法覺支、二精進覺支、三喜覺支、四除覺支、五捨覺支、六定覺支、七念覺支也。又大妙經云：七寶師子座云：七寶者，天台法數云：一金、銀、銅、鐵、二珊瑚、三寶珠、四摩尼、五神藥、六

瑪瑙、七金剛云：律名句云：七寶論多一金、二銀、三摩尼、亦曰星、珊瑚、四瑪瑙、五水晶、六赤珠、七寶珠。佛地論云：赤珠所出，一云：佛地論云：赤珠所出，一云：佛地論云：赤珠所出。

八幡金剛焰輪事。口云：八幡輪者，胎藏大日放表，彼八葉蓮花，即八識也。焰輪者，輪迴有火焰，此圓形，見玄秘鈔云。

玄秘鈔云：口傳云：中尊持輪，手可觀輪輪之，間八佛頂居故云。報恩院云：玄秘口傳不被得意，其故八佛頂、大輪一、輪輪之，間出生之，全自中尊所持，輪輪不生之，若爾者，本尊所持之輪必手不可觀，豈可觀之歟云。凡中尊所持輪者，彼尊三形也。三形者，表本誓故，能持攝一切佛頂輪。

王八佛頂能生之總體也。所持之輪全大輪，并八方八色金之義，不可有相違，歟。仍大輪并八色輪等，手可觀玄秘口傳尤有，其謂歟云。

廣大遍三千世界事。問：大金剛峯樓閣甚高，極廣以虛空為場，以法界為床，其中輪場以三千世界為量，是接少如何？答：彼分際可隨行者心大小，必不可一准。或法界或三千界或一四天下或南洲或日本或一國或一坊或一瓜甲上，皆能法界故，不苦也。又道場觀行者作觀作業成就義，即修此法成果位，可利來生理也。諸佛皆始發衆生濟度願，立淨佛國土成就衆生行而取佛國土必藏土。

儀或限一大三千界是即境彼分際意也。又三千界者，表八大佛頂八大菩薩八大明王三重或表自性正法教令三輪或表三部或三解脱門也云。

攝一切佛頂輪王事。大妙經云：爾時世尊觀作攝一切佛頂輪王之相，手持八幡金輪，處七寶師子座，身放無量百千光明及大火焰，文大師御作次第云：中央有七師子座，其上有白蓮花，王其上有寶字變成金輪，寶變成攝佛頂輪王身，即也。如來形紫磨金色，大丈夫相也。住法界定，印其上，持八幡花輪文，今次第依御作本章也。

放八色光事。口云：經身放無量百千光明云：今次第攝佛頂輪身放八色光，大輪一、輪輪間出生八方八色金輪云：是即表八佛頂之德，放八色光現八色輪也。是胎藏界八葉八法身義，表八識菩薩。

問：大妙經云：世尊以印又八轉旋作八色輪，中作八種佛頂輪，王女經自印現八色輪，今次第自身光現八色輪，相違如何？答：世尊以印云：是法界定印，上持八幡輪，此輪之八幡表八方八智德，即此智德現八色輪也。今次第意，八幡金剛輪寶變成攝一切佛頂輪王身，故自此身放八色智德光現八色輪是不違歟。

光聚佛頂事。大妙經云：即於東方如來面前赤色輪中。

現光聚佛頂輪王。手執如來頂印。放大光聚。座大赤色蓮花。文

口云：經不說種子三形。大師獨作次第。問：無種子三形。今種子三形用之。師傳也。問：今種子三形。依何經軌。答：大妙經說。自今在十字真言。今次第所載。自在十方真言。也。又攝眼毒女。出十字真言。同大妙經。但毒女攝無前後。只出十字。許仍今種子。依大妙經。并攝眼毒女。十字真言。數又出胎藏玄法軌等也。

本字 義釋七云光聚佛頂但羅字是如  
 無垢義亦是火輪義此卽如來定慧光  
 明之頂能除暗障故以爲名也文廣大軌  
 云恒陵字法門一切法如本自性無垢身  
 光明遍十方轉成光聚頂文口云本字  
 不可得四字合成字也不如不可得字  
 塵垢不可得法損滅不可得金剛頂經云  
 汚字門一切法損滅不可得文金剛頂  
 經云邊際不可得文是損滅一切衆生座  
 垢人無邊際大空理令證自性無垢身義  
 也又有大圓鏡智平等性智妙觀察智  
 成所作智也此四字總合法界體性  
 智是光聚佛頂也

三形如來頂印

口云。如來頂印者。佛頂髮際以上也。

是持頂上不二內證之光也。義釋云：此卽如來定惠光明之頂能除暗障文。佛肉髮與白毫光是有有限處。此不二光明遍照十方十界同時利之。以本有內證不二

光明名。光聚佛頂。此自性本有位。不礙等覺十地。只唯佛與佛境界也。此內證位。修生顯得應身。顯無見頂相。是也有本覺體。法身自樂形。故大梵王不能見佛頂。是內證智也。楞伽經云。我乘內證智。妄覺非境界。又從此內證不二位。即大智金大悲胎功德顯。肉髻白毫光。表菩提涅槃果德。此德從本垂迹利益也。故諸佛光明雖無量。所詮此大佛頂尊內證光明用也。

問。四字合成。故四智總攝大日也。三形佛頂定惠不二內證義云。此義不獨其故。疏五云。於釋迦之南置五如來頂。第一白傘蓋。第二勝。第三最勝。第四火聚。第五捨。此五如來五智之頂云。既以五佛頂爲五智故。光聚佛頂五頂隨一也。何云五智總攝義乎。如何。答。各具五智故。皆悉有五智總攝義。今疏文五佛頂。卽釋迦如來五智頂也。可不局一偏也。

形色事

口云。大妙甘露經。八佛頂形色不說之故。今次第不出也。胎藏界八佛頂皆有形色也。光聚佛頂身黃色。左手持蓮花。上置佛頂。佛頂上放火光焰首著五智寶冠。右手揚掌。地水入掌。三指舒立也。或右手施無畏也。坐赤蓮花云。胎藏界釋迦院佛頂疏五云。火聚極白色。文今黃色者。祕藏記八佛頂皆黃色也。依之黃色也。或云。天妙經不說形色。故普通依可。彩白肉色。八佛頂皆同云。

發生佛頂  
釋種子事  
義釋七云是慢義如來無量劫來降除竊  
慢垢故證知法界平等無高下圓點得虛  
空無邊際義亦是萬德之頂具足法王威  
勢自在之用所以皆加大空也文又云有  
生滅義文  
口云ㄅ字離我慢不可得字ㄣ字塵垢不  
可得ㄣ字損滅不可得ㄣ字邊際不可得  
也謂損滅一切衆生滅塵垢令同法界  
大空理故以ㄣ字爲種子也又ㄅ字  
四字合成故曰智一體不二大日也  
三形事  
三形蓮花者胎藏觀云發生佛頂印與蓮  
花同發生世出世三乘諸聖衆文注釋云  
發生佛頂開蓮花開衆生心速除九識闇  
也超一切尊故云此義實深理也可思  
也  
形色事  
口云身黃色右手屈水火熾地風空當胸  
左手執蓮花上有寶珠坐黃蓮華也  
白傘蓋佛頂  
種子事  
義釋七云白傘蓋佛頂白毫是大慈悲義  
入ㄣ字門一切法相不可得故畢竟清淨  
此則如來衆相之頂以白淨大慈悲遍覆  
法界故加大空點也文  
口云義釋種子ㄣ字也今次第ㄣ字爲種  
子ㄣ字法界不可得ㄣ字塵垢不可得ㄣ

發生佛頂種子事

義釋七云是慢義如來無量劫來降除驕慢垢故證知法界平等無高下圓點得虛空無邊際亦是萬德之頂具足法王威勢自在之用所以皆加大空也文又云有生滅義文

口云。ㄅ字離我。慢不可得。字。ㄅ字。塵垢。不可得。ㄅ字。損滅。不可得。ㄅ字。邊際。不可得。也。謂損滅一切衆生。生滅塵垢。令同法界大空理。故以ㄅ字爲種子也。又。ㄅ。ㄅ。ㄅ。ㄅ。四字合成。故四智一體不二大日也。

### 三形事

三形蓮花者。胎藏軌云。發生佛頂白身蓮花。同發生世出世三乘諸聖。衆人注釋云。發生佛頂開蓮花。開衆生心。蓮除九識闇也。超一切尊故云。此義實深理也。可思也。

形色事

口云。身黃色。右手屈。水火壅。地風空。當肘。左手執蓮花。上有寶珠。坐黃蓮華也。

白傘蓋佛頂

種子事

義釋七云白傘蓋佛頂白毫是大慈悲義入<sub>レ</sub>字門一切法相不可得故畢竟清淨此則如來衆相之頂以白淨大慈悲遍覆法界故加大空點也文

口云義釋種子<sub>レ</sub>字也今次第<sub>レ</sub>字爲種子<sub>レ</sub>字法界不可得<sub>レ</sub>字塵垢不可得<sub>レ</sub>字

10



云廣生云、五股五智五佛故十眞如十法界十如來地以成上下十峯於五股十

形色事

薩普賢智。從此發生三十二尊。又五股上  
下十峯。胎藏十界。卽四重曼荼羅也。十界

身黃色。左手執蓮華。上有八輻金輪。右手  
屈火水。立地風空當胸。坐綠色蓮花也。

無量聲

頂輪王手持三股磬日羅發生一切佛頂  
輪王文是三股杵也摧滅三毒煩惱發生  
三部諸尊義也此諸尊本性寂故卽大寂  
頂也故云發生一切佛頂輪王歟

種子事  
口云。緣字。凡一切諦不可得。又塵垢不可得。又損滅不可得。又邊際不可得也。謂凡字者。理趣釋云。諸法平等如虛空。義釋

## 形色事

身黃色。右手執蓮花。上有五股。左手開掌。當乳。坐青蓮花也。云々。

法平等妙法蓮花部邪正不隱有說法自在德依此德損滅一切衆生塵垢令證不

最勝佛頂

種子事

字合成表五智一體大目也

不可得

十五有也。約衆生迷體妄見有也。約本分眞言妙有也。是卽自性常住字也。凡二本有。前生佛不二法爾平等也。迷悟一

出聲是說法義也故胎藏界轉云無量  
二手持商估說寂滅妙法文又注釋云起  
無量聲降伏衆生魔軍也云

形色事

垢。加生佛不二大空點也。又此四字四智  
總合五智一體大日如來也。

身黃色。左手執蓮花。上有螺貝。右手屈頭中。立地水空。坐紫色蓮花也。

三  
形  
事

口云三形八輻金輪者輪轉惑摧破義也  
八輻八識義卽摧破八識賴耶業壽種子

疏五云。佛頂第一廣大白色亦名廣大發生第一  
極廣大黃色亦名極廣生第三無邊音聲赤色亦名

顯八葉九尊。是今八佛頂總德也。故云最

無量壽佛頂其形相皆同五佛頂是如來三部衆

勝佛頂義釋七釋最勝佛頂字云最勝

德之頂也其五種如來頂有五種色所謂

佛頂。只是寶蓮花義。加三昧聲。故贊藥。

真金色。鬱金色。淺黃色。極白色。淺白色。是

中眞金體金二色相似然眞金光淨體金色稍重也三佛頂則有三色謂白色黃色赤色此是兼具寂災增益降伏色也此八佛頂皆周身有光光極廣厚以諸璣瓔散身由如來本誓願力故悉能滿足一切願也文

凡八佛頂兩部義金剛界之諸佛攝五智如來以此五智內證無上功德爲五佛頂故釋此是釋迦如來五智之頂又胎藏界五佛頂諸尊攝三部以此三部內證無上德名八佛頂故釋是如來三部衆德之頂既知八佛頂兩部最頂尊也今本尊大佛頂此兩部最頂猶不二故名大佛頂亦號攝一切佛頂也是不二上不二自證之中自證也獨一無二只限此大佛頂尊也

## 白寶口抄 大佛頂法三 通暢觀現分

## 七寶事

涅槃經十二云過去世人壽無量時有王名爲善住其王爾時爲童子身天子治事及登王位各八萬四千歲時王頂上生一肉疱其疱柔軟如兜羅綿細軟漸增長不以爲患足滿十尺卽開割生一童子其形端正奇異色像分明人中第一父王歡喜字之頂生時善住王卽以國事委付頂生棄捨宮殿妻子眷屬入山學道滿八萬四千歲爾時頂生於十五日在高樓沐浴受齋卽於東方有金輪寶其輪千輻輳輞具足非工匠造自然成就而來應之頂生大王卽作是念我曾聞五通仙說若利利王於十五日處在高樓沐浴受齋若有金輪千輻不減輳輞具足非工匠造自然成就而來應者當知是王卽當得作轉輪聖帝復作是念我今當成卽以右手擎此輪寶左執香爐右膝著地面發誓言是金輪寶若實不虛應如過去轉輪聖王所行道去作是誓已足金輪寶飛昇虛空還十方已還來住在頂生左手爾時頂上心生歡喜踊躍無量復作是言我今當作轉輪王其後不久復有象寶狀貌端嚴如白蓮花七枝柱地頂生王見已復作是念我曾聞五通仙說若轉輪王於十五日處在高樓沐浴受齋若有象寶狀貌端嚴如白

蓮華七枝柱地而來應者當知是王卽是聖王復作是念我今當試卽擎香爐右膝著地面發誓言是白象寶若實不虛應如過去轉輪聖王所行道去作是誓已白象寶從旦至夕周遍八方盡大海際還住本處爾時頂生心大歡喜踊躍無量復作是言我今定是轉輪聖王其後不久次有馬寶其色紺青髦尾金毛頂生見已復作是念我曾聞五通仙說若轉輪王於十五日處在高樓沐浴受齋若有馬寶其色紺青髦尾金毛而來應者當知是王卽是聖王作是念我今當試卽執香爐右膝著地而發誓言是紺馬寶若實不虛應如過去轉輪聖王所行道去作是誓已紺馬寶從旦至夕周遍八方盡大海際還住本處爾時頂生心大歡喜踊躍無量復作是言我今定是轉輪聖王其後不久復有女寶形容端正微妙第一不長不短不白不黑身諸毛孔出栴檀香口氣香潔如青蓮花其目遠觀見一山句耳聞鼻嗅亦復如是其舌廣大出能覆面形色細薄如赤銅葉心聰敏智有大智慧於諸衆生常有軟語是女以手觸王衣時卽知王身安樂病患亦知王心所緣之處爾時頂生復作是念若有女人能知王心卽是女寶其後不久於王宮內自然而有寶摩尼珠純青瑠璃大如人膝能於闇中照一山句若天降雨滴如車軸是珠力能作蓋還覆一山句遮此大雨不令下過爾時頂生復作是念

若轉輪王得是寶珠必是聖王其後不久有主藏臣自然而出多饒財寶巨富無量庫藏盈溢無所乏少報得眼根力能微見一切地中所有伏藏隨王所念皆能辦之爾時頂生復欲試之卽共乘船入於大海告藏臣言我今欲得珍寶十指頭出十寶藏卽以兩手托大海水時十指頭出十寶藏以奉聖王而白王言大王所須隨意用之其餘在者當投大海爾時頂生心大歡喜踊躍無量復作念我今定是轉輪聖王其後不久有主兵臣自然而出勇健猛略策謀第一善知四兵若任關者則現聖王若不仕者退不令現未摧伏者能令摧伏已摧伏者力能守護爾時頂生復作是念若轉輪王得是兵寶當知定是轉輪聖王

女

私云小野厚造紙云輪寶者金輪具足千輻自東來象寶者自南來有六牙金銀校飾飛虛空馬寶者自西來毛青尾失行不移動飛虛空珠寶者如意珠也自東來八角四面有大光長一尺六寸或三女寶者王女端正面如桃花王左右不失時飾主藏寶者居士身體紅色得天眼通兵寶者四兵自來如是寶輪王出共有命終一時滅云此口傳經意少相違若餘經等意相合歟正法念經云故作四天下轉輪聖王得千輻金輪寶珍寶莊嚴輳輞瑠璃爲轂周圓十五里百種夜叉神所共守護能飛行



虛空導四種兵轉輕捷迅疾如金翅鳥王如風如念所詣之處滅諸衰患降伏怨賊一切小王皆來歸伏親族人民莫不愛敬普能照明聖王姓旗種；花璽璽路間錯莊校五種伎樂常隨逐之奇妙寶蓋羅覆其上；行時有種；花香碎末栴檀常而供養燒真黑沈水牛頭栴檀黃栴檀以塗其身其輪兩邊天女執持白拂侍立種；珍寶以爲其蓋其輪有種；希有之事而用莊嚴是名金輪寶具足一切象相身大而白如真銀山生山神祿大象衆中能飛行虛空伊羅婆是那白象寶具足馬相色如孔雀頭其體疾如金翅鳥王飛行無礙是名馬寶貴家中生身無疾病有大勢力形體淨潔憶念深遠直心柔滿持戒堅固深敬愛王能通達種、經書伎術是名主兵臣寶如財主天王富相具足千萬億種、諸寶伏藏常隨逐行千萬億種諸藥又神眷屬隨從皆是先世行業之報善知分別金銀帶青火赤金剛摩羅竭車寶馬琉璃珊瑚頗梨摩尼真珠琉璃等種；寶總悉能善知出入多少隨宜能用能滿王願是名居士寶光明如日月照十六山旬形如大

寶細密薄皮不堪苦事身安堅牢如多羅樹身上處、吉字明了、吉樹文畫莊嚴其身象王中王馬王畫文幡蓋文魚文齒林等文現其身上、課平不現足如龜背足邊俱赤跟圓廣蹄趾柔軟膝圓不現脛如金桂如芭蕉樹如象王鼻端深光潤黼圓而廣橫文有三服膺不現臍圓而深背平直乳如頻婆葉如雙鸞齒圓起不乘柔軟鮮淨又其臂纖細圓直長節隱不現其鼻端直不顯現出不大不小孔瘦不現兩頰不深平滿不高兩邊俱滿額平而長有吉雲文耳濡而垂者無價環衛如真珠寶如月初生如雪珂齊如丹霞如頻婆葉上下相當不施不細如赤旃珠寶眼白黑精二色分明莊嚴長廣光明清淨其腰青輝長而不亂肩毛不厚不薄不高不下如月初生高曲而長兩邊相似愛而細潤澤不亂其身芬馨常有香氣如開種；上好香嚴身毛孔常出真妙栴檀香能悅人心口中常有青蓮花香身體柔濡如迦陟伽天衣細滑之事一切具足心無詭曲真信慚愧深愛敬王得知時方善有方便攝取王心坐起言語能得王意隨王意行常出愛語如人間德女衆好具足色如提盧多摩天女清淨分明如月十五日畫文炳現如帝釋夫人舍脂著天文花鬘天香多以天光明金摩尼珠莊按其身善知歌舞伎樂娛樂獻笑之事善有方便隨意能令王發歡喜一切女中是女爲最是名玉女寶文口云

女寶者不生子女也釋迦毗俱毗耶女不生子女；又云佛像經造作處去石女即不成就故也與上相違云；次第大輪外七寶圓繞佛前爲始如次輪珠女馬象藏兵也此七寶次第位攝七寶布烈異說不同也寶經云善薩摩訶薩爲轉輪王威加四域以法治世名爲法王七寶來應普悉成就所謂輪寶象寶馬寶女寶末尼珠寶主家藏寶主兵臣寶文涅槃經云金輪寶象寶馬寶女寶摩尼珠寶主藏寶主兵臣寶此兩經七寶布列次第全相同也

白如真銀山生山神祿大象衆中能飛行虛空伊羅婆是那白象寶具足馬相色如孔雀頭其體疾如金翅鳥王飛行無礙是名馬寶貴家中生身無疾病有大勢力形體淨潔憶念深遠直心柔滿持戒堅固深敬愛王能通達種、經書伎術是名主兵臣寶如財主天王富相具足千萬億種、諸寶伏藏常隨逐行千萬億種諸藥又神眷屬隨從皆是先世行業之報善知分別金銀帶青火赤金剛摩羅竭車寶馬琉璃珊瑚頗梨摩尼真珠琉璃等種；寶總悉能善知出入多少隨宜能用能滿王願是名居士寶光明如日月照十六山旬形如大

寶細密薄皮不堪苦事身安堅牢如多羅樹身上處、吉字明了、吉樹文畫莊嚴其身象王中王馬王畫文幡蓋文魚文齒林等文現其身上、課平不現足如龜背足邊俱赤跟圓廣蹄趾柔軟膝圓不現脛如金桂如芭蕉樹如象王鼻端深光潤黼圓而廣橫文有三服膺不現臍圓而深背平直乳如頻婆葉如雙鸞齒圓起不乘柔軟鮮淨又其臂纖細圓直長節隱不現其鼻端直不顯現出不大不小孔瘦不現兩頰不深平滿不高兩邊俱滿額平而長有吉雲文耳濡而垂者無價環衛如真珠寶如月初生如雪珂齊如丹霞如頻婆葉上下相當不施不細如赤旃珠寶眼白黑精二色分明莊嚴長廣光明清淨其腰青輝長而不亂肩毛不厚不薄不高不下如月初生高曲而長兩邊相似愛而細潤澤不亂其身芬馨常有香氣如開種；上好香嚴身毛孔常出真妙栴檀香能悅人心口中常有青蓮花香身體柔濡如迦陟伽天衣細滑之事一切具足心無詭曲真信慚愧深愛敬王得知時方善有方便攝取王心坐起言語能得王意隨王意行常出愛語如人間德女衆好具足色如提盧多摩天女清淨分明如月十五日畫文炳現如帝釋夫人舍脂著天文花鬘天香多以天光明金摩尼珠莊按其身善知歌舞伎樂娛樂獻笑之事善有方便隨意能令王發歡喜一切女中是女爲最是名玉女寶文口云

女寶者不生子女也釋迦毗俱毗耶女不生子女；又云佛像經造作處去石女即不成就故也與上相違云；次第大輪外七寶圓繞佛前爲始如次輪珠女馬象藏兵也此七寶次第位攝七寶布烈異說不同也寶經云善薩摩訶薩爲轉輪王威加四域以法治世名爲法王七寶來應普悉成就所謂輪寶象寶馬寶女寶末尼珠寶主家藏寶主兵臣寶文涅槃經云金輪寶象寶馬寶女寶摩尼珠寶主藏寶主兵臣寶此兩經七寶布列次第全相同也

白如真銀山生山神祿大象衆中能飛行虛空伊羅婆是那白象寶具足馬相色如孔雀頭其體疾如金翅鳥王飛行無礙是名馬寶貴家中生身無疾病有大勢力形體淨潔憶念深遠直心柔滿持戒堅固深敬愛王能通達種、經書伎術是名主兵臣寶如財主天王富相具足千萬億種、諸寶伏藏常隨逐行千萬億種諸藥又神眷屬隨從皆是先世行業之報善知分別金銀帶青火赤金剛摩羅竭車寶馬琉璃珊瑚頗梨摩尼真珠琉璃等種；寶總悉能善知出入多少隨宜能用能滿王願是名居士寶光明如日月照十六山旬形如大

寶細密薄皮不堪苦事身安堅牢如多羅樹身上處、吉字明了、吉樹文畫莊嚴其身象王中王馬王畫文幡蓋文魚文齒林等文現其身上、課平不現足如龜背足邊俱赤跟圓廣蹄趾柔軟膝圓不現脛如金桂如芭蕉樹如象王鼻端深光潤黼圓而廣橫文有三服膺不現臍圓而深背平直乳如頻婆葉如雙鸞齒圓起不乘柔軟鮮淨又其臂纖細圓直長節隱不現其鼻端直不顯現出不大不小孔瘦不現兩頰不深平滿不高兩邊俱滿額平而長有吉雲文耳濡而垂者無價環衛如真珠寶如月初生如雪珂齊如丹霞如頻婆葉上下相當不施不細如赤旃珠寶眼白黑精二色分明莊嚴長廣光明清淨其腰青輝長而不亂肩毛不厚不薄不高不下如月初生高曲而長兩邊相似愛而細潤澤不亂其身芬馨常有香氣如開種；上好香嚴身毛孔常出真妙栴檀香能悅人心口中常有青蓮花香身體柔濡如迦陟伽天衣細滑之事一切具足心無詭曲真信慚愧深愛敬王得知時方善有方便攝取王心坐起言語能得王意隨王意行常出愛語如人間德女衆好具足色如提盧多摩天女清淨分明如月十五日畫文炳現如帝釋夫人舍脂著天文花鬘天香多以天光明金摩尼珠莊按其身善知歌舞伎樂娛樂獻笑之事善有方便隨意能令王發歡喜一切女中是女爲最是名玉女寶文口云

女寶者不生子女也釋迦毗俱毗耶女不生子女；又云佛像經造作處去石女即不成就故也與上相違云；次第大輪外七寶圓繞佛前爲始如次輪珠女馬象藏兵也此七寶次第位攝七寶布烈異說不同也寶經云善薩摩訶薩爲轉輪王威加四域以法治世名爲法王七寶來應普悉成就所謂輪寶象寶馬寶女寶末尼珠寶主家藏寶主兵臣寶文涅槃經云金輪寶象寶馬寶女寶摩尼珠寶主藏寶主兵臣寶此兩經七寶布列次第全相同也

白如真銀山生山神祿大象衆中能飛行虛空伊羅婆是那白象寶具足馬相色如孔雀頭其體疾如金翅鳥王飛行無礙是名馬寶貴家中生身無疾病有大勢力形體淨潔憶念深遠直心柔滿持戒堅固深敬愛王能通達種、經書伎術是名主兵臣寶如財主天王富相具足千萬億種、諸寶伏藏常隨逐行千萬億種諸藥又神眷屬隨從皆是先世行業之報善知分別金銀帶青火赤金剛摩羅竭車寶馬琉璃珊瑚頗梨摩尼真珠琉璃等種；寶總悉能善知出入多少隨宜能用能滿王願是名居士寶光明如日月照十六山旬形如大

寶細密薄皮不堪苦事身安堅牢如多羅樹身上處、吉字明了、吉樹文畫莊嚴其身象王中王馬王畫文幡蓋文魚文齒林等文現其身上、課平不現足如龜背足邊俱赤跟圓廣蹄趾柔軟膝圓不現脛如金桂如芭蕉樹如象王鼻端深光潤黼圓而廣橫文有三服膺不現臍圓而深背平直乳如頻婆葉如雙鸞齒圓起不乘柔軟鮮淨又其臂纖細圓直長節隱不現其鼻端直不顯現出不大不小孔瘦不現兩頰不深平滿不高兩邊俱滿額平而長有吉雲文耳濡而垂者無價環衛如真珠寶如月初生如雪珂齊如丹霞如頻婆葉上下相當不施不細如赤旃珠寶眼白黑精二色分明莊嚴長廣光明清淨其腰青輝長而不亂肩毛不厚不薄不高不下如月初生高曲而長兩邊相似愛而細潤澤不亂其身芬馨常有香氣如開種；上好香嚴身毛孔常出真妙栴檀香能悅人心口中常有青蓮花香身體柔濡如迦陟伽天衣細滑之事一切具足心無詭曲真信慚愧深愛敬王得知時方善有方便攝取王心坐起言語能得王意隨王意行常出愛語如人間德女衆好具足色如提盧多摩天女清淨分明如月十五日畫文炳現如帝釋夫人舍脂著天文花鬘天香多以天光明金摩尼珠莊按其身善知歌舞伎樂娛樂獻笑之事善有方便隨意能令王發歡喜一切女中是女爲最是名玉女寶文口云

女寶者不生子女也釋迦毗俱毗耶女不生子女；又云佛像經造作處去石女即不成就故也與上相違云；次第大輪外七寶圓繞佛前爲始如次輪珠女馬象藏兵也此七寶次第位攝七寶布烈異說不同也寶經云善薩摩訶薩爲轉輪王威加四域以法治世名爲法王七寶來應普悉成就所謂輪寶象寶馬寶女寶末尼珠寶主家藏寶主兵臣寶文涅槃經云金輪寶象寶馬寶女寶摩尼珠寶主藏寶主兵臣寶此兩經七寶布列次第全相同也

寶與無量摩尼衆圍繞。次寶女亦與無量  
綵女俱。馬寶及象寶主庫神寶各領自眷  
屬無量衆侍立。兵寶持金剛。無能勝爲師  
文。但此儀軌非御請來布列次第相同云。  
問大師御作大佛頂略念誦法道場觀云。  
女寶馬寶主藏神寶輪寶象寶珠寶兵寶  
四面圍繞云。妙抄并成蓮抄心密抄等。

皆用御作道場觀。尤可依彼何依攝毒  
女抄乎。答攝毒女抄大師御口傳也。  
兩說雖用。何不苦歟。凡七寶布列次第經  
軌說不同也。故不可論前後歟。  
私云。石文抄云。攝一切佛頂法依攝一

切佛頂經說此說也。

問件經後入唐之請來也。非大師御傳。如  
何依彼經說行之乎。答件經者大師御  
覽經也。然知事者攝毒女經執者高野  
後僧正說者隨誰人傳之乎。彼執者即此  
法也。故攝一切佛眼經之大師之錄外經。  
但件書與此經說相違也。今經說攝一切  
佛頂者胎藏也。彼經說金剛界攝一切佛  
頂也。尤不審也。

抑毒女軌。字轉成學都婆。學都婆轉成  
本尊。身一身四面身色如  
素月。住於智拳印。文經文說胎藏攝一切  
頂佛也。文師云。攝毒女後僧正奉大  
習法佛眼攝一切佛頂也。所令記給也。常  
求利童女不見云。  
問以世間輪王之七寶用大佛頂法其意  
如何。答世間輪王具足七寶財寶饒有

大勢力。通化四天下無強敵。諸善福德所  
依止。一切世間親族有怖畏。除怖畏。有苦  
惱除苦惱。如是備無量德。世間第一輪王  
也。故非輪王出現。七寶亦不出現。今尊即  
表示彼輪王。其故諸佛中最勝大佛頂輪  
王。故用七寶也。一字金輪法同用七寶是  
諸佛最頂故也。

問。八佛頂次置七寶由緒如何。答佛眼  
法。八大菩薩八大明王。先如置七曜故。佛  
眼七曜與佛頂七寶習同體。仍七曜云七  
聖財。大智度論記云。佛母近邊著七曜者。彼  
佛七聖財寶能照世間出世間能與世出

世財云。輪寶日信也。珠寶月戒也。女寶  
火進也。馬寶水惠也。象寶土捨也。主藏寶  
金。懈也。主兵寶土愧也。智證大師如是配  
釋也。又文句八云。七寶爲塔者。即七  
覺七聖財。七聖財謂聞信戒定進捨。懈隨  
其教位明七文大論出七財云。一者聞財。  
二者信財。三者戒財。四者定財。五者進財。  
六者捨財。七者懈愧財也。文句七聖財是  
意也。此七寶佛眼時名七曜。於衆生與世  
出世一切吉祥七曜所作也。然佛眼尊破  
彼不吉祥事爲施吉祥。置佛眼近邊是七  
寶義也。喻祇經云。福如輪王。七寶具足。壽  
命長久。千萬俱。數文故。今大佛頂尊近邊  
置七寶。於一切衆生與世出世財也。

又云。凡以一曼荼羅配寶寶具。五位  
時臺上攝一切佛頂輪王大日即九識也。  
次八方八佛頂寶。寶輪佛即八識也。次七寶

開敷花王佛即七識也。次八菩薩。無量壽  
即六識也。無量壽蓮花部故。理菩薩因位  
故。尤理義故。蓮花部所攝八菩薩也。次八  
明王。天鼓音佛即前五識也。北方羯磨部  
故。智明王亦智故。羯磨部所攝也。此曼荼  
羅從果向因義故。八識八佛頂次置七識  
七寶。即云七寶是南方寶部義思之。

又云。攝一切佛頂胎藏界大日。八佛頂金  
界智佛。七寶即理智不二義。是從果向因  
義也。又八大明王。智故金界義。八菩薩。因  
故胎界義。七寶即理智不二義。本有自性  
體。一切衆生當體是從因至果義也。故七  
寶置中間尤有山緒云。

七寶本地種子言事

輪寶轉法輪菩薩種子。以眞言唵折迦羅  
婆。寶珍寶菩薩或地藏菩薩種子。  
眞言唵羅怛藍婆。寶女寶持世菩薩。或  
愛菩薩。或功德天種子。泥吠謂男天泥婆  
也。女天泥吠也。是呼女聲也。眞言唵泥吠  
婆。寶馬寶光菩薩或金剛夜叉種子。  
眞言唵伽藍婆。寶象寶寶菩薩。或愛菩  
薩種子。眞言唵摩婆。寶寶主藏寶虛空  
藏菩薩。或護善菩薩種子。眞言唵迦迦  
迦迦羅耶婆。寶或人云。主藏神毗沙門  
八兄弟第三摩尼跋陀羅也。又名印自在  
見本主兵寶無能勝或金剛藏王種子。或  
眞言唵阿鉢羅。寶多婆婆寶。

已上本地見惠什記。眞言依平抄也。  
賢覺記云。輪因菩薩。珠寶菩薩。女愛菩薩。

象者新菩薩 馬光菩薩 藏說菩薩 兵無能  
亮惠云七寶種子女等藏也

次虛空藏等八大菩薩圍繞次  
大喚等八大明王圍繞事

八大菩薩者虛空藏普賢金剛手文殊除  
蓋障地藏觀音慈氏

八大明王者大喚步擲降三世大威德不  
動無能勝馬頭大輪

八大菩薩八大明王各種子三形  
色威儀等不觀之歟如何答各不觀

種三形色持物  
口云虛空藏普賢金剛手文殊除蓋障地

藏觀音慈氏八大菩薩次第旋右列坐次  
大喚步擲降三世大威德不動無能勝馬

頭大輪八大明王次第旋右列坐各執本  
標幟相好圓滿之義如次第可觀之凡不

限此法自餘尊等眷屬多皆通如是意得  
也若各形色持物等分明觀之猶神妙

事也  
虛空藏

身肉色右與願左持寶珠當胸  
普賢

身肉色左持蓮花上有劍說三有如三股  
印仰掌屈地水上<sub>或伸五指指向上</sub>

金剛手  
身色如水精右持五股當右乳左持鈴安

腰  
文殊  
身金色右持梵篋左執青蓮花莖

除蓋障  
身白肉色左持寶輪上寶珠右施無畏

地藏  
身白肉色左持蓮花上有幢幡右持寶珠

觀音  
身肉色左持蓮花當胸右開勢也

慈氏  
身白肉色左執紅蓮華上有法界塔印

右大指押火八卦餘指散舒微屈屈指  
私云已上八菩薩出大妙經并尊勝一

卷軌彼經軌雖出名字不說形色持物  
故大佛頂曼荼羅尊勝曼荼羅八大菩

薩依兩界等圖之故少有異可勘之  
云

問佛眼法八大菩薩與大妙經八大菩薩  
同歟如何答佛眼法八大菩薩與理趣經

八大菩薩同之金剛手文殊虛空藏觀音四  
菩薩同體也轉法輪虛空庫金剛拳摧一

切魔四菩薩異也故形色持物等今四菩  
薩差異歟但玄秘抄云當商葉安金剛手

爲始右繞安八大菩薩也  
八大菩薩者理趣經云云八大菩薩經

金剛手文殊虛空藏觀音轉法輪八觀  
音虛空庫也金剛拳摧一切魔等

攝一切佛頂輪王經說八大菩薩名字依此經  
抄於種子者金剛手妙吉祥虛空藏

慈氏觀音等地藏除蓋障普賢  
問金剛手文殊虛空藏觀音此四菩薩二

經說同體顯然也餘四菩薩兩說同異如  
何答或人云餘四菩薩兩說其體不同

也云今案之餘四菩薩名雖不同其體  
實一也所謂轉法輪是慈氏<sub>自故小野抄云</sub>

法輪即慈氏云又與三部記云虛空庫是地  
藏或大抄云虛空庫又地藏云又三部金剛拳是

除蓋障<sub>私推云金剛拳尊勝經月第十</sub>  
六分圓滿如是即除蓋障也摧一切魔

是普賢<sub>故諸經注應出此菩薩即出普賢三解即</sub>  
是各別證據如之總攝一切佛頂經八菩

薩八大菩薩曼荼羅經八菩薩但彼曼  
荼羅經說通曼荼羅八菩薩非彼經八菩

薩乎<sub>思之可</sub>又攝眼毒女抄烈攝經八菩  
薩此亦證據也但祇經注文護理趣經不

讓攝經者理趣四會曼荼羅分明闡八大  
菩薩形像故讀之攝經不說八菩薩形像

故不誑之歟  
問理趣經摧一切魔菩薩云本是慈氏

今何云普賢菩薩乎答有人云本是慈  
氏者非指彌勒是本備慈氏也<sub>見文起</sub>

理趣釋云指以故一切有情調伏即爲菩  
提者本是慈氏菩薩由此菩薩內入慈定

深於慈難調諸天外示威猛令得受化引  
入菩提已上

大喚  
身青色右持索左執戰於火中或云一面

二臂頂有三髻口云軍荼利也云  
步擲  
身青色右手把一施蓋左把金剛杵通作

虛空色放大光焰或云一面十八臂也云

降三世

身青黑色右持五貼杆左拳安腰

大威德

身青色有六面右持劍左作拳安腰或屈肘

不動

身青色右持智劍左持索住火焰中坐蓮花或云四面四臂云

無能勝

身青色右持三股左拳舒頭指於火焰中或云四面四臂各頂有獨體但中有地藏菩薩云

馬頭

身肉色三面首有白馬頭右持蓮花左執瓶於火焰或云三面八臂云

大輪

身青色右持輪左執一股於火焰中或云一面八臂云

私云

璣祇經云八大菩薩如理趣經八大金剛如攝一切佛頂輪王經說文依之佛眼法八大明王與大佛頂法八大明王全同之也

問八大菩薩并八大明王不用種子三形歟如何答八大佛頂輪王皆用種子三形是能生故也於所生八菩薩八明王不用種子三形歟

問八佛頂輪王現作八大菩薩等有證據乎如何

答大妙經云時金剛手八大菩薩

薩佛前而作此法一須臾間便與佛齊等

時八大菩薩還以佛法歌詠讚佛欲歸本國時世尊言汝等雖成佛身未報佛恩時

八大菩薩白佛言云何是報佛恩佛言得成佛已須廣度有情不復住寂自榮寂時

禮佛雙足即却變身還成菩薩文是八佛頂還成八大菩薩也妙抄云師主云大妙

金剛大甘露茶利焰曼熾盛佛頂經緣通分明說八大菩薩現作八大明王不可有

異說但八大佛頂八大菩薩同體者本說何處乎答即彼經先說八大佛頂次說八大菩薩知是同也但其佛頂其菩薩同者

彼經不分明歟雖然尊勝一卷譯不空中央

佛名毗盧遮那右邊安觀自在菩薩次第右迴地藏菩薩為第八又二卷儀軌長壽譯

中央佛右邊安最勝佛頂為第八明知最勝佛頂即觀自在乃至廣生佛頂即地藏也云又大妙經云說此語已八大菩薩

各現光明輪各現作八大金剛明王以持如來輪故爾時金剛手菩薩現作降三世明王○妙吉祥菩薩現兩臂六頭兩足

金剛明王○慈氏菩薩大輪觀自在菩薩馬頭地藏菩薩無能勝除蓋障不動菩薩

菩薩步擲虛空藏大喚八大菩薩各現金剛名略抄

小野僧正略頌云  
最勝觀音馬頭尊 無邊慈氏大輪尊  
光聚虛空大喚尊 廣大菩薩步擲尊

白傘金剛降三世 勝佛文殊大威德

尊勝除蓋不動尊 廣大地藏無能勝

私云八大佛頂八大菩薩八大明王同體之略頌也可暗誦事也

凡大佛頂者佛界無上德也八佛頂金界五佛頂胎界三佛頂故以顯兩部無上德

名八佛頂今此道場觀偏顯攝一切佛頂輪王德故八方八佛頂圍繞悉八方迴兩

部無上德顯中尊佛界無上德也故諸佛中無上佛頂輪王故七寶具足八大菩薩

八佛頂現作也八大菩薩之忿怒身也是相承祕傳也又一切諸尊有三輪謂八佛

頂自性輪八大菩薩正法輪八大明王教令輪也



呪身上帶持。若安住處莊宅園館或安輦上。或復作塔供養。或以寶函盛之。○而以供養如是之人。身上所有一切極大重罪。惡業障難。悉皆消滅。猶如消雪。又云。若有男女親族。爲彼亡者誦持此呪七遍。或二十一遍。皆爲亡者。稱名復呪水七遍。洗其亡者屍骨。當令亡者。從彼地獄惡處。沒轉生諸佛成土。及諸天宮。又云。有人能從朝至暮。燒香散花。至誠迴向。誦此呪者。諸佛同心。秘密悉恒。多解脫法。身金剛句。不持齋者是持齋。不持戒者是持戒。戒。八萬四千金剛。行住坐臥。每隨身。十方方法界諸如來。護念加威受持者。念滿一萬八千遍。遍。入於無想定。號稱堅固金剛。輒自在。得名人勝。佛縱使罵詈。不爲過諸天常聞。說法聲。神通變化。不思議。陀羅尼門。最第一。又云。偈破二百五十戒。比丘尼犯八波羅夷。聞金佛頂大明王。還得具足聲聞戒。若人殺害怨家。常行十惡。非無邊暫開。灌頂不思議。恒沙罪障。皆消滅。現受阿鼻大地獄。變湯爐炭。黑繩人。若發菩提片善心。一聞水得生天道。又云。日日持念一七遍。極重煩惱。皆消滅。金剛密迹諸眷屬。每日每夜常守護。二類諸天。悉歡喜。二類極實。歡喜。摩法王。覆護一切惡神。惡悲護一切善神。常守護一切天女。能護念一切神女。善護念。又云。總持猶妙藥。能療衆惡病。又如天甘露。服者常安樂。總持無文。

文字顯總持。由般若大悲離言。以言說。普賢蓮花子。執金剛薩埵。諸大摩訶薩。晝夜不遠離護。世四天王。三十三天衆。日月七曜等。二十八宿星。成就明仙衆。擁護受持者。無間極重罪。猶如恒河沙。一聞神呪力。一時得除盡。

## 根本大印事

大妙甘露經云。二手虛心合掌。以二頭指入掌。以二大指押之。如佛頂形。眞言。變莫三。大滿多沒多。歡南引。喇入。又云。是名心印。一字之法。結此印時。十方諸佛。速至彼所。加持彼身。口心速獲清淨。又云。以此大印安於心前。從印發生無量百千俱胝。雜色妙大寶光。○空中旋轉。如大金剛輪文。

口云。二風指入掌內。衆生界息。風佛界息。風平等。表佛佛一如義。是眞實即身成佛印也。又此印。尊勝軌說塔印。是尊勝宮印也。大日經三云。打字及空斯。尊勝虛空宮。梓惠刀印。所作速成就。此宮胎藏五大法界。

宮也。即一切衆生。色心實相。從本際已來。常是毗盧遮那平等智身。自受法樂道場也。又寶寶瓶印。大妙甘露經說此印故也。玄經妙云。攝一切佛頂輪王。經有甘露軍荼利題事。口云。甘露軍荼利者。即智惠瓶。是灌頂瓶也。作此法人。至諸佛灌頂位。即身成佛。義也。故經文云。以此法。不轉肉身。能成大佛事。成利益。只於有情。獲佛身。

云。十日抄云。此瓶印最祕者。此印直用極位。重故。爾云也。云。口云。此印塔印異形也。直用無所不至。塔印。口傳也。云。

## 眞言事

大妙甘露經云。我今爲汝說祕密一字心眞言云。說此眞言。於今日。當聞此法。常明王。咸皆作禮。言我於心已。金剛手等。諸大以身分荷。自佛輪顯。佛慈悲更爲宜說。此三摩地門。速令一切有情。疾證佛身。又云。書字者。四轉具足字也。四轉成就。以總功德。爲方便究竟。故萬德圓滿。眞言也。問。諸尊法次第。先以根本印爲始。今根本印。先用智拳印。意如何。答。裏付云。大日入金輪三摩地。可習也。云。故所入大日金輪印。故以智拳印用始也。根本印塔印。也是能入大日體故。次用之。勸請。金剛佛頂轉輪王云。攝一切佛頂。大日也。羅習之。先以所入佛頂金輪爲面故也。

## 本三摩耶印事

大妙甘露經云。以二手散開十指。並二掌根。又云。結成就一切事業。佛頂諸佛心。本三昧印云。又云。即以此印。指上散安十字。眞言。一。字上散。無量百千。雜色寶光。散射十方。諸佛刹土。光明熾盛。三世無等。即以印手。右旋如索環勢。一旋一佛。一輪。九佛。九輪。八十。一億。俱抵數佛。如說色相。花臺亦然。如是本初輪印之時。不令印光斷絕。光焰此印名。攝一切佛頂輪王。

頂飾

口云此印大惠刀印也三昧耶形卽利劍  
故表彼三形足利劍般若畢竟空義故此  
印空輪印也  
永壽寺藏  
除障佛頂  
口云大鈎召印也此尊以鈎爲三昧耶形  
故表三形也廣大軌云阿字法門諸因果

業性畢竟不可得。威光照一切。轉成除業。

頂惠手風輪鉤能除地獄障文

命子

黃色佛頂

口云黃色者廣生佛頂也此尊三昧耶形

生佛頂亦名大轉輪佛頂外縛五貼印云

師傳云、外五股除內障云々

木命子 最勝弗頂

口云此尊三昧耶形八輻輪故用轉法輪

印也

問二字爲種子義如何  
答大目經背龍

儀軌玄法軌共用云云是皆種子

一字也。大師御次第梵漢次第共兩回。二

字有之是共種子也何之用二字下也句也若一字本用下切句也多分人用下

41





左拳空風捺

十字真言

唵囉日囉吽發婆耶吽發吒

口云次第印文師傳也但如文結之右印

右乳上裡也左印又左乳上也大唵明王

軍荼利也故三股印也云

步擲

大妙經云晉賢步擲右手三股印向外左

拳上肘七字心真言曰

唵

囉

日

囉

吽

發

婆

耶

吽

發

吒

囉

日

囉

吽

發

婆

耶

吽

發

吒

囉

日

問大妙經七箇明王呪初皆有唵字然今

限大威德真言改唵字用吽意如何答

立成軌云大威德明王身安三字誦頂安

唵字口安惡字心安吽字成就尊身文聖

闍曼德迦忿怒王念誦法云天心頂口心

真言唵惡吽三字青色文胎藏廣大軌同

之頂口心三處配唵惡吽三字也又立成

軌云東彼像及想己身並青黑色六足六

首六臂所以淨六趣滿六度成六通次誦

三字明隨處一一布真言曰唵惡吽文此

配當六首六臂六足也今大妙經云現兩

臂六頭兩足金剛明王此文此經三處配當

同之但此真言義字可用字數云義經

軌義說也

問今次第云義經四字也是經軌兩呪

相合歟如何答佛母曰有集云大威德

云唵一吽引唵吽小野花藏院集同之玄

秘抄用之也故出四字真言歟合經軌兩

呪爲一呪事末口傳配四字時六頭六面

六臂六足也本說可尋之也

不動

大妙經云除障不動不動心印十三字心

真言曰

唵阿左羅羯摩戰戰安臥耶吽發吒

口云印稍印如常但經心印也

無能勝

大妙經云地藏無能勝右手捻空風安心

左手立肘五輪向立外十二字真言曰

唵

囉

日

囉

吽

發

婆

耶

吽

發

吒

囉

日

囉

吽

發

婆

耶

吽

發

吒

囉

日

囉

吽

發

婆

耶

吽

發

吒

囉

日

囉

吽

發

婆

耶

吽

發

吒

囉

日

囉

吽

發

婆

耶

吽

發

吒

囉

日

囉

吽

發

婆

耶

吽

發

吒

囉

日

囉



王經三云此一切辦事真言於佛頂致中一切佈頂於一切事業處常用修行者以此應護身又依此意歟不動結界明王故用之也

律僧說事

諸大佛頂陀羅尼餘准經法云

御加持說事

口云大佛頂陀羅尼奧不<sup>不</sup>以下小呪也聖賢云用辦事佛頂呪云

勸誡發願事

問金輪佛頂云何不云大佛頂乎答攝一切佛頂大日如來入金輪三摩地習之故云金輪佛頂也無相違

祇佛事

口云三十七尊如常次本尊三遍次八佛頂各一遍次兩界如常此次第見裏付

本尊

問廣澤流<sup>也</sup>不可然今本尊句一字佛頂也一字金輪佛頂故十卷抄金輪梵號

出此句

今大佛頂不符合何用此句乎如

何答

當流金輪佛頂法本尊句<sup>佛</sup>相違如何

答云

除障佛頂

廣生佛頂

不可相違也云

光聚佛頂

佛頂三摩地故勸請發願句出金輪佛頂

不可相違也云

光聚佛頂

佛頂三摩地故勸請發願句出金輪佛頂

發生佛頂

今八大佛頂總佛皆依胎藏界真言之故

如彼施羅尼用之仍無梵號

問禮佛用種子其例說如何答禮佛用

梵號用漢號是常事也又用種子用密號

事有之云

問今此法道場觀八佛頂種子發生佛頂

出字字廣生佛頂字也今何以字字爲

發生佛頂種子乎答道場觀八佛頂種

子依胎藏玄法軌并義釋等又八佛頂真

言依胎藏背胎軌等今禮佛亦八佛頂真

言也故於一法中兩說共舉用之故種子

相違等勝法道場觀八佛頂種子如胎藏

背龍軌等之故真言禮佛皆同一也此法

不然云

白傘蓋佛頂

勝佛頂

問廣澤流<sup>也</sup>不可然今本尊句一字佛頂也

一字金輪佛頂故十卷抄金輪梵號

出此句今大佛頂不符合何用此句乎如

何答當流金輪佛頂法本尊句<sup>佛</sup>相違如何

答云

除障佛頂

廣生佛頂

不可相違也云

光聚佛頂

佛頂三摩地故勸請發願句出金輪佛頂

此亦廣生梵號不說真言故種子用之也

廣生佛頂與發生佛頂義同軌兩軌互替

用字字云

放勝佛頂

廣澤流<sup>也</sup>不可然今本尊句一字佛頂也

一字金輪佛頂故十卷抄金輪梵號

出此句今大佛頂不符合何用此句乎如

何答當流金輪佛頂法本尊句<sup>佛</sup>相違如何

答云

除障佛頂

廣生佛頂

不可相違也云

光聚佛頂

佛頂三摩地故勸請發願句出金輪佛頂

不可相違也云

光聚佛頂

佛頂三摩地故勸請發願句出金輪佛頂

不可相違也云

光聚佛頂

佛頂三摩地故勸請發願句出金輪佛頂

不可相違也云

光聚佛頂

佛頂三摩地故勸請發願句出金輪佛頂

不可相違也云

光聚佛頂

佛頂三摩地故勸請發願句出金輪佛頂

不可相違也云

入我我入事

正念觀我心中有我字成八輪輪王其上  
有義字及八佛頂種子右旋住所謂  
色光照十方佛刹爾時十方諸佛以八  
花輪輝行者頂上此輪放光明照行者身  
心三業極重罪悉消滅忽成佛身不假結  
護供養速得諸佛三昧十方諸佛不見自  
身泥餘苦藏乎如此觀出定  
幻作次第樣也

此觀非普通觀但我心光明照十方佛刹  
入我義數十方諸佛輪光明照行者我入  
義數十方諸佛不見自身者同一體無二  
無別義數  
又云自心上置我字爲表兩部不二天  
佛頂兩部不二自證位也入我我入觀行  
者與本尊不二同體即身成佛故行者自  
心觀兩部種子先表不二一體次已大兩  
部不二自證本尊入我我入不二已成不  
二自證極位也故十方諸佛不見自身  
口云我我我入者如常可觀之也

迎請事

口云大鈎召印言

結界事

口云不動或辨事佛頂

字輪觀事

口云五大如常

或云



白寶口抄 大佛頂法五

護摩事

大第云就敬愛修之或息災或調伏云同  
裏付云此法本體就敬愛行之是則本經  
說也或通息災調伏行之云玄秘鈔云敬  
愛本調伏野小息災隨知隨時行之又云本  
經可行敬愛見事循經云即於東方如來  
面前赤色輪中現光聚佛頂輪王等云或  
尊勝法歟之思但此法亦調伏可行之上  
妙抄云尊勝儀軌不空譯并善無畏譯俱  
中央佛向西今經所說何向東乎先德此  
法部主阿彌陀云以之思之此法可修敬  
愛歟仍彼經中央尊向東方即此意歟但  
先德此法增益或息災行之者相離尊勝  
法歟安八大佛頂雖同尊勝法其行法不  
可同歟內供圖又以光聚安中央前東方  
了已上

口云天變兵亂等殊可修之又產生等功  
能之故故御產御祈修之也但天產生就  
息災修之兵亂等就調伏可行之歟若天  
變御祈之時熾盛光佛頂真言專可用之  
大妙經云若誦此真言者所有執曜惡星  
凌逼本命胎業宿等皆悉變爲吉祥遠離  
生死流轉疾成無上菩提又有十萬俱胝  
一切諸佛悉皆頭禮攝一切佛頂輪王如  
來作如是密言熾盛光明無等者文

部主段 金輪眼。或

自加持 印虛心合掌二頭指屈附二中指上簡二

空各捺忍顧中節文二小指復微開真言

日 義讚婆讚師帝烏瑟拏二漢唵喻二婆普

合二暗入聯二羅底瑟陀二悉駄引路引左

寧薩聯羅他二婆引駄類曳婆聯二賀

召請 大鈎召印本尊真言如自加持召

誦明四

供物 同真言 愛句 加敬

撥遣 准召請

金輪用部主時 智拳印一字真言曰勃嚕唵合三

自加持 大鈎召印一字真言如自加持召

召請 誦明四

供物 同真言 愛句 加敬

撥遣 准召請

私問云以金輪爲部主尤相應以佛眼

爲部主意如何 答白傘蓋軌云結佛

眼印一切佛頂中應此大印滅諸罪又

決定得悉地不久必成就一切佛頂法

文依此文者部主尤可用佛眼也

玄秘抄云部主阿彌陀云私云任攝經說

者敬愛可行之仍爾云歟小野僧正被行

調伏部主降三世歟已

妙抄云部主阿彌陀種子曼三形蓮華獨

股杵爲重云師說云胎藏大日爲本尊云

種子曼三形八輻輪部主阿彌陀已上

口云阿彌陀敬愛降三世調伏金輪息災

佛眼息災敬愛通用也云

阿彌陀用部主時

自加持 印外縛忍顧相柱如蓮葉形真言曰

唵一路計什聯合維囉引惹三韻哩四合

召請 蓮花部心印明

供物 同加持真言 愛句 加敬

撥遣 准召請

本尊段

自加持 根本密印二手虛心合掌以二頭指入掌

中以二大指押之秘密一字心真言曰

囊莫三 去滿多沒駄南引刺入

召請 大鈎召印本尊真言 誦明四

供物 同真言 愛句 加敬

加持物 如供物

觀想此圖九俱入從本尊御口至心蓮花

臺成無量蓮花箭雲海流出一毛孔供

養盡虛空法界諸佛菩薩便還來射拂我

及亡者彼此等增惡隔別厭離善薩心彼

此一體和合互令起無二敬愛之心云

撥遣 准召請

諸尊段 八大佛頂各一種子三形悉觀八大菩

薩八大明王同圍繞觀之如道場觀

自加持 本三昧耶印以二手散開十指並二掌根

真言曰

義讚引尼反引嚕引左義野婆引婆去

誦明觀引瑟尼合漢野刺引觀嚕吃嚕

昨捺嚕昨訥嚕昨實嚕昨皮嚕昨勃嚕昨

薩嚕昨沒駄沒駄沒駄沒駄沒駄沒駄

召請 如自加持印真言以十指三指加

供物 或云八大佛頂以各真言供以三遍

撥遣 准召請

私問云諸尊段中央不觀本尊歟如何

答不觀也但五大尊等用諸尊段時同

不動置中央供之此義何法可相通然

者當本尊觀置中央供之尤宜歟

問若爾者本尊段時八大佛頂等可供

之歟如何 答本尊段時不供伴也

世天段 如常

壇場莊嚴事

口云大壇場五色四面開側五瓶輪羯磨

鈴杵等 如常

佛供十六坏 小八坏 八坏 八坏

菓子十六坏 餘有 汁八坏 小豆

開白並每日中如是用之後夜粥八坏

初夜無供物供花等樓云

實勝內供抄云相應物衆多也別香云

甘草異香木坤乾香中白蜜金此等

香四角置香爐可燒也口傳火舍置之四

面火舍之外用之已上

玄秘鈔云或傳云大佛頂法下口巴香煎

入鉢置壇中央修之結願後服之或沐浴

云遍知院傳也已上

口云此法煎兜樓婆香金鉢若盡若長燒等入之置大壇中央結願之後灑施主或沐浴或令服之悉地必成就也若自行自服之又可灑或沐浴也但此兜樓婆香作法雖有本說依師傳不用之也

問兜樓婆香者何物乎答或云都樓婆舉力香云蓋香也是草香也云口云此香在印度無此土但或說唐物也其代用草香也傳受集四云他家說云兜樓婆香或說蓋草或黃根又說英香云西院云或芸蓋香或黃草也云

大佛頂經七云每至食時若在中夜取蜜半升用蘇三合於壇前別安一小火爐以兜樓婆香煎取香水沐浴其炭燃令猛熾投是蘇蜜於炭爐中燒令煙盡餐佛菩薩文大佛頂軌云不知以蜜半升蘇三合以小火爐煎兜樓婆香取汁沐浴云

大佛頂經七云取八圓鏡各安其方○又取八明鏡懸虛空中與壇場中所安之鏡方面相對使其形影重相涉○十方如來一時現鏡交光處承佛摩頂即於道場修三摩地能令如是末世修學身心明淨猶如琉璃文

口云此十六枚鏡者玄秘抄云十六鏡者九佛頂七寶珠但如文者八圓鏡各安其方者經說壇云塗壇地方圖丈六爲八角壇文故壇上置八方鏡此八鏡者表八大菩薩上覆懸八鏡是表八大佛頂亦上

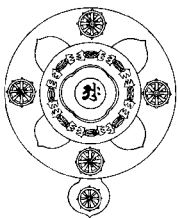
下鏡影相涉入無礙八大明王義也但此十六鏡今傳不用之也云法務極肝心抄云小野僧正鏡香爐ナトシナクテ只如例修法之樣ニテ修給而源條件十六鏡香爐各十六ツ其修云并シキマンダラ有云又鏡天蓋ガ今八枚壇置也伴法十口加驗手抑香爐ビガ事也火舍之名云

私云大佛頂經七云鏡外建立十六蓮花十六香呂間花鋪設莊嚴香爐絕燒流水無令見火文依此意可用十六火車歇

厚雙紙云應德二年二月日通智院僧都修此法兩壇作也支度在別紙件支度天蓋並幡不載之但私云天蓋等若可用歟云

私云大佛頂經七云令其四外遍懸幡文若表八佛頂可懸八流歟幡色同八佛頂色可遮之歟

玄秘抄云集經第一云佛頂法佛左邊安淨箱子盛金剛般若經日誦之云護摩玄秘抄云或傳云大內壇壇第二重緣可畫八輪云壇盛光頂經威德光明儀軌壇盛光儀法要此等委可見之此外其書已秘錄攝眼毒女御作次第小野攝轉抄上已口云壇底書木尊種子可畫八輪輪第一二重緣上八方畫八輪持八幅也第一重緣上如常四方三股形或又八幅輪也四角蓮花葉也是先息災福壇也云



諸師皆用此圖第二緣畫八幅輪爲祕也問此大佛頂法就敬受修之何處形圖乎如何答應德被修之時息災歟云佛供等如大壇乳木長十指寸中壇木長九指寸加持物又白乳木長十指寸中壇木長九指寸香水入少相應物白乳木長十指寸口云此法伴僧八人也三刀金後佛眼現振鈴以接時間伴僧誦大陀羅尼正念誦程護摩壇阿闍梨起座入幕內至護摩壇前面向大壇方大壇一禮次向護摩壇如常壇前普禮次著座普禮次塗香次三密次淨三業三部被甲護身次二器香水加持次壇加持次補闕次羯磨加持次大日加持次本尊印言次三平等觀次芥子加持等如次天段部主段本尊段諸尊段世天段終了闍部如常取置之下座次禮護摩壇次大壇禮一禮次著本壇次大壇阿闍梨金一打後一字呪次後供養等如常又云若大阿闍梨兼行護摩大壇供養法

字輪觀本尊加持畢起禮盤進寄護摩壇之及明日始上事之由了依復難叶思食煩之間其時五位藏人爲房奉行召仰七條工等十六銅箱一夜間遣造之了蒙御感云

寶心云大結界作法但末代無益事也依之先師法眼從待賢門院可法金剛院結界之由雖被仰下辭退其銅箱十六之內一口留納經歲畢云

又云圓光院地鐵遍智院僧都鐵四方祇園堂範俊僧正鐵八枚八方大智院額照阿闍梨

### 堂塔地鎮壇事

地鎮者堂建立以前事也鎮壇者供養前事也但近來口一度鎮之也

若七日行法第七日宛吉日行之護摩必可行常御修法定也但初夜蠟燭九坏八方天並地天各隨方位可居之若一日作法供一座可修之佛供十七坏之內可供白佛供八坏蠟燭九坏用之云

此作法興福寺南圓堂建立時大師令行此法給云

或日記云宇治大相國興福寺南圓堂修理之問壇地修補之處銀箱一口引出別當賴尊法印令進殿下了大驚思食召義範僧都被仰云汝是弘法大師末葉也然彼南圓堂者大師鎮壇處也今有此事尤奇異也吉事歟凶事歟能可被量申又於善惡可祈念申云僧都被申云是大師鎮壇具也更別事不候歟彼國中條事等不開見以前被申旨皆叶實仍大相國感恩食隨喜給僧都賜伴鐵鎮壇如元被埋畢彼箇內銀八卦計打付入中云

後三條院御願圓修寺建立之時地鎮成

尊僧都修之而支度進覽之時銅箱被落之及明日始上事之由了依復難叶思食煩之間其時五位藏人爲房奉行召仰七條工等十六銅箱一夜間遣造之了蒙御感云

寶心云大結界作法但末代無益事也依之先師法眼從待賢門院可法金剛院結界之由雖被仰下辭退其銅箱十六之內一口留納經歲畢云

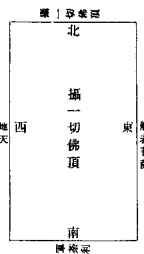
又云圓光院地鐵遍智院僧都鐵四方祇園堂範俊僧正鐵八枚八方大智院額照阿闍梨

無量光院三寶院權僧正鐵八枚八方佛前曳迴觀於其內建壇供地天此時助伴於殿內脫將束著付衣其承仕入壇下佛壇中心理瓶入五寶五香五藥五穀以五色等結對之理瓶上置輪八方鐵上貫羯磨各羯磨中心穴鐵ツラヌクナリ然後八方鐵曳迴五色糸然後供五等銅通地天佛慈護眞言不動眞言埋之啓白建立堂舍之內也鐵四方八方不同者隨時也放佛壇入作法也輪鐵五色糸皆佛壇之中除曳迴皆埋之供之也瓶以輪爲蓋也

有皆埋之云已上

私云此記錄者非地鎮鎮壇作法也略作法地天供許也地鎮之作法未被造御堂以前有此事先大佛頂法如常行之次至鎮取埋箱於八方也故地鎮壇是各別也云

- 圖像  
一
- 圖像  
二
- 圖像  
三
- 圖像  
四
- 圖像  
五
- 圖像  
六
- 圖像  
七
- 圖像  
八



若中央用箱四方如是畫章形五寶五香五藥五穀同入之可加入佛舍利歟八箱蓋上八卦計打入墨蓋之四方面章形若種子計打之入墨五寶五香五藥五穀皆



大佛頂法



大佛頂法

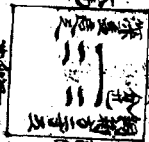


大佛頂法

大佛頂法



大佛頂法



大佛頂法

大佛頂法

箱局





帝足



帝足



帝足



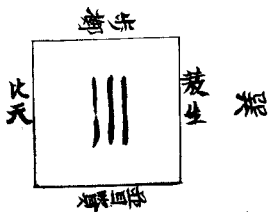
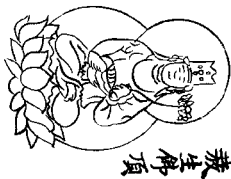
東

帝足

帝足

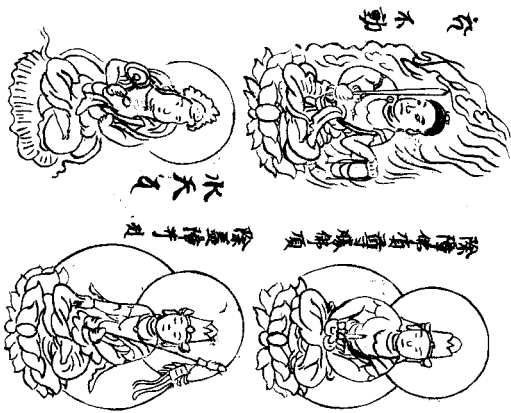
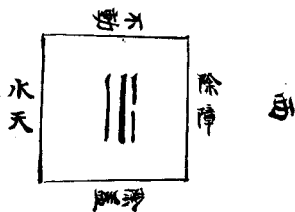
帝足

帝足











廣生師頂右金剛將三尊也



瓦地藏右月形



瓦地藏上極權也

無能廣



廣生

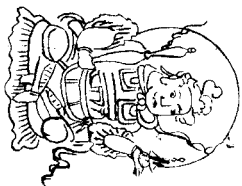
乳

地藏

風天



冥馬頭明王



八寶輪

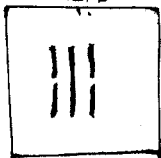


救勝辟項

觀音咒



馬頭



北

救勝

觀音

多聞





圖像

一一

圖像

一二

圖像

一三

圖像

一四

圖像

一五

圖像

一六

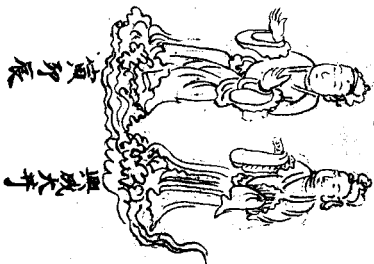
八大佛頂八大菩薩八大明王圖像與前  
全同之故重不圖之與劍興成興高興文  
興兒興進與松興明許圖之



南方餘方準之可知云石文抄云甚祕之  
甚祕之說云是法本尊眞實理智不二  
切佛頂以可爲本尊經說胎藏攝一切佛  
頂者暫說理之邊也理不離智故亦不二  
也故八大菩薩理所變八大明王者智所  
變也八大佛頂者即顯理智不二像也  
又八方天男女相具理智所變也又此法  
鎮法也鎮守護也守護必具男女也故胎  
藏相向守護門男女也又無能勝無能勝  
樣亦男女也是皆守護之義也故胎藏界  
中胎即理智不二法性佛也八大佛頂八  
葉所顯現也八葉者八大菩薩八大明王  
八大佛頂八方天如是一體所變八方鎮  
護法也云大結界法云此法者攝一切佛  
頂法也攝一切佛頂者大日法也此大日  
者大日金輪是也此金輪者大金剛輪明  
王也大金剛輪明王者攝一切佛頂輪王  
也攝一切佛頂輪王者一切如來頂輪王  
也一切如來頂輪王者毘盧遮那如來也  
毘盧遮那如來者如來常住法體如意寶  
珠寶珠者自心自性清淨法性蓮華寶珠  
者萬法能生體本來本有自性神堅牢  
地神是也仍結果大地上者福智涌出諸  
佛雲集善神降臨惡神除滅是與字本妙  
藏寶珠無礙德也然者此法寶珠法云祕  
中祕也陀羅尼集經諸佛大陀羅尼都會  
道場品云東西南北四維上下所有一切  
善神鬼我佛法中有益者隨意而住作

此語已用水石澆迴瀧道場之地即作前  
軍荼利法一度結界其結界印呪如軍荼  
利部中所說更無別法當結界時住阿闍  
梨心操遠近寬遠爲界文一臂摩經云  
五部白觀自在菩薩言我有成就七日  
供養作壇法若有沙門欲成就大驗得是  
處已以白月一日手執香王啓白一切諸  
佛般若若薩金剛諸天一切業道冥顯今  
此地者是我之地我今欲立七日大壇法  
此院內東西南北四維上下一切鬼神皆  
須出去結界七里之外若善神鬼神等隨  
意住說此語已次第依彼軍荼利法辟除  
結界文  
私云大師高野結界啓白陀羅尼集經  
文意也  
或支度云  
注進大佛頂御修法一七箇日支度合  
蘇蜜名香少五色糸五丈色各兩壇數布  
五端方八尺八角壇一面壇六尺壇方一  
面壇三三三三三三三三三三三三三三  
脚禮盤二面半疊四枚燈臺十六本壇供  
米貳拾三石捌斗石四斗八天壇三石五斗  
天壇三御明油三斗五升  
三升五合神藥經所七升  
三升五合神藥經所七升  
承仕六人驅使八人見丁四人衣各淨淨衣  
白色乳木白緋長八尺香藥并相應物等  
紙有別  
右注進如件  
永保三年七月二十一日

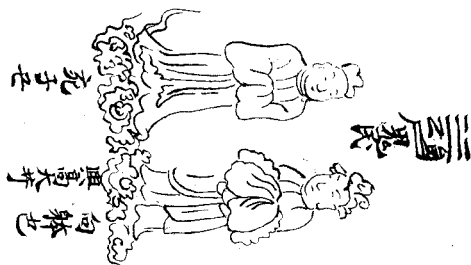
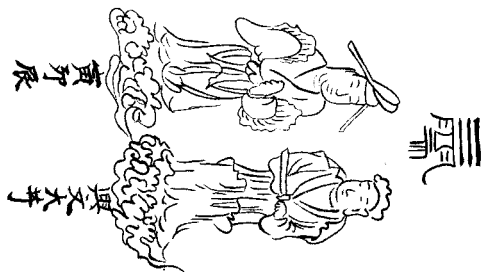
三三三



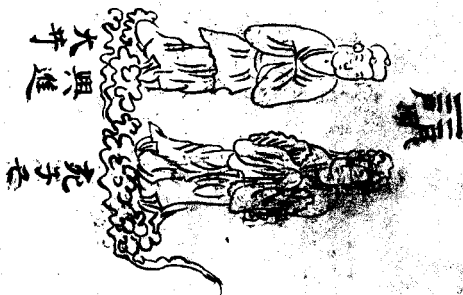
三三三



圖像 No.9, 興成太子 圖像 No.10, 興成太子



圖像 No. 11. 興高 大菩薩      圖像 No. 12. 興女 大菩薩



圖像 No. 13. 興見大菩薩 圖像 No. 14. 興進大菩薩



圖像 No. 15. 興私大菩薩 圖像 No. 16. 興引大菩薩

行事大法師源實

心尊注進大佛頂御修法相應物

支度、合  
圓鏡十六面之中、八枚在軸八枚如常  
寸金輪八枚、八香爐五枚、如鉢一口、  
二寸小鉢三口、有口徑五寸花瓶五口、  
蓮花臺一座、高五寸已上六種、金銅蓮花座  
十六枚、高五寸彩色天蓋橋一具、鳥居二本  
已上白蓋一枚、廣一丈、幡八流、大四流長六尺  
已上白色絹數曼茶羅一續、方八尺  
右注進如件

永保三歲七月二十一日

中宮御前、源尊關梨出此支度、

門人人朝之、或人語云、雖出此支度、公  
家不被用之、其後遍智院僧都可被勤修  
有仰云、時源尊彼僧都御許參、御支度可  
有御用意之由申請處、更無信受云、  
大佛頂經七云、栴檀、沈水、蘇合、薰陸、鬱金、  
白膠、青木、零陵、甘松、及鷄舌香、文  
私云、出支度五香依此文歟、又名香、大  
旨、此內也

白寶口抄 金輪法上

本書事

金輪王佛頂略念誦法一卷  
不空譯 貞元新入目錄 圓覺海仁  
運珍云、金輪王佛頂要念誦法一卷  
奇特最勝金輪佛頂儀軌法要一卷  
運仁行錄共頂字次有念誦字、又仁運  
二錄軌次有法要字、行錄無之  
金輪佛頂抄一卷  
運

遍照佛頂等真言一卷

仁

金剛頂瑜伽佛頂心真言一卷

運

熾盛佛頂威德光明真言儀軌一卷

仁

仁運 寂錄云、大聖妙吉祥菩薩說除  
災救令○輪一卷、又名熾盛光佛頂、戒  
賢三藏十二紙、說除星陵、遍命宿災、經  
或古本外題云、熾盛光佛頂儀軌內題  
云、大聖妙吉祥菩薩除災救令法、輪出  
文殊大集會經息災除難品、亦云熾盛  
光佛頂

光佛頂

一字佛頂輪王經五卷

善

菩提流志譯 亦名五佛頂經、或云四  
卷、圓覺梵釋云、一字佛頂輪王經四卷、  
又名佛頂經、或亦五卷 貞元

善

菩提場所說一字頂輪王經五卷

善

不空譯 新入目錄 海仁珍圓覺

奇

特佛頂經三卷  
不空譯 內云、一字奇特佛頂經、威德  
品 貞元新目錄 圓覺海仁珍云一  
字奇特佛頂經三卷、不空  
一字頂輪王瑜伽經一卷  
不空譯 內云、瑜伽經、迎說沙羅烏瑟  
尼沙訖羅、真言安怛那、儀則一字頂輪  
王瑜伽經、不空譯 貞元新入目錄  
一字頂輪王瑜伽經一卷、不空譯  
海仁珍圓覺  
私云、上三卷同經、寂錄又出之、闕今題  
但經字下有儀軌字 譯云、不空  
大陀羅尼末法中、一字心呪經一卷  
北天竺寶思惟譯 貞元  
大陀羅尼經一卷  
澄

金剛頂經一字頂輪王瑜伽一切時處念

誦成佛儀軌一卷

不空譯 貞元新入目錄 仁珍圓覺

參云、金剛頂經一字頂輪念誦儀軌一

卷、不空

一字佛頂輪王念誦儀軌一卷

不空譯 貞元新入目錄 圓覺澄海

行仁運珍並無佛字、澄云、一字頂輪王

瑜伽法云、行運錄注云、○切利天宮

所說經譯

一字頂輪王要法別行一卷

仁 仁云、一字頂輪佛頂要法別行一

卷

仁

仁

仁

仁

仁

仁

仁

仁

仁

仁

仁

仁

仁

仁

仁

仁

仁

仁

仁

卷

一字頂輪王印一卷

澄

梵字一字頂輪王儀軌一卷

海

梵漢兩字一字呪王陀羅尼一卷

澄 祕錄云金輪佛頂法三連錄云金

輪王佛頂略念誦法通一切佛頂尊同

用一卷祕錄云頂輪王

儀一卷沙門吉詳

受灌頂可修此法事

一字頂輪王念誦儀軌云修行者先常入

此頂輪王大曼荼羅得阿闍梨灌頂印可

方受此法○然後於清淨處安本尊像向

西稽首禮文寄特佛頂云夫欲修習一字

法者先從面受灌頂蒙印可方得諸學微

妙軌則文時處軌云於此教法中一字不

應向未灌頂者說本尊諸法教法除本受

法而設雖同行入亦不得為說文

名字事

口云一字金輪佛頂者以種子三形尊形

為名也一字者字也此一字中攝無量

祕法速疾成就功德超餘法摧破惡業力

用勝諸佛故得唯佛一體勝絕不共一字

名也金輪者世間四輪王中以金輪王為

最勝故此尊亦然也於諸佛中最勝也佛

頂者如來無見頂相之功德諸佛衆德之

頂也大疏第十云一切佛頂者謂十佛利

士微塵佛之頂頂是尊勝義最在身上的

即是十八不共法之別名文此諸佛頂總名也

問金輪佛頂者八佛頂中金輪佛頂歟如

何 答八佛頂中最勝佛頂大妙甘露經

一云一字最勝佛頂輪王是八佛頂隨

一也今佛頂八佛頂總德名也不空譯大

佛頂陀羅尼啓請云一字金輪八佛頂文

此文○佛頂外舉金輪佛頂也可知

問陀羅尼集經十二云第三坐主名釋迦

金輪佛頂文亦五佛頂王經等第一同

之今金輪佛頂同異如何 答釋迦金輪

螺髮形身金色定印上置輪以須彌山為

座是天主主應身金輪也今本尊大日金

輪著五佛寶冠身白色住智拳印以七師

子為座法身金輪也

問先大佛頂與今金輪勝劣如何 答大

旨一同也大妙甘露經一云大佛頂名最

勝名輪佛頂文此大佛頂金輪佛頂同體

異名歟但大佛頂胎藏大日住金輪三摩

地顯異字理性色以身德為內證智拳印

誦大陀羅尼廣行八大佛頂八大菩薩八

大明王等也一字金輪佛頂金界大日住

金輪三摩地顯字智德表以心理為內

證攝一德行萬德含藏義智拳印用一字

呪此二尊兩部大日入金輪三摩地智德

表事法同世間七寶等化儀以智顯事智

自本方取事故法源與故五百句內一尊

切明世間出世間不流通不成就云一尊

無上故機見奇特身諸聖衆皆顯勝絕不

共唯佛一體故云行者依此法修行即

身成佛無疑大師既修此三昧者現證佛

菩提時處軌文即身成佛最前引用之誠

有故也

西院云問金界大日別稱金輪付其別稱

義門異哉 答迦那金輪外相義門異也

其外相異者大日五智體流出智德心顯

三十七智金輪佛界主智德顯事法輪寶

等化儀智顯事智從本事方取故智德表

事法也凡修此法時五百句內修行何

祕法不可有其發無上法王放覆諸法德

也是則智顯事表世間相同也修兩部大

法總無如此等事彼外用不同大概如此

云

問大佛頂者攝十方○利士微塵數諸佛

頂為八種佛頂此八佛頂猶攝一尊名攝

一切佛頂此八佛頂諸佛頂總名也今金

輪佛頂亦有總名義乎 答儀軌云不空譯

上佛一切佛頂王宰一字頂輪王又別

儀軌云一切佛頂輪王之輪王又此等文

攝金輪一尊條無異論其上大妙甘露經

云大佛頂名最勝金輪佛頂文既以大佛

頂名金輪佛頂歟可知

問大佛頂金輪佛頂同體何作各別次第

修行之乎 答大佛頂名最勝金輪佛頂

文是大佛頂與金輪佛頂攝一切佛頂位

等同之故歟此二尊兩部大日入金輪三

摩地也謂胎藏大日住攝一切佛頂輪王

三摩地以壽字為種子尊形紫磨金色住

法界定印。居中臺八葉八大佛頂乃至八大菩薩八大明王等圍繞。是胎藏以能生成。能成爲本誓故。雖攝諸佛頂猶有諸尊圍繞。是生善義也。金輪佛頂金界攝一切佛頂輪王也。三十八帖云。攝一切佛頂輪王金輪佛頂也。云。金界大日住一字金輪三摩地著五智寶冠白色住智拳印。此金輪獨一法身故無諸尊圍繞。航云。模見奇特身證聖衆皆殊顯勝絕不共唯佛一體故。文是金界以能摧滅爲本誓故。滅諸佛頂只是金輪一章也。是滅罪義也。故此二章滅罪生善故作各別次第先德深意在之歟。

## 種子事

亦亦是御筆樣云。

口云。此字難字也。但此二字何無差別何不苦歟。或云。字誤也。云。此字不。又。四字合成也。先。二字反之。也。字。二字反之。也。故可讀。ル。ント。而。ハ。フ。ヘ。ホ。故讀。ホ。リ。ル。故。ル。口。讀也。故。ホ。リ。讀之也。先。字體。有。不可得也。是有二十五有也。金輪此中一切衆生本有常住淨菩提心。雖輪迴六趣更無變易。不壞不變故。六趣衆生今遇此教開發。如實知自心悟也。字離塵染不可得字。故成諸有塵染清淨無垢義。字損滅不可得字。是亦三界六趣諸有皆悉損滅也。亦摧破義也。但不可得故。諸有皆成眞善妙有。字。字。金剛頂經

云。邊際不可得。文是大空智圓滿義也。大妙甘露經云。修三摩地。當於自心觀部。畔。三。而成佛頂輪王。形量盡虛空。法界無有邊際。迥然清淨。得成佛身。無有生死。不轉肉身。身得無漏果。此文四字功能也。邊際。字。也。清淨。無漏。故。字。也。生死。不轉。肉身。字。義。得無漏果。字。損滅。生死。得果。故。也。能。可。思。之。

又云。字。字。金輪自性本覺功德也。是自性常住眞善妙有之有也。若約衆生迷墮妄染之有也。雖然法性不二。本者之前生佛不二法爾平等也。迷悟一體因果俱時也。故二十五有等悉六大法身妙德也。字。字。塵垢體。此法性微細體也。若約衆生塵沙煩惱。此煩惱無明黑闇義。字。火。大字。是日輪同體義。日輪明時黑闇去是摧破義。凡明闇非他故。法爾平等具德也。仍有二字內證外用。生身法身理智種子智德斷德兩部功德也。從此二字出生大智大悲化用。故二字合成也。字。字。損滅。故。字。字。加。字。破。三界有故。應身也。破有法。字。應身。應。故。也。亦。字。加。字。摧破。塵垢。字。字。南方。智。火。法。身。內。證。也。也。故。當。隱。諸。相。好。變。身。爲。此。呢。說。是。變。化。身。形。相。歸。常住不壞金剛舍利故。報身也。又摧破塵垢斷惡義。斷惡智用。故報身義也。字。字。空。點。空。者。生。佛。不。二。隨。緣。不。變。本。覺。本。有。一。如。常。性。五。佛。所。證。大。空。智。處。也。是。法。身。也。故。此。一。字。三。身。即。一。不。暫。離。時。義。也。故。智。

論云。若開髮即知一切法不可破相。喻引即羅字。一切諸法離塵染義。唯即阿字門。此阿有內外音阿者是外聲。郎者即內聲也。喻伽中一字義云。一切諸法本無壞無失無染。此二義即勃嚕訶三字之義。三體本自一也。阿。即。法。身。離。是。報。身。婆。應。身。表。三。身。一。體。故。三。字。合。爲。一。字。也。文。又。大。師。即。身。義。引。經。云。能。證。里。盧。遮。那。三。身。果。位。文。此。義。也。文。泉。房。云。師。口。云。身。納。三。身。之。相。好。也。隱。化。身。三。十二。相。八。十。種。好。之。色。身。爲。此。呢。說。也。受。用。身。隱。八。萬。四。千。相。好。爲。此。呢。說。自。受。用。身。理。智。法。身。隱。無。量。無。邊。之。相。海。爲。此。呢。說。也。結。勝。身。三。昧。耶。印。誦。毒。字。印。自。身。五。處。圓。滿。五。智。即。自。身。同。虛。空。法。界。身。五。智。即。三。身。也。故。金。輪。法。納。三。身。之。舍。利。輪。法。納。三。身。之。舍。利。法。智。也。云。同。口。云。此。一。字。是。身。口。意。三。密。合。字。也。亦。是。密。三。密。三。字。合。成。字。也。此。三。字。即。三。密。三。密。即。三。身。也。故。此。一。字。者。含。彼。三。密。三。身。功。德。字。也。云。

口云。付。釋。迦。金。輪。此。字。智。舍。利。一。體。也。末。法。經。云。我。滅。度。之。後。分。布。舍。利。已。當。隱。諸。相。好。變。身。爲。此。呢。說。文。此。呢。者。字。也。或。云。付。此。字。有。二。種。字。是。也。大。日。金。輪。種子。字。體。字。故。也。云。釋。迦。金。輪。種子。字。體。字。故。也。云。口云。此。說。頗。雖。有。其。謂。未。見。說。處。若。胸。臆。說。歟。玄。秘。鈔。云。或。傳。云。字。字。妙。鈔。云。種子。或。或。文。傳。受。集。第。三。云。云。云。覺。禪。鈔。



云云大日法身也亦釋迦應身也云

### 三形事

口云三昧耶十二幅金輪也時處軌云復從日輪內涌出大法輪金剛之所成幅輞皆鋒銳其色如檀金遍流大威光過聚塵數日依住日輪面金剛表極堅固顯福智滿利爲無敵論斷壞諸妄執光表一切智除破諸過取以是現輪形量同虛空故虛空諸如來盡入於輪內文此輪不說幅數奇特佛頂經一云結印安於頂即想十二幅金輪文今三形依此經說狀祕鈔云字變爲十二幅云常喜院五十卷抄云左府僧都抄云茲祕說云十二幅輪口傳也今十二幅輪師師相承之祕傳也謂十二幅表流轉十二因緣此十二因緣依最初無明逆逆法性依此逆逆輪迴六趣有十二因緣橫破彼無明煩惱等十二因緣當體即常住不壞十二幅金輪體也又云厚變紙大中台有勃噶字則爲金輪王輪變成大日如來一字頂輪王文此次大不見何輪時處軌不說何輪之故依此軌也又云厚變紙字則爲八幅輪云四卷抄成就院七卷鈔常喜院心抄西院等皆共八幅輪也是即八幅輪表八誡八議轉成八葉是八葉九章義

問八幅輪說處如何答瑜祇經佛眼品云前葉書一切佛頂輪王手持八幅金剛寶輪文尊勝軌上云最勝佛頂○右手持蓮花上安八幅寶輪光焰圍繞文依此等

文敷石文抄云三摩耶形千幅輪云覺禪鈔云或千幅輪云

私云千幅輪七寶中輪寶是千幅輪也十住心論二云轉輪聖王得千幅文此輪爲三形狀千幅輪事見菩薩處胎經等云

問流流次第皆付彼輪說處作之歟如何答不爾彼流流次第等見之皆依時處軌之意作之而彼軌輪不說何輪故師義各別也只可依師傳歟不可偏執也

道場觀事

金輪王佛頂要略念誦法釋不空云想受茶羅中有香水大海於海中心有妙高山七重金山周匝圍繞於妙高頂上有八葉白色蓮花於一葉上右旋布列輪王七寶所謂金輪象馬珠女兵及主藏當前第八葉想安佛眼像十佛頂眷屬前後圍繞文

時處軌云即觀此智輪變成金輪王遍照如來身形服如素月以一切相好用莊嚴法身滅金剛寶冠輪變爲首飾來寶莊嚴具種種技飾身○智學大印處於師師座日輪白蓮臺文

口云今道場觀依此兩軌意歟壇上有香水海等要略念誦法意也

問何必觀妙香山乎答祕藏記云下方虛空謂心虛空則劍也是虛空有法身其法身因不可得是欠是法身慈悲具足能度脫衆生界是慈悲斯水即觀也金輪佛性是佛性能遊生死與涅槃如龜能遊水

與陸是則鋒羅也須彌山是法身七金山者七覺支也是法身一切法文之根源故曰須彌山爲座文意可知

問妙高山上不觀樓閣其意如何答若觀樓閣山上有五峰八柱樓閣○廣無中邊以諸妙寶莊嚴按衡無量光明照曜其

中有大曼荼羅云但如次第不觀樓閣是以法界爲道場故也即壇上自心故眞衆生淨菩提心體心虛空菩提無二故於

行者自心觀須彌山頂猶甚深也須彌山法身故自心本有法身上顯淨菩提心體

爲本尊以我身爲道場故別不觀樓閣只以五大所成爲五智五峯以八誡爲八柱

以發菩提心爲師子座以我性心蓮爲座以七誡爲七寶以兩眼爲佛眼以九識心

王爲本尊也故大妙甘露經云又修三摩地當於自心觀部噶呼三而成佛頂輪王

形量盡虛空法界無有邊際通然清淨得成佛身無有生界不轉肉身得無漏果文

私云石文抄云行法間用心先觀我心月輪內有字字字變成輪輪變成本尊

金輪佛頂七寶圍繞是我本有金輪顯現給也亦本尊召請時施主召請僧壇

上彼施主心月輪內有字成三昧耶身三昧耶身變成本尊一字頂輪王七寶

圍繞又所向本尊心月輪有字字字變成三形形變一字金輪如是觀以本尊

印先印施主次印本尊次印己身三種



有命終一時滅云：七寶次第經軌不同也。故流流次第不同。歟。今次第七寶注文同阿含經說也。七寶事大佛頂法委細也。故略之。

### 前葉安佛眼事

口云：金界大日所變金輪前葉佛眼胎藏大日所變佛眼也。其故佛眼身色如水精。戴五佛冠住法定印。兩目微笑。住白蓮花月輪中云：是玄秘抄金輪曼荼羅圖位佛眼注文。見法界定印胎藏大日入金輪三摩地住胎藏日輪理也。是為顯定惠不離理智不二之義。互為主伴。理智自為表裏不二相應也。故佛眼曼荼羅前安金輪。

金輪曼荼羅必安佛眼尊也云：或云佛眼曼荼羅前葉安佛輪釋迦金輪也。本尊佛眼大日所變也。金輪曼荼羅前葉安佛眼是金剛薩埵所變佛眼也。本尊金輪大日所變也云：師傳實有與。但證據可尋云。

問：瑜祇經佛眼品云：作一切佛母身。從一切支分出生。十疑誤沙俱抵佛。一一佛皆作禮敬。本所出生於利那間。一時化作一字頂輪王。文是佛眼能生。金輪所生。故安前葉。佛眼曼荼羅尤有其謂歟。今金輪曼荼羅以能生佛眼為伴。以所生金輪為主。條如何。答：佛眼前圖金輪釋迦金輪歟。謂為諸天主。居七曜中。佛天災故。金剛頂經云：口佛眼毛孔生金輪。自金輪毛孔生七曜文。是次第出生義。可知。今本尊金輪

金界大日所變金輪也。故非佛眼所生金輪也。故為主也。

問：佛眼前金輪釋迦金輪義如何。答：大日金輪住智拳印。今道場觀本尊形相是也。釋迦金輪身金色螺髻形也。著赤色衣。

住法界定印。印上置輪也。故佛眼品云中：畫我身當於我前一蓮花葉上。畫一切佛頂輪王。手持八幅金剛輪寶文。是非釋迦金輪乎。

問：何故佛眼出生釋迦金輪乎。答：疏五云：佛眼亦是釋迦佛母。此方譯為能寂母也。又別記云：遍知眼亦名能寂母。即釋迦母也。又名佛眼佛母。文此意歟。但胎藏一曼荼羅從中臺出生三重曼荼羅也。佛眼居第二重。遍知院釋迦佛眼所變也。無異論。又眼大日所變釋迦佛眼所變也。無異論。又八佛頂說釋迦院故釋迦所變金輪。又以勿論也。

問：佛眼前安釋迦金輪其義爾也。今大日金輪前安佛眼其所表如何。答：佛眼理為本尊時。以金輪智安業為伴。成伴故應身釋迦金輪也。亦金輪智為本尊時。以佛眼理安業為伴。成主故大日金輪也。所證佛眼金輪互坐臺葉。大智大悲二德互為主伴。表定惠不離理智不二也。密教大都攝大智大悲二法。此二德金輪佛眼兩尊也。故諸尊法故念必加誦佛眼金輪呪。故諸尊令同此悲智二德義也。佛眼母德是大悲故。有長養德。金輪父義是大智故。

有摧破威故。佛說一字頂輪王經時。諸外道等。捧器械來。佛所為害。佛爾時佛說：字。即彼器械。一摧破。佛說經已。說佛眼。實言。即器械。如本成已。時外道言：我等持器械為害。佛也。今佛言：其無用也。奉佛取之。為真言。道具。今鈴杵等是也。又五佛頂經云：歸命勃琳。昨如來說是呪時。彌勒等菩薩亦無有能聞瞻觀者。其觀世音金剛密迹主。以佛威神。達然之間。問諸密迹主。○今復說佛大明母呪。○觀世音密迹主。菩薩以呪威力。即醒。○諸威德。一切天衆各獲本心。文故金輪能破體。佛眼能生體也。

# 白寶口抄 金輪法中

印真書事

智拳印 名之覺勝印故云現

時處軌云中小名握指頭指壯大背金剛

拳乃成右探左頭指一節當面心是名智

拳印當誦此密言 勃嚙唵 三字聲成一

三密機相應 成身同本尊

能遍入佛智 得一切遍行

獲智壽力年 故名覺勝印

現證大菩提 設現造無量

若修此瑜伽 必能超惡趣

極重諸罪障 爲顯此最上

甚深祕密義 故住此大印

奉能堅執持 諸佛智法海

堅固不散失 能成一切印

故號金剛拳 有執左頭指

十方利土中 唯有一佛乘

如來之頂法 等持諸佛體

是故名智拳文

口云今次第印解文是口傳也玄秘抄云

義範範後三寶院權僧正大教院覺意僧

都等皆以此印爲此法祕事一卷軌有證

云此印習即身成佛祕印故也軌云現證

大菩提故名覺勝印文速證大覺位意分

明也大師即身成佛義最切引一字頂輪

深意在之今次第真言注云無上攝縛之

義即現世得成無上覺意願印祕訣右手

五指無漏五大即佛果五智也左手五指

有漏五大即行者身也立風指攝之風者

行者命息也以此命息無漏法性大空

得常住壽命義也非即身成佛乎又云

左五指配五道時風指人道也故行者即

體石五指配五智如來故藏五智寶冠不轉

肉身速證大覺位也自身同本尊能遍入

佛智成佛猶不難○現證○菩提故名覺

勝印文此意也深頂大事也可祕可祕

是無上攝縛義此意也

心地觀經云是名引導無上菩提第一智

印亦名能滅無明黑闇大光明印結此印

加持身故十方諸佛摩那如來授大菩提

最勝決定記是毘盧遮那如來頂受第一

大妙智印爾時行者結此印持念真言十

方世界無三惡八難苦果同受第一清淨

法樂我今首上有大寶冠其天冠中五佛

如來結跏趺坐我是○盧遮那如來間滿

具足三十二相八十種好於大光明照十

方界利益安樂一切衆生如是觀察名人

二

三

四

五

六

七

八

九

十

十一

十二

觀唵字色及我身十方世界悉皆白色。若  
瑜伽行者修此觀門之時。自身及與一切  
衆生所有無明煩惱惡業。自然消滅。行著  
及一切衆生速得成佛。故文此兩文。智學  
印功能也。即金輪大日一體。故結智學印  
入金輪最勝三摩地。作此觀化他行者也。  
自證極滿後必趣化他故。是等行者要心  
也。諸尊法可推知之也。

可<sub>レ</sub>其<sub>レ</sub>有<sub>レ</sub>子<sub>レ</sub>命<sub>レ</sub>歸<sub>レ</sub>來<sub>レ</sub>子<sub>レ</sub>  
口云時處軌無歸命句。經并餘軌有歸命  
句。梵本一字頂輪王軌云。可<sub>レ</sub>其<sub>レ</sub>有<sub>レ</sub>子<sub>レ</sub>

其言如擊太鼓。古譯云。步林者訛略不正也。是無上攝縛義也。女但用漢字有異說。勃訶訶時處執拿勝破。步訶訶一字頂輪。部訶訶地獄執智勝破。步訶訶王經一。輪訶訶五佛。勃訶訶輕。

眞言功

一字奇特佛頂經曼荼羅雜軌品第三云  
當知此如來佛頂不思議如是三十二大  
人相中佛頂爲最勝是一切真言中此  
佛頂眞言最勝如是世尊世天中佛爲無  
上大師如是佛頂輪王一切眞言中王文  
一字金輪王經一云字頂輪王呪能斷他  
呪一切障礙毗那夜迦盡皆怖走作斯壇  
處方圓五百踰繕那一切他呪悉不成就  
諸魔鬼神怖不中住大陀羅尼末法中一  
字心呪經云世尊眉間光內有聲曰我是  
大轉輪王一字之呪無量天仙恭敬圍繞

爾時光中復出聲曰。告釋迦如來。我是一切如來智惠輪王一字心呪。於一切過現未來一切諸佛。我是最上祕密心呪。即說呪曰。

所出生處所有諸佛菩薩金剛諸天呪法悉攝此中攝入一切法此一字頂輪王無量殊勝功德威力如來滅度後分布舍利已當隱跡相好變身爲此呪佛有一身實天人化身若能供養者福德無有異一切諸天及人生希有受持及供養所德功使如佛身無異當來濁惡世中受持德安樂能令持者超過三界一切魔界若有人及以非人等受持書寫供養思求者當與擁衛令無交患不墮惡趣不爲餓鬼樂又不貪墮橫死毒火一切疾病皆得除息若誦一遍得護己身若誦二遍朋友財物皆蒙擁護而說偈云

其力難思議

當來惡世時	佛法將欲滅
能於所時中	護持我末法
能除世間惡	一切諸妖邪
退諸惡星宿	毒害諸鬼神
若聞此說法	皆悉自摧伏
三部聖者法	具含一字中
一切諸如來	菩薩及金剛
諸天呪祕藏	皆闍一字攝
若見聞之者	如佛現在世
又云斯轉輪王如來	頂髻之法能令他法

速即毀壞。能令自法速得成就。一切菩薩  
所共讚嘆。念誦之於四方五百驛內。一切  
惡鬼皆自馳散。一切呪師行其本法。聞此  
呪皆悉摧壞。一切諸天所有神通皆悉退

如前所說誦者聽者若能至心隨誦一經於耳塵沙衆罪若輕若重悉皆消滅無願不果速當成佛此陀羅尼悉能破壞一切諸法更無有上文五佛俱經云此一字眞言一切眞言中爲王○若修行滅一切業障亦除滅一切惡趣之業文

一字頂輪王經一云稱連牟尼佛世尊緣說是眞言，譬如瞻部洲大風吹一切樹林叢林葉草葉及花葉悉皆振動，如是緣說輪王一字眞言，三千大千世界六種振動，須彌盧山亦皆大動，大海搖漾及恒河沙數世界悉皆振動，山谷及海猶如草葉

時處軌云。次結頂輪王勝身三昧耶  
印心額喉頂 其印如前作  
堅金剛合掌 即並堅中指

由如青蓮葉 屈頭指各安

中指背上節 常知印相義

大指爲結跏 中頭像佛身

名小成光焰 二掌日月輪

腕表師子座 是故名如來

勝身三摩耶 當誦此密語

佛三字密言 此毘盧舍那

適以印密言 共一字無異

速獲菩提心 印心成鏡智

速獲菩提心 金剛莊嚴身

密語印口時 福壽莊嚴身

即能轉法輪 成妙觀察智

誦密言印頂 成所作智

證佛變化身 能伏難調者

由此印密言 加持自身成

法界體性智 此處遮那佛

虛空法界身

金剛頂要略云誦儀軌云

三昧耶印加持心額喉頂其印以二

押左外相又並立二忍願如蓮花葉以二

進力各捻忍願背上節如佛身禪智如佛

二足結跏相成方檀惠成金剛師子座二

羽掌如常寂光大菩提心圓滿自性光明

月輪誦如上真言印心額喉頂四佛即入

已體成就四智同一密合成金剛體性遍

照法性自受用智身眞實教王瑜伽經法

佛作如是說但用大印不待結界護身支

分生印不爲宿業罪障阻壞悉地設造五

無間罪但持大印即現生尅證菩提成佛

向不爲難何況世間果報現生不遂三世

如來言教耶爲妄說蓋惡世間有情文

私云常喜院云此書世云印釋是智證

大師記云

口云此印名勝身三昧耶故成佛體故云

勝身即是佛本誓也本誓三昧耶也故云

三昧耶也

問此云云眞言道場觀七處加持明也

無量壽軌云眞言加持威力故即變此三

千世身成極樂淨土文胎藏青龍軌云名

地神持次第眞言文十一面軌云名淨地

眞言文是皆同義歟又不空三藏菩提心

戒并大師三昧耶戒序名三歸眞言今何

用金輪眞言乎 答此眞言通用三歸三

身變淨土之眞言也金剛薩埵軌云名毗

盧遮那眞言文時處軌云此處盧遮那佛

三字密言共一字無異文印既顯佛體三

字亦遮那言也或變淨土故變凡夫所見

穢土草庵成密嚴花藏寶臺又像佛身故

轉凡者變化所執凡身顯遮那法性佛體

也從凡入佛位道理偏在金輪法大妙甘

露經說得成佛身無有生死不轉肉身得

無漏果軌云由此印密言加持自身成法

界體性智是盧遮那佛虛空法界身是非

大日金輪眞言乎

問一字與三字勝劣如何 答軌云三字

密言共一字無異可知 答軌云但

作智拳印誦本尊密言七遍或三遍即住

行住坐隨意作念誦或唯結勝身大三昧

耶印便念誦亦得支分皆不闕何故此二

印獨用成用法以續結智拳能攝諸如來

入住處隨順勝身三昧耶通結此印時一

切印已成十方三世佛所說之密印盡在

此印中又一切如來同一密密合成此一

法身更無有二相諸佛皆歡喜菩薩敬

奉天龍人非人攝伏而歸命由如是義故

不待諸印一成一切印文是智拳印攝

諸佛勝身印攝諸印故用二印二明也但

云○字體不加應身義下加應身義

以法身義也即以唯佛一體字顯三身

義以三身字顯三身義成一法身故云

三字密言共一字無異也金剛頂要略念

誦法云次結是盧遮那如來智印左羽金

剛拳堅力度以右羽金剛拳握力度一節

即成是盧遮那如來智拳印眞言曰唵

欠山續結此印誦眞言住三摩地故修行

者便同是盧遮那佛具無量相好處寂光

海即如來圓光赫炎如日是也即自所居

處成金剛寶峯樓閣四方如來阿闍寶生

阿彌陀不空成就圓滿修行者四面而坐

此智拳印三字言也若尚以勝用一印一

明歟云



若以孔雀明王爲本尊時結孔雀明王印以金輪呪可加上也。同用法以金輪爲本尊故大日劍印以孔雀王呪上置之也。

問加用孔雀明王眞言時所求必成就由緒如何。答孔雀明王總部母理也。金輪總部主智也。此理智二法和合相應故一切所求必成就也。孔雀明王軌云。所有交難災早疾疫鬼魅厭禱惡毒空障種種苦難必得除滅。所有祈願無有遂心。文故祈請所求一切事時加用孔雀眞言殊爲令決定悉地成就也。凡蓮花三昧自性清淨之理以三毒五欲生長法身體三毒同時斷此位也。而孔雀鳥噉食一切毒蟲長養自身也是表煩惱即菩提故金界大日現此身。又佛母大孔雀明王經云。佛告阿難陀。往昔金曜孔雀王者豈異人乎。即我身是我我身者釋迦尊也。大日釋迦共孔雀明王同體故。金輪眞言加用之尤有其謂歟。大陀羅尼末法中一字心呪經云。若有入食諸毒藥者。孔雀尾誦呪十萬遍。楚毒及諸惡病皆得除愈。文。

口云勝覺僧正云。此眞言以獨脫五古行時法必成就。不爾者法不成也。又云瘡五古是深理也。煩惱不善凡夫無眞如福分故痛難爾五智具足故云瘡五古也。云。

問一字頂輪王經二云依法持密言加持必成就。若不得成就。復用心隨心相共而和誦。若如是不成。

用佛眼眞言 相和而誦之 世尊佛眼明 一切佛所說 先佛亦稱讚 我今而宣說 求成佛頂者 應當而誦持 與彼相和誦 設作五無間 不久亦得成文

此文意可謂佛眼眞言何加用孔雀明王眞言不用佛眼眞言。答佛眼眞言諸尊法本尊加持次必用之。故今不載次第但此法本尊加持若三度四度用之每度可用佛眼眞言也。

問佛眼加持印言可用瑜祇經所說印言乎。答爾也。時處軌雖說本部母佛眼印言只如常五眼印言用之也。

問時處軌云又用本部中無能勝明王密言印自身五處如前法八指右押左掌內交合大指開微屈少離頭指側誦此心密言。意短呼由作此加持於一切時處處魔冤不能侵虎狼諸毒惡心人非人盡無能淺屈如來初成佛於菩提樹下以此印密言摧壞天魔軍文又七寶處云無能勝爲爾殊當部無能勝尤可用之何故略之乎。答厚雙紙雖出之依師傳略之歟。玄祐抄等無之云。

辨事佛頂印言事 一字頂輪王念誦誦軌云。○二手內相又緊二中指屈上節如劍形諸供養物及浴水洗淨土等並用此眞言加持持除垢垢結界皆用此眞言。文。言如。

要略念誦法云。次結辨事佛頂印辟除結界。即前佛部心印直豎二光頭相柱屈上節如劍文。言如。奇特佛頂法云。次結辨事印。止觀二羽內又崇禪智雙結入掌中。然申忍願頭相柱頂上三旋成結護文。言如。

問辨事佛頂印言經軌說共結果印明也。何加用本尊加持乎。答辨事佛頂者於金輪佛頂殊不離親近成辨一切事業尊也。故加用本尊加持也。一字頂輪王經三云。此一切辨事眞言於佛頂教中此是一切佛頂心於一切事業處當用修行者以此應護身文此意歟。御加持呪用辨事佛頂亦此義也。又云。除歸命句。以下六字爲六字佛頂菩提場經二云。六字佛頂眞言云。即此眞言也。

散念誦事 問散念誦舉不動明王其意如何。答不動明王結界明王故也。諸尊法散念誦處出明王是用結界明王也。可知。

問三部鈔等結界無能勝又辨事佛頂也。當部此兩尊殊可爲結界何故用不動乎。答不動尊大日如來教令輪又釋迦所變故於當部尤可用結界也。金輪軌以不動讚用普供養言思之。

口云散念誦終呪有異說三寶院權僧正並安養房傳云。金界。言如。也。遍智院僧都傳云。言如。也。今次第五字明法勝傳也。厚草子并玄秘鈔此眞言也。

問次第裏付云散念誦之終滿胎藏大日



眞言由緒如何。答。一字金輪眞言替滿之相承師說也。又一說此胎藏五字眞言金輪眞言出之云。有彼所說乎如何。答。善提場一字頂輪王經第三密印品出之歸命句今抄少注有異大旨同也。但分明不云金輪之眞言。既佛頂之部類所舉用眞言也。又粗見金輪眞言歟。故今抄指彼說歟。猶可尋之。又云廣澤流一字金不打破之。其故三力。偶後佛眼眞言。振鈴以後至于後鈴誦本尊一字呪也。金打事爲令知伴僧也。本唱一字呪故無分別也。問金輪法時佛眼尊安前葉。是伴僧儀也。若爾今散念誦時本尊三種眞言大可誦佛眼呪何最初用之云。答。諸尊法如是用之。故今准彼歟。凡金輪法用佛眼尊故。一字頂輪王經一云。善男子有此眞言轉輪王佛頂者。有人誦持處五百由旬。內一切明世間出世間不流通不成就。汝等所說清淨眞言所加持眞言不成就。○亦不現威德。若終憶念此眞言。一切世間出世間眞言悉皆成就。○五百由旬內。他方天龍藥叉菩薩住眞言身者。於處不堪忍。住不堪忍。住不遊行。不與惡地。何以故。由住此佛頂輪王三摩地。無能欺誑除佛眼眞言三昧耶。用此眞言七遍誦之。則其身又寂靜。若不然而者。其威德無能堪忍。其修眞言者。必須初後誦此佛眼眞言十地。菩薩尚不能堪忍。此輪王威德。何況餘天等。小類有情文。

問。金輪威德勝故。諸聖衆皆滅佛眼長養勝故。悉復本心也。何故諸尊散念誦加誦此兩尊呪。令所修本尊。因絕還亦令生醒。都以似無所證如何。答。厚雙紙云。大師御傳云。若行餘尊法者。次必可誦一字眞言云。其由何者。案經意。字眞言經六云。誦修一切明經多時。若障重不成就者。最後念此一字眞言者。以前之不成就法。一時成就云。又同經云。若持諸呪無有神驗。爲誦此呪一百遍。即得成就云。時處軌云。持諸密語者。若不作此法。彼法不成。就不不得少微闕。少云。依此等義。諸尊散念誦後。用一字者。爲令成就所修悉地也。故金輪法云。悉地成就法也。次用佛眼呪者。所有念誦功德。依佛眼力。自今身至成佛。爲令不失壞。故蘇悉地經說一切眞言遍數。可付屬佛眼。其故者。此尊部母故攝受諸呪。乃至成佛時。不令散失。故速成就云。諸尊散念誦時。用金輪佛眼兩呪。出就此義尤深理也。又厚雙紙引文云。若有人誦持頂輪王等佛頂五百由旬內。修餘部密言者。謂本尊念誦。聖者不降。若亦不與惡地。以一字頂輪王威德。斷壞諸法。故文。譬世間金輪王臨幸時。餘小國王皆悉。若不降者。輪寶至切之云。此尊諸佛中。轉輪王威德殊勝。故餘尊被隱蔽云。但隱者是。不實德。失但失威勢。譬日光出現時。衆星如沒矣。然若誦佛眼眞言所隱尊威德。出現。

得法成就云。意譬鳩鳥入水時。若河若泉。其中所有大小有情。皆死畢。所以者何。此鳥毒勝於餘毒。故若以犀角入此水。振時。其有情皆悉。蘇生已畢。此用藥力強故。此世間譬也。何況如來呪力乎。行者能可得意云。已上。一字頂輪王經云。餘尊呪訖。念一字明時。餘尊皆悉隱沒者。實體不失。但失威勢。譬如日光出現時。衆星光沒。若念一字後。更念佛眼呪時。所隱沒之尊。威光即出現。如本成就文。是諸尊法力劣也。金輪機現奇特身。諸聖衆。沒顯勝。絕不共。唯佛一體。故餘尊呪後。誦一字呪。餘尊隱沒。次誦佛眼呪時。依此威德。餘尊呪悉同金輪威力。速疾成就。故所隱沒之尊。威光即出現。如本成就說也。問。散念誦時。一字呪。次尤可誦佛眼呪。何故。最前誦佛眼。終用一字。是達本說如何。答。善提場所說。一字頂輪王經一云。修眞言者。必須初後誦此佛眼眞言云。又云。若當誦一字佛頂輪王呪時。必當先誦此佛眼呪七遍。滿已乃安誦。是一字頂輪王呪時。數了已。又誦佛眼呪七遍。則得安穩。無諸憊惱云。依此說。先誦佛眼呪。次第諸尊呪了最後誦一字呪了。念珠置脇。機後結誦佛眼印明。是當流習也。可祕之。伴僧事。口云。此法小御修法。故伴僧不可過六口。或八口。尤宜歟。玄秘鈔卷數長承三年七。

月寃信勤行時伴僧十六口也。權僧正圓宗寺修法時八口也。

御加持呪事

口云。辨事佛頂真言出厚草子玄祕抄等。是相承傳也。權僧正圓宗寺御修法時用一字呪也。廣澤流亦一字呪也。

禮佛事

口云。○<sup>佛</sup>○<sup>頂</sup>○<sup>十</sup>卷抄云。梵號○<sup>一</sup>○<sup>牛</sup>○<sup>頂</sup>○<sup>十</sup>卷抄云。勸修寺并廣澤南無一字金輪轉輪王云。

讚事

口云。四智讚許也。

迎請印明事

口云。大鈎召印明也。

結界事

口云。不動尊印明也。如常。

字輪觀事

口云。五大也。

護摩事

口云。此法小御修法行之也。遍智院僧都付息災行之前理趣房付增益行之也。

問次第云。就息災修之。或調伏或增益云。

是息災調伏經軌文多也。增益義不分明。歟如何。答。餘法悉地不成時修此法。彼法成就是增益義也。或除病患與延壽是也。又七寶具足增益義多也。妙抄產生之所望。天變行之云。或日月蝕御祈常行之云。或水不居時行之也云。

息災事

口云。此法小御修法行之也。遍智院僧都付息災行之前理趣房付增益行之也。

一字頂輪王經云。若能持此者一切處無礙安息。一切天人供養恭敬。文大陀羅尼末法中一字心呪經云。當來濁世中受持得安樂。能令持者超過三界一切魔界。受持書寫供養思求者。當與擁衛令無災患。不墮惡趣。不為餓鬼藥叉。不貧賤橫死毒火一切疾病得除息文。

調伏事

同經云。護持我末法能除世間惡一切諸妖邪。退諸惡星宿毒害諸鬼神。若聞此呪法皆悉自摧伏。文奇特佛頂經二云。一字頂輪真言加呼字。能禁止他軍文。

增益事

同經三我會。憶念。越恒河沙數劫。等彼時有佛名寶智。如來應供。正遍知。世界名妙。惠我當彼之時。貧賤。以賣柴方便。令我聞寶智。如來彼成就。就無量功德。所於如來前發願。如來皆令成就。我彼時在家作是思惟。我今請寶智。如來設飲食。早起賣柴。營辦飲食。往詣世尊。請佛飲食。如來受請。我於佛世尊發願。廣大淨信。奉獻食體。佛已作是願言。一切衆生勿令貧賤。彼如來知我信心猛利。清淨。謂我言。善男子。持此一字佛頂輪王。廣為我說。本教福利。則彼世尊為我說。我歡喜奉行。我以大精進。勤勇。以此身得大明王。得無礙。三摩地。世尊由此三摩地成就。無量百千持明。於無上正等菩提。世尊我當知。此如來佛頂不思議。如是三十二大人相中。佛頂為最勝。如

是一切真言中。此佛頂真言為最勝。如是世尊天世中。佛為無上大師。如是佛頂輪王。一切真言中。王文。

私云。一字佛頂輪王者。尤以福利為本。故增益殊相應也。

滅罪事

五佛頂經云。此一字真言一切真言中。為王。○若修行滅一切業障。亦滅除一切惡趣之業文。

陀羅尼業經一云。若能至心隨誦一遍。經於耳。麻沙來罪。若輕若重。悉皆消滅。無願不果。遂當成佛。此陀羅尼。悉能破壞一切諸法。更無有上文。一字金輪軌云。若修此瑜伽。設現造無量極重諸罪。障。如能超惡趣。尅疾證菩提文。

天變等行之事

大陀羅尼末法中。一字心呪經云。退諸惡星。宿毒害諸鬼神文。

私云。一字金輪為諸星上首。一切諸星從金輪毛孔出生。故也。日蝕月蝕等依金輪行之。則此意也。

書讀帶身事

菩提場所說一字頂輪王經云。應以牛黃於樺皮上寫此陀羅尼。安頭臂中。若忘蜀苾芻尼繫在袈裟中。若槁婆塞迦。槁婆斯迦繫在手臂。或在頸下。若國王帶不被他敵之所侵擾。晝夜臥安。覺安。大威德賢聖諸天而常擁護。如是及餘有術。若能持此者。勤修真言者。一切處獲得無礙。一切人

見悉皆歡喜遠離一切苦得一切安樂一切人天供養恭敬一切天龍乾闥婆一切難調障毘那夜迦不敢逼近離惡趣怖文奇特佛頂經二云嬰孩為魅所持以椶皮上書一字頂輪真言繫頂下即愈文

住臨終正念事

陀羅尼集經云若人臨命終時念阿彌陀佛欲往生極樂心數數散亂佛法不現前誦此一字呪明王本誓故助行者心令住正念令生彼界文

私云明王本誓者明王金輪佛頂也時處軌云大金輪明王玄宗祕論云金輪作明王不動大忿怒文

厚雙紙云大師傳云若行餘尊法者次必可誦一字真言云其由何者案經意云誦終一切明經多時若障裏不成就者最

後念此一字真言者以前之不成就法皆一時成就云若亦人臨終時念彌陀佛欲生極樂淨土心數數散亂佛法不現前誦此一字呪明王本誓故助行者心令住

正念令生彼界文私云本誓者所引用經文意歟又末法中字心呪經云念誦之處於四方五百

驛內一切惡思皆自聽散文臨終時魔障難除旁相應也或云家開大房以金輪智拳印云呪為臨終祕印明最後左

手中風故賴照理應房左手令差出以我右拳握賴照左風指誦壽命終是甚

深殊妙事也云

部主段

以佛眼為部主

厚雙紙云孔雀明王或佛眼云玄祕鈔云佛眼普通說孔雀明王小野祕事云私云此兩尊金輪法相應尊故也

自加持根本印 虛心合掌二頭指屈附二中指上節二空各捻忍顯中節文二小指

復微開真言曰我誤婆誦縛帝烏瑟提二灑咆哨娑普二暗入二擲底瑟吒二悉駄引路

引左掌薩羅他二婆引駄額曳娑囉二賀合賀

召諸大鈞召印本尊真言如自加持加召明句

供物同真言 加息災句

加持物小呪 唵沒駄引路者備娑囉合詞忌加

搬遣准召諸孔雀明王為部主時

自加持印 二手內相叉二大指二小指各直

唵摩庾引羅訖訖蘭二帝娑囉合賀

召諸

印 外縛二大指二小指立合以二頭

真言 二中二無名六指三指

供物同真言 加息災句

搬遣准召諸 以六指三指

本尊段 自加持 智拳印 真言曰

勃哨咆合

召諸大鈞召印本尊真言如自加持加召明句

供物同真言 加息災句

加持物如供物

搬遣准召諸

諸尊段 三十七尊 玄祕鈔云千佛頂用意否

世天段 如常

白寶口抄 尊勝法上

其書事

佛頂尊勝陀羅尼經一卷杜行顯譯國粵梵經貞元

續古今譯經圖記云清信士杜行顯京兆人也總錄諸本注云海私檢別錄海錄無之澄錄載之

佛頂尊勝陀羅尼經一卷日曜譯國粵梵經貞元

續古今譯經圖記云地婆訶羅譯唐云日曜中印度人志在利生來遊此國

○譯佛頂最勝陀羅尼經一卷最勝佛頂陀羅尼淨除業障經等凡一十八部

三十四卷沙門戰陀較若提婆譯語沙門惠智證梵語沙門思玄複體等受

佛頂尊勝陀羅尼經一卷佛說梵經貞元

續古今譯經圖記云沙門佛陀婆利唐云覺語護地印度顯實國人○向西明

寺訪得善梵語順貞奏共翻譯名佛頂尊勝陀羅尼經一卷

佛頂尊勝陀羅尼淨除業障經一卷日曜

或云右經皆同本異譯也廣演陀羅尼功能說善住天子七生甯生受生旨但

淨除業障經具說往昔因緣餘本不說之此經等不明行法印契唯說根本一

印佛頂尊勝陀羅尼經云於壇上燒衆名香右膝著地胡跪合掌心常念佛作

慕陀羅尼印屈其頭指以大指揮合掌當其心上誦此陀羅尼一百八遍文

佛頂尊勝陀羅尼經一卷義淨譯國粵梵經貞元

或勝佛頂陀羅尼淨除業障經一卷日曜

私云前日照譯佛頂尊勝陀羅尼淨除業障經此經歟秘錄無前名字故彼錄云

右五經同本異譯云

大佛頂尊勝陀羅尼經實文密多羅譯梵經

入爲疑錄

尊勝菩薩所問一切諸法入無量門陀羅尼經一卷忍識譯國天

或直二尊勝并取問經二直云入無量門陀羅尼經貞元固覺梵經并見經

私云上二直傍見之

古今譯經記云高齊居士萬天盡譯無是鮮卑姓萬候氏師事婆羅門善梵書

語○以高齊於勤城譯尊勝菩薩所問經一名入無量門陀羅尼經一卷

佛頂尊勝念誦法一卷

內云佛頂尊勝陀羅尼念誦儀軌貞元新入目錄不空譯海列外題仁行運珍

列內題圓覺仁運珍錄共列內題但運錄記以有經字於行錄未見之

尊勝佛頂眞言修瑜伽經一部二卷善譯無

仁行

教云尊勝佛頂修瑜伽儀軌一部二卷善無畏

運錄改經字作法或本云三藏四十七卷

善無畏弟子善無畏集云

此瑜伽說八大明王以尊勝爲本尊彼軌云一切佛頂中尊勝佛頂能除一切

業障煩惱業障故號爲尊勝佛頂心亦名除障佛頂等文

尊勝佛頂眞言修瑜伽法一卷善無畏譯

此前二卷上卷也但至奧加三十四功能爲異件功能唐說別卷有之

尊勝佛頂修瑜伽內別行成就三十四法一卷蓮

佛頂尊勝陀羅尼別行法一卷龜茲國僧善無畏譯

佛頂尊勝陀羅尼并別行法一卷金剛智譯然奇

加句靈驗佛頂尊勝陀羅尼一卷

或人云加句靈驗佛頂尊勝陀羅尼一卷金剛智

叔錄未見之隨檢諸本并石山錄無之云私檢云加字尊勝并大悲眞言及

大佛頂眞言合三卷

佛頂尊勝陀羅尼呪一卷仁

佛頂尊勝陀羅尼一卷加字具足本珍錄外

珍錄云佛頂尊勝陀羅尼一卷三家

佛頂尊勝陀羅尼一卷蓮

佛頂尊勝陀羅尼注義一卷蓮

梵字佛頂尊勝陀羅尼一本仁

澄云梵字佛頂尊勝眞言一卷

梵字尊勝佛頂眞言海梵字尊勝眞言一本

仁云梵字佛頂尊勝陀羅尼一本

梵字佛頂尊勝陀羅尼一卷善

梵漢兩字佛頂尊勝陀羅尼一卷善

曉云唐梵對啟尊勝眞言勅天下本一

卷

佛頂尊勝陀羅尼傳序一卷

佛頂尊勝陀羅尼珠林一卷

彼密行成等撰梵釋

本碎撰真言一卷

觀是尊勝佛頂異名也大唐內供奉百

宜大德可持者也

梵字大碎撰真言一卷

觀錄云梵字尊勝真言壹卷

佛頂尊勝陀羅尼經疏一部二卷

佛頂尊勝心破地獄轉業障出三界秘密

三身佛果三種悉地真言儀軌

先可受灌頂事

一卷軌云先於三昧耶曼荼羅聖衆得灌

頂知本尊從師受得三昧耶文

可畫像事

二卷軌云先須畫像擇取吉善好月時日

晨朝起首畫像好月者正二三四五六七

二月等此爲最上好月其好日時者於日

月蝕時及地動時鬼神宿舍日此爲上好勝

日或取白月十五日或取二十三日等已

擇取日月時節即喚畫師先沐浴了即與

三昧耶戒便與三昧耶灌頂每出入常須

洗浴○不離穢食等亦不得還償其畫物

白疊或好細布絹等物中如法畫之文

行法修日事

經云我當爲汝宣說受持此陀羅尼法

亦爲短命諸衆生說白月圓滿十五日時

持齋誦此陀羅尼滿千遍令短命衆生還

得增壽永離痛苦一切業障悉皆消滅一

切地獄諸苦永得解脫文

經云於白月十五日誦此最勝佛頂陀

羅尼呪一千八遍一切惡業十惡等悉皆

消滅當得阿耨○菩提諸佛菩薩親摩其

頂授菩薩記文

經云始從白月一日乃至圓滿十五日

持齋戒一心誦陀羅尼滿其千遍令短命

者命還增續永離痛苦一切業障悉能消

滅一切地獄之苦文

一卷軌云若於本教尊勝陀羅尼經每於

白月十五日除滅業障增福延命要斯誦

一千遍文

二卷軌云每月十五日觀本尊心誦或遺

人誦皆滿一千八遍能除一切災殃長壽

增福文

口云如法尊勝法有十五日香藥此法始

自白月一日或八至十五日可結願也件

結願時可燒香藥但難餘日結願只結願

時必以十五日香藥可燒之也又每月十

五日香藥有之云

覺禪抄云三十四成就法云畫像法者○

從黑月一日起首畫像滿七日○作道場

七日之中於道場內誦呪數須滿一萬遍

說佛頂放大光明文

私云行法結願之日當晦日問經井

儀軌等諸本皆說白月十五日作法今

何說黑月畫像行法乎答答大日經

疏四云白月十五日衆行圓滿喻成菩

提黑月十五日衆行皆盡喻喻般涅槃

中間與時昇降喻方便力云

私云以此文可會兩說歟十五日作法

何爾耶答此供物等須宛每日護摩

也而香木多數每日難備十五日此法

成就日也仍設如法供養敷或此護摩

品雖不指其日經并儀軌傍文等以十

五日爲作法日仍護摩行法可存十五

日歟已上

勤行時多少事

一卷軌云每日入道場念誦定其時限或

二時軌早朝黃昏或三時加午時或四時

依瑜伽加中夜○其日一夜不食爲上

或食三白食所謂乳酪糗米飯或粥爲中

或如常齋食爲下文

沐浴事

壹卷軌云念誦人應淨沐浴法如蘇悉地

中說或以法澡浴觀法實相以爲澡浴或

以在家出家護持大律儀戒無所毀犯以

爲澡浴或每日三時佛前禮懺發露懺悔

隨喜勸請發願迴向以爲澡浴或以清淨

眞言誦三通以爲殊勝清淨澡浴正誦之

時觀一切法本性清淨我亦得清淨如是

作意即誦澡浴眞言日三衆呪也

名字事

密號除魔金剛

二卷軌下云我今略說尊勝陀羅尼法即

是除一切障滅一切地獄傍生等身故號

尊勝佛頂之儀文

又云一切佛頂心最爲勝故一切佛頂中尊勝佛頂能除一切煩惱業障故號爲尊勝佛頂心亦名除障佛頂文

同軌上云中國明前國中畫尊勝佛頂亦名除障佛頂輪王

大日經密印品并疏十三名除業杜行額經名勝佛頂胎藏軌并疏十六名摧碎又

大日經并胎藏軌名捨除功利軌名摧毀又名大碎摧破錄云是尊勝佛頂異名也

疏五云第五微吉羅筆譯云捨除是寄捨一切煩惱義亦是摧碎義也此是釋迦如

來五智之頂於一切德中猶如輪王具大勢力其狀皆作轉輪聖王形其上復有變

髻即是重髻也餘相貌皆如菩薩文

大日經云名淨除一切惡道亦名能除一切業等障破一切極惡道苦文故日照譯

釋云最勝佛頂陀羅尼淨除業障義淨譯經名淨除一切惡道佛頂尊勝陀羅尼

尤是符合尊勝陀羅尼經疏上云釋經題目有其三種一名佛頂尊勝陀羅尼二

名延命三名吉祥言佛者三覺之號故名爲佛頂者一身之勝立故所不及故文

如來所供尊勝者二乘所不及故文又云尊以彌高立稱彰教體之彌高勝以

至妙受名表佛心之至妙文疏十云一切佛頂者謂十佛刹土微塵數佛之頂頂是

尊勝之義最在身上也即是十八不共法之別名文

問以中亞大日名尊勝佛頂歟如何答大第三口傳曰以受著經中亞之大日爲尊勝大日入尊勝之三摩地可習也云云

問大日入尊勝三摩地者中央大日本地身出除障一德時號尊勝佛頂故大日前

尊勝佛頂可爲今本尊也表能所二義闡二尊故故二卷軌云一切佛頂心最爲勝

故一切佛頂中尊勝佛頂能除一切煩惱業障故號爲尊勝佛頂心文一切佛頂者

指八佛頂八佛頂中以尊勝佛頂爲總體故是非本尊乎 答二卷軌云中國畫

盧遮那如來頭戴五佛冠種種寶華光於七師子上結跏趺坐手結法界印文一卷

軌云想道場中須偏山於山頂上想七寶樓閣於樓閣中毘盧遮那佛與八十九俱

毗十地滿足菩薩摩訶薩以爲眷屬自門圍繞此文大日外都不出別尊勝也智

證大師請來受茶羅中尊智印大日左右不動降三世許也是以大日爲尊勝佛

頂又尊勝破地獄軌出佛頂尊勝心真言也故尊勝佛頂即大日如來無異論但二

卷軌以大日爲中央八佛頂圍繞前尊勝佛頂中央大日暫表除障之一德顯尊勝

佛頂體也是非別尊故同軌下云尊勝佛頂毘盧遮那如來文思之二卷軌下云其

第二院直東釋迦牟尼如來結跏趺坐其說法相座下左右天帝釋并善住天子合

掌恭敬兩膝著地瞻仰如來請問世尊云何除災云何延壽云何七遍番生之身如

是請已爾時世尊慈悲愍念便入除障三摩地從如來頂上發生慈光三摩地狀若輪王之像白色首戴五佛寶冠手執金剛鉤現普圓光遍及遍身如車輪狀摩

突赫現此三摩地時十方世界六種振動十方世界一切地獄七趣衆生應隨惡道

者皆悉滅除一切惡業不復受生便得生天及以十方清淨國土爲此義住天子七

遍惡道三身一時消滅是故號爲除障佛頂輪王即是五佛頂輪王之一數并通三

佛頂八大佛頂輪王也又云證我一切如來五頂輪王尊勝佛頂亦名除障佛頂

輪王真言神通之法文

問既尊勝佛頂即入除障三摩地何大日一身德表除障一門云尊勝佛頂乎

答八佛頂者以金界大日爲本尊時四佛四波羅蜜習之胎界大日時四智四行習

之故八佛頂中可有釋尊也殊今本尊法界定印大日放胎界大日也而第二院

現釋迦尊身入除障佛頂三摩地說尊勝陀羅尼疏五云此白蓮花即是中亞淨法

界藏世尊爲令此教廣流布故以此生身轉輪而演說之然與本法界身無二無別

文故釋尊是大日如來一身一智行相豈異身乎即一毘盧遮那也云云

問以字大日入尊勝佛頂習之若爾大日金輪佛頂其差別如何 答大日既入

佛頂三摩地故不可有差別俱付名字本誓各別也金輪顯勝絕不共唯佛一體義

故金輪一尊行之今尊勝佛頂大日如來  
爲除一切煩惱業障等入除障佛頂三摩  
地八佛頂大日如來八種功德各掌一門  
別一現形體其中前一尊號尊勝且去除  
障一德故也全內證無差別別

西院云問佛頂尊勝云其義如何  
佛中表無上尊高勝絕義兩部遮那滅罪  
三昧八大佛頂總攝體也謂金剛界大日  
別稱故大日金輪亦以同體消除業障德  
別號尊勝也押彼大日習尊勝事觸相  
承上證據又非無破地獄執智證諸來曼  
荼羅等各以分明又習率印號尊勝印  
二經此印別號一佛調色彼曼荼羅金剛  
界大日爲中尊二明王許金界大日本有  
法佛智外用理內德給已上

問玄秘抄曼荼羅中臺出字是胎藏大日  
種子也三部抄并亮惠等用寫字是大佛  
頂法有何差別乎 答凡大佛頂法金輪  
佛頂法尊勝佛頂法皆共習一法也妙  
甘露經一云大佛頂名最勝金輪佛頂  
是文大佛頂最勝佛頂金輪佛頂同體異  
名證據也故厚慶紙云一字金輪名大佛  
頂最勝佛頂名一字金輪文是內證大日  
故同體暫付本誓立名號而妙抄大佛頂  
法云大理想趣房云以金輪爲頂云  
此傳意種子三金輪也人多用此說大  
教院亦用之云是大佛頂金輪同法號  
又妙抄出圖是中臺字毘盧舍如來一  
身四面柱智摩印云既大佛頂通兩部

大日今尊勝亦通兩部大日也大旨大佛  
頂尊勝佛頂一法也但大佛頂胎藏大日  
入金輪三摩地金輪佛頂金界大日入金  
輪三摩地此兩尊兩部大日義當流相承  
口傳也今尊勝佛頂以字爲種子時法  
界定印大日以字爲種子時智摩印大  
日也故左右置不動降三世不動胎藏界  
教令輪三世金界教令輪也而兩部教令  
輪故理智不二大日也尊勝佛頂三摩地  
猶勝諸佛頂故號尊勝也是大佛頂金輪  
理智不二尊故也



玄秘抄云二卷軌善無畏譯在之此九尊  
二明王種子即出于件軌圖也於首陀會  
天種子者以他本書之二卷儀軌上云復  
乃用大日法界印加持五處即成具足五  
分法身具萬德之身其法界印相以權智

各作金剛掌智手執摧風轉加持五處便  
住當心上已身爲毘盧遮那如來之身頭  
上五佛寶冠即五佛頂輪王具五智義云  
成身處

又云毘盧遮那如來大如意廣大尊勝佛  
頂云  
又云中國畫毘盧遮那如來頭戴五佛冠  
種々寶花光於七師子上結跏趺坐手結  
法界印云云曼荼羅  
私云安此二文意中尊住智摩印若爾  
者可云字何今用寫字耶 答今曼荼  
羅中尊用寫字事又是同軌圖曼荼羅  
也豈作依二卷軌捨圖意乎但似圖與  
文相違者圖表理文舉智顯大日不二  
也故或書寫字共無失矣

又下卷證我一切如來五頂輪王尊勝佛  
頂亦名除障佛頂輪王頂言神變法此深  
也阿彌之能  
又云毘盧遮那如意廣大尊勝佛頂云  
已上  
大師御筆圖 成嚴院七  
卷抄出之



貞記云凡尊勝佛頂佛界無上也言八大佛頂兩部無上也三佛頂金剛已上西院云問大師請來一卷儀軌八大菩薩圍繞受茶然真觀寺祕本八大佛頂彼相傳秘軌違如此答先師口傳前後頗相違最秘故正說被祕也龍智傳授時二說授分故尊證受茶羅兩樣義也一切諸尊三智身謂自性輪佛及正法輪菩薩教令輪明王等三種身也曼荼羅云輪圖具足義一尊功德不可缺故不空儀軌是此意也不空三藏二說傳雖一相理有善惡圍繞具足道理尤可然歟次相傳樣二卷軌合無畏三藏深意亦尊勝佛頂云兩部無上德謂今此曼荼羅三部無上德謂八大佛頂稱今受茶羅偏尊勝德顯故八大佛頂八方圍繞無上佛德悉八方迴中尊功德尊勝顯也疏第五云五佛頂三佛頂此八大佛頂皆周身有光文或抄述疏意云五智之頂五佛頂也三部之頂三佛頂也云已上

請不吝空譯

Diagram of the 28 Lunar Mansions (Xing) arranged in a circular pattern. The characters are organized as follows:

- Outer Ring (Clockwise from Top):** 斗 (Dou), 牛 (Niu), 女 (Nu), 虚 (Xu), 危 (Wei), 室 (Shi), 壁 (Bi), 奎 (Kui), 胃 (Wei), 昂 (Ang), 毕 (Bi), 参 (Shen), 井 (Jing), 鬼 (Gui), 柳 (Liu), 星 (Xing), 张 (Zhang), 翼 (Yi), 轸 (Zhen), 奎 (Kui), 胃 (Wei), 昂 (Ang), 毕 (Bi), 参 (Shen), 井 (Jing), 鬼 (Gui), 柳 (Liu), 星 (Xing), 张 (Zhang), 翼 (Yi), 轸 (Zhen).
- Inner Ring (Clockwise from Top):** 斗 (Dou), 牛 (Niu), 女 (Nu), 虚 (Xu), 危 (Wei), 室 (Shi), 壁 (Bi), 奎 (Kui), 胃 (Wei), 昂 (Ang), 毕 (Bi), 参 (Shen), 井 (Jing), 鬼 (Gui), 柳 (Liu), 星 (Xing), 张 (Zhang), 翼 (Yi), 轸 (Zhen), 奎 (Kui), 胃 (Wei), 昂 (Ang), 毕 (Bi), 参 (Shen), 井 (Jing), 鬼 (Gui), 柳 (Liu), 星 (Xing), 张 (Zhang), 翼 (Yi), 轸 (Zhen).
- Center:** 斗 (Dou), 牛 (Niu), 女 (Nu), 虚 (Xu), 危 (Wei), 室 (Shi), 壁 (Bi), 奎 (Kui), 胃 (Wei), 昂 (Ang), 毕 (Bi), 参 (Shen), 井 (Jing), 鬼 (Gui), 柳 (Liu), 星 (Xing), 张 (Zhang), 翼 (Yi), 轸 (Zhen), 奎 (Kui), 胃 (Wei), 昂 (Ang), 毕 (Bi), 参 (Shen), 井 (Jing), 鬼 (Gui), 柳 (Liu), 星 (Xing), 张 (Zhang), 翼 (Yi), 轸 (Zhen).

一卷軌難列八大菩薩名字不出種子。又中臺雖說毘盧遮那如來不出印像。先德圖曼荼羅種子如此。可思之。已上

厚雙紙云或抄云不空軌用八大菩薩蓋無畏軌用八大佛頂相違也但案之八大佛頂大日如來五智三部之表示也八大菩薩八大佛頂所變也八大明王八大菩薩之忿怒身也故彼此無相違歟云

私云。八大佛頂八大菩薩八大明王同體義。大佛頂法時口決之了。

瓶	東 香爐	瓶						
香爐	<table border="1"> <tr> <td>慈氏</td> <td>普賢</td> </tr> <tr> <td>觀音</td> <td>金剛手</td> </tr> <tr> <td>地藏</td> <td>文殊</td> </tr> </table>	慈氏	普賢	觀音	金剛手	地藏	文殊	香爐
慈氏	普賢							
觀音	金剛手							
地藏	文殊							
瓶	西 香爐	瓶						

種子 尊勝法  
三 軌說

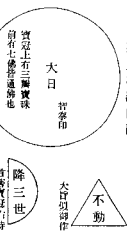
口云：勝者胎藏大日，入除蓋障三昧，說  
戒罪法也。故尊勝佛頂名摧碎佛頂，摧碎  
衆生煩惱故。大日如來入尊勝佛頂三摩  
地名尊勝，普門法界大日，只是佛頂一  
門勝諸佛頂，號尊勝也。大日法身尊勝也  
除障佛頂應身尊勝也。以法身尊勝爲本  
尊，爲利物現應身佛頂，八大菩薩皆入佛  
頂三摩地，爲八大佛頂。此云有東，有  
了也。南安金剛手是金剛部也，北安觀音  
是蓮花部也，中臺大日卽佛部也。故今有  
了表胎藏三部部母金剛波羅蜜入三  
摩地心。金剛波羅者表智慧胎藏大日表  
理也。理佛入智母成理智冥合  
問云：波羅蜜者皆理母也，如何名智乎  
答云：金剛界智界三十七尊皆名智，故四波  
羅蜜智也。與智相應定故名母，故祇經云  
金剛薩埵定一切諸佛母云。  
問何四之中殊入金剛波羅蜜三摩地乎  
答今尊勝佛頂者摧滅煩惱猶如金剛，號  
摧碎佛頂，又名捨陰。金剛部亦有摧碎之  
用，故殊入此部母三摩地給也已上。

石觀音	大目	觀音	真金剛手	普賢	真
地藏	除蓋障	文殊	三	普賢	真
不動	三	三世	三世	普賢	真



私云一卷軌不說不動降三世藏二卷軌是兩儀軌相合曼茶羅也又石文抄成蓮抄共本尊胎藏大日種子玄秘抄相違也云

智證請來曼茶羅四圖



寶冠上有三寶寶珠  
前有七佛通勝也

降三世  
首寶冠有持  
五寶左右持

大日

智證印

大日明作

不動

常喜院云成蓮房云本尊雖有多說今用大日一證先年罷向三井覺飲僧正許數駐談話取出所持三衣箱一合披見之規模祕書等多之爲報謝彼志即時申出一紙二字了又僧正被取出祕佛一補中尊智尊印大日左右不動降三世許也云是智證請來尊勝曼茶羅云愚案云不空一卷軌以大日可爲本尊之證據敷云同人云寬成大德病時病時問訊次尊勝曼茶羅祕本自成蓮院傳賜之中央大日印左右不動三寶故御房先年令詣三井法輪院僧正御許引出物所被奉請也此法本尊以此可爲證事也常樂給云即取出令拜見了伴本相傳惠法了尤貴重也爲後祖

或書云彼智證請來曼茶羅三井覺飲僧正授兼惠成蓮房成蓮房授常喜院常喜

院傳覺洞院覺洞院傳遍智院今當院經藏在之云  
遍口鈔云寬喜二年九月十八日於遍智院蟲拂之次奉拜見像智證大師請來曼茶羅云  
中尊金剛界大日如常印左邊不動右邊降三世五佛也師主云此尊勝曼茶羅也云此祕佛也世間頗不流布歟但寶冠七佛在之五佛之冠彼即七佛頂也加本佛大日成八佛頂也本寺人イト不知及數件像成蓮房阿闍梨兼意法輪院僧正覺飲許參對面之時自衣箱取出之令拜見此曼茶羅深秘也仍兼意阿闍梨親紙乞二字書彼拜見之長令進僧正云此像尤可祕云  
口云此智證請來本尊今次第圖開合異也七佛頂表佛頂義圖寶冠大日一身備七佛頂德義也前一尊表除障一德實不改大日形相爲尊勝當流習也彼曼茶羅尤符合也又寶冠上三寶寶珠彼自證義也云

白寶口抄 尊勝法中

種子事

攝大軌云河琳唵三青龍軌云河琳文梵本軌云云  
私云如大軌者カロム如梵字者カリム可決之歟

廣大軌云觀河字法門諸因果業性畢竟不可得或光照一切轉成除業門文疏十云河琳點是大空此是除障佛頂義釋七云除障佛頂點名離諸因緣亦名風大自在力此是如來力無所畏神通之頂能柔伏一切衆生業垢皆令清淨是故加羅字門點大空義文口云事字有是四字合成也義字萬行之因字座垢障字損滅義故損滅諸因業座垢之蓋障令人大空三昧之尊勝宮義也

三形事

大日經五云除障佛頂鈎印文疏十六云除障佛頂以鈎爲印文私云今經疏印者三昧耶智印即三昧耶形也  
二卷軌上云尊勝佛頂○掌中承蓮花於蓮華上安置金剛鈎文



口云三股鈎者所持物即三形也三股杵形也杵者金剛義是摧破義也鈎者召集義也謂大日自證智為利衆生入除障三摩地鈎召惡趣之衆生入本有自證金剛法界宮故瑜祇經云爲動一切有情本性開顯鈎召彼惡章令發愛諸佛妙法成就有法身故文又云鈎者不空王三昧鈎召萬德今歸此尊勝即王義也四海悉朝宗王是王鈎德也

問今次第以中臺大日爲本尊尤可出彼種子三形何出一門尊勝佛頂種子三形乎答大日種子三形塔是金剛界次第等普通也故略之歟尊勝佛頂今法一門別德也尤實觀之也故別出之道場觀七佛頂不用三形尊勝佛頂許出之可知道場觀事

二卷軌上云想其樓閣內有寶蓮華上觀大圓明內有九輪金剛階道每輪中本尊令坐圓如左其大圓明內分爲九圓八寶瓶十二箇金剛杵四箇寶輪從八方瓶口中堅八金剛杵承四金剛輪彼輪四面橫柱四金剛每瓶及金剛皆縱深帶寶蓋垂布大同明內各坐九尊者中心大毘盧遮那如來頭戴五寶冠坐七師子座之上結跏趺坐即結法界印自餘諸尊下曼荼羅品具明文口云此道場觀依無畏三卷軌也彼軌文云想其樓閣內今次第觀想五大所成法界宮中者五輪成身也觀中有圖是依正五大也故五輪塔婆也

問五大所成者有爲五大歟如何答於一處凡聖異見不同也譬如鶖子羅睺之所見不同隨緣器界時爲三災被壞法爾時本有常住殊妙莊嚴密嚴花藏土也但今所觀五大所成道場始登修得法界宮也二卷軌上云既自有爲五蓋四大立金剛不壞五蓋即大故全非異處淨土穢土在人依土法爾隨緣隨智淺深如來有應處無非此宮釋大師既五佛住處祕號釋給故二卷軌云五輪即是五智輪五智便成五分身五輪即是五智輪三密即是三身故文是身土不二能所一體也身心五爲能住所住能居所居法解所成故也以之爲自性法身所居亦自性法身豈異人乎行者平等智身也疏見加持身見行者平等智身見平等智身見本地身等意又軌上云或觀已身心圓明中安本尊坐即以身坐於大圓明中遍法界爲一身除障佛頂輪干即名爲尊勝佛頂又云或觀已身爲本尊於心上圓明中旋轉安布尊勝真言如字輪形一字隨本法隨時本色相應放光皆變成爲曼荼羅聖衆即是身爲尊勝佛頂法界曼荼羅體文此以自身爲本尊亦爲受荼羅五輪即是五智輪故五大所成行者心地觀九識九尊佛頂輪上云即此修應加者不同事法若於一念項證無生轉五智五分法身悟

三密即三身初發心時便越百六十種心度三無數劫行證普現色身三昧耶即是初發心時便成正覺文口云又此五大所成師師習不同也付此一曼荼羅立五大所成義後人唐譯云以一曼荼羅習五輪界道若師子是地輪月輪水輪不動三角火輪降三世半月風輪六箇飛天空輪也亦以香爐爲地輪云或云此曼荼羅取分五大一出化他義也云當流深秘口傳云以三角半月習此法至極也謂本尊兩部不二大日也以不二法性五大塔婆爲至極於其五大中爲根本地水火風也分此地大方形以半分爲不動三角亦分水大圓形以半分爲降三世半月是火風二輪也次前地水半分合之爲圓不二和合大圓明月輪是向字也故法性唯一空輪中以兩部不二大日爲本尊八大佛頂尊勝義最在身之上故居空輪爲利益兩部故令輪置左有不動以火生三昧大智燒盡衆生業障故滅罪義也降三世降三毒爲三寶寶珠是萬物出生義又風有能生德華嚴經云有異類風輪出生萬物是生善知識義也故義釋五云降三世不動少有差別者不動尊是大惠大刀正以降伏爲用降三世大惠風刀正以攝召爲用又中臺大日所座師子屬地天座故也寶瓶屬水輪前火令屬火輪輪并三股闍風輪五行時金風輪也天蓋闍空輪故此一曼荼羅

皆悉五大五輪也。此法以五大法界學都變爲源底。是則法界之流深秘口傳也。可秘云。

### 以三股爲界道事

口云。三股件軍茶利三形也。故軍茶利結界義。軍茶利南方不二意。今道場即有爲無爲五大不二位。凡聖平等無差別故。以事業不二之三股件成立曼荼羅界道差別也。

又云。軍茶利無明即法性煩惱即菩提加持結界也。以四蛇爲環堵則其表示也。經有十二表十二因緣也。言甘露軍茶利者。煩惱惡障塵味皆爲甘露意也。凡一切地結方結天網火院等結界。皆軍茶利三摩地也云。

### 以寶瓶爲分齊事

口云。寶瓶者地天之三昧耶形也。寶字地大義。故壇地之分齊。以其寶瓶爲界畔也。又寶瓶寶部義。以南方不二寶體現不二曼荼羅界道也。以綵帶帶瓶并三股并故。開閉法界塔婆戶義也。謂帶諸法一體相執持不散故表不二。若彼塔婆無開閉德有自證化他義乎。又帶隨風是隨化他垂大悲義也。八箇寶瓶因義。八大佛頂果也。又八佛頂因表本有自然覺。故八瓶果也。又云。三股金剛智界道寶瓶理界道也。是兩部不二曼荼羅故表理智二界道也。

### 本尊事

口云。付本尊有淺略深秘二義。淺略者以

之字爲種子。尊形智拳印大日。是付金界行之。又以之字勢字爲種子。尊形法界定印大日是依胎藏行之。其淺略也。今道場觀本尊深秘也。以金界之字爲種子。成法界定印胎藏大日是。以兩部不二大日爲本尊智實最極秘事也。

野決云。種子之尊形金界兩部不二意也。石山道場觀種子之尊形法界定印同意歟云。

問。於中央尊種子之字。尊形住法界定印種子之字。尊形結智拳印。如此本說不一。准條如何。答。以不二大日爲本尊得意。或用之字。或用之字。或智拳印。或法界定印。全無相違也。玄祕抄云。三卷軌上云。後乃用大日法界印。加持五處。即成具足五分法身具德之身。其法界印相以權智各作金剛拳智手執權風幢。加持五處。使住當心上。已身爲毘盧遮那如來之身。頭上五佛寶冠。即是五頂輪王。具五智義云。

又云。中國畫毘盧遮那如來。頭戴五佛冠。種種寶花光。於七師子上結跏趺坐。手結法界印云。此意。中尊住智拳印。若爾者可之字。何今用之耶。答。今曼荼羅中尊用之字事。又是同軌圖曼荼羅也。豈依二卷軌捨圖意乎。但似圖與會文相違者。圖表理文學智顯大日不二也。故或書之字。或書之字。其無失矣。

又下卷云。證我一切如來五頂輪王尊勝佛頂。亦名除障佛頂。輪王眞言神變法文。其深也。佛相叶之。能可來之。又云。毘盧遮那如意廣大尊勝佛頂。已上。

問。如二卷軌種子之字。尊形金界大日。結法界印。是智拳印名法界印也。今道場觀種子之字。尊形法界定印大日也。此法依二卷軌云之相違如何。答。玄祕鈔圖曼荼羅如軌道場觀同。今大第是舉兩樣也。可知。

實勝法印云。故報恩院僧正印云。定字略實勝法界印。謂可智拳印。智拳印云法界體性智印故也。云若依此義。種子之尊形智拳印大日。偏金界大日也。非不二大日歟。

勸修寺法務口云。尊勝法并法花法是兩部通法也。凡究竟祕法皆大日爲本尊云。問。二卷軌中。大日結法界印。今結法界定印。其說處如何。答。石山道場觀云中。大日結法界印。文是相承師傳也。三部曼荼羅云。用大日胎藏之印文。又現圖八大佛頂。云。中尊法界定印也。以此等可爲其證據歟。

坐八師子床事

口云。二卷軌云。坐七師子座上。文依此文。傳法院尊佛頂坐七師子床。高野御室御本尊亦如是。今八師子座。石山道場觀云。坐八師子座。文八師子者。表八佛頂師子根本八智菩提心體。八佛頂修生智也。

謂金剛一曼荼羅攝五智、五智頂相爲五佛頂、胎藏一曼荼羅攝三部、三部頂相爲三佛頂、今本尊大日佛頂此兩部不二章也、故以兩部八尊爲因、故以八佛身爲八師子座、後地必以前地爲基、故又七師子者表七佛頂、大日前除障佛頂、又一體爲今本章、故七佛頂義也、云又云此師子口三股牙橫嚙之也是根本三毒煩惱也、師子久成師子本覺根本智也、以此根本智斷根本三毒成三身義也、大日經一云、飾菩薩之身爲師子座、文疏一云、菩薩之身爲師子座者、上說金剛法界宮、即是如來身、次云大樓閣寶王、亦即是如來身、今云師子座、當知亦爾、所以云菩薩身者、謂本行菩薩道時、次第修行地波羅蜜、乃至第十一地、當知後地、即以前地爲基、故云如來以菩薩身爲師子座、釋論云、譬如師子於衆獸中獨步無畏、佛亦如是、於九十六種外道中、一切降伏無畏、故名師子座、中師子其所坐處若床若地、皆名師子座、今此宗明義、言師子者、即是勇健菩提心、從初發意以來、得精進大勢、無有怯弱、猶如師子隨所執轉、必獲無遺、則是自在度人無空過義也、文金剛頂義訣云、師子在諸獸中王、於諸獸中遊行無畏、故盧遮那佛亦復如是、諸法之王、於諸法中變化無礙、故是故據師子座也、文

左闍明中有字、成白傘蓋佛頂事、問、今所舉八佛頂次第、有本說乎、答、八

佛頂次第、依二卷軌也、金寶抄云、一二寺次第、依二卷軌注之、小野僧正最勝爲始、廣生爲後、是從右方順迴次第、歟、種子依內供說法之、本說可尋之、云字義釋云、白傘佛頂是大慈悲義、入字門一切法相不可得、故舉覺常悲義、此則如來相之頂、以白淨大慈悲遍覆法界、故加大空點也、文二卷軌云、白傘蓋佛頂首戴五智冠、左手執蓮花、於蓮花上安置白傘蓋、右手揚掌向前、半跏坐、其身光及頭光如五色軍車輪形、文或闍云、黃色右仰屈地、水風舒空、坐亦蓮花、左手執蓮華、蓮花上置傘蓋云、口云、此白傘蓋佛頂、以傘蓋爲三昧耶形、所持物皆用三形、所持物皆用三形、故也、又云、此章八大菩薩中金剛手同體也、右闍明中有字、成最勝佛頂事、例字義釋七云、最勝佛頂、即是寶蓮花、加三昧聲故、寶蓮具足、此是如來壽量秘密神通之頂、故名最勝也、文二卷軌云、最勝佛頂、頂戴五智冠、種種莊嚴、背圓光、及以通身光狀、如車輪具種種色、右手持蓮花、於蓮花上安八幅寶輪、光焰圍繞、於蓮花上結跏趺坐、左手揚掌、云或闍云、黃色左手屈地、水立地、風空當胸、云口云、此章以所持輪爲三昧耶形、或種子字也、云最勝佛頂觀音同體也、中闍明前有字、變成鈎蓮花上鈎變

成尊勝佛頂事

字義釋七云、除障佛頂、名離諸因緣、亦名自在力、此是如來力、無畏神通之頂、能伏一切衆生、業垢皆令清淨、是故加羅字門大空義也、文廣、大軌云、觀詞字法門、諸因果業性、性畢竟不可得、威光照一切、轉成除業、頂惠手風輪、鈎、能除地獄障、文二卷軌云、前圓中畫尊勝佛頂、亦名除障佛頂、輪王、於蓮華臺上結跏趺坐、白肉色、兩手當膝下、如入禪定、掌中承蓮華、於蓮花上安置金剛鈎、如上頂輪王等種種光、明、五智寶冠、一一依輪伽闍皆於白蓮花座上結跏趺坐、文口云、種子梵本胎軌字也、或用字、下字、應染不可得、故用字、事同、五韻ラリルレ、故用之、字染不可得、字故字、相全同、歟、用字、字無相違也、三形小野圖一股鈎也、二卷軌云、金剛鈎、無三股一股差別、故依口傳用之、歟、攝一切佛頂經蓮華鈎也、今種子三形、右口決之舉、凡八佛頂中、尊勝佛頂、許觀種子三形、餘七佛頂種子、許觀之略儀也、此章除障一門、故殊實之、其趣次第、道場觀大、口傳之也、謂中臺、大日尊勝本地身、鈎召一切業障爲摧破、出加持身、尊勝佛頂、以三股鈎置法界定印上、此法界定印、全中臺本印、也是廣以此鈎鈎召諸衆生、業障煩惱等、令入金剛法界宮、即還歸中臺本地德、故本地加持之二尊相並、實無二無別也、云尊勝佛

持之二尊相並、實無二無別也、云尊勝佛

除蓋障菩薩同體也

中後圓明中有字成放光佛頂事

字義釋七云光聚佛頂恒羅處是如如無垢亦是火輪義此則如來定惠光明之頂能除障故以爲名也文廣大軌云

右蓮華中現恒闍字法門一切法如本自性無垢身光明遍十方轉成光聚頂王

二卷軌云放光佛頂亦名光聚佛頂上放光火灼首帶五智寶冠右手揚掌文

口云右手揚掌屈地水立火風空也云以佛頂形爲三形也

極肝心抄云法華勝法以光聚佛頂爲本緣云以此爲密事云

口云放光佛頂亦名光聚佛頂此佛頂虛空藏菩薩同體也故虛空藏內證寶珠五智如來入五大虛空藏三摩地皆持鈎合此五

智鈎爲尊勝鈎故歟亦放定惠光明除一切障障如業障除故爲尊勝本尊歟

尊勝左圓明中有字成勝佛頂事

字義釋七云右勝佛頂入合捨字門一切諸法本性寂寂此是大寂之頂故名爲勝大空義文

二卷軌云殊勝佛頂輪王左手執鈎右手揚掌首戴五佛寶冠種種莊嚴文

口云此尊以所持劍爲三昧耶形也又勝佛頂文殊同體也云

尊勝右圓明中有字成廣生

佛頂事

字義釋七云見慢義如來無量劫來降除憍慢垢故證知法界平等無高下圓點

得虛空無邊際義亦是萬德之頂具足法王威勢自在之用所以皆加大空也文

二卷軌云廣生佛頂輪王右手持縛日羅口云左手開掌當乳也但世流布曼荼羅

像畫廣生佛頂或左手執縛日羅右手揚掌是惠運本印左縛日羅右揚掌若依此說歟

又云此尊以所持縛日羅爲三昧耶形今大第次用五股是箇傳也小野等用三股

杵故大妙經云黃色佛頂輪王手持三股縛日羅發生一切佛頂輪王文依此文歟

成就院七卷抄云三形蓮華上如意寶或獨股或三股杵又蓮花上法螺已上

廣生佛頂地藏菩薩同體也云

光聚右圓明中有字成無邊聲佛頂事

字義釋七云觀畔字法門轉成無量聲二手持商佉說寂滅妙法

二卷軌云右手持蓮花於蓮華上畫商佉左手當妙欄房上揚掌首戴五佛寶冠輪

光莊嚴等隨意種種莊嚴文

口云此尊三解脫門義是說法自在德也即離一切因故心得自在有三昧點故水

損衆生業煩惱加大空點故得無礙辨財也此尊以所持法螺爲三昧耶形是起無

量普聲說寂滅妙法降伏衆生魔事也云

光聚左圓明中有字成發生佛頂事

字義釋七云發生佛頂印與蓮花同發生世出世三乘諸聖衆文

二卷軌云右手執開敷蓮花右手安膝上中跏趺坐文

口云此字本性寂滅字摩訶字損滅字邊除也謂一切諸法本性寂故損滅衆生

諸塵垢令人入寂頂故加大空點是超過一切諸尊大寂之頂故云發生一切佛頂

輪王也此尊以所持開敷蓮華爲三昧耶形此開敷蓮華開一切衆生心性蓮華除九

識開發生一切尊故以爲三形也或云一股份或寶珠用三形也義可知云發生佛

頂普賢菩薩同體也云疏五云五如來頂第一白傘金第二誓耶此云勝金

三微誓耶此云最勝此云勝金第四帝釋施此云火聚第五微吉羅羅施

捨名除白名名推碎是奇捨煩惱義是亦摧碎義此是釋迦如來五智之頂於一

切德中猶如輪王具大勢力其狀皆作轉輪王形文

又云三佛頂第一廣大白名大轉輪佛頂第二廣大白名大轉輪佛頂第三無邊音聲

部衆德之頂也其五淺如來頂有五種色所謂真金色勝金色淺黃色極白白色

色是中真金鑄金二色相似然真金光淨  
帶金色稍重也三佛頂則有三色謂白  
黃色赤色此是兼具寂冥增益降伏也此  
八佛頂皆周身有光光極廣厚以諸璽塔  
嚴身由如來本誓願力故悉能滿足一切  
願也文

此八佛頂金界五智胎界三部也本尊兩  
部不二尤有謂歟凡八佛頂事大佛頂  
法委細口訣之但彼大佛頂法種子三形  
與此法相違依經軌說不同也

下左邊半月中有真字成降三世右  
邊三角光中有真字成不動尊事

二卷軌云下左邊畫降三世尊於半月輪  
邪立走勢○右邊三角中赤光中畫不動  
尊於石上半跏趺坐文

問慈氏軌大同明印右邊畫降三世尊○  
左邊不動文又儀軌或本<sub>這和</sub>畫圖左不  
動文左降三世文又智證大師請來曼  
荼羅左不動右降三世圖之仍遍智院灌  
頂堂本尊如此是等相違如何答不動  
降三世二尊左右不定事或約佛左右或  
約行者左右仍義釋中有此二義故左右  
無失云勸修寺法務傳云左畫不動無其  
謂歟八大佛頂大大日左右決定說之二  
明王左右又可依之何相違哉云

問不動住三角火輪降三世住半月其意  
如何答責任<sub>勸修寺</sub>傳云不動淨菩提心  
時仍處三角火輪火焰直也降三世淨菩  
提心用仍處半月輪風形之月輪也以風

爲發火用也云

口云本尊兩部不二故此二明王又兩部  
教令輪身也謂不動依爲胎藏之教令輪  
住火輪降三世依爲金界之教令輪住半  
月火者地之所生忿怒之體風者水之所  
生忿怒之體也火者地輪之半形三角體  
住火生三昧燒盡一切衆生業障風水輪  
之半形半月體火依風增熾然以攝召  
爲用也仍各顯教令輪身侍衛左右是表  
本地不德云

前有香爐事

二卷軌云兩明王中間修伽伽者坐前安  
香爐文  
口云凡前安香爐曼荼羅不限此尊如此  
圖像像多歟但燒香者精進波羅蜜也故  
表行者精進義尤行者前安之也或座許  
畫之習行者或畫行者合掌安頂上從合  
掌端出香爐圖有之故香爐與行者同體  
也此香爐燒不斷香是行者晝夜不斷精  
進義也

像上有寶蓋兩邊有六箇飛天

各執華事

二卷軌云其像上畫寶蓋兩邊畫六箇飛  
雲首陀會天童子形半身踊出各執香花  
寶蓋等文又云畫雲首陀會童子半身滿五  
色雲中文口云寶雲經云有須陀會諸天  
以魔醯首羅爲上首女須陀會淨義也此  
天皆生聖者云淨居天又名那含天此聖  
者蒙佛恩佛親近爲化度他方也故佛會

曼荼羅等圖之法華勸勸大佛頂等曼荼  
羅在之即同意也

間六箇飛天者皆淨居天衆歟如何答  
淨居天有五種疏云五淨居衆第一自  
在天子第二善化天子第三光燄天子第  
四意生天子第五名釋迦聞天子○阿闍  
梨言此是天子那含天子耳文

此五淨居天加善住天子云六箇飛天也  
或云六箇天者無煩無熱善見善現色究  
竟善住是也佛爲善住天子說此緣勝陀  
羅尼經故加之也云或云五淨居天何必  
五天共可來隨緣或一天或二天或七八  
天可來故儀軌說五淨居或只圖二天尤  
似有道理也云

問二卷軌云山中作禪窟窟內作釋迦牟  
尼佛結跏趺坐佛右邊作天帝釋一切眷  
屬圍繞左作乾闥婆兒名曰善住容貌端  
嚴如似菩薩頭髮衣冠亦復如是以此種  
婆伽花冠莊嚴文

又云於壇中方○畫佛頂○南門安帝釋  
坐處東門安乾闥婆兒善住坐說師於西  
門坐文此等文善住天子既坐位各別也  
儀軌畫六箇乘雲首陀會天童子云不加  
說善住天子如何答當五淨居天加善  
住天子也然者一字佛頂輪王經一云光  
聚佛頂輪王○畫六淨居天若此義善  
住天子非六箇飛天隨一歟

善住天子事

經云利爾時善住天子受此陀羅尼已滿

六日六夜依法受持一切願滿應受一切惡道等苦即得解脫住善提道增壽無量甚大歡喜高聲歎言希有如來希有妙法希有驗甚為難得令我解脫云二卷軌下云釋迦牟尼如來結跏趺坐作說法相座下左右天帝釋并善住天子合掌恭敬兩膝著地瞻仰如來請問世間尊云何除災云何延壽云何去七遍畜生之身如是請已爾時世尊慈悲愍念便入除障三摩地從如來頂上發生慈耶三摩地狀若輪王之像○現此三摩地時十方世尊界六種振動十方世界一切地獄七趣衆生應墮惡道者皆悉滅除一切惡業不復受生便得生天及十方清淨國土為此善住天子七遍惡道之身一時清滅是故號為除障佛頂輪王云此善住天子却後七日命將欲盡依之章帝釋白佛言唯願說延命法其時依帝釋請入除障三摩地說此章勝陀羅尼經故善住天子七遍惡道之身一時消滅抑善住天子短命者因位時為悲母善養作用母每日持香食行彼田授之或時母遲來其時天子發願志向母此故受七遍畜生趣諸狗野干獼猴蟒蛇鳥驚等身也孝養放生天子願盡故得短命報也佛對善住天子說最勝延命祕法對帝釋天說消除除障妙術也委可見經云口傳云以曼荼羅之中臺大日為尊勝大日入尊勝三摩地可習也但如此雖得眞實中臺尊不可改大日形相只大日一身

俯八佛頂之德也八佛頂者各掌其一德別顯形為眷屬以前一尊名尊勝事者暫表除障之一德之故也然者以此尊勝一體用本尊不可然事賦故不空儀軌但大日之外無別尊勝又智證請來曼荼羅大日不動降三世此三尊許圖之然者相承之師說上其證分明事賦實勝法印云大日前臺尊勝佛頂故大日入尊勝三摩地從不二內證施加持用故正以大日雖為本尊以八佛頂圍繞其中實尊勝佛頂盡大日目前也即以大日為尊勝法身以除障佛頂為尊勝加持身故本地加持互生身法身成主伴也云或口傳云凡此法附本尊無甚深之智謂理實中臺尊全不可改大日形只大日一身俯八佛頂之德其八佛頂者各掌其一德各別之形體為眷屬住八方其中實前一尊名尊勝佛頂是暫表除障之一德許也故以尊勝佛頂一體用本尊事尙淺略也以八德總合之大日為本尊彼尊勝佛頂大日普門之上所俯除障之一德可觀之也是常流師師相承口決也又不空所譯軌中臺大日八葉八大菩薩居之更大日外無別尊勝尤為證據有便又智證大日請來曼荼羅圖大日不動降三世三尊許全無別尊勝只大日寶冠圖七佛頂除尊勝佛頂歟今一重甚深事也云西院云問自門曼荼羅金大中臺八佛頂圍繞二大明王八佛頂中除障尊勝一

曼荼羅中二體本尊安乎答尊勝佛頂云兩部共體也中臺遮那本有尊勝外相西向胎內德表彼八佛頂八葉八尊攝八德無上顯八大佛頂名其中除障尊勝胎大表仍前方安置垂迹本尊表其法界定印胎大印上鈎形安置今尊勝三昧諸業障鈎召摧碎義也本跡二本尊一曼荼羅相並兩部不二德理智和融義彼二大明王兩部教令輪本本地德顯左右侍衛此本跡尊勝小野名目法界智尊勝妙觀智尊勝云兩智尊勝稱習所趣相叶私云西院習本尊不二義以兩尊立之當流習難相遠所詮義理同之歟云問道場觀中臺大日并尊勝種子三形共觀之自餘七佛頂觀種子許無三形云何答中尊大日尊勝許觀種子三形自餘七佛頂不觀三形是常事也但是略定之義歟若用之者丁寧事歟

白傘蓋佛頂 傘蓋 勝佛頂 釵  
最勝佛頂 輪 光聚佛頂 如來頂印  
除障佛頂 劍 廣生佛頂 五股  
發生佛頂 蓮華 無邊聲佛頂 法螺  
口云大日尊勝兩尊此法本尊故殊觀種子三形尊形中臺大日本地身故尊勝佛頂除障一門故尤觀之餘七佛頂三形不觀之是略定義也若丁寧時可用之也其三形藏次第二卷軌說八佛頂尊形皆其各所持物也可知





他姓名已上第  
八金剛供養門  
金剛經名爲他人印經

一切得清淨  
一切得清淨  
一切得清淨

一切得清淨  
一切得清淨  
一切得清淨

一切得清淨  
一切得清淨  
一切得清淨

一切得清淨  
一切得清淨  
一切得清淨

一切得清淨  
一切得清淨  
一切得清淨

一切得清淨  
一切得清淨  
一切得清淨

一切得清淨  
一切得清淨  
一切得清淨

一切得清淨  
一切得清淨  
一切得清淨

一切得清淨  
一切得清淨  
一切得清淨

一切得清淨  
一切得清淨  
一切得清淨

一切得清淨  
一切得清淨  
一切得清淨

一切得清淨  
一切得清淨  
一切得清淨

一切得清淨  
一切得清淨  
一切得清淨

者智拳印異名也  
問智拳印異名也  
提最上印

勝覺能與佛菩薩印  
勝覺能與佛菩薩印  
勝覺能與佛菩薩印

明黑闇印  
明黑闇印  
明黑闇印

第一善提印  
第一善提印  
第一善提印

秘密引導第一智印  
秘密引導第一智印  
秘密引導第一智印

提勝上印  
提勝上印  
提勝上印

證大善提印  
證大善提印  
證大善提印

耶印  
耶印  
耶印

盧遮那如來無盡福聚大妙智印  
盧遮那如來無盡福聚大妙智印  
盧遮那如來無盡福聚大妙智印

中無法界印  
中無法界印  
中無法界印

別子細法界體性智印  
別子細法界體性智印  
別子細法界體性智印

卷軌文分明也  
卷軌文分明也  
卷軌文分明也

用智拳印是理智不二之表  
用智拳印是理智不二之表  
用智拳印是理智不二之表

事大佛頂金輪法時既口決了  
事大佛頂金輪法時既口決了  
事大佛頂金輪法時既口決了

大日真言禪林傳究竟祕事也云  
大日真言禪林傳究竟祕事也云  
大日真言禪林傳究竟祕事也云

本尊印言根本印言二印次或用智拳印  
本尊印言根本印言二印次或用智拳印  
本尊印言根本印言二印次或用智拳印

陀羅尼禪林寺傳云用智拳印大日真言  
陀羅尼禪林寺傳云用智拳印大日真言  
陀羅尼禪林寺傳云用智拳印大日真言

三寶院權僧正傳云外五股印用歸命  
三寶院權僧正傳云外五股印用歸命  
三寶院權僧正傳云外五股印用歸命

印用陀羅尼經深祕師主口傳云學都婆  
印用陀羅尼經深祕師主口傳云學都婆  
印用陀羅尼經深祕師主口傳云學都婆

間五股印有說處乎  
間五股印有說處乎  
間五股印有說處乎

股印云形如五股金剛以此一印通用五  
股印云形如五股金剛以此一印通用五  
股印云形如五股金剛以此一印通用五

智復乃用大日法界印加持五處○己身  
智復乃用大日法界印加持五處○己身  
智復乃用大日法界印加持五處○己身

爲是盧遮那如來之身文既五股印智拳  
爲是盧遮那如來之身文既五股印智拳  
爲是盧遮那如來之身文既五股印智拳

印共並說故用五股印敷  
印共並說故用五股印敷  
印共並說故用五股印敷

問無所不至印有說處乎  
問無所不至印有說處乎  
問無所不至印有說處乎

主口傳云學都婆印用陀羅尼經  
主口傳云學都婆印用陀羅尼經  
主口傳云學都婆印用陀羅尼經

云波利○作慕陀羅尼屈其頭指以父母  
云波利○作慕陀羅尼屈其頭指以父母  
云波利○作慕陀羅尼屈其頭指以父母

指押合掌當其心上誦此陀羅尼百八遍  
指押合掌當其心上誦此陀羅尼百八遍  
指押合掌當其心上誦此陀羅尼百八遍

文出此印文故知師主口傳作學都婆印  
文出此印文故知師主口傳作學都婆印  
文出此印文故知師主口傳作學都婆印

默尊勝破地獄軌載三種悉地真言皆是  
默尊勝破地獄軌載三種悉地真言皆是  
默尊勝破地獄軌載三種悉地真言皆是

大日如來三身真言也上品悉地真言當  
大日如來三身真言也上品悉地真言當  
大日如來三身真言也上品悉地真言當

流最祕明用學都婆印敷故野決云學都  
流最祕明用學都婆印敷故野決云學都  
流最祕明用學都婆印敷故野決云學都

婆印敷者祕言只尊勝可用之但甚  
婆印敷者祕言只尊勝可用之但甚  
婆印敷者祕言只尊勝可用之但甚

祕故祕不可授之努力努力力文此事如法  
祕故祕不可授之努力努力力文此事如法  
祕故祕不可授之努力努力力文此事如法

尊勝祕事也尤可祕之常喜院云虛心合  
尊勝祕事也尤可祕之常喜院云虛心合  
尊勝祕事也尤可祕之常喜院云虛心合

掌左右頭大二指各相捻通諸佛頂總印  
掌左右頭大二指各相捻通諸佛頂總印  
掌左右頭大二指各相捻通諸佛頂總印

也小野僧正抄大御室每日兩拜諸尊印并  
也小野僧正抄大御室每日兩拜諸尊印并  
也小野僧正抄大御室每日兩拜諸尊印并

別尊密印等令作給尊勝印用之云  
別尊密印等令作給尊勝印用之云  
別尊密印等令作給尊勝印用之云

私云尤重於尊勝陀羅尼經可祕藏  
私云尤重於尊勝陀羅尼經可祕藏  
私云尤重於尊勝陀羅尼經可祕藏

云已上  
云已上  
云已上

口云結智拳印尊勝陀羅尼經加  
口云結智拳印尊勝陀羅尼經加  
口云結智拳印尊勝陀羅尼經加

白寶口抄卷第三十二(尊勝法下)



三遍何不然乎 答有由緒口傳云  
私云南無恒謙喇迦烏瑟尼沙薩恒德  
藥多 三遍是即尊勝之梵號也然此梵  
號三遍既唱之故尊勝處重三遍不可  
唱之歟但玄秘鈔有由緒口傳者初三  
遍普門之尊勝即大日也後一門之尊  
勝是除障之一德也云意也尚尚可證  
之

口云此八佛頂次第依胎藏數若八佛頂  
句略之時只南無恒謙喇迦烏瑟尼沙薩  
恒德藥多句許也見裏答云

迎請 大鈞石  
結界 不動  
字輪觀 五大

護摩事

次第云就息災修之或增益云  
裏書云此法息災增益之內當可就增益  
云玄秘鈔云一卷軌云本尊尊像安東  
塔云增益也又息災行之云妙鈔云  
一卷軌云本尊像安東塔云增益也雖  
然又行息災也云口云只尊勝法當流  
小御修法也又滅罪付息災行之為延壽  
付增益修之也又障障等殊可修之凡除  
病滅罪敬愛產生等何事可修之也本文  
如此可勘見之云

增益文

二卷軌云呢喃於西門坐而東佛像面向  
西○日於七日內誦數滿萬遍萬遍了佛  
頂山放光明呢七日內如如發露懺悔

起大悲願當爾之時即得法成更莫疑怪  
之純心供養生福無量又云或先無福  
德福德增加又云悉地有三種下悉地  
者長生不死多智幸福德無不具足住壽  
萬萬歲文一卷軌云或於淨室盡本尊尊  
勝陀羅尼像安於東壇持誦者以面對之  
女經云○於壇西畔面東向像燒香禮  
拜文

延壽文

經云波利 爾時善住天子受此陀羅尼已  
滿六日六夜依法受持一切顯滿應受一  
切惡道等苦即得解脫住菩提道增壽無  
量甚大歡喜高聲嘆言希有如來希有妙  
法希有明驗甚為難得令我解脫文二卷  
軌云此善住天子七遍惡道之身一時消  
滅文

滅文

私云尊勝法專為延壽也善住天子依  
此法力延壽命有本因緣既如此云  
經云波利 若人命欲將終須臾憶念此陀  
羅尼還得增壽得身口意淨無苦痛爾其  
福利隨處安穩文又云受持此陀羅尼法  
亦為短命諸衆生說當先洗浴著新淨衣  
白月圓滿十五日時持齋誦此陀羅尼滿  
其千遍短命衆生還得增壽永離病苦一  
切業障悉皆消滅一切地藏諸苦永得解  
脫諸飛鳥畜生含靈之類聞此陀羅尼一  
經耳盡此一身更不復受文經云 善淨始  
從白月一日乃至圓滿十五日持齋戒一  
心誦陀羅尼滿其千遍令短命者命還增

續永離病苦一切業障悉能消滅一切地  
獄之苦文經云 波利 佛言過去過大惡病  
聞此陀羅尼即得永離一切諸病亦得消  
滅文經云○若有四生衆生一聞是陀  
羅尼者現生一期更無他疾洗苦惱事文  
私云此等文除病延命等也  
二卷軌云每月十五日自觀本尊心誦或  
遣人誦皆滿一千八遍能除一切災殃長  
壽增福文又云如法持誦必獲無生悉地  
有三種下悉地長生不死仙中為王或世  
間一切勝事巧妙住壽萬歲中悉地為轉  
輪聖王住壽一切上悉地者證五地已上  
八地已來菩薩身一念開過十佛刹微塵  
數佛世界一佛前承事供養化度衆生  
如是說者名為有相悉地其無相悉地者  
前三種悉地為下悉地若無相中悉地者  
或得本尊身若得應化身乃至十地位菩  
薩之身號曰中悉地其上悉地者三業即  
是三密三密即三身三身即是大毘盧  
遮那如來智若得如是毘盧遮那之身若  
證法界普現身同一法界同一體性一心  
之外更無一物而可得立諸佛虛空相虛  
空亦無相心同虛空故修證祇者亦同一  
體一念之頃越三妄執度三僧祇行初發  
心時便成正覺即是悉地之身也此是無  
相悉地中最上悉地之法也文

息災文

私云除病延命等就增益可修之歟  
經云波利 若有人聞一經於耳○隨其福

利隨處安穩一切如來之所觀現一切天神恒常侍衛爲人所敬惡障消滅一切苦薩同心護護文經云日若有四生衆生一聞此陀羅尼者現生一期更無他疾諸苦惱事文

滅罪文

又云於白月十五日誦此最勝佛頂陀羅尼呪一千八遍一切惡業十惡等悉皆消滅當得阿耨多羅三藐三菩提諸佛菩薩親摩其頭授菩提記文

又云持此陀羅尼者是入三世所有五逆四重根本一切重罪悉當消滅文

經曰此利佛告帝釋言天帝有陀羅尼爲如來佛頂尊勝能淨一切惡道能淨除一切生死苦惱又能淨除諸地獄閻羅王界

畜生之苦又破一切地獄迴向善道天帝此佛頂尊勝陀羅尼若有人聞一經於耳先世所造一切地獄惡業皆悉消滅當得清淨身隨所生處憶持不忘文又云佛告帝釋言此呪名淨除一切惡道佛頂尊勝陀羅尼能除一切罪業等障破一切穢惡

道苦天帝此大陀羅尼八十八種伽沙俱抵百千諸佛同共宣說隨喜受持大如來智印文又云若人須臾得聞此陀羅尼千劫已來積造惡業重障應受種種流轉生死地獄餓鬼畜生之身更不重受即得轉生諸如來生補處菩薩同會處生又云若人能書寫此陀羅尼安高幢上或安高山或樓上乃至安置卑都婆中○若有

慈蜀慈蜀尼優婆塞優婆夷○於幢等上或見或相近其影或風吹陀羅尼上幢等上塵落在身上彼諸衆生所有罪業應隨惡道地獄畜生閻羅王界餓鬼阿修羅身惡道之苦皆悉不受文二卷軌云若有過去一切十惡五逆四重諸罪燒燼除滅若去衆生隨處得聞此大灌頂光王尊勝頂輪王眞言一二三七遍經於耳根者即得除滅一切罪障若有瑜祇者堅念一切七趣有情於高山頂上各禮十方各誦尊勝眞言一遍願所望及處一切衆生皆悉脫離一切罪苦當來生不動佛國文

私云滅罪付息災可修之故息災滅罪同之歟

敬愛事

經云杜行 日日誦此陀羅尼二十一遍罪滅福衆人愛敬命終之後生極樂國文

私云此法增益息災難行之可用四種法歟一卷軌云若作息災法面向北其

境圓觀聖白色道場中所供養物皆白身著白衣面向北坐燒沈水香若作增長法面向東坐本尊及供養并自身衣服悉皆黃色燒白檀香若作降伏法面向南坐本尊及供養并衣服并青色或黑色燒安悉香若作敬愛法面向西坐

觀本尊赤色及飲食衣服皆赤燒蘇合香文此文分明也

又二卷軌云如法供養作法念誦十萬遍必得上悉地若一百二百三百四百

萬遍不作法亦得成就一切世間所求勝事無不隨意文此文所求云可通一切也必不限四種五種歟

重明親王記云天慶七年十二月十八日大相府問云病之次謁右大臣諸古事大臣云故連丹律師傳說云忠仁公奉衆殿太后文德天皇之後久無娠大臣患之語眞雅僧正令祈之僧正依尊勝法修之清和天皇誕生仍貞觀之間敬重彌深於是創建貞觀寺云

私云此產生祈證據歟

經云養得 若人能日日誦此陀羅尼二十一過應消一切世間殊勝廣大供養捨身往生極樂世界若常誦念得大涅槃復增壽命受勝快樂捨此身已即得往生種

微妙諸佛利土文

私云此文消滅信施生淨土也如是種種文是多可見經軌矣

部主段 或實生部主

口云佛頂部故以金輪佛頂爲部主亦金輪尊勝一體故用部主也寶生付增益行之故爲部主此法以增益爲本也又如法尊勝法必用寶生也

或云部主大日降三世大日金輪三寶寶生實運

如法時寶生 普賢

延命和修寺已上

金輪 用之

自加持

三寶

三寶

三寶

根本印 二手內相文直堅二光如鈎 眞言曰

召請 大鈎印 三滿多母駄南引勃喚唵合三

金輪眞言如自加持 四加引請句

供物 同眞言 加息

發遣 準召請

寶生 用之 眞言曰

自加持 印 便成金剛形 眞言曰

唵 羅恒義二 三婆嚩恒落合

召請 大鈎印 加引請句

寶生 眞言如自加持 加引請句

供物 同眞言 加息

發遣 準召請

本尊段

自加持 尊勝官印 二手合掌二頭指甲相背以二

眞言曰

唵 阿密哩多 諸惹嚩底堅寶

召請

除障印 內縛三招或外五股印 以右招

本尊眞言如自加持 加引請句

供物 同眞言 加息或

發遣 準召請

諸尊段 三十七尊

世天段 如常

### 白寶口抄 光明眞言法上

本書事

不空 羅素尼 慮遮那 佛大灌頂 光明眞言

一卷 不空譯

出不空 羅素經二十八灌頂 眞言成就

品第六十八 此一品別譯出爲一卷 儀軌貞元并海錄無明字 仁錄有之

又 光明眞言 儀軌一卷 不空譯

常喜院鈔云 惠什闍梨云 世流布儀軌

不知諸來人難定眞僞 文言不似三藏

筆云

觀智律師持本記云 池房大僧都授信

受小野僧正 件本在花藏院

名字事

儀軌云 此秘密眞言 呪此萬億無數諸佛

如來心中 祕密心呪也 誦持此眞言 神呪

者即萬億無數諸佛如來歡喜 此大毘盧

遮那如來無量壽如來兩軀如來心中 呪

誦一遍爲誦萬億無量陀羅尼百億無量

法門耳 最此大毘盧遮那如來肝心祕密

呪三世三劫一切諸佛如來由誦持此眞

言呪力速得成正覺 此神呪是百億無數

諸諸佛如來母百億無數菩薩聖衆母 此

大神呪此大明呪此無上呪此無○等呪

依此名光明眞言此釋迦如來常恒恭敬

禮拜昔修忍辱仙人行間常誦此眞言呪

時從頂出現百千光明照耀三千大千世

界成等正覺故名光明眞言五智如來現

作我身從頂各放出百千火曜燒滅魔王

軍剎并燒滅魔王宮時魔王衆引類皆摧

滅爲如來而成眷屬了時即依此百千光

火曜光明三千大千世界中惡道黑闇處

地獄一切惡趣苦處被照此百千火曜光

明皆成甚明了 依光明力地獄餓鬼畜生

阿修羅等皆悉解脫惡趣速得成正覺故

名光明眞言是故一切行人智者常可受

持誦誦此眞言一切天神地祇一切靈鬼

等成佛大日緣文

問不空 羅素經二十八灌頂成就品云 說

不空大灌頂光明眞言文即此眞言可擬

傳法灌頂明歟何顯露授之乎 答凡此

法入壇以後祕法也但付灌頂有義祕藏

記云又於灌頂有三種一摩頂灌頂諸佛

摩頂二授記灌頂諸佛以言授記三放光

灌頂諸佛放光令被其人得益云此文尤

符合彼二十八卷爾時十方刹土三世一

切如來俱應遮那如來一時皆伸右無畏

手摩清淨蓮花明王頂說不空大灌頂光

明眞言文

就十八道修此法又懸胎藏漫

荼羅於其前行之事

口云玄秘鈔云以十八道行之云 則師

傳分明也十八道者不二祕法蘇悉地妙

行也故此法亦不二法故就十八道修之

也 問本尊既胎藏曼荼羅也然者就胎藏可

修之何就十八道乎 答此法本尊或金剛界大日或阿彌陀或不空羂索觀音等也此中雖何尊皆付十八道行之爲習當流相承兩部大日并諸尊悉習不二之尊故必不限此大詐諸尊法就十八道行之爲習薄雙紙次第等即此義也十八道理智不二之故兩部通用也可思之云

勸修先例事

遍智院僧都義範爲祈圓光院聖靈之御菩提大日爲本尊也云同僧都白川院紀賢子中宮御中陰同胎藏曼荼羅也同僧都一條院母后御中陰光明眞言密被修之本尊胎藏曼荼羅也之三寶院權僧正勝安白川院御中陰籠居光明眞言法胎藏曼荼羅被修之

問不二曼荼羅其圖位如何 答就不二曼荼羅有異義或胎藏八葉九尊外院八供四攝圖之或金界大日胎藏界四智四行圖之但當流習智拳印大日令放百光是理智不二大日也百光表胎界智拳印表金界也三昧耶形五輪五色塔種子共通用也云

私云今口傳實賢僧正口訣歟彼口訣云光明眞言法本尊用不二大日也金剛界大日令放百光住智拳印百光表胎界智拳印表金此不二大日云也三昧耶形五輪五色塔種子共通用云

似此口訣可知云

問就大法不修之歟如何 答次○裏書云問就大法不修此法歟就大法修也一師傳也更不可違背云依此說者付大法可修之歟

問大法時應胎藏曼荼羅付胎藏可行之歟如何 答應胎藏界漫荼羅就金剛界行之道場觀許胎藏大日觀之自餘不替之

已上二師付金剛界修之

濟朝堀河院五十日應胎藏八葉修之實範聖人鳥羽院御中陰應兩界曼荼羅光明眞言本尊曼荼羅被修之光明眞言本尊曼荼羅者不二曼荼羅也八葉九尊表胎藏四攝八供金界也覺洞院僧正時法印自安○元年七月比延春門女院御著提一因忌之間於法住寺北內裏所也給合行光明眞言法給向南被懸兩界曼荼羅諸事普通息災法也據圖形也本尊懸北修

之也同僧正自建久三年三月比後白河院御中陰被修光明眞言法應同曼荼羅修之一週之後被移上醍醐覺洞院了私云或抄云覺洞院僧正爲後白河院御中陰光明眞言法被修本尊胎藏曼荼羅云相違也可尋之

定濟僧正時東寺文永九年二月後嵯峨法皇御中陰應兩界曼荼羅修之實勝法印文永九年八月九日京極國母院崩御於山科殿御中陰應兩界曼荼羅修之五旬以後一週之間供修之云

私云應兩界曼荼羅爲本尊是理智不二習之故猶深祕樣歟但報恩院口傳云今法本尊雖諸流各別今以胎藏大日爲本尊爲深祕胎藏大日殊具光明給故也諸百光遍照三部字輪觀者也兩部爲本尊者本尊決定胎大日爲本尊人爲シラシメナカブレカサンカタメナリ云此義以胎藏大日爲本尊事爲祕之且應兩界歟實以兩部不二之大日爲本尊甚深祕密意也故應兩界行之也

本尊胎藏大日事

口云祕鈔云本尊胎藏大日遍智院僧都傳也○應胎藏曼荼羅可行之○胎藏之中有百光遍照以胎藏大日爲本尊最優美也云當流祖師傳如此以胎藏大日爲本尊是相承之口傳也此法先爲亡者修之也彼四重海會九界悉圓然亡者

本尊胎藏大日事

本尊胎藏大日事

本尊胎藏大日事

本尊胎藏大日事

本尊胎藏大日事

本尊胎藏大日事

本尊胎藏大日事

本尊胎藏大日事

本尊胎藏大日事

本尊胎藏大日事

本尊胎藏大日事

本尊胎藏大日事

本尊胎藏大日事

生處可有九界中故對胎藏一曼荼羅直  
向亡者利彼善意也亦六道衆生皆同利  
益可觀誦也道場觀云放五色光明遍照  
法界衆生上自有頂下至無間遇此光明  
者皆離苦得樂云、即此意也云、

又口傳云金界修生顯得義胎界本有義  
也此胎藏大日百光遍照王大日也百光  
字流轉生死義爲字相以此字爲光明故  
是衆生本有光明也此百光明行者二手兩  
足各百二十指放五色光明合成百光每  
指放五色光明故各具五智義也以彼五  
智光明百光遍照同令破九識暗也疏四  
云阿闍梨言凡人汙染心猶如蓮花含  
而未敷之像有筋脈約之以成八分男子  
上向女人下向先觀此蓮令其開敷爲八  
葉白蓮花座此座上當觀阿字作金剛色  
首中置百光遍照王而以無垢眼觀之以  
此加持故即成毘盧遮那身也以此方便  
觀毘盧遮那身與我身令無二無別文

### 種子事

口云**種子**者是本尊胎藏大日故用之**壽**  
字萬德莊嚴之身方便具足義是具足因  
行證入之四點放五點具足字也付此字  
讀兩點**壽**也雖然此兩點不可讀之中  
臺種子**壽**字也仍付本體可讀**壽**是口傳  
也但字下二點是第二修行點也又傍一  
點加之尤無用也然而小野僧正如此令  
去給也此**壽**字五點具足故五智也故道  
場觀云**壽**字此字具五色放五色光明云

此五色光明者五智光明也  
問疏十四云**壽**惡、是種、雜色也上點  
白色文既云雜色何云五色光明乎 答  
雜色不可出五色五智故即百光王者  
可也五五二十五也因二十五行二

十五證二十五人二十五之故云百光遍  
照王又寶冠五佛者此因行證入究竟也  
此五色雖分種、多色實其五色也以分  
多種種、雜色可意得之也  
問上點即白色云、今四色點如何 答  
或云**壽**體黃色涅槃點空點赤色也  
私云青色無雜也可尋之

口云玄秘鈔云或人云胎藏大日此法時  
種子**壽**字三形五色光云、私云此傳有  
與歟文用**壽**字事尤吉**壽**一字含藏諸德  
是**壽**字即白淨圓明之體周遍法界光明  
赫奕亦**壽**字是淨菩提心義自利他化  
用自在也是則寶珠德也故化用無礙自  
上有頂至下無間無所不照無物不益也  
凡以**壽**字爲種字以光明爲三形是事西  
院并金玉等同用之大御室御說也廣澤

流多分此說也  
西院云種子**壽**字三形スイ也スイ云玉  
光義也**壽**字云言初也淨菩提心**壽**字佛  
心利他化用自在在義門如意珠以其本性  
謂**壽**字光明白淨圓明以心月輪號即是  
寶珠化用無礙大小自在或法界周遍光

明赫奕照觸衆生罪障消滅但行者所觀  
一寸量周圍量擬五尺四寸充是行者身

等本尊可觀義後心塔指所即此寶珠也  
佛心以故此心塔名師薄伽梵也此功德  
聚翻遮那心分德無○眼故也疏六云覺  
音制底與寶多體同此中秘密謂心爲佛  
塔也已上

口云**壽**字有光明義或云天竺在王號如  
梵天王受重病失術方時有聖人書**壽**字  
七日七夜煎之爲大日浴之即時消除重  
病從身故放五色光是在於**壽**字在光明故  
放光各具五智故在五智光也云、又百  
光遍照皆**壽**字大空開出故皆**壽**字大空  
所屬也故以百字爲**壽**字**壽**字眞言王  
也大日經云布眞言王者即**壽**字也文所  
詮**壽**字**壽**字共胎藏大日種子也不可相  
違可知三部抄種**壽**胎百光遍照大日爲  
本尊也云、

### 三形事

口云塔者五輪塔婆也五輪即是五智輪  
故自五輪放五色光明即五智光明也道  
場觀云自五輪各放光即五智光明也如  
此可習也又云此塔婆者衆生本有塔此  
中秘密謂心爲佛塔云、是一切衆生皆  
悉五輪之即體也今此法殊爲亡者波罪  
修之依一念之迷受六道之輪迴破彼煩  
惱黑暗只有此光明眞言功力此光明五  
輪五色也五大體光明用也謂本尊五大  
行者五大亡者五大三平等法界體加持  
之時心佛及衆生其體平等凡聖不二也  
諸佛自勝即凡夫一念之心體故成功德

聚法界學都變身亡者其時無滅罪乎不功德乎故即身成佛秘法也餘善無過之者也云、或口決云明海僧都口訣云五輪塔空輪、五火塔出又光明三通內五股立此則胎藏吉祥體但此處置五股放光明又何三昧耶形修此法時我心二乳間置此形即觀我心放光明照十方世界無所不至也云、又白輪中三寶寶珠光明如此雖有多三昧耶形此流初用寶上五股金剛杵仁海所記云、已上奉口決云光明真言法有三種三昧耶形一五股二五輪三光明也謂五股五相成身時用之五輪塔道場觀時用之光明入我、入時用之也天五相成身時五股上下十峰各放五色光明光明漸々廣大小千界乃至法界周遍光明赫奕照觸受善衆生又光明漸促如故納已身大日五相成身蓮華月輪等如說相成身壇上有字變成五輪塔塔變成大日如來放五色大光明照六道衆生已上道場觀入我、入時只觀五色光明許也本尊我身亡者同共成五色大光明互現互影入我、入三法一體也云、已上

私云爲才學記之云、

### 道場觀事

口云心上云、先心上直觀道場是自身五輪塔婆故於心上爲法界塔婆即胎藏法界塔婆也疏第六云覺音制底與賀多體同此中秘密謂心爲佛塔也如第三曼

荼羅以自心爲基次第增加乃至中胎涅槃色最居其上故此制底甚高又從中胎八葉次第增加乃至第三隨普門身無處不遍故此制底極廣蓮花臺達摩祇都所謂法身舍利也文是胎藏四重曼荼羅自心佛塔也故云心上也不限行者心上亡者心上及六道衆生心上亦復如是心佛及衆生是三無差別故也

### 光明心殿事

光明心殿者瑜祇經云普賢滿月不壞金剛光明心殿文大師釋住心論云光明心者嘆心之覺德嚴者明身心互爲能住所住文

口云此五輪塔者五智圓光所成妙塔故云光明心殿也今法光明尤有其謂也凡光明真言法依正二報皆悉以光明爲體故也云、

### 住正受事

問住正受其義如何答正受者思惟異名定義也仍大日住定印云意也

### 從身放五色光明事

問胎藏大日百光遍照尊也然者從首中放百光也何從身放五色光明其意如何答或百光遍照之義尤當流用之歟但今次第五色云、其故五輪所成大日如來故云五色光明也四佛是大日如來四智故五部法大日放五智五色光明猶有道理歟凡百光遍照不出五智五色各具五智故五智五二十五也此五智有因

行證入四點都合是百光雖有廣略差所詮五色也仍云放五色光明也

### 離苦得樂事

口云爲亡者修之離苦得樂所能觀彼亡者被照觸此五智光明即拔苦與樂頓證得菩提六道衆生皆悉離苦得脫可觀之也

問慈悲平等也何先觀亡者乎答次第裏書云佛利益雖無親疎先道有緣故也云、此意也



白寶口抄 光明真言法中

印真言事

外五股印

大師難問答云五股表五智如來○法身正理捨方便故處中正直四佛身智淨方便故曲而向中是故皆不直○光明即表如來智光瑜祇經云各於五智光明峯杵出現五位俱抵祇經金剛遍滿虛空法界諸地菩薩無有能見俱不覺知熾然光明自在威力當於三世不壞化身利樂有情無時暫息○以金剛自性光明遍照清淨不染種種業用方便加持救度有情演金剛乘文聖位經云毘盧遮那佛於內心證五峯金剛菩提心三摩地智自受用故從五峯金剛菩提心三摩地智中流出金剛光明遍照十方世界淨一切衆生大菩提心文

口云付五股印爲他用外五股印自行時內五股印也謂內五股除內障內障者從五股杵放五智光破九識暗是自身之義也外五股除外障外障者放五股智光破一切衆生九識暗是化他也是一義也實內外共可有自他兩義也此五股印表五智光明謂五智即五佛也五佛放五色光明照一切衆生九識所起惑障暗令證五智菩提義也云

私云覺禪云誦云兩部合身印也二界

五股五智光放各別別生法界體性智光斷第九摩羅識惑障廣大圓鏡智光斷第八識惑障放平等性智光斷第七識惑障放妙觀察智光斷第六識惑障放成所作智光斷前五識惑障也此法以五智光破九識所起惑障暗也此義照九識暗證五智菩提義歟文泉房云五智體者一智一位俱抵金剛令生五位俱抵本三昧耶之金剛始各出生五位俱抵金剛一五一色光明放有緣無緣衆生九識心暗令破可觀之云或書云一師口傳云光明真言法秘云日月二掌彼此少五股形作兩部遍照五智可思也此二印和合作印日月和合五智光明杵也日月並云光明義也月輪理法身日輪智法身爲祕也明常二障令滅光明也二轉障歸也云口云五股印者說瑜祇經則是五峯八柱法性塔也上有五峯是五智金界也下八柱八葉九尊胎界也即胎藏因義金界果義是因果不二三昧耶身法界宮殿本有常住善賢滿月光明心殿也無所不遍是法界道場契印也是灌頂大事也但左五指五凡右五指五聖兩指合成凡聖不二五股印是○智圓滿身故覺不覺放五智光五拔苦與樂也

真言五字明事

大日經三云降伏四魔解脫六趣滿足一切智智金剛字句○我信了未信文疏十

二云以此五字爲摩訶薩能滿一切願也文本經有三千五百偈說此五字義祕藏記云毘盧遮那經以五字真言爲宗文摩勝破地獄軌云遍滿十方光明是曜○若誦一遍如轉藏經一千遍文又云地獄轉業障出三界誦兩遍除滅億劫生死重罪若誦三遍三昧現前若誦四遍憶持不忘若誦五遍速成菩提文

五色光印事

不空羼索神變真言經二十八灌頂真言成就品六十八爾時十方一切刹土三世一切如來毘盧遮那如來一時皆伸右

無畏手摩清淨蓮花明王頂同說不空大灌頂光明真言曰○文此經既伸右手無畏印說光明真言故先德皆光明真言印用此印也

私云清淨蓮花明王者不空絹索觀音異名也

口云此五色光印又名五智光印。又云五輪光印。又云施無畏印。是極祕印也。諸經要集十五色百緣經云。佛以慈力於五指端放五色光明。照彼蛇身。即得清涼無毒消除。此蛇命終生心開意解。得須陀洹果。供養。○聽佛說法。心開意解。得須陀洹果。文是從五指放五色光明。其證略謂。右手令開舒五指向外。想五色光明者。五指端觀五色光明。大指白頭指青。中指黃。無名指赤。小指黑。此五色果位。五色也。故五智之圓光。照生死長夜衆生。悉令生淨利可觀之也。凡諸佛大悲普雖平等利益。必自親至。缺口內外放光。結此印。我所訪亡者上覆熾然之光明。依此印。言加持力消滅無量重罪。令成萬德果位。此光明照法界。故法界衆生同共遇此光明。悉離苦得脫。可觀念也。左金剛拳安腰。是顯右五色印德也。金剛拳智德耳輪也。右印輪五智如來各入光明三摩地。此云日輪理。義也。表理智圓珠德。兩部彼日性摩尼月性摩尼。是兩部大日之遍照化用也。故以大日爲本尊。光明眞言法。以此智爲深祕也。又云小指地。觀根本智。諸法悉從我生。故

也。無名指水。大慈悲。智水必從高向下。故也。  
中指火。大智火也。智火燒一切不淨故也。  
頭指風。自在。智生一切物自在。故也。天指  
空。無礙智。空故一切諸法無礙故也。放五  
色光受苦衆生拔苦與樂也。又一智具五  
色。各具五智。故放二十五光。破二十五  
暗也。又五指端放光明。從五指根間  
出寶珠。是受苦衆生授與福智。可觀之。光  
明眞言云。阿句寶珠義。阿句光明也。故  
印明一致也。云。又結此印一說云。舒右手  
五指向外。舉右肩。程作施無畏。左手仰舒  
左膝上。垂下五指。觀想上從有頂下至郛  
落。白十指放五色光。明照十界。即左五指  
地獄。鬼畜生。修羅人。右五指天聲聞緣  
覺。菩薩佛配之。云。惠什闍梨云。左手放五  
智光。照五趣。小指地獄。大指人也。右手放  
五智光。明照天聲聞緣覺。菩薩佛。小指天  
大指佛也。小野樵僧正大御室。以舍授給  
云。以之思之。仁和寺流大御室。以後此義  
歟。或云。右五指光明上至有頂金界也。  
左五指光明下至無間胎界也。左右十指  
即十界。云。又云。右手三度轉之。想放五智  
光。照三世。云。華藏院云。右五指舒三轉。想  
放五智光。照三有衆生。云。

普及其人士事

先用之五色光印言今此法別門也故並  
用之也但五色光印五智五股印也故祕  
密集云右手舒五指離立思五股觀念自  
五指端放光照施主并亡者可思之或人  
云右手五指五股形立之中指中ナシテ  
可立也此口傳五股印也外縛五股印  
五色光印共表五智光之故皆同事也

光明眞言句義事

不空羅索頓變眞言經灌頂眞言成就品  
第六十八云

第六十八云

噫我中聲  
引呼一  
強暮伽上  
發無計  
喚者娜一  
摩

四 波羅二 雙單舒牛 五 鉗頭合二 磨入縛擢

不空別譯軌。彼內題云。不空羼索毘盧遮。

那大藏頂光明真言一卷

唵阿謨伽尾盧左曩摩訶母捺羅摩拏鉢

八家錄云貞元新入目錄海仁

私云：花藏院自筆本以朱注云：下有

石氏書不字。常喜院云不審云々

毘盧遮那佛說金剛頂經光明真言儀軌

阿彌陀佛

摩尼波頭摩 四 蘇婆 二 羅 五 婆羅波利 二 合 六

陀耶七引 昨婆吒蘇婆二合 訶

私云世流布。但不知請來人也。

經中云：摧頂滅惡趣。况

唵阿日伽吠盧遮那摩賀母捺羅摩泥鉢

納摩入縛羅鉢羅經多野呼發吒薩轉賀  
私云此兩軌有云云云

世流布儀軌云初阿目伽者此三身萬德  
如來心中密言次摩盧舍那者此其如來  
真寶明句言次摩河穆陀羅者此五智如  
來心中密言次摩尼波頭摩者四攝智菩  
薩等心中密言次蘇婆羅者光明次波羅  
婆利陀耶者是三世三劫一切諸佛如來  
一切菩薩等心中密言次呼婆叱者此昆  
虛舍那如來無量壽如來大神力威猛大  
勢力密言破裂地獄生淨土句言次蘇婆  
訶者此證得大菩提果句言云

如常句義云  
三井流云  
三井流云

口云我知此者此云無間斷又云不空也  
理趣經開題云不空者梵語云云內證  
大樂化他大欲無有間斷故云不空取  
時佛部即法界體性智也五種法時是息  
災也又云此云通照是除開遍明義五部  
謬印者決定不改義故又必定成就之義  
故云大印五部時金剛部即大圓鏡智五  
種法時調伏也又云此云寶是能隨人意  
雨諸寶成衆生願望是上我知此者下  
不空遍照所成摩尼寶故法界悉淨菩  
提心如寶珠也依正併寶珠也依正併  
寶珠證也印可決定說我知者不簡情

非情周遍同滿是大義也五部時寶即平  
等性智五種法時增益也又云此云蓮華  
出生淤泥其性淨潔香氣芬馥是可愛安  
也如來亦如是出從三藏泥濁而無所染  
一切自性清淨也故云蓮花五部時蓮花  
部即妙觀察智五種時敬愛也又云此云  
光明即光焰義此蓮花光明兩種上寶珠  
能成理智是光明真智體也又云此云  
云轉又摧破義也謂轉自身心光明入他  
身心破煩惱業苦闇義也五部時羯磨  
即成所作智五種法時鉤名也又云三解脫  
門義又忿怒義也所證初字胎大日經  
金大日也中間五部表兩部不二義也

三井流云  
三井流云  
三井流云

明惠上人傳云三者一切真言本母也我  
知此四字合成三身具足義等如常說  
遮那大印也則不空見處處那如來之不  
空大印也即云我知此者蓮花即一切  
是摩尼珠即一切如來福德聚門即下大  
智大悲所生功德也又云此者蓮花即一切  
如來法身又是大悲也又云此者蓮花即一切  
如來大智惠也又云此者蓮花即一切  
前諸功德依此真言功力易成就也又轉  
上功德即充滿我身轉滅罪障轉得福德  
也又云此者第四轉印為聲也謂為此見虛

遮那如來大智大悲不空大印所印故於  
此三不善根淤泥中即印現如來無量功  
德是故衆生機聞名號即得如來加持乃  
至脫草木土砂即印現佛德也又云此者因  
義因義者謂菩提心為因即一切如來菩  
提心亦是一切如來不共真如妙體恒沙  
功德皆從此生云

口云此光明真言終有云云之句若  
加此印誦光明真言之時終有云云  
五色光印誦光明真言之時終有云云  
印向下如打物之勢是則打破地獄義也  
次以同印成引上物之勢也想打破三途  
之岸所訪始亡者受苦衆生引上淨土由  
可觀念也如此三度打之明各一遍又云  
光明真言以加句為常流習理性院流殊  
祕藏習傳之也誦加句者云云云云云

等誦也云云三字是淨土變真言也金  
輪時處執云唯僕欠云由此真言加持威  
力故即變此世界成極樂刹土是變穢  
土成淨土義也既依此真言加持力轉六  
趣之穢土或淨土故利自他功能尤相應  
又此句名光明真言變加句三寶院權僧  
正勝覺成亡靈託大佛聖人南無阿彌陀  
佛身聖人於上醞釀住房俄物狂言  
如法甚深法門等示愛中將阿闍梨琳海  
聞此事云此靈下定勝覺僧正御房ナム  
トニハ不劣ト云云為法樂於靈前誦光  
明真言靈聞之云光明真言有加句云  
三字也云琳海聞之則相尋加句處百

元三寶院有此加句云自此以後云靈加句也但或託理趣房賴照云或託大理想

或記云布字事口云大師記云  
或記云布字事口云大師記云  
或記云布字事口云大師記云

實海口傳云  
實海口傳云  
實海口傳云

此加持句也  
此加持句也  
此加持句也

言教祕只在此事已上  
言教祕只在此事已上  
言教祕只在此事已上

私云已上兩種大師明相承歟若然者  
私云已上兩種大師明相承歟若然者  
私云已上兩種大師明相承歟若然者

或書云燈祕有二印身印  
或書云燈祕有二印身印  
或書云燈祕有二印身印

心印  
心印  
心印

印金剛合掌者實運云金剛合掌百光王

印也胎軌說也一指十光也十指合百光也百界千如千世間皆此印攝伏之即是

光明真言祕印也灌頂後習也云加句初胎界大日大轉伽鉢納者能破義烏魯尼

沙者頂義是佛眼像也終金界大字大輪眼吉祥義我義歟某甲亡者名字大

或此加句同義歟云  
或此加句同義歟云  
或此加句同義歟云

報恩院份正口決云真言之字下加我  
報恩院份正口決云真言之字下加我  
報恩院份正口決云真言之字下加我

或云光明真言終處字上誦加真字也百  
或云光明真言終處字上誦加真字也百  
或云光明真言終處字上誦加真字也百

遍流出故加誦真字尤深理也  
遍流出故加誦真字尤深理也  
遍流出故加誦真字尤深理也

祕印明事  
祕印明事  
祕印明事

問此二印言外又有印言乎答覺洞院

印通兩部本明最祕傳云  
印通兩部本明最祕傳云  
印通兩部本明最祕傳云

金剛界準都婆印本明同印  
金剛界準都婆印本明同印  
金剛界準都婆印本明同印

智拳印  
智拳印  
智拳印

內五股印  
內五股印  
內五股印

胎藏界準都婆印本明同印  
胎藏界準都婆印本明同印  
胎藏界準都婆印本明同印

智拳印  
智拳印  
智拳印

私云是兩部合行之義歟  
私云是兩部合行之義歟  
私云是兩部合行之義歟

明惠上人傳有七種印  
明惠上人傳有七種印  
明惠上人傳有七種印

一智拳印智拳印是法身印一印會獨一

法身故二外五股印真言有五智圓滿義

放依前說用五股印是報身印五智圓滿

功德兼自利利他故此中言利他者即為

地上菩薩有十重義故也三與願施無畏

印是大悲化身印其義可知此約能成佛

身說又約所成功德如次大智大定大悲

印也一切佛德攝在此中故其義可知此

印此三身即一具虛遮那印也

又今依真言意用三印一寶印外縛以二

中指作寶形真言中有句句是也二蓮

花印前印以二中指作蓮花形真言中有

句句是也結此二印時可想從寶珠蓮

花俱放光明三八葉印或結印用八結印作此

印或結印用八結印作此

印或結印用八結印作此

印或結印用八結印作此

印或結印用八結印作此

印或結印用八結印作此

想此印成千葉寶蓮花放大光明照三千大千界可觀又智拳印又以智拳印爲總印真言中有經文云不空毘盧遮那如來大光明印等云心地觀經中出智拳印三名一名引導無上菩提第一智印此真言中蓮花義謂以佛性喻蓮花此佛性引導凡夫速令至果德二名能滅無明黑暗大光明印即是光明印三名毘盧遮那如來無盡福聚大妙智印則是摩尼印也是故此一智拳印中真言中又何以知此義悉具足也結此印時我身成毘盧舍那如來從遍身放大光明可觀之深祕

已上七種印竟

十卷鈔云光明真言三身印法身印用三昧耶會大日劍印化身印舉右手手中五指想從掌放五色光上照悲想非非想天左手揚掌放光明下及無間地獄此印或拳左手安腰云報身印虛合二頭指中指背少不相著二大指相並少入掌中云已上

清淨蓮華明王儀軌云若有人受大灌頂光明真言三衣印者速證入毘盧遮那大光明位行住坐臥常修此法文是以三衣印爲光明真言九條印如佛眼印但一空屈致水根七條印虛心合二頭指屈端相合二大指並立端少仰二頭指端少相去五條印虛合二頭指端屈指合二大指並立四箇指端聚

私云此無所不至印也此法中祕之中祕也此三衣印儀軌說故尤可用之歟口云流注之祕訣師師之口傳祕密灌頂印言等用之歟但當流習只如次第可結誦之此習深祕也不口傳相承人加用餘印明其功能何勝兩種印言此法修行先爲亡者得脫也是利益衆生之道理兩印言尤此意也但先德等義勢也仍難非之歟云

### 白寶口抄 光明真言法下

正念誦事

問光明真言字道觀如常可觀之歟如何答可觀之也云

散念誦事

口云大日者胎藏大日真言也口云依胎藏時先誦金界大日明次胎界大日明也若依金界時先胎藏大日明次金界大日明也

用阿彌陀事

儀軌云大毘盧遮那如來無量壽如來兩軀如來心中呪也文又云若爲死者此真言誦一遍者必無量壽如來爲死者授手引導極樂淨土文用阿彌陀事是等文分明也

問文意以光明真言爲阿彌陀真言誦者誦光明真言時有彌陀如來齊度何別誦阿彌陀真言乎答阿彌陀光明功力勝餘尊故十二光佛者彌陀異名也光明遍照十方世界念佛衆生攝取不捨文可思之彌陀亦極惡深重衆生濟度利生悲願超過餘佛自荷負某亡者決定引導極樂淨土故爲亡者得脫尤有緣重加誦別真言有何失乎其諸尊皆根本呪心呪心中中心呪等重用條常事也今以大日爲本尊故別誦大日呪有何疑心乎勝覺僧正御房光明真言法散念誦時偏稱名念佛

云：

用尊勝陀羅尼事

最勝佛頂陀羅尼淨除業障經云誦此陀羅尼呪○地獄畜生餓鬼便得解脫罪報悉皆消滅捨其報生諸佛國文尊勝陀羅尼經云有陀羅尼爲如來佛頂尊勝能淨一切惡道能淨除一切生死苦惱又能淨除諸地獄閻羅王界○生之苦又破一切地獄迴向善道法故用之也

護摩

觀息災

口云四種法中殊此流付息災行之安祿

不空經索經二十八云爾時十方一切刹土三世一切如來一時皆伸右無畏手摩

清淨蓮花明王同說不空大灌頂光明真言文

清淨蓮花明王者不空經索觀音異名也故光明真言者爲不空經索說之故用之也

用不動事

口云不動尊以胎藏大日爲本尊故結界明王也故用不動尊也

勸請發願願佛

問本尊既胎藏大日也何禮佛金剛界三

十尊乎故野月鈔禮佛胎尊九尊除五大

尊文此尤可爾歟如何答當流習以胎

藏尊雖爲本尊用金界行儀也必不限此

一法云

問諸尊法禮佛句四攝次加之若爾者別

可入大日句歟又以初摩訶毘盧遮那佛

可爲本尊句歟如何答既如金界云へ

別不可入大日句也

問諸尊法禮佛三遍唱之若爾者初摩訶

毘盧遮那佛三遍可唱之歟如何答不

爾只一遍也云

口云誦誦印言大鈎召也又結界明王不

動尊也又字輪觀五大但種子用我

意也

口云四種法中殊此流付息災行之安祿

鈔云息災行之云云觀師等分明也理性

院法眼口云義範僧都入滅之後鳥羽權

僧正先師三寶院僧正授云凡今法有滅

罪除病之文爲亡魂滅罪修之以金剛界

爲本尊向西曼茶羅修之爲除病延命增

益行之以胎藏爲本尊而東

爲亡者滅罪修之者付息災行之也見準

祇軌等云或付敬愛修之生死流轉之

亡者令歸本覺本有體生佛不二敬愛義

也或付鈎召修之無明流轉之亡者召入

密嚴花藏若極樂淨土也但鈎召敬愛一

致也覺禪云師云權僧正云

傳也云同傳云爲亡者敬愛若鈎召爲

現在人息災可修云

口云付息災修之向南懸本尊廻形諸

事普通息災法也若付敬愛向東懸本尊

爐八葉形土入交芥子作之其色赤色乳

木二十一枝以米砂染之淨衣同色諸事

如來爲授母陀羅尼印三昧耶神通法品

而最爲第一若有過去一切十惡逆四重

諸罪燒然除滅○有衆生墮處得聞此大

灌頂光眞言二三七遍經耳根者即得除

滅一切罪障若衆生具造十惡五逆四重

諸罪猶如微塵滿斯世界身壞命終墮諸

惡道以是眞言加持土砂一百八遍屍陀

尼中散亡者屍骸土或散墓上塔上遇皆

散之彼所亡者若地獄中若餓鬼中若修

羅中若傍生中若一切不空如來不空經

虛遮那如來眞實本願大灌頂光明眞言

神通威力加持沙土之力應時即得光明

身除諸罪報捨所苦身往生於西方極樂

國土蓮花化生乃至菩提更不墮落又

云復有衆生連年累月痠黃疾病苦楚萬

端是病人者先供養報以是眞言於病者

前一二三日每日高聲誦此眞言一千八

十遍則得除滅宿業病障若爲鬼魅魂識

悶亂失音不語擇眞言者加持手一百八

遍摩捫頭而以手按於心上額上加持一

千八十遍則得除差若摩訶迦神作病

問者亦能治遣若諸鬼神魘魅之病加持

五色線索一百八結繫其病者腰臂項上

則便除差若諸病病加持白線索一百八

結繫頭項上及加持衣者即令除差若加

持石菖蒲一千八遍用之與他相對談論

則勝他伏又法若人誦一遍五無間獄

碎如微塵於中受苦衆生悉皆離苦解脫

得生極樂世界文

私云此等文滅罪除穢延命分明也

別軌云若有無量百千萬億衆生受諸苦惱災惡得聞此真言祕密咒受持必滅除諸無量災惡苦惱增長福壽蒙安穩快樂若有一切衆生得聞此光明咒必除滅無始輪迴生死重罪得入如來界會現前而得增長無量無邊福德摧伏大力魔軍爲得勝利故降伏怨賊爲成慈愛心故除一切怖畏邪道爲成正覺善根故除一切怖畏爲得歡喜故除一切怖畏爲得歡喜故除一切障難爲得安穩故除貧窮爲得豐饒故除下賤爲得高貴故除鈍根爲得利根故除愚癡爲得無量智慧故爲得無量辨才故爲得自然福德故爲得一切自在故爲得滿足一切願故說此光明真言又云此祕密真言咒此萬億無數諸佛如來心中祕密心咒也誦持此真言神呪者卽萬億無數諸佛歡喜此大毘盧遮那如來無量壽如來兩軀如來心中神呪誦一遍爲誦萬億無量大乘經百億無量陀羅尼百億無量法門了其功德最勝此大毘盧遮那如來神祕密咒咒力速得成正覺此神呪是百億無數諸佛如來母百億無數菩薩聖衆母是大神呪是大明呪是無上呪是無等呪又云誦持此真言者常不可選淨不淨不可障滯一切穢惡祇雲鬼等悉所歡喜悅可故蒙大福德故

常可誦持若欲得大智惠向東方誦十萬遍心得大智惠若欲得辨才向東方誦十萬遍必得辨才若欲得貴人愛敬向東方誦三十萬遍若欲得一切下諸人愛敬向西方誦四十萬遍若欲得長壽向東方誦五十萬遍乃至百萬遍必得長壽福樂若爲死者此真言誦一遍者必無量壽如來爲死者授予引導極樂淨土況七遍若十二遍誦持功德更不可量若置葬處誦四十九遍心無量壽如來荷負斯靈定令生極樂淨土若有孝子一切人安置聖都婆立置父母某處經無量億劫其靈不墮惡趣化生蓮花座上不受胎生身不墮地地下賤所生之處常生極樂淨土佛前蓮華化生若有誦持此光明真言法師吹宛其身風來一切衆生類之身皆悉解脫苦果入一佛地界會并禽獸異類脫畜生業皆悉證得人天果也若有死者靈障惡道者助救度之法墮地獄道者向未申方誦四十九遍免地獄苦生極樂墮餓鬼道者向戌亥方誦四十九遍免餓鬼苦生極樂墮畜生者向丑寅方誦四十九遍免畜生苦生極樂墮阿修羅苦生極樂欲生人中樂處誦百八遍生人中樂處欲生天上仰天閉目誦千遍必生天上道欲令父母靈生極樂淨土向西方誦十萬遍定生極樂淨土是故建立父母某所學都婆以真言書刷無量壽梵字安置父母某處必

彼靈雖經無量無邊不可思議阿僧祇劫不墮惡道必往生極樂淨土蓮花名寶座上成佛時從肩間放白毫光明故名寶明真言若有一切衆生耳聞一遍真言此人滅除無量億劫微細生死重罪證得大三摩地況亦常誦持人無量壽如來荷負令生極樂淨土具足三十二相八十種好莊嚴速令成正覺若有一切女人欲厭女身成男身誦持此真言者必轉女身得男身若常誦持女人得成大梵天王若形貌醜陋女人誦持此真言一萬遍必得端正形貌又

私云此等文四種五種法皆在此中雖繁多載之

部主段 阿彌陀

自加持

根本印 聖國師以慈願 眞言曰

唵 一路計什 聯合經引惹三 韻哩 四合

召諸 蓮華部心 印明

供物 同自加持 眞言 吳句忌

發遣 准召諸

本尊段

自加持

無所不至印 眞言

唵 阿彌陀 尼哩左 養摩賀 母捺羅 合二摩

尼鉢 納摩 合入 聯合二 權鉢羅 合二 樓哆野

召請

外五股印 以右頭 指三指

眞言如自加持加召明句

供物 同眞言加召明句

加持物 同眞言加召明句

撥遣 准召請加召明句

諸尊段 三十七尊

世天段 如常

口云爲亡者修之時世天段焰摩天時三

拘俱之也次焰摩天傍觀居亡魂以光明

眞言三拘俱亡魂是口傳也不限光明眞

言法雖爲何法爲亡者修之者可由此作

法也云

或說事

問或說云誰人說乎 答玄秘鈔云或

說以阿彌陀爲本尊大聖應身尊或說以不

空觀索爲本尊覺意尊或說以金剛界爲本

尊小聖應身尊

智拳印功能事

心地觀經云是名引導無上菩提第一智

印亦名能滅無明黑闇大光明印以結此

印加持身故十方諸佛摩行者頂授大菩

提最勝決定記是大毘盧遮那如來無盡

福聚大妙智印云爾時行者結此印已

作此觀一切有情共結此印持念眞言十

方世界無三惡八難苦果同受第一清淨

法樂我今首上有大寶冠其天冠中五佛

如來結跏趺坐我是毘盧遮那如來圓滿

具足三十二相八十種好放大光明照十

方界利益安樂一切衆生如是觀察名人

毘盧舍那如來最勝三昧文

諸佛境界經云是名菩提引導第一智印

亦名能滅無明黑闇印緣此印加持諸佛

與行者授無上菩提最勝決定之記本是

毘盧遮那如來大明智印云

私云見此印功能以金大日爲本尊非

無其理文已上玄金剛界大日智界也智

德即光明也能滅無明黑闇大光明印

此智用之德也故以金界大日爲本尊

尤有其謂者歟

又說本尊阿彌陀

注云世流布儀軌大日阿彌陀合體眞言

也取心依此意歟云軌云此密眞言

呪○此大毘盧遮那如來無量壽如來兩

軀如來心中呪文此文意歟但此軌毘盧

舍那佛說金剛頂經光明眞言儀軌說故

金界大日阿彌陀合體眞言也尤光明眞

言法本尊或用金界大日或用阿彌陀也

或口傳云小野此法以阿彌陀爲本尊尤

有其謂阿彌陀殊光明眞言勝餘尊其意

如觀經等又彌陀即大日故無相違日光

遍照王之時眞字實中臺彌陀即大日意

也又彌陀十二光佛可思之又光明遍照

十方世界念佛衆生攝取不捨文同意也

大日名遍照尊故設雖何尊光明利益大

日得意無相違事也雖然以光明殊爲面

尊故以彌陀爲本尊尤有其故歟云

又說本尊不空觀索

注云此法元出三十卷不空觀索經故歟

云

不空觀索神變眞言經二十八云爾時十

方一切剎土三世一切如來毘盧遮那如

來一時皆申右無畏手摩清淨蓮華明王

頂同說不空灌頂光明眞言文故不空觀

索爲本尊可知事

土砂加持事

加持土砂作法云仍以一匳之土砂永置

佛前之壇場云先造匳或云白日月曜

鬼宿以苦練木造筒高八寸口徑四寸或五寸

之筒石墨以木筆蓋輪中書九字眞言又

筒匣書光明眞言二十一遍也其時行者

沐浴清淨帶覆面可書之或筒匣不書光

明眞言洗料紙書眞言入筒中其後取靈

所清淨土砂以華水洗之入筒壇中置之

也祕肝抄云彼筒白月鬼宿造之又彼贊

字以天木筆染石墨書之清淨故也但

白月八日書之午正或夜半許書之御在

唐記云右義也

蓋



土砂加持作法

祕鈔作法卷出之是別法則也低養法大



土砂加持觀念等之有

先著座後開土砂器蓋灑水時灑土砂想  
之字觀時土砂上有之字起大災火燒盡  
七砂不淨。字成乳水洗土砂。次道場觀  
時常道場觀終後作此觀。本尊前有寶字  
變成七寶寶瓶。瓶中有之字變成乳水。此  
寶瓶變成寶池寶池中右旋有光明眞言  
字。無量眞言字微細遍滿寶池中。此眞言  
字放金色光明照土砂。土砂一成一眞言  
文字放大光明照六道四生受苦衆生。遇  
此光能受善樂生皆解脫苦縛。人天受樂  
衆生悉發菩提心。七處加持云。如常  
次散念誦光明眞言時。左手取珠。右手結  
五色光印。加持土砂。想自五指端放五色  
光照砂。彼成光明眞言。滿一百八遍。恒遍  
數多少任意。此外無子細也。其後散屍陀  
林等也。又云本尊加持時。加持土砂。義有  
之。但散念誦時。尚勝也云。  
問。土砂加持云。何餘物不加持之乎  
答。爲現有衆生。或呪草木安路上。或呪衣  
著之。或呪手摩彼。或呪五色糸繫。彼或充  
持者。風類。或聞大鼓音聲。皆悉滅無量罪  
苦。往生極樂世界。加持得盆物是各別。亡  
者屍骸及屍陀林墓所等土砂。尤宜歎。恒  
付土砂。有智地。天從寶字出生。是本有淨  
菩提心。如意寶珠。寶體出外。成七砂。是猶  
摩尼形也。今以印言。加持之。成光明具足  
如意寶珠。直觸彼屍骸等。摧破亡魂。無智  
暗生。極樂世界。故殊。加持土砂。無上利益

也

不空翻索經云。若有受持者。滅無量罪。亦  
以是眞言。加持土砂。一百八遍。屍陀林中  
散亡者。骸上。或散墓上。塔上。彼所亡者。往  
生西方極樂淨土。如是功德。無量。云  
儀軌云。若諸衆生。具造十惡五逆四重諸  
罪。猶如微塵。滿斯世界。身壞命終。墮諸惡  
道。以是眞言。加持土砂。一百八遍。屍陀林  
中。散亡者。屍骸上。或散墓上。塔上。過皆散  
之。彼所亡者。若地獄中。若餓鬼中。若修羅  
中。若傍生中。以一切不空。毘盧遮那。如來  
眞實。本願。大灌頂。光明眞言。神通威力。加持  
土砂。之力。應時。即得光明。及身除諸罪報。  
捨所苦身。往生西方極樂國土。蓮花化生。  
乃至菩提。更不墮落。文新渡金剛界。儀軌  
奧藏。消災熾盛光經中云。灌頂滅惡趣。呪  
言也。○佛云。假使有人。造罪滿四天下。如  
微塵數。身壞命終。即墮地獄。無有出期。若  
以此陀羅尼。呪淨土。一祀。即三七遍。授在  
亡者。骨上。屍陀林。塚墓。悉得生天。或以呪  
草。一枚。呪一七遍。橫安路上。有人來。竊過  
者。得罪滅。何況至心。受持。文青丘元曉大  
師。遊心安樂道云。聞親。遇善緣。預九品生  
類。見文義。憤心。雲如披。若右衆生。集衆惡  
不識修善。已入三途。爲有方便。救彼亡靈  
令除業障。生極樂界。否答。恩情難通。聖教  
有術。故不空翻索神變眞言。經第二十八  
卷。灌頂眞言。成就品。曰。爾時。十方一切刹  
土三世一切如來。毘盧遮那。如來。一時皆

仲右無畏手摩清淨蓮華。明王頂同說。不  
空大灌頂光眞言曰。唵。乃野。吽。○若有  
衆生。隨處得聞。此大灌頂光眞言。二三七  
遍。經根者。即得除滅一切罪障。若諸衆生  
具造十惡五逆四重諸罪。猶如微塵。滿斯  
世界。身壞命終。墮諸惡道。以是眞言。加持  
土砂。一百八遍。屍陀林中。散亡者。屍骸上  
或散墓上。塔上。過皆散之。彼亡者。若地獄  
中。若餓鬼中。若修羅中。若傍生中。以一切  
不空如來。不空毘盧遮那。如來。眞實。本願  
大灌頂。光明眞言。加持沙土。之力。應時。即  
得光明。及身除諸罪報。捨所苦身。往於西  
方極樂國土。蓮花化生。乃至菩提。更不墮  
落。文此等經文。往。而在。悔。哉。罪業。自造  
苦果。影追。痛哉。獨困。獨厄。無人救護。自非  
同體大悲。弘誓。祕術。誰能。遂。開。幽。鍵。扶。昇  
花臺。雖無他作。自受之理。而有緣起。難思  
之力。則知。以遇。呪沙。即成。有緣。若不。被。沙  
何。論。脫。期。惟。夫。大悲。無方。長舌。無誑。不可  
不信。後悔。無反。然。則。不信。用者。徒負。厚恩。  
報日。轉。遠。有。願。行者。接。魂。華。蓮。孝。順。便。立。  
幸。逢。眞言。合。土。沙。不。難。凡。有。心。君子。誰。不  
奉。行。散。沙。墓。上。尚。遊。彼。界。況。乎。呪。衣。著。身。  
聆。音。誦。字。者。矣。文

永正六己三月日於高野山寫畢



白寶口抄 孔雀經法上

本書事

大孔雀明王經三卷

內云佛母大孔雀明王經不空譯海仁

珍運報

注大孔雀明王經三卷

不空惠運錄外

佛說大金色孔雀王呪經一卷

禪林失譯

大金色孔雀王呪經一卷

禪林失譯

大孔雀王呪經三卷

禪林義淨譯

第三卷未有畫壇法別卷書之

孔雀王呪經二卷

亦云孔雀王陀羅尼經梁武帝天監五

年以下扶南三藏僧迦婆羅譯

孔雀王呪經一卷

亦云大金色孔雀王并結界場法右五

經同本異譯

佛說大孔雀明王畫像壇場儀軌一卷

不空譯海仁珍禪觀亦云孔雀明王經

略儀軌一卷

成蓮抄云無人名二紙宗觀

梵字孔雀王真言一本七

已上安然錄

孔雀王壇場法式一卷

義淨譯

大孔雀明王經略儀軌一卷

孔雀經極略法并壇儀一卷

梵字佛母孔雀明王一部三卷

梵字漢字相付著本

圓行孔雀佛母韻字一調

名字事

梵號 佛母金剛 又云護世金剛

密號 佛母金剛 又云護世金剛

晉義云唐云佛母大孔雀明王經梵云

若相配梵漢沒駄此云覺者自覺覺他覺行圓

滿也摩多此云母出傳義穿總義摩訶此

云大又云勝又云多摩喻利此云孔雀是

鳥能噉一切惡草一切惡蟲消其毒勝諸

鳥故以所喻之鳥德顯能喻之經德尼爾

耶羅若此云明王能放智惠光明破衆生

煩惱黑闇無明蘇多覽此云經貫穿攝持

義孔雀涅槃經云開雷聲乃胎文云

見云此孔雀明王之功等見經軌可驗

見之也廣澤流以此法爲祕法故西院流

十八道加行以此算用念誦也雖然唱寶

號不誦眞言是祕故也醍醐流不相承此

法從廣澤相傳之也故此流指不祕此尊

也又諸雨經法無廣澤從醍醐相傳也故

彼流不祕之歟

就金剛界修之事

問就自行次第等不修之歟如何 答不

爾也

問依金剛界五相成身觀等可觀替之歟  
如何 答替之也委細次第別有之可見  
彼也云

種子事

口傳云以字用此尊之種子事依大日

云此尊大日所變之故以字爲種子

是智法身種子理智圓滿衆德含藏故稱

普賢一字心也

問經云孔雀王者豈異人乎即我身是文

此釋尊說也故釋迦所變歟何云大日所

變哉如何 答釋迦牟尼佛名毘盧遮那

遍一切處故大日同體也次第云又曰

字是水大種子也有情皆以水潤爲命水

性若失了則枯散水如此能持物今孔雀

明王之利衆生猶猶彼水之持萬物故以

水大之字用種子也云

金剛頂開題云此字於五大中水輪種

子一切色法水能生大身有情皆是水大

所生水輪所持文一本開題云一字一切

諸法不二之道語言斷義○又如來世尊

爲諸衆生雨最上乘大法雨義文○字即

法界智種子字故十界有情悉水大所成

也又字智水法界智德故降雨等功

悉彼表示也非情草木等皆依雨露恩生

長故法界情非情併字所成也仍付

字普門總體以此字爲種子也

次第云又曰字是縛義上安空點則令

空彼縛之義所謂縛不可得義也仍以

字用種子離一切繫縛之意也孔雀經曰

遂以鳥綱縛孔雀王○憶本正命即誦如前陀羅尼於所繫縛自然解脫文此意也云

疏十三云此囑字安點除病患內外諸毒是息災吉祥曼荼羅也文

字縛義即生死結縛也入大空不生轉即不生形因圓點入法二空智也孔雀尾上有半滿月形是字體也故云即誦如前陀羅尼於所繫縛自然解脫文離一切繫縛之事依大空不生也

口云於種子有異說對本言字也對字吾我義入不可得除災義也對字普門六大法界體上應應諸法互相涉入加持成就諸法此法本初不生常住之故取彼義邊今用也

問可乘義即運載轉變遷流義也何云常住耶答運變流轉更不改轉從無常轉變之近運變法身常住之遠常住不變壽命也萬法本來法界何尊普門總體也只付諸尊各各一門三摩地如此習深祕猶殊勝祕密也或以其字為種子足十七祕法一說也或用字是傳受集第二說也

賢覺云用兩界種子最祕云或今明王大日所變轉迴所變也或阿彌陀所變用

與字云

口云阿彌陀所變者五佛所乘時阿彌陀如來乘孔雀鳥故今孔雀明王即同體也顯與時以字為種子祕密也破地

獄軌字西方阿彌陀文孔雀鳥食一切毒蟲為身命阿彌陀亦消滅一切衆生造惡三毒為自性清淨壽命故以此鳥為坐也今明王亦如是云

三形事

次第云口傳云自月七日至十五日半月形一日二日乃至七日圓滿復修此法七日之內一切悉地成就如彼月之滿七日中是故孔雀尾上觀半月形其上觀半月形以之為三昧耶形云

口云半月者七成就義也白月八日者上弦是即半月也十五日者望也滿月也故從八日至十五日者七箇日月必圓滿此法亦必七箇日成悉地一門願望圓滿故為三形也

次第云實運僧都私加了見曰孔雀上觀半月滿月事雖為先哲之雅訓願以不心得只以孔雀尾上半月文可為三昧耶形也是實運私加案也彼流祕之俱舍破我品文云於一孔雀輪一切種因相一切種智心非餘智境界文孔雀尾文之德已勝以之彌以尾內文用三形事旁有其謂可祕之云

口云尾上半滿月以之為莊嚴也理趣經半滿月而為莊嚴是意也半月風輪形

字即撲災義滿月水輪形字是招福義也字二形即因果二也故因果不二理智平等三形也或云日萬物父也月萬物母也依日照草木皆以生長故月

萬物母也仍云蒼母天有名故為諸佛母明王三形用之也云

又軍荼利經云月變相伏寬也云伏寬形半月形也故尾上半寬三摩耶形也或文云有天為萬象鏡有地為山野主云口云水珠所成降雨表示也云

道場觀事

佛母大孔雀明王畫像場儀軌法云造立道場作五方壇高四指掌三重位或以彩畫或用五色粉成於內院中心畫八葉蓮花於蓮花胎上畫佛母大孔雀明王菩薩頭上向東方白色著白縞輕衣頭冠環珞耳環臂釧種種莊嚴乘金色孔雀結跏趺坐白蓮花住慈悲相有四臂右邊第一手執開敷蓮花第二手持俱緣葉共乘第一手執第一手當心常持吉祥葉第二手執三五蓮孔雀尾從佛母左邊右旋周匝蓮花葉上畫七佛世尊從毗鉢尸如來次第布列乃至釋迦及慈氏菩薩等皆頭向外坐各住定相至西北角第八葉上畫慈氏菩薩左手執軍持右手揚掌向外作施無畏勢又於蓮花葉外內院四方畫四辟支佛皆作佛形頂有肉髻亦住定相又於四隅畫四大聲聞從東北隅畫舍利弗次東南隅畫羅睺羅次西南隅畫阿難陀次西

南隅畫大目乾連皆著乾陀色袈裟偏袒右肩此皆內院次第二院畫八方天王并諸眷屬東方畫帝釋天王執金剛杵與諸天衆圍繞次東南方畫火天王左手執軍

天衆圍繞次東南方畫火天王左手執軍

持右手施無畏與五通苦行仙家圍繞次南方畫焰魔天王執焰摩嚨與焰摩衆圍繞次西南方畫羅刹主執刀與諸羅刹衆圍繞次西方畫水天持網索與諸龍圍繞次西北方畫風天王執幡幢與諸持明仙衆圍繞次北方畫多聞天王執寶棒與諸衆又來圍繞次東方畫伊舍那天執三戟又與諸步多鬼衆圍繞此皆第二院次第三院從東北隅右旋周匝畫二十八天藥叉將各與諸鬼神衆圍繞及畫辟曜十二宮神次第三院外周匝用香泥等今道場觀依此文也

#### 四臂事

口云此四臂持物卽表四種法也蓮華手表大悲是敬愛也具緣菓手增益也服之增長身氣力故也或云具緣菓又云具緣菓是卽毒也惡也降伏義也

問具緣菓木狀似是何物耶如何答境場畫像法式云義淨右邊一手持柚子也

是具緣菓者柚異名歟但口傳力フチ也成蓮抄云拘樓玉節上俱馮反亦全反拘樓奇特佛頂總云此土無隨時取花菓乃至端正者云齊氏要術第十云拘樓蜜調

廣洲記云枸櫞似橘實如柚大而倍長味專酢皮似蜜煮爲醬異物志曰枸櫞似橘大如飯筍皮不香味不美可以浣治葛宇若酸漿云

吉祥菓者伏鬼木子是調伏也或是石留也是善也故增益義也亦此栢

榴云子滿菓尤增益相應也

孔雀尾拂障難故息災義也執三五輩孔雀尾文三五者是少云事也有云三五

摩多郎少少義也付是有文可尋也或云一雨云事也故屏房續往傳云三五者

彼朝之詞如此間稱一兩先是僧都源信至弘決今文依此略三五字之所古賢之

義多不相叶僧都義曰如謂兩此詞已

口云壇場法式云左邊一手執孔雀尾三輩文佛母大孔雀明王經軌云左〇二

持五輩孔雀尾文以之思之畫像執三五

輩者或持三輩或執五輩義歟少一兩

之二義不叶文歟可尋之

問三輩有其表示乎答此事未決也若

三輩拂三輩證三部義歟五輩拂五煩惱

證五智義是兩部表示歟云胎藏圖云

證五智義是兩部表示歟云胎藏圖云

赤蓮花肉色右持孔雀尾擎肩左持蓮華坐

數蓮花右手持孔雀羽文孔雀王母左手持開

私云胎藏界尊二臂像也孔雀尾不說

數也

大孔雀王天祕要法云新譯大孔雀天有

頭上一臂童子相右第一執孔雀尾左第

一手執金輪右第二手執吉祥菓左第二

手執寶馬頭身青色乘青色孔雀王

私云此文四臂像也孔雀尾不說數但

蓮花俱緣菓除之持金輪寶馬頭拂亦

色青色也孔雀鳥同色也

口云除具緣菓持金輪是孔雀明王與一

字金輪同體義也故與眞言末加誦字

也委細致彼眞言處可口決也理諦云孔

雀上四臂像其頂上空畫赤色日輪此卽

金輪也此尊部主用金輪故強陰金輪只

赤色日輪許圖之也觀云金輪金界此明

王佛眼卽胎藏故此像並兩部大日圖也

此觀念師資相承之口傳也

問除蓮花持寶馬頭意如何答馬念水

草餘無所知之本尊慈念衆生之本誓

深重願彼疲馬是大悲至極也大悲蓮花

三昧故其意是同也

問本尊等青色依憑如何答儀軌意本

尊白色金界孔雀金色胎界是表兩部不

二義也今能乘所乘共青色虛空色是表

大空三昧既到金剛實際卽加持方便普

現大悲受荼羅虛空中具含萬像無撰善

惡此尊慈願亦如是於一切衆生惡業煩

惱斷盡平等也凡形像所坐頭面手臂身

色等於一佛經軌說說不一准應物方便

隨機色身豈不然乎不限此尊餘尊皆如

是云

七佛慈氏事

中台孔雀明王也八葉七佛并慈氏也七

佛中先三佛過去莊嚴劫後四佛及彌

勒現賢劫佛也三寶切千佛中四佛已

成佛故佛體也彌勒已下九百九十六佛

未成佛故菩薩形也

問毘鉢尸佛等六佛是過去已滅佛也而

現在釋尊何名過去乎 答已滅佛六體  
現在一佛故隨多分云爾也但釋尊等既  
入涅槃故總云過去七佛也

問以過去七佛何爲眷屬乎如何答過去已滿義也七一法成滿義然而此法萬德本成滿表示道理也亦此尊佛母大孔雀明王故三世諸佛母也故過去六佛現在釋迦未來慈氏列之也

四辟支拂四大聲聞事

緣覺號辟支佛故佛形也。依禪定故住定印。聲聞依歸佛故住合掌印也。

問緣覺聲○何故列七佛內院乎如何  
答七佛內列現在釋尊故聲聞等圍繞也  
問四緣覺四大聲聞其意如何 答本尊  
既現四臂表四種法准彼云四敷以下八  
天等如當可知之云々

根本印事

佛母大孔雀明王畫像壇場儀軌云：不空  
次結佛母大孔雀明王印。二手右押左內  
相叉。一大指二小指各直緊頭指挂。卽成  
結印。當心誦真言七遍。如前以印加持四  
處。頂上散印真言曰：

唵摩曳引羅引訖蘭合二帝引娑婆合二賀

口云。如次第依善無畏傳用外縛印。是祕

口傳也。眞言末亦加金輪呪。尤秘說也。

後印言許用之也。先印法外傳。各表那本。

後世願附從是和本原也。又立合二

大指別表佛母義。法界體性智爲諸佛智。

根本故。兩部和融一味。重表示其義。但付  
蓮華部專顯功能故。立合彼二大指表孔  
雀髻。蓮花部義理相當口業故也。是卽法

界智遮那出妙觀察智亦妙觀察智用示現孔雀明王也又立合二小指成所作智用顯二利功能必可成辨義也擬彼尾爲印表示謂孔雀尾本尊德也爲三昧耶形故其義昭可知凡此佛母以三智爲本故

法界智爲體妙觀察智爲相以成所作智爲用也孔雀所證尤施德事在口尾此鳥噉食一切毒蟲等爲命卽明王斷盡一切

煩惱惡毒，延常住，不壞壽命，尾拂無量災禍與諸吉祥等。次左右水火風六指三度。

動之。羽打義也。通打明三遍。打佛無聲。

難招集無邊吉祥義也。或云。我成本尊乘。

此孔雀諸相好具截之云云又云先引二  
中指本尊形也二大二小指頭尾也二腕

足也。二風二水羽也。搖動之鳥羽打也。故云羽打印。小野流祕印也。二中市絕諸流。

能可秘之也云、又云上自一人下至

招集諸功德是悲智之二翼也。依定惠和

合一切衆生乃至非情草木等無不養育生長定惠力莊嚴。以此度衆生意深可思。

之此印金剛界蓮華三昧耶印也彼說云

想。左手當心執蓮花。右手作開敷勢。住間

滿月輪文蓮花三昧耶自性清淨功能以  
三毒五欲生長法身體也正三毒同時斷

然此位然而此鳥瞰食一切毒蟲。自身養育生長此意也。故彌陀以孔雀爲座。慈悲覆護一切衆生是意也。云々眞言末加誦

赤字依口傳也。或云赤字不可加。句上下兩說也。云：又一字金輪法時加誦。不可字是金輪同體義也。孔雀噉食毒蟲鳥也。卽佛表斷盡一切煩惱之義。金輪又能斷滅一切煩惱義同故。金輪

法時加

又勝覺僧正云。一切法孔雀明王眞言加

用一字呢亦瘦五股持之悉地成就速疾

習其造機。鑿回六垂爲頭。鑿被縛故名。腹

五股也。亦稱揭古五股。亦云都五股也。

五種相應印言事  
息災印 外縛。二大二小立合。總印。動例。

印，動也。眞言曰：

增益印 前印不動。眞言曰

敬愛印 前印二中指入掌內合面竊形

也敬愛義也。廣言曰。

前印小指交作輪眞言曰

鈎召印 前印中六指名眞言曰

云定海僧正授之云、畫像軌與載本  
尊印外轉○一切諸真言皆用此秘密  
寂與及增益愛與降伏皆有此秘密  
結誦除一切病文若依此文獻、此外指  
無本說也用否可隨行者意獻、但非相  
傳、才學記之

三印明事

口云善賢三昧耶印、此印本尊印習之也  
但不改本印二大二小立合、今除其  
金剛獨善薩印、口云法儀軌文、中指  
可立合云、不用之也云、凡此三印如  
口訣善賢三昧耶印明三部被甲大加持  
香水前也、金剛獨善薩印明結界用之也

正念誦事

口云、如次第用、  
加持時許用、  
散念誦事

問、八字文殊并不動用之其意如何、答、  
此事指不決之也、但八字文殊悉地成就  
速疾故用一切法也、其意獻又孔雀明王  
金輪佛眼同體習之、今明王三世佛母尊  
故通依之用八字文殊現歟、可尋之不動  
尊教令輪身也、此法依金剛界修之故也、  
又此尊釋迦所變故不動并無能勝用之  
也、  
問、本尊呪每時遍數如何、答、每時一萬  
遍也云、

問、一字每時千遍意如何、答、金輪部主  
也、亦本尊同體也、故殊增數也、自餘真言  
百遍也云、  
口云、前經者乍居禮盤可誦之初夜間白  
上卷後夜、向上卷日中、卷初夜下卷後  
夜、如此結願、如後夜中卷日中下卷結願  
口誦中下卷結願之時念誦了後於禮盤  
上轉誦下卷也

伴僧事

口云、大法故二十口也、上番十人、下番十  
人、不斷讀孔雀經也  
御加持事

本呪者

本呪者、  
經下卷與呪者、  
也可用本呪云、

禮佛事

口云、三十七尊如常四攝次用之、南波羅  
底契者、詳支佛總名也、餘可知之  
蘇耆提句、祈雨時加唱之也、大論須菩提  
說、青龍陀佛故、祈雨時殊加禮也、或對揚  
衆故用之

讚事

口云、四智讚如常、孔雀經讀者經八句敬  
禮文也、義讚者敬禮義也、宰堵者頂首義  
也、沒駄野者能覺義、冒駄曳者當所覺義  
也、

第一句義、誤宰堵沒駄野者是禮佛  
第二句義、誤宰堵冒駄曳者是禮佛所證本  
覺菩提理也

第三句義、誤宰堵目訖多野者禮修得涅槃  
果也

第四句義、誤宰堵目訖多野者禮本來清  
淨涅槃理也

第五句義、誤宰堵多野者禮已得隨分  
解脫之十地位菩薩也是人不謂已位  
解說道果人也

第六句義、誤宰堵多野者禮未證解脫  
三賢位菩薩也、此位人雖修淨行未有  
證淨法位也

第七句義、誤宰堵目訖多野者是別禮此大  
孔雀明王也

第八句義、誤宰堵目訖多野者是更禮孔雀  
明王所設大乘秘密真言法也

護摩事

畫像儀軌云、拾蓮花胎上畫佛母大孔雀  
明王菩薩頭上向東方文  
又云、壇東安佛母大孔雀明王像○持誦  
者於壇面○敷茅薦爲座或坐厚脚床子  
文依此等文者可修增益也、雖然今就息  
災修之、是口傳也、凡本尊四臂表四種法  
付何法修之、不苦歟

儀軌云、不苦、佛告阿難陀、若諸世間所有  
災禍、遍憐刀兵飢饉、早疫、疫四百四病  
憂苦、隨譯及八萬四千鬼魅、曉惱有情、所  
求世間出世間勝願、多有障礙者、皆由無  
始已來貪愛無明、虛妄分別、三毒煩惱、不  
了實相、積集不善、招如是種種災難、阿難  
陀、是故我今爲彼讚誦佛母大孔雀明王





白寶口抄 孔雀經法下

壇場莊嚴事

先道場隨便引迴大幕其內隨御聽所便宜寄御聽聞所方立大壇次立護摩壇次立十二色壇先大壇莊嚴如常四大口面各立標引色各標內方各立華瓶四口面各安燒開伽等器四前四角花瓶內安羯磨杵壇中央安輪輪後安中瓶立孔雀尾五莖或亦中瓶外立別瓶用之

問用別瓶中瓶前後如何 答中瓶後敷或中瓶置輪前輪後安孔雀尾瓶也不空軌云作圓壇九位中安佛像及以三五莖孔雀尾堅於壇中上文

問壇場法式云左邊○一手執孔雀尾三莖文大孔雀明王經儀軌云左○二持五莖孔雀尾文彼儀軌等本尊持手尾數也

廣演壇場儀式全不云中瓶所立尾今不空略儀軌以三五莖孔雀尾堅於壇中上說之若爾者可云三五何用五莖乎如何

答三五者少義亦一兩義也此時不定數歟但五筋者表五智圓滿故以口傳用之也或三筋云所詮可隨在歟云中瓶後安經箱入孔雀尾或云中孔雀尾經

經後安經箱入孔雀尾或云中孔雀尾經經經大佛頂大隨求等入之理經經兩種陀羅尼者甚深殊勝經王至極究竟神呪故安置之也深所奉懇經王此外亦佛舍利御筆等可奉入之也但如是事等大阿

闍梨祕計也不可顯露能可祕藏之也云中央輪前安大火舍燒不斷香也不空軌云中院聖衆燒沈香等供養東方天衆應燒白膠香而爲供養南方天衆以紫蘇和安悉香燒之供養西方天衆以紫蘇和安悉香燒之供養北方天衆應燒薰

陸香而供養之壇場法式云於東方持鹽相和西方燒香和安悉香北方燒薰陸香於佛及摩訶摩利天神前燒衆名香

口云中央火舍燒沈香或白檀香也或挖續五方五種名香燒之或說云中方香略時南方火舍紫鑪香其挖續燒之一說也別火舍燒白膠香二四字云東方香替用

百和香云南方火舍燒紫鑪及芥子鹽相和若無紫鑪之時者湯黃鹽芥子春和合燒之紫鑪者是有情身分香也云或經云曼茶羅外置香爐燒香如法供養擬用有情身分

之香亦不妨用云燒香之上更加此香燒之此意也云或云以落駄○作紫鑪云可尋明之也

西方火舍安悉香以蘇和之也云北方火舍薰陸香云五方香名銘不書付之

只中東南西北裏紙上書之祕藏故也壇承仕給之可令諷練子細中方大火舍晝夜不斷燒之自餘四方行法問許也以鈴杵安行者燒香前皆以如常

開白結願如日中四面大小佛供十六杯汁八杯小豆餅菓各八杯居之後夜粥八杯安之初夜無供物如恒左脇

機灑水塗香也三衣箱也塗香用沈香也名香沈白檀也右脇機鋪鐘木也或置五前禮盤一脚四角燈臺四本如常

口云於此大壇觀四種曼茶羅謂本尊是大曼茶羅色相莊嚴五大色也壇上孔雀尾三昧耶曼茶羅也壇上經法曼茶羅也行者是羯磨曼茶羅也

問行者可云大曼茶羅何云羯磨曼茶羅乎 答爾也只依事業成辦故云羯磨曼茶羅也或一說云以輪羯磨爲羯磨則不除行者也云

護摩壇事四角立標引五色帛四隅中央立華瓶四面安開伽等器皆如大壇佛供等亦爾也金剛盤上置三股杵許無鈴五股等亦不置鐘也

乳木八指也常十二指云桑穀牛膝等用之自餘支具皆如意災護摩也問護摩壇何備佛具等乎 答建立護摩

軌云爐對曼茶羅外相望別作所供如大壇文依此文大壇外立護摩壇如大壇可居供具等也

問六種供具供養法前後供有其作法大法等護摩直入護摩何時可供之乎如何答大壇阿闍梨役事供之次兩壇供物總

開白結願如日中四面大小佛供十六杯汁八杯小豆餅菓各八杯居之後夜粥八杯安之初夜無供物如恒左脇

機灑水塗香也三衣箱也塗香用沈香也名香沈白檀也右脇機鋪鐘木也或置五前禮盤一脚四角燈臺四本如常

口云於此大壇觀四種曼茶羅謂本尊是大曼茶羅色相莊嚴五大色也壇上孔雀尾三昧耶曼茶羅也壇上經法曼茶羅也行者是羯磨曼茶羅也

問行者可云大曼茶羅何云羯磨曼茶羅乎 答爾也只依事業成辦故云羯磨曼茶羅也或一說云以輪羯磨爲羯磨則不除行者也云

護摩壇事四角立標引五色帛四隅中央立華瓶四面安開伽等器皆如大壇佛供等亦爾也金剛盤上置三股杵許無鈴五股等亦不置鐘也

乳木八指也常十二指云桑穀牛膝等用之自餘支具皆如意災護摩也問護摩壇何備佛具等乎 答建立護摩

軌云爐對曼茶羅外相望別作所供如大壇文依此文大壇外立護摩壇如大壇可居供具等也

問六種供具供養法前後供有其作法大法等護摩直入護摩何時可供之乎如何答大壇阿闍梨役事供之次兩壇供物總

開白結願如日中四面大小佛供十六杯汁八杯小豆餅菓各八杯居之後夜粥八杯安之初夜無供物如恒左脇

機灑水塗香也三衣箱也塗香用沈香也名香沈白檀也右脇機鋪鐘木也或置五前禮盤一脚四角燈臺四本如常

口云於此大壇觀四種曼茶羅謂本尊是大曼茶羅色相莊嚴五大色也壇上孔雀尾三昧耶曼茶羅也壇上經法曼茶羅也行者是羯磨曼茶羅也

問行者可云大曼茶羅何云羯磨曼茶羅乎 答爾也只依事業成辦故云羯磨曼茶羅也或一說云以輪羯磨爲羯磨則不除行者也云

護摩壇事四角立標引五色帛四隅中央立華瓶四面安開伽等器皆如大壇佛供等亦爾也金剛盤上置三股杵許無鈴五股等亦不置鐘也

乳木八指也常十二指云桑穀牛膝等用之自餘支具皆如意災護摩也問護摩壇何備佛具等乎 答建立護摩

軌云爐對曼茶羅外相望別作所供如大壇文依此文大壇外立護摩壇如大壇可居供具等也

奉獻之也於護摩阿闍梨者無其作法云  
大壇振鈴後護摩師立座入幕內至于護  
摩壇前大壇一禮小指次護摩壇三度  
背禮真言次著禮盤修護摩護摩末程師  
供師立起座至神供處修之次護摩燒了  
如本取置燭燭器等下座次禮當壇次禮  
大壇還著伴僧本座也

十二天壇事

不懸本符如常交飯十二坏指蠟燭二坏  
大白佛供也汁二坏菓子二坏也花瓶二  
或不立之狀云護摩師著禮盤時供師  
同進壇前大壇方三度禮之開白時微音  
有表白神分祈願等也供養次第如常也  
供了著本座

聖天壇事

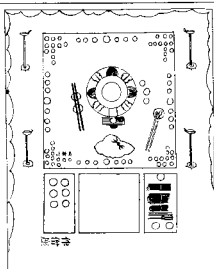
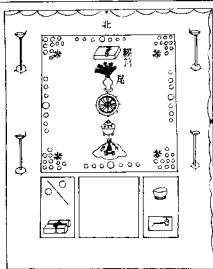
此法後夜日中二時修之開白時初夜故  
次日後夜始修之開白有表白神分祈願  
等微音也供養次第如常也後夜粥二坏  
羅酒團也日中白佛供二坏大交飯二坏  
小汁二坏小豆菓子二坏羅酒團各二坏  
如常多羅下敷紙板折敷之上置小土器  
其土器安杓油氣爲不散也又鉢扇等  
可有之也已上兩壇打鳴無之用意疊紙  
其上置火舍蓋打也於鉢木者永仕可用  
意之也或別用打鳴也

護摩師立座之後同立座入幕內大壇方  
三度禮之次禮本尊著座修之凡供了又  
同還著本座也

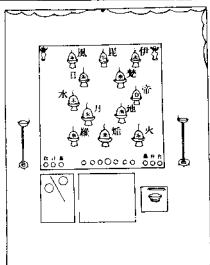
伴僧座事

道場大幕外大壇方橫座阿闍梨座敷之  
立前机向道場東西行數伴僧座各前机  
傍立切燈臺也各二本也

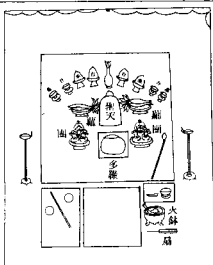
御所



十二天壇初夜修



聖天壇中後夜之日



大慈觀所引之

者敢念通安自曉盤下分傳經者  
令著此經也

[illegible]

口云此法者天下大事出來之時自昔至今所被修也縱雖有勳宣再三可辭退依羣國辭可令勤修者自門他門大法之間七佛樂師法被始行之後代被修尤可令存知者此也又祈雨時者讀經之後終無感應者此法若請雨隨便宜被行云兼日奉行職事誦請大阿闍梨時副領狀筆進支度也支度一紙書之不累二枚亦無懸紙若支度多時用續紙也差定大行事承仕等獻之也或後日獻之也又迴請伴僧事

[illegible]

大行事相具承仕前日參壇所謂取難具等莊嚴道場了當日早且阿闍梨參宿所鈍色裝束小袈裟也

奉行職事送演衣請取分送件僧也

開自時姓大阿闍梨申案內待勅定有勅  
定者大阿闍梨著平袈裟作僧五帖袈裟  
也若開自結願許著平袈裟也皆參巾事  
出

主上出御、聽聞所仰可始行。由承仕集

會金打之三十六。如常作法。其後大阿闍

梨進立禮盤下禮拜三思作泣如常

次淨三業 次三部 次被甲 次普賢

三昧耶 次加持香水 次加持供物

次字觀	次淨地	次淨身	次佛觀
-----	-----	-----	-----

三昧耶 次蓮花部心三昧耶 三金剛  
部三昧耶 次後披甲心 次觀佛 次

金剛起 次普禮 次四禮 次金剛持

遍禮 次表白

先新佛可有開眼作法也  
次神分 次五悔 次勸請

本尊句初夜日中用之

大孔雀明王慈悲尊  
七佛慈悲諸聖衆

發願

本尊句後夜用之

三世佛母 大孔雀明王  
七佛慈氏 緣覺聲聞

八方天等 諸宿曜等

次五大願 終句云

護持國主成御願

次普供養 次三力偈 金一打

伴僧二十人同音讀經但下番十人四  
五行許讀經各退出上番十人留時之  
間讀經也

次四無量觀 次勝願 次大金剛輪  
次地結 次四方結 次金剛眼 次金

剛合掌 次金剛轉 次開心 次入智  
次合智 次降三世 次蓮花三昧耶

次法輪 次大欲 次大樂 次召罪  
次摧罪 次業障除 次成菩提 次妙

觀察智 次通達菩提心 次修菩提心  
次成金剛心

想如教誦真言能令心月輪圓滿益明  
顯諸佛復告言菩提爲堅固後授心真

言

觀孔雀尾上半月輪即觀心上有真字

變成滿月輪上有真字成八葉妙蓮

花蓮花上有真字變成孔雀尾上半月

輪誦真言曰

唵底瑟蛇母呬

次廣金剛

想淨月輪上孔雀尾上半月漸舒大遍

滿小千界乃至法界利益安樂一切有

情真言曰

唵娑願羅○母呬

想此尾上半月形漸斂漸小還收如故

誦真言曰

唵僧賀羅○母呬

次證金剛身

應當知自身孔雀尾上半月形即想還

法界諸佛入自身如鏡現萬像誦真言

曰

唵母呬○但摩句含

次身圓滿

想此孔雀尾變成孔雀明王戴五佛冠

孔雀鳥上結跏趺坐復誦此真言

唵野他薩嚩但但他讀多薩但但含

次諸佛加持

想既成本尊孔雀明王身諸佛如來加

持無量無數眷屬皆圍繞於我如是觀

已即誦真言

唵薩嚩但但他讀多遊三引地涅哩合

茶囉日羅合底瑟蛇合

次四佛加持 次五佛灌頂 次四佛繫

髮 次現智身 次見智身 次四明

次成佛 次道場觀界觀

壇上有真字成金色孔雀王其上有白色

蓮花蓮華上有真字變成孔雀尾尾上有

半月并滿月變成孔雀明王任慈悲相具

四臂右邊第一手執開敷蓮花第二手持

具緣葉左第一手當心掌持吉祥葉第二

手執三五蓮孔雀尾七佛慈氏四辟支佛

四大聲聞八方天王二十八部夜叉大將

諸鬼神衆并諸宿曜十二宮神等前後圍

繞如是觀了加持七處真言曰

唵步欠

次大虛空藏 次小金剛輪 次啓請

次開門 次啓請伽陀 次金剛鉤菩薩

二手外縛申立二頭指各鉤勿著即以

二頭指三度來去真言

唵嚩日朗矩尸○阿羯荼微羯荼嚩

次金剛王 次四佛讚 次四攝 次拍

掌 次結界無能勝

二手內縛立合二中指如針

次護嚩護嚩戰摩里摩陞優賢

次金剛網 次火院 次大三昧耶 次

關伽 次蓮華座 次振鈴 次八供養

次事供 次讚 次孔雀經讚

義讚宰堵目訖多野

義讚宰堵目訖多野

義讚宰堵目訖多野

義讚宰堵目訖多野

義讚宰堵目訖多野

義讚宰堵目訖多野

義讚宰堵目訖多野

白寶口抄卷第三十七（孔雀變法下）



尊形次聖王御心月輪上亦同觀之我與聖王一體無二也

次結本尊印加持身四處一一觀之奉祈諸聖王

次取杵取念珠高搓之杵持右手唱發願

至心發願 唯願大日 本尊界會 大孔雀明王 七佛慈氏 諸佛菩薩

阿難陀等 諸賢聖眾 金剛天王 諸尊聖眾 外金剛部 皆來集會

各各還念 慈悲本誓 持聖王 惡心怨滅 惡念嫉妬 三世怨敵

惡心消滅 惡念嫉妬 三世怨敵 執著怨心 惡魔障者 皆悉摧滅

皆悉消散 天變地震 惡夢怪異 所標惡事 未然消除 年月日時

理運厄害 非時中天 怖異急難 乃至一切 不祥惡事 殊勝靈驗

遠離他方 本尊界會 薰入天體 真言法樂 加持深修 恒受快樂

玉體安穩 增長定成就 決定圓滿 無邊御願 決定成就 決定圓滿

發願之後用玉大願尊孔聖仁王經之大法同修法不用之矣台普遍聞白結願用之

成得產之時句云 御產平安 王子誕生

御願圓滿 決定成就

成御時句云 色力增長 增長寶壽

御惱消除 色力增長 增長寶壽

御惱消除 色力增長 增長寶壽

御惱消除 色力增長 增長寶壽

恒受快樂 如此隨時可用之 口云阿闍梨出至心發願句終伴僧同

音誦也如此每句終取次第決定圓 滿句終伴僧中出呪也

云云 伴僧微音誦之也仁和寺阿闍梨出之

阿闍梨發願竟置杵取孔雀尾誦本尊真 言逆迴之奉加持事五十遍許或百左手

持念珠記數目達磨至緒留置尾搓念珠 致信心奉祈誦之

又取尾順奉加持事五十遍許或百置尾 亦磨念珠高聲云

南無本尊界會三世佛母大孔雀明王七 佛慈氏聲聞緣覺梵天帝釋四大天王諸

宿曜等兩部界諸尊聖眾外金剛部護法 天等還念本誓同心加護護持國主王體

安穩增長寶壽天變怪異悉皆消散云云 此間搓念珠無間斷其終殊急高聲三度

許磨之聞其音伴僧止陀羅尼也凡加持 之間一心可念本尊或施主心蓮華蕊上

觀置本尊種子施主無明妄想無始罪障 皆悉消滅云云

加持竟搓念珠令祈念此間伴僧退出 十人

次護身法 次退出 後加持之間下番經不誦高聲加持以後

高聲誦之至後夜時經聲無有間斷

高聲誦之至後夜時經聲無有間斷

高聲誦之至後夜時經聲無有間斷

高聲誦之至後夜時經聲無有間斷

高聲誦之至後夜時經聲無有間斷

不空軌云俱處誠一心轉讀此經或三遍 乃至七遍或一日若三日一切厄難悉得

消滅所有祈願皆得圓滿又云轉讀經 者可三五八人更替相續晝夜不令經

聲間斷或一日或二日或三日乃至七日一 切災禍悉皆殄滅除不至心文

中間儀事 後夜八時後夜時承仕打金上番十人皆 參著座次大阿闍梨著別座護身等其間

下番十人讀經聲不高上番不讀經 大阿闍梨著禮盤行法前方便後望神分

時先金一度打其時下番伴僧上臘三時也 申迴向微音也其詞云

所修功德 迴向三寶境界 迴向天 樂地類 迴向護持聖王 玉體安穩

增長寶壽 宮內安穩 諸人快樂 迴向天下 迴施法界 迴向無上大

菩提 迴向了後大阿闍梨金二打下番伴僧十 人退出云云

大阿闍梨令法久住等 如常 次神分等 次五悔 次發願 以下如

初夜云後夜御加持不用發願先著座 竟護身結界等後搓念珠微音出加持呪

觀念如初夜呪遍數滿了搓念珠祈念等 云次退出了

日中時佛供汁菓子如開山也行法如常 但無御加持呪初夜不備供物也行法等

如恒每時終行御加持也 三向及如常

如恒每時終行御加持也 三向及如常

如恒每時終行御加持也 三向及如常

如恒每時終行御加持也 三向及如常

如恒每時終行御加持也 三向及如常

結願作法

結願之時放取結番相具視筆始自大阿  
閑契付經卷數都合之後書入御卷數二  
通也一通立文付結立大壇傍可留案文  
一通置左脇賜承仕打金如常番卷下大  
阿閑契先壇前替禮如常次金剛持遍禮  
後打金二則出五悔等例分已下行法如  
次後供養關伽之後金二打之讀卷數次  
打金一結願事由天神祈願等如例次  
後鈴已下如例

結願之時若勸賞勅使來告時自禮盤下  
奉之仁和寺法親王只乍禮盤上令承  
給願少可掛氣也  
降禮盤禮拜三度

次破壇作法如常行之也

次後加持 公家御修法結願御時阿閑  
契作僧著東帶平袈裟也。有喪御產之時  
阿閑契持五股孔雀尾漸近御前取三衣  
箱於居箱者暫持從僧修中三衣箱置脇  
机孔雀尾開白時指三衣箱上後置經  
机經入箱 次阿閑契已下退出後  
進御卷數或御加持畢後有御布施儀云  
問阿閑契後加持不用五股用孔雀尾其  
意如何 答壇場畫像法式云若小兒病  
或被鬼持以孔雀尾拂拭呪也即得離苦  
女今後加持時取一草尼順逆加持之依  
此文敷

入護摩次第修之矣

普通大壇振鈴之後護摩師起座但經

法大阿閑契正念誦經起座入幕內先

先塗香 次三部被甲 次二器香水加  
持 次爐加持 次桶闕 次羯磨加持  
次大日加持 次本尊加持 次  
三平等觀 次芥子加持 次十方結界  
次火天印明 次金輪

先灑淨 次羯磨加持 次嗽口 次爐  
加持 次積薪 次扇火 次灑淨 次

心月輪中有志字變成八幅變成金輪  
佛頂身黃色住法界定印印上安輪三  
十二相八十隨好具足圓滿

次自加持  
內縛堅二中指屈上飾如劍形並堅二  
大指屈二頭指捻二大頭上真言  
歸命 次  
次召請印 如自觀

次召請印 如自觀  
准自加持印屈二頭指各屈中指上飾  
右頭指召之真言  
歸命 次  
次嗽口 次塗香 次供物呪 次蘇油 次  
乳木 次飯 次五穀 次切花 次  
丸香 次散香 次蘇油 次普供養  
三力 祈願 次嗽口 次撥遣 次  
第三本尊段

先灑淨 次羯磨加持 次嗽口 次爐

加持 次積薪 次扇火 次灑淨 次

心月輪中有志字變成八幅變成金輪  
佛頂身黃色住法界定印印上安輪三  
十二相八十隨好具足圓滿

次自加持  
內縛堅二中指屈上飾如劍形並堅二  
大指屈二頭指捻二大頭上真言  
歸命 次  
次召請印 如自觀

次召請印 如自觀  
准自加持印屈二頭指各屈中指上飾  
右頭指召之真言  
歸命 次  
次嗽口 次塗香 次供物呪 次蘇油 次  
乳木 次飯 次五穀 次切花 次  
丸香 次散香 次蘇油 次普供養  
三力 祈願 次嗽口 次撥遣 次  
第三本尊段

先灑淨 次羯磨加持 次嗽口 次爐

加持 次積薪 次扇火 次灑淨 次

心月輪中有志字變成八幅變成金輪  
佛頂身黃色住法界定印印上安輪三  
十二相八十隨好具足圓滿

次自加持  
內縛堅二中指屈上飾如劍形並堅二  
大指屈二頭指捻二大頭上真言  
歸命 次  
次召請印 如自觀

次召請印 如自觀  
准自加持印屈二頭指各屈中指上飾  
右頭指召之真言  
歸命 次  
次嗽口 次塗香 次供物呪 次蘇油 次  
乳木 次飯 次五穀 次切花 次  
丸香 次散香 次蘇油 次普供養  
三力 祈願 次嗽口 次撥遣 次  
第三本尊段

加持 次積薪 次扇火 次灑淨 次

心月輪中有志字變成孔雀尾尾上有  
半月并滿月變成孔雀明王作慈悲相  
具四臂右第一手執開敷蓮葉第二手  
持具緣莫左第一手當心掌持吉祥葉  
第二手執三五草孔雀尾

次自加持印  
二手外縛二大指二小指各立合真言  
次塗香 次積薪 次扇火 次灑淨 次  
次嗽口 次積薪 次扇火 次灑淨 次  
次嗽口 次積薪 次扇火 次灑淨 次  
次嗽口 次積薪 次扇火 次灑淨 次

心月輪中有志字變成孔雀尾尾上有  
半月并滿月變成孔雀明王作慈悲相  
具四臂右第一手執開敷蓮葉第二手  
持具緣莫左第一手當心掌持吉祥葉  
第二手執三五草孔雀尾

次自加持印  
二手外縛二大指二小指各立合真言  
次塗香 次積薪 次扇火 次灑淨 次  
次嗽口 次積薪 次扇火 次灑淨 次  
次嗽口 次積薪 次扇火 次灑淨 次  
次嗽口 次積薪 次扇火 次灑淨 次

心月輪中有志字變成孔雀尾尾上有  
半月并滿月變成孔雀明王作慈悲相  
具四臂右第一手執開敷蓮葉第二手  
持具緣莫左第一手當心掌持吉祥葉  
第二手執三五草孔雀尾

次自加持印  
二手外縛二大指二小指各立合真言  
次塗香 次積薪 次扇火 次灑淨 次  
次嗽口 次積薪 次扇火 次灑淨 次  
次嗽口 次積薪 次扇火 次灑淨 次  
次嗽口 次積薪 次扇火 次灑淨 次

心月輪中有志字變成孔雀尾尾上有  
半月并滿月變成孔雀明王作慈悲相  
具四臂右第一手執開敷蓮葉第二手  
持具緣莫左第一手當心掌持吉祥葉  
第二手執三五草孔雀尾

次自加持印  
二手外縛二大指二小指各立合真言  
次塗香 次積薪 次扇火 次灑淨 次  
次嗽口 次積薪 次扇火 次灑淨 次  
次嗽口 次積薪 次扇火 次灑淨 次  
次嗽口 次積薪 次扇火 次灑淨 次

心月輪中有志字變成孔雀尾尾上有  
半月并滿月變成孔雀明王作慈悲相  
具四臂右第一手執開敷蓮葉第二手  
持具緣莫左第一手當心掌持吉祥葉  
第二手執三五草孔雀尾

次自加持印  
二手外縛二大指二小指各立合真言  
次塗香 次積薪 次扇火 次灑淨 次  
次嗽口 次積薪 次扇火 次灑淨 次  
次嗽口 次積薪 次扇火 次灑淨 次  
次嗽口 次積薪 次扇火 次灑淨 次

心月輪中有志字變成孔雀尾尾上有  
半月并滿月變成孔雀明王作慈悲相  
具四臂右第一手執開敷蓮葉第二手  
持具緣莫左第一手當心掌持吉祥葉  
第二手執三五草孔雀尾

次自加持印  
二手外縛二大指二小指各立合真言  
次塗香 次積薪 次扇火 次灑淨 次  
次嗽口 次積薪 次扇火 次灑淨 次  
次嗽口 次積薪 次扇火 次灑淨 次  
次嗽口 次積薪 次扇火 次灑淨 次

心月輪中有志字變成孔雀尾尾上有  
半月并滿月變成孔雀明王作慈悲相  
具四臂右第一手執開敷蓮葉第二手  
持具緣莫左第一手當心掌持吉祥葉  
第二手執三五草孔雀尾

次自加持印  
二手外縛二大指二小指各立合真言  
次塗香 次積薪 次扇火 次灑淨 次  
次嗽口 次積薪 次扇火 次灑淨 次  
次嗽口 次積薪 次扇火 次灑淨 次  
次嗽口 次積薪 次扇火 次灑淨 次

心月輪中有志字變成孔雀尾尾上有  
半月并滿月變成孔雀明王作慈悲相  
具四臂右第一手執開敷蓮葉第二手  
持具緣莫左第一手當心掌持吉祥葉  
第二手執三五草孔雀尾





大師御作次第也

新譯經事 表訓集第一云右興善寺三藏沙門不空奏伏以如來妙旨惠洽生靈仁王寶經義崇護國前代所譯理未融通福資聖代澤及含靈冠蓋水清寰道允稷傳之曠劫救護實深文有異文

經法起因事

本軌云夫依經建立護國護家護身除災轉障從凡成聖修行瑜珈至究竟曼荼羅者○無觸穢地即但依法建立曼荼羅有文性靈集四云其所將來經法之中有仁王經守護國界主經佛母明王經等念誦法門佛為國王特說此經摧滅七難調和四時護國護家安己他此道妙力也具文

由來事

不灌鈴云宮作真言最初公家御祈大師始令行之靈驗尤有之云

護摩壇

大德十二年二月十二日天眞聖天真經長治二年二月十二日三寶院僧正聖覺時法九公家御祈御祈也壇所於侍從久利屋

勤修仁王經法二七日內鉾星失沒云今度無勸賞凡兩度勤修之前用幡二十四流後被用八流其後大僧正定海三箇度大僧都元海二箇度法印乘海二箇度實運僧都於三寶院勤修日餽御祈也

自保元三年二月二十二日始被修今法日餽三月一日也二七日結願了

起首事

軌云每月十四日十五日於此兩日供養

為國為家為自身除災難文又云息災者從月一日至八日取初夜時增益從月九

日至十五日取初日分時求敬愛從十六日至二十二日取後夜分調伏者從二十

三日至月盡日取日中夜又云若求出世無上菩提修護伽者晝夜四時後夜日

中黃昏中夜運心供養最為上勝文又云為國為家為自身除災難者面向北方生

本尊及諸供養皆作白色寂靜默然誦云求增益面向東坐想本尊等皆黃色歡喜

寂靜不出聲誦為降伏者面向南方坐想本尊等皆作青黑色內起大悲外現威怒

大聲念誦為求敬愛面向西方坐想本尊等皆作赤色以喜怒心出聲念誦文

名字事

仁王經王母經到法

舊譯經下云是般若波羅蜜是諸佛菩薩一切眾生心識之神本也一切國王之父

母也亦名神符亦名辟鬼珠亦名如意珠亦名護國珠亦名天地鏡亦名龍寶神王

又則大疏文薄伽梵即虛遮那本地法身文即是能住體也護國者舊譯經云

是經復有無量功德名為護國土功德亦名一切國王法藥服行無不大用護舍宅

功德亦護一切衆生身即此般若波羅蜜是護國土如城重墻樓刀劍鉾權文軌云

護國護家護身除災轉障從凡入聖修行

瑜伽文

其國等本地法身所住處也即衆生之心地也般若者有實相觀照二種上護國不

二理智指之云般若也此般若其字本不生大空無相極無分別心也般若自性純

即不愚不智生死涅槃一概誰利誰鈍相約一邊者利也鈍也入不生者利相鈍相

舉體皆圓不可偏是無相無念般若義也波羅蜜者祕鍵云次二句俱就所作已辨

為號文是其所住處名佛受用身即以此身為佛加持住處如來心王諸佛住而住

其中義也不二位所作已滿到彼岸而能住心所住理智三種和合成辯位也仍仁

王如實知自心初菩提心為因也護國大悲為根義般若波羅蜜方便為究竟義經

依正萬法依此三位成其體也密宗源極深思之

口云此法習寶珠法也是三寶院至極秘事也云

問三寶院流凡一切法皆習入寶珠以其義通云寶珠數亦別此法深理習寶珠數

如何答勸修寺習一切皆習大日三寶院皆習入寶珠此法可寶珠故有之經云

是般若波羅蜜亦名如意珠云又云作七寶案以經卷置上若王行時常於其

前足一百步文新譯經云能應輪王名如意珠能令難陀跋難陀等文又云娑婆散

華廣大供養寶函盛經置於寶案欲行時常導其前所住處作七寶帳衆寶為座文

此等文其證也亦付本尊等可習事也又  
以塔印用修習般若真言是究竟習也云  
御筆般若普觀即左手持寶右手外向下  
云云此證也

本尊事

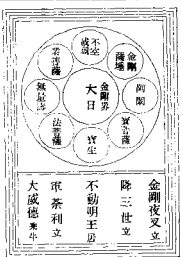
次第云本尊不動明王口傳云此法本尊  
偏不可用不動也不動則般若若  
令輪身也今此法所用之本尊者自性輪  
身之般若菩薩與教令輪身之不動明王  
令和合之尊也受茶羅中輪之尊也受茶  
羅中雲之尊手持劍左持輪是則兩尊和  
合之義也以其像可爲本尊也大師御筆  
之到岸菩薩其證歟云遍口鈔云先受  
茶羅并本尊等習也仁和寺方本尊般若  
菩薩云即金剛波羅蜜此正法輪身也  
醍醐方本尊不動云但不普通之不動  
到岸菩薩也其形像右手持劍左手持輪  
也此合此形像即本身不動教令輪身也  
而令持輪者正法之心也仍此本尊正  
法教令合體也頗相叶經文儀軌見教到  
岸菩薩大師鈔書給也此條頗餘流習增  
此流存也勸修寺只普不動習歟此法  
專祕本尊習本尊也其外無指事歟云  
問正法教令兩身合體義不審也自性本  
地如來總利他門之時教令輪不動也此  
教令輪何不利自性正法二德乎餘尊皆  
具內證何有其德今限不動兩身和合令  
現獲有說處等乎如何答不動是般若  
菩薩忿怒身也今以二合體身爲本尊

是即到岸菩薩也形雖似不動左持輪是  
既異也尤以深祕也經軌意相叶也不空  
軌云依義者正法輪現實身所修行願罪  
有異一者正法輪現實身所修行願罪  
得身故二者教令輪示威怒身由起大悲  
現威猛故○金剛波羅蜜多者此云到岸  
也如彼經云轉法輪般若薩也依前法輪  
勝妙等行圓滿住等位也持金剛也  
手持金剛輪者是應舍那初成正覺請  
法輪以表示故又教令輪現作威怒不動  
數天至彼岸故依教令輪現作威怒不動  
金剛摧伏一切鬼魅或亂諸障礙者令調  
伏故放五色光者顯具衆德破前諸闇也  
論也加之大師御筆本已二輪外金剛到  
彼岸書給本在仁和寺北院應藏尊像  
全如軌豈是非合體身哉相承之上說  
金不可疑事與二輪和合身何無之乎  
釋迦入金剛佛頂三摩地時不改本身  
手持輪是即二輪合體也又光明眞言儀  
軌云大毘盧遮那如來無量壽如來南無  
如來心中心咒女是大日彌陀合體眞言  
也如此類

異說事

或書云口訣云此法本尊并印明等最祕  
也而或五勝爲本尊或說者以五菩薩爲  
本尊或用五大明王而面在所習今傳者  
五佛之自性身五菩薩之正法輪身五  
明王之教令輪身此三十五尊不二和

合爲本尊也云  
大師御本尊圖  
而緣同也



口云此圖祕曼荼羅也東寺講堂本尊樣  
也或書云右曼荼羅大師御尊也諸尊皆  
如金剛界可見東寺講堂也但與講堂有  
少異也法菩薩所安利菩薩依鎮護國之  
用勝云又加梵天帝釋四大天王有深  
意口訣此甚深祕曼荼羅也一人之外  
雖爲祕新灌頂於弟子不令知之云眞  
雅口決云講堂諸尊即口決也教王護  
國仁王之號在此曼陀堂中方五佛如金  
剛東方金剛波羅蜜金剛劍座虚空藏觀  
自在但儀軌文殊也儀軌斷諸義斷銀  
護國家之勝故也金剛業儀軌金剛牙也  
其意同前西方五大尊如常外院四大天  
王梵天帝釋但儀軌無梵天今如之在深  
意可聞口訣或云五佛自性輪五菩薩正  
法輪五大明王教令諸天等別磨輪自  
性輪者權假無明惑障正法輪者除五根

本惑。故令輪者。誠無量隨感。梵釋四天王等。者微細惡障形體也。

問。帝釋四王者。五佛之等流身也。今加梵天出諸如何。

答。有二意。一梵天即仁王也。世人謂梵天能化衆生爲衆生主。故最可爲外護。二梵天是衆生神識也。故云仁王。如此可有二意。

問。若爾者。帝釋四王可有二意乎。如何。

答。爾也。仁王最勝守護等。五天各守五方護國界災厄。是故可爲外護。二五天者。五大不調者。身有疾厄。國有災害。爲合五大調和。尤可安置之也。

問。若爾者。以五天可足何五佛等安之乎。如何。

答。於五大。有體相。用今五佛者。體。九菩薩者。相。四大天王。用五天不二。梵天能具人也。又曰。十四忍。者。攝五忍中。十三觀者。攝二諦中。十地者。攝五菩薩。四隅菩薩者。金剛薩埵。金剛寶。金剛法。金剛乘。四方之四菩薩。各取其初攝其餘。故十六大菩薩也。薩婆中。十地者。即十六薩埵。五忍者。大明王。二諦般若者。攝金剛波羅蜜。菩薩。此菩薩。四波羅蜜。善初也。四菩薩。即定也。金剛四波羅蜜。定中惠故。攝般若。定必生慧。是故以十六菩薩爲眷屬。五大明王。據內障。五菩薩生福智天等者。滅國災。五智如來者。內證之君長。萬國之皇帝也。一切衆生。皆具此如來智。爲開敷此智。現無量般若身重。不如說不可說。然皆現。處處都如來五體。故又云。攝大空之智。劍。

摧衆生迷株轉法性之金輪破群類惑業。梵釋四王而貫自在之契印。是定惠五尊而攝無礙之大空。是則心王足處。遮邪智印三摩地也。所以大舍不見。以大口如來可奉尊。淺略。曼荼羅。然後此四重曼荼羅。法然本有自性。法身加持。尊德三昧也。云或云。東寺名教王護國寺。有三義。一東寺講堂。仁王經。曼荼羅也。故教王護國者。即仁王護國經。題爲寺號。仁王教王。人法一體。故二教王護國。教王護國。謂佛說般若法。教王王能護國。故三教王護國。教是去字也。教。教法。法。法行作也。謂去王所住之東寺。讓大兩三寶。致鋪護新。故名去王護國寺也。軌云。護國護家護身除災轉障。又云。爲國爲家爲自身除災難。又曰。云。雲鏡上人與惠什阿闍梨同道高野參詣時。於木屋堂靜東寺五菩薩中。尊上入云。五菩薩中方菩薩。金剛薩埵也。云。惠什云。一曼荼羅。別如何。上入云。薩埵。有本方薩埵。中央則本有薩埵也。云。云。手。手。當腰中。右手作持。轉口。離勢也。云。云。惠什云。未知本說。中尊即般若菩薩也。右手持輪。修理之時。失落。如元不合持之。是長者。越度也。手中心立輪之穴。有之。則曲水。水。手指把輪之形也。若金剛薩埵。慢印。中。四指。大指可置掌中也。彼中方菩薩印。相。古本。金剛薩埵。形像中。全不見。云何。上入云。中方大日所現。前方阿闍梨所現也。印。

相可見。金界羯磨會也。故只金剛波羅蜜。存。彼云時。惠什云。大師到彼岸。菩薩。若給我相。承如是。汝未傳處也。不知仁王經法事。無力云。件論。義自傳法院。金剛薩埵印。相。問。答。重。惠什所存。是宗大事也。上入會釋。亦是其深難。截紙。筆。也。惠什本名齊朝。改云惠一。寬朝。深覺。修仁。增進。芳朝。齊朝。

理。題釋云。曼荼羅。中央。畫。親自。在。菩薩。前。金剛法。右利。左。因。後。語。文。又云。云。云。丁。中央。畫。崇。崇。薩。而。寶。石。光。左。轉。後。笑。文。又云。云。云。丁。中央。畫。一切。如來。拳。若。薩。前。業。右。義。左。樂。又。後。拳。文。七。卷。理。趣。經。一。云。安。外。曼。荼。羅。內。置。八。輻。輪。分。別。八。尊。位。中。位。金。剛。手。○。先。猶。中。尊。前。安。金。剛。薩。埵。於。右。邊。安。置。根。根。羅。尊。於。後。安。金。剛。薩。埵。於。左。邊。安。置。金。剛。手。大。尊。四。隅。安。四。尊。執。持。華。經。轉。鉢。與。佛。頂。文。六。波。羅。蜜。經。四。波。羅。蜜。文。中。金。剛。波。羅。蜜。密。法。金。剛。薩。埵。文。法。華。軌。云。次。結。金。剛。薩。埵。轉。法。輪。印。○。卽。字。爲。轉。法。輪。大。菩。薩。文。成。就。院。云。金。剛。須。臾。伽。藍。毘。盧。遮。那。如。來。現。種。種。身。一。正。法。輪。身。現。轉。法。輪。菩。薩。身。二。教。令。輪。身。現。不。動。明。王。身。大。日。經。金。剛。薩。埵。印。轉。法。輪。菩。薩。印。者。故。知。大。日。即。金。剛。薩。埵。金。剛。薩。埵。印。法。輪。菩。薩。印。不。動。云。云。傳。受。集。三。云。東。寺。講。堂。五。菩。薩。中。方。金。剛。手。前。方。金。剛。薩。埵。餘。方。思。之。是。覺。後。闍。梨。傳。云。已。上。七。箇。文。等。爲。明。上。入。義。私。勘。載。

之。但彼所被存道理證據委不知及之。  
大師謂掌五方菩薩忿怒等像可尋見。  
是惠什闍梨證據也。又後信正無障金剛。  
次第并法三宮不擺鈴等足皆惠什義也。  
無障金剛次第<sup>正傳</sup>道場觀云有<sup>正傳</sup>字成  
五股金剛杵。杵變成無障金剛身。色如素  
月。住智拳印。戴五佛冠。著輕軟衣。塵沙眷  
屬諸方往云。



不空	金剛業牙	藥叉	多聞天
阿闍	金剛手	降三世	持國天
大日	金剛波羅蜜	不動	梵天
寶生	金剛寶	甘露	增長天
彌陀	金剛法利	六足	廣目天

承和六年二月十三日於座禪房撰之

此圖無陸金剛次第之奧有之取要省之  
此次第者仁王經之法源底也無陸金剛  
者金剛界大日如來密號也此次第以大  
日爲本尊行之卽爲至極源底以此受茶  
羅此法可爲受茶羅能可尋習之此次  
第極秘密也不可有他見云

大會不見。以大日如來可奉爲本尊。亦祕  
隱甚深義趣。且說淺略曼荼羅也。眞言最  
初場公家御祈。大師始令行之。靈驗有尤  
之。

護摩壇大寶德 十二天信淨 聖天具雅

延喜二十二年正月八日 沙門眞舜

口云。大會不見者。本尊界會不見。以大日如來可奉爲本尊云。此隱密云。大會不見也。是甚深。努努不可披瀝。祕之中祕也。以此曼荼羅爲仁王經本尊。此法究竟也。或云。無障金剛次第井不灌鈴。以大日如來爲本尊。此法始大師教王護國寺修之。其時本尊定中尊令向御堂前立借屋給。此法凡公家御修法始。有也云。或以五佛爲此法曼荼羅是究竟祕事也。其中大日猶以存實資本尊也。或以五菩薩爲本尊時。五佛并五大尊混五菩薩觀之也。新譯經下云。此五菩薩訪他國怨敵文。或以五大明王爲本尊時。五佛并五菩薩混五尊觀之。妙抄云。本尊五五大尊。爲本尊不爲本尊。

庚日	仁王經 IQI	多聞
牙乘	不空 阿闍	帝釋
金剛波羅蜜	大日 六	持國
法華	彌陀 寶生	薩
般若	不動 降	寶
自性論	大軍	實
五智輪	梵天	增長
教令輪		

動尊不持索持十二輻輪教令輪之故也  
四大明王又教令輪身也如次可觀迴之  
或說以般若菩薩爲本尊此傳不可爲此  
菩薩者是正法輪也正法輪不可爲此法  
本尊事歟云  
口云此寬信法務口傳也五尊爲五方守護也軌依正法輪現勝教令輪現威怒身云故教令輪身尤妙也般若菩薩頗不得心軌云依前法輪現勝妙身行願圓滿住等覺位手持金剛輪足虛遣那初成正覺誦轉法輪文是凡夫難得益歟又云依教令輪現作不動金剛摧伏一切鬼魅惑亂諸障惱者令調伏故○與天帝釋及將無量諸天而爲眷屬又因俱胝菩薩往護其國文此故以教令輪身爲本尊祕傳也菩提心義安然云仁王般若五方菩薩眷屬依金剛頂瑜伽即是五佛現二種身一者正法輪身現五方菩薩身二者教令輪身現五大尊身往護其國云此法輪護身同往說護國土教令輪身尤殊勝也古譯經五大力即忿怒形也是即護國菩薩國土尊形也又小野引有五大尊非菩薩像歟就中後七日修法之息災護摩本尊也此亦一證也彼法五尊同並供之若爲鎮護國家歟可尋云或以不動一尊爲本尊不動般若菩薩也是故火界呪以般若四十二字爲義云

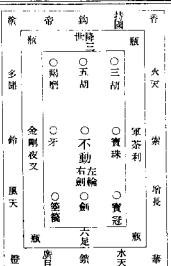
私云此身之咒

立印軌云成就法○塗拭曼荼羅置大般若

若經以妙花香散上文底里三昧耶經云  
壇上置大般若經文是等不動與般若經  
通用證據也云、

又此法鎮護國家第一大法即前經題名  
不動明王安鎮家國土法同義也調伏息  
災共付不動行之國兵亂起調伏要須時  
可向不動也以大日爲部主究竟祕事也  
傳受集四云不動所履朝十一面持國天  
日中釋迦增長天日沒阿彌陀廣目天初  
夜觀音多聞天半夜地藏梵天後夜虛空  
藏帝釋六時利益佛菩薩天等云、

弘推說云○不動爲本尊事中夜長時  
護國土義戰故不動也經王得益同意  
也講堂六天可察也云、



般若鈔云仁王經法有曼荼羅昔公家被  
修彼法之時順師曼荼羅寺大綱爲阿闍  
梨申請佛師如照令圖繪給本也門跡相  
承以伴曼荼羅爲本尊行此法師資相承  
息災修之云、此曼荼羅普通八天不畫  
五方天王之外○水風三天被加世間災

雖無過此三仍此三天圖加給歟仁王經  
護國品云大火大水及大風等是諸難起  
皆應受持講說此般若波羅蜜多文遍口  
云鈔云寬喜二年九月二十日於遍智院  
虫拂之次息災增益兩曼荼羅被奉懸之  
拜見之次近召寄被仰云於此法習曼荼  
羅事尤可然而近來無其緣能大也根本  
仁海僧正圖出之增益曼荼羅是也佛師  
如照圖之作曼荼羅利菩薩三昧耶形鈎  
令圖仍覺印圖梨銀云鈎鈎字不辯歟云

此圖樣凡不心得願必定諺歟而前大僧  
正定海以越南已講今息災圖直之也件  
已講彼紙形持定信法務許行向云醍醐  
大僧正仁王經曼荼羅令圖帳申不審也  
彼拜見法務被申此候紙形取出令拜見  
其後歸醍醐住房夢想當寺公人等來醍  
醐成者也住房被却已講深砂河立見打  
驚以後所勞付無程遞去云偏清瀧權  
現之御計御治前之由時人人云件曼荼  
羅○以後以彼息災曼荼羅爲本尊也四  
大明王等形像常四大明王不似是則合  
體之義也  
仁海何故增益令圖作哉 答云故不分  
明曼荼羅增益圖法息災仁海等勸行之  
云勸修寺息災圖乃頗勝舊歟增益  
曼荼羅法息災修シタレハコソ念ナレ  
ト申トッ聞被仰云已上  
口云勸修寺流人兩條難之一此曼荼羅  
者仁海僧正所圖也小野三寶院通用也

何兩三寶院小野外見之法アサマニ  
成ヘキ不審也二懸增益曼荼羅修息災  
法是習也圖改條不知深義云此雖不  
然法既息災故本尊圖息災非所難仁海  
僧正以如照圖增益西向令畫之其後定  
海僧正相承以珍海已講息災北向圖之  
給珍海依清瀧權現治法罰則病付死則  
權現圖改給事受思食故也若爾者定海  
僧正所圖息災曼荼羅者通神感故猶以  
殊勝也云

問向增益本尊修息災其意如何 答行  
息災法即能修之法息災也所修之本尊  
增益之條凡法中扇底迦補瑟底伽也  
儀軌建立曼荼羅所云文天於壇上面向  
東坐○取諸香水塗一圓壇文  
問今圖仁海僧正依何經軌被圖之乎如  
何 答念誦軌云於壇中如法彩畫○人  
沐浴著新淨衣受近住戒其壇三重莫用  
皮膠用諸香膠如無香膠用諸香膠祇權  
米汁用和彩色於壇中心畫十二幅輪東  
畫五股金剛杵南邊畫金剛寶西邊畫金  
剛牙此上五事即是五方菩薩手中所執  
祕密之契東南兩畫寶冠西北兩畫蓮華  
東北兩畫羯磨金剛杵當四角上置四寶  
脫金銀劍交新瓦亦得受一升已下滿瓶  
盛水柿枝條花用四色絹各長四尺青黃  
赤綠如鈎上次第繫四瓶次第三重東門  
畫金剛鈎南門畫金剛杵西門畫金剛鎖  
北門畫金剛鈴東南角畫香爐西南角畫

荷葉。施中畫雜花。西南角畫瑩瑩東北角畫塗香。蓋所畫井等香有光瑣三重。壇外一重界道。四面畫門。當入界道。於壇四角釘仗陀羅木。橫鐵。橫紫壇木。橫文。依此文五方天等井水。火風三令。合也。

或云。依說散。散茶羅文。故大旨散。散茶羅也。但五大尊等。奉加普懸。散茶羅用。歟。



元杲曾都關上醍醐峯僧房求出家云：此外傳受集第一。五大力曼荼羅。或聖賢闍梨。調伏等。以有圖之。雖然悉繁多略之。廣澤流以饒若菩薩爲本尊。更無異途也。

問。大師以東寺講堂爲此法道場。其中無  
般若菩薩。依何證用之乎。答。東寺講  
堂五菩薩中。尊金剛波羅蜜者。般若菩薩  
也。

牟利受荼羅經云第九阿摩賴識法界體  
性智是盧遮那普賢不動第八阿賴耶識  
大圓鏡智阿闍文殊降三世第七末那識  
平等性智寶生盧空威軍荼利第六意識  
妙觀察智阿彌陀觀音大威德此五識轉

成所作智轉迦又不空成就金剛業現  
二種身若正法輪身現轉法輪菩薩即金  
剛薩埵菩薩也若教令輪身現不動身有  
所立依身密故現普賢身依口密故現不  
動等依意密故現毘盧遮那身文  
疏云五方佛各現二種身正法輪身轉  
法輪身菩薩教令輪身不動身餘方准

軌云。金剛波羅蜜多身。此云到彼岸也。如  
彼經云。轉法輪菩薩也。文祕藏記云。不動  
尊。毘盧遮那菩薩  
性輪般若菩薩  
般若鈔云。般若菩薩者。是則金剛波羅蜜  
菩薩也。不灌鈴云。金剛波羅蜜即般若菩  
薩云。

依此等金剛波羅蜜菩薩者轉法輪菩薩也轉法輪菩薩即金剛薩埵也薩埵即般若菩薩也故金剛界金剛波羅蜜胎藏界持明院中尊般若菩薩也兩部別號同體異名也彼金剛極堅固智德也波羅蜜故智德梵語也謂佛堅固大海以智爲能度故到彼岸義波羅蜜漢語也故般若菩薩金剛波羅蜜也金界果也智也胎界因也理也。是即般若證爲諸佛母但於印言者用金界印言理智不二般若即智故用智界

印言利他故也

問五佛五菩薩五大尊中何用般若菩薩

乎依憑如何 答般若者遮那智體也智

體者般若故是則諸尊總體也付般若若

體相用體實相理相萬德妄用覺知義觀

照功能也。今仁王般若者度十方便德也。法性顯相分萬德一門也。專爲護持末世王法故。垂神力加持說護國方法故。高祖金剛夜叉取意。

金剛經云：「是處遊步，佛大師爲師。」  
家爲最初剎，始修此法給。教王護國寺  
雖是此山緒也，彼道場本尊可安較若若  
薩也。然而祕者故別不顯一體凡一切諸  
尊，皆以智爲體，智相智用是別其委異也。  
雖然付別論總悉以智爲體，智是般若故  
何尊，非本尊乎？諸尊必有三智，身謂自性  
輪本性智體也。正法輪方便智相也。教令  
輪斷惑智相也。論者智義也。五佛五菩薩  
五大明王等，以此道理故存總相儀理實。

本尊金剛到岸即般若菩薩同體異號也以本歸末諸尊皆大士即標示相是般若尊也山田寺御筆曼荼羅其深奧義只是意也

問大日般若總體也以總體爲本尊可祈護國用依體發用事教門所判也如何

答體相本來無別且望自他假稱相望他義設正法輪身化他義門也轉法輪德化他義故本尊般若菩薩正法輪身也化他義別門諸尊皆遮那智印也遮那智印者別相諸尊也分普門萬德廣爲化衆生顯一門方便現四種法身若如所難者別門無用也歸遮那總德可祈諸事故也

問五大明王般若用也專爲本尊可祈護

國用。故小野流爲本尊。何廣澤一流不用之乎。答。明王教令輪身般若。用故非其本尊。發體相用佛法大體也。以般若相分善薩爲本尊。今祈請護國等悉地時。五大明王等施機護尊也。是發般若體相用也。故廣澤流習尤有其謂歟云。

或傳云。以經爲本尊。般若臺上安經也。古譯經云。亦作七寶案。以經卷置上。若王行時。常於其前足一百步。文新譯經云。燒燈散花。廣大供養。寶雨盛經。置於寶案。若欲行時。常導其前。所住處作七寶帳。衆寶爲座。文。

又云。是經常放千光明。令千里內七難不起。日月失度爲一難。二十八宿失度爲二難。大火燒國爲三難。大水漂沒百姓爲四難。大風吹殺爲五難。天地國土亢陽爲六難。四方賊來侵國爲七難。文。取意新譯同之。或云。寶生尊爲本尊。此事玄海大僧都獲麟之時。以使被授寶海僧都云。或人云。仁王般若法通寶珠法。寶即智慧故也。大師御筆般若菩薩。左手持寶珠。云五頂輪王經云。般若波羅蜜。自性。右手持梵篋。左手持更多摩尼。作施願勢。是一切佛菩薩之母。大聖般若波羅蜜。多文。亮惠云。增益行時。可用寶生尊印。略出經。寶生尊印。般若菩薩印用之也。亦金剛界智惠波羅蜜印。寶生尊印也。新譯經云。能應輪王名如意珠。能令難陀跋難他等文。衆生經云。般若波羅蜜。是諸佛菩薩一切衆生

心識之神本也。一切國王父母也。亦名神符。亦名辟鬼珠。亦名如意珠。亦名護國珠。亦名天地鏡。亦名龍寶神王。文。右所載之本尊等。用否諸人用之。悉可開口傳爲才覺。載之。且爲斷迷執也。不可異論者。歟。只我流習以之可爲本也。

### 白寶口抄 仁王經法中

#### 種子事

種子事。種子字體。字因緣成就義。點損減義。損減一切怨敵也。點增益義。衆德具足。尤仁王護國種子也。立印軌云。打賊用根本印。誦種子言文也。云又云。法於忿怒。誦卽字。眞言。能生雲雨等文。底哩三摩耶經云。行者。瞋怒。結心。印。稱卽字。一切惡雲退散。文疏九云。卽是恐怖。彼障。所以重言之者。一。摧外障。復次。外是煩惱障。內是智障。若釋字門。如來以何法恐怖諸障耶。謂卽以此詞字門也。下三昧張卽是具修萬行。上有大空點卽是成高德。如是義故。適發聲時。魔事散壞也。文。字因起故。萬法悉從是生起。故萬物能生。義又恐怖。義能摧破魔怨等故。有能成能破。二德。內摧智障。能成佛地果滿功德。外摧魔障等除災難。守家中并國土。內護外護。能成能破。二德。偏是今內證法。曼荼羅種子。字。字德也。不動鎮家法時。種子。字。三形輪也。今鎮護國家法。種子。字。三形輪也。同意歟。

三形事

十二輻金輪者。種子。字。同義也。先。字。因業不可得義。是卽流轉還滅。十二因緣也。字。損減義。有摧破德。是十二因緣摧破。故損減義也。空點增益義。增益有滿足德。是輪圓形義也。

問何故空點增益乎。如何。答摧破流轉十二因緣。證大空不生。成滿德圓備果位。是增益義也。又約世間。除却十二月不祥。七難消滅。七福即生。故國土安穩。萬民快樂。增益義也。云。或云。生界流轉。還滅偏。是依十二因緣生也。故用十二輪斷彼心也。最祕云。

## 道場觀事

軌云。於壇中心畫十二輻輪。東畫五股金剛。作兩邊畫金剛寶。西邊畫金剛劍。北邊畫金剛牙。此上五事。即是五方菩薩手中所執祕密之契。東南隅畫寶冠。西北隅畫蓮莖。東北隅畫羯磨金剛杵。當四角上置四寶瓶。金銀銅瓦。亦得受一升已下。滿瓶盛水。梯枝條花。用四色。繪各長四尺。青黃赤綠。如上次第。繫四瓶項。次第三重。東門畫金剛劍。北門畫金剛鈴。東南角畫香爐。西南角畫荷葉。施中畫新花。西南角畫燈。東北角畫塗香器。所畫杵等。皆有光焰。又軌云。第一東方金剛手菩薩。經云。東方金剛手菩薩摩訶薩。手持金剛杵。放青色光。與四俱胝菩薩往護其國。解曰。金剛手者。依三藏所持。持本金剛頂瑜伽經云。堅固利用二義也。依彼經者是五菩薩。依二神輪現身有異。一者正法輪現。真實身。所修行願報得身故。二者教令輪示威怒身。由起大悲現威猛。故此金剛手即善賢菩薩也。手持金剛杵者。表起正智。猶如金剛能斷我法微細障。故依教令輪現

作威怒降三世四頭八臂。摧破一切摩羅首羅。大自在天。諸魔軍衆。侵害正法。損害眾生者。令調伏故。放青色光者。顯能除遣魔衆也。與彼東方持國天及將無量乾闥婆衆。毘舍闍衆。而爲眷屬。與四俱胝菩薩往護其國。第二南方金剛寶菩薩。經云。南方金剛寶菩薩摩訶薩。手持金剛摩尼。放白色光。與四俱胝菩薩往護其國。解曰。言金剛寶者。彼經云。虛空藏菩薩也。依前法輪現勝妙身。修施等行。三輪清淨。手持金剛摩尼者。梵云摩尼。此翻寶體。淨堅密寶。如金剛。即是金剛。如如意寶。隨諸有情所求。皆得依教令輪現作威怒。甘露軍荼利金。剛現八臂。摧伏一切阿修羅衆等眷屬。諸惡鬼神。備害有情。行度疫疾者。令調伏故。放白色光者。顯能除遣修羅等也。與彼南方增長天王及將無量現畔荼衆。辟荔多衆。而爲眷屬。四俱胝者。且一俱胝者。如花嚴經云。百洛又爲一俱胝。即當北方百億數者。餘三俱胝。准此應悉。與如是衆生往護其國。第三西方金剛利菩薩。經云。西方金剛利菩薩摩訶薩。手持金剛劍。放金色光。與四俱胝菩薩往護其國。解曰。言金剛利者。如彼經云。文殊師利菩薩也。依前法輪現勝妙身。正智圓滿。得自在。故手持金剛劍者。示其所作能斷。自他俱生障。故依教令輪現作威怒。足尊。金剛手臂頭各六。坐水上。摧伏一切諸惡毒龍。與惡風雨。損害有情者。令調伏故。放金色光者。顯能

除遣惡龍等也。與彼西方廣目天及無量諸龍。富單衆。而爲眷屬。與四俱胝菩薩往護其國。第四北方金剛藥叉菩薩。經云。北方金剛藥叉菩薩摩訶薩。手持金剛鈴。放瑠璃色光。與四俱胝衆。又往護其國。解云。梵云藥叉。此云威德。又翻爲盡能盡諸怨故。如彼經云。摧伏一切魔怨。苦薩也。依前法輪現勝妙身。事智圓滿。得自在。故手持金剛鈴者。表擊覺悟有情。表以般若驚群迷故。依教令現作威怒。淨身金剛。示現四臂。摧伏一切可畏衆。又常於晝夜伺求方便。奪人精氣。害有情者。令調伏故。放瑠璃色光者。顯能除遣衆藥叉也。與彼北方多聞天王及將無量藥叉衆。羅刹婆。而爲眷屬。與四俱胝菩薩往護其國。第五中方金剛波羅蜜多菩薩。經云。中方金剛波羅蜜多菩薩摩訶薩。手持金剛輪。放五色光。與四俱胝菩薩往護其國。解云。言金剛波羅蜜多者。此云到岸也。如彼經云。轉法輪菩薩也。依前法輪現勝妙身。行願圓滿。住等位也。手持金剛輪者。具足舍那初成正覺。請轉法輪。以表示故。又以法輪化導有情。令無數天至彼岸。故依教令輪現作威怒。不動金剛。摧伏一切鬼魅。惡亂諸障。惱者。令調伏故。放五色光者。顯是諸天而爲眷屬。與也。與天帝釋及將無量諸天。而爲眷屬。與四俱胝菩薩往護其國。文。依此等文。仁海僧正。以如照被圖。增益曼荼羅三寶院。相承也。今道場觀。依彼曼荼



羅觀之也

私云或云付五方曼荼羅大師御筆圖有之五方有五鋪一鋪又各有菩薩二體明王天等眷屬等件正本金峯山路山田寺有之德大寺法印取之被持云其後佛師傳之復泰渡三井覺祐僧正以件本三寶院僧正寫止奉安置經藏了但兩方關玄海僧都以珍海被加圖云

口云五菩薩五忿怒非普通形像受大師青龍口傳令圖御狀有甚深義云

師云五佛五菩薩五大明王五方天等皆守護五方給也仍爲鎮護國家大師令圖此曼荼羅御

口云五尊種子三形皆共依正法輪尊形教令輪身也身色等如儀軌說可觀之但降三世軍荼利大威德之三尊如常皆持本三昧耶等八俱四攝四大天王八方天等皆如常也云

印真言事

先五大尊云不動印言劍印慈教說如常降三尊印言大印大呪如常軍荼利尊印言三昧耶印大呪檀慧相交入掌並屈戒方押又問忍願並申進力屈如鉤住忍願初節後如三股金剛杵形禪智並申押戒方背處於忍願間或結被甲印也

大威德尊印言 心印大心呪三股印甲被也印

金剛藥叉尊印言 根本印大呪戒方忍願指內相又爲齒輪惠曲如鈎通力禪智由如笑眼形

次根本印事

仁王經念誦法云大師以兩手背相附取二頭指二小指屈於掌中以大母指各押二指頭置於心上誦經中陀羅尼七遍云

儀軌云般若波羅蜜根本印云慈覺軌同之今依口傳云經臺印是二水二火四指之上置梵想之故也

陀羅尼集經三云般若無盡藏印一名般若

若根本亦名金剛般若心以二大指各捻二小指甲上平屈二小指下節中節相背博之二中指二無名指各相背博直豎向上各屈二頭指相背令平中節背相著與二小指相搏令平如高座上安置經藏當心著之當誦呪時專想繫念一切經藏皆從印出悉入中心文

口云經臺印者此經文意也法三宮傳云經臺印也故諸流共名經臺印立二水二

火上想梵篋水指是妙觀察智也此智行

相即觀照般若也火指平等性智一實義

故實相般若也上觀梵篋是文字般若也

此三種般若表一印以空押地風表一大

法界即法界智空顯一法界義也次風指名金剛指是表其金剛性成所作智地表

二利成辦也是法界智中大般若若菩薩盡性虛融三摩地義也般若若菩薩者金剛波

羅蜜也云

又云經臺印者集經安置經藏當心云

又云此陀羅尼印一名金剛般若心也云

經者心也大師一切經初開題一切經者

名別體一從心生若持自心即持此經云

心亦與字也理趣經初開題般若波羅蜜

多者與字不生之義文與字一切法教之

本淨菩提心之體遮那自證之心也自證

者本有薩埵即一切眾生業果之色心全

自性法身與字不生之妙理是不動明王

無相般若之實體差之爲經二水二火四

指四大明二地二風四指四海也是鑽四

海義也依正諸法在此一印是真實護國

也即身成佛至極凡在此法可知

口云陀羅尼者出新譯仁王經下依真言

多若略同印誦小呪是陀羅尼奧也或同

印誦修習般若呪見奧矣

梵篋印事

口云此印言共千手軌玄法軌兩儀軌出

之胎藏界般若若薩梵篋印大師御次第

云道轉小乘順轉大乘教云故此印納

一切教法轉諸義也陀羅尼集經說般若

菩薩所持梵篋云其中具十二部經即般

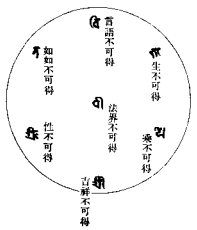
若波羅蜜藏文



私云依之者可用大呪。依口傳以五大種子爲字輪觀也。

大師御作仁王經法云結三摩地印置於  
臍下臚身肘目頭少從屈往自心上諦觀  
圓鏡智縱廣一肘漸遍法界布字行列  
右旋次第觀一。字作金王想破心罪闇  
光明徹照破國內難。一。句義解心明  
一。字義觀本不生若略觀般若五立住  
三解脫門亦得修念結印誦陀羅尼七遍  
於頂上散云。

私云此字輪觀依儀軌文五大觀時一字作金玉想破心罪闇光明徹照破國內難一字相字義如列可觀之歟略觀時般若五字者到丁巳丁巳也此五字到丁巳何五字五大同義也



此般若菩薩真言也。出胎玄法軌勸修寺等用之。

傳受集第二有之。此先德說。依與



傳受集第二有之。是依不動尊歟。有不  
山本也。



護摩事

部主段 般若菩薩

自加持 梵篋印。修習般若真言。

召請 大鈎召印明

供物 修習般若呪。加息災句。

准召請或金剛界大日用之

自加持 智拳印  
召請

大鈎召印 大日眞言如自加持加召  
請句四攝明

供物 同眞言加息災句  
撥遣 准召請

本尊段  
自加持  
經臺印陀羅尼奧小呪

大鈎召印。本尊眞言如白加持。加召請

供物 同眞言加息災句

諸事毀加封特五大尊之

自加持 外五股印慈救呪

如自加持印眞言。以右頭指三招。加召請句。四攝明。

供物同呪加息災句  
撥遣準召請以右頭

---

## 白寶口抄 仁王經法下

## 壇場莊嚴事

先道場隨便宜大寨三面引之若後爲顯  
四面引之也其內隨御聽聞所便宜寄  
御聽聞所方立大壇次立護摩壇次十二  
天壇次聖天壇也

口云護摩壇次十二天壇也聖天成障礙  
間立內奉寶蓋也云先大壇莊嚴如常  
大法據五色四面開闢華瓶鈴杵等如常  
華瓶內安羯磨杵壇中央置十二輻輪不  
置常輪此十二輻輪從常輪者聊大也是  
可觀本尊三摩耶形也世間災難皆從十  
二因緣生起仍今以此般若法輪摧破彼  
十二緣起災損之意也輪後置中瓶亦瓶  
後安經箱部也一或佛舍利并御筆亦  
靈驗小佛等可奉入之也

私云文殊師利菩薩法云不空我今又  
說羯磨曼荼羅壇中安般若波羅蜜經

篋日日讀誦念誦以種種供養而供養  
之不久當成就此文箱中經可讀誦  
默放名羯磨曼荼羅也或云有數曼荼  
羅不用之也壇中央安仁王經入菩薩  
若附正御自筆云敷曼荼羅意也云  
金輪時處軌云若不依瑜伽作事法念  
誦不對壇舍利非時依不淨願結印念  
持決定獲樂各依此文者安舍利尤  
可然也經箱後安大火舍燒不斷香也

開白結願如日中四面大小佛供十六坏  
汁八坏小豆餅菓各八坏居之後夜粥八  
坏安之初夜無供物如常

左脇机灑水塗香新譯仁王經一部名香  
三衣箱如常名香洗白右脇机鏡鏡木也前  
禮盤一脚四角燈臺如常

壇上張青色天蓋懸八色幡二十四流  
懸樣如圖

仁王經念誦法云於壇上張青色蓋拂壇  
大小云同軌云繞壇懸懸二十四口文  
新譯經云汝等諸王應作寶幢及以幡蓋  
文古譯經下云應作九色幡長九丈文

私云蓋色幡目數依儀軌新譯經不說  
幡色數古譯經說色故幡色依古譯敷  
但九色云今八色用之

又說云八色幡八流天蓋四角懸之四角各二流  
懸樣如圖先德懸二十四流而小野僧正  
仁海多用流定海元海寶運等追其先例  
又八流也故近來用八流也幡長六尺許  
也云

私云二十四流懸樣東北角內色正東  
二流白東南角四流紅色正南二流黑色  
西南角四流藍色正西二流赤色西北  
角四流水色正北二流黃色又八流懸

樣東北角二流北方黃色一流東南角二  
流南方紅色一流西南角二流西方藍色一  
流西北角二流西方藍色一流八流略儀

敷八色與方位不相違但二十四流之  
正東八流之時東南方也次第如此順

迴懸之也可知

懸經中云東著白幡東南紅幡正南黑  
幡西南烟色幡西方赤色幡西北方水色  
幡正北黃幡東北赤白幡如是八色隨方  
而置竿頭上文經文已相約若依此經敷  
覺禪阿闍梨云譯永年中參三寶院奉傳  
御自筆圖在別紙勝旛院僧都於三寶院  
日誦之御前自保元三年二月二十一日  
始被修今法日修三月二日也二七日結願了件

圖以白色寅方被懸云顯果記云彼件  
僧云或人云兼海時真海懸此定後一  
海改懸辰方云

護摩事  
四角立撒引五色糸四隅中央立華瓶四  
面安闍佛等器皆如大壇佛供等亦爾也  
但金剛盤上置三股杵許無鈴五股等亦  
不置鐘也爐形并文具皆如息災護摩也

問六種供具供養法前後供有其作法大  
法等護摩直入護摩故無供養作法何備  
佛具等乎答建立護摩軌云爐對曼荼  
羅外相望別作所供如大壇文依此文大  
壇外立護摩壇如大壇居佛供等也是大  
壇阿闍梨彼事供之次兩壇供物總奉獻  
之也於護摩阿闍梨者無其作法云

聖天壇事  
壇樣如常後夜粥二環羅酒團也日中白  
佛供二環大交飯二環小汁二環小豆菓  
子二環羅酒團各二環如常多羅下敷紙  
板折敷之上置小土器其土器安杓油氣

爲不散也火鉢扇等可置之也

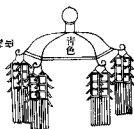
十二天壇事

不懸本尊。壇樣如常。交假十二环。指蠟燭。大白佛供二环。汗二环。菓子二环。華瓶二口。或不立之歟云。已上兩壇打鳴無之。用意疊紙其上。置火舍蓋打之也。於鐘木者。承仕可用意之也。或別用打鳴。歟。

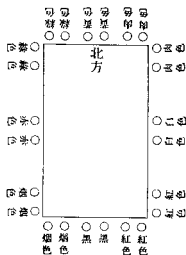
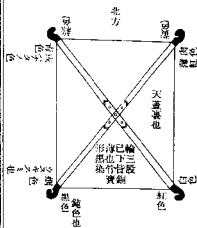
伴僧事

道場前大幕外。大壇方橫座敷阿闍梨座。立前机燈臺。向道場東西數件僧座。各前机傍立切燈臺各二本也。

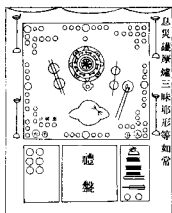
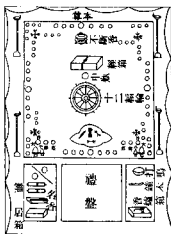
壇場圖事



天蓋表也  
懸八色也

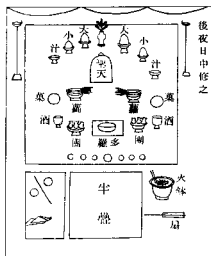


御所



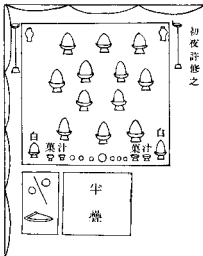
聖天壇

後夜日中修之



十二天壇

初夜許修之





大承什集會鐘打之三十六。如常作法

法花經等類  
下番十人四五行許讀經各退出上番

應常知自身十二幅輪。即想遍法界諸

事也。若僧正香案著半袈裟。但僧正以下

十人留時之間讀經也

佛入自身輪如鏡現萬像。誦真言曰

五股同之。香爐并居。箱具足許用。箱白

次四無量觀 次勝願 次大金剛輪

佛入自身輪滿

三衣箱。每時隨身後加持之。或阿闍梨暫著幕外

次地結 次四方結 次金剛服 次金

想此十二幅輪變成本尊。真言曰

座申案內。待勅定主上出御。御聽聞處仰

剛合掌 次金剛轉 次開心 次入智

唵野他引薩嚩但。他引讚多薩但。他

可始行。出其後阿闍梨進立禮盤下禮拜

次合智 次普賢三昧耶 次極喜三昧

引舍

三度作法如常

耶 次降三世 次蓮華三昧耶 次法

大諸佛加持

次著座。普請 次塗香 次三密觀 次

輪 次大欲 次大樂 次召罪 次摧

想既成本尊。諸佛如來皆圍繞於我。如

淨三業 普請 次三部三昧耶 次被甲護身

察智 次通達菩提心 次修菩提心

是觀想已。即誦真言曰

觀 次淨地 次淨身 次佛部心三昧

罪 次業障除 次成菩提心 次妙觀

唵薩嚩但。他讚多辟三引地。涅槃

耶 次蓮華部心三昧耶 次金剛部心

想如教誦真言。能令心月輪圓滿益明

茶囉日羅。合底瑟吃。合已上妙觀察智

三昧耶 次後被甲 次觀佛 次金剛

顯諸佛復告言。菩提為堅固復授心真

定印

起 次普禮 次四禮 次金剛持遍禮

言觀十二幅輪。即觀心上有真字變成

次四佛加持 次五佛灌頂 次四佛繫

次表白

滿月輪。月上有真字。成八葉妙蓮華。

次甲冑 次結冑 次現智身 次

先新佛可有開眼作法也。表白神下句

蓮花上有真字。變成十二幅輪。誦真言

觀想妙高山頂上有寶樓閣。無量莊嚴

本尊不動。并仁王經。共可有之也。但神

日 唵底瑟吃。合 可 可

三重要道界。道於四角。有四面寶瓶。四門

下句本尊處。并勸請發願禮佛之本尊

想淨月輪上十二幅輪。漸舒漸大。遍滿

各。有四寶香爐。無量供具。四寶瓶。列於

句處。不唱顯露。分明不聞。祇可唱之也

小千界乃至法界利益安樂一切有情

內院中心有惡惡座。上有真字。變成

祕本尊之法。故密密也是故實云

真言曰

十二幅金輪。輪變成聖不動明王。右持

大神分 次五悔 次勸請

唵娑頗羅。可 可

利劍。左持金輪。東方次院。真字變成五

本尊句 初夜中。初三

大劍金剛

股。并五股。并變成降三世明王。南方次

本尊較若持明王 四大八大諸忿怒

想此十二幅輪。漸舒漸小。還收如故。誦

院。真字變成寶珠。寶珠變成軍荼利明

發願 本尊句 後夜

真言曰

王。西方次院。真字變成利劍。變成大

較若明王 五大忿怒 諸大明王

大證金剛身

威德明王。北方次院。真字變成利牙。即

次五大願 終句云 護持國主成御願

大證金剛身

成金剛樂叉。左持鈴。右持棒。餘三尊各

次普供養 次三力備金一打

大證金剛身

金之後。伴僧上下番同。普讀經。但非教

大證金剛身

皆持本三昧耶八供四攝四大天王八  
方天等無量俱服眷屬前後左右圍繞  
如常加持

次大虛空藏 次小金剛輪 次啓請  
次開門 次啓請伽陀 次大鈎召 次

金剛王 次讚四寶成金 次四攝 次拍  
掌 次結界 次不誦 次金剛網 次火

院 次大三昧耶 次開伽 次蓮華座  
次振鈴 次大磨會 三十七尊 以誦三昧耶會

明 次事供 次誦讚 四智 次不動讚  
次普供養 次三力 次小祈願 次禮

佛如常 佛三十七尊

南無阿利耶阿奢羅婆吒羅惹 三攝  
南無阿日羅蘇波尼

南無阿日羅蘇波尼  
南無阿日羅蘇波尼

南無阿日羅蘇波尼  
南無阿日羅蘇波尼

南無阿日羅蘇波尼  
南無阿日羅蘇波尼

南無阿日羅蘇波尼  
南無阿日羅蘇波尼

南無阿日羅蘇波尼  
南無阿日羅蘇波尼

南無阿日羅蘇波尼  
南無阿日羅蘇波尼

南無阿日羅蘇波尼  
南無阿日羅蘇波尼

南無阿日羅蘇波尼  
南無阿日羅蘇波尼

南無阿日羅蘇波尼  
南無阿日羅蘇波尼

南無阿日羅蘇波尼  
南無阿日羅蘇波尼

南無阿日羅蘇波尼  
南無阿日羅蘇波尼

南無阿日羅蘇波尼  
南無阿日羅蘇波尼

南無阿日羅蘇波尼  
南無阿日羅蘇波尼

無名指小指之間次引出右頭指中指  
順逆加持次如前插之。以右爲劍。以左  
爲鞘。即以劍指鞘也。如此可觀也。慈救  
呪

次降三世

降三世

降三世

降三世

降三世

降三世

降三世

降三世

降三世

降三世

降三世

降三世

降三世

降三世

降三世

降三世

降三世

降三世

降三世

笑服形  
次根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

笑服形

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印

根本印



# III

爐中觀身如自  
諸供物呪  
撥遣准召請

之供  
次酥油小杓一  
次普供養  
三力

慈救呪次結定印  
觀想自身心月輪上  
有金字變成十二輻金輪  
輪變成聖無動

第三本尊段

第五世天段如常

明王右持利劍左持金輪  
次聖王御心月

先灑淨 次羯磨加持  
次積薪六支 次扇火  
次灑淨

護摩師燒了闍師等如本取置之  
下座禮護摩壇次大壇一禮次著本座  
神供

結本尊印加持身四處一  
觀之奉祈諸

心月輪上 有金字變成十二輻金輪  
變聖無動明王右持利劍左持金輪

而一字金以前可還著本座時而立也  
然可運也仍以別故實本尊段末立座

發願  
至心發願  
唯願大日

自身加持經中呪  
召請大杓三 次大嗽口  
次灑淨

神供者初中後三箇度云  
十二天供次第如白表紙十二天供者初夜一

諸忿怒尊  
經中所說  
不動明王

酥油大杓三 次乳木百八支  
次切華 次丸香三九 次

時之行也仍開白時行之  
十二天供師護摩師立座之後立座入幕內

各各所部  
四俱毗菩薩  
金剛天等

散香 次混泥池 次酥油大杓一  
次普供養

摩師不禮大壇方  
向當壇三禮也作法畢

各各還念  
慈悲本誓  
皆來集會

養印用 次乳木六支二十支之內  
次普供養

一字金以前還著本座云  
聖天供次第如白表紙聖天供者後夜日中二

惡人怨家  
惡念嫉妬  
厭魅呪咀

願 次嗽口 次撥遣准召請

時行之仍開白之時無之  
自後夜時行之

惡心消滅  
惡魔障者  
皆悉摧滅

第四諸尊 次羯磨加持  
次嗽口 次灑淨

立座作法如十二天供師無異  
供畢一字

執著怨心  
天變地振  
惡夢怪異

先灑淨 次積薪十支 次扇火  
次灑淨

金以前還著本座  
後加持事

理運厄害  
非事中天  
怖畏急難

次自身觀定印

初夜時畢引上番十人參入  
後加持所

乃至一切  
不祥惡事  
遠離解脫

心月輪上有金字變成十  
二輻金輪五股寶珠劍利牙變成聖無

合參者從僧取松明可進  
燭若自外壇所

真言法藥  
加持熏修  
薰入玉體

動降三世軍荼利大威德金剛樂叉形

於御所中出有御者  
壇所可動仕也其時

無邊御願  
決定成就  
恆定圓滿

像具如道場觀

御加所別有之時下番  
留道場讀經云

伴僧同音句修誦  
如此每句終○次

次召請印 次嗽口  
次灑淨

奉向聖主著座之後  
先開扇置前其上置

第決圓滿之句終伴僧  
中出呪慈救

次酥油小杓三 次乳木二十支之內  
次灑淨

杓念誦先淨三業三部  
被甲次不動劍印

◎仁王經孔雀經之大法  
開白結願之御

加持之發願之後用五大願普通之修法不用之天台普通法開白結願用之

阿闍梨發願畢逆迴杓誦慈救呪畢加持

事五十遍許願或百左持念珠數目達磨

至緒留置杓拈念珠致信心又憑本尊之

悲願思聖主之御願可奉祈請也又以杓

順奉加持事五十遍許願或百誦之畢置杓

亦搓念珠高聲云南無本尊界會大聖慈

悲不動明王四大明王諸忿怒尊經中所

說五方菩薩各各所部四俱祇菩薩兩部

界會諸尊聖衆外金剛部護法天等諸離

本誓同心加護天變怪異所標惡事遠離

他方速疾消滅護持聖主王體安穩寶壽

增長無邊御願決定圓滿云此間搓念

珠無礙其終殊急高聲三度許搓之俾僧

聞其聲同時止陀羅尼也即伴僧退出上

大護身法次退出

中間儀事

後夜時寅始承仕打金上番十人皆參著

座次大阿闍梨著別座其間下番十人誦

經聲不止上番不誦經大阿闍梨著禮盤

行法前方便後神分時先打金一度其時

上番之下臘之役人申迴向微音也不誦

取水其詞云

所修功德迴向三寶境界

迴向天來地類迴向聖朝

所修功德迴向護持仙院

玉體安隱增長寶壽迴向天下

迴向法界迴向無上大菩提不誦

迴向畢後大阿闍梨金二打令法久住等

如何其時下番十人退出了

次神分等次五海發願以下如初夜

後加持事

後夜御加持不用發願結願開白

先座畢護身結界等後搓念珠微音出

加持呪願念如初夜呪遍數滿畢搓念珠

祈念等云次退出了日中時行法等皆

如常但無御加持初夜時行法等亦如常

每時終行御加持也

結願作法事

結願當日日中時也大旨午一點始之下

番伴僧相替互退出替裝束結願之時以

前番參加持時也上番皆參但大阿闍梨

次大阿闍梨入之時僧綱少門內邊參

向開白如是三衣箱役伴僧中公達有職

一人開白結願同相從大阿闍梨也

大阿闍梨先壇前普禮已下次金剛持

禮後打金二即出五海如常神分已下作法

作僧之次中宿老知法之人召承仕令放張

文相具現華日大阿闍梨了勸計總數都

合之後令書入卷數卷數之清書自以前

內書儲之也付部數畢之後當座立文

之結付役又卷數家都數同書加插案文

於卷數給承仕役也但末座數人承仕入大

輓之內卷數立大壇傍東也案文一通置

左脇机或件僧替後始也又阿闍梨下

座時伴僧召承仕先令撤經机布施料也

其後大阿闍梨著禮盤修後供養開伽之

後供佛布施畢金一打誦卷數畢不金

結願事由其詞神分後鈴等如常迴向方

便畢金一打下禮盤著下座次御簾上之

上之人二人次公卿著座次勸賞仰之無不

大御加持結願留後夜之若後加持所參

別所著結願時終大阿闍梨淨衣白裳平

袈裟僧正香雲伴僧二十人淨衣白裳平

袈裟也上番皆從大阿闍梨參著御加

持所也兼殿上人二人裝御加持所御簾

衆僧參著之後公卿著座其後出御加持

發願詞加持者初夜有發願後夜無發

發願詞加持者初夜有發願後夜無發

大願其後大阿闍梨出慈救呪之首伴僧

各誦之如常御加持大阿闍梨中間磨念

珠衆僧御加持之香差上之御加持之末

亦磨念珠念珠畢同時止加持普畢次奉

行仰勸寶大阿闍梨別止加持普畢次奉

揖次御布施阿闍梨被物一重衣或其

後伴僧等裹物各一凡僧被裹公卿侍臣

等勒布施取之後

大阿闍梨布施伴僧之中可然有職取之

於中門邊各給自從童子或在大伴僧各自

持中門廊邊敷便宜所各各所從交替之

節可下又伴僧皆退出中門邊之後阿

闍梨者可退出也暫留座之時被引御馬

儀有無依時次進御卷數

白寶口抄 法華法第一

本書事

成就妙法蓮花經王瑜伽觀智儀軌一卷

不空譯 貞元新入目錄

梵字妙法蓮花經儀軌一卷

梵唐對譯法花二十八品題目諸羅漢名

一卷

法華受茶羅威儀形色經

不空譯 內題三半紙六行餘故且用

外題也或云形色經者非御請來新渡

經也不可用云云但限此經餘尊

經軌多非御請來用常事也眞言宗

相承師資相傳上自大日下至大師諸

尊瑜伽傳來也就中不空所譯經軌其

中淺略深祕之趣一字一言不可漏大

師在唐日和尚示云授法有在云云隨

又大師請來經軌等聚集諸尊法肝心

令請來給以之爲本又入唐祖師請

來依用以無難也又或云大師御入唐

時彼請來本經軌皆悉令加一見令請

來其肝要云云不知案內人用大師請

來許不可用他家請來云云是僻事也

名字事

法華御開題云妙法蓮花經者漢語梵語

曰薩達摩奔奈利迦蘇多覽今題目九字

胎藏之內八條其尊者中央大日如

來亦四方四佛東方寶轉南方開敷花王

西方無量壽北方天鼓普菩薩四隅菩薩  
東南普賢西南文殊西北觀音東北彌勒  
文梵唐對譯云妙法不可思議教也

法華經十卷十部十部十部十部十部  
此經通已經云云正教總名謂法如來文此  
漢號五字配五佛是金界五智義也故此

經兩部不二也觀智軌初用胎藏三昧  
耶印印乃至五供養等是胎藏界行儀也

但迎請五供養說五相成身觀此次第不  
似餘軌是初供養讚嘆等進門之佛迎請

供養也五相成身已後本門之自證佛作  
法也是即胎金兩部合說之合行儀也大

師十不同云天台云遮門胎藏界本門金  
剛界東寺云本門胎藏界遮門金剛界文

所詮說兩部義可知大師御開題祕釋等  
有多本委可見之云云

經同本異譯事  
御開題云此經同本異譯其數多一方等  
法華經沙門講經二薩婆芬陀利經一部五

卷不出三正法華經十卷法華三三  
什三藏譯九部八卷二十八卷六萬五法花三  
味經沙門講經又云名正法華三三

口云不字者有不可得義是二十五有  
等也法華經云破有法王出現於世文淫  
樂點者遠離義也謂遠離世間一切有令

同法性平等一理意也又云釋迦智金  
心菩提多寶理胎也涅槃所住寶塔不  
二事點義也

三形事  
口云鉢有義也謂以法界爲鉢納三界  
六道之一切衆生即令利益也經云今此

三界皆是吾有其中衆生悉是吾子文即  
以法界鉢執持三界衆生爲吾有也此種

三共釋迦法時口決了故略之也玄祕妙  
云義範傳云種子三塔羯磨金日仍以

金剛界曼荼羅爲本尊印智榮明無所不  
至云妙鈔云種子三三昧五輪塔極深

祕說云胎藏大日爲本尊八大菩薩即八  
葉九尊也云云

問今此法行法次第法則付兩部何乎  
答儀軌云若修持妙法蓮花經若男若女

○當先入大悲胎藏大曼荼羅文依之今  
次第道場觀胎藏大日也云云

問若爾者付胎藏可行之歟如何 答當  
流習本尊雖胎大日行法次第付金界可

行之也但眞實等兩部大日之印明也  
是表理智不二都法故依別行次第行之  
也云云授心抄云入胎藏行法可修之云

問本尊可應胎藏曼荼羅歟如何 答不  
爾懸法花曼荼羅行之也  
口傳事  
口云就大日心月輪中觀釋尊三身有淺  
略深祕之二義初義者於大日心月輪觀  
不鉢釋迦是從普門入一門隨機之方便

從內院向初門利物之善巧也其故十界具足諸法全羅一平等肉眼所見前諸法悉見一種相故有大日普門萬德亦一門應數諸德法界有之而大日法身利衆生慈悲動起時普門內成所作智起動八相作佛利三界衆生說一乘法華其作用施法界也裏付意思之最祕傳者釋尊種子三形羯磨身即觀大日即體全無淺深轉成別何有勝劣乎故釋尊即居中臺四重受茶羅聖衆所圍繞也法華開題云以此觀自在爲首則大日尊亦名觀自在以此尊爲首則具三十七尊及無量佛刹微塵身大日即觀普遍法界體性智阿闍耶智圓鏡自性金剛智多寶則觀普福德聚身智無量壽則觀普妙觀壽妙智釋迦則觀普作業寂照智分身則觀普正覺差別身普賢即觀普菩提心如智文殊則觀普妙慈惠則觀普大慈乃至一切聲聞緣覺身天龍八部國土長者身亦復如是疏第七云就此經宗則五種三昧皆是開心實相門○不同餘教以心性之旨未明故五乘殊散不相融會也若更作深祕密釋者如三重曼茶羅中五位三昧皆是昆虛遮那祕密加持○何有淺深之殊文五種三昧者略言又云大判眞言略有五種謂如來說或菩薩金剛說或二乘說或諸天說或地居天說○若佛菩薩所說一字之中具無量義○如上所說皆是隨他意語明淺略義耳若就隨自意語明深密義

隨入一門皆具一切法界門乃至諸天等悉見虛遮那何有淺深之別文世天者龍鳥修羅之類也云是等文眞言教大宗師相承之祕訣也當流之軌則尤在斯習次第云此條不可限此一法就兩界行法之時通諸尊有此習云今不限釋迦一尊先大日道場觀如何觀想畢次大日如來心月輪中若佛若菩薩若明王若天等種子三形羯磨之三身轉成及眷屬圍繞之行相觀之也又道場觀如前兼又五相成身佛身圓滿云觀身爲本尊又本尊觀自身畢又大日心月輪中觀當本尊種三大轉成之行相也又兩說同入我入觀本尊觀當本尊也又最略說入我我入本尊觀當本尊五相并道場觀等如例矣

道場觀事

野決云觀想心月輪上有八葉蓮花八分肉八葉心月輪上本尊之心月輪敷行者心月輪敷若爲本尊之心月者未觀本尊以前也何有其義哉若爲行者之心月輪者情前諸實體行者與本尊雖等暫凡夫觀行之儀式者道場觀時壇上觀佛入我入之時與本尊一同也而如此道場觀我心月輪觀八葉其上觀本尊之種子三形此條異常途之道場觀何樣可存哉然入我入之觀不可有之歟心月輪者常事此之心月輪也行之心文觀道場事常事

野決云觀想心月輪上有八葉蓮花八分肉八葉心月輪上本尊之心月輪敷行者心月輪敷若爲本尊之心月者未觀本尊以前也何有其義哉若爲行者之心月輪者情前諸實體行者與本尊雖等暫凡夫觀行之儀式者道場觀時壇上觀佛入我入之時與本尊一同也而如此道場觀我心月輪觀八葉其上觀本尊之種子三形此條異常途之道場觀何樣可存哉然入我入之觀不可有之歟心月輪者常事此之心月輪也行之心文觀道場事常事

野決云觀想心月輪上有八葉蓮花八分肉八葉心月輪上本尊之心月輪敷行者心月輪敷若爲本尊之心月者未觀本尊以前也何有其義哉若爲行者之心月輪者情前諸實體行者與本尊雖等暫凡夫觀行之儀式者道場觀時壇上觀佛入我入之時與本尊一同也而如此道場觀我心月輪觀八葉其上觀本尊之種子三形此條異常途之道場觀何樣可存哉然入我入之觀不可有之歟心月輪者常事此之心月輪也行之心文觀道場事常事

候歟不限り此法候乞戒之大悲壇之儀式金剛界之祕密壇之作法專用此儀候歟此法儀軌自心三重曼茶羅可觀見仍殊用此義候歟又雖觀己心之曼茶羅於入我入觀者尤可候也如金剛界見智身之時理智法身皆雖冥會于自身尚入我我入用之候定也本上疏五云內心妙白蓮者此是衆生心妙法芬陀利花祕密轉輪花臺八葉圓滿均等如正開敷之形此蓮花臺是實相自然智惠蓮花葉是大悲方便也○警策是一切三昧門陀羅尼門六度十八空等如大般若之所說從此一警策以加持神力故現出三重曼茶羅中一種莊嚴眷屬也文同第四云凡夫汗栗駄心狀猶如蓮花合而未敷之像有筋脈約之以成八分男子上向女人下向先觀此蓮令其開敷爲八葉白蓮花座此臺上當觀到字作金剛色○即成昆虛遮那身也以此方便觀見虛遮那身令與我身無二無別妙悉地軌云凡人汗栗駄心形實心猶如蓮花合而未敷之像有筋脈約之以成八分男子上向女人下向觀此蓮令其開敷爲八葉白蓮花此臺上觀到字作金剛色復到字如方黃檀身在其從中從到字出字繞身悉成灰此灰中生字其色純白從此出生安穩寬略欠五輪字而即從腰下至頂上安立身五處○從勝至心爲金剛臺立意中勝爲大海從勝已下地居諸尊位在海岸邊也讀從諸

佛大悲海而生金剛智從金剛智出生一切佛會也於此心八葉華臺上觀真字○出無量光○四散合為光髮○普遍一切佛剎此光從頂至足周匝行者身也復觀真字在頂上轉成中胎藏從此字生三重光焰一重光遍透咽上從咽至頂相隨所照及之遍諸尊隨現成第一院曼荼羅次一重光遍透心上從臍以上至咽諸尊隨現成第二重曼荼羅次一重光遍透臍上從臍以下諸尊隨現成第三重曼荼羅即是世間天院也諸尊形色相好各各差別宛然具自中猶如新入佛會而自身都成曼荼羅身即是普門法界身也其中胎藏即思慮遮那心八葉花也即於此心華臺上為曼荼羅中胎其外八葉亦隨佛位大列布也四方即是如來四智其四隅葉即是四攝法也且東南方普賢是菩提心此妙因也次西南方文殊大智惠是大東北方彌勒是大慈大悲俱是第二句義也次西北方觀音即是證諸行願成就入花臺三昧也其四方葉中初真字在東方喻菩提心最是萬行之初也黃色是金剛性其名曰寶幢亦名阿閼佛次真字在南方是行赤色火義即同文殊之義即是華開敷亦名寶生佛次真字在西方是三菩提也萬行故成正覺白色即是圓明究極義也又是正義其佛名阿彌陀也次真字在北方是正等覺其佛名藏尊是釋迦牟尼也即是大涅槃遍反本故涅槃也

佛日已隱於涅槃山故色黑也次即入中真字是方便即知此心法界之體本來常寂滅相此是毘盧遮那本地之身華臺之體超八葉絕方所非有心之境界唯佛與佛乃能知之以此方便同於大空而現衆像中心空具一切色即是加持世界曼荼羅普門之會無虛不有也是如持世界曼荼羅一智行是故唯八葉皆是如是如來一體也妙又云梵音謂底與質多體同此中秘密謂心為佛塔也文

口云八葉白蓮華者即理性本源行者之心性也心性形體八分肉團也約金剛界觀肉心團圓為月輪約胎藏觀肉心八分為蓮花故菩提心論因果相對釋云凡夫如合蓮佛心如滿月文只於一肉團在理邊云蓮形顯智邊云月性是雖兩部殊理智不相離故實蓮月一體也金界月輪中置蓮花胎界蓮華中置月輪也雖顯理智之殊異本來一法故蓮月顯一處也此肉剛本性八葉白蓮是第九識汗栗駄心也若約衆生身中悉具此佛性理體也此真字即諸法能生故出生有下四真字此四字合成真字真字變成未數蓮花此蓮華還裏能生真字乾藏記云佛知衆生身中本來自性理與佛等無差別而衆生不知已本有本始兩覺與佛等恒常覆藏六塵煩惱不能顯出文即此位也亦名淨菩提心清淨理菩提心論云一切有情於心質中有一分淨性衆行皆備其體極微妙

皎然明白乃至輪迴六趣亦不變易文此理輪迴六道四生界生死泥中不染不壞是自性清淨蓮花裏藏故也即未開敷時云真實心云八分肉團今依三密修行彼蓮花開敷即胎藏八葉開敷白蓮花也若約修行行者衆生本有佛性也身本有佛果大悲方便化儀也是即行者身體是虛遮那本地常心即是花臺具體也理字以下胎藏大日如常現釋迦身者兩義上決了疏第五云此白蓮花即是中胎淨法界藏世尊為令此教廣流布故以此生身標幟而演說之然與本法界身無二無別故云住彼而說法也文既坐本地自性座是表本地身同體也智證大師疑問云海雲記云金剛三藏相上云毘盧遮那即釋迦牟尼從法性身為名文又普賢經云釋迦牟尼名毘盧遮那遍一切處其佛住處名常寂光文

問初門釋迦者變化法身也何云法身乎如何答自性身自證極極大悲故從花臺下八葉受用法身是猶約衆生自證位也第二院東方初門者因方也故出胎藏門戶說眞言教法流布闢淨提是生身釋迦也此位合自性受用內院之二重為等流說法花經故四重海會悉釋迦一佛始終是自性法身一智行相故金非佛佛疏第十八云此釋迦是毘盧遮那字輪而出然無二無別皆遍一切處文其始終一佛作業也大日向機說法利生時皆云

釋迦也此釋迦主起即行者心法也行者常體即本地自性法身自性法身即釋迦釋迦即行者、即一切衆生也

住智吉祥印事

口云智吉祥印者說法印說法花經故住此印云

其地琉璃等事

口云授心鈔云先觀靈山說法有樣轉法輪印明加持壇場地變成佛刹土、冥然一相通洞法性也云、深入寶相觀門此道場即靈山淨土也而後靈山亦變成淨土法界亦成密嚴國土也宗統論云靈山佛常在入天恒充滿號曰金剛界宮又故釋迦金剛界大日也婆娑出世表成佛故也諸菩薩衆事

口云無量菩薩聲聞緣覺天龍八部聖賢衆也同聞衆見經可知矣觀智軌云寶山印言後也由此印誦眞言加持力故即此寶山於其壇中轉成鷲峰山於山峯上即當一心專住觀想釋迦尼如來實說妙法蓮花經處頗臻爲地種、妙華遍布其上寶樹行列間敷寶花諸枝條上垂妙天衣微風搖擊出微妙香其聲諸韻猶如天樂妙香普熏三千世界又於中想多寶世尊舍利寶塔種種莊嚴釋迦牟尼如來及多寶佛於寶塔中同座而坐無量菩薩聲聞緣覺天龍八部聖賢衆會圍繞聽法周圍八方釋迦牟尼如來諸分身佛於寶樹下各坐於衆寶莊嚴師子之座乃至無

量微塵數佛多寶塔前賢瓶闍伽八功德水悉皆盈滿妙寶香爐燃無價香摩尼寶王以爲燈燭普提妙花普散諸佛及諸天衆天諸美饌芬散香潔摩尼香珠曼珠格俱養雲海諸波羅蜜供養菩薩歌讚如來眞寶功德自見己身於中供獻於其八分諸分身佛一、佛前悉皆如是奉獻供養又想自在釋迦牟尼如來前聽聞宣說妙法蓮花大乘勝義作是觀已此文尤至要也思之

問儀軌八葉花臺上置塔婆其塔中釋迦

多寶同座三重曼荼羅座今道場觀不爾

只釋迦一尊也依何經軌乎如何答二

佛同座者五卷以下作法也至四卷寶塔

品釋迦一佛也今以一尊爲本尊無相違

也當流薄雙紙如儀軌用之故兩樣也

### 白寶口抄 法華法第二

軌云其壇三重當中內院畫八葉蓮花於花胎上置寶觀婆塔於其塔中莊釋迦牟尼如來多寶如來同座而坐塔門西開於蓮花八葉上從東北隅爲首右旋布列安置八大菩薩初彌勒菩薩次文殊師利菩薩藥王菩薩妙音菩薩普賢菩薩無盡意菩薩觀世音菩薩普賢菩薩於此中院四隅角內初東北隅置摩訶迦葉次東南須菩提西南舍利弗西北大目犍連次於第二重院於其東門置金剛鑽菩薩南門置金剛鈴菩薩當塔前門金剛鉤菩薩北門金剛索菩薩於東門北置得大勢至菩薩南置寶手菩薩次於南門東置寶經菩薩門西置星宿王菩薩次於西門南置寶月菩薩門北置滿月菩薩次於北門西置勇施菩薩門東置一切義成就菩薩次於東北隅角內置供養華菩薩東南隅置供養燈菩薩西南隅置供養香菩薩西北隅置供養爐香菩薩次於第三重院東門置持國天王南門置毘樓勒又王西門置毘樓博又天王北門置毘沙門天王於東方門北置大梵天王門南置天帝釋次於南方門東置大自在天門西置難陀王次於西方門南置妙法緊那羅王門北置樂音乾闥婆王次於北方門西置羅睺阿修羅王門東置如意迦樓羅王於東北

方置聖鳥鄒沙摩金剛，東南方置聖車吒利金剛，西南方置聖不動尊金剛，西北方置聖降三世金剛，文形色經云：妙法白蓮花經王，八葉蓮花上涌出寶塔中，兩足婆祇護。○紺瑠璃地黃金剛界場，微妙蓮花普散其上，八葉華王鮮白如雲，能開三股寶塔高妙五百由旬，縱廣正等各二百五十由旬，五千欄楯千萬，窺窺塔中師子座上，釋迦多寶半跏坐，座同座於彼八葉從東北隅石旋布列八大菩薩，初彌勒菩薩，次文殊、藥王、妙音、常精進、無盡意、觀世音、普賢菩薩，此內院四隅東北迦葉、東南須菩提、西南舍利弗、西北目連，次第二院東門鎖菩薩，南門鎖鈴菩薩，當前鎖菩薩，北門索菩薩，東門北得大勢，南寶千菩薩，南門東寶轉，西星宿王菩薩，西門寶月，北滿月，北門西勇施，東置一切義成就菩薩，西北花菩薩，東南境，西門南塗菩薩，西北置燒香菩薩，大第三院東門持國，南門毘樓勒叉，西門毘樓轉叉，北門毘沙門，東門北梵天，南帝釋，南門東自在，西難陀龍王，西門南妙法緊那羅王，北樂音乾闥婆王，北門西羅睺阿修羅王，東如意迦樓羅王，東北烏鵲沙摩，東南車吒利，西南不竭西，北寶降三世。○既成，一層寶塔已今成，塔中二體聖尊。

左住大蓮華，常遊滿月輪。  
釋迦  
賦沙紺青髮，眉間白毫光，照東方八萬身，相黃金色，左定結拳印，右惠開外方，屈無明小指，叙中頭大指，跏趺左押右，垂下右，住白蓮花，恒遊月輪中說法。  
彌勒  
妙寶冠，紺髮垂兩肩，身赤肉色，左紫蓮上，有車持石摩膝，跏趺右押左，裳赤，寶座住月輪。  
文殊  
五髻冠，髻垂兩肩，身金色，左青蓮上有玉劍，右執梵篋，裳赤色，衣身光如秋虹，右押花，寶華座住月輪。  
藥王  
妙冠髮垂耳側，身朝日色，左拳著膝，右雲，上日，右押左，寶蓮座住月輪，裳赤綾。  
妙音  
冠髻垂耳下，身赤黃色，左未開蓮，右拳押膝，裳縵縵色，右押左，蓮座住滿月輪。  
常精進  
冠髮垂兩耳，身白肉色，左摩膝，右摩膝，右摩提，寶裳赤色，光如熾虹，右押左，寶蓮座住月輪。  
無盡意  
五髻垂兩肩，身赤肉色，左蓮花疑，右拳押膝，裳朱色，右押左，寶蓮座住月輪。  
觀音  
寶冠現無量壽，髻垂兩肩，十度開敷蓮，裳

赤，寶華承兩足，住月輪。  
普賢  
妙冠髮垂耳側，身相淺紫色，左蓮上劍，右拳押膝，裳赤色，光如虹，寶蓮座住月輪。  
四大聲聞  
各白肉色，比丘形，已上內院。  
第二院  
鎖菩薩  
頂冠，身白肉色，左拳印，右金剛鎖，跏趺右押左。  
鈴菩薩  
頂冠，身大青色，左結拳印，右鈴。  
鈎菩薩  
頂冠，身大黑色，左拳印，右鈎。  
索菩薩  
寶冠，身白肉色，左索，右拳押膝。  
華菩薩  
寶冠，身淺黃色，定惠持鮮華。  
塗香菩薩  
寶冠，身大青色，定惠塗香。  
燈菩薩  
冠身白肉色，定惠持燈，嚴身同彌勒。  
燒香菩薩  
妙冠，身大黑色，定惠持香器。  
得大勢  
五髻冠中，鐺持，身白肉色，左白蓮未敷，右說法印，嚴身如普賢。  
寶手菩薩  
五髻冠，身白肉色，左說法印，右大蓮花上。

身髮紺髮冠，眉間素毫光，普照於一切，身相黃金色，定惠智拳印，跏趺右押左，垂下。



跋折羅遠寶珠焰鬘  
寶輻菩薩

五髻冠身白肉色左大蓮上有輻幢右持  
寶珠焰鬘

星宿菩薩  
五髻冠身赤黃色左拳押膝右蓮上鉢

寶月菩薩  
五髻冠身淺黃色左縛日羅右拳押膝

滿月菩薩  
五髻冠身深黃色左青雲月右施無畏

一切義成菩薩  
五髻冠身金色左握金輪右蓮

勇施菩薩  
五髻冠身白肉色左蓮上經右拳押膝嚴

身如繡勒  
已上第二院十六菩薩

第三院

持國天  
寶冠面青肉色左利鋒右著璽金剛甲冑

廣怒相右押左蓮葉云  
毘樓勒又

冠髮面赤肉色左拳押膝右劍  
毘樓摩又

冠髮面白肉色左拔折羅右網索  
毘沙門

冠髮面白黃色左捧寶塔右持寶劍  
帝釋

冠上戴持三銀件面白黃色左拳印右持  
一股住妙高座

梵天

四面髻冠面白肉色每面三目四手惠蓮  
大惠數珠定上鐸持下側掌屈風餘由直

圓光遍寶身座七輪車  
大白在天

天冠面紫蓮定惠利鋒乘  
大黑水生住月輪海

難陀龍王  
頂上九頭龍身白肉色左

拳印右持網索降伏相蓮花為座  
妙法緊那羅王

樂施馬面身赤肉色持青盤龍身裸形  
樂乾婆王

頂八角冠身赤肉色身如  
大牛王左簪直石寶劍

如意迦樓羅王  
頂如意珠鳥頭背二

翼身青黑色口吹螺貝笛  
羅睺阿修羅王

頂冠身青黑色忿怒想左金剛定右修羅  
智印風紋空輪上

烏蜀沙摩  
愛造白蛇身大青色大忿怒相左網索左

數珠右三鉢右智滿願印惠方願屈智力  
直噴獸皮衣左右兩赤蛇垂胸前四臂兩

膊有一蛇繞之色青白住寶蓮蓮  
軍荼利

髮鬘體冠玄雲色三目八臂左金輪左戟  
鉞右劍右三劍右拳押膝金剛拳直豎戒

風輪當右脇下右施無畏定惠大廣印腕  
押左腕上各作金剛拳定惠戒風輪忍火

進水輪各直豎常懸在八臂八蛇遠二蛇  
遠二膊二蛇遠二耳獸皮衣白蓮承兩足

不動  
皆八葉蓮皆垂左肩一目諦觀面水波相

怒白牙左索身火蔓住七寶盤右  
降三世

獨體火鬘冠夏雨雲色三面三目八臂兩  
足左戟鉞左理把寶弓左跋折羅右箭理

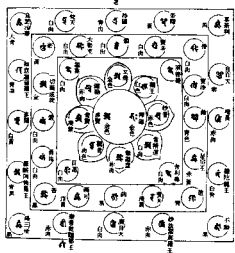
智救世印左腕押右腕上以右禪地輪又  
左禪地輪如懸連鈎左進水輪以忍火

輪屈入掌中以戒風輪惠輪直豎各  
相附頭譬如鳥兩黃石亦如是光澤紫色

摩醯及妃乃為座  
內院地紺瑠璃色第二院地赤色第三院

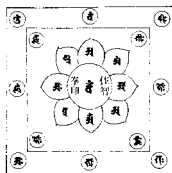
地淺赤色內院二院間吠瑠璃地五劍文  
二院三院間紫地三劍文三院蓮花間赤

黃地獨劍文四方蓮花門色肉四隅金剛  
木機折字也四方四隅青蓮花圍繞云

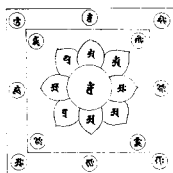


是常途儀軌說曼荼羅淺略也

秘曼茶羅圖

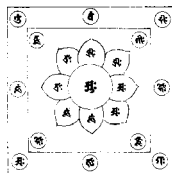


口訣云不二對智也最秘說也此曼  
 本遍智院經藏有之延命院小野僧正  
 深秘對智也蓋房自天井求用也件曼  
 陀羅無別樣只胎藏八葉許也八葉八佛  
 偏加胎藏中尊金界大日也皆現胎形也  
 遍智院大師御時仁王經曼茶羅今法花  
 曼茶羅爲重寶云  
 曼茶羅異本

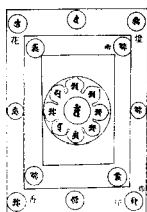


八葉東西相也又四智四行座位相連本  
 曼茶羅如何

同曼茶羅又樣

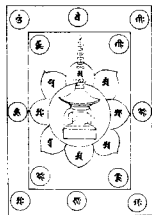


法傍板肝心鈔云胎藏大日以金剛界諸  
 尊爲眷屬是成尊僧都御堂御光金剛界  
 種子書時事也大師御樣也宇治平等院  
 御堂藏  
 已上三箇對智遍智院僧正藏御抄  
 同曼茶羅中有之深秘之故書之了  
 又樣圖



胎八葉中臺金大日也延命院持本曼  
 茶羅云  
 此曼茶羅種子不實可見多本也

又樣圖



異說如是多也但此曼茶羅最秘也胎  
 藏八葉尊種子也中臺智拳印大日并八  
 俱四攝是不二曼茶羅也兩僧正御傳也  
 上醍醐茶房之自天井出見也件房元某  
 僧都御本房也云  
 口云習法花法本尊有三重秘說第一釋  
 迦多寶塔中並坐爲本尊當途習也第二  
 兩部大日坐寶塔習之即此釋迦多寶兩  
 部大日習之也釋迦金剛界大日多寶胎  
 藏界大日也此以兩部大日爲本尊習也  
 第三重秘中秘說云以兩部不二大日爲  
 本尊此則今多寶塔也此不二大日三昧  
 耶身故也塔中釋迦多寶坐給兩部大日  
 坐習事理智德今三昧耶身不二妙體內  
 簡義也以此爲習最極深秘云問第三  
 重以塔爲本尊云然者其時種子三形云  
 何可用之乎答已前三重習具普通法  
 花法修之時其上習也隨其重種子三  
 形等非可用改事也薄斐瓶口訣云思  
 院塔二尊多寶住法界定印釋迦左字仰

置顯上少水火。鈎有仲諸輪而向外。轉達經說又俱結顯兩足上下如經二尊各別。但彼經上文云。釋迦多寶坐。坐。印相。顯。跌俱從經說。然則智印案定有深意。歟。可。智之。印。自。筆。云。報。恩。院。塔。是。蓮。藏。院。塔。也。院。主。教。藏。法。印。之。時。令。施。入。報。恩。院。之。間。先。師。僧。正。懷。護。之。了。仍。佛。像。等。是。古。佛。也。非。先。師。之。所。造。也。

二佛印相事

釋迦形色經之所說并當院之像共通印。顯。通。印。又。說。不。同。也。顯。不。可。巧。勞。幾。次。多。寶。印。像。不。同。事。先。師。口。洪。云。釋。迦。多。寶。或。釋。迦。多。寶。兩。說。然。者。多。理。之。時。結。智。拳。印。多。理。之。時。住。定。印。顯。仍。經。說。當。院。像。各。依。一。邊。顯。中。經。云。品。塔。全。身。不。放。如。人。禪。定。文。當。院。像。依。此。文。顯。大。結。顯。半。顯。相。違。事。依。有。足。鏡。之。難。難。說。顯。跌。左。押。右。金。顯。兩。足。顯。現。之。間。且。病。說。半。顯。顯。殊。為。謝。足。鏡。之。難。難。說。顯。半。顯。半。座。說。顯。依。二。佛。同。座。故。為。顯。有。此。難。之。山。半。座。二。字。置。之。顯。一。向。想。案。也。不。可。依。用。只。一。日。為。會。經。與。當。院。相。違。也。況。如。此。之。相。違。常。事。也。強。又。不。可。和。會。矣。抑。今。形。色。經。或。稱。之。為。偽。經。不。為。規。模。哉。可。思。之。又。全。顯。兩。足。雖。顯。現。一。足。猶。非。正。顯。故。用。之。耳。已。上。問。釋。迦。坐。何。違。常。例。右。上。右。下。乎。答。為。令。多。寶。不。見。足。鏡。也。意。云。如。常。作。之。足。裏。向。多。寶。面。故。也。

一塔中二佛同座事

成。卒。記。云。印。即。塔。塔。胎。藏。大。日。佛。部。法。身。多。寶。金。界。大。日。蓮。花。部。身。釋。迦。蘇。悉。地。金。剛。部。應。身。三。身。即。一。理。故。法。身。塔。中。報。應。二。佛。坐。我。身。本。座。就。五。大。塔。婆。中。三。身。悉。具。足。由。多。寶。出。故。即。三。佛。得。顯。又。文。句。云。多。寶。表。法。佛。釋。迦。表。報。佛。分。身。表。應。佛。三。佛。雖。三。而。一。塔。自。地。涌。示。滅。分。座。共。示。不。生。不。入。塔。示。不。當。現。塔。示。不。離。分。身。示。不。一。全。身。示。不。異。多。寶。護。示。不。來。釋。迦。坐。半。座。示。不。去。八。不。顯。然。也。遊。意。云。並。坐。生。滅。身。顯。多。寶。滅。不。滅。即。顯。釋。迦。生。不。生。不。不。滅。是。法。身。佛。塔。一。際。湛。然。常。住。不。變。身。土。不。二。佛。云。

理。智。二。大。日。也。法。華。法。藏。緣。略。云。二。佛。共。成。昆。藍。迦。那。文。藏。宗。一。義。自。相。叶。義。絕。釋。云。種。子。三。塔。現。金。日。仍。以。金。剛。界。受。茶。羅。為。本。座。印。智。明。無。所。不。至。云。金。剛。界。大。日。者。釋。迦。不。地。身。也。宗。秘。論。云。三。英。大。劫。未。末。山。佛。常。在。天。人。悉。同。滿。號。日。金。剛。界。文。釋。迦。尊。即。金。界。大。日。也。實。運。云。極。三。五。輪。塔。極。深。秘。說。云。胎。大。日。為。本。座。八。大。菩。薩。即。八。葉。九。尊。也。曼。荼。羅。之。內。塔。是。法。界。宮。當。院。今。大。第。道。場。觀。者。此。意。也。胎。藏。大。日。者。釋。迦。不。初。不。生。體。為。眾。生。利。益。出。婆。婆。世。界。說。法。花。竟。雖。然。本。地。身。歷。二。無。別。說。法。身。生。身。不。二。釋。迦。也。經。久。遠。實。成。釋。迦。者。指。胎。藏。本。有。理。佛。故。疏。云。今。此。中。妙。法。蓮。花。曼。荼。羅。義。是。虛。遮。那。本。地。常。心。即。是。花。臺。其。體。文。顯。說。久。遠。如。來。密。云。本。有。胎。藏。大。日。故。疏。云。當。在。密。山。者。即。我。輪。伽。宗。心。耳。又。大。清。大。興。善。寺。阿。闍。梨。云。彼。法。華。久。遠。成。佛。只。是。性。德。法。界。遮。那。佛。不。可。異。解。文。或。云。塔。是。性。德。法。界。六。大。一。寶。妙。體。釋。迦。尊。不。多。寶。釋。迦。生。身。法。身。同。座。一。位。居。是。理。智。不。二。生。佛。一。體。我。高。二。字。是。生。身。釋。迦。本。初。不。生。體。不。二。義。也。是。眾。生。色。心。一。體。不。二。塔。婆。也。法。華。一。乘。寶。相。者。今。寶。塔。故。方。便。品。如。是。寶。相。印。說。是。今。塔。婆。一。切。眾。生。理。智。不。二。本。有。塔。婆。寶。相。妙。體。印。持。時。十。方。佛。土。中。雖。有。一。乘。法。欲。令。一。切。眾。生。如。我。等。無。異。如。我。昔。所。願。今。者。已。滿。足。化。一。切。眾。生。皆。令。入。

佛道說故寶塔經中涌出證前起後凡夫即盡諸佛同證究竟體開悟時一切衆生悉自然道理如來分身知見故此品時三變淨土十方分身來集是諸教不說處一經肝心此品顯次寶塔品惡逆達多授成佛記乃至地涌千界菩薩老體表久遠義故生死凡夫即釋迦久成如來也分身身釋迦即自性身中臺大日也理智自性體見即自性身兩部不二因緣和合所生體見即生身釋迦也於一體隨義理或隨權見立生法二身名也故大日法華教主以十界自性身能化也

口云故極秘密義者寶塔中二佛同坐是即大日如來法界法性身都變身也不生不滅本來常住法身體性顯然也塔即大日如來三摩耶身釋迦不生示生多寶不滅示滅二佛並坐顯不生不滅之義不生不滅本來常住法界界都變體大日如來三身即一心體也故法華法以大日爲本尊是爲究竟祕事以塔爲祕印用五翼明是至極祕事筆跡有恐雖然不記有廢忘爲令法久住記之也云

又云雖有種種不同先依三種是爲三根也上根大日中根釋迦下根普賢也大日本尊事如上釋迦本尊者有二傳先付大日所變釋迦有兩義金界大日入釋迦三摩地心土上極三觀之身相金色具三十二相八十種好如光中有無量化佛菩薩有難思誓願備不共化用利益極重

罪人引導難化衆生更過諸佛亦越餘尊云是聖賢闡梨義也又胎藏大日所變釋迦者今當流次第作法也可知又只以盡山釋迦爲本尊是於法華經者爲能說主於受茶羅者爲中胎尊豈此尊之外求化佛乎法華經本迹二門也迹門者胎藏界本門者金剛界也故儀軌即兼兩部意此兩部釋迦一佛說也一異義云一法身佛具說兩部法門無邊教主唯一百億諸經牟尼獨說文所說經既兩部合說之故不二鮮悉地也能說教主亦三身即一兩部一體釋迦如來也自他流以之爲祕事也又普賢本尊事儀軌云即從師受念誦儀軌三昧耶護身結界迎請供養乃至觀於己身等同普賢大菩薩身文五相成身終云復觀此金剛杵轉成普賢大菩薩身文終文云修行者既成普賢菩薩大印身又結普賢菩薩三摩地印應修普賢行願文凡一儀軌始中終以普賢爲本其說炳然也故寺乘房有普賢爲本尊也寶心云三井寺以普賢爲本尊有三寶一勸發品所說之普賢二理普賢三大口普賢也以之爲深祕云聖賢云習普賢本尊事即軌意也大日普賢意賦金剛界軌本尊加持說普賢印明然諸家次第以大日爲本尊可例知也山王院傳云因經悟入己心法唯覺我心使普賢是大日遍一切法界不生常心地也故顯妙法蓮華經喻祇經大日名普賢如來文成云山門以普

賢爲本尊有深祕旨五相成身普賢行三十七尊普賢身五百餘尊各以三十七尊爲自內證三十七尊爲外現云但甚深義等多見大寶院說凡此法起首花經中即身成佛說修行顯也靈鷲說初序品至寶塔時向東說之照東方萬八千土此而寶塔時其後向東釋迦如來此品時入塔向西也然者法華法依寶塔品修行也寶塔品本門迹門云

此意也迹門本門金三部合行法各真寶義顯也儀軌依法華三昧耶經尼大旨彼同也十行天台末弟也云智證本門壽量釋迦者普賢延命云

法華三部合行法以普賢延命爲本尊尤應理思之其故普賢延命居胎藏金剛界十六尊三昧耶形印持也普賢無始無終佛即印智拳印也言壽字也此字三身相即字故普賢延命三身即一菩薩也兩部合行本尊尤甚深也

西院云遍照寺御口訣云又承傳云此法以普賢爲其本尊普賢有三種一者實相普賢所謂入實相三摩地觀法花經真如理是也二者顯現普賢所謂入普賢定成普賢身是也三者究竟普賢所謂成無量壽命決定如來住法身塔中是也此三種普賢名曰眞言教主大日如來是已上大寶院云無量壽命決定如來者即是因位時普賢菩薩壽量品云我本行菩薩道

云果位時無量壽命如來是久遠實成本地本佛也即壽量品意也曼荼羅塔中二佛是本迹二門所表意也釋迦多寶佛本但私案塔中可置智摩印大日也此事目抄見彼大日即久遠本佛也自受用身也此品證量正在報身即此佛也在報身即此佛也然者阿彌陀密教自受用身也金剛總云受用智惠身阿彌陀佛又是即久遠釋迦也無量壽命決定如來云者本地實成釋迦也結引誦演言思惟品意也云法天三藏所譯無量壽命決定如來經先德云本佛國土說經文彼真言普賢延命真言見抄唐房抄普賢菩薩延命真言唵引薩嚩野跋里囉囉囉引此在山王帝摩賀跋野跋里囉囉囉引此在山王院經藏雜真言中也抑決定如來真言是也此略歸命句耳各普賢菩薩延命真言之甚以感嘆覺禪閣樂云凡秘法習用真言尊有重淺深或觀音不動普賢又塔多寶釋迦或兩部大日也以觀音爲本尊凡別尊法大日如來觀法界根緣現無盡身入一乘法華三昧地以觀自在尊可爲本尊下品佛云三井佛云和等

不生之理其體故云傳受集四云多寶爲本尊無量壽決定如來云多寶云同二云決定如來爲本尊云聖賢云慈覺大師傳信運云增金多寶云寬信云釋迦多寶合觀云增金多寶云寬信云釋迦多寶之又傳受集第二佛可觀云御室傳爲大日本尊可向兩部曼荼羅理實寶胎藏不金界故雖普門應理曼荼羅深祕之時兩部曼荼羅可思也云釋迦金界曼荼羅也上聖賢說又云中藏金剛界大日八菩薩即胎藏八葉諸尊云法勝云妙法是金界大日自證月輪蓮花胎藏八葉蓮也經云定惠力莊嚴以此度衆生云地巾云法花經法表兩部界胎藏因金界果也日月心王心所住法界照給云亮惠云此法理智不二因果一法也寶塔理多寶理之中理法身釋迦理中智法身如蓮華花實俱時以二顯不二法也理法身之說法普賢聞之他身之釋迦說凡夫行者聞之云已上覺釋了

因論生論法花有八萬大土云八葉菩薩八萬主歟又云爲佛補處菩薩取之歟彌勒文殊有因緣經文分明也藥王妙音觀音普賢爲一品大將常精進法花殊勝依六根淨而顯此菩薩爲其對極無盡意爲不胸世界普賢如來補處故取之歟菩薩中一生補處殊勝也或云法花八葉尊胎藏九尊同事也秘抄云野法花經胎藏界功德也題目九字八葉九尊云金寶鈔云極祕說八菩薩即八葉尊也塔法界宮一塔也是小野究竟說也或云妙法華經蓮華經無量壽經品次第第一日大開題云大師八葉中八佛加中藏尊九佛題目九字彼佛種子真言文

白寶口抄卷第四十二（法華法第二）  
地巾云觀音作業以爲釋迦人出爲觀音法出法華經妙法蓮華山傳以不動明王爲本尊信通佛聖賢云不動法本尊云大日經疏九云以唯一眼鑒法界應度根緣無不具字一乘理故云無二亦無三文山王院說云法花一部始終皆悉無不阿字本

八葉菩薩事  
入唐成碑閣梨記云問八大菩薩次第何意答聖意難測誰知旨趣且以一義試解釋者依對揚故有此次第勸勵文殊序品問答藥王則是法師品對揚也妙音提婆品文殊也山王院大師云妙音提婆常精進以下四菩薩如經次第可見又以八大菩薩相對四佛四菩薩頗有其義中蓋是胎藏曼荼羅二院三院即金剛界也云或云

四大聲聞事  
四大聲聞安內院四隅事文句一云聲聞形出俗網迤近如來證經爲親故前列也云義疏一云列衆開三別一前列聲聞二列菩薩三後列凡夫若從小數應列凡夫大列聲聞後列菩薩今何先列聲聞次菩薩後凡夫答如華嚴法界品等○前列菩薩後列聲聞依內德從勝至劣今前聲聞後列菩薩聲聞心具智斷形備法儀心形兩勝是故前列菩薩心雖會道形無定方或道或俗此則心勝形劣故在第二凡夫形心兩劣所以第三取意同云云問授聲聞記與普菩薩何異答法華論云受聲聞記

者今聲聞得決定心非謂聲聞成就法性故以如來法身與聲聞法身無異故與授記非即其足修行功德故菩薩具足功義是故得記取意觀經疏第二云問曰一切經首皆有此等聲聞以為猶置有何所以答曰此有別意云何別意此等聲聞多是外道如賢愚經說優樓頻螺迦葉領五百弟子修事邪法迦葉領五百五十弟子修事邪法那提迦葉領二百五十弟子修事邪法總有一千皆受佛化得離滅道其二百五十者即是舍利弗目連弟子共領一處修事邪法亦受佛化皆得道果此等四眾合為一處故有千二百五十八人問曰此來中亦有非外道者何故總標答曰如經中說此諸外道常隨世尊不相捨離然結果之家簡取外德故有異名是外道者多非者少又問曰未審此等外道常隨佛後有何意也答曰解有二義一就佛解二就外道解就佛解者此外道邪風久扇非是一生雖入真門氣習由在故使如來知覺不令外化長相衆生正見根芽惡業增長此世後世不收果實為此因緣攝令自近不應外益此即就佛解意次就外道解者迦葉等意自唯曠劫久沈生死修還六道苦不可言愚癡惡見封執邪風不隨明師水流於苦海但以宿緣有遇得會慈境法深無私我曹蒙潤時思佛恩德碎身之極惘然致使觀事靈儀無由暫替此即就外道解竟文

口云四大聲聞等釋尊常隨弟子也故內眷屬也又今經以聲聞授記為規模故三周聲聞居內院受授記即破三歸一義也私曰三周聲聞者一舍利弗二阿難三目連歟或云以四大聲聞置內院四隅事是表四賢瓶也四大聲聞一來法水發得圓滿之人故替賢瓶置之也胎藏曼荼羅以普賢文殊觀音慈氏之四菩薩為四賢菩薩見疏云

第二院等事

此菩薩等六皆經同衆也其中一切義成就菩薩者因果經云薩婆一切悉就成就就太子梵號云賢覺云釋迦因位名也云大原記云此門一切義成就菩薩者普賢是也一切諸佛將登正覺最後身皆名一切義成就太子也即薩婆悉達也云問四隅四明王何除大威德金剛夜叉加不動烏瑟沙摩乎答不動降三世者南部教令輪身也東荼利多寶忿怒身烏瑟沙摩釋迦忿怒身也故四忿怒皆有由也

白寶口抄 法華法第三

印事

塔印者不二法性塔婆二大指兩部大日如口傳無子細也妙鈔云極甚祕說云塔印之內觀二世尊右釋左多二佛同座妙法蓮華經親演說給云師主口傳深祕法印是法界大塔也云釋迦胎大日多寶金大日也是兩部大日也大指入內二頭指作寶形也或二大指左右開寶塔開扉習之是寶塔多寶證明心也多寶過去諸佛全身舍利也舍利必在塔故多寶佛在塔中也法華證明之時去半座讀釋迦二佛同座顯教如是知之密教是兩部大日也習寶塔不二體習之也又云勸修寺流今塔印付灌頂印習之為深祕賢覺云胎藏開小指如寶幢印金界開大指果難佛與佛境界云尊念云先結塔印誦多寶呪次開二大指歸命不歸命異次又合歸命誦誦之此上猶住妙觀察智定印誦阿彌陀眞實能說教主是阿彌陀也釋迦妙觀察智是蓮華智故能說教主所說妙法不二一體習之是深祕之中深祕也尊念師資相承中祕傳也云

眞言事

大日疏云釋阿字有五義一阿菩提心二阿菩提行三略證菩提義四迴殺出繫義五惡具足方便智義又配法華開示悟入

四字開字開佛知見即雙開菩提心初阿

菩提心義也示字示佛知見第二阿菩提

行義也悟字悟佛知見如第三暗是證菩

提義也入字入佛知見如第四惡字般

提義言之具足成就第五惡字方便善巧

智圓滿義也同經說開示悟入之四字今

加第五字其意如何答法華開題云其開

示悟入者四種阿字門初開佛知見者第

一阿字是菩提心義次示佛知見者第三

阿字是菩提行義次悟佛知見者第四暗

字門是證菩提義終入佛知見者第四惡

字想而具足成是第五惡字即具足方便

義其佛知見者衆生所具妙法佛性即是

蓮華三昧之心若開敷時無量法門無不

具足謂六度十八空三十七品禪定解脫

百八三昧門五百陀羅尼門等今教衆生

欲令知識心實相開被花臺令得佛知見

文

示悟入是大開示悟入即四智也謂第一

異因也是大圓鏡智第八此位鏡如移影

像然而此智未悟何物第八此位萬法宛

然備無分別智故也第二異行也是平等

性智第七此位前所移鏡之法何物示位

也第三異緣也是妙觀察智第六此位正

何物云事悟也六識者有分別之故也此

位即佛位也第四異人也成所作智第五

也是入涅槃位也顯教分域此位知之也

第五異字是方便究竟義此涅槃又還顯

佛身此等義能可思之

智拳印事

口云金輪與法華一體也依之延命說上

綱條金輪法讀誦法華經語傳元吳我讚

法華經往生極樂我門人向西可拜云

授心鈔云唯有一乘法者說法花也十方

佛土中智拳印爲諸佛究竟成佛覺位印

云

口云是二印一明也但智拳印或說也不

兼用云妙抄云智拳印若求法之志有

別者金剛界大日印此智拳印一字明可

授之云師主說也二佛共成名是虛遣

那故雖二佛之印是一佛也法身佛故一

切諸佛皆是大日如來也眞言陀羅尼羅

二獻都此故金輪儀軌云不空十方佛

土中唯有一佛乘如來之頂法等持諸佛

體是故名智拳云故以金剛界大日爲

此法本尊云

私云此印明者金界大日爲本尊時用

之歟即次下塔印眞言歸命寶寶寶

身經文云定惠力莊嚴以此度衆生

云故本尊即金剛界大日眞言即胎

藏也以定惠配兩部又妙法蓮花經之

題目即胎藏八葉九尊也云此經文

意約印明智拳印誦無所不至明是即

定惠力莊嚴也寶寶云鳥羽僧正傳

塔印用普賢一字明爲究竟遍智階倍

都流以智拳印用無所不至言爲祕事

云聖賢說同之也此等皆印明互表

兩部不二故定惠力莊嚴以此度衆生

義也又智拳印可有此義祕云如來之

頂法者右拳等持諸佛體者左風指即

衆生云諸佛體是會三歸一意也左

以衆生之息風付佛果風即力也故

定惠力莊嚴以此度衆生也此印即身

成佛印故度衆生義也塔印亦左右風

指屈合之成塔是定惠力莊嚴也六六

一寶眞情非情連那已體故名無所不

至印是度衆生意也

或云法華經以智拳印爲祕密但柱右風

空二指端柱左風指端是許相違普通印

謂左地水火三指連門三身握空證連門

實相三身也右地水火三指本門三身右

風空左風端聚一所三角三身壽命右空

風左風如次法報應之三身壽命也云

口云法花法祕印明流之多也小野如

法華印言用之彼流大事故略之或外五

股與三身或八葉印明同如是多之

非常流習故略之又薄雙紙者本尊加持

先大日印言是智拳印聖所說次釋迦印

言次多寶印言等也彼次第塔中釋迦多

寶二佛同座爲本尊故也云

散念誦事

問大日云兩部中何乎 答本尊眞言

胎藏也故金剛界大日眞言歟

問釋迦多寶二佛眞言何不用之乎 答

無量壽命決定如來眞言釋迦多寶通用

歟或此眞言云多寶眞言玄祕鈔無量壽





口云如朱付可用不動慈教呪也云金

義莫三曼多勃駄喃佛也呪也三身阿問阿

引暗也惡入薩嚩訶也呪也切如三身阿問阿

婆乞耶尼耶也見說義安嚩訶也切如三身阿問阿

衛也也薩達摩也法浮陀里迦白蓮薩駄

又給也呼也錢也說義安嚩訶也切如三身阿問阿

玄秘鈔朱付云誦一遍宛四十萬部法華

云結八葉印迴轉寶多心上蓮在十法

界從頂上解散之言云小野真言集用之又華

口云此肝心真言其字義句義互法花

藏院集并心覺真言集等用之也說所不

分明覺朝口訣有之是亦實否難知彼口

訣云法花肝心真言其字義句義互法花

迹本二門統攝胎藏金剛兩部肝府今出

其真言應釋其相肝心真言曰

三身阿問阿示見打打可也

白寶口抄卷第四十三(法華法第三)

次口云妙法華經白蓮有經此

是題目名耳本迹二門故安中間兼於前

後次經已下法華本門意也也

義法華本門意金剛界果受茶羅智拳

大日故以金剛界鉤索鎖鈴四菩薩真言

本門之時一切菩薩聲聞緣覺諸天大眾

皆悉引入無量壽命決定如來寂靜真如

大功德海中是則鉤義也一切聖尊住此

功德治是則樂義也一切大衆遊遊那羅

命決定如來本地寂光功德一切法界果

曼荼羅普門海會聖衆各現於無量神

德一擁護故安于口云之句是擁護

普迴句也肝心呪無畏鐵塔得之付金剛

智金剛智付不空不空付一行阿闍梨云

已上

延懷云善無畏付金剛智金剛智付不空

此真言誦畢爲法花經一部誦也云常

延懷云法華肝心真言結八葉印迴轉心

解散之傳教大師口決傳受露地和尚云

法華補闕真言

義經但羅夜耶呪一依羅伽羅俱

注俱注二羅羅羅魚羅呼反四賀素

但五入反集羅末擊薩阿

此真言是蜀郡靜泉寺僧道如俗姓李發

願讀法花經一萬遍至元和初遍數滿降

房有一僧死經七日却活來云見地藏菩

薩有冥司答等俱時至問僧云汝與道

如降房住否答曰然也地藏菩薩云道如

持經一萬遍滿畢然而依漏闕至多冥官

祿不能納之僧如持此明與彼道如經一

遍每誦此明三遍誦者道闕文句圓滿如

法冥官攝受云

已上勸修寺集載之亦小野集出此呪

爲地藏菩薩補闕真言但字少異以

朱付之也

院集有之也

伴僧事

口云下番等事委細如孔雀經法放略之

可依彼口訣也云授心抄云初鈴以後

上下番各替可令讀誦初鈴以前佛眼真

言如常如是雖振鈴以後讀經遲故普

供養三力金以後讀經也經多少任心或

一部或一卷或一品也或一品壽量品云

又自我偈云

御加持事

口云如朱付可用不動慈教呪也云金

寶云辨事故云：

禮佛事

口云三十七尊如常四攝之大南無釋迦牟尼佛三遍大兩部如常或四攝之大廣用之大第又說也云：

證事

口云四智許也不動略之

迎請事

口云大鈎召印明用之

結界事

口云不動也見儀軌以聖不動尊印真言  
辟除一切諸惡魔障文

字輪觀事



護摩事

口云就息災行之寬信法務於顯顯民部  
卿亭增益行之當流多分息災也授心鈔  
云增益息災二種可修之增益法尤可行  
之云：又除病延命滅罪出離可行之經  
文若人有病得聞是經病即消滅不老不

死文又云離一切苦一切病痛能解一切

生死轉文除病延命功能可知之又於此

命終即往安樂世界阿彌陀佛云：又是

人命終當主切利天云：又是人命終

為千佛授手云：又生十方佛前文出離

得脫文顯然也

部主段 金剛界大日

自加持 智拳印

召請 大鈎召印又外五股印頭指召之明同

前加召請句四攝明也

供物 同真言加息災句

撥遣 準召請或以不動為部主也

玄秘鈔朱付云範僧正云增益行之時以

寶生尊為部主息災以釋迦為部主釋迦

不空成就又寶生多寶也云：

本尊段

自加持 無所不至印

召請 外五股印右頭指三招明同前加召請

句四攝明

供物 同真言加息災句

加持物 如供物

撥遣 準召請右頭指三撥加撥遣句

諸尊段

自加持 普印真言如次

寶印真言如次

召請 大鈎召印真言

供物

同一切菩薩真言八約供之加息災

同聲聞真言四約供之加息災

撥遣 準召請或彈指

又裏付樣

自加持 智拳印

召請 大鈎召印

供物 釋迦

多寶普印

寶生尊

玄秘鈔

釋迦

八大菩薩

四大聲聞

世天段

如常加供法華受茶羅外部諸天并十

羅刹等加供之也諸天用普世明妃真

言

歸命

召請

寶印

大鈎

召請

寶印

大鈎

召請

寶印

大鈎

召請

寶印

大鈎

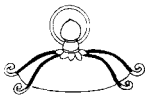
召請

十羅利用諸羅刹真言

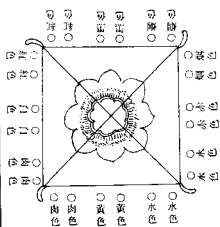
增場莊嚴事

口云大壇左邊立護摩壇次十二天壇次聖天壇也但近來御所之隨便宜右邊立之也

天蓋者廣長各七尺色淺青色空色者淺青色也裏八葉赤蓮花圖之恒輪三股等不彫付之也觀智軌云於其壇上張天蓋文形色寸法等不說之以餘流用之也



蓋上圓骨等黑漆手  
ナキハ金物也云々

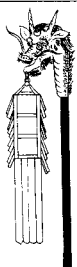


天蓋裏也八色幡二十四流長三尺也東北角四流肉色是赤白色也正東二流白色東南角四流紅色正南二流黑色西南角四流烟色正西二流赤色西北角四流水色是靛色也正北二流黃色也都合二十四流

問棚色如何 答薄黑色也

問水色綠色云云水輪白色如何 答水色者普通綠色也故云綠色赤青色也或云水色者白色キラキラトミガク也如是カラシキラミキタル爲水色白色色與水色相違是也云是非常流習也儀軌云於其壇上張設天蓋四面懸幡二十四口文是形色長短不說之今依仁王經法也成尋記云三井問二十四流有何所表哉

答依等懺悔表流轉還滅十二因緣今私案之十二因緣不出三道三道即是三身如來亦是三部諸尊功德此曼荼羅三部合行故知三部各有八色都合卽爲二十四幡歟云或云義疏十一云說此壽量品時十二種利八種瑞相文壇四角幡者竿長七尺可有金龍頭々々已下如常黑塗也幡長五尺雜色者普通之色幡也四流也



儀軌云又於角各懸幡文形色長不說之以口傳如此用之也四寶幡幡者曼荼羅之四隅東北烏剎沙摩東南軍荼利西南不動西北降三世四明也烏剎沙摩者釋迦忿怒身軍荼利者多寶忿怒身也不動降三世者理智教令輪身也四明王住外院之四隅與諸天龍神等兵衆翻衆轉之幡釋尊出五濁世說法花今降伏衆生罪障魔軍故自內證出外院利衆生是方便爲究竟義也或云堂塔四角懸寶幢是軍旅也或云四柱寶蓋義也云々壇中央之多寶塔安置法華經一部并佛舍利一粒事小野流無此事歟

問法師品云若經卷所作之處皆應起七寶塔極令高廣嚴飾不須復安舍利所以者何此中已有如來全身文法花論云此經具說三種佛菩薩故十七名中名堅固舍利如來真如法身於此經中不壞故不須更安碎身舍利也文法華經卽舍利故不安碎身舍利利何安佛舍利乎法華經全身舍利道骨碎身舍利並用事有何失乎在世生身滅後道身功德並舉也又舍利卽釋迦道身能說主經卽所說法也又云經卽釋迦如來全身舍利卽多寶々々卽寶生々々卽如意寶珠々々卽舍利也故釋迦多寶二佛至極肝心也儀軌曰又於中想多寶世尊舍利寶塔種種莊嚴釋迦牟尼如來及多寶佛於寶塔中同座面交然則二佛並座之深秘也

問東寺一門習諸尊法通安佛舍利是成就之義也。金輪時處軌云若不依瑜伽作事法念誦不對壇舍利非時處不淨輒結印念持決定獲殊特文依此等義安佛舍利歟如何。答凡安佛舍利事儀軌并妙經不說之諸尊法安舍利深祕習也。今安此法醍醐小野共息災增益之二法修之以釋迦為本尊時息災行之以多寶為本尊時增益也是甚深也。舍利即寶珠、即寶生、即多寶故尤增益可行之也。儀軌修行者面向東方云又云塔門西開云此意也。故法花法安佛舍利事究竟祕事也云。

都喲波香事

口云此香者在印度無此土都樓婆畢力香芸臺香也是草香也云。或云都喲婆香者唐物也其代用草香也云。妙鈔云草香也當流用之傳受集四云他家說云兜樓婆香或說荳蔻或說荳蔻根又說芙蓉是用法花法之香也云。西院云云。香者或芸臺香或荳蔻草也云。煎之以汁灑水關伽等入之。又灑乳木。今以乳木觀行者身擬燒身之義所令灑也是祕事也云。盛針云金鉢若蓋若長境等入之置壇中央結願後施主服之或沐浴悉地必成就也若自行行者飲之云。大佛頂經七云每至食時若在中夜取蜜半升用蘇三合於壇前別安一小火爐以兜樓婆香煎取香水沐浴其炭然令猛熾投是酥蜜於

炎火爐中燒令煙盡饗佛菩薩文口云自餘事如常云。撰五色四面關伽五瓶輪羯磨等并護摩壇莊嚴十二天壇聖天等仁王經孔雀經法等準之

白寶口抄 理趣經法第一

本書事

金剛頂瑜伽般若理趣經一卷

實相般若波羅蜜經一卷

大樂金剛不空真寶三昧耶經

般若波羅蜜多理趣經一卷 不空譯

大樂金剛薩埵修行成就儀軌一卷 不空譯

般若波羅蜜多理趣經大樂不空三昧

真寶金剛菩薩等一十七聖大曼荼羅

義述一卷 不空譯

金剛頂瑜伽他化自在天理趣會普賢修

行念誦儀軌一卷 不空譯

金剛頂勝初瑜伽經中略出大樂金剛薩

埵念誦儀軌一卷 不空譯

般若理趣經決一卷

理趣經述講三卷

理趣經幽贊一卷

普賢菩薩十七尊略釋一卷

金剛頂瑜伽要決一卷

名字事

開題云大樂者大日如來金剛者阿闍如

來不空者寶生如來真實者無量壽如來

三摩耶者不空成就如來經者佛法之海

名也般若波羅蜜多者阿字本不生之義

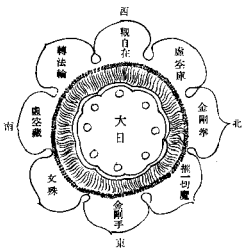
理趣者從初畔字至于終畔字其中甚深

奧藏也品者五智深海受諸尊萬流故名

曰品也文

問。今此經金剛頂經大日經中何攝乎  
答。開題云。龍猛所傳十萬頌經。就此本有  
十八會經。此經則十八會中第六會也。文  
十八會指歸云。第六會為大樂不空三昧  
耶。實實瑜伽於他化自在天說文是等文  
明鏡也。金剛頂部攝也。  
問。開題云。人。意者。載。夫。阿字。廓然。不生。不  
滅。湛。頂。瑜伽。無礙。自在。阿字。廓然。故。胎  
藏。界。攝。歟。如何。答。寶字。諸佛。本。源。法。佛  
內。證。也。不。生。不。滅。法。爾。廓。然。故。胎。藏。界。本  
有。門。義。也。次。句。湛。頂。瑜伽。無礙。自在。字  
智。水。生。長。髮。芽。本。有。上。金。剛。界。修。生。門。湛  
頂。義。二。利。究。竟。二。利。圓。滿。故。云。無礙。自在  
也。故。上。句。寶字。下。句。字。故。此。經。大。意。理  
智。兩。部。本。有。修。得。二。門。也。既。大。意。釋。理。智  
給。是。不。二。之。上。兩。部。也。此。兩。部。亦。終。非。有  
而。二。門。也。准。知。瑜。祇。經。雖。說。理。智。不。二。金  
剛。頂。部。也。思。之。  
懸。曼。茶。羅。事  
問。說。經。之。曼。茶。羅。者。何。乎。答。初。段。曼。茶  
羅。是。也。初。段。能。說。之。曼。茶。羅。也。十。七。段。所  
說。曼。茶。羅。也。此。十。七。段。中。前。十。六。段。因。曼  
茶。羅。即。表。十。六。大。菩。薩。生。也。終。一。段。五。祇  
密。是。果。曼。茶。羅。即。表。五。智。圓。滿。也  
問。初。段。能。說。曼。茶。羅。其。圖。位。如。何。答。中  
央。大。日。八。葉。八。大。菩。薩。也

同云



此曼茶羅者八葉九尊也。是一切衆生本  
有薩埵本有自證之位也。疏凡夫胸中肉  
團妙法芬陀利華。八葉開敷圓滿均等。此  
華臺是實相自然智惠蓮花葉是大悲方  
便也。顯榮加持力故現三重曼茶羅。是為  
自宗本意也。凡八葉九尊金剛手觀自在  
虛空藏金剛拳大日四方四智也。文殊轉  
法輪虛空庫摧一切魔四隅四行菩薩也  
開此八位能攝如來萬德也。但是八葉九  
尊中臺金剛界大日八菩薩同金剛界三  
十七尊菩薩也。位胎藏八葉也。故能住金  
界所住胎界是顯不二之漫茶羅也  
問。今九尊具三十七尊歟。答。四方四智  
故攝八供等。四定攝四智位。故加中臺三  
十七尊也  
問。八菩薩具三十六尊。其文證如何。答。  
理趣經段段分明也。

就大法行之事

凡當流習就大法行之。必不限此一法。就  
兩界行法之時。通諸尊如此可習之。此有  
二說。一者先大日道場觀。如例觀之。其次  
其大日如來心月輪中。當本尊種子三形  
尊形轉成。及眷屬圍繞之行相觀之。所謂  
大日為利衆生現當本尊身也。可觀念之。  
二者五相成身時。佛身圓滿。觀身為本  
尊。文自身既觀本尊。又道場觀。如前觀  
大日。其大日之心月輪。觀有當本尊種子  
是則大日之法體也。此字變成當本尊三  
形。同大日之三昧耶身也。變成當本尊身  
是則大日與當本尊令冥會也。最祕傳也。  
此兩義當流之祕傳也。前大日心月輪若  
佛若菩薩若明王若天等種子三形尊形  
觀之者。從善門出一門隨機之方便。從內  
院向外院利物之善巧也。後佛菩薩明王  
天等種子三形尊形。即觀大日即體一身  
一智行相。故全無優劣法華開題云。若以  
觀自在為首。爾大日尊亦名觀自在。以此  
尊為首。具三十七尊及無量佛刹微塵身  
大日即觀智遍法界體性智。阿閼鞞菩薩  
鏡自性金剛智多寶則觀智。福德聚身無  
量壽則觀智。妙觀壽命智。釋迦則觀智。作  
業寂照智。分身則觀智。正覺差別身。普賢  
即觀智。菩提心。如智。文殊則觀智。妙惠  
慈氏則觀智。之大慈。乃至一切聲聞緣覺  
身。天龍八部國王長者。乃至一切聖賢。勝  
俱胝院云。是文真言教。大宗尤至要也。

問就大法行此法道場觀依正先之  
後大日心輪上可觀今道場觀樣數如  
何答不爾也金界道場觀須彌也此  
法觀他化自在天金剛界種子五字三  
形聖都婆也今法種子三字三寶珠二  
金界大日智拳印此法界定印三如是差  
別故行相依金界道場觀直如今次第可  
觀之也

道場觀事

他化自在天宮者經云在於欲界他化  
自在天王宮中文理趣釋云他化自在天  
王宮觀者薩得第六地位現前地菩薩  
住般若波羅蜜多觀作此天衆生爲天人  
說般若波羅蜜其天界五欲殊勝超越諸  
天是故毘盧遮那佛爲金剛薩埵說大樂  
大貪樂加持現證最勝理趣文此釋意者  
實此經非說欲界他化自在天宮名客  
顯教十地中第六現前地菩薩所行顯大  
樂大貪樂加持現證最勝理趣內證祕處  
也假名他化自在天王宮處彼欲界頂者  
五欲殊勝猶勝諸天欲界殊以經欲爲  
樂是即男女陰陽和合其心全均等相應  
然彼天者相親成婚是男女頓速愛樂之  
至極也今理趣被若者說世出世二諦定  
惠相應理智其合故大欲大樂不二相應  
三摩地表示也故今經說處名他化自在  
天王宮也大日經疏云以自在加持神心  
所宅故名自在天王宮也隨如來有應之  
處無非此宮不獨在三界之表也又理趣

釋云其宮殿大樂不空金剛薩埵大曼荼  
羅皆從是處遮那佛福德資糧出生大妙  
金剛五寶所成金剛峯寶樓閣文此故在  
一處此法修行之處即他化自在天宮  
也如來有應之處無非是宮故也金剛峯  
寶樓閣者即五峯八柱法性塔婆也是兩  
部不二之曼荼羅也金剛峯者五股金剛  
即金界十七尊總三摩耶也樓閣者八柱  
八葉九尊胎界大日八大菩薩之曼荼也  
塔莊嚴事

鈴鐺者表佛部佛自證圓滿後垂大悲說  
法利生故也經勝者表金剛部隨是菩提  
心表示也東方佛云寶輪佛此意也珠髮  
瓔珞者表寶部衆寶是南方寶生三摩地  
法門也半月者表蓮花部是西方證菩提  
未至涅槃門故半月義也又西方金也金  
風輪也半月形者表風輪滿月者表羯磨  
部北方衆菩薩圓滿也若菩提心滿以十  
五夜滿月聲菩薩滿故也又北方水方也  
水輪圓形故云滿月也  
已上莊五部之所表也是五部所成塔  
婆放也

千葉大白蓮事

口云初地坐百葉蓮花第二地坐千葉故  
今緣出自本初地自證位爲化他利益說  
此經故坐千葉大白蓮也是破儀修生初  
也故此佛外亦無佛也是猶初地頓證內  
第二地位也  
以五股爲蓮等事

理趣云以自金剛彼華二體和合成  
爲定應是故離伽藍品中密意二根交會  
五座成大理事文是定二體和合不  
二法性之曼荼羅也是性德五大和合法  
行者內證五智功德也一之中土者六  
大法界體性情非情故一攝法界義也  
遍法界身者我身衆生身心佛及衆生之  
三此五智圓珠寶體故也

問今種子限

一字不具足五智五輪之  
義乎答於種子有總有別金界五  
字中亦五輪中字是別也則五智五  
輪中約其一故也一印會字并今字  
是總字也秘藏記云以水喻五智如何  
水性澄寂一切色相顯現皆大圓智一切  
萬像影現其水無高無下平等譬平等  
性智其水中一切色相差別明了現見譬  
妙觀察智其水無不遍譬法界智一切情  
非情類依水得滋長譬成所作智文故於  
一字具五智之德一院會字如是具三  
十七尊德故是則總也

如意寶珠事

觀照般若智與實相般若理不二所成今  
五種寶珠也種子字字情非情種子義訣  
云字法界種子云  
凡理趣經者說字功德此大日者如意  
寶珠爲根本故此理趣經習寶珠宗大事  
不共祕中深祕也此故後七日御修法  
時得忘仁密漸轉讀此經也一文字成

寶珠遍虛空利金少福無惠衆生觀之也  
今當流以一法界爲此經祕事依  
之今道場觀本尊彼一法界也彼  
文云大日如來理智不二行虛空中有  
字成如意寶珠放五色光光中有  
衆字各成如意寶珠是遍照身中五智功  
德也此如意寶珠變成法性大日如來住  
定印戴金剛寶冠冠中坐五智佛身色白  
月輝坐千葉大白蓮華王此蓮華以五股  
爲莖是一塵之中土也又遍法界之身也  
復我身也又一切衆生身也  
智拳印

大日 金薩 龍猛 龍智 不空  
惠果 弘法 眞雅 源仁 益信  
神日 眞寂

已上師資相承致我予十二葉付法只  
一人也

延喜二十年四月三日於圓城寺記之  
表紙云青龍寺惠果和尚請惠日寺數口  
僧侶五日之間十五時修懺悔法眞言教  
中大乘經轉讀之并修祕法祈滅罪夢中  
不空三藏來云眞言中肝心我轉以此經  
法爲心爲心如是一兩度示之云

口云表紙記是理趣三昧也眞言教中  
大乘經者理趣經也祕法者此經法也  
又奧記云此法相承良雅阿闍梨淳大僧  
正定海云  
已上爲文也

遍口鈔云故僧正發云理趣經法也師  
資相承之樣如此而故智定房ナムトハ  
端日記別事也理智不二行ト云ハ又只  
カ、ル殊勝法別名也也然而只理趣經  
法可相承也被仰智定房外廻一法界復  
三密房等一法界者約表紙記非理  
智不二行彼別法也云  
或云一法界者光明眞言法也五色  
光中有五寶珠是五色光印義也云當流  
口傳理智不二行即習此經大事也故此  
經法最極祕法也理趣經開題云諸佛之  
中爲大日主諸行斯法過文實貴僧正之  
勸理趣釋文此經十七清淨者諸經三界  
唯一心意也云五塵六欲皆歸入普賢一  
實境界此云一法界歟云  
私云一法界者以字爲種子  
故云一法界者字法界種相形如圓塔  
故理智圓滿德含藏種種相形如圓塔  
者理趣梵語也大日如來理智不二行  
者此法也故知大日爲本尊故不加別  
句也大日金薩自他受用別實是一體  
故歟  
法性大日事  
法性大日者理智不二尊也故次第云祕  
密源底也云是一切衆生體本有大日也  
云瑜祇理趣兩經者同一佛三摩地法門  
也此理趣經說金剛薩埵瑜祇經愛染王  
也愛染之本身是薩埵也故二經共以序

品爲大事也  
住正受事  
入定貌也云  
八菩薩事  
金剛手菩薩 理趣釋云金剛手菩薩者  
在毘盧遮那前月輪中表一切如來菩提  
心初發菩提心由金剛薩埵加持修證菩  
賢行願證如來地文  
觀自在菩薩 釋云觀自在菩薩者在毘  
盧遮那後月輪表一切如來大悲隨緣六  
趣拔濟一切有情生死難苦惱速證清  
淨三摩地不著生死不證涅槃皆由觀自  
在菩薩金剛法現證文  
虛空藏菩薩 釋云虛空藏菩薩者在毘  
盧遮那右月輪表一切如來眞如恒沙功  
德福德資糧聚由修虛空藏菩薩行四  
種施後當說三輪清淨喻若虛空無盡有  
爲無漏成受用變化身資糧也文  
金剛拳菩薩 釋云金剛拳菩薩者在毘  
盧遮那左月輪中表一切如來三祕密在  
金剛拳菩薩堂由眞言行菩薩以入輪壇  
得證頂者得聞如來三業密教修行獲得  
世出世殊勝悉地淨除無始十種不善惡  
業證得無障礙究竟智文  
文殊師利菩薩 釋云文殊師利菩薩在  
東南隅月輪表一切如來般若波羅蜜多  
惠劍住三解脫門能顯眞如法身常樂我  
淨由菩薩證此智便成等正覺也文  
續發心轉法輪菩薩 釋云續發心轉法

輪苦薩者在西南隅月輪表一切如來四種輪金剛界輪降三世輪週調伏輪一切義成就輪由修眞言行菩薩得入如是等輪依四種智印以成十六大菩薩生使證無上菩提文

私云攝發心轉法輪者即彌勒菩薩也轉法輪法以彌勒爲本意此輪者轉法輪也輪摧破義亦輪壇時所依義也此菩薩等覺地故爲妙覺所依也疏云後地以前地爲基云又彌勒主因故諸尊果所依故爲輪壇也凡眞言行者不入此輪壇更無成等正覺之義諸佛皆入此章三摩地輪壇成正覺兩部入壇之儀式偏此輪壇之三摩地也灌頂儀式者正入輪壇經五部十六大生成花臺之正覺釋文此意也

虛空庫菩薩釋云虛空庫菩薩者在西北隅表一切如來廣大悲養儀山修眞言行菩薩修得虛空庫菩薩瑜伽三摩地於一念頃身生盡虛空遍法界一一佛前於大眾會以種種雲海供養奉獻如來便從一切佛前聞說妙法速滿福德智慧資樹以虛空爲庫藏隨緣趣極濟利樂諸有情漸引到無上菩提以爲巧便文  
摧一切魔菩薩釋云摧一切魔菩薩者在東北隅表一切如來大悲方便外示現威怒內懷悲愍住加行位護持修行除諸障成菩提時摧伏天魔及魔障首羅一切難調伏者令彼等受化致於無上菩提

以忿怒智而成究竟文

私云今摧一切魔菩薩者大日遍照之所變北方金剛夜叉明王也有珍祇經云

釋云如上所釋八大菩薩攝三種法所謂菩提心大悲方便是也如上所釋諸菩薩包括一切佛法眞言門及一切顯大乘如是等大菩薩衆供養恭敬圍繞文此八大菩薩皆悉五智滿足衆德圓備也即東方大圓鏡智位菩提心爲因也南方平等性智位大慈爲根也西北二智位方便爲究竟也云

八十俱胝等事

八十俱胝大菩薩衆者八大菩薩各十俱胝之眷屬也

說般若波羅蜜理趣經事

今這場觀理趣經之序說分說處儀式也所說經偏本有作佛之道理即身成佛之源極也說處者即一切衆生心內即事而眞之法門也理實全非外處衆生心地自性本有之道場也更無別意趣也

白寶口抄 理趣經法第二

印眞言事

先智學之說也但言者不者師傳教用其字事其子細見裏付智學印高懸上三寶寶珠也到字又寶珠也祕藏記云到字成如意寶珠文

大惠刀印事

口云此印法界圓塔也般若無相之惠刀速斷滅煩惱是又寶珠所住花臺也此事深祕也眞言般若智無盡藏理是寶珠體萬法含藏故云無盡藏也

獨股印事

朱付云金剛界之極喜三昧耶印女金界軌云以二度刺心名爲大悲箭以射厭離心云此印云內箭印表箭形二入掌箭根也大小指立張合善也或大小指立合箭羽也安然云二空可也云是即見本有普賢故以大悲箭射厭離心也問何故此印名極喜三昧耶乎答金界極喜三昧耶印今獨股印同印故云爾也眞興私記地菩薩往百部世界化度諸有情其厭離心爲菩薩敵其大悲心如射怨箭文此地菩薩者指初地金剛端埵初地菩薩故名極喜三昧耶印也又燭金剛地埵時以極喜三昧耶印抱之五秘密軌云計里言羅抱金剛薩埵者表淨第七識妄



教第八識爲我疑我見我慢我愛成平等性智文即般若薩地金剛薩埵者表第七識緣第八識爲四煩惱也即由金剛加持轉變愛見慢之四煩惱成平等性智也此弓箭印向薩埵者射覺自證心令赴化他義也凡印出金界軌眞言出理趣釋是十七尊種子眞言也金薩以密不獨有愛何慢意生乎覺離我愛有微而奉云云秋等冬月色不鮮不香有味此十七字則爲十七菩薩種子以之爲總呪也印金剛薩埵印也以大悲心斷厭離心一切菩薩之用心三世諸佛之妙巧也又極喜者能益自他生大善故名初地且約初故歟慈觸愛慢是淨菩提心別德也可攝初地若爾其餘尊何不攝之乎故用總印也又此極喜三昧耶印者習惠果印故惠果入愛染三摩地也但二水入轉習之彼種子故也又二小二大俱轉臨終大事習之也二中相交定惠和合義也又誦四攝明以二中爲四攝也所詮大日入較若三摩地實相觀照不二名極喜三摩耶印也眞言十七字理趣會十七尊也是亦理智不二三十七尊總位也云

### 段段印明事

金剛薩埵印印如理趣釋云左手作金剛慢印右手抽擲本初大金剛文金剛慢印者左拳安腰是押腰情慢相也故云慢印右手抽擲者五寶羯磨中印伸右掌爲抽擲勢也今右手作金剛拳常右胸是鈴杵

印也常振鈴作法先伸掌抽擲杵後當胸故抽擲之有無雖不一準其威儀只初後之不同也又理趣釋云本初者本來清淨法界也左手作金剛慢印者爲降伏左道有情令歸順道右手抽擲五智金剛杵作勇進勢者令自他甚深三摩地順佛道念昇進獲得普賢菩薩之地文或傳云金剛薩埵鈴杵印開大日自證智拳印趣化他門之義也云此義大普賢金剛薩埵他受用身智也

問金剛薩埵者東方阿閼所變也今大日化他門之義相違如何答薩埵有二種阿閼所變薩埵身青色不持鈴也大日所變薩埵身白色持鈴杵是相違也可知眞言曰

理趣釋云大樂金剛不空三昧耶大菩提心眞言

字呼字者因義謂菩提心爲因即一切如來菩提心亦是一切如來不共眞如體恒沙功德皆從此生一切字具四字義亦字以爲本體字從眞字生出

其字中有汗聲者一切法損減不可得我有二種所謂人我法我此二種皆是妄情所執名爲增益邊若離損減增益即契中道文

### 大日印

如來拳印者探左空指空指是字也三種悉地軌云字是上方毘盧遮那大日如來也文五輪生死空輪不二也故字

大日理智不二法性如來也大樂金剛薩埵修行成就儀軌云次想於頭上冠中五佛各依本形色住本印威儀並跏趺而坐頂上毘盧遮那如來白色二拳舒左大指以右拳掃初分當心文字大日結如來拳印證也

問此印結道場觀其意如何答無量壽軌云此印及眞言加持故則變此三千大千世界成極樂剎土七寶爲地水鳥樹林皆演法音無量莊嚴如經所說文金輪王佛頂念誦法云隨誦眞言以印加持自身其處身器清淨與法相應便以印加持道場中眞言七遍其處變成金剛界宮自然而有衆寶莊飾如佛淨土文金剛頂祕密最勝教王降三世極祕密法要文同上略之

如來拳印者右拳智左拳理此理智冥合如法界道場宮也故用道場觀也三種悉地軌云字則大日如來無見頂相五佛所證大空智處寂滅眞如理智十方三世諸佛所證菩提場殊勝曼荼羅也文以此等可思合也大日如來一切法門根源諸佛菩薩等之所依故以如來拳印加持道場穢土變成金剛界宮也

問理趣釋云持智拳印者希奇於事表修行者具一切結使諸煩惱結盡盡遮那大智印誦心眞言等同遍照章文既智拳印也今何用如來拳印乎答如來拳印亦名智拳印也大樂金剛薩埵軌毘盧遮

那如來印說如來拳印也。或說用智拳印者。金剛界羯磨會大日智拳印也。仁和寺流此印用<sup>○</sup>了了<sup>○</sup>是兩部不二究竟大事也云。

問智拳印與如來拳印有勝劣乎。如何答。無勝劣也。

眞言 略

理趣釋云。噫。印字心眞言者。其含四字爲一曉。眞字菩提心義。如此字一切字之爲先。於大乘法中趣向無上菩提心爲先。眞引字行義。則四智印。遍觀教中修行速疾方便。由集福德智慧資糧證成無上菩提正因義。三字極長高聲。眞字者等覺出證無邊智解脫三摩地陀羅尼門。摧伏四種魔羅受十方一切如來三界法王灌頂轉正法輪。第四其字者涅槃義。由斷二種障。謂煩惱所知之障。證得四種圓寂。所謂一者自性清淨涅槃。二者有餘依涅槃。三者無餘依涅槃。四者無住涅槃。前三通異生聲聞緣覺。第四唯佛獨證。不同諸異乘。則此四字是毘盧遮那佛自覺聖智四種智解脫文。

也。說會曼荼羅中尊定印表理趣義。實相般若定也。理也。但八菩薩智也。金也。十七尊定也。胎也。第二段毘盧遮那智拳印。是不二意。今經凡金剛頂中。悉地故。八菩薩中尊定印也。實此毘盧遮那者。初段八菩薩中尊教主毘盧舍那也。於當品開自證門。爲化他廣說其功德受茶羅也。理趣釋云。毘盧遮那如來名遍照。身佛三。此報身非顯教等。他受用。是秘密自證三。身中報身也。即第一段普賢自性金剛薩埵爲自受用。第二段毘盧舍那爲他受用。報身第三段釋迦爲化身也。是只於一佛上以義別自性自受用。他受用者。自性之人。望理智法云。他受用也。爲心外他受用之本質。故對機說法。本原也。密教意者。一切說法。唯此他受用身說也。理智所說法。非能說人也。故以教文暫離分三轉。只是唯獨一大身也。

問。序品大日種子字也。今段大日共一佛。可用字。何字乎。如何。答。序品中。大日也。當段即此教主大日出化他門。於第四禪阿迦尼吒天宮成正覺。其佛報身相也。非。果酬答報。三轉不二報身也。爲利益故。用字。廓然不生不滅字。爲理趣般若教主大日種子字也。以字不生之理。證爲一經。肝心事。開顯分明也。經十七段。併此字化用也。故通云。般若理趣也。

降三世印

朱付云。常用之印也。云。是大印也。順逆各三轉。一字明各一週。二小指相交立。二風指立之降三毒義也。理趣釋云。由貪瞋癡爲因。受三界中流轉。若與理趣相應。則滅三界輪迴因。是故害三界一切有情。不墮惡趣。爲調伏貪等三毒也。文實依此印。明功力。三毒即三轉曼荼羅也。法報化之次第。顯當段也。是秘密三身也。

眞言 略

如前。其字四字合成也。問。今此降三世釋迦所變賦。如何。答。釋迦降三世二尊共大日所變也。異別也。別異也。思之。

觀音印

印相如火第。以右小指立開之誦。如次第開之。八遍也。表八葉蓮花。伸小指開。之大師御傳。出理趣經法。故用小指爲本。小指者。眞字也。此經大意。眞字耶然也。又般若波羅蜜多者。眞字不生之義也。故。眞字本不生。智開發顯義也。理趣釋云。觀自在菩薩手持蓮華。觀一切有情身中。如來藏文。菩提心論云。凡人心如含蓮花。文是開衆生本有心蓮。以觀者大悲之智。開敷義也。以風指開之花。依風開發故也。阿彌陀等法。用風指相應也。或云。用小指。眞字本初之開敷。自然作業也。用風指。修生義也。云。眞言 略

理趣釋云。眞字具四字成一眞言。眞字門

者一切法因不可得義了字門者一切法  
離塵義處者所謂五塵亦名能取所取二  
種執着等字門者自在不可得二點其字  
義其字名為涅槃山覺悟諸法本不生故  
二種執着遠離證得法界清淨等字亦云  
懸義若其懸愧不為一切不善即其無漏  
一切善法是故連華部亦名法部由此字  
加持於極樂世界水鳥樹林皆演法音若  
人持此一字真言能除一切災禍疾病命  
終以後當生安樂國土得上品上生文

虛空藏印

印如文也理趣釋云寶生之變化則虛空  
藏菩薩是也文寶生印者外傳中指寶形  
也今此菩薩因位故以有字風指作寶形  
也

眞言

此字師傳也理趣釋云字也同釋云字  
者具四字表四種理趣行門有字真如不  
可得義了字離塵義其字一切法本來寂  
靜猶如虛空藏是義羅字華字一切法無  
我義當與此心眞言相應故身心無礙有  
如虛空所求一切伏藏皆得現前眞陀摩  
尼寶能滿一切衆生希求願故文

上第三段殺生即是殺害三界一切有  
情故也第四段淫慾即是諸慾說之故  
也第五段盜即是一切三界主故也理  
趣釋云殺盜一切有主所攝物六分之  
一不得不與取罪文心地觀經云一切  
人民所作惡業等六分之一王所得也

文準之人主於其所攝之人民六畜等  
所犯之罪殃六分之一其主所得也經  
雖不自身之犯所攝之者罪不得也六  
分者六根其一意根也云  
間常殺盜姦次第也今殺盜淫之義如  
何答常東南西北次第也今經東西  
南北之生趣也故不背通也

拳菩薩印

印相如文二拳相合是事業成辦義也理  
趣釋云山修造伽伽者得金剛拳菩薩三摩  
地能成就一切眞言教中三密之門是故  
廣論伽中說身口意金剛合成名爲拳一  
切如來轉是爲金剛拳是故佛告金剛手  
若有聞此理趣受持讀誦作意思惟由持  
身印得一切成就此句梵本初功山持語印  
得一切口自在山持心印得一切智智由  
持金剛印得一切事業皆悉成就疾證無  
上正等菩提文

問能成就一切眞言教中三密之門者攝  
諸薩三密爲金剛拳歟如何答金剛拳  
菩薩者十六生成正覺體即大日果滿位  
也理趣釋云即於大十六生從金剛薩埵  
菩薩等乃至金剛拳最後身便成是虛誑  
那身也文即於第十五日之滿月中具有  
以前之十五分明故此第十五圓滿月體  
直是十六分月橫平等體也是以瑜伽中  
一切諸尊三密金剛皆悉是在金剛拳中  
也理趣釋云一切如來三秘密在金剛拳  
菩薩掌中文初後不二因果平等故金剛

薩埵與金剛拳一佛也釋迦北方主即名  
一切義成就又金剛薩埵號一切義成就  
也爲因在東方爲果在北方發心畢竟二  
無別意也凡左拳上置右拳是掌中如深  
隱物是前十五菩薩三密功德皆隱沒金  
剛拳三昧即金剛拳一尊之上成就故以  
義爲拳也深祕云合二學者衆生胸中合  
蓮華也即衆生現在初位之時二水二心  
冥合全體現成三密本源漸增長分後  
者還藏伽中不現是金剛拳之實體也甚  
深甚祕凡付拳菩薩龍一字之大事不可  
及廣談也

問拳菩薩成正覺金界大日歟如何答  
蘇悉地大日也云

眞言

理趣釋云其字是涅槃義四種涅槃攝一  
字中四種者如前所釋文

文殊印

右劍印常有乳上程印面向胸持之左蓮  
上向之三度作切勢也此非切根以較若  
大空智劍切開行者未數運義也經云以  
自劍揮斬一切如來文同釋云一切有情  
無始輪迴與四種識積集無量虛妄煩惱  
則爲凡夫在凡夫位名爲識預聖位至如  
來地名爲智以四智菩提對於四種妄識  
妄識既除則成就無惑法智若不除妄執  
法則成法執病是故智增上菩薩用四種  
文殊師利般若波羅蜜劍斷四種成佛智  
能取所取障礙是故文殊師利現揮斬四

佛臂也。文經以自創云。自者自性。加持自

性。本有智。揮斫覺轉。四佛臂。四佛者。八七  
六前五四。妄執也。自性者。九識也。又加持  
修生智。研生住。異滅。四佛臂也。金剛頂經  
云。文殊以劍破斫一切。如來右臂。即斫在  
纏。如來厭離。若提心。然而衆生不知己身  
爲如來法性。取惑。

間右臂云。有處云。切在纏。如來左臂云。  
相違如何。答。臂是作業之支分也。大空  
前斷事故云。臂也。右臂。辦一切事。德在之  
左。靜也。故斫右臂說之。歟。但金剛頂經意。  
右生死。左涅槃。云。事。無普通。右出纏。智佛。  
左生死。在纏。理衆生。故切右臂。歟。理趣釋  
厘。斫四佛臂也。文是。則不說左右也。可知。  
問。文殊劍可切大日臂乎。如何。答。文殊  
則自性。本有智。體故。可切。修生大日臂也。  
凡揮斫在纏。如來臂。故切。凡夫合蓮花。是  
同一體義也。

眞言 義  
理趣釋云。眞字者。覺悟義也。覺悟有四  
種。所謂聲聞覺悟。緣覺覺悟。菩薩覺悟。如  
來覺悟。覺悟名。句。雖同。淺深有異。自利利  
他。資糧。小大不同。以四種覺悟。總攝一切  
世間出世間文。

轉法輪印  
印相如文。是云。輪印也。又云。用小金剛輪  
印有之也。此等十六大菩薩。中因菩薩。彌  
勒也。經一切如來。入大輪。如來文。同釋云。  
是緣發意菩薩之異名也。文輪者。摧破義。

亦輪圓具足義也  
眞言 義  
理趣釋云。則誦一字眞言。大誦四種輪般  
若理趣。運心遍周法界。不久當得毘盧遮  
那佛轉輪法王云。

白寶口抄 理趣經法第三

虛空庫印

左右手各以空押地甲。中間六指交也。結  
印後。舞也。三指交。是定惠三股。不也。和  
義也。左右地空相捻。是兩部果體輪也。云。

又右已成佛三身。左衆生本有本覺三身。  
又二平等。是眞實供養義也。或云。凡此流  
習。以此虛空庫段爲宗大意。謂此段種種  
供養。遍覺歌舞。也是大日供四佛之供養  
也。即自內向外。以供養一切衆生。本有本  
覺。佛爲最極第一供養也。已成佛界。雖不  
得供養。禪悅自然。也不可有不足。衆生佛  
得供養。與已成佛平等。是爲眞供養也。是  
故小野一切事。供時。用此一字眞言云。又  
大供養會。大日以云字爲種子。是自受法  
樂。互爲供養義。即以供養衆生。佛爲本誓

問。衆生佛得供養。與已成佛平等者。豈何  
乎。答。衆生佛者。一切衆生。本有本覺之  
佛性也。此佛性。從本際以來。爲諸煩惱被  
覆蔽。無由開顯。無盡莊嚴。恒沙已有。於是  
已成諸佛。世尊以大悲本誓。故以秘密盡  
之方便。令顯得自心成佛之義。是名曰供  
養。令心自證者。爲心法供養。令色成佛者  
爲色法供養也。凡秘宗一切供養者。皆是  
開顯受茶之輕。諸佛菩薩之三形也。知  
之覺之名。爲受供養。又行者。覺知諸佛之

萬德爲已成佛供養未成佛也。彼內四供者大日供四佛者蓋是謂也。如此內供外供皆是所攝虛空庫菩薩三摩地者也。然則諸佛利生之至極。衆生成佛之本意。只在此段。此章三摩地也。若十方三世諸佛世尊不由此虛空庫三昧成正覺者。無有此處耳。或云虛空庫者虛空藏也。於南方名虛空藏。於北方號虛空庫也。藏者納一切善惡物也。庫者出納也。南方自證故含藏執持。北方化他衆生。故取出授與之義也云。

### 眞言

理趣釋云。三身義亦名無見頂相義。亦名本不生義。亦是如來聖相功德義。文祕藏記云。字以我三三字爲體。阿字無字體在摩訶中。阿字法身。字報身。字化身。是故有三身義。佛身及佛性。毘盧遮那經以五字眞言爲宗。如境界中見界會聖衆及除一切事。皆當入十緣生句。觀察不信而信之。唯當每係心於本不生際。無留所現境。凡佛者捺有漏五蘊等身。有無漏五蘊等微細身。如虛空者稱周遍法界理耳。非無其體。諸佛身者如千燈同時照而不障礙。唯佛與佛乃能見知。凡夫肉眼不得見。此喻之極。莫過虛空。故曰如虛空。

### 推一切魔印

印相如文。是牙印也。金剛牙菩薩即金剛夜叉也。此牙印者喻如世人以牙啖食諸

味和合成一味。此菩薩啖食一切有情令成自證法界一味。故名牙菩薩也。瑜祇經說金剛夜叉云。入大悲盡三昧吞噉一切惡有情及無情等物。三世一切惡吞噉無有餘文云。

### 眞言

理趣釋云。字具四義。一切法本不生義。因義二種。我義由迷一切法本不生義。爲一切煩惱因。煩惱因起二種。我所謂人我法我是故。一切外道諸天執我執法。令彼調伏。入金剛乘又三摩地即思此菩薩一字心眞言。入一切法本不生門。則離一切煩惱。因煩惱既離。即證二種。我人空法空。則顯眞如。恒沙功德。即超越三界九地。安心所起諸惑難染。是故名爲摧一切魔大菩薩也云。

### 普賢印

金剛合掌者。十指則普賢十願也。爰是十無盡圓融無礙義也。兩掌日月輪合宿際。因位滿也。法爾應住普賢大菩提心。也。理趣分云。一切有情皆如來藏。普賢自體遍故。文是一切有情心中本有如來藏。理則普賢自體故。如來藏理不壞諸佛萬德。故云建立如來也。此一切平等建立如來者。普賢菩薩之異名也。普者周遍義。賢者最妙善義也云。

### 眞言

此菩薩金剛手菩薩同體。入降三世三摩地。故用此字也。

### 外金剛部印

內五股印也。此段昆盧遮那佛爲世間同類攝化說摩訶首羅曼荼羅也。是從五智內證生起。故用五股也。或外五股也是出外部故也。外金剛部者理趣釋云。云外金剛部者摩訶首羅等二十五種類諸天。又云生死輪中爲對治彼等難調諸天。建立五種解脫輪。毘盧遮那佛爲世間門類攝化說摩訶首羅曼荼羅。若依世俗是名外曼荼羅。若依勝義則爲普賢曼荼羅。以事顯於理。故印事即理。理事不相礙。故印凡即聖。性相同一眞如也云。

問。教以理顯事。以事爲本。今何云以事顯理乎。是同當途教如何。答。理世俗者。勝義者。金印事即理。事理不相礙者。即兩部宛然也。即凡即聖。亦爾。性相同一眞如者。此眞如者。非顯教無相理。是六大法界眞如也。

### 眞言

理趣釋云。字眞如義。眞如有七種。所謂流轉眞如。實相眞如。清淨眞如。如正行眞如。剎字塵垢義。塵垢者五蓋茂。能蓋茂能生眞如。是故五趣輪迴生死輪中。爲對治彼等難調諸天。建立五種解脫輪云。

### 七母女天印

印相如文。鈎名印也。或向身三度誦。招之。左作蓮花拳置左腰也。理趣釋云。七母女天者是摩訶迦羅天眷屬也。獻奉鈎召者。以金剛鈎印能召一切

兩足多是諸有情類攝入者以金剛索印引入曼荼羅及引入佛道能殺者殺害毀壞正法損害有情者殺害不善心也能成者令修真言行離世間障難速得悉地也文此殺不善心能成悉地鈎召一切有情入曼荼羅令證無上菩提義也七母女天者一左問擊二橋吹哩三吹瑟華微四橋摩哩五印勞捺里六勞捺里七朱羅網弭若云見大疏十

問摩訶迦羅天眷屬文此天者大黑天神歟如何答理趣釋云摩訶迦羅者大時義時謂三世無障礙義者是大毘盧遮那法身無處不遍文是迦羅翻時義歟即毘盧遮那遍一切處解脫法身體也是以事顯理也

眞言

理趣釋云毘盧字是生字一切法三有不可得欲字一切乘不可得由三有情種種愛樂解脫不同是故如來出興于世說五乘所謂天乘梵乘聲聞乘緣覺乘大乘

三兄弟印

金剛合掌通印也理趣釋云廣度羈羅三兄弟者是梵王那維延摩醯首羅之異名也文又云此三天衣佛法中三寶三身佛寶者是金剛薩埵法寶者觀自在僧寶者虛空藏此三寶者從是虛遮那心菩提心中流出亦名三寶兄弟以事顯理也文金剛薩埵爲佛寶事五秘密軌云金剛薩埵三摩地名爲一切諸佛法此法能成諸佛

道離此更別無有佛文佛寶顯然也觀音爲法寶事蓮花部語密故也虛空藏南方平等性智理智不二位即上佛寶智法寶理此佛法和合事然也僧以和合爲本是如大身口意三密也意爲僧事在四漫義此理智事如大法報化三身也如此三寶三身等互諸尊曼荼羅佛菩薩明王天等本來具足更無有闕滅也今當段此三天以事顯理也是即事而真道理世俗三天即爲勝義無相三身等自宗即身成佛豈可異求乎

眞言

理趣釋云誓字者有字則一切法平等如虛空一字一切法言說不可得也

四姊妹印

金剛合掌通印也理趣釋云其第一名惹耶第二微惹耶第三名阿而多第四名阿婆離而多四姊妹者表瑜伽中四波羅蜜謂常樂我淨是也文略抄

眞言

理趣釋云哉字眞言者一切法因不可得其眞言中帶哉字詮一切法我不可得即成實相般若波羅蜜若欲修此天法者與此字相應亦契世間出世間三摩地威德自在一切見者皆得歡喜所出言詞所求皆從命文  
五部具會  
印外五股是當流習也際流內五股印用之歟此五股二風直立之各具五智無際

智之故圓備無量無邊三摩地智各守自性理趣釋云此顯金剛部中曼荼羅皆具五部一聖衆具無量曼荼羅四印等亦無量寶部中具五部曼荼羅四印等亦無邊蓮花部中具五部曼荼羅四印等同一清淨法界性也羯磨部中具五部曼荼羅等四印得至究竟無住涅槃也文五部諸尊不改一佛位各具五智圓滿自性法身一經肝心只在斯位故經祕種子等不說之印言共祖師相承之祕傳也不可載口決云祕傳云當段五部具會瑜祇經序品本有金剛界五智也故印五股明一四處也

最祕傳一也也常以一字心齊運三業故最即具五字仍五部具會在此一字經爾時薄伽梵無量無邊究竟如來者同釋云是虛遮那異名也文此如來圓備各具五智無際智無量無邊三摩地智居中臺是遍法界無中邊住處也從無始之無始我身所具足時無有滅壞一佛無有闕滅皆同自性身也法爾道理無能所別故也

或同印

或同印

或同印

或同印

或同印

或同印

或同印

或同印

或同印

可得其意也流流諍鋒者也  
五秘密  
獨股印也前口決了  
眞言

理趣釋云。太子亦如前釋。文是指金剛薩  
埵種子也。凡今經金剛薩埵本有不二二  
摩地也。五部五智三摩地金薩橫五德也。  
十七段金薩諸德緊開示之也。御開題云。  
理趣者從初時字至于終時字。其中甚深  
奧藏也。文初品金薩因義終果位義。  
是因不三二生佛同如故用重時字也。理  
趣釋云。此五種三摩地祕密中故祕密。今  
說修行曼荼羅像。同一蓮花座同一密光  
中央。盡金剛薩埵菩薩右邊。畫二種明妃  
本形。左邊亦畫二種修行者。得阿闍梨灌  
頂方可修此五字所獲福利。文廣不可具  
說。文同一蓮花胎同一月圓光金也。故兩  
部一體理智冥合也。一經所說雖多其精  
要祕密最後之究竟全在此五祕密上來  
諸受茶羅併從當品開出其義顯然也。  
凡此五祕密者一切衆生無始流轉之煩  
惱業縛之體。本有薩埵五祕密之曼荼羅  
也。被逐月等同之位者全在我等現在之  
初位。深可習之。又云。十界者五凡五聖。即  
不二爲五祕密也。自身當體也云。又云。  
縮三十七尊爲十七尊。縮十七尊爲五祕  
密。縮五祕密爲愛染王。故金剛頂經大日  
經不二爲理趣經。亦理趣經不二爲祕祇  
經也。彼經序品三十七字縮愛染王品十  
七字。此十七字縮愛染王品五字。亦此五  
字縮瑜伽成眞品一字也。思之。或云。五祕  
密與愛染王習同一體。故依愛染王法壇  
中安置理趣經也。如仁王經孔雀經等法。

即愛染王用重字。五祕密一體故也。云  
總別九尊十七尊爲世俗勝義之二初段  
乃至第十段爲勝義是金界也。十七尊乃  
至十五段爲世俗。是胎界也。然而今五祕  
密段世俗勝義不二義也。

振鈴次事

振鈴之次上段段印明用之。不用本尊加  
持也。若付兩界行之時。金界振鈴之次不  
行羯磨會。從初段至終段次第用之。次八  
供養次事供等也。付胎界行之時。振鈴之  
次用之。如金界亦散念誦上本尊加持次  
用之。亦如來身會次用之也。但當流之習  
金剛界羯磨會是行佛菩薩故。今此段段  
即佛菩薩也。故不用羯磨會。以段段印明  
替補也。胎藏界振鈴以後猶諸尊印明也。  
故如來身會之次用之也。醍醐於推現前  
行此法時。上十五日付金界。下十五日付  
胎界也。若八祖御影供時。龍猛龍智金剛  
界不空胎藏也。無畏一行惠果弘法金  
界也。但善無畏西天人灌頂時。懸果故依  
金界行之也。此法以大日爲本尊。故依兩  
界行之。不用別行次第。仁和寺流依別行  
即十八道以大日爲本尊也。

種共本尊眞言也。雖然十七尊總呪別出  
之不苦厭。次理趣經云。  
伴僧事  
三力偈次讀經。故無伴僧呪。但一字金後  
可滿一字呪也。  
御加持呪事  
大日之時不動金剛薩埵時降三世也  
禮佛事  
如金剛界大日三遍  
迎請大鈎結界持三字輪觀五大  
護摩事  
部主段 金剛薩埵  
自加持 印外五股  
召請 自外五股印以右頭指三指眞言如  
同眞言加 撥遣 三指眞言如  
供物 息災眞言 撥遣 三指眞言如  
本尊段  
自加持 智摩印 字眞言  
召請 自外五股印以右頭指三指眞言如  
供物 同眞言加 撥遣 三指眞言如  
撥遣 三指眞言如  
諸尊段 三十七尊  
世天段 如供外金剛部七姊妹天三見  
外金剛部 七母天  
三兄弟 四姊妹

本尊眞言十七尊總呪云。召請眞言。次  
般若無盡藏眞言。次十七尊總呪也。此三  
散念誦事  
灌頂時如此。勸修寺サコソキケ云。

散念誦事  
灌頂時如此。勸修寺サコソキケ云。

## 白寶口抄 理趣經法第四

懸理趣會曼茶羅事

理趣會曼茶羅者以十七尊爲本，是金剛界九會之一也。

或說云：懸五秘密曼茶羅也。理趣經五秘密曼茶羅處云：其如金泥曼茶羅像東南隅是也。又此金泥曼茶羅者，十八會曼茶羅爲本，是金剛智自筆龍廟寺之曼茶羅也。凡諸曼茶羅合集之數，人不見知。曼茶羅少，有之彼十八會中五五秘密當東南角歟。

問：何故懸金剛界一會之理趣會曼茶羅爲本尊乎？答：今理趣經初段十七尊曼茶羅者，同理趣會曼茶羅也。故用之。

問：初以八日爲本尊，故懸說經曼茶羅，何初品有二種曼茶羅乎？答：有重義。先八菩薩曼茶羅者，經說會儀式是序分也。以能說大日爲本尊，入正宗分有十七尊。今以所說十七尊爲本尊，故無不審也。或云：初段雖有二種曼茶羅，同本有自性，因曼茶羅故爲一段也云。

問：此二種曼茶羅依憑如何？答：八大菩薩曼茶羅者，五智果德爲本，而具足三十七尊。十七尊曼茶羅者，十六大菩薩生爲本，具足三十七尊。相應經第八品有兩重三十七尊，全是謂也。委細在餘處，故初品二曼茶羅者，共雖本有，猶於本有之中有

從本垂跡，從因至果之二德也。雖有二曼茶羅不二上而二也，非隔歷之二位也。此自證本有橫平等功德，自第二段堅開之示也。第二段之八葉中，臺大毘盧遮那大樂自證本佛出化他門，成正覺其處，即第四禪阿迦尼吒天宮也。其佛報身相也。

此報身，因果酬答，報三轉不二報身也。南方理智能證他受用也。顯教造指此位爲言語道斷之法身，更非其境界也。第三段已下至第十段八大菩薩化他門也。第十一段降三世教令輪教，勸五類天等出外金剛部。

問：前第三段與第十一段同異如何？答：恐前唯爲金剛部，此則通四部耳。第十二段外金剛會，外金剛部者，摩醯首羅等二十五類諸天也。

問：上第二段與此第十二段同異如何？答：恐是本迹異也。第十三段七母女天集會者，七母女天并梵天母是表八供養菩薩。以事顯理也。但現文有四攝，四攝能攝八供也。第十四段三兄弟集會者，三表佛法中三寶三身，乃至皆從毗盧遮那心菩提心中流出，亦名三法兄弟，以事顯理也。第十五段四姊妹集會者，四姊妹者表瑜伽中四波羅蜜，即常樂我淨是也。第十六段五部具會者，是各具五智無際智意也。是明一經諸曼茶羅諸尊不二攝入義也。第十七段五種秘密三摩地也。上二種曼茶羅所歸兩部不二極位也。同一蓮臺胎同一月

輪金，故兩部一體理智冥合也。一經所說雖多，其精要秘密最後究竟全在此五秘密上來。諸曼茶羅併從當品開出其義顯然也。

本尊種三事

本尊種三事，字者祕藏記云：字以與三三字爲體，其字無字體在字音中，其字法身。字報身，其字法身也是。故有三身義。佛身及佛性，又故此中臺大持金剛薩埵三身合一之尊形。三十七尊不二佛，故以三字爲種子也。守護經云：字即是虛毘遮那真身也。又故金剛薩埵中央大日身。理趣釋云：則成金剛薩埵毘盧遮那佛大悲行願身也。又五秘密軌云：金剛薩埵是毘盧遮那身文思之。

問：今此金剛薩埵者，十六大菩薩初東方金剛薩埵，如何？答：是非十六隨一薩埵。是三十七圓滿大持金剛薩埵也。經五祕密終說云：以十六大菩薩生得於如來執金剛位，又故知十六生圓滿金剛薩埵。十六生圓滿卽三十七圓滿也。既儀軌是毗盧遮那身，大日具三十六尊，開顯云：大樂者，大日如來。又大樂金剛薩埵之異名也。然爲中方佛部，今經始終併說金薩白證化他之法門，故以大安樂金剛薩埵爲中尊也。

三形五股者，理趣釋云：金剛加持者，表如來十寶如十法界十如來地，以成上下十峯。金剛大空智處，加持者，表如來於中道



十六大菩薩普賢智從此展轉流出共成三十七位以成解脫輪大曼荼羅文金剛大空智處不壞金剛平等不二本法從此

不二二位普賢智展轉流出三十七智也於五股十峰中道有四重八葉是表定惠

十六大菩薩普賢智從此所流出三十七尊者中道不二佛體也陀羅尼門諸部要

目不空文金剛杵者菩提心義能壞斷二邊契中道中有十六菩薩位亦表十六空

爲中道兩邊各有五股五佛五智義亦表十波羅蜜能摧十種煩惱成十種真如便

證十地證金剛三業獲金剛智坐金剛座亦是一切智智亦名如來自覺聖智若不

修此三摩地智得成佛者無有是處文此五股十峰兩部五智五佛也亦五凡五聖

十界不二體也五凡胎本有五佛五聖金修生五智也

慈金剛種智事

以字吾我不可得字也悟我白淨菩提心也欲金剛者東方大圓鏡智自體即以淨

菩提心爲體又以字字空義也空是吾我體也亦空是木精東方爲所居故以以字爲

欲種子也

三形 箭

白淨菩提熾然如箭射中胸故以箭表菩提心以以箭射第八識中俱生我執種子

成大圓鏡智也

觸金剛種智事

以字體因業不可得也因萬德圓滿佛因

也此因必待修行緣開敷沙羅樹王故字用行點也是南方解金剛種子也

三形 五股

五股者金剛薩埵也觸金剛抱持金剛薩埵勢也表第七識即安緣第八識發我癡

我見我慢我愛之四煩惱即由觸金剛加持轉四煩惱成平等性智也

愛金剛種智事

以字第一義諦不可得也下有三位點是西方法部大乘中第一義諦兼蓮花定大悲三昧也故以以字爲西方愛金剛種子也

三形 摩竭

摩竭者於海中得自在在大魚也吞噉一切鱗悉爲其己身故意識者於心外妄情之生死大海中能爲主上推知心內下分別

五識故於生死之海中有自在能轉此識成妙觀察智此智能說法斷疑鎖開曉大衆之疑慮皆悉令成佛也此魚置轆上事

妙觀察智五智眼高臨邪正不謬義也

慢金剛種智事

以字等虛空不可得也慢是高舉故云高慢高慢滿足義也又五字時何頂輪字也

頂上十字羯磨是釋迦也釋迦即慢金剛也可思之又釋迦爲不空成就是無相寂靜義也是何字之義也又慢空義也慢心

無實故又慢金剛大精進也精進無相也故以何字爲種子也

三形 慢印

以字體因業不可得也

以字體因業不可得也

二手作慢印此尊北方涅槃門成所作智所作已辦故慢也依此印淨前五識身成成所作智也

道場觀事

其上有五月輪上各有蓮華云修行成就軌云曼荼羅內諸座位先想月輪然觀形色次說五秘密金剛薩埵色若素月具

諸嚴飾首戴五佛寶冠身佩赤焰坐月蓮○臺端嚴而處當正身佩赤焰坐月蓮

於前而持弓矢金剛喜悅白金剛箭赤色居味耶體金剛愛諸事並青處後持摩竭轆

金剛慈自在色黃居左二拳各當脇其頭向左少傾次說四隅內供養金剛妙適悅

潔白供養以花金剛適悅性色黑爐焚衆香金剛眼形服向赤供養以燈金剛大吉

祥色黃持淨香次說四隅外供養金剛寶戲金剛笑金剛歌金剛舞其四外供養並

作純金色○四門承旨金剛鉤在前而作青色金剛索居右而作黃色金剛鎖處後

而作赤色金剛髻在左而作綠色金剛妙大樂金剛薩埵軌說相次第大概同之也今

道場觀者五秘密尊之形色等依此不空修行成就軌與理趣經所謂妙適乃至味

清淨句是菩薩者十七尊句也是瑜伽行人之十七重功德也金剛頂經說十六大

菩薩生瑜祇經說十五尊成身今理趣經說十七尊作佛皆是一同也全無別開合

之不同也今十七尊四方四智各具四智故十六位也加本有之性爲十七其本有

之不同也今十七尊四方四智各具四智故十六位也加本有之性爲十七其本有

之不同也今十七尊四方四智各具四智故十六位也加本有之性爲十七其本有

之不同也今十七尊四方四智各具四智故十六位也加本有之性爲十七其本有

白寶口抄卷第四十七（理趣經法第四）

性者是否賢大菩提心卽一切衆生心中相續體也理趣釋云經云所謂妙適清淨句是菩薩位者妙適者卽梵音蘇囉多也蘇囉多者如世間那羅那哩娛樂金剛薩埵亦是蘇囉多以無緣大悲遍緣無盡衆生界顯得安樂利益心會無休息自他平等無二故名蘇囉多耳文妙適者卽金剛薩埵菩薩是一切衆生本有菩賢也通順也恒順衆生之故三世常恒隨逐一切衆生到那不捨離離三方便無有休息故云妙適又適娛也如世間那羅那哩娛樂者以世間男女娼慾成就一心平等之娛樂薩埵大悲隨逐衆生以四攝行故不違彼心方便引進也蘇囉多者四攝也四攝行之菩薩者能不違世間雜染也身水精色者白色本有淨菩提心之色也云

持五股鈴事

五股上下五凡五聖卽十界不二表無勝劣雖然五股是表五智當胸者胸心也一切衆生皆自心曼荼羅具五智義也左手持鈴者左定也理也衆生也故驚覺長眠之衆生令知心中本有之五智義也但當左腰者腰貯寶字本理義寶字者自性之寶字也寶字本有理智之自性十界悉自受法樂也故當腰止聲入自證義也云又右持五股者表一切衆生本具之智三十七智無闕減左持鈴者表一切衆生法然所具之胎藏法界機關之義也璣祖經云儀形如薩埵安立衆生界文故知一切

衆生從本際以來理智具足爲金剛薩埵也凡五股十六大菩薩卽鈴四攝終也以兩手持攝中間具足三十七尊義也故三十七尊悉金剛薩埵之己身也是云大菩薩薩埵提心論開說三十七尊之後云其圖明卽菩賢身也亦是菩賢心云故知上三十七尊全攝菩賢一尊身心也凡薩埵有四種且付教理行果之四法者一初預言乘教一名教菩賢行也次金剛頂經普賢法身遍一切能爲世間自在主無始無終無生滅性相常住等虛空等者理菩賢也次十六大菩薩中初金剛薩埵表月十六分明故是爲行菩賢也次三十七尊總體大菩薩金剛薩埵是果菩賢也今妙適金剛總統四種之菩賢爲己身也問以三十七尊爲菩賢其證如何答不

空心要云大圓鏡智者是證三十七尊皆是名菩賢亦名具足大圓鏡智如此智本有著名自性清淨心也文菩提心義云金剛頂經說三十七尊皆名菩賢文儀軌云金剛薩埵也任大智印者從金剛鈴菩薩次三十七智成自受用果德身文三十七尊具足大持金剛薩埵之條分明也

慈金剛事

前慈金剛者赤色二手持箭但左掌上安箭尾方以右手空風火取箭等如調之云理趣釋云慈清淨句是菩薩位者由修慈金剛瑜伽三摩地得慈箭清淨句是故獲得慈金剛菩薩位文此慈箭者俱舍云諸

慈若不遂開懷如箭中以喻顯義也十七尊釋云不空憐意生金剛菩薩以大悲慈箭害二乘心所以手持是箭而現其欲離俱幻平等智身文今慈者慈意慈生者大悲大悲箭也能射二乘心故以金剛一乘甚深之心地爲大悲箭也此箭是淨菩提心菩賢內證之性也一切衆生心內本有相續不斷體是意生金剛之直體也此大悲箭者或慮彈擊令悲增菩薩從生死向涅槃彈擊令智增菩薩從淨土向穢土彈擊也欲理俱幻等者釋論云染非實染淨非實淨皆是幻化無實自性文既染淨無自性故二法卽一體也故云平等智身云五祕密軌云慈金剛者名爲般若波羅蜜能通達一切佛法無滯無礙猶如金剛能出生諸佛文理趣釋云般若及方便智度悉加持法此及諸有一切皆清淨者此是欲金剛明妃菩薩三摩地故出生諸佛說義攝也文欲菩薩云明妃故出生諸佛說之歟文殊云覺母此意也般若若智惠義故五祕密軌云欲金剛者是惠眼觀察於染淨分依他性知一切此非有非無文可知同軌云欲金剛者持金剛弓箭射阿賴耶識中一切有漏種子成大圓鏡智文箭者表菩提心有漏種子者業壽種子也卽生死相續體故以菩提心箭能射拂第八識中俱生我執之業壽種子射取大圓鏡智萬德彰現之淨心也

問何故箭喻菩提心乎答白淨菩提藏

然猶如箭射中胸板以箭表菩提心也俱  
舍云諸欲若不遂惱壞如箭中可思之五  
秘密軌云金剛以菩提心箭鈎召一切  
有情安置佛道文

### 計里計羅金剛事

五秘密軌云計里計羅理趣釋云譽利吉  
羅義同之故計里計羅吉譽也計里計羅是  
也觸金剛者白色以二手抱薩埵腰上十  
指交也理趣釋云觸清淨句是菩薩位者  
由修金剛等離吉羅薩伽三摩地得觸清

淨句是故獲得金剛等離吉羅菩薩位又  
云欲等調世間令得清除故有頂及惡  
趣調伏盡諸有者此是金剛髻髮吉羅明  
妃菩薩三摩地大靜慮義攝也文十七尊  
釋云髻利吉羅金剛菩薩於中國之言名

觸以不捨衆生必令觸脫故明觸性即菩  
提故所以住抱持相而現其觸淨俱幻平  
等智身文梵云譽利吉羅此云觸觸性即  
菩提故大悲慈衆生至菩提不捨不捨  
故抱持故云觸也抱持是菩薩大悲抱持

顛倒衆生也依之修行佛道終至無上道  
凡一切衆生斷惑修善之義併觸金剛菩  
薩威力也亦觸者不二義以抱持表之薩  
埵者衆生也觸金剛是佛大悲也故凡聖  
冥會爲觸金剛抱持義也五秘密軌云金

剛計里計羅者以虛空藏三摩地與無邊  
衆生安樂觸抱無邊衆生溺貧賤泥者所  
求世出世間希願皆令滿足文四菩薩四  
方時觸是南方也故云虛空藏三摩地也

故觸金剛表不二義也同軌云計里吉羅  
抱金剛薩埵者表淨第七識安執第八識  
爲我觸我見我慢我愛成平等性智文此  
釋菩薩抱持薩埵者第七識依第八識轉起  
還緣第八識爲四煩惱也是同觸菩薩從  
金剛出而抱金剛也第八識薩埵之苦提  
心體故也即依觸金剛加持轉變愛見慢  
四煩惱成平等性智也同軌云計里計羅  
抱印爲大方便金剛索令證不染智文

### 愛金剛事

愛金剛者青色舉左手握摩竭輪中間下  
右手握輪本也理趣釋云愛縛清淨句是  
菩薩位者由修愛縛金剛薩伽三摩地得  
愛縛清淨句是故獲得愛縛金剛菩薩位  
文又云如蓮體本染不爲垢所染諸欲性  
亦然不染離群生者此是愛金剛明妃三

摩地行大悲所攝也文十七尊釋云所謂  
悲願金剛菩薩以悲願故以愛念縛者縛  
衆生未至菩提終不放捨亦如摩竭大魚  
不噉所遇一入口已更無免者所以持此  
摩竭魚輪而現其愛縛捨離俱幻平等智

身文此愛縛者以菩薩大悲慈心輪繩  
能結縛物不解脫今菩薩大悲慈念衆生  
不捨方便引進猶如繩縛物不放亦摩竭  
魚者其身長七百百句也於海中能得自  
在之大魚也吹東風之時鱗皆向西其時

此摩竭魚向東開口吞噉一切大小鱗類  
皆悉不殘收己身不放捨此菩薩以大悲  
攝持一切衆生都不放捨亦如此五秘密

軌云愛金剛者是多羅菩薩住大悲解脫  
慈念無邊受苦有情當壞齊拔施與安樂  
文又云愛金剛者持摩竭輪能淨意識緣  
慮於淨染有漏心成妙觀察智文此第六  
意識慮知者於心外交情生死大海中能  
爲主上緣慮心內下分別五識故於生死  
海中猶有自在能故轉此識成妙觀察知

此智能說法斷疑鎖開曉大眾疑慮悉令  
成佛更無有遺餘也故轉有情意識成妙  
觀察智喻如摩竭大魚之身得海中自在  
吞噉一切鱗類悉爲其己能同軌云以愛  
金剛摩竭輪爲大悲金剛鎖經無量劫處

於生死心不移易度一切衆生以爲其道  
文此如摩竭魚處海中不移易此菩薩顯  
處生死海不移易也今此魚置輪上故妙  
觀察智五眼高望邪正不謬之義也深思  
之同軌云愛金剛者以大悲天眼觀見一  
切有情身中善寶體不增不減文

### 慢金剛事

持慢即右左手金拳各押左右腰腋儀  
相而少向左右方頭傾左方也此章北方混  
槃門成所作智所作已辨故云慢也而向  
右方者守自證門頭傾左方者趣化他門

也理趣釋云一切自在主清淨句是菩薩  
位者由修金剛微輪伽三摩地得一切自  
在主清淨句是故獲得金剛微菩薩位文  
又云大欲得清淨大安樂富饒三界得自  
在能作堅固利者此是金剛慢明妃三摩  
地行大精進所攝也文金剛微者微慢不

恭義也是慢金剛菩薩也是即自在故此慢菩薩能一切所作已辦更無不成自利他二利云十七尊釋云金剛慢菩薩以無上智令一切衆生悉證毘盧遮那如來體於世出世間皆得自在所以住傲威儀而現其我無俱幻平等智身今名自在主是謂也五秘密軌云慢金剛者是大精進波羅密住無礙解脫於無邊如來廣作佛事及作衆生利益又云金剛慢者以大精進爲般若金鈴驚悟在無明窟宅所隨眠有情文又云金剛慢者以清淨無礙肉眼觀一切有情處在異生位難應勞覆蔽本淨清淨苦與大精進相應即得離垢清淨文又云金剛慢者以二金剛拳置

勝表淨五識質礙身起大勤勇盡無餘有情頓令成佛能淨五識身成所作智又五識質礙身者心身受中身受在於五識身故云爾歟六七相應惑也五識唯貪瞋癡相應也

問二金剛拳置勝云其依憑如何答十七尊釋云令一衆生皆證毘盧遮那佛體以表我慢如天竺人慢於前人以二手抱腰以成不敬威儀便成慢二金剛拳抱腰之時不同世間我慢法爲廣度利益一切有情便成印契文已上四尊赤白青黃四色者赤南方火色此爲前白西方金色此爲青東方木色此爲後黃中央土色此爲左也如是五菩薩名五秘密尊是即本有薩埵也秘密愛茶羅即一切有

情內證具德也迷之時疑愛見慢四煩惱緣第八識生死體悟之時金剛薩埵內證五智也

八供四攝事

理趣釋云見清淨句是菩薩位者由修意生金剛瑜伽三摩地得見清淨句是故獲得意生金剛菩薩位文是欲金剛女也是心所欲爲見此見有五見見是欲也十七尊釋云金剛見菩薩以寂照大惠之眼於羅染界妙淨土乃至眞諸俗諦唯見一切法勝義眞實之諦不散不動所以持意生之契而現其三昧之身文

觸金剛女事

理趣釋云通悅清淨句是菩薩位者由修適悅金剛瑜伽三摩地得適悅清淨句是故獲得適悅金剛菩薩位文觸金剛女也觸爲適悅十七尊釋云金剛適悅菩薩於身摩而得適悅清淨於生死解脫不厭不住所以持觸金剛相而現其三昧之身文人間慾愛時殊以觸爲悅樂此是以不二冥合義爲觸清淨也

愛金剛女事

理趣釋云愛清淨句是菩薩位者由修貪金剛瑜伽三摩地得愛清淨句是故獲得貪金剛菩薩位文此愛金剛女也十七尊釋云金剛菩薩即貪愛而得清淨故遂能以貪積集功德智惠疾至菩薩山住貪愛性故所以持慈戀之契而現其三昧之身文是以法愛積集功德能利衆生是愛是

愛念愚昧有情終不於捨故爲愛也

慢金剛女事

理趣釋云慢清淨句是菩薩者由修金剛慢瑜伽三摩地得慢清淨句是菩薩故獲得金剛慢菩薩位文此慢金剛女也十七尊釋金剛自在菩薩出入三界自在無畏於生死涅槃而得大我之體所以住金剛慢相而現其三者之身文是即五秘密定惠也而五秘密者一切衆生本有具德也然分別定惠者約本有理體邊云定約本有智心邊云惠也直出之者一切衆生色心二法經本來發心修行菩提涅槃是云五秘密定惠也又中尊薩埵者第八識本有體也菩提心論云一切有情於心質中有一分淨性者是也慈觸愛慢四菩薩者

花菩薩事

理趣釋云莊嚴清淨句是菩薩位者由修春金剛瑜伽三摩地得莊嚴清淨句是故獲得春金剛菩薩位文春金剛者是花供養也謂春花草木者以花爲莊嚴今外供俱中花供養者以春爲三昧故云春金剛也十七尊釋云金剛春菩薩能以菩提覺

五秘密曼荼羅也即事而眞實談豈過之乎云此慈觸愛慢之四金剛女者如次嬉戲歌舞之內四供也

花起供養雲海亦以方便授與衆生作功德利以花是奉事遂以名之故亦持華以爲其契文謂授與衆生者供一切衆生本覺佛令佛性平等是令得覺了爲花也故以春爲此菩薩三昧也

香菩薩事

理趣釋云意滋澤清淨句是菩薩位者由修雲金剛瑜伽三摩地得意滋澤清淨亦喜悅清淨句是故獲得雲金剛菩薩位金剛雲菩薩也亦名雲金剛是香菩薩也夏殊香氣芬芸也十七尊釋云金剛雲菩薩能以法澤慈雲滋潤含識亦以方便授與衆生使無始無明吳藏不善化成最供養香雲以爐煙像雲遂以爲號故特焚香器以爲契文凡煙香氣等入夏殊放散得力故以夏爲香金剛三昧其香實體者如來大慈雲法界有清心地戒香也

燈菩薩事

理趣釋云光明清淨句是菩薩位者由修秋金剛瑜伽三摩地得光明清淨句是故獲得秋金剛菩薩位文秋殊月光明皓故云光明也十七尊釋云金剛秋菩薩常以智燈破諸黑暗時亦以方便授與衆生起無量光明供養雲海以其空色清爽莫如秋時依智光體遂以名之故執燈明以爲其契文故此菩薩爲燈菩薩以秋爲其三昧義可知之

塗香菩薩事

理趣釋云身樂清淨句是菩薩位者由修

身金剛瑜伽三摩地得身樂清淨句是故獲得身金剛菩薩位文身樂者金剛冬菩薩也冬世間五穀等必秋收冬藏故云身樂也是依身心安樂也十七尊釋云金剛雪雪菩薩能以五無漏蘊香塗衆生心體滅煩惱熱亦以方便授與衆生起塗香供養雲海以栴檀塗香解諸毒熱有似霜雪遂以名之故執塗香以爲其契文是故此菩薩爲塗香菩薩以冬爲其三昧事可知

鈎香菩薩事

理趣釋云色清淨句是菩薩位者由修色金剛瑜伽三摩地得色清淨句是故獲得色金剛菩薩位文十七尊釋云金剛色菩薩以色清淨智於淨妙界起受用色身於難染界起變化色身爲攝來之事故以特鈎爲契文此四攝中鈎善薩也故云爲攝來之事也今以色爲鈎者好色女人處不招諸男子來是色鈎德也

索香菩薩事

理趣釋云聲清淨句是菩薩位者由修聲金剛瑜伽三摩地得聲清淨句是故獲得聲金剛菩薩位文十七尊釋云金剛聲菩薩以聲清淨智能表十六種梵音普周法界爲引入之事故特索以爲其契文是索善薩也今以索令引入法界宮故云爲引入之事也

鎖香菩薩事

理趣釋云香清淨句是菩薩位者由修香

金剛瑜伽三摩地得香清淨句是故獲得香金剛菩薩位文十七尊釋云金剛香菩薩以香清淨智發金剛界自然爲稱之香入一切心以爲止留之事故以特鎖爲契文此鎖香薩也以鎖縛而令不去行故云爲止留之事也止留者留步也留者田三少步云留只是步行義也今以香爲鎖亦爲縛者如香氣之能薰物洗滌不失不失是香縛德也

鈴香菩薩事

理趣釋云味清淨句是菩薩位者由修味金剛瑜伽三摩地得味清淨句是故獲得味金剛菩薩位文十七尊釋云金剛味菩薩以味清淨智持瑜伽三摩地上法味爲歡樂之事故特鈴爲契文此鈴香薩也鈴適悅義也故以味爲適悅者依金剛自性本來清淨無上法味故即得適悅也故此菩薩持鈴也

已上慈觸愛慢四菩薩爲四波羅蜜慈觸愛慢女爲內四供春夏秋冬爲外四供但理趣會以外供置內以內四供置外彼論闡異說有十餘種其中如常途說有之云色聲香味爲四攝善薩是爲定門十六大菩薩也又爲金十六大菩薩是十七尊形定門而住惠門十六尊也故定惠十六大菩薩在此中是一切衆生本有自心萬德煩惱善提不二輪圓不覺之本煩惱爲表覺悟時善提爲表理實談煩惱善提自本是自家兩部受茶天然法爾也云八

供四攝形色等者如修行成就軌普賢金剛薩埵軌大樂金剛薩埵軌之說大概同之也

問十七尊種子三形尊形共可觀之今何  
十七尊初五尊種子三形尊形許觀之乎  
如何 答初五尊是五祕密也以五尊爲  
本今取五尊自餘十二尊更不離圍繞也  
問今取五祕密放與五祕密法一法歟如  
何 答是一法也野決云理趣經法此法  
相違事

種子

卷五 雜著

理趣經

眞部

五藏密

理趣經  
 總釋

理趣經法就大日令行

可各別以金剛薩埵管

密法何更有異。只五箇

住一月輪許差別事二

無相益然甲重五必

無才這然却無才五前

同程子與言何可名別

別別法可有之處本條

呪又同眞言也。續此兩

何五尊羯磨三昧耶印

正念誦散念誦勸請發

別而種子與一眞言許

レハ五秘密法與理趣

別法可習，可何益哉。若

里。應里。（之聲）且密半兩制。

現起卷五 廣留个 兩片

形共可觀之今何  
形密也五尊爲  
秘密更不離圍繞也  
秘密法一法歟如  
云理趣經法此法  
之時不及沙汰尤  
本尊之時與五祕  
等位各別月輪又  
テハアレ。修更以  
密法雖異本尊是  
哉隨自餘事令差  
印言兩同即也總  
眞許令差別如  
明更以無異此外  
顯讚等凡心無差  
相違之條如何サ  
經法同法可習又  
一法習、  
之說習、  
行成就軌誓賢金  
種軌之說大概同  
形共可觀之今何  
形密也五尊爲  
秘密更不離圍繞也  
秘密法一法歟如  
云理趣經法此法  
之時不及沙汰尤  
本尊之時與五祕  
等位各別月輪又  
テハアレ。修更以  
密法雖異本尊是  
哉隨自餘事令差  
印言兩同即也總  
眞許令差別如  
明更以無異此外  
顯讚等凡心無差  
相違之條如何サ  
經法同法可習又  
一法習、  
之說習、

白寶口抄 理趣經法第五

印真言事

此印者五股印也金剛界三昧耶會金剛薩埵印是也此五股五部總表五秘密金體也二中立合表金剛薩埵薩埵有理智二身是顯行者本尊本有各德不二故立合二中也五秘密軌文金剛薩埵是目性身文又云毘盧遮那佛身文故中股法界體性智位也左大指欲金剛菩薩是大圓鏡智位也左小指愛金剛菩薩是平等性智位也右小指愛金剛菩薩即妙觀察智位也右大指慢金剛菩薩即成所作智位也是五尊居四隅表也問理趣會曼荼羅者四菩薩位居四方今印形相違如何答理趣釋云右邊薩二種明妃左邊亦盡二種文此五秘密段居四角也可知問此印五尊總印歟不耳十七尊歟如何答舉五尊餘十三尊更具足具有三十七尊也此十七尊金剛薩埵心中本有之德故今此十七尊悉是攝薩埵已身此尊名為普賢薩埵也又云五股印表兩身合體是金剛薩埵智身冥會行者理身也二中指二頭也二水二風縛理智二身左右手表抱合之形二地二空兩尊左右足也是表生佛本有不二意也

也是五尊居四隅義也

問。理趣會曼荼羅者。四菩薩位居四方。今

印形相違如何答。理趣釋云。右邊蓋二

種男妃。左邊亦畫二種文。此五祕密殺害

四角也可印

同。此印正拿應口狀。下頁十二拿狀。山口

此白五經經白與不五十七經與如何

答尋五尊餘十二尊史共足共有三十七

尊也此十七尊金剛薩埵心中本有之億

故今三十七尊悉是攝薩埵已身此尊名

爲普賢薩埵也。又云。五股印表兩身合體。

是金剛薩埵智身冥會行者理身也。二中

指二頭也。二水二風。縛理智二身。左右手。

唐翻本誓平等攝等義言平等三昧耶梵音

兩身合體二大指理智兩足是也二水二風

蓮顯理智不二之證故結獨股印也此二

語心三密平等故亦名三密三部者佛蓮

外轉理智二身左右手表抱合之形是四

種印明五尊總印說也故本尊加持用之

金是也此三部佛各具四種法身如是諸

攝義慈觸愛慢也正入生死轉利衆生事

也五尊獨總印明五尊三昧耶印明者五

尊平等平等無有增減優劣之異是名平

業成就相也二中人內理智冥合五秘密

尊各別也本尊加持用否如裏付云

等文又云三昧耶佛法僧即三部也三諸

敬愛作業是理智冥合表獨一法身本有

真言事

法諦義諦則觀察不謬即觀音大悲三昧

唯一薩埵體故名大獨股印也靜遍云二

石山普賢延命釋云三昧耶者是樂樂

我不可得則大空大空無戲論如來文

大一小不礙立只外轉傳有之是月輪印

義也此大士一切衆生授與世出世娛樂

殊異名則大智惠門乘義字義乘不可

同一月輪內箭向心除忍顧外八指一回

故真言中有此句以衆生授與世出世娛樂

得義本有金剛薩埵無始無終無生滅性

蓮臺敷內箭作四攝是金剛薩埵四攝五

可思議云或者著微妙法故也亦持邪

相常住等虛空誰有運載運載已休故乘

密至極重也云

趣正義也此真言十七字者爲十七尊

不可得具此三德者名大日如來大日具

問以二中作四攝事有其說乎如何答

種子真言道場觀初取字三昧耶字

體只合此三字則攝得大日如來所有一

大樂金剛薩埵軌云結大樂金剛不空三

爲五秘密種子後取字三昧耶字

一切功德智惠文者三昧耶金剛薩埵之名

指小指舒而相合如獨股金剛以二中指

了有十二字八供四攝種子也其爲一

之體大日即果滿成正覺之位也而和合

屈如鉤形鉤刺於心使以中指頭相捻如

真言故十七尊攝在金剛薩埵之一尊故

成一種子是示因果不二染淨一體行不

索深相鉤爲鎖當心指動爲警奉請文勝

爲總呪也凡一經十七曼荼羅攝此十七

二法性大日如來是也凡三昧耶者佛蓮

初瑜伽中略出軌云大樂隨心印前箭

字也

金三部各具四種法身故胎藏四重曼荼

刺心驚覺三昧耶弱忍願如鉤狀相柱如

五尊獨磨印明事

羅之全體具足終三昧耶者金界一院會

索呼極機鎖鈴上下動搖稱解此文等文

金剛薩埵大智印獨磨印者金剛界獨磨

大日九尊總攝之曼荼羅也故兩部法界

分明也是深秘義也但真言有四攝句別

會金薩埵左手作拳安左腕是持鈴勢也右

曼荼羅不漏一塵一法不二和融之金剛

不可用四字明召引入自身召引轉令喜

薩埵儀形左手作拳安左腕是持鈴勢也右

薩埵真言也經初段普賢自性金剛薩埵

是四智方便也鉤即四攝智引攝有情索

空置掌中作摘擲之勢是持五股杵義也

自受用身不二法性大日如來也瑜祇經

是善巧智令自他一體鎖是堅固智令大

十七尊釋云左持金剛鈴是通悅義置腰

序品大日同體也彼大日名普賢如來思

悲堅固鈴是歡樂智令自他歡樂也故引

之左表大我右持五股金剛是五智義轉

之五秘密軌云金剛薩埵者是自性身不

入令喜作成就也又縛住義本願圓滿故

智印者從金剛界五股至金剛鈴普薩以

生不滅試同虛空則是遍法界身又云

時委細口決了凡先五股印者五尊五德

三十七智成自他受用果德身又此印先

金剛薩埵者是虛遮那佛身也文

表示各別今獨股印者五尊悉住同一月

段段印初段之時口決畢故略之

總印事

慾金剛事

金剛界羯磨會受菩薩印也軌云二羽金剛拳左肘想執弓右肘持箭如射勢即成此印身文慾金剛菩薩持弓箭故表慾金剛儀形也大悲慈前者彈擊義也謂令悲增菩薩從生死向涅槃彈擊令智增菩薩從淨土向穢土彈擊也

計里計羅印

金剛界羯磨會王菩薩印也軌云準前印二拳交抱於胸前成此印身文觸金剛抱金剛薩埵故表抱持儀形也

愛金剛事

金剛界羯磨會輻菩薩印也軌云準前二金剛拳左拳承右肘豎左臂如輻勢即成此印身文此菩薩摩竭魚輻故表被輻儀形也

慢金剛事

金剛界羯磨會因菩薩印也軌云二羽金剛拳各安跨向少傾頭如禮勢即成此印印身文此菩薩依我慢押左右腰慢心成就時必歡喜也向少傾頭者此義也以喜菩薩印可單知之也儀軌云次應結四秘密羯磨印即誦金剛歌讀此讀四句每結一印當誦一句讀曰口云讀者今所舉大第四菩薩羯磨四明也總舉一處以為讀今次第分此讀四句用四菩薩真言也儀軌次下既分此讀四句為四菩薩明各印相如次第示之也但愛金剛菩薩讀時云愛囉真言時云薩囉也或云此四菩薩次

第先向所愛境生欲故生欲後有觸故觸後愛著故愛著故思自他別生慢學心也此理薩埵緣智薩埵行相也理薩埵行者智薩埵本尊也千心記云經下大日義釋云菩提大貪以此貪欲因緣染著種種法界不思議色猶如世人以染著六度不能自捨放成種業受之身故受灌頂時真

不斷貪欲故不斷世間佛性凡此等即事而真之理則三密智眼之表相智覺心之內德也謂深開真言秘密明達密藏名字之所使然也而變計迷情之前行欲事而墮地獄未得為得之中作惡業而入火坑豈不悲乎亦不惑乎故大師十住心論云惡平等者未得謂得不同謂同善差別者分滿不二即離不離文仍為未資聊事權揚而已云

五尊三摩耶印明

金剛薩埵印事

此印大獨股印前既口決畢但今三昧印者四印故示平等本質故二火平等性入掌中表心印是即顯兩部不二深旨也謂左胎界之五凡本有右金界之五聖本有也故凡聖不二理智和融之體即表獨一法身本有大薩埵此位能所共自受法樂故生大歡喜故名極喜三昧耶印云又二人內是箭義也自證佛不謬本質出化他射驚義也即觸菩薩抱薩埵時以此極喜三昧耶印抱之謂以弓箭向薩埵暫不

可住自證樂位射之意也又薩埵者生死體所化之人也故射生死有漏之業因成大菩提之果義也五秘密軌云結金剛薩埵三昧耶印作金剛縛屈忍願入掌相合如前薩智檀惠各相柱如獨股金剛杵誦真言曰山結此印誦真言故神通壽命威力相好等同金剛薩埵文

慾金剛印

軌云結慾金剛三昧耶印準前印屈進力上節甲背相合以禪智並押其上誦真言曰山結此印故能斷微細無明住地煩惱文如以前金剛薩埵印者外縛也慾菩薩開金剛薩埵德也二風二空間穴眼精也是眼能見境界發欲心故表眼形也修行成就就軌云次結前三昧耶印屈二頭指甲背相著如箭羽並二大指押之合掌金剛箭印文是三昧耶形箭印也可知

計里計羅印

軌云結計里計羅三昧耶印準前印右智押左禪指交誦真言曰山結此印故能拔濟護持一切衆苦衆生昇皆獲大安樂三摩地文二空相重合觸義也亦抱持之相也問觸金剛者以五股為三形今抱持義非三昧耶印歟如何答金剛薩埵者五股體也抱持五股故三昧耶之意也愛金剛印軌云結愛金剛三昧耶印準前印進力互相屈忍願進力並合如眼勢緊戒方相合



檀惠亦然。誦眞言○由結此印故獲得大  
悲解脫。憐愍一切有情由如一子。皆起拔  
濟安樂之心。文二小指牙。二水鼻。二中指  
眼。二風二大口也。是摩竭魚形也。普賢金  
剛薩埵軌云。以前普賢菩薩印。二小指合  
堅。二無名指舒如針。二中指右押左內交  
入二虎口。屈二頭指各鉤中節。二大指並  
壓押即成文。依此文者。二中指頭少差出  
從左右虎口如眼精也。

軌云。準前印觸其二股。先右次左。誦真言曰。○由此印故。獲得大精進波羅蜜。利那能於無邊世界一切如來所作廣大供養文。發慢心押腰故。以印觸左右跨表我慢也。此章以慢印爲三昧耶形。凡五尊羯磨印結顯羯磨身形故也。五尊三昧耶印者。表三摩耶形。故云三摩耶也。或羯磨會顯立諸尊成儀形體。三摩耶會義不等之時。令人我身入也。云羯磨會即身同本尊事業。三昧耶本智願。令本尊憶念本誓願。加持攝護行者也。云依此等義者。結羯磨印誦真言成。大菩薩身。後以三昧耶印。言與五尊身堅住和合。爲一體不相離故。此時方亦無染淨。速成就大樂金剛薩埵身也。

問。修行成就軌。用二金剛。拏放箭勢。屬  
言曰。弱。矚日羅地理。慧智野計。摩吒。○今  
三菩薩準之可知。若依之。今次第印言相  
違。結三摩耶印。誦羯磨言。賦。如何。答。三

印言者是定惠也。三定羯磨惠。以之爲誓。表不二故。金剛界略次第時。以三印羯磨爲祕傳也。或云三印本誓羯磨言證果也。云又云。表內證外用云。或說云。羯磨身說利生門。故事業真衆生。如應身佛。應身說法爲詮。故用真言。三印住本誓悲願。應身出世。依本誓也。云如此義門多多也。問。懸十七尊曼荼羅爲本章。故道場觀十七尊圍繞也。何不用十七尊印言乎。如何。答。十七尊以初五尊爲本。是五智五祕密之義也。故道場觀出五尊種子三形。密形仍取五尊自餘之十二尊更不離也。又金剛薩埵十七字真言者一體故。十七字十七尊種子也。故總印言先用之。次五尊各別印言用之。但八供等印明等用之。故略之歟。

問今以五印可爲本尊歟如何。答聖法  
云五印印明事。五秘密又是一體。本尊印  
四尊印可習歟。是其定歟。又是如理趣會  
曼荼羅坐別月輪然密觸愛慢等之四尊  
羯磨印。三昧耶印。非本尊印。別尊印用加  
可習歟。凡理趣經法所用之本尊五秘密  
菩薩不用一體金剛薩埵本尊トスヘキ  
ニヤ。又可何様哉。又乍五尊可爲本尊歟  
若乍五尊可爲本尊各別五尊可習歟。如  
五秘密菩薩可爲一體歟。五尊體實雖  
一冥合サラニ主件ニテ候ヘハ四尊。卷  
屬トコソ習候ヘ然者印明可存其義候  
歟。但雖爲眷屬不似餘尊眷屬候歟。仍理

趣經必可行五尊候也。理趣與五禪子細  
五祕密法如注進已上

段段印言者如前振鈴次段段印明用之  
次八供養次事供以下次第用之也本尊  
加持者如常先兩度本尊加持金剛薩埵  
印次總印兩種用之第三度本尊加持  
持兩印言并五尊羯磨五尊三昧耶印言  
皆悉結誦之前後大日佛眼如常或初度  
本尊加持持兩印言次羯磨三昧耶印言皆  
盡之也云

正念誦事  
總呪者乃云何等十七眞言也。是十七  
尊種子眞言。故云總呪也。  
散念誦事

本經二種者。字有異也。五尊者。五尊羯磨明誦之也。是常樣也。或用三昧耶之眞言。許事有之。歟。或羯磨三昧耶十種明共用之也。讀理趣經事。阿闍梨大金剛輪一字前可時讀也。

三力金後可讀理趣經也  
御加持  
總呪者十七尊種子眞言也

禮佛事  
三十七尊如常。次中尊三遍。餘一遍唱之  
也。

迎請 大鈎召或金剛王也  
結界 降三世  
字輪觀 〇 〇 〇 〇 〇 〇 或五大



護摩事  
就敬愛修之亦就息災可修之歟  
部主段 大日  
自加持  
智拳印真言 〇 〇 〇 〇 〇 〇  
又說 〇 〇 〇 〇 〇 〇

召請  
大鈎召印或外五股印以右頭指三指  
真言如自加持加召請句四攝明也  
供物 同真言加敬愛句  
撥遣 準請以右頭指三度撥加撥遣句也  
本尊段 五尊  
自加持 大獨股印真言 〇 〇 〇 〇 〇 〇  
十七真言也

大樂不空身印外縛右大指入虎口以  
右大指三指真言如自加持總呪末召  
請句 〇 〇 〇 〇 〇 〇 以同縛右頭指鈎也右  
大指入虎口上四交如環二大入  
掌搖等金剛合掌等  
供物 同真言加敬愛句  
加持物 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇  
撥遣 準召請以右大指三撥加撥遣句也

諸尊段 三十七尊如常  
世天段 如常  
加供外金剛部七母女天三兄弟四姊妹等各誦種子  
外金剛部 〇 七母女天 〇  
三兄弟 〇 四姊妹 〇

### 白寶口抄 六字經法上

本書事

六字陀羅尼呪經一卷 貞元 圓覺  
六字神呪經一卷 二枚  
菩提流志譯 貞元 圓覺

六字呪王經一卷 五枚 貞元

六字神呪王經一卷 六枚 流布本

六字法一卷

有廣略兩本 大慈恩寺基法師撰云  
或云經與有之云、珍錄外觀佛法也  
六字神呪王經驗記一卷  
大唐龍興寺道達三藏義真記小野經

藏有之

觀六字大明王陀羅尼經一卷 錄外  
佛說大乘莊嚴寶王經四卷  
齊然請來新度也

摩登伽經 三本有之

請觀音經一卷

名字事

口云六字者八字文殊六字文殊五字文  
殊等付真言文字數立其名今六字不爾  
六觀音名字也是以六觀音爲本尊故也  
六字經驗記云六字者觀自在菩薩異名  
所謂六字者一大慈觀自在菩薩二大悲  
觀自在菩薩三師子無畏觀自在菩薩四  
師子丈夫觀自在菩薩五大光布施觀自  
在菩薩六大梵觀自在菩薩若應負怨人

賦呪咀惡符害死人爲濟度示現如是六  
數清淨六字座稱念六字觀音名字文同  
儀軌與云以六觀音爲本尊又以聖觀音  
爲尊耳文此軌既本尊有兩種石山道場  
觀集以聖觀音爲本尊薄髮紙亦同之但  
當流以六觀音爲本尊以聖觀音爲本尊  
兩樣也本流三寶院無六字差不用之勝  
俱祇院傳無六字故依其傳覺洞院二傳  
共以奉授本院御室故今祇鈔兩種道場  
觀令觀之也雜鈔上云以六觀音爲本尊  
之意六字卽是六觀音意也故本尊加持  
處六觀音印言皆書用之六字六字意也

私云此雜鈔松橋一海已講書出也  
或六字者六觀音種子咒云六字云  
六字變成六觀音故指彼種子云六字云  
問若依此義者以聖觀音一尊爲本尊時  
不可云六字法歟如何答六觀音者以  
聖觀音爲本身故云六字不苦歟又聖  
觀音種子咒云六字法語翻云六故付聖  
云云六字是梵漢異也或云轉訥和帝聖  
囑合羅七字梵字下下下下下下下下下  
是觀自在菩薩梵名有六字故云六字也  
云詩觀世音菩薩清淨伏毒陀羅尼呪經  
云若有衆生受大苦惱應當淨心係念一  
處稱觀世音菩薩歸依三寶三稱我名誦  
大吉祥六字章句教苦神呪曰  
多延他安陀晉般茶晉枳由晉檀陀晉先

羯陀晉底耶婆陀耶除婆陀頗羅祇尼質  
離離多晉婆伽晉阿盧薄鳩晉莫鳩隸  
兜尾隸婆呵

爾時世尊說是神呪已告阿難言若善男  
子善女人四部弟子得聞觀世音菩薩名  
號并受持讀誦六字章句若行曠野迷  
失道徑誦此呪故觀世音菩薩大悲薰心  
化爲人像示其道路令得安穩若常飢渴  
化作泉井菓蔬飯食令得飽滿設復有人  
遇大禍對亡失國土妻子女財產與怨憎會  
禍觀世音菩薩名號誦此呪數息係念  
無分散意經七日時大悲者化爲天像  
及作大力鬼神王像還本土令得安樂但  
虎狼獅子諸惡鬼噉精氣若有婦人產生  
難天惡賊盜其財物阿難當知此如菩薩  
及是神呪畢定吉祥常能消伏一切毒害  
眞實不虛普施三界一切衆生令無怖畏  
作大救護令世受樂後世生處見佛聞法  
速得解脫

問經六字章句教苦神呪文六字名字約  
眞言也此六字章句呪外舉稱我名故六  
字者非六觀音名字歟如何答彼經下  
說偈云大悲大名稱吉祥安樂人恒說吉  
祥句救濟極苦者衆生若聞名離苦得解  
脫亦遊戲地獄大悲代受苦吉祥句者  
六字章句也衆生若聞名者同稱我名之  
言故知非神呪即六字稱我名者六字章  
句也故六觀音名字眞言云之意也  
或師云或人云六字經同本異譯陀羅尼

六箇字名有之者也云宗觀闡梨云此  
呪名有六故云六字呪也六箇字謬說也

此兩義共不奪也不甘心其故六字經法  
云外餘六字眞言表六觀音文此文分明  
也止觀二云六字卽是六觀音能破六道  
三障文若提心義云誦觀世音經有六字章  
句陀羅尼天台引雜呪集六觀音爲六字  
章句破六道三障文  
私云三障者業障煩惱障異熟障也  
三井慶範法印云六字卽是六觀音事問  
文殊五字六字八字呪大日五字呪等皆  
如名有其字數然而今諸觀世音經中六字  
章句陀羅尼有五十三字其意如何答天  
台止觀云六字卽是六觀世音云妙樂  
弘決云他云三寶名各二字合成六字又  
三寶名一字觀世音三字合成六字今皆不  
用疏爲三種六字一果報六字卽六道也  
二修因六字卽六妙門也三約六根以爲  
六字可見本文法門無盡故義非一條今  
私加愚案云六字神呪王經中六觀有百  
字小呪有十五字自餘之呪亦字數多不  
可字數以爲名字號如云佛胸表萬字豈  
尋耶彼經中不說六道六妙門六根不可  
約此云六六觀世音無一處具出六之文  
難約此作此釋然梵云咒字此云六亦云  
具足可云具足章句然今云六字章句欺  
混繫經云沙字名具足義云吉藏疏云沙  
者翻爲具足文大呪經云沙字門諸法云

自在王性清淨故文大論云若聞沙字即知人身六種相沙秦云六文惠抱伯正無依無得大乘四論玄義記云沙者譯云六胡法以六爲具足義也文若爾梵可云沙字章句漢可云具足章句沙字中具六具足故若離具足而釋六義即難也何故此呪名具足章句解曰餘呪或偏具滅罪德偏具除病德或偏世間顯或偏出世顯此呪威力能滿一切願沙法具足章句具衆德義所見本經問若爾可云具足何故云六耶答梵語多含隨人心各記之如四十二字羅什玄非不空等各別記之又於諸梵文前後譯人各別翻之私云此義不審如觀音一字呪梵有六字唐字有八字難云一字猶有多字文殊八字呪其軌唯有八字文殊法寶藏經其八字呪有梵本四十六字又觀音六字呪猶寶王經有六字諸請觀音經有五十餘字六字經有百字等所譯加歸敬祈願等句故也大品經云沙字門諸法六自在性清淨故文大論云若聞沙字即知人身六種相沙秦言六文法花六根清淨六字章句陀羅尼以此意可消之歟一切厭魅呪咀皆從六誦妄分別起也以觀自在妙觀察智淨除一切六誦所起妄想分別令消滅彼呪咀厭魅故名六自在王性清淨即是六字章句陀羅尼也現六觀音身能遊六道濟度衆生也諸觀音經意可能案之如意輪六臂廣博體能遊六道文大威德現六頭六臂六

足降伏怨家皆觀自在王如來妙觀察智定力妙法蓮花經者是觀自如來法曼陀羅也故以六根互用爲妙經力用也大寶經大論人身六頭相者六根六境六識也大威德六種六手六足即表十八界爾時觀自在菩薩說此眞言已而白佛言世尊此眞言是一切蓮華部心我今說是悉地法則若每日晨朝於我像前作曼荼羅散種種花誦八千遍德不可與人語更誦多少漸若強記若依此法能滿六月即大聰明凡所聞言皆領不忘云若滿六月每日誦一千五百所求悉地皆得成就云又云每日造一百塔乃至六月日一時誦者於其國土一切災難消滅文私云六月念誦文三箇所在之與不動立印軌文意同異如何能可見合之是六觀即六自在王清淨故六自在王功德也

今六字章句陀羅尼也六根等六六法門故名六字六六品意符合六觀音者轉六藏成妙觀察智六自在王性清淨故名六觀音故天台六字即是六觀世音者只聖觀音一名六觀音故知六者是觀音名也大悲言今家義立只是一往符當也上六原云師曰六字者非字數是名字六也六觀音利六趣故有六名字也諸觀音行林云問六字者付經所說神呪有六字歟答人人推量有歟六字呪依知等有六字歟然云不祥得無六字問既計之無六字何可云說答或驗記云六字者觀音異名也意云觀音有大悲等之六之名字故名觀音稱六字也委見驗記六觀音之名字之神呪云也已上圓云一字金輪爲摧破一切衆生厭禱呪咀之苦入六觀音大悲三摩地時云一字成六觀音種子六字故云六字章句也又云章句必非字數歟云

## 道場觀事

儀軌云先結定印當膝下次錢字爲八功德水其水中心欠字變爲寶山其上有大樓閣○中心觀自在菩薩及蓮花部聖衆皆在中內外供養男女諸天排也衆供具定惠樂天奏諸音衆供養諸尊文驗記云亦汲清淨井在菩薩然後誦呪文石山道請六字觀自在菩薩然後誦呪文石山道場觀井厚雙紙薄雙紙等依儀軌文用道場觀也今此次第直心前觀道場不尊依

大師御筆曼荼羅其外口傳觀入諸尊故非普通也

口云金輪安中央事六字經中不說之實雅僧正記出種子曼荼羅中央有金輪種子以之爲本說也是大師相承祕傳東寺一流規模也此金輪釋迦金輪也今經教主故尤爲六道觀音主又金輪有摧破之功降伏出世之魔軍摧破世間之怨敵故安中央表此義又小野略頌云最勝觀音馬頭尊身最勝佛頂一字金輪佛頂也故金輪觀音本身也安中央尤有其謂歟

意字事

口云此意字難字也但意二字無差別何不苦歎或云意字謬也云此字不可不四合字成也先不可返之フ也意返之ル也仍フルム也而ハヒフヘホ故ホ讀之ヲリルレロノ故ルヲロト讀ム故ニフルムヲホロムト讀之也字體有字有義是三有二十五有等也字離摩義離一切塵染成清淨無垢也字損滅義是不字諸語有悉損滅也亦是摧破義也又字遂際義是大空智圓滿義也大妙金剛甘露經云修三摩地當於自心觀部嗶呼三而成佛頂輪王形量盡虛空法界無有邊際週然清淨得成佛身無有生死不轉肉身得無漏果又說四字功能也邊際又字義也清淨離塵垢故又字義也生死不轉肉身有字有義得無漏果也字損滅生死得果義也

八幅金輪事

八幅輪瑜祇經佛眼品說之又尊勝軌上最勝佛頂八幅寶輪也是八幅者摧破八識相應惑障義故表八智八智者胎藏八葉尊出釋迦院顯八佛頂是八幅輪義也身黃金色事

大日金輪著五佛寶冠住智拳印形服如素月莊嚴法身也偏同金界大日也今此金輪釋迦金輪羅髮形身黃金色具三十二相此釋迦金輪胎藏界大日蓮花部六觀音等本身也

七金輪事

今此法以降伏爲根本故以輪爲座摧破故也金輪所座可爲八幅摧八識之惑障故也六觀音輪可爲六幅各摧破六識相應之妄分別生六自在王功德義又利六趣破彼三障事輪能如摧諸物也種子事

意字正觀音是胎藏八葉出之也意千手馬頭十一面意准胝意如意輪皆彼尊法口決畢故略之三形事

六觀音共以蓮華爲三形諸觀音皆蓮花部尊故也

六觀音形像事

十卷抄云本尊曼荼羅有多種一者醍醐方所有中尊一字金輪周匝安六觀音其觀音形像持物未知本說法成寺被造六觀音之姓仁海律師進勘文云依先師云

依先師所傳注進之云其文可尋之已上

故入道嚴注進六觀音像事仁海大慈觀音者正觀音變救地獄道身青色也左手取青蓮花右手施無畏也大三股印用本呪

大慈悲觀音者千手變救餓鬼道身黃色也六面慈悲相左手取紅蓮花右無畏也蓮合掌

又馬師子無畏觀音馬頭變救畜生道身色青右手取蓮蓮上有梵篋左施無畏梵篋印

又大光普照觀音者十一面變救阿修羅道身肉色右手取紅蓮花華上有花瓶瓶口立半獨股也左施無畏不動本印也

又天人丈夫觀音者准胝佛母變救人道合二大付二無名內又二中指立頭付中背以二大付二頭側

身色紺青右取青蓮左施無畏大梵深遠觀音者如意輪變救天道三股頭指如意形也

身色白左持蓮蓮上立三股杵右施無畏也

右六觀音形色名號如此皆慈悲相也大

略出摩訶止觀。子細之旨。先師所傳記也。

治安三年 二十二日 權律師

今緣形全依此文也。但種子觀宿明仙之圖出之。其中聖觀音種子許相違也。六觀音共二臂。一手持三形等。一手施無畏也。是即金輪破他呪力能摧破怨敵等。觀音呪明諸毒藥所欲害身者。念彼觀音力還著於本人。故能施無畏也。

黑六字事

口云種子六三形大刀也。此尊觀音所變。故以六字為種子也。三形大刀被持物降伏器械也。故用之。勤修寺流種子。行不可得。是大悲利物能所業也。金寶同之。三形弓刀也。常喜院。未數蓮赤。又云種子。三三大大刀。俱息災時。三形蓮花也。云。西院流種子。三弓也。又云種子三塔。又云種子三弓。又左卷矢。大御室種六三矢。流流異說。師師意樂是多。仍略之。

六字觀音事

口云此尊名六字明王。又名六字天。又云黑六字。又云黑佛。又云六字忿怒也。佛說大乘莊嚴寶王經。第四云。此是曼荼羅相。周圍四方各五肘。量中心安立無量壽如來。右邊安持大摩尼寶菩薩。於佛左邊安六字大明王。四臂肉色。白月色。種種寶莊嚴。左手持蓮花。上安摩尼寶。左手持數珠。下右手結一印。王印於六字大明王足下。安天人種種莊嚴。右手執香爐。左手掌鉢。滿

盛諸寶於曼荼羅四角。列四大天王。執持種種器械。於曼荼羅外四角。安四寶瓶。滿盛摩尼寶。

私云此經。大宗新波一切經中有之。四卷經也。常喜院云。咸等園梨渡之云。元海云。蔚然錄錄入之云。

此尊四臂肉色。白月色云。持物相違。其色色白。故非黑六字。諸師多以此經為證。據不審也。六字神呪。王經呪咀退却敬愛成就法云。次說六字像身相。青黑色。具四臂。右第一手持大刀。第二手舉日輪。左第一手持鉢。第二手舉月輪。大暴惡相也。又私云。此尊四臂也。亦不說猿冠。獸坐。立事。不分明也。

猿冠事

猿冠者。表六識觀音。即六識轉成尊故也。衆生從無始已來。意根不善。食著諸法。狂愚。不隨所緣。境起貪瞋。疑如是。邪念能生一切惡業。所謂十惡五逆。猶如猿猴。亦如精膠。處處貪著。週至一切六情根中。此六根業。枝條華葉。悉滿三界。二十五有一切生處。亦能增長。無明生死。十二苦事。八邪八難。無不經中。無量無邊。惡不善報。從意根生。如是。意根即是一切生死根本。衆苦之源。文是南岳大師法華懺法六識如猿猴。喻之。又請觀音經說六字章句功能。畢。以數息觀。空六根六識。文云。唯願尊者。耳識與聲相應。云。何攝住。鼻識與香相

應。云。何攝住。舌舌識與味相應。云。何攝住。身識與觸相應。云。何攝住。意識與舉緣相應。云。何攝住。諸顛倒相與顛倒相應。云。何攝住。色聲香味觸與細滑相應。云。何住。而此識賊。猶猴走遊戲。六根遍像諸法。此經又以六識喻猴。猴放六識。邪見體以之為其冠。是煩惱菩提之一致義也。西院流布。第六首截蛇形。是六識煩惱體表。蛇形也。流布六字明王圖像。首截猴頭。其類蛇形也。是含兩樣歟。

青黑事

口云。青黑者。如不動等色。是忿怒明王通色也。表降伏。又顯黑業煩惱。即體是煩惱。即菩提表示也。

六臂事

口云。六臂者。表六識。是六觀音六趣濟度義也。兩手三股印。破六趣三障義也。三戟者。除逆賊義。內破三毒煩惱賊。外降伏王賊。是天地賊怨賊也。大刀者。摧破義。摧伏一切怨敵。能令入佛道義也。日月輪者。觀音所變形也。能照衆生迷闇。表心眼開明之義也。日月事。手法時委口訣訖矣。問此六字明王坐像。獸立像歟。云。何可觀之。答。形像圓皆立像也。

西院口云

身青黑色。六臂具足。左右第一結印。左第二三。同第三。右第二刀。同第三。首截蛇形。又有頭光。右下方立赤蓮華。右足令屈膝。橫付膝內云。

此口訣不違世流布形像也。仍為證矣。十

卷抄云山前唐院有曼荼羅題云六字天  
王其中尊六臂六像左右第一手作印云  
六字天今四手持物本圖是尊未見本  
說山人云是尊像雖有唐院全無調度文  
書云鳥羽殿丈六像也是云已上  
厚髮紙云六字明王不知說所故人多迷  
之近來出來明王也見莊嚴寶王經引之  
略抄但世流布像頗遠也云已上  
聖賢閣梨云天份都御說於六字法者偏  
外衛也真中黑色六臂依白河院時鳥羽  
僧正自三井經藏取被出云其前不流  
布世人不知之件像外衛神云或云天  
台請來也六字天像法云已上依之  
天台字天圖像尋見彼曼荼羅六字天形  
像等十卷鈔等出之無遠但左右有八箇  
月輪其傍有星圖下左右三狐有走勢  
一狐是持箭二隻走其上師子虎有走勢  
尊四方鼠牛虎兔龍蛇馬羊猴鳥大猪各  
首頭從雲出是十二時歟其各各份以胡  
粉書封字實狐持箭封等偏似外衛故聖  
賢閣梨件像外衛神云但六字明王莊  
嚴寶王經并六字神呪王經呪咀却敬  
愛成就法同被引厚造紙形像流布雖遠  
之非無本說歟西院六字貞記云六臂像  
知云是既大師相承之記也故彼流黑六  
字折紙白本相傳也西院法印鳥羽院御  
宇依院宣被奉修此法之時先被尋仰云  
所相承者曼荼羅之樣歟將黑佛之樣歟  
早可進折紙云兩樣折紙共彼進覽之

處重被仰下云兩方樣皆以神妙也但有  
被衣思食之旨付黑佛之樣可令修之云  
仍付件樣被修了上皇自本於黑佛殊依  
被信思食鳥羽殿被安置丈六像歟云  
或記云六字天事觀智律師令謁範俊僧  
正之次件天像由來問之僧正應答云大  
師其秘樣歟云此等大師相承之由深  
初從他門圖像許被尋出之者仁和寺醍  
醐流何修行之畢  
不動大威德事  
口云貞觀寺經藏有種子曼荼羅御筆中  
尊金輪六觀音圍繞也無不動大威德寶  
鏡天等像觀宿俗都圖有之觀宿尊師御  
弟子從貞觀寺次第相傳之歟亦尊師口  
傳歟  
間不動大威德用之其意如何 答聖無  
動尊一字出生八大童子祕要法云或降  
三世菩薩降天魔及三世貪瞋癡或軍荼  
利菩薩調伏常隨魔謂是邪夜迦及人魔  
或煩惱魔特調降伏龍魔及諸惡魔或金剛  
夜又調伏鬼魔及無智者如是種種不可  
具說不動明王恒隨行者若天那夜迦  
若龍若鬼所作障礙一時消滅文大威德  
者降惡敵不動總伏四魔故用二明王也  
猶兩尊軌有證據也  
合掌天子教天等事  
儀軌云內外供養男女諸天扶衆供具定  
惠樂天奏諸音樂供養諸尊文是教天等  
供養諸天也

本尊多說事

一聖觀音  
世流布經云以觀世音觀照我身觀世音  
觀照我身憐愍我故即說呪曰文呪略之  
請觀世音菩薩消伏毒害陀羅尼經云  
此中往有六字章句之詞等安然總錄  
以六字經等入諸觀音衆也儀軌中心觀  
自在菩薩及蓮花部聖衆皆在中云云驗  
石山道場集厚雙井薄雙紙等依此  
儀軌文以聖觀音爲本尊通滿諸流用之  
也  
或云以正觀音一體爲本尊事有之付之  
有祕事正觀音面忿怒開口怒牙形貌可  
觀之降伏怨家入忿怒三昧地形也事相  
祕事口訣者付六扉事法不改當體達悟  
理體之實相故爲祕事口決也是仁和寺  
一流祕事也諸流無之最祕忿怒形三毒  
同時斷行位也呪咀怨念源自三毒起然  
而三毒源彼起一念迷心而彼觀音大悲  
妙行諸佛內證作業開悟之成想親平等  
何有怨敵乎皆同住理智究竟大寂涅槃  
妙理也如此深存之時時不廢忘也云  
一曼荼羅  
勝語集云六字曼荼羅事貞觀寺經藏得  
之

曼荼羅





或云云云云云云云云云云

大正觀音印言

二手內繞右大指直立、勿著頭指之側

或六觀音音用之云

正觀音印明如前或

祕印

二羽外繞二頭指如蓮花葉、真言如上

千手蓮華五股印

二手合掌、二無名指二頭指端立交、少屈

二中指如蓮葉圓、二小指二大指張立

或八葉印、真言如上

馬頭

二手合掌、二頭指二無名指屈入掌、各相

背並二大指微屈、勿著頭指、如口形

十一面

金剛合掌置頂上、成本尊身

口云、今此印深叉也、祕祕說也、十指與

行者面相具成十一面也

准歷

二手內繞立合二中指、屈二頭指附二中

指上、簡開二大指附二頭指之側

或云云云云云云云云云云

如意輪

根本印

虛合、二中指如蓮葉、二頭指作資形、四處

加持、真言大呪

心印

如前根本印、但二無名指二小指外緣、加持

心心中心印

外繞立合二頭指如寶形、二大指並立、二

無名指立合、二小指以右押左立交、四處

加持

如意輪印言三種共用之也

次觀宿傳印

口云、此印名根本印、或觀音印也、陰陽師

云、反閉印也、祕云、此印名輪印、輪有摧破

義、故能摧滅呪怨忿等也、印形表六幅

輪、是六觀音之義也、推六道衆生之六識

戲論妄執、令得六自在、王清淨功德、故結

六幅輪印也、兩手和合理智不二、故金輪

也、亦二手中空相捻、二輪是日月兩輪、即

金輪體也、自餘六指是六觀音也、或此印

六輪者、二手各夫空相捻爲二輪、以右水

地如次押左風水亦爲二輪、右風押左掌

左地押右掌爲二輪合成六輪六觀音也

問、裏付云、觀宿印、此印無所本書、是非

本師相承乎、答、文泉云、觀宿明仙傳印

共或經說也云

仁濟云、陀羅尼集經阿彌陀輪印、左右手

以二大指各捻無名指頭、右押左、當心文

以此印名輪印、觀宿僧都傳名輪印、其印

相是同也、頭指掌中サシチカヘルハ口

傳也、六字者六觀音仍以彌陀部主印用

六觀音總印、顯得其道理也、更以彌陀輪

印甲六字印傳有之、大御室御傳也、其文

云、左右手各以大指押水指甲、定手仰申

惠伏也、覆相付觀宿抄、按存此道理者、歟

如何可思之、件輪印中指中指捻說也、無

名指捻最祕用部主印事、祕也已上

口云、次第注云、口傳左右大名捻、以此

爲深祕、此印形見裏付、此印殊爲習也、

其故彼集經說也、即黑六字第一手所結

印、二手各以大指捻、無名指左、右手各

別重之、不相付、今世間所作之形像、祕彼

印水中、空中、不令入指也、是則以本佛輪印

爲此尊印也、今大與水捻水中、空中、令入指、

別口傳也

仁和寺流、以是爲本、依經說故也云、

報恩院僧正云、觀宿僧都夢中所感得之

印也、仍說所無之云、

覺禪云、口傳云、以右大指捻右無名指頭、

以左大指捻左中指頭、左手仰掌、右手掌

覆、右頭指入左大指中指間、又以左小指

入右無名指大指間、以右小指左無名指

頭押、以右中指左頭指押也、口傳也云、

私云、此印水、火兩樣之習、共結顯一印

歟



又云若有人書寫此六字大明陀羅尼則同書寫八萬四千法藏而無有異若有人以天金寶造作如微塵數如來應正等覺形像供養所獲果報不如書寫此六字大明陀羅尼中一字所獲果報功德又云念此六字大明陀羅尼者是入當得三摩地所謂持摩尼寶三摩地廣博三摩地清淨地獄傍生金三摩地金剛甲曹三摩地乃遠離貪瞋癡三摩地<sup>如坐第一等六</sup>六觀音者六觀音別別真言也結緣者不結阿闍梨此時承仕取之渡伴僧中結之經者阿闍梨讀六字經也

護摩事

就息災修之者初火天段如常

第二部主段

觀想心月輪中有<sup>或</sup>字變成八幅金輪變成一字佛頂輪王身黃金色住法界定印印上有金輪以微妙莊嚴飾其佛身坐日輪蓮華臺印內轉立合二中指屈上節如劍形並立二大指屈二頭指合端置二大指上真言曰

歸命

大取一華投爐中成蓮花上有<sup>或</sup>字成八幅金輪即成一字佛頂輪王身黃金色住法界定印印上有金輪以微妙莊嚴飾其佛身

次召請印

真言曰

歸命

次四攝印

諸供物真言

歸命

撥遣

結指印

送之

歸命

第三本尊段

自觀

心月輪上有<sup>或</sup>字變成蓮花變成正觀自在菩薩身青白色頂上戴無量壽佛相好圓滿項背有圓光左手持蓮花右手施無畏

印結被甲印加持四處真言

印結被甲印加持四處真言

爐中觀

召請印

次四攝印

諸供物真言

諸供物真言

諸供物真言

諸供物真言

諸供物真言

諸供物真言

諸供物真言

諸供物真言

諸供物真言

諸供物真言

諸供物真言

諸供物真言

諸供物真言

諸供物真言

諸供物真言

諸供物真言

自加持 金輪印明如先

爐中觀

召請

大鈎召印

諸供物

一字呪加息災句六觀音呪各加息災句二明王呪各加息災句

撥遣 印彈指真言

第五世天段

七曜二十八宿後明

養真言供之是呪咀神等也就調伏修之時

第一火天段如常

第二部主段

自觀

心月輪上有<sup>或</sup>字變成棒或變成大威德明王六面六臂六足身乘青色水牛持種種器杖以獨體爲嬰珞其身青黑色無量由句遍身火焰如劫火燒炎根本印內轉二中指直立合真言曰

召請

心印如前根本印舒二頭指屈如三戟又以右頭指三指之真言同前加召請句四攝明

供物 同真言 加調伏句

供物 同真言 加調伏句

供物 同真言 加調伏句

供物 同真言 加調伏句

供物 同真言 加調伏句

供物 同真言 加調伏句

供物 同真言 加調伏句

供物 同真言 加調伏句

供物 同真言 加調伏句

供物 同真言 加調伏句

供物 同真言 加調伏句

供物 同真言 加調伏句

供物 同真言 加調伏句

供物 同真言 加調伏句

撥遣

准召請以右頭指三撥眞言加撥遣句

第三本尊段

自觀

心月輪上有衆字變成大刀變成六字

觀香身頂戴猿冠形色青黑其足六臂

左右第一手俱作三股印左第二手

三戟叉右第二手持大刀左次手持月

輪右次手持日輪調伏怨家成就萬願

形也

自加持 印被甲三股印眞言曰

何心何心何心何心何心何心何心何心

爐中觀如自觀

召請

前被甲印以右頭指三招之眞言同上

加召請句四攝明

供物 同呪加調伏句

加持物呪 全同呪也 同觀念伏法

撥遣 准召請以右頭指三撥眞言加撥遣句

第四諸尊段

自觀

心月輪中有衆字變成如大威劍

五股三股棒牙鉤 變成五大明王形

像如常

印五大尊各別印明

或外五股印慈救呪

召請

大鈎召印明或外五股印以右頭指三

招之眞言慈救呪

供物

五大尊各眞言加我我我我我我我我

供之但不動

撥遣 准召請以右頭指三撥眞言加撥遣句

第五世天段

但七曜二十八宿畢加供呪鬼神等普供

養眞言

同末尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾

同末尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾

同末尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾

同末尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾

同末尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾

同末尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾尾

如是普供養言末加誦之可供之歟

白寶口抄 六字經法下

燒三類形事

口云三類形各七枚重之紙細切結之書

面仰上先人形其七枚其上天狐三結

重上入小土器亦小土器不覆蓋落故只

重樣可置之也右脇机頭方向外或此頭

儀臥也或不定之云護摩了未置鈴杵不

滿大金剛輪呪以前先取蓋置脇机乍土

器取之置金剛盤上三形向爐方也如次

第加持但不結印只慈救呪并大威德大

呪各百八遍滿懸也次以獨股誦降三世

大呪二十一遍加持之加持畢乍土器置

爐左方也緣上以箸挿彼付爐火入本

器本尊呪誦何何何何何何何何何何

交へテサチアル也本燒本燒之覆蓋不

令散每時用同器燒加前灰也此灰取少

計送結線時相具送施主和湯令飲之也

自元海時不送之故當流不送之由可云

也餘流猶送之歟但仁和寺流不送之爲

師傳也今次第送禮越令服之由有之是

本樣也

燒彼觀念事

儀軌云先燒天狐次燒地狐次燒人形能

內護摩投爐非是損人身斷其命根但爲

燒滅其所作惡事不令成就消滅彼種種

不善貪瞋癡爲本所起妄想分別之垢不

復動作也。心懷慈心。能應觀緣內護摩儀也。作調伏法。慈心為先。內無慈悲。自損損也。不識佛意。何堪護摩。思之燒了。  
第二云。觀相一切衆生。依作業輪迴淨除。此業得解脫。灌頂名。  
此決云。得解脫。灌頂名者。有二意。一約所調伏之衆生。謂淨除輪迴業。彼衆生得解脫。灌頂名也。  
秘密集云。觀念汝等。依煩惱業障久沈淪生死。為人作惡。今以正觀智火燒貪瞋癡三毒。如此觀云。

解脫者。三點中。解脫三部中。佛部也。各舉一類。二灌頂者。秘密記云。灌者。諸佛大悲頂上之義。菩薩初地乃至等覺。究竟還妙覺時。諸佛以大悲水灌頂。即自行圓滿得證佛果。是頂義也。又故知所伏衆生。顯三德祕藏理。至究竟果滿位之義也。二約能降伏之行者。謂行者發菩提心。住大悲心。調伏違背菩提心輪業。是諸佛之行。故云。爾也。故小野僧正護摩達摩云。調伏者。凡住大威怒。斷煩惱障名也。行者。為願無上菩提。修三摩地法時。天魔鬼神等。悉滅自界。令彼退還。此故內發大菩提心。住大慈悲。心外現猛惡威怒之形。調伏違背菩提心。  
口云。灌頂者。等覺位之異名也。仁王經云。普賢甘露法燒三類形之三毒變灰。故云。解脫。彼灰和平等水。令服施主。故云。灌頂。是變毒成藥。故也。又解脫者。三解脫門歟。

灌頂者。三種灌頂歟。具如祕藏記矣。或傳云。解脫灌頂者。法身理也。故一切衆生。法身理令契當。為調伏怨家也云。

問。調伏怨敵等。斷衆生報命。非背菩提心。并慈悲心乎。所以又於大悲門中。尤宜極致。令其安存。是龍樹論釋。故爾者。如何。

答。理趣經云。設害三界一切有情。不墮惡趣。文。理趣釋云。由貪瞋癡。為因。受三界中。流轉。若與理趣相應。則滅三界輪迴。因是故。害三界一切有情。不墮惡趣。為調伏貪等。三毒也。故得連證。無上菩提。此文思之。

問。斷三毒。不墮惡趣。大小通滿之定權實。大同之習也。何為規模之說。就中又遠祕宗起盡乎。答。或人云。調伏邊設害衆生。不墮惡趣。為理趣。所謂害衆生。報命時。斷斷貪瞋癡。殺彼理趣相應。故不墮惡趣也。故釋相符。云。木橋義云。貪等煩惱。是生死相續。業因也。斷彼生死。自總業。因亡。果報可滅。故知斷業。因施生死。連續。是設難害衆生。與理趣相應。故速得菩提也。為言。

私云。後義為勝。願菩提行歟。問。斷三毒之時。報命又息。死人外。衆生并行者。又可被害。無明一故。爾如何。答。龍樹釋云。無明雖一。相續別。故斷及不斷。各不同。文。可思之。

問。若爾。既怨親。若別慈心。偏頗。何云大慈。答。御口云。調伏法。是轉不可修。深智所行。淺智何修乎。六字軌云。作調伏法。慈

心為先。內無慈悲。自損損他。不識佛意。何堪護摩。思之。燒了。此中有味。深思當見。而已。

又後三條院。令成尊僧。都修調伏法。給字治殿。相連。聞此。由給ツフヤカレケルハ。於戲。御願成就。則某成佛。無疑者歟。云。

誠。殊勝名。言。諸人感心。美慈心。為先。軌文可思之云。

私云。慈悲。普通。故反。可有自他俱損之失。怨親差別。故又可無平等慈悲之儀。進退。惟谷。佛意。何側。然。談論之者。相不礙性。故。慈悲。普及。性。不礙相。故。怨親。亦分。例如。以。性。平等。義。取。衆。生。命。而。依。相。差別。義。斷。諸。佛。故。通。法。釋。云。相。不。礙。性。故。見。一。味。性。不。礙。一。多。自。在。文。故。知。准。彼。以。知。性。相。無。礙。一。多。自。在。文。故。知。准。門。又。云。知。佛。意。歟。此事。欲。談。則。佛。意。難。測。欲。默。則。觀。念。難。辨。愚。案。謬。錯。歟。賢。暫。判定耳。

御自筆云。又一義云。護摩攝云。大日如來為衆生。常恒難修護摩。何一切衆生。不蒙利益乎。取。答。以。自。智。力。可。成。就。不。可。依他。智力。云。取。答。自。業。自。得。義。歟。又。問。然。大。日。護。摩。有。何。力。用。哉。云。取。答。答。僅。切。生。死。中。適。發。大。菩。提。心。是。其。力。也。云。又。問。然。凡。夫。阿。闍。梨。為。施。主。修。之。見。有。隨。分。益。如何。取。答。

謹。已。背。自。業。自。得。義。歟。答。大。日。護。摩。第十一。云。行。者。自。心。無。垢。障。故

即有大勢力能又爲衆生隨分除障。而彼我無障。因緣故。即能隨事成就也。文此答者。初重問答。大日護摩。非自智力。故無益。今又依行者。自心無垢。勢力隨分得。益云。前後已相違。何感應之。因緣之。由私加料簡也。尙可尋之。若依此義。以感應之。因緣。一人怨家之外。不得滅罪。命盡之益。雖然。若人俱損之。難怨親差別之。失可遣之。歟。但此文不出性相互不礙義。歟。通法釋。誠肝要。歟。請加取捨。矣。又一成一切。成已成。如來知見。理具加持。成佛分齊。歟。今義又准之。可料簡。歟。如何。已上。

延命院誡云。依小緣。莫修三角法云。問。非未覺分者。何故如種。來四種法中。說調伏法乎。答。演密六云。誡。息災。護摩。先須作降伏者。謂若不先作降伏。祕爲類。邪耶等。所謂難。故也云。疏七云。如是等字。義類。當知是忿怒等。諸奉教者。眞言可作降伏。攝召。用如說。敬食。義者。敬食。謂令諸忿怒等。吞滅一切。毘那也。迦之類。果如所言。諸佛。則有殺衆生罪。今此宗明義。所謂毘那也。迦。則是一切。能爲障者。此障皆從妄想心。生若能敬食。如是重障。使心目開明。當知是名。眞忿怒者。以此。依字門。敬食。一切衆生。障。如是。如來所使。行如來事。餘以類推之。可解也。文。

理。經釋云。若有人聞此理。趣受持。誦誦。設害三界。一切有情。不墮於惡趣。爲調伏。故

疾。證無上正等菩提者。害三界。一切有情者。由貪瞋癡。爲因。受三界中流轉。若與理趣相應。則滅三界輪迴。因故。害三界。一切有情。不墮惡趣。爲調伏。食等三毒也。故得速證無上菩提。是故。如來。密意。作如是說。文。

問。依此義者。調伏。煩惱者。實調伏。有情義。無之哉。答。有之。太賢。師梵網經疏引。論云。若菩薩。若見。欲作重罪。發心。思惟。我若斷彼惡業。命當墮地獄。如其不斷。彼罪業成。當受大苦。我家殺彼。罪落迦。迦終不令其受無間苦。如是。於彼。或以善心。或無記心。知此事。已。爲當來。故深生。慚愧。以憐愍心。而斷彼。命。由此。因緣。於菩薩。戒。無所違犯。生多功德。此。關。煩惱。故。無。違犯。意樂。善。故。生多功德。文。已上。

底里三昧耶。儀軌。下云。若欲令。燒。設。都。嚕。學。者。取。稻。糠。燒。當。燒。之。時。想。聖。者。以。索。縛。彼。捨。都。嚕。將。向。南。方。困。苦。吐。血。彼。等。族。類。皆。得。存。也。文。

大威德軌云。若有惡人。怨家。於。善。人。起。惡。願。意。相。厄。害。者。作。三。角。檀。安。像。壇。中。壇。底。畫。彼。人。形。或。書。姓。名。結。劍。印。忿。怒。勵。聲。日。三。時。念。誦。一。七。日。其。惡。人。或。患。惡。疾。或。患。惡。瘡。或。身。衰。減。文。

又云。像。前。作。三。角。壇。取。黑。泥。作。設。都。嚕。形。作。臥。於。腹。中。著。臟。腑。又。取。臟。骨。作。像。五。枚。長。六。指。一。一。概。各。誦。咒。言。一。百。八。遍。以。蠟。針。左。右。二。肩。二。腋。針。兩。臂。一。針。心。上。○。其

設。都。嚕。即。患。病。吐。血。而。死。文。

私云。設。觀。囉。者。怨。家。名。也。

問。此。等。文。即。斷。生。命。如。理。趣。釋。者。斷。三。毒。不。墮。惡。趣。者。何。爲。經。威。力。乎。如。何。答。理。趣。釋。意。者。三。界。有。情。以。三。毒。爲。體。故。現。害。三。界。有。情。與。理。趣。較。若。相。應。故。云。不。墮。惡。趣。也。凡。如。此。理。趣。者。皆。是。有。隱。密。之。意。故。轉。不。可。加。得。判。但。初。述。師。說。者。若。有。惡。人。由。貪。故。發。墮。墮。速。發。願。悲。故。說。非。法。惡。癡。行。既。爲。入。地。獄。是。持。眞。言。者。其。心。地。善。順。而。與。眞。字。廓。然。較。若。理。趣。相。應。故。即。爲。彼。發。大。悲。心。能。令。教。道。猶。以。不。休。者。即。奪。命。不。令。成。就。重。惡。因。故。此。惡。人。不。感。極。惡。之。果。於。異。時。由。結。緣。故。漸。至。菩。提。也。仍。此。眞。言。者。依。大。悲。心。故。不。墮。惡。趣。云。

深。祕。云。一。切。衆。生。雖。三。毒。爲。體。現。非。害。生。命。一。切。衆。生。三。毒。煩。惱。即。成。降。降。三。世。五。無。戲。論。之。曼。荼。羅。滅。流。轉。之。業。忽。入。常。住。寶。所。此。是。三。毒。即。三。轉。三。部。三。身。等。也。例。如。瑜。祇。經。云。惡。人。惡。天。衆。悉。投。爐。中。燒。者。唯。是。滅。妄。執。實。非。害。生。命。也。於。斷。三。毒。故。不。墮。惡。趣。者。何。爲。經。威。力。難。者。有。淺。深。二。會。釋。淺。略。現。害。生。命。由。經。威。力。不。墮。惡。趣。深。祕。三。毒。即。轉。成。心。內。三。轉。之。曼。荼。羅。故。都。無。惡。趣。事。也。此。等。惡。不。二。之。實。證。即。理。趣。較。若。之。威。力。也。不。同。彼。雖。有。惡。趣。由。經。威。力。不。墮。之。淺。略。之。料。簡。也。云。

問。天。狐。鴉。地。狐。即。孤。也。人。形。是。怨。家。故。燒。之。尤。可。然。天。狐。地。狐。今。非。所。敵。境。界。何。燒。

之乎 答爲人作凶害物也故彼所對怨敵同心仍同害之也

問爲人作凶害同心成災厄自身亦可同心何燒之乎 答遂安凶惡同與凶惡一意也今修此法是實道修行也故彼凶徒等動障道魔群也故彼怨敵邪心一同作凶惡故同燒之可對治也云

### 作三類形事

儀軌云相應物者天狐七地狐七人形七各以麵染樂作之紙莫示他人誦密自設少許麵作之又以墨書著其呪咀怨家姓名若不知其姓名者亦不知字注其在家乃至園鄰其宅其焚和毒藥男女形隨今口云本法麥粉染樂和毒藥男女形隨今

怨敵造其形也只指怨敵無之時行此法通相著僧子圖形作之此形通男女僧俗故也今次第圖如此近代作摺形木以紙摺用之或書之其寸法入小土器長不餘程二寸四分許歟少滿宜三類形各長二寸許歟正時取之三引刺之燒之廣深流同之也

凡燒三類形事不限此法餘調伏法同燒之也但五壇法雖修調伏無三類形作法也  
文仙房云口傳云天狐形腹上背天字地狐人形亦爾阿世美等葉摘以其汁和麵可造之其後描黑芥子其汁塗三類形上或松葉汁書云或云以小麥粉平以板作三類形刻之又丸可造之近來通以紙

刻之或以唐立葉刻之用之塗毒汁毒者阿世美葉附子細春和鹽新別作小白可春和之葉用附子細春和鹽新別作小白可

形摺紙畫紙阿世美葉練木葉汁爲硯水也又書怨家姓名等同可用之也云  
厚雙紙云或云作末怒沙之法以諸人往還之地黑泥和毒藥等作之腹裏驢糞以朱墨題姓名云三類形○燒之有多口

傳依纂取要略抄之  
加持形之時其用眞言之終加一字眞言云次加四字明次稱末怒沙號次加拾都喇吽也次加破壤言云次字也後稱婆羅門結句印也

次召罪印眞言摧罪印眞言結誦之次以降三世印言加持之後燒之先天狐次地狐次人形或傳云三類形各三枚燒火天段各四枚燒本章段文但隨便宜各七皆本章段燒之能云已上  
常壽院云三類形燒作法印抄云先取天

地人形各三枚入合掌中屈進力與呪來三遍是召罪印明也起大悲慈想進力端各有懷字變成劍形一切有情及自身罪障召入掌中黑色如雲霧衆多諸鬼神即不解印進力召之一誦弱進力人掌一誦吽六指內縛一誦鐺次摧罪印明不解印願中如針觀獨股杵身及成降三世明王心起慈悲想頭端有恒羅字忍端有卓字從字發生火焰夾取後罪障摧破焚燒以忍願三拍吽字一拍恒羅

字一拍吽字一拍次護身定羽把三類形惠羽執杵誦本章呪左右轉杵除結果引切謂降伏呪前後三度投火呪曰

次取芥子誦大口五字眞言呪火一遍上形又天形三枚及地形三枚作法不誤如前人形或人取三類形結召罪印先誦四字明而後誦召罪呪也

或說云燒三類形事祕不可跟六字護摩一切護摩之百八乳木次燒之也加持次第先以箸夾三類形此頭並置火舍跡金并解上天地人如次並之但若依人有障人狐爲初若依地有災者地狐爲初若依天變天狐爲初次潔淨三度次取獨股杵不動慈救呪若三度次大威德呪若三度

次大鈎召印明眞言終加怨家姓名三度召之次四攝印明眞言終加怨家合三類形也次召罪印是召集怨家并一切衆生三毒怨念之罪障令人金剛縛也次摧罪印明是摧破彼三毒怨念之現行令捨邪見心歸正直道也次降三世印明斷彼三毒怨念之種子令得解脫也次夾三類形置爐火中或土器中燒火結刀印誦依知呪加持次六方結印等口傳云今以刀印切之者

左方所立大刀可切之又六方結弓箭本尊右方所立弓箭可觀之如是以大刀壓橫橫三毒切拂之以弓箭壓食橫三毒射拂之以爐火壓橫橫三毒燒拂之爾時豎

怨家三毒之習氣橫十方衆生之三毒變成本尊大定貪智 癡悲 三德自他平等歸法性之理成施主大悉地也云云

燒三類形之時觀云一切衆生依作惡業輪迴生死淨除此業障得解脫灌頂名云

弓箭事

口云三類形燒畢取爐前右邊箭筒桑弓東南西北上下如次射之也四方引施大慢射立或壁等也射後方時自左方ネテ向ヒテ後方大慢射立也本尊方奉懸本尊左右何便宜方射遣也上方天井射立之若射立タラバ至七日置之多分不立也落チタラバ取之入爐燒之也下方禮盤與壇間板敷射立也或左脇机與禮盤間射也六方射間眞言何云呪也各一遍敷此射料箭七隻也今一隻箭留具弓置之七日之間不動一隻通用今六隻時別編置也六方射箭時畢承仕拾聚燒爐火也報恩院僧正被修時伴僧滿之云又口云眞言觀六方射爐中也仁和寺流多分此式也又儀軌云射天井許餘方射由ニテサテアル也云云

問此六方射事其意如何 答射六方鐵結之義也餘流云六方結也凡射六方時可想諸鬼神怨家障難射拂云或云小野正說護摩了射或本九箭箭如是三箭射爐中三類形是射拂彼三毒之習氣也六箭射六方射拂諸方無邊之諸障難也或云射時可想施主怨敵射拂云

華箭桑弓事

孝經云男子初生則使人執桑弧蓬矢射天地四方文

抱朴子云山中見夷若但聞聲不見形呼人不止者以白華爲鈍以刺之即去文又

云山中鬼常迷惑人惡人使失道住者以華枝打之即死文

以此等文爲準許云云

結線事

儀軌云用線法白線十四條爲一繩七爲一片兩片十四條右合爲繩三尺五寸爲法師以三尺五寸爲百結其線不足以四五尺亦得也師向鬼門彼向人門以糸繫病人無名指男左女右 師繫右無名指不論男女之別百遍一結萬遍百結以其結線如經所說可著病者之身文六字神呪王經云以白疊繩手投其繩誦呪七遍一遍一結若有官事被言若有鬪諍若有呪咀及一切衆惡悉皆滅之呪訖此繩繫著其人淨衣帶中文驗記云以五色線作索誦六字呪眞言一座七遍誦一呪一結誦呪合三十六結說了採結線繫其甲頸云口云先白糸長經三尺五寸謂片方往復七筋也手本爲初糸不切亦片方往復七筋也手本爲終都合十四筋先左糸綫之合也伴僧中可然人綫之也其糸勢如珠數緒今少太極近遍結吉也又云祇師向鬼門 亥寅 彼向人門 未申 若施主來有志者如本說可綫之不然者伴僧中綫之

也近來必不定十四筋只綫立繩太勢分可許之也綫時誦本尊呪也糸三尺五寸若短五尺許經之綫之其長短可相計也如是二十一條筋之也每時糸一筋宛之裏紙上下押捻大阿闍梨左脇机置之臨護摩時承仕取此糸置結線伴僧前伴僧本座作坐大阿闍梨入護摩之時結之也結糸有二樣一自中先結始片一方端結了亦自中今一方端結了也二左右端中結合也結時左手取糸右手手指頭指間彈珠數記數以頭指大指兼相筋自前向外引出結之誦本尊呪一呪一結只一結一結無隙結之結樣無子細只常比土和計結也假令 如此也總百八結也結畢如本裏紙前經机置之阿闍梨取之以紙要如童子經封上下書封中可書云如是特別七箇日間二十一也結願時後總入折機居折敷送施主許令持護也

問持者當流如何持之乎 答入施主帶持之又只置之也云或生氣方埋之也云授心鈔云伴僧中知法人一人結線役可勤仕云慈尊院流時別五遍一遍結三時十五遍結願時八結也都合百八遍也糸長三尺五寸云口云廣澤流大旨一筋結之也又云若供修之者置伴僧一人散念誦中間令結線也作法如前云近代不以細長線傳授集一云結線作法



取片端一度誦呪振鈴檀越取片  
端懸無名指一結如此滿百八結云、又  
每時如前可結云、振鈴者行者示告檀  
越令知結緣之義也又施主若在遠處或  
重病者與自結若伴僧結之云、  
遍智院說云若施主在遠所或重病者自  
結若伴僧結之送云、

私云此兩師同義也

小野僧正上東門院御祈令行給每時結  
振鈴其聲聞食檀主令結緣給云、  
師抄疏

之有

私云施主自結緣也

解線事

口云寬信云結緣延壽義也云、師說結  
龍怨家義也本說結緣後有解線作法也  
此則怨家結龍降伏後免之意也但近來  
不用此作法也或云用白糸事息災色也  
又染色故用之結事呪呪神等結龍令不  
作惡事義也百八結諸惡事以百八煩惱  
爲根本故也解線降伏後免除除義也云、  
兼意云施主所願成辦了更備香花等三  
禮答白師自解之檀越儲齋會等云、糸  
埋生氣方近來不行事也

伴僧事

口云三力金後佛眼呪振鈴以後讀經也  
凡仁王經孔雀經法華經等御修法經卷  
軸多故三力以後伴僧讀經六字經小卷  
故振鈴後始讀經也其聲色常法花經等  
讀聲也誦不誦之經人別計讀之伴僧持

參經先經軸長上下等同重杉原二枝切  
之自片端卷經二枚卷口二分計成程紙  
疊結中片結シテ端、サシテ懷中及讀經  
時赴取出前必置燈臺一本機一調安此  
機解結緒押開卷紙結緒下如本機數取  
經解紙自外題上引越末內垂也亦紐其  
付通內グル、トカイツテ表紙卷  
樣アリ讀經過數三卷歟但隨流有多少  
也經讀了如本卷之結紐前裏紙乍置上  
一枚自奧向端一卷二卷經卷隱端方如  
常机乍開數置之也又只經二枚間安置  
之也如是七箇日間安之結願時亦如本  
卷之結帶懷中歸也

又至護摩諸尊段程時六人各令滿六觀  
音眞言人別主一觀音呪但六人伴僧時  
臨護摩時一人結緣餘五人六觀音呪人  
別主一觀音誦之今一觀音呪殘一人所  
殘觀音呪兼帶誦之也一字金以後誦一  
字呪也如常  
又云安祥寺流三力以後六口伴僧各經  
三卷次六觀音呪自一座次第各滿之  
也一字金打一字呪誦之云、  
又云或流三力金以後六口伴僧各六卷  
都合三時百八卷也但一字金不打又不  
誦佛眼本尊等呪也云、

御加持事

口云時終阿連梨卒伴僧至施主之所加  
持但此法難調伏不用白聲念誦聲誦之  
也或白聲誦之歟云、

祕訣云問或書御加持或書後加持正不  
如何答後加持爲正御加持常字也  
木幡傳云行法終用之故云後加持持  
主故云御加持二俱用之云已竟義也云  
敬施主義有之但是當字之時會釋也云、

壇場莊嚴事

六字儀軌云唯壇邊禮盤之外設一高座  
壇高座上三壇邊盤外立高座近來不  
爾也小野僧正爲上東門院御祈被修此  
法時用此作法其以後不爾也建四肘壇  
一肘一尺六寸四肘六尺四寸方壇也雖  
爾常六尺也調伏盤三角壇是放智火之  
猛焰焚煩惱之稠林火輪之形三角故壇  
亦三角伏出世之魔軍滅世間之怨敵無  
過此壇南火方故向南方行調伏此意也  
祕藏記云調伏法取黑月日日夜半起  
首行之不得三時行若急速者不論白黑  
其火曜星宿等尤吉行者面向南方踞居  
以右足踏左足上即觀自身遍法界成青  
黑色三角曼荼羅○又想追彼惡人於  
身壇上放大智火燒清我身中業煩惱及  
彼惡人貪瞋癡并所作惡事彼此平等蒙  
法利益獲得長壽福樂云、  
壇圖流異說多多也當流許口訣了四  
角擺用常須新古共不苦微擺穴付立  
板敷也若用腐俣先脫也爲居立簡但不  
立板敷成短故也五色糸四角擺羽下纏

之也鳥居如例纏上五色懸竿也是眞實箭也

爐迴弓箭桑作弓長一尺二寸絃葦ニテ青染張之箭蘆長六寸或五寸以紙爲羽破爐也尻フツ切スル也弓一箭七アミクシテ置也置樣弓絃向爐方置之箭行者右方爐傍寄向佛身尻向行者方次第三連置之又行者左方爐傍弓箭寄向行者方尻向本尊方三連迴爐次第置之也此自開白至結願通用結願破壇後承仕取聚入爐火燒之也

爐前行者右方橫置弓箭弓絃向爐方末向行者右方本向行者左方箭同置之箭尻トクヘシ爲射立也是六方結料也アマズシテ只置之本尊左方立弓箭眞實之弓箭也自施主方送箭六隻竿上尻上寄立壇外也不編別立之或竿向上立之也弓不張之其子細裏付在之但以張爲習歟

大刀差鞘倒板敷上壇外寄立之也此自施主方送之此弓箭大刀結願後大阿闍梨取之也又供時射六方弓箭傍弓箭不用之亦稱鳥居箭同不用之普通稱鳥居也但本尊左右前眞實弓箭大刀供時用之也最略又無之三類形六方結等不用之結線用否住任意伴僧一人結線許用之又阿闍梨自作之也

又護摩三類形結線方結等作法皆有之壇場亦同法無伴僧故結線阿闍梨作之

四面華阿世美葉用之凡如常護摩壇辨備供具也

乳木蘆箭尻方フツ切シテ皆紙蟬也微妙物鐵木タプス 芭蒲根ニテ 酢鹽引 生鹽同入合先置左脇机上裏之也 更人不知之也三類形燒了以大威德呪加持和芥子燒之以約供之

問器物如何 答白瓷等也以小土器等爲蓋裏紙置之

藥種 鬼臼鬼箭附子 射干等也盛華 切華立花等皆阿世美也

檀木 枳蘇等皆有毒木也名香 小野僧正頌云息沈增白降安敬蘇云白者白檀也安者安息香也蘇者蘇合香也故今可用安息香也但沈香檀通用四種法無失也

觀宿僧都圖事

口云觀宿僧都者尊師御弟子眞雅入室也此圖曼荼羅根本貞觀寺經藏本也故自貞觀寺次第此相傳歟

十卷抄云貞觀寺經藏有種子曼荼羅中央云字從前右匝云云六字也是聖千手馬頭十一面准底如意輪種子但馬頭種子疑是云字歟胎藏馬頭種子云云二字隨一用之以爲種子之條未見本說成尊僧都自以貞觀寺本所書寫本紙一枚有種子七字先年於勝覺寺正壇所披見之更無不動大威德月輪天等像云

西院云曼荼羅中尊金輪六觀音圍繞貞觀寺經藏有種子曼荼羅筆中央云字從前右匝云云六箇字計也是聖千手馬頭十一面種子云云准底如意輪種子也但云字是馬頭種子歟恐云歟件本無不動大威德寶鏡天等像云以此等思之觀宿僧都圖者彼御筆之曼荼羅不動大威德鏡天等像觀宿被圖加云不勳中尊釋迦金輪所變身大威德觀音教令輪也共怨家降伏尊也尤此法相應也壇上置鏡事

祕密集云仁和寺芳源阿闍梨壇四角置鏡被行之今不付之只曼荼羅書也云一祕密鈔云印阿闍梨云鳥羽院御祈修此法之時不置鏡自有御尋今度不出支度者也云平等房先年置之修云蘇摩呼經下云先取其鏡以梵行婆羅門護摩之灰指拭令淨七分八反乃至十遍即時置於曼荼羅內處中仰者鏡中即現世出世事文先德以此文爲准例也

呪眼主被知者全不叶故後照鏡知意也可意得心也

鏡觀音三形亦是相應也裏付在之是世出世嚴軍怨敵形爲令現圖鏡之面次第出沙門藏王執者是沙門軌也其文可知祕決云釋輪論摩事對治中立嚴具圓珠有無門遮彼意云外道定力不思議既現佛菩薩諸天微妙身何莊嚴中不現現然不現彼事鏡珠中實形現彼故且不現

也云。准知中間石上安圓鏡。良有以也云。

或云大國作法入深山時用方尺鏡其面現惡影形仍見自形惡心自然退失以此義本尊前位置呪呪神等現自像見之威神自落也又海中山上表堅固不動之心形也海表深廣無邊之義山上表堅固不動之義鏡有萬像顯現之德諸施主心如山海深廣堅固故惡鬼不得便鏡是觀音三形也諸毒鬼於隱形而其形浮鏡見自形必退散云、迴小月輪六體天形中以梵字書其名、**𑖀𑖄𑖅𑖆𑖇𑖈𑖉𑖊𑖋𑖌𑖍𑖎𑖏𑖐𑖑𑖒𑖓𑖔𑖕𑖖𑖗𑖘𑖙𑖚𑖛𑖜𑖝𑖞𑖟𑖠𑖡𑖢𑖣𑖤𑖥𑖦𑖧𑖨𑖩𑖪𑖫𑖬𑖭𑖮𑖯𑖰𑖱𑖲𑖳𑖴𑖵𑖶𑖷𑖸𑖹𑖺𑖻𑖼𑖽𑖾𑗀𑖿𑗁𑗂𑗃𑗄𑗅𑗆𑗇𑗈𑗉𑗊𑗋𑗌𑗍𑗎𑗏𑗐𑗑𑗒𑗓𑗔𑗕𑗖𑗗𑗘𑗙𑗚𑗛𑗜𑗝𑗞𑗟𑗠𑗡𑗢𑗣𑗤𑗥𑗦𑗧𑗨𑗩𑗪𑗫𑗬𑗭𑗮𑗯𑗰𑗱𑗲𑗳𑗴𑗵𑗶𑗷𑗸𑗹𑗺𑗻𑗼𑗽𑗾𑗿𑘀𑘁𑘂𑘃𑘄𑘅𑘆𑘇𑘈𑘉𑘊𑘋𑘌𑘍𑘎𑘏𑘐𑘑𑘒𑘓𑘔𑘕𑘖𑘗𑘘𑘙𑘚𑘛𑘜𑘝𑘞𑘟𑘠𑘡𑘢𑘣𑘤𑘥𑘦𑘧𑘨𑘩𑘪𑘫𑘬𑘭𑘮𑘯𑘰𑘱𑘲𑘳𑘴𑘵𑘶𑘷𑘸𑘹𑘺𑘻𑘼𑘽𑘾𑘿𑙀𑙁𑙂𑙃𑙄𑙅𑙆𑙇𑙈𑙉𑙊𑙋𑙌𑙍𑙎𑙏𑙐𑙑𑙒𑙓𑙔𑙕𑙖𑙗𑙘𑙙𑙚𑙛𑙜𑙝𑙞𑙟𑙠𑙡𑙢𑙣𑙤𑙥𑙦𑙧𑙨𑙩𑙪𑙫𑙬𑙭𑙮𑙯𑙰𑙱𑙲𑙳𑙴𑙵𑙶𑙷𑙸𑙹𑙺𑙻𑙼𑙽𑙾𑙿𑚀𑚁𑚂𑚃𑚄𑚅𑚆𑚇𑚈𑚉𑚊𑚋𑚌𑚍𑚎𑚏𑚐𑚑𑚒𑚓𑚔𑚕𑚖𑚗𑚘𑚙𑚚𑚛𑚜𑚝𑚞𑚟𑚠𑚡𑚢𑚣𑚤𑚥𑚦𑚧𑚨𑚩𑚪𑚫𑚬𑚭𑚮𑚯𑚰𑚱𑚲𑚳𑚴𑚵𑚷𑚶𑚸𑚹𑚺𑚻𑚼𑚽𑚾𑚿𑛀𑛁𑛂𑛃𑛄𑛅𑛆𑛇𑛈𑛉𑛊𑛋𑛌𑛍𑛎𑛏𑛐𑛑𑛒𑛓𑛔𑛕𑛖𑛗𑛘𑛙𑛚𑛛𑛜𑛝𑛞𑛟𑛠𑛡𑛢𑛣𑛤𑛥𑛦𑛧𑛨𑛩𑛪𑛫𑛬𑛭𑛮𑛯𑛰𑛱𑛲𑛳𑛴𑛵𑛶𑛷𑛸𑛹𑛺𑛻𑛼𑛽𑛾𑛿𑜀𑜁𑜂𑜃𑜄𑜅𑜆𑜇𑜈𑜉𑜊𑜋𑜌𑜍𑜎𑜏𑜐𑜑𑜒𑜓𑜔𑜕𑜖𑜗𑜘𑜙𑜚𑜛𑜜𑜝𑜞𑜟𑜠𑜡𑜢𑜣𑜤𑜥𑜦𑜧𑜨𑜩𑜪𑜫𑜬𑜭𑜮𑜯𑜰𑜱𑜲𑜳𑜴𑜵𑜶𑜷𑜸𑜹𑜺𑜻𑜼𑜽𑜾𑜿𑝀𑝁𑝂𑝃𑝄𑝅𑝆𑝇𑝈𑝉𑝊𑝋𑝌𑝍𑝎𑝏𑝐𑝑𑝒𑝓𑝔𑝕𑝖𑝗𑝘𑝙𑝚𑝛𑝜𑝝𑝞𑝟𑝠𑝡𑝢𑝣𑝤𑝥𑝦𑝧𑝨𑝩𑝪𑝫𑝬𑝭𑝮𑝯𑝰𑝱𑝲𑝳𑝴𑝵𑝶𑝷𑝸𑝹𑝺𑝻𑝼𑝽𑝾𑝿𑞀𑞁𑞂𑞃𑞄𑞅𑞆𑞇𑞈𑞉𑞊𑞋𑞌𑞍𑞎𑞏𑞐𑞑𑞒𑞓𑞔𑞕𑞖𑞗𑞘𑞙𑞚𑞛𑞜𑞝𑞞𑞟𑞠𑞡𑞢𑞣𑞤𑞥𑞦𑞧𑞨𑞩𑞪𑞫𑞬𑞭𑞮𑞯𑞰𑞱𑞲𑞳𑞴𑞵𑞶𑞷𑞸𑞹𑞺𑞻𑞼𑞽𑞾𑞿𑟀𑟁𑟂𑟃𑟄𑟅𑟆𑟇𑟈𑟉𑟊𑟋𑟌𑟍𑟎𑟏𑟐𑟑𑟒𑟓𑟔𑟕𑟖𑟗𑟘𑟙𑟚𑟛𑟜𑟝𑟞𑟟𑟠𑟡𑟢𑟣𑟤𑟥𑟦𑟧𑟨𑟩𑟪𑟫𑟬𑟭𑟮𑟯𑟰𑟱𑟲𑟳𑟴𑟵𑟶𑟷𑟸𑟹𑟺𑟻𑟼𑟽𑟾𑟿𑠀𑠁𑠂𑠃𑠄𑠅𑠆𑠇𑠈𑠉𑠊𑠋𑠌𑠍𑠎𑠏𑠐𑠑𑠒𑠓𑠔𑠕𑠖𑠗𑠘𑠙𑠚𑠛𑠜𑠝𑠞𑠟𑠠𑠡𑠢𑠣𑠤𑠥𑠦𑠧𑠨𑠩𑠪𑠫𑠬𑠭𑠮𑠯𑠰𑠱𑠲𑠳𑠴𑠵𑠶𑠷𑠸𑠺𑠹𑠻𑠼𑠽𑠾𑠿𑡀𑡁𑡂𑡃𑡄𑡅𑡆𑡇𑡈𑡉𑡊𑡋𑡌𑡍𑡎𑡏𑡐𑡑𑡒𑡓𑡔𑡕𑡖𑡗𑡘𑡙𑡚𑡛𑡜𑡝𑡞𑡟𑡠𑡡𑡢𑡣𑡤𑡥𑡦𑡧𑡨𑡩𑡪𑡫𑡬𑡭𑡮𑡯𑡰𑡱𑡲𑡳𑡴𑡵𑡶𑡷𑡸𑡹𑡺𑡻𑡼𑡽𑡾𑡿𑢀𑢁𑢂𑢃𑢄𑢅𑢆𑢇𑢈𑢉𑢊𑢋𑢌𑢍𑢎𑢏𑢐𑢑𑢒𑢓𑢔𑢕𑢖𑢗𑢘𑢙𑢚𑢛𑢜𑢝𑢞𑢟𑢠𑢡𑢢𑢣𑢤𑢥𑢦𑢧𑢨𑢩𑢪𑢫𑢬𑢭𑢮𑢯𑢰𑢱𑢲𑢳𑢴𑢵𑢶𑢷𑢸𑢹𑢺𑢻𑢼𑢽𑢾𑢿𑣀𑣁𑣂𑣃𑣄𑣅𑣆𑣇𑣈𑣉𑣊𑣋𑣌𑣍𑣎𑣏𑣐𑣑𑣒𑣓𑣔𑣕𑣖𑣗𑣘𑣙𑣚𑣛𑣜𑣝𑣞𑣟𑣠𑣡𑣢𑣣𑣤𑣥𑣦𑣧𑣨𑣩𑣪𑣫𑣬𑣭𑣮𑣯𑣰𑣱𑣲𑣳𑣴𑣵𑣶𑣷𑣸𑣹𑣺𑣻𑣼𑣽𑣾𑣿𑤀𑤁𑤂𑤃𑤄𑤅𑤆𑤇𑤈𑤉𑤊𑤋𑤌𑤍𑤎𑤏𑤐𑤑𑤒𑤓𑤔𑤕𑤖𑤗𑤘𑤙𑤚𑤛𑤜𑤝𑤞𑤟𑤠𑤡𑤢𑤣𑤤𑤥𑤦𑤧𑤨𑤩𑤪𑤫𑤬𑤭𑤮𑤯𑤰𑤱𑤲𑤳𑤴𑤵𑤶𑤷𑤸𑤹𑤺𑤻𑤼𑤽𑤾𑤿𑥀𑥁𑥂𑥃𑥄𑥅𑥆𑥇𑥈𑥉𑥊𑥋𑥌𑥍𑥎𑥏𑥐𑥑𑥒𑥓𑥔𑥕𑥖𑥗𑥘𑥙𑥚𑥛𑥜𑥝𑥞𑥟**

或云此三神彼人敵人怨念三毒形歟云  
明仙僧都傳爲才學被載之

白寶口抄 聖觀音法上

本書事

觀自在菩薩授記經一卷 不空  
觀世音菩薩受記經一卷 法海  
秘錄云回發請來也 法海

普門品經壹卷 法華

請觀世音菩薩消伏毒害陀羅經一卷 法華

亦直請觀世音經 貞元

清淨觀世音普賢陀羅尼經一卷 智通

觀世音菩薩秘密藏神呪經一卷 智通

觀世音陀羅尼經一卷 智通

又云觀世音如意摩尼陀羅尼經一卷 智通

觀自在如意心陀羅尼呪經一卷 智通

觀世音天厨劫粒法壹卷 智通

聖觀自在菩薩心真言觀行儀軌一卷 智通

梵字觀自在心真言一本 智通

聖觀自在菩薩根本心真言觀布字輪觀門一卷 智通

觀自在菩薩心真言一印念誦一卷 智通

觀自在大悲成緣會蓮華部念誦法門一卷 智通

金剛頂經觀自在菩薩瑜伽修習三摩地法一卷 金剛智

母陀羅觀自在菩薩隨心法一卷 金剛智

梵字觀自在開持真言一本 智通

大梵天經觀世音菩薩擇地法品一卷 智通

千轉陀羅尼觀世音菩薩呪經一卷 智通

千轉陀羅尼觀世音菩薩呪壹卷 智通

梵字觀自在開持甘露真言一本 智通

六字陀羅尼呪經一卷 智通

六字呪王經一卷 智通

此二經同本異譯也

六字神呪經一卷 智通

六字法一卷 智通

此二經秘錄文也

觀自在菩薩大悲智印周遍法界利益衆生真如法一卷 智通

金剛頂降三世大儀軌一卷 智通

瑜伽蓮花部念誦法一卷 智通

阿喇多羅尼阿喇力品第十四 智通

降三世大會中觀自在菩薩說自心陀羅尼經一卷 智通

已上

此本書中瑜伽觀行儀軌依大毘盧遮那經方軌觀行印言等說之是別行作法也

法也大法行儀依念誦儀軌此兩軌不違譯大師御請來也

行法起首事

集經云每月十五日又云正月一日

阿嚩迦經云白月八日或十五日又云從白月至十五日又云正月一日起首至十五日又云

觀自在多羅菩薩經曼多羅品云於神通月及吉宿日或正月十五日二月八日十五日等從初夜起首又

名字事

梵號 藥莫阿 梨耶 也又上 藥莫阿 梨耶 也又上

濕婆羅 在自地 佛薩 摩河薩 摩河薩

密號 正法金剛 本淨金剛 清淨金剛 蓮花金剛

軌云聖觀自在又聖觀音云

口云正觀音者經軌共聖觀音云俱舍云聖觀正也文是則正義也

今若正觀此尊諸觀音中根本總體故正義也又云聖者對有爲凡夫義大衆經云無爲即聖也又故聖字大聖之通號也

或聖如意輪或大聖文殊或聖不動等皆此意也玉篇云於事無不通謂之聖此義意亦同也又書風俗通云聖者聲也聞

此

此

此

聲知情故云舉云依此義舉字尤觀音深  
理也。是世間無常苦音能聞能觀拔濟彼  
苦衆生故名觀世音。法花經云。何以因緣  
名觀世音。無量衆生受諸苦惱。一心稱名。  
即時觀其音聲。皆得解脫。又文句十云。觀  
世音者。譬藥樹王。遍體愈病。普門者。譬如  
意珠。所與觀世音冥作利益。三毒七難皆  
離。二求兩願皆滿也。又文云。觀有多種。折  
觀體觀。聞觀也。世有多種。有爲世無爲。世  
不思議。世不法。法疏云。觀世音者。天然  
云婆樓樹。說思益云。若衆生見者。即舉  
竟得於菩提。稱名者。得免衆生苦。故名觀  
音。悲華云。若有衆生受苦稱我名者。爲我  
天耳天眼所見。聞者。不得免苦。不取正覺。  
寶藏佛言。汝觀見一切衆生。大悲心。今  
當字汝爲觀世音。文千手經疏云。觀者。能  
觀之智。世音者。所觀之境。合境智爲目。文  
口云。結護云。先世音羅什觀世音不空等  
言觀自在。文是羅什等舊譯。觀世音不  
空等新譯。觀自在也。觀自在者。觀察一切  
諸法。無礙自在。故以爲名。疏云。觀世  
音自在者。即是蓮花部主。謂如來究竟觀  
察十緣生句。得成此普觀蓮花故名觀自  
在。約如來之行故名菩薩。頂現無量壽者。  
明此行之種果。即是如來普門方便智也。  
此像及菩薩身皆作住現法樂云。  
私云。如來究竟等以普門大名觀自  
在義也。約如來之行等。即如來大悲之  
行故名菩薩。頂上戴無量壽佛。依行既

表萬行圓滿之義。此佛是如來方便智  
故觀音即大名普門方便智義也。像及  
菩薩等佛菩薩身共住。自受法樂。故佛  
菩薩皆住自證三昧義也。故聖觀音軌  
結大日。刻印。用歸命。即依  
用此印言。表示彼中臺大日。但此究竟  
祕事也。法華問題云。若以觀自在爲首  
則大日尊亦名觀自在。以此尊爲首。則  
具三十七尊及無量佛刹微塵身大日  
即觀音遍法界體性智。阿闍觀音圓鏡  
自性金剛智。多寶觀音福德聚身。無  
量壽則觀音妙觀音命智。釋迦則觀音  
作業寂照智。分身則觀音正覺差別身。  
普賢則觀音普提心。如智文殊則觀  
音妙惠。慈氏則觀音之大慈。乃至一切  
聲聞緣覺身。天龍八部國王長者身。亦  
復如是。文觀音即金界大日也。故此觀  
音兩部大日同體義可知。  
大第注云。略出經第三名金剛觀菩薩。  
彼經又云。是則平等名。是則普賢觀也。  
文又云。猶見諸法實相名。爲普賢。文疏五  
云。謂如來究竟觀察十緣生句。得成此普  
觀蓮花故名觀自在。又同十云。以此普眼  
而觀一切衆生。故名觀自在。若入此三昧  
即是普門方便智也。義釋七云。如觀自  
在菩薩於一切法界門。以普眼遍觀而得  
自在。文高尾口決云。九藏中觀音眼識也。  
慈悲眼其眼不闕。文諸部要目云。除毒息  
怨敵。金剛眼以愛重心歡悅眼也。諸部要

目云。敬愛法讚金剛眼妙眼。上口云。胎藏  
八葉九尊配九藏時。觀音當眼識也。故名  
金剛眼。普薩滿會三十七尊金剛號中。  
西方法普薩金剛眼也。此菩薩大悲深重  
觀一切衆生。猶如一子。故法花經說慈眼  
視衆生。慈悲必現眼凡此尊以慈悲爲本  
誓。故一切佛菩薩慈悲利生。皆衆觀音一  
尊也。疏引金剛頂云。觀世蓮花眼。即同一  
切佛無盡莊嚴身。或爲世尊師。諸法自在  
者。隨取一名號。作本性。加持故。此文意  
以一切佛菩薩名號利益爲觀音利益義。  
也。結護云。法世音文義疏云。花嚴經云。此  
菩薩住大悲法門。光明。名光世音也。又  
住普門光明三昧所住法門。爲名文法花  
玄論云。光是智慧。如大經云。光明者。惠之  
觀也。此菩薩智慧光明。照世間故名光也。  
又屬藥品記云。正經別名之中。光世音光  
觀聲。即便即書之後代何休光義。大經  
光明者。即智慧也。智慧是觀也。又普薩智  
惠。即是明照世間。故云光。大觀經。光明行  
大慈。即功德光。光明有三名。觀世音觀世意  
觀世身也。又此有三名者。三業也。衆生三  
業。即致歸依。所受三業。普薩能觀之。拔濟  
故依三業顯名也。玄贊云。觀三業歸依。拔  
衆生苦。略云觀音。凡彌陀如來。以光明  
爲本體。是智慧門。故光明照世間。彌陀又  
觀音。故以光爲名也。  
種子事  
口云。種子略出經等。法菩薩種子用字。



似開蓮花云此凡心未教故在觀義也今以觀善大悲行願加持衆生本性心蓮初漸開敷形也開敷出觀佛心義故阿彌陀以開敷蓮花爲三形觀音初割蓮花爲三形彌陀觀音同體故共以蓮花爲三形表在經出經有開敷初割不同也

問何故衆生心性譬蓮花乎 答經藏記云蓮花部存身中有淨菩提心清淨之

理此理雖經六道四生界生死泥中流轉而不染不垢如蓮花出泥中而不染不垢仍名蓮花部文疏十二云開觀蓮花不觀餘花耶此亦有意如蓮花出淤泥中不生處雖惡而蓮花體性清淨妙色無比不爲諸垢所染凡夫亦復如是雖植不淨三毒過患無量無邊亦此蓮花三昧甚深果實皆生其中即是如來平等大悲之光也文同四十二云即觀自心作八葉蓮花阿彌梨音凡人汗栗厥心狀猶如蓮花合而未數之像有筋脈約之以成八分男子向上女人下向文一切衆生心性八分肉團形猶如未教蓮花今入此教修行時觀自在菩薩現此本性清淨理定手持彼未教蓮以智手初引開八分肉團轉九藏迷闇顯現八葉九尊是云佛心開蓮華大悲胎藏四重曼荼羅觀音開敷之心蓮花也理趣經觀音段作八葉開敷印相彌陀開蓮花印即此意也凡彌陀觀音法以三昧耶形爲祕事此初割蓮花一切衆生本來不染心蓮也以之智觀音三形也理趣

釋云觀自在菩薩手持蓮花觀一切有情身中如來藏性自性清淨光明一切惑染所不能染由觀自在菩薩加持得離垢清淨等同聖者文無量壽軌云作是思惟一切有情身中其有此覺悟蓮花清淨法界不染煩惱文

三形異說事

開敷蓮花事

文殊院觀音開敷蓮花也文殊智體故用開蓮花也金剛界圖時開蓮上橫三股其花上立觀股杵首有開蓮花是三股智也蓮花理也其上獨股理智一體獨一法身觀音即體也首開蓮花表獨一觀音大悲體也



出御筆本也

口云是前義不違下蓮花理獨股智是理智不二觀音即體也首上蓮花阿彌陀三形故藏阿彌陀義也觀音尊形時頂上彌陀尊形也三昧耶形時頂上彌陀三形也云

白拂事

阿耨力迦經云右施無畏左白拂文胎藏釋迦院像亦如是釋尊出初門說教法佛衆生煩惱盡勞故表彼用白拂也凡白拂者拂一切不吉祥表示也故千手經云爲除身上惡障難白拂手文長夏云白拂者

拂弟子煩惱衆苦之塵令成佛也信解品疏記云塵沙無明拂去或云種子三形隨所求事可用之也爲災禍除滅者衆字白拂也理趣釋云能持此一字眞言能除一切災禍疾病文白拂是拂除諸難義也是息災門也若欲消除厭魅呪咀等者字白拂也轉不可得損滅義是損滅厭魅呪咀等有漏執縛義也白拂除彼義也是一切魔障等除降伏門也若敬愛時衆字持赤蓮花像也赤蓮花敬愛分明也是敬愛門也若爲增益字圓鏡也衆字地大種子出生萬物圓鏡如影現萬像之形出生一切珍寶可滿衆願表示也是增益門也若爲勝負相論斷評等者字寶鏡也若欲發菩提心者字寶鏡也若欲得成就智慧辦才者字寶鏡也若欲除自他罪障者字蓮花也隨其祈請如此別智之威驗事也云

白寶口抄 聖觀音法中

道場觀事

大聖觀自在瑜伽觀行軌云 不次於最下方空中觀其字黑色其字變成風輪其

形半月於風輪上應觀其字白色其字變成水輪其形圓滿於水輪上應其字金色其字變成猛利金剛并流出金剛大焰其形三角從下向上至於地輪及以自身火焰焚燒唯有灰燼即以此灰變成金剛輪白色堅密隨量大小其形正方次於金剛輪上觀想八葉大蓮花其寶鬘於蓮花臺上想其字黃金色其字具無量光明變此其字成聖觀自在菩薩結跏趺坐身如金色圓光嚴盛身被輕縷綵衣著赤色裙左手當胸執末數蓮花右手當胸作開花葉勢其頭冠璽塔首戴無量諸佛住於定相文瑜伽蓮花部念誦法不空云次於壇中觀其字成月輪於月輪中觀其字成本尊身放大光明無量眷屬普觀於圓光內文祕藏記云次正觀自在菩薩白肉色左手取蓮花右手開花之形也文

口云今這場觀者依此等文獻增上次第皆非一準經軌說相多故也壇上有不字者依瑜伽蓮花部軌凡道場建立有同或三輪五輪九山八海宮殿樓閣壇地連月一建立之或壇上直觀樓閣或壇上直觀蓮月等或直心前觀蓮月或直心

上觀之如是諸說廣略不同也任行者之根機可觀之既得此意不可偏執禿德等次第廣略不同也又旨不遠本說其尊本經儀軌若廣私記同廣也若略隨略也石山道場觀等大旨被守其旨歟是相承口傳也不異失矣

寶樓閣事

口云寶樓閣者寶字寶重言也樓閣者表高廣是二重殿堂也十住心論云此樓閣寶王及師子座亦是如來身此是遍一切處身之所住處當知如是樓閣亦遍一切處即是三昧耶身也文既樓閣如來三昧耶身故重脣本尊身一脣行者身也是表生佛不離也大師御釋云嚴者明身心互為能住所住文是依正和融身土同一真如樓閣也

其中

有觀字成滿月輪事

問瑜伽觀行軌云觀想八葉大蓮花具寶樂文又青龍軌云坐白蓮文要略念誦經云坐白蓮花文此等說所坐蓮花何今道場觀直云滿月輪乎 答蓮花部念誦法云壇中觀其字成月輪於日輪中○普觀於圓光內文今次第依此軌故不出蓮花座實可有蓮花歟此滿月輪遍滿樓閣中無量聖眾眷屬普觀圓光中也 觀字變成初觀蓮花事 種子字出蓮花部念誦法但不用三形今初觀蓮花本尊所持未收蓮花也 問種子三形色云何可觀之乎 答隨四

種法可觀之歟但本尊所持蓮花者衆生本有自性蓮花也疏五云內心妙白蓮者此是衆生本心妙法芬陀利花文是衆生中以白色爲本故也若爾者種子亦白色歟

身白肉色事

最勝心明王經云觀自在身相自白色文青龍軌云光色如結月商估軍那花文疏五云觀自在身色如淨月或如商估即是上妙螺貝或如軍那花其花出西方亦其鮮白當攝此三譬言其光鮮潤微白中之上也文

已上白色也

聖觀音軌云聖觀自在菩薩結跏趺坐身如金色文觀經云觀世音菩薩身紫金色文

已上金色也

授記經云聖觀自在菩薩身白紅色嚴飾瓔珞文祕藏記云自在菩薩白肉色文又文殊院聖觀自在菩薩白肉色又釋迦院觀自在菩薩白肉色也凡白色觀者本生色西方金界字故亦白色也金色觀者出加持一門住大悲三昧是赤色也西方五行時金方也故金色又敬愛方故赤色也赤色金色同義今白肉色者兩色和合始本不二染淨一如義也惟證胎軌云色如紅頗梨是名聖觀音文是白肉色義也頂上載無量壽佛事 青龍軌云觀自在聖現無量壽文念誦結



護云觀自在頂上髻中有觀自在王如來  
文攝大軌云自在觀世音髻中有觀自在  
王如來文廣大軌云觀世音頂現無量壽  
文不空絹索經云觀世音菩薩首戴寶冠  
冠有化阿彌陀佛文要略念誦經云觀音  
大悲聖者○冠中現無量壽自在如來文  
光眼經云頂寶冠中安住化佛身文聖  
觀音軌云首戴無量壽佛住於定相文  
云云此兩文上佛即坐像也真言密教  
故云定相也觀經云其天冠中有一立化  
佛文是顯經即說來迎引攝故立像也但  
集經五云頭戴七寶莊嚴冠而有重光花  
冠中有立化佛文

問何故頂上戴無量壽佛乎 答有異義  
先淨土宗旨觀音等覺無垢位未斷一品  
無明故戴果體彌陀也龍樹菩薩頌云頂  
戴冠中住種種妙相寶莊嚴能伏外道魔  
惱慢文此意也又云觀音戴佛果是現在  
義勢至彌陀過去遺寶入寶瓶戴之此二  
菩薩過去二人子也正覺後成觀音勢至  
戴過去現在報其孝行之深重顯彼師長  
之高貴故頂戴歸依也疏云彌勒持法身  
塔觀音如持佛身文演密抄云觀音持佛  
師現在故彌勒持塔師滅度故文此說文  
意同歟云又云疏云約如來之行故名  
菩薩頂現無量壽者明此行極果即是如  
來普門方便智也文此依修行圓滿  
果意也固必成基故云又云甫圓堂不  
空絹索觀音頂上佛比丘形也是阿彌陀

如來之因位時法藏比丘於世自在王佛  
所發四十八願時比丘形也是戴因位也  
具萬德莊嚴頂背有圓光事  
聖觀音軌云圓光熾盛身被輕微紺綵之  
衣著赤色裙文集經五云一切觀世音菩  
薩像通身白色結跏趺坐百寶莊嚴蓮花  
座上頭戴七寶莊嚴冠而有重光花冠中  
有立化佛其花冠冠後作簷其光之內  
總作赤色其像背倚七寶繡枕其像頭有  
寶珠璎珞左右臂腕各有一寶釧又以寶  
花莊白紫綵身著花莊白紫之裙其裙  
腰作青色赤裏又以寶釧繫其腰上文最  
勝心明王經云觀自在身相白色虎皮爲  
裙白頗梨寶爲腰條以黑鹿皮角絡文  
私云此等文理瑤莊嚴等委細也角絡  
者緒マトノ調也取鹿皮首尾爲帶  
纏結兩端角出之狀凡萬德莊嚴者依  
因位之萬行果位萬德故云具萬德莊  
嚴也

右手作開敷蓮手左手持未敷  
蓮花事  
聖觀音軌云左手常勝執未敷蓮花右手  
掌胸作開花葉勢文無量壽軌云左手持  
蓮花右手作開敷蓮勢是菩薩作是思惟  
一切有情身中具此覺悟蓮花清淨法  
界不樂煩惱於蓮花八葉各有如來入定  
等文理煩經云觀自在菩薩手持蓮花觀  
一切有情身中如來藏皆自性清淨光明  
一切惡業所不能染由觀自在菩薩加持

得離垢清淨等同聖者文  
口云左手持未敷蓮者左定衆生也故持  
衆生本性心蓮右慧佛界也故智開理  
故右手空風相捻中指以下三指開立作  
開敷勢謂風依虛空動轉華開風故也蓮  
花必生地水緣又入夏間夏火也故地水  
火之三指開立也又云空風合立日光焰  
義也而左蓮持之是衆生心蓮被加持觀  
音日輪體開敷義也或云赤蓮花依日輪  
光開青蓮花依月輪光開爲開赤蓮花右  
臂日輪爲開青蓮花右臂月輪也  
私云阿啖力迦經云觀自在菩薩左手  
執紅蓮花右手直垂下與微鬼水燈上  
結身著白衣此像度微鬼故持紅色  
是大悲濟度故也今尊像持衆生本性  
心蓮故觀白色觀最勝心明王經云觀  
自在身相白色○左持白蓮花右施無  
畏文但開心蓮大悲濟度故赤白二色  
蓮花共依日輪光開也又最深祕口決  
云空風合寶形也是以寶鍵開寶藏而  
觀音大悲所成果體一切衆生法爾所  
成自然道理如來分身體淨菩提心如  
意寶珠也云

## 印事

蓮花部心印者金剛界云蓮花部心印也  
是三部心中蓮花部心也正觀音蓮花部  
主放用此印也聖觀音軌云結觀自在菩  
薩心印以二手內相又顯堅石大獅指節  
成結印當心誦觀自在菩薩心願言七遍

以印加持心願喉頂誦真言曰文音如次

第一印念誦云 不空結觀自在菩薩心密印

以二羽內又舉禪度出外豎誦真言三遍

口云 今次第解文依師傳也 先內縛表八

分肉剛八指八葉八佛左大指中指大日

是行者心內具足八葉九尊右大指立之

本尊觀音也胎藏三部時右方觀音院故

表蓮花部一門之利益聖觀音軌音字變

成大日如來云知觀音即胎藏大日也又

剛界入智合智印亦同義也

眞言事 聖觀音軌云觀自在菩薩心眞言文阿嚩

力迦經云此眞言是一切蓮花部心文大

悲成就軌除軌音字也梵字一字頂輪王軌

無雙軌字也說自心陀羅尼經除軌音字

字也金剛頂降三世軌除軌音字也大師

御筆本云觀音眞言云觀音不離軌音字

等字 秘云如是異說多也定有子細歟可

尋也 聖觀音軌云次應思惟字義阿嚩字門者

度盡者水不成正覺願給大悲也故切

法身果德首不可成佛義也仍沈淪難樂

世界爲衆生利益作樂故涅槃經云如來

大悲自願字生文爲字作樂字是大悲濟

度作樂也永忘正覺向化他爲願此義切

願字首雖然內證不退爲長養之下加長

養八點此字無別音也但此眞言初加字

終加字是歸根本義即願部也故終與

歸部初異故云歸根本也初後只一異字

功能文

集經云但淨心誦一十萬遍一切業障皆

得清淨若誦二十萬遍能滅過去現在所

有五無間重罪誦三十萬遍一切福德聚

皆集在身衆人畏敬愛之如母一又悉地

皆成就誦百萬遍得見觀音自在文又云

觀自在菩薩前日三時別誦三千遍滿

三箇月所求一切意願皆得滿足文阿嚩

力迦經云若於觀自在菩薩前誦一萬

所求善願皆得成就文又云若每日晨朝

於我像前作曼荼羅誦滿八千遍應隨地

獄而四重五逆一切重罪無不消滅所求

悉地皆得應往生極樂世界文又云於晨

朝香湯洗浴誦三千五百遍能令一切人

所敬愛凡所求事皆得證願意文又云早

旦起淨浴著新淨衣誦千遍者忽有飢餓

無飯食時此人在處恒爲豐足文一印念

誦云修行者如是秘密法要精誠作意修

持一切所爲速得成就世出世間諸願自  
滿業障消滅三昧現前不轉此身騰空自  
在隨意即往十方淨土願事諸佛速成無  
上菩提

又印法  
印者

略出經三云本轉堅智定度屈力進度頭  
柱此名金剛眼菩薩三摩耶契由金剛寶  
契故能持金剛法文無量壽軌云結觀自  
在菩薩印加持四處所謂心願喉頂其印  
以二手外相又二頭指相柱如蓮花葉二  
大指並堅即成誦觀自在菩薩真言曰由  
結此印及真言加持心願喉頂故即自身  
等同觀自在菩薩云

口云此印言出略出經并無量壽軌金剛  
界三昧耶會法菩薩印也凡付縛有二義  
一內縛者內具十界萬德是表本有十界  
故理也胎也外縛者外顯現十界是修生  
十界故智也金也一內縛月輪體此月輪  
中有十指即一法界月輪納十界故金界  
義外縛月輪體內具日輪外顯十界十指  
即十界宛然故胎界義也二頭指間立合  
蓮葉形花依風開敷故生死淤泥蓮花依  
大悲慧風開敷也風必依虛空自在也  
故空指並立也云當流深祕二頭間立  
合者習蓮子印子是表觀音因位此因位  
子開敷成花葉又後成果即果還爲種義  
也是因果俱成故因位行者即佛果也八  
指八葉蓮花八佛也次第云但當所用者  
二大指外縛云即此意也委細如彌陀

法記云

真言事

出梵本金剛界軌但無此字漢語出無量

壽軌并蓮花部念誦法云

問印三昧耶會言羯磨會替之其意云何

答金剛界三昧耶會印用羯磨會言是

深祕也印者表示義三摩耶會諸尊所持

標幟也標幟者簡擇分明義故云法智印

羯磨威儀作事業法是理也故表理智不

二義故尤勝也又云三摩耶印羯磨會也

是亦表因果不二義也又云五重結護云

羯磨會三摩耶會印自受法樂之事又通初

心行者自行已滿究竟佛法性境界之

事文初意此二會是說如安住此二種功

德常恒自受法樂也後意示行者初心修

此如來功德自行圓滿遂究竟佛果境界

之義也如是依深義用三印羯言也

功能文

觀自在妙香印法云不若人持此一字

真言能除一切災禍疾病終之後當得

極樂上品上生諸語所求世間出世間大

願隨持得成何況依此教法而行者一切

悉地不久圓滿也依此一字者此字也取真

言終字出功能歟此軌中以此字出香印

同故云妙高印法也後闕云

如是也

白寶口抄 聖觀音法下

又印理應觀音法印

問理趣釋觀音段不出此印歟本說依何  
印文乎 答本說在大師胎藏印集歟諸  
師皆依此御傳也說息陀羅尼經云分二  
羽各作蓮花拳便以慧拳旋造定拳作開  
白葉蓮花勢是羯磨印請如來字觀於  
心月蓮中是法印觀諸法如蓮花不著於  
水諸法亦然爲衆婆等文

私云此印指似歟云

口云兩手拳事如朱付左蓮花拳右金剛  
拳義理相叶也左拳當心前持之先中右  
風指從左小指至大指開之開者以右風  
指中左指復押上也次左掌內向四方三  
業三度種之各各字一遍誦之都合八遍  
也以風指開之故花依風力開故以風指  
開之尤相應也次以小指開之大師御傳  
上尤可用之小指地大蓮花依地生長開  
敷故以地指開之也又善提心論云如初  
真字即雙開善提心文真字開敷義可知  
凡衆生心蓮未敷依觀音加持力開敷衆  
生所具八分心蓮顯現果德之八葉之九  
尊也或云開立右五指如世無長印同左  
蓮花拳觀日輪也拳置膝上自小指誦  
大第開五指其後年開手三三遍誦  
之都合八遍是開八葉義也花依日遍開  
故也涅槃經第九云蓮花爲日所照無不



表理性義明五智法身智體也故彼二印  
二明互表理智不二也是觀音最秘密也

字輪觀事  
口云字輪觀五大也聖觀音軌用其子

正念誦事  
問正念誦用其子念誦法出此真言也

就息災修之或敬愛云  
口云此法息災敬愛增益除病滅罪等可

散念誦事  
口云本尊三種者

修之也弘誓惠經云衆生有苦三稱我名  
不往救者不取正覺觀世音菩薩云法

教令輪也  
教令輪也詞利帝能護觀音部中呪法故

其意也皆號之爲施無畏者文  
阿梨多羅陀羅尼阿嚩力品云誦三千五

出願我等敬護此大法若有人等奉造此  
法我等成就法事文是奈耶云觀世音菩

文說自心陀羅尼經云若誦三十萬遍一  
切福德聚皆集在身衆人畏敬愛之如母

薩下應徵詞利多菩薩文  
私云詞利多菩薩者詞利帝也

珍寶施成心願文  
私云增益敬愛等一切所求事悉成就

法善薩觀自在修習三摩地法云本尊  
讚金剛界法善薩讚也文石山云十六尊

也善門品云心念不空過之意也  
私云祕藏記意以千手爲部主今三寶

迎請事  
口云蓮花部心印言也

院傳依之也華觀音蓮花部因也千手  
掌聖觀音果德故以果爲部主也小野

口云結界明王馬頭印言也

傳以馬頭爲部主祕藏記云蓮花部馬  
頭觀音爲主文

眞言曰 唵 嚩日 羅 合 達 磨 訖哩 入  
召請 如自加持印眞言 以右大指三指 加召請句四攝明

供物 同眞言 加息與句  
撥造 準召請 以右大指三指 加撥造句

本尊段 自加持 心印 以右手內相 又應

唵阿去引 嚩引去引 半音 婆嚩 二合 賀

供物 同眞言 加息與句  
加持物 如供物 撥造 準召請 以右大指三指 加撥造句

諸尊段 入三十七尊 地之皆  
私云普通三十七尊皆入蓮花部三摩

地觀之也又觀樣委細在別但三十七  
尊入本尊三摩地事不限此緣通餘尊

世天段 如常  
但加供吉祥天詞利帝也吉祥天眞言

唵摩賀室哩 二合 野曳 娑嚩 仁 合 賀 引  
唵 摩 引 里 迦 引 嚩 帝 娑 嚩 仁 合 賀 引

六觀音法時座位

○黃千手 白十面  
○赤馬色手 白面  
○正色 如意輪  
○白面 如意輪  
○白面 如意輪

○聖觀音

○准胝

○十一面

○千手

○如意輪

○馬頭

○立不立

○立不立

○立不立

○立不立

○立不立

○立不立

○立不立

○立不立

○立不立

○立不立

○立不立

○立不立

○立不立

○立不立

○立不立

○立不立

保安二年七月十六日於禁中清涼殿始修六觀音法息災也

聖觀 康房大僧都 經藏大僧都 上乘房律師 百上房律師 土佐律師 眞如房律師

南馬頭 十一面 准胝 如意

小野僧正被注進御堂關白記云

一正觀音 又云地藏觀音 又云大悲觀音 又云大慈觀音 又云大願觀音 又云大智觀音 又云大覺觀音 又云大悟觀音 又云大證觀音 又云大行觀音 又云大願觀音 又云大智觀音 又云大覺觀音 又云大悟觀音 又云大證觀音 又云大行觀音

二千手 又云大悲觀音 又云大慈觀音 又云大願觀音 又云大智觀音 又云大覺觀音 又云大悟觀音 又云大證觀音 又云大行觀音

三馬頭 又云大悲觀音 又云大慈觀音 又云大願觀音 又云大智觀音 又云大覺觀音 又云大悟觀音 又云大證觀音 又云大行觀音

四十一面 又云大悲觀音 又云大慈觀音 又云大願觀音 又云大智觀音 又云大覺觀音 又云大悟觀音 又云大證觀音 又云大行觀音

五准胝 又云大悲觀音 又云大慈觀音 又云大願觀音 又云大智觀音 又云大覺觀音 又云大悟觀音 又云大證觀音 又云大行觀音

六如意輪 又云大悲觀音 又云大慈觀音 又云大願觀音 又云大智觀音 又云大覺觀音 又云大悟觀音 又云大證觀音 又云大行觀音

常喜院五十卷抄云 大悲觀音地獄道衆生極悲深故現大 悲像救其中衆生二大慈觀音觀鬼道衆

生以慈爲喜故現慈念之心救其中衆生

三師子無畏觀音 普生道衆生小者爲大

被喰弱爲強被喰放施無畏救其衆生四

大光普照觀音 阿修羅道衆生在極關之

中不知父不知母不辨妻夫不辨兄弟只

折訟爲宗故現光明相令知其義救故五

天人丈夫觀音 人道衆生不離苦之故常

樂天人貌能故現大丈夫相救六 大梵深

遠觀音 天道衆生大梵天王爲首故現其

天王像救其中衆生云

六觀音形像異名印相 大慈觀音者不空

羂索變身也紺青色右手執青蓮花左手

施無畏也 大悲觀音者十一面變身

也色肉色右手執紅蓮花上有壺其口

在獨股右手施無畏 大光普照觀音

馬頭變身色青色右手取蓮花赤蓮花

左手施無畏印也 天人丈夫觀音聖觀

音變身色白色也左手執青蓮花右手施

無畏也 師子無畏觀音如意輪變身

色白色右手執蓮花上在三股 大

梵深遠觀音千手變身黃金色有六面慈

悲相也左手取紅蓮花右手施無畏印

已上

口云六觀音者妙觀察智功德法門也六

識轉得妙觀察智是卽六自在王自性清

淨故現六觀音能利六道是大威德明王

現六頭六面六臂六足形是妙觀察智教

令輪身故也現如意輪六臂廣傳能遊 於六道云 皆是妙觀察智六識功德三

摩地也

十八日觀音供事

仁壽殿觀音供作法付金剛界

道場觀 如次第

壇上曼荼羅中央有觀字變成寶蓮花臺

上有觀字成淨月輪 中有字成如意

寶珠寶珠變成聖觀自在菩薩結跏趺坐

身如金色圓光熾盛身被輕軟紺縵之衣

著赤色裙左手當胸執未數蓮花右手當

胸作開花葉勢蓮花開數已上有如意寶

珠是則一切有情本有不生性淨菩提心

體也具頭冠瓔珞首戴無量壽佛住定相

梵天帝釋四大天王諸龍眷屬前後圍繞

護持國界風雨順時無諸災難百穀豐饒

普天安樂如是觀了 加持七處

本尊加持

聖觀音印明 如意輪印明 梵天王

印明 常釋天印明 四天王印明

正念誦 聖觀音咒

散念誦 如次第

梵天帝釋四天王諸大龍王等眞言加

用之仁壽殿御本尊聖觀音并梵天帝

釋也四天王諸龍等雖不居之散念誦

時必可加用之

十八日觀音供者漢朝戒日大王十八日

被行觀音供其例也當時二間本尊立像

聖觀音佛長七寸許也左右梵天帝釋侍

是淨梵大王宮釋尊御影向時帝釋與 欲界天衆左侍衛梵天與色界天衆右侍

衛是其儀也今觀音守護王宮除災增福故準釋尊儀安置梵天帝釋也

問王宮守護誓殊有十一面觀音見彼經軌何以聖觀音爲本尊乎 答此法以我

字爲種子三形鏡也祇祇經序品法菩薩種子三形也常觀音法不用之十八日觀

音供所用也其故三形圓鏡天照大神御體故以聖觀音爲本故仁和寺西院流聖

觀音爲本尊用十一面觀音次第是聖觀音觀音部主故爲本尊十一面王宮守護

故如是行之也例高雄寺五大虛空藏法寶生尊爲本尊是入五智即寶生三摩地

時名五大虛空藏故依本施別德之稱智故以寶生爲本尊也今諸觀音依根本聖

觀音本心施利益作業故也西院以如是習爲深秘也此法後七日阿闍梨每月十

八日被行之也云或云此法本東寺一長者天台座主行之即是號夜居近來後

七日阿闍梨每月十八日行之每月朔祥蛇法行爲奉宮二十二社勸請之當今

御祈請勸請二十一社也其故帝即觀日輪天照太神故伊勢太神宮不動請之也

或云延喜十六年七月七日權大僧都觀賢觀音像於仁壽殿每月十八日任官旨

被始終其後大裏燒亡長久二年令開眼供養以醍醐僧云此日記不分明可尋

之寶心云仁壽二間觀音供每月十八日供之但內裏燒亡長者遷替之姓何觀音云

事其傳不分明然而聖觀音左梵天右帝釋云種種三明明鏡本尊右手掌觀鏡以

之爲正傳之規模事也印言蓮花部心是傳之內侍所伊勢太神宮之御正體天

力コ山銅以奉鑄鏡也或ハコヤ山云又太神宮日子天子也日子觀音化現也

依之太神宮御本地觀音也聖武天皇東大寺大佛時御託宣云以此爲正也

注進仁壽殿御事合白檀請觀音像一體高七寸梵天帝釋各

一體高六寸後朱雀御宇六角御堂一臺右付小舍人須田兼則口官注進如件

長曆四年十月十九日僧正法印大和尚位遍智院聖觀音梵天帝釋云宮僧正理

趣房十一面梵天帝釋云又土佐寬榮返事小野僧正云如意輪等三尊也云

然者醍醐三味堂延喜御本尊二間觀音被奉渡又先師之物語私記云勝因行願

房純金如意輪銀聖觀音十一面此三味延聖主殊觀音御信仰故新造之御本尊

也相制二間觀音被供之崩御之後被渡安置當寺醍醐三味堂云又十八日觀

音供伊勢太神宮御本地奉供行是我朝貴重之勝事也仍東寺代長者自身自

令參勤之概不用手代矣但件內裏安置自白檀根本之像者大師以前之事不知

何時代安置諸佛師之所造耆老物語云外朝王宮被安置於觀音像事戒日王

之舊儀也云而吾日本國自昔國王御護王宮之內被奉崇內侍所又准漢土之

法被加安置觀音之像歟愛吾根本高祖弘法大師迴御思慮奉爲鎮護國家點

月緣日被勸行觀音供也彼白檀古像年序久經御手莊等皆落失了何觀音雖知

之而元海大僧都密被修補之十一面觀音也頗多謬難是自由之所爲云凡

口訣每人祕藏云所詮本尊御手落失何觀音不知故又不聞口訣之故也又

二間觀音供唯識證摩大體相似事也其奉供本地也夫每法爲肝心事一口訣有

之就中祈雨後七日晦御念誦十八日觀音供與沙字平法等又太元人傳樣

也何真何偽本意何事尤可有由緒也而於理性院者據稟正流獨極源底是全無

矯飾事也賢哲思察真偽可存理顯然也恐莫偏執耳先師口訣如此仍思廢忘乍

思記之又或記云延喜十六年七月二十七日依宣旨於仁壽殿被供養觀

音像帝十一面梵天帝釋又每月十八日可奉供云私案云此日記若以臨時之

新造并本佛被副供歟更非可爲元初事也延壽崩御之後被奉渡三味堂者此像

歟但被奉渡像金銀鑄佛云日天子禮拜事

先向朝日禮拜三度次著座成立次三密觀次淨三業三部被甲次大金剛輪印明

觀次淨三業三部被甲次大金剛輪印明

觀次淨三業三部被甲次大金剛輪印明

觀次淨三業三部被甲次大金剛輪印明

觀次淨三業三部被甲次大金剛輪印明

觀次淨三業三部被甲次大金剛輪印明

觀次淨三業三部被甲次大金剛輪印明

觀次淨三業三部被甲次大金剛輪印明

觀次淨三業三部被甲次大金剛輪印明

次結如來拳印觀虛空中有日輪是即大  
悲觀自在大威光菩薩大日遍照如來則  
彼婆伽梵以自性智光成威曜日輪遍照  
無餘界權壞諸暗令生善提心六十四  
曼三部五部法然一體越三時如來日輪  
正是南方金剛光菩薩觀音同體故放大  
光明普照衆生界放性德心蓮開敷善提  
心寶體顯現自想我身是日光天子於刹  
那頃悉滅盡一切衆生內外黑暗此名金  
剛光明大菩薩三摩地一切如來圓光智  
如是觀了七處加持如常次小金剛輪印  
明次佛眼印明次大日印明次阿闍梨位  
印明次觀音印明次光菩薩印明次日天  
子印明施無畏印眞言眞一字也  
次散念誦

大日金輪觀音光菩薩日天子五種眞  
言也

口云日天子者大日觀音同體也次日入  
寶部三摩地此名寶生尊即寶珠實體此  
寶珠即日天子號南方光菩薩略出經云  
威光摩尼菩薩文故日天子觀音同體也觀  
音左未數蓮衆生本有佛性心蓮也右印  
日輪是開本有心蓮顯現善提心即非觀  
音大悲力者不能開悟衆生佛性眞如理  
故現日光照衆生開顯有佛時稱大日遍  
照有虛空時名日天子故向日天子祈所  
求必成就亦當日光無始黑闇悉消滅也  
又樣

先向朝日禮拜三遍

若儲小壇辦備香花飲食燈明  
次著座 次淨三業 次三部被甲 次  
結界 次如來拳印  
觀想日輪中有眞字字變成法界塔婆  
塔婆變成大日我身有日輪日輪中有  
眞字字變成法界塔婆塔婆變成大日  
如來法界大日入我身日輪自身大日  
涉入法界宮日輪七處加持  
次本尊加持  
外五股印五字明 四處加持  
無所不至印 五眞 四處加持  
灌頂密印明可用之  
次念誦 佛眼胎大日 五字明  
已上胎藏界分也  
次結如來拳印

觀日輪中胎藏大日心日輪中有眞字  
變成法界塔婆塔婆變成金剛界大  
日我身在日輪中有眞字字變成法  
界塔婆塔婆變成大日法界宮大日入  
我身日輪自身大日涉入法界宮日輪  
七處加持  
次本尊加持

智拳印 四處加持  
灌頂密印明  
次念誦 一明也  
已上金剛界分也  
次結如來拳印

觀日輪中金剛界大日心月輪中有眞  
字變成千輪金輪變成一字金輪我身

日輪中有眞字字變成千輪金輪變成  
一字金輪法界宮金輪入我身日輪自  
身金輪涉入法界宮日輪七處加持  
次本尊加持  
智拳印 志  
次勝身三昧耶印 印如軌  
唵步欠 四處加持  
次念誦  
佛眼 一字 勝身三昧耶明 無能  
勝 大金剛輪 如常  
次三部被甲 如常  
行住坐臥等常思日光者是本尊之光  
也若取香水等時必向日修此法然後  
可取之也殊勝第一祕密也

本云  
永正六己巳五月八寫之



白寶口抄 千手法上

本書事

千光眼觀自在菩薩秘密法經

三昧蘇聯二羅譯

千手千眼觀世音菩薩陀羅尼神呪終二

卷上下或一卷

續古今譯經圖記云沙門智通唐貞觀

中有北天竺僧寶千臂千眼經梵本奉

進文帝勅通共梵僧對譯名千眼千臂

觀世音菩薩陀羅尼神呪經二卷

千手千眼觀世音菩薩陀羅尼身經一

卷

口云陀羅尼此云不空也已上二經

者同本異譯也付此陀字讀樣不同一

陀一陀一陀也心覺闍梨云或人讀云

陀陀羅尼經云

私云勸玉篇陀字甲讀云何摩利支花

覺經云此是身陀陀羅文私云印梵語

母陀羅也此身印也已上

千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大

悲心陀羅尼經一卷

貞元十枚圓覺

章法譯梵語云伽梵達磨西天竺沙門

續古今譯經圖記云准千臂經序章法

與智通共出私云世流布千手經請

來可尋

千手千眼觀自在菩薩廣大圓滿無礙大

悲心陀羅尼呪本一卷

金剛智貞元仁珍

新入目錄梵釋闡詳人及本字亦云觀

世音仁珍有本字亦有詳人名

仁錄如今但無本字珍云千手千眼觀

自在大悲心陀羅尼一本

千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大

悲心陀羅尼神妙章句一卷

千手千眼觀世音菩薩大身呪本一卷

金剛智貞元新入目錄

金剛智貞元新入目錄

一卷

內云菩薩修行儀軌不空譯貞元新入

目錄圓覺海珍列外題仁列內題云金

剛頂瑜伽千手千眼觀自在菩薩修行

儀軌一卷不空仁錄兩取出之但下出

列外題然有菩薩字珍無觀自在字海

外題列之

千手千眼觀自在菩薩根本真言釋一卷

仁

梵字經中漢字對注千手陀羅尼一卷

注上

梵字千手千眼真言一卷

梵漢兩字千手陀羅尼一卷

梵漢兩字千臂陀羅尼一卷

私云上二同本也

梵唐兩字千手陀羅尼一卷

行法起首事

五日文

又云正月一日至十五日文千臂經云三

時一日文儀軌云四時三時文

名字事

口云大師御次第并法三宮石山寺出梵

號云

口云千手千眼觀世音菩薩

或云

千手千眼觀世音菩薩

千手千眼觀世音菩薩

布惹耶千手千眼觀世音菩薩

密號大悲金剛

口云此密號義操阿闍梨說也千臂經清

淨金剛名千臂觀音也是本師無量壽如

來密號也

口云千手觀音者觀音現千手千眼身主

果德故現此身也

千光眼經云是觀自在菩薩昔於千光王

靜住如來所親受大悲心陀羅尼已越第

八地心得歡喜發大誓願發大誓願應時

具足千手千眼文千手經云觀世音菩薩

白佛言我念過去有佛憐愍我及衆生故

說此陀羅尼一聞此呪故越第八地心歡

喜故即發誓言若我當來堪利安一切衆

生者令我即時身生千手千眼具足發此

願已應時身上千手千眼悉皆具足

陀羅尼經云爾時觀世音菩薩在雪山中

說法之時乃達觀見夜叉羅刹及國人民

唯食衆生血肉無有善心菩薩爲欲利益方便教化以神通力尋至彼國千手眼大降魔身說成就施陀羅尼印是時維利鬼王來我所以成就印之即得成無上道法文

私云此等文正觀音所變歟

義淨譯經云爾時釋迦牟尼如來時鶴林之間正入滅定於時釋迦摩訶然端座於衆生界作盡無餘之想及真化度無壞作是思惟已白遍法界大日如來言大師我將入涅槃其間已來吾滅後之受苦衆生無盡誰化之無能救人衆生何時睹於佛位誰能化是者唯願大師爲說是事爾時摩訶毘盧遮那如來照怡微笑釋迦文佛言善哉善哉今將爲汝說之以補陀洛山大悲大士其大士是吾分身界也衆生無始無終於此亦發無始無終濟度之誓於汝釋尊有化緣緣既唱入滅但吾分身大亦盡隨大如虛空無量法界無際是大悲大士救衆生昔願亦復如是願釋迦文佛故往詣彼大士所教授化殘衆生速將入涅槃三世諸佛皆依大士力明成覺何況五濁惡世薄福衆生汝釋迦文佛亦此菩薩弟子也寧非是因緣耶時釋迦文佛奉教勸諭皆往詣陀落山詣大悲大士如來及四大天王國天王外類等滿於無始無終衆生界亦發化度無盡無餘願文

私云此文大日所變也大日彌陀同說故觀音本身無相遙歟

問正觀音因千手果由緒如何答正觀音諸親眷總體故衣因位三形用初胡蓮

花千手於所變身中果體故用開蓮花爲三形也故千手眼經云我念往昔時觀自

在菩薩於我前成佛曰正法明十號具足我於彼時爲彼佛下作苦行弟子蒙教化

今成佛十方如來皆由觀自在教化之力故於妙國土得無上道轉妙法輪是故汝

等勿疑惑當應供養但常稱名號等供養六十二億恒河沙數如來功德何況至誠

供養其福無量此文初觀自在菩薩者指正觀音次正法

明者指果體千手眼千手經意同之正觀音因位故法花經云若有人受持六十二

億恒河沙菩薩名字復盡形供養飲食衣服具醫藥若復有人受持觀世音菩薩

名號乃至一時禮拜供養是二人福正等無異沙磧是菩薩因位故菩薩功德正等無

異云之千手成佛故等同恒河沙數如來功德也仍千手正觀音云因果別事分明

也問現千手千眼其表示如何答教時義

一云按劫初梵王於一物上立萬名衆生漸鈍大減千名千名尚難佛滅百名百名

尚難今行十名又大有千名劫初有千手者觀音現千手千眼千名三昧名又三

十卷教王經第十九云大自在天由逼迫

故率自千手打其千面文是不動明王降伏大自在天時事也具是千手千面例證也

明皇天子法云帝釋即觀世音菩薩是故曰千眼王千手臂經上云菩薩過去毘婆

尸佛化降魔身千眼各出一佛如是爲賢劫千佛千臂各化出一輪王以爲千代轉

輪聖王又云以千手配三劫也文施陀羅尼經云我又曾見過去毘婆尸佛現千

手千眼大魔身我今復現是千手千眼大降魔身於千臂中各現化出一轉輪王爲

同賢劫千代轉輪聖王亦於千眼中各現化出一佛亦同賢劫千佛等出現故此尊

降魔身中此身爲最爲上文陀羅尼集經第五說千轉觀音心中印呪功能云千劫

業障滅盡得值千佛聚集善根得持千劫流轉見千轉輪王

此三經文全意同也凡爲利生所現佛以千手千眼爲極今千手觀音以千爲

其數千眼者表過去千佛千手者表現在千佛千足者表未來千佛也是以三

世諸佛同體慈悲功德法門名此菩薩故也

問千手千眼經文分明也千足其證如何

答不空千手千眼千足是句義謂左羅網阿婆者左詞左羅網阿婆者是千手

舌在頭故千手義也亦左詞左羅網阿婆者是是梵語分明也護世八天儀軌說

如來十號中云是也仍陀羅尼中有千眼

千頭千足，若無千足，何出陀羅尼哉。此當流最祕事習也。

問現千手千眼利益何衆生乎。答千光眼經云：是觀自在菩薩爲衆生故，具足千臂，其眼亦爾。我說彼者，其有千條，唯今略說四十手法。其四十手，今分爲五何等爲五？一者如來部，二者金剛部，三者摩尼部，四者蓮花部，五者羯磨部。一節之中，各配八手，合爲四十手。亦有五法，以何爲五？一者息災法，用佛部尊八手，二者調伏法，用金剛部尊八手，三者增益法，用摩尼部尊八手，四者敬愛法，用蓮花部尊八手，五者鉤召法，用羯磨部尊八手。隨其所欲，無不能成。辨復次阿維菩薩住無畏地，得二十五三昧，二十五有善男子。是觀自在菩薩，昔於千光王靜住如來所，親受大悲心陀羅尼，已超第八地，心得歡喜，發大誓願，應明其足千手千眼，即入三昧，名無所畏。於三昧光中，出二十五菩薩，是諸菩薩皆金色，其諸相好，觀自在亦於頂上具十一面，各一於身上，其足四十手，每手掌中有一慈眼。今遊諸世界，彼二十五有文云：或一菩薩入無垢三昧，於四十手現出四十菩薩，破地獄。○有無邊三昧，於四十手化於四十手，壞其四生。○如上述大悲所現二十五菩薩，各具十一面四十手，得二十五三昧，斷二十五有一有當配四十手四十一合爲千手千眼。又云：今四十法是施無畏觀自在菩薩，爲南瞻部洲所現身。

文

口云：今四十手持四十種三昧，那形現四十體。觀音化度南瞻部洲也。南州二十五有中，我等有也。故當時現國尊有四十手，是略餘有利益手。只顯南州利益之形體也。凡一有配四十手，於二十五有總合有千手也。千眼者，四十手眼數也。一手現一體菩薩，故每四十體有十一面，其一面各具二眼。於本面有三眼，都合二十五眼也。每體別具二十五眼，於四十體千眼也。或於本身顯千眼，現五百頭面也。千光眼經云：觀自在菩薩，頂上顯現五百頭面，其足千眼。文一面各有兩眼，放成千眼也。或於千頭顯千眼，現一頭一眼，不空絹索經十四云：觀世音言：此不思議觀觀陀羅尼，是觀世音最上神通能現種種廣大神變。仍化千臂千印千頭三昧耶等文。或於手掌現千眼，千光眼經云：於身上具足四十手，每手掌中有一慈眼，一有當配四十手四十一合爲千手千眼。文付此千眼，如是有不同。

問：二十五有者，其如何？答：地獄餓鬼畜生修羅四惡道，東勝神州西牛貨洲南瞻部洲北勝州四天王天，忉利天，夜摩天，兜率天，他化自在天。六欲天已上，初禪梵王二禪三禪四禪四靜無相天，淨居阿那含已上，色空識處，無所有處，悲想悲想，想處已上，色界，是即二十五有也。

二十五有事 出阿毘曇論

略頌曰

四有 四惡趣 梵王 六欲天 無想 五淨居 四空及四禪 已上

四有 四洲東勝神州西牛貨洲北勝洲南瞻部洲 已上

四惡趣 地獄餓鬼畜生 已上

梵王 大梵天

六欲 四王切利波摩天 已上

無想 四禪天 已上

五淨居 善天 已上

已上

乘，記云：二十五有各現四十，雖爾實四十二手者，謂合掌五頂上化佛左右四十二手者，則表顯圓宗住行向地等覺妙覺四十二位，誘引二十五有衆生，經歷四十二位階級也。故玄非三藏所譯儀軌云：四十二手即四十二字門也。文准智證大師釋四十二字者，圓宗四十二位也。已上彼玄非儀軌者，觀自在三昧耶般若字義一卷，彼云：若人百字門示現百母，若入千字示現千手，今入四十二字母時，成就四十字現大三昧耶相，觀自在菩薩入其字門，即現化佛手，悟一切法本不生入其字門，即現智惠大圓鏡手，悟一切法離塵垢等云。如是四十二字之文，廣傳故略之云。

種子事

口云：種子出千手軌，亦胎藏圖并大師御次第用種子放千手法。注云：大師御傳云：依之以爲種子，尤此智也。凡種子蓮花種子，故今用之，有其謂也。此字事正觀

晉法時口決畢

三形事

口云、開敷蓮花者表果德也、謂正觀晉諸觀晉本體、蓮花部中因位也、故以未敷蓮花爲三形、千手所變中蓮花部果德也、經云、觀自在菩薩於我前成佛號曰正法明十號具足、文觀自在菩薩者正觀者次正法明者千手也、仍顯因果之二位歟、其上千手今略說四十手、其四十手今分爲五部、是五智萬德究竟尊故、以開敷蓮花爲三形也、祕藏記云、凡夫心如合蓮花、聖人心似開蓮花、文

問阿彌陀法、字開蓮花也、千手金同也、如何、答、以千手習蓮花部果體故、不相違也

口云、付三形有三重祕傳、一、開敷蓮花、二、開蓮花上、四十種持物內、隨行者所求菩薩爲形、三、開蓮花上安寶珠、是今最祕傳也、寶珠一切所求通用也

妙抄圖云



如是可觀之歟、金寶抄等八葉蓮花上、隨

事置四十所持、又深祕置如意寶珠、一切所求悉地、無不成就事也、文泉房云、儀軌字成、本尊云、不觀三形事、隨所求事、可用改之心也、云、平等房記云、其開蓮、衆如意珠、但此法不用三摩耶形、是口決也、北三宮御說、其云、實任云、調伏用劍、賢覺云、壽命願用五色雲、敬愛合掌手、變成本尊、云、信與云、紅蓮花、云、大谷云、種、其三鉢、云、

道場觀事

軌云、次於下方空中想、字、其字如深玄色、漸舒漸廣、成大風輪、於風輪上想、鑲字、白色也、漸引與大風輪相稱、變爲水輪、於水輪上想、鉢、羅、二字、金色也、稱其水輪成一金、龜於龜背上想、素字、變爲妙高山、四寶所成、又想、劍字、變成金山、七重圍繞、於妙高山上、虛空中想、是盧遮那佛、遍身毛孔流出香水、乳雨、湛七金山、同成八功德水、乳海、於妙高山頂上想、有八葉大蓮花、上有八大金剛柱、成寶樓閣、於蓮花臺中想、乾、哩、二字、流出大光明、遍照一、佛世界、所有受苦衆生、遇光照觸、皆得解脫、於大光明中、踊出千手千眼、觀自在菩薩、其無量相好、熾盛威德、十波羅蜜、菩薩周匝圍繞、八供養、菩薩各往本位、於寶樓閣四隅、有白衣、大白衣、多羅、俱伽、等四大菩薩、各與無量蓮花、部衆前後圍繞、諸天八部、以爲眷屬、如是觀想、無量聖衆及本尊、極須分明、勿令忘失、文

問、軌有三輪等觀、今前須彌山頂、其意如何、答、須彌山頂、自本三輪所成、法爾土也、故直觀須彌山頂上、不苦歟

八峯寶樓閣事

略出經云、須彌山、而有八面、文義、訣云、山有八面、八面各有門、於中空洞、八大菩薩常所居宮也、而諸菩薩、各據一面、而演說法、於其室內、乃有十方諸佛、微塵大會、文此妙高山、八角、山有八面、每面各成一峯、其形如蓮花、八葉、雖佛面有八峯、成八角山頂、平正也、凡八葉樓閣者、這八角殿、堂、八面各立一柱、爲八峯、八柱樓閣也、石山二卷、次第云、八峯、八柱寶樓閣也、文、或堂內立八柱、非邊八柱、觀自在軌云、山有八峯、衆寶合成、於此山中、復觀五室、是室中、想有八大金剛柱、文、五室者、五峯、八柱也、謂室外、雖似有五、殿內、一相、是一、曼荼羅界也、今八峯樓閣、外雖似有八、內一相也、曼荼羅事

口云、曼荼羅者、壇義也、隨四種法、可替觀方圓等也、色亦爾也

師子座事

口云、師子座者、勇健善提心義也、見、統一、云、

從子流出大光明等事

軌云、字從字流出大光明、遍照一、佛世界、所有受苦衆生、遇光照觸、皆得解脫、文、於此大光明中、踊出千手千眼、觀自在菩薩、文、同軌五相成身處、云、於圓明上想

有八葉蓮花，於蓮花胎中觀觀字，如紅顏翠色，想其蓮花漸舒大，乃至遍滿大千世界及大千世界大千世界其花具大光明，照曜六道衆生滅除一切苦惱，彼等獲得安樂，悅喜，復想是蓮花，漸斂，漸小，量等已身，又想空中一切如來悉皆入此蓮花中，合爲一體，其蓮花變成觀自在菩薩身，紅顏翠色，坐蓮花臺上，首戴寶冠，寶冠中有化佛放，輪伽者，自身與本尊身等無有異，文五相成身，身佛身圓滿儀式也，以此兩文成今道場觀本尊身也，凡觀經云，佛心者大慈悲是也，文一切如來以慈悲爲心，此諸佛慈悲合爲觀音一體慈悲，故經云，一切如來大悲心皆集一體觀世音文云，一切如來皆入此蓮花中合爲一體，歟。

身黃金色事

問：儀軌不說身色，五相成身處云身紅顏翠色，今何說云黃金色乎？答：祕藏記云：黃金之色文，依此文，歟！凡胎藏界千手通身黃金色也。

二十七面事

祕藏記云：千手千眼觀自在二十七面，具有千手千眼，黃金之色文，法三胎藏記云：千手千眼觀自在通身黃色，有二十七面，正面邊各一面，次上七面，次上五面，次上五面，下三面，各三目，左邊一面，現前二牙上出，左面出面，爲微咲形，千掌各有一眼，然四十二手執持種種器械，結跏趺坐，寶蓮花頂下璽埵內繫著白珠璽璽埵外有

青珠璽至齊已上

高維曼奈羅圖像，下二重各七面上，二重各五面，本面三面，合二十七面也，但本面三面各有三眼也云。

大原長宴記云：觀音堂本黃金色，二十七面而所持之物如經所說，坐寶蓮花，蓮花正面之左面忿怒相，右如倒次二重各七面，次二重各五面，每首有髮髻冠，最上正中一面，其面有化佛，四十二臂印執器械，等九百五十八臂，千掌舒重輪環，宛圓光，每掌有一眼云。

問：儀軌不說面數，今依何說云二十七面乎？答：祕藏記云：二十七面文，依之用二十七面也。

問：於面數有多種，今用二十七面，其依憑如何？答：觀自在蓮花頂輪伽法云：外緣又有蓮花頂輪成就法，行者頂觀置二十

七面，十波羅蜜之所成就，何以故？極戒忍進，禪惠各有三法，方願力智各有二法，如金剛頂瑜伽說是以成就二十六面也，頂上佛面從本現觀自在菩薩，成就如是二

十六波羅蜜多，隨教化作二十六面，不異於成佛之面，是其佛面名正法明是之故，有二十七行者，由此觀力故，十波羅蜜多

及與修行即得圓滿，云軌云：檀波羅蜜甚薩印，○由此印結誦真言三遍，即滅無

量劫罪，皆由得此三種施福，所謂養生施，無畏施，法施，即檀波羅蜜圓滿，現生獲得

富饒資緣具足，心得自在，壽命長遠，成波

羅蜜菩薩，即滅無量劫破戒業，種獲得三

種戒功德，所謂攝律儀戒，攝善法戒，饒益有情戒，即戒波羅蜜圓滿，常以戒品莊嚴

身口意業，所有違犯四重禁戒，悉皆斷

尼犯八重化勝罪，悉皆清淨，當來隨願得

生淨妙佛刹，忍辱波羅蜜菩薩，即滅無量

劫瞋恚業，種獲得三種戒功德，所謂滅害

耐忍安受苦忍，諦察法忍，忍辱波羅蜜

圓滿容儀端嚴，令人樂見，不相增損，皆來

親附，勝解尤深，隨念變化，精進波羅蜜菩

薩，即滅無量劫懈怠，懶墮業，種獲得三

種精進，所謂被甲精進，攝善法精進，利樂有

情精進也，則精進波羅蜜圓滿，身心安樂，

離諸疾病，無有苦惱，修世出世福智，願皆

業種獲得三種靜慮，所謂安住靜慮，引發

靜慮，辨事靜慮，即禪波羅蜜圓滿，身心輕

利，所修禪通速得成就，諸魔不能侵擾，一

切業障悉皆消滅，般若波羅蜜菩薩，即滅

無量劫愚癡業，種獲得三種惠，所謂入空

無分別惠，法空無分別惠，俱空無分別惠，

即般若波羅蜜圓滿，獲得聰明智慧，悟解

世間出世間法，博達五明，甚深義理，方便

波羅蜜菩薩，即滅無量劫無善巧方便業

種，獲得二種方便善巧，所謂迴向方便善

巧，拔濟有情方便善巧，即方便波羅蜜圓

滿，修持世間六波羅蜜，由此印安輪伽相

應，少施功業，福德廣多，疾得成就，皆至究

無量劫惡業種獲得一種勝願所謂求  
無上菩提願利業有情願即願波羅蜜  
滿從初發心乃至成佛於其中間所求世  
間殊勝上願皆得圓滿力波羅蜜菩薩即  
滅無量劫於世出世劣意業種獲得二種  
力所謂思擇力修習力於諸請治法伏  
諸煩惱斷諸惡障修造時決定勝解一切  
天魔惡業不能移易獲得不退轉智波羅  
蜜菩薩即滅無量劫俱生我執種俱生我  
執法執種獲得三種受用智所謂受用法  
樂智成就有情智斷二種障所謂煩惱障  
所知障證得一切法如幻如陽焰如夢如  
影像如谷響如光影如水月如變化如因  
陀羅網如虛空不久滿足十地住法雲地  
爲大法師已上開十度爲二十六諸十  
度中前檀戒忍進禪惠六度各開三種三  
六十八也後方便力智四度各開二八  
也故合前成二十六更加頂上佛爲二十  
七而此儀軌等說故不及異義也或云二  
十七而表十界也先二十五有能化故有  
二十五面是六趣也次合二乘爲一面同  
小乘故也次菩薩當尊故無別面也次頂  
上佛面佛界也故都合二十七面也是化  
九界顯佛界即十界體也云  
口云付顯頂面不同千臂經并陀羅尼  
經一面三日也千手經現文雖不分明一  
面賦諸師皆習一面也寶王經說十一面  
也十一面現圖像頭上二重各五面當頂  
上二重上有一面加本面都合十二面也

或二重中下重當中央安鋪陀下重除鋪  
陀有四面故頭上十面也合本面十一面  
也凡十一面者本面外十面也是十波羅  
蜜菩薩圍繞本尊義也故十一面與二十  
七面開合異也三十面或三十一面或五  
十面或此三種本說未勘之五百頭面者  
千光眼經說也彼經云觀自在菩薩頂上  
顯現五百頭面具足千眼文此一面各有  
兩眼故千眼也千頭千手千足者智證大  
師經藏本千頭千手千足觀音像在之是  
法全阿闍梨相傳也彼三千者千頭表過  
去千佛千手表現在千佛千足表未來千  
佛也是即以三世諸佛慈悲爲千手觀音  
一身是第一祕事也  
藏無量壽佛事  
諸觀音皆戴彌陀如來本師故也聖觀音  
時口決之畢

白寶口抄 千手法中

千手各持三摩耶事

千光眼觀自在菩薩祕密法經云頂上顯  
五百頭面具足千眼每於天冠各有化佛  
亦放光明菩薩身上現出一千寶臂各執  
寶物文此文千手各持三摩耶也今次第  
依之云千手各持三摩耶但千手利益  
二十五有總手也一有配當四十手今四  
十手四十目爲南洲所現身故四十手各  
持三形可觀之千光眼經云觀自在菩薩  
爲衆生故具足千臂其眼亦然我說彼者  
其有千餘唯今略說四十手法其四十手  
今分爲五何等爲五一者如來部二者金  
剛部三者摩尼部四者蓮花部五者羯磨  
摩部一部之中各配八手合爲其五部中  
亦有五法以何爲五一手息災法用佛部  
尊所以有化佛手繫索手施無畏手白拂  
手撈撈棒手鉞斧手執鞭手楊柳手八手  
二者調伏法用金剛尊是故有踐折羅手  
唐言金剛是金剛杵手金剛寶劍手宮殿手  
三股金剛是金剛杵手金剛寶劍手宮殿手  
金輪手寶鉢手摩尼手是爲三者增益法  
用摩尼部是故有如意珠手寶弓手寶經  
手白蓮手寶鐸手紫蓮手蒲桃手八法四  
者敬愛法用蓮花部所以有蓮花合掌手  
寶鏡手寶印手玉環手胡瓶手取持手紅  
蓮花手錫杖手八法五者鈎召法用羯磨  
部所以有鐵錫鈎手頂上化佛手數珠手

寶鉢手寶箭手寶鏡手寶鐲手五色雲手

於如意珠手文

口云當字配義也云云

經云若爲腹中諸病當於寶鉢手文邊祕

口云四十手分明也但合掌手者二也

口云當字配義也云云

云鉢者三世諸佛執持寶也盛貯飲食以

又寶鉢手兩掌作法界定印印上寶鉢故

於如意珠手釋曰此第一手從所持物名

諸世界一鉢消眠舍離心愚苦薩木願慈

四十二手歟雖然合掌手只成一手法界

如意珠者或三世諸佛舍利變成此珠若

悲執持三世諸佛寶鉢入微妙藥食施與

定印又爾也故雖有四十手成四十手

薩手持此兩寶如意珠故名如意珠手智

一切衆生爲治腹病當腹而安平又飲食

也故云今略說四十手法也又云手手經

證名摩尼珠摩尼珠是珠總名也即總屬

妙藥入腹除病增色故若腹中諸病者當

說四十一手寶鉢行片手許也合掌手有

別是也無珠勝如意故勝者得總名以自

持此手又外寶鉢表平覆之義能掩衆病

一手故雖四十一手合掌手爲一手更成

行業與本尊手力相合能兩寶也輪王珠

若欲成是法者以遺寶而造鉢若食若藥

四十手也又攝無礙經說四十三手謂合

方一尺六寸首有圓光穴映琉璃色放黃

入寶鉢中置尊前一睨之一百遍服之

掌手寶鉢印化佛手也化佛手兩手捧

光焰以五色綵而綴其珠從首穴出財今

得消腹一切病氣非唯治身肉病亦能治

頂上置化佛故四十三手也前二經化佛

口云鉢者是聖人所持器也是即離惡無

心病文

手片手也凡佛菩薩手臂無半手義左右

善作摩尼珠形置本尊前作印相持齋誦

食之器周圓正寺之形也病凡下所煩宿

相對不用半手此經付持物雖說四十三

咒若七日若三日果所願寶具財食常得

因邪業發也以正治邪是故以鉢當病也

手又成四十手也必依持物不論手數多

具足文大論曰如意珠出自佛舍利若法

病有內外病內者業病也謂腹中諸病及

少也又高維曼荼羅手四十三手也化

轉輪聖王七寶中其一也最大者經一尺

身心寒熱等病四大增損若水食香等入

佛手并寶鉢手各片手合掌有一手其外

六寸放大光明晝夜常照十六里十住心

寶鉢於本尊前呪百八遍腹之除諸病得

結跏趺上作妙觀察智定印此二手四十

論第二云如意寶形如大鏡光明如日照

長命也是鉢能治內病也外病者惡鬼等

或說云四十四手云云千臂經十三手也

十六日旬花現莊嚴在高幢能令衆生滿

也是以呪術治之楊柳枝手能除之

娑陀羅尼經十八也此二經像可檢之也

如意珠手 先從左方始之

寶劍手事



當於此手其劍以二股爲柄炎燄鐵質即表辟魔結界之義若欲成就如是法者作劍置尊前作念誦呪而後取劍呪二十一遍左轉三匝辟除諸鬼神然後右轉苦地爲界皆得成就文

口云經觀魘鬼神者玉篇云魘魘水神如三歲小兒赤黑色也○爪長美髮也○鬼者人神名鬼陽之精氣日神陰之精氣日雲云如是惡鬼等變惱衆生者行者取劍呪二十一遍三匝轉降伏彼惡鬼等得安隱也劍表智慧智能斷一切煩惱故除內障也  
金剛杵手事



經云若爲摧伏一切怨敵者當於金剛杵手文  
述秘云金剛杵者右杵者獨股杵也執金剛神以本願把之摧怨敵善薩本願慈悲持此杵表摧伏一切怨敵若銀若銅等貴寶作獨股杵誦呪向怨敵方作破勢設有大力必來伏文  
口云金剛杵摧破義帝釋執金剛摧伏修羅難金剛力士持金剛杵退魔障器械也故觀自在菩薩大悲深重故降伏諸魔怨等能令入佛道義也

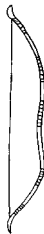
日精摩尼手事



經云若爲眼開無光明者當於日精摩尼手文述秘云日精摩尼者日天子宮殿也火珠所成故云日輪下面波氐迦寶火珠所成能勢熱能照善薩本願慈悲作日天子住火精珠宮殿破一切闇而自捧此日精珠除一切衆生眼闇雖有兩眼目失度不能見色故和以日光爲自眼用故又日珠者除闇之義也光明赫奕故喻摩尼珠若欲成就此利者向日作禮念觀自在菩薩相好圓滿誦呪即得明眼其形作日輪有說者云唯以火珠爲日精摩尼必不可作日輪此珠得日光即放光故得名如三藏師說有一秘密法若依此法修學者失眼人得明眼謂攝心觀本尊手中心有一日珠放二光明漸增長照我心眼開成就明眼即當此義文

口云宿曜經云屬精化爲日文明日精爲珠故名摩尼也初初人皆身有光明飛行自在也漸及米食故失光雖有兩眼不見物色爾時觀音成日天子照諸闇行者向日作禮想觀自在相好如法誦呪除眼闇也問日輪圖中有三足鳥其意如何答曰

輪者理性義理色金色故曰名稱金鳥彼鳥云貪鳥殘體惡鳥也以足成用顯其志意以足果之故以三足表二毒煩惱日輪顯外在彼鳥內是於煩惱上表理性顯現至貪鳥等不出到字門即於遮那萬德內神變加持委也何況於人偷陷隨用義手寶弓手事



經云若爲榮宜益職者當於寶弓手文述秘云寶弓者兵器也善薩以本願慈悲現此手其有二意一云西方土拈益宜職在武功揚芳名依弓防敵故言寶弓者增數之義也若欲榮宜職者以四肘量弓置本尊前念手相誦呪一轉弓隨意作之即得成就譬如計俱虛空數以四肘弓爲本世間宜職亦然俱虛空數至高文  
口云於本尊前一弓誦呪成就榮宜弓有曲直形以絃取直道以弓取曲道故得四沙門果十地果位悉不離何況世間榮宜哉云  
楊柳枝手事





經云若爲身上種、病者當於楊柳枝手

文述祕云楊柳者於池水浴池側生天長木卽表涼藥之義以本願慈悲薰樹王拂一切衆生身上病卽得差若欲成就此法者取楊柳葉置本尊前作想念呪一百八遍而後以淨澄水和合煮之灑身上諸病卽得除愈善藥現此手爲此益如經言世間八萬四千病悉治無不差文

口云行者取楊柳葉置本尊前呪一百八遍洗浴身體除愈四百四病現圖末三也是病有三藥病四大不調病鬼病也藥經三云療一切鬼病用青柳枝文毗舍利圖鬼病時觀晉以楊枝淨水消除諸病如是例證此多可尋云

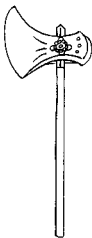
胡瓶手事



經云若爲一切善和眷屬者當於胡瓶手

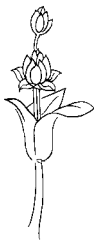
文口云光眼經云首如金翅鳥文雲山北有胡國其國人見金翅鳥形造此瓶故云胡瓶也金翅鳥隨諸鳥故云善和眷屬瓶義以萬物入一瓶無不和合歸瓶音人亦如是得諸眷屬合令和合也行一觀置本尊前入水念誦灑不和眷屬得和順又作金翅鳥頭是自在我也

鉞斧手事



經云若爲一切時處好難宜難者當於鉞斧手文述祕云鉞斧者破宜軍等兵器也本願慈悲執持此兵器表破難之義譬如取鉞斧破一切無不摧破若欲成就此事者以鉞斧置本尊前作念誦呪以鉞斧杵以鉞斧杵向其敵方振之卽得和平文

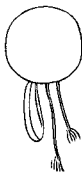
白蓮花手事



經云若爲種、功德者當於白蓮花手文述祕云白蓮花水花鮮白爲紫色本而爲垢穢不染更稱功德爲白法一切德果以白蓮花葉爲因本願慈悲薰蓮花三昧持白蓮花白法無染之義若欲成就此法取白蓮花奉本尊曾念手相如經言若多功德當以白花供養佛菩薩爲作菩薩身是人功德無量無邊讚不能盡口云白色根本色卽爲種、色所染也今菩薩爲救衆生雖似染諸色不染煩惱泥是蓮花如不染塵水又花譬萬行蓮喻成

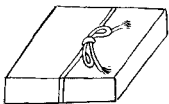
果行滿果成尤與種、功德相應也

寶鏡手事



經云若爲大智惠者當於寶鏡手文口云明鏡映徹故譬智惠也凡鏡智事疏文等多之行者以圖鏡置本尊前誦呪所聞正法皆悉覺悟深義於鏡中如現諸色像於一切智無不分明善財童子作善知識於明鏡中如見諸如來及諸菩薩也

寶鏡手事



經云若爲地中伏藏者當於寶鏡手文述祕云寶鏡者悟珍寶鏡也西方風俗大富長者爲願當來故藏入珠寶藏在地中而人不知所在者不能所用本願慈悲執持寶鏡表衆生得地中伏藏若欲成就此法取寶鏡置本尊前作念誦如伏藏在地中開鏡出寶如見伏藏又寶鏡者開見義如

開儀見之無障礙持者亦爾也見地中伏藏無有蓋障文

口云藏者方形是寶字淨菩提心地體覆蓋如伏藏譬如大地衆寶所依出生萬物施衆生今此寶篋雖有如來重寶覆蓋故不知不見由觀音力見地中伏藏是如開蓋悉見諸寶即以一寶篋置本尊前誦呪開儀蓋見之有種一寶是菩提心開發之義也

軍持手事



經云若爲生梵天者當於軍持手文述祕云軍持者天竺言唐云瓶又云軍持茶正應音精雅加卽是梵瓶以本願慈悲薰王三昧瓶持此梵瓶表當生梵天若欲成就此法者造三昧耶形安置本尊前作念誦呪離故染心生梵天文

口云軍持者常水瓶也集經十二傍開孔者名爲軍持梵語集云精雅迦卽漢瓶也古云軍持詭略云此軍持集經云梵天持軍持文故梵天三形也欲生梵天者付此三形前之也軍持盛滿一切物功能也梵王似成一切世界故爲生梵天依軍持手修之也

戰鞘手事



經云爲辟除他方逆賊者當於戰鞘手文或云柄長一丈六尺其戰直刃傍有一曲刃是則兵器也或三銀針也行者送鋒形堅本尊前誦呪內破煩惱賊外降伏三賊王賊怨賊盜賊也

觸鉢手事



經云若爲使令一切鬼神者當觸鉢手文述祕云觸鉢者執鬼之義也死人頭爲鬼所著以是義故使令鬼神亦如魯駄羅於教觸鉢見者皆畏彼天菩薩亦爾以慈悲善根力見者皆畏其形如伊舍那執觸鉢杖也骨頂首有劍形文

寶錄手事



口云行於尊前壇下誦呪諸鬼神等皆悉作怖畏故行者無怖也卽鬼有三種謂地上虛空水住也爲降此三種鬼神其觸鉢上安三股形也

經云若爲成就一切上妙音聲者當於寶

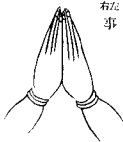
鐸手文述祕云寶鐸者寶鈴鐸也微風動出妙音菩薩本願慈悲薰音聲持此寶表出妙音之義也若欲得此所求者以寶鈴鐸奉號作念將成就時其鐸自鳴如經說誦持此陀羅尼者口中出音音若若若惡一切天魔聞者謂是清淨法音也於其人起恭敬心尊重如佛文

鐵鈎手事



經云若爲善神龍王來擁護者當於俱尸鐵鈎手文述祕云俱尸者鈎召之義鐵鈎其形曲而三銀鈎也表召衆之義若欲成就此法者以鐵鈎置尊前作念誦呪取之而招爾時善神龍王常擁護如經說天神恒常擁護文

合掌手事



口云俱尸者具云舊俱尸今俱尸梵語略也此云召是鈎召之義也依諸召故善神等來集作擁護除災難也

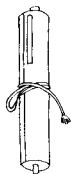
經云若爲一切衆生常相恭敬愛念者當於合掌手文述祕云合掌者合定惠掌表一子慈悲愛敬之義也是故行者對本尊作蓮花合掌曾念尊印相誦呪即成就所求如經說常得他人恭敬攝接文口云左右相合故表愛護當心故有敬義也

化佛手事



經云若爲生之處不離諸佛邊者當於化佛手文述祕云手上安置化佛故爲名而炊有爲化有機即現如影隨形今本願慈悲諸佛現前三昧化覺者安置手表一切衆生不離佛邊行者若欲不離諸佛邊者若書若造并得俱住定印像也安置自身上念手相即得成就如經言當知其人是佛身藏也九十億恒河沙佛所愛惜故文

寶經手事



經云若爲多聞廣學者當於寶經手文述祕云寶經者般若理趣也菩薩觀中以般若義爲寶故名寶經本願慈悲薰般若理趣三昧寫清淨如來一切平等性觀自在妙觀察智印甚深理趣清淨法門安置自手行者作念誦呪思惟般若空之義即得多聞廣學如經言當知是虛空藏以空惠觀衆生故文

口云千光眼經云若求多聞者當修般若經法文又云右手當心持智印出生般若理趣經文觀香妙觀察智惠門大士故尤知經爲寶諸部般若中以理趣經爲寶經也此經安本尊前供養之得大多聞廣學也

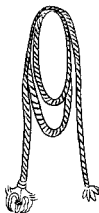
頂上化佛手和事



經云若爲十方諸佛速來摩頂授記者當於頂上化佛手文述祕云捧化佛故爲名頂上化佛者灌頂授記之義也行從師灌頂時依本部戴蓮花鬘蓮花鬘中安化佛像觀者本願灌頂三昧現此手行者作念誦呪時彼化佛舒手摩頂爲授記即

如經言觀世音爲行者授記言成佛不久文口云一佛來摩頂諸佛共加冥助也形雖用一佛兼十方如來也是非因非果相也即菩薩表非果頂上化佛表非因故因果不二理智一體義也

網索手事 右手始之



經云若爲種不安隱者當於網索手文述祕云網索者擲取禽獸繫縛難伏者具也降伏惡魔忿怒諸尊皆持索此善薩亦復如是爲摧伏繫諸惡獸邪鬼惡魔遠拒難伏者執持此索如是問人密役人若有遠拒難伏者即以繩繫縛投菩薩以秘密索降伏一切結縛之義也是故於不安隱安者當於此手爲此利現第二手若欲成就此法者以五色線作索安置本尊前作手相其索二末結連結三鈴呪之三十四結繫頂常得安穩文口云索者白索也網索有二一繫縛惡人不令傾動二圍繞四邊作結界法故除怖令得安穩也千手經云若患畏惡不安恐怖怖者取白線索呪三七遍作二十一結繫頂恐怖即除非但除怖亦得福

滅罪文  
跋折羅手事



經云若爲一切大魔神者當於跋折羅手文遠祕云跋折羅者天竺言唐言金剛其形三鉤或作三股密迹金剛力士以本願執持此杵守護三世諸佛正法降伏大魔神善薩本願慈悲蓋王三昧手執持跋折羅降伏一切大魔神者爲大魔神所饒亂時以靈木作杵置尊前作念誦呪而後取此杵呪二十一遍而作破勢忿尊印相以到處爲界自然得成就文

口云跋折羅者梵語此云金剛雖然以獨股作名金剛杵以三股號縛日羅是唐家風俗如是云爲名也如是等事和漢常法也此三股杵表降伏三種魔一內魔是先世罪業也業體似魔二外魔其類世間多或天魔三十六禽等類也三心魔心動時迷外魔不解正道是魔也施無畏手事



經云若爲一切處怖畏不安者當於施無畏手文述祕云一切怖畏處者山川溪谷

難難等橫相惱亂其心不安處也若手作施無畏與願契念手相誦呪諸鬼神被縛得安穩文

口云施無畏手者印名也或義云其手下垂名施其掌外顯之故名無畏但普通通施無畏印也行若怖畏時右手作施無畏印誦呪即得安穩也月精摩尼手事



經云若爲熱毒病於清涼者當於月精摩尼手文

述祕云月光甚清冷此取清冷之義也若欲成就此法者於天扇上<sub>女云</sub>如經言熱毒病侵陵欲命終至心誦大悲呪病消滅正是此手利益也如經言如法誦大悲心呪是時日光菩薩月光菩薩與無量神仙來爲證益其效驗我於爾時當以千眼覺以千手護持此即千眼照時得眼千手護時除身心病當知日月譬此義其言雖總顯此兩手利益也文

口云或天扇中背月輪誦呪消熱毒病月水珠所成故有清涼光可知寶箭手事



經云若爲諸善友相者當於寶箭手文述祕云寶箭者迅疾兵器也此有三義一云箭爲弓用即當爲我求朋友義隨弓力迅疾去遠近任意表善友意右一云寶箭二成一雙即表朋友親儀三云西方求雜友法以箭迅故善薩本願慈悲手持此寶箭者謂說敬愛法作愛樂三昧耶箭立本尊前誦呪即成就其箭形二征相柱成交會相名愛樂箭若求此事當於彼手文口云箭有強軟相根有鐵又是強義首有鳥羽是軟義也即強軟不相離是故親疎還令如此義也亦箭有五德一飛行二連疾三相逢四堅立五立已不散也歸依觀音善友自來如前飛行自在義也行者二手取箭誦呪悉地速疾也箭於意樂處相合何願望不成乎白拂手事



經云若爲除身上惡障難者當於白拂手文述祕云白拂者國王長者執執左手拂蚊等器也觀音本尊慈悲蓋王三昧執持白拂表拂一切衆生障難欲成就此法

者作一白拂安置本尊前。觀手相呪一百八遍。以觸身除障難。譬如白拂掃障災穢。散除蚊虻等文。

口云。白佛以白生糸。作之白淨義正義諸色。本郎本不生理也。糸除義保護故染淨不二。邪正平等也。以此實理除諸障難。行者作白佛。立本尊前。呪百八遍。觸自身拂諸障。應得安穩也。

榜排手事



經云。若為辟除一切虎狼豺豹諸惡獸者。當於榜排手文。述祕云。榜排者。取諸獸者。也。其形如忿怒面逆眉瞋目。一切見者無不怖畏。手持之表見怖之義。○作榜排形。置本尊前。作念誦呪者。不遇諸惡獸。口云。大般若普義中。榜排。樹也。云。大國。折文。圖輪物形。或神形。或龍形。或鬼面。或友輪也。隨意圖之。但多分鬼面。或友輪也。即觀音所持榜排。多分圖鬼面也。

玉環手事



經云。若為男女僕使者。當於玉環手文。述祕云。玉環者。國王及長者飾腕之具也。以金鈴而飾。常隨身。觀音本願慈悲執持此寶表繫總之義。若欲成此法者。作二玉環。互相纏。安置尊前。誦呪即得成就。如經言。常欲所求皆稱遂文。

口云。玉環者。貫玉飾之。故云玉環。以金銀飾之者。云金鎖也。求男子求婦。依觀音即生男女。為僕使也。知子實緣。以環知之。若金銀。銅作二玉環。相交纏。安本尊前。修念誦法。男女僕使。左右隨逐。奉仕不散也。

青蓮花手事



經云。若為欲得往生十方淨土者。當於青蓮花手文。述祕云。供養諸佛。以青蓮花為第一供養。釋迦以七華青蓮花供養。燃燈得無生忍。值遇十方佛。觀音本願。薰蓮花三昧。執持青蓮花。表一切衆生供養佛。往生十方淨土。青者大海色。蓮花以不染為義。超苦海之義也。若超苦海而生佛國。當於此手自然生。夫海水雖清。汲見實非青。此花亦爾也。青而無染色。有釋。黑色之上。覆布黃色。即成青色。表於黑業之上。掩佛光得往生文。

口云。青色。黑色。上染黃色。顯青色。是黑業煩惱衆生。預金色。如來清淨。成同一體。往

生彼淨土。故以青色蓮花表示之云。



經云。若為面見十方一切諸佛者。當於紫蓮花手文。述祕云。紫蓮花者。十方諸佛所座。諸佛皆坐紫金臺上。蓮花座。若為機現往來時。以紫雲為瑞。執持紫蓮花。表衆生見佛。○先現紫色。後乘紫金臺。行者所見。佛。常見佛。如經曰。所生之處。見佛聞法。有解云。紫色者。妙色。非亦非黑。表非有非空。而赤黑和合成紫色。即表見色之義。

文

口云。紫色者。赤黑和合色。黑色表黑業煩惱衆生。赤色表大悲色。慈悲似愛。又本尊西方敬愛蓮花尊也。故黑業煩惱衆生。不離二故顯紫色。此色非淨非垢。煩惱善提。不離一體。故行者作紫蓮花形。置本尊前。誦呪時。任意得見佛也。

五色雲手事



經云若爲仙道者當於五色雲手文述秘云五色雲者得仙道奇瑞也即表道法成就得五通之義若欲成就此法者即入深山幽洞斷五穀食松葉及藥草三業無犯向於方所觀手於誦呪時本尊迫持呪仙空現於五色雲其後法成就也如經云若道心能熱乃至神仙未證無上菩提心本願慈悲爲此所求現此手文

口云眞言雖出延壽德四十手三形中無延壽壽但此五色雲手是也仙道長壽秘術也人精氣如雲若維持之不令離散是故成仙道長壽身五色者五臟精色表五道仙雲表壽命雲水氣是命義息風出氣海水體有情以息爲命故五臟能資益壽命長遠也

紅蓮花手事



經云若爲往生諸天宮者當於紅蓮花手文

述秘云紅蓮花者紅色赤明也諸天愛此花本願慈悲表天愛之義誦呪念手相生天上爲諸天衆之所愛惜有解云第六天果報紅色好彼色故從勝而說如經說常生善國文或云以智惠色花得生諸天如佛所說天有四種一世間天謂諸國王一生天諸三界天三淨天謂四果支佛四義

天謂諸善諸衆以能淨解諸法義故如是諸天以智得生今紅蓮花是智惠也行者作紅蓮花形置本尊前謂隨願顯生天無智惠生天者得五欲墮落有智惠生諸天不染世樂如蓮花云

寶螺手事



經云若爲召呼一切諸天善神者當於寶螺手文

述秘云寶螺者吹之出大聲器也如經言善神龍王來示正道文

口云以高聲器呼諸善神也譬如他國俗人行路時人山吹螺呼友友無不應今呼諸天善神亦復如是行者尊前置一寶螺誦呪而後右轉三匝置左掌吹之發大勢故諸天善神來除災障示正道或山林行失道或獨坐時修此法云

數珠手事



經云若爲十方諸佛速來授手者此於數珠手文

述秘云數珠者蓮子珠也即授手之義諸佛標幟也菩薩現此手表諸佛速來授手若欲成就此法者以珠作念誦呪是時諸佛同授手令無恐怖如經言十方諸佛皆來授手有解云數珠是禮佛念佛標幟故

寶印手事



經云若爲口業辭排巧妙者當於寶印手文

述秘云寶印者其面四角四角中彫阿字以此印印一切無留滯著藤本願慈悲薰寶印三昧表智契無滯之義作手相誦呪印於心上即得成就文

口云寶印面左字衆字也施衆生故本尊方左字也是爲口業巧妙用衆字凡衆字蓮花部種子智惠門故有說法斷疑德故理趣釋說衆字功能云此字加持於極樂世界水鳥林皆演法音文是衆字口業德可知也

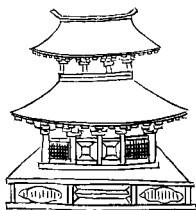
錫杖手事



經云若爲慈悲覆護一切衆生者當於錫杖手文

述秘云錫杖者其形作菩薩杖表六度之位圍繞本尊三摩耶相並繫六輪菩薩本願慈悲普現色身三昧而覆護三界六道一切衆生之義菩薩杖以六度爲體故若欲成就此法者作錫杖形安置尊前作手相誦呪然後取之振發普引慈悲六度名卽得成就如經言當知是人慈悲恒以陀羅尼救衆生故文

宮殿手事



經云若爲生世常在佛宮殿中處胎藏中○受身者當於宮殿手文

述秘云菩薩本願慈悲化宮殿於其中安化佛捧掌上是爲表誦呪歸依人令處佛宮殿中故行者作宮殿形以化佛形令坐中處胎藏如經言蓮花化生不受胎藏之身文

口云宮殿人天居所也若以世間宮殿奉

佛者還住佛宮殿云金輪手事



經云若爲從今身至佛身菩薩心常不退轉者當於不退金輪手文

口云觀音菩薩手執金輪不令轉故譬行者發菩提心不可退轉也當知輪表生死流轉生死流轉既滅輪卽止也令觀世音手持金輪令退轉輪八輻輪也此輪置尊前誦呪除輪迴業云

補桃手事



經云若爲葉茂諸穀稼者當於補桃手文

述秘云補桃者草葉之類也其形甚多寒熱不損菩薩本願慈悲薰福德門持此草葉佛表爲穀不損之義若欲成就此法者以補葉奉尊誦呪念呪水灑之卽成就如經言雨澤順時葉實豐饒如是可求之法

等者物結文  
口云補桃者惠比也穀中有之其色在五  
色初青次黃次熟赤次成黑次熟已還成  
白其實多葉如玉聚卽爲葉茂諸穀作補  
桃證本尊前誦呪甘雨調器界五穀成就  
法花經云甘蔗補桃雨之所謂無不豐足  
文

白寶口抄 千手法下

十波羅蜜八供養菩薩事

軌云十波羅蜜菩薩周匝圍繞八供各住本位文

口云千手二十七面開十波羅蜜爲二十六更加本面爲二十七面是本面爲主二十六面爲伴故云十波羅蜜菩薩周匝圍繞又普通于千手十一面是十波羅蜜菩薩加本面爲十一面故十波羅蜜菩薩周匝圍繞觀音義也凡千手大悲後得智作用今十波羅蜜中後四波羅蜜亦作用也前六波羅蜜主也是主伴無盡故以十度爲伴又十度可有互具義也又儀軌依金剛界故說八供養菩薩也十波羅蜜八供養菩薩各住本位可觀之也

白衣大白衣等事

軌云於寶樓閣四圍有白衣大白衣多羅毘俱胝等四大菩薩各與無量蓮花部衆前後圍繞文

口云此四菩薩千手四德也白衣軌云或有惡人無事作留難者想彼人在輪伽者足下誦真言二十一遍所有留難者悉皆消滅慈心相向不能障礙文是息災德歟

大白衣者前白衣蓮花部別門諸觀音部母也此大白衣法界體性智出生蓮花部時名大白衣故兩尊蓮花部總別義也總能生故增益義也軌中欲知未來善惡事

成不誦彼明眼中夢見之取意此未萌德也未萌亦增益義故增益德也多羅者大疏云由此菩薩從悲而生亦復衆生到於悲處也文此尊從觀自在眼中生也經云慈眼觀衆生文是悲似愛故敬愛德也毘俱胝者即嚴梵名也額有皺是忿怒形即降伏德也已上四菩薩顯四德是四種法也

天龍八部衆事

軌云諸天部以爲眷屬文天龍八部者一者天二者龍三者夜叉四者乾達婆五者阿修羅六者迦樓羅七者緊那羅八者摩睺羅伽也

問二十八部衆千手眷屬也何不出之乎答廣略之異歟無別千手經云密跡金剛七烏鶻若荼鴉俱尸文

私云此明呪神部也密跡者秘密主執金剛大菩薩也故名金剛七烏鶻者烏鶻沙摩也若荼鴉者荼利足蓮花軍荼利明王也鶻俱尸者馬頭明王也五部各有鈎召使者軌云以馬頭爲鈎召使文鶻俱尸梵語也

經云八部力士資迦羅文

私云是神呪使者部也八部力士者八金剛使即八金剛王也例如五明王仁王經名五大力士菩薩資迦羅者八大金剛使通號也此表出總名也

經云摩醯那羅達文

私云是大力天部也摩醯者大自在天

也那羅茶者那羅延天也那羅延者彼具足梵號也

經云金毗羅陀迦尼羅文

私云曠野鬼神部也金光明經云曠野金毗羅文金毗羅曠野舉彼住所也摩訶摩耶經云金毗羅文是提頭賴吒天王第三補陀也統領一切鬼神等也迦尼羅夜叉者毘沙門天王第一補陀也

經云婆伽婆樓那文

私云水神部也婆伽婆者亦云摩婆此魚之梵語也波樓那者水天梵語也大集經十五云婆樓那龍爲一切魚龍王又五龍事如常

經云滿善車鉢眞陀羅文

私云善神部也灌頂百結神王護身呪經滿善者舉功德也可見彼經也

經云薩遮摩和羅文

私云神將部也灌頂經云大神將車女薩遮摩和羅文

經云鳩摩草吒半祇羅文

私云闍維神部也灌頂經云鳩摩檀提字戰無敵文

經云畢婆伽羅王文

私云山神部也畢者廣也大也婆伽羅者亦云摩遮羅此云彌猴金光明經諸天衆又護持品出之

經云應德尼多薩和羅文

私云流行神部也尼多者此云明也是白鬼也應德梵云阿羅質婆婆也



經云梵摩三鉢羅文

私云梵天部也其梵語云梵羅賀摩三鉢羅梵摩此云淨三鉢羅此云應是故梵天亦云應天也

經云五部淨居焰摩羅文

私云那含天部也謂五淨居天兼又炎摩羅者焰摩天也

經云釋王三十三文

私云帝釋天部也

經云天辨功德婆世耶文

私云天女部也天辯者辨才天女也功德者吉祥天女室利有二翻一云功德二云吉祥是故婆伽梵多羅摩阿羅羅多等三藏翻云功德天唐末諸三教皆翻云吉祥也沙怛那亦安相那此云隱形此摩利支天女也

經云提頭吒王女

私云提頭婆部也此持國天也彼天提國婆王故也

經云神母女等大力衆文

私云神母部也金光明經云訶梨帝名母神摩訶摩耶經云鬼子母也鬼子母經云天上有五百子地下有五百子皆有大力文

經云毘樓勒又王

私云畢隸他部也畢隸他此翻餓鬼彼天其主故也或云毘樓勒又鳩槃荼主也云

經云毗樓博又毗沙門文

私云護世天龍也

經云金色孔雀王女

私云是鳥主部也

經云二十八部大仙衆文

私云天仙部也或云二十八宿名大仙是出孔雀經并七佛所說神呪經也

經云摩尼跋陀羅文

私云大藥叉部也東方天王第一補位也摩尼跋陀羅此多伽天之弟也八大藥叉上首也謂寶樂叉之梵語也

經云跋陀羅大將弗羅婆文

私云方伯藥叉部也方伯藥叉者孔雀經云四方各有四藥叉四維各有一上方有四下方有四合成二十八也又金光明并藥叉觀自在經等可見之也散脂者唐云正了知弗羅婆者又云布喻

經云跋陀羅唐云滿賢亦是多門天弟也

私云跋陀羅弟也

經云沙伽羅龍伊鉢羅文

私云海龍王部也沙伽羅此翻海故此龍依海得名伊鉢羅是大龍王也玄應

經云伊鉢羅多羅云香樂龍

私云修羅乾闥婆文

私云非天或云無善也乾闥婆者此云食香云神是天帝釋作樂神也

經云非人部也迦樓羅此云金翅鳥王

私云迦樓羅摩訶羅文

私云非人部也迦樓羅此云金翅鳥王

私云迦樓羅摩訶羅文

私云迦樓羅摩訶羅文

私云迦樓羅摩訶羅文

私云迦樓羅摩訶羅文

私云迦樓羅摩訶羅文

私云迦樓羅摩訶羅文

私云迦樓羅摩訶羅文

私云迦樓羅摩訶羅文

私云迦樓羅摩訶羅文

私云迦樓羅摩訶羅文

私云迦樓羅摩訶羅文

也緊那者緊那羅也或云眞陀羅此云非人摩醯羅此云蟒蛇即腹行神也

經云水火雷電神文

私云雷電神部也此水電兩神也

經云鳩槃荼王毘舍闍文

私云地鬼神部也鳩槃荼者或書云馬頭人身亦作樂神毘舍者廟神也

經云慈恩云狂鬼也或書云毘舍遮是極苦楚義也是餓鬼類也或人云舉呼此守護名即名二十八衆但不立部名又不知所由也凡不空所譯毘沙門天王經出二十八部衆其名字全同今千手經也此二十八部可分別天龍八部衆是廣略異也故奉龍天八部衆不云二十八部衆歟

二十八部衆種子事

二十八部衆種子事

二十八部衆種子事

二十八部衆種子事

二十八部衆種子事

二十八部衆種子事

二十八部衆種子事

二十八部衆種子事

二十八部衆種子事

目 目

根本印事

目 目

軌云根本印，二手金剛合掌，稍曲手背，合掌相離，以慈願二度相合，經慈願智四度折開，各直堅即成文金剛頂降三世大儀軌法。王教中觀自在菩薩心真言一切如來蓮花大曼陀羅品，云合掌已二水來蓮花地空各開堅，二火相合是根本印。天等合掌是為大蓮花印，不場大蓮花開堅地空是攝奪諸罪印。

口云軌名根本印，妙心大名蓮花杵印。降三世大軌見蓮花五股印，此印五股形也。經云其四十手，今分為五，一如來部，二金剛部，三摩尼部，四蓮花部，五羯磨部也。一部之中各配八手，文本本四五十手攝五股一印故，四十手總印也。故名根本印也。又蓮花五股印，五部五智義，各具五智故。此印蓮花部中五智體故，中指作蓮合，二小二大，同可觀蓮花形，顯五部即各具五部故。五、二十五部也是利益二十五有衆生義也。又雲書云，名補陀落山印，名九峯印云，彼山形有九峯，八方八峯，中央一峯也。不空相素經八云，當中最七寶補陀落山，其山像像須彌山，像山巔九寶猶若蓮花，當中有如蓮花臺，此印作彼九峯形。二大、二小、四峯、二頭、二無名四峯，二指一峯，合九峯也。能居所居必一體，故根本印相表示九峯也。是總兩部四智八指

表八德，二中指平等一智表總德，智九峯印也。又深緣口傳云，二中指作寶形，餘八指觀八業蓮，攝補陀落山八葉峯中央寶珠成本尊，故依正共結顯印也。又泉云，口云此印二地二風，千光如寶，轉佛印。放千光，此印准彼中指末數蓮形，此蓮相觀，是本覺心蓮也。二無名指二頭指相又爲縛者是羯磨表示也，即成千條之事業表示也云。

私云此表示各別智也，爲才覺記之。大陀羅尼事

口云大陀羅尼者，常千手陀羅尼也。出世流布千手經，但此經說陀羅尼，許不說印。儀軌印言共出之陀羅尼文句大異也。又徒陀羅經背頸觀管軌等可見之，梵本惠果御筆有之云。

軌云誦此陀羅尼七遍已，頂上散印，由結根本印，誦此陀羅尼，能作四種成就事。一者息災，二者增益，三者降伏，四者敬愛，鈎召等也。所有希望世間出世間果報，皆得滿願。此本教中所不說作諸成就法者，用彼諸教中法，對此像前作心，成就成就也。又千臂經上云，爾時觀世音菩薩摩訶薩，白佛言，世尊，是我前身不可思議，願德因緣，若有善男子善女人，於佛滅後五百世中，能於日夜六時，依法受持此陀羅尼法門者，一切業障悉皆消滅，一切陀羅尼法悉皆成就，乃至過去未來現在諸佛，皆因此陀羅尼法，得阿耨菩提，又云，其有業

報命根盡者，誦呪滿一千八十遍，即轉業障。又云，若以此陀羅尼呪手，七遍摩一切病人，身得除差。又云，若欲降伏衆魔者，當以蛇陀羅尼呪安悉香，二七遍乃至持一呪，一燒滿一百八遍，則得除滅。又千手經云，如是神呪有種種名，名廣大圓滿，一名無礙大悲，一名拔苦陀羅尼，一名破延壽陀羅尼，一名滅惡趣陀羅尼，一名破業障陀羅尼，一名滿願陀羅尼，一名速超上地陀羅尼，如是受持，又云，誦持大悲神呪者，出現在生中一切所求，若不果遂者，不得名爲大悲心陀羅尼。唯除不善除不至滅，又云，當誦此陀羅尼，一宿誦滿五遍，除滅身中百千萬億劫生死重罪。又口云，一宿五遍事，異義多也。二并慶範法印云，誦第十羅一宿之鳥。云一宿者，一本意一宿，一意可知五遍如何。私云，千手千眼者，即五百人上住其中，一宿日宿，再宿宿，日宿云，平等房二十卷抄云，諸人異外，中一宿者，行法有六時，宿晝夜各三時也。於此六時各誦五遍，總成三十遍，是故有三十種勝利，除十五惡，得十五善。生也。其三時滿十五遍，故得十五善。生夜三時滿十五遍，故除十五惡。死也。靈陽也。屬生夜，隨也。屬死是故治死益生。晝夜定時，宿勸誦持已上。

寶心闍梨云，智覺禪師心府云，一宿，擬文一向一心，無云，或云，一宿者，非一宿義，只一時一座誦五遍事也。是五智圓滿故。

云一宿五遍即速疾義也清水寺定深抄云有人云一宿者到誠名也毛詩云一宿是誠義故其七文定深舉七師異說中毛詩事第七義也此義宜兼毛詩宿者誠也

云一故知一宿者一事義也宿誠義也即專誠可謂之故經云唯除不善除不至誠文此文意符合是至誠心誦五遍義也或云任靜慮室或云六時或云不散心或云一直無雜皆是致精誠言云一故一宿至誠正義云

口云法務厚應無根本印誦唯日羅達磨吉小也妙抄根本印用大陀羅尼又良言用小說也餘流有此例歟

八葉印事  
口云八葉印者蓮花部諸觀音通印也殊八葉之上觀寶珠是本尊三昧耶形結願印故最秘印也

真言事  
口云金剛 法理也 種子不空 也 二半也 常喜院云諸家真言集名千手小呪但本說未分明惠什闍梨云千手小呪出妙香印法并蓮花頂法云勸修寺集出見于青頸觀音儀軌不說功能云覺印闍梨云伴兩三證文尚不分明云

口云彼妙香印法見大悲觀音全不見千手兩軌共聖觀音法也印既聖觀音印也言豈非聖觀音言乎又青頸觀音儀軌說大呪全不說小呪也所詮無量壽軌用聖觀音言聖觀音通諸觀音而千手以觀字

爲種子今言以此觀字爲本尤有道理歟但智證請來錄外千手儀軌金智云以此呪爲本尊呪文是其文證歟

又印事  
千光眼經云二手堅固縛蓮力摩尼形神智並甲立即成威言曰

口云此印言共說千光眼經印金剛界法善薩印二頭指作蓮形葉是即二頭指作寶形以之爲異凡三印者初蓮花五股印是金剛界五智義次八葉印折界八葉九尊義今印二頭寶形也寶珠不二義故觀音入寶部諸世出世希願也今此印言如意寶珠御手印也爲求種珍寶珠可用此印也

經云若爲富饒種珍財資者常於如意珠手文  
私云三部鈔四十手中隨所求成言持用也室取流七種秘印明用之三井流井葉房抄等印言多也依略略之

正念誦事  
口云小呪云軌用大陀羅尼也俱用小呪是當途傳也

散念誦事  
口云本尊以下如意輪六觀音故舉之但薄聖經等先正觀音次本尊也是爲本身故用正觀音今善薩位因位故本尊爲先次用正觀音是以本尊爲本故也又白衣

蓮花部母故通諸觀音法用之也又多聞天此法護持故殊用之千光眼經云佛以此法付屬多聞天王能護持法故於無智人中不宜此法還生疑謗墮於地獄雖然於末法中當令傳授雖聞法已作誹謗於供養一切如來況信受者乎文又吉祥天女多聞天部類故用之歟又千手眷屬婆蘇仙功德天女或云功德天女舊譯吉祥天女新譯云然者千手眷屬故用之殊吉祥天女寶部故也又阿利帝護觀音法有誓約故加誦之也

誦事  
口云本尊誦出儀軌但不不用之歟石山道場觀有別證或亦用西方讚此法證有多種也

迎請事  
口云蓮花部心印言也是通諸觀音云結界事

口云蓮花部結界用馬頭是當途習也但軌用降三世也

字輪觀事  
口云觀字也

本不生滅  
因愛不可得  
自性不可得  
因愛不可得  
因愛不可得  
因愛不可得  
因愛不可得  
因愛不可得

護摩事

千光眼經云觀自在菩薩為衆生故具足千臂其眼亦爾也今略說四十手法其四十手今分爲五二如來部二金剛部三摩尼部四蓮花部五羯磨摩部一部之中各配八手合爲其五部中亦有五法一息災法用佛部卽化佛手絹索手施無畏手是爲拂手拂排手鍍斧手被絹手楊柳手是爲二誦伏法用金剛部尊嚴折羅手三古金剛杵手也獨設寶劍手宮殿手金輪手寶鉢手日摩尼手月摩尼手八法三增益法用摩尼部如意珠手寶弓手寶經手白蓮手青蓮手寶鐸手紫蓮手蒲桃手八法四敬愛法用蓮花部蓮花合掌手寶印手玉環手胡瓶手軍持手紅蓮手錫杖手八法五鈎召法用羯磨部鐵鈎手頂上化佛手數珠手寶螺手寶箭手寶鏃手鋼鏃手五色雲手八法隨其所欲無不能成辨文軌云能作四種成就事一者息災二者增益三者降伏四者敬愛鈎召等所有希冀世間出世間果報皆得滿文

口云此法通五種法今依師傳常就息災法修之成就敬愛修之但可隨時也小野傳修敬愛殊爲秘事歟

軌云於境西面安千手千眼觀自在菩薩持誦者於檀東對像發茅薦爲座文此文就敬愛修此法也覺禪閣梨云師口云小野傳行敬愛爲秘事但連壇之時息災可修之或人云三十壇供付敬愛出赤色淨

衣諸人嘲之云：

私云或云部主阿彌陀千手經云稱念我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

我之名號應專念我本師阿彌陀如來

發遣 准召請 以右大指三 諸尊段三十七章

或云六觀音 或傳云千波羅蜜白衣大白衣多羅毘俱胝八俱四攝可供云

世天段 如常 毘沙門增約加供吉祥天縛斯仙吉祥天眞言曰

吉祥天眞言曰

縛斯仙眞言又云婆伽

婆伽婆多沒駄引喃引縛斯瑟吒合

禪鈴二婆伽合

千手愛法

口云鴛鴦一隻牛生取尾者尾中間兩穰事也或雖思有雌風切ッ羽トヲ取用之也

使寬云鴛鴦尾阿闍梨儲之世間鴛鴦刀

羽用云事辭事也云

問於男女分左右加持之乎 答雌尾置行者右方雌尾置行者左方加持之後相分以糸緒本是師傳也此外如出次第無子細也小野流裏方分亦以不結尻頭ヒネツテ行者右脇机置之護摩散念誦之時脇机取置鈴杵邊佛眼大日眞言之次加三股杵誦本尊陀羅尼一百八遍若十五反

以三股杵誦本尊陀羅尼一百八遍若十五反

共滿之云護摩時又置脇机是去金剛盤指合故也此加持時如是也

鴛鴦尾行法滿結願之後以紙卷之封畢

上書義字者是本尊種子也上下書義字也一字金輪於諸事必令所願成就緣也亦於物不被摧破故也施主許還之令懸頸第一敬愛法也或云表顯也

口云行法次第等不異常途只護摩壇料想等付常敬愛法修之無相違也但種子義字上觀伊字三點也三點即法身般若解脫也又三部又三寶也

三寶寶珠四十手所持隨事可用也雖然以寶珠爲祿餘所持物皆自寶珠出生也寶珠即法身般若解脫也

根本印  
敬愛法時二水二風交是男女定惠敬愛義男惠女定也定惠指交男女敬愛觀之二中相合者作寶形祕傳也是中指上觀寶珠男爲女寶也女又爲男寶也即寶輪上安寶珠雨財寶義也寶珠又滿一切意願義成皮祿敬愛意顯也第二八葉印無子細花可愛義敬愛尤相應也眞言也但先愛樂王大呪末

口傳云千手與愛樂一體尊也即千手四十手所求與愛樂王持彼手所求衆願望全同故兩呪誦之也最祕事也

敬念誦時愛樂王呪加誦之但不藏卷數

問愛樂呪本尊次可誦之歟如何答大日之火誦之其後本尊呪可加持鴛鴦尾也

口云供時可滿大金剛輪眞言護摩時護

摩呪也部主愛樂王也  
加持物小米染赤色若小豆觀想此加持物變成鴛鴦尾人從本尊御口至心蓮花臺成無量蓮花箭即從一毛孔流出蓮花箭雲海而供養十方無邊諸佛菩薩其蓮花箭還來射拂男女增惡障別驅離心速疾男女一體和合互令起無二敬愛之心如是觀百八遍供之了此外別無子細事修之皆有効驗也云

白河院御時東面女御依爲御不和局羽僧正使被修此法有効驗故以外御布施多給之云

讚岐院御時皇寺門院不和御時法務御房被修之仁濟阿闍梨手替云

金寶抄云千手法以赤色紙八葉造之百八枚本尊段燒之云

法務教造紙云赤色之紙二帖許千手法可用師主院也云

調伏乳木千臂經云欲伏然家呪苦練木二十一遍一呪一燒即得歸伏云

白寶口抄 馬頭法  
本書事  
謂耶揭利婆觀音菩薩受法壇聖賀野乾里摩大威怒王立成大神驗供養念誦儀軌法品二卷 不空譯

私云不載八家錄誰人請來不分明八千枚事等有之立印軌全同也

馬頭觀音陀羅尼一卷 海仁  
梵字馬頭觀自在菩薩心眞言一本 海仁

梵字馬頭眞言一本 仁  
海錄云梵字馬頭觀音陀羅尼一卷

畫馬頭像法一卷  
別錄無之但祕錄并小野經藏目錄有之行儀印明觀念本尊形像又作成就法等廣說之也

馬頭觀世音菩薩大呪法一卷  
叙錄云十六紙無譯人名

馬頭明王大儀軌一卷  
小野錄有之尋之

陀羅尼集經第六  
此中護身結界等印有八眞言有十六并畫像壇法等說之行法起首時分事

集經六云作此法已從白月十日起首食大麥乳糜後十三日十四日十五日二日三夜斷食不食文軌下云一七日或二七日或三七日或三十五日或四十九日或

九十日若六時若四時若三時若二時若一時如上護摩念誦莫限數遍文

名字事

集經一云。訶耶揭哩婆。唐云馬頭

同六云何耶揭哩婆觀世音菩薩馬頭文

大日經云何耶揭哩婆文

疏五釋云馬頭云

口云馬頭觀音以慈悲方便常擁護行者

能摧諸魔障莫滅除衆罪故稱馬口德得

噉食名也此馬儀軌如羸飢馬食更無

餘念文法華經云但念水草餘無所知文

畜生中馬殊念水草況於羸馬乎彌無餘

念晝夜不休息求食今此尊大悲深重利

益衆生外表無他念也二卷軌云賀野乾

哩形。瞬能摧諸魔障以慈悲方便現大忿

怒得成大威日輪照曜無邊界行者暗說

速重悉地故文又云我大慈悲馬口本願

深重故化一切衆生專勝諸尊由大慈故

不著生死由大悲故不住涅槃常住生明

諸境界中斷盡根。諸惡趣六道四生。

老病死之苦又能噉食滅盡取事近喻如

羸飢馬食草更無餘念此本願力故十方

刹土無不現身。喻伽者起深著提心。滿每

日一百八遍大威怒王現身奉事修瑜伽

者喻如婢恭敬猶如婆娑婆二世著提何

非成文凡觀音以慈悲深重爲心府以濟

生利物爲骨目故經云一切如來慈悲心

皆集一體觀世音文是觀音大悲總體也

今馬頭大慈深重專勝餘觀音如彼觀

馬食草如無餘此尊噉食衆生無明煩惱

表悉無遺餘故云馬頭又密號名噉食金

剛也二卷軌云焚燒世界成一大火聚大

馬口等衆流俱湊吞納無餘盡成猛焰說

是大威怒王聖者馬頭尊微妙身亦如大

馬口吞噉焚燒一切衆生藏藏中若干燕

智難種心等文

口云藏藏中難種心者第八誨阿賴耶業

壽種子也此種子一切衆生。死輪迴因

緣故焚燒燒種子集福德之莊嚴令證圓

淨之法身也或云衆流同入一海。不增不

減故依馬頭山也此觀音大悲亦如是謂

諸佛菩薩慈悲方便種。難異悉攝入觀

自在身不增不減如大海中馬口也此故

戴馬頭也云。疏五云馬頭其身非黃非

赤此是蓮花部忿怒持明王也猶如轉輪

王寶馬巡履四洲於一切時一切處其心

不息諸菩薩大精進力亦復如是所以得

如是盛猛之勢於生死重障中不顧生命

多所摧伏者正爲白淨大悲心故以白

蓮嚴其身也文

口云此尊密號又云迅疾金剛御筆義操

集云云云迅疾金剛文是速疾自在

義也輪王寶馬是速疾義歟

問馬頭何化身乎 答集經一云爾時觀

世音菩薩即現珂耶揭哩婆身唐云青頸

觀音軌云大悲觀音化爲馬頭明王加被

行人速成佛已文是聖觀音變化身也

問馬頭明王與馬頭觀音同異如何 答

慈悲甚深故號觀自在悲智教令故稱馬

頭明王又明了故名明化用自在故號王

故如意輪陀羅尼經說馬頭觀世音明王

尊勝軌下馬頭明王觀自在菩薩文明王

觀音一體備其德明王即觀音且其證分

明歟

馬頭觀自在菩薩出意輪經

馬頭觀世音出意輪經

馬頭菩薩出意輪經

馬頭觀世音明王出如意輪經

聖馬頭尊出二卷軌

馬頭金剛明王出甘露經

馬頭明王出胎藏經

大力持明王出胎藏經

大威怒王出二卷軌

師子無畏觀世音出于止觀第二

問馬頭明王三輪中正法輪歟如何 答

青頸觀音軌云大悲觀音化爲馬頭明王

文若依此文妙觀察智自性輪觀音正法

輪馬頭教令輪也常文殊正法輪大威德

教令輪也小野僧正八佛頂略頌云最勝

觀音馬頭尊勝佛文殊大威德云是其

證也例不空成就佛自性輪牙菩薩正法

輪金剛夜叉教令輪又釋迦自性輪彌勒

正法輪烏闍沙摩教令輪也今如是兩說

歟

問若爾者可入明王部何列觀音部乎

答仁王經法正法輪教若菩薩教令輪不

動尊三輪合體爲本尊此尊正法輪觀音



等莊嚴其身光焰猛盛赫奕如髮指甲長利變牙上出首髮如師子項毛作振吼怒之狀此是蓮花部忿怒持明王也猶如轉輪王寶馬巡履四洲於一切處其心不息諸菩薩大精進力亦復如是所以得如是威猛之勢於生死重障中不顧身命多所摧伏者正爲白淨大悲心故用白蓮瑤塔而自嚴身也又秘藏記云馬頭觀世音菩薩亦肉色大忿怒之相并三面臂上在牙頭有白馬之形如輪王寶馬文圓行圖云肉色三面二臂結印立右足左跌翻向外也云若石山道場觀依此等本文歟可尋之

赤肉色事

口云赤肉色者白赤相交色也疏五云鮮白是大慈悲色也又云赤降伏色文是白淨大悲之色以本願力現降伏忿怒之赤色形故云赤肉色也又疏馬頭其身非黃非赤如日輪初出之色又同疏四云東方觀寶輪如來如朝日初現赤白相輝之色又白赤兩部表理智不二故云赤肉色也二卷軌云身色赫奕如日輪文菩提場經二云身如火色文熾盛佛頂經云遍身彩色成赤色光明文私云赤黑色共降伏色歟

三面事

口云本面佛部左金剛部右蓮花部是表三部胎圖三面故胎三部也頭冠白馬噉盡一切重障故表金界智德是兩部不二

理智一身尊放威德勝諸尊也四面八臂二卷軌

四面二臂一卷軌并

一面四臂觀自在投記經

三面八臂八字文殊軌

三面四臂滿藏經

三面六臂觀音集經

三面二臂胎圖

二臂二卷密經九頂輪王經

兩手結根本印事

口云根本印者彼印處可口訣也云

立右足事

口云立右足左跌翻向外者是忿怒形也

印事

口云此印二卷軌下云最勝根本印文今

道場觀結根本印者此印也凡大日經第

二疏十三并廣大攝大青龍玄法軌及無

量壽如意輪八文殊軌等說此印相大

體無相違又十八道次第并薄雙紙同用

此印仍諸流次第大旨皆用之歟

印相二小耳二水目二火鼻二大二風之

間如馬口形結此印誦真言時觀念如彼

疲馬食盡水草噉盡我及法界衆生煩惱

濁水罪業毒草此馬頭尊習也又云來去

二大指三度可合嚼之也觀念如前但此

觀念付四種可觀替歟西院云二手合

掌二水二風各屈背合二空相並微鉤勿

著是以本印也立合二中大慈悲義諸大

悲智德平等性智門二中彼智故兩部大

慈悲二大法界智兩部一味也一法界慈悲馬頭一體以馬口表示法部教令輪此

蓮花部亦法部馬一向要物是寶生所乘

寶生如來平等性智馬通上中下平等乘

物故依其道理以平等性智故顯平等悲

智馬頭儀形救攝衆生護持法部一切時

處無暫休息但念水草餘無所知所思野

馬也此尊本誓相相似故馬口表示印相根

本印成德顯本誓成所作智指兩部俱立

合救攝護持誓所作必成辨也已上

開成就院胎記云馬頭明王印一說如常

一說不入水云此印文證如何答大

疏十三云次馬頭印作三補吒屈二風指

合甲去空指根下挾一麥許不相著其二

空指並緊稍仰其甲頭是也文不空網索

經云馬頭觀音印虛合二頭指屈入掌中

合背相並二大母指並押二頭指中節上

文此兩文其證歟但疏文二風二大之間

一麥許去如馬口形也不空經文二風二

大相合是相違也

眞言事

出胎藏梵字本軌但不說功能漢語出胎

青龍軌玄法軌等大日經三并廣大攝大

軌等或云二字無之也

可此印有字否乎本經云

摩食諸 大日打 摩食諸 摩食諸

摩食諸 摩食諸 摩食諸 摩食諸

摩食諸 摩食諸 摩食諸 摩食諸

摩食諸 摩食諸 摩食諸 摩食諸

摩食諸 摩食諸 摩食諸 摩食諸

摩食諸 摩食諸 摩食諸 摩食諸

摩食諸 摩食諸 摩食諸 摩食諸

摩食諸 摩食諸 摩食諸 摩食諸

摩食諸 摩食諸 摩食諸 摩食諸

摩食諸 摩食諸 摩食諸 摩食諸



破吒也即打此障同十云馬頭菩薩慈悲

法陀是破食障也此其言以法字為所

謂空者即是諸法實相猶行此行而得實

相之果復常以此而授與人也今言噉食

即是以此空行噉一切能障善提法也此

謂也除諸法實相餘皆是障善

提法也以此噉壞破此悉盡故得成猛威

大勢也此菩薩是蓮花部明王也文義釋

十四卷馬頭真言是蓮花部忿怒明王如

觀自在在菩薩於一切法界門以普眼遍觀

而得自在今馬頭尊還以此觀自在力從

一切法界門大摧三障拔苦眾生馬頭即

是大精進之義也故初云呼字義向前釋

又云前真言之中呼云八呼字本體是實

字門實是因義即是蓮花臺藏下有偽聲

是萬行願聚上有大空點故具足開敷只

此誡諦之言悉佈諸障是蓮花部中忿怒

義也又云云云依耶是噉食之義呼惹

是破壞之義噉頗吒野是破碎令盡義也

皆轉釋呼字謂以此蓮花忿怒噉食三垢

破壞三障令摧碎無餘也若從一法界門

是故殄滅無遺然此真言正以依引字為

體依引是不可得空長聲呼之即是三昧

萬行皆用不可得空為方便故猶如虛空

不可破壞除諸法實相之外一皆噉食之

火燄者施義也言所以斷除垢障之意正

欲以如是垢障遍施眾生也餘字門當廣

分別說文

又印名攝毒印事

三世故勝心明王經云內縛緊二空前屈

其上節是馬頭印文

口云印言共此經說也次第朱付二大與

二頭少離立者馬口形也受法壇云心印

二手外縛並二大指相著各屈一節勿著

食指大指來去文此文外縛也雖然二大

指指去作馬口形亦二大指來去三度可

令嚼之其時觀念令我及一指來去三度可

諸障噉食三毒皆悉殄滅無遺故名攝毒

印也成蓮房二十卷抄云攝毒印兩手相

又四指於掌中合腕二大母指屈上節如

蛇頭勿令相著攝一切毒誦用亦得上

馬口義疏

真言事

此真言八字文殊軌者名心明梵不出御

筆無量壽軌又出八字文殊軌十一面軌

最勝心明經同之何耶揭利婆受法壇云

若常誦此呪一切怖畏得無所畏所有障

難悉皆解脫又降伏護摩法云若有人欲

入死亡家者誦是心呪二十一遍即得安

穩若有人欲行惡道者誦此真言二十一

遍即得安穩兩事用馬頭小呪文

青頸大悲觀自在儀軌云作此法者大悲

觀普化為馬頭明王加被行人速成佛也

又印 此印出十一面軌中事

十一面軌中卷云次結馬頭明王印先金

剛合掌堅合二中指以二頭指各鈎無名

指頭頭指各押中指上節小指並堅入掌

中二大指並堅與小指聚文

觀自在王如來軌云次結除障結界印

戒方右押左外相交忍願相柱以進力鈎

戒方禪智慈懷惠願真言

阿密栗都云

口云此印又同說相狀但二小指入掌

形也此二大指押之即噉食一切眾生三

毒煩惱諸不祥厄難義也以大指三度令

嚼之裏善智證之傳義趣尤相十數者觀

馬口也且所載次第印相觀馬口自宗相

承也

真言事

口云真言出十一面軌馬頭觀音真言云

故此流以十一面軌印言殊為秘密也

讚事

口云滿四智讚許本尊讚打任不用之也

迎請事

口云迎請蓮花心印明也

結界事

口云結界降三世或不動或當本尊即自

結界也

問散念誦必載結界明王默然者降三世

不動不載之如何答雖不載散念誦若

用結界明王時加誦其明王也不苦云

字輪觀事

口云。就息災修之。或調伏云。是難通息

災調伏打任。就息災修之也。或云。小野僧

正調伏令行給云。軌下云。像面向北。若

向惡人所居方持誦者。身著黑衣云。

私云。修調伏

同軌上云。於壇西安本尊像。瑜伽者於壇

東對像。敷布薦文。

私云。修敬愛

軌云。遂獲得五種成就事。所謂息災增益

降伏敬愛。鈎召等也云。

私云。通五種法也。凡集經六并二卷軌

等種種功能有之。依繁略之也。

鳥羽院御不食御所。理性房法眼被修馬

頭法。則剛行施餓鬼也。而其後御不食氣

御平愈成賢僧正云。不食祈行此法事是

理性房今案歟云。

問。此法不食祈相應意如何。答。疲馬噉

食水草無餘念。尤不食祈相應歟。又隨身

競馬鞭。加持用馬頭呪。是又成賢僧正云。

今案事也。必不然也。何尊隨所持佛可用

其明也。假令持佛堂傍。使宜處。打竹針懸

鞭。向彼鞭誦所持本尊真言。可加持之也。

部主段

口云。息災聖觀音調伏大威德

自加持。心印<sub>以右手內持也</sub>

召請。自加持印真言<sub>印以右手大指三指</sub>

供物。同真言<sub>加息災句</sub>

撥遣。准召請<sub>以右手大指三撥。加撥遣句也。</sub>

本尊段

自加持。根本印

召請。自加持印真言<sub>印以右手大指三指。加</sub>

或蓮花部心印明<sub>召請句四邊明。</sub>

供物。同自加持真言<sub>加息災句。</sub>

加持物。同真言

撥遣。准召請<sub>加撥遣句。</sub>

諸尊段<sub>二十七尊。</sub>

世天段<sub>如常。</sub>

白寶口抄 十一面法

本書事

十一面觀音神呪經一卷

周宇文代天竺三藏耶舍那翻多譯

闍注梵釋。有注周第一譯圓覺

十一面神呪心經一卷

大唐三藏玄奘譯唐第二譯

闍注梵釋。有注圓覺。珍錄有之。貞元錄

載之

十一面觀世音神呪經

出陀羅尼集經第四。已上三經同本異

譯歟。但集經中印法說之前兩經不說

印法等也

十一面神呪心經義疏一卷

梵譯大乘疏中載之

或云。玄奘譯釋依者不知

十一面觀自在菩薩經三卷

內云。十一面觀自在菩薩心密言儀軌

經。貞元新入目錄。海列外題。仁珍列內

題云。十一面觀自在心密儀軌經。不空

仁錄有菩薩字。珍錄云。十一面觀世音

自在菩薩儀軌經三卷。不空私云。此經

譯者下注云。此儀軌通蓮花部一切尊

念誦云。

此中具說念誦儀則護摩法等也

寬信法務云。件四經雖有增減。大旨同

也。唯多玄奘兩譯與軌上全同。集經其



二面證據分明也。如何。答十一面神呪心經加本面說十一面釋彼經義云十一面者實是十二面也。上佛面是果。下菩薩面是因也。謂是因果一雙也。文是十二面義難依要。但因果一雙故遂十一面歟。次千光眼經說千手十一面像。千手以十波羅蜜為眷屬。正法明如來過去成佛名號也。故表此義現十一面。今尊十一面非此尊只為十一面之數。準例歟。又七集并平等房消息等十二面。本面上有十一面是義疏意歟。可尋之。當流祖師既依義疏依經名號。既十一面也。何有十二面乎。故祕藏記釋蘇悉地院十一面言。有十一面左右二面背黑也。文依之高尾曼荼羅像。本面左右有二面。出左面牙頂上橫安五面。頂上安最上佛面。其左右有二面。總三重合有十一面也。尤可信仰。凡顯無邊佛土功德經觀音十一面亦言十一佛也。文集經四說十一面言。爾今有十一面各出一印。文既說十一印也。十一面神呪經云。我有神呪心。名十一面。其大威力。十一俱胝諸佛所說文是等皆說十一不。言十二旁以十一面符順也。

口云十一面與十二面造像圖輪不同也。若依十二面說文。是表十地等覺妙覺之十二地也。又表斷十二品無明。又十二面表利益十二因緣。或顯十二月十二時等加護也。

凡付悲願號十一面。於彼本迹儀有十一

表示總備身心德事顯顯面。故於本面頂化現十一面。顯此本誓名號稱十一面也。即頂上佛面本地也。化現十一面與本面方便也。此方便本面本誓顯本迹名十一面。故略其體本面不入面數也。是義疏意也。

種子事

石山七集云。種子云。醍醐法務云。云軌說云。

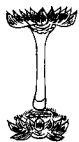
口云云字者真言中字。取之為種子。云字者此翻悲是慈悲深重尊故以云字為種子。云作業字。世間出世來生濟度方便皆大悲作業義也。妙鈔云。種子云。又云文成就院七卷抄云。云字或云文。

三形事

口云東持者此云瓶。是世流布水瓶歟。以所持物為三形。諸流同之。或云軍持者無小口。瓶是寶瓶也。云。此義不然。集經十二云。傍開孔者名軍持。又梵語集云。措推迦。即深瓶也。古云軍持。詭略文是分明也。其普通有小口水瓶也。大方入寶故云寶瓶。入水故云水瓶。稱美言通云賢瓶也。

故軌中卷云。觀想觀自在菩薩持甘露瓶。凡此甘露瓶者。中盛滿大悲甘露。智水除滅一切衆生煩惱熱火也。此尊殊治衆生溫病。故彼祈行此法事件甘露瓶。水為能治也。坐經十二云。坐主名十一面觀尊。蓮花座上經寶瓶。光焰圍繞。文又云。甘露印第一部略之種。疾病皆以此印。

印病處。至心誦呪。即得除愈。文仁濟云。或傳云。云字成軍持。云字成蓮花。十一房。



又云字成軍持。軍持中有十一。軍持中有悲水。是甘露水也。



祕中祕也。軍持內甘露水中。有白色。可觀之云。

道場觀事

身白肉色事。口云。白肉色者。白赤金胎不二和融色也。又白行者。淨善提心。白淨信心。赤色不尊。大悲染色。故行者本尊同一體。表生佛一如色也。

十一面事

集經四云。用白栴檀作十一面觀世音菩薩像。長佛一肘。若人肘量二肘一。摸若不得者。一尺三寸作之。亦得。作十一面前三面作菩薩面。左相三面當作瞋面。右相三面似菩薩面。狗牙上出後有一面當作笑。其頂上面當作佛面。其十一面各截花冠。其花冠中各安一阿彌陀佛。其像左手把一澡罐。其澡罐口插一蓮花。右臂垂下。展其右手。以串瓔珞。施無畏手。其像身上列出瓔珞種。莊嚴文。

私云世流布二臂像依此經歟支非譯經同之長谷寺十一面觀音左手持物如常右手執錫杖也

軌上云以堅好無隙白檀香彫觀自在菩薩身長一尺三寸作十一頭四臂右邊第一手把念珠第二手執車持其十一面當前三

面作寂靜相左邊三面忿怒相右邊三面利牙出現相後有一面作笑怒容最上一

面作如來相頭冠中各有化佛觀自在菩薩身極瑩瑩莊嚴文祕藏記云十一面觀自在菩薩有十一面左右二面青黑色

在四手左上手蓮花次一手鐮持瓶右上手施無畏契次一手係數珠

私云今次第依儀軌文但軌面先說手後也今依祕藏記歟

十一面神呪心經云作十一面當前三面忿怒相左邊三面作瞋怒相右邊三面作白牙上出相當後一面作暴惡大笑相頂上一面作佛面像

私云案經第四并此十一面經說二臂像無異故略之攝無礙經并儀軌說四臂像隨世流布觀像四臂二臂不同歟

南無右邊三面白牙相南無當後一面暴笑相南無頂上一面如來相

南無頂上佛面除疾病南無無頂上佛面顯滿足已上

百光房抄云間十一面觀音悔過云頂上佛面除疫病最上佛面顯滿足云今見

本經頂上佛面外不說最上佛面及不說除疫病顯滿足古人何置此言哉答此

難尤可然但安然八家錄云十一面觀自在心密言儀軌三卷不妄仁珍海云十一

面觀自在心密言儀軌三卷安出此一本面觀他本世間流布經有三本其中三補

陀洛山說一本一卷出陀羅尼集經第四卷王舍城者舍闍山說

當前三面作寂靜相王舍城說云當前三面作慈悲相三卷補陀洛山說云當前三面作菩薩相三卷補陀洛山說云

頂上一面作佛面相王舍城說云其頂上面當佛面三卷補陀洛山說云冠中各有化佛室羅筏說云

諸頭冠中皆作佛身王舍城說云其十一面各戴花冠其花冠中各安阿彌陀佛已上三經十一面相所說補陀洛山

說云最上佛面室羅筏與王舍城說頂上佛面放經云於一佛面或最上或頂上說

又一經中室羅列十一面云頂上佛面而說說成大相云最上面於一佛面前後名異

矣頂上佛面除疫病者經云若國土中人畜疫起乃至一呪一結置最上佛面頂上

能令疫病一切消除云最上頂上一體異名如前會釋一云若依此經所說可言佛

面頂上除疫病且依聲明唱頂上佛面顯滿足者經云室羅筏從最上面口中出聲

讚行者言善哉善哉善男子汝能如是勤讀我當令汝所願滿足云若依此等文古人云頂上佛面除疫病最上佛面顯滿

足歟已上義疏云師釋云十一面者前三面慈相見善衆生而生慈心大悲與衆左三面瞋面見惡衆生而生悲心大拔苦右三面白牙上出面見淨業者發希有讚觀勤進佛道最後一面暴大笑面見善惡雜衆生而生怖笑難忍向道頂上佛面或時對習行大乘經機者而說諸法究竟佛道故現佛面三方二面爲化三者三九面也合本面應十二面而十一面是方便面本體當面是真實面而離於

身不知而主面表內懷以顯懷實故常面  
上現十一面文又云十一面者實是十二  
面也上佛面是果下菩薩面是因也謂是  
因果一雙也亦上十一面是方便而下是  
真實面也謂是真實方便一雙也又十一面  
中前三面慈相居三面瞋相居三面瞋是  
武謂文武一雙也右三面白牙上出相是  
讚後而暴大笑相是瞋謂讚一雙也謂  
是觀自在菩薩遍現十一面或現佛面或  
現慈面或現瞋面或現白牙上出面或現  
暴大笑面雖現十一面本體不二故舉及  
現面故曰十一面也又云問何故佛面  
是一慈面瞋面牙出面各有三面亦笑面  
是一耶答果道無二故佛面無二也慈面  
三者慈不出三故示三面也一慈有苦無  
樂有情面令離苦得樂也二慈有無無慧  
有情面令具福慧也三慈有慈無通有清  
而令備神通智慧故慈面三也一瞋怒面  
三者一怒欲離苦報速達苦樂也二怒欲  
求樂果不知樂因也三怒欲欣寂靜理還  
著散亂境故瞋面三也白牙上出面三  
者爲讚三業淨故有三面也亦爲化三有  
故有三九面也暴大笑一面應離淨惡  
離穢有清故有一面也

私云此義疏意當前三面者本面上釋  
寂靜三面也故加本面十二面也此義  
不爾當前三面寂靜相者加本面三面  
也故祕藏記云有十一面左右二面青  
黑色文左右二面者本面左右也可知

口云十一面利益義疏意當前三面利益  
三善道有情左三面濟度三惡趣衆生行  
三面爲化三乘弟子背一面表善惡不二  
頂上佛面表果位也又此十一面表本迹  
不二先付迹顯彌十面化儀各別也謂當  
前三面寂靜相也淨行三毒表授無貪  
等右三面威怒相也威怒者斷惑智德即  
斷破善男善女等正道正行三障左三面  
利牙者懷怒義即斷破惡覺惡人等左道  
左行三障後方一面笑怒相也斷盡三毒  
等後必得一切智也配三毒三障三方各  
有三面後方一面一切智義也威怒等表  
示隨所治可知之三障者業障煩惱障異  
熟障是也異熟障者可隨惡趣等果報攝  
破其障也凡十一面觀普現南部之五智  
十面是迹義大悲方便化義各別委也次  
頂上佛面本地法身也故此十一面因果  
唯一本迹不二也故行者同本懷本尊行  
者同體無二之故所求之一切事悉無不  
成就也又云當前三面寂靜相是東方大  
圓鏡智功德是不動佛本來寂靜故息災  
義也左邊三面威怒相是南方平等性智  
功德降伏義也右邊三面利牙出現相是  
北方成所作智功德增進益義也後一面是  
笑怒相西方妙觀察智功德敬愛義也頂  
上一面是法界體性智中臺大日如來是  
蓮花部五智總德也

顯冠中化佛事

軌云顯冠中各有化佛文集經四云其十

一面各戴花冠其花冠中各安一阿彌陀  
佛文

口云十一面共觀普大悲三摩地故戴本  
師阿彌陀也

四臂持物事

軌云四臂右邊第一手把念珠第二施無  
畏揚掌左第一手持蓮花第二手執軍持  
文祕藏記云在四右手右上手蓮花次一手  
鐺持瓶右上手施無畏契次一手係數珠  
文高雄九鋪曼荼羅像右上手揚掌如施  
無畏屈無名指次手作與願印捻風空執  
數珠左上手如施無畏屈頭中捻空指執  
蓮花臺次手如與願印垂掌執瓶頸也云  
私云祕藏記并九鋪曼荼羅像全同也  
右手上下持物與儀軌相違今次第四  
臂持物依軌文也

集經四云其像左手把一澡罐其澡罐口  
捧一蓮花右臂垂下展其右手以串瓔珞  
施無畏手文玄非譯經亦同此像二臂也  
右施無畏手係念珠故兩手持物攝一手  
又左軍持捧蓮花是兩手兼一手故經與  
軌開合異也義疏云持花者左手是未便  
之手以喻行者初發信心右手持數珠者  
右手是已便之手即喻行者修行增進祕  
之利數珠者謂福惠二種莊嚴之寶珠變  
作○施無畏手者修行求願必待所願故  
去施無畏手謂福慧二寶能施一切破貧  
窮因故爲施無畏手文

口云念珠大悲德施無畏大慈德蓮花蓮



十一面即云合腕左右大指小指著堅左右頭中無名指各屈頭各相離一寸許諸指頭側各半寸許開舉之以腕下在頂上著之文此印八葉印也但後經十一面印說之中第十一面印也真言皆大呪許也彼經云我今有十一面各出一印若人見聞及學此法○恒沙無量重罪一時消滅○隨何國土有此法處與我自身現住無異此十一印總用最初大陀羅尼文此十一印共本尊印故八葉印十一面觀音印也

問第五卷云觀世音菩薩三昧印第五兩腕合二大指二小指直堅頭合餘指不相著直堅但問二大指二小指頭不相著是十一面印呪大呪文此又八葉印也但注文開二大指小指十葉印繁四卷抄云八葉蓮花印大指小指不合十指皆開也但指末小指云是云八葉蓮花印十指皆開凡八葉印蓮花部印是本部三昧耶也今緣本部觀音人十一面三摩地故十指皆開置頂上加本面表十一面也約本八葉印故經先說八葉印經文顯十一面義是深秘也次第裏書千手法八葉印觀寶珠十一面無如此之義何可觀寶珠哉云是非常八葉印故不觀寶珠也意在斯云

真言事  
三命不 錢了 自在種子  
口云梵字眞言出小野眞言集漢字出諸家眞言集二十卷抄成蓮房此眞言云小

心眞言七卷抄成就院心眞言西院同之常喜院心密抄云又小呪慧什抄云智證大師在唐記名十一面小呪

私云住寺之昔不及沙汰近年驚慧什說相尋彼門業之處或人云件眞言在唐記未見之云已上顯曇云三井慶羅慧什談之云

正念誦事  
口云大呪與也但實勝法印云當流最秘口傳云云此經是祕中之祕也問此眞言正觀音呪歟何用之哉 答集經第一云十一面觀世音菩薩印呪○眞言曰唵一阿盧力二沙訶三文是十一面通用歟依之二問觀音或正觀音或十一面觀音異說有之今以十一面爲習云云觀覺法眼云同善力迦言用正念誦石山御傳云法務厚雙紙云正念誦

口云此讚出十一面軌中即金剛合掌其子細如裏書也

迎請事  
口云蓮花部心印明也

結界事  
口云馬頭印明也

字輪觀事  
口云五大也如常

護摩事  
口云就息災修之云此尊互四種法文

等見經軌雖爾常就息災爲習也軌下云應作息災護摩面向北云

私云是息災法也

又云於道場中全身舍利塔東面安本尊像西應習先行法文又云觀自在菩薩通增益法文

私云是增益法也

口云此法殊疫治病所修之其時三形車持中有甘露清淨法水能消滅彼熱氣由可觀之也凡此尊除一切疾病免一切天死災橫止他方怨敵之難獲得一切財寶衣食消滅無始罪障令成菩提果位偏在斯尊彼功能等見經軌可見之

部主授 聖觀音

自加持心印以二手內相持  
心眞言曰唵阿盧力迦安婆賀

召請 如自加持印眞言以右大指三指明  
供物 同眞言加息災句

撥遣 準召請加撥遣句三撥

本尊段

自加持 印金剛合掌

眞言曰唵阿盧力迦安婆賀

召請 蓮花部心印明

供物 同自加持眞言 加息災句

撥遣 準召請

諸尊段 三十七尊

世天段 如常



本云

延德三年<sub>卯</sub>七月十五日於高雄神護

寺地藏院書寫之

永正六年己五月二十日於金剛峯寺

往生院峯坊令書寫之耳

白寶口抄 準毘法上

本書事

七俱胝佛母陀羅尼經一卷

內云七俱胝佛母所說準毘陀羅尼經

譯不卒貞元新入目錄內題珍列仁錄依俱

知又列內題珍列外題

七俱胝佛母准毘大明陀羅尼經一卷

續古今譯經圖記云七俱胝佛母准毘

大明陀羅尼經一卷等二部金剛智一

行開元十一年於資聖寺譯東印度婆

羅門伊舍羅譯語焉岳沙門溫古筆受

文貞元圓覺梵釋

七俱胝佛母大心准提陀羅尼經一卷

譯日照

亦直云七俱胝佛母心經貞元圓覺闕

注梵釋有注或云大唐天后代垂拱半

地婆訶羅譯

右二經同本異譯也

梵字七俱胝佛母真言一本海仁

梵字七俱胝儀軌一卷海

梵字七俱胝真言一本仁

報錄云七俱胝佛母陀羅尼念誦儀軌

一卷無人名又云俱胝知准提陀羅尼

念誦儀軌一卷不空譯

此軌說念誦法則也已上二部總錄不

載之

七俱胝佛母准泥大明陀羅尼念誦法門

金剛

行林抄云此法中說念誦觀行供養次

第悉地佛部軌儀也可謂悉地中准

毘佛母持明行法同譯七俱胝佛母准

毘大明陀羅尼經如是我聞一時薄伽

梵在名稱大城祇樹給孤獨園慇念未

來諸衆生說過去七俱胝准毘如來等

佛母准泥陀羅尼文此經唯說根本真

言別行成就說不說契行法儀則七俱

知佛母所說准毘陀羅尼經不空譯此

經軌意同於金剛智譯經軌可同本異

譯

七俱胝獨部法經部善

七俱胝佛母心大准毘陀羅尼二十五部

大三曼荼羅獨行灌頂懺悔大道場法

譯長

行法起首日時事

不空釋云從月一日至十五日文軌云從

月一日至八日息災從八日至十五日益增

從十六日至二十三日夜受從月二十三

日至盡日降伏文獨部法云每月一日八

日十四日十五日十八日二十三日二十

四日二十八日二十九日三十日如是十

齋每於平明清水嗽口面向東方誦此呪

一百八遍訖然後飲食縱有妻不離辛血

亦當成驗文

私云或書云十齋日

一日佛除下此日念八日佛除下此日念十四

日佛除下此日念十五日佛除下此日念十八



慈觀音正觀音大悲觀音種子字也準照  
 佛部歸命也。非蓮花部歸命。故名準照。佛  
 母也。又止觀二云。六字章句。陀羅尼能破  
 煩惱障。淨於三毒。根成。佛道無疑。六字即  
 是六觀。世音能破六道。三部所謂大悲觀  
 世音破地獄道。三部此道業重。宜用大悲  
 大慈觀世音破鬼道。三部此道飢渴宜  
 用大慈。師子無畏觀世音破畜生道。三部  
 此道獸三威猛。宜用無畏。大光普照觀世  
 音破阿修羅道。三障其道精忘。嫉疑偏宜  
 用普照也。天人丈夫觀世音破人道三障  
 人道有事理深。憐憫丈夫夫世。則見佛性。故  
 稱天夫。大梵深遠觀世音破天道三部。是  
 天主。標主得臣也。此文全不見準照。小  
 野僧正天人丈夫準照。人判之。依何義云  
 準照云。故小野僧都記云。以六觀音配  
 六道文。出摩訶止觀文。真言等餘宗所不  
 立也。但天人丈夫者。末師曰。不空羅索也  
 云。故常喜院五十卷抄云。六觀音大慈  
 觀音者。不空羅索變也。大悲觀音者。十一  
 而變身也。大光普照觀音者。馬頭變也。天  
 人丈夫觀音者。聖觀音變也。師子無畏觀  
 音者。如意輪變也。大梵深遠觀音者。千手  
 變也。如抄此亦不入準照。厥如何。答覺  
 印阿闍梨雜記云。悉曇抄八云。司命五道  
 云。六觀音文云。律云。六字觀音謂大悲大  
 慈。師子無畏。大光普照。天人丈夫。大梵深  
 遠也。所謂大悲者。千手。大慈者。聖觀音。師  
 子者。馬頭。大光普照。十一面。天人丈夫。準  
 照。大梵深遠。如意輪。如經所說云。又惠

心要法門云。天人丈夫觀音準照云。此  
 等其證。觀小野僧正獨不立此證。厥不可  
 及。疑難者。又種。難。觀經云。觀世音隨  
 心咒。第七首第一滅罪。清淨咒。第二。第三  
 咒。第四。七俱胝佛母神咒。隨一切如意  
 神咒。六字陀羅尼咒。歸依三寶咒云。既  
 觀世音隨心咒。七首云。之從第一滅罪。清  
 淨咒。至第四次第列之。畢。後以七俱胝佛  
 母神咒。為第五咒。故準照觀音部條無異  
 論也。  
 問。貞元錄第二十二云。種。難。觀經一卷  
 經。字。難。觀經。第二十三首。法花經內。六首。旋  
 塔。滅罪。陀羅尼。一禮拜。滅罪。命終。諸佛。來  
 迎。呪。一供養。三寶。呪。一觀世音。懷。悔。呪。一  
 金剛。呪。地。呪。一坐禪。安穩。呪。一呪。願。呪。一  
 金剛。治。惡。病。呪。一千轉。陀羅尼。一觀世音  
 隨心。呪。七首。七俱胝。佛母。神。呪。一隨。一切。如  
 意。呪。一六字。陀羅尼。一歸。依。三。寶。呪。一  
 此。觀音。隨心。呪。七首。七字。可。為。四。之。字。賦  
 東。寺。行。海。法。印。云。所。持。種。難。觀經。文。觀  
 世。音。隨心。呪。四首。文。是。符。願。既。舉。總。數。難  
 呪。總。二十三首。文。付。彼。四首。勘。定。總。數。二  
 十三首。也。若。七首。總。數。二十六首。故。七  
 首。者。七字。譯。也。以。四首。可。為。本。爾。者。七俱  
 胝。佛。母。神。呪。五。番。故。觀音。外。也。經。題。旋  
 既。云。種。難。觀經。難。呪。諸。尊。故。以。普。賢。文  
 殊。為。七。數。賦。不可。為。正。證。如何。答。七字  
 與。四。字。從。本。相。論。也。實。真。偽。難。辨。先。德。多  
 分。以。七。字。攝。觀音。部。凡。雖。不。說。此。經。準。照

私云。胎藏八葉觀音種子字也。準照  
 種子字。此又頗證歟云。已上此等  
 皆準照觀音所攝也。可知  
 問。先攝無礙經。真偽。如何在。口傳也。可。尋  
 之。又。莊嚴寶王經。第四云。爾時。世尊。釋迦  
 牟尼。如是。應。正。等。覺。告。善。男子。知。汝。已  
 有所。得。知。是。世。尊。而。於。是。時。有。七。十。俱。胝  
 如。來。皆。來。集。會。彼。諸。如。來。同。說。陀。羅。尼。曰  
 觀。莫。入。過。鉢。多。二。合。南。三。藐。三。沒。駄。句。引  
 到。南。引。俱。備。也。二。合。他。叱。左。輪。祖。輪。尊。爾  
 婆。婆。寶。文。說。觀音。事。了。如。是。說。此。準。照。真  
 言。故。以。準。照。為。觀音。條。非。無。疑。貽。真。言。既

佛部歸命也。非蓮花部歸命。故名準照。佛  
 母也。又止觀二云。六字章句。陀羅尼能破  
 煩惱障。淨於三毒。根成。佛道無疑。六字即  
 是六觀。世音能破六道。三部所謂大悲觀  
 世音破地獄道。三部此道業重。宜用大悲  
 大慈觀世音破鬼道。三部此道飢渴宜  
 用大慈。師子無畏觀世音破畜生道。三部  
 此道獸三威猛。宜用無畏。大光普照觀世  
 音破阿修羅道。三障其道精忘。嫉疑偏宜  
 用普照也。天人丈夫觀世音破人道三障  
 人道有事理深。憐憫丈夫夫世。則見佛性。故  
 稱天夫。大梵深遠觀世音破天道三部。是  
 天主。標主得臣也。此文全不見準照。小  
 野僧正天人丈夫準照。人判之。依何義云  
 準照云。故小野僧都記云。以六觀音配  
 六道文。出摩訶止觀文。真言等餘宗所不  
 立也。但天人丈夫者。末師曰。不空羅索也  
 云。故常喜院五十卷抄云。六觀音大慈  
 觀音者。不空羅索變也。大悲觀音者。十一  
 而變身也。大光普照觀音者。馬頭變也。天  
 人丈夫觀音者。聖觀音變也。師子無畏觀  
 音者。如意輪變也。大梵深遠觀音者。千手  
 變也。如抄此亦不入準照。厥如何。答覺  
 印阿闍梨雜記云。悉曇抄八云。司命五道  
 云。六觀音文云。律云。六字觀音謂大悲大  
 慈。師子無畏。大光普照。天人丈夫。大梵深  
 遠也。所謂大悲者。千手。大慈者。聖觀音。師  
 子者。馬頭。大光普照。十一面。天人丈夫。準  
 照。大梵深遠。如意輪。如經所說云。又惠

觀音文證舉上畢，何成疑貽乎。胎藏通知院，七俱胝佛母中胎右邊蓮花部諸尊，從此尊身出生，故知約能生準胝佛母也。約所生準胝觀音也。大師御作如意輪次第云：以準胝爲如意輪部母文依之尊師上醍醐本堂準胝我御持佛堂如意輪也。亦清澗權現二社內御母準胝御子如意輪也。皆隨能生論之。日照譯經云：過去七俱胝準那如來等佛母準胝滿呪一遍命成一塔。如是數滿六十萬遍，即得觀見聖觀自在菩薩文誦呪者準胝呪也。依此呪力所觀見豈非本尊準胝乎。設雖非本尊，既云聖觀自在菩薩是所生也，可準知之。

問諸觀音皆頂戴無量壽佛而準胝無其儀如何。答諸觀音雖戴本師亦不戴之。觀音等戴即香王阿摩提正上醍醐準胝。是其證據也。但聖寶僧等不戴阿彌陀。是本尊有頂上佛，是非戴頂上佛乎。或云準胝堂本尊無頂上佛也。云：所於此尊約能生佛母者諸流攝佛部，約所生觀音者當流攝觀音部也。望義有異，雖然實不違，不可屈一偏矣。

種字事  
口云：以字爲種子事，石山傳也。見七集仍妙抄等同用此字也。此尊梵號爲觀音，得字也。故以初字爲種子，悟解不可得字也。故以佛義此尊度一切衆生，令悟解佛果，故以字殊爲種子也。妙抄云：種子三摩耶甲冑又五股、小野或賢瓶，成

就院七卷抄云：字已上或變成賢瓶甲或蓮花云。已上十卷抄全同之。諸說不同，記云：實任云云。

三形事  
口云：賢瓶者十卷抄圖如是，常花瓶帶綵帛，爲莊嚴也。所設壇上之花瓶有蓮花蓋，帶赤色也。云：或瓶口盛白青色花也。此賢瓶本尊左第八御手所持物也。大師御口決云：凡諸尊三昧耶形者，以所持隨一通用之云。故以所持物用三形。諸尊常習也，不思議疏下云：賢瓶者所有無非惠也。文故此瓶盛滿甘露，知水施與一切衆生。皆令開本有覺花故。瓶蓋顯花，是蓮花部佛母尊放也。又云：瓶者地天之三形，賢字大地，出生萬物，中水字體水，能生長萬物，是兩部所生法。此佛母故表諸尊總德也。



三形異說事  
妙抄云：甲冑又五股云：七卷抄云：甲冑蓮花云：或說云：商估云：口云：以甲冑爲三形，故此善薩護善薩所變，即護佛法擁護衆生，有大悲深重德，故用甲冑也。又於短命衆生，勸闍羅王增二十一年壽命，或增壽無量云：是護壽命

尊故用甲，延命法，爐作甲冑之形，此意也。五股諸尊總德，故佛母尊三形用五股。歟。蓮花商估此尊持物，故用之云。

道場觀事  
金剛智軌云：其像作黃白色，種：莊嚴其身，腰著白衣，衣上有花文，身著輕羅綃袖天衣，以後帶繫護，朝霞絡身，其手腕以白螺爲釧，其臂上銅七寶莊嚴，一手上著指環，都十八臂面有三目，上二手作說法相，右第二手施無畏，第三手把劍，第四手把數珠，第五手把微若布羅迦，此

把索，第六手把輪，第七手把螺，第八手把賢瓶，第九手把般若波羅蜜經，薩下作水池，池中心安蓮花，難陀拔難陀龍王共扶蓮花，驚於蓮花上安準提菩薩，其像周圍安光明焰，其像作慈愍眼，看行者在下坐，手執香爐，面向上看菩薩於菩薩上設二淨居天像，法如是文。  
口云：今道場觀依此軌，祕藏記云：七俱胝佛母尊白黃色，有十八手，變身有白經羅綿之文，高維曼荼羅之像同之。此等皆儀軌說同之。  
問次第三云：觀大海云：是壇上可觀之歟。如何。答：可觀壇上也。  
問：不可用海水種子歟。如何。答：直觀海水也。又壇上有字變成大海，觀之不相

遠也

問大海中有云云此義字可觀海底上賦亦可觀海底賦如何答師傳觀海底也問此字色如何觀之云答可隨尊色也問此字向何方云亦豎橫如何答方依法亦豎橫共隨行者意樂也

難陀拔難陀等事

軌云池中心安蓮花難陀拔難陀二龍王共拔蓮花臺文秘藏記云觀其字遍法界變為大蓮花王即蘇迷虛山也文口云蓮花者須彌山頂也須彌山難陀拔難陀之二龍王攝彼本準之可得意也凡難陀梵語此云多頭拔難陀此云九頭此兄弟二龍釋尊誕生時以湯水令沐此二龍等覺位是無垢位故以無垢水沐浴之令成妙覺此妙覺果滿釋尊與準脈同體故果滿後以等覺無垢二龍為坐也表此義二龍共扶蓮花莖也疏云謂本行菩薩道時次第修行地波羅蜜乃至第十一地當知後地即以前地為基故云如來以菩薩身為師子座文準例可知又此流布畫像或青赤之二龍纏蓮花莖或二天人后住蓮花座下而此像下不畫池其故蓮花生水故云水生有異名即龍水精也二龍是定惠兩水表兩部精故養育不二自性清淨蓮花義也二天后者女表定水義也云定水故蓮花生此定水故養育守護義也

七俱胝佛母身黃白色事

軌云其像作黃白色文祕藏記云七俱胝佛母尊白黃色文口云黃色與字胎白色字金是理智不二定惠一體故有諸佛能生德故云準脈佛母也

種種莊嚴其身事

軌云種種莊嚴其身腰著白衣衣上有花文身著輕羅綽袖天衣以綬帶繫腰朝霞綺身文ヒサ記云身有白輕羅綺之文口云種種莊嚴者色法胎界義種種者塵沙諸法也也之為莊嚴凡夫以菩提為煩惱菩薩以煩惱為菩提故也

其像周圍光明光焰事

軌云其像周圍光明光焰事口云光明光焰者心法金界義智能破妄心闇故也是亦具一身不二尊故也但難正報依報之各別義理同前也可知

白螺為劍事

軌云其手腕以白螺為劍文口云西天以白螺為寶故以白螺寶為劍也又準脈釋迦化身也專表說法以螺貝顯說法義白色表白淨大悲白螺殊其音勝故以白螺表示之也白螺為莊嚴事法三諸說不同未見本說文石山七集經文勘出之

面上有三目事

口云三目者理智事三點又佛金蓮三部又佛眼法眼惠眼也是表不縱不橫三諦一如平等之義也

上二手作說法相事

口云此尊為人道能化主能破三障故現三眼智說法利生事故依教人為法機令證三身果位也

右第二手施無畏事

口云右掌五指開立是五智之光明義此尊人道化主故於娑婆世界施無畏者實大悲深義尤顯此手也

第三手把劍事

口云以智慧劍降四魔三障害三毒五欲敵也

第四把數珠事

口云數珠表智慧轉法輪義也母珠本部阿彌陀數珠緒為觀音是以觀音大悲緒貫百八之煩惱每轉一珠斷一煩惱故斷百八煩惱證百八三昧一皆具諸法如德神力不思議一悉具無量身口意本誓三昧也

第五把微惹布羅迦葉事

軌云微惹布羅迦葉問無子國有文此葉經四云毗若布羅迦葉經云云口云微惹子也布羅迦滿也但在天然無此土師傳云有二說一者吉祥葉在兩天無此土其形青圓也二者栴檀也是次第裏書符順不空軌云俱緣葉文是微惹布羅迦梵語與五佛頂經一說廣生佛頂所持新譯云俱緣葉古譯云昆若布羅迦葉也孔雀經法口決云俱緣葉又云具緣葉是毒也吉祥葉是樂也云是別物賦

凡今依師傳習栴檀。若子滿菓栴檀之異名。厥是圓滿行萬善之種子。顯佛果圓滿功德義也。佛母尊皆持之。子多故也。但集經柑子云。眞乘房云。二說中柑子勝說也云。

第六把鉞斧事

口云。以鉞斧破一切無不摧破。是摧破無明。斷惑障表無餘也云。

第七把鉤事

口云。鉤者王義。四海悉朝宗王故。萬德皆歸此尊。是諸尊中王義也。佛母故也。所詮鉤召一切衆生。令入本有內證之法界宮。是有召入如來寂靜智德故持鉤也。

第八跋折羅事

口云。唐風俗以獨股杵名金剛杵。以三股跋折羅如是等事。不限此一事。常法也。今三股杵者。摧滅三毒。顯三部諸尊是三部佛母故也。

第九把寶鑿事

口云。寶花葉物也。是花鑿也。萬德莊嚴義。平等性智之功德也。

左第二如意寶幢事

口云。如意寶幢者。高立淨菩提心寶幢於無福惠諸貧乏衆生。施與世出世願義也。寶珠者。衆善根本。萬行源底也。

第三把蓮花事

口云。不空軌云。開敷紅蓮花文。是可愛色也。此尊人。道能化主也。殊以蓮花手表此德。梵鉢娜摩。此云紅蓮花。蓮花白性清淨。

故表一切諸法自性清淨義也。是淨人界三毒。五欲一切非法也。

第四把深鑪事

口云。深鑪者。水瓶也。不空軌云。單持文集經十二云。君連瓶傍開孔者。名爲軍持。文梵語。集云。招雅連。即深瓶也。古云。運持。略也。文。慈恩傳云。招雅連。即深鑪也。文。此等皆普通水瓶義也。一切經。吾義云。君持謂雙口瓶云。或云。運連。皆梵語不同也。譯佛母尊出生。凡瓶是一切物。能盛滿義也。此示彼持運持瓶也。

第五索事

口云。不空軌云。索。索文。降伏惡魔。忿怒諸尊。皆持索。此尊繫縛難伏者。不令傾動。引入本有法界宮。四攝方便。方便大悲。極位也。

第六把輪事

口云。輪是轉惑摧破義。即表二十五有生。死流轉。流轉既滅。輪卽止也。

第七螺事

口云。是諸法利生義也。法花經云。吹大法螺。響大法鼓。演大法義。文。胎藏軌手持商。佉說寂滅如法文。又表師子聲。師子吼時。山野獸類皆被降伏。今以螺大。聲令降伏衆生。煩惱惑障。顯義也。

第八寶瓶事

口云。此寶瓶三昧耶形也。前既口訣了。第九般若鏡事。

口云。是智惠體也。十方三世佛菩薩。依此般若。成正覺故。此尊諸佛能生母故。持般若鏡也。

二淨居天事

軌云。於菩薩上。盡二淨居天文。

口云。本尊上兩邊布二箇飛天。盡首陀會天。童子形。乘雲身。踊出。各執香花寶鬘云。首陀會天者。須陀淨義也。此天皆生聖者。故云淨居天。又號那含天。第二淨花天子。五淨居衆。第一自在天子。第二持花天子。第三光曜天子。第四意生天子。第五名稱遠聞天子。○阿闍梨言。此是五那含天子耳。文。

問。今次第二淨居天云。五淨居中。出何二淨居天乎。答。五淨居天。何必五天。共可來。隨緣成一天。或二天。或五天。六天。可來。故儀軌五淨居中。只舉二天。尤似有道理也云。

問。必同淨居天。來其意如何。答。此聖者親近佛。總聞說法。爲化度他方也。此準。祇佛母爲人道。能化說法。利生故。第一手作說法。相左第六手把輪。第七手把螺。是表說法。義。輪轉法輪。摧破衆生罪惡。故同淨居天也。

私云。金剛智軌。兩臂四臂六臂八臂十臂十八臂三十二臂八十四臂。各可隨所求云。

彼軌云。若求不二法門者。應觀兩臂。若求四無量常觀四臂。若求六通者。當觀六臂。

若求八聖道常觀八臂若求十波羅密圓滿十地者常觀十臂若求如來普遍廣觀十二臂若求十八不共法者應觀十八臂即如畫像法觀也若求三十二相當觀三十二臂若求八萬四千法門者應觀八十四臂又今此中以十八臂像爲本修故儀軌說十八臂畫像法觀隨所求可替用事如千手四十臂也凡十八不共法兩部義門也金剛經說十八會胎藏界以十八不共法攝四重曼荼羅深祕兩部共表九體胎藏以八葉九尊謂九體金界九會之九身也理智二身九身不二一體修故以二十九十八臂爲本尊一體身故十八臂猶深理也

白寶口抄 華嚴法下

印事

軌云華提佛母根本身契其契相先以二小指無名指相又入掌二中指直豎頭相著二頭指頭兩二中指上節側二大指各附二頭指側即成文石山內供御記云弘法大師御傳二地二水交入掌中二大聖合屈二風著上背二空著風調者三股印又三寶院禮僧正云華嚴大師御傳準胎契名三胎印然者少開二頭一麥許不可付中指也文雖不說華嚴可知也云貞觀寺御記云準胎契者佛頂印也表佛母義是佛部義耳<sub>剃刀三昧已上</sub>出家得度已上云此三股印妙鈔云內三股印者面上三目習也云是三股佛母故表佛頂印佛頂佛體總表也人體諸相悉顯面故佛身萬德顯佛頂是佛部總表通佛總德也凡此尊號佛母故生佛子義也彼出家得度誓令生佛子故有佛母功德是出家因緣偏預華嚴之加被成佛得道也依之出家念誦時以此尊印明加持也二中立合兩部平等性智德總法佛真性也二風著二中背兩部大圓鏡智和融平等真性義也二空著二風兩部法界體性智圓融法界義也是心內三藏佛金蓮三部不二和融表佛頂印一部一體印故云三股印是三能生佛母印故也二地內又兩部成

所作智作業德顯內是佛頂印故作業不表外雖然其德全不可闕故內證備內也二水內又兩部妙觀察智也說法斷疑德如二地備內證內德也又云二地二水入掌中我二兩部不二和融義二中指根本法嗣法體也二風修生始覺惠風是令開衆生菩提心義也二空成就法界體性一德義也云妙抄云又云祕印外五股印云小野流三形五股印外五股也此尊佛母故諸佛總體五股印以之爲祕也但妙抄外五股印內三股印護菩薩印此三印用大現也

真言事

以下也 無相 無起 好無

無等 無取 無不 無住 無作 無礙 無空

譯經云若出家在菩薩薩滿持此陀羅尼

滿九十萬遍無量劫造十惡四重五逆五

無間罪悉皆消滅所生之處常遇諸佛善

薩豐饒財寶若在出家菩薩修行持戒行

堅固不退諸此陀羅尼常生天趣或於人

間常作國王不墮惡趣親近賢聖諸天愛

敬擁護加持若營世務無諸災橫僥客端

正言善威肅心無憂惱若出家菩薩具諸

禁戒三時念誦依教修行現生所求出世

間悉地定惠現前證地波羅密圓滿證

無上正等菩提金剛智譯經云若有志

願三尼優婆塞過受持誦此陀羅尼

滿九十萬遍無量劫來五無間等一切諸

罪悉滅無餘所在生處皆得值遇諸佛菩薩所有資具隨意充足無量百生常得出家若是在家修持戒行堅固不退速得成就無上菩提又云有薄福衆生無有少善根者無有根器者無有菩提分者是人若得聞此準陀陀羅尼讀一遍得菩提分根器牙生何況誦誦不憚廢由此善根速成佛種無量功德悉成無量衆生遠離塵垢決定成就阿耨菩提又善無畏獨部法云若誦此準提眞言一遍即同誦一切陀羅尼一又云又云佛言此呪及印能滅十惡重罪成就一切百法功德作此法不簡在家出家飲酒食肉有妻子不簡淨穢但依我法無不成就短命者增壽無量求官者現世得輪王位凡所求願無不稱遂又云更能結印禁戒依法持誦不轉肉身往西方文又云若有志慕慈覺尼優婆塞優婆塞男女童女欲終盡不問宿殃大橫小橫但命盡三七日得遇此法勸閻羅王令幽冥所更與延壽命終之命却得增壽延一灌頂增二十一年壽命於壽命長短悉自能知又云父母過此法得入灌頂能令子孫皆同得福若男女得入灌頂能令父母延年增福又云先常淨心然後結印印相心誦此呪百八遍誦此呪時能使短命者長命加摩羅病而得除差何況餘罪病者不消差無有是處又云若有短命長病衆生月十五日夜暗燒安悉香誦此眞言一千遍增壽無量文

又印事

軌云第二根本印以二手向外相又二頭指二大母指並直堅即成文眞言軌大呪也不空軌云次說第二根本印用護身二手外相又二頭指二大母指並直堅即成誦佛母心眞言印身五處眞言如次第結護身印起大慈心遍緣六道四生願一切有情被大誓莊嚴堅固金剛甲冑速證無上正等菩提文

軌云即相自身若釋迦牟尼如來三十二相八十種好紫磨金金色圓滿身光又高惠云釋迦不空成就準底彼四親近中護善薩釋迦化身云故先用本身呪也滿不動眞言事

口云不動釋迦化身此尊亦釋迦化身也故用不動呪又勝軍不動軌現八種身中第五身是準底觀音所變身云是其證

滿烏迦沙摩眞言事

口云此法結界明王見仍用之云以烏迦沙摩用結界明王其故釋迦不動兩尊所變身也祕藏記云以穢積金剛爲不空成就佛忿怒自性輪金剛業也穢積者則烏迦沙摩菩薩也文疏云時不動明王承佛教命召被見其作如是事即化受觸金剛即是淨

滿焰摩天眞言事

獨行法云命欲終盡不問宿殃大橫小橫但命盡三七日得遇此法勸閻羅王令幽冥所更與延壽命終之命却得增壽延一灌頂增二十一年壽命文眞言軌大呪也

誦事

問儀軌有讀不用之云其意如何答儀軌有讀云出不空軌廣博故不用之也又小讚出梵字軌寬信法務用之歟

迎請事

口云召請可用大鈞召印言也眞言末加也

滿釋迦眞言事

口云用釋迦有二說一者準底眞言能說教主故先舉之二者準底釋迦所變身也



說伐施迦羅摩法若欲呼召一切天龍鬼神人非人等應作此法者身著赤衣面向西結跏坐香華飲食菓子燈燭地等並用赤色從十六日至二十三日三時念誦護摩

說阿毗遮嚕迦法若欲降伏一切惡鬼神及指三寶人天者有多罪障重衆生調伏難者能令發菩提心修諸善業者應起慈悲心而作此法身著青衣面向南作在居坐左腳押右脚用不香花炊食菓子地等皆用青黑色從二十三日至月月盡日日三時念誦護摩等法文不空軌云若作息災增益降伏敬愛隨四種法所謂白黃黑赤成辨悉地文

口云兩軌共就四種法修之今當流常就

[illegible]

口云五大如常執出本尊眞言也

軌云。說扇底迦法。若欲求息災除一切鬼

不空軌云。滅罪轉除。災害病疾。五星遼逼。

脫者。卽於道

尚北交脚盤膝而坐。衣服飲食香花燈燭。

充足。乃至下生人間。當爲帝王家子。或貴

一曰整風曰。

北寧未月。自色復月。一日至。月。日。三。月。

三惡道重。更有一去。寄在格支。念願

布置建法

增長五通轉輸利種寶藏有客輸金醫郡

不繼無有貶盜及虎狼惡鬼等情畏者

迦鎚及鐵斧

又等一切財寶藥草。求成就法者。身著黃

獸等難。金剛智譯經云。復有一法。若有王

所供養香花

子燈燭地等并用黃色從月八日至十五

得解說文

等事

[illegible][illegible]

11

[illegible]

取淨瓶盛淨香水別置淨處以觀摩夷塗  
作曼荼羅念一百八遍如是七瓶皆作此  
法於淨處以香花爲道場取瓶內香水洗  
浴夫即愛樂亦得有孕婦不樂夫亦如前  
法文

增益事

獨部法云若人總無福祿官位但於二七  
日中至心念誦隨有緣部加功依法即得  
福祿官位隨意所樂又云若復有人無  
福無相求富不遇貧苦所逼每十齋日常  
誦此呪能令現世得轉王位所求官宦先  
當稱遂又云短命者增壽無量求宦者  
現世得轉王位凡所求願無不稱遂又  
云若知地中有寶藏物結印誦呪具滿七  
遍地中伏藏自然顯出隨意所須皆得充  
足文

敬愛事

又云宰臣事王若爲卑官被所事者不相  
念但每夜三時向本尊前誦此眞言一百  
八遍一遍一呼所事者名即得大人愛敬  
如臣敬君如子敬父所有言說彼皆信愛  
文

私云男女敬愛文引產生之處畢  
降伏事

又云軍陳賊難結印即指隨所皆悉退散  
又云若常誦持水不能渴火不能燒毒  
藥刀兵惡病皆不能害又云以印指火  
火即消滅以印指水波浪皆靜收所求願  
無不稱遂又云若君臣怨家橫爲口舌每

夜三時向本尊誦眞言百八遍稱其名字  
即解怨結如親父母文

祈雨事

又云若大旱可於中夜燒安悉香結印勸  
五方龍速令降雨若三日雨不降者即須  
流香炷五箇龍各長九寸隨方五色各安  
壇上更一七日依法念誦即降雨若須晴  
即仰面向天誦陀羅尼八十遍即晴文  
日照譯眞言又法若孩子夜啼令童女右  
繞緣誦眞言加結二十遍繫於頸下孩  
子即不夜啼文

除睡眼事

又云除睡眼眞言云吉帝伊帝彌帝毗伽肥  
輪帝波陀婆婆可右初誦以香泥塗地燒  
安息香誦百八遍訖後讀誦時先誦七遍  
其睡水無并足刀強記云

知父母生處事

獨部法云若得見已過父母及已過男女  
欲得見之兼知生受二七日內依法念誦  
皆得知見文

乾木生花菓事

又云佛言此陀羅尼於瞻部州有大勢力  
移須彌山及大海水呪乾枯木能生花菓  
文

知善惡事

不空譯經云又法取一明鏡置於壇中先  
誦眞言加持好花一百八遍已然後又誦  
眞言一遍一擲打鏡面於鏡面上即有文

字現說善惡事文金剛智譯經云若欲得  
知一切成就不成就事即燒香發願啓白  
聖者願決疑心若有轉即知成就就左即不  
成就文

無尊像時可修之事

軌云依前塗飾即張天蓋四面懸幡若有  
本尊七俱低佛母形像安置曼荼羅中面  
向西若無本尊有諸佛像舍利及大乘經  
典供養皆得文  
部主段譯妙鈔云大日如來馬正觀音  
口云今次第釋迦或口云準基不空成就  
四親近云護菩薩故以釋迦爲部主敬  
自加持 智吉祥印眞言大呪

召請 大鈎召印

釋迦眞言如自加持 加召請句  
供物 小呪 歸命 加召請句  
撥遣 準召請

本尊段

自加持 根本印眞言也  
召請 如自加持印眞言

供物

唵左隸祖隸準祇婆轉賀 加召請  
加持物 如供物

發遣 準召請

諸尊段 加供能寂母  
妙抄云三十七尊又六觀音云  
世天段 焰魔天 增杓三杓

牛王加持事

口云此作法御產祈先修準祇法若護摩  
也其作法付息災修之如常準祇法臨御

白寶口抄

如意輪法上門校者曰此本係智山學

本書事

如意輪陀羅尼經一卷菩提流支譯

此經出大蓮華金剛三昧耶加持秘密

無障礙經貞元圖覺闍注梵釋有注

觀自在菩薩如意輪心陀羅尼呪經一卷

譯者

觀世音秘密無障礙如意輪陀羅尼藏義

注一卷

梵釋闍本今有錄中載之

觀自在菩薩如意摩尼轉輪聖王金輪呪

王經一卷

禪林請來無諸家錄但諸師引用之

觀自在菩薩如意輪瑜伽一卷

內題云觀自在菩薩如意輪念誦儀軌

不空

貞元新入目錄仁海運珍行林云此軌

十八道其行儀也

都表如意輪瑜伽一卷

題云都表如意摩尼轉輪聖○次第念

誦秘密最要○法一卷新說心八紙

觀自在如意輪菩薩瑜伽法要一卷

珍云觀自在菩薩如意輪瑜伽法要一

卷無譯人杜續古今譯經圖記云觀自在

如意輪瑜伽法要一卷金剛經仁錄注

云金剛智譯錄亦有此法十紙貞元圖

可然云但大藥又女軌云又法若有難

產者加持牛蘇一百八遍或二十一返與

產婦驚及產門必得易產文若依此兩

文用牛黃加持數尤可潤色也但本文未

知之定有牛黃加持文數可尋之

口云聖賢僧正村上御降誕之時行之云

此事若謬給數師入滅延壽九年七月

六日也村上御降誕延長四年歟尊師入

滅之後十八年之御降誕故時代不同也

可尋之又醍醐勝覺行之數云此加持

三寶院權僧正勝覺待賢門女院御產之

時度度被勤仕之必有效驗云長者次

第云天治二年五月二十八日任權僧正

女院御產御修法實不經法印云理性

房亦美福門女院御產時勤仕之云

印佛讀經事

誦大般若或花嚴或無邊門或楞伽涅槃

大乘經論等思惟講說或以七俱胝佛塔

印用香泥砂上紙上隨意印之多少如念

誦有功德如經所說文不空軌同之也

產期有牛黃加持作法以一歲人生氣方

溫水東方入新器折敷一枚大土器一兩

置便宜之所被立屏風一帖於其內可被

儲置山近召仕人被仰付其加持作法

小器水或白牛黃皮磨濃也

次護身結界等了向牛黃水主二字觀

次以三股或印用軍茶利小呪二十

次本尊眞言百八遍或千遍

次易產呪七遍次孔雀明王呪七遍

次延命呪七遍如是加持畢可取進上之

人兼有用意以此水獻產者令奉塗產門

也但中此由尤有悞仍中云此水可令塗

臍以下云

師傳云此作法產生氣分催後始此作法

及進也是故兼取靈水磨牛黃作其加

持作法入淨器覆蓋不入藥等臨其期進

之也或云準抵牛黃加持作法若御修法

若或若只作法之時先牛黃安置佛前

欲入之時神分之前加持牛黃先以三股

杵或印用軍茶利呪小呪如常次本尊眞

言次易產呪次孔雀明王呪以延命呪各

七遍俱本尊呪百八遍也然後神分供養

法等隨產生時取產者生氣方水入白瓷

小器云

問牛黃加持作法出何經軌乎答不空

譯經云若女人無男女以牛黃於樺皮上

書此眞言令帶不久富有男女文

覺洞院口云此文證據可云幾種者力ハ

也云雖然文不分明故諸師加難說不

白寶口抄卷第六十二(如意輪法上)

二本同本異譯歟付大法

如意輪念誦法一卷不空譯

貞元新入目錄海國覺

別外題也又加本云如意菩薩念誦法

觀自在菩薩如意輪念誦法儀軌一卷不空譯

仁運珍珍云如意輪念誦法一卷仁軌

兩所出此軌但下出無法字私云恐是

前本歟

觀自在菩薩如意輪瑜伽秘密念誦儀軌

一卷失譯

已上二本內文大略同前都表如意輪

瑜伽若智證錄書歟可尋之

如意輪要略法一卷

如意輪觀門義注祕訣一卷海

海錄不空譯內出之

如意輪菩薩真言注義一卷仁

觀云如意輪陀羅尼注一紙不空注

觀自在菩薩如意輪陀羅尼

梵字如意輪真言一本仁三十帖有之

觀錄云觀音菩薩開持一卷

右一卷經錄不載之但是如意輪法也

仍所載之

梵字如意輪證三帖錄有之

如意輪王摩尼跋陀別行法印一卷二帖錄

瑜伽法要云山間及流水清淨阿闍若隨

樂之間谷難隨力嚴供具文念

誦法云於淨室山林流水最為上勝建立

道場安置本尊文

口云山林流水最為上勝者地大我字義

山鳴大地從我字出故也水水大我字義

江河萬流從我字出故也即是到我兩部

曼荼羅也故云最為上勝也

不擇日月吉凶事

如意輪陀羅尼呪經云發心求此生現報

者應當一心受持此呪欲受持時不簡日

月星辰吉凶并別修齋戒亦不假洗浴及

以淨衣但攝心口誦不勝百千種事所願

皆成文

如意輪陀羅尼經云依法持如意輪明不

假占擇日月吉宿亦一日二日斷食亦不

沐浴亦不作壇著常衣服明水灑淨如常

齋食作成就作文

瑜伽法要云此大悲儀軌不擇日及宿時

食與澡浴若淨與不淨常不應間斷遠離

於散亂不營諸世務文

念誦法云行者澡浴或不澡浴悉無障礙

但運心思惟觀察一切衆生本性清淨為

諸客塵之所覆蔽不見清淨真如法性為

令清淨文

時員數事

經云大本不斷絕六時文念誦法云四時

相應壇文又云行者若能日日三時依此

念誦罪障消滅得大智慧三昧成就本尊

都表軌云每日三昧文瑜伽法要云四時

或三時此法後夜勝文

口云後夜無明長夜既曙初也是發菩

提心義萬法出生淨菩提心如意寶故云

後夜勝依之後夜念誦用此尊一山本

尊如意輪是彼寶珠一體故最勝事也

名字事

梵號 我山不月

密號 持寶金剛

口云如意輪觀音者準觀音入寶部三摩

地為成衆生二世悉地證自性雖如意輪

觀音也如意者是則無上寶寶也兩世間

七寶并寶相寶一切珍寶在如意寶中即

如意輪者於能念衆生滅重惡業障隨所

願事一一與寶也如意寶者能雨一切世

間七寶及出世無量寶財寶相寶者即雨

一切諸佛無上師智之寶一切珍寶在如

意輪中一切福智皆在寶相寶中輪者羯

磨事業亦輪有二種一教令輪二轉法輪

即二種之中轉法輪也輪者摧破義即摧

破一切衆生惡業煩惱之苦輪具足一切

諸佛萬德莊嚴無有缺減故此名如意輪

也

七星如意輪經記云譬如如意寶珠兩種

一寶與衆生此菩薩滿衆生之種類故云

如意所以六臂中右第二手持如意珠表

之譬如輪王以輪寶摧破惡敵此菩薩能

轉無上法輪摧破衆生之惡業煩惱一切

障礙故云輪所以左第三手持輪表之故

云如意輪也文

法要云為慈念有恃依無量方便化身為

種一始生及涅槃轉大妙法輪皆從如意

寶出所說之妙法者以輪成就以輪爲妙  
智能除諸結使猶轉法輪此爲稱智妙  
文智證自抄云如意輪○譬如世轉摧滅  
一切當其下者法輪亦爾能摧一切無明  
煩惱故輪名摧破義如意寶者是世間無  
上貴寶眞如寶相者是出世間總無比寶  
○六臂者是引攝六道衆生致六波羅蜜  
究竟彼岸如意寶者能雨一切世界七寶  
及無量寶相者雨無上稱智之寶一切法  
生處一切法滅處八相化物者在眞實中  
六臂者性即六度圓滿一切寶實即自性  
清淨心性如來也一切殊寶在如意輪中  
一切云皆在寶相中依正體用一切綜攝  
本地法身身上不二理智寂然體用平等  
不生法性自爾本來常住猶如水月感應  
俱時因果一實色心不二法界清淨等持  
無有增減○其離中道契如是等義不可  
思議具足一切諸佛菩薩萬德莊嚴無有  
缺減是名如意輪轉者摧破義召一切煩  
惱惡業鬼神於本源寂靜掌中剎那摧壞  
如大輪押折故名摧破義若依此義一切  
諸尊皆已妙名不可思議豈非此義乎六  
道即是本尊本尊即是六大法界迷悟一  
如染淨元同離々思々議々心思無底舉  
筆記端云  
口云醍醐流殊以如意輪爲十八道本尊  
故十八道是不二縣悉地法也如意輪即  
不二法性尊故爲本尊也

尊師上醍醐本堂準脈獨持佛堂如意輪  
也亦清瀧權現二社內御母準脈御女如  
意輪也通智院僧都義範最後時堀河左  
大臣被參僧都御房時清瀧權現僧正御  
房準脈如意輪垂跡云彼清瀧御體女  
形常人夢示之但正御體之故世以不  
知之也清瀧本地如意輪故醍醐安置之  
歟是即自然佛陀神明相應下彼地擁護  
當流大事以之思之醍醐流十八道本尊  
用如意輪自然冥會現清瀧權現者本  
土青龍寺鎮守惠果勸請神也即爲守護  
密教大師有契約日本來寺當寺佛法奉  
名清瀧故本宮昔清瀧流時現其清瀧給  
故奉名清瀧今爲神御名當時本宮無水  
灘高大盤石也舊記云彼奉有三重瀧云  
凡眼不見也此權現亦當流一大事一致  
也其口訣有之此等義深秘故略之也特  
如意輪三寶院最究竟習也以彼大事等  
修行此尊自流相承也  
問都表如意輪者各別尊歟其名字如何  
答非別尊都表者其德也其德者勝諸  
佛諸尊而都攝諸佛菩薩功德義也故都  
表如意輪軌云都者攝義也攝入一切諸  
佛菩薩是故名都表者顯義顯現大光照  
四天下是故名表其攝一切諸佛菩薩顯  
現日光令觀一切衆生有此義故名曰都  
表聖如意輪有衆生類無知此相不知此  
故不作歸依能可敬尋信心堅固者可  
傳授之命終之時必生淨土盡分六時行

住坐常觀想莫廢是法名曰日想正者住  
正念故往生無疑云都表如意輪私記云  
天台師曰一切佛菩薩大悲心攝觀音  
心中八大觀音等無量無數觀音但偏攝  
入此如意輪心中日想觀十六想觀第一  
也此法中以日想觀爲其終奉送觀是故  
深祕耳云或云此以大悲方便現日天身  
利四天下云有七星九曜十二宮天二  
十八宿等無數天衆恭敬圍繞云  
問付此尊有別行次第乎如何答無別  
行也但小野方別有次第也薄雙紙道場  
觀少黑也可見之  
問七星如意輪者各別尊歟如何答極  
子三形印言等只如常如意輪法但於本  
尊八幅輪中中心如意輪或十二幅八  
七星迴右圖當前方圖詞利帝輪外八供  
四攝如常此尊次第薄雙紙中彼次第云  
此法爲最難修之云  
問七星詞利帝等圍繞其意如何答七  
星如意輪秘要經云南方有世界名曰七  
寶轉輪王於七寶上獲法七星及諸天衆  
周匝爲轉法輪度脫衆生爾時神通王菩  
薩白佛言世尊以何因緣不觀念如意輪  
王菩薩又今禮拜本星等耶佛言昔燃燈  
佛所受此法門七星精靈從天而下詞利  
帝大神從地而出願我等皆從此大法若  
有人等奉造此法我等先至成就法事以  
此因緣兼存造法文依此意云七星如意  
輪也詞利帝從地出者詞利帝母佛眼

母也。是行者膝下。到字地大出生萬物故。能生母德尤在膝下也。七星從天下者。行者頂上七穴是表七星中央如意輪即金輪佛頂也。宗說請來經內題云。佛說觀自在菩薩如意摩尼轉輪聖王金輪觀王經云。此經如意輪經也。說如意輪。七星圍繞。七星如意輪之可為證也。七星侍衛金輪七寶七星同證故云。七星財又思惟手習寶珠承頰是面上七穴七星也。是持寶珠形故義。注秘訣說大呪句義云。如意摩尼寶珠有六臂。六臂中思惟手為總體也。寶珠手別體也。故兩手總別二義又內證化他兩門也。大師以此法為最極秘密。尤此意也。

種子事

瑜伽法要云。想於己身前觀乾哩字門。變為蓮華王。中有乾哩字亦有字。字為金剛寶蓮共變為所尊。持寶金剛次第云。字變成八葉蓮花。左右有字。成寶流散千光明。文石山次第云。左右左右共變成金剛寶蓮花。文口云。字阿彌陀千手法等時口訣了。字即四字合成字。不可得。不可得。不可得。不可得。寂靜不可得。不可得。修行之義。其遠離不可得。大涅槃義是開如。法身之理發菩提心。依如寂靜之修行得煩惱即菩提之果。入大涅槃三德祕藏。海見祕密藏之極理。無盡恒沙萬德也。是平等性智。即是修行之句也。又是恒沙已有也。是為本

有南方修行。本有恒沙萬德也。此如。法身本有恒沙萬德。菩提即煩惱涅槃即生死還住。字摩訶是則字也。故此字為寶珠種子也。

問。以三字為種子。其義如何。答。字蓮花部種子觀音左右二字。右寶珠種子。如意是福也。左輪種子字也。故種子三形。共具足如意輪觀音三義。此三內證法門。即顯加持色身時。觀音總體蓮花也。亦蓮花手也。右寶珠手如意也。左輪手金剛也。故形體即一致也。是種子三形尊體各顯三功德。而為如意輪觀世音名號也。問。蓮花字寶珠其義然也。但以字為輪種子意如何。答。大備御筆高尾曼荼羅降三世三昧耶會。四波羅蜜。內寶波羅蜜。三形不圖寶珠波羅蜜。輪種子即例。也是第一證據也。寶珠與輪同以字為種子。敗寶珠福也。輪智也。此尊以輪智施眾生。不如。理如。智故。此福智生如如。福智故能生種子亦各別也。雖福智別。如。理是一故是同字也。輪摧破義故。此智輪即摧破無福業。故實一致也。瑜伽法要云。轉大妙法輪。皆從意實生。所說之妙法。皆以輪成就。以輪為妙智。能除諸結使。猶轉大法輪。此為福智智文。此福智路意思。之文。果房云。運轉輪智寶輪。是依智顯。故輪即是寶寶。即是智智。即是福是故三種皆理智冥合成如意輪也云。

口云。字蓮花部。字二字佛部金剛部。

此胎藏三部義也。亦此佛金蓮三部共入寶部。故有寶部現應部通四部故。習五部總體是金界義也。

問。字蓮花部種子爾也。字即共南方寶部種子也。何云佛部金剛部種子。如何。答。蓮花部尊入寶部三摩地。故二部共用。問。若入寶部三摩地。蓮花部同可用字。何用字如何。答。今本章既蓮花部尊。故為顯本體置字也。或云。三字身口意三密也。謂左身身密。右字諸密。意密也。是如次中東南內證三轉也。問。字二字其字相字義可同。何配身口乎。答。合六大法身為三密。此三密之中。理如智之二法。本有不可得。上立而二之名時。二也。配配意心內第七誡翻意。此字翻心故配意也。就中第六誡意識也。此意即成妙觀察智。此妙觀察智種子字也。故以字配三密。地水火風空。有字字識大也。識大通上五也。是亦三轉也。已上或云。三字實二字蓮花金剛二部也。定惠攝入云。或云。三字變成三寶寶珠云。或云。祕說云。種子字三寶瓶上寶珠云。廣澤云。種子三金剛寶云。半救傳云。種子云。

私云。以字為種子故。金輪佛頂與如意輪同一體故也。

聖賢云如意輪寶珠法種義三形三瓣寶是七寶內寶也云

私云此等三種真言終皆有義字故用之義字淨菩提如意寶珠故歟或云種子義三形三瓣輪上寶珠也是謂伏行時事也是增益調伏也云最深祕口訣云種子義三形塔也是今法肝心也

### 三形事

念誦軌云八葉蓮華上有如意寶珠如紅顏梨色赫光明至無量世界於光明中想自身如本尊像六臂相好起大悲心文私云此軌不說輪只蓮華寶珠許也法要云為慈有情作無量方便化身為種種從生及涅槃轉大妙法輪皆從意密生所說妙法皆以輪成就以輪為妙智除諸結使猶轉大法輪此為轉智路○法界自性體於金剛蓮即變其寶蓮為真多菩薩又云中有乾理字恒羅安兩邊為金剛寶蓮共變為所尊持依此多妙寶蓮口云今次第三昧耶形依此文也凡蓮花理也依理生寶寶即恒沙功德法寶也從寶生諸佛生諸佛者依智轉法輪故也仍蓮花上安輪輪上安寶珠以此寶蓮置輪上是理智冥合萬法出生表示也金剛寶蓮者此三形也金剛輪也深可思之云



如意輪

寶輪

吉蓮花

口云此圖次第意也以之為深祕也寶輪者疏十五八云如如意珠在於輪頭能滿一切人願隨心所欲可彼所求心而至此意歟又寶輪者淨菩提心體八識東方也東方木方故青色故青蓮上顯淨菩提心體上蓮赤色顯西方證菩提色敬愛義是滅瞋盡業令一切不二和合輪是破無明癡闇令生一切智寶珠是除無始慳貪業因投無盡寶財故此三形能除身果位義也或云今此尊以四種法為木持謂如意增益義輪調伏義觀音敬愛義蓮花故也於息災者觀音法先付息災行之故也印外轉二中立合蓮形二頭寶形二小交言心呪也口傳云二中蓮形種子義三形蓮花真言以知也二頭指寶形種子義三形寶珠真言以知也二小指立交種子義三形輪真言入轉薩時也二小指交立寶輪故三昧耶會因菩薩印交二指成輪義故此印云轉法輪菩薩也已上習此尊最極究竟也或深祕云種子義三形塔塔中有寶珠是三摩耶形也智拳印真言心呪用之云

### 白寶口抄

如意輪法中校者曰此卷係智山寺

### 道場觀事

如意輪軌云想於壇中八葉大蓮花上有師子座上有七寶樓閣垂諸璫珞繒綵幡蓋寶柱行列垂妙天衣周布香雲普雨雜華奏諸音樂寶瓶闍伽天妙飲食摩尼為燈文口云道場觀事明十八道故略之可見彼也

### 六臂事

瑜伽法要云六臂身金色皆想於自身頂寶莊嚴冠坐在王任於說法相第一手思惟慈念有情故第二持意寶能滿一切願第三持念珠為度眾生苦左按光明山成就無傾動第二持蓮花能淨諸非法第三手持輪能轉無上法六臂廣轉能遊於六道以大悲方便除諸有情苦行者如是觀坐於月輪中身流千光明頂背皆圓光文卷已上五字一句願文

### 第一手思惟慈念有情故文

口云思惟者定義是入定慈念眾生也慈念者慈悲義疏云慈悲謂憐愍之心徹於骨髓謂有所作為建立眾生必便成就無盡法界之樂度脫無餘眾生之苦文此思惟手六趣中先慈念地獄道有情地獄者諸苦最重偏入彼深三昧思惟感懷拔苦與樂故現思惟相也

第二持意寶能滿一切願文

口云此手能度餓鬼道也餓鬼慳貪飢饉苦火燒其身故入如意三昧雨淨妙甘露而施與餓鬼破三品之貪等除彼道三障也

第三持念珠為度癡生苦文

口云此手能利畜生道畜生是愚癡闇增故以惠珠手滅除癡暗苦千手經云我若向畜生道自得大智慧即意同以念珠百八智破彼癡暗念珠是智惠義取數不忘失尤智也念珠是轉法輪智也母珠阿彌陀緒觀音也從母珠轉一珠至于半握菩薩下化亦從半至母珠握菩薩上求每轉斷煩惱故斷除百八煩惱成就百八三昧但母珠不可輪佛果故也即斷百八煩惱證百八佛智一皆具諸法妙德也已上三手化三惡道重苦故用強力自在右手也

左按光明山成就無傾動文

口云光明山者補陀落山此云海鷁彼山觀音依報所居之淨土七寶所成也其山諸寶樹花菓一切藥草等皆有光明故名光明山名曰光明彼有菩薩名曰觀世音

尼沙門經云南方海中有山如稻樹名小山曰山文千光明經云如來一時住日光山觀自在宮殿又山者梵云娜伽是不動義也此手度修羅道也修羅常與天帝釋鬪諍故調伏阿修羅動心令不傾動也

第二持蓮手能淨諸非法文

口云此手利人道也人道護三毒五欲等故以不染清淨蓮花手淨一切煩惱非法之垢也

第三手持輪能轉無上法文

口云此利天道即摧破天上著樂入菩薩地位也凡三界諸天雖免三途極重苦未除生死輪迴苦故轉法輪令斷苦輪也所以欲色諸天摧破生死有漏報覺悟無常輪變樂相也輪者摧破義也內破煩惱外摧魔軍輪有多種八輪輪十二幅乃至千幅輪等也一、所表皆有之今輪者先以八幅輪為智是即摧破八識相應惑障成就八種法身也云

六臂配六觀音化六道事

右第一思惟手聖觀音修無垢三昧慈念地獄衆生寒熱苦最重故能現慈相思惟也

第二持意寶手千手觀音修心樂三昧雨

寶能救餓鬼極苦以如意寶珠雨百味飲食種種財寶脫飢饉苦也  
第三持念珠手馬頭觀音修不退三昧救畜生愚癡所惑互相殺食重擔鞭杖苦念珠是智慧形諸佛三昧耶也以智光治癡暗也

左第一按光明山手十一面觀音修歡喜

三昧教修羅鬪諍苦以大定手能鎮彼動轉心成就無傾動也

第二持蓮華手準聖觀音修日光等四三

昧教化人道淨三毒非法也

第三持輪手如意輪觀音也修不動三昧等十七三昧能破入天著樂即是六道六觀音修二十五有三昧破二十五有此六觀音慈悲利生只具足如意輪一身即六臂圓滿體相也

問以六觀音各化六道一觀音不利六道賦如何答金剛智念誦結護云震多菩薩具足六臂成六神通應化六道能令衆生滿足六度文如是六觀音各一普利益六道一切衆生今於六臂可有總表別表二義別表時以一觀音當一道總表時一觀音各化六道也故常喜院抄云間有人云如意觀音六道中當天道今何云六道乎答以輪得名故口云云天道又天台止觀以一往義以一觀音當於一道如是有六觀音如釋迦十大弟子各雖有三昧六通依一各稱第一又如此六觀音各破六道如今觀音又有千手願有破六道文所謂我若向地獄乃至我若向畜生等如上義既廣不可具記

私云問餘手不別云度其道何故持珠別度傍生云哉答六手利益可有二義一者別表以六種三昧利六道衆生也二者總表以三昧普利六道衆生乃至十方一切衆生也文言雖略義意必然專在得意莫守株矣

又問五手所表義準可知以持珠手度傍生苦其義如何答此義未詳然念珠功



德經云珠表菩提果中絕表斷漏線貫表

觀音母珠為彌陀佛以是不可越母珠積

功德速成就故文今案之珠表菩提果者

菩提是智德也彌陀觀音共是五部中智

惠門之佛也又念珠記數令不忘失是惠

分也若爾念珠表佛智惠慧千手經云我

若向畜生自得其大智慧文華知畜生愚癡

重故以智珠手而化度也右第一思惟慈

念有情手若約別義此度地獄云衆生諸

苦最重菩薩於彼慈悲偏動故入深三昧

思惟慈念拔苦與樂總而言之此一衆生

未離苦諸慈悲善根力皆拔濟之此手表

之第二如意能滿諸願乎此手度餓鬼也

餓鬼慳貪餓飢火燒其身故入如意三昧

雨樂具而施與乃至法界一切衆生一切

諸願皆令滿足是別仁義第三持珠度傍生

乎畜生是愚癡傍增者也故以惠珠手滅

除癡暗苦乃至法界一切衆生無明苦皆

令除滅左第一按山不傾動乎修羅恒其

諸天關許於諸善品易退動也故調伏其

心令不傾動也乃至能令一切衆生斷惡

修善第二持蓮淨非法乎人道起諸煩惱

垢染處也故蓮華清淨手令淨煩惱非法

垢乃至能令一切衆生離苦得淨第三持

輪轉法輪乎三界諸天雖免三途極重苦

天道是六道中最上故配天上是總體義

也

六臂配五部事

思惟手 金剛部 東方也

如意寶手 寶部 南方也

光明山手 佛部 中央也

蓮花手 蓮花部 西方也

念珠持輪手 羯磨部 北方也

六臂配三部事

思惟手 佛部

如意寶手 寶部

蓮花手 蓮花部

念珠持輪手 金剛部

如此配當皆見現文以法門大體可通解

全不可有相違也

八大觀音事

大品如意輪經云一圓滿意願明王菩薩

二白衣觀自在三一髻羅刹女四四面觀

音五馬頭觀音六毘俱胝七大勢至八陀

羅觀音之略抄

此八大觀音各功德標示廣說之也但

圓滿意願者聖觀音也四面者不空索

索也云此兩義共不審也今執意圓滿

意願者如意輪也意願與如意輪義理

一同也故以四面號稱索又以不可被

又說云不空索索見俱胝十一面馬頭忿

怒鉤如意輪不空鉤一髻羅刹云

已上以義範手跡御本寫之

口云觀音蓮花部尊故答屬亦蓮花部也

其意可知也云

二臂四臂十臂十二臂見經云

口云見經者皆共出金輪呪王經其圖像

等如十卷抄并白卷抄等可動見之也

觀自在如意摩尼轉法輪聖王金輪呪王

經云隨所求願畫像作壇於畫像身毛皆

白紅色頭上化佛坐白蓮花左手屈臂在

乳房仰掌把如意珠坐寶蓮花文又畫二

臂菩薩白色結跏趺坐白蓮作定印菩薩

心中畫一化佛左手把右手頭指餘三指

各把拳當心文

如意輪陀羅尼經云於蓮臺上畫如意聖

觀自在菩薩面西結跏趺坐金色相菩薩

左手執開蓮花當其臺上畫如意寶珠右

手作說法相文

十卷鈔云但世多圖造左持蓮花右說法

印之像今石山寺如意輪是也○右所引

二臂像與石山寺像頗有相違從昔所造

畫二臂像皆右作施無畏左手於膝上作

與願印垂下左足坐盤石山和大國間臺

寺丈六如意輪像亦同之垂下左足但石

山寺燒亡之時僧拜見之左手作與願安

膝上垂下右手持蓮花上安如意寶珠

其花莖分三枝一枝未開花今一枝荷葉

也云

問六臂即六觀故如意輪可總體何配一

手乎答如意輪配天道是上必兼下故

問六臂即六觀故如意輪可總體何配一

手乎答如意輪配天道是上必兼下故

問六臂即六觀故如意輪可總體何配一

手乎答如意輪配天道是上必兼下故

問六臂即六觀故如意輪可總體何配一

手乎答如意輪配天道是上必兼下故

問六臂即六觀故如意輪可總體何配一

手乎答如意輪配天道是上必兼下故

問六臂即六觀故如意輪可總體何配一

手乎答如意輪配天道是上必兼下故

問六臂即六觀故如意輪可總體何配一

手乎答如意輪配天道是上必兼下故

問六臂即六觀故如意輪可總體何配一

手乎答如意輪配天道是上必兼下故

問六臂即六觀故如意輪可總體何配一

手乎答如意輪配天道是上必兼下故

問六臂即六觀故如意輪可總體何配一

手乎答如意輪配天道是上必兼下故

問六臂即六觀故如意輪可總體何配一

私云除災救令輪就說二臂如意輪也  
四天王寺本尊二臂如意輪東大寺大  
佛教士是亦二臂如意輪也蘭城寺本  
尊二臂如意輪是常號彌勒菩薩歟云

四臂事

金輪呪王經云又別畫像法先畫水池池  
有山山有紅蓮華菩薩處之而坐又垂左  
足右接左上足著草履頭冠中有化佛佛  
處半月中四臂左第一手下向至腰投池  
中花此花中有一化佛佛第二手於第一手  
後向上母指食指頭捻白珠右第一手屈  
上肘去膝上一寸許母指中指作相捻勢  
而不相著捻念珠第二手亦第一後曲向  
上捧梵甲其四手腕各著銅文

六臂事

金輪呪王經云又畫像法有六手頭上有  
化佛坐寶蓮華及有身光左上手仰掌大  
指中指把一開寶花上有如意珠第二手  
向下膝上把一開寶花口向下第三手中  
指頭指捻一少開紅蓮右第一手屈於脇  
前大指無名指小指並舒中直立頭指上  
立一跣折羅有火焰第二手下下垂覆作  
降魔印五指舒展第三手向膝下花上作  
捻華勢以無名指捻坐寶花文

不空網索經

九云如意輪觀世音身有六  
臂一手執輪一手持數珠一手執如意寶  
珠一手押右頰一手把蓮花一手按山結  
跏趺坐文攝無礙經同之云  
宗祕論大悲如意輪像何現六臂有深

意若論所化執持略明有六義第一執妙  
蓮珠第二持妙寶珠第三把珠  
數生蓮花第四持法輪第五按寶  
山動義第六手低頻生義  
中未曾暫息止菩薩悲願深由斯現六臂

文

此等文左右手持物等相違儀軌文故  
藏之也

十臂事

金輪呪王經云有種畫像法一云畫作  
一菩薩像身安十手上第一手左右於頂  
上合掌第二手左掌把日右掌把月第三  
左手把如意寶珠右手把輪第四左手執  
深罐口著青蓮花右手執跋折羅第五左  
手執呪索左手執珠數其像頂上放大光  
明身上天衣頭頂兩手有七寶瓔珞其像  
足下畫菩薩從地涌出踏膊上菩薩擎手  
捧足文

十二臂事

金輪呪王經云又畫像法其菩薩頂有  
化佛坐蓮花上佛右手作說法相左手仰  
掌在膝下菩薩有頭冠瓔珞左右二手在  
頂上合掌左第二手少曲捻金輪右第二  
手按跋折羅作擬勢左第三手仰掌無名  
指大指捻寶蓮花蓮內有如意珠有火焰  
右第三手執如意杖左第四手作歡喜印  
大指捻無名指第三節作向前擬勢右第  
四投三股叉左第五手下垂執深羅右第  
五手作施無畏左右第六手當心作自在

神通如意神方印左右二小指二無名指  
又入掌中二中指相柱二頭指第二節曲  
二大指押中指第三節文菩薩白紅色踏  
白蓮花其蓮華在池中文







與也。義注秘訣云：大師大作取相之法，謂作本尊印，實字觀於心中，想與字成明珠，遍周法界了諸。與字，秘藏記云：我心觀月輪，輪上觀阿字，成如意寶珠，寶珠遍滿法界，口誦阿字，隨疲即印，印用事都婆印文，是此法秘事也。印說大本經言出義注秘訣，秘藏記印言一致，也是相承秘事也。

凡寶珠法付如意輪法習之，其時與字爲種子，塔爲三形，塔內安置寶珠，居壇上爲本尊，謂塔五大，即身成佛寶珠，是心成佛，故色心不二法爾，無作道理，也是一流本事，即身成佛源底，只在斯矣。

八葉印事

經云：大本大蓮華三昧耶印，二手合掌，以二頭指二中指二無名指各微開，微屈頭相去一寸半，二大指二小指各相堅相著，微屈印明曰：○大咒也，想印作百千葉七寶開敷蓮花，供養一切諸佛菩薩諸千龍神，一切歡喜文都表軌云：第二根本真言印，以二手腕相著，當在胸前，十指並散，二小二大並堅，如蓮花形，文妙鈔云：師主口傳秘印云：八葉蓮花印之上觀寶珠云：

真言心呪用之云：口云：最秘口傳云：八葉蓮花上觀三寶寶珠，是三形一體印也。

理趣房云：三身印法，身印無所不至，印大呪也，報身印二手虛心合掌，二頭指開付二火背，以二大指押二火第二文，心呪也。

應身印，二手內縛，二小指開立，心中心呪也云：

私云：如是諸師而，出祕印，祕明歟，雖然當流習所出印言外不用之也，以之爲究竟秘事也。

散念誦事

口云：六觀香外白衣觀香蓮花部母，故用之，詞利帝護如意輪法，誓約故加誦之也。

本尊讚事

口云：今此章讚與彌勒讚全同也，比如意輪彌勒同體故，彌勒軌中大悲大慈，如膠漆文，是大慈彌勒，大悲如意輪，膠漆同體，義是潤色，仍讚通用二尊也，三井流此義也，實任口訣云：彌勒與如意輪爲大摩尼殿之主，同主天故，讚通用二尊也，祕事云：

迎請事

結界事

口云：蓮花部心印言也

口云：馬頭印言也

字輪觀事

口云：五大如常也，十八道用小呪也，是法要井不空軌同以小呪爲字輪觀也

護摩事

就敬愛修之，成息災，或增益云：瑜伽法要云：行人面於西文此文敬愛意也。

經云：大本面東，跏趺坐，文都表軌云：尊面西方，在口前行，像前面東坐，文念誦法云：修眞言者，面向東方，○以白檀香磨爲香

泥，以用塗壇，或方或圓文。

已上文增益法也，但或圓文圓壇息災也，故通息災歟。

都表軌云：念誦都有四種相息災，增益愛念降伏文。

此等通四種法也，但師多通息災，敬愛增益也，六觀香連壇之時，修息災，是常儀也，六字法六觀香也，彼法行息災調伏也。

如意輪陀羅尼經云：若國王念誦時，於七日中六時各誦一千八十遍，若后嬪妃每時當誦九百遍，若王子誦八百遍，若公主誦七百遍，若宰官誦六百遍，乃至若比丘誦一百八遍，若男子誦一百六遍，若女人誦一百三遍，若童男誦一百遍，若童女誦九十遍，此名護法持念，稱名一切勝事，皆獲成就，富貴安樂，資財穀帛，奴婢象馬，一切樂具，隨意增長，又云：五更護摩，五無間罪消滅，七日護摩，壽命無夭，三七日福壽增，起國王等敬愛，三七日三十三天日月天子四天王明仙衆來擁護，○觀自在現身隨願，滿足敬愛文，如意輪心陀羅尼呪經云：更無明呪，能得與此，如意呪王勢力齊者是，故先當除諸罪障，次能成一切事業，又云：亦能修滅一切病苦，皆得除愈，又云：但是身中有病，悉治之，文祕密神呪經云：若夜至虎狼，悉不至惡，滅終不能害，及諸惡夢，乃至虎狼，悉不至惡，兵鬪，戰陣，皆得勝利，若有官事，評訟，皆得知解。

若誦此陀羅尼一遍。如上等事悉得遂意。

又云。此如意輪王陀羅尼者。過去現在惡業重障。悉能破壞。

都表軌云。若有先世極罪。不過萬遍。悉皆除滅。罪已增福。智即得無病及命長。又云。我今說福生法。大慈悲故。菩薩分身遍一切隨衆生所樂心。安立諸珍寶。○百千萬國所隨者。一、勤求皆悉成。

又云。此等文中。四種法悉在之。可知。吳本軌云。若人持此法。先致願。悉心若與願。悉者。成萬善。成萬惡。能迴心思。易悉地成就。

又云。若以此法。令見他人。惡比丘。得三世諸佛。御身出血。罪人十羅刹。彼身中生。災能秘密。

私云。此兩文行者至要也。可見之。部主段。聖觀音經。寶善庵。

口加持。心印。二。手內縛。立。右大指。眞言。

名請。口加持。印言。召請句。四攝明。供物。同眞言。加敬愛句。

撥造。準。召請。以。右大指。三機。加撥造句。本尊段。

自加持。心印。同眞言。召請。蓮花部。心印。明。

供物。自加持。眞言。加敬愛句。加持物。心中。心呪。加。仍。同上。

撥造。準。召請。

諸尊段。三十七尊。

世天段。毗沙門增杓。三度。

吉祥天加供之。明如常。訶利帝加供之。明如常。

本云。水正六年。己巳三月。日於高野山。往生院谷峯。坊令書寫之畢。

白寶口抄。不空羼索法上。

不空羼索神變眞言經三十卷。唐菩提流志譯。當第四譯五百七十三紙。

祕錄云。貞圓梵釋闕神變眞言字。不空羼索呪經一卷。闍耶屈多等譯。第一譯十二紙。

祕錄云。貞圓不空羼索。觀世音心呪經。貞元闍闕注。梵釋有法。玄奘譯。第二譯十三紙。

祕錄云。貞圓覺梵釋。右二經。同本異譯。是前大經序品三藏流志。先譯一卷。名不空羼索。呪心經。尋本未獲。

私云。二經皆補陀洛之說也。不空羼索陀羅尼經一卷。北天竺婆羅門李無譯。第二譯三十八紙。

祕錄云。一名普門。貞元闍闕注。或云。海錄未見此經云。

續古今譯經圖記云。婆羅門李無。誦北印度風婆國人。○阿彌眞那。菩提流志等翻譯。並無誦度語。天后代。聖曆三年。爲新羅僧明曉譯。不空羼索陀羅尼經一卷。沙門波嵩筆受。

不空羼索陀羅尼自在呪經三卷。寶思惟譯。第二譯三十七紙。

不空羼索陀羅尼自在呪經三卷。寶思惟譯。第二譯三十七紙。

不空羼索陀羅尼自在呪經三卷。寶思惟譯。第二譯三十七紙。

不空羼索陀羅尼自在呪經三卷。寶思惟譯。第二譯三十七紙。

不空羼索陀羅尼自在呪經三卷。寶思惟譯。第二譯三十七紙。

祕錄云亦名不空網索呪王經貞元間  
覺梵釋注云不空網索心呪經

貞元錄云沙門阿目佉真那唐云寶思  
惟北印度迦濕彌羅國人利帝利種也

右二經同本異譯此是梵本經鈔非是  
念部與前三經同名異本已上出貞元

錄  
私付祕錄注

不空網索神變真言經二卷 六七 海  
仁行

海錄云不空網索真言經二卷 第六  
第七三十卷中闕本善提流支譯

行錄云第六第三十兩卷仁錄云第六  
第七

不空網索毘盧遮那佛大灌頂光明真言  
一卷 出不空網索經二十八不空譯

貞元新人目錄海仁貞元並海錄無明  
字仁錄有之

私檢此法文初直載真言洛之當往見  
之則相實敬一收半賦目

梵字不空網索真言一本 仁  
仁云唐梵兩字不空網索真言一本

海云梵字不空網索陀羅尼一卷  
已上祕錄

佛說不空網索陀羅尼儀軌經二卷 一  
名不空網索教法密言不空譯出後入

唐錄  
私云淨居天說此兩卷與三十卷第一

二全同

觀錄云不空網索陀羅尼儀軌一部二  
卷 阿目佉三藏譯三十五紙

祕云此二卷儀軌與前三卷儀軌經同  
本歟

珍錄云不空網索經一卷 善提流志  
譯

已上二部總錄不載  
起首時分事

三卷經上云淨於春秋時白月八日或十  
五日吉祥星下選擇好時文

大師云吉祥星下等者吉星相直也其日  
之下也云經云每日三時文經中卷云

於白月八日或十四日三十卷經第二  
云修法者於十方一切諸佛神通月修所

謂正月五月九月白月一日至十五日文  
名字事

梵號 其云 其云 其云 其云 其云  
密號 等引金剛

問此梵號無不字其意如何 答其字  
終有 其字 其字 其字 其字

故具足不空網索名云陀羅尼集經四云  
阿牟伽除除經云不空經序云一本云遍稱

不空等者別來經之殊號也至如鄉網取  
獸時或索空茲教動桴罔不玄會故受斯

目文或云網索者慈悲索也世間之魚網  
雁繩魚鳥目有漏此觀音慈悲網索一切

衆生無漏網網大千界奉仕修行者必  
與惡地施利益意也此義不空故云不空

也此古德說也云

口云網字或アミ或ナハ或ツナク云  
ナハ也先網字訓有二義一アミ是經序

鄉網取獸時文即網義也可知二ナハ也  
其故立印軌云不動左手持網索云而不

動尊圖像未見持網只ナハ許也故知其  
網索ナハ也但師傳云索片方蓮花片方

鈎也是鈎即度衆生之本誓不空稱  
名也以此鈎針下生死大海中以妙法蓮

華之鈎執一切衆生魚鈎上菩提岸義也  
一下不空過故云不空網索也觀音經云

心念不空過文即不空網索義也三寶院  
流○殊之以依用也不空網索經云信傍

共能作饒益事故有不空說文此意全同  
之是皆濟度利生悲願不空名稱也疏云

不空者隨意一切衆生有所見聞觸知無  
空過者必定無上菩提故名不空文此文

取決定得果義也攝真寶經云決定得果  
是不空義文又云能滅不空過文此等文

注不釋今又空網索決定得果文相叶歟  
不空義全同意也

問此不空網索何所變乎 答或入說云  
不空網索觀音之本身樣也所謂大日

變成彌勒彌勒變成不空網索大日變成  
地藏地藏變成不空網索是出三十卷經

也云

此事見三十卷經全不見也但經十五  
上說品八肘方壇基高二肘如法圖畫惟開

東門○置淨土阿彌陀佛變惟開南門○植  
種種華散莊嚴中置毘盧遮那變地藏

種幡華散莊嚴中置毘盧遮那變地藏

種幡華散莊嚴中置毘盧遮那變地藏

種幡華散莊嚴中置毘盧遮那變地藏

種幡華散莊嚴中置毘盧遮那變地藏

種幡華散莊嚴中置毘盧遮那變地藏



菩薩變，彌勒菩薩變，不空忿怒王變。○惟開西門。○中置釋迦牟尼佛變，執金剛祕密主菩薩變，不空彌索悉地王變，不空大奮怒王變。○惟開北門。○中置不空彌索觀世音菩薩變，世間王如來變，曼殊師利菩薩變，除一切障菩薩變。○下文云，內外雙像一時皆放光明。文若指此文，歟。不審也。

不空彌索心呪王經下云，於壇中畫聖觀自在菩薩形像，其像立在蓮花座中，頂上螺髻紺髮垂下，首上寶冠，畫無量壽佛，其尊者身一切莊具而嚴飾之，形狀白色，如頗伽迦，應作四臂，右邊二手，一持蓮花，一持澡罐，左邊二手持數珠，一施無畏，面貌端嚴，照怡寂靜。文。

上卷云，方畫觀自在菩薩形像，聖面有三目，以髻泥那鹿王皮而覆肩，上尊者四臂，左邊上手執持蓮花，下手執持澡瓶，右邊上手施無畏，下手執數珠。文。此兩文大旨同像，也是聖觀自在菩薩著鹿皮同今大第不空彌索觀音是聖觀音，即不空彌索觀音義也。同經下卷云，復於觀自在菩薩像前，應畫不空彌索觀世音，其形色非赤非白，衣服赤色。○身有四臂，此文聖觀自在前有不空彌索是本身前畫所變像，即本身加持身兩身也，但不限此像，諸觀音皆悉聖觀音別本誓悲願也，故諸觀音皆載本師彌陀，其別德次有觀音名，是皆聖觀音別德故也。此章以彌索爲別德，可

知問經第三卷云，不空彌索觀世音變作大梵天身相，捉羅絛，託觀世音馬頭觀音大明王，播摩目依觀世音十一面觀世音四面大悲觀世音，除八難仙觀世音，俱持不空陀羅尼最勝廣大，大解脫，各現種種妙色身。文。此章既現諸觀音身，是故本身也。何云聖觀音一德乎。答，經意聖觀自在菩薩，說不空彌索神呪王法時，現此身故名不空彌索觀音，是非異身，只聖觀音菩薩一身行相也，但入不空三摩地勝諸觀音故，或以此不空彌索爲諸觀音部主，策諸觀音心念，不空過之悲願，爲此不空彌索本體，故以此章爲諸觀音部主，理諸房云宗大事，祕中祕也。部主不空，奮怒王，此等義能思之。

種子事

口云，**阿**字真言中，**阿**字之**阿**字也，**阿**字此翻不空故，**阿**字空義也。字體**阿**字，我不可得，**阿**字點化生，不可得也。**阿**字吾我入我字門，即無我義，**阿**有異故也。無我即不生，不生也。**阿**字點化生有義，有亦入大空不生畢竟無相也。疏云，空與不空畢竟無相，二共一切相故名大空。文可知。或云，**阿**字我者，人法二執也。人執者，凡夫依人執，無始輪迴，積集無量受執煩惱，不發出離心，是即人執也。大法執者，以四智菩提對四種妄識，妄識既除，法智成就也。故破法執者，成四種佛智，破能執成真智也。

○大師云，迷悟在己，無執而到文，可思之。問，既破能執所執見，能破之體，豈非法執乎。答，遇自身即佛之教，開如實知自心悟之時，人法二執，即爲輪圓具足之輪壇。無執著也。故凡夫著與佛無著相應時，著又佛德也。可知。始覺前後四相流轉也。本覺俱有四相常住也。依之瑜祇經云，觀察自心，壞一切法執著觀，一切法本來清淨。文。不知此理，菩提心論云，或爲無始簡隔，未能證於如來一切智智。**阿**字點瀑流，可得義也。謂諸佛究竟以大悲爲極，住慈悲深重心，流入法界成就下化衆生，願依此點也。寂靜不可得之義也。得涅槃常住之功，德施法爾無漏法水，依此點也。已上。

口云，**阿**字三昧點，**阿**字之兩點，釋甚不審也。可尋之。又或云，**阿**字自他分別義，**阿**字是緣他衆生起無盡大悲義也。云是亦釋**阿**字義，無行點義，此兩義共可尋，相傳義。觀音從無我之中，大我發大悲方便，拔濟受苦衆生，不空過，故號不空彌索。故用化生不可得**阿**字點也。是趣他衆生別德義也。次第云，或**阿**字語，不可得義，是法自在義也。法者**阿**字法，茶羅故也。是故聖觀音號金剛法菩薩。此菩薩智惠門初發，菩提心本也。此菩提心堅固，故稱金剛。今此章用**阿**字爲種子，以蓮花爲三形，偏是聖觀音同體故用之也。此種子三形聖觀音法時口訣了。

問以此兩字爲種子，有說處乎？答：『字眞言中』字也。疏十云：『凡諸眞言中隨取和中後字用爲種子，皆得也。觀察取宗要之字，文依此義，先德取用眞言中『字』歟？但胎圖母字圖本同之，又不同記母字也。』  
 『字』經第二云：『置八葉開敷蓮上，觀置金色蓮花。』○示出觀世音菩薩文同二十云：『觀蓮花。』○臺上觀蓮字門，爲圓明光照有情，如千日會經字門，現不空王觀世音文，成就院抄『字』也。是證菩提義歟？小野一說：『此字也，爲最祕用調伏時，眞言終皆用此字，仍爲種子，殊不空奮怒王種子。』三形獨股印不動獨股印眞言不空奮怒王呪也。

## 三形事

口云：『網索者，此章以三昧耶形爲名，網字アミ也。索字ハナハ也。故此章本誓悲願之網，張煩惱之原野，懸流轉衆生鳥大悲，利生之索，垂生死苦海，鉤沈淪有情魚，濟度無漏，攝取不空，故名不空網索也。』是一義也。又網ハハ也。索ハハ也。其網索四攝大悲之繩也。以此四攝大悲索垂生死苦海，放四智光普轉沈淪衆生，終不放捨至菩提彼岸。大悲本誓也。但索片方付蓮花，片方付三股三股鉤也。以此自性妙法蓮花，嚴下生死大海衆生魚愛著，必一下不空過，故名不空網索也。云云。又云：『四攝大悲之索者，四攝是定門，故譬女，女有鉤召德，即爲敬愛，鉤召一切男也。寶輪云：美女不

招好醜之男，爭逐文。又瑜祇經云：『時四門使者，天女爲欲攝入一切有情至法界宮，故文是三七七尊歸法界，依四攝之功德。』一切有情者，本有金剛界五佛也。是期四攝定門，故有鉤召攝故。鉤召一切衆生，令入法界宮，偏有四攝大悲之德也。瑜祇經云：『時四大菩薩同聲告金剛界如來，我今現此神通，爲欲鉤召一切有情，令入法界，以索引至金剛場，以鎖堅諸藏識，以鈴適悅彼性，令快樂故。』文

問：『不動所持網索，與今此網索有差別乎？如何？』答：『今不空網索觀音與不動之一體也。經八云：『不空奮怒王一面四臂面目，顯怒首戴月冠，冠有化佛，一手把劍，一手執三叉戟，一手執蓮花，半跏趺坐，頂上阿彌陀佛，作說法相，結跏坐。』但是一面四臂也。一面二臂，經說九與二十五三面四臂說五十三二十二十二，是不空奮怒王者，不動明王也。仍以二童子爲眷屬。陀羅尼集經云：『不空網索聚羯羅，一切作事悉皆成辦。於夜叉童子之形，顯而怒目，髮赤黃色，向上尊，猶如火焰。』○用供養○應不空網索王，現百八遍時，聚羯羅則來現前。○又應作不空網索制攝迦像，作童子形，歡喜相貌，頭上五髮，一切嚴具，以爲莊嚴。○網索現一千八遍，則得成就，制攝迦像亦當現身，則得自在。』  
 共不空網索一體也。

傳受集三云：『不空聖者云：』  
 託見經云：『不空聖者云：』

實仁云：『不空奮怒王，藤原氏人尤奉崇，行者殊勝，餘人彼惡形，即入不動三摩地也。行人罵詈謗，邪見輩，調伏，色身此不空網索，教令輪也。於此事者，雖入室不可傳。』  
 兩人上，又仁王經法本尊不動種子，不空奮怒王眞言用不動獨股印，爲最祕事。云金寶鈔云：『言不動獨股印，是究竟祕事也。』云此不空奮怒王者，不空網索教令輪身也。即不空網索入不動三摩地，降伏邪見，放逸衆生形也。身色青黑，如不動明王，靈驗殊勝也。故不空網索與不動明王一體，故以網索爲三形，疏釋不動網索云：『以網索者，承如來忿怒之命，盡欲殺害一切衆生也。網索是菩提心中四攝方便文。今此章網索四攝大悲方便也。凡觀音源是聖觀音也。一切如來大悲，皆集一體。觀世音故，從諸佛淨妙法身智出方便門。大悲大悲，皆悉集一體，號聖觀音也。大悲方便故，亦委化現別體，其別別本誓皆兼其總德，故彼網索雖表其一德，實兼衆德。觀音別體本誓總別名德也。觀音大悲本誓者，以濟度衆生爲本，其大悲方便利益，併有此章網索也。此索片方付鉤針，鉤衆生魚，致菩提岸，是四攝方便也。鉤與索是鉤索也。衆生魚吞鉤即鎖也。致菩提彼岸，歡喜鈴義也。此章密號即引金剛者，顯網索德於一切衆生引平等利益義也。表其本誓堅固稱金剛也。此章偏以四攝爲本，花嚴經云：『觀音所見此意一切吉祥。』

鈎召引入義也文

問千手所持網索與今此章網索有淺深乎答不可有淺深千手經述祕人師傳云云網索者擲取禽獸繫縛難伏者具也降伏惡魔忿怒諸尊皆持此索此菩提亦復如是為摧伏繫諸惡獸邪鬼惡魔遠拒難伏者執持此索如是人間密提人若有違拒難伏者即以網索縛提菩提以秘密索降伏一切結護之義也文是難降降伏義內德是一也彼千手四十手一一三昧耶隨行者所求表其一德傍攝衆德千手網索是亦四攝大悲方便也千手執攝印明即用此章根本印明深意在斯此事根本印時可口訣也

口云或龍索也是諸師傳亦不同記同之或云網索者慈悲索也龍索者定門義也云大第云或蓮花云是以其字為種子以蓮花為三形也此種子三形聖觀音法時口決了但此蓮花開敷蓮花也其故聖觀音表衆生本有未敷蓮花此尊聖觀音所變故表果位開蓮花始覺義也故此尊以八葉印為祕印可知成就院平政等同為三形也或五股是小野僧正并廣澤等同用之也或白拂是賢覺傳也

道場觀事

經第八云當中畫七寶補陀落山其山腰象須彌山盤山嶺九寶所若蓮花當中央狀如蓮花臺山上畫諸寶樹花葉一切樂草山下大海水中魚獸水鳥之類當中央

上七寶宮殿種種莊嚴其宮殿地衆寶所成殿中置寶蓮花師子座其上中空網索

口云諸師依此文道場觀時第八海南方有寶字成七寶補陀落山○殿中置寶蓮花師子座其上有寶字云今樓閣中有八葉大蓮花蓋者略之也

通身肉色事

口云肉色者白赤和合色也即白色金界赤色胎界義也故表理智不二色此尊理智一體故也

三面四臂事

口云三面三部義是胎界也四臂四種法是金界義也即兩部備一身表不二也念珠降伏亦息災寶瓶增益蓮花敬愛網索能利益五道衆生念珠亦○慧義是大圓鏡智也度愚癡畜生如意輪喻之第三持念珠為度傍生苦文是其證文也次寶瓶平等性智也救救令輪以車持為名盛甘露水度餓鬼飢饉苦次蓮花妙觀察智也度諸貪染人諸苦索成所作智也度地獄苦此四攝大悲極以度無間過羅以下為能下窮無間度苦衆生不空過故以網索表不空成就也今以天道攝人道以修羅道攝鬼道又攝天道也此所持三昧耶形千手如意輪法等委細口訣之故略之可准知之

三面四臂像事

經二十一云不空王觀世音○三面四臂結跏坐正中面眉間一目三面目慈悲

結跏坐正中面眉間一目三面目慈悲

持願索一手執開蓮花右一手把三股金剛杵一手伸施無畏○坐寶蓮花師子之座身佩光焰文

攝無礙經云不空網索觀音頂上五髻冠安住化身佛具三面九眼正面白肉色微

咲慈悲相左右大青色顯怒降魔相身被

妙王緊鹿皮袈裟百福莊嚴寶身四臂兩

足體左定開蓮花理持網索或執持數珠

右惠說法身或持金剛鎖右慧執錘持妙

法琉璃光經千葉蓮花顯跌右押左文

藏記云不空網索菩薩白肉色面上三目并三面左右二面大青色著鹿皮裙有四手左手執開敷蓮花次一手網索右一手說法之相次一手取錘持瓶文

口云此等文今次第四臂持物皆相違大師御筆高維曼茶羅圖像如次第持物三

面如祕藏記右山并小野傳受集等亦廣

澤流明經多分用之也是師傳也問不用經說相何諸師依高維圖像乎

答不知深意但御請來錄兩部曼茶羅圖

像處云經疏祕略載之圖像祕藏之要實

繫于茲傳法受法棄此而誰矣海會眾源

斯乃當之也文

縱雖無本說於圖像更不可疑諸師依圖

像用之尤有其故歟凡不限此等不依經

軌說依曼茶羅圖像用道場觀者准知之

軌說依曼茶羅圖像用道場觀者准知之

軌說依曼茶羅圖像用道場觀者准知之

軌說依曼茶羅圖像用道場觀者准知之

軌說依曼茶羅圖像用道場觀者准知之

軌說依曼茶羅圖像用道場觀者准知之

軌說依曼茶羅圖像用道場觀者准知之

軌說依曼茶羅圖像用道場觀者准知之

鹿皮袈裟事

攝無礙經云身被鹿皮袈裟文不空羼索神呪心經云翳泥耶皮被左肩上文不空羼索心呪王經上云以翳泥耶鹿王皮而覆肩上文

私云鹿皮爲袈裟文證也律中於無布國用皮三衣也是因位苦行時用鹿皮袈裟歟

祕藏記云舊鹿皮裙文

私云此非袈裟十卷鈔中國兩條八臂像以鹿皮被左肩如上袈裟四臂像卷腰似裙也

不空羼索陀羅尼經云身被黑鹿皮文三十卷經一云被鹿皮衣文同八云被鹿皮衣文同二十一云被鹿皮衣文

私云此等文只衣服義歟口云以鹿皮爲袈裟事苦行委因位形天竺法也此尊昔苦行仙修苦薩行表彼委懸鹿皮袈裟也律於寒國以彼用袈裟云

又仙人大旨卷屢然者可爲袈裟或云鹿皮苦行之相觀昔大悲之衣也鹿毛班而心無班即六道異生類如鹿皮班觀音一子之慈悲鹿一心如無班故著之於六道

異類班衆生一子慈悲無偏頗利益平等表示也報恩院僧正云以鹿皮爲袈裟有淺深淺深義者此善薩因位帶盲目

毘下居於山中者鹿裘朝霞拾峯暮夕風酌谷水致孝而問獵師入彼山見鹿皮設

實鹿不慮射之諸天感至孝令彼蘇生并

開母眼依此因緣今又著鹿皮袈裟也顯因中大深祕義衆歡中念子切無過處此并又悲感衆生勝餘善處故爲表彼義鹿皮也

坐赤蓮花事

口云依衆生白淨信心樂觀音慈悲赤色行者本尊不二義也

蓮花部諸尊乃至無量佛衆前蓮花部諸尊乃至無量佛衆前

後園繞事

經八云不空王像三昧耶當以白麝或細布上或複絹上方圓四肘或八肘畫匠畫

○股中置寶蓮花師子座其上不空羼索○右多羅菩薩○後毘俱胝觀世音○後大白身觀世音後度底使者○不空羼索

左無垢慧菩薩○後眞言者○後不空羼索羅刹女使者○不空羼索下左置大頂金剛○後阿室理眞言明仙慈理眞言明

仙僊羅縫眞言明仙各手執花于荷葉上長跪而坐瞻仰供養○其諸菩薩願觀照怡○種種莊飾其宮殿外山

左臂上置帝釋天俱摩羅天鑿婆天毘摩夜天地天神苗稼天神半跏坐宮殿外

山右臂上置大梵天功德天辯才天水天焰摩半跏坐其上半腰左右置四天王○

宮殿外上左右置苦行仙衆形體枯瘦作

讚歎相宮殿外右上置日天子後淨居天伊首羅天子持花供養宮殿外左上置月天子後摩醯首羅天子諸天子持花供養其諸天仙花鬘衣服寶珠璣瑠種種莊嚴宮殿外直上置阿彌陀佛釋迦牟尼佛世間王如來○其大海岸作七寶山山上種種寶樹花果其諸樹上有種種色藤花葉山間亦有池河澗水中具有蓮花拘勿頭花芬陀利○優鉢羅花山上亦有師子白象一切鳥獸宮殿茶鬼藥叉羅刹等繞其山脚有五寶殿竊上下海中左右五小七寶山駕於五寶上各置龍王狀如天神頭上出蛇龍頭一蛇頭一三蛇頭一五蛇頭一七蛇頭一九蛇頭各持寶花半跏坐瞻仰供養四圍小山種種莊嚴此像斯補陀洛山寶宮殿會不空羼索觀世音也此尊昔被鹿皮爲苦行仙故今亦以仙衆爲眷屬也云

白寶口抄 不空翻索法中

根本印事

千手軌云：二手蓮花合掌，進力禪智金剛。右手禪度入左手虎口中，真言曰：如次口云：今根本印真言出千手軌，是四攝中索印明也。名不空翻索菩薩印，呢彼儀軌不用普通四攝印，以四觀音印明爲第一，但真言終用菩薩印。今次第真言終索字不用之，彼軌有索字二字，諸觀音中不空翻索觀音以翻索爲名，亦爲三昧耶形，故以不空翻索爲索菩薩也。翻索者千手四十臂中，一手三昧耶形，彼一三形，正難表其一德，兼其衆德，此翻索四攝大悲方便也。彼以千手軌四攝印明用此尊深意，其德同一體也，故依彼儀軌習傳此法也。

心覺云：先達多云：金智廣智等譯中無此觀音法，故以彼軌所出印明爲規模，也不動翻索金剛索也。故索末付杵持之，不動獨股印是根本印明也。二風獨股金剛杵形餘指內縛四攝索是金剛索義也。此尊忿怒身故也。今此印表示蓮花索印，也是當尊所持索是也。索末有蓮花，是妙法蓮花般若也。二手蓮花合掌，二大風端相合作，環是索形也。火以下六指印母蓮花合掌形也。兩印不同可思之。

問：此印言當尊經軌說之乎？答：不說之。

千手軌中四攝索印言也。但如意輪或經云：蓮花合掌，進力禪智金剛拳縛，禪入虎口真言。

唯阿慕伽毗盧遮那佛，乾利入娑婆阿云：是真言，雖別印如千手軌，天台勝範座主傳密印云：石山內供云：根本印云：成就院鈔根本印出千手軌云：西院大第云：今此印真言雖出千手軌，惠果傳中用此印言，仍爲規模，遍照寺軌傳也云：又彼流印義，蓮花合掌，二風二空，各以外縛彼禪度，以智虎口，入貞觀寺相傳云：彼流貞觀寺僧正真雅，以大師御傳授，接爲規模，真記是也。依此等意，惠果授大師大師授真雅，其後師資相承，以此印明爲當本表示。本有自性蓮花也。四指外縛表慈悲，素右頭指精進，是功德本源也。同空指禪度，蓮花三昧耶也。左頭指力度，是神通力義也。同空指智度，淨妙法身智也。此四簡法門，彼三摩地也。以翻索相顯本誓印也。凡蓮花三昧觀音印，總表慈悲翻索此尊本誓也。謂順達衆生，引入平等，於弘誓大海中，令拔苦與樂事，暫不空故，稱不空翻索。今此印相表彼功德也。又禪度入虎口者，弘誓海引入方便時，以大悲智爲先，禪是隱德也。故隱禪度以爲內德也。抑虎口者，大國有虎，常食人故，免大難云。免虎口也，以智力方便，令摧伏物，如彼食虎，智與力間，寄世情儀，名虎口也。此尊智力其

德全相似，謂引左道邪類入正道佛法，鎮彼惡心，歸佛法故，以禪度入虎口。索是引義也。禪即鎮義也。師傳云：習蓮花索印時，右大指不入智虎口，左右二大風端相合作，環也。兼意云：進力禪智如索云：雖然禪度入智虎口，是藏金剛界三昧耶會，金剛索菩薩印，外縛禪故也。索菩薩印，縛此會諸尊大旨外縛故也。索菩薩印，禪入虎口爲本也。二大風作環是似鎖菩薩印，三昧耶會鎖菩薩印，外縛二大風四交如環云：是兼意等義，鎖菩薩印也。仍非規模也。或云：蓮花合掌，進力禪智金剛縛，右禪度，入左虎口云：二地二水指是與本有，不二之月輪也。二火上理智精起修生義也。二風自行化他圓滿義也。禪度入智虎口，以觀音大悲利生，入三界火宅利衆生義也。又云：實如蓮體本樂義，是則生佛不二理智一體義也。是即不二法性智，自性清淨體也。一切衆生著諸欲，無開自性覺德故，以觀音大悲三昧入衆生食樂之泥中，衆生妄念，即表諸佛大悲也。是蓮花合掌，即四指縛，偏表示此義也。口云：真言無句義，千手軌終有索字二字，次索字四攝時，索種子也。故今除終義，以朱書入之，爲顯儀軌意也。仍朱付處。○可誦之云：

又印真言事

口云：印根本印真言三十卷，不空翻索經第二說也。名祕密小心真言，或傳略大呪。

根本印用秘密小心真言也師傳此義吉也云

經第二云以大悲心讀誦受持此秘密心真言百八遍者是入則為十方殘伽沙俱胎那東多百千微塵世界所有一切如來應正等覺一切諸狀而攝受之于千劫來積集惡業一切重罪皆盡散壞一切怨讐惡相煩惱亦消滅速得觀世音菩薩少覺現身當與諸願文

又印

口云八葉印陀羅尼集經出二十二種印中云蓮花印二腕相著十種散堅小曲向上如蓮花開咲曰虎呲合是名蓮花印千光王所說所願滿足從自身出云是其證據也但十種散者以十指作八葉故也非云十葉蓮花是八葉也依之張什云集經印言可用之云或傳云八葉印用秘密心真言也八葉蓮花者本尊一手所持三昧耶也先羅索一手所持也故共用三昧形亦用本尊印也此尊名不空羅索觀音觀蓮花也故以此二種為名凡觀音者以聖觀音為本其故聖觀音因義持未敬蓮花表在經義祕藏記云凡夫心如合蓮花聖人心似開蓮花文知聖觀音本體故是有義不空羅索未用故修生義故用開蓮花聖觀音說不空羅索神現時現此身故不空羅索觀音也觀音因也是本有義經云不空金剛界文又西方四親近菩薩種子東方觀音真字也觀自

在菩薩種子用真字即本有義也故未敬蓮花即表一切衆生本有大日大佛御請來金剛界大日結未敬蓮花印普通金界大日修生顯得果體故不存本有在經義真字即轉不可得字也此字有理性義真字是也此真字胎藏種子顯化他大悲漫茶羅是也有合蓮花為大悲開敷時胎藏八葉蓮花也故聖觀音合蓮花金界自證大日不空羅索觀音開蓮花胎藏二他大日也但於此尊有本有修生合開二義根本印蓮花合掌是表本有合蓮四指作索即衆生生死繫縛在纏義也是本有印也今八葉印表修生果德也故此二印即兩部理智義門也又根本印有因果二位二地二水二火六指蓮合本有義四指作索修生大悲義故表理智不二八葉印亦花胎藏蓋蓋寶金界義也祕鍵云觀蓮知自淨見覺心德文是於一花顯理智二法故用果不二理智一體印也依有此等深義用八葉印天第法云八葉印是師傳也云真言出不空羅索陀羅尼自在王呪經上卷被經云南謨囉吽那但囉夜耶南謨阿利耶阿囉哆囉耶但囉多耶南謨阿利耶跋盧吉帝失後囉囉耶若提薩埵轉耶摩訶薩埵耶摩訶迦囉尼迦耶但跌他唵阿囉鉢鉢囉底囉咤咤咤咤耶婆婆訶如是所說不空陀羅尼自在王呪即是一切秘密神呪之主若有人能誦此神呪成就就之者即能通達一切神呪但是

說法所有事業皆得圓滿文又云法若成就者福不唐捐能令無量無邊諸衆生界一切業障悉皆淨能集無量福德資糧增長善根方便善巧通達無量智惠境界六波羅蜜多皆得圓滿復能證得無上菩提文又云若有常誦此神呪者三業惡障皆悉消滅若誦一遍所須飲食臥具湯藥衣服什物無所乏少安樂長壽自在在不空羅索陀羅尼經云一切明呪不自在在陀羅尼密一切明呪不自在在王陀羅尼受持此呪則成誦一切明呪及悉能作一切事業文真言前寶思惟譯經全同也但今李無諱譯經現梵漢相並觀右兩經共不說印是陀羅尼功能其深故加用此真言也但今除歸命句用唯以下故宋付云誦此小呪許不用大呪云此意也常喜院集云梵本有勝語集云小野傳云此語大師所傳不空羅索心真言云類聚鈔云有云以此呪名決定成就真言云有傳云此呪者蓮花部蘇悉地王呪也即自在王呪也故經文成就一切云蘇悉地王者瑜祇經疏雖有其名而不出真言今呪此也師說云難成之事祈請不空羅索者必得成就云不空故也如云○心念不空過說此呪者是根本明也之以之宛念誦滿遍數除歸命句用之印者于手軌中印是為根本印即以此印為自在王呪印云私云此呪用蓮花合掌見自在王經可

見類聚抄也。金寶鈔云。用蓮花合掌云。已上印言師傳也。此外本經等印言多之也。其中少少與載之云。

又印大獨股印事

口云。野決云。直本尊之印明不習候歟。云。此不空誓怒王者。是即不空獨索觀音入不動三摩地降伏邪見放逸類形也。其體青黑如不動明王。是不空獨索教令輪也。故野決云。直本尊之印明也。傳受集三云。不空聖者云。底哩經云。不空聖者云。實任云。不空誓怒王。羅氏人尤奉崇行者。殊餘人勝云。彼怒形即入不動三摩地也。行人罵言誹謗。邪見輩調伏色身。此不空獨索教令輪也。於此等事者。雖入室。兩人不可傳云。

口云。用不動獨股印是最秘事也。此尊忿怒教令輪故。此獨股印即習金剛索印。二風立合獨設金剛杵也。餘指內縛索義。也不動所持獨索。未付金剛杵。是忿怒教令輪。四攝方便。獨索也不動一體。故用此獨股印。印口訣。不動法時沙汰之云。真言出三十卷經第四同二十二卷小說大呪出之。

隨作事業成就呪事

口云。注云。此真言無印云。此真言出不空獨索自在王呪經上卷不說印。仍不用本意。加持護摩時。加持物用之。自在王呪經上云。作蓮印。禁出入息。默然而住。文又云。作蓮花印。安心合掌。敬禮諸佛菩薩。

文。獨索陀羅尼經云。持呪之人。作蓮花印。當心合掌。禮拜一切諸佛菩薩。文。類聚鈔云。此等文蓮花合掌。歟。就中見兩譯經。共有十種。呪而第一。出說蓮花印。餘九種。無印。仍可通用蓮花印。歟。事成就明是第十呪云。金寶鈔云。蓮花合掌用之云。覺禪鈔云。八葉印。祕云。或云。蓮花印有二種。一定印是也。二風空捺各如半蓮。相又結定。定印者。蓮花部佛定印也。故蓮花方佛獨摩印。故云。蓮花印。歟。一常蓮花合掌也云。妙抄云。師主口傳云。今此呪用不可獨股印。云。祕說。此法。衆物以此印呪。不可加持之云。金寶鈔云。成就明用不動獨股印。祕說也。衆物被印。呪加持云。

口云。若加誦本尊加持可用大獨股印。或根本印也。此真言名決定成就。又名隨作事成就。明自在王呪經云。隨作何事。若誦此呪。悉皆成就。文。

別印言事  
聖賢傳云。瓶印。與。又虛心合。屈二頭。指押二頭。後。似佛眼印。用小心真言。又云。內縛二頭。堅小印。真心真用之。口云。瓶印者。塔印也。此印。明有聖觀音法。次印。地水火三指內。證三轉也。二風著二火。後不捨本有。趣修生。善也。二大著二大。中。簡本有日月。即表修生。色心也。小心真言。次第第二呪也。次印。大印。大旨。如大獨股印也。真言。次第第三呪也。

散念誦事

問。今此法不用本師阿彌陀條如何。答。

無定。量。可用之也。

問。本尊真言云。次第所載五種真言。共可誦之。歟。如何。答。野決云。大呪小呪。隨作成就。明歟云。小呪者。經第二真言也。

問。裏付云。準。祇真言不可滿之云。其意如何。答。除準。祇事。爲六觀音。內故也。今

入不空獨索。爲六觀音。故除準。祇也。

問。不空誓怒王真言。本尊加持印。明用之。故本尊真言。次不加之。如意輪大誦之。其

意如何。答。不空誓怒王。明王。故菩薩。次

用之也。

口云。伴。僧。御。加持。呪。小呪也。功能。殊。甚。深。

故也。經文。有。載。之。可知。

迎請。蓮花部。心也。

結果。馬頭也。

字。輪。觀。五大也。

護摩事

口云。息災。修之云。其時。部主。如。次第。或

爲。滅。罪。因。之。或。調。伏。部主。不。空。誓。怒。王。種

子。三。形。獨。股。尊。形。二。臂。或。四。臂。如。不。動

明王。印。獨。股。印。真言。如。次第。加。持。衆。物。皆

用。此。誓。怒。王。呪。也。或。爲。勝。他。修。之。薩。氏。長

者。攝。祿。臣。修。之。或。敬。愛。部主。主。手。也。付。此

尊。有。唯。護。摩。云。事。只。常。不。空。獨。索。法。也。

是。南。都。興。福。寺。唯。護。會。之。時。攝。政。家。ウチ

ハ。僧。修。之。東。寺。天。台。何。行。之。也。無。別。事

云。

先部主段 息災

正觀音

自加持 心印言 如常

召請 如自加持印言 以右大指三指加

供物 同真言 加息災句

撥遣 準召請 以右大指三

口傳云部主段依法改之者可准例也

本尊段

自加持 印真言

根本印 秘密小心呪

召請 如自加持 加召請句四指明

供物 同真言 加息災句

加持物 隨作事成就呪 加句同上

撥遣 準召請

諸尊段 三十七尊

世天段 如常

息災文

三卷經中云若有狂橫及諸災厄或星現

惡相若王難關靜飢饉之事應以牛乳和

鹽呪之一遍一燒如是誦呪或一日或三

日一切惡事即自銷滅文玄奘經云欲護

國宅便無災厄應取蓮花一百八枚各呪

一遍投火壇內 白蓮花經云一百八枚蓮花

供養賢聖災厄並息國宅安穩文又云有

國王王都災難起時應結道場觀

瓶中置花水以新淨草數布其誦呪者

香湯沐浴者新衣坐鮮潔座 食三七日

離身正念誦此呪心主若至誠難便息諸

有疾妖出宗等處呪瓶中水灑處及身一

切災患皆中悉除滅文

滅罪文

經二云以大悲心讀此秘密心真言百八

遍者是入則爲十千如來應正等覺一時

讚歎而攝受之於十方如來積集惡業一切

重罪皆盡散壞文同三云遠五逆一切賢

聖棄捨墮阿鼻獄○能生怖心悔業罪得

見聞此經典從師七日受持者○無問報

於須臾間盡消文又云以大悲心持結之

者當今十方一切佛刹宮殿門開六種震

動其三十三天一切宮殿門開觀世音歡

喜觀視放光照觸令得清淨滅五無間罪

○後生十方淨刹同十六大地獄門超惡

趣得大解脫文同二十七云稻穀胡麻白

芥子蓮荷莖葉蘇蜜酪加持護摩一千八

遍○滅十惡五逆一切重罪文同二十二

云白月十五日晝夜不食不語○取蓮花

牛蘇梗米每日三時護摩七日縱造五逆

無間重罪雖未懺悔亦得成就文玄奘經

云若常念誦此神呪心四重五逆諸法等

障成得除滅文

調伏文

十九云加持護獨木苦練木葉鹽稻糠護

摩○則除滅一切怨讐文又云紫檀木苦

練木長一握手破殺燒火加持稻穀烏麻

白芥子鹽蘇酪以種捺奮怒王真言護摩

○則除滅一切毗那夜迦鬼神怨難賊

千幾文八云若有國土刀兵號起驚亂不

秘密真言滿七日夜或三日或五七日刀

兵自放略抄

私云母陀羅者出經第二并儀軌下甚

廣故不載之

勝他文

又云若有有情爲勝他心嫉妬詬誶或爲

恐怖賤利輕毀依他之心誹謗聽聞此陀

羅尼真言三摩耶者皆獲勝利文玄奘經

同之

或云此勝利故薩氏以之爲本尊其氏

繁昌即依此勝利也云

敬愛文

經七云若含是樂經於王宮國王后妃見

皆歡喜文自在王經上云誦不空罰案神

呪王一百八遍○常爲國王大臣婆羅門

居士等之所敬重一切之愛樂文

私云八并十九文略之如是文繁多也

仍略之

玄奘經云若有善男善女人○白月八日

志八月十四日受持齋戒專心誦大神呪

乃至七返不雜異語○現世得二十勝利

云何二十一者身無衆病安穩快樂二者

由先業力雖有衆病速除愈三者身體細

軟皮膚光澤面目鮮明四者衆人愛敬五

者密護諸根六者多獲財七者所得財寶

王財水火不能侵損八者所作事業皆善

成辨九者所有種植不畏惡龍霜雹風雨

十者有稼穡災橫所侵以此呪心呪灰水

經七遍也於其田八方上下散灑災橫即



除滅十一者不爲一切暴惡鬼神羅刹等  
及奪精氣十二者一切有情見聞歡喜愛  
樂尊重常無厭足十三者常不怖畏一切  
怨讐速自消滅十五者人非人等不能侵  
害十六者厭魅呪詛過道不著流注不爲世間  
惡鬼所害十七者煩惱源垢不現行十八者  
刀毒水火不能傷害十九者諸天善神常  
隨衛護二十者生不生離慈悲喜捨彼得  
如是二十勝利復獲白法何等爲八一者  
臨命終時見親白在善處作苾芻像來現  
其前歡喜慰喻二者安穩命終無諸苦痛  
三者將捨命時眼不及覿口無欠味乎經  
紛擾足離舒挽不泄便穢無顛墜床四者  
將捨命時住正憶念意無亂想五者當命  
終時不覆而死六者將捨命已得隨願往  
生諸佛淨國八者常與善友不相捨離文

私云三十卷經第一文二十勝利臨終  
八法大略同此文故略之

經十三云若人早時有龍湫汗執杖誦轉  
遍心印真言稱龍旋枝龍降大雨云經  
二十九有祈雨品見之

止雨事  
玄奘經云若遇惡風暴雨災電現清淨水  
白雲云經二十一遍散灑四方或呪羯羅  
木支經云二十一遍口仍誦呪向四方  
搗風等便止文經十三云若災風暴雨雷  
電霹靂散起者高峰迴旋把杖慈觀風  
雨雷震起處發大慈聲誦轉遍心印真言

旋枝撥之九方周圍十餘勝則皆止之文  
又云若霖雨者高山峰上仰天樓上高大  
慈聲誦轉遍心印真言旋枝撥之其雨則  
止文

除癰病  
經十三云若患癰病者執杖拂身瘰癧鬼  
走即得除差文又云諸患寒熱及癰病者  
應呪結縛白經云二十一遍繫頭或臂文二  
十六云若患那羅延天神瘧者或患一切  
可畏天神瘧風瘧疾瘧瘧寒熱之瘧一日  
一發二日一發三日一發四日一發并諸  
神鬼頭癰之病皆淨洗浴燒香熏之加持  
病者皆得除差文

除頭風  
經十一云黃牛若和胡麻油塗頭之風病速  
速除差文

除眼病  
經云流注若患眼疾眞言白線索用繫耳  
瑞又眞言竹漈甘草白檀香水每日晨朝  
午時夜時流眼或眞言羅者水日日洗之  
即得差一切無音義云流注  
者免皮脫等是也

除耳鼻病  
又云若患耳疼耳鳴熱風眞言生烏麻油  
或醍醐數灑耳中不久除差文經云諸患  
耳鼻應呪煎油二十一遍滴耳鼻中即得  
除愈文

除齒病  
又云諸有牙齒患疼痛者應呪羯羅鼻羅  
木二十一遍已而嚼拊之即得除愈文

除腹痛  
又云諸患腹痛應呪醴水與之令服即除  
愈文七云牛黃品若患瘰癧瘰癧瘰癧  
中病者授水和藥與令飲服則得除愈文

除癰病  
十三云轉遍心印眞言○療治一切癰病  
疥癬病瘰癧腹痛六根等病文

脫禁閉  
七牛黃云若人寂靜枷鎖禁閉藥塗獄門  
并塗枷鎖文

得懷妊  
又云牛黃若半茶婦人藥和酥服則得胎  
藏文

生男子  
玄奘經云藥陀諸婦人求生男者呪此藥  
丸一百八遍繫其身上藥云藥或和水浴  
便得生男文

信謗共有益事  
又云若有衆生爲勝他故○或怖惡獸故  
怖厄難故○或求高貴多財寶故聽聞神  
呪經雖復聽聞不恭敬或後誹謗輕毀  
覺智者應知非其自力是觀自在威神力  
故令彼耳聞爲令彼得現在未來利益事  
故世尊譬如有人探沈取麁或復拊檀龍  
惱香等種種誹謗輕賤毀贊而復拊檀龍  
身體然沈溺等不作是念彼陵蔑我與其  
香而性自然恒作香事此神呪心亦復如  
是雖有誹謗輕賤毀贊或如上說以誹謗  
心書寫受持恭敬供養亦作彼善根因緣

令彼當來隨所生處具戒定慧功德妙香亦能爲他作斯香事故此神呪威德難思信謗俱作饒益事文

白寶口抄 不空絹索法下

異形事

一面二臂

經二云聖者觀世音摩訶薩真金色身顏貌熙怡左手當胸執金蓮花右手持珠結跏趺坐一切莊嚴身放種種奇特光明文

一面四臂

不空絹索陀羅尼經云觀自在菩薩形像作髻髮色如蓮花藏面上三眼○左上一手執持蓮花左下一手執持藻繡右上一手執持數珠左上一手垂向下作施無畏蓮花上○作歡喜而其頂持阿彌陀佛文又云作觀自在戴天冠頭上作阿彌陀佛作水精色菩薩四臂左上一手執蓮花瓶左下手施無畏手右上手把數珠右下手作施無畏○蓮花上立文經八云一面四臂面目熙怡冠有化佛一手執蓮花一手持網索一手執三叉戟一手揚掌結跏趺鹿皮衣文十五云一面三目熙怡微笑身有四臂左一手執蓮花右一手把網索二手合掌寶冠有化佛坐花座上曲躬瞻仰文又云一面四臂著天衣狀大梵天面有三目首戴寶冠有化佛一手把蓮花一把三叉戟一手把網索一手施畏結跏趺坐

經八曼荼羅處像并經二十五第三十像同之仍略之云

十六云一面三目身有四臂一手執三叉戟一手持網索一手執蓮花一手掌如意寶珠結跏趺坐戴寶冠冠有化佛文

一面四臂像儀軌等有之仍略之云

一面八臂

不空絹索神呪心經云玄昇復畫作觀自在菩薩似大自在天頂有蓋髮首被花冠翳泥邪皮唐云被肩上一自餘身分環珞鑲釧而爲莊嚴文經一云不空絹索觀世音菩薩如大自在天首戴寶珠鑲釧阿彌陀佛披鹿皮衣七寶衣腕珠鑲釧種種莊嚴執持器械文同之仍略之云類祕抄問云此像不說手數是何臂乎答慶助已講說似大自在天而彼天三目八臂也故可有八臂歟此義優也已上十卷鈔云但三本經如三俱言三目八臂不說八臂持物依何可盡乎爰尋往古像可爲證本普長岳右丞相被造大師以是爲本意修行不空絹索法靈驗揭揭焉藤氏于今仰崇彼堂故付彼本可書也三目八臂冠中有立化佛於眉間白毫上堅有一目左右二手合掌當胸左次手持蓮花次手於膝上持網索第四手作與願印右手持錫杖第三手於腳上持白佛第四手作與願印垂諸印掌左右相對作同印不持物二足以左安右上不著袈裟又東大寺絹索院古京龍蓋寺金堂皆有三目八臂丈六不空絹索金色立像與南圖

堂本八臂持物頗有不同。又鎮西觀世音寺安丈六觀音像三體謂如意輪爲中央。其西方立不空觀音丈六像。頭上有十一面身具八臂。持物以南圓堂像爲本尊。者依玄奘不空所譯經可修行也。其行法儀式具載經文。用沈水香云。

口云南圓堂不空觀音一面三目八臂也。左右第一蓮花合掌當胸。左第二蓮花。第三觀音。第四與願。右第二錫杖。第三白拂。第四與願也。第四左右相向作印云。惠持云彼像作樣未見本說云。興福寺緣起云安置不空觀音像并四天王像也。長岡右大臣內膳島。殊發大願所奉造也。後開院贈太政臣以弘仁四年造立圓堂所安置尊像也云。南圓堂八角弘仁記云長二丈二尺一寸。廣二丈九尺二寸云。

口云興福寺南圓堂鎮壇弘法大師以大佛頂法合鎮之給築壇時長七尺許。老翁交入夫中築之其歌云補陀洛之南之岸庵師。天北幸池之藤波於本尊者非御造作伴本尊長岡右大臣內丸造立也。其子冬嗣大臣與弘法大師共造南圓堂。奉渡伴本尊於南圓堂本有山路寺以大師爲供養導師此供養日源氏公卿七人死。是弘法大師御加持故也。其後藤氏彌繁昌也。

經八云補陀洛山○其大海岸作七寶山上種種寶樹花果其諸樹上有種種色

藤枝花葉文同十五云補陀洛山○上蓋諸寶樹花樹藤枝花葉文藤氏人崇此尊。尤有由緒也。春日大明神者四所也。一御殿武雷權命是常陸國鹿島也。本地不空觀音觀音爲藤氏氏神。護護彼子葉孫枝。自鹿島乘鹿影向故以鹿爲眷屬是即本地因位。苦行時被鹿皮彼表示也。

抑南圓堂安置不空觀音由緒者西域記云南印度有小國名摩訶訶尼其土俗有恩必報有怨必報。昔國荒廢君臣不保護。人民已損遣使請中天竺尸利蜜多欲救國災。蜜來至此國皇言有大聖不空觀音。觀自在。在大王方造像安置城西南閣。受教已即造像安置城西南閣。俱放光明。照一由旬。王臣保壽五穀豐饒。人民於餘國慙盛其像有城南云。今南圓堂叶此意歟。

口云南圓堂不空觀音頂上佛比丘形也。付此有異說。阿彌陀如來昔彌提嵐國主無上念王。於世自在王佛所發心出家。號法藏比丘。是阿彌陀佛因位也。理趣釋云此佛名無量壽。若於淨妙國土現成佛身住難染五濁世界。爲觀自在菩薩文是娑婆世界施無畏者故。故因位。是法藏比丘也。於淨土可戴果佛也。其故以因位爲本。有內證故。因位所住難染世界。即東土胎藏界土。淨妙土。即西方金剛界土地。故九界依正胎藏一漫荼羅也。又義比丘形者地藏菩薩也。心覺云大日變成彌勒勒變成不空觀音。亦大日變成地藏。地藏

變成不空觀音。此義不空觀音經第十五般上神變解脫壇所見云。是地藏菩薩本身故戴之也。又云法藏比丘即地藏菩薩也。觀佛三昧經云六道能化地藏菩薩法藏因位。字所變云。故法藏因位地藏。地藏即字所變。字即觀音字字體也。但西院流法藏因位。字所變者觀音字。因也。非地藏菩薩也。云。或云件頂上比丘形迦葉佛也。山僧三河律師勘文也。或云但南圓堂修理時改此比丘形安佛形也。法性寺禪定殿下仰也云。

## 一面十八臂

經八云是不空王像三昧耶當以白氈或細布上或復絹上方圓四肘或八肘畫匠時一出浴以香塗身著淨衣服食三白食寂然斷諸受八齋戒。並彩色皆令淨好勿用皮膠調和彩色。當畫中畫七寶補陀洛山其山腰像須彌山腰山嶺九寶猶若蓮花。當中莖狀如蓮花臺山上畫諸寶樹花果。一箇草。山下大海水中魚獸水鳥之類。當中央上七寶宮殿種種莊飾。宮殿地案所成殿中置寶蓮花師子座。其上是不空觀音一面三目一十八臂身金色結跏趺坐。面貌熙怡。首戴寶冠。冠有化佛二手當胸。合掌。二手當胸。倒垂合掌。以二大姆指雙屈掌中。二手心下合腕。左手五指各散微屈。像開蓮花。右手大姆指與中指頭相捻。其頭指無名指小指各散微屈。二臂下結網索印。一手把三叉戟。一手執寶

轆一手持開蓮花一手執不空梵甲一手把網索一手執金剛鉤一手施無畏一手執君持一手持寶瓶一手掌寶花盤被鹿皮衣七寶瓔珞莊嚴之身光焰不空網索右多羅菩薩左手仰掌下執青優鉢羅花右手揚掌微斜低頭半跏坐後見俱胝觀世音肩間一目身有四臂一手把開蓮一手執澡罐一手膝下仰掌一手把數珠半跏坐大白身觀世音左手把開蓮花右手膝下仰掌半跏坐後度底使者青身瞋怒狗牙上出首戴獨體半跏八臂左執三股杵一持青蓮花一執三叉戟一持掌右一手執劍一執鉞一執曲刀一執網索瞋仰菩薩手仰香爐不空網索左無垢慧菩薩左執蓮花右揚掌半跏坐後眞言者胡跪瞋仰手執香爐後不空奮怒王面目瞋怒身有四臂一手把網索一手執劍一手柱三叉戟一手執蓮花半跏坐後眞言者柱白衣觀世音母左手膝脇座上仰掌執後不開蓮花右手側揚掌腳坐後一鬚執女使者青身瞋怒蛇環牙出首戴獨體半跏六臂左一把三股杵一持蓮花一持網索右一執鉞斧一持金剛杖一執三叉戟瞋仰菩薩不空網索左置大頂金剛左手把三股杵右手胸側揚掌結跏趺坐後阿室理眞言明仙慈理俱眞言明仙彌羅謹眞言明仙各手執花于荷葉上長跪而坐瞋仰供養不空網索座下右置執金剛祕密主菩薩左手執獨股杵右手把白拂結

跏趺坐後宿疑眞言明仙慈訛眞言明仙顯答摩眞言明仙各手執花于荷葉上長跪而坐瞋仰供養其諸菩薩顏貌熙怡座七寶花冠瓔珞鑲種種莊嚴殿外山左背上置帝釋天俱廣曜天鑿安摩天毘摩夜天地天神帝釋天神半跏坐宮殿外山右背上置大梵天功德天辯才天天天焰摩王半跏坐其山半腰左右置四天王各執器械半跏坐以妙衣甲種種莊嚴宮殿外上左右置苦行仙衆形體枯瘦作讚歎相宮殿外右置日天子後淨居天伊舍羅天子持花供養宮殿外左置月天子後摩醯首羅天子諸天天子持花供養其諸天仙花鬘衣服寶珠瓔珞種種莊嚴宮殿外直上置阿彌陀佛釋迦佛世間王如來作說法相結跏趺坐寶師子座乘種種色雲其大海岸作七寶山山上種種寶樹花果其諸樹上有種種色藥花葉山間亦有池河洲水中具有蓮花拘物頭花芬陀利花優鉢羅花山上亦有師子白象一切鳥獸宮殿外又羅刹等繞其山脚有五宮道窟山下海中左右五小七寶山背于五背上置龍王狀如天神頭上出蛇龍頭一蛇頭一三蛇頭一五蛇頭一七頭一九蛇頭各持寶花半跏坐仰供養四面小山種種莊嚴此像是斯補陀洛山寶宮殿會不空網索觀世音文私云此曼荼羅也二十云不空王觀世音一面三目一十八

臂身真金色顏貌熙怡相好殊特首戴寶冠有化阿彌陀佛二手當心合掌虛掌二中指頭相柱二大母指二無名指二小指各微伸屈頭相去八寸一手把三叉戟一手持網索一手執澡罐一手把如意珠一手持寶蓮花一手執如意寶幢一手把摩子枝柯葉果一手安歇仰垂兩寶一手捻數珠一手把鉤二手合掌大虛掌內二中指頭相去三分二手當胸以右手背壓左手背以右大母指又入左手小指岐間又左手大母指又入右小母指岐間相又二手合掌二中指二無名指二小指右壓左相又屈入掌中二頭指相柱其二大母指右壓左屈入掌中天諸妙綺羅縠衣服七寶瓔珞琉璃鑲鋼種種莊嚴以白網索衣上絡繹結跏趺坐寶蓮花座身放無量種種光明文三面二臂經五云其像網索三昧耶以金或銀鑄不空網索身長八指量取手兩三面兩臂正面慈悲左面大瞋怒目張口右面微瞋羣眉合口首戴寶冠冠有化佛左手執網索右手揚掌七寶瓔珞鑲鋼天衣而莊嚴之坐蓮花座文三面四臂二十一云白旃檀香像量十六指眞言加持彰顯不空王觀世音三面四臂結跏趺坐正中面面肩間一目三面慈悲熙怡首上各戴衆寶月冠冠有化佛左一手持

網索一手執開蓮花右一手把三股金剛杵一手中施無畏坐寶蓮花師子之座身佩光焰左施檀香多羅菩薩坐蓮花座右施檀香濕摩多菩薩坐蓮花文攝無礙經云不空網索觀音頂上五髻冠安住化身佛具三面九眼正面白肉色微笑慈悲相左右大青色眼怒降魔相身被妙玉繫鹿皮袈裟百福莊嚴寶身四臂兩足體左定開蓮花理持網索或執持數珠右惠說法身或持金剛鑽右惠執軍持妙法琉璃光經千葉蓮花翻跌右押左文祕藏記云不空網索菩薩白肉色面上三目并三面左右二面大青色著鹿皮裙有四手右一手執開敷蓮花次一手網索左一手說法之相次一手取軍持瓶文

私云高尾曼荼羅圖像道場觀之時出之畢

### 三面六臂

二十二云不空王觀世音身量十六指數三面六臂正中面慈悲照怡如大梵天面眉間一眼首戴天冠冠有化阿彌陀佛左面怒目可畏眉間一眼鬘髮變堅首戴月冠冠有化佛右面鬘髮怒目狗牙出極大可畏眉間一眼鬘髮變堅首戴月冠冠有化佛一手持網索一手執蓮花一手持三叉戟一手執鉞斧一手施無畏一手把如意寶杖結跏趺坐佩身光焰紫妙天衣珠環網種種莊嚴坐蓮花座左索濕摩多白身觀世音菩薩半跏坐右索多羅菩薩

薩半跏坐花冠瓔珞如法莊嚴又右邊索真言者胡跪而坐一手掐珠瞻仰菩薩三像以金色綺飾空色頭冠瓔珞耳環環佩衣服花座文又云金蓮不空王觀世音菩薩三面六臂正中面慈悲照怡眉間一眼左面鬘髮可畏眉間一眼右面鬘髮目狗牙上出極大可畏眉間一眼三首寶冠冠有化阿彌陀佛鬘髮變堅一手持網索一手執三叉戟一手持趨斧一手如意杖一手持摩竭口吐蓮花一手施無畏結跏趺坐佩身光焰紫妙天衣寶珠瓔珞耳環環網種種莊嚴像腹肉白粉檀末香龍鬚末香和佛舍利一百八粒內像腹中懷如法文八云清潔如法純金造像三面六臂正面鬘髮怡左面鬘髮怒目張口狗牙上出右面鬘髮怒目合口首戴寶冠有化佛一手執蓮花一手執網索一手把三叉戟一手執瓶一手施無畏一手揚掌結跏趺座蓮花座具座上天諸衣服寶璽末龍鬚香末和佛舍利內像腹中

寶志和尚傳云昔新羅國有一沙彌曰元考神通智慧能化衆生唐國有王名太宗皇帝爲衆生欲作三身一體之觀音像傳聞新羅國有化身沙彌神變自在今請彼問可作菩薩沙彌元考語唐朝使云我詣唐國不可赴御願我師寶志和尚是觀音化身云此時國王行幸敬陳禮拜曰

顧大和尚被救度脫寶志答曰不敢罪過國王陳大願旨和尚云然者得三人造工令造三身一體身國王歡喜歸降差送三人好手佛師和尚即以右大指爪從眉間至顙裂開令見佛師一人見三面六臂不空網索長一丈一人見十一面觀自在菩薩一碟手半一人千手觀音長云三人各圖一體云取意寶蓮花時化六觀音身可考彼傳也

### 三面十臂曼荼羅略之

二十一云當以白氎或絹布上方量八肘當中畫不空王觀世音三面十臂身真金色當中正面眉間一目三面照怡首戴月冠冠有化佛右一手持網索一手執蓮花一手把三叉戟一手持趨斧左一手持如意珠一手把寶杖一手伸施無畏一手捻念珠二手當胸合掌被鹿皮衣頸白琉璃寶璽網種種天衣莊彩之結跏衆寶蓮花師子之座文

### 四面八臂

尊那菩薩大明成就儀軌經第三云奇然畫不空網索四面八臂以虎皮爲衣服下鹿皮爲天衣面有三目頂戴寶冠鬘髮下垂右第一手作施願印第二手持數珠第三手執網索第四手作施無畏印左第一手持白蓮花第二手持經第三手作拳堅立頭指作斯冠印第四手執鈎光焰遍身照耀嚴盛下面畫難陀烏波難陀二龍王皆有七頭手執佛座及蓮花臺文

十一面三十二臂

十三云白麤布絹方量四肘壇亦任意中  
畫不空羣衆十一面身金色三十二臂正  
面熙怡眉間一目左面大自在天面右面  
那羅延天面左焰摩王面右水面左俱  
廢羅天面羣衆怒目右俱摩天面羣衆怒目  
左摩醯首羅天面羣衆怒目狗牙上出右  
日天面狀赤黃左黃左月天面狀白  
黃各戴天冠冠有化佛作摩頂相那羅延  
天頭水天頭兩間風天半身寶飾天服大  
自在天服金三十二手輪結諸印執器仗  
印網索印寶珠璽塔耳璫鑲劍大諸衣服  
而莊飾之身圓光焰結跏坐寶蓮座文

千頭千臂

六云阿彌伽主觀世音像網索三昧耶乃  
是真實成就一切放勝三昧耶處諸諸相  
類示現一切神變相狀所謂現于千手千  
眼輪持無量神通手印器杖印三界〇示  
現不空千手千臂觀世音種種形好三昧  
耶女十四云觀世音此不思議觀陀羅  
尼是觀世音最上神通能現種種廣大神  
變幻化千臂千手千印千頭三昧耶等文

不空羣怒王

一面二臂

九云羣怒王面目瞋吼狗牙上出形畏青  
天蹲踞虛坐青蓮花座左手執但恭右手  
持闍伽放大火焰其可怖畏文二十五云

阿羣伽觀世音羣怒王面目瞋怒坐蓮花  
座一手執蓮花鬘一手揚掌繞身光焰文  
一面四臂

八云不空羣王一面四臂面目瞋怒首戴  
月冠冠有化佛一手持網索一手把劍一  
手執蓮花半跏坐頂上阿彌陀佛作說法  
相結跏坐坐金銅蓮花樹座其樹枝葉蓮  
花如法莊嚴文同八像亦全同也但無頂  
化佛髮如旋螺經九亦同有此像也

三面四臂

十三云羣怒王三面四臂當中正面熙怡  
微笑面目羣怒怒一手執鈎一手施無  
畏一手執蓮花一手持網瞻仰菩提半跏  
坐文五不空羣怒王三面四臂面別三目

當中正面熙怡微笑左右面目羣怒瞋怒  
左手執鈎右手持索一手捧寶花鬘首戴  
寶冠冠有化佛種種莊嚴坐尤上曲躬瞻  
仰文又云二云羣怒王一手蓮花一手網索  
云二十一云羣怒王三面四臂正中大  
面眉間一目三面瞋怒首戴月冠冠有化  
佛一手把網索一手執鈎一手把三叉戟  
一手持斧半跏趺坐文二十二云銀造大  
羣怒王身長橫量十六指掌三面四臂正  
中大面熙怡瞋目眉間一目左面羣怒怒  
目可畏眉間一目右面面羣怒怒目狗牙  
上出極大可畏眉間一目三首寶冠冠  
有化佛一手把網索一手持曲刀一手執  
三叉戟結跏坐蓮花座上身佩光天妙衣  
服寶珠璽塔種種莊嚴文

已上像等皆不可不衆也

悉地王

三面四臂

十一云四臂不可處圖畫不空悉地王觀世  
音三面四臂身黃金色結跏半正面熙怡  
右面微怒合口羣衆怒目左面可畏瞋目  
張口狗牙上出首戴月冠冠有化佛一手  
執蓮花一手把三叉戟一手把不空梵甲  
一手施無畏佩身光焰文印契不說之真  
言甚廣仍略之

廣大明王

三面六臂

二十五云不可圖不空廣大明王觀世音  
菩薩結跏座三面六臂身黃金色正面熙  
怡右面微瞋狗牙上出左面大瞋三首月  
冠冠有化佛三頭鬘髮赤雙左第一手  
執金剛鈎并持蓮花右第一手執三叉戟  
并持金棒左第二手執網索并持金剛鈎  
左第三手伸兩來寶右第三手向外揚掌  
安慰摩頂寶珠璽塔耳璫環劍天諸衣服  
種種莊嚴坐寶蓮花座上佩火焰光  
光如鈎相文印不說之明出經二十四卷  
甚廣也

大可畏明王

三面六臂

二十七云不可處於花臺中不空大可畏明

王觀世音菩薩結跏趺坐。三面六臂身。金色。當中正面。照怡微笑。首戴寶冠。左額怒齒。咬下唇。右面可畏。狗牙上出。三首戴寶冠。冠有化佛。鬘焰赤。第一手持鈎。一手執劍。繞劍鎗上出火光。焰天妙衣服。珠璣瑤瓏。具莊嚴。身遍身火焰。右第一手持開蓮花。續屈如鈎。右第二手持施無畏。雨下衆寶。右第三手持三叉戟。左第一手持鈎。左第二手持索。左第三手持金輪。是六手上放種種光。衆妙彩羅。大衣璽。瑤瓏具莊飾之。身放火光。印不說之。明出經二十七卷。甚廣也。

蓮花明王付大梵天觀音

三面四臂

二十八云。不空羼索心王清淨蓮花明王。三面四臂。首戴寶冠。冠有化佛。當中正面。圓滿照怡。眉間一目。左右二面。如不空羼索觀世音。左右面目。一手持開蓮花。一手執絹索。一手持寶幢。一手把三叉戟。衆寶璽。耳瑤瓏。天諸衣服。種種莊嚴。于諸大無量億千蓮花臺上結跏坐。成儉俱。低百千光明云。印不說之。明出經二十八卷。甚廣也。

大梵天相觀音

四臂

九云。後大梵天相觀世音菩薩。眉間一眼。身有四臂。一執蓮花。一持深藏。一把

槍。一施無畏。結跏趺坐云。十五云。觀世音菩薩身狀。大梵天相。一手執蓮。一手執戟。手持索。一手彈指云。在以下蓮花頂觀音同異。可尋之。

根本蓮花頂觀音

四臂

十七云。觀世音。天光明中千葉蓮臺。即于臺上出現寶帳。之中現蓮花頂觀世音。大梵天相。面目照怡。三眼四臂。具以衆寶。璽瑤瓏。首戴寶冠。冠有化佛。一手把索。一手執寶蓮花。冠一手把寶杖。一手執金剛杵。結跏趺坐云。十九云。不空羼索根本蓮花頂觀世音菩薩。大梵天相。三面四臂。面目照怡。當中正面。眉間一眼。首戴七寶月冠。冠有化佛。右第一手持三叉戟。右第二手持蓮花。寶索。左第一手持七寶開面數蓮花。于花臺中出現觀世音菩薩。面首頭戴寶冠。繞頭冠上發火。焰左第一手下舒五指。雨出。七寶手上繞發火。焰衆寶璽。耳瑤瓏。天諸衣服。種種莊嚴。結跏趺坐。寶蓮花座。身圓光。焰其蓮下盡大海水。七寶岸片。二九頭蛇龍。王水中出身。左右繖蓮花。幹云。印不說之。明出經第二十八卷。甚廣也。

不空羼索神

十三云。不空羼索神。面目照怒。狗牙上出。身有四臂。一手執絹索。一手執蓮

花。一手執銀斧。一手執劍。半跏坐云。

受相所現身

自在王經上云。欲持呪者。當淨洗浴。著新淨衣。受持菩薩之律儀之戒。住於慈心。以大悲意。樂實語。除於貪。垢利。益。安樂。一切衆生。誠心。質直。不諂曲。心。願。樂。福。除貪。瞋。疑。當知。報。恩。當常。洗浴。誦。呪。念。佛。法。僧。勿令。忘。失。設。廣。大。供。養。觀。自。在。菩。薩。散花。末。香。燒。香。塗。香。變。轉。輪。蓋。而。爲。莊。嚴。當於。彼。前。一。心。堅。固。意。樂。信。心。誦。於。聖。者。不空羼索心王之呪。一百八遍。入於不空陀羅尼。定作蓮花印。默而住。莫語。則得成就。世尊。觀。自。在。菩。薩。則。於。夢。中。現。比。丘。身。婆羅門身。或現重男身。或現主身。或現大臣身。作如是身。而來示現。讚言。善哉。善哉。摩訶薩。汝。今。已。能。斷。護。救。法。已。成。所。願。更。何所求。若其呪者。所須之事。速得成就。一切業障。直得消滅。永斷一切地獄。畜生。惡趣。長常爲諸天。隨作同伴。爲除障礙。淨令得增。事令得成就。亦令其人。勇猛。精進。呪得成就。一切善願。皆得成就。不爲天。魔。外。道。怨家之所降伏。恒爲聖者之所讚歎。囉闍大臣。婆羅門居士等。一切衆人所愛敬。禮拜供養。一切衆人之所讚歎。恒爲一切恐怖之人。作歸依處。一切善人之所依信。若常誦者。身口意中。積集。惡業。皆得銷滅。若誦一遍。則得衣食臥具。醫藥。及餘資具。皆得

殊勝終不令少得壽命長少病少願第二  
受持成就品竟云

本云  
延德三年卯六月二十九日於高雄神  
護寺地藏院書寫畢云

白寶口抄 白衣觀音法

口云此尊無儀軌等故般若寺僧正御弟  
子祚惟阿闍梨云行白衣以業衣經爲本  
經以業衣印眞言用之云但信乃阿闍  
梨云業衣白衣形像印明等皆以各別也  
何云一法乎只別法可行之云祚惟無  
心人師也雖然此義恐難指南歟云覺  
禪鈔云傳云小野僧正付撰與訣令習白  
衣法給故別無本書云

梵號事

密號事 或觀音千手

離垢金剛 又云放光金剛

又云常淨金剛 又云淨照金剛

又云普化金剛

口云白衣者疏第五云半拏囉轉悉寧譯  
云白處以此尊常在白蓮花中故以爲名  
亦藏天髮髻冠襲純素衣從此最白淨處  
出生普眼故此三昧名爲蓮花部母也文  
此文梵名一翻名二也譯云白處云次  
襲純素衣云此釋既白處白衣二義有之  
故白衣觀音胎藏白處尊一體名異也妙  
鈔云或師云白處者白衣是也唐摺本寶  
冠之上覆白絹左右之端垂肩上驗知文  
不空翻經第八九二十二三十并云白  
衣觀音母又皆有半拏囉轉徒備之句十  
一面軌白衣眞言有半拏囉轉志備之句

而大日經疏云半拏囉轉志寧譯云白處  
云凡坐白蓮花故云白處服白衣故云  
白衣依之唐本等以白衣覆首也或此菩  
薩如常不坐蓮花上全體入住白蓮花內  
故直以白花爲衣號白衣觀音又如常  
處白花中名白處又全體入住花葉中故  
以蓮葉爲衣服故云業衣觀音也則是則於  
一體之上禮義立名也白蓮者白淨菩提  
心義觀音慈悲深重故常入住一切衆生  
之淨菩提心之中以白蓮白衣嚴身萬德  
莊嚴皆自此出生故名母疏十云白者即  
是菩提之心住此菩提之心即是白住處  
也此菩提心從佛境界生也常住於此能  
生諸佛也此是諸佛母即蓮花部主也文  
同五云被服白衣明白淨無垢是其教門  
外飾也文又云白是大慈悲也文從此白  
淨菩提心發大悲利衆生故諸佛母也即  
觀音慈悲誠覆行行者觀心慈悲普覆  
法界衆生凡依正二報悉依此慈悲衣生  
長也一切衆生現身衣服或房舍屋宅等  
防風障雨類亦草木等被綴覆也皆此尊  
平等慈悲衣德也此慈悲覆護義也北方  
四親近菩薩中護菩薩以傘蓋爲三形又  
以甲冑爲三形傘蓋內證慈悲之衣甲冑  
化他慈悲之衣也暫離內外別慈悲覆護  
義只一致也又白傘蓋佛頂文云覆慈悲  
法界名爲蓋文是成佛時成傘蓋爲佛果  
莊嚴迷情時爲胎胎衣或成荒神障礙諸  
善是胎衣所爲也若開自心時自證化他



迷悟因果，依正二執，併白衣觀音平等慈悲不二，覆護衣輪圓具德也。故此尊爲蓮花部總母，以慈悲覆護爲其體性故也。

問：唐本頭冠之上覆白衣，垂左右肩，是亦慈悲覆護之義歟？如何？答：慈悲覆護法界衆生，義表示此覆頭上也。或義云：恐怖曜宿災難，爲隔彼光頭上覆垂天衣，是表大息災依之小野鈔名息災觀音爲曜宿災難天變等祈請殊可修此法。此條尤可祕藏也云。

口云：胎藏界觀音院，白身白處大明白身，一院中有三尊，是以一體上表三義也。其故付蓮花部有理智二門，先白身與白衣是同義表智德，即身分莊嚴、智品功德故云。身、云衣、共表智德，金剛界大白白色卽是意也。仍蓮花部智門以白衣爲部母，阿嚕力迦經云：白衣觀音母文千手軌云：白衣觀自在菩薩。○蓮花部母聖者文是以白衣爲部母也。次白處者處白蓮花故爲名。蓮花理門坐白蓮胎藏大白日所座也。故今此尊亦坐白蓮故名白處是卽表大日如來加持之相故。胎藏理門部母也。疏五云：云白處從此最白淨處出生普眼故。此三昧名爲蓮花部母文故。白衣白處兩部理智部母也。次大明白身理智總母也。出生當部母故稱大明白身是出生法界體性智蓮花部功德別門當部義也。或又兩部理智內，總母名白衣號白處法界體性智生此蓮花部，以其義門名大白衣故。

千手軌依此義說，白衣大白衣二尊付部母義雖有三尊別總只一體差別，也不可別執。

#### 種子事

廣大軌中云：觀白字放白淨光輪圓明現白處文。

口云：白字此取梵號初字爲種子，歟。自此字出生蓮花部諸尊也。故義釋五云：一切蓮花部眷屬皆從此生文是蓮花部總部母種子故也。白字一切諸法第一義諦，入真智門第一義諦亦不可得也。青龍軌云：白處觀音部母也。被是第一義諦猶如虛空也。文是同真智大字三昧也。疏七云：波字門一切諸法第一義諦不可得故者，梵云波羅摩他，翻爲第一義，或云勝義薩底也。此翻爲諦諦義於髮字門說之。今此波字門正明第一義相龍樹云：第一義名諸法實相，不破不壞，故復次諸法中第一義爲涅槃，如阿毗曇云：云何無上法，謂智緣盡，智緣盡卽是涅槃。若見波字卽知一切法不離第一義第一義不離諸法實相是爲字相者，字門眞實義者第一義亦不可得，何以故？無愛無著故。智論又云：以衆生著涅槃音聲而作戲論，若有若無，以破著故說涅槃空，是名第一義空，不破聖人心中所得，以聖人於一切法中不取相故，復次一切法皆入平等法界，則無高下，豈欲令無生法中有勝劣相耶？是故第一義不可得也文。

#### 真字事

或真者疏七云：真染不可得，是蓮花胎藏自性清淨不染體也。文仁王經陀羅尼釋云：真字一切法平等義，能緣所緣平等，能取所取無所得故，則證眞如文又云：真字者一切法無染著義，一切無等義，文法花開題云：真字門名諸法諦義，此字則觀音種子眞言，此經以此一字爲體爲主，從此一字中流出無量無邊義理，此經則觀自在三摩地法曼荼羅也。經中所載諸佛菩薩二乘三界等人名，八部名皆是此尊心數名義也。○等人名觀自在王法曰蓮花三昧文，此真字諦不可得故，法花第一義諦一實眞如妙理，卽此一字中三諦義理也。前白字義同一體也云。

#### 三形事

口云：紅蓮花或白蓮花云，同道場觀云：鉢曇摩花，或白蓮花云，鉢曇摩花朱付云：紅蓮花也。云，疏十五云：鉢曇摩花，今此有白蓮是也。非分陀利。一者赤色卽此蓮花也。依此文紅蓮華白蓮花共鉢曇摩花也。今先以赤蓮花爲本，故大慈悲色也。觀音慈悲爲先，赤色可愛色，愛慈義也。本師彌陀居敬愛方用紅蓮花，是皆慈悲濟度義也。胎藏中臺八葉雖白色，表大悲曼荼羅現圖曼荼羅圖赤蓮花此意也。白蓮花表淨菩提心，此白蓮花非鉢曇摩白蓮花歟？是鉢曇摩花外芬荼利花也。疏十五云：非芳陀利釋之，又云：分荼利迦花，可有百葉葉相承圖。

整可愛。最外葉極白。漸向內。色漸微黃。乃至最在內者。與萼色相近也。此花極香也。昔瑞瑪王。嘗釋女時。大迦葉於阿羅達池。取此花。裝八功德水。灑之。諸女身心得安樂。命終生天。因是。投花於池。遂成種。至今猶有之。花太可愛。徑一尺餘。尤可愛也。此法。所引用者。是曼荼羅八葉者也。又是妙法蓮花者。芬荼利花。義也。法花。開題云。人名觀自在菩薩。法曰蓮花。三昧。此觀音云。白處。是芬荼利花也。白色淨善。提心義。是表法花中。道實相理。是故以觀音為法花體也。此尊功德。自相應也。

問芬荼利蓮花。百葉。文疏五云。內心妙白蓮者。此是衆生本心。妙法芬陀利花。祕轉轉花臺。八葉。圓滿均等。文此釋芬荼利花者。八葉也。相違如何。答以八葉表示也。

異說事

種子三形。三形未敷蓮花。大御堂御說也。但無赤白沙汰。賦。西院流亦同之。才字成就院或說也云。三部鈔云。三形梵薩最

口云。梵薩與未敷蓮花同義也。云勢至印釋。此未敷蓮即。是如來寶薩。梵薩者。文殊所持物也。含藏萬寶義。能吞納八萬教法。凡五大所納法門。識大識小。心法也。是一切衆生。即體也。凡心如合蓮故。梵薩即未敷蓮花也。云。此尊蓮花部母故。以梵薩為三形。是表部母也。梵母梵薩故也。阿嚩力迦經云。半奉羅婆志。備

菩薩。右手執般若梵薩。文私云。持物為三形。常事。歟。不空。翻索經第八云。白衣觀世音。母若薩。左手。持。脇。摩。上。仰。掌。執。未。開。蓮。花。文。私。云。此。尊。三。形。也。

道場觀事

青龍軌中云。住於白處。尊。髮冠。張。純。白。鉢。曇。摩。花。手。文。

口云。今次第。依此文也。純字。モツハラ。亦。ヒトヘニ。亦。ヒトツ。如是。訓讀。多。是。即。一。向。白色。義。也。或。純。又。作。鈴。字。訓。ニ。ビ。キ。也。故。純。色。云。疏。五。云。半。奉。羅。婆。志。寧。譯。云。白。處。以。此。尊。常。在。白。蓮。花。中。故。以。為。名。亦。藏。天。髮。髻。冠。髻。純。素。衣。文。十。卷。鈔。云。白。川。院。御。在。位。之。時。造。等。身。白。衣。觀。音。銀。薄。以。薄。敷。覆。頂。左。手。垂。持。印。鏡。右。手。持。楊。柳。枝。又。或。唐。本。左。手。持。念。珠。右。手。覆。左。手。上。鉤。云。行。道。觀。音。云。件。像。唐。本。以。白。衣。覆。首。故。云。白。衣。觀。音。歟。但。真。言。教。中。不。說。此。像。又。唐。本。銘。云。行。道。觀。音。仍。以。此。像。難。為。白。衣。本。尊。至。真。言。者。雖。出。宿。曜。書。中。又。大。師。御。作。胎。藏。火。第。以。此。真。言。用。蓮。花。部。母。故。為。息。災。可。誦。此。白。衣。明。但。本。尊。像。者。可。見。三。十。卷。不。空。翻。索。經。并。不。空。所。譯。阿。嚩。力。迦。經。也。云。

口云。疏。五。並。胎。軌。等。皆。不。說。頂。上。佛。今。次。真。言。是。出。七。曜。變。災。訣。故。云。爾。歟。可。尋。頂。上。觀。自。在。王。事。

口云。疏。五。並。胎。軌。等。皆。不。說。頂。上。佛。今。次。真。言。是。出。七。曜。變。災。訣。故。云。爾。歟。可。尋。頂。上。觀。自。在。王。事。

第像頂上觀自在。王住說法相云。是諸觀音。戴本面彌陀。故諸師悉白衣觀音像。觀頂上佛也。

頭上以淨天衣覆垂事

口云。白羅縠。自頭上。邊身。打。覆。也。是。表。白。淨。慈。悲。之。義。故。云。淨。天。衣。也。問。頂。上。彌。陀。自。淨。天。衣。下。可。觀。之。歟。如。何。答。十。卷。鈔。云。圓。身。相。肉。色。頭。戴。寶。冠。外。本。佛。云。或。抄。云。大。內。記。云。立。二。蓮。花。上。右。手。取。念。珠。左。手。以。大。指。押。無。名。指。頭。從。寶。冠。上。白。衣。垂。下。寶。冠。有。化。佛。又。頂。上。於。五。色。雲。雲。上。有。佛。右。手。作。說。法。印。左。手。當。前。云。既。寶。冠。上。本。佛。也。是。可。有。天。衣。下。也。即。彌。陀。如。來。衣。入。觀。音。大。悲。自。證。三。摩。地。義。也。

左手執寶鏡事

口云。寶鏡者。淨菩提心。月輪也。疏云。以此如鏡之心。照如心之鏡。故說心自見心心。自知心。智之與鏡。無二無別。文是明鏡映。徹故。喻。智。惠。能。現。一。切。色。像。故。臂。即。身。成。佛。也。此。鏡。於。一。切。色。相。無。不。分。別。喻。善。財。童子。尋。善。知。識。於。明。鏡。中。如。見。諸。如。來。及。諸。菩。薩。等。也。千。手。經。云。若。為。大。智。惠。者。當。於。寶。鏡。手。文。此。鏡。為。智。惠。也。

右手把楊柳枝事

千手經云。若為身上種種病者。當於楊柳枝。手。文。陀。羅。尼。集。經。第三。金剛。藏。法。中。療。一切。鬼。病。法。云。用。青。柳。枝。文。口云。楊柳者。多生池水邊。故表涼業義。是

即拂衆生身上惡惡病即得令除愈也昔毗舍利國鬼病發時觀世音以楊柳枝灑瓶水諸病即消除是以本願慈悲薰樹王拂一切衆生病故楊柳執成辨右手消除一切衆生內外二病令顯自性本有月輪義也鏡表自性妙理故持左手也或白衣觀音大息災之主也故以楊柳枝拂一切災難義也楊柳當流渾之常讀楊柳リウハ漢音也

問寶鏡楊柳有說所乎如何答經軌說未勘之依七曜攘災訣歟但流流大第多分如是定有由緒歟或大第左楊柳右寶鏡也可尋之

持物異說事不空翻索經八云白衣觀世音母菩薩左手持顰勝上仰掌執未開蓮花右手側楊掌半跏坐文同九云白衣觀世音母菩薩左手執開蓮花右手仰伸膝下半跏趺坐又同二十二卷大旨同之故不載之也昔提場一字頂輪王經二云白衣觀自在以蓮花聖莊嚴其身以寶鉤角絡披右手把真多摩尼寶第二手施願此菩薩是蓮花族母應於坐蓮上之座文阿嚕力迦經云於觀自在之右畫聖者半拏羅婆志憫善滿白衣觀音母也書亦上結寶冠種種寶衣以爲莊嚴著白衣衣爲座左手持栴或持網罟右手執於般若梵文攝無礙經云白處觀音髮冠襲純色身相白黃色左定鉢曇摩○垂拳印百千種瓔珞

嚴身如上說文十卷鈔云右手垂持印輪右手持楊柳枝或唐本左手持念珠右手覆左手上已上十卷鈔也

身白色事口云身白色者所坐蓮花衣服身色等皆悉白色也是表智德亦淨善提心義即表白淨大悲也不空翻索經疏二十七云觀世音母菩薩身素白色面目照怡文問攝無礙經云白處觀音身相白黃色文祕藏記云白處觀自在菩薩身白黃色文身觀自在菩薩淺黃色身黃白色其故同記云大明白身菩薩淺黃色之色白與黃淡文是其證也今大第白白色尤相違如何答黃色異字胎藏理法身色白白色字金界智法身色也即理智不二和融表唯一身也又此尊蓮花部母故表理白身表智故是亦表理智不二唯一身也仍何苦歟

寶山事口云寶山者補陀落山也諸觀音道場觀皆觀彼山也補陀落山即觀彌彌山也彼山見不空翻索經八云北斗七星等事

口云白衣觀音母爲星宿上首故以衆星爲眷屬旨見經或云本有日月菩提涅槃二點也此尊兩手持表之也是悲智二德也修生時爲日月遊著天一切情非情共利之然日月精即成諸宿曜總益衆生故此菩薩成自然覺時法界悉輪圓之具

德也故所證菩薩能證星宿圍遶之也日理月智星三點也云

印事千手執云次結白衣觀自在菩薩印二手內相又作拳豎進力頭相跏令聞禪智並堅文口云今次第印文依此軌也內縛者一法界月輪體金剛界義二頭指圓形本尊左手寶鏡是日輪也日輪顯現時諸星沒光被奪威德故降伏一切惡星災難依之此尊以北斗等一切星宿爲眷屬故天變祈修此法也是等義此印功能也日輪胎藏義此尊不二一身故結理智日月兩輪二大並立者理智大日表不二一德也又云內縛金界五智隱內還同因位義此尊印起自內縛付從本重跡可觀彼本誓也金剛指圓立合蓮葉義是未敷蓮形金剛蓮花也以獨設爲蓮故也即自金界智生胎界蓮花部也蓮花部母義以此結樣表示之也二大並立蓮花部法界智此兩部法界智即生蓮花部義也二頭指少開之即此尊爲蓮花部母可出生法門故也又云二頭指圓立合蓮實義觀音因位故表蓮實此因位實開敷後又可成花葉其後亦成實是果還作因義也是因果俱時花實俱成義故因位行者即果佛也八指八葉蓮花八佛也



天



衣鎮宅不違八字文殊鎮宅以字以符  
 之也藥上打付之也餘作法等悉如八字  
 文殊鎮宅故委細不注之也可知之又云  
 書真言時王磨水可書之也藥衣經云  
 又法若國王男女難長難養或壽命短壽  
 疾病難眠寢食不安皆由宿業因緣生惡  
 宿直或數被七曜陵逼本宿令身不安則  
 於所居之處用牛黃或紙或素上書二十  
 八大藥又將真言貼四壁上先於東方壁  
 上貼四大藥又將真言從東北角起首所  
 謂第一藥又將真言  
 第二藥又將真言  
 第三藥又將真言  
 第四藥又將真言  
 次於南方壁上貼四大藥又將  
 真言第一藥又將真言  
 第二藥又將真言  
 第三藥又將真言  
 第四藥又將真言  
 次於西方壁上貼四大藥又將  
 真言第一藥又將真言  
 第二藥又將真言  
 第三藥又將真言  
 第四藥又將真言  
 次於北方壁上貼四大藥又  
 將真言第一藥又將真言  
 第二藥又將真言  
 第三藥又將真言  
 第四藥又將真言

打付之也藥衣經云第四藥又將真言  
 曰藥衣經云  
 一、大藥又將真言曰  
 二、大藥又將真言曰  
 三、大藥又將真言曰  
 四、大藥又將真言曰  
 五、大藥又將真言曰  
 六、大藥又將真言曰  
 七、大藥又將真言曰  
 八、大藥又將真言曰  
 九、大藥又將真言曰  
 十、大藥又將真言曰  
 十一、大藥又將真言曰  
 十二、大藥又將真言曰  
 十三、大藥又將真言曰  
 十四、大藥又將真言曰  
 十五、大藥又將真言曰  
 十六、大藥又將真言曰  
 十七、大藥又將真言曰  
 十八、大藥又將真言曰  
 十九、大藥又將真言曰  
 二十、大藥又將真言曰  
 二十一、大藥又將真言曰  
 二十二、大藥又將真言曰  
 二十三、大藥又將真言曰  
 二十四、大藥又將真言曰  
 二十五、大藥又將真言曰  
 二十六、大藥又將真言曰  
 二十七、大藥又將真言曰  
 二十八、大藥又將真言曰  
 二十九、大藥又將真言曰  
 三十、大藥又將真言曰  
 三十一、大藥又將真言曰  
 三十二、大藥又將真言曰  
 三十三、大藥又將真言曰  
 三十四、大藥又將真言曰  
 三十五、大藥又將真言曰  
 三十六、大藥又將真言曰  
 三十七、大藥又將真言曰  
 三十八、大藥又將真言曰  
 三十九、大藥又將真言曰  
 四十、大藥又將真言曰  
 四十一、大藥又將真言曰  
 四十二、大藥又將真言曰  
 四十三、大藥又將真言曰  
 四十四、大藥又將真言曰  
 四十五、大藥又將真言曰  
 四十六、大藥又將真言曰  
 四十七、大藥又將真言曰  
 四十八、大藥又將真言曰  
 四十九、大藥又將真言曰  
 五十、大藥又將真言曰  
 五十一、大藥又將真言曰  
 五十二、大藥又將真言曰  
 五十三、大藥又將真言曰  
 五十四、大藥又將真言曰  
 五十五、大藥又將真言曰  
 五十六、大藥又將真言曰  
 五十七、大藥又將真言曰  
 五十八、大藥又將真言曰  
 五十九、大藥又將真言曰  
 六十、大藥又將真言曰  
 六十一、大藥又將真言曰  
 六十二、大藥又將真言曰  
 六十三、大藥又將真言曰  
 六十四、大藥又將真言曰  
 六十五、大藥又將真言曰  
 六十六、大藥又將真言曰  
 六十七、大藥又將真言曰  
 六十八、大藥又將真言曰  
 六十九、大藥又將真言曰  
 七十、大藥又將真言曰  
 七十一、大藥又將真言曰  
 七十二、大藥又將真言曰  
 七十三、大藥又將真言曰  
 七十四、大藥又將真言曰  
 七十五、大藥又將真言曰  
 七十六、大藥又將真言曰  
 七十七、大藥又將真言曰  
 七十八、大藥又將真言曰  
 七十九、大藥又將真言曰  
 八十、大藥又將真言曰  
 八十一、大藥又將真言曰  
 八十二、大藥又將真言曰  
 八十三、大藥又將真言曰  
 八十四、大藥又將真言曰  
 八十五、大藥又將真言曰  
 八十六、大藥又將真言曰  
 八十七、大藥又將真言曰  
 八十八、大藥又將真言曰  
 八十九、大藥又將真言曰  
 九十、大藥又將真言曰  
 九十一、大藥又將真言曰  
 九十二、大藥又將真言曰  
 九十三、大藥又將真言曰  
 九十四、大藥又將真言曰  
 九十五、大藥又將真言曰  
 九十六、大藥又將真言曰  
 九十七、大藥又將真言曰  
 九十八、大藥又將真言曰  
 九十九、大藥又將真言曰  
 一百、大藥又將真言曰

并諸眷屬各住本方護持某甲為除災禍  
 不祥疾病天壽獲得力增長聰慧威肅  
 端嚴果報具足易長易養壽命長遠作是  
 摩訶薩已二十八藥又將不敢表越諸佛  
 手菩薩教勅晝夜擁護臥安覺安有大威  
 德若有國王作此法者其王境內災疾消  
 滅國土安寧人民豐感文依此文或作石  
 四若八大夜又真言呪書方向外埋之也  
 方方錄以墨書之又一二三如此可書之  
 也或小便夜又供用之種子字也是夜  
 又之夜字也又藥字用之此字為吉云  
 伴僧殊知法人可用之也云

白寶口抄 大勢至法

阿利也摩阿薩賦合二摩鉢羅鉢多

密號 持寶金剛此名號

持光金剛持輪金剛轉輪金剛轉法輪金剛空生金剛

疏云大勢至觀香云得勝軌下云得大勢

至觀自在文觀經云但見此菩薩一毛孔

光即見十方無量諸佛淨妙光明是故號

此菩薩名無邊光以智惠光普照一切令

離三途得無上力是故號是此菩薩名大

勢至文疏五云得勢尊如世國王大臣威

勢自在身為大勢言此聖者以至得如是

大悲自在之位故以為名又同云已離

二障同於大空堅住此位如諸佛住即是

大勢位也如世人有高官位多諸財力威

伏多人名為有勢之人此勢即是位也言

度二生同於佛生即是如來之位得此大

本堂阿彌陀三尊也左勢至右觀音也或人不尋常故去觀音欲移勢至重不動轉故彼寺勢至號驗佛也是勢至有左表定德故持理性未救速也觀音有右顯智德故作開花印也此理智不二法性總證阿彌陀也故定惠之二菩薩中尊也深祕義

勢至合蓮花合修生蓮花也觀音開蓮花開本有蓮花也故居左右何隨義不可有相違也

種子事

口云此字真言終字也此字諦不可得義

聖觀音等法時口訣了涅槃點不動義也疏云要入字是真言種子之體要是不動義不動住動之法即有生滅凡物有生

滅者即有住動之相故經云動不動法皆是不安之相傍加二點同於涅槃即是堅

住義已離二障同於大空堅住此位如諸佛住即是位也如世人有高官位多

諸財力威伏多人名為有勢之人此勢即是位也言度二生同於佛生即是如來之

位得此大位大勢故名得大勢也文

三形事

未救蓮花者疏五云得大勢尊○持未救蓮者如星盧迦那寶智花等既成果已復

持如是種子普散一切衆生心中更生未救蓮花此尊亦同是處亦能普護一切

衆生潛萌之善便不敗傷念念增長即是蓮花部特明王也文同十三此未開蓮

即是如來寶篋猶開敷已而却合故文此

未救蓮花者含藏自證萬德皆悉不失義也如來寶篋者歎此未救含藏萬德圓滿無闕故云開敷已也善提論云凡夫

心如合蓮佛心如滿月云被執持凡夫心處指萬德圓滿體云佛心蓮花於六道

凡夫煩惱業障被纏縛佛性蓮花於六道生死之滯泥不榮不垢自性圓滿無闕

凡夫心若開敷有何執持萬德義乎仍不期開敷即因位未救全表萬德果體故六

道凡夫未證體即諸佛同證之極位也此教法爾成就自然成道之實義只在期三

形問觀音開敷勢所含藏開萬德施衆生義也今此尊無大悲利物義乎 答一切衆

生無始三業所作自然道理如來大悲攝化體也達情前於一切為自作之思量

所作體法爾法界衆生依怙大悲利物也慈悲以定惠二法為體故慈悲本來遍法

界是皆大勢至自證大悲之德也

道場觀事

口云樓閣等事觀香法時口訣了今尊形胎藏觀音院之內大勢至也左手持蓮花

者未救蓮也右手屈地水火者胸前橫仰地水火三指少屈之作物操勢也祕藏記

云大勢至善薩肉色花青龍軌云畫得大勢尊被服間依文大悲蓮花手滋榮而未

數圍繞以明光文

問勢至善薩頂上有寶瓶今不觀之其意如何 答可觀之也觀經云寶瓶中盛滿



光明文 光明即彌陀智覺光之義也。觀音  
藏彌陀名體不二故是名號義也。此二善  
薩即彌陀名號與光明兩願也。彼本誓共  
願頂上。是彌陀如來悲智二德也。非別體。  
觀音即名號名號即彌陀也。勢至即光明  
光明即彌陀也。三尊即一體一體即三尊  
也。又云。攝無礙經云。冠中鉢持。軍持  
者水瓶也。是彌陀又阿彌哩多。即甘露  
義也。故名甘露王如來。彼寶瓶又甘露  
水洗除衆生三毒煩惱。令生菩提覺芽義  
也。此寶瓶即甘露王如來之故。大勢至尊  
藏無量壽如來也。

印事

大日經四云。以定慧手作空心合掌。猶如  
未開敷蓮。文同疏十三云。大勢至印作三  
補吒合掌。屈十指相柱。令周圓如未割之  
蓮也。此未開蓮即是如來寶藏。猶開敷已  
而却合故文祕藏記云。先作蓮花合掌者。  
蓮花即理也。理處必有智故。二手名理智。  
左靜故名理胎藏也。右手辨一切事故名  
智。金剛界也。左手五指胎藏五智。右手五  
指金剛界五智。左手定。右手惠。十指即十  
波羅蜜。或十法界十真如。縮即收。一開即  
有無量名文。  
口云。蓮花合掌者。衆生法爾之心印。凡身  
佛塔之形體也。故小野僧正云。心觀蓮花  
未數名云。遍照尊文是指衆生已體云。遍  
照尊也。常住妙法心蓮臺。本來具足三身  
德。三十七尊住心城文即是意也。但此印

滿頂大事也。故不悉細也。今次第印依口  
傳。二中指少開立。云是正觀音初開蓮全  
同之。其義彼次第口訣記。

真言事

疏十云。真言是生壽所以有二重者。上是煩惱障  
生壽體不生也。上有點是生入阿字門。即是二  
生壽體除二障得大空生也。大空入字是真言種  
子之體。要是不動義。不動住動之法。即有  
生滅。凡物有生滅者。即有住動之相。故經  
云。動不動法皆是不安之相。傍加二點同  
於淨覺。即是堅住義。已離二障同於大空。  
罕住此位。如諸佛住。即是大勢位也。如世  
人有大官位多諸財力。威伏多名爲有勢  
之人。此勢即是位也。言度二生同於佛生  
即是如來之位。此大位大勢故名得大勢  
也文。

正念誦

同明

迎請

蓮花部心

結界

馬頭

字輪觀

五大

護摩

息災

都主段

阿彌陀。或聖觀音

自加持

根本印

外經。忍願相柱。如蓮花葉

真言曰 召願會下不不衆

召請 蓮花部心印明

供物 同自加持真言加息災句

撥遣 準召請

本尊段

自加持 印明如前。本尊印明

召請 蓮花部心印明

加持物 同自加持真言加息災句

撥遣 準召請

諸尊段 三十七尊

此天段 如常

此尊當流不委細也



白寶口抄 延命法

本書事

一切如來金剛壽命陀羅尼經一卷  
金剛智譯 梵釋闍本今在錄中載之  
智證請來

金剛壽命陀羅尼經一卷

不空譯 海珍 圓覺

金剛壽命陀羅尼經一卷

內云一切如來金剛壽命陀羅尼經不  
空譯 貞元新入目錄

私云前件金剛智及不空兩本今見行  
世而此錄中以爲一本者非也

金剛壽命念誦法一卷

內云陀羅尼念誦法不空譯

貞元新入目錄 圓覺 海 列外題  
仁珍列內題云金剛壽命陀羅尼經念  
誦法珍錄云金剛壽命念誦法一卷仁  
錄又無經字云

名字事

梵號 瞿目羅母伽三昧耶薩怛囉  
密號 延命菩薩者金剛薩埵也  
是金剛薩埵發延命之本誓說延  
壽真言故名延命菩薩也

問金剛薩埵何故延衆生壽命乎如何  
答薩埵者一切衆生淨菩提心體也略出  
經六云一切衆生所有心堅固菩提名薩

白寶口抄卷第七十一 (延命法)

埵文是衆生自性清淨心中本來有大菩  
提心此心開發名金剛薩埵衆生輪迴六  
趣此大菩提心不壞不退也菩提心論云  
輪迴六趣亦不變易文即是也故衆生之  
壽命長短可依此身或本有時成胎衣扶  
衆生命根條生時成天蓋結諸佛慈念是  
顯教名普賢恒順衆生願也

問普賢菩薩與金剛薩埵同體歟如何  
答理趣釋云金剛手此菩薩本是普賢從  
足虛造那佛二手掌親受五智金剛杵即  
與灌頂也名之爲金剛手文 普賢因位  
名也金剛薩埵果位也此薩埵入延命定  
延衆生命其故住本不生際是即延命德  
也

問普賢延命亦今延命菩薩同體歟如何  
答延命菩薩金剛薩埵所變也普賢菩薩  
入延命三摩地名普賢延命故其形像并  
持物乘物等各別也委細期普賢延命法  
也

種子事  
不空儀軌護摩法云火既燃也於光焰中  
觀作八葉蓮花於花胎中常觀欲發字光  
明見瞻照照成大金剛壽命菩薩文  
口云唵字加濕梨點是證入義也但唵字  
用普賢延命法今延命法用唵字諸佛大  
旨此義也

再往只一同也其旨期延命法今以唵字  
爲種子故眞言曰唵也唵也唵也之句詩  
命梵語也故取唵字爲種子足相應也疏

云凡諸眞言中隨取初中後字用爲種子  
皆得也觀察取宗要之字耳此意也唵  
字字體唵字乘不可得也乘者運載義是  
從近往遠延長之義也唵字損滅不可得  
也即損滅短命天壽之苦難分得長遠之  
命意也又損滅人天所乘之世間乘住祕  
密內證乘是稱本不生際常住不退之延  
命之義也故云乘不可得也又用唵字事  
有之金剛智軌云即於火中想八葉蓮花  
於花胎中想於唵字光明遍照成金剛壽  
命菩薩文唵字本初不生義即生說有爲  
無常法也不生不滅是三世常住義也又  
大日經云有情及非情唵字第一命文故  
以唵字爲延命種子尤相應也

三形事  
略出經三云胸前繞腰如被甲像文此文  
結胃印處也故云繞腰所說甲ヨロイ調  
之順和名甲夜呂以似讀 餘取切  
聲也 但普通甲加不土胃夜呂以讀  
之歟所說夜呂以上價加不土爲三形也  
金剛頂經云無盡生死中精進本誓甲云  
甲胃是表如來大慈大悲本誓即被此甲  
胃於無盡生死之淤泥界不中短命天壽  
怖畏箭於諸衆生發大悲心即降伏魔界  
令成正覺義也甲胃表本有大慈大悲之  
理智功德故自證時爲胞衣或成天蓋長  
養正覺身也化他成佛時成衣服住屋等  
情盛衆生也乃至草木等葉利木皮笠等  
覆其子不令損壞成熟是即非情甲胃也

三形事  
略出經三云胸前繞腰如被甲像文此文  
結胃印處也故云繞腰所說甲ヨロイ調  
之順和名甲夜呂以似讀 餘取切  
聲也 但普通甲加不土胃夜呂以讀  
之歟所說夜呂以上價加不土爲三形也  
金剛頂經云無盡生死中精進本誓甲云  
甲胃是表如來大慈大悲本誓即被此甲  
胃於無盡生死之淤泥界不中短命天壽  
怖畏箭於諸衆生發大悲心即降伏魔界  
令成正覺義也甲胃表本有大慈大悲之  
理智功德故自證時爲胞衣或成天蓋長  
養正覺身也化他成佛時成衣服住屋等  
情盛衆生也乃至草木等葉利木皮笠等  
覆其子不令損壞成熟是即非情甲胃也

三形事  
略出經三云胸前繞腰如被甲像文此文  
結胃印處也故云繞腰所說甲ヨロイ調  
之順和名甲夜呂以似讀 餘取切  
聲也 但普通甲加不土胃夜呂以讀  
之歟所說夜呂以上價加不土爲三形也  
金剛頂經云無盡生死中精進本誓甲云  
甲胃是表如來大慈大悲本誓即被此甲  
胃於無盡生死之淤泥界不中短命天壽  
怖畏箭於諸衆生發大悲心即降伏魔界  
令成正覺義也甲胃表本有大慈大悲之  
理智功德故自證時爲胞衣或成天蓋長  
養正覺身也化他成佛時成衣服住屋等  
情盛衆生也乃至草木等葉利木皮笠等  
覆其子不令損壞成熟是即非情甲胃也

故一切有情非情皆悉不被此甲冑無全身命如來化儀非此甲冑無利益衆生義也

道場觀事

千葉寶蓮花葉云：凡初地菩薩座百葉  
二地千葉三地萬葉也依地位階級各增  
十倍今千葉第二地之報身也謂金剛薩  
埵者初地菩薩是成延命菩薩故第二地  
也仍坐千葉云

問金剛薩埵者善賢因位時受灌頂於大日成果位名金剛薩埵是果而非因何金剛薩埵云初地哉 答金剛薩埵誠果體也然善賢是因位本有也故初地此初地者衆生本有之善賢體也是善賢與薩埵初地二地對揚時事也今不然金剛薩埵望佛果亦是初地也故誓云初地也

問普賢因位藏堦果位也是因果和合呵  
云普賢藏堦何名普賢延命哉 答普賢

延命菩薩薩埵只同事也。西院流普金次第行別尊。是因果不二之義也。當流普賢延命法全一同也。名異義同可知之云。又云覺阿院口訣云。千葉蓮第二地菩薩所

也。大勝金剛爲本第二地已上不可有佛

佛云：豈非究竟佛乎？

問大勝金剛爲本義如何 答諸佛中以

命金剛智口訣也此尊最甚祕經誠文也  
佛頂爲最上頂相勝故也此尊祕經說可  
見之十方淨妙國○尊獨無比此大轉  
輪王能摧諸佛頂能攝諸等覺親近爲眷  
屬女當尊豈非最勝果滿之佛乎晉賢延  
命金剛智口訣也此尊最甚祕經誠文也

仍大勝金剛爲本云歟。可思之。猶々可愛。  
明師口訣已上。

臂像。白肉色。左五股鈴。右五峯杵。頂戴五  
佛之寶冠。千葉白紅色蓮臺。座云：是影  
勝陀羅尼經說也。理性等用之。此經說似  
佛。命喚只二臂。寺名延命法。二十

時不名延命法，二十臂時號普賢延命法也。二尊雖別，真言儀軌等同故。一經中交擇繁，故引爲證也。云々

祇經云身住千葉大白蓮花文大勝金剛  
卽座千葉白蓮位同今尊故云爾也  
或云以千葉寶蓮爲座者第二地座千葉

蓮花初地一切衆生本有藏地內訖普以  
其養也。自第二地修生成佛外途。佛之種  
從此立也。此教意。佛者只第二外無佛也。  
開初地自證功德。第二地已上。豈示化他

## 黃金色事

口云身黃金色者卽異字不生色也短命  
天壽歸本生色常住不變延命也又異字  
第一命遍於情非情故現此色也又云金  
色理智不二赤白和合色也此尊不二法  
性大日如來也

## 持鈴杵者

善賢延命二十臂、十六大菩薩四攝也、此二十臂初後、五股鈴也、以此初後手攝中間、今延命以鈴杵二臂、二十臂威儀皆具足也、五股者、上下五凡五聖、十界不二、表無勝劣、雖然五股卽是表五智也、當胸者、

義也。左手持鈴者，左定是覺覺長眠衆生令知心中本有五智義也。但當左腰者，腰歸與字本理義也。與字者自性與字也。實

有理

當腰止聲人自綴義也自證故三世常住壽命也

印事

金剛壽命陀羅尼法云一手金剛杵以頭指右押左相鉤安於頂上即誦金剛壽命陀羅尼七遍文

口云次第印文知安是口訣相承也二風相鉤者右風佛界命息左風衆生界命息也是生佛命息鉤結延命義也迷悟一體故就本有金剛界之薩埵爲三世常住

句義事

此真言出金剛壽命陀羅尼經名金剛壽命真言不空經名延命心呪護摩軌名延命真言也護摩軌云於婆娑訶上為自他願增福或延命語或當時心所願安如是語略抄

一行宿曜軌云延命真言呪引摩折羅喻師某甲薩毗軌左手捻火指空指如持蓮花右手常途不用此印也真言末加句事私云常途不用此印也真言末加句事是又其證也某甲云

實心云餘尊真言下可誦加句其故經執金剛四天王句皆入此呪見是祕事也件餘尊者祈延命或樂師或不動焰魔天等如是尊句末誦之也此尊法中非所在尊也云

結胃印事

不空軌云結金剛壽命加持甲胃密印各以二手作金剛拳以進力右押左相鉤安於頂上即誦壽命真言此印如掌七遍為本尊加持然後安額前分手緊項後也直舒進力旋轉如環下至心上相纏誦護身被甲胃真言此印如掌勢大背後復繫來至臍兩膝橫喉當心二肘頂前頂後復至額前重繫頂後金剛拳繫漸垂兩手徐徐而下如垂帶勢如此每印結繫誦被甲真言成被甲胃由此加持故獲得金剛身如金剛不壞離諸災橫見

者歡喜一切人民生大恭敬文金剛智軌云復想金剛薩埵菩薩相好即結金剛壽命陀羅尼印二手金剛拳以頭指右押左相鉤安於頂上即誦金剛壽命陀羅尼七遍安於額上分手緊項後直舒二指遍身旋轉如轉甲胃勢甲胃真言曰此結反轉日羅合欲由加持此印故獲得金剛身如金剛不壞離諸災橫見者歡喜生恭敬

口云誦命陀羅尼者次第中初明也但不空軌文結處悉舉之今天第結處轉相連當流之口傳依金剛界之次第結之也先二拳舒二風相向右風端想字左風端想字從二指端字流出青色組當心誦此印即順繞如轉系相結三度次至背順繞如轉系相結三度次至右膝同誦相結三度次至左膝同誦相結三度次

常膝同誦相結三度次當腰後同誦相結三度次至右肩同誦相結三度次至左肩同誦相結三度次至喉同誦相結三度次至頂後同誦相結三度次至額前同誦相結三度次至頂後同誦相結三度如是當十二處印少動迴心可當彼彼處次各舒掌徐從西邊下作垂帶勢是堅首頂也此印依金剛界次第即從初心練磨之故可用之必非功能之勝結處次第兩儀軌遠之也亦今次第文少遠歟但任行者之意樂可用何也不苦此結胃印結鑠引合意也

是即法爾不二義也其故六六不和合時

無五智圓滿之義是五智圓滿六大無礙也故理智不二之道理只有此結胃印右風指字大智方便故悲愍眾生下化之義也左風指字是大悲方便故覺諸佛上求菩提下化眾生之義即和合成不二實義故三轉究竟為本有常住薩埵也但左手配大智大悲義常事也即右風指大智命風左風指大悲命風是佛界眾生界命風也流出青色組者青色春色東方發心色也春諸草木等皆青色也是雖非情猶示存命之色此即金剛薩埵命根延命也二風亦有字命根也疏十云經中命者所謂風也風者想也想者念也如是命根出入息之想文此意也又金剛薩埵者等八識圓明體也八識字風輪也風輪眾生息風也色心中色法也故云命根體也

問初真言用印字結胃明用印字其依憑何答今加濕繫點故離生老病死怖畏令得涅槃寂靜固常住之命意也壽命經不云云受持念誦每日各三時時別千遍過現所有惡業因緣短命夭壽山持此陀羅尼故信心清淨業障消滅更增壽命又云現生不轉父母身生身獲五神通陵空自在文

散念誦事

口云本尊真言云是二種共可用之也但壽命真言千遍可誦之執金剛真言出金剛智壽命經彼真言曰



白寶口抄 普賢延命法上

本書事

一切如來金剛壽命陀羅尼經一卷  
金剛智譯梵釋闍本智證請來今在錄

中載之

金剛壽命陀羅尼經一卷

不空譯大師智證闍本

金剛壽命陀羅尼經一卷

內云一切如來金剛壽命陀羅尼經不

空譯貞元新入目錄

私云前件金剛智及不空兩本今見行

世而此錄中以爲一本者非也

佛說一切諸如來心光明加持普賢菩薩

延命金剛最勝陀羅尼經一卷

不空譯

寂錄云一切如來心光明加持普賢菩薩

延命陀羅尼經一卷 不空三藏譯

此同先譯壽命經同本異譯也四紙

一切如來普賢延命經一卷 寂

寂錄云普賢菩薩延命金剛最勝陀羅

尼經一卷 不空譯

護命法門神呪經一卷

貞元 闍本 梵釋 運

續古今譯經闍記云護命法門神呪經

普提流支譯沙門行感等同譯沙門戰

陀婆羅門李無誦等譯諸沙門處一等

文

壽延經一卷 梵釋  
佛說招魂經一卷 梵釋闍本今  
金剛壽命念誦法一卷 在錄中載之

內云陀羅尼念誦法一卷 貞元新入目

錄 圓覺海列外題仁珍列內題云金剛

壽命陀羅尼經念誦法珍錄云金剛壽

命念誦法一卷仁錄又無經字

梵字金剛延命真言一本 仁

護摩放生儀軌一卷

或云儀軌法貞元圓覺梵釋

或人云此儀軌不可入延命法歟

諸佛集會經一卷

天台所用也

金剛智口訣一卷 唐書云

惠什云大師御作云小野僧正用之

給或仁和寺祕書云

法三宮次第一帖 惠什本

石山內俱釋一帖

此法生起事

儀軌云 不空 毘盧遮那如來於色界頂第

四禪成等正覺即下須彌山頂於金剛寶

樓閣一切如來雲集前後圍繞所謂金剛

界輪降三世教令輪遍調伏輪一切義成

就輪如是四輪從毘盧遮那心出一輪

皆有三十七聖者依一切如來請欲轉法

輪時即入三摩地觀見大自在天剛強難

化執持邪見非我寂靜大悲之身堪任調

伏即入悲怒三摩地從胸臆間現出五峯

金剛大菩提心流出四面八臂威德嚴盛

降三世身遍禮毘盧遮那及一切諸佛唯  
願世尊樂於我所作爲佛告降三世汝  
降伏彼難調伏大天等令悉歸依諸佛法  
僧發菩提心唯大天特威德而生拒敵降

三世種苦治乃至於死左踏大天右踏

天后於是毘盧遮那入大悲怒三摩地已

即說金剛壽命陀羅尼便入金剛壽命三

摩地乃結印加持魔羅首羅天王天王還

後得觀更增壽命歸依諸佛發菩提心灌

頂受記證得八地位 取道

勤修先跡事

承保二年十月九日於高陽院嚴修之法

印覺尋號法性寺座主伴僧二十口開白

行幸云

或記云此時初修之云可尋之

承曆四年六月十八日覺尋依官旨修之

承保三年十月二十八日天台座主良真

修之

承德三年十月十七日良真修之

已上四箇度白河院

長治二年四月二十三日於尊勝寺觀音

堂修之箇城寺樞少僧都長覺

同二十七日於同道場修之延曆寺法印

賢退兩人共仙院奉爲主上御除病建立

丈六像被修之

長承二年六月二十四日於法勝寺被修

之仁和寺法親王覺法

或云東寺勤修之初度歟云

承德二年六月二十四日卷數有之依院

宜於鳥羽殿修之 東少始錄

私云二箇度之日記若漫亂敷不害也可尋之自爾以降東寺天台勤之先跡雖多不遑記云

建久六年八月申宮御產御所法務僧正覺成修之伴僧十六口無不斷經云承久元年九月五日於水無瀬殿廣御所修之僧正成實伴僧二十口被勤修之時作法等光實記之云

勤修日事

普賢延命經云依月一日八日十五日建立道場文金剛壽命念誦法云 別本 若能於三長齋月或自本生日作是供養能除災難增益壽命國土安泰無諸災疾風雨已時一切賢聖擁護其人 文

金剛壽命陀羅尼經法云 不空 若能於三長齋月自生日乃至生日作是供養能除災難增益壽命具大福智勝願圓滿行來於人宮位高還當饒財寶悉稱意 文

私云山王院云三長齋月者謂正五九月也故法臺云正月是衆生現生之初五月是興感之中九月是欲藏之始又世傳云天帝分月判四天下正月南天二月西天三月北天四月東天五月南天乃至九月還至南天雖未見正教深有其理 文

名字事

梵號 釋日羅目佉三昧耶薩恒顯

密號 廣實金剛

石山內供普賢延命釋云此菩薩有三名一普賢延命者是遍一切處義賢是最妙善義謂善提心所起願行身口意悉皆平等遍一切處純一妙善備具衆德故以延命梵云 阿耨多羅三藐三菩提 釋云此菩薩者漢言金剛即金剛者一切如來本有不壞之智一切衆生自心理所又有種智雖沒在生死淤泥經無數劫而不朽不壞摧破諸煩惱如金剛雖久埋地中而不朽不壞摧破諸怨敵

固物故以爲名蓋觀者漢言壽命喻者乘義觀者鈍義鈍義者猶如木石無所識知無所觸受義也故大品云般若無知自性鈍故乘彼金剛自性鈍故離世間之怖畏以壽命長遠也臂如不朽之木不實之石龍在幽谷之地自去人倫之用二者人安樂不空三昧耶眞實善提者大受茶羅義述云蓋表諸佛普賢之身周遍器世間及一切有情世間以其無邊自在理常休寂不妄不壞故有是名也三昧耶者平等本

不空故得是名矣梵云 阿耨多羅三藐三菩提 釋云此菩薩從普賢身流出大智大悲發起平等本誓大利益安樂一切衆生眞實不空故得是名矣梵云 阿耨多羅三藐三菩提 釋云此菩薩從普賢身流出大智大悲發起平等本誓大利益安樂一切衆生眞實不空故得是名矣

依悉深祕不釋義理大底見三者名金剛薩埵者金剛義如前釋薩埵者梵語略也具足應云摩訶菩提薩埵論云善提名諸佛道薩埵名衆生或名號勇心是人盡欲得諸佛功德其心不可斷不可破如金剛山是名薩埵復次此人心能爲大事

不進不轉大勇心故多衆生中起大慈悲成立大乘能行大道得最大處能說法破一切衆生大邪見大愛大我心等諸煩惱故名爲摩訶薩埵云是勇心之義也阿闍梨云素珍者是忍樂修行堅持不捨義也大日經疏云諸六道凡夫不知實諦因

果心行邪道修習苦因緣著三界堅執不放故爲名二者有識薩埵即二乘也提覺知生死過患自求出離得涅槃榮著保化城滅度想於如來功德未生願樂心故故以爲名三者菩提薩埵無上善提出過一切墮度戲論種過失是一向純善白淨微妙不可譬類之義即是衆生本性不思

議心也能忍如是成道事願樂修行堅固不動故名菩提素珍矣如是義理不可窮盡對舉一隅以示三方今云金剛薩埵有三種名一者金剛薩埵二者金剛手三者執金剛初云金剛薩埵者灌頂名號具如上釋次云金剛手者又是灌頂號也理趣釋云此菩薩本是普賢從足應遮那佛二手掌親受五智金剛印即與灌頂名之爲金剛手矣復次金剛者掌持金剛與手執義同故大日經中此二名互出也此菩薩執金剛印常侍衛佛故爲名舊翻云或云金剛密迹或云金剛力士是皆一大士差別名號也 文

不進不轉大勇心故多衆生中起大慈悲成立大乘能行大道得最大處能說法破一切衆生大邪見大愛大我心等諸煩惱故名爲摩訶薩埵云是勇心之義也阿闍梨云素珍者是忍樂修行堅持不捨義也大日經疏云諸六道凡夫不知實諦因

果心行邪道修習苦因緣著三界堅執不放故爲名二者有識薩埵即二乘也提覺知生死過患自求出離得涅槃榮著保化城滅度想於如來功德未生願樂心故故以爲名三者菩提薩埵無上善提出過一切墮度戲論種過失是一向純善白淨微妙不可譬類之義即是衆生本性不思

議心也能忍如是成道事願樂修行堅固不動故名菩提素珍矣如是義理不可窮盡對舉一隅以示三方今云金剛薩埵有三種名一者金剛薩埵二者金剛手三者執金剛初云金剛薩埵者灌頂名號具如上釋次云金剛手者又是灌頂號也理趣釋云此菩薩本是普賢從足應遮那佛二手掌親受五智金剛印即與灌頂名之爲金剛手矣復次金剛者掌持金剛與手執義同故大日經中此二名互出也此菩薩執金剛印常侍衛佛故爲名舊翻云或云金剛密迹或云金剛力士是皆一大士差別名號也 文

問延命與普賢延命同異如何 答延命法只普通延命菩薩法是小御修法也普

法只普通延命菩薩法是小御修法也普

法只普通延命菩薩法是小御修法也普

法只普通延命菩薩法是小御修法也普

法只普通延命菩薩法是小御修法也普



賢延命法大法也。凡延命普賢金剛薩埵四尊。大體是同。普賢者因位名。此尊受灌頂於大日。後手授五智。皆以來。號金剛薩埵。故持鈴杵也。是三十七尊中金剛薩埵一尊也。此薩埵入延命三摩地時。號延命菩薩也。又此延命菩薩。四頭象。具足二十臂。持十六大菩薩。四攝三形。而具足三十七尊。此體住本不生際。故三世常住內證延壽德也。是本普賢延命普賢者。因位延命者。果位也。故普賢延命因果不二一體尊也。仍猶為深祕也。

又云。既尋實體四尊。雖同體。約別相。是四尊。差別。謂普賢因位。是理身也。金剛薩埵果位。智身也。此智身薩埵之所變延命菩薩也。理身普賢之所變普賢延命也。本身既理智二身也。故末身又可有兩用也。開之今為四尊。但以用歸體。只普賢金剛薩埵之理智二尊也。亦合理智攝一小時。即大日一尊也。是即行者一心。亦眾生一心也。智心上假立命根名。延命菩薩。理心上假立命根。號普賢延命也。

問。何不云延壽名延命乎。答。俱云。速持云壽。一期為命。文故知此法延一期為新長命名延命也。

問。普賢入延命三摩地。其證如何。答。普賢延命經云。爾時會中有普賢菩薩。佛加持。寶金剛陀羅尼。乃至世尊。○召十方世界。恒河沙諸佛。滿虛空中。○以光明照觸普賢。乃得諸佛心印。○身毛孔

放無量微塵等數光。○即說呪曰。文凡延來生命事。不及一佛力。乃之釋尊。彈指召集十方一切如來。一切如來咸皆助我。說普賢菩薩。一切如來一心異口同音。說延命神呪。三世三千諸佛。以骨肉。二十諸尊本誓。為所持。摧短命業。是名普賢延命法也。真觀寺傳云。即普賢也。普賢菩薩為延命所現身也。三十七尊一聚。合身普賢延命大願菩薩云。

集會經云。世尊告一切眾生。若男若女。若長若幼。若為種。大怖所纏。謂生老病死。然於其中。死怖一種。最難除遣。我今為汝說除遣法。文此諸佛集會。經提雲。般若三藏。譯也。說除病延命法。作二十餘小壇。燒種。貴香也。

十卷抄云。觀山人師。依此經作私記。號普賢延命法。道理不明。其所以者。金剛智等三藏。譯壽命經法。及普賢延命陀羅尼經。專依彼可修行也。何故用顯宗三藏所行法乎。若無金智廣智。所謂儀軌諸尊者。可依玄非實思。惟等顯宗三藏。譯軌也已上。

私云。承曆四年六月十八日。於大裏金剛壽院法印。覺尋勤修之。于時法性寺座主也。伴僧二十人。其內大衆十二人。中堂衆八人也。大壇上方一肘小壇二壇。壇立之。彼次第。號如法延命法也。其作法。豐碑抄普賢延命法。與出之也。

口云。以字為延命。普賢種子。以字為普賢延命。種子。是一往義。歟。不空軌云。當觀字。○成大金剛壽命菩薩。文是延命菩薩也。同軌云。字是普賢延命種子也。文故知二尊。雖別真言。儀軌等。同故。一經軌中。交說也。又當流延命菩薩。用字。普賢延命。用字。事有之。石山道場。觀用字。又妙也。又說云。凡雖有二法之名。實是一妙。本說分明也。但正流口傳。只任師傳。相承。為本。字為延命。普賢種子。字用普賢延命種子。因義也。二尊延命者。是初無點字也。字因行證入之。次第轉證點也。是二十臂十六生。轉勝。像用涅槃點也。字者。諸乘不可得義也。乘者運載義。運載者。延長義也。即從近至遠意。運來生短命。致長遠壽命義也。故此尊三世常住不變之體也。三世者。損減有為。字義。常住者。字字義。不變者。非字涅槃堅固寂靜義也。一切眾生。三世損減壽命。乘如來常住壽命。住堅固寂靜。故以字為種子也。義釋云。轉迦如來久遠壽量。皆在衆生一念心中。文是。即於一切衆生。四相還流一念心中。得如來久遠壽量也。是以智證大師。以此尊為法花本尊。謂是損減義。即短壽。是連門壽景。寶乘。即長壽。是本門壽量。次生身短壽。見報身長壽。長短壽。即是法身壽量也。故。○兩字長報二身壽量也。字義門時。長短俱不可得。故法身壽量。是三身金剛壽命也。疏十云。

賢延命法大法也。凡延命普賢金剛薩埵四尊。大體是同。普賢者因位名。此尊受灌頂於大日。後手授五智。皆以來。號金剛薩埵。故持鈴杵也。是三十七尊中金剛薩埵一尊也。此薩埵入延命三摩地時。號延命菩薩也。又此延命菩薩。四頭象。具足二十臂。持十六大菩薩。四攝三形。而具足三十七尊。此體住本不生際。故三世常住內證延壽德也。是本普賢延命普賢者。因位延命者。果位也。故普賢延命因果不二一體尊也。仍猶為深祕也。

又云。既尋實體四尊。雖同體。約別相。是四尊。差別。謂普賢因位。是理身也。金剛薩埵果位。智身也。此智身薩埵之所變延命菩薩也。理身普賢之所變普賢延命也。本身既理智二身也。故末身又可有兩用也。開之今為四尊。但以用歸體。只普賢金剛薩埵之理智二尊也。亦合理智攝一小時。即大日一尊也。是即行者一心。亦眾生一心也。智心上假立命根名。延命菩薩。理心上假立命根。號普賢延命也。

問。何不云延壽名延命乎。答。俱云。速持云壽。一期為命。文故知此法延一期為新長命名延命也。

問。普賢入延命三摩地。其證如何。答。普賢延命經云。爾時會中有普賢菩薩。佛加持。寶金剛陀羅尼。乃至世尊。○召十方世界。恒河沙諸佛。滿虛空中。○以光明照觸普賢。乃得諸佛心印。○身毛孔

放無量微塵等數光。○即說呪曰。文凡延來生命事。不及一佛力。乃之釋尊。彈指召集十方一切如來。一切如來咸皆助我。說普賢菩薩。一切如來一心異口同音。說延命神呪。三世三千諸佛。以骨肉。二十諸尊本誓。為所持。摧短命業。是名普賢延命法也。真觀寺傳云。即普賢也。普賢菩薩為延命所現身也。三十七尊一聚。合身普賢延命大願菩薩云。

集會經云。世尊告一切眾生。若男若女。若長若幼。若為種。大怖所纏。謂生老病死。然於其中。死怖一種。最難除遣。我今為汝說除遣法。文此諸佛集會。經提雲。般若三藏。譯也。說除病延命法。作二十餘小壇。燒種。貴香也。

十卷抄云。觀山人師。依此經作私記。號普賢延命法。道理不明。其所以者。金剛智等三藏。譯壽命經法。及普賢延命陀羅尼經。專依彼可修行也。何故用顯宗三藏所行法乎。若無金智廣智。所謂儀軌諸尊者。可依玄非實思。惟等顯宗三藏。譯軌也已上。

私云。承曆四年六月十八日。於大裏金剛壽院法印。覺尋勤修之。于時法性寺座主也。伴僧二十人。其內大衆十二人。中堂衆八人也。大壇上方一肘小壇二壇。壇立之。彼次第。號如法延命法也。其作法。豐碑抄普賢延命法。與出之也。

口云。以字為延命。普賢種子。以字為普賢延命。種子。是一往義。歟。不空軌云。當觀字。○成大金剛壽命菩薩。文是延命菩薩也。同軌云。字是普賢延命種子也。文故知二尊。雖別真言。儀軌等。同故。一經軌中。交說也。又當流延命菩薩。用字。普賢延命。用字。事有之。石山道場。觀用字。又妙也。又說云。凡雖有二法之名。實是一妙。本說分明也。但正流口傳。只任師傳。相承。為本。字為延命。普賢種子。字用普賢延命種子。因義也。二尊延命者。是初無點字也。字因行證入之。次第轉證點也。是二十臂十六生。轉勝。像用涅槃點也。字者。諸乘不可得義也。乘者運載義。運載者。延長義也。即從近至遠意。運來生短命。致長遠壽命義也。故此尊三世常住不變之體也。三世者。損減有為。字義。常住者。字字義。不變者。非字涅槃堅固寂靜義也。一切眾生。三世損減壽命。乘如來常住壽命。住堅固寂靜。故以字為種子也。義釋云。轉迦如來久遠壽量。皆在衆生一念心中。文是。即於一切衆生。四相還流一念心中。得如來久遠壽量也。是以智證大師。以此尊為法花本尊。謂是損減義。即短壽。是連門壽景。寶乘。即長壽。是本門壽量。次生身短壽。見報身長壽。長短壽。即是法身壽量也。故。○兩字長報二身壽量也。字義門時。長短俱不可得。故法身壽量。是三身金剛壽命也。疏十云。

字是乘也。此乘者速疾無比也。四大象生老病死四苦。卽字損滅也。是表界內生身無常壽命。千葉蓮花。清淨不染。德卽字寶乘義。表久遠實成報身壽命。摩形上中下支分。三世俗住法體也。甲胃守護義也。仁王經陀羅尼釋云。字者一切乘無所得。若瑜珈觀智相應。說得圓成於諸乘中。教理行果悉皆得直如法性文。

私云智證釋字也。

種子異說事

妙抄云。種子字。三摩甲胃又說云。又說。其三摩五股云。授心抄云。字三形甲胃。祕中深祕也。三形五股。普通也。其五股深祕也。經到字第一命說之故也。云。胎藏界遍智院大安樂不空身種子或受或或可也。是普賢延命同體故用之也。石山釋云。種子有五種。一。其字。二。其字。四。其字。五。其字。云。字義可見彼釋也。口云。妙抄其字五股者。金剛智口訣曰。八葉座上有命字。其成五智杵。轉成本尊文。此意也。其字。瑞磨會金剛薩埵種子。卽涅槃點因行證入之次第轉證也。十六生初故經十六大生運多劫壽命義也。其字卽薩埵之心也。五股彼三形也。石文抄云。其字五股云。是薩埵種子三形也。其字是識大種子。故用之。歟。彼抄云。師傳云。其字破有空二執字也。破二執叶中道也。衆生依執心生病。依病受死。空有二執者。衆生罪根本也。依罪人者。短命也。中道性者。諸

佛法命。五智根源故。五股金剛者。五部諸尊之智印。諸佛皆從此生。給以一佛一菩薩。以五智金剛摧短命業。是延命法也。三形事。

甲胃如來之大慈大悲義。著此甲胃。於生死不中短命怖畏之箭。一切衆生發大慈大悲。能除無常遷流之惡見。令成佛身。常住壽命義也。疏第九云。次說金剛觀眞言者。爲莊嚴金剛薩埵身故。行人已發金剛誓願。欲爲一切衆生摧滅諸障。故以寂融。

精進被服金剛甲胃。且如六波羅密。一。如實相。皆如金剛。不可破壞。文又云。以被如來金剛甲故。旋轉六道出生入死。一切煩惱業苦。所不能傷。若就淺略釋者。山行。

人以此眞言自加持。故一切諸天龍等見。皆同於金剛薩埵身。通體皆被金剛甲胃。堅密無際。光如猛焰。是故一切爲障者。皆不能傷也。文又云。次明甲義。若法是造作。

故所成。常知但有假名。從緣遷變。尚不能自固其性。況能蔽擲六摩利箭耶。今觀金剛體。無盡莊嚴。皆悉離諸造作。是故堅固不壞。百非所不能干。是故名爲金剛甲胃。

私云。甲胃事如延命法。故不委細也。道場觀事。口云。次云。須彌山頂云。金剛智三藏。

普賢延命口訣云。須彌山頂有眞字。變成七寶殿堂。其中有其字。變成八葉蓮花。文。

是大日如來於色界頂成正覺。卽下須彌山頂說此延命法。故觀須彌山頂也。五千群象事。

次第云。五千群象。負一大金剛輪。其輪上有四行字。成四大象。文。普賢延命經云。千葉寶花。下有白象王。象有三頭。鼻獨股。

杵。各具六牙。其象四足。踏一大金剛輪。輪下有五千群象。各負其輪。文。金剛智口訣云。千葉寶花。下有四大白象。其象各向外方。立象頂上有四大天王。文。

口云。五千群象。事出普賢延命經。先象者。西天乘物。以象爲奇妙。有大力不驚動。故相應常住不變之延命事也。五千群象者。五行義。千舉滿數。各持千力。保一大輪。

命根也。上四象。卽生住異滅四相於命根上遷流。故頭上立四天王。除生老病死之四苦。能守命根義也。或象金剛部乘物也。大力不動獸也。卽表煩惱熾定。義。慧必住定。故也。深祕云。象。猶微盛。大力強盛者。一切衆生。此微盛三毒同時斷。成就。

故。荷負持云者。建立成就。義。成就衆生事。不二行位。生死重障。衆生。荷負故。重擔者。普賢經。焰浮提人。三障重故。以智慧力。化乘白象。文。象。五千表五根本之煩惱。千。枝末之隨煩惱。義也。古譯仁王經云。手持五千劍。輪文。五千煩惱。表摧五千惡也。今五千象。摧五根本煩惱。

實任云。五千群象。雷百八也。表百八煩惱。變成百八金剛體。歟。云。或云。五千群象。

變成百八金剛體。歟。云。或云。五千群象。

上四象衆德善賢釋隨大象行舉足下足生七千象以爲眷屬云。

私云。裏道場觀云白象王以七千象爲眷屬云。若依普賢經歌。

口云。付象有異說。四頭象無說所。師傳也。其相承者。惠果大師。眞雅。源仁。益信。法皇。寬空。寬朝。濟信。如是相傳也。

又三寶院云。天台本一身四頭象。小野僧正所持。本四頭象。象頭立四天王云。勝俱毘陀云。四頭象秘說也云。但四頭表除衆生。生老病死四苦也。普賢延命經。白象王有三頭頭也。一心三頭象也。三頭是表老病死三苦。一身是表生也。自宗即身成佛義。生體本分段之身也。擇此體成佛體。故只除老病死三得不壞身也。仍除生餘三有爲也云。或三頭表生老病死。利那故除之。小乘經中釋生異滅不立住是凡愚。利那云住事爲命知也。或三頭表生老死。十二因緣時云生老死是。三有爲義也。或三頭壽煥識三也。俱命云。壽煥識三法也云。或三頭壽命色力之三也。經云。壽命色力皆得成就云。

或畫像本三象各別合尾後立之十卷抄等圖之也。是未見本文也云。

或云。智證說云。此三身三頭。例如四頭四身。三身表老病死之三苦。除生何。除生苦難生。苦利那苦也。仍可除之也。二十臂像乘四箇白象。金剛智口決也。四象向四方合尾宛如十字也。表生老病死四苦。即

四象頭上立四天王。表對治生老病死之四苦。除此四苦。成金剛壽命義也。集會經云。世尊告一切衆生。善男善女。若長若幼。皆爲種。大怖所纏。諸生老病死。然於其中。死怖一種最難除遣。我今爲汝說除遣法云。

以鼻卷獨股件事。口云。無金剛智口決。說普賢延命經也。象鼻卷獨股者。獨股件者。須彌山也。帝釋所持之獨股件是持須彌山習也。即帝釋住須彌山。表彼所居主也。今此須彌山所居之道場也。故彼象又持所居意也。報恩院僧正云。獨股須彌山也。無熱池邊有大象。帝釋戰修羅時。乘彼象。象拔大山打破修羅之軍云。意被大誓之甲冑降伏天魔惡類。爲成三世常住之正覺。乘彼象。賦問何故以鼻卷之乎。答或云。以五根配五佛之答。或云。以五根配五佛之時。以鼻根爲無量壽。若第六意識安樂之時。自鼻氣出成命根。獨股者。三世常住大日獨一身。身三昧耶形也。是故以六識無常命息。卷常住大日獨股。則是常在靈山壽量久遠。實成自受用身也。又此卷所座之千葉蓮花是。即法身成道儀式也。智證釋云。遠近成者。是方便。此果詮量正在報身云。以此等習。此尊爲法花之本尊云。又云。大壇即五佛三摩耶表示也。其中。以五色糸爲彌陀。以獅爲寶幢。佛是獨股也。東方阿閼智。自性身也。禮懺經云。自性身阿

閼佛。文是故以無常五色命息。卷常住智性獨股意也云。

私云。鼻者五藏之時。肺藏肺。五行之時。金也。故卷金剛杵。金剛杵者。獨股。摧破一切怨敵義也。帝釋執金剛杵。摧破修羅軍。又金剛力士等持金剛杵。退魔障。器械也。今金剛杵摧破生老病死之四苦。難即成金剛不壞之體義歟。

又肺藏鼻也。鼻字即鼻聲也。此鼻字能破空有二執。破二執故中道義也。凡愚中道一實是諸佛慧命也。表此慧命實體。即獨股金剛也。五股五智。金界根源。五部諸尊之智印也。三股三部胎藏根源。佛蓮金諸尊之理印也。此兩部諸尊根源不二一體之獨股杵也。仍以一佛一菩薩等力。延衆生之壽命。德廣大也。況以兩部諸尊聚集之慧命。金剛杵摧破衆生短命之業。於令成三世常住惠命乎。誠是延命法甚深也云。

四大天王事。普賢延命經云。爾時四天王等。垂佛加持。助普賢菩薩。延命各立誓言。要阿世界南瞻部州。但有此經法流行之處。我等四王。即爲結護。令無天橫。如有此經法清淨道場。如不降。起。願我失此。此光損我。果報還失。善提心不得解脫云。

金剛智口決云。有四大白象。其象各向外方。立象頂上有四大天王。向外方立。持護

世界東方持國天王其形忿怒露齒首髮  
聳上猶如夜叉髮際有金環身色綠青著  
金剛甲冑左手五指端微曲恰如持物右  
手執刀橫胸臆前刀下首左如切物勢兩  
方增長天形如前但身色赤火不露現廣  
二手外轉二大指並立當心前西方廣日  
天其形如此但身色白二手腕相交右押  
左持刀索或持之北方多聞天身色黃金頭  
冠上有赤鳥形如金翅鳥天身著甲冑帶  
刀左手持寶塔右手執三股叉文

口云四天王誓護世界故備莊嚴等立四天  
像是守護義也殊助延命大願各立誓願  
為結護故此法相應也  
深祕云四象者表生老病死之四苦是亦  
生住異滅之四相遷流也其像頂有四天  
王表四方向季即四天生身四季之色即  
鎮護四相遷流之無常衆生身命令安穩  
金剛善神也此天亦四大種也四大調和  
之時諸根安穩泰平也安穩時壽命亦長  
遠也皆是心府四大和合堅身體天不和  
是壽命不全佛菩薩亦具足四大為表其  
義安置四天王也金剛界成身會四角圖  
半出之四大神此義也其種子我念我  
也可知也云

其次云高野山人子被噉狼死親悲歎之  
間大師以蘇生呪加持之給時即蘇生也  
其真言我念我念也可祕之云  
實心云我念我念是延命呪也云符準  
問五大中除何字依憑如何 答四大調

和成無相大空故用四大呪許也  
問無相大空何延命乎 答諸教大空者  
不似諸教之空無相不改諸相當體大空  
故一切相也一切相即大空常住不變故  
是金剛壽命也

我字并我字等事

次云我之上有我字成千葉大寶蓮花  
王其上有我字成圓明淨月輪文  
普賢延命經云坐千葉寶蓮花文  
金剛智口訣曰其中有我字變成八葉蓮  
花華上有四我字成四大象象上有我字  
成千葉大寶蓮花王座其上有我字成圓淨  
月輪輪上有我字成八葉蓮文  
口云我字即我字心也是成本性清淨心  
蓮花心蓮開敷故顯九識命德我字本初  
不生故又無滅是不生不滅字成月輪此  
月輪性中有十六分大生諸佛及衆生本  
命即一切如來金剛命德之諸佛出生根  
本也

問千葉大寶蓮花文裏道場觀八葉云  
相違如何 答千葉經并口訣文分明也  
但八葉金剛智口訣也故共出之歟  
問蓮花色如何 答既千葉大寶蓮花云  
是七寶蓮花也法三次第云坐七寶蓮花  
云授心抄云千葉白紅色云胎藏圖  
云肉色二十臂持金剛界十六大菩薩四  
攝三摩耶形首戴五佛冠坐赤蓮花文是  
大安樂不空身事也若白紅色者此赤色  
事歟

大師云八葉白蓮云但是二臂尊白色  
坐白蓮花也胎藏圖內色坐赤蓮是依正  
共同色也云

三世常住○智身事

金剛智口訣云金剛壽命薩埵智身者五  
智聚集而為大樂金剛薩埵以四波羅蜜  
十六大菩薩而為二十臂以五分法身而  
為寶冠內四供而為禪悅外四供而為法  
喜四攝方便三世諸佛而為毛孔額已上  
過去千佛心已上現在千佛心已下未來  
千佛以此號三世常住金剛壽命薩埵智  
身成三世三千佛身此三世佛身聚集在  
現在一身故云三世常住也又四行菩薩  
文殊過去佛觀音現在佛彌勒將來佛普  
賢三世常住佛也云

其形如滿月童子事

普賢延命經云我此延命法先須彩雲普  
賢菩薩如滿月童子形文  
口云滿月童子者八歲云嬰纔十五歲云  
童子也仍十五日月圓滿如無闕減滿月  
只肥滿義是即圓滿端正之童子形或可  
觀之也故云其形如滿月童子也禮阿難  
文云面如淨滿月女龍樹十二禮云面前  
圓淨如滿月文又三十二相面輪端正滿  
月相文此等皆具證也靜遍云滿月童子  
者是生形也常小不老云生老病死中生  
形置老病死除也  
身黃金色事  
金剛智口訣云此尊通身黃金色文

口云此法就增益修之故黃金色尤相應也

釋云寬闊僧正本尊二十臂像肉色也於忍辱山拜見之云

此僧正本尊胎藏大樂不空菩薩也依彼說歟

祕藏記云大安樂不空金剛真實菩薩白肉色寶冠在五佛有二十手各持十六四攝三昧文

文泉房云二臂像白色云

戴五佛寶冠等事

普賢延命經云五佛頭冠右手持金剛杵左手持召集金剛鈴契璽維緩帶○於菩薩身放百寶光光外畫白月輪眾彩莊嚴

文

金剛智口決云此尊通身黃金色著五智寶冠具足二十臂而執持十六尊并四攝三摩耶願轉力法利因相業光輝炎鈎索被殊妙衣璽緩帶文

又云言金剛壽命薩埵智身者五智聚集而為大樂金剛薩埵以四波羅蜜十六智

菩薩而為二十臂以五法身而為寶冠定十手掌慧十手掌各每十波羅蜜

內四供養而為禪悅外四供養而為法喜四攝方便三世諸佛而為毛孔額已上過

去千佛心已下來來千佛以此號三世常生金剛壽命薩埵身文

私云前文十六大菩薩與四攝也後文四波羅蜜與十六大菩薩也兩文相連

今次第依前說歟

口云普賢延命經所說尊二臂也持鈴杵五股初薩埵三形鈴終鈴菩薩也故持初

後三形攝中間十八尊五秘密軌云金剛薩埵住大智印薩埵大智者從金剛界至

金剛鈴菩薩以三十七智成自受用他受用果德身文是初杵終鈴持之即攝三十

七尊是金剛薩埵也故二臂延命二十臂延命只開合異也兩身共三十七尊聚集

身也依經說天台等用二臂像東寺流多分依金剛智口訣用二十臂像也但理性

院實心如天台用二臂尊授心抄云普賢延命像乘三頭象三頭大象下一金輪

金輪下有五千群象二臂尊像白肉色左五股鈴右五峯杵頂戴五佛寶冠坐千葉

白紅色蓮花臺是般勝陀羅尼經所說也云文泉房云不空三藏傳云二臂尊左

鈴右五股所乘象三頭象下有五大金輪下有五千群象云薩埵初位也付之行

之者壇上有圓明月股月股中有五千群象群象上有大白象白象上有象字成白蓮

上有三頭大白象白象上有象字成白蓮花如蓮花蓮花上有本初不生其字月輪

成如蓮花也觀之白蓮花上有象字成五股金剛杵變成金剛薩

埵身著五佛寶冠左鈴右五股白白色也四大天王圍繞云

私云諸師用二臂像為才得用之舊流以二十臂為習二臂像經說上非不用

之延命法本尊二臂像但不乘象以之為異但餘流師延命法乘象是今二臂

普賢延命菩薩也如是流流差別不始於今何可和會哉

石山釋云以知一切諸佛菩薩所有二世之弘誓皆悉普賢願海矣頭冠安五智如

來頂戴盡空法界諸佛之行願焉身分偏四五之手掌荷擔佛利微塵菩薩之悲智

焉文

口云二十臂尊三十七尊皆入延命三摩地謂寶冠有五智如來四波羅蜜攝四智

十六大菩薩所持物分明也此十六大菩薩配當十地尋十地時景二阿僧祇劫也

故一菩薩各持供瓶百千大劫壽命故名十六大生此菩薩立延命大願以長壽

安樂受與持者以之為今此菩薩本誓也喜樂歌舞內四供攝禪悅香華燈塗外四

攝攝法喜故八供自然可攝法喜禪悅食也索魂魂結縛也鎖魂令堅住也鈴魂

魂令還生歡喜也此外二十手掌各每手攝十波羅蜜額已上攝過去千佛心已

上攝現在千佛心已下攝未來千佛以三諸佛為毛孔或為皮肉骨是現世悉地

中延壽殊強勝也故悉地中大悉地也以一佛一菩薩力此事難合成就故聚集多

佛多菩薩等成一身延來生短命業成遍身堅固悉地也即本尊行者施主三身命

每一體可觀之也如是修之時延來生命

自在無礙也

又云次第喪苦道場觀。又名大樂金剛不空真寶總攝五部諸尊云。此以大安樂不空菩薩號普賢延命。此菩薩於施主授無病長壽安樂太平富饒快樂。故稱安樂。此菩薩授與安樂。遙超過人天安樂。故號大安樂。如是殊勝利益。必定授與不空。故稱不空也。此尊居胎藏遍知院。彼院一切佛菩薩等總位也。故於胎藏為攝金界三十七尊。居總位佛菩薩中也。故此尊三世諸佛總體兩部不二一體尊也。問道場觀終無之如何。答。具足二十臂。右薩牙愛喜寶光輪笑鈎索。左法利因語業護牙拳鎖鈴而執持各三摩耶。額已上過去千佛。心已上現在千佛。心已下未來千佛。以之名三世常住金剛壽命薩埵智身四大天王金剛部諸大眷屬前後圍繞云。如是可觀續也。

白寶口抄

普賢延命法中

印事

金剛壽命陀羅尼法云。次結金剛壽命加持甲冑密印。各以二手作金剛拳。以進力持押左相鈎。安於頂上。即誦壽命真言。如云。次第印二頭指仰並云。是口傳也。謂二手金剛拳。金剛壽命堅固義。二頭仰並鈎結。頭指是風也。風者命根體。右本尊命根左衆生命根。故以本尊命根攝衆生命根行者。命息橫佛壽命。故成延命義也。又此印。舉頂上著。甲冑觀念。但今次第鈎結當心也。是二頭指鈎結。甲冑義也。二中指已下。冑也。故甲冑印也。結印誦明時。著金剛堅固甲冑。可觀不老不死也。

句義事

此真言名金剛壽命真言。護摩軌名延命真言。但護作護實作詞也。於婆訶上加爲自他願增。或延命誦。或當時心所願安。如是語文不空經并軌出之。又金剛智經并普賢延命經大隨陀羅尼末有之。諸佛集會經無之也。

一行宿曜軌云。延命真言。唵一摩折羅囉。勢。其薩。喇。訶。是其證也。壽命經云。若有善男子善女人。受持念誦。每日三時別千遍。過現所有惡業因緣。

短命夭壽。由持真言故。信心清淨。業障消滅。更增壽命。若有修習三摩地者。現生不轉父母生身。獲五神通。脫離空自在。文普賢延命經云。若有善男子善女人。怖畏天橫非命。及不祥事。即以沐著新淨衣。燒香散花。持戒延命。心真言。即得增長壽文。又云。或別持此陀羅尼。或著普賢延命像。作此方法。依月一日八日十五日。建立道場。燒四十九瓊花香。藥。各置十六器。散於壇上。合掌禮拜高聲誦此陀羅尼。及懷悔往咎。不墮三惡道。不捨於此身。獲得金剛壽命。更不輪迴。文又云。別持是陀羅尼。滿十萬遍。即獲壽命。病者即於夜夢自見殊境界。文軌云。業障消滅。更增壽命。能除災難。國土安泰。風雨順時。不轉生身。獲五神通。文石山釋云。世出世願。不老不死。願也。所謂延命願也。聖位經云。從菩提心出金剛光明。遍十方。令衆生頓證普賢行。又出薩埵加持故。到那猛勇心頓證無上菩提。取同經云。金剛薩埵普賢菩薩。即一切如來長子。一切如來菩提心。一切如來祖師。故一切如來禮敬金剛薩埵云。此三摩地名爲一切諸佛。此法能成諸佛。遠離此更別無有佛。是自性身不生不滅。量同虛空。則是遍法界身也。以三十七智成自受用他受用果德身云云。

又印結。口云。此印不依儀軌等。付金剛界次第結之。是當流相承之口傳也。先二拳舒二風。

相向。右風端想字。左風端想字。從二指端字流出青色組。當心誦字。即順繞如繩。系相結三度。次至背順繞如繩。系相結三度。次至右膝同誦。相結三度。次至左膝同誦。相結三度。次當膝同誦。相結三度。次當腰後同誦。相結三度。次至右肩同誦。相結三度。次至左肩同誦。相結三度。次至喉同誦。相結三度。次至項後同誦。相結三度。次至額前同誦。相結三度。次至項後同誦。相結三度。如是當十二處。印少動運心可當彼。處次各舒字。從兩邊下作垂帶勢。是堅首頭也。

私云金剛界從初心練磨之故用之。歟。必非功能勝也。

不空軌云。次結金剛壽命加持甲胃密印。各以二手作金剛拳。以進力右押左相鉤。安於頂上。即誦壽命眞言。後安額前。分手緊。七遍。爲本尊加持。然後安額前。分手緊。項後。直舒進力旋轉如環。下至心。上相。誦護身被甲眞言。至心。如繫甲。努次至背後復繫至。兩膝腰喉。當心。二肩項前。項後。復至額前。重繫。項後。金剛拳。繫漸垂。兩手徐下。而。如垂帶勢。如此。每印結繫。誦被甲眞言。成被甲胃。由加持。故獲得金剛身。如金剛不壞。離諸災橫。見者歡喜。一切人民生大恭敬文。

金剛智軌亦同之。延命法載之。私云。見兩儀軌文。共前印甲胃印也。安於頂上者。著甲胃義也。次結胃印。所前。

著胃之引合等。能結意也。故雖二印二明所詮。只一也。兩軌同說。速全非別體。歟。仍口傳不違儀軌意。甲胃印當心誦。明果。舒二風繫項後。著甲胃義也。故懸項誦。是甲胃眞言故也。次處。相繞時。誦。是也。謂如繩系作引結勢。是壽命堅固。令不老不死也。觀念。念誦法云。由加持此印。故獲得身。如金剛不壞。離諸災橫。見者歡喜。生人恭敬文。

已上二印明義。如延命法故略之。十卷抄云。普賢延命法云。師云。印又普賢延命與延命同印也。但於眞言習有延命呪。云。金剛壽命言與甲胃言。一。誦最秘也云。

私云。此事不審也。其故。延命菩薩眞言。以。普賢延命眞言。本說未勅。暫以。字。爲延命菩薩種子。以。字。爲普賢延命種子。故普賢延命眞言。誦。是。爲本尊。兩尊共用同儀軌印明故也。不空軌云。當觀。字。成。大金剛壽命菩薩文。壽命菩薩者。延命菩薩也。同軌云。字。是普賢延命種子也。又故知二尊雖別眞言。儀軌等。同故。一經軌中。如是交釋也。仍以朱加涅槃點。字。用之。延命菩薩眞言。可加。也。依種子用之。延命菩薩眞言。可加。

字。歟。故兩眞言。一。誦。加。非。最。秘。云。或傳用大樂。不空印明。云。印。相。如。金。剛。界。眞。言。出。五。祕。密。軌。顯。果。等。傳。也。故。云。或。傳。也。今。相。承。不。用。此。印。言。也。

國行傳印明事

口云。國行和尙傳印明。彼傳名獨股印。號祕印。言也。顯果等同用之。歟。今正傳必不用之也。野決云。伴二印明。一師傳。所注候也。雖然。今傳不用之。候其由。不注候。如何。事アリト。爲御覽也。先師實運不肯此事。候其故。金剛界大樂。不空胎藏之大樂。不空。即今普賢延命一體。故用彼印明。云。雖然。伴印明。雖爲普賢金剛薩埵之印明。不說延命功德。何強可用此法哉。若サノミ用普賢印明。又不可限此印明。歟。之由。申候。シナリ。然候。歟。本印明。已上。次第。既言。字。不用之。故。當流相承之。口訣。二。言。外。本尊。加。持。時。可。加。用。四。天。王。印。明。歟。若用之者。字。輪。觀。後。先。大。日。印。言。夫。本。尊。二。種。如。上。

次持國天印。頭。左。手。作。拳。屈。頭。指。中。節。頭。少。曲。以。大。指。直。中。頭。勿。捻。著。頭。指。上。右。手。亦。同。但。舉。腕。下。著。左。臂。上。大。指。來。去。二。腕。相。交。也。呪。云。次。增。長。天。印。左。手。掌。舒。右。亦。如。此。二。腕。相。交。二。中。指。鈎。結。如。案。二。小。二。頭。二。大。





口云眞言之中文字可用四字當流用也  
 以爲不可變不可變爲秘密是說無本說  
 數種子字用替換云或云最深微用招魂  
 呪云宗命云正念誦用契經云心月  
 輪中自本有金剛壽命無漏五大種子法  
 身常住慧命也衆生臍下腹中胸輪周間  
 頂上也由秘密加持故轉短命業障成長  
 壽色心云

本意眞言如來付根本呪結背呪也此眞言可誦十萬遍也經云別持是陀羅尼滿十萬遍卽獲命文降三世尊延命法生起尊也靜過三地降三世尊卽除遷流無常意也印二地相鈎卽與二風鈎同二地對字第一命二風命息以生續佛意云執金剛

曰云、執金剛菩薩者、普賢延命經等對告、  
衆故殊用彼呪也、  
四天王眞言、前出之、普賢延命經呪也、但  
曰、決出壽命經眞言、有數、經者付壽命經有  
三本、其中金剛智所譯經讀之、三寶院權  
僧正傳也、仁和寺法親王同之、然寶院  
大僧正令讀、不空所譯經、被私意、衆樂以  
權僧正傳、可爲正也、其讀音、如法花經等  
與音可讀之、不可讀漢音、午居禮盤可讀  
之、普賢延命經云、轉讀此經各四十九遍、  
又阿闍梨伴僧、每日各四十九卷、可轉讀

也。三時之間。三時十六卷。一時十七卷。許可讀也。都合三時四十九卷也。但本說難然。若運口之阿闍梨可隨口運速歟。於作俗者。必各可讀四十九卷也。此經大壇之右脇。入經箱可置之。或三卷許。成五卷。摺ソ、タル事故實也。或記云。高野師室長承二年。被修之。黃色幡八流懸之。經大壇經箱無之。右脇。入置之云。

施主命不定也。二十口之時，上薦十人念誦，下薦十人讀壽命經。足師傳也。昔賢延命經云，滿三七淨行比丘，轉讀此經，各四十九遍。念誦此真言，滿十萬遍，即獲壽命增長。文如本說者，二十一口之僧，各可讀四十九卷見。又真言數遍，八別十萬遍可滿之也。師傳上薦十人，每日各可讀四十九卷，下薦十人，別誦滿十人，可滿十萬遍。此等可相計，師難不分明。法經三處第云，依延命經，六人助修，日中時誦，發次願阿闍梨助修，讀各七卷，七日之內，七僧三百四十三卷，可載卷數云。

卷或人四十九卷云、  
又古支度千卷云、已上天台說也  
長承二年六月二十四日爲太上天皇御  
所於白河御所二品親王覺法被行此法  
新寫經一日五卷  
舊一卷別亦五卷也  
日一千卷、口別五十卷云、轉經每

入阿蘭梨七箇日間令著平袈裟伴僧開

北陽御宇口訣云經口男五十卷念誦每

一千二百區，合三千六百區可通之。普賢

有如是苦。但書寫此經。受持讀誦。文又云。

廢忘。離於短命夭橫之怖。及夜惡夢厭魅。

火兵毒之所傷者一切諸佛及大菩薩樹

定增壽命。若人每日爲一切衆生轉讀此

御加持事

世眞雪故命輪身故也云御用詩作法

讀事

開桑不出。雖密而呼之也。仁科寺。流等  
四智贊之次。金剛薩垂共出。譬補之。當疏

內秘密也。或云高野御室自令誦御云。

問：深曉之故，不載於錄，不出儀軌，云是誰？

人之相承乎。如何。答。讀有金剛智口訣也。云。天台勝林口云。阿闍梨深祕之故。不載於錄。不出儀軌。相承。金剛智。不空。惠果。法全。慈覺云。

迎請事

口云。大鈎召。或金剛部心

結界事

口云。降三世云。

字輪觀事

口云。五大。或如裏付也

### 白寶口抄 普賢延命法下

護摩事

口云。就增益修之。或息災修之也。諸師多分付增益法修之歟。就中當流相傳。就增益修之也。凡增益有四種。一。福德增益。謂能得廣大福也。二。勢力增益。謂能獲廣大勢力。官位爵祿也。三。壽命增益。謂能滅身中所有害命之病。增長命根也。四。悉地增益。謂能成無量悉地也。此即四種之中。壽命增益法也云。

火天段事

種子三形尊形等皆可黃色眞言可加增益句也。

部主段事

降三世明王故。自觀等如常降三世。但深祕種子三形五股尊形如常。其者命體也。五股者。命用也。以之爲祕也。自加持。例大印明如金剛界也。

召請

上同印言。以右頭指三召之。眞言加召請句并四攝明。

諸供物

古云。如來不可不。加增益句也。

撥遣

準召請以右頭指三。撥加撥遣句也。口云。或說無量壽如來云。延壽之部主。尤相應也。是東西不二。亦金蓮理智。

不二義也。或云。問。部主或說無量壽如來事。其意如何。彼西方佛也。此東方所攝也。彼敬愛佛也。是增益佛也。旁不審也。誰洩說乎。答。無量壽說。イト不感心事也云。

覺禪開聖云。部主阿彌陀爲吉。小野。或降三世增益。眞生尊。又胎金大日。亮惠用忙弄鶴云。文泉房云。部主一說不動是能延六月住故。又散念誦加之。此明王菩提心體。衆生安立本誓有之。是普賢菩薩一切如來菩提心行願體故云。

本尊段事

種三尊等如道場觀也。自加持印明。本尊印明。中實印明也。

召請。外五股印。以右頭三召之。

眞言前同。加召請句并四攝明。

供物。同眞言。加增益句也。

加持物

古云。不可不。加增益句也。

按此時想。入從本尊口至心蓮花臺。爲金剛甲冑。從本尊一一毛孔流出甲冑雲海。供養盡虛空遍法界諸佛菩薩聖衆。光明所至之處。一切衆生離短命之業。增長壽命之報云。

撥遣。準召請。

諸尊段事。

三十七尊如常。自加持。外五股印。

召請 同前以右頭指召之

諸供物

蘇油塗香乳木三種用上真青混池供  
大日三杓四佛各一杓用規磨言自餘  
尊普供養三杓供之也如常

世天段如常

加供執金剛四天王各真言初加壽命句  
供之祕事也

座位圖

火天

焰魔

增長

羅刹

持國

梵天

七曜

日天

水天

不動

帝釋

地天

廿八宿

月天

廣目

伊舍那

多聞

執金剛

風天

壇場莊嚴事

口云先大壇立有其次左立護摩壇亦其  
次左十二天壇其次左聖天壇立之也是  
常樣也若御聽聞所便宜有大壇左無力

大壇立左右次第立之也是故實也其道  
場隨便大幕引迴之其外假伴僧座各前

機傍立切燈臺也各二本大壇莊嚴如常  
大法開白日中四面大小佛供十六坏汁

小豆八坏餅菓各八坏備之後夜粥八坏  
初夜無供物如例塗香用沈香也名香體

金蘇香青木白檀等也又安息香云又  
大壇之中心如孔雀經仁王經等法轉讀

經外入經箱安置之也壇中方安火舍燒  
不斷香今此法共不用之也餘流用之敷

大壇上張青色天蓋懸八色幡事如次第  
之圖蓋青色如常但三股等影付事無之

也幡色裏付示異高野御室黃色幡懸之  
云又蓋色裏付略之也可知蓋否亦可

見裏付也近代皆略之報息院僧正五箇  
度被行一度不被用之也云

整禪閣梨師云天蓋一黃色幡八流長五尺  
可用之御室傳云幡天蓋共黃色八流

顯果云幡青白色或青色但以黃色爲正  
說云不空軌云懸諸幡蓋安置金剛三

世尊像文別本軌云於東邊安金剛壽命  
菩薩像懸諸幡蓋文金剛智口訣云欲作

此法月一日八日十五日建立道場燒四  
十九燈華香藥各置十六器散於壇上

供養此尊文立七層之幡燈高六尺或云  
五尺八九尺云本尊前大壇後立之也

又大壇與護摩壇間也  
間燒四十九燈文雖然不見輪燈本說如

何 舊陀羅尼集經第二云又燃四十九  
燈燈作七層形如車輪安置像前文是藥

師法時文也依之自他宗皆普賢延命法  
時用此輪燈也每一層各七燈蓋張迴燃

之也四十九燈者人死必七十四十九日  
迴冥途故故張四十九日之冥途暗水

爲表離生死蓋也作僧四十九卷讀經同  
此義也或云四十九燈七七日死終受生

始也仍爲延命放生即放四十九頭生類  
也

問此輪燈本所造儲數可有彩色哉然者  
何本造裁長如何 答本所造之不彩色

也  
口云輪燈之火三時燃之也大壇四燈是

常燈也云或輪燈四十九燈晝夜不斷  
燃之也云道教經燈有明明命也燈延

命文輪燈事藥師法時委細口訣畢可見  
彼也

護摩壇事  
金剛智口訣云又說延壽建壇之法云淨

治一室極深一肘除去穢惡不淨之物淨  
土換植之作一方壇量廣三肘置摩夷

甌如淨甌而於壇中心用白粉作一肘半  
金剛甲中央穿作一肘火爐或深半肘

若其不能穿取一火爐安於壇心亦得然  
後懸諸幡蓋安置金剛三世尊像供養之

不空軌云我今略說除災延壽建壇之法  
淨治一室極深一肘除去不淨之物灰骨

瓦石但一方壇廣三肘置摩夷甌如淨  
甌面○取河兩岸淨土地平○塗壇中心

畫以白粉作一肘半金剛甲中央穿一  
爐深半肘周圍緣如不穿者安一火爐○

壇四面供養飲食諸菓子等壇四角安觀  
文別本軌同之

天五

三

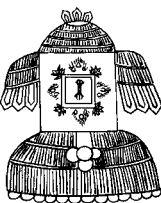
三

三

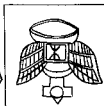




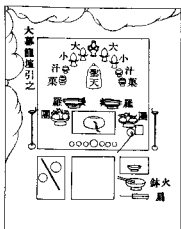
西院流圖樣也



仁和寺圖樣也

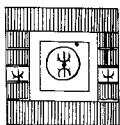


護摩鐘異圖十卷抄樣也



大藏經圖引之

行儀事



野決圖樣也  
調院僧正國道之故大常運之規模也

兼日奉行職事。願諸大阿闍梨時制狀注進支度也。支度一紙書之。不累二枚。亦無懸紙。若支度多時。用續紙也。著定大行事。承仕等獻之也。或後日獻之也。又迴請伴僧也。大行事相具承仕。前日參壇所。請取雜具等莊嚴道場畢。當日早旦。阿闍梨參宿所。鈍色裝束小袈裟也。奉行職事。送淨衣。請取分送伴僧也。開白時鼓。大阿闍梨申案內待勅定有勅定者。大阿闍梨著平袈裟。伴僧五條袈裟也。若開白結圖并皆參申事。由主上出御聽聞所。仰可始行由承仕集會金打之三十六。如常作法。其後大阿闍梨進立禮盤下。禮拜三度作法如常。

大著禮盤

行法次第。用別行次第也。

開白時。本尊新佛。大阿闍梨可有開眼作法也。

勸請 日中初夜用之

普賢延命大薩埵 金剛部中諸聖衆

發願 後夜用之

三世常住 普賢延命 金剛部中 諸大薩埵

三力金之後念誦讀經同時出之。伴僧上萬十人誦佛眼真言。振鈴以後。本尊呪也。下萬十人讀經。或振鈴以後。振鈴以後。護摩師起座入幕內。至于護摩壇前。

先大壇一禮小指。次護摩壇三度普禮。次著禮盤修護摩。初末程。神供師起座至神師所修之。三度也。十二天供。阿闍梨對師立座之後。同立座入幕內修之。初夜許也。次護摩了。如常取置關加器等下座。

次禮當壇。次禮大壇。還著伴僧座。十二天供了。又同還著伴僧座也。

大阿闍梨散念誦畢。作禮盤上讀經畢。大金剛輪真言二十一遍畢。後一字金打之。其時下萬止經聲。伴僧二十口皆悉同音誦一字呪。次後供養等。如常行之。

次降禮盤禮拜。如常。次著平座。次後加持作法。如常。

其後從下萬次第退出之。中間儀。

後夜。居第八。承仕打金。伴僧參集大阿闍梨行法前方便後打金。

打二。爲令法久住利益人天。以下如初夜云。

次五悔。次發願。以下如初夜云。

振鈴以後。護摩師起座入幕內作法。如初夜也。聖天供。阿闍梨護摩師立座之後。同



不然也。加持衣服畢。施主著用後行。御加持也。或雖非修法。別用此法也。先乞出施主衣服。初夜時了後。午居禮。盤以承仕取。

寄彼衣服。令置左脇机上。以軍荼利小呪香水。加持無之。供養法時。加持置故也。只直以散杖。清香水。加持各二十一遍。

如例其後。以散杖。香水。三度灑衣服上。也大取三股誦軍荼利小呪。右旋轉加持衣服也。二十一遍。次結治命印。二手外轉。十指乍轉。三度來去。○動十指一度誦真言。

一遍。然者。總動十指。三度誦真言。三遍也。口云。兩掌定。懺和合義。十指即十法界義。來去招識也。眞言。因業也。轉印。十界是六道九界。被引業。因輪轉。此。即被招識。

體也。懺時招之。三世常住。薩埵壽命。令一體堅密。仍此印名。活命印也。又云。眞言誦合出入之息。有口傳。唵。日羅薩埵。出。息誦之。呼。弱。入。息誦之。識。大。是。命。生。義。生。不可得也。涅槃點。本不生寂靜義也。云。

問。此印稱十界一如印。臨終時。祕印也。何故用活命印乎。答。印雖同意。各別也。臨終時。印十界一如義也。故不動十指。此印十界即去處。皆來入本身。故招十指。可知。

口傳云。玄祕鈔云。仰左右印。十指堅固。舒。堅。爾。合。向外。鈎。十指。作。招。勢。則。爲。金。剛。轉。即。成。文。此。印。左。右。十。指。舒。緊。合。付。大。指。側。向外。十。指。一。度。動。三。遍。每。度。誦。眞。言。其。後。爲。金。剛。外。轉。此。印。置。衣。服。之。上。了。是。祕。說。也。今。鈔。令。轉。招。之。不。順。玄。祕。鈔。雖。然。是。

猶淺。只如次第結之。師傳樣也。故深祕深祕也。

問。玄祕抄印。依何說乎。答。教王經十四云。此大明印。堅固。應作祕密。鈎。諸指向外而舒展。是印相合。置頂中。死者能令得還命文。此文意也。是印相合者。金剛轉也。又壽命經。印兩掌向下。開舒。並大指。八指三度招之。八指表八。除二空指也。此印同之。歟。或云。檀荼印。二大付二中指也。此其招之云。

私云。如是諸師異說多也。爲才覺載之。不可依用之也。

次唱偈。口云。結活命印。眞言三遍。誦之後。解印作金剛合掌。偈文一遍。可唱之。以下作法如次第。無子細也。此偈文者。教王經第十四云。爾時一切如來。爲令普盡三世增上主掌。大自在天。得活命故。從一切如來心出。是大明日。

唵。引。轉。日。羅。合。薩。埵。呼。引。弱。合。此大明印。堅固。應作祕密。鈎。諸指向外而舒展。是印相合。置頂中。死者能令得還命。說是印明時。而彼下方。跋婆摩。婆那世界。跋婆彌沙。囉。囉。哩。沙。如來。忽從大自在天身中出現。說此頌曰。

大哉一切正覺尊。諸佛大智無有上。能令死者有情身。去。藏。還。來。得。活。命。此偈文降第六天時。蘇息文也。云。

問三十卷教王經。護三藏譯。入大藏錄。非大師御請來。依此經作法。翻當流規。模。歟。如何。答云。

問。玄祕抄。病人臨死者。可結禁五路印。誦大滿陀羅尼云。可用之歟。如何。答云。

一具書載之。無沙汰事也。此招魂作法。傳受之時。被殘置。白表紙。傳受切終後。依度之所望。被授之。畢。

白寶口抄 五秘密法

本書事

金剛頂瑜伽五秘密修行儀軌一帖

不空譯 大慈智 初師命金剛薩埵 慧什云智證

唐決云五秘密儀軌其益已多云云

私云廣略二本流布無譯者本有二真

言殆略字有與無也略本歟

五秘密口訣一帖 金剛智

十七尊略釋 不空 禪林

金剛頂勝初瑜伽普賢菩薩念誦法一帖

不空 大慈智 貞 初師命禮普賢

普賢金剛薩埵念誦法一帖

不空 大傳慈禪 初我今說普賢外

題異

金剛頂勝初瑜伽經中略出大樂金剛薩

埵念誦儀軌一帖

不空 大慈安 初稽首禮大密

大樂金剛薩埵修行成就軌一帖

不空 大慈 初師命金剛薩埵 慧

什云上二本大途同長行與偈差別歟

私云兩本有祕印大師錄一所被載軌

文說五秘密金剛薩埵坐白蓮臺云

大樂軌即五悔軌歟

金剛頂瑜伽他化自在天理趣會普賢修

行念誦儀軌一帖 不空 大慈

已上本書 梵字勝初瑜伽軌一帖 大師

五秘密略次第一帖 脣尾

五秘密念誦次第一帖

神日所持本 慧什抄

未盡頂人不可傳事

勝初瑜伽軌云若欲求解脫依於阿闍梨

求受於灌頂者得許可已方依本教修文

理趣釋云修行者得阿闍梨灌頂方可修

此五秘密所獲福力文廣不可具說文五

祕密軌云夫修行菩薩道證成無上菩提

者利益安樂一修有情以爲妙道一切有

情沈沒流轉五趣三界若不入五部五密

曼荼羅不受三種祕密加持自有漏三業

身能度無邊有情無有是處文

問先得阿闍梨灌頂後修此五部五祕密

故非有漏三業身歟又縱雖不受阿闍梨

灌頂修此五祕密者非有漏三業身歟如

何答此法祕密故先撰機入壇灌頂後

授之故云爾也

靜通口訣云當時傳法阿闍梨專可依此

法也未見諸大阿闍梨非此法力不可度

弟子故其五部東方五祕東南西北和合

謂薩婆相對相應王喜和合愛樂持彼東

蓮花西打勢和合弓南箭北和合凡金剛

界門說相大體如此理趣金剛手觀自虛

空金拳次第是也也上敬南方衆生本有

三寶寶瑩之光潔光置之幢上南寶佛

生俱喜等已上西方方法觀音金剛法文

殊法上妙觀因彌勒轉法輪語淨名離言

論上說法即知如義實離四種妄言說

故云離言已上說此北方羯磨部業菩薩

迦也釋迦此云寂滅八相業也護菩薩舍

利也舍利者大悲執心留體故成衆生護

云一牙菩薩等覺也有佛名金剛大樂又

吞噉一切惡有情及無情等物是等覺智

斷惑攀菩薩妙覺等持諸佛體一切如來

三密在金剛拳中故後是則以釋迦大精

進門作業智令衆生開示妙頓旨也門攝

召中方佛部具足如上四智之總五祕密

也已上方便具已上

曼書云本尊懸五祕密曼荼羅云

口云曼荼羅有二種謂各別月輪蓮華座

圓明各依本位住五方是初發心因曼荼

羅也又同一月輪同一蓮花座以之爲至

極究竟成就果位漫荼羅以此五尊曼荼

羅可爲本尊也道場觀此意也但五祕密

儀軌說十七尊曼荼羅修行成就軌大樂

金剛薩埵軌普賢金剛薩埵軌普賢金剛

薩埵軌等共十七尊也云

名字事

口云五祕密者五五部五祕密也各具五

智故五部各有五尊五尊悉如大金剛薩

埵欲觸愛慢之五祕密也謂金剛薩埵者

思慮遮那如來也欲觸愛慢四眷屬如次

金寶法樂四波羅密也金剛薩埵阿闍尊

也欲觸愛慢四眷屬如次薩王愛喜也金

剛薩埵尊也四眷屬如次寶光幢笑也金

剛薩埵尊也四眷屬如次寶光幢笑也金

剛薩埵尊也四眷屬如次寶光幢笑也金



薩不空成就尊也四眷屬如大業護牙摩也具如儀軌故云五部五秘密也秘密者疏十五云秘密者即是如來秘密藏久默此要如優曇花有時乃說此說不其人則不虛授不同顯露常教也文是秘密名言真言教總名也必不可限此五秘密法但金剛薩埵大日也置中欲觸愛慢妄體圍適住理智同一月蓮成本有薩埵四智體殊表煩惱菩提生死涅槃之二體此故名五秘密也此義密教總也以此總德密今法故諸尊中尤稱秘密故此五秘密密教大綱也仍此法索生濟度之妙術頓證菩提之秘要也靜遍口訣云問五尊深祕如何答金薩第八識四菩薩第七識我見我慢我愛四煩惱也此煩惱釋但緣藏識見分非餘法相顯見欲觸名字相違或抄中會合之故金剛薩埵即第八識異熟體即生死也四菩薩第七識煩惱體同一蓮臺故生死即涅槃也同一月輪故煩惱即菩提也仍一足不去故即身成佛也即射自證法樂令赴化他之其祕方軌也

或口云凡此法大旨者中央尊者理智二種薩埵可有也即理智冥合也見五秘密軌理趣薩埵形如智薩埵也中央薩埵所有四種德也爲顯四德欲觸愛慢四尊也欲者發菩提心也於中臺眞如之理起樂欲譬如見世間之美女起欲心依起欲心必觸身譬依起菩提心必見理依遂欲

心必染著起愛心見理之後譬深染著染著後必對不遂欲之人起慢心見理之後自在位譬慢即大樂位也此四者皆薩埵之身所具也理智二薩埵皆可由此義觸善薩抱薩埵事中央薩埵向理女時至觸位如是抱也能可分別也云又薩埵著心王欲等四者心所也欲者樂求心觸依欲遂事即三和合觸也愛染著慢依染著得自在即觸慢也心王薩埵之所此染心具足五智在纏形也觸持是第八識上起我癡我見我愛我慢執取爲我故彼第八識執爲我形故抱持也又軍荼利尊此識忿怒故羯磨印又抱持自身形也

私云欲觸愛慢配我癡我見我愛我慢時癡見與欲觸其名字相違但欲心從癡煩惱起故癡即慾也見癡祇經見觸皆清淨說之謂上界微細時以見眼見色時成所念故見觸是一也云

凡此尊成佛至極也成佛次愛慢行有三種依金剛頂宗修行有欲觸愛慢行之依胎藏行儀發心修行菩提涅槃也若依瑜祇經動一切有情本性開顯鈎召彼愚童令染愛諸佛妙法證本有法身也云

問今此欲觸愛慢轉得智乎答有二義一云轉成二不轉成也轉成者若行者不修時只是欲觸等迷體也行者修顯欲觸等住本有蓮月輪理智本際是知佛時轉義也故儀軌云欲金剛持金剛弓箭射阿賴耶識中一切有漏種子成大圓鏡智金

剛計里計羅抱金剛薩埵者表淨第七識妄執第八識爲我癡我見我慢我愛我成平等性智愛金剛者持摩羯輪能淨意識緣塵於染淨有漏心成妙觀察智金剛慢者以二金剛拳置膝表淨五識質礙身起大動勇盡無餘有情皆頓令成佛能淨五識身成所作智文四煩惱即成四智條分明也不轉義即事而眞教故全我等不改迷體皆住本不生際月輪智也大師云從本已來無去無住滿月之宮文其同一月輪者約金剛界云密嚴國其同一蓮花者約胎藏界花嚴界也雖名字別本是一所故住同一月輪同一蓮花也此即自心佛國故全非始可生之處本來所居法爾所住也即凡即聖性相同一眞如故能居主者我身是也儀軌云瑜伽者常爲四眷屬而自圍遶文四眷屬者欲觸愛慢之四煩惱也此五尊各一爲法界親各一具無盡法界爲利益衆生方便故顯教等斷煩惱故經三劫成佛今此密教不斷三毒不改迷身即身成佛一本即身義云不斷煩惱即身成佛文煩惱者本有之煩惱故本來住本覺莊嚴之床薩埵者本有之薩埵故鎮居同一中臺之位故本來平等全無差別義範僧都云九界之妄染者不離本有之菩提云此等義皆始不可轉者也但煩惱捨不捨義自往古靜之歟問此捨不捨兩義中以何義可爲此法宗旨乎如何答兩義俱可有之其故同一

月輪金界智是捨義也。同一蓮華胎界理是不捨義也。兩部因果二位定慧二法。迷悟各別也。雖然瑜伽相應教。兩部從本不二一體。故蓮月同一也是理處必有智故。捨不捨從本無淺深。只同一體也。問。捨不捨雖兩部理智之二法。以何可表之乎。答。勸機利益衆生方。金界捨義也。此法付金剛界修之儀軌云。既出五相成身。歸偏金剛界修行也云。

## 種子事

口云。以重寶字爲種子故。上佛界下衆生界故。上加空點。下加點。定慧衆生界也。是即表佛界生界不二義也。又云。理趣經有兩段初儀式主件各別。曼荼羅也。故住各別月輪各別蓮花。而中尊種子單寶字也。是因分也。經典五祕密段。種子用寶字。是五尊同住同一月蓮主件不二。因果一體。理智平等定慧和合。偏萬德於一體。顯輪圓具足之內證果位義也。是雖一經內有前後淺深。謂理趣經初段曼荼羅。金剛薩埵因分外用也。終五祕密段。金剛薩埵果分內證法門也。

十六大菩薩爲十六。又合五智爲一尊。故成十七尊。是理趣會十七尊此義也。又此十七尊攝五智故。十七段因分今五尊五祕密收入。故果分也可知。問。理趣經法與五祕密法一法歟。如何答。野決云。理趣經與此法相違事種子義。五祕密。理趣經。眞言。古云。不可不有。理趣經。五祕密。理趣經法。就大日令行之時。不及沙汰。尤可各別。以金剛薩埵爲本尊之時。與五祕密法何更有異。只五尊等位各別月輪。又住一月輪許。コソ差別シタル事ニテハアレ。尊更以無相遠然ラハ理趣經五祕密法。雖異本尊是同。種子眞言何可各別乎。隨自餘事令差別。別法可存之虞。本尊印。午兩同印也。總說又同眞言也。橫此兩眞言許。令差別如何。五尊攝磨三昧耶印。明更以無異。此外正念誦散念誦勸請發願讚等。凡以無差別。而種子與眞言許相違之條。如何。サレハ五祕密法與理趣經法。同法トヤ可習又別法トヤ可習。可何樣哉。若一法習。眞言兩字。理趣經五祕密午兩用之。說。習。古云。不可不有。眞言。并。古云。不可不有。眞言。兩法。此法。用。歟。彼用。可習歟。又此事許相違。限理趣經法。用之。限五祕密法。用之。并眞言各限一法。以前被注之定差別可用歟。理趣經與五祕密爲一法之條。無左右事。

候。如御定。以往各別月輪。爲理趣會之曼荼羅。以往一月輪爲五祕密然者。今種子眞言互通用之義。更不可相違。而暫以重寶字爲五祕密之種子事。聊由緒可作歟。案理趣經之意。初段說十七尊之曼荼羅。是雖顯實相之理趣。諸尊暫次位各別主伴相分。此時者中尊種子或成位。而至終段說五祕密曼荼羅。是即初所說之理趣。達事理平等因果不二也。相即互融輪圓具足。顯此義故。五尊同住一月輪坐一蓮華。此時種子重寶也。此字是初因也。定也。理也。後果也。慧也。智也。兩重即定慧和合之理智不二之義也。仍殊用此字。即此意歟。然者理趣與五祕密。可謂一尊之淺深。一法之始終者歟。又用。古云。不可不有。眞言。事。此時明證祇經爲金剛薩埵之眞言。以此明說名無不相應。眞言說其故云。誦此明則於一切法證得平等無二無染。無淨無染無礙之身。文同雖金剛薩埵明有此功能故。尤相應于此法者歟。今師說存此義意歟。已上。靜遍口訣去。問。以。一。字。成。五。尊。樣。如何。私。勸。云。十八會指歸云。同居一蓮花。說。一。字。眞。言。文。爲。五。尊。種子。事。五。尊。同。以。一。字。爲。種子。初。以。古。云。不可不有。五。字。置。一。月。一。蓮。爲。種子。三。昧。耶。形。五。獨。仍。一。爲。種子。之時。五。獨。股。合。作。一。五。股。仍。一。爲。種子。時。以。五。股。爲。三。昧。耶。形。此。眞。能。化。所。化。一。體。之。義。也。上。能。引。即。欲。觸。愛。慢。也。下。

所引金剛也。仍以何爲上云云。  
已上

十八會指歸云。普賢菩薩復說。秘密中曼  
荼羅十七尊。說一字真言。從眼口及一  
切支分變異。即成印。但住大印羯磨印。不  
待先行。不結結護。加持亦不假迎請。宿業  
罪障不能凌逼。亦不障礙。速疾成就。又私  
引此文。尤至要也云。

文泉房云。種義能緣所緣義。五股隨能緣  
所緣理。有五分齊能緣金剛。於所緣冥會  
無二也。於此生欲觸愛慢。謂理智二薩埵  
冥會金剛形也。三形變成尊形。同一月輪  
同一蓮花座。於理智薩埵冥會故生欲生  
觸生愛生慢形也。五部一尊也。愛染王此  
上忿怒形也。或本薩埵第八識體也。欲金  
剛菩提大欲形。觸金剛末那識也。愛金剛  
第六識大悲愛形也。慢金剛五識成事智  
形。非業故云慢。又云。本薩埵普賢理題體。  
欲金剛大欲能緣智也。理智冥合上有觸  
義。觸上必生愛。愛上有慢。自在故云。

已上

三形事

口云。五股者分義也。因時用。五字爲何  
五字故。五尊三形皆獨股杵也。今五祕密  
果故。以一尊字爲五尊通種子。合先五獨  
股成五股杵。通用五尊也。其故薩埵欲觸  
愛慢合身也。雖五尊各別。本誓一故。成一  
五股五祕密軌云。三密金剛以爲增上緣。

能證毘盧遮那清淨三身果位。又云。此  
五股。人形杵也。是定慧和合。生界佛界不  
二。敬愛之義也。

次第三終或說事

種子。三形獨股。尊形金剛薩埵一  
尊云。

口云。御筆中有重。單。之兩樣。其中單  
義。猶祕密也。其故。重。字表生佛不二。義  
理可知。今單。字生佛本來不二。義何今  
更。可作兩字乎。軌云。金剛薩埵三摩地。名  
爲一切諸佛法。此法能成諸佛道。離此大  
覺。別無有佛。又云。論云。法爾應住。普賢大菩  
提心。一切衆生。本有薩埵。故知衆生當  
體。全不。改。本有法然之薩埵也。佛界生界  
暫約世順常途教也。自本一體不二。都無  
差別。故。只用單。字。猶深祕也。次第云。口  
傳曰。觀金剛薩埵一體。許此尊。令其餘四  
尊之德也。云。思之三形獨股五尊。雖別  
本誓一故。用獨股也。理趣經初段曼荼羅  
五尊。同以獨股爲三形。此五獨股合成一  
獨股。是大獨股也。

又種子。三形五股云。

口云。或曰。者。勸修寺傳。又三部抄。同之  
是理趣經初段五尊。種子。是也。五字雖各  
別。本誓是一。成一五股。義如前云。

又種子。三形五股云。

口云。有金剛薩埵名也。大日種子。是  
即一切衆生。本有薩埵。故生佛不二。染淨  
一體之種子也。又云。理趣會曼荼羅之中

胎種子。仁海僧正書。字是淳祐。內供傳  
也。又理趣房寂圓之傳。有字也。或云。高野  
新別所御筆。本兩界理趣會中。尊種子。  
也。依此等。以爲種子。雖理趣經初段用  
有故。有。是。本有薩埵。名字。謂欲觸愛慢  
色聲香味觸等。生。死。全體。五欲。六塵。不。改  
其。姿。爲。今。五。尊。三。摩。地。故。有。因。位。菩。提  
心。體。即。和。合。大。日。果。滿。之。位。成。一。種。子。表  
因。果。不。二。生。佛。一。體。義。也。三。形。五。股。如。前  
可。知。之。多。種。子。三。形。者。流。流。之。異。說。師。師  
之。異。義。多。也。可。尋。之。

道場觀事

五祕密軌云。想自身爲金剛薩埵。處大月  
輪。坐大蓮花。五佛寶冠。容貌。嚴。清。身。如。月  
色。內。外。明。徹。生。大。悲。愍。拔。濟。無。盡。無。餘。衆  
生。界。令。得。金。剛。薩。埵。身。三。密。齊。運。量。同。虛  
空。○則。於。身。前。想。金。剛。薩。埵。智。身。如。自。身  
觀。以。四。智。印。圍。繞。同。一。月。輪。同。一。蓮。花。各  
住。本。威。儀。執。持。標。記。各。戴。五。佛。寶。冠。又  
云。觀。形。色。次。說。五。祕。密。金。剛。薩。埵。身。如。素  
月。具。諸。嚴。飾。首。戴。五。佛。寶。冠。身。佩。赤。帶。坐  
白。蓮。臺。端。嚴。而。處。當。住。大。印。金。剛。箭。赤。色  
居。於。前。而。持。弓。矢。金。剛。喜。悅。白。色。居。右。抱  
三。昧。耶。體。金。剛。愛。諸。事。並。背。處。後。持。摩。竭  
嚩。金。剛。欲。自。在。色。黃。居。左。二。拳。各。當。膝。其  
頭。向。左。小。傾。云。  
口云。今。次。道。場。觀。依。此。軌。意。也。先。五。衆  
八。柱。樓。閣。等。如。常。可。知。也。  
同。一。月。輪。同。一。蓮。花。事。

五秘密軌云。五身同一大蓮花者。爲大悲義。同一月輪圓光者。爲大智義。是故菩薩由大智故不樂生死。由大悲故不住涅槃。

蓮花第九識。月輪第八識。四菩薩第七識。是心內三轉。即識大也。中央薩埵前五識。心外第六識。可攝前五識。蓮花即羯磨。故也是五大義。仍六大一實不二法性之五智圓滿也。法爾非造作之法。本來本有道。是一身一智之行相也云。

愛是法波羅蜜。金剛慢是羯磨波羅蜜。金剛薩埵者是彼薄伽梵阿闍如來。欲金剛者即是金剛薩埵。計里計羅者即是金剛王愛金剛者即是金剛愛金剛慢者即是金剛著哉。金剛薩埵者即彼薄伽梵寶生如來。欲金剛者即是金剛寶計里計羅者即是金剛阿闍。愛金剛者即是金剛慢。金剛慢者即是金剛笑。金剛薩埵者即彼薄伽梵觀自在王如來。欲金剛者即是金剛法計里計羅者即是金剛利。愛金剛者即是金剛因。金剛慢者即是金剛語。金剛薩埵者即彼薄伽梵不空成就如來。欲金剛者即是金剛藥。計里計羅者即是金剛護。愛金剛者即是金剛藥。又金剛慢者即是金剛拳。○金剛薩埵五秘密即爲如來部。即是金剛部。即是蓮花部。即是寶部。即是羯磨部。五身同一大蓮花者。爲大悲義。同一月輪圓光者。爲大智義。是故菩薩由大智故不樂生死。由大悲故不住涅槃。如經所說。有三種薩埵。所謂愚薩埵。智薩埵。金剛薩埵。以金剛薩埵簡其三種薩埵。修行得此金剛來人。即名金剛薩埵。又云。於身前想金剛薩埵智身。如自身觀以四智印圍繞。○由誦此真言故。金剛薩埵智身。令召令入令縛令與與像伽者。定身交合一體云。本尊金剛薩埵智身。行者身理薩埵也。理智冥會成不二。一身體名金剛薩埵也。或金剛薩埵者。大菩提心體。以欲觸愛

蓮花者。自性清淨體之故。不染淤泥。何蓮花。無不樂生死之詞。有月輪之處。乎。蓮花是理也。理。大悲也。大悲故三世利益衆生。不住自證之涅槃義也。月輪是智也。月光能照闇夜。智故不住著煩惱之生死義也。但後入唐宗寂五秘密口訣云。月輪者。表大悲故不住涅槃。白蓮花者。表大智故不樂生死。文此表儀軌文。月輪表大悲者。月水珠所成故。能滋潤草木等。是故表大悲。蓮花表大智者。蓮花開淤泥。不染淤泥。故表大智。智不染煩惱故歟。

口云。付五佛寶冠。有兩義。金剛界佛戴胎五佛。胎藏界佛戴金五智。是互表理智不二一體。然今五秘密尊金剛頂部佛故。戴胎藏五佛冠也。五部五秘密故。五尊各具五智。祕藏記云。五部即五智。一智所互具五智。所以成二十五部。如是展轉有無量部。文是各具五智。無際智意也。

中央金剛薩埵事

理趣釋云。同一蓮花同一圓光。體不異故。輔翼悲智不樂生死不住涅槃。文此文悲智並不樂生死不住涅槃云。大智大悲互具足。自本無二也。祕藏記云。理智不相離。理起智用。智起大悲。大悲喻水文。又云。蓮花即理也。理處必有智故。文所證今五尊建立始終皆表五智圓滿。大菩提心行者。以平等大智大悲對於生佛。鈎召引入縛。更無上下勝劣障。有大智故鈎召佛德入我身。有大悲故攝引衆生入佛家。有大智故必有大悲。故必有大智。悲智雙導。誠是甚深也。凡同一月輪同一蓮花者。兩部所成理智一體故。說月蓮同一。能居之五尊衆生五轉成就始終也。或云。

金剛薩埵名。言出五秘密并大樂金剛薩埵軌等。勝初普賢軌。勝初中略出軌等。名大聖普賢金剛薩埵。軌等號普賢。皆是異名也。五秘密軌云。金剛薩埵者是普賢菩薩。即一切如來長子。是一切如來菩提心。是一切如來祖師。是故一切如來禮敬金剛薩埵。如經所說。金剛薩埵三摩地名。爲一切諸佛法。此法能成諸佛道。離此更別無有佛文。又云。金剛薩埵住大智印者。從金剛界至金剛鈴菩薩。三十七智成自受用他受用果德身。○金剛薩埵者是自性身。不生不滅量同虛空。則是遍法界身。○金剛薩埵者是昆盧遮那佛身。欲金剛是金剛波羅蜜。計里計羅是寶波羅蜜。金剛

愛是法波羅蜜。金剛慢是羯磨波羅蜜。金剛薩埵者是彼薄伽梵阿闍如來。欲金剛者即是金剛薩埵。計里計羅者即是金剛王愛金剛者即是金剛愛金剛慢者即是金剛著哉。金剛薩埵者即彼薄伽梵寶生如來。欲金剛者即是金剛寶計里計羅者即是金剛阿闍。愛金剛者即是金剛慢。金剛慢者即是金剛笑。金剛薩埵者即彼薄伽梵觀自在王如來。欲金剛者即是金剛法計里計羅者即是金剛利。愛金剛者即是金剛因。金剛慢者即是金剛語。金剛薩埵者即彼薄伽梵不空成就如來。欲金剛者即是金剛藥。計里計羅者即是金剛護。愛金剛者即是金剛藥。又金剛慢者即是金剛拳。○金剛薩埵五秘密即爲如來部。即是金剛部。即是蓮花部。即是寶部。即是羯磨部。五身同一大蓮花者。爲大悲義。同一月輪圓光者。爲大智義。是故菩薩由大智故不樂生死。由大悲故不住涅槃。如經所說。有三種薩埵。所謂愚薩埵。智薩埵。金剛薩埵。以金剛薩埵簡其三種薩埵。修行得此金剛來人。即名金剛薩埵。又云。於身前想金剛薩埵智身。如自身觀以四智印圍繞。○由誦此真言故。金剛薩埵智身。令召令入令縛令與與像伽者。定身交合一體云。本尊金剛薩埵智身。行者身理薩埵也。理智冥會成不二。一身體名金剛薩埵也。或金剛薩埵者。大菩提心體。以欲觸愛

能居之五尊衆生五轉成就始終也。或云。

金剛薩埵名。言出五秘密并大樂金剛薩埵軌等。勝初普賢軌。勝初中略出軌等。名大聖普賢金剛薩埵。軌等號普賢。皆是異名也。五秘密軌云。金剛薩埵者是普賢菩薩。即一切如來長子。是一切如來菩提心。是一切如來祖師。是故一切如來禮敬金剛薩埵。如經所說。金剛薩埵三摩地名。爲一切諸佛法。此法能成諸佛道。離此更別無有佛文。又云。金剛薩埵住大智印者。從金剛界至金剛鈴菩薩。三十七智成自受用他受用果德身。○金剛薩埵者是自性身。不生不滅量同虛空。則是遍法界身。○金剛薩埵者是昆盧遮那佛身。欲金剛是金剛波羅蜜。計里計羅是寶波羅蜜。金剛

愛是法波羅蜜。金剛慢是羯磨波羅蜜。金剛薩埵者是彼薄伽梵阿闍如來。欲金剛者即是金剛薩埵。計里計羅者即是金剛王愛金剛者即是金剛愛金剛慢者即是金剛著哉。金剛薩埵者即彼薄伽梵寶生如來。欲金剛者即是金剛寶計里計羅者即是金剛阿闍。愛金剛者即是金剛慢。金剛慢者即是金剛笑。金剛薩埵者即彼薄伽梵觀自在王如來。欲金剛者即是金剛法計里計羅者即是金剛利。愛金剛者即是金剛因。金剛慢者即是金剛語。金剛薩埵者即彼薄伽梵不空成就如來。欲金剛者即是金剛藥。計里計羅者即是金剛護。愛金剛者即是金剛藥。又金剛慢者即是金剛拳。○金剛薩埵五秘密即爲如來部。即是金剛部。即是蓮花部。即是寶部。即是羯磨部。五身同一大蓮花者。爲大悲義。同一月輪圓光者。爲大智義。是故菩薩由大智故不樂生死。由大悲故不住涅槃。如經所說。有三種薩埵。所謂愚薩埵。智薩埵。金剛薩埵。以金剛薩埵簡其三種薩埵。修行得此金剛來人。即名金剛薩埵。又云。於身前想金剛薩埵智身。如自身觀以四智印圍繞。○由誦此真言故。金剛薩埵智身。令召令入令縛令與與像伽者。定身交合一體云。本尊金剛薩埵智身。行者身理薩埵也。理智冥會成不二。一身體名金剛薩埵也。或金剛薩埵者。大菩提心體。以欲觸愛

慢爲四眷屬故欲金剛持弓箭凡位大菩  
提心欲遠射取佛果菩提之妙果義也觸  
金剛抱金剛薩埵射取大菩提果故堅抱  
持之不失義也愛金剛持摩竭臘是堅抱  
取大菩提之故高出三有城墻噉食菩提  
功德表相也慢金剛設雖有菩提心其心  
卑劣未足爲勝此心高出有勇健勢故作  
慢印而押壓也合此四種功德成彼一種  
金剛薩埵也軌云瑜伽者行住坐臥常以  
四眷屬而自圍繞文此意也

如木精月色事  
軌云金剛薩埵色如素月文勝初普賢軌  
云大聖滿月身文普賢金剛薩埵軌云普  
賢菩薩戴五佛冠身如水精月色  
口云今道場觀本尊身色依普賢金剛薩  
埵軌也凡本有金剛實相本性清淨無垢  
無染也故云水精月色一切衆生本有  
心法爾薩埵體故挫挫瑜伽者赤白和合之  
形色爲金剛薩埵本性理即此法究極也

右持五股左持鈴事

普賢金剛薩埵軌云普賢菩薩戴五佛冠  
身如水精月色右手持五股金剛杵左手  
持金剛鈴身處在滿月輪中文  
口云五秘密軌云金剛薩埵色若素月具  
諸嚴飾首戴五佛寶冠身佩赤焰坐白蓮  
花臺端嚴而處當住大印文大印者鈴杵  
手執故形色持物非委細故依普賢金剛  
薩埵儀軌說也持鈴五股故金剛薩埵大

菩提心高出有勇健勢故左手持鈴是般  
若妙聲遍入一切衆生心內令開發故右  
手抄擲五股杵表衆生本有五智菩提萌  
動義也動也結衆顯依生菩提心也  
捨惡句遍入義也以五智菩提五股  
人也衆生心內義也

理趣釋云金剛手菩薩摩訶薩者此菩薩  
本是普賢從毘盧遮那佛二手掌親受五  
智金剛杵即與灌頂名之爲金剛手○爲  
欲明此義故者所謂顯明大智印標幟首  
戴五佛寶冠照付微笑左手作金剛慢印  
右手抽擲本初大金剛作勇進勢本初者  
本來清淨法界也左手作金剛慢印者爲  
降伏左邊左行有情令歸順道右手抽擲  
五智金剛杵作勇進勢者令自他甚深三  
摩地順佛道念念昇進獲得普賢菩薩之  
地文十七尊義述云大安樂不空三昧  
眞實金剛普薩蓋表諸佛普賢之身周遍  
器世間及有情世間左持金剛鈴是通悅  
義置腰之左表大我右表五股金剛是五  
智義以其無邊自在理帶體懷不忘不壞  
故有是名也文

欲金剛身赤色持金剛弓箭事

五秘密軌云金剛箭赤色居於前而持弓  
矢文勝初普賢軌眼箭赤色持弓箭文  
私云欲心依見色起故眼即欲也  
普賢金剛薩埵軌云大聖前想欲金剛形  
服色皆赤衣冠髮瑤瑤種種嚴飾目瞻大  
聖住金剛弓箭印文五秘密軌云欲金剛

者名爲般若波羅蜜能通達一切佛法無  
滯無礙猶如金剛能出生諸佛又云欲金  
剛者持金剛弓箭射阿賴耶識中一切有  
漏種子成大圓鏡智文

私云有漏種子者業善種子也即生死  
相續體故能射佛業善種子而射取菩  
提果義也故云成大圓鏡智也又即事  
而真教故有漏種子即菩提果也欲即  
大菩提心體故也

又云欲金剛者是慧眼觀察於染淨分依  
他性知一切法非有非無又云欲金剛  
以善提心箭鉤召一切有情安置佛道文  
理趣經云欲箭清淨句是菩薩位文理趣  
釋云欲箭清淨句是菩薩位者由修欲金  
剛瑜伽三摩地得欲箭清淨句是故獲得  
欲金剛善薩位文又云般若及方便智度  
悉加持諸法及諸有一切皆清淨者此是  
欲金剛明起善薩三摩地行般若波羅蜜  
義攝也文十七尊義述云意生金剛菩薩  
以大悲欲箭害二乘心所以手持是箭而  
觀其欲離俱幻平等智身文

私云欲箭者俱舍云諸欲若不遂惱懷

如箭中文以欲臂箭可知云

計里計羅金剛身白色抱金剛薩埵

五秘密軌云金剛喜悅白色居右抱三昧  
耶體文普賢金剛薩埵軌云次於大聖右  
想計里計羅尊色白以二金剛交臂住  
抱印文勝初普賢軌計里計羅尊白色交

二初抱三昧耶云、五秘密軌云、金剛計里計羅者是虛空藏三摩地、與無邊衆生安樂、極拔無邊衆生渴貧賤泥者、所求世出世間希願皆令滿足云、又云、金剛計里計羅抱金剛薩埵者、表第七識妄執第八識爲我、我見我慢、我愛我成平等性智云、又云、計里計羅抱印、爲大方便金剛乘令證不染智、文理趣經云、觸清淨句是菩薩位、文理趣經云、觸清淨句是菩薩位者、山修金剛鬘離離吉羅離伽三昧地得觸清淨句、是故獲得金剛鬘離離吉羅菩薩位、又云、欲等謂世間令得淨除故有頂及惡趣調伏盡諸有者、此是金剛鬘梨吉羅明妃三摩地行大靜虛義攝也、又十七章義述云、其三所謂醫利吉羅金剛菩薩、於中國之言名觸、以不捨衆生、必令解脫故、明觸性即菩薩故、所以住抱持相、而現其觸淨俱、幻平等智身云、

口云、第七識妄執第八識等者、第七識緣第八識見分、而計我也、故天親頌云、依彼轉緣彼、又第七識依彼第八識起、而還緣第八識見分、同觸菩薩從金剛薩埵也、第八識金剛薩埵者、提心體也、又云、此菩薩抱金剛薩埵者、一切衆生本有薩埵故、六道輪迴之橫倒衆生也、此橫倒衆生、即抱上義也、其抱印常作外縛印抱之、此即外親請來像、以極喜三摩耶印抱之、此印外縛印二中指爲內箭印、法皇金剛界極喜三摩耶印釋云、以大悲箭射衆生心云、

又云、極喜三摩耶、應覺諸佛本誓文、其心佛住自證、堪合本誓、出化他、以弓箭射驚意也、故今觸金剛以內箭印抱薩埵心、以箭當心、好薩埵自證、令出生死義也、又薩埵生死體、所化人也、故以大悲箭射之也、問、欲金剛持弓箭射一切有漏種子、今亦觸菩薩射薩埵心、是同義也、如何、答、欲菩薩射第八識、觸菩薩射第七識、歟、又欲菩薩射賴耶識、業壽種子、成大圓鏡智、觸菩薩射自證心、令出化他、故自證化他之兩尊、歟云、

#### 愛金剛身青色持摩竭幢事

五秘密軌云、金剛愛諸事並青處後持摩竭幢、善賢金剛薩埵軌云、於大聖後想愛金剛、形服皆青、豎左執摩竭幢、以右金剛拳承其肘、亦共持於幢、又勝初普賢軌愛金剛青色、二拳堅惠臂、肘以定羽承共執摩竭幢云、五秘密軌云、愛金剛者是多羅菩薩、住大悲解脫、感念無邊受苦有情、常懷濟拔、施與安樂云、又云、愛金剛者持摩竭幢、能淨意識緣、慮於淨染有漏心、成妙觀察智云、

#### 私云第六識緣三世非世之一切法故

又云、愛金剛者、以大悲天眼觀見一切有情、身中普賢體不增不減云、又云、以愛金剛摩竭幢爲大悲金剛鎖、經無量劫處於生死、心不移異、度一切衆生、以爲其道云、理趣經云、愛縛清淨句是菩薩位、文理趣

釋云、愛縛清淨句是菩薩位者、由修愛縛金剛薩埵三摩地、得愛縛清淨句、是故獲得愛金剛菩薩位云、又云、如蓮體本染不爲垢所染、諸慾性亦然、不染離群生者、此是愛金剛明妃三摩地行、大悲所攝也、又十七章義述云、其四所謂悲感金剛菩薩、以悲感故、以愛念繩普縛衆生、未菩提終不放捨、亦如摩竭大魚吞噉所遇、一入口已更無免者、所以持此摩竭大魚幢、而現其愛縛捨離俱幻平等智身云、

口云、摩竭梵語此云大體也、此魚住巨海、花嚴經普養云、大音可長二百里餘也、文

賢愚經云、生大海中、作摩竭魚、其身七百由旬、○魚一眠時、運於百歲、飢渴吸水、流入口、如流大河、水吹東風時、鱗類皆向西、其時此魚向東開口吞一切大小鱗類、近口邊物不殘、皆悉吞噉、此尊斷盡一切衆生煩惱業障、不漏一人、本誓廣大、事亦復如是云、

#### 慢金剛身黃色持二金剛拳事

五秘密軌云、金剛欲自在色黃居左、二拳各當其頭、向左右少傾、文普賢金剛薩埵軌云、於大聖左邊想金剛慢尊、形服皆黃、以二金剛拳各安於頭、向左右少低、又勝初普賢軌同之云、五秘密軌云、慢金剛者是來大精選波羅蜜、住無礙解脫、於無邊如來廣作佛事、及作衆生利益云、又云、金剛慢者、以二金剛拳置於淨五識寶藏身、起大勤勇、盡無餘有情、皆頓合成佛、能淨

五藏身成。成所作智文。

私云。五藏質礙身者。心身受中身受在。於五藏身。故云爾。六七相應惑也。五藏唯貪瞋癡相應也。

又云。金剛慢者。以清淨無礙肉眼觀一切有情處。在異生位。雖勞覆蔽。本性清淨。若與大精進相應。即得離垢清淨文。又云。金剛慢者。以大精進爲最。若金剛鈴誓悟在無明窟宅。隨眠有情文理趣經云。一切自在主清淨句是菩薩位。文同釋云。一切自在主清淨句是菩薩位者。由修金剛微細瑜伽三摩地。得一切自在主清淨句是故。獲得金剛微細菩薩位。又云。大欲得清淨。大安樂。富饒三界。自在能作堅固利者。此是金剛微明妃菩薩三摩地。行大精進。所攝也。文十七尊義述云。其五所謂金剛慢菩薩。以無上智令一切衆生悉證毘盧遮那如來體。於世間皆得自在。所以住微細威儀。而現我無俱幻平等智身。文十七尊釋云。令一衆生皆證毘盧遮那佛體。以表我慢如天竺人慢於前人。二金剛手抱腰。以成不敬威儀。便成慢。二金剛拳抱腰之時。不同世間我慢法。爲廣度利益一切有情。便成印契文。師云。此菩薩現我慢身。伏衆生慢煩惱云。

五尊座位事

口云。今道場觀無座位次第。讓五秘密軌。歟。儀軌說分明也。普賢金剛薩埵。欲金剛前。觸金剛右。愛金剛後。慢金剛左也。同

五秘密軌。但宗叔請來理趣經十七段。曼荼羅中五秘密。後左。欲金剛右。觸金剛。抱薩埵。前左。愛金剛右。慢金剛也。理趣經右。二明起左。二明妃說之。是薦福寺金泥。東南曼荼羅樣也。此曼荼羅未渡此朝故。座位不審也。宗叔本未見本說。若薦福寺金剛智圖像樣。儀軌座位說相。皆正方也。現圖像居隅角。從右前欲觸愛慢。次第畫之。如宗叔請來像。又現圖像欲金剛。皆只取箭一雙。不持弓。儀軌說相皆持弓箭。或傳云。欲觸。入我自證愛慢。我入化他。宗叔請來欲觸。內方愛慢。外方此意。歟。其意如何。答。五股杵即金剛薩埵三昧耶形。故持之。即抱金薩意也。如是事依諸師料簡種。不同也。廣可沙汰之云。

此五尊變三十七尊事

五秘密軌云。金剛薩埵者是毘盧遮那佛身。欲金剛是金剛波羅蜜。計里計羅是寶波羅蜜。金剛愛是法波羅蜜。金剛慢是羯磨波羅蜜。金剛薩埵者是彼薄伽梵阿羅如來。欲金剛者是金剛薩埵。計里計羅者是金剛王。愛金剛者是金剛愛。金剛慢者是金剛善哉。金剛薩埵者是彼薄伽梵寶生如來。欲金剛者是金剛寶。計里計羅者是金剛日。愛金剛者是金剛輪。金剛慢者是金剛笑。金剛薩埵者是彼薄伽梵觀自在王如來。欲金剛者是金剛法。計里計羅者是金剛利。愛

金剛者是金剛因。金剛慢者是金剛。金剛薩埵者是彼薄伽梵不空成就如來。欲金剛者是金剛業。計里計羅者是金剛護。愛金剛者是金剛樂。又金剛慢者是金剛拳。內四供養者。即彼四眷屬。外四供養者。亦彼四眷屬。欲金剛以菩提心箭。鈎召一切有情。置佛道計里計羅。印。爲大方便金剛乘。令證不染智。愛金剛以摩竭輪。爲大慈金剛鎖。經無量劫。處於生死。心不移易。度一切衆生。以爲其道。金剛慢者。以大精進爲最。若金剛鈴誓悟在無明窟宅。隨眠有情。普賢曼荼羅不離五身。降三世曼荼羅。即同金剛界蓮花部。遍調伏曼荼羅。依此例之寶部。一切義成就。亦同此說。金剛薩埵五密。即爲如來部。即是金剛部。即是蓮花部。即是寶部。即是羯磨部。五身同一大蓮花者。爲大悲義。同一月輪圓光者。爲大智義。是故菩薩由大智。故不樂生死。由大悲。故不住涅槃。文大第云。答。五尊正非變三十七尊。唯彼五尊內具三十七尊之德也。實更不可改尊形。宜內證之事也。云。彼軌文意也。又云。五秘密軌云。金剛薩埵住大智印者。從金剛界至金剛鈴菩薩。以三十七尊成白受用。他受用果德身文。此中金剛界者。總體故。舉大日也。仍從大日至鈴菩薩。以三十七尊成金剛薩埵一身。自他受用果德身也。又三十七尊。各各以三十七智成。自他受用果德身也。金剛薩埵亦以三十七智成。

一身也故四菩薩亦如是五尊既五智也各具五智故五尊各可具五智若爾者不成一門三十七智乎

名五祕密即身成佛軌則只斯法至極也可知云

五股印事

口云三十七智內四波羅蜜八供四攝定十六尊十六大菩薩慈十六尊也定慧不二故只合十六尊亦合五智為一尊故十七尊也是云理趣會十七尊以金剛薩埵為本尊亦以此十七尊攝五尊十六尊即四智四親近故五祕密五尊十八尊指歸云普賢菩薩復說祕密中曼荼羅十七尊支分各復入本尊身共成五尊同居一蓮花臺說一字真言文又以此五祕密攝愛樂王一尊也宗報請來理趣經曼荼羅五祕密次有愛樂王即以五祕密習愛樂王意也謂理趣經初段五祕密因故五尊種子也又習何五字三形五獨股各各居蓮月是皆各別也第十七段果五祕密故一乘一五股同一月蓮故經終具即習愛樂王此一五字五祕密并愛樂具合說習之也即愛樂六臂習五祕密時鈴杵金剛薩埵也說儀形如薩埵安立衆生界故也箭慈菩薩也欲金剛剛箭弓觸菩薩也引順箭和合施能觸菩薩兩手橫即弓也入內二中箭也此慈箭依弓成能也蓮花愛金剛也如蓮體本樂說愛金剛故也持彼拳愛金剛拳也凡愛樂王三摩地始終五尊經事顯之也是一切衆生無始以來三業所作自然道理發心修行菩提涅槃五轉成佛顯示之三摩地也故

口云此五股印者金剛界三昧耶會金剛薩埵印也名金剛薩埵大智印出金剛界蓮花部心軌謂二中指立故右表金剛薩埵有智身左瑜伽者理身也故顯本尊行者各各德不二足是毘盧遮那自性身故法界體性智位左大指欲金剛大圓鏡智左小指燭金剛平等性智右小指愛金剛妙觀察智右大指慢金剛成所作智也是五尊居四角形也理趣釋云右邊畫二種明妃左邊亦畫二種文是四角居樣也又此五股印習人形五股即兩人和合五體也二中指二頭也二水二風縛兩人左右手表抱合形二地二空兩人左右足也是金剛薩埵智身與瑜伽者定身交合一體義又生佛不二之義也甚深甚深

真言事

五祕密軌云瑜伽者專住身前金剛薩埵心不散動即誦真言曰 唵 嚩 嚩 囉 吽 此真言故金剛薩埵當阿尾捨顯現○即誦四字真言 唵 嚩 嚩 囉 吽 由誦此真言故金剛薩埵智身召令入令縛令喜與瑜伽者定身交合一體文依此略取用之歟 可乎 金剛薩埵也其薩埵種故略之次四字明為令彼金剛薩埵智身冥會行身理身加誦之五股印既表兩身合體真言何不爾乎但野決云又用 唵 嚩 嚩 囉 吽 云云等真言事此明瑜祇經為金剛薩埵真言以此明名不相應真言說其故云誦此明則於一切法證得平等無二無染無淨無違無等身文同雖金剛薩埵明有此功德故尤相應于此法者歟今師說存此義歟 已上

大獨股印事

五祕密軌云大結金剛薩埵三昧耶印作金剛縛屈忍願入掌相合禪智檀惠合相柱以獨股金剛杵以忍願觸於心上誦真言曰○由結此印觸心故金剛薩埵遍入身心速與成就意欲希望諸願皆得文又云神通壽命威力相好等同金剛薩埵云



普賢金剛薩埵軌云次結三昧耶印二手金剛縛以二中指入掌交合二小指二大指各堅頭相拄如獨股杵形文

口云此印二小指定慧兩足也界二大指兩頭也界中間二風二水外縛入生死縛利衆生四攝義正成事業相也四攝欲觸愛慢是也二入內理智冥合五秘密敬愛作業也是定慧不二表獨一法身本有唯一薩埵壇故名大獨股印也靜遍口決云二大二小不離立只外縛傳有之是月輪印同二小指入掌內除忍願外八指一同蓮臺狀內箭作四攝是金剛薩埵四攝五秘密至極重也云朱付云金剛界極喜三摩耶印也云金剛界軌說文云極喜三摩耶覺本誓願文指尾記云極喜三昧耶者是山作是印誦真言人法界定之諸佛從定出加被行者如來喜樂行者亦捨厭離心歡喜故名極喜文

口云此印文泉房云二羽金剛縛心月拉慧禪智堅矢羽也忍願入掌指面相合是矢盡也對受記云二空是弓二火是箭也云是佛住自證射鸞令出化他弓箭印也今此印當心即射薩埵自證令出生死化他表示也

青龍軌云名為大慈箭以射厭離心極喜三昧耶覺本誓願文又以大悲深重箭射拂一切衆生厭離菩提心極喜也或云厭離心爲菩薩敵其大悲心如射怨云金剛王軌云以此大欲箭射彼二乘種文

私云如是多義皆見本文獻大樂金剛薩埵軌云次結大樂金剛不空三昧耶隨心心印印相金剛縛屈中指入掌三指小指舒而相合如獨股金剛以二中指屈如鉤形鉤刺於心便以中指頭相捻如索深相鉤以鎖當心搖動爲覺奉請○文勝初瑜伽中略出軌云大樂隨心心印○前印箭刺心○覺三昧耶弱忍願如鉤狀相拄如索索極繞鎖○錢上下動搖稱等解文覺禪師云二中指四攝義勞字可祕之即真言有四攝句不可別用四字明召引入自身召引縛令喜是四智方便也鉤是四攝智引攝有情索是善巧智令自他一體鎖是堅固智令大悲堅固鈴是歡樂智令自他歡樂也故縛引入令喜作成就云又縛住義本願圓滿故令喜云又此四明表四攝事一布施金剛與他招人與故鉤義二愛語以軟語繫人故索義三利行得出世益護人鎖牽閉義故令堅固四同事共人同事業鈴歡喜義如同事悅人即和光同塵也故配之

靜遍口訣云內箭作四攝是靜遍口訣云內箭作四攝是金剛薩埵四攝五秘密至極重也云

真言事  
金剛王軌云以此大欲箭射彼二乘種文

大疏十七云梵音名蘇羅多是著義著微

妙之法故○復共住安樂義文石山普賢延命釋云不可有者是娛樂義此大士一切衆生授與出世娛樂故真言中有此句以梵音釋義理歷劫不可思議文

口云已上兩印明五尊總印也初五股印五秘密五德表示一印大獨股印五尊悉住一月蓮顯不二內證義也此二種印明本尊加持用之也

五尊羯磨印明事  
金剛薩埵大智印五秘密軌云次結金剛薩埵大智印即解次前印二羽各作金剛拳左手置於膝右手調擲金剛杵勢置於心上右脚踏左誦真言曰大智如誦已想自身爲金剛薩埵處大月輪坐大蓮華五佛寶冠容貌熙怡身如月色內外明徹生大悲愍救濟無盡無餘衆生界令得金剛薩埵身三密齊運量同虛空由持瑜伽者大智印故相應故設若越法具造重罪并作諸障持彼智印故一切供養恭敬若有如禮拜供養尊重讚歎者則同見一切如來及金剛薩埵文

口云五尊羯磨印明者儀軌大獨股印次說金剛薩埵大智印至拍掌印次結前金剛薩埵大智印誦根本真言曰大智如誦大應結四秘密羯磨印云既云四秘密羯磨印故今大智印羯磨印歟而此大智印金剛界羯磨會金剛薩埵印故可云羯磨印也是羯磨印故表薩埵儀形左手作拳安左膝是持金剛鈴勢也右手金剛杵抽

金剛王軌云以此大欲箭射彼二乘種文

大疏十七云梵音名蘇羅多是著義著微

金剛王軌云以此大欲箭射彼二乘種文

大疏十七云梵音名蘇羅多是著義著微

大疏十七云梵音名蘇羅多是著義著微

大疏十七云梵音名蘇羅多是著義著微

大疏十七云梵音名蘇羅多是著義著微

大疏十七云梵音名蘇羅多是著義著微

大疏十七云梵音名蘇羅多是著義著微

擲之勢也。右空指置掌中，是獨股義。即五股杵獨股杵開合異也。先二印其表示可

知。眞言  
金剛 只有 薩埵 摩訶子

靜遍口訣云眞言 義與 義同 事也。云

欲金剛印

五秘密軌云二羽金剛拳，左羽想執弓，右

羽持箭如射勢，即成此尊印身文。

口云此印，金剛界羯磨會愛菩薩印也。欲

金剛菩薩持弓箭故，表欲金剛儀形也。

計里計羅印

軌云準前印二拳交抱於胸，即成此尊印

身文。

口云羯磨會王菩薩印也。觸金剛抱金剛

薩埵故，表抱持儀形也。

愛金剛印

軌云準前二金剛拳，左拳承右肘，豎右臂

如幢勢，即成此尊印身文。

口云羯磨會幢菩薩印也。愛金剛持摩竭

魚幡故，表被幢儀形也。

慢金剛印

云  
讀者今所舉大第四菩薩薩摩四明也。總

舉一處以爲讚。今次第分此讚四句，用四

菩薩明也。儀軌次下既分四句，爲四菩薩

明，各印相如次第示之也。但愛金剛許讚

時云婆嚩眞言，時云薩嚩也。

五尊三摩耶印明事

金剛薩埵三摩耶印，軌云結五秘密三

摩耶印，即結金剛薩埵三昧耶印。作金剛

縛屈，屈入掌相合，如前薩智檀慧各相

拄，如獨股金剛許眞言，日○次眞言也。出結

此印，誦眞言，故神通壽命威力相好，等同

金剛薩埵文。

口云印明共大獨股印時，口訣了今三摩

耶印者，心印故，示平等本誓，故二火平等

性入掌內，表心印顯兩部不二深旨也。謂

左胎五凡本有，右金五聖本有也。凡聖一

味兩部不二理智和融本誓也。是表獨一

法身本有薩埵，此位能所共自受法樂，故

生大歡喜，故名極喜三摩耶印。雖然二火

口云次第如以前金剛薩埵印者，外縛也

二風二空間穴，眼精也。是眼能見境界發

慾心故，表眼形也。

計里計羅印

軌云結計里計羅三昧耶印，準前印，右智

押左禪相，交誦眞言，日○次眞言也。出結此印

故，能拔濟護持一切受苦衆生界，皆獲大

安樂三摩地文。

口云二空相重，合觸形也。亦抱持體也。

愛金剛印

軌云大結愛金剛三昧耶印，準前印，進力

相握，忍願進力並合，如股勢，緊戒方相合。

檀慧亦然，誦眞言，日○次眞言也。出結此印故，

獲得大悲解脫，憐愍一切有情，如出一子。

皆起拔濟安樂之心，文菩薩金剛薩埵軌，

以前善賢菩薩二小指合，堅二無名指舒

如針，二中指右押左，內交入二虎口，屈二

頭指，各鉤中指，二大指並壓押即成文。

口云二中指頭少差，出從左右虎口，如眼

精二水鼻二小牙二風二大口也是摩竭

魚首形也。此魚在大海中，不殘一切鱗類

悉吞噉之也。今此尊大悲深重，處生死大

海中，不殘一切衆生，拔濟故，軌以摩竭

爲大悲金剛鎖，經無量劫處生死心不移

易度一切衆生，以爲其道文。此意亦同之

云

慢金剛印

軌云大結金剛慢三昧耶印，準前印，觸

其二股，先右次左，誦眞言，日○次眞言也。出結此

讚，此讚四句，每結一印當誦一句，讚曰○

地煩惱文。

軌云結欲金剛三昧耶印，準前印，屈進力

上節，平背相合，以禪智並押其上，誦眞言

日○次眞言也。出結此印，故能斷微細無明住

地煩惱文。

欲金剛印

軌云結欲金剛三昧耶印，準前印，屈進力

上節，平背相合，以禪智並押其上，誦眞言





胎五佛五虛空者金五智五藏者能藏大空不二華蓋所藏五部五寶妙體也內證五虛空藏含之法界虛空藏外現北斗七星是衆生五姓精也含之明星天子南北事點一多自在也云

懸曼茶羅事

口云付此本尊有二樣先懸曼茶羅者內院同一大月輪九箇小月輪以獨股爲界道五尊只如瑜祇經其四隅安內四供已上九尊也次第二院方形其四隅安外四供四門四攝其四供四攝中間八方天各后兩天隨方位圖之仍四方十六天也云勝俱陀院僧都勤修之時被懸此曼茶羅也或唯懸五大虛空藏之像修之者如經說五尊同一大月輪也此外不圖眷屬等云行法次第偏依神護寺五部肝心記云

口云依虛空藏本書等多之付五大虛空藏瑜祇經許也彼經行法次第不委細故偏依五部肝心記也靜遍口決云問瑜祇經金剛吉祥大成就品說此法何事私云胎藏八字真言用釋迦鉢印智五佛合理界義歟相應經序品南方四攝也今鈎義相叶也瑜祇經佛眼品說此法事以佛眼爲寶珠法部王事此品說五大虛空藏之故也所謂空藏者佛眼佛母所含藏之萬德也已上大第注云三十七尊皆入寶部三摩地云玄秘鈔云師說云三十七尊皆入寶部三摩地各持虛空藏印文

口云五智五部各人寶部三摩地故持五部三摩耶現五部身是各其五智故虛空藏上三十七尊也又大日上三十七尊皆入寶部三摩地向南方事是大綱也但此事不限當尊四種五種等法三十七尊皆入當部三摩地常事也

種子事

瑜祇經云爾時復說成就富貴金剛虛空藏鈎召五字明王曰金剛寶珠同經疏曰金剛寶珠即五佛種子故先成五佛次轉五佛成五菩薩轉法界圓明成明星圓明從明星圓明會法界圓明云口云金剛寶珠金界五智種子也此五智同入寶部三摩地故以金界五智種子用五大虛空藏種子也此五字當流大事也仍略之

三形事

口云五尊皆以寶珠爲三形但金剛虛空藏以下四尊以本三形爲寶珠座經所說右持物等是也法界虛空藏是大日故種子字也而三形一類如意寶珠是表獨一法身義或獨股上寶珠也全表此義也金剛虛空藏寶三股件者是三股件上置一類寶珠也即東方第八識發心一轉故合三股體也寶光虛空藏三寶寶珠者是中東南之理智事三點之三寶寶珠也又用一顆寶珠是亦深祕也其故不二者萬法一圓滿故無各別體唯一顆猶深祕也問四尊皆一顆之三形也與彼差異如何

答四尊獨設三股蓮花羯磨杵是本三形也其上一顆寶珠皆入寶部三摩地表示也南方本自以寶珠爲三形故本三寶三形以當體爲不二寶珠也蓮花虛空藏紅色寶蓮花者紅蓮花上安寶珠也是心性八葉蓮花也葉用虛空藏寶羯磨杵是羯磨杵上安寶珠也文泉房曰凡今宗心衆相已體爲萬法形色故此宗密意云謂心爲佛塔即五大五輪色法云云也大師身者心體釋給故立三昧耶形以色法顯示內心也獨股獨一法身表人全體三股三部左右手頭也三寶寶頭左右肩也是法身般若解脫又三輪清淨義又三部義又心意識義也蓮花心性蓮花也羯磨三密作業也是色即心心即色色外無心心外無色直約諸法令識其心之釋分明也

問五寶珠若隨本尊色如次白黃青紅色黑紫色如是可觀歟如何 答末師傳云心覺曰寶珠有多種五種寶玉也佛部水精白色金剛部瑪瑙青色寶部眞瑪摩尼金色蓮花部琥珀紅色羯磨部瑠璃紅色若五部珠功力多種也云一法界界云虛空中有字字成如意寶珠放五色光光中有字字成如意寶珠各成如意珠水精如意珠眞瑪瑙如意珠摩尼如意珠琥珀如意珠瑠璃寶珠以之思之金剛寶珠之五字可成白黃青紅色黑紫色歟

三形異說事

賢覺法眼亮惠闍梨等用總三昧耶形。要五股上凡五寶珠皆共有火焰是秘密也。是總印用五股印。五峰皆想寶珠。此意歟。五股圖在玄秘鈔也。

道場觀事

瑜祇經曰行者應畫五大金剛虛空藏。於一圓明中。等自身量畫之。於一圓中更分爲五。於中圓畫白虛空藏。左手執鈎。右手持寶前圓中畫黃色虛空藏。左手執鈎。右手持寶金剛。右圓中畫青色虛空藏。左手執鈎。右持三寶寶放放大光明。於後圓中畫赤色虛空藏。如前左持鈎。右持大紅蓮花。左圓中畫黑紫色虛空藏。如前左持鈎。右持寶羯磨。是名五大虛空藏。求富貴法若畫此像於青色或金色斜上畫之。其菩薩衣服首冠璽塔皆依本色。各半跏坐。文曰云。五部肝心記依此經記之給也。今次依五部肝心記。但記不用三形。次第五條皆出三形。是像形所持物也。

大圓明月輪等自身量事

口云。等自身量者。此種子三形。非令行者心月輪觀。唯境上自身之程可觀。月輪也。私云。或云。瑜祇經說佛眼漫荼羅云。凡一切瑜伽中像。皆自身坐等量畫之。文今說等自身量。同見佛像。豈然五部肝心記云。樓閣中有像。身成八葉蓮花。其上更有大圓明月輪。等自身量。於一日中更分爲五。是以月輪爲自身量。然今道

場觀文依五部肝心記歟。但月輪觀必於行者胸間等量觀之。若等同自身量者。行者心中用受事如何。仍五部肝心記如此載之。此後記恐僻事也。習傳也。彼大月輪自身。大條勿論也。彼大月輪中已分五。月輪其一月輪中尊形。自身量等觀。若爾者。此月輪中本尊尊形。自身等云。事歟。此義不審也。今道場觀偏載五部肝心記。道場觀既妙高山頂寶樓閣中蓮花上有大圓明月輪等自身量。於一圓中更分爲五。月輪。是於壇上觀圓明月輪。何於行者胸間觀等同量乎。是恐迷道場觀生起歟。五部肝心記意不見明。致難做條。其恐實不少者也。一圓明月輪者。表明星。五智即入明星。一輪。亦五智各一。表明星也。引瑜祇經曰。安

然。今此五大虛空藏菩薩是明星天子本身故。應明星圓明中以七曜九執二十八宿而爲眷屬。云云。此即五佛種子故。先成五佛。次轉五佛成五菩薩。轉法界圓明成明星圓明。從明星圓明會法界圓明。言圓明者是明星。輕轍故。可作星色。如經觀世音是日天子。大勢至是月天子。虛空藏是明星天子。文又引虛空藏經曰。虛空藏菩薩額上有一寶珠。行者明星出時觀彼星文已上。仍此五大虛空藏是明星天子法也。金剛界五智入明星一輪。日月兩部星不二。佛寶金剛手。法寶觀音。僧寶虛空藏。不二事理爲虛空藏。即衆生體也。又

星。五大精故。一切衆生皆屬五星。七曜九執。即衆生五行精。是五星等故也。是故明星虛空藏者。一切衆生體。又非情草木併五行精也。故雖一微塵無不虛空藏菩薩功德也。

於中圓明有字等事

口云。五部肝心記。字成法界虛空藏。白色。左手執鈎。右手持寶。如是以下四尊不載三形。今次第五尊皆以寶珠爲三形。各以本三形爲寶珠。坐是五佛入寶部三摩地。施福德成就之加持義也。玄秘鈔云。或云。口傳云。道場觀。一股三股羯磨皆堅。其上觀寶云。畫像。立杵上畫寶云。但東方橫杵上置寶也。又五尊皆左手持鈎。是王表也。四海萬物王所朝宗。南方三界法王之位也。故鈎召富貴義。故皆持鈎給也。玄秘。或云。五尊皆持鈎。意南方寶菩薩種子鈎種子也。五佛皆入寶部三摩地故。又護摩品。幢菩薩處云。皆生爾諸寶結本業部印。能召一切寶也。又成就富貴金剛虛空藏鈎召五字明文。

私云。此等文寶與鈎尤相具歟

大吉祥。眞言能除一切不祥。能鈎召一切福德。文已上凡左手理也。理無差別故。五尊通左持鈎。右手智也。智差別故。五尊持各別本表示。但各一上置寶珠。是五尊同入寶部三摩地。鈎召萬德。施與一切衆生。成就富貴吉祥事。表示也。靜通口訣云。愛樂王五股鈎。五大虛空藏。習五大虛空藏。

皆左持鉤是王三昧也。五鈎合五股鉤也。故五股鉤即鉤。鉤形不圖像有之。此五大也。地水等已上。

口云此五尊身色。寒溫等隨節。五股從種子生長。四季相順之次第也。謂中方字白色。是一切草木種子位也。一切物業實皆白色也。百穀苗稼悉受雨露結其實。是字水輪。生故也。次東方黃色。春時草木萌芽之時也。次南方青色。夏時草木鬱茂。慈榮深青色也。次西方赤色。秋時草木其葉紅色也。次北方黑色。冬時草木葉朽損成黑紫色也。紫色亦黑和合色。是秋赤色與冬黑色合色也。殊冬一切草木葉等收盡寂靜無爲。是故以北爲涅槃方。息災用此方也。如是五行相生不亂。陰陽調和。國土安寧也。故五股成就時可修此法也。玄祕抄區房日記曰。金門鳥做法是作字也。カノトリノトリノシト云事也。小野僧正件年被修此法故歟。已上。

年殊修此法也。多分不知此出。可祕勸修。寺流習之也。

問庚申歲亦千金支。金納音是木也。與辛酉同一也。何必限辛酉年爲役年乎。答。甲乙之兩役年相續。故次年猶其役尤重。故辛酉年修此法也。可思之云。

各結跏趺座事

瑜祇經曰。各半跏趺座。五部肝心記云。各結跏趺座。文今五尊金剛界五智如來入寶部三摩地。成五大虛空藏菩薩故。經說半跏趺座。尤備也。略出經半跏趺座者。菩薩因入座法云。今次第結跏趺座。是約本地果佛用之歟。

四波羅蜜十六大菩薩八供四攝賢劫十六尊外金剛部二十天事

口云此法依金剛界修之。故用此觀也可知。

七曜九執二十八宿等事

口云此五大虛空藏是明星天子本身故。以七曜九執二十八宿等爲眷屬也。

無量無數菩薩衆各持寶珠事

口云五佛既入寶部三摩地持寶珠故。五部諸尊一切聖衆皆各持寶珠。可施與衆生。世出世一切福貴也。

問若爾者。如本尊可持鉤歟。如何。答云。

### 白寶口抄 五大虛空藏法下

印眞言事

先總印二種

口云二手內縛。一圓明月輪體。即寶珠形也。寶珠有鈎召德。二大指如鈎。鈎召一切福德義也。靜遍口訣云。二手內縛並立二空。如師子口印。鈎召五大虛空藏入此寶珠內。

眞言事

經金剛吉祥天云。爾時復說成就富貴金剛虛空藏鈎召五字明王曰。𑖀𑖦𑖧𑖨𑖩𑖪𑖫𑖬𑖭𑖮𑖯𑖰𑖱𑖲𑖳𑖴𑖵𑖶𑖷𑖸𑖹𑖺𑖻𑖼𑖽𑖾𑗀𑖿𑗁𑗂𑗃𑗄𑗅𑗆𑗇𑗈𑗉𑗊𑗋𑗌𑗍𑗎𑗏𑗐𑗑𑗒𑗓𑗔𑗕𑗖𑗗𑗘𑗙𑗚𑗛𑗜𑗝𑗞𑗟𑗠𑗡𑗢𑗣𑗤𑗥𑗦𑗧𑗨𑗩𑗪𑗫𑗬𑗭𑗮𑗯𑗰𑗱𑗲𑗳𑗴𑗵𑗶𑗷𑗸𑗹𑗺𑗻𑗼𑗽𑗾𑗿𑘀𑘁𑘂𑘃𑘄𑘅𑘆𑘇𑘈𑘉𑘊𑘋𑘌𑘍𑘎𑘏𑘐𑘑𑘒𑘓𑘔𑘕𑘖𑘗𑘘𑘙𑘚𑘛𑘜𑘝𑘞𑘟𑘠𑘡𑘢𑘣𑘤𑘥𑘦𑘧𑘨𑘩𑘪𑘫𑘬𑘭𑘮𑘯𑘰𑘱𑘲𑘳𑘴𑘵𑘶𑘷𑘸𑘹𑘺𑘻𑘼𑘽𑘾𑘿𑙀𑙁𑙂𑙃𑙄𑙅𑙆𑙇𑙈𑙉𑙊𑙋𑙌𑙍𑙎𑙏𑙐𑙑𑙒𑙓𑙔𑙕𑙖𑙗𑙘𑙙𑙚𑙛𑙜𑙝𑙞𑙟𑙠𑙡𑙢𑙣𑙤𑙥𑙦𑙧𑙨𑙩𑙪𑙫𑙬𑙭𑙮𑙯𑙰𑙱𑙲𑙳𑙴𑙵𑙶𑙷𑙸𑙹𑙺𑙻𑙼𑙽𑙾𑙿𑚀𑚁𑚂𑚃𑚄𑚅𑚆𑚇𑚈𑚉𑚊𑚋𑚌𑚍𑚎𑚏𑚐𑚑𑚒𑚓𑚔𑚕𑚖𑚗𑚘𑚙𑚚𑚛𑚜𑚝𑚞𑚟𑚠𑚡𑚢𑚣𑚤𑚥𑚦𑚧𑚨𑚩𑚪𑚫𑚬𑚭𑚮𑚯𑚰𑚱𑚲𑚳𑚴𑚵𑚷𑚶𑚸𑚹𑚺𑚻𑚼𑚽𑚾𑚿𑛀𑛁𑛂𑛃𑛄𑛅𑛆𑛇𑛈𑛉𑛊𑛋𑛌𑛍𑛎𑛏𑛐𑛑𑛒𑛓𑛔𑛕𑛖𑛗𑛘𑛙𑛚𑛛𑛜𑛝𑛞𑛟𑛠𑛡𑛢𑛣𑛤𑛥𑛦𑛧𑛨𑛩𑛪𑛫𑛬𑛭𑛮𑛯𑛰𑛱𑛲𑛳𑛴𑛵𑛶𑛷𑛸𑛹𑛺𑛻𑛼𑛽𑛾𑛿𑜀𑜁𑜂𑜃𑜄𑜅𑜆𑜇𑜈𑜉𑜊𑜋𑜌𑜍𑜎𑜏𑜐𑜑𑜒𑜓𑜔𑜕𑜖𑜗𑜘𑜙𑜚𑜛𑜜𑜝𑜞𑜟𑜠𑜡𑜢𑜣𑜤𑜥𑜦𑜧𑜨𑜩𑜪𑜫𑜬𑜭𑜮𑜯𑜰𑜱𑜲𑜳𑜴𑜵𑜶𑜷𑜸𑜹𑜺𑜻𑜼𑜽𑜾𑜿𑝀𑝁𑝂𑝃𑝄𑝅𑝆𑝇𑝈𑝉𑝊𑝋𑝌𑝍𑝎𑝏𑝐𑝑𑝒𑝓𑝔𑝕𑝖𑝗𑝘𑝙𑝚𑝛𑝜𑝝𑝞𑝟𑝠𑝡𑝢𑝣𑝤𑝥𑝦𑝧𑝨𑝩𑝪𑝫𑝬𑝭𑝮𑝯𑝰𑝱𑝲𑝳𑝴𑝵𑝶𑝷𑝸𑝹𑝺𑝻𑝼𑝽𑝾𑝿𑞀𑞁𑞂𑞃𑞄𑞅𑞆𑞇𑞈𑞉𑞊𑞋𑞌𑞍𑞎𑞏𑞐𑞑𑞒𑞓𑞔𑞕𑞖𑞗𑞘𑞙𑞚𑞛𑞜𑞝𑞞𑞟𑞠𑞡𑞢𑞣𑞤𑞥𑞦𑞧𑞨𑞩𑞪𑞫𑞬𑞭𑞮𑞯𑞰𑞱𑞲𑞳𑞴𑞵𑞶𑞷𑞸𑞹𑞺𑞻𑞼𑞽𑞾𑞿𑟀𑟁𑟂𑟃𑟄𑟅𑟆𑟇𑟈𑟉𑟊𑟋𑟌𑟍𑟎𑟏𑟐𑟑𑟒𑟓𑟔𑟕𑟖𑟗𑟘𑟙𑟚𑟛𑟜𑟝𑟞𑟟𑟠𑟡𑟢𑟣𑟤𑟥𑟦𑟧𑟨𑟩𑟪𑟫𑟬𑟭𑟮𑟯𑟰𑟱𑟲𑟳𑟴𑟵𑟶𑟷𑟸𑟹𑟺𑟻𑟼𑟽𑟾𑟿𑠀𑠁𑠂𑠃𑠄𑠅𑠆𑠇𑠈𑠉𑠊𑠋𑠌𑠍𑠎𑠏𑠐𑠑𑠒𑠓𑠔𑠕𑠖𑠗𑠘𑠙𑠚𑠛𑠜𑠝𑠞𑠟𑠠𑠡𑠢𑠣𑠤𑠥𑠦𑠧𑠨𑠩𑠪𑠫𑠬𑠭𑠮𑠯𑠰𑠱𑠲𑠳𑠴𑠵𑠶𑠷𑠸𑠺𑠹𑠻𑠼𑠽𑠾𑠿𑡀𑡁𑡂𑡃𑡄𑡅𑡆𑡇𑡈𑡉𑡊𑡋𑡌𑡍𑡎𑡏𑡐𑡑𑡒𑡓𑡔𑡕𑡖𑡗𑡘𑡙𑡚𑡛𑡜𑡝𑡞𑡟𑡠𑡡𑡢𑡣𑡤𑡥𑡦𑡧𑡨𑡩𑡪𑡫𑡬𑡭𑡮𑡯𑡰𑡱𑡲𑡳𑡴𑡵𑡶𑡷𑡸𑡹𑡺𑡻𑡼𑡽𑡾𑡿𑢀𑢁𑢂𑢃𑢄𑢅𑢆𑢇𑢈𑢉𑢊𑢋𑢌𑢍𑢎𑢏𑢐𑢑𑢒𑢓𑢔𑢕𑢖𑢗𑢘𑢙𑢚𑢛𑢜𑢝𑢞𑢟𑢠𑢡𑢢𑢣𑢤𑢥𑢦𑢧𑢨𑢩𑢪𑢫𑢬𑢭𑢮𑢯𑢰𑢱𑢲𑢳𑢴𑢵𑢶𑢷𑢸𑢹𑢺𑢻𑢼𑢽𑢾𑢿𑣀𑣁𑣂𑣃𑣄𑣅𑣆𑣇𑣈𑣉𑣊𑣋𑣌𑣍𑣎𑣏𑣐𑣑𑣒𑣓𑣔𑣕𑣖𑣗𑣘𑣙𑣚𑣛𑣜𑣝𑣞𑣟𑣠𑣡𑣢𑣣𑣤𑣥𑣦𑣧𑣨𑣩𑣪𑣫𑣬𑣭𑣮𑣯𑣰𑣱𑣲𑣳𑣴𑣵𑣶𑣷𑣸𑣹𑣺𑣻𑣼𑣽𑣾𑣿𑤀𑤁𑤂𑤃𑤄𑤅𑤆𑤇𑤈𑤉𑤊𑤋𑤌𑤍𑤎𑤏𑤐𑤑𑤒𑤓𑤔𑤕𑤖𑤗𑤘𑤙𑤚𑤛𑤜𑤝𑤞𑤟𑤠𑤡𑤢𑤣𑤤𑤥𑤦𑤧𑤨𑤩𑤪𑤫𑤬𑤭𑤮𑤯𑤰𑤱𑤲𑤳𑤴𑤵𑤶𑤷𑤸𑤹𑤺𑤻𑤼𑤽𑤾𑤿𑥀𑥁𑥂𑥃𑥄𑥅𑥆𑥇𑥈𑥉𑥊𑥋𑥌𑥍𑥎𑥏𑥐𑥑𑥒𑥓𑥔𑥕𑥖𑥗𑥘𑥙𑥚𑥛𑥜𑥝𑥞𑥟𑥠𑥡𑥢𑥣𑥤𑥥𑥦𑥧𑥨𑥩𑥪𑥫𑥬𑥭𑥮𑥯𑥰𑥱𑥲𑥳𑥴𑥵𑥶𑥷𑥸𑥹𑥺𑥻𑥼𑥽𑥾𑥿𑦀𑦁𑦂𑦃𑦄𑦅𑦆𑦇𑦈𑦉𑦊𑦋𑦌𑦍𑦎𑦏𑦐𑦑𑦒𑦓𑦔𑦕𑦖𑦗𑦘𑦙𑦚𑦛𑦜𑦝𑦞𑦟𑦠𑦡𑦢𑦣𑦤𑦥𑦦𑦧𑦨𑦩𑦪𑦫𑦬𑦭𑦮𑦯𑦰𑦱𑦲𑦳𑦴𑦵𑦶𑦷𑦸𑦹𑦺𑦻𑦼𑦽𑦾𑦿𑧀𑧁𑧂𑧃𑧄𑧅𑧆𑧇𑧈𑧉𑧊𑧋𑧌𑧍𑧎𑧏𑧐𑧑𑧒𑧓𑧔𑧕𑧖𑧗𑧘𑧙𑧚𑧛𑧜𑧝𑧞𑧟𑧠𑧡𑧢𑧣𑧤𑧥𑧦𑧧𑧨𑧩𑧪𑧫𑧬𑧭𑧮𑧯𑧰𑧱𑧲𑧳𑧴𑧵𑧶𑧷𑧸𑧹𑧺𑧻𑧼𑧽𑧾𑧿𑨀𑨁𑨂𑨃𑨄𑨅𑨆𑨇𑨈𑨉𑨊𑨋𑨌𑨍𑨎𑨏𑨐𑨑𑨒𑨓𑨔𑨕𑨖𑨗𑨘𑨙𑨚𑨛𑨜𑨝𑨞𑨟𑨠𑨡𑨢𑨣𑨤𑨥𑨦𑨧𑨨𑨩𑨪𑨫𑨬𑨭𑨮𑨯𑨰𑨱𑨲𑨳𑨴𑨵𑨶𑨷𑨸𑨹𑨺𑨻𑨼𑨽𑨾𑨿𑩀𑩁𑩂𑩃𑩄𑩅𑩆𑩇𑩈𑩉𑩊𑩋𑩌𑩍𑩎𑩏𑩐𑩑𑩒𑩓𑩔𑩕𑩖𑩗𑩘𑩙𑩚𑩛𑩜𑩝𑩞𑩟𑩠𑩡𑩢𑩣𑩤𑩥𑩦𑩧𑩨𑩩𑩪𑩫𑩬𑩭𑩮𑩯𑩰𑩱𑩲𑩳𑩴𑩵𑩶𑩷𑩸𑩹𑩺𑩻𑩼𑩽𑩾𑩿𑪀𑪁𑪂𑪃𑪄𑪅𑪆𑪇𑪈𑪉𑪊𑪋𑪌𑪍𑪎𑪏𑪐𑪑𑪒𑪓𑪔𑪕𑪖𑪗𑪘𑪙𑪚𑪛𑪜𑪝𑪞𑪟𑪠𑪡𑪢𑪣𑪤𑪥𑪦𑪧𑪨𑪩𑪪𑪫𑪬𑪭𑪮𑪯𑪰𑪱𑪲𑪳𑪴𑪵𑪶𑪷𑪸𑪹𑪺𑪻𑪼𑪽𑪾𑪿𑫀𑫁𑫂𑫃𑫄𑫅𑫆𑫇𑫈𑫉𑫊𑫋𑫌𑫍𑫎𑫏𑫐𑫑𑫒𑫓𑫔𑫕𑫖𑫗𑫘𑫙𑫚𑫛𑫜𑫝𑫞𑫟𑫠𑫡𑫢𑫣𑫤𑫥𑫦𑫧𑫨𑫩𑫪𑫫𑫬𑫭𑫮𑫯𑫰𑫱𑫲𑫳𑫴𑫵𑫶𑫷𑫸𑫹𑫺𑫻𑫼𑫽𑫾𑫿𑬀𑬁𑬂𑬃𑬄𑬅𑬆𑬇𑬈𑬉𑬊𑬋𑬌𑬍𑬎𑬏𑬐𑬑𑬒𑬓𑬔𑬕𑬖𑬗𑬘𑬙𑬚𑬛𑬜𑬝𑬞𑬟𑬠𑬡𑬢𑬣𑬤𑬥𑬦𑬧𑬨𑬩𑬪𑬫𑬬𑬭𑬮𑬯𑬰𑬱𑬲𑬳𑬴𑬵𑬶𑬷𑬸𑬹𑬺𑬻𑬼𑬽𑬾𑬿𑭀𑭁𑭂𑭃𑭄𑭅𑭆𑭇𑭈𑭉𑭊𑭋𑭌𑭍𑭎𑭏𑭐𑭑𑭒𑭓𑭔𑭕𑭖𑭗𑭘𑭙𑭚𑭛𑭜𑭝𑭞𑭟𑭠𑭡𑭢𑭣𑭤𑭥𑭦𑭧𑭨𑭩𑭪𑭫𑭬𑭭𑭮𑭯𑭰𑭱𑭲𑭳𑭴𑭵𑭶𑭷𑭸𑭹𑭺𑭻𑭼𑭽𑭾𑭿𑮀𑮁𑮂𑮃𑮄𑮅𑮆𑮇𑮈𑮉𑮊𑮋𑮌𑮍𑮎𑮏𑮐𑮑𑮒𑮓𑮔𑮕𑮖𑮗𑮘𑮙𑮚𑮛𑮜𑮝𑮞𑮟𑮠𑮡𑮢𑮣𑮤𑮥𑮦𑮧𑮨𑮩𑮪𑮫𑮬𑮭𑮮𑮯𑮰𑮱𑮲𑮳𑮴𑮵𑮶𑮷𑮸𑮹𑮺𑮻𑮼𑮽𑮾𑮿𑯀𑯁𑯂𑯃𑯄𑯅𑯆𑯇𑯈𑯉𑯊𑯋𑯌𑯍𑯎𑯏𑯐𑯑𑯒𑯓𑯔𑯕𑯖𑯗𑯘𑯙𑯚𑯛𑯜𑯝𑯞𑯟𑯠𑯡𑯢𑯣𑯤𑯥𑯦𑯧𑯨𑯩𑯪𑯫𑯬𑯭𑯮𑯯𑯰𑯱𑯲𑯳𑯴𑯵𑯶𑯷𑯸𑯹𑯺𑯻𑯼𑯽𑯾𑯿𑰀𑰁𑰂𑰃𑰄𑰅𑰆𑰇𑰈𑰉𑰊𑰋𑰌𑰍𑰎𑰏𑰐𑰑𑰒𑰓𑰔𑰕𑰖𑰗𑰘𑰙𑰚𑰛𑰜𑰝𑰞𑰟𑰠𑰡𑰢𑰣𑰤𑰥𑰦𑰧𑰨𑰩𑰪𑰫𑰬𑰭𑰮𑰯𑰰𑰱𑰲𑰳𑰴𑰵𑰶𑰷𑰸𑰹𑰺𑰻𑰼𑰽𑰾𑰿𑱀𑱁𑱂𑱃𑱄𑱅𑱆𑱇𑱈𑱉𑱊𑱋𑱌𑱍𑱎𑱏𑱐𑱑𑱒𑱓𑱔𑱕𑱖𑱗𑱘𑱙𑱚𑱛𑱜𑱝𑱞𑱟𑱠𑱡𑱢𑱣𑱤𑱥𑱦𑱧𑱨𑱩𑱪𑱫𑱬𑱭𑱮𑱯𑱰𑱱𑱲𑱳𑱴𑱵𑱶𑱷𑱸𑱹𑱺𑱻𑱼𑱽𑱾𑱿𑲀𑲁𑲂𑲃𑲄𑲅𑲆𑲇𑲈𑲉𑲊𑲋𑲌𑲍𑲎𑲏𑲐𑲑𑲒𑲓𑲔𑲕𑲖𑲗𑲘𑲙𑲚𑲛𑲜𑲝𑲞𑲟𑲠𑲡𑲢𑲣𑲤𑲥𑲦𑲧𑲨𑲩𑲪𑲫𑲬𑲭𑲮𑲯𑲰𑲱𑲲𑲳𑲴𑲵𑲶𑲷𑲸𑲹𑲺𑲻𑲼𑲽𑲾𑲿𑳀𑳁𑳂𑳃𑳄𑳅𑳆𑳇𑳈𑳉𑳊𑳋𑳌𑳍𑳎𑳏𑳐𑳑𑳒𑳓𑳔𑳕𑳖𑳗𑳘𑳙𑳚𑳛𑳜𑳝𑳞𑳟𑳠𑳡𑳢𑳣𑳤𑳥𑳦𑳧𑳨𑳩𑳪𑳫𑳬𑳭𑳮𑳯𑳰𑳱𑳲𑳳𑳴𑳵𑳶𑳷𑳸𑳹𑳺𑳻𑳼𑳽𑳾𑳿𑴀𑴁𑴂𑴃𑴄𑴅𑴆𑴇𑴈𑴉𑴊𑴋𑴌𑴍𑴎𑴏𑴐𑴑𑴒𑴓𑴔𑴕𑴖𑴗𑴘𑴙𑴚𑴛𑴜𑴝𑴞𑴟𑴠𑴡𑴢𑴣𑴤𑴥𑴦𑴧𑴨𑴩𑴪𑴫𑴬𑴭𑴮𑴯𑴰𑴱𑴲𑴳𑴴𑴵𑴶𑴷𑴸𑴹𑴺𑴻𑴼𑴽𑴾𑴿𑵀𑵁𑵂𑵃𑵄𑵅𑵆𑵇𑵈𑵉𑵊𑵋𑵌𑵍𑵎𑵏𑵐𑵑𑵒𑵓𑵔𑵕𑵖𑵗𑵘𑵙𑵚𑵛𑵜𑵝𑵞𑵟𑵠𑵡𑵢𑵣𑵤𑵥𑵦𑵧𑵨𑵩𑵪𑵫𑵬𑵭𑵮𑵯𑵰𑵱𑵲𑵳𑵴𑵵𑵶𑵷𑵸𑵹𑵺𑵻𑵼𑵽𑵾𑵿𑶀𑶁𑶂𑶃𑶄𑶅𑶆𑶇𑶈𑶉𑶊𑶋𑶌𑶍𑶎𑶏𑶐𑶑𑶒𑶓𑶔𑶕𑶖𑶗𑶘𑶙𑶚𑶛𑶜𑶝𑶞𑶟𑶠𑶡𑶢𑶣𑶤𑶥𑶦𑶧𑶨𑶩𑶪𑶫𑶬𑶭𑶮𑶯𑶰𑶱𑶲𑶳𑶴𑶵𑶶𑶷𑶸𑶹𑶺𑶻𑶼𑶽𑶾𑶿𑷀𑷁𑷂𑷃𑷄𑷅𑷆𑷇𑷈𑷉𑷊𑷋𑷌𑷍𑷎𑷏𑷐𑷑𑷒𑷓𑷔𑷕𑷖𑷗𑷘𑷙𑷚𑷛𑷜𑷝𑷞𑷟𑷠𑷡𑷢𑷣𑷤𑷥𑷦𑷧𑷨𑷩𑷪𑷫𑷬𑷭𑷮𑷯𑷰𑷱𑷲𑷳𑷴𑷵𑷶𑷷𑷸𑷹𑷺𑷻𑷼𑷽𑷾𑷿𑸀𑸁𑸂𑸃𑸄𑸅𑸆𑸇𑸈𑸉𑸊𑸋𑸌𑸍𑸎𑸏𑸐𑸑𑸒𑸓𑸔𑸕𑸖𑸗𑸘𑸙𑸚𑸛𑸜𑸝𑸞𑸟𑸠𑸡𑸢𑸣𑸤𑸥𑸦𑸧𑸨𑸩𑸪𑸫𑸬𑸭𑸮𑸯𑸰𑸱𑸲𑸳𑸴𑸵𑸶𑸷𑸸𑸹𑸺𑸻𑸼𑸽𑸾𑸿𑹀𑹁𑹂𑹃𑹄𑹅𑹆𑹇𑹈𑹉𑹊𑹋𑹌𑹍𑹎𑹏𑹐𑹑𑹒𑹓𑹔𑹕𑹖𑹗𑹘𑹙𑹚𑹛𑹜𑹝𑹞𑹟𑹠𑹡𑹢𑹣𑹤𑹥𑹦𑹧𑹨𑹩𑹪𑹫𑹬𑹭𑹮𑹯𑹰𑹱𑹲𑹳𑹴𑹵𑹶𑹷𑹸𑹹𑹺𑹻𑹼𑹽𑹾𑹿𑺀𑺁𑺂𑺃𑺄𑺅𑺆𑺇𑺈𑺉𑺊𑺋𑺌𑺍𑺎𑺏𑺐𑺑𑺒𑺓𑺔𑺕𑺖𑺗𑺘𑺙𑺚𑺛𑺜𑺝𑺞𑺟𑺠𑺡𑺢𑺣𑺤𑺥𑺦𑺧𑺨𑺩𑺪𑺫𑺬𑺭𑺮𑺯𑺰𑺱𑺲𑺳𑺴𑺵𑺶𑺷𑺸𑺹𑺺𑺻𑺼𑺽𑺾𑺿𑻀𑻁𑻂𑻃𑻄𑻅𑻆𑻇𑻈𑻉𑻊𑻋𑻌𑻍𑻎𑻏𑻐𑻑𑻒𑻓𑻔𑻕𑻖𑻗𑻘𑻙𑻚𑻛𑻜𑻝𑻞𑻟𑻠𑻡𑻢𑻣𑻤𑻥𑻦𑻧𑻨𑻩𑻪𑻫𑻬𑻭𑻮𑻯𑻰𑻱𑻲𑻳𑻴𑻵𑻶𑻷𑻸𑻹𑻺𑻻𑻼𑻽𑻾𑻿𑼀𑼁𑼂𑼃𑼄𑼅𑼆𑼇𑼈𑼉𑼊𑼋𑼌𑼍𑼎𑼏𑼐𑼑𑼒𑼓𑼔𑼕𑼖𑼗𑼘𑼙𑼚𑼛𑼜𑼝𑼞𑼟𑼠𑼡𑼢𑼣𑼤𑼥𑼦𑼧𑼨𑼩𑼪𑼫𑼬𑼭𑼮𑼯𑼰𑼱𑼲𑼳𑼴𑼵𑼶𑼷𑼸𑼹𑼺𑼻𑼼𑼽𑼾𑼿𑽀𑽁𑽂𑽃𑽄𑽅𑽆𑽇𑽈𑽉𑽊𑽋𑽌𑽍𑽎𑽏𑽐𑽑𑽒𑽓𑽔𑽕𑽖𑽗𑽘𑽙𑽚𑽛𑽜𑽝𑽞𑽟𑽠𑽡𑽢𑽣𑽤𑽥𑽦𑽧𑽨𑽩𑽪𑽫𑽬𑽭𑽮𑽯𑽰𑽱𑽲𑽳𑽴𑽵𑽶𑽷𑽸𑽹𑽺𑽻𑽼𑽽𑽾𑽿𑾀𑾁𑾂𑾃𑾄𑾅𑾆𑾇𑾈𑾉𑾊𑾋𑾌𑾍𑾎𑾏𑾐𑾑𑾒𑾓𑾔𑾕𑾖𑾗𑾘𑾙𑾚𑾛𑾜𑾝𑾞𑾟𑾠𑾡𑾢𑾣𑾤𑾥𑾦𑾧𑾨𑾩𑾪𑾫𑾬𑾭𑾮𑾯𑾰𑾱𑾲𑾳𑾴𑾵𑾶𑾷𑾸𑾹𑾺𑾻𑾼𑾽𑾾𑾿𑿀𑿁𑿂𑿃𑿄𑿅𑿆𑿇𑿈𑿉𑿊𑿋𑿌𑿍𑿎𑿏𑿐𑿑𑿒𑿓𑿔𑿕𑿖𑿗𑿘𑿙𑿚𑿛𑿜𑿝𑿞𑿟𑿠𑿡𑿢𑿣𑿤𑿥𑿦𑿧𑿨𑿩𑿪𑿫𑿬𑿭𑿮𑿯𑿰𑿱𑿲𑿳𑿴𑿵𑿶𑿷𑿸𑿹𑿺𑿻𑿼𑿽𑿾𑿿𑀀𑀁𑀂𑀃𑀄𑀅𑀆𑀇𑀈𑀉𑀊𑀋𑀌𑀍𑀎𑀏𑀐𑀑𑀒𑀓𑀔𑀕𑀖𑀗𑀘𑀙𑀚𑀛𑀜𑀝𑀞𑀟𑀠𑀡𑀢𑀣𑀤𑀥𑀦𑀧𑀨𑀩𑀪𑀫𑀬𑀭𑀮𑀯𑀰𑀱𑀲𑀳𑀴𑀵𑀶𑀷𑀸𑀹𑀺𑀻𑀼𑀽𑀾𑀿𑁀𑁁𑁂𑁃𑁄𑁅𑁆𑁇𑁈𑁉𑁊𑁋𑁌𑁍𑁎𑁏𑁐𑁑𑁒𑁓𑁔𑁕𑁖𑁗𑁘𑁙𑁚𑁛𑁜𑁝𑁞𑁟𑁠𑁡𑁢𑁣𑁤𑁥𑁦𑁧𑁨𑁩𑁪𑁫𑁬𑁭𑁮𑁯𑁰𑁱𑁲𑁳𑁴𑁵𑁶𑁷𑁸𑁹𑁺𑁻𑁼𑁽𑁾𑁿𑂀𑂁𑂂𑂃𑂄𑂅𑂆𑂇𑂈𑂉𑂊𑂋𑂌𑂍𑂎𑂏𑂐𑂑𑂒𑂓𑂔𑂕𑂖𑂗𑂘𑂙𑂚𑂛𑂜𑂝𑂞𑂟𑂠𑂡𑂢𑂣𑂤𑂥𑂦𑂧𑂨𑂩𑂪𑂫𑂬𑂭𑂮𑂯𑂰𑂱











已上天盤地盤并結線作法，近來所不用也，或經雖有金剛智之所譯經，不知誰人講來，先德多付此經作次第仰不可信也。

已上野抄載之云。

文師云，小野僧正此法用或經等說，二十八宿三十六禽等，不可用給內外一心也，仍強不可非或經說也云。

本云

延德三年癸卯十月十三日，於高雄神護寺地藏院寫之。

永正六年己丑五月一日，於金剛峯寺書寫之。

白寶口抄 虛空藏法

本書事

大虛空藏菩薩所問經八卷二百

不空譯 貞元新入目錄

又云，或五卷，是大集經虛空藏品，故不入藏。

又藏 圓覺 梵釋 海仁入藏也

虛空藏菩薩問持經得幾幅經一卷

貞元云，即攝前虛空藏品，故不入藏。

圓覺 梵釋

虛空藏菩薩經一卷

貞元 圓覺 梵釋

虛空藏菩薩經二卷

貞元 圓覺 梵釋

觀虛空藏菩薩經一卷

亦云，虛空藏菩薩經，或無觀字

私云，已上五貝傍見之，古今譯經圖記云，沙門曇摩密多，此云法秀，闍賓國人，甚有慧鑒，常有善神潛形密護，○以宋文帝元嘉元年，至建業於祇洹寺，譯虛空藏菩薩經一卷，虛空藏菩薩神呪經一卷等，一十部合一十二卷。

虛空藏菩薩神呪經一卷

貞元 圓覺 梵釋

大虛空藏菩薩念誦法一卷 五枚

不空譯 貞元新入目錄

海仁 運珍 圓覺 運錄 無大字並菩薩字

虛空藏菩薩能滿諸願最勝心陀羅尼求開持法一卷

貞元 圓覺 梵釋

注云，亦虛空藏菩薩求開持法一卷，續古今譯經圖記云，沙門戌婆揭羅僧，海山

反割，唐晉正翻云，淨師子，以義譯之名

善無畏，中印度摩訶陀國人，○勅令住西明寺，開元五年，丁於菩提院譯虛空藏菩薩能滿諸願最勝心陀羅尼求開持法一卷，沙門慧達譯語沙門無著綴文筆受。

虛空藏能滿諸願法一卷

梵字虛空藏真言一本 仁

已上祕錄

權頂後可受得事

儀軌云，行者先應灌頂，道場觀對師受得儀軌文，仁海僧正記云，受學兩界大法之人，餘尊法，只見儀軌得心修之文。

問大師既御灌頂之後，受學經軌等，給付法傳并御遺告等分明也，諸儀軌說如是，今小野僧正記相違，如何？答，覺洞院僧正云，或流灌頂已後，師受學之，或流灌頂已後，雖未傳受，私披閱修之，但不授他當流入壇已後，私披見又授他，無失云。

名字事

梵號 阿迦拾羯婆那

譯名 代打

御請來出胎梵號虛空藏院

與 代打

胎藏釋迦院右脇

金剛界寶善靈寶號 如意金剛

無盡金剛

胎藏釋迦院右脇

金剛界寶善靈寶號 富貴金剛

金剛界十六尊疏十一

云如虛空不可破壞一切無能勝者故名虛空等類又

藏者如人有大寶藏施所欲者自在取之

不受貧乏如來虛空藏亦復如是

一切利樂衆生事皆從中出無量法寶自在受用

而無窮竭相名虛空藏也○此藏能生一

切佛事也又同十五云虛空藏菩薩入

清淨境界三昧自心說者所謂住此三昧

能知自心本性清淨了達如是清淨法界

之境即是大空之祕藏也又此虛空藏即

是大悲胎藏能長養成就菩提之心也

義釋七云經云爾時虛空藏菩薩入清淨

境界三昧說自心真言者謂入此三昧即

知諸佛境界畢竟清淨猶如虛空是故普

門曼荼羅皆悉離一切相唯是心佛自證

不可示人而以自在神力於內取與周故

衆生不可窮盡又如虛空正以無所有故

無所不有也又最勝王經云觀四虛空

藏菩薩○始欲現前證見法身理從理爲

名○虛空大三義一容受二無邊三遍滿

法界具三義故曰虛空也藏亦有三義一

道前生死藏涅槃是所藏之義此人

是七地頂得人八地乃至十地故曰虛空

藏也○虛空藏名略有二義一依事從虛

空中能雨無量珍寶爾時地神乃至阿迦

尼吒天皆歡喜唱言此大菩薩可名虛空

藏時佛印可名一切空藏二就理我身即是

虛空以虛空證知一虛法爲虛空印○法性

虛空以爲自身即以身爲虛空爲藏本

教王教經疏四云虛空藏大菩薩者是三

昧之主即此所修之行故云虛空藏菩薩

三昧耶福德之聚無邊無際猶如虛空又

三輪清淨瑤瑤者虛空離垢染故云虛空所

言藏者略有三義謂一者能藏爲藏二者

所藏名藏三者能生名藏此三昧耶包含

世間及出世間福德之聚無所妨礙故言

能藏名藏故理越釋五云此菩薩在右月

輪表一切如來真如恒沙功德寶聚也

又衆生薄福不能感得而爲薄福之所

覆藏故名所藏也大聖慈悲憐愍有情開

法界藏出生無盡金剛七寶施與一切故

言能生爲藏也

口云虛空藏名言猶見大集經第十五可

見之所證經虛空藏者即是大悲胎藏能

長養成就菩提之心也云虛空藏胎藏真

經盧遮那胎藏虛空藏故此菩薩攝真實

經號胎藏菩薩見盧遮那胎含福智二嚴故

虛空藏者大日如來福智門也以第一義

空爲庫藏納福智之二種珍寶施與一切

衆生故成就佛境界莊嚴三昧福智施衆

生也其福智二嚴左右手劍與寶珠表示

之也又云虛空藏地藏此兩尊同一體也

地義地受茶羅即是胎藏界大日也虛空

藏天受茶羅即金剛界大日也兩大日互

具其德只一德也虛空藏功德依地顯之

地藏功德依虛空顯之天地感應之義陰

陽和合出生萬物也然而虛空藏以虛空

爲藏從大地出生含萬物能長養之地藏

以大地爲藏從青天下雨露能持之有深

義更問仁王經下云金剛寶者虛空藏菩

薩也文大經云金剛寶菩薩藏名虛空又

實生如來文理趣釋六云一切三界主

如來者是復說此菩薩理趣修化則虛空藏

薩是也復說此菩薩理趣修化則虛空藏

薩是也復說此菩薩理趣修化則虛空藏

薩是也復說此菩薩理趣修化則虛空藏

薩是也復說此菩薩理趣修化則虛空藏

薩是也復說此菩薩理趣修化則虛空藏

薩是也復說此菩薩理趣修化則虛空藏

薩是也復說此菩薩理趣修化則虛空藏

薩是也復說此菩薩理趣修化則虛空藏

薩是也復說此菩薩理趣修化則虛空藏

薩是也復說此菩薩理趣修化則虛空藏

薩是也復說此菩薩理趣修化則虛空藏

薩是也復說此菩薩理趣修化則虛空藏

薩是也復說此菩薩理趣修化則虛空藏

薩是也復說此菩薩理趣修化則虛空藏

薩是也復說此菩薩理趣修化則虛空藏

薩是也復說此菩薩理趣修化則虛空藏

薩是也復說此菩薩理趣修化則虛空藏

薩是也復說此菩薩理趣修化則虛空藏

薩是也復說此菩薩理趣修化則虛空藏

薩是也復說此菩薩理趣修化則虛空藏

薩是也復說此菩薩理趣修化則虛空藏

薩是也復說此菩薩理趣修化則虛空藏

薩是也復說此菩薩理趣修化則虛空藏

六道衆生貧窮無福慙文是以不開悟中  
適實相之理爲貧窮也眞言意設雖開悟  
實之理不知六大四曼之功德不修三密  
五相之觀行猶是貧窮孤露衆生也云三  
輪清淨者能施以我功所施持力及施物以  
及故無能施罪無盜犯之罪也自能施  
輪他施所自他之資財及施物輸也住此  
觀施一針一草作資財此即三輪清淨也  
運心理正施實物事也清淨者能施住  
無上善提心無少分慳吝所施迴向所修  
功德於法界都無一分著相施物本無相  
清淨之體也能施所施共無染著故云三  
輪清淨也又云此三即本有常住法也故  
云清淨也虛空藏內說事經口云三輪清  
淨者其金佛身金剛薩埵之大樂也故  
理趣釋七云法蘭樂之智又云七云由緣  
伽法一念淨心相應便證眞如實際不捨  
大悲於淨穢土受用身變化身成佛文此  
三輪清淨之功德成五方五智四種法身  
理智事三點總體也此談三輪自性義也  
謂由緣伽法者中方法界智也此即本有  
性德之理智相應位也一念淨心者第八  
識圓明位也相應者是東方淨菩提心智  
與中方法界自性理相應位也便證眞如  
實際者南方不二事點也此三輪內證也  
故云平等性智即如意寶珠體也此云三  
寶珠也捨大悲者心外中內也穢土  
者心外中外也受用身者西方能加持身  
變化身者北方所加持西北方化他二智

也又受用身成佛西方阿彌陀即是他受  
用身也變化身成佛北方釋迦八相成道  
成佛事業智是變化也淨土者極樂也穢  
土者娑婆也但阿彌陀他受用身云事心  
內三點是見處遮那之內證自性三身也  
中方法界智自性身東方大圓鏡智自受  
用身南方平等性智他受用身也非心外  
十地能化他受用也此靜通義也心內三  
點共內證故名自受用身心外之阿彌陀  
云他受用也釋迦變化身也入虛空藏菩  
薩三摩地行者不得六分之一罪事理趣  
釋八云云設盜一切有主所攝物者六分  
之一不得與取罪文文意不隱置物被  
取盜人物主六分之一罪得之也然入此  
菩薩三摩地人不得物主所得之一分罪  
也凡入此菩薩三摩地法界財寶併自身  
之萬德也故無盜犯之罪也云云然不知  
法寶德不爲其相也云已上  
種子事  
口云事字不如不可得義了廣垢不可  
得義其遠離不可得義也廣垢即遠離故  
以眞如法界爲體故云虛空藏又事字是  
寶生佛種子也字不如不可得字離  
塵染寂靜義是即釋迦攝威儀歸平等義  
也南方福北方德相應遍虛空藏也此字  
也法并寶生尊法時口訣委細也  
三形事  
寶珠者理趣釋八云眞陀摩尼寶能滿

一切衆生希求願文  
問此三形一妻之寶珠歟如何答三寶  
寶珠也中東南理智事三點也在經眞如  
時惱業苦之三道也出離眞如時法身般  
若解脫之三德也  
異說事  
理趣經三寶珠也理趣釋八云云堪覽  
二字者具四字表四種理趣行門多字者  
眞如不可得義離字離塵義阿引字一切  
法本來寂靜猶如虛空藏受茶糲弄字一  
切法無我義常與此心眞實相應故身心  
無礙由如虛空接恒駄都法尤於此部中  
最速成就所求一切伏藏皆得現前眞陀  
摩尼寶能滿一切衆生希求願故文  
金界三寶珠也三摩耶會眞言終字也  
口云以三字爲種子醍醐法務成就院并  
西院等諸家用之守護經第九云攝義無  
邊故爲一切陀羅尼母一切菩薩從此而生一  
爲一切陀羅尼母一切菩薩從此而生一  
切諸佛從此出現  
胎藏界三寶珠也  
口云根本自在義也奇喻於世界彼世界  
最初是空處也又云是出生義也是如  
此書之是等皆異作也本字也是三寶  
寶珠形也故大師御筆字伊點寶形被  
遊仍云寶珠是也  
口云眞眞言初字也眞亦空義也仍爲種

子又寶珠種子也最祕說也西院等以

我爲祕也

理三寶珠也  
理趣釋云寶字一切法本來寂靜猶如虛  
空云

已上三種子皆虛空藏院也小野圖在  
之又七集等出之釋迦院一說也七  
集等出之

### 道場觀事

地上有八功德水中有寶山文是須彌  
山頂觀道場也內海功德水也八師子座  
者表八識菩提是勇健故師子義也七寶  
蓮花臺者八業開敷之蓮花也見儀軌其  
身金色者寶地大色也故身色表胎藏  
名號表金界虛空天受荼羅故也是即表  
兩部不二法性大日也念誦結護紫金  
云祕藏記肉色也大日經三白色同族十  
三同之五佛寶冠者五佛胎藏也五智金  
界也故今五佛胎藏也虛空藏名號亦金  
界故是表兩部不二也施願手智義如意  
珠手理也是福智二嚴也一切皆顯不二  
即事點尊也義可知

問今道場觀事依何經軌乎如何

答儀軌不說圖像依求開持軌儀儀軌初云

虛空藏菩薩○身作金色寶蓮花上半跏

而坐以右押左容顏殊妙作熙怡喜悅之

相於寶冠上有五佛佛結跏趺坐菩薩左

手執白蓮花微作紅色於花臺上有如意

寶珠瑠璃色黃光發焰右手復作與諸願

印五指垂下現掌向外是與願印相文

### 形像異說事

大日經一具嚴品第三云於諸方當盡虛空藏  
動勇被白衣持刀生焰光文同三寶輪像  
八云龍方虛空藏白色白衣身有光焰以

諸婆塔莊嚴手持錫伽文疏五三云於  
西方盡虛空藏菩薩被鮮白衣左手持蓮  
花上有大刀印刀印上遍生焰光及諸

眷屬皆坐正蓮花上此菩薩持如來等虛  
空慧所以持大刀者利害之權軌也被眼  
白表明自淨無垢是其教門之軌也譬如

虛空無所分別亦無積集而世間萬像依  
之以生今此法門亦爾於畢竟空中出生  
不思議自在之用無有窮盡如大集虛空

藏經中廣明故名虛空藏也文同十三  
云西方虛空藏菩薩亦以諸婆塔莊嚴其  
身身白色著白衣

身身白色著白衣其白與身色少異也身有光  
焰執大刀作彼印者但畫大刀也文青龍  
軌中九云西方虛空藏動勇被白衣圓白

悅意壇大白蓮花座持大慧刀印如是堅  
利刀鋒銳猶水霜住清淨境界文

已上文右手不分明也

祕藏記云虛空藏菩薩肉色左手持開敷

蓮花上在如意珠玉寶右手持寶劍文高

離受荼羅圖像如記寶珠寶劍皆有火焰

頭上著五佛寶冠也又法輪虛空藏左持

如意寶右執寶劍也右執寶劍大日經并

疏意相達也理趣釋十九云虛空藏菩薩  
背月輪右手持金剛寶左手施願半跏而

坐文攝寶實經二云金剛寶菩薩頂上大  
寶冠身相白肉色左定與願契右慧金剛

寶文念誦結護云虛空藏菩薩身如此金

色頂戴五佛左施無畏右持青蓮花中  
有紅頗梨寶菩薩於中乘青蓮花坐月輪

中文

已上文右皆寶珠也今道場觀之尊尤  
相達也

觀虛空藏菩薩經云爾時當起是相是虛  
空藏菩薩頂上有如意珠其如意珠作紫

金色若見如意珠即見天冠此天冠中有  
三十五佛像現如意珠中十方佛像現虛

空藏菩薩身長二千由旬若現大身與觀  
世音等此菩薩結跏坐手提如意珠玉其  
如意珠演樂法音文

此文如意寶珠左右手不分明也但寶  
冠三十五佛又有寶珠也

虛空藏經云虛空藏菩薩頂上有如意寶  
珠以無量百千轉迴思勝寶而爲圍繞

有大光明文虛空藏神呪經云見其頂上  
如意寶珠文瑜祇經疏引經云菩薩額上

有一寶珠文

已上文頂上有寶珠矣

問身長二千由旬若現大身與觀世音等

文觀身身長者之如何答觀經云觀音  
身長八十萬億那由他由旬大歸法花  
邊彼毛中善賢入其中行十二年不得邊  
際文觀虛空藏經云此菩薩憐愍衆生作

比丘像及一切色像文

此文情形也但一切色像故隨物現色身歟

青龍軌云能知自心本性清淨空含衆色隨形利群生文虛空藏經云實思若有人稱我名至心燒沈水及多伽羅香禮拜供養我見心善惡種爲現種形現佛身菩薩身忿怒王形聲聞辟支佛身釋提桓因毘沙門護世四王身自在大自在等諸天身國王利利婆羅門長者居士大臣比丘比丘尼優婆塞優婆夷童男童女天龍夜叉乾闥婆阿修羅迦樓羅緊那羅摩睺羅伽人非人等我現父母妻子親屬身現鳥畜身爲說種種法作種種利益終令悟無上道如是諸形像不可說盡文虛空藏菩薩經云此菩薩一切衆生之無上福田此菩薩三世諸佛之第一補處此菩薩具十八不共法秘法門此菩薩往來十方不可說不可說世界和光同塵現種種形施於廣大慈悲說種種法終令成正覺唯除如來餘無及此菩薩者文

已上文種種變身也歟

受茶羅事

理趣釋云云修行者修虛空藏菩薩三摩地行放應建立本菩薩曼荼羅中央畫虛空藏菩薩如本形前畫金剛寶右畫金剛寶後畫金剛寶內外院四隅各列內外四供養如本形東門安金剛杵南門寶西門蓮花北門鈴修行者若入此曼荼羅令

他人現身所求一切富貴階位悉得滅一切貧窮業障設盜一切有主所攝物者六分之一不得不與取罪速疾獲得一切悉地或時瑜伽師坐曼荼羅中作本尊瑜伽觀與諸聖衆圍繞文此章四親近菩薩寶光輝笑也故菩薩云寶生尊也一切凡聖十界併無不備三輪功德者三輪者三密等之功德也乃至一切草木等受地水火風之精皆是虛空藏菩薩也故受一切草木等之精皆養身心是皆自身虛空藏菩薩非情等虛空藏等常恒自受法樂也以此義名虛空藏菩薩即身成佛也眞言行者可行四種施事理趣釋云云所謂以灌頂施故得三界法王位此則金剛寶菩薩三摩地行○義利施故得一切意願滿足故則金剛光菩薩三摩地行所謂以法施故得圓滿一切法此則金剛幢菩薩三摩地行所謂發身施故得身口意一切安樂此則金剛笑菩薩三摩地行文此四如大寶光幢笑四菩薩也灌頂施者以金剛寶灌頂一切如來也金剛寶者淨菩提心如意寶珠之體也施者以灌頂功德施法界衆生也三界法王者已灌頂之人名三界者常途之三界王也又三界者貪瞋癡之三毒也三毒之體即是本有之三身三德云時此來灌頂施也問灌頂一切如來其意如何答理趣釋云云灌頂施與何類衆加者想身虛空藏菩薩以金剛寶灌頂一切如來文意入

我虛空藏菩薩不二寶珠三摩地授灌頂於一切如來也是則爲有緣者授此金剛寶灌頂故施佛即爲施衆生也此三灌頂施也當世授他人灌頂云灌頂施也現身虛空藏菩薩等者法性大阿闍梨也一切如來者云授者也法性大阿闍梨者本有自性普賢金剛薩埵也一切如來等者一切衆生皆含如來藏性是也又云法施者寶珠以金剛寶灌頂一切如來也金剛寶者淨菩提心如意寶珠之體也義利施者南方三慈施沙門婆羅門寶生也是利益衆生廣大義也婆羅門者爲法有利益者也法施者西方妙觀察智說法之也爲施不現形與天龍八部等說法等也滋生施者北方施與傍生之類也傍生類者畜類等也

已上四種施是四智也深祕慈觸等之四種輪壇也云

根本印事

大虛空藏菩薩念誦法八云三昧耶印金剛綽進力變成如寶形禪智並堅置於當心眞言曰

古云三昧耶印明三昧耶印明二箇印明出之今三昧耶印明用之但師說改置也印金剛印內外縛不分明依師傳用內縛密嚴院口決內外縛蓮花印也肉團蓮花也云是內縛肉團蓮花二風寶形蓮花上置寶珠是本尊左手所持三昧耶



即是大悲胎藏能長養成就菩提之心  
寶阿也長不長行長迦長舍長義長也長有長力長牙長三長曼長多長等長

口云。散念誦用吉祥天女故。彼尊西方蓮花部尊也。雖爾彼天左手寶珠右手與願。

虛空藏菩薩身文又八素云所求一切伏  
藏皆得現前眞陀摩尼寶能滿一切衆生

希求願故

已上文增益意

虛空藏經云。思。若有人持我呪者。三世諸佛所深結緣。若欲得無上菩提。欲得三業菩提。現身爲仙人。欲得往來十方佛土。皆持此呪。若欲得智慧。欲得衆愛。借若好歌。欲得第一音聲。欲得王位百官位。欲得種。資財種。眷屬。於善惡事欲得遠名聞者。持此呪亦稱念我名。此文中有成。佛智慧。敬愛音聲。福德名聞等法。可知。

虛空藏念誦法。初云。建立精室作一方壇。隨其大小。以樹摩夷塗地。作八曼荼羅。周匝懸幢。上安天蓋。於壇西面。安虛空藏菩薩像。持誦者壇東對像念誦文。

此文尤敬愛意也。

虛空藏經云。若持此呪者。有怨賊軍陣中。不得有損害。閉閣禁閉柵欄鎖。稱念我名。誦我此呪者。自得放還文。又云。國王災難。發起大臣。散疫氣。流行水旱不調。乃至現種。災變衆生不安。時其土國王。或勅衆僧。若自虛空藏菩薩前。七日乃至三七日間。身心清淨。無餘念。持此呪。數滿一萬遍。畢。應時我施明靈驗。大臣和通。雨澤順時。衆生安樂。國土得安穩。得五穀豐實。文。又云。若有他國王。爲貪國故。送若干軍。虛空藏菩薩前。三日若七日間。誦持此呪。自然被降伏。得還本國文。

此文息災調伏降雨等也。故可渡四種

法歌

儀軌云。若依此教法修行。業報等障皆悉消除。文觀虛空藏經云。若優婆塞。破五戒。犯八戒。齋出家。比丘。比丘尼。沙彌。沙彌尼。式叉摩那。犯四種禁。在家菩薩。毀六重法。出家菩薩。犯八重禁。如是愚人。世尊先於毘尼中。說決定顯債。如大石破。今於此經。說大悲愍空藏。能救諸苦。及說呪以除罪。○世尊大慈弘誓。無量不捨一切。於深功德經。說治罪法。名決定毘尼。有三十五。佛救救世。大慈當敬禮。敬敬禮時。當著慚愧衣。文。又云。若於夢中。若坐禪時。以摩尼珠。印印被人臂。印文有除罪字。得此字已。還入僧中。如本說戒。若優婆塞。得此字者。不障出家。設不得此字。使空中有聲。唱言。滅罪滅罪。若無空聲。使知毘尼者。夢見虛空藏菩薩。告言。毘尼菩薩。某甲比丘。某甲優婆塞。更令懺悔。一日乃至七日。禮三十五佛。虛空藏菩薩。力故。汝罪輕微。文。

此文滅罪也。故修滅罪。滅虛空藏菩薩經曰。此菩薩。○者具諸三昧。如大海住。菩薩戒如須彌山。忍辱心如金剛。精進勇猛。行如疾風。爲法界之病衆生。與種。樂除愈種。病乃至連證。無上菩提。無過虛空藏菩薩文。

此文除病義也。

虛空藏菩薩經云。實。若女人臨產難時。誠信持者。來經女人前。開誦此呪者。即得平產。何況自誦持此呪。女人若如是等言。

虛妄者。我誓不成正覺。唯爲不信者。爲此因。一世二世。終得化度。文。

此文爲產生也。

又云。若有誠信女人。持此呪。於現世。次生中。不轉女身者。我誓不成正覺。文。

此文轉女人身也。

虛空藏神呪經云。命終時。乃至眼不見色。耳不聞聲。鼻不開香。舌不知味。身不覺觸。猶有微細出入氣息。身少識。乃至最後微識。爾時虛空藏菩薩。即爲現身。○說偈言。○如是四聖諦。智慧者。知見以知。於生死能度。諸有情時。彼衆生於意識中。知此法已。皆生善處。文。虛空藏經曰。聞虛空藏菩薩名者。臨命已終。唯有微識。身心不覺。此文菩薩提心義引之。此文開名號。臨終來到。令發起住正念。生善處也。至要之開引之矣。

部主段 實生

自加持 印外縛二中指寶形 真言

自加持 印外縛二中指寶形 真言

自加持 印外縛二中指寶形 真言

自加持 印外縛二中指寶形 真言

自加持 印外縛二中指寶形 真言

自加持 印外縛二中指寶形 真言

自加持 印外縛二中指寶形 真言

自加持 印外縛二中指寶形 真言

自加持 印外縛二中指寶形 真言

自加持 印外縛二中指寶形 真言

召請 印自加持印二大指三招

眞言自加持呪。加召請句。四攝明。

供物 同眞言。加增益句。

供物 同眞言。加增益句。

加持物 同眞言。加增益句。

撥遣 准召請二大指三攝。加撥遣句。

諸尊段 三十七尊。如常。

本云

延德三年辛亥十月十七日。於高雄神

護寺地藏院書寫之

永正六天巳卯月十六日書之

# 白寶口抄

求聞持法第一

本書事

虛空藏菩薩能滿諸願最勝心陀羅尼求

聞持法一卷

注云亦虛空藏菩薩求聞持法一卷

貞元 圓覺 梵釋

續古今譯經圖記云沙門成婆揭羅僧

反山嘉訶唐晉正翻三淨師子以義譯之

名善無畏中印度摩訶陀國人○勅令

住西明寺開元五年丁巳於菩提院譯

虛空藏菩薩能滿諸願最勝心陀羅尼

求聞持法一卷沙門惠達譯語沙門無

著綴文筆受

次第一帖 大師御作

又一帖 同

私云大師修行求聞持次第御入唐以

前隨石潤僧正稟之本也又惠果稟承

之次第有之歟但不及披露也

問求聞持法相承血脈如何 答求聞持

法相承者開元四年善無畏三藏以梵

來長安興福寺南塔院偶住次年開元五

年於菩提院求聞持法譯此時授一行阿

闍梨大安寺道慈律師渡海入唐時逢一

行阿闍梨傳此法師本朝傳大安寺善議

大德善議傳石潤動機動操傳大師大師

傳眞雅眞雅傳聖寶三寶院相承以下可

或云大寶三年三年十四日僧正義淵直

任注相宗入唐智風法師弟子也今法授

道慈律師云

又道照道場道鏡等皆一家弟子也

龍蓋寺傳云大和高市郡居住律氏婦

依無子多年祈申觀音更夜聞兒啼音見

之頓得化生男是也云天智天皇聞食

之與食井所知皇子共令移養岡宮遂以

宮賜義淵爲寺號龍蓋寺云

私云此相承道慈律師以前相違也

口云此求聞持家承之次第血脈者大師

御入唐以前事也惠果御相承之血脈者

以法流傳受之樣可知之

問大師逢石潤僧正此法傳受者御出家

以前歟以後歟如何 答三教指歸序云

爰有一沙門呈余虛空藏聞持法其經說

若人依法誦此眞言一百萬遍即得一切

教法文義暗記於焉信大聖之誠言望飛

焰於鑽燧躋攀阿星來影文機勸念生年

戶崎谷不惜響明屋來影文機勸念生年

十五入京初逢石潤贈僧正大師受大虛

空藏等并能滿虛空藏法品入心念持後

經遊大學從直講味酒淨成諸毛詩左傳

尚書復問左氏春秋於闕田博士博覽經

史專好佛經恒思我之所習上古俗教眼

前都無利焉矧乎一期之後此風已止不

如仰眞福田因慈作三教指歸三卷成近

士號稱無空名山絕嶺之處絕峨孤岸之

修行或於土佐室生門崎寂暫心觀明星入口虛空藏光明照來顯菩薩之威現佛法之無二厥苦節也則嚴冬深雪被藤衣而顯精進道炎夏極熱斷絕發覺明尊懷悔及于二十年爰大師示淵贈僧正召畢發向和泉國指尾山寺於此剃除髻髮授沙彌戒七十二歲儀名稱教海改稱如空成就後復出家以前令傳今法悉地

私云如文童體御時傳受俗體御悉地成就歟近土者五戒婆娑也既剃除髻髮云或云橫尾山寺御誓于今有之也云

## 名字事

口云虛空藏菩薩之名字彼法時委細談話了求聞持者軌云若食此藥即獲聞持一經耳目文義俱解記之於心永無遺忘諸餘福利無量無邊今且略說少分功德文三教指歸序云爰有一沙門呈念虛空藏聞持法其經說若人依法誦此真言一百萬遍即得一切教法文義諸記於焉信大聖之誠言智慧功能理在絕言也不及出經軌誠文經儀軌大旨說福求聞持軌并說福智也於滅罪等者諸尊通途功能也福智是當尊別利生也云又軌云此陀羅尼是過去現在一切諸佛之所同說若能常誦此陀羅尼者從無始來五無間等一切罪障悉皆銷滅常得一切諸佛菩薩共所護念乃至未成佛來所生之處

虛空藏菩薩恒隨守護令諸有情常所樂見諸有善願無不滿足一切苦患皆悉消除常生人天不墮惡趣生生之處常憶宿命設不如法但能常誦獲福云

## 先可畫本尊事

軌云若欲如法持此陀羅尼求聞持者當於紺索白氈或淨板上先畫滿月於中畫虛空藏菩薩像其量下至不減一肘或復過此任其力辦畫滿月增減相稱身作金色寶蓮花上半跏而坐以右押左容顏殊妙作燕怡喜悅之相於寶冠上有五佛像結跏趺坐菩薩左手執白蓮花微作紅色於花臺上有如意寶珠吠瑠璃色黃光發焰右手復作與諸願印五指垂下現掌向外是與願印相畫像了已文

口云初畫白氈淨板之內當世者以稍畫之所坐蓮花莖長莖下引野航光交差亂光也人常御筆稱之或云是道慈菩薩動操護命等先德本尊也弘法大師同以此尊像令勤修給世人謂之悉地成就本尊云

口云淨板者以桂木造月輪其中圖之也

問用桂木其依憑如何答未得口傳感

推云月中有桂樹故月或桂花或桂輪或桂光之有之見兼名苑并安天論等仍

桂木月輪相應物狀可尋之凡香木等用之柏木亦宜歟

擇地事

軌云當於空閑寂靜之處或在淨室塔廟

山頂樹下隨在一處安置其像文

口云東南西南三方暗最上處也或二方或一方暗不苦殊東方暗處為第一仍明星

出時其光為差入道場也或云以日月為此法本尊日月月中云虛星有星即虛空藏

菩薩也朝以日為本尊夕以月為本尊故彼日月光為當本尊開道場東壁當日月

光也又其穴張絹書黃色真字從其通微明星光當本尊也穴開本尊背壁也或云

谷虛北面西向不可厭行此一印法無不成就明星像虛空藏像合面行也承仕不

可被見知二尊合行時諸魔障不得便必七日之內成就也是本迹不二一體行故

也

口云已上義為才覺也雖不用之不苦設

雖坐谷處信心堅固如法可就也

本尊向方事

軌云安置其像面正向西或容向北淨物

覆之文

口云面正向西者增益義也福智增長開

持法相應也或云胎藏界虛空藏東曼荼

羅故向西故面向西也云此義無念事

歟又或容向北文降伏煩惱義歟但臨時

結願一時者向北行者向南也月日融光

自南方入之當乳加持之故也亦智慈願

可向南方彼方光明熾盛也智惠尤光明

故也或云金剛界寶善薩居南方其容向

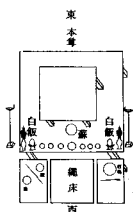
中央大日故向北也云此才覺亦不可

然也云

壇事

口云大壇三尺七寸高八寸或三尺五寸如  
常以榆木造之若不用上木受茶羅時以  
柏木可造之也集經云四肘五採水壇文  
依此者可色採五色也但此事雖本文不  
用之也軌云別作一方木曼荼羅下至一  
肘過此亦任意其壇下安四足或以繩附  
上面去地恰須四指材若用沈檀作者最  
爲殊勝不爾或以栴等有香之木爲之亦  
得如法作已置於像前文

口云木壇方一尺八寸或一尺六寸高四指或一尺六寸有之重大壇上是以栢木造之也



極五色事

口云。百日之間。擲五色必不用之也。但大壇用之。有何失耶。或云。大壇重木壇之時。大壇可曳五色。但木壇許不用之也。

口云、當流不置鈴杵也、或云、爲相應置鈴五股也云、

## 蘇器事

軌云復取牛酥一兩盛貯熟銅器中文集  
經云三兩

口云：一兩懸秤用之，熟銅器必塗減金，不介者出金氣，損乳色味，故也。其器者如灑水器，窪不可用之，日月蝕時，器影覆器，不當日月光放淺，廣極可厚薄，機時動轉，不可尻高，近爲著器，尻於乳樹葉也，故得其心，別可儲用，弊百日之間，若置蘇者，木壇之下，火舍之後，置之，糸若紙捻等，付封不之，見人加持之時，解封開蓋，取上置木壇之中心，加持之，加持畢，如元觀之置木壇之下，火舍之後，加持，每時加持之，朝暮二時也。若三時行之，日中不加持之，聯有故，可尋之，或云：銀器爲騰，或碗器等入之，合蓋，堅以黃糸十文字縛之，不令見人，大壇火舍之中，置之，或木壇中心，或脇，執置之，百日之間，不開乳器蓋，移露地，始開之也。

門：百日之間，不開蓋，加持之，歟？如何？答：不開，加持之，又灑水，也是行者意樂不同也云。

私云爲才覺記之

問蘇器數乳樹葉耶如何 答百日之間不用之。餓時一時可用之也。或云百日之間蘇器數乳樹葉七枚但壇場散白沙壇四足下乳樹葉七枚充可敷之亦壇下敷十四枚其故乳味酸味生蘇味熟蘇味醒酸味表示也。是極祕口傳也。壇上十四枚

表法花涅盤醍醐味也

私云。是爲才覺記之。

金剛童子軌中云蘇取黃牛子同色者令童子搆乳文集經五云取一黃牛置清淨

處令一童男持八齋戒搗取牛乳經於三日所搗得乳日日還飲其生從第四日至第七日搗得乳者卽用作醃以作蘇

然本朝末代疎其作法，蒙乳牛使賣，敢不擇牛色黃黑，更不別五味轉成，隨有進官豈叶法乎？洗尋得數年舊蘇，祈諸法悉地。

實難成就事歟

口傳云以乳微成新乳者熟銅器納之水  
不火之樣認入鑑煮之上器置能煮可沸也

其後取出之竹器令入水如示令墮處是  
新成術也云々又云百日之間不用牛蘇  
即寺詰願之詩并有之殊見用新蘇經百

日定蘇令損歟。或云若兼日蘇不尋得者。蝕時尋之。可入器也。兼入之乳損也。木壇上可置器也。云々

供物辨備事

軌云次應嚴辨五種俱具所謂塗香諸花  
燒香飲食燈明塗香者磨白檀爲之諸花

以隨時棄草所生者充若無時花當以類

米或燒蕎麥或取橘栢等葉或用丁香以  
充花用燒香但以沈檀龍腦隨應用之食  
除薰穢每須新淨燈用牛酥油亦通許文

塗香

抹白檀用。途香也。如常。

無毒時花用之。或隨時藥草所生者。充文黃花相應也。若無時花者。煮殺用之。其形似白花故也。蕎麥亦煮用之。形同之。丁香入水。見有青花故用之。冬時無花等時。橘葉栢葉是宜也。常用之歟。

燒香

沈檀龍腦等隨意用之。但百日之間。香烟不絕之也。

飯食

除薰穢須新淨也。若二時行之朝。飯夕。無之若三時。明粥。日中。飯夕。無之也。

燈明

用牛蘇油。口傳云。油蘇少分トキテ入之也。但軌云。通許文設雖非牛蘇油可用之也。

花瓶

栢枝等用之。

始行日事

天子軌云。若行法時。始自祖恒羅。至于室羅。合縛可結。願若始自室羅。合縛。至于摩羅。誦羅。為結。願若始自摩羅。誦羅。至于祖恒羅。為結。願文唐梵雙對。集云。正月。祖恒羅云。梵語集云。五月。室羅縛。卒云。私云。摩羅誦羅。九月。歟。

口云。正五九月相應。日故。策日尋曆。知日月融時。相當結願日。可定百。但以月融為勝也。

日遍數不可入百萬遍數也。用此說乎。答。今傳不爾。數雖取百日。開白。日。不擇善惡。日歟。除沒日。減日。事。以外之偽說也。或云。百日若五十日。若始行日事。外惡日者。下一兩日。可始之。爾。其一兩日。行法。重坐。可勤入也。

私云。此義亦不可然歟。

行者用意事

此法修行之間。若非時者。可持齋。粥也。不用味。曾水。咽渴故也。能可治風病。全始行。山不可令知他人。不成就時。恥辱故也。兼又有魔。恐。止。難。昏。睡。眠。等。除。懈。怠。疑。心。發。善。提。心。深。住。悲。悲。心。成。就。福。智。之。二。嚴。濟。渡。無。邊。之。衆。生。願。之。可。勇。猛。精。進。也。或云。父母井師長。施衣食云。

修行時分事

軌云。如是誦陀羅尼。隨其能。或一日一上。或一日兩上。從始至終。如初日遍數。多少。亦如初上。不得增減。前後通計。滿百萬遍。其數乃終。亦無時限。然於中間。不容問闕。問。一日一上。何等。如何。諸之乎。答。常途云。一日一上。是上堂故也。蓮師云。一日一勤。是公家上日云。勤。日。云。事也。口傳云。若二時。晨。朝。黃。昏。也。若三時。加日中。或云。三時。便。宜。故。集。經。云。或三時。云。一。問。晨。朝。黃。昏。其。意。如。何。答。後。夜。時。用。晨。朝。者。拜。明。星。天。子。為。波。闍。伽。王。是。明。星。出。時。故。也。黃。昏。者。日。入。時。日。光。熾。盛。亦。星。現。故。日。星。共。令。拜。也。或云。行法了。以鈴新淨。

之袈裟上。向本尊立之。我座。總盤之上。置之。觀想鈴。即我身。我身。即鈴云。此後出。堂。依之。云。十二時。不退行法也。成上根上。智人。悉地。必成就也。但此作法。不限此法。通諸尊如是。

數珠事

口云。水精念珠。若無者。餘寶等云。不空。

軌云。水精念珠文。

行法衣服事

口云。黃色也。

白寶口抄 求開持法第二

開白事

口云此法必晨朝始之也

開白事

師云寅時井花水大桶掬二桶分入一口

圓伽鉢一口佛供淨手水等可充置也

或師云晨朝酌之也云或云但日融平

日可汲寅時以前不汲云小野僧正云

寅初分到圓伽鉢邊先桶三度摩置以圓伽

鉢汲水五度懸井緣結智拳印誦金界大

口明供五部諸尊思之次三度懸井緣結

法界定印誦胎藏大日明供三部諸尊思

之見井底必浮五色花浮五色花者密嚴

國土花也若花浮不見可觀其義其後汲

水入桶見之五色花浮也取其花可入圓

伽鉢也無花可入水誦如此義相尤習可

汲也又以同法汲教士二字汲也云

或云酌水時著莎等或三尺許布二桶繼

合打懸首也是七星中傍有小星當此星

光致障礙也陰陽師此星名太山符君是

祕事也云

私云武曲星傍之小星事數名輔星即

妙見也妙見尊星王同體歟妙見又云

水曜也或云水星是月天精也云殊

此星光酌圓伽鉢水相應歟依陰陽師習

事不可也

洗手面事

軌云必須晨朝盥洗手面文

口云雲近邊置淨水瓶若桶置之加杓云

洗手面畢護淨也或云圓伽鉢置之也

辨備供物置在壇邊事

軌云如法具足已置在壇邊文

口云圓伽鉢香花飲食等也

出外重洗手等事

軌云然後出外復以淨水重洗手已即作

手印掌承淨水誦陀羅尼三遍便即飲之

其手印相先仰舒右手五指屈其頭指與

大拇指相捻狀如捻香此是虛空藏菩薩

如意寶珠成辦一切事印復以此印如前

承水誦陀羅尼三遍竟已灑頂及身即令

內外一切清淨文

口云入堂辨備供具之後更出仰右手印

以左取水入右掌飲之又三度灑頂也又

如灑水右手作印以左手頭指等入水其

滴入右掌以飲之次右印水灑頂

開服之者現飲水耶答實飲水也可觀

字智水也或師云是觀法也例如六月

成就法云

義釋九云六月成就服水者但以真言水入

息白乳之字為食也文是息出入可觀

字白乳字字字也或云仰右一印申地水

火左手取杓汲水入右印渴明星影實飲

之是極祕事也若天不晴時明星影淨此

水中觀念次汲水入右印灑身等三度成

清淨想也云或云誦呪三遍三度飲之

淨食願懺之三毒意也云或云服淨水

者字水輪是諸佛大悲水也形四色白

也一切物內外清淨我成圓滿月輪滿法

界乃至作三世界云十一面軌云洗手

漱口可以印承水三飲兩度拭唇次印二

目兩鼻兩耳兩肩心臍灑兩足又取水灑

身文又云從頂至頸灑浴以印掬水運心

沐浴聖衆文八字文殊軌云若洗手面時

加持淨水七遍等洗手面能令衆生貴仰

若每日晨朝以水一掬加持七遍飲在身

中所有正報悉當消滅何況無交厄者及

諸三業亦得清蕩壽命長遠文

至堂門事

軌云應往諸像所至心禮拜文

口云至戶外乍立作印加持也或記云行

者發堅固信心得悉地其信心者作生身

思謂至堂門時踰居戶外發生身本尊信

中云某甲參修行法本尊早可參之山被

仰思開門戶入堂內直奉見御座之下程

見舉也如是住信心備花香著座後去覆

面始奉見之也如是百日間修之是即蒸

地速成就也

壇前禮事

軌云至心禮拜文

口云此法者以一印一明用諸事故不可

用普通之普通印明也

著座事

軌云面向菩薩半跏而坐文

口云菩薩等必半跏坐也

舉去覆面事

軌云：舉去像上所覆之物文。

口云：覆面者如常以絹覆畫像也。舉此覆面有二說：一說普禮以前步寄本尊邊，以手取去覆面；一說著座以後以鳥口取去之。若引五色立鳥居者，鳥居下去之，歟。前說爲吉云。

問：立鳥居者可修護摩歟，如何？答：此法無護摩，只供養法許也。或云：深義觀念有之，衆生心性本來雖清淨，被覆弊無明煩惱，不顯現。本有智光，然而本覺薰內行者，修善心漸強，愛達速疾，頓成閉持法，信心堅固，修行此法，養無始無明重雲覆弊表顯現。本有如來智光也。入壇之夜覆面養也云。

護身法事

軌云：次即須作護身手印。其手印相，先舉右手，然後以頭指與大母指相捻，狀若捻香，其頭指屈第二節，其第一節微令端直，方始印相。如作法此印已置於頂上，誦陀羅尼一遍，次置右肩，復誦一遍，左肩心喉亦皆如是。作此護身法已，一切諸佛及虛空藏菩薩攝受此人。一切罪障即皆銷滅，身心清淨，福慧增長，一切諸魔及毗那夜迦皆不得便文。

口云：右手作拳，頭指與大指合，端如寶形。印面前加持五處，明五遍也。左手金剛拳，印安暖以下准之觀念。軌文一切諸佛及等文意也。別無三部被甲，以此一印明爲護身也。

問：今一印法也，然而儀軌出兩印，前其手印相，先仰舒右手五指云：「今其手印相，先舉右手云：」是非一印法歟，如何？答：

付此印立地水火三指，是一印別相也。非異門他義，承淨水時，舒三指也。加持物等時作拳，是拳，舒，隨用也。凡右手作拳，風空寶形是軌云，是虛空藏菩薩如意寶珠文。即智法界智與智金剛智，顯法界圓珠金剛性也。故餘智皆歸入一圓大智義也。地水火三指攝轉其表示也，亦舒三智助緣也。同立勢力歸一智義也。

灑水事

軌云：復作前印，掌承淨水，誦陀羅尼一遍，灑遶香等諸供養物并壇及近壇之地也。文。

問：灑水每日可替乎？口云：不必爾也。

口云：無<sub>三</sub>加持又無<sub>三</sub>加持，只無左右先右手舒五指，頭指大指合，端作寶形。仰此印，左手散取香水，其滴入右掌內，三度明三遍，其後掌中水灑諸物，但真實無灑，只過之可觀也。如是三、九遍也。又云：以散杖入水於掌內，畢後誦真言一遍也云。或云：灑香水間，左手散杖直豎，仰掌安左膝上也。或云：取散杖，<sub>三</sub>加持觀念等，皆如常灑水加持用之云。又云：以一印明，一百遍加持香水也云。

私云爲才覺也，但不可用之云。

加持供物事。軌云：復如前作護身手印，置遶香上，誦陀

羅尼一遍，餘華香等乃至木壇，各皆如是。作此法已，花香等物即便清淨文。

口云：加持供物，右手拳風空寶形，印端向供物，加持之，順三遍也。闕伽等，只今不供，可加持之物共出也。凡此諸物用此印而印物持，又水入時，如加持香水印，可舒三指，不然之時，此定可作拳也。或云：一、上置一印云。

啓白 神分 祈願

口云：舊草等在之，但表白等任意樂可書之歟。

五悔等

口云：如常用之。

發願

口云：發願句諸次第各別也，任意可用之歟。

五大願 普供 三力

口云：五悔等不合掌，皆護身印也。發願五大願，普供三力無別印，同護身印也。是拳印也。仰當心唱文等云。

私云：已上啓白已下無儀軌，依大師御作次等歟。

結界事

軌云：復作護身手印，先左轉三匝，次右轉三匝，兼指上下，但運其印身不動，搖誦陀羅尼七遍，隨其自心遠近分齊，結十方界。

口云：先作護身印，明七遍誦之了後，左三匝旋，次右匝旋，次上下也。



問逆三匝順三匝加上下仍眞言八遍歟

何可誦七遍耶 答儀軌既七遍云、但

或師傳云左三匝<sup>明三</sup>右三匝<sup>明三</sup>次上

下一遍總七遍也如是用之不苦但誦明

幾遍云コトアルニ加持遍數相違先誦

遍數了後不誦眞言加持之也是常事也

道場觀事

軌云次應閉目思惟虛空藏菩薩眞身即

與此像等無有文

口云次第云結護身印仰當心云、此法

道場觀不護身印當心護身印也當心胸

也或云以護身印當心左金剛拳安腰也

又左右手作護身印仰二手下左右上重

可觀也又二印風空間少開此印兩部寶

珠也即開兩部寶珠口出生福智萬德可

觀也

私云爲才覺記之不當流習也

問想木曼荼羅上云、大壇不用歟、如

何 答或云大壇者行者心地本有性德

曼荼羅也木壇者是虛空藏三摩地也以

木作壇故木是東方發心體也而南方修

行以發心爲地體故寶生與寶幢佛一體

和合爲寶珠法本尊此故木曼荼羅上現

作法界能滿虛空藏行者本尊一體無二

之義也

字變成寶珠事

口云字寶珠種子之條無子細寶生佛

種子三形也云、或云大師御入唐以前

字寶珠也云、或云石潤僧正御相承

之時字寶珠也云、大師御次第字

如意寶珠也

口云廣澤云弘法大師御口傳於此法有

種子三摩耶形秘密之故不載竹帛歟云

此種子三形者御入唐以後惠果御傳云

種子三形寶劍也字寶珠種子常事

也今以寶字爲甚深疏第四云此如意珠

只是寶字門耳文寶字爲寶珠種子者一

隔別義也用寶字者普門總德也隨又寶

字并如意珠淨菩提心道理相應依用宜就

中疏第十一云若欲耳根淨者想耳寶字

於其耳根而後念誦即得耳根清淨聞十

方佛所說乃至天等之聲云是深祕願勿

授之云、私云疏十二云或坐而想寶字

在於耳根之中以此字出入聞覺即得天

耳根通耳也文寶劍者只劍名也是如常

之劍也日之寶劍上非安寶珠也寶形

云高野大塔之自地曳出七尺劍即三形

寶祕藏事云、師傳云種子三形有兩說

其內爲祈願德寶寶珠用之爲祈智慧寶

寶劍用之

身作金色事

口云金色者黃色增益義也亦寶字地大

色本尊名號虛空藏也是天地一體理智

不二之義以名體表之

五佛寶冠事

口云五佛者是胎藏五佛義虛空藏天曼

荼羅金剛界義即是表兩部不二也

半跏坐事

口云以右押左右足智左足理也能覺智

必住所覺理智能照所照是本性上住

修生智此即理智相應始本不二義也

問寶蓮花上半跏坐其意如何 答寶蓮

花者即自性清淨覺悟蓮是本覺理也本

覺始覺之智故始覺之智住本覺之理義

也是始本和融之表示也此不二和融之

上猶半跏坐者不二上理智相應之義是

不二之上大不二義也

黑怕喜悅事

於法界凡聖作一子之思示慈哀義也

左右手事

口云白紅色蓮花者大悲色是衆生心性

八分肉團也此心蓮開敷者顯本覺不生

寶字寶字即寶珠故本不生義也本不生

故法界凡聖皆成同體衆生被覆弊煩惱

迷此自心寶珠時六道之貧里自受諸苦

今右手作寶蓮印隨衆生心願施與無盡

寶財也又云蓮花者蓮花部妙觀察智寶

珠者淨菩提心之體大圓鏡智黃光發焰

者南方寶部也是增益也右手與願者作

業義是羯磨部又吠琉璃色者虛空色空

非色而顯色是寶字上方大日如來也故

五智滿足虛空藏尊也云

請本尊事

軌云復用護身印作意請虛空藏菩薩誦

陀羅尼二十五遍已即學大母指向裏招

一度頭指如舊文

口云如常作護身印誦明二十五遍了後  
大指離頭指向內三遍招之但修三遍招  
之可宜歟不持念珠故難記數故仍四方  
各充五遍次上方亦五遍誦之二十五遍  
也

問二十五遍有意趣乎 答誦云未開口  
傳但私案之表五佛四波羅蜜十六尊歟  
或云彼冠中五佛各具五佛故有五十二  
十五佛表之也云又云五具五智二十  
五智攝取二十五有衆生爲本尊一體故  
誦二十五遍歟云大師御口決云誦五  
大虛空藏眞言各五遍故云二十五遍也  
云或一義云三十五遍歟本文在如意  
虛空藏經可見之云或云二十一遍云  
關伽事

口云如次第無子細也

華座事

軌云復作此印誦陀羅尼三遍植上蓮花  
以之爲座復想菩薩來坐此蓮即便閉目  
見菩薩已生希有心作眞身解誦三遍手  
印如前作是念言今者菩薩來至於此是  
陀羅尼力非我所能唯願尊者暫住於此

文

問植上蓮花者其談如何 答有數義蓮  
師云植者ハリカタ讀也是畫像蓮上眞  
身菩薩來坐可觀歟云亮惠云植堅木  
也玉編云植也知意切堅木  
本壇於大壇上請本尊是即木壇上觀蓮  
花此意歟或淨潔蓮歟若彩畫蓮云不

甘心云

私云亮惠義不得其意若指本壇云植  
歟六字文殊軌云舍利塔前面向西安  
植廣大供養了文是若壇義歟但蓮師  
ハリカタ義可爾也其故二字頂輪經  
云應取吉祥樹用此木爲樹是像依法  
畫文此經說畫像法以吉祥樹爲植也  
又義云植上蓮花者有蓮蓮花也山科  
寺寶藏有古來虛空藏是大師求聞持  
修行御本尊云桂板半出像也彼坐  
蓮花有華云植者莖云事云多義  
之中美也先德本尊皆如是云  
廣韻云植又女耕題曰柏旁曰幹  
不空羅素經十七云幹也本也反  
誦伽事

誦伽事

口云作護身印眞言三遍之次誦此偈一  
遍

誦伽事

軌云次取塗香誦陀羅尼一遍用塗其壇

誦伽事

口云左作手印取上塗香器時誦偈云一  
遍

諸佛菩薩 福慧薰修 所生幡蓋  
清淨香花 衆寶之具 悉皆嚴好  
塗香器置手印上右手作護身印加持之  
眞言一遍次右手同作護身印合捧誦明  
香塗壇之勢也其間眞言一遍

文

華座事

軌云次復取花亦誦一遍布散壇上云

口云左作手印取華器時偈云一遍  
諸佛菩薩 福慧薰修 所生幡蓋  
清淨香花 衆寶之具 悉皆嚴好  
華器置手印上右作護身印加持之明一  
遍次右手同左印合捧明一遍然華三房  
散木壇右方也

燒香事

軌云燒香飯食燈明次第取之皆誦一遍  
手持供養置在壇邊云  
口云如華誦偈印明加持同之

飲食事

口云左手作手印佛供不取上誦偈右作  
護身印加持佛供明一遍次右手同左印  
合仰心前明一遍

燈明事

口云如飲食歟

運心供養事

軌云復作手印誦陀羅尼一遍如前想念  
諸供養物悉得成辦即持供養一切如來  
及諸菩薩如是運心供養中最如其不能  
辨塗香等供養之物但作第二運心供養  
法亦成就云  
口云作護身印誦明一遍准普供養次偈  
頌文一遍誦之同印也或說不用普供養  
眞言也云

誦事

口云四智一遍寶部讚一遍作護身印誦

三力 祈願 五大願 禮佛  
口云已上作護身印唱之

本尊加持事

口云先誦明了四處加持一遍無明或云  
小開風空端想開寶珠口是出生無量觀  
智表示也又云作左拳安臍前右作護身  
印少風空端開之仰左拳上自印口誦入  
五智五明次閉印口同誦懸二明亦開  
口誦本尊明然身四處加持開寶珠口出  
生無量觀智是極秘也又云左右作護身  
印交腕少開風空端誦入字字明也  
私云爲才學記之是非說也不可用之

或云賢覺法眼授上人印明外縛二中  
劍形歸命寶等此印明傳受後得悉地  
也云廣澤云外縛二中劍形二風開立  
眞言常呪也云又云塔印但二風寶形  
二大開也右風空間金界月輪誦五智明  
左風空月胎界月輪誦五智二大開誦本  
尊明是大悉地成就秘傳也云

私云此傳誠難信者也  
口云本尊加持時加用之秘印明外五股  
印與了義夜大慧刀印也此  
二印加用成密事也凡一切諸尊秘印明  
用灌頂印明當流秘傳也

正念誦事

軌云即以手印指珠誦陀羅尼明記遍數  
誦時閉目想菩薩心上有一滿月然所誦  
陀羅尼字現滿月中皆作金色其字復從

滿月流出潛行人頂復從口出入菩薩足  
如自發言諸菩薩足下誦陀羅尼未止  
息來所想之字巡還往來相續不絕如輪  
而轉身心若倦即須止息文  
口云薰香事并加持念誦等無之只無左  
右取念珠以手印正念誦是即相叶佛部  
指珠相尤殊勝也



如此

或誦云結護身印念誦尤吉其故手印自  
睡眠數珠落脫亂スヘシ然者護身印  
相向左右地水火背著兩拳內懸念珠以  
風指指之是樣最秘也

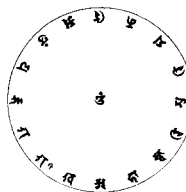
私云理性院等如常加持念誦之也當  
流此法不用彼作法也

正念誦之間滿遍數一時即一萬遍二時  
各五千遍三時一座各三千三百三十六  
遍也從始至終遍數不增減百日可誦百  
萬遍也軌云從始至終每如初日遍數多  
少亦如初上不得增減前後通計滿百萬  
遍其數即終亦無時限然於中間不容間  
闕文

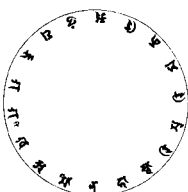
口云正念誦了無左右合掌內入念珠誦  
此偈如常仰掌費念珠事無之

私云理性院云念誦滿祈願句  
由此念誦力 福智與壽命  
一切所求願 皆悉速成就

字輪觀



中心安字是非種子賦除可字兩字初加  
字字賦



中央無字之說可付也是正念誦時觀也  
非字輪觀但字輪書字輪觀也

南牟輪觀也 阿迦捨 薩婆 揭婆 耶 摩 施 三 摩  
阿 高 迦 摩 利 薩 婆 揭 婆 耶 摩 施 三 摩  
利 薩 婆 揭 婆 耶 摩 施 三 摩  
或人云此明前八字歸命句也仍三七遍

之後可除之歟、但不可除之也  
問正念誦、四種念誦中何乎 答蓮花念誦歟

法界觀事

口云、置念珠作護身印、仰心前也、此月輪行者心月輪也、菩薩滿月、菩薩本尊行者前觀之滿月心月輪行者心觀也、字月輪布事無之、此定也有二說

本尊加持

口云、如前也

散念誦事

口云、大日眞言者、師云、**我信下處向也**、若少人ナトニハ可授之也、**是亦我**、若用之、大日金界明上、又五大虛空藏呪故、五大虛空藏法ナリト傳タラン人、可授之也、或記云、又實生眞言可加誦之云、此說用否可任意歟、但不被甘心歟

口云、本尊呪百遍是百萬遍外也

問、滿百萬遍數遍事、必正念誦歟、又不用散念誦歟、如何 答、可在正念誦、或云、散念誦滿之云、

口云、散念誦墨定、本樣也、朱、異說也

乳加持事

口云、若百日之間、置蘇日日加持、可用此處、或亦行法了後加持之也、加持之時、解封開蓋取器置木壇中央、加持之作、護身印百八遍、加持以數珠記數、或師云、先塔印、九遍、器中自東北南次第八方觀誦眞字、次中央觀誦眞字、是九重眞字也、次結

護身印加持之也云、加持了、如本可納置本所也、二時、每時加持、若三時、日中不加持、聊有故云、

問其故如何 答、或師云、後夜自晨朝始、初夜自黃昏始之星出時、可修之、於水者丑時、可取有乳、故諸魔得便也、仍日中、賊星計、都星不出、故諸魔得便也、仍日中、不開乳器之善云、或記云、蘇加持事、每時散念誦時、左取念誦、右取杵加持之、若正念誦時、結印念誦、故不持杵、以心加持也、遍數任意、若百遍若千遍、是百萬遍數內也、加持之間、觀念此蘇器中有**有字**、即此蘇變成乳海、入本尊大智海、即此蘇與虛空藏菩薩一體不二、故蘇即虛空藏菩薩也、但字輪觀不可廢蘇、即菩薩故、尤可爲字輪觀也云、

左方事供等事

口云、後供養作法、皆如前、并至解界、如次第可知、撥遣者結願時、許也、投華事、無之、印明許也、如召請印、但向外撥遣云、以下如次第、但禮佛一印、眞字、金一打云、

白寶口抄 求開持法第三

融時移壇事

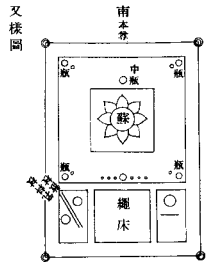
軌云、滿百萬遍其數及終亦無時限、然於中間不容間闕、復於日融或月融時、隨力捨施飲食財物供養三寶、即移菩薩及壇露地淨處安置云、

口云、隨便宜、兼日可作、儲備屋高峯好色、行者相續也、借屋方一丈許、上可張淨薦、引迴、疊立四方障子、行者背別立障子、本尊方、ジトミヲシテ、可入月光、求開持本尊上黃ナルハ其故也、此本尊、畫像也、或人云、行者不可當日月融、只蘇器許アツヘシ、仍切懸ナントヲ二枚マウケテ、日月低、隨次第可立替也

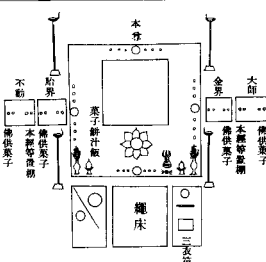
或云、上薦可當日月融程、卷去也、或云、備屋、南上下可作也、融始之時、當乳日月光事、承仕營之、其作法、假屋葺板少、拔却、當月光、於乳器光却、乳器者又却板也云、

或記云、露地不移大壇、以前用摩利支天隱形印、始加日天言、

唵阿彌地摩利支曳娑婆賀、其後日融、其日後夜移本尊并壇等、月融入夜出之、但尋曆可知、融時分、外護者假屋外便宜所居念誦



又樣圖



或傳結願大小佛供各八坏用之、又說、  
本壇圓伽佛供等居之、如此習多云、  
蝕時鈴杵取去、其所置蘇器若降雨時  
不可出壇於本所可作法、乳當蝕程戶  
ナンドアケ或隨便宜取去、茸板等云

口云合蝕日殊供養物支分莊嚴可增常  
也凡壇場行法有樣不可見人也

乳樹葉事

口云蘇器下敷乳樹葉、七枚次第周匝重  
之、葉末向外或人云、八枚、八葉、敷之、又自  
東方始敷之、或自南始云、  
問乳樹葉者何物乎 答、奴、天、檀、桑等葉  
也、或云、蘇葉ソハノ木云、  
問其葉無之時如何 答、取檀干之可用  
也

間用七葉其依憑如何 答、萬法七寶合  
成故悉地成就之表示也、故八枚不用之  
間必用乳葉其意如何 答、乳葉、物、アタ  
ム料也

乳散杖事

口云望蝕日桑枝一條取之長一肘、頭作  
寶形也、或說云、乳木不削、一說云、削之、龜  
小指許云、或記云、祈福德首寶珠、祈智  
慧作劍形也云、  
口云、或說云、東方若南葉枝取之、或桑枝  
西差出、木一匝過、又還西、趣取之用散杖、  
祈智慧西敷、或木本南、差末西、過、又此、過  
木、其本枝、東差、枝取之云、或記云、日蝕  
桑枝用之、月蝕桂枝也云、

蘇事

問蘇蝕日始置之數、百日間安之數  
答兩說也、但百日之間不可安之、臨期新  
蘇可尋置敷、結願之時許可有之、殊新蘇

尤可用之、經百日、定蘇令損敷云、或記  
云、乳合作法、伏令、桂心、丁子、沈、蜜、鼠毛、  
背毛取之、入土、酥和合之也、先乳器中塗牛  
糞、但合蜜塗之也、見蘇悉地經成就後  
又入白芥子七粒、禁注之、同經說也云、

口云、此合藥事サナクトモアリナン云、  
問修未開持法、每度必可合蝕乎 答、常  
途說云爾、今師說云、不必爾、先兩三度之  
後可合蝕也

私云、意支念誦、具支念誦、先持誦法、作  
成就法、以此作法可知數、今師說、縱難  
不合蝕、只求開持法、行後積功、後合蝕  
ウルハシク可行之、不合蝕酥不可用、  
自餘作法如常云、

口云、蝕日行者必可斷食、陀羅尼集經云、  
呪師此日不食、三度洗浴、文師云、殊供養  
三寶、行布施立大願云、  
問、日月曜人不可當蝕彼人修之如何  
答、無障也

問、或人云、若未移露地之前、自進趣、設難  
室內、如茸板可取去云、此事用不云何  
答、可然也  
問、百日之間向東是增益法也、合蝕向南  
猶增益敷如何 答、增益也、合蝕之時南  
向也、月南週東向可惡也

口云、付結願座有二說、一云、百日結願座、  
當蝕時修之一云、於本處結願了、本尊壇  
等移露地、更修一座云、後說爲善云、  
問、付前說、不解界移露地如何 答、不解

界本鏡、ハタラカサム事、不被心得也。或說云、鉢日於本處結願、不行後供養、起座本尊、木壇等移諸地、著座加持云、此說殘供養法結願之條、不被心得、此說不可也。

## 行法作法事

於落地更修一座、是日來數遍之外、念誦也。至正念誦、不限數遍、待融始時也。或記云、正念誦百遍、始者上品悉地相也。二百遍始者中品悉地、三百遍始者下品悉地。四百遍已下、下品相也。云、口云、融現時置正念誦之珠、取散念誦之珠、急速佛眼大日本尊、不動軍荼利數遍了、殘一字明、散念誦珠、亦取正念誦珠、打金一度發願、但先印明了後誦偈也。

## 次五大願

次誦明懺懺加持之却退圓滿後、置正念誦珠、取散念誦珠、滿一字呪云、問、正念誦散念誦用何珠耶。答、有別之念誦珠、正念誦用水精用餘散念誦只念珠若朽木念誦等也。水精裝束ナトシタラン可宜、祇呪云、又以樹枝攪飯、勿停其手。目觀日月、兼亦看酥、誦陀羅尼、無限遍數、初融後退、未圓已來、其酥即有三種相現、一者氣、二者煙、三者火。此中上品相中、隨得一種法、即成就、得此下中已便成神樂、若食此藥、即獲聞持一經、耳目文義俱解、記之於心、永無遺忘、諸餘福利無量、無邊今且略說、少分功德、文或記云、攪

酥以左手、所敷乳樹葉、便宜處、申五指押之、右手作護身印、取散枝攪之、念誦左手押葉、頭指已下、四指懸葉、以大指動、記數云、或人云、念誦頌故、不押葉、左手記數、每百遍終、左手臨酥上、右轉一匝、如此度也。云、

問、攪乳事、順數逆數、如何。答、取散枝誦明懺、酥無遍數、事體如攪、灑水、順許攪之也。左結本印、持念珠、記數云、或人云、先順逆三遍、其後者不斷攪之也。云、或記云、以眼當乳、不斷可見之上品悉地、念誦千遍中下、又如此不成、就重千遍云、或云、念誦百遍、乳涌者上品悉地、二百遍涌者中品悉地、三百遍涌者下品悉地也。若不涌三百遍者、不可加持之云。

## 問、攪酥之間、兼見融耶。若云、見者、陀羅尼

集經云、呪師見日月融、悉地不成。文、王經云、若不見者、今軌說如何。答、常見融時、見融歟。今依軌說也。或師云、融現初見之、其後見融、攪之故、初一見、軌說曰、觀日月、其後不見融、經不見說之也。云、又初融後、圓見融、中間不見說之、中間無他事、攪酥不可見融、只融初與終、可見也。問、悉地相、有三品、軌一氣、二煙、三火、酥悉地、經煙氣光、陀羅尼集經、煙火、云、又其相不替、味香、改又自本量、增若色變等、遍何品耶。答、雖三品之外、是隨分悉地歟。問、合日融事、不審有歟。日光、煙氣與悉地

相、云、何可分別耶。答、若悉地煙氣、定有

味香等異歟。

問、日月融中、悉地成就、有勝劣耶。答、悉地經中云、於月融時、成就最上之物、於

日融時、通上中下成就之物、文或記云、文

云、月融者、陽侵陰、文火神熾盛時、故乳陰

火、陽被侵、沸也、依之置乳於壇上、知悉地

成否、若風雨之難起、不可有此義、火神為

風雨被侵、故若依此義、水置壇可知成否

也。云、

問、月融時、誠以乳可知悉地成否。日融時

不可有此義、日融事不可被侵、火神已

為水神被侵、以乳不可知成否如何。答、

日融時、置乳可知之、又云、地振風雨、霹靂

之時、亦置酥祈悉地、文謂定慧不二、理智

均等之時、必得悉地也。水陰陽不齊時、不

可得悉地、依之文、融在交道、大天神壇上

見乳、交道時、乳沸、悉地成就也。取此交道

乳行者、飲之時、福智二門成就也。云、已

上。

問、或人云、合日融之時、酥分入二器、一器

置壇加持之一、器只當日可別悉地成否

云、用之耶。答、師云、可爾也。日光、煙氣

與悉地相、難分故也。

問、日月融時、殊祈悉地、何故耶。答、或說

云、融時、魔界皆於下界不成障礙、故所修

行業、此時成就、或記云、有二說、一者諸魔

上帝、釋宮下界、總無魔衆、故所求悉地、成

就云、二者護佛法冥衆、皆鬼畜形也、仍

冥時護法可感德自在故以其時悉地成就速疾云、傳云昔阿育王勅諸婆又一日內欲立八萬四千塔婆藥又奏曰願令無日光云、其時大王請尊者憂婆伽多云日輪令無光曜給云、時尊者以神力障日光令如蝕因之大王顯成就云、問日月餘事依何事耶、答西院云餘者羅睺計都令現其形相使日月故諸魔等皆悉恐怖不能出現為無魔障撰件日也深義在口云、

問羅計二星夜日月其意如何、答羅睺星者名太陽首又云執日又云障月計都星者名太陰首又云日蝕神羅計日曜裏理惡性計都月曜裏習惡性是即兩部本覺無分別智開證故皆變裏見大輪日月者本覺佛智今日月合融者受羅計開體妄惑相也是即煩惱即菩提生死即涅槃法然道理示現相也即顯佛界眾生界一法界悉道場眾生皆佛也乳來生本佛性妙理也行者是大日加持應用身所謂真言者遮那本覺智依此加持故妄漸消復顯甚深味忽以可顯發加持力之故理智合冥今天地愛和合可成悉地也云、一師云或傳日月隔須彌相當時餽是水火互燒也是日月相常理智冥合義相應故此時所修行業必成就也云、問以乳何知悉地相耶、答乳者有情生長養育之源也顯佛智發生之樂謂具縛凡夫本有之佛智速疾顯發生長樂也

問若如是者可用人乳何用牛乳乎、答迷情總體以牛顯之謂阿彌陀者妙觀察智也妙觀察智者分別事識也分別事識者衆生總體也佛果圓滿位名妙觀察智凡夫具縛時稱分別事識阿彌陀如來為降伏人魔現大威德身以牛為所乘能乘所乘者必是一體也伏人魔表示以牛為所座付分別事識可有淺深別以牛所顯者是迷中迷也以此迷牛乳表迷情佛性今迷情佛性可顯發法故此法以牛乳表其瑞相也云、又日月融合此法不限未聞持法誦利帝法等見其旨六字文殊軌云於月餘時取白唱蒲根洗已賓鉢羅樹葉裹上者三四葉取酥置熟銅器中以賓鉢羅七覆之如上烟等三事成就即服此酥或多聞或安達羅或昇阿迦合文

私云賓鉢羅者菩提樹也悉地經云金或銀熱銅石商伏螺木解弭迦土器等數阿說陀樹葉於置器或數有迦土器等數阿說陀樹葉或芭蕉樹葉或蓮花乳樹葉或蘭伽樹葉或芭蕉樹葉或蓮花葉或新淨白麝隨分敷之或五重敷池上置成就物後以葉五重而覆其物文立印軌云月餘之時斷食一日夜應以未至地黃牛糞摩夷塗拭曼荼羅應取黃牛酥糞母同色者酥數滿一兩置赤銅器以法陀木攪酥○現三種相文摩利支提婆花璽經云復取母糞並黃牛乳作酥盛著金鉢中以右手無名指攪之於酥并呪其酥之上大若出者即知得大聰明一日誦千偈

若火不出唯煙與煖者即知得可聰明若不得煙煖自身伏地擬心於酥器邊以右手無名指為撻契酥即少、聰明文私云他門流不用酥取稻諸入器加持之若秋外無稻露故取栢葉露用之也如乳當融滿也

後供等事

口云攪酥圓滿之後散杖置懸酥器也或云散杖未向本章應置酥器觀龍也云、置正念誦珠取散念誦珠滿一字呪了後如例後供等行之可有結願事由作法如常也讀以後如何行之

下座分酥事

問以何物分酥耶又何物分置耶本章分安何處耶奉本章若作法有之耶如何答以散杖分酥配安乳樹葉本章分可安木壇上若遠安大壇上無作法聊可有祈念歟

問何時分酥耶、答有二說一云結願下座分酥也一云結願以前少分捧本章也問結願以前捧本章捧何處乎、答後供燈明次可供之也其後結願了今三分分也

問結願以前少分酥供本章可然何結願之後奉送了捧本章耶、答縱難奉送本章內證實本章不可去之故結願以後下座捧本章今三分沙汰也云、

問或人云食酥先食米又蜜糖等和合食之云、用之耶、答不用之斷食之時食

酥キト心地ナトノカヘルニ應粉ナト  
ヲキト食事アルトカヤ或記云成就酥  
服了可結誦三部被甲印明也又云設雖  
不成就右手以水指磨乳三度入口得驗  
祕事也集經十云若火不出唯煙與燄者  
少聰明不得燭燄者自身伏地撮口於  
酥器邊以右手無名指爲箸喫酥即得少  
聰明文

問知識者誰人耶 答知識外護也  
問先成就者誰耶 答先成就以前修此  
法得驗之心也但是オボロケニ無之四  
分分之也或記云若酥少者行者一人服  
之若酥多者師匠同伴等與之敢勿及他  
者云

## 助修事

或記云伴僧八人或六人誦呪五大尊眞  
言各々可支配或只軍荼利眞言許可誦  
之也

口云知識助伴人令見蝕之時可誦軍荼  
利明王大呪也見蝕者行者先時見蝕正  
加持時不可見蝕可令外護人見之也  
千臂經云別使人者呪師若見法即不成  
文或云蝕時先成就之人或知法有驗高  
德人借屋內可呪誦助伴并借屋外四方  
外護料也即可辟魔爲大等云此等助  
修等誦軍荼利大呪致精誠祈法成就也  
云聖賢云伴僧二人誦經呪願令動仕  
云行者右誦經道師左呪願師令坐云  
或云可用一人

## 呪願詞云

三寶境界 不可思議 恒沙劫中  
稱揚難盡 施主護持 悉地成就  
檀波羅蜜 具足圓滿  
請書

依爲年來宿願日來之間勤修虛空藏聞  
持法恭傳大師之教法遂土州之先蹤如  
法如說動行偏是宿緣所催也但明日當  
齋時思得悉地雖多恐多障驚高懸早寄  
事願師之報恩狂令光臨給者生涯之望  
可足得證之人非禪下誰人哉必且任隨  
喜之御心可令渡御之狀言上如件  
月日 某

## 返事

老耄之身旁雖不堪出行丁寧之御行法  
尤足隨喜且爲恩大師之先蹤且爲盛貴  
房之求法爭不奉助成就明日相計尅限  
可令參向也全不可有遲之狀如件  
月日 某

## 重可修事

經云久修不得効驗心猶不退是必定成  
就之相文或云修行之時少有効驗時可  
破障亦重可始之也但實不破只遇向後  
以獨股壇右方角三度放撲突之此義祕  
事也

問修此法得悉地人重可修乎 答爾也  
悉地無量也豈默止乎  
問修此法時初度右壇具支分等可用之  
乎 答不可用之但先成就人可用之也

云或記云法成就者壇關伽桶杓等取  
納弟子付屬不成就者不取納云  
安置舍利事

西院云舍利者是寶珠也寶珠有三一者  
法爾是法身二者常恒是報身有始無三者  
能作性舍利爲性但金剛幻 謂之三變用之  
遂歸一體虛空藏菩薩是寶生化儀也寶  
部法門者寶生功德也總是萬法之能依  
別又灌頂大智也安置舍利事雖通一切  
法於此一法者別相應物也云

## 寶珠出現事

悉地成就時如意寶珠現壇上寶寶珠青  
色也若金色珠可知魔所現也

## 瑞光事

於道場有光明者佛菩薩光明限青黃二  
色餘色光魔光也

## 本尊所現事

本尊所變無對寶嚴 魔所變有對質  
礙也

## 成就夢相事

行者悉地近夢見登高樓閣或又大樹大  
山或騎獅子大象馬牛及白象或見六親  
集一處或空中聞大雷聲或妙持誦人或  
吞納日月或見墮屎坑或見人肉或見火  
聚或見以血沐浴或見浮大海大阿泥或  
見端嚴女人如此見殊勝夢時知悉地成  
就近也悉夢牛猪蛇下女等類也云  
知悉地成否事

香置火奉拜明星四方暗星不現者不成



就也。縱雖四方暗星現下品悉地。少暗星現中品悉地。四方無雲星現上品悉地也。又初日後夜天晴無雲成就相晴星不現者不成就也。

私云或說也。爲才學記之。

問百日修行之間。每日拜明星乎。答或說云。必拜云。今傳云。不必爾。明星出時不定。故或師說云。明星隨季出時不同。或朝出東。明是云。或夕出西。明是云。是七曜之中。金曜也。尤秘。或云。明星者。七曜之中。曜云。毛詩云。東啓明。西有長庚。注曰。旦出謂明星爲啓明也。日既入謂明星爲長庚也。文。

明星 兼名苑云。歲星一名明星。此問云阿長庚兼名苑云。大白一名長庚。此問云由權天文博士業俊云。出東方云。明星云。啓明出西方云。長庚出已刻已上云。太白出午刻以下云。經天。皆是同明星天子也。春秋季者出于東方。夏季者出于西方。應保二年十二月十八日向顏天文博士業俊朝臣決明。星天子四季出時。件人者陰陽助泰觀第二息也。雖齡未及壯年。養既可謂美士。非管明天文之道。兼又秀餘家之風。任勸狀之旨。頗可指南歟。

口云。明星出東。現曉。晝。胎藏智德表金智性。辰星。明星。夕出西方。現晝。隱夜。金剛智性。表胎藏。一兩部中。臺遮那大智。其花用義如此。化現給也。云。明星天子虛空藏之化身也。劫初時。人身有光明照世間。

漸。光明失。故觀音勢至虛空藏之化身也。觀音勢至虛空藏。成日月星照世間。一云。密法。花義疏云。復有名月天子者。注解云。帝釋輔臣也。有人言月天子。卽月天也。普光天子者。謂星天也。寶光天子者。謂日天也。既是三光放復列之。出正法花經復有經云。觀音名寶意。作日天子。大勢至名寶吉祥。作月天子。虛空藏名寶光。作星天子也。云。明星天子軌云。明星天子是帝釋天子。所生天子也。三光天子中。寶光天子也。日天子觀音。德月天子大勢至。菩薩德也。又云。帝釋卽觀世音菩薩。是故曰千眼王。文。或書云。相并日月之德。名虛空藏。大明星天子菩薩。住虛空中。云虛空。八萬法納故云藏云。

萬法納故云藏云。拜明星事。或記云。後夜行法。明星出時。向東方立。机備。開等。並洗米。百日之間。可修之。躊躇合掌。致觀念。又結誦印明。禮拜。南無大明星天子。前後各誦三遍。或云。南無諸命頂禮。能滿諸願。大慈大悲。五大虛空藏。大明星天子菩薩。哀感納受。哀感護念。生必得發善提心。乃至法界平等利益。或云。

南無明星菩薩。南無釋迦牟尼如來。南無三十五佛名。出決定毘尼經。南無一切諸佛。

一師云。長日之時。向西夕可禮歟。是口傳也云。

明星入行者口事

軌云。一千日夜間。誦滿上真言百萬遍。已忽從東方虛空。明星天子來下。入行者口中文。又云。是菩薩體。滿虛空。所居淨土。雖香集世界。菩薩每日晨朝。東方出現。給利益。一切衆生。文。

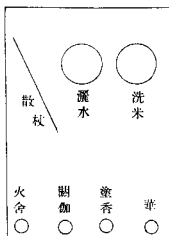
形像事

軌云。若有四部衆。欲得福德智慧。辨才者。取白氈。或一肘。或搗手半。或長五寸。隨意大小。畫明星天子菩薩。作頭者。如來面相。有四臂。左第一手持寶鏡。第二手持如意寶珠。右第一手持寶鏡。第二手持如意寶珠。身金色。瓔珞天衣。具以爲嚴飾。乘水精龍王。其龍王背有金輪。上立彼天子菩薩。文。又云。四臂利益四洲也。持寶印。相世間寶位也。比丘僧爲法師王。在家者人中登帝位。如意寶珠。出生世間。出世間財寶。壽命長遠相也。寶鏡。以無礙辨才。求願人令滿足。相也。施無畏。一切衆生。種。求願悉地。圓滿相也。菩薩體。虛空也。龍。卽龍宮法藏也。金輪者。三有。四生。已大形輪。爲利益衆生。相也。寶冠。五星。王菩薩。歲星。導師星。萬翼星。辰星。鎮星。王菩薩也。文。

神供事

或記云。修此法者。十七日中間。可修神供。每七日之修。修之。其所供神名。阿流。那是明星天子所變也。供時。印言。名護身印。是

求聞持一印明星入後向東方供之供物  
加持等皆用護身印明也



私云、非當流之習等、皆爲才學記之也

### 白寶口抄 普賢法上

本書事

大普賢陀羅尼經一卷

內題有佛說二字 貞元 圓覺 梵

釋失譯 梁錄

觀自在菩薩普賢陀羅尼經一卷

不空譯 貞元 新入目錄 圓覺

仁海 無說字

清淨觀世音菩薩普賢陀羅尼經一卷

貞元 圓覺有賢字、月輪脫賢字、或云

無清淨字 梵釋

智通譯 貞元錄云、此經有一錯本、應

須審之

觀菩薩行法經一卷

亦云、出深功德經中、或無行法字、亦云

普賢經、有注亦云、或無觀字、貞元 圓

覺 闕注 梵釋 大周刊定錄云、或

云、出深功德經、亦云普賢觀經、宗 元

嘉年、金摩密多於陽洲道場寺譯 貞

元錄云、出深功德經中云、

大方廣普賢所說經一卷

別有一卷、向三十紙者、非也 貞元

圓覺 實又雅陀譯 珍錄有之

金剛頂勝初瑜伽普賢菩薩念誦法一卷

不空譯 貞元新入目錄 海 仁云

念誦法經 珍錄云、金剛頂勝初瑜伽

初瑜伽念誦一卷、不空

普賢金剛薩埵念誦法一卷

內云、瑜伽念誦儀軌、不空譯、貞元新入

目錄列外題、普賢金剛薩埵念誦儀軌

云、普賢菩薩金剛薩埵瑜伽念誦儀軌

逆錄云、普賢金剛薩埵瑜伽念誦儀軌

一卷、不空仁錄兩所出之、但上出無普

薩字、珍錄亦有之、列外題、但無法字有

儀軌字、叙錄有菩薩字、餘同仁、又注云、

說菩薩念誦、十一紙

金剛頂瑜伽他化自在天理趣會普賢修

行念誦儀軌一卷

不空譯 仁錄有之、珍錄云、金剛頂瑜

伽普賢修行念誦儀軌一卷、不空

大樂金剛薩埵修行成就儀軌一卷

出吉祥勝初大教王瑜伽經、不空譯

珍錄云、金剛頂瑜伽念誦儀軌一卷、或

加大樂金剛薩埵、不空

金剛頂勝初瑜伽經中略出大樂金剛薩

埵念誦儀軌一卷

不空 海運錄有之、但無中略出之三

字、仁錄亦同之

金剛頂瑜伽五秘密修行儀軌一卷

內云、金剛薩埵五秘密修行念誦儀軌

不空譯、仁錄云、金剛頂瑜伽金剛薩埵

五秘密修行念誦儀軌一卷、海錄列外

題 梵字勝初瑜伽儀軌一卷

海總錄云、載之、觀錄云、釋大樂金剛薩

埽五祕密口決一卷金剛智三藏譯二紙

名字事

梵號阿彌陀佛

阿彌陀佛三曼多婆羅善地薩怛嚩

大師御請來胎藏漫荼羅梵名也

又云阿彌陀佛

密號普賢金剛胎藏云真如金剛

法華文句十二大論觀經同名遍吉此經

稱普賢皆漢語梵者即輪藏陀此云普賢

悲華經云我釋於藏惡世界行菩薩道使

得嚴淨我行要當勝諸菩薩寶藏佛言以

是因緣今改故字名為普賢善提場經義

釋第一文全同也仍略之又云今論等覺

之位居眾伏之頂伏道周遍故名普賢

道藏盡所教無幾降降除極故名普賢

法華義疏十二云普賢者外國名三曼多

跋陀羅三曼多者此云普也跋陀羅又

一云普賢菩薩者普是遍一切處義賢是  
最妙善義也謂善提心所起顯行及身口  
意悉皆平等遍一切處純一妙善備具衆  
德故以爲名又同十三云名普賢者以此  
菩薩諸佛菩薩之所讚歎故也又青龍軌  
云此菩薩所有三尊普賢菩薩

普賢有四身事

六十花嚴經三曼多那云普賢悉在一切  
佛刹○普人無量無邊諸行○變化充滿

十方世界○普賢身相猶如虛空依於如  
如不依佛國又普賢念相猶如虛空依於如

賢法界真如體文略出經四云歸命禮普  
賢一切能爲三界世間自在王無始無終

無生滅性相常住等虛空一切衆生所有  
心堅固善提名薩埵心住不動三摩地精

勤決定名金剛文是法身義也善提心義  
三云然安華嚴云普賢唯依如如不依國土

是自然身又云普賢一一毛孔中有不可  
說微塵佛刹金剛頂經云一切如來大菩

提心普賢菩薩是自受用身又花嚴經云  
華嚴世界普賢行願所成文理趣釋云普

賢下南閼浮提八相成道文十八會指歸  
云示現釋迦牟尼佛降於閼浮提變化身

八相成道皆是普賢菩薩幻化文是他受  
用身法華經云從東方來文普賢觀經云

現在東方淨妙國土國土相如雜花經已  
說是變化身俱舍云須彌山堅手神是等

流身或抄云須彌山頂金剛手所住即普

賢宮也云  
凡四重曼荼羅時大日經祕密曼荼羅品

八印名支分生大悲曼荼羅時名普賢也

八葉九尊醍醐果德故自性身重初大衆

不空時居第一重自受用身清淨境界三

味第二重他受用第三重報應眷屬變化

身第四重外部時金剛手現降三世身降

摩薩首羅時威德諸天來詣佛會外金剛

部列曼荼羅第四重時以金剛手爲上主

故金剛頂出正義云普賢性海大日心出

摩數加持色身出普賢金剛語密普賢金

剛身密普賢金剛意密文胎藏四重海會

聖衆三部所攝也是皆出生普賢三業仍

普賢性海所居士三部能居聖衆亦所證

真如理皆普賢自性常住法身證也

問世界成立其證如何答八十花嚴經

十四云若見世界始成立衆生未有資身

具是時普賢爲工匠爲之示現種種業  
作遍惱衆生如是有皆能說文智論十云  
遍古普賢一毛孔常出諸佛國土及諸  
佛菩薩滿十方以化衆生無邊住處文  
但是顯教說相也密教義約胎藏界此普  
賢心八分肉團開發之爲大悲胎藏四重  
曼荼羅約金剛界此普賢心月輪自性此  
爲金剛界之曼荼羅兩部密嚴花藏共普  
賢自證善提心體也  
問以普賢爲善提心其證如何答疏二

十云、東南普賢者何也、普賢者是菩提心也、若無此妙因、終不能至無上大果、故最初得名文、輪云、法爾應住普賢大菩提心文。

問、金剛界諸尊皆悉普賢出生歟、如何答、金剛頂經三十九卷教王云、一切世界微塵數、金剛薩埵一切聖尊、彼等所有諸佛身、皆從金剛薩埵出生、五秘密軌云、金剛薩埵者是普賢菩薩也、即一切如來長子、是一切如來菩提心、是一切如來祖師、是故一切如來禮敬金剛薩埵、如經所說、金剛薩埵三摩地名爲一切諸佛法、此法能成諸佛、遠離此更別無有佛文、三十卷教王經二十七云、薩埵無始亦無終、斯乃虛空、於生相一切皆是普賢身、妙欲一切世間主、所有一切有情心、彼堅固性、即薩埵文、凡一切如來者、金界五智義也、金剛頂經開題云、五智佛名一切如來聚、一切諸法共成五佛身、故此五佛則諸佛之本體諸法之根源文、理經釋云、一切如來者、准瑜伽教中五佛是也、其五佛者、即盡虛空遍法界無邊無餘佛聚成此五佛身也、文依此等義者、五智即一切如來故、金界諸尊皆出生普賢也、金剛頂經開題云、又此四字金剛薩埵菩薩種子法身、一切衆生最初發心、悉由金剛薩埵加持、故金剛薩埵名一切如來菩提心、此菩薩爲本出生三十七尊四種法身等文、不空心要云、大圓鏡智是則三十七尊皆是名普賢、亦名具足大

圓鏡智、如此智有皆名自性清淨心也、文菩提心義引金剛頂經云、三十七尊皆名普賢文、又云、若依金剛頂四曼皆是佛身、普賢變成月輪文、菩提心論云、於內心中觀日月輪文、日輪者胎藏、月輪者金界、故一、本即身義云、一切衆生自心中、胎藏金剛曼荼羅、遠離因果、法然具文、於兩部曼荼羅有、大日王心、數四種法身、三種世間、乃至利樂海、諸尊皆是本有普賢菩提心、是譬日月輪、故萬法之總體、兩部之根源也。

問、兩部皆普賢事可然、若又二普賢可有之乎、答、兩部不二經、論祇理趣也、彼論祇經金剛手名普賢如來、是自性法身中、大日如來也、理趣經之始終、只說普賢金剛薩埵、自證化他法門、故以大安樂金剛薩埵爲中尊、十七尊釋云、大安樂空、三昧眞實金剛薩埵、蓋表諸佛普賢之身、周遍器世間、及有情世間、以其無邊自在、理趣體寂、不妄不壞、故有是名也、文三十七尊等諸尊、悉是攝薩埵之己身故、此尊名大普賢薩埵、論祇理趣二經之大日習同、一體自宗、奧藏全在此二經、亦兩部一心、菩提心論云、法爾應住普賢大菩提心、一切衆生本有薩埵文、指此普賢心云、即身成佛、是本有普賢即衆生本性法佛、內證也、又云、一切有情於心質中、有一分淨性、衆行皆備、其體僅微妙、然明白、○其圓明則普賢身也、亦是普賢心也、文身

者色法胎界、心者心法金界、故知兩部全攝普賢一尊之身心也、是不二法性唯一普賢也、又遍法界之身也、亦我身也、亦一切衆生身也、是本來成佛也、金剛頂經開題云、不待修行、不待對治、本來住此法爾顯云、此文意也、或抄云、此普賢者本有佛位也、此文意也、或抄云、此普賢者本有菩提心體、此菩提心有十界菩提心、依各自證菩提心、成十界體、理趣經云、建立如來文、是建立十界義也、一切衆生色心實相、從本際已來、常是毘盧遮那平等智身之故、所起三業等純一妙善、遍一切處、故衆生自性、全本有普賢也、大師既經、唯一金剛釋圓滿斷德、是普賢也、是如、法身也、此理有真斷德、謂不改智、自性爲普賢理、例如理即凡夫普賢本覺體故、一切衆生念、一、體不動一分、普賢自證智體也、故指一切衆生名此經教主普賢如來、以如是自證智、照見諸法、第四微細妄執、能斷智云、之萬法皆普賢如、智故云、圓滿斷德也、大日經云、時普賢菩薩於佛莊嚴境界、三昧住、無礙力說眞言文疏十云、時普賢菩薩即於佛莊嚴境界、三昧住、無礙力眞言說者、諸菩薩中、彼爲上首、於此佛境界莊嚴法門、而得自在、即時入此三昧也、佛境界者、此是諸佛方便眞實境界、非聲聞等所能及之、如法華方證眞實中所說莊嚴者、即是如來自證之體、有無量德德、各無量名、以無量莊嚴、而自莊嚴也、此即是不思議離名字法文、凡佛自證者、同疏



國者。如如是佛智所住故也。故智慧者。行佛性。金剛薩埵也。疏九云。以見如是金剛界故。名爲金剛手云。菩提心義云。一切衆生自性淨心中。本有普賢大菩提心。開發名金剛薩埵云。此義普賢者。因位金薩者。果位義也。云。

問金剛薩埵得名如何答有數義不空  
綱索經六云云如言菩提者所謂般若薩  
埵者即是方便。此是二法於諸有情能作  
一切利益安樂文。尊勝陀羅尼經  
文全同之略之同經第一  
菩提流志譯云菩提薩埵者何謂也菩提名智  
薩埵名悲。普提方便之衆義也。因此二法  
蘊濟有情乃得名爲菩提薩埵。文佛地論  
云有其三種一者菩提二薩埵三者菩提  
薩埵。言菩提者。漢爲覺。覺者所求果。言薩  
埵者。漢名有情。是能求菩提人。菩提薩埵  
者。名勇猛亦名精進。故言菩提薩埵。若具  
足梵語者。應言摩訶菩提薩埵。言摩訶者  
大言菩提者是覺薩是一切。薩是有情。經  
攝名大覺一切有情文。大疏一云。諸大菩  
薩者。梵文云摩訶菩提薩埵。釋論云。菩  
薩名諸佛道。薩埵名衆生。或名勇心。欲得菩  
薩功德。其心不可斷。不可成。如金剛山。具  
名薩埵。不退不轉。大勇心。故起大慈悲。成  
立大乘。能行大道。能說法。破一切衆生十  
邪見。諸煩惱。故爲摩訶薩埵。正當云菩提  
索多索多者。忍樂修行。堅持不捨義也。經  
雖略有三種。一者愚童薩埵。六道凡夫。總  
著三界堅執不捨。故以爲名。二者有識衆

墮。卽二乘纔覺知生死過患。自求出離得  
 至涅槃者。保化城與滅度想。於如來功德  
 未生願樂之心。故以爲名。三者菩提薩埵。  
 無上菩提出過一切應度戲論種。過失  
 能忍如是成道事。願樂修行堅固不動故。  
 名菩提衆多。於是人中功業最堪能轉  
 授一切衆生。故名爲摩訶薩埵。文義釋云。  
 正云衆多。然聲明法。隨便呼之。故云薩埵。  
 又云。衆多是善義。謂樂者菩提無暫捨故。  
 薩埵者是有情。謂發求菩提荷負衆生。故  
 云大有情薩埵。有三種。一愚童薩埵。謂六  
 道也。二有識薩埵。謂二乘也。三菩提薩埵。  
 謂菩薩也。文理釋。謂云金剛勝薩埵者。金  
 剛義菩提心是也。勝。謂最勝。薩埵名勇猛。  
 石山內供云。釋曰。羅者漢言金剛。卽金剛  
 一切如來本有不壞之智。一切衆生自  
 心理處。又有種智。雖沒在生死淤泥。經無  
 數劫。不朽不壞。摧破諸煩惱。如金剛雖久  
 埋地中。而不朽不壞。摧破諸惡。故因物。故  
 以爲名。○薩埵者梵語略也。具足應云摩  
 訶菩提薩埵。釋論云。菩提名諸佛道。薩埵  
 名衆生。或名勇心。是人盡欲得諸佛功德  
 名。此心不可斷不可破。如金剛。山是名薩埵。  
 復次。大人心能爲大事不退不轉。大勇心  
 故。多衆生中起大慈悲。成立大乘。能行大  
 道。得最大處。故必能說法。破一切衆生大  
 邪見。大愛大我心等諸煩惱。故名爲摩訶  
 薩埵。云是勇心之義也。阿闍梨云。衆多者  
 是忍樂修行。堅持不捨義也。大日經疏云。

就前佛宗者薩埵略有三種一者思慮薩埵謂六道凡夫不知實諦因果心行邪道修習苦因總者三界堅執不捨故以爲過二者有識薩埵即二乘也纔覺知生死過患自求出離得至涅槃者保化城與滅度想於如來功德未生願樂心故以爲名三者菩提薩埵無上菩提提出過一切塵度戲論種過失是一向純善白淨微妙不可譬類之義卽是衆生本性不思議心也能忍如是成道事願具修行堅固不動故名菩提衆多矣如是義理不可窮盡暫舉一隅以示三方今云金剛薩埵有三種名一者金剛薩埵二者金剛手三者執金剛初云金剛薩埵者灌頂名號具如上贊次云金剛手者又是灌頂號也理趣釋云此菩薩本是普賢從昆盧遮那佛二手掌親受五智金剛卽卽與灌頂名之爲金剛手矣又云執金剛者掌持金剛與手執義同故大日經中此二名互出也此菩薩薩金剛卽常侍衛佛故爲名舊翻或云金剛密迹或云金剛力士是皆一大士差別名號也云云大疏第一云金剛手祕密主者梵云攝尼卽是手掌掌持金剛與手執之義同故經中此二名互出也西方謂夜叉爲祕密以其身口意速疾隱祕難可了知故舊翻或云密迹若淺略明義祕密主卽是夜叉王也執金剛卽常侍衛佛故曰金剛手是中深義言夜叉者卽是如來身語意密唯佛與佛乃能知之乃至彌勒菩薩等猶

如是秘密神通力所不及，秘中最秘，所謂心密之主，故曰秘密主，能持此印，故云執金剛也。文石山口訣，疏第一之意，欲所證金剛薩埵者，灌頂名號云：普賢因位名，此尊受灌頂於大日，授手於五智杵以來，號金剛薩埵，是三十七尊中金剛薩埵一尊歟。五秘密軌云：如經所說有三種薩埵，所謂愚童薩埵、智薩埵、金剛薩埵，以金剛薩埵簡其三種薩埵，修行得此金剛乘人，即名金剛薩埵。此軌文能求薩埵所求薩埵見二人前，理趣釋石山義，普賢金剛薩埵一人因果名也。如是同體異體，經軌之說不同，歟。高維口訣云：薩埵有異體，謂愚薩埵、凡夫薩埵、二乘金剛薩埵、菩薩薩埵、佛也。此口訣等大疏同出薩埵不同也，能思之，或口傳云：薩埵有四種：一普賢薩埵，一金剛薩埵，三大樂金剛薩埵，四付屬薩埵也云：此四名，普賢金剛薩埵，二菩薩也。

問今所云金剛薩埵者，傳法第二之讚塔內薩埵歟，如何？答理趣釋云：金剛手者，此菩薩本是普賢，從思慮遮那佛二之金剛親受五智金剛杵，即與灌頂名之爲金剛手。文付法傳云：第二法祖名曰釋曰羅薩，恒摩訶薩，但釋云金剛薩，金剛頂經說，是金剛薩埵親對法身如來海會受灌頂職位，則說自證三密門，以獻思慮遮那及一切如來，更請加持教勅，思慮遮那如來言，汝等將來於無量世界爲最上乘者，令

得現生世出世間悉地成就，具如經說，故持五智之金剛板，般若之鈴，鐺響長眠三有，受法樂於十方，遂乃釋迦如來施化之後八百年中，灌頂龍猛傳授秘法，其後印度支那及與日本三密之教師師傳授拔濟群生也。

問此鐵塔內薩埵三十七尊中金剛薩埵，如何？答爾云：問擬實經一云，爾時普賢大菩薩，從毘盧遮那如來心中出，對諸佛前坐月輪中，右手執金剛杵，轉於掌內，是時毘盧遮那如來，依一切如來金剛不壞智大三摩耶戒定慧解脫解脫見，微妙大法輪，利益衆生，大方便力智大三摩耶，教護一切盡衆生界，一切自在主，一切安樂，深心愛樂，乃至一切如來平等性智，最勝神通大乘對法最勝悉地，如是等果，是一切如來悉地。金剛爲欲授與普賢大菩薩手故，爲欲授與一切如來不可思議佛事業故，爲欲授與寶冠白輪灌頂故，思慮遮那如來以自兩手授與金剛印時，一切如來與名字灌頂，號金剛手，爾時金剛手菩薩摩訶薩，得此金剛已，左手執金剛杵，轉於掌中，安置當心，而說偈言：此是一切諸如來最勝金剛，大悉地，諸佛授我以兩手，無相現相，爲生又云：金剛薩埵即是毘盧遮那如來變化

身文是大日所變薩埵也。三十七尊中薩埵者，阿闍所變也。相違如何？答：阿闍大日共一體也。金剛界成身會云：阿闍成身九會內降三世會，用二會。阿闍大日故也。五秘密軌云：於賴耶藏中，植金剛界種子，文不空心，要云：大圓鏡智是則三十七尊，皆是名普賢，亦名具足大圓鏡智。文上入云：法界大圓阿闍大圓云：是法界大圓理自性，阿闍大圓智自性也。故九會密記云：問法身是言忘慮絕境也。何有語言乎？答：約法身有二種，即理法身智法身也。言忘慮絕是理法身也，說法教化是智法身也。云：故知金剛頂經所說大日，又大日經所說大日，同自性身之阿闍說經也。故大日所變阿闍所變，金剛薩埵實一薩埵也。

普賢薩囉多同體事。理趣釋云：經云：妙適清淨句，是菩薩位者。妙適即梵音解囉多也。○金剛薩埵以無緣大悲緣無盡衆生，顯得利益，心無休息，自他平等無二。故名蘇囉多，由修薩埵三摩地，得妙適清淨，蘇得普賢菩薩位。文建立如來事。

理趣釋云：一切平等建立如來者，是普賢菩薩之異名也。文一切義成就普薩事。理趣釋：一切義成就者，普賢菩薩舉名也。文金剛頂經疏二云：經爾時一切如來雲集於一切義成就普薩○坐菩提場，釋曰

又云：金剛薩埵即是毘盧遮那如來變化

○一切義成就菩薩者，金剛薩埵是也。故理趣經云：時薄伽梵一切如來大衆現證三昧耶一切曼荼羅，持金剛勝薩埵於三界中調伏無餘。一切義成就金剛手菩薩摩訶薩也。於諸如來秘密法中，事理義趣無不圓解。故云一切義成就。今坐金剛界大道場，方爲現證。故一切如來現來加持也。文大原抄二十云：一切義成就菩薩者，普賢是也。一切諸佛將登正覺最後之身，皆名一切義成就太子也。即薩勝悉達也。云：或云釋迦因位也。因果經云：薩勝切也。悉駄也。就是悉駄太子梵號文。又大原抄三云：金剛大日於須彌頂爲一切義成就菩薩。成道時自須彌山頂至尼吒諸佛滿空互相攝入，謂一佛一互攝入一佛身。一佛各具攝入諸佛而俱時入一切義成就菩薩身，即成大日尊云。

### 白寶口抄 普賢法下

#### 種子事

口云：梵字者，廣言終字也。是羯磨會金剛薩埵種子，其字廣大儀軌上云：普賢住佛境界莊嚴三昧觀其字爲體，即同普賢之行。文涅槃點，因行證入之次第轉昇也。十六生初放，經十六大生萬德極故，用其字也。是初後不二理智一體字，即薩埵心也。金剛智普賢延命口訣云：八業座上有命字，其成五智件轉成本尊文。普賢延命者，普賢入延命三摩地也。彼普賢延命本尊故，用彼種子三形。此尊普提心體也。以普提心爲第一命，故大日經云：其字第一命文。此意也。即諸佛自證不思議故，用不生滅涅槃常住字也。又胎藏八業普賢真字也。廣大軌云：東南業蓮華座觀暗字光輪轉成普賢身文。其字是遍一切處義也。疏云：普是遍一切處義，賢是最妙善義。謂普提心所起願行及身口意悉皆平等遍一切處文。

問胎藏八業時普賢種子真字文殊種子真字也。今普賢真字次奧文殊法種子真字也。其意如何？答胎藏時，普賢從中臺本有出東方發菩提心云之時，動見境發心，故證點也。文殊表本有智體，無點也。今次第奧文殊種子真字，故示不二智故證點也。又真字爲種子事，是普賢圓因義。

也。雖有了位生因義，皆是能生義故。從普賢圓因之理出生諸尊，故爲種子也。又其字是諸流以之爲種子，是義字同義也。又以普賢爲種子，是衆生與普賢入我我入之義也。其故，有是薩埵也。薩埵衆生也。普賢如來種子，故合二字。大日衆生合體定慧不二，故入我我入義也。大圓御筆理趣會十七章中尊薩埵種子也。即此義也。此本在高野新別所，普通中尊種子也。

#### 三形事

口云：五股者，尊像所持物也。理趣釋云：金剛加持者，表如來十真如十法界十如來地，以成上下十峯。金剛大空智處，加持者，表如來於中道十六大菩薩普賢智，從此展轉流轉流出，共成三十七位，以成解脫輪大曼荼羅。文金剛大空智處者，不壞金剛平等不二之本法也。從此不二之極位，普賢智展轉流出三十七尊也。於五股十峯中道有四重八業，是表定惑十六大菩薩普賢智從之所流出三十七尊者。中道不二之佛證所表也。故云表如來於中道十六大菩薩普賢智也。陀羅尼門諸部要目不空云：金剛杵者，普提心義能壞斷常二邊契中道。中有十六菩薩位，亦表十六空爲中道兩邊各有五股五佛五智義，亦表十波羅蜜能摧十種煩惱成十種真如。便證十地證金剛三業。康金剛智坐金剛座，亦是一切智，亦名如來自覺聖智若



不修此三摩地智得成佛者無有是處文

凡此五股十峯者兩部五智五佛五凡是

地獄餓鬼畜生人天也五聖聲聞緣覺菩

薩三乘等覺一乘妙覺真言也十界不二

之體也謂五凡者胎藏本有五智五聖者

金界修生五智也又習三十七尊之時中

央抱處有四重之八葉是爲定慧二門十

六大菩薩定門四波羅蜜八供養四攝

是也慧門者四智四方四親近十六菩薩

是也中央者四方并最中有五寶珠是五

智五佛之寶珠也仍爲三十七尊亦五股

上下十峯胎藏十界即四重曼荼羅也十

界本有也三十七修得也故理智一體兩

部不二之三摩耶形也又云獨股也獨

股者不二合體之委故時用獨股也又

未敷蓮也是圓因義故云又云五股

是金剛薩埵種子也諸家用之也又摩訶

是華藏院流也又真蓮上賢位是胎八葉

小野用之成就院同也又真如意寶珠是

如來身會普賢也寶珠師傳也云普賢如

意珠故也

道場觀事

普賢金剛薩埵軌云次想自身在須彌頂

本初無中邊普賢境界曼荼羅中央普賢

菩薩與八金剛明妃圍繞四隅陪戲等外

供養金剛鈎女等四門無量菩薩圍繞文

又云身口意如金剛薩埵觀遍滿虛空中

佛悉來入金剛持中合爲一體修行者當

觀自身如普賢菩薩般五佛冠身如水精

月色右手持五股金剛杵左手持金剛鈴

身處在滿月輪了了分明文

口云依此普賢金剛薩埵軌作今道場觀

歎普賢菩薩軌中不出義形等故也普賢

延命經云我此延命法先須影盡普賢菩

薩如滿月童子形五佛頂冠右手持金剛

杵左手持召集金剛鈴契文金剛智三藏

普賢延命口訣云須彌山頂有寶字變成

七寶殿堂其中有寶字變成八葉蓮花文

又云八葉蓮花上有命字也成五智杵轉成

本章文

口云依此兩文作今道場觀歎普賢延命

者普賢菩薩爲延命所現身也所變普賢

延命并金剛薩埵既持鈴杵故能變本身

何不持鈴杵依之普賢菩薩軌中云住曼

印又欲普愛慢八供四攝等圍繞也若爾

者普賢菩薩可持鈴杵也五祕密軌云金

剛薩埵者是普賢菩薩文普賢延命經云

先須彩畫普賢菩薩文此等文初後雖差

異終是一身因果雖各別體唯一也故

是等軌文轉用用法花觀智儀軌云復觀

此金剛杵轉成普賢大菩薩身光明皎潔

猶如月殿般五佛冠天衣璫而自莊嚴

頂背月輪白蓮花王以爲其座右手持菩

提心五股金剛杵按於心上左手持般若

波羅蜜金剛鈴用按於膝一切相好具足

圓滿文今道場觀尊像此軌文相準但軌

白蓮花座文次第寶蓮花臺也是相遠又

結護法云乘千葉蓮花文金剛薩埵坐八

葉蓮華八葉者八識菩提儀也千葉者初

地菩薩坐百葉二地千葉三萬葉也依

地位階級十倍千葉第二地之報身也初

地一切衆生本有薩埵內證菩提實義也

從第二地修生成佛之外迹也佛之稱從

初立也此宗意佛者已第二外無佛也開

初地自證功德第二地已上堅立化他成

道故第二地化他之初成道之源也付此

意以義分別普賢自性金剛薩埵者自受

用也對機心外說法他受用報身也是自

證化他之二利也五祕密軌云大普賢金

剛薩埵他受用身智文普賢經云普賢菩

薩身量無邊普賢無邊色像無邊欲來此

國入自在神通促身令小闊浮提人三障

重故文儀軌身水精月白色云結護法身

白月白色云今次第身白肉色云是依

祕藏記歎彼云東南方普賢普賢菩薩白

肉色左手執蓮花上有利劍文白色本有

淨菩提色金剛界也赤色大悲色胎藏界

也是理智不二赤白和合色也故此尊不

二法性大日如來之表示也

持鈴杵事

口云普賢菩薩爲釋尊弟子未入密時合

掌菩薩形也大山受五智薩頂著五佛寶

冠持鈴杵號金剛薩埵是因果二形像

也今普賢菩薩法觀金剛薩埵儀形是即

普賢與金剛薩埵合體義也西院流普金

次第有之意向之餘流普賢金剛薩埵法

用之當流意相叶歎因果不二始本平等

緣也持鈴杵者五股五智金界鈴塔婆胎藏界也故表兩部不二又五股及鈴金界初後三形也故攝中間以初後手三十七尊威儀皆具足也五股者上下五凡五聖十界不二表無勝劣雖然五股即是五智胸者胸心也一切衆生皆自心曼荼羅具五智義也左手持鈴者方定是覺長眼衆生令知心持鈴者有五智義也但當左眼者眼地輪故歸寶字本理義寶字者自性之寶字也寶歸本有理智之自證十界悉自受法樂也自受法樂者當懷止聲入自證義故也

## 處淨月輪事

金剛頂經疏三云普賢菩薩住佛心中得佛加持佛加持故從心出現住月輪中月輪者菩提心相也表以菩提心即爲法界故即一切有情普菩提心之所攝持爲諸有情請佛教示也云

## 乘白象事

法華經云若行若立讀誦此經我爾時乘六牙白象王與大菩薩衆俱詣其前而自現身○是人若坐思惟此經爾時我復乘白象王現其人前又普賢經云普賢菩薩身量無邊音聲無邊色像無邊欲來此國入自在神通促身令小闍浮提人三障重故以智慧力化乘白象其象六牙七支柱地其七支下生七蓮花其象色鮮白自中上者頗瑣雪山不得爲比象身長四百五十山旬高四百山旬於六牙端有六浴池

一池中生十四蓮花其池正等其花開數如天樹王一華上有一玉女顏色如紅蓮有過天女手中自然化五璽一璽有五百樂器以爲眷屬有五百鳥鬼雁鴛鴦皆衆寶色生華葉間象鼻有花其華如赤真珠色其華金色含而未數見是事已復更憐悔至心諦觀思惟大衆心不休廢見花即散金色金光其蓮花臺是甄叔迦寶妙梵摩尼以爲華基金剛寶以爲華鬘見有化佛坐蓮花臺衆多菩薩坐蓮花臺化佛眉間亦出金色光入象鼻中紅蓮花色從鼻中出入象眼中從象眼中出入象耳中從象目出照象頂上化作金臺當象頭上有三化人一促金輪一持摩尼珠一把金剛杵舉件振象象即能行步脚不履地踏虛而進離地七尺地有印文於印文中千幅轂轡皆悉具足一網而生一大蓮華此蓮花上生一化象亦有七支隨大象行舉足生七千象以爲眷屬隨從大象象鼻紅蓮花色上有化佛放肩間光其光金色如前入象鼻中從象鼻中出入象眼中從象眼出還入象耳從象耳出至象頂上漸上至象背化成金鞍七寶校具於鞍四面有七寶柱衆寶校飾以成寶臺象中有一七寶蓮花臺其蓮花臺百寶共成其蓮花臺是大摩尼有一菩薩結跏趺坐名曰普賢身白玉色五十種光五十種色以爲頂光身諸毛孔流出金光其金光端無量化佛諸化菩薩以爲眷屬

安詳徐步兩大寶花至行者前其象開口於象牙上諸池玉女歌樂絃歌其聲微妙讚歎大乘一實之道文普賢經疏云以智慧力化乘白象文嘉祥疏云乘白象者一明菩薩儀則二欲以靈獸伏諸魔毒今案象王有三德一降怨德能斷障故二端嚴德衆德莊嚴故三運轂德濟度自他故故普賢菩薩乘白象也白者是衆色之本表萬德主故或顯輪王之淺事顯法王之深理所以示普賢化乘白象所以者何天薩遮尼乾子受託經第三云轉經聖王寶德者彼大象寶猶如良馬調伏柔軟隨自在用降伏他國七支善住彼象能於三處有自在用所謂虛空中陸地大王彼象能速疾行一日三匝行闍浮提大王當知彼轉輪王乘象王者彼時象王心與王同隨王念處即從而去行步平正猶如鵝王不疾不遲不曲不戾凡入中行不可侵近闍時極能現大兇害之相不可侵近口云白色者法性清淨本有無垢義象者金剛部乘物大力不驚動是定義也慈必住定故乘象也又深祕云象欲微盛大力也一切衆生此三毒熾然體故持重障荷肩生死重障衆生故象大力有重擔德普賢經云闍浮提人三障重故以智慧力化乘白象文

問普賢乘白象事不見儀軌等法花卉普賢經像非真言所用今何乘白象王觀之哉如何答普賢延命經云普賢菩薩○坐

千葉寶花。花下有白象王象有三頭鼻卷獨股。各具六牙。其象四足踏一大金剛輪。輪下有五千群象。各負其輪。文普賢入延命三摩地。故云普賢延命。密教乘象說文如是。何限顯教乎。又大佛頂經五云。普賢菩薩即從座起。頂禮佛足。而白佛言。我已曾與恒沙如來。爲法王子。十方如來。教其弟子。普提提者。修普賢行。從我立名。世尊。我用心開。分別衆生。所有知見。若於他方。恒沙界外。有一切衆生。心中發明普賢行者。我於其時。乘六牙象。分身百千。皆至其處。縱彼障深。未得見我。我與其人。暗中摩頂。擁護安慰。令其成就。佛問。圓通。我說本因。心開發明。分別自在。斯爲第一。文

問釋迦三尊時。普賢菩薩乘象。象如何答。釋迦法印云。普賢乘象。文殊乘獅子。事釋迦三尊之時。全不被受。事也。普賢乘象事行者。前來請時。事也。文殊乘獅子。事破修羅之城。時事也。件二菩薩乘獅子。象來蓋山。胡謂事顯教。所不見也。云。集經一。金剛經。頂云。世尊。像身。真金色。著赤袈裟。戴七寶冠。作遍身光。其下左邊。畫文殊師利菩薩。身皆白。頂背有光七寶璣。寶冠天衣。種種莊嚴。乘師子。右邊。畫普賢菩薩。莊嚴如前。乘白象。文此金輪者。釋迦金輪。故普賢文殊乘師子。象爲眷屬歟。

八金剛記事

口云。八供普菩薩也。金剛者。通名也。普賢金剛薩埵。軌云。曼荼羅中央普賢菩薩。與

八金剛明記。因繞四隅。鎗戟等外。供養金剛鈎女等四門。無量菩薩圍繞。文

跋折離周遍。因繞。文已上普賢菩薩異形也。金剛薩埵事

胎藏八葉院中。普賢肉色。頂著五佛寶冠。左手持蓮花。上有劍三股。柄圍焰右。手如三股印。中掌屈地。水向上也。祕藏記云。八葉東南。普賢菩薩。白肉色。右手持蓮花。上有利劍。圍焰。中不空。網索。經九云。普賢菩薩。左手揚掌。右手執劍。結跏趺坐。文

理趣釋云。金剛手菩薩。○首戴五佛寶冠。照怡微笑。左手作金剛慢印。爲降伏左道。左行有情。令歸順道。念。昇進。獲得普賢菩薩之地。文

私云。左右手相違也。文殊院。普賢肉色。頂冠無五佛。左手持蓮花。上有三股。劍。右手中五指。掌而向。上也。祕藏記云。肉色。左手蓮花。有三股。跋折離。文

又云。金剛薩埵。背月輪。戴五佛冠。右手持金剛杵。左手持鈴。半跏而坐。文聖觀自在。觀行儀軌云。金剛薩埵。普賢。左手執金剛鈴。置左膝上。右手持五股杵。當心作跳擲勢。身如白月。色頂戴五佛冠。坐月輪中。文

私云。兩院尊同。二手屈。跋也。金界十六尊中。普賢。左拳安腰。右持劍。云。已上兩攝。無礙。經。并形。色。經。身。相。淺。紫色。左定蓮上。劍。右懸拳。抑膝。云。集經云。普賢菩薩。像其。身。金色。現。珠。衣。服。莊嚴。身。分。願。令。華。飾。蓮。花。座。上。結。跏。趺。坐。右。手。執。白。拂。文。普。提。場。一。字。頂。輪。王。經。三。云。佛。右。邊。應。畫。普。賢。菩薩。手。持。白。聲。拂。文。不。空。網。索。經。云。普。賢。菩薩。身。相。端。嚴。如。蓮。花。色。戴。寶。天。冠。紺。髮。垂。下。一。切。嚴。具。莊。嚴。其。身。而。有。兩。臂。歡。喜。顏。狀。偏。袒。右。肩。合。掌。文。念。誦。結。護。法。云。若。念。普。賢。菩薩。者。於。蓮。花。臺。中。觀。蘇。摩。字。爲。金。刀。成。普。賢。菩薩。身。白。月。色。頂。有。五。佛。威。光。赫。奕。山。如。日。輪。普。薩。於。中。乘。千。葉。蓮。花。成。羅。色。光。坐。月。輪。中。三。股。

私云。足觀念文也。除災救令輪法云。金剛手身。貌白。紅色。右持蓮花。花上立五智。左手持鈴。契半迦。持蓮上。文

私云。右手仰掌。立五股杵也。三世最勝。心明王。經云。左畫金剛手菩薩。身赤色。著種種寶璣。手持白拂。作拂如來勢。文不空。網索。經八云。祕金剛祕密主。普賢。左手執。獨股。金剛杵。右手把。白。拂。結。跏。趺。坐。文。同。經。十五。云。金剛祕密主。普賢。身狀。青色。一手把。白。拂。一手掌。金剛杵。文印事

蓮花部。心軌云。便成金剛轉。忍願堅如針。小大開而堅。文口云。此印言。出于金剛薩埵。軌。名。金剛薩

睡三摩耶印功能云。由結此印。修行者當  
 住普賢大菩薩三摩地。坐於滿月中文金  
 剛界軌名普賢三摩耶印。言亦五秘密軌  
 中名三摩耶印。言五股印者。五部總表也。  
 是五部各有五智德。故不歸中央五峯同  
 可直各具五智。故五凡五聖本有體。十界  
 宛然也。謂金剛薩埵者。生死體欲獨愛。慢  
 四煩惱也。此五章配識時。如次九八七六  
 五之識也。配指時。中立合表金剛薩埵。  
 薩埵有理智。身印即行者本尊。本有各德  
 不二。故立合二中也。五秘密軌云。金剛薩  
 埵是自性身。又云。毘盧遮那佛身。又云。  
 法界體性智位也。左大指欲金剛大圓鏡  
 智也。左小指觸金剛平等性智也。右小指  
 愛金剛妙觀察智也。右大指慢金剛成所  
 作智也。是表五智。瑜伽記云。一切如來皆  
 從五股最中峯上。一切諸佛總在其中。文  
 一切如來者。五智如來也。印釋云。外五股  
 是也。印中如針合立。二大一小開立不鉤  
 是怒林也。印也。二小。利字不生義也。二大  
 日心王也。但不鉤者。顯本覺三形也。非修  
 因故。五佛平等也。修因時。鉤形五股也。

眞言事

此印之入我  
 本等入我

大師云。三昧耶梵言。唐翻本誓平等攝持  
 等義。言平等三平等。身語心三密平等。故  
 亦名三部。三部者。佛蓮金是也。此三部佛  
 各具四種法身。如是諸尊平等平等。無增  
 減優劣之異。又云。利字印佛法僧印三

部也。諸法諦義。諦則觀察不謬。即觀音  
 大悲三昧。利字不可得。則大空。大空。無戲  
 論。如來文殊異名。則大智慧門。利字乘義。  
 義乘不可得。本有金剛薩埵。無始無終。無  
 生滅性。相常住等。虛空。唯有運藏。運藏已  
 休。成乘不可得。其此三德者。名大日如來。  
 大日具體。只含此三字。即攝得大日如來  
 所有一切功德。智慧文字。利字。金剛薩  
 埵之名字。功大日種子。日即果滿成正覺之位也。  
 菩提心之體。大日即果滿成正覺之位也。  
 菩提心之體。大日即果滿成正覺之位也。  
 和合成一字。是示因果不二。染淨一體。實  
 不二。法性大日如來是也。凡利字者。佛  
 金蓮之三部。各具四種法身。故胎藏四重  
 曼荼羅之全體。具足於利字者。金界一院  
 會之大日。尤會總攝之曼荼羅也。故兩部  
 法界曼荼羅。不漏一塵。一法。不二。和融之  
 金剛薩埵之眞言也。

眞言事

口云。此印明金剛界十六尊中。普賢印言  
 也。但師傳云。內轉五股。契云。今用外五  
 股印也。雖內外別。五股件普賢三形也。初  
 印。今印共五股也。是五智菩提心體也。印  
 義如前。或云。初五股印。是表本有不二五  
 智體也。次外五股印。表修生不二五智體  
 也云。

此眞言出十六尊軌。此中普賢以利字爲  
 種子。以劍爲二形也。

又印 胎藏一切支分生印

口云。此印言胎藏八葉院中。普賢菩薩印  
 言也。大日經五末開數華合掌云。并青  
 龍軌廣攝三軌。皆云。蓮花合。疏十七三補  
 吒合掌也。御作次第云。盧舍雙二。合屈如  
 掬水。當心云。今次第依此等文獻。二空并  
 退立。眞言通二空。端屈是其義也。

印言異說事

集經六云。普賢菩薩法身印。說第八。準前  
 佛品。帝殊囉施頂印。上唯改開二中指。頭  
 指末去。說曰  
 唯。一。跋提禮。二。合下。跋提禮。三。蘇跋提禮  
 西跋陀羅。二。拔智。五。蓮陀囉。六。昆摩。去。禮  
 七。莎訶八。

是法印。呪。若有人能於白月八日十三日  
 十五日。香湯洗浴。獨自房內。不聽他入。而  
 向東胡跪。當作此印。至心誦呪。二十一遍。  
 發露懺悔。得滅衆罪。若以此呪。呪一切衆  
 二十一。遍用而服之。身常無病。若常誦是  
 呪。在處處。一切歡喜文。

私云。此普賢菩薩法身印。呪也。帝殊囉

施頂印者。內轉三股印也。開二。中風指  
 來去。即是喚本尊義也。帝殊囉施光聚  
 佛頂梵語也。此三股印。彼佛頂印。故云。

帝殊囉施頂印也

那謨阿隸耶三曼茶跋達囉。三。合。夜。一。菩  
 提薩埵。去。耶。三。摩訶薩埵。去。耶。三。路。姪。他  
 四。領。囉。上。茶。八。切。五。羯。囉。茶。六。阿。囉。茶。七。

羯囉。上。茶。八。切。五。羯。囉。茶。六。阿。囉。茶。七。

此陀羅尼經三夜三六時至心誦念不忘  
悉皆銷滅五逆重罪又法從日月八時起  
首闍淨專心誦呪至十五日日三時誦  
呪唯宜得食三種白食、杭米、乳粥餅乳酪  
等其十五日一日一夜總不須食、日香  
湯、清淨洗浴、著新淨衣、在閑靜處作壇場  
十二村或作九村、除酒肉五辛葱蒜白餘  
上妙餅食及菓子等備設供養、堅旃竿子  
懸五色旛蓋又以種種時花遍散壇  
中、燒沈水香、薰陸、栴檀香供養呪師而向  
東坐相續誦呪至夜半時、聖者普賢菩薩  
若來現身、誦時即得禪定三昧寂靜山居  
得聞持不忘身、體輕亦見伏藏所求修道  
方便疾得開悟云

私云此見普賢菩薩呪也

又云普賢菩薩滅罪呪第十一呪曰

文波喙決定 毘尼波喙斷結 二烏蘇喙誕生

此呪平日七遍夜七遍誦此呪去魔魅野  
道蟲毒能得身心慧三解脫後生不受生  
死身得法身常住身境內外國怨賊一切  
惡人一切惡鬼神一切盜賊虎狼獅子惡  
毒蟲惡獸聞此呪聲皆口噤不相觸亂惡  
夢災殃鳥鳴百怪自然銷滅此呪功能說  
不可盡文

私云此復言普賢菩薩滅罪呪也經不  
說印口傳固實合掌當心也

寒鼠咒陀羅尼  
三打打我三打打我

失物陀羅尼

恨姬他唵多利多利咄多利娑婆

賀

若失物於佛前燒香誦七遍即風不與人  
語夢中神來尋姓名見其狀置物處示之

散念誦事

口云本尊願言三種共可用之金剛薩埵

真言金剛界羯磨會云

口云大鈎召印言也

結界事

口云降三世印言

字輪觀事

口云五大如常

護摩事

就息災修之成爲滅罪修之也

部主段 大日

自加持 智拳印真言

召請 外五股印以右頭指三招

真言如自加持加召請句與四攝明

供物 同真言加息災句也

撥遣 準召請以右頭指三撥加撥遣句

本章

自加持

印便成金剛縛忍願堅如針小大開而

堅真言曰

召請

外五股印以右頭指三招之真言如自  
加持加召請句與四攝明

供物 同真言加息災句也

加持物

真言

撥遣

準召請以右頭指三撥加撥遣句也

諸尊段 三十七尊

延德三年卯九月三日於高雄神護寺

地藏經書寫之

永正六年己二月二十六日即彼岸初

日於高野山往生院茶坊西學室令書

寫之 右筆祐雅

水智房良思

白寶口抄 文殊法

本書事

大聖文殊師利菩薩佛利功德莊嚴經

三卷五十

不空譯 貞 大 慈

文殊師利佛土莊嚴淨經二卷

或云眞實嚴淨佛土經二卷

法護譯 禪林請來六枚

文殊師利發願經一卷

覺賢譯 圓覺請來二枚

文殊師利巡行經一卷

菩提流支譯 圓覺請來 六枚

文殊師利行經一卷

· 圓覺請來 八枚

文殊師利授記經三卷

文殊師利較涅槃經一卷

道眞譯

金剛頂瑜伽文殊師利菩薩經一卷

不空譯

大聖妙吉祥菩薩除災教法一卷

文殊師利菩薩儀軌供養法

不空譯

文殊師利問字母品一卷

不空譯 大師請來 慈云文殊問經

字母品三 祕錄字母品前載之

文殊師利菩薩根本六教王金翅鳥王品

一卷 不空譯 大師 慈覺三枚  
祕錄羅什載之  
文殊師利菩薩及諸仙所說吉凶時日善  
惡宿曜經二卷

不空譯 大師八枚  
貞元 智證云文殊師利宿曜經二卷

祕宿曜  
文殊讀法身禮一卷

不空譯 大師 智證 慈覺云文殊  
師利三三枚祕法身讀部載之

金剛頂經瑜伽文殊師利菩薩法一品

不空譯

此文明大三法羯四種曼荼羅文中似  
有亂脫見而可知與儀軌供養法又是

金剛界文殊一尊持明儀軌也 大略與

金剛智本同也 大師持本無法品字也

智證錄無供養法品四字也

文殊滅諸欲我慢陀羅尼品一卷

大師請來

文殊師利經疏一部三卷

潛眞法師撰 大師請來無祕錄

金剛頂經文殊師利菩薩無字陀羅尼品

一卷 金剛智譯

虛安祥云同五字眞言

梵字文殊師利菩薩眞言一本

慈覺

梵字文殊師利根本眞言一本

慈覺

梵字文殊師利根本眞言一本

慈覺

梵字文殊師利根本眞言一本

慈覺

文殊行願讚一卷

文殊師利菩薩一百八名讚一本  
已上安  
梵字千八文殊一百八名讚一卷

大師  
梵字文殊讚一本

梵唐兩字文殊師利菩薩一本

已上慈

名字事

梵號 阿利也曼殊師利

密號 般若金剛 吉祥金剛 大慈金

剛 釋法金剛

梵云文殊師利亦曼殊師利也舊譯云文

殊新譯云曼殊是即於耳字有八囉聲曼

男聲文女聲男聲智慈義女聲三昧也故

此菩薩者備定慧二德加云三世覺母呼

定即從女聲如云文殊童眞呼慧即從男

聲也大悲分陀利經云曼如尸利文無行

經云滿殊尸利文梵語集云曼殊殊沙尸

利同之大品經云滿殊云無垢稱經云妙

吉祥文或經云此云妙吉祥文大日經疏

云妙德云涅槃經并思益經同之

大日經七云聖者妙音尊文五百問論云

妙音海來文 疏云云妙吉祥菩薩者妙

謂佛無上慧猶如醍醐純淨第一室利翻

爲吉祥即是具衆德義或云妙德亦云妙

音也即以大慈悲力故演妙法音令一切

聞故文法花文句二云文殊師利此云妙

德大經云聲聞見佛性猶如妙德等文思

益經云雖說諸法而不起法相不起非法

相故名妙德文菩提心義三云。雙巖室利云妙吉祥。古云妙德。或云妙音。佛大智慧。秘妙吉祥發生之義。如五字經云。文殊是三世諸佛母。五佛頂宗云。文殊是般若佛母。六度經云。文殊持般若藏也。金剛頂經云。我名微妙音。由慧無色故音聲而可歸文同疏五云。以妙音開悟一切故。云我名微妙音也。文瑜祇疏云。然文殊名大乘文密嚴經云。敬首文觀察三昧經云。雙首文維摩經云。德首文智論云。花吉翻梵語集云。文殊師利可云曼殊沙尸利曼殊沙者花也。亦名藏尸利者吉也。文理趣經云。無戲論如來文同釋云。是文殊師利菩薩之異名也。文秘鍵云。無戲論如來即文殊菩薩密號云。大疏十三云。作施願金剛童子形。即文殊師利名也同十云。童子住解脫道者。憶念本所立願也。一切諸佛法身成佛入身口意秘密之體。一切有心無能及者。然憶本願故。以自之力。遷於生死救度衆生。此真言意亦爾。此童子久已法身成佛。故請其以憶本願而度衆生也。由諸菩薩本願。若有見聞。觸知憶念我者。皆於三乘而得畢定。乃至滿一切願。此菩薩久已成佛。所謂普見如來。或云普賢如來。以大悲加持力示童子身也。文。

問。何必現童子形乎。答。義釋云。文殊。此菩薩通達如來甚深般若。唯是佛佛自證。不可與人。若離加持方便。則一切有心量者所不能及。是故以嬰兒行。變示童子之

身。演說人法。無我。獨除戲論之法。文演密鈔九云。此文殊菩薩以般若為主。欲以般若授與一切衆生。住於加持之身。現作嬰兒之相。如世嬰童之相。未有分別。以表此深意。亦離於人法戲論。所以現嬰兒相也。文未有分別者。昆虛遮那內證之無分別智也。疏七云。夫自性純者。即是極無分別心。不愚不智。不慧無識。無智無妄。無覺。乃至一切諸法。不能動搖。但是一純固金剛地耳。所以然者。如世間人以取捨不安故。尚智惠而棄愚。輕淨潔而蔑生死。而今一根本不生。乃至一根本性寂。則誰利誰鈍耶。文立覺知名。猶對不覺。以偏用一邊。故一切諸法平等。自性智之故。不用偏用。則利相同。歸鈍何立。覺不覺乎。疏云。而實無覺無成也。文六波羅密經云。法寶自性恒清淨。乃至無分別智。而能證文。文殊斷惑智體。無分別智。而能證也。此時深法自在。故諸經中云。文殊師利法王子。理趣經云。文殊師利菩薩。得法自在。故云法王之

子。文凡世間一切人倫。嬰童之間。於一切事業更如無有其過失。今文殊大空慧。無礙自在。義同之也。以喻爲顯深義。表童子之形。花嚴經說。普哉童子。童子可愛。義清淨。義自在。義云。外書云。童子人生幼少。精神專利。長生以後。思慮散逸云。是童子位智慧相。勝義也。疏云。妙吉祥者。妙謂無上慧。猶如醍醐。純淨第一。宰利翻爲吉祥。即是具衆德義。文理趣經云。文殊師利

童真。文不思議。疏云。童真者。童子異名也。文或云。疎爲文殊。文殊云。童子有眼三童目。一切菩薩皆俗形也。文殊。童形也。玉篇云。童。徒公切。目。疎。茶利軌云。兩目童人上觀。余文此多羅。觀從觀。目出故。童字成。青蓮花。變成文殊。此文殊。疏云。云。

問。文殊大慈加持之身。必限童子相耶。答。寶藏陀羅尼經云。文殊大菩薩。不捨大悲願。變身為眞童。或冠或髻。或處小兒衆。遊戲。變身爲聚落。或貧窮人。衰形爲老狀。示現飢寒。苦文名。見身及光明。並見隨順諸化現。皆成佛。難思議。文大智度論十云。文殊師利分身變化入五道中。或作聲聞。或作緣覺。或作佛身。文法花義疏一云。文殊具三世佛過去爲龍種尊。現在爲摩尼寶積。後爲當來作佛。文菩提心義三云。首楞嚴云。文殊過去成佛。名龍種上智。拿王如來。舊經云。文殊現在北方成佛。名歡喜藏。摩尼寶積佛。大集云。未來成佛。名普見如來。文。

問。付文殊有幾差異乎。答。有多種。謂不二法性。自性文殊。是喻祇經所說智劍也。從兩部大目。今一重深秘文殊也。次胎藏八葉中文殊。即大目如來大法身也。爲度人故。漸出于外。故大門中亦有文殊。是等覺以還。法身菩薩文殊也。第三重釋迦眷屬。亦有文殊。是變化生身文殊也。生南天多羅聚落等是也。金剛界十六章中。利菩

白寶口抄卷第八十四 (文殊法)





世間出世間故成佛偏依真字覺悟故三  
世諸佛母云之真字諸字母故千經萬論  
皆真字所生故文字悉文殊三摩地法門  
也故般若藏說之也理趣釋云北門梵甲  
文梵甲梵鏡是新譯舊譯不同歟俱隨經  
云僧中置梵甲中經讀文五佛頂經云摩  
莫羅母右手把般若梵甲文千手千眼姥  
陀羅尼經云身軀流有身十八臂一手把  
梵甲文新譯千手經云梵鏡御手文新譯  
七卷理趣經四隅安四波羅蜜經文此等  
文皆梵鏡梵甲同物也故現圖圓形也或  
甲讀之畫甲形像聖人云貽藏般若若菩薩  
著甲尚有雜云若甲即蓋同歟

道場觀事

口云文殊智離人法之戲論住真字大空  
三昧故云復有圓明月輪也教王經疏云  
而無所住不居空有水絕二邊能斷一切  
有情結使之心常住無爲智慧圓明即文  
殊般若之智慧也分別聖位毘盧遮那佛  
於同心證得金剛利劍般若波羅蜜三摩  
地智文

乘師子事

口云師子座者表智慧大集經文殊乘師  
子入破業障三昧文疏云言師子者即是  
勇健菩提心從初發意以來得精進大勢  
無有怯弱猶如師子隨所執縛必獲無遺  
即是自在度人無空過義也文師子其所  
住處一切百獸無空過於大小無怯弱心  
皆施其力用此尊亦如是利益一切衆生

無空過縱雖有像厚薄皆以大空惠無礙  
自在悉斷盡三障等義也又表王義是師  
子諸獸王也此尊大空惠無礙自在之故  
王之義也故云文殊師利法王子得法自  
在故也衆生濟度亦自在也寶積經云又  
百千億那由他佛利益衆生不及文殊師  
利文三十卷教王經三云能斷一切勝怨  
敵滅除一切諸罪垢文  
問何故不出持物乎答總文殊故不定  
持物歟

眷屬事

金翅鳥王品云持誦者受齋戒三日不食  
十二日於河峯側五色粉建立六肘曼荼  
羅畫八枚八葉蓮花中央畫佛作說法相  
右以線畫文殊師利菩薩作合掌瞻仰佛  
相左畫那羅延天四臂四種標幟器械近  
那羅延畫金翅鳥王作極可畏恐怖形近  
金翅鳥王畫阿闍摩天於大聖文殊師利  
後畫無盡慧菩薩及善哉童子須菩提合  
掌而住云

口云今道場觀依此文歟那羅延天智慧  
自在大力堅固故能破無明唯斷惑大力  
事大疏一並圓陣疏二十七釋之可見也  
又那羅延者此翻生本一切人梵王生故  
名人生本是衆生之祖父故云生本也疏  
自在天別名云義疏梵王云故大自在  
在天梵王那羅延一體異名也亦名毘紐  
天有衆多別名劫初時一切皆空有大水  
聚水上有一人千頭二千手足化水生名

毘紐天勝中有千葉蓮花自蓮生梵王梵  
王生八天子此八天子生天人物故八子  
衆生父也天中論玄疏釋之可見故那羅延  
天一切衆生祖父也文殊亦諸佛之父母  
也三世覺母之稱同能生之德一致也依  
之用眷屬歟那羅延天乘金翅鳥也法寶  
藏經云文殊乘孔雀文孔雀妙觀察智乘  
物也故用文殊歟又別儀軌中文殊坐金  
翅鳥座也是同乘金翅鳥本誓誠一同也  
旁爲眷屬有謂歟

問持四種標幟云其意如何答那羅  
延二臂亦四臂也今付四臂持物表示四  
種法文殊經五云那羅延天四臂執寶棒  
螺劍乘金翅鳥云是增益息災敬愛降  
伏之四種也金翅鳥王文殊化身故爲眷  
屬也鳥王品云引入曼荼羅擲華著佛菩  
薩及那羅延金翅鳥王諸天子是人堪爲  
法器應令得聞受此法○若能今生不越  
此誓悉地現前來生當得生大聖文殊宮  
中文又云作展翅金翅鳥王形○瓔珞嚴  
具其臂及爪極令銳利作恐怖可畏形立  
於蓮花臺上作向下觀勢文

問印形如何答金剛合掌當心也無盡  
慧者是智慧義相向故歟須菩提亦是解  
空第一也文殊住八不空理故空義同也  
依爲眷屬善哉童子者不限文殊尊五十  
五知識故普賢觀音等有之歟  
根本印事

疏十三云先作三補陀以二火指及壓二



白寶口抄 五字文殊法

本書

金剛頂經 曼殊室利菩薩五字心陀羅尼

品一卷 金剛智譯 行選貞元圓覺梵釋  
續古今諸經圖記云 金剛智三藏至開  
元十八年於大應福寺譯金剛頂經曼  
殊室利菩薩五字心陀羅尼品一卷

金剛頂經 瑜伽文殊師利菩薩儀軌供

養法一品 并梵字亦名文殊五字念  
誦法 不空譯貞元新入目錄圓覺列外  
題海云 金剛頂瑜伽文殊師利菩薩儀  
軌供養法一品 仁云 金剛頂瑜伽文殊  
師利菩薩法一品 一卷 不空 仁錄兩所  
出之珍錄有之 同仁錄又此外

金剛頂瑜伽文殊師利菩薩儀軌一卷

金剛頂瑜伽文殊師利菩薩 經一卷 內云

品亦名五字咒經 不空譯

文殊師利瑜伽五字念誦經修教一卷

運云 文殊瑜伽五字念誦經一卷 仁錄

同今總錄 叙云 文殊瑜伽五字念誦

經一卷 金剛三藏說現身成佛王帳

文殊五字眞言儀軌一卷 海行運

金剛頂超勝三界經說文殊師利五字眞  
言勝相一卷  
內云 金剛頂超勝三界經說文殊師利菩薩  
秘密心眞言 不空譯貞元新入目錄卷八

曼殊室利童子寶薩五字瑜伽法一卷  
不空譯貞元新入目錄海  
梵字文殊五字儀軌一卷 海澄錄有之  
梵唐兩字文殊師利五字陀羅尼一卷

五髻文殊法一卷 運

五字陀羅尼念誦法一卷 海

五字陀羅尼頌一卷

不空譯貞元新入目錄海仁圓覺珍錄  
亦有此頌行錄或本亦有之

大聖曼殊師利童子菩薩 一字眞言  
有二種亦名五字瑜伽法一卷 不空  
仁錄亦名五字瑜伽法一卷之九字施  
書之

名字事

口云 梵號密號漢號等皆同前通用文殊  
今約五字有其別 凡一字文殊五字文殊  
六字文殊八字文殊等有之 六字文殊西  
方蓮花部六識也 八字文殊佛部 五字文  
殊金剛部 六字文殊蓮花部 一字文殊表  
三部不二也

問 一字五字等約何立稱耶 答 約眞言  
一字五字等也 亦一字文殊眞言一字  
一誓也 五字文殊眞言八字八誓也 六字  
文殊眞言六字經說也 形像無六髻經軌  
文也 故五字八字等非五髻八髻等有之  
軌或云 先年奉見六髻像印相普通文殊  
也云 理趣釋文殊曼殊羅 四尊頂有三  
髻 是三字文殊歟 但不受師傳云 梵字

文殊一字三字等并忿怒眞言一本 慈覺  
成云 五字敬愛 八字息災 一字增益 六字  
調伏也 故五字文殊隨四種法變現形歟

口云 五字文殊者 藏五髻表五智 金剛界  
也 八字八髻是表八智胎藏八葉尊也 一  
字表 部不二 六字蓮花部尊表六識所  
變但胎藏界八葉文殊并文殊院文殊同  
五字文殊也 非八字文殊故諸文殊同蓮  
花部尊故可互兩部也

問 花部尊互兩部其故如何 答 無量  
壽如來不二蘇悉地尊故也

種子事

口云 字西方 花部利菩薩種子也 供  
養法云 上觀師子妙高座 座上復有七寶  
樓中想七寶蓮花王 上想發字 具威光遍  
照法界 靡不周 其字變爲金剛利了了諦  
觀如本形文 依此等用 字也 字法界  
不可得義 空點是覺悟義也 亦無邊際義  
也 又云 義字大空義也 義釋五字 眞者  
是心義名爲大空 唯以大空心自證眞者  
是故加圓點 此中無德不備 故名妙吉祥  
文 次第種子注萬字可書入之云 此以  
字爲種子 三形謂 如本字許特用也  
是可隨行者意也

疏二十云 如文殊以 字爲種子 有五義  
以菩提心 行 成菩提 出 繁 殊 方便  
餘一切尊種子字皆如是 文殊大日如來  
文意云 一切種子皆因行證入方便之義

故大日也。理釋云：摩訶字門一切諸注，吾我不可得，故是名義。我有二種：一人我，二法我。呼字義云：人謂四種法身法謂一切諸法也。云摩訶大日之種子，因法身中得大我也。又云：滿妙之一字，廣言圓滿具足之義。言文殊四德中，我波羅蜜，良是不動尊之心也。或抄云：遍智院中萬字良字也。相釋云：八十隨好中，萬字同。吾我不可得，加大空即表空也。

私云。遍知印一切佛心也。圓中三角智印。三角調伏義也。降魔觀佛三昧經第三十九云。於萬善印說佛八萬四千諸功德文義。二云。印一切諸法我不可得。故印是無障。菩提心也。又是如意珠。此是我字門也。文成院用之。金抄出之。或云。金剛界寶胎藏界文殊大日也。內不二法性大日也。界文殊是佛。無上慧印。大智門尊也。何云問。文殊是佛。無上慧印。大智門尊也。何云不二耶。答。智理二智也。是以大空心體真大空故。無德不二。是法性不二大空心體也。但智印不離理。理處必有智。故色心二部不二時。森羅諸法不離六大法界。法界是理智法故也。云。

### 三、刑事

口云劍者智慧義也。有照法界。法界理智二法也。具威光是智之用也。劍亦有理智之德。劍體理義有斷妄執德。又惠之功也。種三共不二上智慧義同故也。又文殊舊譯曼殊新譯也。是即於此字

有八一男聲文女聲男聲智慧女聲  
三昧也此菩薩有定慧二二三世覺母者  
是女三文殊童子者即男聲義也又利  
劍八不正觀三解脫門四體同以字大空  
故也

道場觀事

淨月輪文

私云此中諸妙色相者是三十二相八十種好也疏五云文璽間利身體金色頂有青○作童子形左持泥洹鉢是細葉青蓮蓮上有金剛印極微密微坐白蓮花臺此其秘密○識也阿闍梨言金剛即是闍浮金色用表金剛深慧首有五善者爲表如來五智久已成就以本願因○故示作童眞法王子形寄運是不染著諸法三昧以心無所住故即見寶相金剛智印能以常寂之光遍照法界所以坐白蓮者意明不異中胎藏也文金智軌云卽於壇中心畫曼殊師利菩薩童子形右手執金剛○劍左手持摩訶般若梵篋○環輪四圍寫羅

者鼻字文不空別軌云於茶羅中  
文殊師利五髻子形狀身如鬱金  
種。珞莊其身右手把金剛劍左  
手把梵篋坐於月輪四面周旋畫五  
陀羅尼文

口云。以此等文可知。今道場觀也。■子座  
事通用文殊法口決了

身鬱金色事  
疏五云。金鬱金二色相似。然真金。光澤鬱金色稍。也。又云。鬱金卽是闍浮金色。用表金剛。慧文

又云有五髻者爲表如來五智久已成就以本願因緣故示作■■法王子形文身色金色胎藏大日首五髻金界五智故理智不二兩部和融■也

左右事

右手持智劍者理趣釋云。文殊師利菩薩者表一切如來般若波羅蜜多慧劍。住三解脱門。顯真如法身常樂我淨由菩薩證此智便成正覺也。文是明如來之大覺智體也。又云。經以自劍揮斷一切如來。以說此般若波羅蜜多最勝心者。一切有情無始輪迴與四爲。集無量。妄煩惱。則在凡夫位。爲預聖位。至如來地。名爲智。以四。菩提對於四種妄識。既除則成。無惑法智。不除妄執法則成。法執病。是故智增長菩提。用四種文殊師利般若波羅蜜劍斷四種成。智能取所。

取障是故文殊師利現彈所四佛臂也  
文以文殊大智利劍切四方四臂成作  
業之臂此是不假修行不用斷證只是本  
來本有大智利劍之前無行證之佛位也  
問現切四臂之義無之耶 答文殊大  
空智之前四臂成作業忽休故現切四  
佛臂之義可有之也或云付之可有自性  
加持謂自性本有之前切四臂加  
持修生之前切臂耶 答手是作業之  
間諸根中何必切臂耶 答手是作業之  
義又勝諸根故臂作業之支分也大空前  
事業斷故切臂也

問金剛頂經云文殊以劍破一切如來  
右臂即斷在經如來厭離善提心然而衆  
生不知己身為如來法性取意有處云切  
在經如來左臂文兩手相違如何 答金  
剛頂經意在顯前右臂轉故切右臂也  
故云斷在經如來厭離善提心也亦右手  
成辯諸事勝故切右臂之臂也次切在  
經如來左臂者當右手出總智佛也左手  
生死在理衆生也故切左臂也何不  
達歟或云問今不二自性文殊利劍切四  
佛臂時可切兩部大日臂耶 答今因  
佛云聖四佛外無大日前義也論用時  
兩部大日共用也以文殊為自性體故文  
殊者兩部上不二自性最初一轉云文殊  
也左手持青蓮花上有若梵薩者疏  
云青蓮是不染著諸法三昧以心無所住  
故云般若梵薩者或云理趣經或云心經

也但陀羅尼集經說般若菩薩所持梵  
云其中具十二部經即若波羅蜜文  
是耳諸大經又胎藏界般若菩薩梵  
經印大師御次第云逆轉小乘順轉大  
教云以此等思之般若梵薩納一切教  
法即說五字真言功能金剛頂瑜伽文殊  
簡利菩薩法品云一偏者一切如來  
所說法藏修多羅藏誦受持等彼功德  
一切如來所說法攝入五字陀羅尼中能  
令衆生般若波羅蜜多成就就三種悉地  
就云誦一遍如經一百遍若誦一返  
如誦八萬四千十二圍陀藏經文

問何故文殊持般若耶 答文殊以般若  
無相之妙慧斷人法戲論之妄執故持  
若梵薩也此菩薩稱覺母即是文殊妙惠  
有能生諸佛之功能悉盡以男聲智惠字  
號字母也般若心經云三世諸佛依  
波羅蜜多故得阿耨多羅三藐三菩提  
彼經具說文殊之智德故知三世諸佛成  
正覺偏依文殊般若無相妙慧是故大師  
釋云文殊利劍斷諸覺母梵文御師  
文三世諸佛之正真正知之處十方大士  
之極位極滿之源皆是文殊師利之三昧  
也更無有異路也大師理趣經開題云  
若波羅蜜多者阿字不生之義文真字是  
諸法之本源法佛之內證也真字第一命  
運於情非情故大師千經萬真字所生  
之義釋之給疏七云真字是一切法教之  
本文又云悉曇真字亦為衆字之母文又金

輪軌云真字善心體智之本源是一  
字母十方三世佛所說一切法無非此字  
體文故一切教法皆真字之功能也又  
三世諸佛十方大士皆真字所生也故覺  
母梵文調御師者真字不生之妙理也  
云若見本不生際者即是如實知自心如  
實智自心即是一切智故盧遮那唯  
以此一字為真言也文同二十云文殊  
利者亦是大日如來文又云觀音文殊善  
賢彌已在八葉中即大日如來大法身  
也為度人故漸出于外故大經中復有文  
殊觀音等以類可解也又云如八葉中文  
殊是慧大惠即是大日如來不離此大日  
如來別有惠也云故八葉中文殊以真  
字為種子也又此菩薩種子字兩字共  
有真覺三云一切諸法我不可得  
故即是無障礙善提心也又是如意寶珠  
此是真字門也文殊師利菩薩八字三  
昧經云文殊師利法藏中有真寶法最上  
殊勝無可比法能為衆生作如意寶文此  
等義以五字真言可得意也此文殊妙德  
在彼言也

根本印事  
不空供養法軌云次結金剛利劍印結月  
忍願申如劍由此金剛利妙印當般若  
甚深智金剛利言曰  
引釋依此經  
五字明中大聖印二明外相又忍願俱  
申直屈二度上節猶如劍峯狀心頓喉冥

Figure 1: Schematic representation of the experimental design. The diagram shows a sequence of events: 'Pretest' (with 'Pretest' and 'Posttest' labels), 'Training' (with 'Training' and 'Posttest' labels), and 'Transfer' (with 'Transfer' and 'Posttest' labels). The 'Pretest' and 'Training' phases are connected by a horizontal line, and the 'Transfer' phase is connected by a horizontal line. The 'Pretest' and 'Training' phases are connected by a vertical line, and the 'Transfer' phase is connected by a vertical line. The 'Pretest' and 'Training' phases are connected by a diagonal line, and the 'Transfer' phase is connected by a diagonal line.

[illegible]

吉

門初與五字明也是般若之主  
故也但花嚴經入法界品四十二字并守護國界經四十二字門亦五字明為初也故大乘經皆悉此真言法門也故一如來所說法攝入五字陀羅尼中云誦一遍如誦八萬四千十二圍陀經藏云思之

五字功能事

金剛頂經瑜伽文殊師利菩薩五字明  
云若有善男子善女人讀誦一遍者一切如來所說法藏修多羅藏同諸誦受持等彼功德毗盧遮那佛又云續說此真言一切如來所說諸法攝入五字真言中能令衆生般若波羅蜜多成就現今當說能淨處作漫拏擲以單摩夷塗地復以白檀泥塗之隨意大小於曼荼羅中書文殊師利五髻童子形身如鬱金色種種瓔珞莊嚴其身坐月輪右手執金剛利劍左手當心作金剛拳持青蓮花上有般若波羅蜜經藏於月輪四面周旋書五字真言阿闍梨對於此壇結金剛印念誦時文殊師利加持此阿闍梨即得無礙辯才仍現身一解釋此真言甚深義理時阿闍梨即當禮拜出壇外為弟子授菩薩戒即以絳帛覆眼引入壇場門而立時阿闍梨告弟子言汝今獲一切如來般若波羅蜜自今已後不應向人而說此明勿令破汝三摩耶法此真言極應秘密文  
私云已上說畫像壇法灌頂密印等也

超勝三界經云若人總誦一遍如誦八萬四千十二圍陀經藏若誦兩遍文殊師利普賢隨逐四乘一過能除行人一切苦難文殊軌云若人一過能除行人一切苦難若誦二遍除滅微劫生死重罪若誦三遍三昧現前若誦四遍總持不忘若誦五遍速得成就無上菩提一心念誦滿一月已受殊師利現其身或於空中演說法要是時行者得宿命智辨才無礙○速證如來身金剛法身文三種悉地軌云若誦一遍如誦八萬四千十二圍陀經藏能除行人一切苦難即入如來一切法平等一切文字亦皆平等速得成就摩訶般若若誦兩遍除滅微劫生死重罪文殊普賢隨逐四乘圍繞加被是慈無畏護法菩薩在其人前若誦三遍三昧現前若誦四遍總持不忘若誦五遍速成無上菩提也文

五十萬遍事

金剛頂瑜伽文殊師利菩薩五字經云或白氈絹素等其中書文殊師利菩薩坐月輪中內輪周旋書五字四面畫八供養及四攝如大壇法對此像前如法念誦而作是言諸法自性成就念誦數滿五十萬遍即獲無盡辯才如文殊師利菩薩等無有異飛騰虛空所求世間出世間事悉得成就又念誦數滿一俱胝離諸苦惱滿二俱胝遍五無間等一切罪障永盡無餘滿三俱胝遍證悟一切諸三密門四俱胝遍獲大開持五俱胝遍成阿耨多羅三藐三菩

提又法於舍利塔四面周旋右轉書五字真言過塔行道念誦勿斷絕滿五洛又遍爾時釋迦牟尼如來及文殊師利執金剛等於虛空中而現其身為說法文金智五字文殊軌云或於絹素如前畫像誦滿五十萬遍亦得成就或以香泥塗舍利塔梵寫五字旋繞念誦五十一萬遍受殊室利現其人前而為說法常得諸佛及執金剛之所護念一切勝願皆悉具足文  
問誦五十萬遍時四種念誦中可依何念誦乎答金剛念誦數亦三摩地念誦者猶勝五字陀羅尼頌云下劣根性人癡愛難亂者亦勤修此法為消煩惱障入寂靜智故文  
迎請事 大鈞召印言也  
結界事 馬頭象印言也  
字輪觀事 口云五大如常  
護摩事 口云成就敬愛修之也  
部主段 八字文殊  
自加持

大精進印合兩手八指反相又皆在掌內以二大母指少屈相並押二頭指上八字真言曰  
召請 如自加持印真言以二大指三指加請句四攝明  
供物 同真言加敬愛句  
搬遣 准召請以二大指三撥加搬遣句

本尊段  
自加持

金剛劍印一手金剛縛並建忍願屈上  
飾如劍形五字眞言曰  
我子以可

召請 外五股印中指作劍形以右頭指

三招眞言如自加持加召請句四攝明  
供物 同眞言加敬愛句  
加持物 如供物

撥遣 准召請以右頭指三機加撥遣句

諸尊段 三十七尊請之

世天段 如常

延德三年癸卯十月二十六日於高雄神  
護寺地藏院書寫了

白寶口抄 八字文殊法

本書事

大聖妙吉祥菩薩祕密八字陀羅尼修行  
受荼羅次第儀軌法一卷

淨智金剛誦運仁

運錄無法字又注云中天竺國三藏菩  
提譯使淨智金剛譯行錄亦出之

大聖文殊菩薩八字陀羅尼念誦法一卷

行

梵字文殊師利菩薩八字眞言一本 仁

佛說文殊師利法寶藏陀羅尼經一卷

眞諦譯實思惟依梵本并勘定

口云二本儀軌者靈巖和尚并安祥寺請  
來也是非大師御請來故先德等此法非

大師御傳雖然彼兩師請來故東寺修之  
云不知安內事也八字文殊法大師御

傳也祕說以文殊寶藏陀羅尼經一切經內  
可爲本書印明功能具在彼經故以彼經

爲儀軌也或云大師御流云儀軌付瓊祇  
經行之云鳥羽僧正云十一祕法內也

修行等事

八字陀羅尼軌云深行比丘比丘尼善男  
子善女人發悲願心造曼荼羅而作八字

眞言念誦誓於急難之際救護有情欲受  
持此眞言者先當訪覓具德知解眞實道

行大阿闍梨達而受灌頂得灌頂已致白  
諸請傳授此教親蒙傳受然可修念乃至

文若常念者應須精進室如法建立道場  
行人先與八種心方可持法一慈心二無  
妬心三無我所心四無勝附心五有平等

心六無怨害心七有哀愍心八無貪利心  
如是之心乃可傳受如是等堪同作法若

非此者惟應自作令法得若過數未終不  
得中間輟共人語便使有間斷即法失驗

未作法時先當明告若自作念誦亦勿間  
斷文又八字文殊軌云

復說差別事 三時或四時

無令有退轉 若爲息災故

定夜以之初 若求福智門

後夜而起首 降伏日正午

愛敬欲眠時 鈞召亦同前文五十二

名字事

口云梵密號漢號等皆如通用文殊今  
以八字爲別名東寺先舉別名號八字文

殊天台先舉總名稱文殊八字也五字文  
殊表金剛界五智是智慧門也八字文殊

以八髻八字表胎藏之八葉是理大日出  
智門義也即眞字不生智門也或八字者

八不正觀義也中觀論云不生亦不滅不  
常亦不斷不一亦不異不來亦不出文或

說六不般若心經說也或說五不六論說  
也或說一不六日經疏說也彼疏釋眞字

云言不生者衆明不生不滅不斷不常不  
去不來不一不異文是一生一句攝八不

也此說內證也故說文殊之智德經論不  
同也八不者八字文殊六不者六字文殊



五不者五字文殊。二不者一字文殊也。依義立名也。

### 種子事

口云。文殊者一切法吾我不可得義也。或云。吾我不可得大空智故。諸災禍消滅。空人法。二我成無我。大我也。本體即空。上亦空點。是空謂大空也。越十八空名爲大空。住空之位名指大空。即是大般若也。文殊一切法如不可得義也。如性即同大空。是法界不可得故也。此兩字如前五字文殊云。

### 三形事

口云。劍即智慧義。離諸分別能斷苦也。此三形亦如五字文殊也。師子首者表勇健。菩提義也。又師子能啖食一切獸。如無遺也。文殊以大空智能斷盡一切戲論苦義也。又文殊法界不可得義。師子首亦胎藏理界不二道場。是法界宮也。八字文殊從理生智德也。其理性根源。八字不生義門。即大日也。故八葉化義八字文殊也。即四智四行德顯八大童子。此童子一一各乘師子。喻智德表示師子。

### 道場觀事

師子成師子云。梵語師子此翻師子。故師子種子用師字或師字也。今加空點。種子用師字。是略出經說也。彼經一云。於如來部輪中想三種子字。中央想師心字。其左右想阿字。以其三字成就天之微妙四面方等師子之座云。

金剛頂義訣云。文殊輪中種子所變成師子座者。師子者諸獸中王。於諸獸中遊行無畏。故應遮那佛亦復如是。諸法之王。於諸法中變化無礙。故是故據師子座云。問。師子諸獸王。大日亦諸佛王也。五佛所乘。以師子爲中臺座。尤有謂。文殊乘師子。其憑如何。答。大疏十九云。此童子久已法身成佛。以大悲加持力。示童子身。又義釋二十三乘。有云。文殊。此菩薩通達如來甚深般若。唯是佛。自證不可授與人。若難加持方便。則一切有心量者所不能及。是故以嬰兒行變示童子之身。演說人法。無我。獨除戲論之法。文殊本地自證三菩提。爲度人故。漸出于外。作業暫離。各別內證。是一也。八字文殊者。胎藏界大日也。表八葉北儀。以八字稱。四智四行德顯八大童子。是大日如來八大法身也。師子表智德。啖食一切獸。大聖智德似斷盡惑業。師子獸王本地自性之所乘也。是本地智德顯團體之所乘。無二無別義也。

### 身色黃金事

八字文殊軌云。觀想於本尊。金色放光明。乘師子王坐。保持智惠。劍左執青蓮花。花臺立智杵。首誓八智尊。輝光遍十方。如對行仁目。文殊云。同行入私云。行仁目者。或云。日中云。行午日云。問。文殊表智德。故身色可白色。何云金色。答。金色者。表理性色也。智體身色。還顯理色。是表理智不二。差別身智色。謂

從理生智。依智顯理。故現金色也。問。疏五云。鬱金即是闍浮金色。用表金剛深慧。文既表深慧。故非理色。歟。如何。答。稱彼深慧。實相般若也。實相般若者。所觀真理。故云金剛深惠。所觀真理。金色理性也。大聖文殊體無分別智也。故現童子相。顯般若義。此菩薩深離人法戲論。無分別智性。如分別是世間嬰童。似無分別。無分別智者。實相般若。體性也。般若無智。自性鈍。故照諸法皆空。萬法悉空寂也。彼皆空義門。無各別理。故畢竟空寂性云。無分別智也。故金剛深慧。疏深意不違口傳也。

### 首誓八智尊事

八字文殊軌云。妙吉祥童子。其頂八髻。前五髻頂上一髻。頂後兩髻。一髻上皆有佛身。文成就院抄云。八字文殊五字文殊。形像各別也。八字首有八髻。每髻下有佛像。持物青蓮上五股杵。劍無火焰。五字首有五髻。髻下有光形持物青蓮上。梵鏡劍有火焰。是唐本圖加之云。五字文殊者。金界五智門。故五髻上有光明八字胎界八葉理門。故八髻上有佛像。是五大色形故也。但儀軌云。髻上圖像髻下也是相違歟。

口傳云。首誓八智尊者。八字文殊也。此菩薩頂有八髻。一上皆有佛身。此八佛即文殊八智也。以真言八字。即爲其八佛種子。故八髻上。次第可安八字真言也。八字文殊首誓八智尊。胎藏八葉四智四行尊。

也即是八大童子也次第裏付以八字文殊真言配八大童子可知之

左右持物事

右手持持智劍者理趣釋云一切有情無始輪迴與四種識積集無量虛妄煩惱則爲凡夫在凡夫位名爲識預聖流至如來地名爲智以四智菩提對於四種妄識妄

識既除則成就無惑法智若不除妄執法則成法執病是故智增上菩薩用四種文殊師利般若波羅蜜劍斷四種成佛智能取所取障礙是故文殊面現種種新四佛臂也文左手執青蓮花蓮花上立五股杵者疏五云左持泥盧鉢羅是細葉青蓮花

花上有金剛印青蓮是不染著諸法三昧以心無所住故即見實相金剛智印能以常寂之光遍照法界

略出經三云用左青蓮花置於心如煩惱障以右爲劍想以殺之文是羯磨會利菩薩印左手想把青蓮花右手作拳印想劍作切花葉之勢也印釋云左手苦障也右手般若波羅蜜也即智劍也以右智劍印斷左苦障命也此印或三井流大事也能斷可尋爾之文

攝真寶釋云金剛利菩薩行者自想我是真金剛利我能斷除一切衆生貪瞋癡等即作此想我今右手執大利劍能斷衆生一切煩惱文

問何故以青蓮花喻煩惱障乎 答一切衆生本性心蓮花是離自性清淨爲煩惱

被覆蔽青色亦色東方因位也故衆生云若生是青色義也持在纏之左手以右手文殊無相般若智劍斷煩惱戲論之妄執時顯自身中淨菩提心智慧蓮花上立五股杵此意也故大疏云心以無所住故即見實相金剛智印云

曼荼羅衆事

儀軌云慢要圖畫者則勿用皮膠純以香汁調色彩畫其巧人須日清淨澡浴著新淨衣受八關齋戒其曼荼羅法先當心作一圓輪如滿月當心中梵書其滿字

次從字後北面書青字次右旋東北角書阿字次東方書青字次東南角書青字次南方書青字次西南角書青字次西方書青字次西北角書青字

此九字爲內院中尊或於院中畫妙吉祥童子其頂八臂前五臂頂上一臂頂後兩臂一一臂上皆有佛身○次第二院安布八文殊布位法尊前南面畫請召童子次西南兩畫計設尼童子次西方右邊畫救護童子次西北兩畫烏波計設尼童子次後面北方畫光網童子次東北兩畫地慧童子次東方左邊畫無垢光童子次東南兩畫不思議童子如是八童子次東南兩畫不思議童子如是八童子次東南兩畫不思議童子如是八童子

方妙吉祥童子眞菩薩皆面向中尊如奉教勢皆坐蓮華上一各乘師子二手各有執持轉印契蓋須知法又於圓輪外四角中畫四忿怒明王東南角畫降三世金剛西北角無能勝明王西南角閻曼德迦

金剛東北角畫馬頭明王坐位略形持次說第三院十六大天外護當尊前鈎菩薩次西焰磨后次西羅刹王當角燒香供養菩薩次角北羅刹后次北水天西門索菩薩次北龍天后次北風天王西北角華供養菩薩次東風天后次東毘沙門天次東後北方金剛鎖菩薩次東里沙門后次東伊舍舍那天王東北角燈供養菩薩次南伊舍那后次南帝釋天王左方東門金剛鈴菩薩次南帝釋后次南火天王神東南角塗香供養菩薩后次西火天后次西焰魔天已下第三院安布諸尊竟西門及食道四角同諸壇法寶性草亦同四門蓮花葉細如青蓮花文

金剛東北角畫馬頭明王坐位略形持次說第三院十六大天外護當尊前鈎菩薩次西焰磨后次西羅刹王當角燒香供養菩薩次角北羅刹后次北水天西門索菩薩次北龍天后次北風天王西北角華供養菩薩次東風天后次東毘沙門天次東後北方金剛鎖菩薩次東里沙門后次東伊舍舍那天王東北角燈供養菩薩次南伊舍那后次南帝釋天王左方東門金剛鈴菩薩次南帝釋后次南火天王神東南角塗香供養菩薩后次西火天后次西焰魔天已下第三院安布諸尊竟西門及食道四角同諸壇法寶性草亦同四門蓮花葉細如青蓮花文



印事

寶藏陀羅尼經云運心頂想本師釋迦牟尼佛及文殊五髻童子像請乞加修便結其大精進印即日兩手合掌八指相叉皆屈入掌內以二大指少屈相並押著二頭指屈節上

羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野  
羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野  
羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野  
羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野  
羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野  
羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野  
羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野  
羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野  
羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野  
羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野

羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野

羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野

羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野

羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野

羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野

羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野

羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野

羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野

羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野

羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野

羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野

羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野

羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野

羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野

羅上引惹奈囉引野恒他引識野引野

白寶抄卷第八十六(八字文殊法)

師子口能嚙摧於物是故用表示也凡行者修行此師子口印行者若施主等嚙摧煩惱業障不祥怨家等可摧之也或云內縛風已下八指師子齒也二大指三度來去嚙摧一切惡業煩惱想之是後入唐傳也云或云法寶藏經內縛也外縛是口傳也作外縛爲觀想指端師子毛也云廣澤流云儀軌云文殊根本契從印密受之內縛立大並也在口傳此是一切佛所說云經名大精進印是也加持四處名一切無畏印瑜祇經名破七曜一切不祥印師說師子口印云

問破七曜一切不祥印何名師子口用此尊印耶答瑜祇經說此印次上有真言謂妙吉祥破諸宿曜明也又說此印舉觀妙吉祥云是妙吉祥者文殊額名也彼文相起盡文殊印也破七曜不祥八字文殊像也破彼不祥義即師子口意也故以彼經文爲誠證祕事也

眞言事  
法寶藏經惡引入八字儀軌阿闍梨是共勢字也今次第眞言此也相違歟若其字急呼聲歟三種悉地軌到可出悉地化身成就也此字入悉地報應二身成成就也五髻文殊八字文殊報應二身成道也可知彼軌云中品悉地此字入悉地是名入悉地能生枝葉遍滿四方光明是入佛法界名入悉地若誦一遍如傳藏經一千遍是名降伏四魔解脫六趣滿足

一切智智金剛字句文

此降伏四魔以下大日經說也今八字文殊大日一門也加歸命句顯一門義爲顯大日同一體義用此眞言也文殊表智德即師子口印是理法身智也故表理智不二即約理性時名大精進印精進寶珠名也約智德時號師子口印此印理智本來圓滿今於理法身眞言顯智德名一切智金剛字句故智德也是大悲胎藏理中智德也此印明表被智體故初五字金剛界五智義終三字胎藏界三部義也印明共表兩部不二此事不及委細祕密故有憚儀軌云欲受持此眞言者先當訪覓具德知解眞實道行大阿闍梨邊爲受灌頂已敬白諸請傳受此教觀蒙傳授然此眞言大事也

八字加中尊種子事

付之有異儀小野流等字歸命也故加中尊種子名八字眞言隨四種法中尊種子可加之故殘之仍字非眞言數也云當流習不爾八字眞言總體八字文殊也此菩薩頂有八髻是文殊八智也以眞言八字即爲其八智種子是大童子也開之時八字之外加一字爲本章是開合異也必非除字此八字眞言充八大童子種子見次第裏付眞言末加誦中尊種子爲九字但件字隨四種法可改用之也

息災字者本體即空上又空點是大空智故消除諸災難空人法二我成無我大

表

聖

我、吾我不可得故息災義也

增益顯字者寶珠種子也。疏云：室利翻爲吉祥，卽具衆德義云。殊八字文殊寶珠同一體也，故用如意寶印言也。

敬愛字者法界不可得字也。法者心也。界者體也。卽諸法差別體故色義也。色心二法定慧故色卽是空。空卽是色。理智和融故敬愛義也。

降伏字者一切法本性寂義。字一切法慢不可得義。字一切法離塵染義。字一切法災禍不可得義也。故青龍軌中卷大威德眞言句義云：惡置力一切切。

問大威德眞言降伏義全可同文殊降伏歟。如何。答：阿彌陀自性輪身，文殊正法輪身，大威德教令輪身也。故文殊所變大威德殊降伏人屬是文殊軌字力也。

問於四種法替用種子有其說處耶。答：儀軌云：若求福慶祿位吉祥事者，心中書室利二字。若求息災除難殄滅七種災難，所謂日月薄蝕、五星違失、常度兵賊競起、水旱不時、風雨失度、惡臣背逆、以損害國民武狼惡獸食噉衆生五穀不登如是災禍急厄，宜府王難死怖怖等事欲令消散者，當心中書滿字。若求降伏怨人相好捨惡心者，中心而書波字。若有惡人難摧滅屏厄、獵師、外道不信佛法者，令惡心摧滅或令破壞者，心中應書梵文惡置刪三字。

文

問：次第敬愛文軌降伏怨人相好捨惡心文是降伏義。軌同之如何。答：此降伏者調伏敬愛也。譬如難調伏者能令敬愛順伏，此敬愛句伽跢耶也。愛樂王敬愛用此句。今敬愛如是普通敬愛句，縛悉伽羅吒也。是諸人敬愛義也。故有二敬愛次第云：道場觀之時隨四種法，此定尤可改用種子云。

口云：息災種子，三形師子首，六字息災義。如前，師子口嚼推惡業重罪，是不二道場。息災之至極也。

增益種子，三形寶珠是寶珠增益義。可知敬愛種子，三形劍是劍左右有刃，取之損手，則取中不切手。文殊斷人法二執，入實相中道之妙慧，中道者理智和融也。是敬愛義也。又云：劍是智義也。鞘理義也。劍指鞘時，理智一體故敬愛也。降伏軌，是劍能斷怨敵故降伏義也。但當流習難替種子不改三形，今道場採用利劍也。是文殊本誓故也。云：次第云：道場觀種子，并眞言末誦加之。字四種法中縱付何法，令修不改字通，字常事也。云：

口云：今八字眞言終，字四種法通用也。道場觀種子如八字儀軌，然者改，字可用字。彼軌曼荼羅中央書九字，故眞言終雖加誦字不可，除八字之數。隨四種法可替用本尊種子，故暫略也。云：八字儀軌云：爾時世尊卽說八字大威德心眞言。

曰：唵引阿，唵引羅，併引伏左洛。

若能念誦此陀羅尼一遍，卽得自護兩遍。能護同伴者，誦三遍，卽大護住處。十地菩薩不能逾勝。何況誦六遍，卽能護一切。即得擁護妻息。誦五遍，卽能擁護一切眷屬。若誦六遍，卽能擁護一切城邑村坊聚落等。若誦七遍，卽能擁護一切衆生諸苦難等。若欲著衣時，當加持七遍，能除一切惡毒及諸災難。若洗手面時，加持七遍，能然洗手面。能令衆生貴仰。所有諸惡見者，悉當降伏。若人患身體支節疼痛，者，加持燂水一百八遍，洗浴，卽得好夢，便得除愈。若每日晨朝以水一掬，加持七遍，飲在手中，所有惡報悉當消滅。何況無災厄之者，及諸三業亦得消滅。壽命長遠，若見惡人怨家，當須念誦，卽自降伏。除瞋眼心，慈心相向，有怨怖處，至誠念誦，卽得無畏。若臥時誦一百八遍，卽得好夢。能知善惡之事。若人患癩時，誦者觀彼患人面，誦此眞言一千八百遍，卽除差若人陣時，當以牛黃書此眞言帶於身上，一切刀杖弓箭鉞斧不能傷害。常須所有五逆四重十惡等罪，悉得消滅。若能每日三時依法入道場，時別一百八遍，所求皆得稱意圓滿。具足得大富貴。自自在在，臨命終時得普門三昧，及見文殊師利菩薩。文

法寶藏陀羅尼經云

誦此陀羅尼 能盡文殊像  
彼人獲果報 其福不可說  
十方恒河沙 尙有知其數  
畫像福德力 無能知其邊

又云  
十五業

若有諸智者 能起一念心  
依法畫此像 獲福德無量  
供養生恭敬 所有俱皈依  
四重五逆罪 極深諸惡業  
觀敬童子形 報障皆當滅

又云

爾時世尊告金剛手言○我滅度後法欲  
滅時受持此法當知此人現世獲十種果  
報一者國中無有他兵怨賊侵境相殘二  
者不爲日月五星二十八宿諸惡變怪而  
起災患三者國中無有惡鬼神等行諸疫  
疾善神衛國萬民安樂四者國中無諸風  
火霜雹霹靂等難五者國中一切人民不  
爲怨家而得其便六者國中一切人等不  
爲諸魔所逼七者國中人民無諸瘡死者  
著身八者不值惡王行虐苦無非時風暴  
損苗稼九穀熟成甘菓豐足九者善龍入  
境及時降雨非時不雨名華藥木悉皆茂  
盛十者仙人頻時下現無有旱澇不調之  
名十者國中人民不爲虎狼兇獸諸惡難  
毒之所損害金剛菩薩善男子此八字陀  
羅尼祕藏門在之處有人迴心一念恭  
敬供養者獲前十種果報何況有人正意  
發心受持念誦勤苦不退日夜坐禪觀此

文殊師利童子形像供養無虧不闕時行  
道稱念其名不爲現身滿其願者無有是  
處又云三部聖者法具含八字中菩薩  
及金剛諸天呪祕藏皆屬八字攝文

又云

又云

一切諸天人 持於本部呪  
不獲悉地願 瞻仰童子像  
齎持一花菓 或以一塗香  
捧持過伽水 踟躕而供養  
至心恭敬禮 期求心中願  
悉護無有疑 稱心依本願

一切諸世界 有佛國土處  
大乘所流布 皆是文殊力  
大方國土中 皆是文殊力  
得登地位者 皆是文殊力  
九十五種輩 皆是文殊力  
得生悲想者 皆是文殊力  
生除諸天香 受持五欲樂  
壽命得長存 皆是文殊力  
諸修羅王等 遊行周四海  
威力勇難當 皆是文殊力  
天帝共修羅 於其大海  
闍闍無恐怖 皆是文殊力  
諸龍無怖難 不懼金鳥食  
解脫遷死憂 皆是文殊力  
諸小薄福龍 不被勢沙惱  
身體得清涼 皆是文殊力  
大威金翅鳥 能啖諸珍寶

入腹悉消化 皆是文殊力  
梵王自在 下至四天王  
救護諸人民 皆是文殊力  
功德大天女 能滿貧窮者  
衣服雜七寶 皆是文殊力

寶藏陀羅尼經云 以兩手相叉二頭指  
次說如意寶印印以於掌內相叉此印亦  
相柱屈其大母指入於掌內相叉此印亦  
名大精進如意寶印即說陀羅尼曰  
唵帝儒入轉羅薩婆遷託二娑陀迦悉地  
耶二合悉歇也真多摩尼羅多鄰合呼  
若持誦八字陀羅尼人皆須用前兩印誦  
陀羅尼然後結印此印能廣作一切事悉  
得成就若欲身上莊嚴冠帶之時皆須加  
持衣七過然後著之即得擁護自身常得  
一切人恭敬若欲入陣戰鬪之時所有器  
仗並皆加持一千單八千遍隨身將入即  
得敵降伏其賊自持衣著之即得降伏除  
怨敵以此真言加持衣著之即得降伏除  
一切病破一切魔及類那夜迦及諸惡人  
亦不能作諸障礙常得一切衆呪神現前  
所求意願疾得悉地文  
口云前兩印者大精進印即依師傳作師  
子口印又今大精進如意寶印也兩手相  
叉二頭指柱屈者金剛合掌二頭寶形也  
其大母指入於掌內相叉者二大指入掌



召請

如自加持印言以二大指三指加召請句四攝

供物 同眞言加息災句

撥遣 準召請以二大指三指加撥遣句

本尊段

自加持 印師子口印

召請 諸佛菩薩等何可不可

如自加持印言以二大指三指加召請句四攝別

供物 同眞言加息災句

加持物 如供物

撥遣 準召請以二大指三指加撥遣句

諸尊段 八大童子四明王各別呪

自加持 八大童子四明王各別呪

召請 大鈞召印眞言

供物 八大童子四明王各別呪

撥遣 彈指明

世天段 又二天後加供七層

口云七層等可用各一總呪也八字文殊

星宿上主故供此等北斗護摩用八字文殊爲祕說也

問何故文殊星宿上主耶 答或抄云日月五星出自文殊光明御口中現五星

自左右眼光現日月給云瑜祇經云破諸宿曜印內縛痛指節並通堅二空是名

破七曜一切不祥印當觀妙吉祥而作降伏事文此印以文殊師子口印除七曜二

十八宿等諸星變五佛頂經云文殊是般

若佛母故於佛眼佛母法中亦作吉祥破

七曜文依之文殊佛眼一體義也續翻吉

祥以此續字爲佛眼尊種子佛眼師子冠

文殊師子口印同體也佛眼亦諸星主也

故數九曜等不合成凶文殊是覺母故來

佛母法中成吉祥事一體義可知

八字文殊續事

口云板木白檀或栴或櫟等也厚三分許

徑廣六寸許也定用迭月輪色取後書梵

字如圓入青絹袋青色袋裏不納箱中行法

間袋許也向行者立安置壇上行供許鈴

後金剛蓋 若行護摩中瓶後可安之但入

室弟子一人外不可知之祕也餘人不

可見之也云供養法八字文殊法也無

別子細只無火事等恐怖樣能可祈誠

也開白時表向前可有開眼之作法七箇

日間置壇上結願以後白檀或栴或櫟等

造箱納其中月輪立置之不可臥置也寢

殿梁上納上若付息災行者向北修此法

月輪向南可置之餘准知之又縱雖非新

造之家內凶事等出來時可行之也又

神借人家者以家鳴動可知之也又云初

夜時了後阿闍梨以五股三遍迴家加持

之八字但可隨家無通路者略之也又云

修此鎮者不可行餘尊鎮只可憑此尊也

問餘尊鎮者何鎮耶 答不動鎮宅業衣

鎮也云八字軌云是八字最勝大威德

心眞言所住之處如佛在世無有異也能

現諸佛種神力量不可思議亦能作大無

量神力變化我今略讚此陀羅尼少分功

德我若具說無量俱胝那由多百千大劫

說不能盡

延德三年十一月二日於高雄神護

寺地藏院書寫之

永正六年己正月九日於高野山往生

院峯坊令書寫之

白寶口抄 彌勒法上

本書事

八名普密陀羅尼經一卷 貞圓梵  
慈氏菩薩略修瑜祿念誦法二卷 無畏  
譯行通圓覺加本

彌勒上生經一卷

又觀彌勒菩薩上生兜率陀天經云

鳩摩羅什譯

彌勒下生經一卷

又名彌勒受決經

彌勒下生成佛經一卷 義淨譯

已上皆貞圓梵

彌勒來時經一卷 貞圓梵

彌勒經一卷 梵譯

彌勒菩薩所問本願經一卷 餘外

陀羅尼集經大本經疏

行法起首事

儀軌云每日三時念誦作法觀行等事言

三時者從後夜至齋時從午時至未時從

初夜至三更常作如是不得間斷又云

吉日宿直日鬼宿為勝又云四種念誦

○初夜為除災念誦每真言上下加薩跋

二賀二字中夜為降伏諸魔念誦每真言

初後加虎舒二發吒三字從後夜至明

日出時號日增益念誦每真言首末稱

納奉二字日中為諸召念誦每真言首尾

明訖明二納奉三字其受火虛壇形方圓

半月三角文又云黃白青赤色又云其持

念人手把辦事踰毗羅二及金剛鐸母地

子念誦或水精珠隨四種念誦用之文或

云雖說軌四種法行息災為說云或書

云有息災四一者滅罪息災謂息滅四重

五逆十惡等罪二者滅苦果三者除難息

災謂能息滅三災七難種、病苦千凶百

怪等四者悉地息災證獲三明五通等法

世悉地云、向北方初夜始之北方主冬

嚴寒掛物山海不安水地沍草木等枯

今向彼方修之滅三途猛火三葉楚毒猶

如彼冬時萬木百草悉枯黃云、

口云常彼息災又就滅罪修之雖然當流

就增益修之也儀軌說曼荼羅又云西面

門開文然者行者可向東也是增益義也

壇中安舍利事

軌云求本尊悉地者即金或銀水精馬腦

頗梨或白檀木等作法界塔印即安七粒

舍利骨作法念誦三洛又滿其壇上放大

光明照愈識者頂上便得大悉地形若七

歲具足相貌證慈氏身須臾之間往生十

方世界一切知足天宮上見慈氏菩薩華

賀薩堪得摩頂授記作大佛事遍十方世

界分一身為無數身大作佛事若于世界

分身度眾生無量修行無盡成佛處慈氏

宮闍闍法堂廣作佛事隨意自在文

由來事

御遺告云吾末世後生弟子吾滅度以後

○雖不見祖師吾願有心之者必聞吾名

號知恩德之由是吾非欲白屍之上更人

之勞護繼密教壽命可令開龍花三庭謹

也吾閉眼之後必方往生兜率陀天可待

彌勒慈尊御前五十六億餘之後必慈尊

御共下生何候可問吾先跡亦且未下之

間見微靈管可察依否是時有勸得祐不

依之者不幸努力、勿為後緣文承和

二年三月二十一日寅時御入定號日十

四時行法其間御弟子等共唱梅多利也

之寶號遂唱定畢又大師一作一禮一華

一開眼之彌勒慈尊奉造如法云自今日

至五十六億七千萬歲之三會曉現及後

世弟子等永不墮惡趣必引攝都率天上

給有所誓時點頭給安置高野政所號慈

尊院是也仰大師諸佛諸尊之慈悲者何

雖無淺深殊渴仰彌勒慈尊淨土淨利之

引攝者更雖無勝劣專欣求都史多天者

歎此尊者肯受釋尊付屬鎮度滅後遺弟

於意如殿之月今依大師之誓約皆及後

世弟子於龍華樹之曉云此可仰可信依

之東寺門流之賢哲大師相承之弟子專

追高祖之先跡速生兜率之內院親拜慈

氏如來之相好願逐大師全身之值遇者

也

名字事

梵號 阿利也昧但哈野

或摩訶梅多羅胃地薩怛囉

密號 迅疾金剛



祕藏記云梵語彌勒名號阿逸多梵語所謂阿史陀忘耶漢語曰無能勝文相應論香義云阿氏多彌勒字也或作阿瞿多此云無勝論無人能勝也舊云阿逸多說文背龍軌云阿闍單注云古云阿逸多其義無勝一切愛見煩惱及二乘等無有能勝文義釋云又彌勒正音云阿瞿底哩合引曳此云慈氏文法花疏二云彌勒者此云慈氏思益云若衆生見者即得慈心三昧故名慈氏賢愚國土見象師調象慈生從是得名慈氏文又云慈乃姓也名阿逸多此補無勝文菩提心義三云梅怛哩也云慈如智光經云昔恆彌勒如來最初發心發心以來未曾食肉故名慈也今生雨天梅怛哩也聚落以慈爲姓名阿逸多此云無勝慈無勝上故名無勝故是佛大悲悲之義文西域記云梅多禮耶唐云慈氏姓也古云彌勒略也又大師釋云彌勒善薩三摩地門所謂大慈三昧一切如來能令世間不斷佛家德勝諸尊故云無能勝一切如來慈氏爲體相續方自證也一切衆生必佛性慈氏相續方化他也儀軌上云一生補處妹但令今耶文問補處義如何答有數義補處

謂也譬世人嫡子付屬家業等是補處義也一代轉迴以彌勒爲補處付屬波後衆生令濟度之故名又云入壇已前補處菩薩是等覺菩薩也入壇已後大日如來即妙覺如來也是以等覺爲補處義也又云於顯教有補處義謂權教實教補處也權教補處者等妙二覺一佛二名義也慈覺釋云權現出沒名爲等覺始終不變爲妙覺又云世間自性補處者一切草木等種子位皆補處也果還爲因故一切森羅諸法皆悉等覺也何況我等耶問等覺者位階妙覺天台云十四夜秋月不異三五夕等覺分夜靈機隔妙覺曉云何以我等可云等覺乎答彌勒一代時示恩痴相感痴者同凡夫也所證一切衆生全體是虛之果德也此位爲因至妙覺於因位萬行圓滿此云等覺也故菩提心論云於心質中有一分淨性○衆行皆備等云又云復修瑜伽勝上法人能從凡入佛位者亦超十地菩薩境等文又云十七章出生義云則地地之漸階顯等妙之頓旨文此等義門設雖凡夫位同等覺故其名云彌勒有何妨乎疏六云云祕密主一生補處菩薩住佛地三昧道離於造作知世間相住於樂地賢住佛地者此是故上灌頂位故先明之如餘經所明此是一生所繫菩薩從此上生兜率天宮大紹佛位故名一生補處也今此經宗言一生者謂從一而生也初得淨菩提心時從

一實之地發生無量無邊三昧總持門如是一地中次第增長當知亦爾迺至第十地滿足未至第一地爾時從一實境界具足發生一切莊嚴唯少如來一位未得證知更有一轉法性生即補佛處故名一生補處文一實生者眞字一生也初發心時覺知自心本不生一念云一生此數顯等妙之頓首故初一念開發自心本有曼荼羅外無妙覺體故云發心畢竟二無別也一切衆生一念發心即一生補處彌勒體也其發心者自心本有菩提心故衆生性是也故慈氏軌云此尊身即是愈缺者是故三密轉成三身故以心置心以心觀心如實知自心即是母地心初發心時便成正覺疏七云我者字門一切諸法本性寂故若彌勒善薩以本性宗故得一生記者一切衆生皆亦應得記若一切衆生於本性寂中不妨修學凡夫事者彌勒善薩亦應修學凡夫事而今日作差別想豈非戲論耶文軌云慈氏大目同一體祕瞻左那即慈氏一生補處即愈識自心即是母地心母地即是慈氏尊三種無二元一體是故我求如實智文凡密教意以如實知自心爲實故大日經云云何菩提謂如實知自心文大師釋此文云謂如實知自心此是一句含無量義堅顯十重淺深橫示應數廣多文誠如實知自心雖遍十住心且大師約觀音所記而第八住心立

如實知自心之稱無畏據彌勒所說示如實知自心之義謂慈氏三乘初觀音一乘初也各舉初顯後也疏家宗家兩祖舉二途二尊成一揆也然如實知自心是三乘一乘者謂名我實可遠實原源唯真言談也三種者無二一體軌文有其謂也

種子事

儀軌云真字變成法界塔塔變成慈氏即此身行者身也又疏第十釋披真言云然此真言以真字為體即是本不生義生者生老病死一切流轉之法也彼即體常自不生是阿字義也○又能知法體不生故達鑒群機一切心性無所不了現覺隨彼所應得者而成就之即是慈中之上通施衆生無有窮盡也又次第三真言釋也即知真字不生義故達衆生心性達心性故隨應度者而今成就之是慈也故知阿字即慈本故為種子也大日經五云勤勇菩薩衆及仁尊亦然又疏十四云如佛亦然者○一切聲聞緣覺菩薩種種行位乃至一生補處之位皆由此阿字之理而生也又或云仁尊彌勒勸疏如佛者即釋一生補處也仍彌勒仁尊又可云如佛也亦二名號所詮一生補處之位由此真字理生故為種子也

兩部是不二義也覺洞院勝賢僧正造立等身袈裟衣彌勒身黃色黃金著寶冠法界定印上安水精五輪塔光居金剛界四波羅盡謂金色法界定印胎藏大日也又四波羅勒內證義也但以此彌勒為秘佛著寶冠者俗形也著袈裟衣出家義是亦表真俗二諦不二尊也又付袈裟衣有深祕寶是入壇之時受者威儀也謂彌勒等覺菩薩是灌頂地尊也故說住灌頂地以陀羅形示現佛事是大日如來住因位灌頂地攝化利生尊也又因位一切衆生體佛果根本因故灌頂者無始生死本有水體浴之成其體性故諸佛金剛灌頂義乃至已成如來體性故云是只指一切衆生本有薩埵體彌勒大日因位云之故一切衆生悉灌頂地菩薩也入壇後受者著袈裟衣僧形著寶冠形也軌云灌頂說法悟無生慈氏大日同一體駭瞻上那即慈氏一生補處即慈氏自心即母地心母地即是慈氏尊三種無二元一體文

三形事

口云塔者五輪塔也兩部大日共以塔婆為三形故此章三形用塔不二大日也不二故六大法界總體也又云或種子三字三形賢觀也是胎藏八葉中彌勒也引字乘不可得也八葉時居等覺因位運載妙覺佛位義也點損世間妄語乘乘法性無漏意也瓶者水瓶也是入十地耳露智

水灑行者頂連斷惑障煩惱令成正覺故持蓮花上瓶名迅疾持彌勒也塔瓶二種於印處可口決故不委細也又云字義釋第五出之是如如處垢義也

道場觀事

儀軌上云五大漫摩權大圓明內更觀九圓明慈氏菩薩白肉色頭戴五智如來冠左手執紅蓮花上畫法界塔印右手大母指押火輪甲上餘指散舒微屈風幢種寶光出寶蓮花上牛軋而生種璎珞天衣白帶銀釧莊嚴於八圓明中安四智三摩耶等下曼荼羅中一分明文同上卷云真言觀過字變成法界塔在於圓明中又轉變成慈氏本尊身即此尊身即是愈識者身是故三密轉成三身故以心切發心時便成正覺此心發時便成普現色身三昧耶身又同下卷云畫像取其畫像取白疊布絹等隨意大小不得還價中心畫大圓明就大圓明中更分爲一拼中心五圓明圓隔畫四半月圓明中間用十二金剛界道如一如常法每金剛頭上安準都二婆法界之印中心置本尊慈氏菩薩首戴五如來冠左手持蓮花於蓮上置法界塔印右手作說法印結跏趺坐於本尊右圓明中畫事業波羅盡多菩薩菩薩左圓明中畫七寶波羅盡多菩薩前圓明中畫寶波羅盡多菩薩後圓明中畫法波羅盡多菩薩東北隅半月圓明中畫花波羅盡多菩薩

東南隅半月中盡燈波羅蜜菩薩西南隅半月中盡塗香波羅蜜菩薩西北隅半月中盡燒香波羅蜜菩薩又大圓明下右邊畫半月形曼茶羅於中盡降三世明王○左邊畫三角形曼茶羅於中盡不動尊○右三世明王下盡圓明於中盡修念識者跏趺手執香爐於大圓明上盡七寶傘蓋兩邊各三箇首陀會童子半身滿五色雲中以香華塗瓊瓏華枝等散於佛七文今

從角分之半分為不動三角水輪從中分之半分為降三世半月是火輪風輪二輪也大圓明左右置之是兩部教令輪身也。不動以火生三昧大智燒盡衆生煩惱業障故滅罪之義也降三世降三毒爲三寶寶珠是萬物能生義風亦有能生樹花嚴經云有異類風輪出生萬物取生善義也故義釋五云降三世尊不動少有差別者不動尊是大慧火刀正以降伏爲用降三世是大慧風刀正以攝召爲用也次地水

即善提加持結界也今道場別有爲無爲五大不二位凡聖平等無差別故以南方不二事業三股成曼茶羅界道差別三股除三毒成三身義是辟除也總有十二表十二因緣也

五輪塔事

軌云每金剛頭上安準都二婆法界之印文八圓明間金剛頭上也故軌上云八寶塔四金剛輪文四金剛輪者中心圓明與四隅間明間安之八輻輪也因輪表金界四智三股件表胎界三部故四輪智界道是兩部不二曼茶羅故表理智不二界道五輪塔五大法界萬物含藏體即以此不二爲界畔也凡八箇塔因義九尊皆從此塔出生故四佛四波羅蜜果也亦八尊因表本有自然覺故八塔果也

次第道場觀者依此等文作此觀也種子三形依眞言品九箇圓明本尊四佛四波羅蜜等依五大觀中八供四攝以下依畫像品也凡此彌勒曼茶羅與尊勝漫茶羅相似故人多不分之金剛王院源運僧都許或人破彌勒曼茶羅地誑種子時書尊勝曼茶羅種子是兩部曼茶羅分別無存知故噫嚅有相違事等謂九箇圓明界道彌勒尊勝共以三股件分之九圓明分際尊勝以寶瓶分之彌勒以五輪塔分之也但圓像時尊勝中尊金剛界大日八圓明八佛頂也彌勒四佛四波羅蜜也尊勝皆兩曼茶羅相違也今此曼茶羅中尊胎藏界大日四佛等皆金剛界尊也故兩部不二義也不動胎藏教令輪降三世金剛界教令輪安之尤深理也謂以一曼茶羅爲五大所成界道者地輪也一大圓明者水輪也不動三角者火輪也降三世半月者風輪也六箇藏天者空輪也是分五大故一一出化他意也最深祕口傳云地輪

佛所證菩提場殊勝曼茶羅也但爲利益分二法示兩部教令輪身即合金胎兩部二種輪法性唯一空輪也始本不二故萬法根本地水還爲塵如隨意者後地以前地爲基云此法以五大法界率都婆爲源底以塔爲三形以塔爲持物以塔爲印依正二報皆此尊塔婆也付之有常流深祕習云

尊心外心中間也故無明即法性煩惱即善提加持結界也今道場別有爲無爲五大不二位凡聖平等無差別故以南方不二事業三股成曼茶羅界道差別三股除三毒成三身義是辟除也總有十二表十二因緣也

金剛界道事

軌上云八金剛界道文同下云十二金剛界道文八者八圓明之間界道也十二者八如前中心圓明之四方間界道都合十二也輔傳云是三股件也三股軍荼利明王三形彼明王地結方結天結火院等結界用之也是八識六識中間七識轉識之

問尊勝曼茶羅與今彌勒漫茶羅有勝劣乎答尊勝曼茶羅者表兩部不二種子字也八圓明八佛頂胎藏釋迦院八尊也是主金界伴胎界也故從智入不二門寶瓶甘露水是三智界畔也今彌勒曼茶羅者亦表兩部不二種子與字八圓明八佛金界尊是主胎界伴金界也故從理入不二門五輪塔理界畔也此二尊遙相叶兩部義相故能入尊雖爲悲智之二德所入自證是同一體也三種悉地軌云大日如來爲令知見此道示二種法身○雖是理智之殊廣略之異本來一法會無殊

異文

本章事

口云。身色白肉者。白色金界。赤色胎界。是白肉兩部。和融理智一體義也。又云。頭戴五佛冠者。是金剛界五智也。左手紅蓮花。上法界塔印。胎藏界五塔婆也。是亦表不二也。付塔有三樣。一者左蓮花上置之。二者右手結法界印。上置之。軌下云。本尊慈氏如來結跏趺坐。加入三弄地形。有兩臂。又從手持一寶蓮花。蓋於蓮花臺上。盡尾瞻左。那佛塔於佛塔上。蓋大日如來遍身寶光。皆從光中。又化出諸佛世尊。如鉢羅合佛母菩薩。以諸佛為光。上下莊嚴一切。如前文。

高野山大塔五佛中尊。金剛智法身成等正覺。後住五大佛界定。現三昧耶身。化身事群機。此印也。謂成地水火風空。於見聞覺知。為六境。引衆生衆生入佛界。故住法界定印。本定印。上置一尺六寸塔。地輿金。水輪銀。火輪赤銅。風輪黑水精。空輪五色馬腦云。實慧取之。納山。是小塔峯也。此中尊習彌勒即深秘也。覺洞院造立彌勒法界定印。上置水精五輪塔也。三者冠中置之。高雄曼荼羅八葉彌勒頂上安塔。左手執蓮華上。在車持。右手屈膝掌面向外。伊諸指也。八菩薩曼荼羅經云。慈氏頂帶如來。手都婆故。亦名帶塔之尊云。疏十三云。以持一切如來法身塔。故猶如觀音持佛身也。又演密鈔二云。觀音持佛師現在故。

慈氏持塔師。滅度故。文依此釋等者。彌勒可戴塔。既觀音戴本師阿彌陀故也。彌陀現在故。戴佛也。釋尊入滅。故戴塔。此塔印。釋尊本地法界身塔也。不空舍利。禮云。滿德圓滿。釋迦如來。真身舍利。本地法身。法界塔婆。文故疏云。一切如來法身塔。是入滅。故戴本地法身。釋尊本地身者。大日如來也。疏五云。白蓮花。即是中臺淨法界藏。世尊為令此教廣流布故。以此生身。轉轍而演說之。然與本法界身無二。無別又觀音師現在故。戴報身彌陀也。又左手紅蓮花。上法界塔。是同表胎大日疏云。蓮花臺。遮摩祇都。所謂法身舍利也。又右手說法印也。說法者言說故。字義故。金剛界也是。亦表不二法身云。

界也

不動降三世事

口云。此曼荼羅者。兩部不二和融。故以兩部。教令輪身。為外護。不動住三角火輪。燒盡一切衆生之惡業煩惱。降三世住半月風輪。發生一切萬物。故滅罪生善之德。只在此兩尊。又法性大日。成正覺時。對治風障。故於正覺無障礙。於欲色二界。此二明王。為大智大悲之德。降伏三障。四魔。成就下化衆生之願。故以折伏攝受。方便得自在。化度遠願衆生。今不動淨菩提心。體降三世淨菩提心。用故。火依風增熾燃。猶仰者。依此法發一念信。證本有本覺菩提。

現三身成道時。降伏四魔三障。依此二明王三摩地也。寶蓋兩邊六箇飛天事。軌云。七寶傘蓋兩邊各畫三箇首陀會童子。身滿五色雲中。以香花燈塗瓶花枝等。散於佛上。又寶蓋經云。有首陀會諸天。以魔障首羅為上首文。口云。首陀者淨義也。此天皆生聖者。故名淨居天。亦號那含天。此聖者。蒙佛恩。佛親近。為化度他方也。又此天有五種故。或云五淨居天。或云五那含天。大日經疏五云。五淨居衆。第一自在天子。第二普華天子。第三光鬘天子。第四意生天子。第五名稱遠聞天子。○阿闍梨言。此是五那含天子耳文。

問。此五淨居天也。六箇飛天。加何言六乎。答。一字頂輪王經一云。光聚佛頂輪王。畫六淨居天。又依此文。六箇首陀會天童子。無相適也。或云五淨居天。何必五天。共可來。隨緣成一天。二天。或七八天。可來。儀軌雖說六天。或只隔二天。尤似有道理也。問。儀軌何說六箇飛天乎。答。表飛天來六淨居天衆之義也。實一天中有多衆。故可有無量飛天也。問。尊勝曼荼羅六箇飛者。五淨居天。加善住天子云。六箇飛天。彼軌云。六箇飛雲首陀會天童子形云。今儀軌文同之。若爾者。加善住天子。可云六箇飛天乎。如何。答。尊勝曼荼羅時。諸師加善住童子。非義。

也彼曼茶羅密善住共居心何又加飛  
天乎

### 尊形異說事

祕藏記云白肉色右手執蓮花上在軍持  
瓶文威儀形色經云彌勒菩薩頂上如寶  
冠紺髻垂兩肩身相赤肉色左定紫蓮花  
其上有軍持右慧按摩膝跏趺右押左大  
慈大悲相身妙天衣細軟以腰中妙裳赤  
爲臂玉千色妙天衣細軟以腰中妙裳赤  
朱色莊嚴相好身具相三十二圓光商估  
色其光無不退寶花以爲座住大月輪中  
文攝無礙經云慈氏菩薩頂上妙寶冠身  
相白肉色左定紫蓮花其上有軍持右慧  
摩膝相一切妙珍寶嚴飾救世身安住月  
輪海文孔雀明王軌云第八架上盡慈氏  
菩薩左手持軍持右手揚掌向外作施無  
畏勢文吽陀野軌中云金剛智作隨心  
曼茶羅中央彌勒菩薩左方法音輪菩薩  
右方大妙相菩薩四方四大天王又云  
彌勒所坐○彌勒菩薩左手執三股右手持  
獨股法音輪其形黃金而貌甚端嚴左  
手作金剛拳安腰右手持金剛輪次大妙  
相菩薩左手取金剛刺右手令取白筆以  
璽珞莊嚴其身若依或人說者法音輪菩  
薩黃金色身以左手作說法印右手持輪  
坐蓮花臺文

私云吽迦野軌者天台所用本書也  
此軌說彌勒三尊或云左法音輪菩薩  
是世親菩薩也右大妙相菩薩即無著

菩薩也或妙見也云勸修寺法務勝  
願院後墜被圖此三尊也常喜院云或  
人云多聞祕軌有彌勒三尊像中尊首  
戴寶冠冠中有軍持左手執三股杵右  
手持一股份左右有大妙相菩薩法音  
輪菩薩或云法音輪右手持八幅輪云  
已上二尊像異說也

軌下云觀一生相處菩薩放勝大三摩耶  
像端正微妙是也首戴五佛智七寶冠種  
像深赤黃色也是首戴五佛智七寶冠種  
珍寶莊嚴天人環繞鬘花祝索真珠繞  
帶白帶雲袋等於大圓明中畫大百寶蓮  
花於蓮花上結跏趺坐入三昧決定而貌  
慈軟含笑三十臂各執寶蓮花於蓮花上  
皆執本印契各表三昧耶不同有種身  
光頂背赤耳初左手執蓮花○上畫  
法印塔印右第一手執金剛拳舒風幢指  
右頰令不至三分許次右手第二手持蓮花  
上堅畫七寶金輪次右第二手作金剛拳  
亦舒風幢旋繞并五股金剛杵右第三手  
手華右手堅旋并五股金剛杵右第三手  
執金剛鉤左第四手持蓮花○上金剛輪  
索右第四手倒畫寶螺如旋弄五股杵形  
左第五手持寶幢右第五手持蓮花○上  
畫七寶宮殿左第六手持珠數右第六手  
執蓮花○上置羯磨金剛左第七手持蓮  
花上置寶右第七手持蓮花上置法金剛  
左第八手持蓮花上畫如來毫相三昧耶  
左第九手持蓮花上畫如來眼三昧耶右

第九手持蓮花上畫如來鼻○左第十手  
執持如來耳根三昧耶及三葬地印右第  
十手持蓮花○上畫如來舌左第十一手  
持如來口右第十一手持蓮花上畫佛心  
左第十二手持蓮花上畫如來臍三摩地  
右第十二手持蓮花上畫如來馬陰藏三  
摩地左第十三手持蓮花上畫如意摩尼  
右第十三手持如意棒左第十四手持如  
來寶劍右第十四手持如來寶鏡左第十  
五手持蓮花上畫寶師子右第十五手把  
金剛鐸如是三十手皆以金剛拳執寶蓮  
花於蓮花上置印契皆以繫天帶光焰燒  
之及以天衣種莊嚴像左右皆畫十鉢  
羅合綽波羅蜜多菩薩前後復畫內外八  
供養菩薩等各執本契住於圓明皆向慈  
氏本尊而恭敬相上下諸莊嚴供養具并  
畫持真言者皆如常法文又云護摩品且  
觀一世界爲一曼茶羅會於彌盧山頂上  
至有頂下及金剛輪際爲一道場宮知足  
宮爲中心又其中圓明外佛向道禮十方  
本有法身佛又大圓明內慈氏如來應我  
本有法身佛第二院並十方諸佛雲集之  
像皆執袈裟角印第二院置諸大菩薩雲  
集之像其佛皆左手執袈裟角爲金剛拳  
置膝下右手曲臂向妙上展五指點掌文  
私云此外大曼茶羅又諸佛集會曼茶  
羅等有之略之



密也。梵號慈氏大日也。故慈氏大日同  
一體也。誦之行者三種無二元一體意也  
云。或云。最秘傳也。未灌頂人不可傳云  
此等義數。上生經云。若一念頂稱彌勒名  
此人除却千二百生死之罪。恒聞彌勒名  
合掌恭敬。此人除却五十億劫生死之罪。  
若有敬禮彌勒者。除却百億劫生死之罪。  
設不生天。未來世中龍華菩提樹下。亦得  
值遇發無上道心云。

私云。雖非真言功能。此真言名號故尤  
相叶也。名號功力經中多之。依用可用  
此明功能也。經龍花樹高五十里。說之  
其時慈氏尊身千尺。胸廣三十丈。面長  
二丈四尺。如鎔金像云。義釋云。龍花  
奔那伽者。此龍樹華。彌勒世尊。於此樹  
下成佛。其直云龍花。此龍中尚處華。西  
方其種子。在文不思議疏亦同之。今彌  
勒會。蘭城寺名龍華會。此義也云。

又印胎藏八葉中印

大日經五云。印品。秘密主是名如來祕  
密印。最勝秘密印。不願授與人。除已灌  
頂。其性調柔。精勤堅固。發殊勝願。恭敬  
長念。具德者。內外清淨。捨自身命。而求法  
者。文同疏十七云。印品。第八印合掌。掌  
已先左轉。轉印。右手轉。印。合。不放。散。印。  
即是也。此是如來退疾持印。謂如來祕密  
神通之力。加持退疾之義也。文三部抄金  
剛掌旋轉十號。具足印等者。胎藏密八印  
退疾印也。十指云十號。金剛合掌如云十

地滿足。旋轉祕法義也云。注釋云。退疾  
持彌勒印。祇行越一念義也。左右轉表  
退疾義也。  
大師御次第左轉。當左耳轉也。右轉當右  
耳轉也。當耳聽聞法輪意也云。  
口云。退疾持者。是轉法輪義也。故彌勒金  
剛界西方四親近中。因菩薩也。此因菩薩  
即轉法輪菩薩也。見相應經。又理趣經。機  
發心轉法輪菩薩者。即彌勒也。轉法輪根  
源智德作用也。入大慈三昧迴與樂方便。

轉妙法輪。施智德方便也。大慈三昧。從大智生  
也。凡轉法輪。義順遠方便也。或伏邪歸正。  
有摧破惡德。轉法輪法。殊以爲本尊輪有  
摧破德故也。是彌勒轉法輪智德作用顯  
尊體義也。又理趣經。轉法輪菩薩者。表一  
切如來四種輪。謂金剛界輪。降三世輪。遍  
調伏輪。一切義成就輪也。是金剛界四大  
品表四智印。輪壇之時。依義也。疏云。後地  
以前。地故爲妙覺爲所依也。故或彌勒祕  
像定印。中立五輪。塔又寶冠中立五輪塔  
是輪壇所依義。又轉法輪意也。又彌勒因  
菩薩故。主因是諸尊果所依。故爲輪壇也。  
凡眞言行者。不入此輪壇。別更無正覺三  
世諸佛。皆悉入此尊三摩地輪壇。成正覺  
今兩部入壇儀式。偏此輪三摩地也。故理  
趣釋。由修眞言行。菩薩得入如是等輪壇  
四種智印。以成十六大菩薩生。使得證無  
上菩提。彼入壇儀式者。正入輪壇。經五部  
十六大生成華臺之正覺。釋文可思之。又

三世諸佛。入此壇成正覺。然則不入彌勒  
三摩地。無成正覺。故諸佛之大慈悲利  
生。全在此尊。故名慈氏。也是彌勒智德施  
依正二報之作用。度衆生事。超過諸尊云。  
付印相有彼表示。上右三旋轉。退三毒義。  
次上左三旋轉。成三身意也。右掌五指智  
中五智。除三毒煩惱。專智力。上右旋轉也。  
正化說法。理智二門也。故上理之智右旋  
轉也。說法化儀。亦智先故也。三轉三祇行  
超進疾。除三妄執。成三身故。名退疾持印。  
儀軌云。即此尊身。即是愈識身。是故三密  
轉成三身故。以心體心。以心觀心。如實知  
自心。即是母地。心初發心時。便成正覺。文  
今印功能。即此意也。以心體心等者。疎此  
印當處合掌。華心相。到云云。

問。退疾持者。賢瓶名。數見現。岡執蓮花上  
置瓶。故名退疾持彌勒。或云。蓮花上在頂  
疾。退疾者。瓶入十地。甘露智水。灌行者。迅  
速。斷惑障。煩惱。令成。正覺。故持蓮華上瓶  
名退疾持彌勒也云。是以瓶云退疾事  
明鏡也。何云轉法輪乎。答。退疾者。速疾  
義也。輪與瓶同體。數者。提心義五云。大方  
廣莊嚴經。釋迦成道。欲轉法輪時。有菩薩  
名轉法輪。即以輪寶奉獻。世尊。世尊受之  
持轉法輪。其輪唯一。自具八輻。以標一實  
佛智具八法身。是大日尊正法輪身大莊  
嚴經十一云。衆中有一菩薩云。轉法輪持  
衆寶輪。備有千輻。莊嚴綺麗。不可稱此。放







經三大劫一生成佛常說云彌勒菩薩住居十地常來成佛如此之說所繇未了之言文又云大慈三昧亦是大日如來之行之一文又四行之一者大日如來一體義也疏云當知此八印即虛遮那印也又云四佛四菩薩是醍醐果德無淺深故又云但是如來一身一智行是故八葉皆是如來一如來一體也文

儀軌下云灌頂說法悟無生慈氏大日同一體。瞻瞻左那即慈氏一生菩薩即愈讚自心即是母地也母地即是慈氏尊三種無二元一體是故我求如實智文同上云慈氏本尊身即此尊身即是愈讚者身是故三密轉成三身故以心置心觀心如實知自心即是母地心初發心時便成正覺此心發時便成普現色身三昧耶身又大日彌勒自本同體也行者口誦此真言手結印加持本尊及己身五處即行者三業而成本尊三密初發心時成慈氏真體故三種無二元一體是秘教不共意也大師御釋深思之常見也儀軌下說此大慈三昧呪功能云此法不思議力如如意寶難無所言隨所願處必不違願此如來法印亦復如是無言無相作一切法必得成就此是法身不思議故也文又云手印相者謂誓教法印即國王文印文驗隨所行處無人敢違乖此如來誓教法印亦復如是。一切凡聖及諸天龍惡魔鬼神皆不能違越又如奉勅使一人去雖有衍過以奉

進止無人敢違此如來教勅亦復如是等諸佛教教慈氏甚深法印卽以在凡夫不知不覺雖有少分不順法印以此法力諸聖加被斷煩惱隨此法印隨所作處乃至諸佛及諸金剛必不敢違越何況天人諸鬼神等復次此法如神藥樹觸及取卽離諸病及身騰空教往隨意自在此法亦然以法力故加被內證自在如聖本尊是故名爲法教印也復次若有善男子善女人若依此法印行持供養從此生已乃至成佛水離下道所生之處更不墮落三惡道處以法力印加被故恆爲護念令斷煩惱未證彼岸也復次此法若奉持者雖在凡夫斷煩惱以法力故隨所作處等彼聖力驅使諸聖及諸天龍八部一切鬼神皆不敢違以法力印不思議故也復次此法隨所行處或印已身成彼本體眞言身或印他身亦隨他身隨作而成譬如拙人手執諸佛菩薩印印於泥沙及白土等皆成諸佛菩薩像隨印成諸形像此法印力亦復如是雖未得悉地以執諸佛法印之力依教而行便成本法若執法界印已身卽印成本尊慈氏眞言體若以駭喻左義法印印於己身亦成駭喻左義之身乃至應生諸菩薩華寶藏諸天龍八部乃至人非人等之身隨所印卽成本身印已印他皆成本體三昧耶之身雖凡愚不見一切賢聖天龍八部諸鬼神及尼那夜迦皆見本尊眞身諸護法明王等爲此親近俱

即同供養一切諸佛及諸賢聖文又云俱  
養慈氏同千佛文  
儀軌上云以味恒二喇也菩薩法界印加  
持本尊及己身五處便成慈氏真體云  
法界手印交又二地水輪於掌中以二風  
轆各在火輪背令頭著火輪甲下以二大  
空捻二火輪上節文其二火輪相離二寸  
半許開二空輪來去即成

私云內縛二中指開立以二風著二中  
背二大指押二中上節次開二大指來  
去云

又慈氏菩薩法身印以地水二輪相又屈  
入掌中開二火輪緊二風輪相背屈二空  
輪雙押火中文火開一寸半許風轆來去  
即是慈氏菩薩根本真言曰

納結引喇恒養二恒羅合夜耶納莫喇哩  
也合讚盧引吉底濕段二羅引耶合母引  
地薩恒跋仁合耶莽賈薩恒跋仁合耶莽  
賀迦上喻罷迦引耶五恒爾他二歸併合  
妹恒喇合妹恒羅合二莽義誂八妹恒羅合  
穆婆上殿九妹恒嚕合二納婆二殿莽十寶  
緣莽也薩跋合賀上

上件眞言同兩印用之以眞言印加持本

尊五支及愈識者五支即成法身然後入

大慈生三昧耶眞言印是本尊之體云

散念誦事

口云四波羅蜜者可用金界羯磨會眞言

但道場觀時四佛四波羅蜜也今略四佛

不審也

禮佛事

手印云子日 子日 子日 子日 子日 子日

誦事

問此讚全同如意輪讚其意如何 答圓

滿院僧正云彌勒軌中大慈大悲如膠漆

云是即觀音彌勒軌同體義調色也云

謂觀音大悲開示衆生之佛性而拔其苦

厄彌勒大悲觀知衆生之心性而與法樂

也此二尊慈悲如膠漆故疏云東北方彌

勒是大慈也大慈大悲俱是第二句義以

四行菩薩爲三根時釋也慈悲一體故四

行菩薩時西北角觀音東北角彌勒東北

觀音也兩說共難改二尊於印言不改之

也故彌勒三昧云大慈心三昧亦眞言名

大悲三昧眞言慈悲一同義可知也仍以

此一讀遍兩尊又云西方四親近第三因

菩薩者即彌勒也是蓮花部一體故用一

讀無咎也

召請事

口云大鈎召印言也儀軌中出別印言雖

然眞言多故不用彼也

結界事

口云不動也或降三世或無能勝明王用

字輪觀事

口云五大也見儀軌云

護摩事

口云當流殊就增益修之爲習也種子到

字是寶珠寶體也故當來下生時國土皆

可豐饒也是從增益可衆生滅罪也云

布袋和尚袋內入彌勒三尊令出生一切

財物今布袋和尚者即彌勒後身也云

部主持 智學印 眞言 歸命

自加持 智學印 眞言 歸命

召請大鈎召印

眞言如自如持加召請句四攝明

供物 同眞言如持加召請句

撥造 準召請

本尊段 自加持無所不至印

眞言 子日 子日 子日 子日 子日 子日

召請大鈎召印

眞言如自如持加召請句四攝明

供物 同眞言加增益句

加持物 如供物

撥造 準召請

諸尊段 三十七尊請之

問部主用金輪意如何 答今部主金輪

者釋迦金輪也本師故用之此尊轉法輪

故金剛尤有謂歟小野等流用大輪明王

是彌勒忿怒身也甘露經云慈氏菩薩現

作大輪金剛明王遍身黃色文依之用部

主歟印明小金剛輪印眞言也

印塔事

軌下云若木削作千佛印若河海洲上印

沙爲佛塔削木像印沙成塔三十萬箇每

塔前誦眞言一百八遍供養香華一一如

法念誦最末塔上放光明照觸愈識者頂

上便得大悉地證得八地之來菩薩之身

廣作佛事現世造十惡五逆罪人作此印

沙佛像塔像必得大悉地勿令斷絕其印

塔作法一如西方塔形中並法身佛像文

私云行法後可行之也



問名攝一切佛頂意如何 答兩界至極云攝一切佛頂也  
問若爾佛眼金輪勝兩部大日乎 答可云勝也

問其勝樣如何 答佛眼者胎大日住金剛界月輪中金輪者金界大日住胎界日輪互為顯不二改所住入替也大勝金剛日輪中畫五瑜伽像中尊十二臂根本兩手結智拳印此即金輪表示也佛眼身色如素月結法界定印坐月輪中素月者白黃色也非准白也日輪是胎月輪是金智拳印是金定印是胎也可思之小野僧正口決云大勝金剛金剛界攝一切佛頂輪王也即是金輪佛頂也云云亦肝心鈔云大勝金剛金剛界攝一切佛頂輪王也云云或云一字金輪胎藏攝一切佛頂輪王即生善德也大勝金剛金剛界一切佛頂輪王滅罪德也云云大師御傳一字金輪佛頂口傳

問付第七品師師流義各別也經第二品染愛王品者說愛染功能第五愛染王品說愛染羯磨也如是第七品說大勝金剛功能第八品說大勝金剛羯磨也故第七品非愛染王品是大勝金剛頂品也何以此品為同體證云云 答第七品云若持愛染王根本一字心豈非愛染王品云云

問如是例證多多也觀音中如說地藏等也大勝金剛品中說愛染何不爾乎 答第七品大勝金剛心者真字瑜伽成就者真也當品此一字心功德也此真言云若持愛染王根本一字心速除滅業生本有俱生障此品大都也全大勝金剛中不

問金輪佛頂以七寶圍繞此大勝金剛頂有寶義云 答今尊入四攝三摩地召入一切衆生也而序品南方寶部四菩薩用四攝明彼此其意同也可思之

習愛染事  
鳥羽僧正云大勝金剛十二臂愛染王習事仁和寺祕事云視聽鈔云十二臂大日愛染王法本尊也宇治入道殿被仰云實任云十二臂愛染王也云云  
問大勝金剛愛染王同體事文證不分明歟如何 答經第七品愛染王品也彼品題號云一切如來大勝金剛心瑜伽成就品文第八題號云一切如來大勝金剛頂最勝眞實三摩耶品文題號全同之故同體也

說愛染故諸師以此一字心為愛染眞言仍第七品以眞言為題號其題號一切如來大勝金剛故愛染同體異名也既愛染王名大勝金剛其上此尊身色如日似愛染王種子真字又眞言不可不察可等相似愛染大呪思之

以十二臂為十二品事  
此大勝金剛者習十三臂金剛薩埵也寶樓閣經說十二臂金剛薩埵但彼經不說持物又彼經說一身四面十二臂此經一身十二臂也因而面四部一身表佛部故五部悉地也今雖一面四德宛然故不相違也

宮僧正覺源傳十二臂金剛薩埵也薩埵者因義是本有薩埵普賢如來大日之義也故從序品四佛至金剛夜叉品十二品皆悉以真字為宗當品殊說五佛種子終大日種子用真字尚是本有普賢意也故此尊種子用真字可為一經本故事可知又此尊十二臂攝三十七尊故可當十二品此十二品序品大日三摩地也彼品說三十七尊此三十七尊皆悉聚集大日一身耳十二品故如此以義口傳以十二臂顯十二品共未見說所云

種子事  
口云真字取眞言最後之字為種子體字佛部也因業義亦中道義也真字點金剛部也空義是智也真字蓮花部也有義定也以有空中三諦摧破十二因緣流轉

業因。即身證得佛金蓮三部妙體成本尊。身故現十二臂。轉十二因緣為十二臂。攝三十七尊。故云不生三十七尊。大日如來也。即行者身表不二本有普賢如來。以因果為種子為種子也。又云深祕種子。即形塔也。真言改初。用此意也。序品。即普賢一字果體也。終金剛夜又一。即因也。今此尊十二臂表十二品。又具三十七尊。放輪祇一經總體。因果不二。自證圓滿。故云。兩字何可用之也。常以一字心齊運三業。故云。二字是。字內證也。果極內證。以本有自性之因為因。證智然。此自證三善提云。此尊不二自證。故三字具足。字以之為種子。以。字為內證。可意得之也。

三形事

口云。千幅金輪者。輪轉惑摧破義也。問。今尊以金輪為三形。有其文證乎。答。根本印說。鼓勝轉輪印。印三摩耶形。通名也。又十二臂中持輪也。是等其證也。問。千幅輪。依憑如何。答。此尊第二地。故坐千葉白蓮花。表彼以千幅輪為三形也。因卷抄八幅輪也。十卷抄種。三形五股。免惑云。五股端觀五佛云。責任并諸傳。種。三智劍云。高野僧正次第三云。蓮花云。賢覺傳云。先師授云。種。三不甘都婆。願用之云。寬祐云。云可然。云願不甘心云。西院流國城寺僧正傳種子。三形塔師說。輪上塔以之為祕。子細在口訣云。

道場觀事

經云。爾時遍照薄伽梵。復現種種光明。於頂上放金剛威怒光明。照諸普薩。金剛手等。皆各點然。後現身。具十二臂。持智拳。印。復持五峯金剛蓮花。摩尼。瑞磨。鈎。索。鎖。鈴。智劍。法輪。十二大印。身住千葉大蓮花。身色如日。五髮光明。其光無主。遍於十方。面目微笑。文。

復次祕密王

更說祕密法。佛心五輪。伽當觀。遍照主。自心悉同等。復當於自前。觀勝金剛寶。住於熾盛日。執妙大寶幢。次右復當觀。金剛蓮花。鈎。次左復當知。執鈎大微笑。次左復當知。金剛寶大庫。住於綠色輪。執持大圓鏡。次當復於後。金剛大藥。蓮。住於紅色蓮。執持大紅蓮。是名五輪伽。文。

蓮花第二地

口云。千葉大白蓮花者。謂初地佛坐百葉蓮花。第二地佛坐千葉蓮花。故此尊第二地佛也。攝五部。萬德。坐千葉白蓮。愛染初地自證之位。故持鈴。杵。表本有薩埵德。大勝金剛第二地教主。故住智拳印。示修生大日化他。是則內證外用之義。相等覺妙。覺之頓旨。文。或云。愛染王本有自證體。證。

伽成就品。斷惑智。此品證理體也。而此二品。愛染自證體。開斷惑證理二門。令見他之作用也。上瑜伽成就。就品。初地自證金薩。愛染不二一字心斷證。說。故無間道。今品。大勝金剛第二地佛。是解說道也。五部。萬德。攝十二臂。坐千葉白蓮。此二地。如大自證化他。初也。以前萬行萬德。攝初地。以後諸位。攝第二地。故此佛外全無佛也。上愛染大日入愛染三摩地。今大勝薩埵。現大日。初地。二地。自證化他。次第也。云。又曰。今大勝金剛坐千葉大白蓮。是第二地。臺上報身相也。故云。最尊獨無比云。口云。第二地他受用身也。梵網經云。我今虛遮那。方座蓮花臺。周圍千華。上文此非自受用身。他受用身也。此身應第二地。機。戒波羅蜜也。千葉。臺者。總成第二地之菩薩淨土。此中臺上。是身所居也。千葉。即是所化部。落也。仁王經。信忍菩薩。百佛千佛。萬佛國中。化現百身。千身。萬身。云。十地。經云。二地菩薩。入千世界。見千佛。文。依此等。今大勝金剛第二地。他受用身佛。二地化他。初以後位。皆攝之。故。二地外不說二地。已上佛也。

十二臂事

智拳印。左蓮花。瑞磨。索。鈴。法輪。右五股。摩尼。鈎。鎖。智劍。十二臂。自左五股。摩尼等。令持。像有之也。口云。第一左手智拳印。大日義。五股阿闍。

蓮花彌陀摩尼寶生羯磨不成成就也但四佛三昧那形位常方次第可列東南西北今東南西北對方次第者東西是因果相對義南北是自證化他相對也南方不二自覺究竟位北方大悲利物化他究竟也云又云以十二臂攝盡三十七尊謂智拳印大日攝四波羅蜜五股手阿闍攝東方四菩薩蓮花手彌陀攝西方四菩薩摩尼手寶生攝南方四菩薩羯磨手不空成就攝北方四菩薩鈎手攝喜香二菩薩索手攝覺華二菩薩鎖手攝歌燈二菩薩鈴手攝舞樂二菩薩故五部四攝具足三十七尊也

問智劍法輪二手表示如何 答智劍文

珠也即智故表金界文珠五臂表諸佛根本五智根本五智者指金界五智也法輪彌勒也即定故表胎界大日以彌勒為胎大日故住法界定印著五佛寶冠是即胎大日儀形也慈氏軌云毘盧遮那即慈氏慈氏即毘盧遮那文故以此智劍法輪二手表兩部具足義是不二也或云智劍攝一切如來佛智法輪攝一切如來壇場也云仁濟云劍印破無智惑出生諸佛惠輪印一切支分成就諸佛聚以十二尊為自身曼荼羅羅人一切衆生於本尊身能所不二也此即五瑜伽義也云智劍功能身如妙吉祥能成無盡慧文又能壞無智能成生諸佛慧文法輪功能身如金剛輪能轉理趣輪文或云十二臂者表流轉

十二因緣謂流轉無窮十二輪即顯一具輪圓萬德時形也是煩惱即菩提表示也云仁濟云此尊以十二臂尊為自身身名爲無上味大日經以大日尊五輪成妙果故以無比無過上味為醍醐味云大原云案文意只有十一印謂二手結一智拳印故爾者何云十二大印乎說淺略說云十二印故云十印也祕說云智拳印右智法身印也左理法身印即是表理智冥合故二拳理上相重形也故開一印有差別故云十二大印也

身色如日事

口云經云身色如日文愛樂王身色如日此色同體也是朝日色非黃非赤也此等義愛樂口訣有之所詮大勝金剛與愛樂王同體故敬愛大悲色也云五臂光明事五臂光明其光無主遍於十方文口云五臂者如五字文珠是即五瑜伽聚集一體表示也或寶冠中有五臂云祕藏記云陀羅尼者佛放光中所說也是故陀羅尼與明其義不異文光明者為說最上頂輪王法從頂上放光花嚴經為授記菩薩自頂上放光明云第二地他受用報身故於頂上放光明身色如日輝故此光明赤色色赤內五臂五智各色不同也其光無主者五色光各遍十方見青

色十方皆青色光無餘色餘色亦爾無定主故云無主也大日經具緣品云此供大三目髮髻尊形猶皓素圓光色無主黃赤白相入文義釋云身潔白圓光圍之光中具有黃赤白三色不能白能赤純黃故云無主文以此文準知今尊光無主文相叶面門微咲事

口云喜悅義也住不二自證之果體故也

四方四瑜伽事

口云經持物左右身色座蓮等不說之故今大第不委細也或抄云勝金剛寶熾盛日輪上赤蓮花身赤色左執妙大寶轡右觸地印或云左右手持金剛蓮花鈎黃色輪上黃蓮右身黃色左持鈎右與願勢或右安金剛大染蓮紅色輪上紅蓮花身紅色左執大紅蓮右拳安腰或右持蓮金剛寶大庫綠色輪上綠蓮花身綠色左持鏡當胸右施無畏勢或右持寶蓋如此可觀之狀五瑜伽同著寶冠也此四瑜伽者四方四智也此大勝金剛是金剛界大日也經云我此心最心更說祕密法佛名五瑜伽當觀遍照王自身悉同等文又云復於自前觀勝金剛寶住於熾盛日執妙大寶轡口云依此文本尊向東方也當於自前尊東方寶轡佛故住熾盛日是東方初發菩提心勇猛義也仁濟云私引大日經疏文云東方觀寶轡如來如朝日初現赤白相輝之色也寶轡是發菩提心之義也譬如

將軍統御大衆要得幢旗然後部分齊能破敵國成大功名如來萬行亦復如是。一切智願爲幢旗於菩提樹下降伏四魔衆故爲名也。色如朝日亦彼相應之義也。云、又云此印是法界之幢輪也。以此印故亦同如來法界之體卽名法界幢也。云、秋妙大寶幢者一切衆生之本有不生之性與諸佛內證之淨菩提心一體不二也。故今尊持一切衆生之自性菩提之寶幢。頓破生死苦輪。勝涅槃之敵陣故勝金剛寶持妙大寶幢。經云次右復當觀金剛蓮花鈎住於黃色輪執鈎大微咲文金蓮慧定鈎召引入義有之南方寶部鈎召者此義也。仁濟云序品南方四菩薩寶光輝笑種子如次爲次等四攝明用之。略文取意。彼文云時四大菩薩同聲告金剛界如來言我今現此神通欲鈎召一切有情令入法界以索引至金剛場以鎖堅諸藏。以鈴適悅彼性令快樂故。文衆生自性心與諸佛淨菩提心同一故今尊以定慧四攝鈎召一切有情引入佛界故名金剛蓮花鈎持鈎也。金剛慧也蓮花定也。云、經云次左復當知金剛寶大庫住於綠色輪執持大圓鏡文仁濟云庫者藏也。大日經疏釋毫相藏云如來無量功德之集成。卽寶處三昧中一種滿願如意珠也。文又釋蓮花藏文云青是無量壽色以加持方便普現大悲則有。如淨虛空中具含萬像故文今謂含是藏也。故以定慧四攝鈎

召一切衆生集成如來大悲之庫藏中。如淨鏡之交徹顯現萬像故名金剛寶大庫。持圓鏡也。云、或云庫者庫藏庫藏含藏一切珍寶。如圓鏡中萬像自浮又大圓鏡智第八識轉得智也。彼識名藏識可思之也。云、或云金剛寶大庫者第八識云庫藏藏善惡因果總故也。故前五識果緣起第八識苦果總緣故前五識一向佛果所傳識也。故北方大圓鏡者果位顯因體歟。又此識流轉時第八因前五識果還滅時前五識因第八識果也。執持大圓鏡東方大圓鏡萬像影現自證未關他今北方大圓鏡者萬像影現諸法正示他之義也。故東圓鏡不二日輪北圓鏡十六分圓滿月輪也。云、又虛空藏菩薩所持綠色寶體萬法含藏而大圓鏡萬像影現其義同之。故云執持大圓鏡也。經云次當復於後金剛大衆蓮住於紅色輪執持大紅蓮文仁濟云愛樂王品云能成大衆法文可思之大衆者敬愛義也。一切衆生違背本覺無明令歸本覺是敬愛之義也。一切衆生出真如之路入生死之泥輪迴六趣四生。今以如來內證之功德秘密印言之威力鈎召一切衆生集成如來三密庫藏中。故成佛界衆生界不二平等是大衆敬愛之義也。蓮花者是蓮花部大悲也。大悲敬愛也。赤白亦是同義也。故名大衆蓮持亦蓮華也。以前四輪伽藍是中尊大日能德金剛薩埵所變也。二手住智拳者是表自性法

身法界智。次四手持四智三昧耶者是成身法界智。次四手持四智三昧耶者是成身法界智。就金剛手之四部法王表大勝金剛頂之一德。次四手持四攝三昧耶者是四部金剛手各表入空惠相應四攝之三昧也。次二手持劍輪者一切衆生召入如來大輪壇以如來大智之劍表破無智之惑障之義也。成佛界衆生界不成是五輪伽之功德也。出世上品悉地速疾成就何況世間下品悉地不成就云。故文云是名五輪伽秘密最上味一切卽希願皆悉得圓滿。

智拳印事

口云四處加持也。此印不說經但本尊第一印是也。故最秘密印以此印習羯磨印甚深表示等如金輪法印向內結之也。一字金輪佛頂同體故云。

本三昧耶印事

經云內堅十度轉。忍願屈如頂文。口云內堅十度轉者日輪形。經身色如日。文付身顯色付印顯形也。忍願屈如頂者忍願堅合屈初節如劍形頂者劍形也。佛頂如劍形故也。凡內五智和融外成佛頂德其表示顯中指佛界一平等性也。平等性智指佛界表示也。如佛頂形顯其義疏十六云蓮上作佛頂印其印如佛頂鬘形。令頂高隆文是釋佛頂印也。身分最上頂上也。顯佛法無上以佛頂故大佛頂一字金輪尊勝佛頂以大勝金剛一佛無上稱同體別號也。遍那總德祕號別稱也。彼法



身衆德具統顯事相。此十二臂委卽其儀  
形也。密教道肝是瑜祇經也。彼經大事以  
此等習甚深祕口也。輕不可授之云。或  
云此佛頂印舉佛部攝餘四部并四攝謂  
二水二風金寶蓮羯四部。二小二大四攝  
二中佛部也。

如依清淨處	持此眞言印	身如金剛輪	身如妙吉祥	身如遍照尊	此身如羯磨	此人如蓮花	此身如光聚	此人如金剛	一切諸摩尼	蓮花聖尊主	若常結此印	如常結此印
但結最勝印	能成如是事	能轉理趣輪	能轉無盡慧	諸佛不能捨	大作諸佛事	諸塵不能染	能破三界界	諸惡不能覆	威來增敬尊	金剛薩埵尊	昆首羯磨尊	能轉理趣輪

及誦根本心 一切無不爲  
隨作皆成就 一切願皆滿  
五命 大 頂金剛 壽不盡

劍義其理界卽法輪此二手兩部事如上終義大勝金剛種子卽大日也問四攝何攝在乎答準內作果品以四攝攝佛部故此真言有五部四攝也或義攝我四佛明也此四佛攝各四方四攝也四攝同居四方正門故也凡終義大日攝四波羅蜜三十七尊悉攝之也口云深祕言不可言也

散念誦事	時此二印一明	口云此眞言通用二印故二印一明也。流	流諸師加用印眞言當流習只本尊加持												
若未法世人	刀兵不能害	蓮花金剛手	若誦一百八	若誦一千遍	若誦一洛叉	若誦一俱胝	千佛來共護	決定無有疑文	決定遍照尊	得大金剛身	能成滿意願	能滅百劫罪	翼從而待衛	長誦此眞言	火誦此眞言

四佛明如經云、  
勝金剛寶阿闍真言曰

金剛大染蓮 彌陀眞言曰

金剛寶大庫 不空 眞言曰

總行設在天津

口云此眞言次可誦加降三世眞言也。結界明王故也。

大鈎召印明也

結界事  
降三世印明也

字輪觀事

五大也

可修之歟

部主段

自佛  
加持  
眼

根本印合掌二頭指附二中指上節二

空各揔忍願中節。二小指微開眞言曰

॥ श्रीगणेशाय नमः ॥

召請

大鈞召印 根本真言如自加持加召  
請句四攝明

供物 同真言加敬愛句  
撥造 準召請

本尊段  
自加持 智拳印

召請 大鈞召印

本尊真言如自加持加召請句四攝明

供物 同真言加敬愛句

撥造 準召請

諸緣段 三十七緣

世天段 如常

口云大師以此尊大事被思食故別作行  
法次第又有自觀寺僧正御次第件次第

等絕世事也末代真言教只依此尊加持  
成就悉地可利益廣大也經文分明也持

又三寶院權僧正始被參白河院御持僧  
時闕此佛爲御祈護被進之又爲郁芳門

院御祈被供之云、醍醐座主玄海說也

延德三年癸亥十月十日於高雄神護寺  
地藏院書寫之

永正六年己三月九日於金剛峯寺住  
生院谷峯坊書寫之

白寶口抄 隨求法

本書事

普遍光明大隨求陀羅尼經二卷  
祕錄云內普遍光明清淨熾盛如意寶  
印心無能勝大明王大隨求陀羅尼經

佛說普遍光明如意寶印心無能勝隨求  
陀羅尼經一部三卷

佛說普遍焰鬘清淨熾盛思惟寶印心  
能勝總持隨求大明王陀羅尼自在陀

羅尼功能一卷

佛說普遍焰鬘清淨熾盛思惟寶印心  
無能勝總持隨求即得大陀羅尼明王

一卷  
隨求自在陀羅尼功德經二卷

寶雲三藏譯前行  
隨求即得大自在陀羅尼神呪經一卷

亦云隨求即得貞元圓覺  
大善提心隨求陀羅尼一切佛心真言法

一卷 阿地羅多譯慈  
隨求請雨別行法一卷 不空譯極略

作法  
隨求八印并十大印一卷 五枚

大隨求八印法一卷  
大隨求根本八印一卷

說印相、叙

大隨求經一卷

印大隨求陀羅尼經一卷

梵字大隨求真言一卷  
梵字小隨求真言一卷

梵漢兩字隨求即得陀羅尼一卷  
梵唐兩字大隨求結護一本

大隨求結護一本  
大隨求陀羅尼碑一卷

梵漢兩字隨求即得曼荼羅一紙  
隨求大會種子苗一鋪

隨求善薩八臂所執螺轆印相布祝門  
隨求陀羅尼供養次第一卷

問隨求題有無能勝之句如何  
什御室仰云無能勝者教令輪身也

金剛頂瑜伽最勝祕密成佛隨求即得神  
變加持成就陀羅尼經一卷

或本無經字儀軌一卷  
載八家錄歟故偽書也

名字事  
梵號  
密號 與願金剛

口云隨求者一切衆生願望皆悉隨求即  
得故得此名號也

隨求儀軌云是真言是爲無數億恒河沙  
諸佛智根本無量諸佛是真言出生佛之

成道由持是真言故三世諸佛經無數萬  
億劫毘盧遮那如來自法界智中盡無數

劫求得山是真言得真言文此真言名  
諸佛求得此真言得名也又云此真言名

隨求即得成佛自在也求福德自在也求七寶自在也山斯有七名又云若人須臾得聞此眞言千劫已來積造惡業重罪應受種々流轉生死地獄餓鬼畜生身不更重受即得轉生諸佛如來一生補處菩薩同會處生或得生婆羅門家或得大利種種處生○乃至得到菩提道場最勝之處皆由讚美此眞言功德如是是以因緣名隨求即得眞言文此等文依衆生願望求得稱隨求名也諸尊中能圓滿衆生世出世之願欲偏在新尊功能是多多也可見經軌等也云、高野谷上良智云隨求者觀音別名也云、

種子事  
口云，**子**字者梵號中取初字爲種子。**子**第一義諦，**子**俗塵義，故以眞俗二諦爲種子。是理智不二尊也。

西院流種<sup>三</sup>三梵<sup>三</sup>婆<sup>三</sup>都婆<sup>三</sup>中<sup>三</sup>是隨求菩薩<sup>三</sup>金藏<sup>三</sup>  
祕云種<sup>三</sup>三<sup>三</sup>都婆<sup>三</sup>是隨求菩薩<sup>三</sup>金藏<sup>三</sup>  
剛界大日智之故彼種子三形用之印智  
拳印也陀羅尼五佛總呪也八箇真言皆皆  
題一切如來云一切如來者五佛是也  
見理趣釋仍向金剛界曼荼羅修之也聖  
賢傳種子<sup>三</sup>三<sup>三</sup>形<sup>三</sup>都婆<sup>三</sup>印<sup>三</sup>五股<sup>三</sup>以胎藏  
大日爲本尊尊<sup>三</sup>同胎藏坐云

祕藏記云大隨求菩薩深黃之色并有八臂左上手蓮花上在金輪光焰次手梵雙次手寶幢次手索右上手五股跋折羅次手鈐鉢次手劍次手鉞斧鉤文今道場者依此文也但鈐鉢次第較鈐也是同物歟玉篇云鈐音切廣韻云鈐音切共鈐讀

之也。戰ヒシナリ。高尾曼荼羅圖像。倭手  
持三戟。鋒餘不遠。祕藏記也。又舊圖像。八  
臂持物同之。頂上戴佛。高尾圖像。戴佛。  
觀音同體。義勸。勸修寺法務。視聽抄云。惠  
什閑來。來語云。勝來八印。右四印。無能  
勝。明王印者。無能勝。妃印也。而輪索二印  
曼荼羅諸本相違。而見慈覺禪林兩本。皆

集曼荼羅之處彼二手不相違有興事也  
普通本者祕藏義歟抑書謬歟同說云經  
雖有八俱言不說印後入唐錄云隨求八  
印并十大印一卷五件書絕無之世間流  
布八印云一五股二鍍斧三索四劍已上右  
五輪六三股又七七寶八焚夾當用上而高  
雄并常曼荼羅右又左素蓮左右并八印

次第禪林寺云。右索左叉云。常喜院云。八臂像在胎界蓮花部。但右印四手。五股戟鉞斧劍。左四手者。梵篋幢索金剛智金泥曼荼羅。并禪林請來金剛界一會曼荼羅中。亦有此菩薩。同八臂也。右方四手。五股鉞斧劍索也。左方四手。輪梵篋戟寶幢也。左右二手持物相違索戟鉞云。

云云。左右八臂持物攝三十七尊事。見裏付金剛界大日入大隨求菩薩三摩地。故三十七尊即顯八臂也。

問。以梵篋爲大日。其意如何。答。字言語梵文故也。

問。以索爲八供四攝意如何。答。索四攝大悲義是理也。八供四攝定門也。故攝索也云。

印事

口云先梵鑱印者和融兩部五智故其中納理智法門一切諸佛法藏以五智爲本兩部五智和合表一大法界謂法界智空顯一法界義此法界宮中攝八萬法藏大師次第云逆轉小乘順轉大乘教云梵度中納一切大小乘之故法義分別也

此真言不空經名一切如是隨心眞  
言。向儀軌名心中真言。神呪經名中心  
文句。異不空經軌真言。句義出儀軌。但漢  
字也。梵字出經。此印言八印中第八印。明  
也。功能殊勝。故以此印言爲本。尊加持也。



三度時八印言共用之初二箇度本尊加持第八印言許用之也此時三箇度用之也八印言必振鈴次又第三度本尊加持一度可用之若連口略真言可替用印同之故次第出小野說略真言也問略真言小野說云出何經軌乎答此真言非經軌說五股杵金剛鐵斧索劍輪三股叉寶鏡梵名加多魯也無別子細云或抄云舉八印如七卷抄已上八印宗敕僧正於唐國口受之貞觀十九年三月二十三日於日本國傳受云此記文從水尾得之若是法皇御記可尋之云

口云此八印者本尊八臂持物表示也故結顯本尊八臂八陀羅尼初四出經上卷四種真言說已云說此普遍光明清淨盛如意寶印心無能勝大明王隨求大陀羅尼已文是無能勝明王也即男右四臂大四箇真言出經下卷彼經云是妃左四臂尼是無能勝妃大心真言文是妃左四臂也即是理智八呪也云經上卷云若機聞此陀羅尼者所有一切罪障悉悉消滅若能誦誦受持在心當知是人即是金剛堅固之身火不能燒刀不能害毒不能中大梵云何得知火不能燒於迦羅羅大城羅睺童子之母胎時其母釋種女耶輸陀羅被擲火坑於是羅睺羅在母胎中憶念此陀羅尼其火坑即變成清冷蓮花池何故以此陀羅尼是一切如來加持力故大

梵當知以此因緣火不能燒文依多路之經又云大梵此大體求陀羅尼依法書寫繫於臂上及在頸下當知是人一切如來之所加持當知是人等同一一切如來藏身當知是人金剛堅固之身○當知是人能摧一切冤敵當知是人能燒一切罪障當知是人能淨地獄還大梵云何得知曾有蕊

蕊人能淨地獄還大梵云何得知曾有蕊蕊人懷淨信如來制戒方僧物將入己用現前僧物僧祇來物四方僧物將入己用後遇重病受大苦惱時彼蕊無救濟者作大叫聲則於其家有一波羅門優婆塞聞其叫聲即往詣彼病蕊蕊所起大悲愍為書此隨求大明王陀羅尼繫於頸下苦惱皆息便即命終生無間獄其蕊蕊屍資在塔中其陀羅尼帶於身上因其蕊蕊機入地獄諸受罪者所有苦痛悉得停息咸皆安樂阿鼻獄所有猛火由此陀羅尼威德力故悉皆消滅是時焰魔王見是事已大驚怪具以上事白焰魔王說伽陀曰大王今當知於大危險家衆生諸惡業鋸解自停止刀樹及劍林鐵湯餘地獄焰魔是法王此因緣非小時彼焰魔王聞如此事已

此事甚奇特汝往滿足城獄卒受教已至滿足城南乃見於屍上帶此大明王陀羅尼其光如大聚八部衆圍繞時彼焰魔卒號為隨求塔

爾時焰魔卒還至王所具以上事白焰魔王其蕊蕊求此陀羅尼威力罪障消滅得生三十三天因號此天為先身隨求天子文儀軌云昔摩竭陀國有一婆羅門名曰俱博婆羅門不見佛不聞法不行六波羅蜜不住四無量心日日殺生食猪羊龍鹿鴉鵲龜等類各日日殺生食猪羊龍鹿百五十年命過即去人間到閻羅王宮即問羅王曰帝釋言此罪人賜何地獄罪輕重如何帝釋答曰是人罪不可量算數不可計盡造善金札無一善惡鐵札不可盡計速阿鼻地獄可追還則獄卒請事投入地獄爾時地獄忽然為蓮花池滿滿八功德水其中在種蓮花所謂青黃赤白紅紫而色勝諸蓮花每其花上坐各罪人無受諸苦則馬頭牛頭閻魔王言此獄甚奇異此罪人謬墮地獄變成淨土罪人不異佛未見聞知是事也爾時閻羅王往詣帝釋宮言此俱博不罪人神變如上說帝釋答曰一生之善無曾一應許不知所我則

詣佛界白釋迦牟尼佛言俱博之善如何  
 神變如是爾時佛告帝釋言俱博自生不  
 作一善唯可見人間之戲帝釋則來見人  
 間界所從俱博華所西方去一里有卒都  
 婆其中在此根本真言朽宰都婆真言隨  
 落地上其文字一隨風絮俱博散上爾時  
 帝釋來歸奇異八地獄移每地獄如是遂  
 成不受苦爾時俱博並諸罪人皆共具三  
 十二相圓滿八十種好一時蓮花臺藏世  
 界成諸佛菩薩上十方世界之無垢勝佛是  
 俱博也滅罪之功能如是何況自持佛至  
 心持念人何罪有少許以此真言名隨  
 求即得成佛自在也文經下云烏禪那城  
 有王名梵施彼有一人犯罪王勅殺者一  
 人領彼罪人將往山中令斷其命殺者受  
 教彼罪人至於山窟將刀欲殺是其罪人  
 先於右臂帶此隨求無能勝陀羅尼心復  
 憶念由此大明威力其刀光焰如火火聚  
 片片段壞山如微塵爾時殺者見此事已  
 怪未曾有即上其事具白於王其王聞已  
 便生大怒復勅殺者將此罪人送樂又窟  
 於彼窟中有衆多樂又令食此罪人爲王  
 勅已即預罪人送樂又窟續送窟中時樂  
 又衆歡喜踊躍奔走向前欲食罪人以彼  
 罪人帶大隨求威力故時樂又見彼罪人  
 身上有大光明熾盛日光曜諸樂又衆悉  
 皆驚怖各作是念此火欲來燒我彼樂又  
 衆見是事已其大聲怖送此罪人安窟門  
 外遯避禮拜爾時使者具以上事復白於

上其王聞已更倍瞋怒又勅使者縛彼罪  
 人擲深河中奉教往縛續擲入河河便枯  
 竭猶如陸地時彼罪人便住於岸所被誅  
 縛繩索片片斷絕王聞此事極大驚怪希  
 怡微笑生大奇特喚彼罪人問其所緣汝  
 何所解罪人白言大王我所解我於身上  
 唯帶大隨求無能勝大明王陀羅尼王即  
 讚言甚大奇特此大明微妙能摧死罪說  
 伽陀曰  
 大明甚微妙 能摧於死罪  
 諸佛所加持 拔濟諸有情  
 能解脫苦痛 大明大威德  
 能脫非時死 大悲尊所說  
 能止大疾病 速證大菩提  
 爾時彼王歡喜踊躍即取彼隨求供養禮  
 拜即以贈與繫罪人首與其灌頂稱爲城  
 主五天竺國法若經後世皆以如是大梵此大  
 隨求無能勝大陀羅尼若有帶者於一切  
 處獲大供養若難調伏怨心衆生起慈  
 心皆順伏是故常帶持此大陀羅尼又如  
 是功能多之依繫略之也  
 散念誦事  
 口云用無能勝故此尊教令輪身也依用  
 結界明王云  
 作僧伽加持事  
 口云呪無之云若有御修法者共可用  
 隨心真言也  
 召請事  
 大鈎召印明如常或此尊蓮花部尊故可

用蓮花部心印言也  
 結果事  
 無能勝明王印明也右手作拳仰風指逆  
 順各三轉明各三遍左拳安腰  
 唵呼嚕呼嚕訖茶利摩登攢婆縛寶  
 間祕藏記云無能勝勝迦忿怒自性輪慈  
 氏也文是羯磨部尊歟而隨求菩薩胎藏  
 中蓮花部尊也相違如何答隨求經云  
 無能勝大明王陀羅尼文隨求菩薩又  
 現無能勝也又云隨求菩薩蓮花部尊故  
 以馬頭爲結果也是常樣也  
 字輪觀事  
 五大如常石山道場觀別字輪觀也  
 護摩事  
 口云就息災修之餘流多分息災也或爲  
 滅罪蛇毒等修之數理性院口傳云息災  
 增益敬愛三種修之圓光院聖靈之御道  
 善一周忌之內三箇日遍智院義範僧都  
 被修此法云被修敬愛著赤色淨衣云  
 仁和寺等爲滅罪產生修之今經等中分  
 明也可用之息災滅罪文上引之又經軌  
 中有之可見之也  
 部主段 無能勝  
 自加持  
 印 內縛緊二中指頭指相拄眞言  
 唵呼嚕呼嚕訖茶利摩登攢婆縛  
 召請  
 大鈎召印 眞言如自加持加召請句  
 四攝明

供物 同眞言加息災句

撥遣 准召請

本尊段

自加持

印 梵篋印 眞言曰

唵鼓羅跋羅三跋羅三跋羅印捺理野

尼戎駄頼咩咩咩左梨婆縛賀

召請 大鈎召印 本尊眞言如自加持加召

請句四攝明

供物 同眞言加息災句

加持物 同眞言加句同上

撥遣 准召請

諸尊段 三十七尊

後供滅惡趣 三物

或云用六觀音是蓮花部尊故也其時

部主馬頭云

延德三年十月七日於高雄神護寺地

藏院書寫之

永正六年正月十三日於金剛峯寺往

生院峯坊令書寫之

白寶口抄 地藏法上

本書事

大乘大集地藏十輪經十卷 玄非譯眞

元圓覺梵釋

地藏菩薩本願經二卷 義淨譯眞

香王菩薩陀羅尼呪經一卷 義淨譯眞

元圓覺梵釋

祕錄云地藏法如香王兼意云觀音法

地藏問法身讚一卷 不空大師

地藏眞言一紙 蓮

地藏菩薩儀軌一卷 輪婆迦羅譯

金剛頂地藏菩薩念誦法品一卷 不空

譯

此兩儀軌不知請來眞偽可尋之

大日經 同疏

名字事

梵號 其云 其云 其云

或云 其云 其云 其云 今藏梵語

私云胎藏界打云 其云 其云 其云

用打云義不審也但虛空藏眞言句義

揭婆耶藏義云若依此等打云藏義

或云其云他里俱舍云或尾薩縛引

鉢里布羅迦云或乞叉藍底婆云

密號梵號悲願金剛 悲愍金剛 與

願金剛 口云訓地藏有二點一地藏云是所持寶

珠形也 器界最初風輪種子用云字

是風輪也即器界建立之大地盤此上建

立木金等是地藏意也所持寶珠下有盤

形是風大形表前義也又云此尊釋尊造

法薩埵也釋迦如來入涅槃之後彌勒下

生三會之曉其中間佛前佛後之六道衆

生濟度利生方便愍憫付屬之給地藏本

願經云佛告地藏菩薩言我無量劫來度

脫如是難度衆生其未調伏者墮惡趣多

受大苦惡勸付屬汝令安樂在未來人天

悉解脫水離諸苦又云現在未來人天

衆我今愍勸付屬汝以大神通力勿

令墮在諸惡趣文本師付屬既不謬今世

後世能引導獨勝他如來付屬偏在此尊

即承付屬故成釋尊一體繼其位故也釋

尊三形既鉢也繼彼三形鉢上置寶珠也

法花經云今此三界皆是我有其中衆生

悉是吾子而今此處多諸患難唯我一人

能請救護云最下方風輪即半月之故今

鉢也風輪上建立水金故三界衆生皆攝

在此鉢中故有我是其中衆生悉是

吾子雖然衆生業障厚有三毒患難是周

遍六道每日晨朝入諸地獄令難苦至無

佛世界無暇利益給故云唯我一人能請

救護也此義能可思之云

一地藏訓之大地藏收衆寶如生萬物此

菩薩以福智二嚴施衆生如是故云地藏

是則寶珠德也云疏五云於北方盡地

藏菩薩○此聖者主持寶王心地中性起

功德無邊寶藏。故其轡轡以一切珍奇雜寶綺錯莊嚴也。文義釋云。住金剛不壞行境界三昧者。猶如金輪以極堅固不可壞。故能持萬物。使不傾動。文如大地出種。珍物伏藏。無有窮盡。含藏一切種子。三昧亦如是。能持法界眾生善根種子。經無量億劫終不敗忘。出生實功德無有窮盡。文持眾生善根種子。眾生第八識菩提心。大地含藏萬行萬善。無盡莊嚴也。此菩薩為濁世導師。而觀知一切眾生莊嚴恒沙已有。令彼開發故云。地藏是大悲胎藏已體也。地藏者。胎大日入大悲寶轡三昧。故胎藏義也。地藏院九尊習八業九尊。是最祕事也。十輪經疏云。地者初也。藏者終也。性德之大。地中結緣之存。下一毛端之善根。種種脫之秋阿羅耶藏中。荊軻為終。取此釋因行證入究竟五點具足義也。故五大五行五季等皆無關。滅攝地。藏二字。是胎藏大日五點具足全體也。或云。地藏者。胎藏大日一體義。謂地者。胎義也。大地含藏萬法。無關一切草木等從大地出生。胎大日種子。對字也。對字亦真如大地體。故地藏菩薩持寶珠。是即萬法出生之義也。又地者。對字本源。謂眾生法性無漏心地也。故云。萬法一心作也。或云。一念心即如來藏理。心即藏也。心即對字也。對字出生。對字能所不二也。云云。

口云。地藏菩薩南方寶生如來。四親近寶光幢笑之中。種菩薩也。寶菩薩虛空藏也。

故虛空藏與地藏寶生佛。福智二嚴也。虛空藏智故至虛空。地藏理故至地。是福也。即虛空功能依地顯之地功能亦依虛空顯之。是陰陽和合出生萬物。天地感應道交之意也。故虛空藏生大地。含藏萬物能長養之。地藏以大地為藏。降着天雨。露能持之。兩尊是則胎金兩部之大日也。深義可問之云。

異名事

或處云。濁惡世中有一菩薩。名曰尾摩勝鉢哩菩薩。此云地藏。常現威光自在。樂又之身。恒說三乘。隨其所應。安置三乘不退轉地。此大菩薩安住首楞伽三昧。悟入一切如來妙境界。能現不可思議一切惡魔發起無盡殊勝功德。今是地藏菩薩與最勝王經。鳩曩只囉菩薩一體分身。鳩曩只囉此云妙轉。地藏以三詞字表三惡趣利。益正了知王以五阿示五道利益。妙轉金藏光滅三途。苦妙轉真言曰。唵。蘇計都。呌。薩。囉。野。惹。賀。根。娘。合。曼。呼。弘法大師最勝王經釋云。妙轉者。地藏異名文。或云。雖本地區。測上炬佛是南方寶相佛也。此佛變成妙轉。有此義故中妙轉菩薩。下了知王云。

變焰魔王事

十輪經云。作焰魔王身。或作獄卒身。或作地獄諸有情身為苦眾生。如應說法。文大集經云。地藏菩薩為閻魔王也。使者是五鬼神也。是閻魔王所領神為人。引其神

讀者。引病人第六意識也。為神識引導斯講。令現如夢境。故言引其神識。文樂師經疏云。閻魔使者。是四天王所領眷屬。故文口傳云。閻魔王本身有二種。一地藏。二愛染王也。地藏問法身讚云。或有八臂者。三目。眼盛身。則為金剛手。自為作業者。三目。眼盛。金剛手者。愛染王也。厚雙紙云。平等羅惹愛善薩。變成閻王。右手持檀香印。左手持人王身。色赤肉色。坐水牛。此王殊除死難云。

現種。身事

十輪經云。為欲成就諸有情。故於十方界。或時現大梵王身。為諸有情如應說法。或現大日在天身。或作欲界他化自在天身。或作佛身。或作菩薩身。或作獨覺身。或作餓鬼身。或作轉輪王身。或作阿素洛身。或作餓鬼身。或作龍身。或作阿素洛身。或作獸身。如是等無量無數異類之身。為諸有情如應說法。隨其所應。安置三乘不轉位。文地藏陀羅尼經云。剎那間現不可說身念。教化塵數眾生云。

種子事

口云。對字者。大日經疏云。對字因位。義歡喜義云。義釋云。喜義云。今對字因業不可得字也。謂一切善法。因緣所生之故。眾善因萬德果。悉從此因業成就。依之情。非情種子。因業皆此對字體也。故十界依正悉無非地藏。是菩提心為因義也。







如常菩薩形。兩手持物。悉有異。今道場觀不依此等文歟。

不空儀軌云。若復有人欲供養者。當盡地藏菩薩像。內祕菩薩行。外現比丘相。左手持寶珠。右執錫杖。安住千葉青蓮花。東北

方盡觀自在菩薩。東南方盡勢至菩薩。西方盡金剛手菩薩。西北方盡文殊童子。

四大菩薩各卒眷屬。本師無量壽佛最後慈悲身。體圓繞文。無畏儀軌云。次說畫像法。作聲聞形像。著袈裟。端覆左肩。左手持

未敷花。盈花形。右手施無畏。令坐蓮花後。作居士大士像。頂著天冠。著袈裟。左手持

蓮花。草右手如先令安座。九品蓮臺。文私云。今道場觀者。依不空軌說。但右手

錫杖也。依無畏軌。用施無畏印。歟。如七集說。一聲聞形。右與願勢。左持寶珠。後

五色雲。令坐草座。云。與願左手寶珠。施衆生義歟。

口云。樓閣者可觀五峯八柱塔婆也。問今樓閣須偏山頂觀之歟。亦可觀迦羅

陀山頂歟。如何。答。只壇上可觀之也。必所居不限迦羅陀山。地藏經云。登一切智

日。佛陀波羅山。從此山東方去六十餘里。摩訶陀國也。中在大城名伽耶城。南方

十五里。許在山名曰結栗陀羅知。又名依羅提耶山。高九百三十丈。廣七百二十

丈。似七金山。云。次第八葉大蓮花臺。問不空軌云。住千葉青蓮花。文今道場觀

大旨。依此文歟。何云八葉蓮耶。答。以此尊習胎藏大日。故用八葉大蓮花臺也。

聲聞形事。口云。俗形因位也。是寶冠尊在家義。故因

位也。出家形。出世因位也。聲聞深厭三界。極苦。偏臥。白證。無爲。吳諸佛教化。雖萬差

爲衆生出離生死也。仍二乘諸佛出世利。益正機也。三乘根性。感佛出世。故今此菩

薩發大悲深重心。超諸菩薩聖衆。受取釋迦付屬。利益二佛中間。無緣無怙。衆生不

結業定。不簡苦輕重。代受重苦。大悲微骨。髓寒夜。偏勵衆生出離作業。故現二乘

因業體也。一切草木等。最初禿。皆比丘形。即此尊體也。

左右手事。口云。左手寶珠。此尊南方寶生佛四親近

中金剛。轉菩薩也。寶部故持寶珠。凡南方尊第七識位也。此識我痴。我見。我愛。我慢

四煩惱。一分不改之。三。獨手點寶珠。開示之。故菩薩即菩提尊也。又胎藏地藏院

之尊。寶幢持之。如三形。今此道場觀尊者。左手掌持寶珠也。寶珠。福施。無畏。印智。是

表福智二尊也。或右手持錫杖。尊有之。錫杖。說法利。益義。寶珠。大悲。利益。義。是亦福

智二尊也。

口云。左手寶珠。此尊南方寶生佛四親近

中金剛。轉菩薩也。寶部故持寶珠。凡南方尊第七識位也。此識我痴。我見。我愛。我慢





也得大地藏在觀音部其義如此又或有印無寶或寶有印或上無名印相如是等類皆互相顯應得意耳已上

又印事

口云三印為金剛界用之常事也地藏與薩婆同體故用金剛界轉菩薩印言也外轉此菩薩三形蓮花也二風寶形寶珠義二小二水各開立四攝金剛轉也虛祇經南方四菩薩用此等是四攝鈎召義也故此四轉上置寶珠意也略出經云山金剛轉契故能施滿一切願文是以一切四攝金剛轉滿一切願也又云四轉者南方四親近之寶光轉笑住金剛寶轉故云一切如來轉也又云以此轉印供三部諸尊也二小佛二水蓮花二風金剛二大佛三部尊即菩提心寶供養體也是生佛一時成供養義也

金剛三昧水 金剛頂地 金剛三昧水 金剛頂地

金剛三昧水 金剛頂地 金剛三昧水 金剛頂地

金剛三昧水 金剛頂地 金剛三昧水 金剛頂地

金剛三昧水 金剛頂地 金剛三昧水 金剛頂地

金剛三昧水 金剛頂地 金剛三昧水 金剛頂地

金剛三昧水 金剛頂地 金剛三昧水 金剛頂地

金剛三昧水 金剛頂地 金剛三昧水 金剛頂地

金剛三昧水 金剛頂地 金剛三昧水 金剛頂地

金剛三昧水 金剛頂地 金剛三昧水 金剛頂地

金剛三昧水 金剛頂地 金剛三昧水 金剛頂地

金剛三昧水 金剛頂地 金剛三昧水 金剛頂地

金剛三昧水 金剛頂地 金剛三昧水 金剛頂地

金剛三昧水 金剛頂地 金剛三昧水 金剛頂地

金剛三昧水 金剛頂地 金剛三昧水 金剛頂地

金剛三昧水 金剛頂地 金剛三昧水 金剛頂地

滿三萬遍又云若有人每日誦此心呪三百五遍其人臨命終時見地藏菩薩往生安樂國復每日誦此心呪一千遍現生具足七寶文又云若誦此心呪者能滅無量罪何況日日誦持者福德不可思議於末世佛法滅時一切速成就文

印言異說事

地藏菩薩儀軌云爾時地藏菩薩騰虛空讚嘆歸命供燒有空中示現無量神通以神口說呪曰唯願摩他闍摩俱茲

俱茲三曼多婆訶

次說心呪曰唯願摩他諸婆訶

次說心中心呪曰唯願摩他諸婆訶

次說身呪曰二羽三補吒成方內掌來去

呪曰唯願摩他諸婆訶

私云此大呪常喜院口傳用八業印也或用根本印師師異義多也此軌中

護摩相應物事委細說之可檢見也

集經六云地藏菩薩法身印仰兩手二頭

指二無指各相觸右押左二大指各出在

掌中以二中指各屈握二大指甲上二小

指又各屈在掌中大指來去呪曰

唯願摩他諸婆訶

是法印呪若有人每以白月十四日黑月

十四日香湯洗浴立地端身跏趺兩脚已而

作此印誦呪護身滅罪辟病大有驗文

可信用之也

大佛頂軌云唯願摩他諸婆訶

作此印誦呪護身滅罪辟病大有驗文可信用之也

大佛頂軌云唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

唯願摩他諸婆訶

日羅仁特顯仁慈蘇觀瀝通仁轉世那  
二計都摩訶轉日羅仁轉日羅野瑟微  
蘇觀帶

召諸事

大鈎召印言也

結界事

不動印言如常

或軍荼利也根本印兩手各以大押小甲

餘三指離立如三股叉腕順逆各三轉明

各一遍大小二呪中隨意用之小呪曰

古對牙小六及

今此地藏菩薩薩摩同體故寶部尊也

故散念誦寶生寶菩薩摩訶薩等用之或

馬頭明王印言也胎藏界蓮花部尊也其

上不空軌云本師無量壽佛又云其人

臨命終時見地藏菩薩往生安樂國文無

畏軌云令安座九品蓮臺文依此等意若

付蓮花部散念誦阿彌陀法菩薩馬頭等

用之也但今次第付金界依寶部也用軍

荼利尤相應

字輪觀事

五大如常或真言用之

護摩事

不空軌云若欲供養者安置菩薩像向而

西持誦燒香散時花供養慈悲尊及無量

壽佛現世得福利後生生極樂持念心呪

者受人供無量罪誦持神呪者具足輪王

寶常見地藏者不受定業報常聞持藏者

不染百萬病然誦根本印速得無上道一

切佛菩薩當常來守護隨意常奉事誦持

神呪者摧伏諸魔障供養地藏者成就一

切願此菩薩本願不簡淨不淨當念一切

時當獲得安穩當念急難中消除障礙也

文無畏軌云復說成就○若念滅罪生善

生身後生極樂以蓮草護摩三萬遍○若

念化度一切衆生以白芥子護摩三萬遍

○若念化度無佛世界衆生以尸迦草護

摩三萬遍文本願經云即得十種利益何

等爲十一者土地豐壤二者家宅永安三

者先亡生天四者現在益壽五者所求遂

竟六者無水火災七者虛耗辟除八者杜

絕惡夢九者出入神護十者多遇聖因文

十輪經云此大菩薩是諸微妙功德伏藏

是諸解脫珍寶出處○如意珠雨衆財

寶隨求皆令滿足○與勢渴者作清冷

水爲飢乏者作諸甘菓爲露形者作諸衣

服○爲貧賤者作如意寶爲諸稼穡作甘

澤雨爲諸濁水作月愛珠文此等文息災

增益滅罪除病等本說也文意可知知

見尊像功德事

罪障皆悉除滅文  
本願經下云  
志心瞻禮地藏像  
一切惡事皆消滅  
至於夢中盡得安  
衣食豐饒神鬼護  
欲入山林及渡海  
盡惡禽獸及惡人  
惡神惡鬼并惡風  
應是諸惡皆消滅  
地藏名字人若聞  
乃至見像瞻禮者  
供養百生受妙樂  
若能以此迴法界  
畢竟成佛極生死  
是故觀音汝當知  
普告恒沙諸國土文  
聞名功德事  
本願經云若有善男子善女人聞是地藏  
菩薩摩訶薩名者或合掌者讚嘆者作禮  
者戀慕者是入超越三十劫罪善廣利有  
情若有善男子善女人或彩畫形像○一  
瞻禮者是入百遍於三十三天永不墮於  
惡道文占察經下云爾時佛告諸大衆言  
○若人得聞彼地藏菩薩摩訶薩名號及  
信其所說者當知是人速能得離一切所  
有諸障礙事疾至無上道文  
稱名號功德事  
十輪經一云佛言善男子善女人假使有  
人於其彌勒及妙吉祥并觀自在普賢之  
類而爲上首親河沙等諸大菩薩摩訶薩  
所於百劫中至心歸依稱名念誦禮拜供  
養求諸所願不如有人於一念頃至心歸  
依稱名念誦禮拜供養地藏菩薩求諸所  
願速得滿足所以者何地藏菩薩慈利益安  
樂一切有情令諸有情所願滿足如如意



寶亦伏藏。如是大士為欲成就諸有情故。久修堅固大願。大悲勇猛。精進過諸菩薩。是汝等應當供養。○說偈言

地藏真大士 具足多功德  
現聲聞色相 來稽首大師  
一日稱地藏 功德大名聞  
勝供毘切中 稱餘智者德  
衆生宿惡業 刀兵病飢饉  
隨所在惱害 皆能令解脫  
衆生五趣身 諸苦所逼切  
歸命地藏者 有苦悉皆除文

又云。若諸有情同在牢獄。扭械枷鎖檢繫其身。具受諸苦。至心稱名。○一切皆得解脫。○若諸有情諸根不具。○至心稱名。○一切皆得。○若諸有情為諸毒蟲所整戒。被種種毒藥。○至心稱名。○皆得離諸惱害。文

不空軌云。或復住於善心。作塔及佛像。恭敬供養。速成無上道。如是等善根。不具足者。不至佛道。若欲至佛道。安住於懺悔法。稱念地藏菩薩。恒沙萬德。速得無上正等菩提。文

除不至心事

經云。誦念此咒。五逆十惡。四重八禁。若不除滅。無有是處。除不至心。勝方等經。偷僧祇物。乃至一比丘物。此經不攝。若有受持。讀誦此陀羅尼咒。有飛尸伏住鳥百怪。一切諸惡。悉皆消滅。文  
無佛世利益事

十輪經云。世尊告無垢生天帝釋曰。汝等當知。有菩薩摩訶。名曰地藏。已於無量無數大悲五濁惡世時。無佛世界。成就有情。又云。每日晨朝。入諸定。入諸地獄。離苦無佛世界。度衆生。今世後世。能引道。文

入諸地獄事

華嚴經云

一一地獄中 經於無量劫  
為度衆生故 而能忍是苦文

愈瘡病事

十輪經一云。若諸有情。惡鬼所持。成諸癰病。或日日發。隔日發。或三四日而一發者。令狂亂身心。戰掉迷悶。失念無所了知。○至心稱名。○地藏菩薩。一切得解脫。無畏身過。文

護摩事

部主 寶生

自加持

印 外縛。二中如寶形。眞言曰  
唵 三昧耶會 薩 薩 薩 薩

召請

大鈎召印

眞言 如自加持。加召請句。四攝明  
供物 同眞言 加增益句  
撥遣 准召請

本尊段

自加持

印 三昧耶會 薩 薩 薩 薩

眞言 羯磨會 薩 薩 薩 薩

召請 自加持印言。以禪智三羯。加召請句。四攝明

供物 句可依法 加增益等句。加

加持物 如供物

撥遣 准召請 以禪智三羯。加撥遣句

諸尊段 三十七尊

世天段 如常

六地藏事

蓮花三昧經云

光味地藏。牟尼地藏。諸龍地藏。救勝地藏。

護讚地藏。不休息地藏

又云

檀陀地藏。寶珠地藏。寶印手地藏。持地地藏。蓋障地藏。日光地藏

十王經云

預天寶地藏

放光王地藏

金剛幢地藏

金剛悲地藏

金剛寶地藏

金剛願地藏

或云

第一地獄

大定智悲地藏。左持寶珠。右持寶珠。地

左持如意珠。右手說法。陀利諾天。左持寶珠。右手與願。印南雨成。

左持金剛。右手施無畏。修羅。左持寶珠。右手引接。印利勝生。

左持寶珠。右手施甘露。印施餓鬼。左持寶珠。右手成辦。印入地獄。

秋主文

金剛願地藏

金剛寶地藏

金剛悲地藏

金剛幢地藏

放光王地藏

預天寶地藏

檀陀地藏。寶珠地藏。寶印手地藏。持地地藏。蓋障地藏。日光地藏



藏菩薩世流布白色聲聞形之尊也

第二饑鬼 大德清淨地藏右持寶珠 寶掌

菩薩也亦名寶手菩薩也 大光明地藏右持寶珠寶處菩薩也

第三清生 清淨無垢地藏右持寶珠寶印

第四修羅 清淨無垢地藏右持寶珠寶印

第五人道 大清淨地藏右持寶珠寶印

第六天道 大堅固地藏右持寶珠寶印

菩薩也 大堅固地藏右持寶珠寶印

私云胎藏地藏院九章中六尊祇地藏

菩薩寶處菩薩寶手菩薩持地菩薩寶

印手菩薩堅固意菩薩私云青龍軌此

六章計出印言也故六地藏配當尤有

其謂祇但持物等皆相違可見之

問青龍軌許只說六種尊印言祇如何

答青龍軌地藏院九尊先地藏菩薩日光

菩薩堅固深心菩薩并持地菩薩寶手菩

薩寶光菩薩寶印手菩薩不空見菩薩除

一切憂冥菩薩也雖然印言用六章又疏

北方地藏院九尊如青龍軌印言又六尊

同青龍軌義釋亦如是所詮列坐雖爲九

尊所行印明六尊許也

六地藏總印

二手外縛二無名指二小指各別立二大

指二頭指共寶形是即六地藏也眞言曰

歸命訶訶尾三摩曳莎訶

合掌二中指少開眞言歸命訶訶蘇多

摩莎呵 或云愛染寶瓶印即地藏菩薩也故地

藏與愛染一體也云云

外縛二風作寶形二地二水開立二大並

立是三昧耶會幢菩薩印也表六地藏眞

言

我信了悉有矣

又云

地藏驗記云寶瓶印六月二日

一人地藏持香爐一人合掌相一人持寶

珠一人持錫杖一人持花筭一人持念珠

其中香呂陳云

### 白寶口抄 轉法輪法上

本書事

轉法輪菩薩摧魔怨敵法一卷 譯不妄

轉法輪菩薩法一卷 譯不妄

大輪金剛總持陀羅尼呪經一卷 譯

佛說大輪金剛總持陀羅尼印法一卷 慈

大輪金剛修行供養法一卷 譯

亦別一卷

大輪金剛悉地成就及供養法一卷 慈

大輪金剛陀羅尼經一卷 譯

梵漢兩字金剛輪眞言一本 譯

緣發心轉法輪菩薩印一卷 譯

理趣經并理趣釋大師御次第 第小野次

由來事

轉法輪菩薩摧魔怨敵法云爾時摧魔怨

菩薩白佛言世尊諸菩薩等各已說密

密眞言教法世尊我今欲爲未來末法之

時護持國王及護國界諸有情故說秘密

最勝秘密中秘密摧魔怨敵法唯願世尊

哀愍聽許佛言便說世尊若有護國侵擾

國界或自國內軍衆寡少或復怯弱或有

下臣起惡叛逆即應取苦練木而作一轉

長十二指周圍八指削令極圓如世尊所

勅一切天龍八部令護諸國護諸國王及

護國界一切有情爲除災禍令得安樂若  
難起時皆圖畫彼護國土神於幢上如此  
大唐護國土者所謂昆首羯磨樂又劫比

羅業又法護業又肩目業又廣目業又護軍業又琛賢業又滿賢業又持明業又阿吒轉俱業又已上十轉蘇枳龍王。蘇摩那龍王補沙毘摩大龍王已上三河利帝大天后翳羅轉繞大天后雙目大天后已上三各有五千神將以爲眷屬所應盡者皆盡本形執持標幟圖於幢上又於幢頂上書無礙王十字佛頂真言末後吒字在輪間於所有怨敵叛逆主師當害彼名於輪間於轅底面畫一輪具足八輻如上吒字置輪中若災難起時應請一解法之人於此教中曾蒙受者於其中夜圖一方壇於方壇上重畫三角壇立於此幢在壇中央於壇四面著種、食飲并二閻伽燒安悉香及燃蘇燈具解法者而南而座文

名字事

梵號 金剛法身

密號 金剛法身  
轉法輪者仁濟云此法功德事轉自心功德人衆生心是名轉法輪釋迦如來如是轉法輪時釋迦功德人衆生云

問此法名字如何 答云示云人馬隱藏三摩地摧破本有俱生惡障名輪佛界生界同三世常恒此作法行儀轉作名轉法輪依正萬法皆轉理智不二輪體成就其體理趣經則入一切如來法輪文大疏遍調伏入一切輪轉是北方成所作智釋迦黑色衆生總體故成事智位五智圓滿正事業成辨位入此轉法輪作業圓滿五智

三十七尊彼輪體則萬德不二總體是則行者自身已體受茶羅也相應經小金剛輪印明功能說云若真言行者不作曼荼羅但持此印明即同大安立一切曼荼羅自身一切支悉成諸佛衆無比不思議更無過上味文彼轉法輪位止一念相應慈斷自性所生惑成正覺時故諸大力天魔波旬所生惑成不爲障礙也諸呪咀疫神等乃至怨念害心遠此自證正覺位故起也開此實智時無始生死三業所作即諸佛內證自然成道妙法覺知是爲真實降魔至極也故大疏若有衆生受持如是三角印者乃至除無間獄中無量怖畏何況天龍鬼神等怖耶此文今意相叶諸天衆地祇冥衆護正法故守護此正覺位護法善神本誓悲願也爰以此法勸請十大藥空等五大龍王等日本國中諸大明神遊虛空等五類諸天請擁護也理趣釋云瑜伽者破三摩耶戒阿闍梨非法失師位由建立此輪壇則復本於阿闍梨位修一切三摩地真言速得成就又建立此輪壇者指彼不二大行開如實知自身心作此行位復大阿闍梨位云也五秘密儀軌云一切有情沈沒流轉五趣三界若不入五部五秘密曼荼羅不受三種秘密加持自有漏三業身能度無邊有情無有是處文問今自性所生障能斷輪者降三世功能何別哉 答降本有俱生三毒體覺知三部妙體名降三世摧破俱生惑三世展轉

無斷經無邊名轉法輪又降三世墮一切法治偏病三毒等分起俱時降令圓滿三密三部等也今轉法輪此妙法正修行位三世流轉體故轉法輪謂是自然道理如來分身行位也已仁王儀軌云中方金剛波羅蜜多菩薩摩訶薩手持金剛輪如彼經云轉法輪菩薩也依持法輪現勝妙身行願圓滿住等位也手持金剛輪者尼盧遮那初成正覺謂轉法輪以表示故又以法輪化道有情令無數天至彼岸文敦上云大日初成道時大衆中有轉法輪菩薩以輪奉佛之受之以輪當體爲諸衆生說法故名轉法輪云善提心義云五大方廣嚴經云釋迦成道欲轉法輪時有菩薩名轉法輪即以輪寶奉獻世尊世尊受之持轉法輪其輪唯一自具八輻以標一實佛智具八法身是大日尊正法輪身云大莊嚴經十一云爾時衆中有一菩薩名曰轉法輪持衆寶輪備有千輻莊嚴綺麗不可稱比放千光明過去諸佛皆有此輪然後轉法輪時彼菩薩持此輪寶奉獻如來文安然引此文數經現文千輻也善提心義八輻云相違凡諸佛成道之時必依此轉法輪菩薩轉法輪摧破衆生流轉生死業令證菩提覺位故轉法輪也輪摧破義輪壇之時者所依義也大日經疏後地以前地爲基此菩薩理趣經機發心轉法輪菩薩也等覺位故對妙覺時云機

發心也。等覺為妙覺為所依故。諸尊果所依故。為輪壇也。凡真言行者。不入此輪壇。別更無成等正覺之義。一切諸佛皆悉入此尊三摩地輪壇。成正覺。理趣經云。一切如來入大輪如來者。釋云。是機發意菩薩之異名也。此入大輪段。是即諸尊之輪壇也。亦今入壇傳法之儀式。偏此輪之三摩地也。故釋云。由修真言行菩薩得入如是等輪。依四種智印。以成十六大菩薩生。使得證無上菩提。文灌頂之儀式也。人輪壇經五部十大生。成花臺之正覺也。然即不以此轉法輪三摩地無成正覺。今此法尤付調伏修之故。云摧魔怨敵法。此怨家等依重惡因。可感極惡之果。故永滅彼流轉之業。忽入菩提之寶所。故人此輪壇摧破三毒。成正覺之義也。

#### 本章事

口云。轉法輪法。製制流珠。秘之不越。雙殊坂名。秘法也。有本尊智流。差異當流。以大輪金剛為智也。此大輪明王者。彌勒之教。金輪也是。云轉法輪菩薩云。玄秘抄云。嚴覺僧都之流。彌勒為本尊云。大妙金剛甘露軍荼利經。以彌勒為轉法輪菩薩云。件傳以此經為證。歟。但既調伏法。以忿怒形為本尊。尤優美也。仁和寺覺法法親王。以此說為善矣。攝一切佛頂輪王經云。爾時慈氏尊菩薩現作大輪金剛明王。右手持八幅金剛輪。左手持一獨股金剛杵。說六字心真言。

○三摩地云云

法花儀軌云。機發意轉法輪菩薩印。二手各作金剛拳。二頭指二小指互相鉤。即成頭印。按於壇上。誦真言五遍。真言曰。

○三摩地云云

理趣經云。時薄伽梵一切如來入大輪如來。○時機發心轉法輪菩薩。○說一切金剛三昧耶心真言。

理趣經云。時薄伽梵一切如來入大輪如來者。是機發意菩薩之異名也。云。

私云。以大輪明王名轉法輪菩薩。此等文分明也。故轉法輪法本尊用此明王。

尤幽邃也。況調伏行之。尤以忿怒尊可為本尊。但彌勒菩薩既大輪明王本身也。以此為本尊。實無過。雖爾前說尤勝。

是師資相承傳也。甚秘甚秘。以上或以彌勒為本尊云。

勤修寺嚴覺僧都。以彌勒為本尊。妙抄云。師說云。大輪金剛彌勒忿怒身也。仍二說無違。但更云。轉法輪菩薩法故。彌勒菩薩為本尊。甚勝云。彼勤修寺流儀軌。本尊不分明。故以彌勒為本尊。攝一切佛頂輪王經。以彌勒為轉法輪菩薩云。瑜祇經西方四親近之中。因菩薩說之云。時轉法輪菩薩。以手中輪擲於虛空中。又小野

秘密抄出真雅傳云。轉法輪即彌勒云。彌勒者。主因故。諸尊果所依。故為輪壇也。大疏云。後地以前地為基云。此尊等覺為妙覺所依也。故彌勒與因菩薩同體也。

因菩薩即轉法輪菩薩故。以彌勒為本尊。軍荼利儀軌云。即結金剛因菩薩為令成。就教令輪曼荼羅故。○圖應結金剛因契及誦密語二手。各作金剛拳。進力壇。慧互相鉤。結印。安於自口上。誦三遍。則成金剛界等教令輪。一切曼荼羅。次安於頂上。則成受一切灌頂。復以印按於所建立事相及親所成等曼荼羅。則成真實如金剛薩埵親建立輪壇。誦此密語曰。

唵。嚩日羅。折羯羅。吽。吽。吽。解云。

是菩薩即轉法輪菩薩也。彌勒有調伏本督理趣經云。一切有情調伏即為菩薩者。本是慈氏菩薩。由此菩薩內入慈定。深

○矜慈難調諸天。外示威猛。令得受化。引入菩提文。

又彌勒即轉法輪義者。如來滅後九百年之時。小乘異見盛興。其時慈氏菩薩來下。從都率天入無著室。說大乘中道之教法。摧滅小乘異見。是轉法輪之義也。云。

又釋迦之法末時。數教漸薄。為外道異見。被破佛法。行者以慈氏可為本尊。入慈心三昧。轉法輪摧破邪法也。此尊內住慈心三昧。外示大金剛形。故釋迦法滅之時者。以此尊可為本尊也。云。

或用金剛薩埵云。金剛頂經云。毘盧遮那佛現二種身。若正法輪身。現轉法輪菩薩。即金剛薩埵菩薩也。文金剛薩埵轉法輪菩薩一體也。故大日經以金剛薩埵印為轉法輪菩薩印。兩部經同一體義。分明。

也故轉法輪法以金剛薩埵為本尊也  
 或云以金剛薩埵為本尊大日教文滅時  
 可為本尊大日教法金剛薩埵弘持故入  
 降三世三摩地勸五類諸天可治罪惡心  
 衆生也又龍猛菩薩入南天鐵塔密法  
 教受金剛薩埵流布閭浮提即金剛薩埵  
 轉法輪也云  
 或用降三世云  
 理趣經云發心轉法輪菩薩者釋云表  
 一切如來四種輪金剛界輪降三世輪還  
 調伏輪一切義成就輪云此轉法輪菩  
 薩四智印也其中降三世輪者降三世會  
 也輪者轉法輪也輪摧破義輪壇之時所  
 依義也故轉法輪菩薩降三世同體也又  
 云金剛薩埵即轉法輪菩薩也故正法輪  
 金剛薩埵教令輪降三世也今調伏故以  
 忿怒身為本尊尤勝云  
 或以尚為本尊云  
 注云賢覺之流以之為最秘云實心云  
 凡摧魔怨法他流全不知傳事歟或以彌  
 勒或大輪金剛轉法輪菩薩金輪降三世  
 明王大威儀如此各異說不同也祖師仁  
 海僧正抄先師御抄等明白也可察云  
 或小金剛輪印明嚴覺僧都授高野持明  
 房竹人傳也又云彌勒先師權僧正隨器  
 授往往傳所謂或人授大輪金剛輪印此  
 是以世流布說授也正傳者偏在此明  
 流未他散者也何以知之乎所謂元實聖  
 勳記等委細記之即皆所披覽也不傳之

旨顯然者歟又不叶儀軌并小野抄等意  
 三寶院僧正轉法輪法無別本尊以轉為  
 本尊修此法也是正遍知院御說也已上  
 說各雖有所存皆不叶法之意趣歟云  
 凡彌勒轉法輪者大輪明王本身故金剛  
 薩埵本有智慧降三世輪菩薩同體故降三  
 世三毒俱時降斷金剛薩埵教令輪故簡  
 今事法表示故流之習皆有所存雖然  
 諸尊云其本體無二也故雖互通以主一  
 門為面時不可亂其道理既云轉法輪菩  
 薩以摧魔怨敵為面儀軌意也何用別尊  
 乎故云不叶法之意趣也廣澤云就本尊  
 有七重習事  
 一、無能勝為本尊種義三輪  
 私云祕藏記云無能勝釋迦忿怒自性  
 輪慈氏也文轉法輪菩薩者彌勒菩薩  
 故彼教令輪身無能勝明王為本尊歟  
 二、金輪印言等用金輪種三同云  
 高野大夫云本尊金輪秘用也又攝一  
 切佛頂為本尊降除災教令輪法云  
 天台盛光云  
 私秘云金輪者釋迦金輪也祕藏記忿  
 怒迦忿怒自性輪慈氏也文釋迦慈氏  
 同體故以金輪為本尊摧破義勝故歟  
 三、地藏種三印言地祇用金  
 私云西方四親近中金剛因菩薩名轉  
 法輪菩薩此菩薩或云彌勒或云地藏  
 故此法以彌勒為地祇為本尊歟

四、轉法輪菩薩種子義祕德三輪印言小  
 金剛輪或言大  
 私云此如常  
 五、彌勒種三印言皆彌勒云  
 六、大輪種三印言大輪  
 私云轉法輪菩薩為與大輪金剛各別  
 習之歟  
 七、不動種義三劍古一印一古權僧正  
 勝覺授伊豆闍梨云以不動為究竟云  
 私云牟利曼荼羅經云第九阿摩羅識  
 法界體性智毘盧遮那菩薩不動第八  
 阿賴耶識大圓鏡智阿闍文殊降三世  
 第七末耶識平等性智寶生盧遮那  
 荼利第六意識妙觀察智阿彌陀觀音  
 大威德此五識天轉成所作智釋迦  
 又不空成就金剛業金剛樂又云  
 金剛頂經毘盧遮那佛現二種身若正  
 法輪身現轉法輪菩薩即金剛薩埵菩  
 薩也若教令輪身現不動身有所立依  
 身密故現普賢身依口密故現不動尊  
 依意密故現毘盧遮那身文  
 仁王經軌云毘盧遮那如來轉法輪菩  
 薩不動取  
 金剛頂瑜伽經云毘盧遮那如來現種  
 身一正法輪身現轉法輪菩薩身一  
 教令輪身現不動明王云  
 依此等文者不動尊轉法輪菩薩忿怒  
 身也故為本尊歟  
 亮慈觀音院傳本尊普賢種義又真三五

古印智拳印呪（即）又印一五古印創印云：

寶心云：聖賢阿闍梨傳者巧新義，所謂理趣釋云：其壇輪形三重，中輪畫八幅，中先別畫金剛手菩薩安其胸中，八幅畫八大菩薩各頭向外，又更一重畫五類外金剛部諸天，所謂上界天，王那羅延等四種，又畫遊空日天等四種，又畫住虛空四種，那夜迦四方各配四門，又畫地居住藏等四種，又畫地中諸頭等四種，如上等從東北隅右旋布列，令頭頭皆向外，其第三重如前五種天之妃后，配本天相對，此曼荼羅前通持一字心，兼修四種般若理趣，經運心遍法界，同而復始，不久身得同降三世金剛於中，胸輪中移出金剛手菩薩，自居其內，想自身作降三世金剛三摩地，結彼等五類教勅印，誦金剛手一字明，稱彼等天眞言，相加皆得使役，應成辨所求，皆遂文。

依此文作撰寫怨法也，實運僧都得聖傳，又同傳習也，全非本軌意，仁海僧正私記意者也，遂轉法輪也，以理趣釋文行撰寫怨法，尤巧也，神妙也，雖然非相傳者也云。

私云：此曼荼羅者，理趣經建立如來段也，理釋云：一切平等建立如來者，是普賢菩薩異名也，文此普賢者，金剛手，王經軌云：金剛手即普賢菩薩也，文故

此曼荼羅中畫金剛手也，變成降三世明王，教勅五類諸天成辨世間悉地，故爲摧伏五類天之邪計，用輪也，此是降三世教令輪之體也，以之爲本尊，有其謂歟。

寬曜云：本尊金剛隨心，種義：三輪印言小金剛輪云。

或文云：石山內供金剛隨心大法身呪，大輪明王陀羅尼也云。

明證云：金剛隨心爲本尊，內供懺悔云：如是本尊之異說多多也，爲才學少引之。

### 白寶口抄 轉法輪法中

種子事

口云：義字是忿怒義，降伏通種子也，故理趣釋云：此忿怒義呼字金剛部攝，猛利故速得成辨，阿毘遮盧迦文又機發心菩薩段，金剛三昧耶心者呼字是也，呼字具四輪義文。

三形事

口云：千輪輪者舉滿數也，輪者摧破義，輪圓具足義也，此輪事轉法輪菩薩之名字處有之云。

尊形事

七集供內云：曼荼羅菩薩，黑色，忿怒形，六臂，右第一持三古，左第一持獨古杵，次左右兩手結印置頂上，次右第三手持劍，次左第三手持輪云。

金剛輪菩薩理趣會圖同之

胎藏圖在蘇悉地右云：

圖位同云：曼荼羅菩薩，黑色，忿怒形，面上三眼，鬘髮上舉如炎，六臂，左右二手結三昧契，仰頂前，右一手持三古，左一手取獨股端，突立座上，次右手申開執劍，左手持輪云。

今次第依此等也

或二臂像事

攝一切佛頂輪王經云：爾時慈氏尊菩薩，現作大輪金剛明王，遍身黃色，放大光明。

右手持八輻金剛輪、左手持一獨股金剛杵文。

常云、身色青者二臂、右金拳安腰、左執三股金剛忿怒杵云、

薄雙紙道場觀同常喜院尊也

印真言事

小金剛輪印事

軍荼利儀軌云、即結金剛因菩薩為令成

就教令輪曼茶羅故○應結金剛因契及

誦密語、二手各作金剛拳、進力壇慧互相

鉤結印、安於上上誦三遍、則成金剛界

等教令輪、一切曼茶羅次安於頂上、則成

受一切灌頂、復以印按於所建立事相及

觀所成等曼茶羅、則成真寶如金剛薩埵

親建立輪壇、誦此密誦曰

千手儀軌云、即結緣發意轉法輪菩薩印

二手各作金剛拳、進力檀慧相鉤結、即誦

真言曰

成蓮花部世調伏大曼茶羅、以印安於上、

上即身成、大曼茶羅、以印觸本尊像、彼

或畫或銅或素、皆成大曼茶羅、以印置身

前空中、即滿虛空界成大曼茶羅、修行者

設有越法誤失、三業破三昧耶戒、由結此

印誦真言加持、故能除諸過、皆得圓滿云

口云、此小金剛輪、大金剛輪、印真言十八

道委細口決畢、二印言共轉法輪菩薩印

呪也、故大輪小輪同彌勒三摩地也

壇場莊嚴并支分供物等事

口云、當流習護摩壇許也、如常小御修法

無用大壇護摩壇也、金剛王院流用大壇

護摩壇、源運與實心兩人、為今上御祈

令修此法時、源運、出、一壇、支度時、奉行取

替、源運、送一壇分、實心、送一壇分、兩人共

無子細令行之、數是三人、不覺也、以之思

之、理、性、院、流、如、當、流、一、壇、修、之、數、金、剛、王、

院、二、壇、也、當、流、習、供、護、摩、只、一、壇、修、行、之、

云、或云、長寬元年中秋、比、為、當、今、御、祈、

實心、源運、兩阿闍梨、於京壇所、同時、奉修

此法、奉修、事也、兩人、支度、皆以相、遠、禁、中、

有不審之御氣色云、源運、支度、注、大壇

護摩壇、實心、常小修法、支度也、而奉行者

依誤失、以源運、支度、總物具、送、實心、許、以

實心、支度、物具、送、源運、許、而兩人、不中子

細、無、許、令、修、三、七、箇、日、了、云、而、時、人、難

云、源運、注、進、大壇、具、不、屬、者、重、可、申、驚、歎、

實心、自、本、不、注、進、大壇、具、縱、難、送、賜、可、令

返、進、也、兩人、共、無、晉、之、條、尤、無、沙、汰、也、所

詮者、此法、最、秘、深、奧、上、古、賢、哲、不、令、修、之、

公家、又、無、其、本、其、之、間、絕、已、久、後、代、人、雖、有、

傳、得、之、氣、色、誠、於、內、外、作、法、皆、懷、不、審、歟、

依、源、運、難、注、進、之、不、給、之、者、不、用、之、實、心、

雖、不、注、進、今、依、送、給、不、返、進、也、於、法、致、不

審、之、令、然、所、也

先、德、支、度、大壇、不、被、用、之、云、

實心、闍梨、門、弟、來、證、云、今、度、兩壇、調、伏、法、

內、外、皆、以、相、違、我、師、以、金、輪、曼、茶、羅、懸、之、

為、本、尊、不、祕、護、摩、壇、場、伴、僧、饌、酬、上、下、人、

動、之、時、并、御、加、持、念、誦、用、降、三、世、呪、源、運、

闍梨護摩壇、遇寄立障子、雖入室弟子一

人、不、入、之、餘、人、伴、僧、皆、悉、已、灌、頂、隨、逐、弟

子、勤、之、敢、不、替、之、時、并、御、加、持、用、十、地、佛

頂、真、言、其、辭、不、分、明、奉、行、者、雖、儲、大壇、具

不、送、壇、供、料、是、付、實心、闍梨、支、度、歟、實心、

闍梨、少、不、可、加、私、意、樂、康、和、元、年、三、寶、院

僧、正、奉、修、之、支、度、等、乃、至、作、法、時、其、師、說

云、已、上

實心抄云、長寬元年之比、飯岳乘徒與齒

城、衆、徒、同、譯、同、六、月、九、日、山、僧、發、向、齒、城

寺、燒、失、畢、如、此、之、間、自、然、雨、郡、北、岳、又、欲

企、合、戰、是、則、戒、大、小、宗、權、實、相、輪、姦、互、勘

文、各、經、奏、聞、是、時、天、下、大、騷、動、種、災、難

競、起、天、變、亦、頻、也、實心、奉、勅、宣、修、摧、魔、怨

敵、法、其、請、書、云、自、明、日、五、引、率、六、口、伴、僧

勤、修、轉、法、輪、法、玉、體、安、穩、天、下、泰、平、之、由

殊、可、被、奉、祈、者、依、天、氣、執、啓、如、件

七、月、四、日

皇、后、宮、大、進、

奉、在、刊

諸、上、上、野、阿、闍梨、御、房

遂、申

可、令、獻、支、度、給、筭、又、件、法、常、不、被、行、若

修、法、間、可、被、用、意、事、候、者、可、令、注、申、給

也、已、上

仰、御、請、書、云、引、率、六、口、伴、僧、云、依、之、領

狀、禮、紙、中、機、伴、僧、可、有、八、人、歟、雖、然、有、六

人、仰、何、事、候、乎、又、支、度、令、點、者、任、古、支、度

雖、書、載、私、自、本、所、持、也、仍、合、點、了、不、可、御

沙、汰、候、之、由、申、了、所、謂、銅、筒、等、也、又、引、生

鹽、忽、不、能、取、遺、強、不、可、入、水、鹽、如、此、物、略

舉源運支度大壇二面云、然片壇沙汰  
人運間持遠子壇所持來雖不可人之由  
中沙汰人不爲取又被壇不尋取空過五  
七日舉尤不審也大壇護摩壇數可有  
可有カリケリト云、件數可有、何様  
事哉彼道場觀傳聞八幅輪中坐八舞敷  
如何尤無其謂者也右傳不可用之、無其  
謂嚴公等傳御加持用大威德呪云、已  
上源運僧都兩三度公家御祈動修今法  
作法每度相違頗不審也彼次第少、流  
布悉達也第二度行大壇護摩壇有之、助  
修八口（意云天護）

應保二年五月二十五日、五七箇日修之  
初七日爐延五穀類生、青色也、長二寸數  
日間不竭悉地成就相云、伴僧御加持  
初度大威德呪、後、十字佛頂呪也、本尊  
金剛薩埵一體圖之、惡、有、用之、大壇  
用故、有、理趣經普賢菩薩、有、也、  
即建立如來段也

彼段勒五類諸天云事分明也云、  
源運記云、初七日爐壇之緣、五穀青色、二  
寸許生之、數日間不竭是上品之悉地成  
就之相也應保二年五月二十五日公家  
御祈動修之御願成就實靈驗然也五  
七日行之、七月一日就願了云、

本尊事  
口云、理趣經金剛輪曼荼羅者、入大輪段  
也、仍彼曼荼羅爲本尊也或懸金輪曼荼  
羅云、

口云、理趣經金剛輪曼荼羅者、入大輪段  
也、仍彼曼荼羅爲本尊也或懸金輪曼荼  
羅云、

康和年中源義親調伏時、範俊僧正被行  
此法時、被懸金輪曼荼羅也、但金輪孔雀  
明王被圖繪一鋪用本尊、是被祕本尊意  
歟

爐形事

口云、但爐底書劍輪云、是如前三摩耶  
形輪迴、差出、輪前、皆劍形也、是マテハ不  
盡之也

無五色事

問、常諸天等行法次第、皆用結界等召請  
之也、今何此法不用之乎、答、此法殊以  
和光爲而故不用之也云、

中瓶并四隅瓶事

口云、皆挿阿勢美每時獻之也、阿勢美者  
有毒木也、四面供華并盛花等、皆悉阿勢  
美葉也

關伽器事

口云、入芥子事每時也

漱口瀝水二器事

各煮丁子入之、入青黛及芥子云、

口云、青黛者灰也

五穀器事

口云、入附子并椒等汁云、樽者模椒歟、  
是枳事也

燒供器事

口云、飯以栢榴汁染之也

鮮油器事

用芥子油或麻子油入加引生鹽云、  
問、引生鹽者、其意如何、答、先付引生有

異義、一潮滿前取之、一潮引前極トシ、仍  
引時鹽取之也、兩義何無相違、既云引生  
引者、漸引時義也、生者、漸添時名也、共以  
速疾也云、

相傳義云、鹽顯本味也、是改邪心成本味  
義也、潮滿惡念凝發、感體也、潮引靈熱性  
歸本覺性意也、故引時鹽可取之也、引鹽  
引、先鹽讀也云、

口云、鮮油加引生鹽事、最初只如形加之  
也、又每日一度加入之也

或云、無引生鹽者、以只鹽和水用之也  
或云、若結汁同入合之也

佛供事

用黑飯云、黑飯者、常不春能、米飯也、小  
野流以蓮根汁塗之、或云、佛供以栢榴皮  
汁塗之云、實任云、以引生鹽出者結汁、  
以別散枝瀝口香水之後、可灑諸供物等  
上云、又蓮根切入別器置望行法之期  
可塗佛供、事不知、後寬蓮煎佛供等塗用之  
仕之、

汁事

口云、以引生鹽爲水、煮小豆爲汁也  
菓子事  
干棗干柿、蘇栢榴子等、此中隨得用之也、  
小野流蓮根同供之也云、

檀木事

苦練木云、或用相長八寸許云、

乳木事

用杉、長十二指、止十二因緣義也云、或

云二十一支用命木百八支用杉也云

塗香散香事

丁子甲香麝香安息香此中何隨得細末用之也

丸香事

安息香以松汁合春丸之也

藥種事

附子藥蒲鬼白鬼箭射干巴豆一皆悉細末和合入一器用之

相應物事

鐵末引生鹽酢和合之百遍供之作別匙用之也口云鐵末者煩惱義也酢與鹽顯本味是改邪心爲本味義也引生鹽者引鹽酢殊辛味也

加持物事

黑芥子用之或積實用之口云黑芥子者辛也積實者是邪結子也

小野流云先投白芥子二十次投鐵末八百遍若千云

名香事

安息香沈香但沈香隨得用之

蘇蜜事

或說不用蘇蜜然而本執燃蘇燈云然者尤可用之也

別香事

安息香麝香甲香蘇合藥霍香各細末入一器用之

別藥事

巴豆花石木枋豆丸枳椇水精指

口云葦石木者或書花赤木是栢榴也枋豆丸者干葉也模樸者枳子也水精指者

又書水生指是蓮根也此祕說也或花石木者蓮根也水精指者栢榴也此能隱

蜜之故如此名之也是師資相承最祕義也各細末入一器用之也此別香別藥置

左脇機本尊段藥種供畢

次別香次別藥次相應物各七遍以本尊

呪供之也云

覺禪閣梨云口傳云若法不成水生指

花赤木蛇蛇腕三種以潮磨合塗佛供

若例鹽用究竟事也云又轉法輪法用

淺塘香此香日本國經法隆寺寶藏有之

此法尤悉地成就香也故範俊僧正以正

盛件香被獻院云轉法輪法用之必有驗

極祕事也法隆寺寶藏密得之今依爲

貴信法務云石大辨傳語未見本記極不

審也云能可尋習之也云

簡事

以金銅作之長十二指周八指也云

口云金銅筒筒未勘說所是無本說歟可

尋之轉法輪菩薩摧魔敵法云即應輕

取苦練木而作一幢長十二指周圍八指

削令極圓又儀軌文苦練木分明也

凡付一指量有七分五分二義法三金剛

界抄云禪林云左大指節取橫徑爲一指

量云智證大師說云橫大母指而取其

廣以爲一指也云依此等大指爪本面

上徑橫取之七分也建立護摩深祕略記

云一指半寸云或云此等者大指爪本

傍橫取之五分也故十二指者四寸也觀

音院僧都傳云筒長六寸廣四寸用苦練

木云是付五分量長十二指周八指軌

文依用敷又一指七分量長十二指者八

寸四分周八指者五寸六分也依之小野

經藏元只一有之勝覺僧正以苦練木被

寫之長八寸只徑一寸八分也此筒付一

指七分量被造之敷長四分計不足也法

性寺勝國法印相傳此筒也

寶心記云此幢筒者有小野經藏元只一

本也然權僧正御房寫之當時所持本是

也其後仁和長祐阿闍梨寬運僧都涼寬

阿闍梨等申出寫之又三密房阿闍梨以

故法眼御房本寫取之如此所勸修寺

邊高野兼意阿闍梨所多流布者也根

元者此本也此外高野有異本是則不叶

軌寸法者也云玄秘云抄云承元元年

六月二十二日於高野山以仁和寺宮御

本寫畢作筒範俊僧正所造高野御室也

委見合畢○寸法此定也權僧正筒與此

大略同但橫今五分ヲヒタリ云

覺禪閣梨云師主法印 御勤修時自

仁和寺宮小野相傳銅筒被渡其色黑色

也不塗印金也

木筒師主勝賢云三寶院經藏有木筒高

八寸廣銅筒三分許減云

問長十二指周八指文具表示如何 答



十二指者乳木之處云大威德儀軌曰欲於軍陣得勝者○長十二指云依此文乳木寸法用十二指此法殊調伏法也爲摧魔怨敵用十二指也又一字經云調伏十二指文不限息災法十二指調伏條無異論即十二指八寸四分也是降伏八萬四千魔勞可令證得八萬四千之法門衣示也

又八萬四千魔勞其源貪瞋癡三毒也依三毒流轉十二因緣故留彼流轉之十二因緣即降伏八萬四千魔勞義也云八指者是亦調伏也調伏時乳木寸法常逢八指實慈摩抄云調伏強行無明即八支煩惱也五見與貪瞋癡也故八指文大疎亦如是

又八指者降伏八議相應無明義也故此倚橫豎共表調伏也

私云周八指者表四方四隅簡上下八幅輪表天地八幅猶頭八方義長十二指者表十二月十二時等即畫怨家形入納此簡中散念誦問以右拳按簡者抑留彼怨家日月時運載之長命爲短命表示厭云

口云筒形圓上下彫付八幅輪者圓形輪圓具足義輪形摧破義也

筒迴彫付十六大護各同彫付其名云一轉法輪善薩摧魔怨敵法云世尊所勅一切天龍八部令護諸國護諸國王及護諸國界一切有情爲除災禍令得安樂若雅

起時皆闍畫彼護國土神於轅上如此大唐護國土者所謂此首羯磨樂又劫比羅樂又護滿樂又肩目樂又廣目夜又護軍樂又珠賢樂又法眼樂又持明樂又阿吒縛俱樂又已上十縛蘇俱龍王蘇摩那龍王補沙尼摩大龍王已上三訶利帝大天后釋羅縛踰大天后雙目大天后已上各有五千神將以爲眷屬所應畫者皆畫

此儀軌大唐護國土之十六大護依大集釋教彼日藏分第九分布開淨提品付屬天竺五十箇國於諸天子諸龍等畢云爾時世尊復以一切震旦漢國付屬昆首羯磨一切巧變化天子五千眷屬迦毘羅大夜又將五千眷屬法護大夜又將五千眷屬大目大夜又將五千眷屬勇健軍大夜又將五千眷屬摩尼跋陀大夜又將五千眷屬賢滿大夜又將五千眷屬持威德大夜又將五千眷屬阿茶薄拘大夜又將五千眷屬婆修吉龍王五千眷屬須摩那果龍王五千眷屬弗沙尼摩龍王五千眷屬訶利帝鬼子母天五千眷屬伊羅婆離大夜女五千眷屬雙瞳目大天女五千眷屬

汝等賢首共護持養育一切震旦漢國周遍土境於彼所有一切觸惱譏諍怨讎忿競言訟兩陣交戰飢饉疫病非時風雨水寒毒熱悉令休息遮障不善諸惡衆生令悲康懷若辛澁觸無味等物悉令休息令我法眼得久住故紹三寶種不斷絕故三

種精氣得增長故利益安樂諸天人故勸加護持以是因緣汝等今世及以後世當得安樂昆首羯磨巧變化天子及與眷屬迦毘羅大夜又法護夜又堅目夜又大目夜又曾健夜又摩尼跋陀夜又賢滿夜又持威德夜又阿茶薄拘夜又較文迦夜又與眷屬婆修吉龍王須摩那果龍王弗沙尼摩龍王及與眷屬訶利帝鬼子母伊羅婆離大夜雙瞳目天女及與眷屬各作是言大威德婆伽婆我等共護一切震旦漢國周遍土境休息一切譏諍乃至增長三種精氣我等勸加護持養育乃至世尊聲聞弟子三業相應不積聚者倍復安置護持養育爾時世尊讚言善哉善哉善男子汝應如是護持我法此十六大護者國土守護神也故用之彼十六護圖像在安祇抄勢分等皆如本樣云

千心次第等銅簡二口上下蓋輪菩薩座輪也簡上畫十字佛頂輪王明簡迴盡十六護菩薩三神行處護法神云小野流云野簡以銅可打之不可錯十六護并日本神等簡表計打之當國神儀軌意也

實任云小野根本簡無日本神也云又云簡上方一周書十六護名號不書二重簡下方書八幡一賀茂二春日三之社名號也十六護書於下方書日本神日本神所向行者云實心抄云二卷尊勝軌云若國難除災者第三院中畫五岳四

演君王此界國內諸神祇等如法畫之若起逆賊者臨時改變云、仍我創修此法者可加闢當國鐵主大神形但其形像難知、只轆上畫各神名號書紙可卷付轆上、歟又可奉請啓白也、如上云、依之仁海僧正私記云、謹請<sup>御</sup><sup>奉</sup>乃至謹請天照太神各領所部來入道場云、

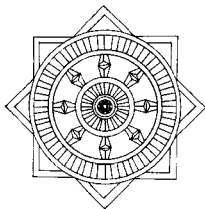
筒上下彫付八輻輪、其間又彫付十字佛頂真言、但彼真言加蓋可書也、又輪轆書<sup>真</sup>字、<sup>又</sup>又本文相違可<sup>也</sup>、於筒上者可開、覆之體作蓋、下者可來之云、

推慮怨敵法云、又於轆頂上書無礙王十字佛頂真言、末後吒字在輪轆中、所有怨敵叛逆主師當書彼名、於輪轆間於轆底面一輪具足八輪輻、如上吒字置輪轆中

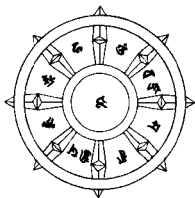
口云、筒底如桶一向塞之、八輻輪彼中彫付其輪、獨古陳書十字佛頂真言、迺右書之、輪轆書<sup>真</sup>字者、輪中心也、<sup>修寺</sup>但尻外方也、非內筒以書始向行者立壇也、蓋上方書輪、但十字真言無之、蓋下裏方同、輪八輻、間十字佛頂真言書之、銅筒上下輪轆真言皆計打之也、

玄祕抄云、承安元年六月二十二日、於高野山以仁和寺宮御本寫畢、件簡範俊僧正所進高野御室也、委見合畢十六護形像坐位如常、筒表計打之、名號同打之、底如別例、桶カラクリツケテ、トウラ八輪幅十字佛頂真言、幅間書之計打之、輪轆

真、頗違本說歟、但蓋氏字打之、叶本說歟、然而蓋、尻又相違條、尤不審不審、蓋表裏共輪形打之、桶蓋定ヲ、ヒタルナリ

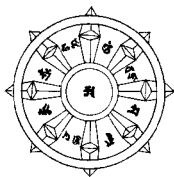


表蓋開也、是

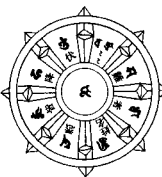


背蓋之內表

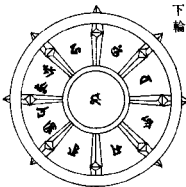
寸法此定也、桶徑正筒與此大略同、但桶今五分ヲ  
フヒタリ



尻下蓋也、真



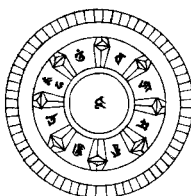
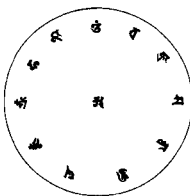
也、一轆轆書又  
輪若蓋蓋  
間意字云蓋  
可寫若云裏  
書此司、方



之下然中右  
輪如書本  
面蓋真下  
可蓋字轆  
書字轆轆

下輪  
實心圓轆抄圖云上蓋輪表  
若十字形、蓋名輪轆間書表

私云蓋表是裏共輪幅間十字佛頂眞言書之但表方書怨名裏方十字眞言書加卽字爲異歟下輪圖同之賢覺云蓋解輪打書十字佛頂眞言每輪之間怨家姓名又卽字封歟或問云



長八寸。口廣一寸八分。筒以書始向行者。口云。八輻輪之間書十字。佛頂真言有異。壇立之云。

說右迴書八字，除石氏字，輪臚書與字也。或除石字，輪臚間書八字，輪中心書石字也云；或自石字右迴書八字，輪中心書石氏二字也云；或蓋輪表方輪臚書與字，蓋內裏方輪臚書石字也云；是等皆

人意繁夥。遶儀軌也。或說以苦練木作之。其圖皆如前云。摧魔怨敵法云。即應驢取苦練木而作一轡。長十二指。周圍八指。削令極圓。文口云。苦練木簡儀軌說分明也。用銅筒事無本說。歟。苦練木調伏相應木也。故以苦練木造之。尤吉也。筒外迴畫十六護等。是綵色黑書也。不用膠等故也。檀師潔寄也。

問箇中無畫等物說 答箇面畫十六大護等內方無別物也 賢覺云小野箇以櫨木造之十六大護半出云、輪之間書怨家姓名云、二月甲子日可造之云、

口云、二月甲子日事不見儀軌。是師傳敕。凡春三月東方。即五行之時木也。故二月春中木王也。今以木喻煩惱。春如諸木出生。煩惱無明難起也。甲子直青金也。是金。故木故以智慧金斷煩惱木義也。依此義。二月甲子日難造之。臨時御祈時不可定。量歟。智證大師記云。幘形圓珠標好日。曜操作之。凡持法人恒隨身供養好云。

問。箇箇同可造。二月甲子日歟。如何。答。可然也。但臨時御祈時不定事也。令造之。

間并造了之後以辨事明加持之降三世  
若十字佛頂真言明又用之云  
口云造簡之間不限遍數其間誦辨事明  
可加持之也既造畢後加持事可一百八  
遍也

私云辨事佛頂印言內縛立合二字持  
屈上節如劍形可辨其不可言者亦不  
容言可變一字佛頂輪王經三云此  
一切辨事真言於佛頂教中一切佛頂  
於一切事盡處當用修行者以此應識  
身文今用辨事明若此意歟

口傳曰。縑紙等身害怨家之形。彼胸間書付其姓名。被形不及彩色。只書也。小覺成納之筒中。云口云。白紙若白絹。畫怨家形。男女分明。隨可書其形。立像也。手口マヌキタル形也。

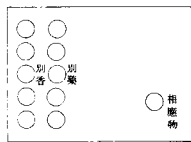
假令袖下如通印也。或畫裸形異國調伏時。只可畫裸形男。不可有別子綱。或怨家形畫九寸。是胎內裸形也。

問畫怨家形納簡降伏是有說乎如  
答搖魔怨敵軌云所有怨敵叛逆主  
當書彼名於輪幅間文依之小野筒輪  
問書怨家姓名也理性院如是怨家姓名  
書輪幅間叶儀軌意也當流相承之口  
畫彼怨家形胸間書姓名納簡中其意  
也聖僧曼德伽威怒王立成大神驗  
誦法云若有惡人怨家於善人起惡  
意相厄害者○作三角壇安像壇中填  
畫彼人形或書姓名○念誦一七日其  
人喪滅云又云畫彼設觀囑於具葉

或畫彼上○想彼設觀囉在像底并營彼  
 營屬皆喪亡又云畫三角壇壇中畫設  
 觀囉形○便針彼心上○身患至死文此  
 等文畫怨家形降伏也此例證餘多之  
 也或一義云施主之形畫等身具足下畫  
 怨家之形令踏之是左足下也實心抄云  
 怨家姓名書輪輻間畢舉又召入轆中畢  
 何宗意律師傳長九寸如怨人人轆中畢  
 理超釋云降三世所云如前大智印誦一  
 半明如前人名想彼人在左足下不經一  
 七日則彼人三毒及隨煩惱悉皆散滅文  
 以此意籠囉也否輪輻可足無益傳也  
 私云理性院流以怨家等籠箇中事不  
 用之歟彼流偏守儀軌說歟  
 聖焰曼德迦威怒王立成大神驗念誦法  
 云畫設觀囉形誦真言加持願一百八遍  
 針設觀囉心上想自身為大威德忿怒尊  
 以左脚踏設觀囉心上誦真言一千遍真  
 言句中稱彼人名其人即滅亡文一義云  
 同畫等身施主形左足下畫怨家之姓名  
 令踏之  
 金寶抄云師主授云等身畫極越形彼左  
 足下畫怨敵姓名可籠彼箇中是小野究  
 竟秘密也云魔障首羅大自在天王神  
 通化生伎藝天女念誦法云有怨家夫  
 用米砂書名形於左脚下踏自來云夫  
 婦相背者書其名不令知左足踏之即受  
 云一切貴人愛入宮云一義云後覺  
 云觀囉內本尊形像書怨家姓名踏奉

云實任云不動行疫神五顯天一計繪  
 以五佛圖怨家頭踏之怨家像七寸入箇  
 行之法成就結願時燒爐之亮惠云怨家  
 姓名書足下令踏足裏千輪以踏摧之  
 私云畫本尊像怨家頭踏之事引右理  
 趣釋并大威德軌意歟理趣釋降三世  
 左足踏摩薩首羅若足踏烏摩其修行  
 者若與降伏法相應者如前大智印誦  
 一字明如前人名相彼人在左足下云  
 是即行者入降三世三摩地踏之歟故  
 本尊足下也又大威德軌云想自身為  
 大威德忿怒尊以左脚踏設觀囉心上  
 文是同入本尊三摩地故以本尊千輻  
 輪足踏摧怨家頭觀之有其異歟  
 一義云怨家施主不可盡其形只彼怨人  
 此箇中召籠可觀之也云  
 實心抄云怨家姓名書輪輻間畢舉隨又召  
 入轆中畢云此召入怨家於箇中觀之  
 箇中不籠物歟  
 私云異說為才學出之也  
 問畫怨家形納箇時有加持作法等乎如  
 何答少疊納之許也無別作法也或最  
 祕口云箇中可入香藥云  
 香安息香麝香甲香青木香丁子藥附子  
 菖蒲鬼白鬼箭射干巴豆云結願之後  
 為施主之護遣之云  
 問怨家形結願後如何答結願後入爐  
 火燒云立護摩壇中瓶後以影顯阿吒  
 轉俱之方向行者之方立之云

口云阿吒轉俱者太元明王也  
 問以太元明王向行者方其意如何答  
 太元明王者殊以調伏為宗其子細見彼  
 方法仍向行者方也只時者箭立壇行法  
 之間取出之時之後如本納之云  
 口云納箭者用意黑漆之箭入箇自初夜  
 至後夜時者置壇上時間出箭立之日中  
 時後入箭可納壇具唐模也覺洞院僧正  
 壽木二年法于勤修轉法輪法時箇自初  
 夜時至後夜時覆紙置壇上日中時後入  
 黑塗箭納壇具模云  
 問行法間取出之立之時之後如本納之  
 其意如何答深祕故納箱底不見人也  
 摧魔怨敵法云法事已訖則收轆於淨  
 或籠安置供養飲食等依法遂送往河  
 流之中文  
 金剛王院流別以小唐櫬入別香別藥等  
 其期開蓋供之  
 箇時畢此轆納之也



或說曰：鈴後立筒，護摩之壇尤心得可塗也。入護摩之間，立壇左方，或脇机上立之。云：此傳頗無其謂，此法以筒爲宗事也。護摩之間，尤立之可行也。而壇左方脇机等置之者，頗非本法意。數中瓶之後，令立吉也。云：

口云：小野流爐前，鈴後，間壇上立筒，故爐室時有用意。從例爐者，前邊，並也。立筒料也。入護摩時，依指合取筒行者，左立之。或立置左脇机也。摧魔怨敵法云：若災難起時，應請一解法之人，於此教中會裏受者，於其中夜闔一方壇，於方壇上重畫三角壇，立於此壇，在壇中央，置中央軌文，置脇机等，背法意也。

口云：通智院義範僧都，諸尊法授三寶院權僧正了云：今拂底授了，若又有殘事者，大師三寶可申祈請，被仰了，仍權僧正令祈請給之處，夢覺參遍智院僧都御房夢事也。示給了夢覺參遍智院僧都御房夢事，請申給處，僧都御房落涙千萬，即被授轉法輪畢，以此法爲祕秘，故不可聊爾事。先蹤如是，能相承之口決等，可祕之也。云：遍口鈔云：問彼法筒所用以後，如何カス。答：只相具道具，可師資相承也。

# 白寶口抄

轉法輪法下

## 行法次第事

注云：或說付十八道行之，但四無量觀必加之云：四無量觀之外，淨三業三部心後，被甲勝願等，猶加之歟。

## 表白事

神下句之前後者，如常。今本尊句許出之。此句密々唱之，更不及外聞也。

## 神分事

是前後猶可任阿闍梨心歟。勸請發願句事。

## 勸請發願句事

勸請本尊句，無子細，但密可唱之也。發願句者，出本尊句許，次句可依事。阿闍梨用心也。

## 道場觀事

今此道場觀者，依師說奉懸理趣經金剛輪曼荼羅爲本尊。故如彼曼荼羅之坐位，尊觀之。此曼荼羅尊外，今第二院四方金剛薩埵降三世觀音，虛空藏四隅喜悅歌舞之內，四供也。注云：此位金輪不動軍荼利大威德金剛藥叉可安也。云：

## 藥叉可安也云

今第二院八尊之位中，金輪等五尊觀居之也。第三院四方鉤索鎖鈴四隅香華燈塗之八尊也。

注云：此位十六大護大藥叉將及日本國中大小護法神祇可安之，各皆隨位可令

座也。云：此亦第三院八尊之位中，始自毗首羯磨一方四尊，各可安之。自前右繞也。自餘神祇同此位中，各々位依位可任。此位，皆觀居之也。

問：不圖曼荼羅之尊等觀居之，其意如何。答：理趣經金剛輪曼荼羅者，自本不圖此尊等。今付此法所用之尊也。金輪護摩部主五大尊，諸尊段用之。其次十六大護同供之。日本國中大小神世天段時供之。殊十六大護諸神祇，此法召請之，故同道場觀隨位觀居之後，可召請也。但是觀念也，不能曼荼羅之圖像也。

## 大鈎召印言事

此大鈎召印，誦真言了。十六大護并二十二社名號之後，日本國中大小神祇冥衆總唱之了。誦 $\text{V}\text{A}\text{V}\text{A}$ 。

## 右風指三度招之

問：以大鈎召十六大護并二十二社等，廣令請事，有本說乎。又入降三世三摩地教勸等，同有之乎。如何。答：召請十六護及威德諸神等有本說也。摧摩怨敵法云：若災難起時，應請一解法之人，於此教中會裏受者，於其中夜闔一方壇，於方壇上重畫三角壇，立於此壇，在壇中央，於壇四面

著種種養食飲并二關伽婆安悉香及燃蘇燈，其解法者面南而座，即結一切如來鈎印，以二手內相叉作拳，以右頭指爲鈎，及誦真言稱名，請召十六大護及其眷屬大威德諸神將等，壇中供養，如來鈎真言

曰

莫莫薩滿多沒駄引暗去一惡念呼 婆嚩多

羅二引鉢羅二底實諦二恒他引聚指引  
俱者三冒地左哩野二幅哩布羅迦四婆

縛引合 寶引

行者次當入三世勝金剛忿怒三摩地觀  
威德熾盛四面八臂左踏塢摩天后右脚  
踏摩薩首羅天則結三世勝印二手金剛  
拳握惠互相鉤直堅於進力成已誦真言  
三五或七遍真言曰

唵薩婆去 嚩瑟婆去 吽 唵 里 二 賀 拏 合

吃里二賀拏二吽 短吃哩二賀拏二合 跋

野吽阿吽 娜野解引婆護鐵騎日羅二吽

復次即結上方諸天教勅印以二手各作  
金剛拳二頭指互相旋轉結印成已而教

勅言汝等十六大護大藥叉將等受佛付  
屬護持國王及護國界一切有情令得安

樂群除災禍今我國境有其難事汝等大  
護助我軍陣摧破怨敵汝等當令被彼軍

被縛迷悶令其荒亂使我軍兵強盛得勝  
作是勅已即誦真言三遍曰 並下此諸結本印

誦十字佛頂真言一百八遍欲誦此印誦

吽跋哩入底娜囉合哩入多囉日羅二羯

復次當結遊虛空諸天勅印以二手金剛  
縛結二頭指以甲相背並豎二空押於二

縛結印成已一依前文而教勅已即三遍  
誦真言曰

唵囉日羅二藥羅跋摩野囉日羅二吽

復次當結虛空諸天印如降三世印安於  
頂上即是結印已一依前文而教勅言即  
誦真言三遍曰

唵囉日羅摩羅吃羅二鐵

縛舒二風頭相合如金剛護普薩印即是  
結印已一依前文而教勅言即三遍真言

曰 唵 囉 日 羅 二 滿 歡 德

以二手各展合掌向外二空頭相捻二風  
相鉤二火以頭相柱以印安於眉間一依

前文而教勅言即三遍誦真言曰

唵 賀 嚩 嚩 囉 日 羅 婆 摩 野 婆 摩 瑟 吒 婆

摩野母珍囉鉢羅德惹迦吽發吒

既啓告已則結慧手作金剛拳按於標上

之七遍印以二手內相叉爲拳二空入於

掌中二風各屈往二空背即是誦真言曰

唵縛日羅薩恒武二瑟捉二濕吽發吒  
念誦已即更焚香獻華即捧闍伽奉爲帝  
王并及百姓發廣大利益安樂殊勝之願

即結金剛縛結合二火即成誦金剛解脫  
真言三遍奉送聖衆各還本宮真言曰

唵囉日羅二穆  
法事已訖則收幢於淨海或饌安置供養  
飲食等依法送往河流之中云云 已上軌  
文

私云教勅印言諸師所傳更不同或

振鈴次用之或正念誦以後或入我我  
入以前或散念誦以後或振鈴畢始自

一切如來鉤印次第行之又正念誦次  
有十字佛頂等加持說雖多所出傳

爲相承口決之上其理相叶而已或師  
次第先勸十六護畢次唱五類諸天上

首各別勸之此說不可也末悟儀軌始  
終缺云

教勸事  
當入三世勝金剛忿怒三摩地觀云住

阿彌陀定印觀想我心月輪上有八字  
變成五股金剛杵變成降三世明王已體則

降三世尊也威德熾盛四面八臂左踏塢  
摩天后右脚踏摩薩首羅天如此觀了印  
如常但逆轉三遍明三遍順三轉明三遍

私云軌云三五遍或七遍云々今師傳付七遍歟

眞言儀軌說普通降三世之大呪也今所  
載次第之眞言三十帖本每卷字下皆有  
石字今依彼本歟  
問不依儀軌說用三十帖本其意如何  
答石字者是摧破義也尤調伏相應故用  
之歟

問本位既大輪明王。今入彼三摩地可教。勒何入降三世三摩地勒十六護等乎。如  
何。答曼荼羅第二院置降三世即此意。  
斂理趣經第十四降三世也。教令輪品說四  
種曼荼羅是十部曼荼羅也。外金剛部者  
五類外金剛部諸天也。理趣釋云。瑜伽者  
爲成就四種曼荼羅。教勒外金剛部成辨  
一切世間悉地故云。又云。想自作降三  
世金剛三摩地。結彼等五類教勒印誦金  
剛手一字明稱彼等天眞言相加誦皆得  
使役應成。辨所求皆遂云。此品者建立如  
來段也。此建立如來者。普賢菩薩之異名  
也。普賢菩薩變身成降三世明王。教勒五  
類諸天成辨世間悉地。故今金剛輪曼荼  
羅本尊外金剛薩埵旋右降三世明王也。  
教勒五類諸天降三世殊勝之故爲眷屬  
也。儀軌之心如是。是歟。  
五類諸天者。上方諸天。遊虛空諸天。住虛  
空諸天。地居諸天。地底諸天也。儀軌如此。  
理趣釋云。五類外五剛部諸天。所謂上界

小野次第云上方諸天者四空處色之四靜慮大自在梵王諸天子等云

遊虛空天者北辰妙見北斗九執十二空  
神二十八宿諸星等也住虛空者六欲天  
也地居天者九山八海龍神八部地天水  
神火神風神天照八幡等海底諸天者焰  
魔大山阿防羅刹等也

此外事見彼次第煩事許載之云：

祕藏記云五類諸天天謂自在光遍義也在上界天無色界

虛空天夜摩天以四天王等或離日月星宿可然諸等稱遊虛空天日月地下天阿毘

修羅及閼風王等隨分有光自在之故稱天也交

天如何答云各隨分有光自在之故稱天也交

私云五類諸天以此等可准知也  
上方諸天教勅印言事

口云儀軌先結印作教勅畢眞言三遍誦之今依師傳先結印誦眞言三遍畢同印誦教勅偈文也以下四箇文皆如是或云唯偈文時用金剛合掌也云々

助我軍陣刀強盛他軍被縛致迷悶此二

成蓮房抄云。汝等十六大護大藥叉將等。受佛付屬護持國王及護國界一切有情。

令得安樂，辟除災禍，而今大施主姪亂多，好婢妾，家妬忌，天下怨憎，尤可呵責。汝等當令彼主被縛迷心，永棄邪淫，偏使愛本夫人，作是勅已。即請真言三遍，已下召諸諸天並同此云：

屬護持國界一切有情令得安樂。群除災  
禍。今某甲佐護國王摧破怨敵。某甲作是  
勸已。卽三遍誦真言云、

或次第云汝等十六大護大藥又將當所  
守護諸大神將受佛付屬護持佛法護持  
大施主及護當國一切有情令得安樂障  
除怨敵今我國界安穩大難汝等大護當  
國神將助我軍陣助我念力消除怨敵汝

有情教勅眞言○  
次上界天教勅印言  
汝等那羅延上界諸天當所守護諸大神

私云印言如上。共此二教勅同印言也。

彼次第意先十六大護教勅也。今教勅  
五類諸天也。云々  
次遊空天教勅印言。如常  
汝等日月天等遊空諸天。當所守護諸大

次住虛空諸天印言如常

汝等毗耶耶迦等住空諸天當所守護下已

上如

次地居諸天印言 如常

汝等多聞天等居諸天當所守護 已下

次地底諸天印言 如常

汝等焰魔天等底諸天當所守護 已下

私云此次第者先勤十六護了次諸唱

五類諸天之上首各利勸之此說不可

也儀軌乍五偈文不違唱同文其始五

偈共可有十六護何先勤十六護有六

偈哉是未悟儀軌之始終歟不審也

次遊虛空諸天教勸印云

口云印如文可知之眞言三遍偈文如上

以同印唱之

次住虛空諸天教勸印云

口云印又如文明三遍偈文又如上同印

唱之

次地居諸天教勸印云

口云如文是同金剛護菩薩印明三遍同

印唱偈文如上

次地底諸天教勸印云

口云虛心合掌三二無名開立二頭指

開立少屈如鉤二大二中立合也明三遍

同印唱偈文如上

花座事

口云華座印言如常荷葉座印言右手作

金剛拳安右腕左手舒掌揚肩上向外

歸命共

諸事

口云四智讚次可用本尊讚但四智讚之

間阿闍梨本尊讚密可唱之前後兩度

供養尤可誦之也

問以金剛因菩薩讚何用本尊讚乎如何

答金剛因菩薩即轉法輪菩薩之故用此

尊讚可依此說也凡者此法本尊讚祕不

用之也或說用天龍八部讚是必不用也

禮佛事

口云三十七尊如常

本尊句

南無 我 入我 入事

住阿彌陀定印觀想心月輪上有 字變

成千輪輪我身即輪形變成本尊大輪金

剛相好圓滿 壇上本尊與自身相

對本尊遍法界身故我入其中即以本尊

身為我體我以遍法界身故本尊亦入我

中以為我體故一體無二無別也入我

入故本尊等所具萬德皆悉具足我身也

云

本尊加持事

先小金剛輪印明云此印明即大輪明

王印言事前決了

次大金剛印明云底哩三昧耶經名大

輪金剛明也又某經第二云大輪金剛陀

羅尼 誦此陀羅尼三七遍即當入一

切曼荼羅 此所作皆成誦呪手印誦諸

呪法易得成就若未曾入灌頂壇者不得

觀作一切手印若人誦此陀羅尼者即同

入壇作印行用不成盜法也文

散念誦事

口云先佛眼次大日次十字佛頂以降簡

即召承仕取寄簡即召前近立之 方也右

手作金剛拳按簡上誦十字佛頂眞言 加誦

十字八遍左手取念珠誦十遍以 現上下

シタ、カニ按之如此百八遍也 不可商

能上或下同八遍也其作法問承仕有後

作法畢後承仕本所立之也

問以拳按簡上道誦令上下事只按時作

法勢又必可上下事歟如何 答只按時

作法也是非準於上下也廣澤流以拳動

簡上順逆令加持歟

問十字佛頂眞言加 字加持之其由緒

如何 答十字佛頂眞言金輪呪也其上

加 者師傳也是金輪調伏相應其理相

叶尊也即摧破一切怨敵故十字佛頂印

言明按簡上是以佛頂摧破之德令加入

于中摧伏怨家之怨心意也作此觀按簡

間作怨家降伏之勢令三業相應可加持

之也

私云簡者周八指是表怨家八識所斷

之無明八輪輪表八識能斷之智體即

在二輪上下成一輪此二輪正法輪教

令輪也理趣釋云毗盧遮那佛轉法輪

輪有四種所謂金剛輪寶輪法輪轉應

輪其四輪皆攝在二輪中所謂正法輪

教令輪文依之大日現二輪正法輪是

轉法輪教令輪不執尊也今本尊即二



輪合體尊也。故此簡即本尊之體故納

怨敵於此中摧破之義歟是恩推也

問以金剛拳按之其意如何 答寶樓閣

經下云<sup>寶樓閣</sup>說如來轉法輪印<sup>寶樓閣</sup>佛言先

舉右手四指押母指上然後微拳右手似

持物相覆右手上手面向下<sup>法寶印云云</sup>是如來依

此文者金剛拳轉法輪印也是輪體歟然

者摧破尤相應也亮惠云筒是白毫相

筒狀三昧莊嚴<sup>見觀佛</sup>以有拳筒上押之以毫相印

伏怨敵也或以金剛拳伏之歟云

本尊真言二種事

口云小金剛呪一千遍歟大金剛輪呪一

百遍歟俱可任意

八大菩薩總呪事

口云八大菩薩者金剛手文殊虛空藏緣

發心轉法輪觀自在虛空庫金剛拳摧一

切魔也今真言者如次彼種子也但用不

可隨意也

問印用金剛合掌云散念誦時當作法

無用印若爾者各印不用之歟如何 答

不用印也但用不又可隨心也

十大護各別真言事

十大藥又三大龍王三大天后之各別明

儀軌不說之今師說云十大藥又用諸藥

又呪三大龍用諸龍呪三大天后用諸天

呪也是在胎藏軌口云太元結護訶利

帝等摩利之呪也此兩尊雖爲十六大

護隨一殊以調伏爲宗旨別二尊貴戲之

成就一切明事

經云此真言能成一切明能攝伏一切天

能成辦一切事文

問此真言可用印歟如何 答必不用之

也

法施事

口云心經等多作之也

問此法施者神祇許歟又可通十六大護

并五類諸天等歟如何 答法施可通五

類諸天也

問普通次第散念誦終大金剛輪一字云

今大金剛輪不用之歟如何 答不用之

本尊真言故前既用之云

頭次第

先壇前普禮 次著座普禮 次塗香

次三密觀 次淨三業 次三部被甲

次加持淨淨 次加持嗽口

次取散杖<sup>持</sup>二字觀<sup>如常</sup>

次灑淨 次取嗽口散杖灑淨口<sup>如常</sup>

次加持淨口 次補闕 次羯磨加持等

次三心觀 次淨身 次淨三業

次三密觀 次後被甲 次觀佛

次金剛起 次普禮 次表白神分等

次五悔 次勸請<sup>諸菩薩</sup> 次五大願

次普供養<sup>三力</sup> 次金一丁 次四無量觀

次勝願 次大金剛輪 次道場觀

次大虛空藏 次小金剛輪 次送車轆

次請車轆 次大鈎召印明<sup>真言末二結之六名</sup>

次四明 次拍掌 次入三世勝三摩地

次上方諸天教勅印言偈文

次遊虛空諸天教勅印言偈文

次住虛空諸天教勅印言偈文

次地居諸天教勅印言偈文

次地底諸天教勅印言偈文

次關伽 次花座 次荷葉座

次振鈴 次五供印言 次普供養

次現供 次讚<sup>先四智</sup> 次普供養

次三力祈願 次禮佛 次佛眼加持

次入我入 次本尊加持<sup>二種</sup>

次正念誦 次本尊加持<sup>上</sup> 次字輪觀

次本尊加持<sup>如上</sup> 次散念誦

先佛眼 次大日 次十字佛頂

次降簡 次本尊 次八大菩薩總呪

次十六大護 次三大龍

次三大后 次太元 次訶利帝

次成就一切明 次法施

次入護摩

次大日加持<sup>智慧印</sup> 次本尊加持<sup>小金剛</sup>

次三平等觀<sup>不動印</sup> 次十方結界

次芥子加持<sup>明二十一</sup> 以下如常

次火天印明等

第二部主段<sup>金輪三寶或無量</sup>

先灑淨三度 次羯磨加持

次嗽口三度 次爐加持

次積薪<sup>四支</sup> 次扇火 次白觀<sup>阿彌陀走印</sup>

心月輪上有字變成八輪金輪金輪

變成金輪佛頂身黃金色住法界定印



餘十五準之各一杓

那羅延等上界諸天普供養明某甲

自可下而為石民

日月天等遶空諸天，毗那夜迦等住空

諸天，多聞天等，地居諸天，焰魔天等，地

底諸天，準上界天供之，各一杓

次蘇油小一度 次普供養三力祈願

次嗽口三度 次撥遣以右手彈指

第五世天段

先灑淨三度 次羯磨加持 次嗽口三度

次加持燭 次加持薪次爐中觀

觀此花至爐中成明王花座及天等荷

葉座，即花座上有字，變成不動明王。

四臂具足，又荷葉座上各有字，變成

十二天七曜二十八宿以外邊周，次第

任本位二十二社等諸祇祇圍繞

次召請

大鈎召印 眞言

不動十二天七曜二十八宿，次唱二十

二社等神明各名，可加勸請句并四

攝印言

次嗽口三度 次塗香三度

次蘇油小三度 次乳木不動三支 次混鉢

不動三杓 十二天如常，七曜二十八宿

如常，皆眞言末加調伏句

次二十二社神祇各唱名普供養眞言末

加誦調伏句，各一杓宛供之

或各養迴々用之

次蘇油小一度

次普供養三力祈願

次嗽口三度 次撥遣總彈指

次散念誦殘一字明，金一打

次五供印明 次普供養 次現供

次後鈴 次讚如上 次普供養

次三力祈願 次禮佛如上

次迴向金一打

次迴向方便 次解界但不用之

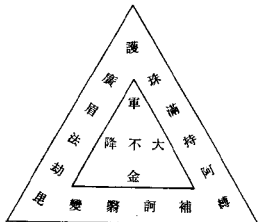
次撥遣等如常 金一打

次出堂

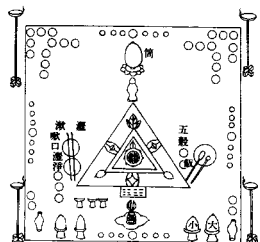
除五大章法，餘調伏法如六字法，可燒

三類形也

諸尊段爐中勸請圖



世天段爐中勸請圖

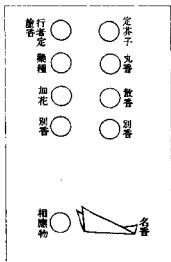


右脇機

甲香野香安息香隨得用之



黑芥子用之或瓶實用之



結願作法

先書卷數付杖立大壇西邊但隨便宜安文

一通置左脇機

先壇前普禮 次著座普禮 次塗香

次三密觀 次淨三業 次三部被甲

次加持滿淨 次加持嗽口 次灑淨

次加持爐口 次補闕 次羯磨加持

次字觀 次淨身 次淨三業

次三部心 次後被甲

次觀佛 次金剛起

次普禮之後打金二度

則出五悔并勸請五大願等神分祈願

等略之

行法如常

次後供養闍伽之後打金二度讀卷數次

打金一度結願事由中一箇日行法結願

當此時等云

次神分祈願等如例

次後鈴以下如常

作僧祝 十字佛頂現如上

御加持祝 同呪

同發願

請書事

被輪旨云近年凶賊充滿闍伽起殆漸

却奪州郡今欲亂入王城若非佛力之冥

助者爭靜逆類之邪心乎甲從來其口卒

六口伴僧可被勸修轉法輪法之狀依

院宣執達如件

年 月 日

請文事

謹請

御請書一紙

右轉法輪法者願請尋門流動行撰其器

量其雖爲小野僧正末葉粗傳受件法年

蕩未至才智淺之事已非聊爾無不能勤

行歟雖然勸宣願重不許辭退不顧法驗

之有無慙所請如件

年 月 日

某請文

自來十二日轉法輪可令參勤給不動供

者被請替他人候了令法甲可令進支

度給者依御氣色執達如件

九月九日 左衛門權佐宗長 奉

謹上

醍醐座主御房

追申

先伴僧何口候哉

自來十二日可勤行轉法輪法之由謹以

奉候了但件法秘法候非高德耆年人

者輒難勤修候歟勝賢依先師所傳耶難

受習彼法以不肯身爭可應其仁哉旁某

其憚無極候雖然御定難宵之間無左右

所令獻支度也猶可被撰有智宿老輩候

歟以此旨可然之樣可令披露給候勝賢

恐惶謹言

九月九日

法印權大僧都勝賢

進上啓

御壇所所可所可候哉可承案內兼又

彼支度內銅筒一口以銅細工一人早

召給二人可沙汰造作也自十二日

始候者今日如成可召給候歟又伴

僧先例八口多用候者也重謹

覺禪圖梨記云

壽永二年癸卯九月九日幸於勤供其內

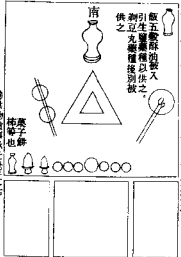
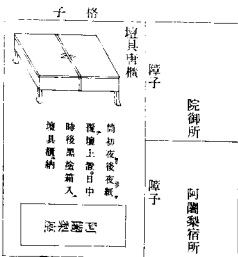
一壇可令參勤給仍九日申時御出洛而

於途中又御請書到來之於不動法者早

止參勤自來十二日可令勤修轉法輪法

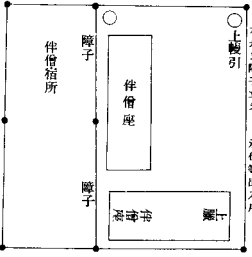
給云即歸三寶院令獻沙汰云十二

日甲 支度給諸事御室御沙汰云々十二  
 日戊 未尅卒伴僧御出洛勝海阿闍梨明  
 澄阿闍梨覺禪阿闍梨 每時乘過阿闍梨  
 神供後二前賢阿闍梨行賢入寺  
 七日前  
 已上初七日助修火之乘源海淵等番  
 之勤之養禪乘過祈賢乍五七日勤仕  
 申時成玄相仁和寺宮御使香藥等請取  
 其後覺禪於御前分藝之又自宮權僧正  
 範俊相傳尙被度之其色黑也以相圓造  
 被立之御今案也酉社承仕二人 施取  
 定壇所奉行右衛門權佐兼五位藏人藤  
 原定茂也先乘過阿闍梨壇場莊嚴勤仕之  
 壇所 園內裏也



花瓶阿世三立  
 增木若棟末長八寸。乳木百八  
 二十一其想長六寸三角削之

後夜明加普通  
 供佛物如普通  
 供佛物如普通



曼茶羅 三寶院經藏如佛也大輪  
 右曼茶羅 明主曼茶羅也上上三尊也  
 一鋪半也中尊并降三世黑

色餘皆肉色歟  
 戌時大阿闍梨參壇所奉行人對面數  
 子時御幸依供花御還、院召法印仰  
 含御願趣

大禮盤上  
 院仰云此法何眞言、誦乎法印被申云  
 十字佛頂眞言云、

又仰云十字佛頂何尊、答云金輪呪  
 候

問云云呪敷 同事候云、  
 小野次第云頂輪王明云、信運云十  
 字佛頂眞言名也、非佛名

或人云金剛薩埵言云、朗澄同之  
 次開白時始之供養法如常

神分心經七卷被讀  
 勸請句  
 本尊聖者大輪尊  
 十六大護諸乘又字不分明

發願句  
 至心發願 唯願大日 本尊聖者  
 摧伏金剛 八大菩薩 諸大眷屬

兩部界會 諸尊聖衆 外金剛部  
 十六大護 當國神等 諸大明神  
 神祇冥道 還念本誓 降臨壇場

所設妙供 哀懇納受 護持仙院  
 消除不祥 消除災難 增長寶壽  
 恒受化樂 無邊御願 決定圓滿

院內安穩 諸人快樂 天下法界  
 平等利益文

正念誦

用小金剛輪呪或云十字佛頂呪用之云、則經作散念誦金寶抄云散念誦時右手金剛經作

佛眼大日天十字佛頂呪次降簡事召承仕降除覆紙簡取鈴右左邊立誦十字眞言押之百八其間承仕有御傍次念珠

大小金剛輪 大護摩了

大金剛輪 一字

伴僧并後加持用十字佛頂呪其呪曰

古可平可平可平可平可平

或云此呪無主有十字故以名云

自筆書點伴僧等授之予文泉房令見之依仰也或云醍醐流伴僧御加持

用降三世呪云

讀四智

結界事 仰云今法冥衆來臨故不用結

界云

大阿闍梨初夜時了東方次未申方向理

趣經并念誦等所作有之私云太神宮八又

修中常令滿觀普法號給仰云今法以大

慈悲之心尤可勤行云

又伴僧依仰後夜與日中中間并初夜時

前後各轉讀心經也

又以助修諸社奉幣于八轉宮參詣

右五七箇日之間事略記之勤修之間

御幸兩度又十月一日仁和寺宮入道

場御拜見數尅御談會云

已上

賢心抄開梨抄云先師法眼常示云此法

尚可有蠟燭供又諸社御社幣尤可有也云依之長御修法支度蠟燭供米三

等五字油三升五合布一段畢注十六

大護蠟燭供料云

又二十二社幣上紙三帖書支度也但二

十二社每日初夜時一度幣三帖不定也

今十餘枚不足也加清瀧高野十二王子

百二十眷屬之故也仍自餘以後五帖可

書也云

私云蠟燭供護摩本章段次供之初夜

時許也奉幣世天段終法施也二十二

社奉幣是初夜許也彼流次第作法不

似當流可見彼也爲才學載之

永正六年己卯日晦日寫之